2026年度

シラバス

ホスピタリティ・ツーリズム学部

School of Hospitality & Tourism Management

SCHOOL OF
HOSPITALITY & TOURISM
MANAGEMENT

MEIKAI UNIVERSITY

明海大学

2026年度

シラバス

ホスピタリティ・ツーリズム学部

School of Hospitality & Tourism Management

共通科目（基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育・特別科目）

専門科目

目　次

共通科目

基礎教育

学修の基礎Ⅰ …… 相川野々香 10
阿方由紀枝 10
稲田　環菜 10
遠藤　信一 10
大黒　章子 10
佐々木文彦 10
杉浦　雄策 10
高野　紀子 10
中村　元紀 10
萩尾由貴子 10
濱﨑あゆみ 10
遠藤　信一 12
佐々木文彦 12
吉田　成利 14
学修の基礎Ⅱ …… 小野寺樹璃 16
髙橋　眞人 16
髙橋亜里沙 16
高柳　奈月 16
富樫　里真 16
中村　佑衣 16
荷見　美有 16
藤本　陽子 16
小野寺樹璃 18
高柳　奈月 18
荷見　美有 18
学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）… 相川野々香 20
遠藤　信一 20
後藤　英樹 20
佐々木文彦 20
高橋　奈佳 20
中村　元紀 20
萩尾由貴子 20
前田新太郎 20
渡部　綾子 20
学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）… 相川野々香 22
遠藤　信一 22
後藤　英樹 22
佐々木文彦 22
高橋　奈佳 22
中村　元紀 22
萩尾由貴子 22
前田新太郎 22
渡部　綾子 22
学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）… 相川野々香 24
中村　元紀 24
萩尾由貴子 24
学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）… 相川野々香 26
遠藤　信一 26
中村　元紀 26
萩尾由貴子 26

人間力形成教育

人間存在の課題 …… 中根　弘之 28
社会生活と倫理 …… 中根　弘之 30
文学の世界 …… 川勝　麻里 32
森　晴彦 34
人類と文化 …… 山本早良紗 36
美とは何か …… 髙久　馨 38
記号と論理 …… 土屋　真一 40
コミュニケーション論 …… 小野寺樹璃 42
海谷　千波 44
心理学 …… 中嶋　一恵 46
林　哲也 48
からだと健康 …… 宮澤　慶 50
日本人の生活意識 …… 中根　弘之 52
堀内　貴子 54
性格とは何か …… 樋口　倫子 56
生命と遺伝子 …… 桑山　秀一 58
スポーツ科学講義 A …… 杉浦　雄策 60
矢島ますみ 62
スポーツ科学講義 B …… 杉浦　雄策 64
矢島ますみ 66

スポーツ科学演習 A …… 杉浦　雄策　68
矢島ますみ　70
矢島ますみ　72
スポーツ科学演習 B …… 杉浦　雄策　74
矢島ますみ　76
矢島ますみ　78
ボランティア講義 …… 小川　正純　80
人間形成ゼミナール …… 伊藤　直樹　82
樋口　倫子　84
矢島ますみ　86
矢島ますみ　88
ボランティア活動 A …… 単位認定科目　90
ボランティア活動 B …… 単位認定科目　92
日本の歴史…… 野田有紀子　94
国際関係論…… 東　夢子　96
国際貢献論…… 小川　正純　98
民族と宗教…… 岩田　成就　100
異文化コミュニケーション論…… 岡田　麻唯　102
日本語と日本文化 A …… 川勝　麻里　104
日本語と日本文化 B …… 川勝　麻里　106
フランス語とフランス文化 A…… 馬越　洋平　108
西村　美穂　110
フランス語とフランス文化 B…… 馬越　洋平　112
西村　美穂　114
ドイツ語とドイツ文化 A …… 諏佐ランカ　116
ﾘｰｽｻｰ ﾌﾗﾝｸ ﾍﾞｰﾀｰ　118
ドイツ語とドイツ文化 B …… 諏佐ランカ　120
ﾘｰｽｻｰ ﾌﾗﾝｸ ﾍﾞｰﾀｰ　122
スペイン語とスペイン文化 A…… ｺﾞﾝｻﾞﾚｽ ｶﾞﾌﾞﾘｴﾙ　124
スペイン語とスペイン文化 B…… ｺﾞﾝｻﾞﾚｽ ｶﾞﾌﾞﾘｴﾙ　126
韓国語と韓国文化 A …… 全 イジョング　128
韓国語と韓国文化 B …… 全 イジョング　130
中国語と中国文化 A …… 于　明明　132
中島　祝　134
中国語と中国文化 B …… 于　明明　136
中島　祝　138
英語文化研究 A …… 諏佐ランカ　140
英語文化研究 B …… 諏佐ランカ　142
国際理解ゼミナール …… 小川　正純　144
異文化実地研修 A・B…… 単位認定科目　146
法学…… 櫻井　博子　147
日本国憲法…… 吉田　成利　149
経済のしくみ…… 野口　尚洋　151
社会と生活…… 櫻井　博子　153
田川　麻央　155
政治のしくみ…… 河野　武司　157
社会思想史…… 上野　大樹　159
日本企業論…… 粟沢　尚志　161
地理と環境…… 池田　和子　163
小野寺樹璃　165
自然環境論…… 磯田　尚子　167
都市と生活…… 中嶋　久人　169
生活と安全…… 笠嶋　義夫　171
行動科学…… 樋口　倫子　173
データのまとめ方 …… 新井　啓　175
数理の世界…… 中島　達洋　177
中島　達洋　179
身近な物理…… 中島　達洋　181
現代物理のはなし …… 中島　達洋　183
身近な化学…… 藤井　大輔　185
笠嶋　義夫　187
科学技術と社会 …… 遠藤　信一　189
社会生活ゼミナール …… 新井　啓　191
中島　達洋　193

キャリア形成教育

キャリアプランニングⅠ …… 阿方由紀枝 195
稲田　環菜 195
大黒　章子 195
高野　紀子 195
濱﨑あゆみ 195
阿方由紀枝 197
小野寺樹璃 199
行田　悦子 199
髙橋亜里沙 199
林　　苗 199
範　　弘宇 199
小野寺樹璃 201
範　　弘宇 201
キャリアプランニングⅡ …… 阿方由紀枝 203
稲田　環菜 203
大黒　章子 203
高野　紀子 203
濱﨑あゆみ 203
大道　和夫 205
荷見　美有 207
範　　弘宇 207
キャリアプランニングⅢ …… 阿方由紀枝 209
稲田　環菜 209
大黒　章子 209
高野　紀子 209
濱﨑あゆみ 209
大道　和夫 211
荷見　美有 213
範　　弘宇 213
キャリアデザイン …… 阿方由紀枝 215
稲田　環菜 215
高野　紀子 215
濱﨑あゆみ 215
大道　和夫 217
範　　弘宇 219
インターンシップ A・B・C・D…… 単位認定科目 221
特別聴講科目 A・B・C・D …… 単位認定科目 223
ビジネススキル A・B・C・D…… 単位認定科目 224
ビジネスコミュニケーション A・B ‥ 豊田　順子 225
資本市場の役割と証券投資…… 廣部　恒忠 226
はじめての起業講座（Start up Basics）… 飯田　信一 228

特別科目

アカデミック日本語Ⅰ …… 富樫　里真 230
高柳　奈月 232
髙橋亜里沙 234
荷見　美有 236
範　　弘宇 236
堀内　貴子 236
アカデミック日本語Ⅱ …… 林　　苗 238
富樫　里真 240
髙橋亜里沙 242
小野寺樹璃 244
行田　悦子 244
荷見　美有 244
アカデミック日本語Ⅲ …… 範　　弘宇 246
林　　苗 248
沈　　伽迪 250
小野寺樹璃 252
髙橋亜里沙 252
田川　麻央 252
アカデミック日本語Ⅳ …… 荷見　美有 254
髙橋亜里沙 256
藤本　陽子 258
小野寺樹璃 260
行田　悦子 260
範　　弘宇 260

専 門 科 目

Academic English Ⅰ …… 伊勢　佳奈 264
ﾛｳｪﾅ ｼﾞｮﾝｿﾝ 266
Academic English Ⅱ …… 伊勢　佳奈 268
ﾛｳｪﾅ ｼﾞｮﾝｿﾝ 270

Academic English Ⅲ …… 伊勢　佳奈　272
ロウェナ ジョンソン　274
Academic English Ⅳ …… 伊勢　佳奈　276
ロウェナ ジョンソン　278
Advanced English skills A …… 伊勢　佳奈　280
ロウェナ ジョンソン　282
Advanced English skills B …… 伊勢　佳奈　284
ロウェナ ジョンソン　286
Advanced English skills C …… 伊勢　佳奈　288
Advanced English skills D …… 伊勢　佳奈　290
Business Chinese Ⅰ -a (Elementary) ‥ 李　思薇　292
Business Chinese Ⅰ -b (Pre-intermediate) ‥ 李　思薇　294
Business Chinese Ⅱ -a (Intermediate) ‥ 李　思薇　296
Business Chinese Ⅱ -b (Upper Intermediate) ‥ 李　思薇　298
Japanese A…… 林　苗　300
Japanese B…… 林　苗　302
Japanese C…… 高柳　奈月　304
Japanese D …… 髙橋亜里沙　306
Japanese E…… 行田　悦子　308
Japanese F…… 髙橋亜里沙　310
Japanese Culture …… 信常　幸恵　312
Destination Studies A (Japan)… 木内　伸樹　314
Art and Culture…… 川村　一司　316
World Heritage …… ニコラ ナウモフ　318
Destination Studies B (Europe) ‥ ニコラ ナウモフ　320
Destination Studies C (America)… ラッセル ウエノ　322
Destination Studies D (Asia) …… 肖　子睿　324
Destination Studies E (Oceania and the South Pacific)… 神末　武彦　326
Introduction to Hospitality …… 木内　伸樹　328
Introduction to Hospitality &TourismStudies Ⅰ… 神末　武彦　330
岩本　英和　332
Introduction to Hospitality &TourismStudies Ⅱ… ラッセル ウエノ　334
Internship A・B・C・D・E・F・G・H… 単位認定科目　336
Internship (Overseas) A・B…… 単位認定科目　337
Hospitality and Volunteer Activities… 単位認定科目　338
Airline Business and operations… 水野　徹　339
Hotel Business and operations… 大屋　了三　341
Food &Beverage Business and Operations… ダニエル チョン　343
Concierge/Business Networking… 川村　一司　345
Tourism and the Law …… 吉田　成利　347
Events &Meeting Management ‥ 岩本　英和　349
Tourism Planning and Development ‥ 白木　秀典　351
Tourism and the Society…… 中野　実　353
eCommerce …… 上田　圭一　355
Introduction to Marketing…… 水野　徹　357
Introduction to Management…… 白木　秀典　359
木内　伸樹　361
Principles of Accounting…… 白木　秀典　363
Principles of Finance …… 白木　秀典　365
Introduction to Business Innovation… 前田　篤志　367
Introduction to Economics …… 大石　隆介　369
Logical Thinking …… ジェイコブ シェア　371
Statistics Ⅰ …… ラッセル ウエノ　373
Statistics Ⅱ …… ラッセル ウエノ　375
Ethics and Compliance …… 吉田　成利　377
Leadership…… 大屋　了三　379
Cross Cultural Management …… 白木　秀典　381
International Business Relations… 大屋　了三　383
Business Strategy …… 大屋　了三　385
Services Marketing…… 水野　徹　387
Service Economics…… 大石　隆介　389
Destination Marketing …… ラッセル ウエノ　391
Destination Management …… ラッセル ウエノ　393
Human Resource Management… 三輪　祥宏　395
Risk Management …… 神末　武彦　397
Distinguished Lectures in Hospitality &Tourism Management A… シュルーター キャロリン　399
Distinguished Lectures in Hospitality &Tourism Management B… 上田　圭一　401
水野　徹　401
Airline Management…… 水野　徹　403
Hotel Business Management…… 立石　貴子　405
Practicum A (Product Planning and Sales Promotion)… ディーン ナカソネ　407
Practicum B (Destination Studies) ‥ 川村　一司　409
Practicum C (Critical Thinking) ‥ 白木　秀典　411
Practicum D (Presentation and Debate) ‥ 伊勢　佳奈　413
Pre Seminar Ⅰ -a…… 吉田　成利　415
三木　和見　415
Pre Seminar Ⅰ -b…… 吉田　成利　417
Pre Seminar Ⅱ -a…… 肖　子睿　419

Pre Seminar Ⅱ -b …… 肖　子睿　421
肖　子睿　423
Seminar Ⅰ -a …… 吉田　成利　425
吉田　成利　427
Seminar Ⅰ -b …… 吉田　成利　429
Seminar Ⅱ -a …… 吉田　成利　431
Seminar Ⅱ -b …… 吉田　成利　433
Academic English Ⅰ …… 野上　文子　435
森川　慶子　435
番場　直之　437
Academic English Ⅱ …… 傍島由美子　439
野上　文子　439
番場　直之　439
森川　慶子　439
傍島由美子　441
Academic English Ⅲ …… 野上　文子　443
番場　直之　443
野上　文子　445
Academic English Ⅳ …… 菅原　千津　447
野上　文子　447
森川　慶子　447
野上　文子　449
English Grammar Ⅰ -a …… 西村　美樹　451
濵﨑潤之輔　451
溝口優美子　451
English Grammar Ⅰ -b …… 傍島由美子　453
濵﨑潤之輔　453
番場　直之　453
溝口優美子　453
English Grammar Ⅱ -a …… 濵﨑潤之輔　455
番場　直之　455
溝口優美子　455
English Grammar Ⅱ -b …… 濵﨑潤之輔　457
溝口優美子　457
山田　治　457
English Writing Ⅰ -a …… 西村　美樹　459
山田　治　459
English Writing Ⅰ -b …… 西村　美樹　461
English Writing Ⅱ -a …… 菅原　千津　463
山田　治　463
English Writing Ⅱ -b …… 傍島由美子　465
西村　美樹　465
山田　治　465
English Speaking Ⅰ -a …… ジェイコブ シェア　467
マーティン クロウリー　467
ロウェナ ジョンソン　467
English Speaking Ⅰ -b …… ジェイコブ シェア　469
マーティン クロウリー　469
ロウェナ ジョンソン　469
English Speaking Ⅱ -a …… ジェイコブ シェア　471
マーティン クロウリー　471
ロウェナ ジョンソン　471
English Speaking Ⅱ -b …… ジェイコブ シェア　473
ロウェナ ジョンソン　473
Advanced English skills A …… マーティン クロウリー　475
ロウェナ ジョンソン　475
Advanced English skills B …… ジェイコブ シェア　477
Advanced English skills C …… 番場　直之　479
濵﨑潤之輔　481
Advanced English skills E …… ジェイコブ シェア　483
Advanced English skills F …… マーティン クロウリー　485
パーソナル・コミュニケーションリテラシーⅠ/ホテルサービス論… 阿部　佳　487
パーソナル・コミュニケーションリテラシーⅡ/エアラインサービス論… 木内　伸樹　489
パーソナル・コミュニケーション探究A（ビジネスネットワーキング）… 阿部　佳　491
パーソナル・コミュニケーション探究B（国際平和と観光）… 中野　実　493
パーソナル・コミュニケーション探究C（マイノリティと共生社会）… 肖　子睿　495
パーソナル・コミュニケーション探究D（グローバル化とSDGs）… 上田　圭一　497
サービスコミュニケーション実習Ⅰ -a … 藤井　直子　499
サービスコミュニケーション実習Ⅰ -b … 藤井　直子　501
サービスコミュニケーション実習Ⅱ … 藤井　直子　503
サービスコミュニケーション実習Ⅲ … 三木　和見　505
日本文化論 …… 信常　幸恵　507
世界遺産論 …… 山田　正芳　509
デスティネーション研究A（日本）… 山田　正芳　511
デスティネーション研究B（ヨーロッパ）.. 山田　正芳　513
デスティネーション研究C（南北アメリカ）… 山田　正芳　515
デスティネーション研究D（アジア）… 山田　正芳　517

デスティネーション研究Ｅ（オセアニア、太平洋地域）… 山田　正芳　519
デスティネーション研究Ｆ（アフリカ、中東地域等）… 山田　正芳　521
ホスピタリティ論 …… 立石　貴子　523
ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅰ …… 岩本　英和　525
ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅱ …… 五十嵐潤子　527
エアラインビジネス論 …… 上田　圭一　529
ホテルビジネス論 …… 渭東　史江　531
交流創造ビジネス論／トラベルエージェンシービジネス論… 五十嵐潤子　533
ラクシャリー論 …… 神末　武彦　535
国際ホスピタリティビジネス研究 …… シュルーター　キャロリン　537
ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ（インフィニ国際線予約システム予約編・初中級）… 白木　一恵　539
ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅱ（インフィニ国際線予約システム運賃編・上級）… 白木　一恵　541
ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ・Ｆ・Ｇ・Ｈ… 単位認定科目　543
ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修Ａ・Ｂ… 単位認定科目　544
ホスピタリティ・ボランティア活動… 単位認定科目　545
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ａ（フード・ビバレッジ）.. 渭東　史江　546
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｂ（コンシェルジュ／ビジネスネットワーキング）… 阿部　佳　548
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｂ（ブライダル・フューネラルビジネス）／ブライダル・フューネラルビジネス論… 中川　貴之　550
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｃ（法規）.. 山田　正芳　552
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｄ（エンターテイメント／テーマパークビジネス）… 森崎　泰助　554
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｅ（ＭＩＣＥ）… 五十嵐潤子　556
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｆ（地域創生）… 五十嵐潤子　558
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｇ（ブライダルⅠ）… 村田　順子　560
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｈ（ブライダルⅡ）… 村田　順子　562
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ⅰ（クルーズビジネス）… 永島　寛　564
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｊ（トラベルエージェント実務）.. 山田　正芳　566
山田　正芳　568
マーケティング概論 …… 水野　徹　570
マネジメント総論 …… 二宮　秀生　572
アカウンティング基礎 …… 矢住　直子　574
ファイナンス基礎 …… 矢住　直子　576
イノベーション概論 …… 久保田英男　578
統計学Ⅰ …… 高橋　奈佳　580
統計学Ⅱ …… 高橋　奈佳　582
倫理とコンプライアンス…… 吉田　成利　584
リーダーシップ論 …… 上田　圭一　586
異文化マネジメント論 …… 三輪　祥宏　588
三輪　祥宏　590
国際ビジネス関係論 …… 肖　子睿　592
三輪　祥宏　592
経営戦略論 …… 白木　秀典　594
サービス・マーケティング論 …… 上田　圭一　596
デスティネーション・マーケティング論… ラッセル　ウエノ　598
デスティネーション・マネジメント論… ラッセル　ウエノ　600
ヒューマンリソースマネジメント論… 久保田英男　602
ヒューマンリソースマネジメント論… 三輪　祥宏　604
リスクマネジメント論 …… 久保田英男　606
交通経済システム論Ａ …… 宮田　淳　608
交通経済システム論Ｂ …… 宮田　淳　610
特別講義Ａ …… 永島　寛　612
特別講義Ｂ …… 内苑　孝美　614
エアラインマネジメント論…… 上田　圭一　616
観光事業マネジメント論／トラベルエージェンシーマネジメント論… 永島　寛　618
フード＆ビバレッジマネジメント論 … 久保田英男　620
ホテルマネジメント論 …… 立石　貴子　622
IoT テクノロジー基礎…… 番場　直之　624
デジタライゼーション概論 …… 橋本　尚興　626
データ解析基礎 …… 前田　篤志　628
プロポーザル管理基礎 …… 式町久美子　630
デジタル・イノベーション実地研修… 単位認定科目　632
パーソナル・コミュニケーション実践演習Ａ（ホテル商品企画）／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習Ａ（ホテル商品企画）… 渭東　史江　633
パーソナル・コミュニケーション実践演習Ｂ（地域研究）／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習Ｂ（地域研究）… 木内　伸樹　635
パーソナル・コミュニケーション実践演習Ｃ（ＤＸ／カルシンキング・ディベート）／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習Ｃ（ＤＸ／カルシンキング）… 橋本　尚興　637
パーソナル・コミュニケーション実践演習Ｄ（プレゼンテーション技法）／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習Ｄ（プレゼンテーション技法）… ジェイコブ　シェア　639
パーソナル・コミュニケーション実践演習Ｅ（コンシェルジュ）… 川村　一司　641
ロジカル思考 …… 櫻井　俊輔　643
デザイン思考 …… 櫻井　俊輔　645
デジタル・イノベーション探究Ａ（デジタライゼーション・ビジネスモデル・プラットフォームビジネス）… 桑本　謙介　647
デジタル・イノベーション探究Ｂ（顧客価値・顧客データ分析・CRM）.. 前田　篤志　649
デジタル・イノベーション探究Ｃ（プロジェクト管理）… 櫻井　俊輔　651
デジタル・イノベーション探究Ｄ（デジタライゼーションとSDGs・国際社会）… 谷本　浩治　653
デジタル・イノベーション探究Ｅ（オムニチャネル・OMO・D2C）… 渡辺　泰輔　655
デジタル・イノベーション探究Ｆ（経営情報システムと情報セキュリティ）… 橋本　尚興　657
デジタル・イノベーション探究Ｇ（AI・RPA・深層学習）… 前田　篤志　659
デジタル・イノベーション実践演習Ｂ（プロポーザル管理・交渉）… 式町久美子　661
デジタル・イノベーション実践演習Ｃ（データマイニング）… 前田　篤志　663
デジタル・イノベーション実践演習Ｄ（デジタル・マーケティング技術）… 渡辺　泰輔　665

プレゼミナールⅠ -a…… HT学部専任教員 667
プレゼミナールⅠ -b…… HT学部専任教員 669
プレゼミナールⅡ -a…… HT学部専任教員 671
プレゼミナールⅡ -b…… HT学部専任教員 673
ケーススタディⅠ -a…… 五十嵐潤子 675
渭東　史江 677
木内　伸樹 679
肖　　子睿 681
中野　　実 683
二宮　秀生 685
橋本　尚興 687
前田　篤志 689
三輪　祥宏 691
ケーススタディⅠ -b…… 五十嵐潤子 693
渭東　史江 695
木内　伸樹 697
肖　　子睿 699
中野　　実 701
二宮　秀生 703
橋本　尚興 705
前田　篤志 707
三輪　祥宏 709
ケーススタディⅡ -a…… 五十嵐潤子 711
渭東　史江 713
木内　伸樹 715
肖　　子睿 717
中野　　実 719
二宮　秀生 721
橋本　尚興 723
前田　篤志 725
三輪　祥宏 727
ケーススタディⅡ -b…… 五十嵐潤子 729
渭東　史江 731
木内　伸樹 733
肖　　子睿 735
中野　　実 737
二宮　秀生 739
橋本　尚興 741
前田　篤志 743
三輪　祥宏 745

［共通科目］

○基礎教育

○人間力形成教育

○キャリア形成教育

○特別科目

学修の基礎 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2026 年度入学生のみ履修可能

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**阿方　由紀枝**（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）・**杉浦　雄策**（すぎうら　ゆうさく）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

この科目は「スタディ・プロモーション」を目的とし、新入生のみなさんが明海大学での４年間をどのように過ごし、どのような自分をつくっていくのかを考えるための授業です。大学について知り、自分自身を理解し、周囲と協力しながら学ぶ姿勢を育てます。授業では、自己理解を深めるワークや大学理解に加えて、探究型 PBL（IBL：Inquiry Based Learning）を取り入れた学生主体のグループワークを行います。自ら問いを立て、調べ、話し合い、解決策を導く経験を通して、課題解決力を高め、有為な人材として成長するための基盤を築いていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：明海大学の建学の精神のキーワードである「社会性」「創造性」「合理性」が、社会に貢献するための課題解決の鍵となることを理解する。大学での主体的な学び方を身につけ、探究型 PBL（IBL）を含むグループワークを通じて、課題解決に取り組むための基礎的なスキルを養うことを目標とする。

個別目標：①明海大学について理解を深め、建学の精神に掲げる「社会性」「創造性」「合理性」について説明できる。
②自らの考えを整理し、相手に伝わるようにわかりやすく説明できる。
③自分の特性を理解し、それを踏まえて「なりたいじぶん」の姿を描くことができる。
④大学生活を通じて「なりたいじぶん」を実現するためのロードマップを設計できる。
⑤探究型 PBL（IBL）を通じて、問いを立て、調べ、話し合い、解決策を導く力を身につける。

▌履修条件

2026 年度新入生（アカデミック日本語の履修対象者を除く）

▌評価基準・方法

①提出物、プレゼンテーションスライドなどの作成　40 %
②発表など　40 %
③授業中の活動などアクティブラーニングの評価　20 %
（提出日時、所定のルールを守らないものは評価しない）
発表資料などが間に合わない場合は、「事前学修」「振り返り」が出来ていないものと判断し、減点する
※なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって協働ワークを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （自分のノートパソコンを持参すること）

▌教科書

特にないが、manaba を通してコンテンツを配信する。
毎回自分のノートパソコンを持参すること。

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション／学び方（ノートテイキング），図書館の利用方法** 授業内容：授業の目的や進め方を理解し、大学での学びに必要な姿勢を確認します。効果的なノートテイキングの方法，図書館を利用した情報収集方法などを学び、今後の授業で活用できる基礎を身につけます。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業の目的や進め方を確認する。大学での学びに対する不安や期待を整理しておく。 事後学修 2.0hr：学んだノートテイキングを使い、授業内容をまとめる。今後の学び方の改善点を振り返る。
2 回	**授業テーマ：大学からのメッセージ１　学長講話** 授業内容：学長から明海大学の理念や教育方針について話を聞き、大学で学ぶ意義を考えます。大学生活を主体的に過ごすための視点を得る機会とします。 事前学修 2.0hr：明海大学の建学の精神について事前に調べ、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：学長講話で印象に残った点をまとめ、大学での学びの意義を自分なりに言語化する。講演で印象に残ったことを記録する。
3 回	**授業テーマ：大学からのメッセージ２　特別講演「グアムの文化と歴史」（課題探究のための予備学修）** 授業内容：第 10 回～ 12 回の探究学修で取り上げるグアムについての予備知識を学ぶために、グアム政府観光局、JTB による特別講演を聴きます。 事前学修 2.0hr：グアムの観光地などについて調べる。 事後学修 2.0hr：講演で印象に残ったことを記録する。
4 回	**授業テーマ：自己を知る１　PROG テスト受験** 授業内容：PROG テストを受験し、自分の思考力・人間力の現状を把握します。今後の成長目標を考えるための基礎データとして活用します。PC を必ず持参してください。 事前学修 2.0hr：PROG の目的を理解し、自分の強み・弱みを予想しておく。 事後学修 2.0hr：受験の感想をまとめ、今後伸ばしたい力について簡単に整理する。
5 回	**授業テーマ：大学での学びの方法１　学修ポートフォリオの記入・探究型 PBL（IBL）の導入** 授業内容：ポートフォリオの書き方を学び、自己理解を深めます。探究型 PBL（IBL）の考え方を導入し、課題解決のプロセス (明海スパイラルメソッド) を理解します。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオの意義を確認し、自己理解に関するメモを準備する。 事後学修 2.0hr：PBL の特徴を振り返り、探究における自分の課題や役割を整理する。
6 回	**授業テーマ：大学での学びの方法２　グループワーク開始・コーチングスキル（教育用カードゲームを活用）** 授業内容：教育用カードゲームを用いて、相手の話を引き出すコーチングスキルを学びます。IBL に向けた協働の基礎をつくり、グループワークを開始します。 事前学修 3.0hr：コーチングの基本姿勢（傾聴など）について簡単に調べておく。 事後学修 2.0hr：カードゲームで得た気づきをまとめ、グループでの関わり方を振り返る。

7回	**授業テーマ：大学での学びの方法３　IBL ①「身近なものを比較する」１ 課題設定** 授業内容：身近なテーマから問いを立て、比較の視点を設定します。IBL の第一歩として、課題設定の重要性を理解し、グループでテーマを１つに決め、解決案を探ります。 事前学修 3.0hr：身近な比較テーマをいくつか考え、問いの候補を準備する。 事後学修 2.0hr：設定した課題の妥当性を振り返り、必要な追加調査を整理する。
8回	**授業テーマ：大学での学びの方法４　IBL ②「身近なものを比較する」２ 分析・議論・解決策立案** 授業内容：集めた情報をもとに分析し、グループで議論を深めます。比較から見える特徴を整理し、解決策や提案をまとめていきます。提案するための発表スライドを作成します。 事前学修 3.0hr：比較対象に関する情報を集め、何によって分析するのか、制約条件などを考えておく。 事後学修 2.0hr：発表スライドを完成させ、提案の根拠となるデータや視点を補強する。
9回	**授業テーマ：大学での学びの方法５　IBL ③「身近なものを比較する」３ 成果発表・立案・フィードバック** 授業内容：グループごとに成果を発表し、他者からのフィードバックを受けます。比較の視点や分析の深さを振り返り、次の探究に活かします。 事前学修 3.0hr：発表スライドの最終確認を行い、伝えたいポイントを明確にする。 事後学修 3.0hr：聴衆に伝わったか否かなど、受けたフィードバックをまとめ、次の探究に活かす改善点を整理する。
10回	**授業テーマ：大学での学びの方法６　IBL ④「社会課題に取り組む」１ 課題設定** 授業内容：グアム島が抱える社会課題について、みなさんに解決策を考えてもらいます。観光や地域経済の課題を IBL のプロセス (明海スパイラルメソッド) で探究します。まず、現状の課題を整理し、問題が生じた背景や要因をグループで設定します。 事前学修 3.0hr：グアム島の観光地の現状や観光課題について簡単に調べ、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：設定した社会課題の背景を深掘りし、追加で調べるべき視点をまとめる。
11回	**授業テーマ：大学での学びの方法７　IBL ⑤「社会課題に取り組む」２ 分析・議論・解決策立案** 授業内容：グアム島が抱える社会課題の背景を調べ、原因や影響を分析します。分析と議論を行い、実現可能な解決策を立案し、グアム島を活性化させるための発表スライドを作成します。 事前学修 2.0hr：テーマを１つに絞るための話し合いをグループでしておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションを行うための発表スライドを完成させる。
12回	**授業テーマ：大学での学びの方法８　IBL ⑥「社会課題に取り組む」３ 成果発表・立案・フィードバック** 授業内容：グアム島を活性化させる提案内容を発表し、他グループからのフィードバックを受けて改善点を明確にし、社会課題に向き合う姿勢を養います。 事前学修 2.0hr：発表内容を整理し、伝わりやすい構成を確認する。 事後学修 2.0hr：フィードバックを受けて提案の改善点を明確にし、学びの成果を記録する。
13回	**授業テーマ：自己を知る２　PROG の返却とフィードバック 行動指針の策定** 授業内容：PROG の結果を受け取り、自分の強みと課題を確認します。結果を踏まえて、今後の大学生活で意識する行動指針をつくります。 事前学修 2.0hr：PROG 結果の見方を確認し、振り返りの準備をする。 事後学修 3.0hr：返却結果をもとに、自分の行動指針を文章化し、今後の学びに反映させる。
14回	**授業テーマ：ポートフォリオ記入・ロードマップ作成** 授業内容：これまでの学びをポートフォリオに整理し、「なりたい自分」に向けたロードマップを作成します。成長の軌跡を可視化します。 事前学修 2.0hr：これまでの学びを振り返り、ロードマップに入れたい内容を整理する。 事後学修 2.0hr：作成したロードマップを見直し、実行可能な行動に落とし込む。
15回	**授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化** 授業内容：ロードマップを完成させ、１年間の学びを振り返ります。経験を言語化し、今後の大学生活で活かす視点を明確にします。 事前学修 2.0hr：1 年間の学びを振り返り、言語化したい経験を整理する。 事後学修 2.0hr：完成したロードマップをもとに、今後の大学生活で実践する行動を明確にする。

学修の基礎Ⅰ

開講学科等：日英中不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

遠藤　信一（えんどう　しんいち）**・佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

本科目は再履修科目として位置づけられており、これまでの大学生活を振り返り、学び直しを通してより良い大学生活を再設計することを目的とします。「自己を知る」「情報整理術」「学修計画やロードマップの作成」等さまざまな課題について考えます。明海大学での「自分さがし、自分づくり」を再スタートさせましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：再履修者がこれまでの経験を踏まえて自己理解を深め、改善点を明確にし、大学生活を再構築できるようにする

個別目標：①自分自身の特性を理解し、わかりやすく伝えることができる
②明海大学を理解し、わかりやすく伝えることができる
③大学生活でどのような自分を創り出すか、明確に描くことができる

▌履修条件

授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること

▌評価基準・方法

①毎回の「事前学修」および「振り返りシート」(提出および内容) 60 %
②提出物　40 %
(提出日時、所定のルールを守らないものは評価しない)
※なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によってペアワークを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業回によって使用する場合がある）

▌教科書

『学修の基礎Ⅰ』(入学年度に購入した教科書)

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：再履修者は、前回の学修経験を振り返りながら取り組むことで、より深い自己理解と実践的な学修計画の構築を目指す。 事前学修 2.0hr：シラバス及び教科書を読み、授業全体の流れを確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：大学での学びの方法①：メールと LMS の活用** 授業内容：大学での学びの準備として、大学の基本ツール(メールと manaba)を使えるようにする。 事前学修 2.0hr：「メールの書き方」について、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：自己を知る①：これまでの自分を整理する(ポートフォリオ)** 授業内容：過去の経験を整理し、自己理解の土台をつくる。 事前学修 2.0hr：e ポートフォリオ・ポートフォリオについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：大学での学びの方法②：大学の仕組みと学修環境を知る** 授業内容：大学の理解を深めるため、大学の制度・施設を理解する。 事前学修 2.0hr：明海大学の大学公式ウェブサイトで、学内の施設について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：自己を知る②：時間の使い方から自分を知る** 授業内容：行動パターンから特性を理解した上で、自分のスケジュール管理を見直す。 事前学修 2.0hr：「スケジュール管理」について、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、スケジュール帳などにこれからの計画を記入する
6回	**授業テーマ：大学での学びの方法③：ノートテイキングの基礎** 授業内容：学修スキル(ノートテイキング)の基礎を身につける。 事前学修 2.0hr：これまでの受講した授業のノートを見直し、良い点と問題点を考える 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：情報整理術　アイディアの発想と情報の整理** 授業内容：大学で必要な思考の 1 つである「発想」とそれを整理する方法を知る。 事前学修 2.0hr：教科書「情報整理術」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：大学での学びの方法④：情報検索の基礎** 授業内容：図書館・Web 検索の基礎を理解する。 事前学修 2.0hr：明海大学メディアセンターについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：大学での学びの方法⑤：学部での学びを理解する** 授業内容：自分の学部の学修内容を理解する。 事前学修 2.0hr：履修ガイドや大学公式ウェブサイトで、自分の学科について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：自己を知る③：マインドマップで自分を可視化する** 授業内容：自分の興味・価値観を広げて捉える。 事前学修 2.5hr：マインドマップについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：自己を知る④：マインドマップから強みを見つける** 授業内容：マインドマップから、自己の強みを抽出し、自分自身の強みを見つける。 事前学修 2.0hr：作成したマインドマップの中から「キーワード」を探す 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：自己を知る⑤：ジェネリックスキルで客観的に理解する** 授業内容：自己評価を客観化し、強み・課題を整理する。 事前学修 2.0hr：ジェネリックスキルについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：学修計画を立てる　e ポートフォリオの記入** 授業内容：自分自身の特性を再確認し、大学生活でどのような自分を創り出すかを考える。 事前学修 2.0hr：教科書「学修計画を立てる」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したポートフォリオを見直し、修正する
14回	**授業テーマ：ロードマップを考える　ロードマップの作成** 授業内容：大学生活でどのような自分を創り出すかを明確に描く。 事前学修 2.0hr：教科書「ロードマップを考える」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したロードマップを見直し、修正する
15回	**授業テーマ：大学での学びを考える　ロードマップ実行のための指針** 授業内容：自分自身の特性を理解し、目標を持って改めて大学生活をスタートさせる。 事前学修 2.0hr：教科書「大学での学びを考える」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したロードマップを見直し、修正する

学修の基礎 I

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利 (よしだ　なるとし)

▌授業の概要

The course aims to support each student to enjoy a meaningful academic life with basic academic skills.
A student creates one's pride as a "young expert in Japanese hospitality".
She or he sharpens one's study skills and clarifies one's vision and mission.
The contents of the lectures may be changed subject to educational circumstances.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：**M1 ◎/M2 ◎/M3 ○**）

一般目標：A student learns basic study skills: reading, listening, writing and speaking.
This course gives each student a more sophisticated understanding of one's personality.
A student also learns the Japanese culture, history, social system, and esprit.
個別目標：Emphasis on group work.
Completing efficient academic presentations.
Spontaneous attitude at classroom discussions and extracurricular studies.

▌履修条件

This course is a compulsory subject for each GMM student.
Every student must actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

Essays, presentations and in-class performance.
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading materials will be specified in class.

▌参考書

Supplementary reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introduction 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
2 回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
3 回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
4 回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
5 回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
6 回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
7 回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
8 回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
9 回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
10 回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class

11回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
12回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
13回	**授業テーマ：Career planning for job hunting 1-1** 授業内容：Understanding the career planning and imagine your goal after the graduation. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
14回	**授業テーマ：Recruitment examinations for job hunting** 授業内容：Understanding the recent recruitment system in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
15回	**授業テーマ：Conclusion** 授業内容：Conclusive session of this course 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review this course

学修の基礎Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：2026 年度入学生のみ履修可能

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**髙橋　眞人**（たかはし　まさと）・**髙橋　亜里沙**（たかはし　ありさ）・**高柳　奈月**（たかやなぎ　なつき）・**富樫　里真**（とがし　りま）・**中村　佑衣**（なかむら　ゆい）・**荷見　美有**（はすみ　みゆう）・**藤本　陽子**（ふじもと　ようこ）

▌授業の概要

広く社会に目を向けると、様々な立場の人、背景の異なる人がいて、相互理解を図るためにコミュニケーションが欠かせないことが分かります。親しい人であっても自分とは異なる他者です。大学生として新たに身につけて欲しいのは、このような自分とは異なる他者と一緒に共同体や社会を作っていくためのコミュニケーション力です。そのために、他者の言ったことや書いたことを正しく論理的に理解する力や、自分の考えや主張を理由や根拠を示して他者に正しく論理的に伝達する力が必要です。この授業では、読解、文章作成、会話などの活動を通して、それらの力を育成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：社会問題に対して自分の意見を持ち、その意見を論理的な文章によって分かりやすく表現したり、他者に正しく理解されるような発表ができる。
入門書レベルの文章を一定の時間内に論理性に注意して正しく読み取ることができる。
大学の教員や職員、インターンシップや就職活動で出会う社会人など、大学生が実際に接する機会が多い目上の人との対面コミュニケーションにおいて適切な会話スタイルで相互理解を図ることができる。

個別目標：支持する理由や根拠を複数あげて、社会問題に対する自分の意見を書くことができる。資料やデータ、論文などの先行研究を正しい引用方法で引用することができる。読解力(文の基本構造を把握する力、指示代名詞・省略された語を把握する力、含意関係・同義文を判定する力、基本的知識と推論により文の意味を理解する力、図やグラフを参照して内容を理解する力、定義を読み合致する具体例を認識する力)を身につける。場面情報、言語情報を正確に把握したうえで、人間関係を保持しつつ自分の伝達意図を伝えることができる。

▌履修条件

期限までに課題の提出をしてください。授業内の活動に積極的に参加してください。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とします。
課題提出(小テスト・事前学修・事後学修・授業内課題・学修のふりかえり）60%、最終レポート 10 %、最終試験 30 %で評価します。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プロセスライティングで文章作成を学ぶ。その中で、ピアレビュー、自己点検、発表を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成にワードを、テーマ決めや主張を支える証拠を探すために Web 検索をし、発表資料作成にパワーポイントを使用する。）

▌教科書

『学生のコミュニケーション・スキルの学び　グローバル社会を生きるためのレッスン』実教出版

▌参考書

必要な時に授業で指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：コミュニケーションとは** 授業内容：本授業の概要についての説明を行う。また、事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：自分の経験から、良いコミュニケーション(文章・会話)には何が必要かを考える。 事後学修 2.0hr：コミュニケーション(文章・会話)について自分の考えを整理し、まとめる。
2回	**授業テーマ：情報を調整する** 授業内容：文章作成では、情報を調整する方法を学ぶ。会話では、感謝の伝え方を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
3回	**授業テーマ：段落の構成を理解する** 授業内容：文章作成では、段落構成について学ぶ。会話では、延期の依頼の伝え方を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第２回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
4回	**授業テーマ：要約する** 授業内容：文章作成では、要約の方法を学ぶ。会話では、書類の提出時の会話を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第３回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
5回	**授業テーマ：文章の構造を理解する** 授業内容：文章作成では、文章の構造を学び、文章の構造が理解できることを目指す。会話では、手順の質問の場面の会話を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第４回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
6回	**授業テーマ：プランニング１(アイディアの抽出と整理)** 授業内容：文章作成では、文章の構想を練るプランニングを学ぶ。会話では、会議の場面で司会の話し方について学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第５回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
7回	**授業テーマ：プランニング２(アイディアの構造化)** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを行う。会話では、遅刻の連絡場面での話し方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第６回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
8回	**授業テーマ：主張を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの検討として、自分とは異なる主張の立場から見る方法を学ぶ。会話では、会議の場面で、自分の意見の適切な述べ方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第７回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。

9回	**授業テーマ：理由を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの主張を支える理由の妥当性を考える。会話では、仕事などの進捗状況を責任者等に報告する際の伝え方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第８回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
10回	**授業テーマ：証拠となる客観的資料を探す** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングを見て、主張を支える理由の証拠となる資料を探す方法を学ぶ。会話では、会議の場面で結論を導くための話し方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第９回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
11回	**授業テーマ：論理的なつながりを検討する** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを見て、主張、理由、証拠となるデータが論理的に適切につながっているかを検討する。会話では、企画について話し合う場面で、建設的な相談の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１０回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
12回	**授業テーマ：原稿を作成する** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングに基づいて、意見文の文章作成を行う。会話では、その場にいない人に対する伝言を残す際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１１回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
13回	**授業テーマ：資料を作成する** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する際の資料を作成する。会話では、就職活動等で自己 PR を述べる際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１２回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
14回	**授業テーマ：発表、コメントをする** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する。また他者の発表を聞いて改善のための建設的なコメントを行う。会話では、就職活動等で志望動機を述べる際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１３回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
15回	**授業テーマ：論理的な思考力・表現力とは** 授業内容：最終試験を行う。コース全体の振りかえりをする。文章作成ではライティングプロセスを振り返り、工夫した点や改善をした点について再度検討を行う。また、会話や読解で学んだことをまとめる。 事前学修 2.0hr：試験の準備を行う。 事後学修 2.0hr：これまでの復習をする。

学修の基礎Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**高柳　奈月**（たかやなぎ　なつき）・**荷見　美有**（はすみ　みゆう）

▌授業の概要

日本語の運用能力の向上をめざし、論理的な思考力、表現力の育成をはかる。また、漢字・語句練習による語彙力の育成、談話完成練習による会話力の育成をはかる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：論理的で分かりやすい文章で意見を述べることができる。
その際に、基本的な漢字・語句を正しく使い、正しい引用方法で先行研究やデータを利用することができる。
短文の文章を正しく読み取ることができる。
また、適切な対面コミュニケーションができる。

個別目標：基本的な漢字・語句について正しく理解、表現できるようになる。
論理的な思考により、伝えたい内容を分かりやすく表現できるようになる。
入門書レベルの文章を読んで大意を把握できるようになる。
場面情報、言語情報を正確に把握したうえで、適切な対面コミュニケーションができるようになる。

▌履修条件

期限までに課題の提出を行うこと。授業内の活動に積極的に参加すること。遅刻や欠席をしないこと。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
課題提出（小テスト・事前学修・事後学修・授業内課題・学修のふりかえり）60%、最終レポート 10 %、期末試験 30 %で評価する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プロセスライティングで文章作成を学ぶ。その中で、ピアレビュー、自己点検、発表を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成にワードを、テーマ決めや主張を支える証拠を探すために Web 検索をし、発表資料作成にパワーポイントを使用する。）

▌教科書

『学生のコミュニケーション・スキルの学び　グローバル社会を生きるためのレッスン』実教出版

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：コミュニケーションとは** 授業内容：本授業の概要についての説明を行う。また、事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：自分の経験から、良いコミュニケーション（文章・会話）には何が必要かを考える。 事後学修 2.0hr：コミュニケーション（文章・会話）について自分の考えを整理し、まとめる。
2回	**授業テーマ：情報を調整する** 授業内容：文章作成では、情報を調整する方法を学ぶ。会話では、感謝の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１回
3回	**授業テーマ：段落の構成を理解する** 授業内容：文章作成では、段落構成について学ぶ。会話では、延期の依頼の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方２を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第２回
4回	**授業テーマ：要約する** 授業内容：文章作成では、要約の方法を学ぶ。会話では、書類の提出時の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の基本の形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第３回
5回	**授業テーマ：文章の構造を理解する** 授業内容：文章作成では、文章の構造を学び、文章の構造が理解できることを目指す。会話では、手順の質問の場面の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の特別な形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第４回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第４回
6回	**授業テーマ：プランニング１（アイディアの抽出と整理）** 授業内容：文章作成では、文章の構想を練るプランニングを学ぶ。会話では、会議の場面で司会の話し方について学ぶ。漢字・語句では、ウチとソトを意識した敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第５回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第５回
7回	**授業テーマ：プランニング２（アイディアの構造化）** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを行う。会話では、遅刻の連絡場面での話し方を学ぶ。漢字・語句では、間違えやすい敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第６回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第６回
8回	**授業テーマ：主張を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの検討として、自分とは異なる主張の立場から見る方法を学ぶ。会話では、会議の場面で、自分の意見の適切な述べ方を学ぶ。漢字・語句では、改まった表現について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第７回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第７回
9回	**授業テーマ：理由を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの主張を支える理由の妥当性を考える。会話では、仕事などの進捗状況を責任者等に報告する際の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、熟語の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第８回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第８回

10回	**授業テーマ：証拠となる客観的資料を探す** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングを見て、主張を支える理由の証拠となる資料を探す方法を学ぶ。会話では、会議の場面で結論を導くための話し方を学ぶ。漢字・語句では、漢字の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第９回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第９回
11回	**授業テーマ：論理的なつながりを検討する** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを見て、主張、理由、証拠となるデータが論理的に適切につながっているかを検討する。会話では、企画について話し合う場面で、建設的な相談の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１０回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１０回
12回	**授業テーマ：原稿を作成する** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングに基づいて、意見文の文章作成を行う。会話では、その場にいない人に対する伝言を残す際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１１回
13回	**授業テーマ：資料を作成する** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する際の資料を作成する。会話では、就職活動等で自己 PR を述べる際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、対義語と誤字訂正を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１２回
14回	**授業テーマ：発表、コメントをする** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する。また他者の発表を聞いて改善のための建設的なコメントを行う。会話では、就職活動等で志望動機を述べる際の話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１３回
15回	**授業テーマ：論理的な思考力・表現力とは** 授業内容：コース全体の振りかえりをする。文章作成ではライティングプロセスを振り返り、工夫した点や改善をした点について再度検討を行う。また、会話や漢字・語句で学んだことをまとめる。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」巻末問題 事後学修 2.0hr：これまでの復習をする。

学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）

開講学科等：日英中経不 HT 保　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**後藤　英樹**（ごとう　ひでき）・**佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）・**高橋　奈佳**（たかはし　なか）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**前田　新太郎**（まえだ　しんたろう）・**渡部　綾子**（わたべ　あやこ）

▌授業の概要

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の導入編として位置付け、新入生がＢＹＯＤの学修環境で学ぶためのスキルの育成をはかる。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

・Microsoft 365 の活用方法を通じて、ＢＹＯＤの学修環境で学ぶための基礎的素養を身につけること

・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること

・データを利活用しながら、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：「データリテラシー」の基礎的素養を身につけ、ICT ツールを用いて情報を分析し、分析結果を表現して伝えるためのスキルを身につける。

個別目標：1. ＢＹＯＤの学習環境で学ぶための基礎的素養を身につける（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）

2. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。

3.Word による報告書の作成、Excel による実データの分析と可視化ができる。

4.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

5. データ分析や可視化に必要な数理的な能力の基礎を身につける。

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。

数理課題は必ず取り組むこと。

Microsoft 365 の Word、Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題（85%）、数理課題（15 %）の合計点で評価する。

なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各自のパソコンを必ず持参する）

▌教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版（2022）（電子テキスト）

ISBN：978-4-908434-76-1

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。

担当教員によって授業方法・進行が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション 1 ／ PC 利用の基礎・Gmail 設定・Microsoft 365、（数理課題なし）** 授業内容：本科目の目的を理解する。また、大学の Gmail 設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。 ＢＹＯＤの学習環境を整備する（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：PC を使って授業内容を復習し、自分で使えるようにする。
2回	**授業テーマ：オリエンテーション 2 ／ウェブポータルシステム・manaba・START、（数理課題なし）** 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、大学で利用している Web ポータルシステム、manaba、START の利用方法を確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：PowerPoint 1（プレゼンテーションの基礎）、数理課題（割合・比）** 授業内容：スライド作成の基本操作を学び、伝わりやすい構成の考え方を身につける。テーマ設定、レイアウト選択、文字と画像の配置、配色の基礎など、プレゼン資料づくりの土台となる操作とデザイン原則を実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：Microsoft365 をインストールする。すぐ使えるように PowerPoint をセットアップする。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
4回	**授業テーマ：PowerPoint 2（効果的なプレゼンテーション）、数理課題（表・集合）** 授業内容：視覚的に訴える資料作成のコツを学ぶ。アニメーションや図解の活用、情報の強弱づけ、話し手の意図を支えるスライド構成を実践。短い発表演習を通して、資料と話し方の一体化を体験する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：PowerPoint の機能について、予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
5回	**授業テーマ：Word 1（報告書作成）、数理課題（場合の数）** 授業内容：基本的な文書作成スキルを身につける。ページ設定、フォントや段落の整え方、箇条書き、表の挿入、ヘッダー・フッターなど、報告書に必須の機能を実践的に学ぶ。整ったレイアウトを作るための基礎操作を確実に習得する。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
6回	**授業テーマ：Word 2（レポート作成の基礎）、数理課題（確率）** 授業内容：レポート形式の文書を題材に、スタイル設定、目次の自動作成、引用と参考文献リスト、図表番号の付与など、より高度な機能を扱う。論理的で読みやすい文書構成を意識し、学術的なレポート作成に必要な Word 操作を体系的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。

7回	**授業テーマ：Excel の基礎①：セル操作、SUM・AVERAGE などの関数、数理課題(図形と空間)** 授業内容：セルの入力・編集・コピー、相対参照など基本操作を学ぶ。SUM・AVERAGE など代表的な関数を使い、簡単な集計表を作成することで Excel の基礎的な仕組みを理解する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
8回	**授業テーマ：Excel の基礎②：表の操作と編集、数理課題(論理・命題)** 授業内容：データの並べ替え、フィルター、書式設定など、表を扱うための基本機能を学ぶ。見やすい表に整える編集方法を実践し、業務で使える表作成スキルを身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
9回	**授業テーマ：Excel の基礎③：グラフと可視化１　グラフの種類と使い分け、数理課題(グラフ 1)** 授業内容：棒・折れ線・円グラフなど主要なグラフの特徴と使い分けを学ぶ。データに適したグラフを選ぶ判断力を養い、基本的なグラフ作成操作を実践する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
10回	**授業テーマ：Excel の基礎④：グラフと可視化２　見やすい資料作成のコツ、数理課題(グラフ 2)** 授業内容：軸設定、色の選び方、強調の仕方など、見やすく誤解のないグラフを作るための編集技法を学ぶ。資料として伝わるグラフに仕上げるポイントを実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
11回	**授業テーマ：Excel の基礎⑤：グラフと可視化３　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 3)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いて作成したグラフを読み取り、特徴や傾向を文章で説明する練習を行う。データの意味を正しく解釈し、簡潔に報告する力を養う。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
12回	**授業テーマ：Excel の基礎⑥：グラフと可視化４　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 4)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いてグラフを作成し、複数グラフの比較、誤解を招く表現の回避、情報量の調整など、より高度な「見せ方」を学ぶ。読み手に配慮した可視化の実践力を高める。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
13回	**授業テーマ：Excel の基礎⑦：簡単な分析１　標準偏差・相関係数、数理課題(相関・回帰)** 授業内容：標準偏差や相関係数の意味を理解し、Excel で計算する方法を学ぶ。公的統計データや実際のデータを用いて、データのばらつきや関係性を読み取り、簡単な分析ができる基礎力を身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。また、数理課題について復習する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
14回	**授業テーマ：Excel の基礎⑧：簡単な分析２　ピボットテーブル・条件付き書式、数理課題(まとめ 1)** 授業内容：大量データを整理・集計するピボットテーブルの基本操作を学ぶ。条件付き書式によるデータの強調も扱い、分析結果を視覚的に示すスキルを習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
15回	**授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化、数理課題(まとめ 2)** 授業内容：ロードマップを記入する。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.5hr：本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。また、数理課題について復習する。

学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**後藤　英樹**（ごとう　ひでき）・**佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）・**高橋　奈佳**（たかはし　なか）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**前田　新太郎**（まえだ　しんたろう）・**渡部　綾子**（わたべ　あやこ）

▌授業の概要

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の発展編として位置付け、前学期のⅢ-a で身につけた基礎的知識をもとに、データ分析や AI を活用するためのスキルを育成する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：データサイエンス・生成 AI に関する知識、情報モラル・セキュリティの知識、「データを読む、説明する、扱う」能力などを踏まえて情報・データの利活用ができる力を身につける。

個別目標：1. 情報社会で必要な判断ができる…個人情報やプライバシーの重要性を理解し、SNS や AI 利用時に適切な判断と行動ができる。(例えば、検索結果の信頼性評価、SNS 情報の真偽判断、データの出典確認、バイアスや操作的可視化の見抜き方など)
2. 生成 AI を目的に応じて使い分けできる…要約・分類・質問応答など、生成 AI の特性を踏まえて適切なプロンプトで活用できる。
3. データを可視化し、読み取りができる…Excel や BI ツールを使い、データを整理・可視化し、指標の意味や傾向を読み取って説明できる。
4. データから課題を発見し、仮説を立てられる…駅カルテなどの実データを分析し、地域や社会の課題を見つけ、根拠ある仮説を設定できる。
5. 分析結果をもとに提案をまとめ、発表できる…データに基づく改善案を資料として構成し、根拠を示しながらわかりやすく発表できる

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。
Microsoft 365 の Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題により評価する。
なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各自のパソコンを必ず持参する）

▌教科書

なし

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。
担当教員によって授業方法・進行が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：情報モラル：個人情報とプライバシー　SNS 事例，データの扱い方，法律との関係** 授業内容：本科目の目的を理解する。 SNS 事例を通して、個人情報の扱い方やプライバシー保護の重要性を理解する。データ流通の仕組みや関連する法律にも触れ、情報社会で必要な判断力とリスク認識を身につける(例えば、検索結果の信頼性評価、SNS 情報の真偽判断、データの出典確認、バイアスや操作的可視化の見抜き方など)。 事前学修 2.0hr：SNS や個人情報に関するニュースを 1 つ調べ、気づきを整理する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだリスクと対策を自分の行動に照らしてまとめる。
2回	**授業テーマ：生成 AI ①：基礎と仕組み　ChatGPT、Copilot など生成 AI の概要、言語モデルの概要** 授業内容：生成 AI の特徴や活用領域を概観し、言語モデルの基本的な仕組みを学ぶ。ChatGPT、Copilot など身近な AI を例に、入力と出力の関係、得意・不得意を理解し、適切な使い方の基礎をつかむ。 事前学修 2.0hr：生成 AI に関する記事を読み、疑問点をメモする。 事後学修 2.5hr：生成 AI の仕組みについて理解した点を短くまとめる。
3回	**授業テーマ：生成 AI ②：活用と体験　実際に使ってみる(要約、分類、質問応答など)** 授業内容：要約・分類・質問応答など複数のタスクを実際に試し、プロンプトの工夫による出力の違いを体験する。自分の関心に沿ったテーマで生成 AI を操作し、適切な使い方を理解することを目的とする。 事前学修 2.0hr：生成 AI で試したい作業(要約・質問など)を考えておく。 事後学修 2.5hr：体験して得た気づきと、活用できそうな場面を整理する。
4回	**授業テーマ：BI ツール(Power BI)体験①：見せ方の工夫と操作体験** 授業内容：BI ツール(Power BI)を用いてデータを可視化し、見せ方による印象の違いを体験する。基本操作を学びながら、グラフや指標の選び方が意思決定に与える影響を理解する。 事前学修 2.0hr：身近なグラフを 1 つ探し、良い点・気になる点を考える。 事後学修 2.5hr：作成した可視化の工夫点と改善点を振り返る。
5回	**授業テーマ：BI ツール(Power BI)体験②：ストーリーテリングと提案づくり** 授業内容：BI ツール(Power BI)を用いてデータから読み取れるストーリーを構築し、提案につなげる演習を行う。可視化と説明の組み合わせを学び、データを根拠にした説得力ある資料作成を体験する。 事前学修 2.0hr：伝えたいテーマを 1 つ選び、理由を整理する。 事後学修 2.5hr：データから導いたストーリーを短く文章化する。
6回	**授業テーマ：駅カルテ①：データの読み取り— 実際の駅データから指標の意味を理解する** 授業内容：実際の駅データを用いて、人口・乗降客数・商業施設などの指標の意味を理解する。データから現状を把握する力を養い、地域分析の基礎を身につける。 事前学修 2.0hr：対象駅の周辺情報を簡単に調べておく。 事後学修 2.5hr：扱った指標の意味と気づいた特徴をまとめる。
7回	**授業テーマ：駅カルテ②：課題発見 — 駅周辺の課題をデータから読み解く** 授業内容：駅周辺の課題をデータから読み解き、仮説を立てる演習を行う。数値の背景を考え、地域の状況を多角的に捉える思考力を育てる。 事前学修 2.0hr：前回のデータを見返し、気になる点を整理する。 事後学修 2.5hr：立てた仮説の根拠と背景を文章化する。

8回	**授業テーマ：駅カルテ③：仮説検証― Excel で分析し、仮説を検証する** 授業内容：Excel を使ってデータを分析し、前回立てた仮説を検証する。分析結果をグループで共有し、解釈の違いや新たな視点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：Excel の基本操作を復習しておく。 事後学修 2.5hr：分析結果と仮説の関係を整理し、次回に向けて課題を明確にする。
9回	**授業テーマ：駅カルテ④：提案づくり ― 改善案を考え、資料にまとめる** 授業内容：分析結果をもとに改善案を考え、資料としてまとめる。根拠と提案を結びつけ、読み手に伝わる構成を意識した資料作成を行う。 事前学修 2.0hr：改善案の方向性を個人で考えておく。 事後学修 2.5hr：資料の構成案を整え、発表準備を進める。
10回	**授業テーマ：駅カルテ⑤：発表とフィードバック　グループ発表と相互評価を実施する。** 授業内容：グループごとに提案を発表し、相互評価を行う。データに基づく説明力やプレゼンテーション力を高め、他者の視点から学びを深める。 事前学修 2.0hr：発表内容を最終確認し、役割分担を明確にする。 事後学修 2.5hr：他グループの良い点を参考に、改善点を振り返る。
11回	**授業テーマ：社会課題とデータ活用①　各学部あるいは学部を横断した課題とデータの関係を考える。** 授業内容：各学部の専門領域に関連する社会課題，あるいは学部を横断した社会課題を取り上げ、データがどのように理解や解決に役立つかを考える。学問とデータ活用の接点を体感する。 事前学修 2.0hr：自分の学部に関係する社会課題を 1 つ調べる。 事後学修 2.5hr：課題とデータの関係について気づいた点を整理する。
12回	**授業テーマ：社会課題とデータ活用②** 授業内容：第 11 回での意思決定に応じて，課題探究を深める。汎用的な内容とする場合は、複利計算などデータを使った意思決定のプロセスを体験する。 事前学修 2.0hr：前回扱った課題の追加情報を調べておく。 事後学修 2.5hr：意思決定にデータがどう役立つかをまとめる。
13回	**授業テーマ：自分の生活とデータ①　課題とデータの可視化** 授業内容：自分の生活に関するデータ(時間、行動、支出など)を収集し、可視化する。日常のパターンを客観的に捉え、気づきを得るための基礎をつくる。 事前学修 2.0hr：1 日の行動や時間の使い方を簡単に記録する。 事後学修 2.5hr：可視化したデータから得た気づきを整理する。
14回	**授業テーマ：自分の生活とデータ②　データから自分の行動を振り返る。メタ認知活動** 授業内容：可視化したデータをもとに、自分の行動や習慣を振り返る。改善点や新たな目標を考え、データを使った自己理解とメタ認知を深める。 事前学修 2.0hr：前回の可視化データを見返し、気になる点を考える。 事後学修 2.5hr：行動改善のアイデアや今後の目標をまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめと展望　　学びの言語化，今後の学びへの接続** 授業内容：これまでの学びを言語化し、データ活用・AI 活用の可能性を再確認する。今後の学びやキャリアへのつながりを考え、学修成果を整理して締めくくる。 事前学修 2.5hr：これまでの学びで印象に残った内容を振り返る。 事後学修 2.0hr：今後の学びに活かしたい点を言語化し、提出する。

学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）

開講学科等：日英中経不 HT 保　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後　｜　備考：再履修クラス

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）

▌授業の概要

【再履修クラス】数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の導入編として位置付け、新入生がＢＹＯＤの学修環境で学ぶためのスキルの育成をはかる。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

・Microsoft 365 の活用方法を通じて、ＢＹＯＤの学修環境で学ぶための基礎的素養を身につけること

・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること

・データを利活用しながら、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：「データリテラシー」の基礎的素養を身につけ、ICT ツールを用いて情報を分析し、分析結果を表現して伝えるためのスキルを身につける。

個別目標：1. ＢＹＯＤの学習環境で学ぶための基礎的素養を身につける（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）

2. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。

3.Word による報告書の作成、Excel による実データの分析と可視化ができる。

4.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

5. データ分析や可視化に必要な数理的な能力の基礎を身につける。

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。

数理課題は必ず取り組むこと。

Microsoft 365 の Word、Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題（85%）、数理課題（15 %）の合計点で評価する。

なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各自のパソコンを必ず持参する）

▌教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版（2022）（電子テキスト）

ISBN：978-4-908434-76-1

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。

担当教員によって授業方法・進行が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション 1 ／ PC 利用の基礎・Gmail 設定・Microsoft 365、（数理課題なし）** 授業内容：本科目の目的を理解する。また、大学の Gmail 設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。 ＢＹＯＤの学習環境を整備する（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：PC を使って授業内容を復習し、自分で使えるようにする。
2回	**授業テーマ：オリエンテーション 2 ／ウェブポータルシステム・manaba・START、（数理課題なし）** 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、大学で利用している Web ポータルシステム、manaba、START の利用方法を確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：PowerPoint 1（プレゼンテーションの基礎）、数理課題（割合・比）** 授業内容：スライド作成の基本操作を学び、伝わりやすい構成の考え方を身につける。テーマ設定、レイアウト選択、文字と画像の配置、配色の基礎など、プレゼン資料づくりの土台となる操作とデザイン原則を実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：Microsoft365 をインストールする。すぐ使えるように PowerPoint をセットアップする。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
4回	**授業テーマ：PowerPoint 2（効果的なプレゼンテーション）、数理課題（表・集合）** 授業内容：視覚的に訴える資料作成のコツを学ぶ。アニメーションや図解の活用、情報の強弱づけ、話し手の意図を支えるスライド構成を実践。短い発表演習を通して、資料と話し方の一体化を体験する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：PowerPoint の機能について、予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
5回	**授業テーマ：Word 1（報告書作成）、数理課題（場合の数）** 授業内容：基本的な文書作成スキルを身につける。ページ設定、フォントや段落の整え方、箇条書き、表の挿入、ヘッダー・フッターなど、報告書に必須の機能を実践的に学ぶ。整ったレイアウトを作るための基礎操作を確実に習得する。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
6回	**授業テーマ：Word 2（レポート作成の基礎）、数理課題（確率）** 授業内容：レポート形式の文書を題材に、スタイル設定、目次の自動作成、引用と参考文献リスト、図表番号の付与など、より高度な機能を扱う。論理的で読みやすい文書構成を意識し、学術的なレポート作成に必要な Word 操作を体系的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。

7回	**授業テーマ：Excel の基礎①：セル操作、SUM・AVERAGE などの関数、数理課題(図形と空間)** 授業内容：セルの入力・編集・コピー、相対参照など基本操作を学ぶ。SUM・AVERAGE など代表的な関数を使い、簡単な集計表を作成することで Excel の基礎的な仕組みを理解する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
8回	**授業テーマ：Excel の基礎②：表の操作と編集、数理課題(論理・命題)** 授業内容：データの並べ替え、フィルター、書式設定など、表を扱うための基本機能を学ぶ。見やすい表に整える編集方法を実践し、業務で使える表作成スキルを身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
9回	**授業テーマ：Excel の基礎③：グラフと可視化１　グラフの種類と使い分け、数理課題(グラフ 1)** 授業内容：棒・折れ線・円グラフなど主要なグラフの特徴と使い分けを学ぶ。データに適したグラフを選ぶ判断力を養い、基本的なグラフ作成操作を実践する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
10回	**授業テーマ：Excel の基礎④：グラフと可視化２　見やすい資料作成のコツ、数理課題(グラフ 2)** 授業内容：軸設定、色の選び方、強調の仕方など、見やすく誤解のないグラフを作るための編集技法を学ぶ。資料として伝わるグラフに仕上げるポイントを実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
11回	**授業テーマ：Excel の基礎⑤：グラフと可視化３　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 3)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いて作成したグラフを読み取り、特徴や傾向を文章で説明する練習を行う。データの意味を正しく解釈し、簡潔に報告する力を養う。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
12回	**授業テーマ：Excel の基礎⑥：グラフと可視化４　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 4)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いてグラフを作成し、複数グラフの比較、誤解を招く表現の回避、情報量の調整など、より高度な「見せ方」を学ぶ。読み手に配慮した可視化の実践力を高める。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
13回	**授業テーマ：Excel の基礎⑦：簡単な分析１　標準偏差・相関係数、数理課題(相関・回帰)** 授業内容：標準偏差や相関係数の意味を理解し、Excel で計算する方法を学ぶ。公的統計データや実際のデータを用いて、データのばらつきや関係性を読み取り、簡単な分析ができる基礎力を身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。また、数理課題について復習する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
14回	**授業テーマ：Excel の基礎⑧：簡単な分析２　ピボットテーブル・条件付き書式、数理課題(まとめ 1)** 授業内容：大量データを整理・集計するピボットテーブルの基本操作を学ぶ。条件付き書式によるデータの強調も扱い、分析結果を視覚的に示すスキルを習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
15回	**授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化、数理課題(まとめ 2)** 授業内容：ロードマップを記入する。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.5hr：本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。また、数理課題について復習する。

学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）

▌授業の概要

【再履修クラス】生成 AI の登場により、データサイエンスの分野も大きく変革を遂げようとしている。本学の学生として身につけるべき基礎教養として、Society5.0 社会・ビッグデータ・IoT・AI・ロボットなどについて学ぶ。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

・生成 AI の利活用とその前提として必要な情報モラルについて理解すること
・データの利活用に関わる安全対策、情報モラルについて理解すること
・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること
・データの利活用し、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：データサイエンス・生成 AI に関する知識、情報モラル・セキュリティの知識、「データを読む、説明する、扱う」能力などを踏まえて情報・データの利活用ができるようになること。

個別目標：1. データの利活用、AI(生成 AI を含む) 利活用の役割と事例を具体的に説明することができる。
2. データ利活用の倫理、セキュリティについて的確に説明することができる。
3. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。
4.Excel による実データの分析と可視化ができる。
5.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。
Microsoft の Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題で評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （情報処理演習室を利用する）

▌教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版（2022）
ISBN：978-4-908434-76-1

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。
担当教員によって授業方法・進行がことなります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：講義の概要と進め方・インターネットの利活用** 授業内容：学修の基礎Ⅲ-b での授業の目的を理解する。また、大学のメール設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。合わせて、大学で利用している LMS である「manaba」の利用方法を確認する。タイピング練習方法を確認する。 現在進行中の社会変化(第４次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：シラバスおよび担当教員の指示内容を確認する。
2回	**授業テーマ：Windows の基礎：Windows の概要とウィンドウやファイルなどの操作方法・データサイエンスの役割** 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、データや AI の活用によって起きている社会の環境の変化について確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
3回	**授業テーマ：情報モラルと情報セキュリティ：データを扱う上での留意事項** 授業内容：データ・生成 AI を扱う際の留意事項や、それらに対する取り組みについて学修する。また、データの中には機密情報や個人情報も多く含まれていることから、データを守るための原則と方法を確認する。 事前学修 2.0hr：データの扱いについて調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：ビッグデータと生成 AI(1)：ビッグデータと生成 AI の活用領域と利活用のための技術** 授業内容：データ・生成 AI が利活用される領域・分野は広がりを見せている。そこで、データ・生成 AI が利活用される領域について学修する。また、生成 AI などを利活用する上で必要な留意点について学ぶ。 収集したデータを活用するために、データを解析する方法や技術について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビッグデータ・生成 AI の活用事例を調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：ビッグデータと生成 AI(2)：ビッグデータと AI の課題解決への活用場面と最新動向** 授業内容：人がどのようにデータ・生成 AI を利活用しているのかについて具体的な例を確認し、利活用の方法や可能性について学修する。また、データ・生成 AI が活用されている最新のビジネスモデルや用語、技術を確認する。中でも生成 AI 等を活用した新しいビジネスモデル (シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど) などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビッグデータ・生成 AI の活用したビジネスモデルを調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。

6回	**授業テーマ：Excel（1）：Excel の基本** 授業内容：ビッグデータ、IoT 、生成 AI などによる社会の変化とデータ量の増加、計算機の処理性能の向上、AI の最新技術の活用例などを学び、データ解析と推論や流通システム、金融等におけるデータ・生成 AI 利活用事例などについて学ぶ。 データ分析には Excel を用いる。その前段階として、Excel の基本であるデータ入力、セル操作、ワークシート操作・計算式について説明し、実際に操作し、理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：Excel（2）：相対参照と絶対参照・基本の関数** 授業内容：Excel でデータを分析するときに利用する「関数」と、セル参照を使った計算方法について演習形式で説明し、実際に操作し、理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：Excel（3）：「データを説明する、扱う」方法（顧客分析）** 授業内容：データ分析の練習として、データの集計（和、平均、代表値を計算したのち、グラフを作成する。グラフ作成では、優れた可視化と不適切なグラフ表現があるため、これについて理解し、「データを説明する、扱う」ための演習を実施する。。 事前学修 2.0hr：データの種類について調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
9回	**授業テーマ：Excel（4）：「データを読む」方法・タイピング試験（仕入れ体験）** 授業内容：データの種類（量的変数、質的変数）・データの分布 (ヒストグラム)、代表値・代表値の性質の違い・データのばらつき、データに含まれる誤差の扱い、相関関係・相関係数について理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。これまでの課題の修正をする。
10回	**授業テーマ：Excel（5）：データを用いたデータ分析（公的統計データ）** 授業内容：POS データや公的統計データから実践的なデータ分析の演習を行う。タイピング試験を実施する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：Excel（6）：データを用いたデータ分析（公的統計データ）** 授業内容：POS データや公的統計データを用いて、実践的なデータの集計の演習を行う。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：Excel（7）：実データを用いたデータの可視化と考察（公的統計データ）** 授業内容：第 11 回授業で集計したデータを可視化し、これまで学修した内容を踏まえてデータ分析の結果を考察する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：PowerPoint（1）：プレゼンテーションの概要、スライド作成・編集** 授業内容：学修の基礎 I に関連させ、明海大学独自の問題解決メソッドによりながら、プレゼンテーションで利用する PowerPoint の基本的な操作を学修したのち、スライドのレイアウト、わかりやすいプレゼンの展開、色の表現方法などについて理解する。 その際、建学の精神との関連に留意する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：PowerPoint（2）：プレゼンテーションの適切な準備** 授業内容：第 15 回授業で発表するためのスライドを作成する。スライド作成には、第 13 回の授業で学修した内容を活用する。 なお、スライド作成にあたっては、建学の精神との関連に留意する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。発表練習をする。
15回	**授業テーマ：PowerPoint（3）：プレゼンテーションの適切な実行・まとめ：到達度の自己評価** 授業内容：第 14 回で作成したプレゼンテーションをグループで発表し、相互評価を行う。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。 事前学修 2.5hr：発表練習をする。本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。

人間存在の課題

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

現代は様々な物質的発達の影で人間のあり方が問われている時代であると言うことができる。なぜなら「生きるために物質的に豊かになる」という本来の手段と目的が逆転し、「物質的に豊かになるために生きる」という状況に、人間性が押しつぶされるような状況が生じているからである。本講義では、西洋哲学・思想を中心に学習しながら、自己と世界のあり方を反省し、生きるの意味を自ら問いただすために必要な事項について講義する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：　合理的思考力形成のため西洋哲学の基礎的思考をたどり、世界と人間に対してどこまでも論理的に考える思考力を身に着ける。さらに実存思想に属する哲学を学ぶことで自身が置かれた環境の中で自発的に考えることの大切さを学び、主体的に思考して自分自身を創造するという視点を獲得する。

個別目標：（1）西洋哲学の基礎的術語や諸命題について説明することができる。
（2）実存思想に属する哲学者の思想の特徴を説明することができる。
（3）過去の哲学的諸問題を論理的に現代社会に当てはめて考えることができる。

▌履修条件

主体的に自己のあり方、世界のあり方を考え、哲学思想を学ぶ意志のある学生であること。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

指定しない。プリント資料は教室で配布する。

▌参考書

指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：西洋哲学思想とは何か　導入** 授業内容：単位取得の条件の確認、および西洋哲学の学問範囲、分類などの全体を概括する。 事前学修 2.0hr：哲学と呼ばれている学問について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容の確認と自身が調べた内容の違いをノート学習する
2回	**授業テーマ：哲学入門　認識論１** 授業内容：真理判断に用いられる基準について学ぶ。具体的には対応説、整合説、有用説、合意説の 4 つであり、それぞれの該当する真理概念について検討する。 事前学修 2.0hr：「真理」と呼ばれるものの成立条件は何かを考える 事後学修 2.0hr：「真理」に関する様々な立場を説明できるようにノート整理を行う
3回	**授業テーマ：哲学入門　認識論２** 授業内容：認識の起源論として合理論と経験論、そしてカントの認識論雄それぞれについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：「物を知る」条件とは何かを考える 事後学修 2.0hr：経験論の限界について自分なりにまとめる
4回	**授業テーマ：哲学入門　認識論３** 授業内容：認識の妥当範囲について学ぶ。また実在論の中から、哲学の歴史的論争となった「普遍論争」について検討する。 事前学修 2.0hr：「何を知る」のかその対象となる範囲について考える 事後学修 2.0hr：実在論と観念論の違いについて自分なりに答えられるようにしておく
5回	**授業テーマ：哲学入門　存在論１　アリストテレスのカテゴリー論** 授業内容：アリストテレスの『形而上学』を中心として、「存在」の条件について検討する。 事前学修 2.0hr：アリストテレスの存在論について調べておく 事後学修 2.0hr：カテゴリーについて全て答えられるように自主学習する
6回	**授業テーマ：哲学入門　存在論２　存在の量について** 授業内容：一元論や多元論といった存在の量的差異の検討を行う。また、二元論から生じる「機会原因論」についても取り上げて検討する。 事前学修 2.0hr：一元論と多元論についてあらかじめ事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：種々の立場の主張の問題点をノート学習で自分なりに整理する
7回	**授業テーマ：哲学入門　存在論３　存在の質について** 授業内容：存在の質についても門愛代から唯物論とその批判、そして観念論と唯心論について検討する。 事前学修 2.0hr：唯物論と唯心論について事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：種々の立場の主張の問題点をノート学習で自分なりに整理する
8回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：ここまで講義で扱ってきた西洋哲学の基本的な考えについて要点をまとめ、中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで講義で扱った認識論と存在論雄範囲について自分で復習しておく 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する
9回	**授業テーマ：人間存在の学としての実存思想…サルトルの問題提起** 授業内容：実存思想、実存主義について、これまで学んだ認識論的、存在論的な前提からどの点で変更がなされたか、サルトルの思想を軸に検討する。 事前学修 2.0hr：実存思想について事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む

10回	**授業テーマ：パスカルの思想** 授業内容：パスカルの『パンセ』を軸に、実存思想の先駆けとなったモラリストの思想的特徴を紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：B. パスカルについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
11回	**授業テーマ：ニーチェの思想** 授業内容：「神は死んだ」に代表される「ニヒリズム」の思想とそこから生じる実存的な価値世界について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：F. ニーチェについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
12回	**授業テーマ：キェルケゴールの思想** 授業内容：実存思想の代表的人物であるキェルケゴールの思想について「不安」「絶望」の概念を軸に紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：S. キェルケゴールについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
13回	**授業テーマ：ヤスパースの思想** 授業内容：ヤスパースの「実存哲学」を軸に、「限界状況」などよく知られているヤスパースの思想について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：K. ヤスパースについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
14回	**授業テーマ：ハイデガーの思想** 授業内容：ハイデガーの主張する「死に臨む存在」としての人間のあり方を「頽落」いているとされる「世人」のあり方から検討する。 事前学修 2.0hr：M. ハイデガーについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
15回	**授業テーマ：まとめと平常テスト** 授業内容：実存思想、実存主義の思想について要点をまとめ、期末テストを平常テストで実施する。 事前学修 2.0hr：１４回までの講義で習ったことをノート整理して学習する 事後学修 2.0hr：講義全体から人間存在のあるべき姿について考え、自分なりにまとめる。

社会生活と倫理

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

今日、価値観が多様化し、「善」について確固とした意見を持つことが困難になってきている。しかし、そうした状況にあっても我々は生きている限り「どのように生きるべきか」考え、自ら「よい人生」を選びとらなければならない。成熟した人格を持つ個人として社会生活をよりよく生きるため、本講義では西洋倫理学で用いられる概念を講じ、複雑な現代社会にあっても「よく生きること」へのヒントを提示したいと考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：　今日の社会で発生する倫理的諸問題を西洋倫理学の基礎的諸議論から合理的に整理し、自分と社会の人々が「よく生きること」を可能とするために何が必要なのかを自身で考えることができる。

個別目標：(1)倫理学の問題領域についての基礎知識を身に付け、説明することができる。
(2)「良心」について複数の視点から説明することができる。
(3)「他者」認識について複数の視点から説明することができる。
(4)「徳」について現代的意義を踏まえながら説明することができる。
(5)「幸福」について個人的「幸福」と社会的「幸福」の違いと関係性を説明することができる。

▌履修条件

主体的に善と悪を考え、倫理思想を学ぶ意志のある学生であること。講義時のノート作成に加え、日々の生活に対する洞察と反省を必要とするので、積極的に「よく生きること」について考える学生が望ましい。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教室でプリントした講義資料を配布する。

▌参考書

指定しない

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：倫理思想への導入…「よさ」と「よい人生」について** 授業内容：単位取得の条件の確認、および西洋倫理学の対象、範囲、分類などの全体を概括する。 事前学修 2.0hr：「倫理的」と形容される事件、事故、事象について考えておく 事後学修 2.0hr：講義で扱った事例と身の回りのことを照らしてノートを整理する
2回	**授業テーマ：良心について(1)…現象としての良心の分析** 授業内容：「良心」の働きを概括し、東洋思想と西洋思想に由来する概念としての「良心」の検討する。 事前学修 2.0hr：「良心」と呼ばれるものについて自分なりに考えておく 事後学修 2.0hr：講義で習った術語をノートの整理を通して行う
3回	**授業テーマ：良心について(2)…良心の働き方の諸相** 授業内容：石川文康の『良心論』に基づき、「共知」の構造と法則性を検討する。 事前学修 2.0hr：「良心」の働き方について、自身の経験を通して考えておく 事後学修 2.0hr：良心のあり方、働きの法則について復習する
4回	**授業テーマ：良心について(3)…良心を中心にした倫理思想について** 授業内容：良心を中心にしたデカルトとカントの倫理思想について概括する。 事前学修 2.0hr：先週まで学んだことを整理し、良心を巡る議論の問題点を考えておく 事後学修 2.0hr：デカルトとカントの倫理思想についてまとめておく
5回	**授業テーマ：他者について(1)…他者問題の諸相について** 授業内容：「他者認識」にまつわる問題性と他者の把握についての方法論の整理を行う。 事前学修 2.0hr：他者の存在について、自分の人間関係の諸相を反省しておく 事後学修 2.0hr：他者問題について学んだ術語についてノート整理を通して行う
6回	**授業テーマ：他者について(2)…「人格」の要件と「同感」について** 授業内容：一般的な「人格」概念として 4 つのポイントを紹介し、「感情移入」理論とヒュームとスミスの「同感」に基づく道徳感覚理論を紹介、検討する。 事前学修 2.0hr：「人格」存在の必要要件を自分なりに列挙してみる 事後学修 2.0hr：「人格」存在と「同感」について学んだことを自分の生活に当てはめて検討する
7回	**授業テーマ：他者について(3)…「関係」概念にもとづく他者理解について** 授業内容：自我と他者の「関係」概念に注目したブーバーとレヴィナスの「間主観性」理論を紹介、検討する。 事前学修 2.0hr：抽象的な他者と具体的他者の違いについて自分なりに整理する 事後学修 2.0hr：ブーバーとレヴィナスの思想について自分の考えをまとめておく
8回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：「良心」と「他者」概念を中心に、これまで学習した理論のまとめと習熟度を測る中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで講義で扱った良心と他者の範囲を自分なりにまとめておく 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する
9回	**授業テーマ：徳について(1)…徳倫理学の歴史と諸相について** 授業内容：「徳」概念の基本をおさえ、東洋思想上の「徳」と「卓越性」を指す西洋的「徳」について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：「徳」と呼ばれる語について自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：社会に望まれる人間諸性質の共通点についてまとめておく

10回	**授業テーマ：徳について（2）…具体的な徳目の理解** 授業内容：具体的な「徳目」を東洋思想と西洋思想、そして我が国の古典的な「徳目」を挙げて検討する。 事前学修 2.0hr：「徳」に数え入れるものが何かを具体的に考えておく 事後学修 2.0hr：講義で扱われた様々な徳目を整理し、現代日本の徳目を自分なりにまとめる
11回	**授業テーマ：徳について（3）…ギリシアの徳倫理学について** 授業内容：ソクラテス、プラトン、アリストテレスの「徳倫理学」について、紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：ソクラテス、プラトン、アリストテレスについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：徳倫理学の特徴についてノートを整理し、自身が身についている道徳観との差をまとめる
12回	**授業テーマ：幸福について（1）…幸福の定義とその諸相** 授業内容：前回のアリストテレスの主張から「幸福主義」の倫理学を紹介し、「快楽主義」との違いを明示したうえで、「快楽主義」について紹介する。 事前学修 2.0hr：「幸福」と呼ばれる事項について公共概念と合わせて考えておく 事後学修 2.0hr：「幸福」中身について自身の定義をはっきりさせておく
13回	**授業テーマ：幸福について（2）…個人の快楽主義** 授業内容：キュレネ派の倫理思想からエピクロス派の独自の倫理まで個人を軸にした「快楽主義」の展開を概括する。 事前学修 2.0hr：個人を軸にした幸福追求にまつわる問題を検討しておく 事後学修 2.0hr：ヘゲシアスの「識見」について、自分ならどのようなものが当てはまるかを考えておく
14回	**授業テーマ：幸福について（3）…公共の福祉と功利主義** 授業内容：「功利主義」を中心に社会規模で考えられる「快楽主義」について、その問題を含めて検討する。 事前学修 2.0hr：個人の幸福追求の限界について考えておく 事後学修 2.0hr：「社会の幸福」という概念について功利主義の主張を吟味しておく
15回	**授業テーマ：まとめと平常テスト** 授業内容：「徳倫理学」と「功利主義」を軸にした倫理思想の特徴点をまとめ、期末テストを平常テストで実施する。 事前学修 2.0hr：テストに備え、これまで学習したないようについてまとめておく 事後学修 2.0hr：テスト後に、自身の解答から社会生活と倫理の全体像を構築する

文学の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

海外でも高く評価されるノーベル賞作家・川端康成について学ぶ。日本人で初めてノーベル文学賞を受賞できたのはなぜなのか。孤児としての生い立ちや、数々の仰天エピソードも交えながら、作家像を知る。また、代表作『伊豆の踊子』を、映画を理解の補助として、映画→小説→映画→小説の順に読み進め、松本清張の短編小説と比較しながら、川端の名作がいかに読み継がれていくのか考えていく。その他、短編もいくつか取り上げ、それまでの文学にない、独特の擬人法や、映画的表現を学ぶことで、今なお新しさを失わない新感覚派小説の面白さを味わい、川端作品の幅広さを知る。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：日本文学や日本文化の知識を学び、それを生かすことができるようになる。日本を代表する作家について、簡単な言葉で他者にも説明できるようになる。川端康成という作家を通して、日本の文学史の一端を学ぶ。

個別目標：原作をより深く理解し、名作が読み継がれていく過程を知る。実際の作家の生い立ちと、作中に描かれた事柄を区別しつつ、小説ならではの構造を読み解くことが出来るようにする。

▌履修条件

くわしくは授業で指示する。なお、この授業で扱う松本清張は『日本語と日本文化B』(担当：川勝麻里)でも扱っているので、あわせて受講すると理解が深まる。

▌評価基準・方法

授業内の作業 40%、試験 60%の結果に基づき総合的に評価する。授業内の作業にはリアクションペーパーの提出が含まれる。
課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあればよい。）

▌教科書

詳細は授業内で指示する。

▌参考書

授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：授業のガイダンスと、川端康成についての簡単な紹介。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 2.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の学習計画を立てる。
2回	**授業テーマ：川端康成について(生い立ち、ユニークな人物像、文壇状況、交友関係など)** 授業内容：孤児の生い立ち、無口、動物好き、読書の名人、文壇政治家、ゴーストライターによる代作、そして、川端を取り巻く人間関係について説明する。まずは作家に興味を持ち、これから読んでいく小説にさらに興味を持って取り組めるようにする。 事前学修 2.0hr：川端康成の年譜事項について見ておく。 事後学修 2.0hr：プリントや授業の話をまとめておく。
3回	**授業テーマ：川端康成と『伊豆の踊子』：実在モデルと小説の違い** 授業内容：『伊豆の踊子』のモデルとなった少女とその兄の実際の姿は、小説にえがかれている姿とは、ことなっている。そこで、その違いを読み解きながら、小説では何が描かれているのかを考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：モデルと実像の違いについて理解する。
4回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(１)旧制高等学校と踊り子について** 授業内容：『伊豆の踊子』の主人公の学生は、エリート学生であり、踊り子たちのような社会的に差別されている。そうした社会の中での違いをふまえて、小説を読んでいく。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：差別される踊り子とエリート学生主人公の格差を理解する。
5回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(２)主人公の金銭感覚について** 授業内容：主人公は茶屋で大金を支払っているが、それが当時の日本で、どれくらいの高額だったのか、同時代の資料から考える。また、そうした多くのお金を払ったのはなぜなのかを、読み解く。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を音読できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を箇条書きにしてまとめておく。
6回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(３)踊り子への差別について** 授業内容：踊り子たちが、どのような差別を受けているのか考える。小説を読む補助として、映画の DVD も視聴。 事前学修 2.0hr：小説を細かいところまで理解できるようにする。 事後学修 2.0hr：学習内容を箇条書きにしてまとめておく。
7回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(４)踊子のモデルと小説の違い** 授業内容：モデルと小説の違いを理解し、純文学として、この小説がどのように理想的につくられているのかを考える。 小説は現実をそのまま描いているわけではないので、その点について考える。 事前学修 2.0hr：『伊豆の踊子』を再度、読んでくる。 事後学修 2.0hr：モデルと実像の違いについて理解する。
8回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(５)孤児根性について** 授業内容：孤児根性を持って伊豆の旅に出てきた主人公は、孤児であることに必要以上にこだわっていた気持ちを捨てて、素直に自分と向き合うことができるようになる。孤児根性から癒されていく心の動きについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：孤児根性という言葉の意味を理解し、小説内でそれが解消されていく様子を理解する。
9回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(６)風景描写について** 授業内容：景色と主人公の感情が、どのように連動してうごいているのかを考える。 事前学修 2.0hr：再度、『伊豆の踊子』全体を読んでくる。 事後学修 2.0hr：主人公が孤児根性から癒されていく過程を、風景と結びつけて理解する。

10回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(7)リメイク小説：松本清張『天城越え』の風景描写** 授業内容：『天城越え』は『伊豆の踊子』を意識しながら書かれた小説なので、2作品を比べながら、風景描写を読んでいく。 同じ伊豆半島を舞台とし、同じ大正15年が背景となっているにもかかわらず、風景の描き方がちがっていることがわかる。主人公の心の変化と風景には関係があるということを学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『天城越え』が『伊豆の踊子』をどのように意識して書かれたか共通点を理解する。
11回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(8)リメイク小説：松本清張『天城越え』の金銭感覚** 授業内容：2つの小説を比較しながら、金銭感覚の違いが、純文学かミステリーかで、異なることに注目して、読み解く。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：金銭感覚その他、『天城越え』と『伊豆の踊子』の正反対な部分を理解し、作品を深く学ぶ。
12回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(9)リメイク小説：松本清張『天城越え』の心理的動機** 授業内容：松本清張が、川端康成をのりこえようとして、名作『伊豆の踊子』に対して、『天城越え』を執筆したということについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『天城越え』の犯行動機を理解し、小説全体の読解をまとめる。
13回	**授業テーマ：もう1つの『伊豆の踊子』を読む―西河克己の2つめの『伊豆の踊子』(吉永小百合版)** 授業内容：授業前半では、DVD で西河克己監督の映画「伊豆の踊子」(山口百恵版) を見たが、後半からは、この監督がまったく同じタイトルで、別の女優をつかって撮影した映画「伊豆の踊子」(吉永小百合版) を見ていく。 事前学修 2.0hr：西河克己の『伊豆の踊子』(山口百恵版)を復習しておく。 事後学修 2.0hr：踊り子一行に対する差別について理解する。
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：これまでのプリントをまとめておく。
15回	**授業テーマ：試験** 授業内容：試験。 事前学修 2.0hr：試験に備えた学習。 事後学修 2.0hr：試験問題の不明点の復習。

文学の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

森　晴彦（もり　はるひこ）

▌授業の概要

文学は国内・外を通じ多様な形で存在し、研究されているが、本授業では身近にある広告等の表現技巧とその源泉を古典文学に求め、そこから文学的表現の世界に分け入り、本文批評や文学研究の諸方法を俯瞰した上で、物語の話型を学び、それがドラマにまで通底する点を見たい。童話の改変・分析の問題に触れ、次に引用の美学を確認、さらにリアリティ獲得の方法を、歴史小説や自然主義、私小説と非私小説に見、作品生成の背景や成立の場を考える。対立する作家論・テクスト論の方法を自在に用いて作品を追究、言語・思想・社会の影響下に織りなされる文学に言及する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：(1)広告表現のしくみ、物語の話型・しくみ、創作過程のしくみ、など「文学のしくみ (構造)」を知ることができる
　　(2)文学の果たす機能や役割を説明できる
個別目標：(1)文学作品について説明できる
　　(2)著名な作品・作家について説明できる

▌履修条件

特になし。
※第 1 回から出席・学修支援システム manaba を使用できるスマホを含む電子機器を持参してください。

▌評価基準・方法

定期試験 60 %、課題として前半 7 回後に manaba から提出する学修内容振り返りシート（前半まとめ）30%、授業内における参加姿勢及び発言等 10 % 及び到達目標・一般目標の達成度に基づき、総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等の提出やフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業で毎回プリントを配布する。

▌参考書

必要に応じて授業内で掲示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：広告言語の構造〜身近にある表現技巧の源泉** 授業内容：第 1 回は、広告言語と呼ばれるコマーシャルのコピーについてです。コマーシャルの言葉の使い方はレトリックと呼ばれる技巧が施されています。そのため、その使い方を含めてポスターのコピーや商品名のネーミングなども含め、日本古典文学の技法が活用されています。そのあたりを紐解いていきます。　※受講人数によって〈授業を受けるためのガイダンス〉の説明が長くなった場合、第 1 回内容を第 2 回まで延長する場合あります。承知おきください。 事前学修 2.0hr：身近にある CM で言語的技法と思うものを 1 つピックアップしておく。 事後学修 2.0hr：本時を踏まえ、技法的な CM を探してみる。
2回	**授業テーマ：文学作品の生成と本文批評** 授業内容：第 2 回は、文学作品の生成と本文批評（ほんもんひひょう）です。初めての用語でしょうから丁寧に解説します。作者自身で書きかえる場合もあれば、時代を経て作品が改変されてしまう場合もあります。それを文献学や本文批評によって、より古い形はどのようなものだったのか、が探索できるわけです。皆さんの知る著名な作品の結末が違うなど例に見ていきます。 事前学修 2.0hr：書誌学・文献学について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを再読する。
3回	**授業テーマ：物語の生成〜竹取物語を例に** 授業内容：第 3 回は、日本で最古の物語 (900 年頃か) といわれる『竹取物語』を例にして、作品の生成過程を追うことで物語の構造 (しくみ) を学びます。同時に、第 2 回の本文批評を用いて、「思想の作品への影響」についても考えてみます。 事前学修 2.0hr：竹取物語のストーリーについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを読んでおく。
4回	**授業テーマ：物語の変容〜グリム童話初版から第 7 版に至る改変** 授業内容：第 4 回は、皆さんが「知っている」『グリム童話』を取り上げ、皆さんが「知らない」『グリム童話』の元の姿をお見せします。今回も第 2 回の本文批評を用いて、「作品の原初の形」(最初の姿、元の姿) を学びます。私たちの読んだテキストは物語が変容したものであることが判ります。 事前学修 2.0hr：グリム童話について簡潔に調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリント（明治時代刊行のシンデレラ）を読む。
5回	**授業テーマ：童話分析の諸問題〜歴史社会・神話解釈・精神分析の問題点** 授業内容：第 5 回は、前回で読んだ『グリム童話』の作品や、読んではいませんが皆さんが知っている『グリム童話』を取り上げ、テキストの変容（本文批評／テキストクリティーク）をないがしろにすると分析も変わってしまう例を、歴史社会・神話解釈・精神分析の各方法と問題点を見ていきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のストーリーを確認してくる。 事後学修 2.0hr：本時で扱った方法を整理しておく。
6回	**授業テーマ：物語の構造〜プロップの 31 機能を中心に現代に及ぶ** 授業内容：今回は、「話型学」という、物語や小説の、「話しの骨格」について学びます。話型とは服を脱がせれば人間の骨格は同じです。服によって見え方が違います。水戸黄門も浅見光彦も、骨格は同じ一「同じ話型」となる例です。著名な話型の形を紹介した後、プロップの 31 分類について説明し、物語の形の構造があることを学びます。 事前学修 2.0hr：プロップについて調べておく。 事後学修 2.0hr：物語や映画やゲームの展開と比較してみる。
7回	**授業テーマ：引用の織物〜本歌取から芭蕉・漱石、啄木と谷村、長渕とあいだの場合** 授業内容：第 7 回は、「文学における引用という技法」を取り上げます。引用が当たり前の時代から、博学主義などといわれる近代を経て、現代ではオマージュとかリスペクトと呼ばれる類のものです。しかし、著作権やプライオリティの確保から、現代では、引用は出典を明記して断らないと盗作です。今回はその「引用」に関わる文学の世界を見ていきます。 事前学修 2.0hr：オマージュ、インスパイアという単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：本時で出てきた概念を時代別に整理しておく。7 回終了後 manaba から前半振り返りのまとめを出してもらいます。

8回	**授業テーマ：歴史小説の構造〜高瀬舟執筆の目的** 授業内容：第 8 回は明治の二大文豪(夏目漱石と森鷗外)の一人、森鷗外の『高瀬舟』という小説について学びます。『高瀬舟』の執筆目的とはなにか、考えていきます。資料にそって解説していきます。 事前学修 2.0hr：歴史小説、森鷗外について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読する。
9回	**授業テーマ：原話に付加される近代的自我〜芥川龍之介の作品を中心に** 授業内容：第 9 回は、原作を利用しながら、単なる脚色に終わらず、近代的な自我によって新たな「文学」となった芥川龍之介の作品を見たいと思います。芥川の苦悩が原話を変えた、というのが結論となります。また、一度書いた結末を書き換えている点についても言及します。それらを資料で確認しながら追究します。 事前学修 2.0hr：芥川について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読する。
10回	**授業テーマ：原作を改変する内面的世界〜中島敦・太宰治 1** 授業内容：中島敦の『山月記』について考えます。唐代の伝奇説話『人虎伝』を原作に書かれた小説です。『高瀬舟』も『羅生門』も『山月記』も原作のある小説です。それらの「新たな読み直し」をこの授業では志向しています。『山月記』には独自の運命観が出ているところがあります。その生成の背景と独自性について考察します。後半は、来週読む太宰治の生涯についても言及します。 事前学修 2.0hr：中島敦、太宰治について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読しておく。太宰治について調べておく。
11回	**授業テーマ：自伝脚色を駆使する私小説的装置〜太宰治 2、事実と虚構と自立するテクストと** 授業内容：多くの読者は、太宰の小説は太宰の実人生が書かれている、と思っているところです。私小説と多くの人は理解しています。太宰自身は、作品を自分の伝記のように読ませたい、という点をねらっています。そこでこの太宰の方法を、私小説的装置と名付け、事実と虚構の対比から、太宰ワールドに迫ってみようとします。 事前学修 2.0hr：太宰治について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時を踏まえて『富嶽百景』を構築された作品として読みを更新する。
12回	**授業テーマ：自然主義小説・私小説とアンチ私小説〜柳美里・福島次郎 VS 村上春樹・江國香織等** 授業内容：日本の自然主義と呼ばれる小説は、現実をそのままリアルに描写し、実際に起きたことをそのまま小説化することでリアリティを持たせるスタイルで、現代の私小説に繋がっています。他方、すべて想像から創る小説、すべてを零から作り上げる小説があります。小説世界は、この両極の間を、どちらに近づくか、になりますが、そのあたりを具体的に学びます。 事前学修 2.0hr：日本の自然主義とは何かしらべておく。 事後学修 2.0hr：小説の二潮流を念頭に作品を読み分ける。
13回	**授業テーマ：作品の詩と真実 短編の長編化〜蛍とノルウェイの森、事実と虚構** 授業内容：村上春樹の『ノルウェイの森』と『螢』を比較し、村上の初期の創作方法を探求します。『螢』は村上作品の繰り返す青年期のノスタルジックな世界の断片であり、その世界に触発され、その後を書き加えようと、『ノルウェイの森』を執筆するあたりを見ていきます。 事前学修 2.0hr：村上春樹について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを精読する。
14回	**授業テーマ：著名な翻案小説〜その原作の存在** 授業内容：知らない人は少ないはず、という皆さんが読んだことのある著名な小説には、外国文学の原作があり、原作とほぼ同じストーリーなのはあまり知られていません。誘発する事件も作品の背景にあります。それらを皆さんが知ることが難しい、しかし、作品成立の根幹に当たりますから、ぜひ知っておいてほしいと強く思いまして取り上げます。 事前学修 2.0hr：過去に読んだ感動や美談の小説はないか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布のプリントを精読する。翻案小説とは何か理解する。
15回	**授業テーマ：翻訳文学の世界〜翻訳文学の基礎的諸問題／授業のまとめ** 授業内容：翻訳文学の基礎的諸問題として、訳者の文体とは、にこだわってみます。ひいては訳した人の感覚というものにまで言及します。　村上春樹訳『キャッチャー・イン・ザ・ライ』(サリンジャー作、2006 年) を「窓」(入り口)として話を進めます。また、授業の総まとめについても行います。 事前学修 2.0hr：上田敏、村上春樹翻訳小説を調べておく。今までの授業内容を総復習しておく。 事後学修 2.0hr：文学について各自切り込み方が深化したか考え直してみる。

人類と文化

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

山本　早良紗（やまもと　さらさ）

▌授業の概要

本授業では、文化人類学にかんする基礎的な知識を学びます。文化人類学とは、「文化」という概念を手がかりに、多様な人間の行動や思考、制度などの差異に注目し、それらを多様性と普遍性という観点からとらえ、「人間とは何か」について考える学問です。そして文化人類学の研究手法や視点は、いわば「常識」を相対化し、これまでとは少しちがった世界やものごとの見方・切り取り方を教えてくれるものです。日々目まぐるしく変化するこの現代において、そうした新しい認識の仕方は、自身の生き方や考え方の幅を広げるものとして、有効な知識・知恵となるはずです。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：私たちにとって身近な問題関心である、人間の〈生〉の営みに関連するさまざまなテーマをとりあげながら、文化人類学の考え方を学びます。さらに、それらの知識をもとに、個別の事例に照らし合わせて比較検討する視座を養います。具体的には、既存の考え方や自身の価値観を相対化する視点を獲得するとともに、現代を生き抜く術として、〈他者〉との共生のあり方について、みずから考える力を養うことを目標とします。

個別目標：知識を習得するだけでなく、授業から離れた日々の生活の場においても、文化人類学的な考え方を用いて、これまでとはちがったものの見方ができるよう、実践につなげていくことを目指します。また、普段は「当たり前のこと」として気に留めないような事柄についても、改めて主題化し、問い直していく視座を身に付けることを目標とします。

▌履修条件

履修条件は、講義を聞き、学ぶ意思のある者。出席回数を稼ぐためだけに在室し、授業中にスマホ操作や私語、居眠りを繰り返すといった、講義を聞く意思のない者の受講はお断りします（常習者には注意喚起のうえ、開講途中であっても、受講をお断りする場合があります）。本授業は、「出席した回数」よりも、受講態度や授業への関心の高さ、授業内容の理解度を重視した評価を行います。そうした本授業の主旨を十分理解・了承したうえでの受講をお願いします。

▌評価基準・方法

【試験（約 5 割）＋平常点（約 5 割）】により評価を行います。平常点には、①毎授業後に manaba に提出されたコメントの内容から、理解度・関心の高さ・取り組みの姿勢を判断し算出する「コメント点」、および②授業の受講態度の２点が含まれます。出席するだけで得られる「出席点」は設けません。学期末に行う試験は、半期の講義内容すべての総まとめとなり、持ち込みは不可とします。また、試験を無断で欠席した場合、不正行為が行われた場合には、評価の対象外となります。

▌フィードバック方法

授業内容について質問や不明点があった場合には、教室で直接教員にたずねるか、manaba で提出するコメントに記載してください。内容によって、コメントに返信するかたちで回答、もしくは翌週の授業内でとりあげ、解説します。授業内容以外のことについて質問や相談がある場合には、manaba の個別指導コレクションを利用してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必須ではありませんが、PC を使ってメモを取ることを推奨しています。）

▌教科書

指定しない。

▌参考書

授業内で適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の概要、予定、進め方、評価方法など、授業内容および授業運営にかんする基本的事項について解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業に期待する内容、学びたいことについて考え、まとめる。 事後学修 2.0hr：興味をもったテーマに関連する書籍を探し、読んでみる。
2 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：文化人類学とはどのような学問かについて、近接する学問分野との比較を通して解説し、学問としての位置づけ、および全体像を理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：文化人類学とはどのような学問か、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：文化人類学がどのような学問なのかについての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
3 回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（1）** 授業内容：文化人類学が得意とするものの見方、およびその見方を実践するための研究手法について解説し、学問の特徴を大まかに理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：文化人類学に特徴的なものの見方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
4 回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（2）** 授業内容：身近な事例をとりあげながら、文化人類学のものの見方・考え方について、より具体的に考える機会を設け、文化人類学という学問のあり方、特徴をしっかりと理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：文化人類学に特徴的なものの見方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
5 回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（3）** 授業内容：文化人類学がめざす〈他者理解〉のあり方について解説するとともに、さらに身近な問題に引きつけて、〈他者〉との接合の仕方について考えます。 事前学修 2.0hr：文化人類学にかんする諸理論について、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：文化人類学が目指す自己と他者とのあり方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。また、文化人類学のものの見方を身近な事例に当てはめ、自分なりに問い直してみる。
6 回	**授業テーマ：文化人類学の理論（1）** 授業内容：文化人類学の学問としての歴史について学ぶ 1 回目として、初めての体系的な理論となった「文化進化論」について学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。

7回	**授業テーマ：文化人類学の理論（2）** 授業内容：文化人類学の学問としての歴史について学ぶ 1 回目として、「文化進化論」の衰退後から現在にいたるまで、学問を支える理論となっている「文化相対主義」について学びます。とくに「文化進化論」とのちがいをおさえながら、この理論の概要を解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
8回	**授業テーマ：文化相対主義（1）** 授業内容：文化人類学を理解するうえで欠かせない「文化相対主義」の考え方について、しっかりと理解を定着させるために、この回では、映像像資料を用い、具体的な事例をもとにその考え方について細かく解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
9回	**授業テーマ：文化相対主義（2）** 授業内容：前回の映像像資料の内容をふまえて、文化相対主義の考え方を実践するための具体的な方法について解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。また第５～９回全体を通して復習し、文化人類学の理論の通時的な流れを理解する。
10回	**授業テーマ：フィールドワーク（1）** 授業内容：文化人類学にとって欠かせない研究手法である「フィールドワーク」について、その歴史、および特徴や方法について解説します。 事前学修 2.0hr：人類学的フィールドワークとはどのようなものか、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
11回	**授業テーマ：フィールドワーク（2）** 授業内容：実際のフィールドワークの様子を、教員自身のフィールドワークの事例を用いて紹介します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。また第８～９回全体を通して復習し、人類学的フィールドワークの主眼および特徴を理解する。第１０～１１回全体を通して復習し、要点および重要箇所をまとめる。また、授業でとりあげた事例以外で、「結婚」にかんして自身のなかにどのような「あたりまえ」があるか改めて問い直し、相対化してみる。
12回	**授業テーマ：フィールドワーク（3）** 授業内容：前回の授業で紹介した、教員のフィールドワークの事例をふまえて、文化人類学的な問いの立て方やものごとの捉え方について、具体的に解説していきます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
13回	**授業テーマ：「死」の人類学（1）** 授業内容：最後は、個別のテーマをもとに、文化人類学のものの見方・考え方を実践してみることを目的として、人間にとって普遍的な事象である、「死」をめぐる問題をとりあげます。「死」をめぐって、自分自身のなかにある「あたりまえ」に気付き、改めて主題化することを目指します。この回では、わが国における「死」のとらえ方・考え方、「死」をめぐる事象や葬送・葬儀の方法について考えます。 事前学修 2.0hr：文化人類学において、これまで「死」というテーマがどのように扱われてきたかを調べ、それをふまえて自身の問題意識を醸成させる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
14回	**授業テーマ：「死」の人類学（2）** 授業内容：前回の内容をふまえ、続いて諸外国における「死」をめぐるさまざまな事例を紹介します。比較の視点を用いることで、自身の「あたりまえ」を相対化し、人間の〈生〉の営みの多様性を学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を振り返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：第１３～１４回全体を通して復習し、要点および重要箇所をまとめる。また、授業でとりあげた事例以外で、「死」にかんして自身のなかにどのような「あたりまえ」があるか改めて問い直し、相対化してみる。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：授業全体の理解度をはかるため、まとめのテストを実施します。 事前学修 4.0hr：これまでの授業内容をふり返り、重要なポイントを整理してまとめ、理解を深めておく。 事後学修 1.0hr：テストを振り返り、理解が不足していた点を補う。また全授業をふり返り、人類学的なものの見方を用いて、社会におけるさまざまな問題や身近な出来事をとらえ直してみる。

美とは何か

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

髙久　馨（たかく　かおる）

▌授業の概要

芸術家たちは真に迫ったリアルな表現を目指して顔や人体を研究してきたが、同時に、芸術的、美的効果をあげるために、解剖学的正確さをあえて無視して、顔や人体をさまざまに誇張、変形、省略してきた。本講義ではまず第 10 回まで、顔や人体が人種、年齢、性別によってどのように違うか、それらの違いが古今東西の絵画、彫刻の中でどのように表現され、どのような印象、効果を見る者に与えているかを考察する。第 11 回目からは、美の諸問題について、西洋美術史や美学、精神分析などさまざまな観点から講義していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ◎/M3 ◎）

一般目標：(1)顔や人体の人種、年齢、性別による違いを知り、それらの違いが美術作品ではどのように表現されているかについて自ら観察する姿勢を身に着け、感じたことを言語化できるようになる。
(2)芸術作品を通じて、主に日本文化やヨーロッパ文化のエッセンスを学び、同時に芸術的感性の涵養と異文化の理解に努める。

個別目標：(1) 顔や人体の性差・人種差・年齢差について説明することができる。
(2) 芸術理論や作品に接したとき、常に自分の経験や美意識に引き付けて考えていく習慣を身に着け、美的感受性を練磨していく。

▌履修条件

(1) 授業中の居眠り、携帯・スマホの使用は厳禁。
(2) 思ったことや感じたことを臆せず発言しようという気持ちがある者。授業内容に関係することであれば、どのような意見、発言も歓迎します。

▌評価基準・方法

・期末試験 (50 %)、授業態度(授業に参加、協力しようとする姿勢) (20 %)、manaba の事前学修とリアクションペーパーの内容 (30 %) で評価する。また、授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
・授業態度や manaba の事前学修の出来も重要な評価対象となる。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （口頭発表、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用せず。適宜プリントを配布し、美術作品はスライドで紹介する。

▌参考書

中尾喜保「生体の観察」、メヂカルフレンド社。 村澤博人「顔の文化を考える」(新潟大学ブックレット「顔から学ぶ」所収)。
宮下規久朗「ウォーホルの芸術」、光文社新書。 鈴木晶「図説フロイト」、河出書房新社。
その他の西洋近現代美術関連の参考文献については授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業の内容、進め方、評価方法等について詳しく説明。** 授業内容：授業の内容、進め方、評価方法等について詳しく説明する。 事前学修 1.5hr：シラバスを読み、本講義に期待する内容や興味をひかれたことを考えておく。 事後学修 1.5hr：もう一度シラバスに目を通し、特に本講義の到達目標を強く意識する。
2回	**授業テーマ：顔と人体の美(1)性差について** 授業内容：主に顔、頸の男女の性差について詳しく説明する。また、あまり知られていない身体における性差についても述べる。 事前学修 2.0hr：顔と人体における性差にどのようなものがあるか調べておく。 事後学修 2.0hr：顔と人体(特に頸)の性差について具体的に説明できるようにする。
3回	**授業テーマ：顔と人体の美(2)顔の経年変化について(前半)** 授業内容：頭部と目もとの経年変化について、乳幼児期から老年期にいたるまでどのように変化していくのか詳述する。 事前学修 2.0hr：頭部と目もとにおける年齢差にどのような特徴があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：頭部と目もとの経年変化について具体的に説明できるようにする。
4回	**授業テーマ：顔と人体の美(3)顔の経年変化について(後半)** 授業内容：口もとや顔の輪郭の経年変化について、乳幼児期から老人期にいたるまでどのように変化していくのか詳述する。 事前学修 2.0hr：顔の輪郭と口もとにおける年齢差にどのような特徴があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：顔の輪郭と口もとの経年変化について具体的に説明できるようにする。
5回	**授業テーマ：顔と人体の美(4)魅力的な顔とは？** 授業内容：顔面における子どもの特徴、大人の特徴をふまえつつ、多くの人が魅力的と感じる顔の特徴とは何かについて述べる。 事前学修 2.0hr：自分はどのような顔が魅力的だと思うか、具体例をあげて述べられるようにしておく。 事後学修 2.0hr：多くの人が魅力的に感じる顔とはどのような顔か、また顔における幼児性と成熟さの特徴について説明できるようにする。
6回	**授業テーマ：顔と人体の美(5)「かわいらしさ」(幼児性)について** 授業内容：動物行動学者 K・ローレンツのベビー図式を紹介して、「かわいらしさ」とは何かについて述べる。また、日本人を理解するうえで重要なキーワードの一つとなって久しい「ネオテニー」についても紹介する。 事前学修 2.0hr：ヒトや動物のどのような形態的特徴をわれわれは「かわいらしい」と捉えるのか、事前に考えておく。 事後学修 2.0hr：ベビー図式の応用例を具体的に身近なものから探し出してみる。授業でとりあげた以外のネオテニーの例を調べる。
7回	**授業テーマ：顔と人体の美(6)目もとにおける上瞼の重要性** 授業内容：目と眉の間が広いか狭いかで目もとの印象はまったく違う。それぞれどのような印象を与えるのか、美術作品にはどのように利用、表現されているのかを詳述する。 事前学修 2.0hr：目と眉の間の長短でどのように目もとの印象が違うか、述べることができるようにしておく。 事後学修 2.0hr：目もとにおける上瞼の重要性について、具体例をあげて説明できるようにする。
8回	**授業テーマ：顔と人体の美(7)人種差、あるいは日本人の成り立ちについて** 授業内容：人種によって顔や身体にどのような違いがあるのか、その違いの理由は何かを詳述する。あわせて、現代日本人はどのような人種的特徴があるのか、どのような顔を「いい顔」ととらえてきたのかについても述べる。 事前学修 2.0hr：人種による体形、顔だちの違いについて、簡単に述べられるようにしておく。 事後学修 2.0hr：人種による体形や顔だちの違い、特に北方アジア系、南方アジア系のそれらの違いを説明できるようにする。

9回	**授業テーマ：顔と人体の美(8)左右対称・非対称の美** 授業内容：顔の造りや表情、身体だけでなく、広く建築物、庭園、衣服をも例にとりあげながら、左右対称・非対称がどのような印象を見る者に与えるのかを考察する。 事前学修 2.0hr：身の周りにあるもの(建築物、工業製品、衣服 etc)で左右対称・非対称のものを見出す。 事後学修 2.0hr：左右対称・非対称の美点・マイナス点について説明できるようにする。
10回	**授業テーマ：顔と人体の美：まとめ(ディスカッション)** 授業内容：9 回までの講義とはまた別の観点から顔と人体の美についての考察を深めてくれるようなエッセイを選び、それを受講者全員で読み、各自疑問に思ったことを出しあう。その後、それらのいくつかについて全員でディスカッションを行う。 事前学修 2.5hr：あらかじめ指定されたエッセイを事前に読んでおく。 事後学修 2.0hr：人間にとって顔とは何なのか、他者との関係において顔はどのように機能するのかについて考察を深める。
11回	**授業テーマ：美の追求にひそむ危険(口頭発表、ディスカッション)** 授業内容：美に追求にひそむ危険に関する小論文を読み、その具体例を、実在の人物や小説、マンガ等の登場人物からさがし出し、受講者の前でそれについて各自口頭発表(5-10 分程度)してもらう。その後、受講者全員でディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：美の追求にひそむ危険に関する小論文を熟読し、それにあてはまる具体例をさがし、口頭発表にまとめる。 事後学修 2.0hr：美の追求において特に問題になりうる点とは何かについて理解を深める。
12回	**授業テーマ：個性とオリジナリティ(１)** 授業内容：芸術家や芸術作品における個性とオリジナリティについて、近代とそれ以前ではどのように変わったか、主に西洋美術を例に詳述する。 事前学修 2.0hr：キリスト教やギリシャ神話を題材にした西洋美術の古典的な傑作をいくつか紹介するので、そのテーマについて調べる。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
13回	**授業テーマ：個性とオリジナリティ(２)** 授業内容：芸術家や芸術作品における個性とオリジナリティについて、ポップアートを例に、それ以前とどのように変わったか、また現代にどのような影響を及ぼしたか詳述する。 事前学修 2.0hr：宮下規久朗「ウォーホルの芸術」の指定された箇所を読んでおく。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
14回	**授業テーマ：美と精神分析** 授業内容：フロイトの夢と無意識についての理論を紹介し、それらがシュルレアリスムという芸術運動にどのような影響を与えたのかについて述べる。あわせて、現代におけるシュルレアリスムの影響についても考察する。 事前学修 2.0hr：鈴木晶「図説フロイト」の特に夢と無意識に関する箇所を読んでおく。ダリ、マグリット、キリコの画集に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
15回	**授業テーマ：まとめと試験対策** 授業内容：どのような問題が試験で問われるのか、またその意義は何かについて詳述する。そうすることであわせて、これまでの講義のおさらいとする。 事前学修 2.0hr：全講義のノートと配布物に目を通し、それらを持参して講義に臨むこと。 事後学修 4.0hr：試験対策授業でふれた箇所をいま一度重点的に復習して試験に備える。

記号と論理

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

土屋　真一（つちや　しんいち）

▌授業の概要

本授業では接続表現の使い方、さまざまな論法を組み立てる方法、議論の構成の仕方などの事例を通して、論理学の基礎を養うことを目的としている。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：基礎的な論理の知識を身につけ、自分の思考を論理的に表現することを目標とする。

個別目標：・議論・論文の基本構成（接続表現・パラグラフ・アウトライン・論法・反論など）を理解し、説明することができる。

・記号論理の基礎的な知識を理解することができる。

▌履修条件

・遅刻や欠席をしないこと。（但し、やむを得ない場合は、事前に manaba で理由等を連絡すること。）

・期限までに課題の提出を行うこと。

・授業内の活動に積極的に参加すること。

・リーディングタスク等、授業の準備を怠らないこと。

・教科書を必ず購入すること。（毎回授業で使用するため。）

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

課題等提出物による評価 40%、授業への参加・協力度 20%、最終試験 40%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 或いは対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、授業内発表、コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba による資料参照、課題等提出（スマホでも対応可））

▌教科書

篠澤和久、松浦明宏、信太光郎、文景楠（2020）『はじめての論理学 – 伝わるロジカル・ライティング入門』有斐閣

▌参考書

参考書等については、必要に応じて適宜紹介していく。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスや配布資料をもとに、概要、目標、評価基準、授業および課題提出などについての説明を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスに目を通し、講義概要を把握する。 事後学修 2.0hr：シラバスとテキストの内容を照らし合わせ、今後の事前学修に備える。
2回	**授業テーマ：論理とはなにか** 授業内容：論理を言葉の作法の一種と捉え、人間にとって普遍的な知を求める姿勢が、論理につながることを考察する。 事前学修 2.0hr：①自分自身にとって、身近な作法やマナーとは何か考えておく。②リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
3回	**授業テーマ：日本語と論理** 授業内容：普段使っている日本語のなかで、どのような場面で論理という作法（マナー）が要求されるかを明らかにする。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
4回	**授業テーマ：文と文のつながり**⑴ 授業内容：議論における接続表現の重要性および、前提と結論の関係を示す接続表現（順接）について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
5回	**授業テーマ：文と文のつながり**⑵ 授業内容：与えられた内容を明瞭に理解する接続表現および、議論の構造を複雑化する接続表現について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
6回	**授業テーマ：パラグラフと論文のしくみ** 授業内容：パラグラフと論文の構成ならび、論文の仕組みについて。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
7回	**授業テーマ：アウトラインの活用** 授業内容：論文やレポートを作成する手順および、アウトラインの活用について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
8回	**授業テーマ：論証の典型的パターン**⑴ 授業内容：論証の一般的な型（単純論証、合流論証、結合論証）および、三段論法について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
9回	**授業テーマ：論証の典型的パターン**⑵ 授業内容：説得のための論法および、条件文による論法について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
10回	**授業テーマ：反論の典型的パターン** 授業内容：論争の要素が含まれる議論のなかで、必要とされる反論の仕方について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。

11回	**授業テーマ：反論の実践**(1) 授業内容：適切に反論するための３つの視点について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
12回	**授業テーマ：反論の実践**(2) 授業内容：検証型反論をおこなう方法について。第 8 回から 11 回までの授業の総括。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
13回	**授業テーマ：記号論理**(1) 授業内容：論証の型と論理語、論理語としての「ない」、「または」、「ならば」、「そして」について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
14回	**授業テーマ：記号論理**(2) 授業内容：論証の記号化について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、第 9 章の演習問題を解く。10 章の部分は授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
15回	**授業テーマ：記号論理**(3) 授業内容：三段論法による議論について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。

コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）

▌授業の概要

コミュニケーション論(留学生クラス)では、コミュニケーションに対する理解を深めるため、自己理解、他者理解、社会スキル、異文化理解、議論の観点からコミュニケーションの基礎的知識について学ぶ。また、企業活動やエンターテイメント、災害などの分野を取り上げ、コミュニケーションが果たす役割について考えていく。そして、実際の会話データを用いて会話分析を行い、調査・研究の基本的な方法や姿勢を学ぶ。授業は、グループワークに取り組みながら進めていき、自らのコミュニケーション能力について客観的に捉えつつ、コミュニケーション技術を磨いていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ●/M2 ○/M3 ○）

一般目標：コミュニケーション学の基礎を理解し、現実社会ではどのように反映されているかを分析・考察する力を習得する。
自らのコミュニケーション能力向上のために必要な力を客観的に考察できるようになる。
コミュニケーションに必要な日本語力を向上させる。
授業活動を他者と協力して成しとげることの重要性を認識し、協働する力を身につける。

個別目標：コミュニケーション学に関する基本的な文章を日本語で理解し、その内容をまとめて説明できる。
コミュニケーション学の基礎を理解し、現実場面にどのように生かせるかを分析できる。
自らの日本語によるコミュニケーション能力を理論に照らし合わせて客観的に判断できる。
日本語によるコミュニケーション能力を高め、学び考えたことを的確に表現できる。
他者の意見を的確に理解し、異なる意見を認めることができる。

▌履修条件

留学生を対象とする科目である。
毎回出席し、指定された課題を行うこと。
授業では、積極的に発言し、活動に参加すること。

▌評価基準・方法

最終レポート 40 %、授業内課題 20 %、授業活動 20 %、振り返り 20 %で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価対象とする。

▌フィードバック方法

授業中、または manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(ディスカッション、グループワーク)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『大学 1 年生からのコミュニケーション入門』ナカニシヤ出版

▌参考書

『コミュニケーション論をつかむ』有斐閣
『会話データ分析の実際：身近な会話を分析してみる』ナカニシヤ出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　大学生の学びとコミュニケーション** 授業内容：自己紹介をする。自分のコミュニケーションについて考える 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、理解する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
2回	**授業テーマ：コミュニケーションとは何か** 授業内容：コミュニケーションの基本概念 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
3回	**授業テーマ：自己理解を深める** 授業内容：自己とは何か。自分というものがどのように形成されるか 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
4回	**授業テーマ：自分の考えを整理し、伝える** 授業内容：自分の考えをわかりやすく伝えるために大切なこと。議論の必要性 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
5回	**授業テーマ：様々なコミュニケーション　①社会スキル ②アサーション** 授業内容：社会スキルについての基本的な知識とアサーションの考え方 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
6回	**授業テーマ：コミュニケーションと異文化理解** 授業内容：異文化間コミュニケーションについて考える 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
7回	**授業テーマ：議論の考え方** 授業内容：議論の基礎、情報収集、ディベートについて学ぶ 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
8回	**授業テーマ：他者の意見を聞き、評価する** 授業内容：反論の仕方について考え、反論されたときの対処方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート

9回	**授業テーマ：マーケティング・コミュニケーション** 授業内容：マーケティング・コミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
10回	**授業テーマ：コーポレート・コミュニケーション** 授業内容：コーポレート・コミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
11回	**授業テーマ：バーチャル空間のコミュニケーション** 授業内容：バーチャル空間におけるコミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
12回	**授業テーマ：情報社会とコミュニケーション・ネットワーク** 授業内容：情報社会とコミュニケーション・ネットワークの特徴と内容を理解し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
13回	**授業テーマ：災害とコミュニケーション** 授業内容：災害時におけるコミュニケーションの特徴と内容を確認し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
14回	**授業テーマ：初対面会話(接触場面)の二者会話・三者会話の比較分析** 授業内容：接触場面における初対面会話の映像・会話スクリプトを見て、特徴を分析する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
15回	**授業テーマ：授業の振り返りと総括** 授業内容：本授業の学びを総括する 事前学修 2.0hr：自分の学びについてまとめてくる 事後学修 2.0hr：期末レポート作成

コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

海谷　千波（かいや　ちなみ）

▌授業の概要

1．対象：「そもそもコミュニケーションとは何か」と疑問を持つ者、あるいは疑問を持ってみたい者。
2．目的：「コミュニケーション」に関する現象・言説を批判的に捉え、実践できる。
3．内容：(ア)「コミュニケーション」や諸問題に関する「常識」・「当然」・「当たり前」と、(イ)これらのこと「に／を」コミュニケートする可能性について学ぶ。
4．授業形式：(ア)概念・定義・構成要素・課題等を［再］整理し、(イ)グループやクラス全体で議論する。
ただし、履修登録者数や学生の学修状況に応じて、学修内容や活動に修正が加えられることもある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ●/M2 ○/M3 ○）

一般目標：「コミュニケーション」現象からのメッセージや問いかけに向き合い、その意味を見出し、応答できるようになる。
個別目標：1．知識・技能：「コミュニケーション」に関連する基本的な考え方を知り、説明できる。
2．思考・判断・表現：「コミュニケーション」に関連する諸問題について自ら考え、判断し、表現したり行動したりできる。
3．主体性・多様性・協働性：他者と関わる(コミュニケートする)ことで、多様性を認め合い、人間性を高め合おうとする。

▌履修条件

1．初回授業へ参加する(※　班編成と座席表作成のため)
2．初回授業で交わされた約束を守る
3．ノート PC、又はタブレット(※　キーボードを準備)を持参する
4．科目担当者が開講する「異文化コミュニケーション概論 a・b」と内容の一部が重複することを理解する

▌評価基準・方法

評価基準・方法
1．講義・議論(60 %：授業外学修 30 %を含む)
2．グループ発表(40 %：実演だけでなく、準備や他グループ発表評価も含む)
以上、1及び2により総合的に評価する。
【※　単位修得の条件として、12 回以上の「出席」が必要。遅刻2回で欠席1回とする。】

▌フィードバック方法

必要に応じて、授業や manaba で課題を点検したり、コメントしたりする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションとプレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 入力(レポート：授業の振り返り、発表の評価・コメント；プロジェクト：発表資料の作成)）

▌教科書

宮原哲(2006)．『入門コミュニケーション論』(新版)．松柏社.

▌参考書

板場良久・池田理知子編(2011)．『よくわかるコミュニケーション学』．ミネルヴァ書房.
池田理知子編(2010)．『よくわかる異文化コミュニケーション』．ミネルヴァ書房.
鈴木敏恵(2012)．『課題解決力と論理的思考力が身につくプロジェクト学習の基本と手順』．教育出版株式会社.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業方針と課題・評価等** 授業内容：(1)シラバスと補足資料にしたがい、授業方針・内容・方法・評価の要点について理解するとともに、授業外学修の具体的な方法を知るとともに、(2)「何のためにコミュニケーションを学びたいか」について考えたり、意見交換したりする。 事前学修 2.0hr：シラバス、とりわけ「授業の概要」、「履修条件」、「評価基準・方法」を熟読し、理解するとともに、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：シラバスとオリエンテーションを振り返り、「何のためにコミュニケーションを学びたいのか」についてまとめる。
2回	**授業テーマ：人間コミュニケーションの基本的な基本的な考え方** 授業内容：(1)そもそも「コミュニケーション」とはどのような現象なのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
3回	**授業テーマ：ことばとコミュニケーション** 授業内容：(1)コミュニケーションと言語メッセージがどのように関係し合っているのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
4回	**授業テーマ：ノンバーバル・コミュニケーション** 授業内容：(1)コミュニケーションと非言語メッセージがどのように関係し合っているのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
5回	**授業テーマ：認識コンピテンス** 授業内容：(1)自己内コミュニケーションがどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
6回	**授業テーマ：人を動かすコミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)説得がどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。

7回	**授業テーマ：対人コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)1対1の人間関係がどのように構築されるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
8回	**授業テーマ：小集団コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)グループにおける合意形成やリーダーシップがどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
9回	**授業テーマ：組織内コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)組織がどのように運営されるのか、その要点を理解するとともに、(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
10回	**授業テーマ：異文化間コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)文化相互理解がどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
11回	**授業テーマ：グループ発表準備(1)：テーマ設定と文献調査** 授業内容：(1)グループ発表の方針、内容、方法等について理解し、(2)グループで解決すべきテーマを設定し、マインド・マップを使ってキーワードを考えながら、発表の全体像をつくる。 事前学修 2.0hr：トピックや関連情報について調べ、要点や自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：グループで検討した文献や情報を調べ、熟読し、要点・概要をまとめる。
12回	**授業テーマ：グループ発表準備(2)：現状把握と課題設定** 授業内容：(1)グループで持ち寄った情報を整理したあと、(2)テーマに関する現状を把握し、課題を設定し、(3)現状と課題に関する発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：グループで決めたテーマについて、現状や課題に関する情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業での議論に基づき、発表原稿を推敲する。
13回	**授業テーマ：グループ発表準備(3)：原因追及と改善案提示** 授業内容：(1)テーマに関する現状と課題を整理したあと、(2)原因・理由・背景を突き止め、改善案を考えて、(3)原因・理由・背景と改善案に関する発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：原因や改善案に関する情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業での議論に基づき、発表原稿を推敲する。
14回	**授業テーマ：グループ発表(1)：第1グループの発表と評価** 授業内容：第1グループが発表を実演する。聴衆はメモをとりながら発表を聞いた後、評価シートに評価やコメントを書き込む。 事前学修 3.0hr：発表原稿を完成させ、リハーサルを行う。 事後学修 1.0hr：他のグループ発表について振り返り、今後、自分がどのように「コミュニケーション」を図るかをまとめる。
15回	**授業テーマ：グループ発表(2)：第2グループの発表と評価** 授業内容：第2グループが発表を実演する。聴衆はメモをとりながら発表を聞いた後、評価シートに評価やコメントを書き込む。 事前学修 3.0hr：発表原稿を完成させ、リハーサルを行う。 事後学修 1.0hr：他のグループ発表について振り返り、今後、自分がどのように「コミュニケーション」を図るかをまとめる。

心理学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中嶋　一恵（なかしま　かずえ）

▌授業の概要

人の心は、知覚、記憶、思考、言語など、様々な機能を持っている。心の働きを科学的に解明する心理学は、それに応じて様々な専門分化した研究がなされている。

本講義では、心理学の成り立ち、人の心の仕組み及び働き、その概観について理解し、周囲の人との関わりの中で活用していくことができる力を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：基礎的な心理学に関する諸理論を学ぶことにより、人の心や行動の基盤を理解する。また、心理学で学んだ内容を、日常生活で生かせる力を身につける。

個別目標：1)基礎的な心理学の理論や知識を習得し、人の心の動きを科学的に理解できる。
2)日常生活において起こる諸問題に対して、心理学の知識を応用できる。
3)自己・他者の多様性を理解し、穏やかで円滑な人間関係の形成に関与できる。

▌履修条件

1)第 1 回講義のガイダンスで説明する履修条件を理解し、順守できること(第 1 回講義の出席を必須とする)。
2)授業では個別指導とアクティブラーニングの手法も取り入れていくため、自主的・積極的に学ぶ意欲があること。
3)授業方法の特性上、第 1 回講義時に提出する履修動機を基に履修者を決定する(約 50 名程度)ため、第 1 回講義に必ず出席すること。
4)本講義では、多様な背景や特性を持つ履修者が共に学ぶことを前提としている。必要に応じて合理的配慮を行うため、合理的配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

※原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
1)授業内で提示する課題(50 %)
2)最終試験・レポート(50 %)
以上をもとに、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

毎回の課題、質問や意見共有などに対してのフィードバックは、翌週以降の授業内または学習支援システム manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学習支援システム manaba を使用しての意見共有）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学習支援システム manaba を使用した意見共有、フィードバック、レポート作成 など）

▌教科書

指定なし

▌参考書

丹野義彦他著　「初めて出会う心理学」　有斐閣 2020
ジョエル・レビー著　「心理学の基礎講座」　NEWTON PRESS 2022

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本講座の目的、授業の進め方、課題の取組み方、評価基準についてガイダンスを行う。また、心理学の位置づけについて理解する。 事前学修 2.0hr：履修動機を明確にし、心理学についての関心があることをまとめる。 事後学修 2.0hr：心理学についての自分の考えをまとめる。
2回	**授業テーマ：心理学入門** 授業内容：心理学とは何か、人の心を研究する意味、歴史的背景などについて理解する。 事前学修 2.0hr：心理学の歴史について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、心理学の概要について自分の考えをまとめる。
3回	**授業テーマ：遺伝的気質特性** 授業内容：遺伝的気質の特徴について理解する。また、遺伝的気質の特徴とこれまでの自分自身の行動やコミュニケーションの特徴などについて理解する。 事前学修 2.0hr：遺伝的気質について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の遺伝的特性をまとめる。
4回	**授業テーマ：心理的発達** 授業内容：遺伝と環境との関係、新生児や子どもの能力・発達について理解する。 事前学修 2.0hr：遺伝と環境の関係について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、遺伝と環境との関係、自身の特性と発達との関係をまとめる。
5回	**授業テーマ：感覚** 授業内容：心と関係の深い脳や感覚器官のはたらき、仕組みについて理解する。 事前学修 2.0hr：脳機能について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、心と脳の関係についてまとめる。
6回	**授業テーマ：感情** 授業内容：感情が生じるメカニズムや社会的機能について理解する。 事前学修 2.0hr：感情について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り、自身の特性との関係についてまとめる。
7回	**授業テーマ：記憶** 授業内容：記憶研究についての流れや、記憶のメカニズムについて理解する。 事前学修 2.0hr：記憶について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
8回	**授業テーマ：心理的ストレス** 授業内容：心理的ストレスについて、ストレス状態のメカニズムについて理解する。 事前学修 2.0hr：ストレスについて、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。

9回	**授業テーマ：性格と遺伝的気質の違い** 授業内容：性格とは何か、構造や役割について理解する。また、遺伝的気質との違いを、前半の講義で習得した理論や知識と照らし合わせて理解する。 事前学修 2.0hr：性格について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の性格と特性についてまとめる。
10回	**授業テーマ：社会的認知①** 授業内容：コミュニケーションの入口としての印象形成の理論について理解する。 事前学修 2.0hr：印象形成の理論について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
11回	**授業テーマ：社会的認知②** 授業内容：コミュニケーションとは何かについて理解する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーションについて、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
12回	**授業テーマ：社会的認知③** 授業内容：コミュニティ形成における、自己・他者理解について理解する。 事前学修 2.0hr：コミュニティ心理学について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
13回	**授業テーマ：社会的認知④** 授業内容：パーソナリティ理論について理解する。 事前学修 2.0hr：パーソナリティ理論について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
14回	**授業テーマ：様々な心理学** 授業内容：各分野における心理学の特徴について理解する。 事前学修 2.0hr：関心のある心理学分野について調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、興味のある分野についてまとめる。
15回	**授業テーマ：復習とまとめ、試験・レポート** 授業内容：全講義内容を振り返り、心理学の知識と理論をまとめる。また、今後、自分の生活にどのように活かしていくのかを考える。 事前学修 2.0hr：本講義の内容を振り返り、疑問点などを明確にする。 事後学修 3.0hr：本講義の内容を振り返り、最終レポートにまとめる。

心理学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

林　哲也（はやし　てつや）

▌授業の概要

人間の歴史は多様性を知る歴史でもある。交通、通信の発達などにより、人間はより多様な価値観や社会現象との遭遇を繰り返してきた。現代社会はインターネットという技術を得て、その多様性との遭遇はさらに高速化、日常化している。そうした背景の中で、私たち一人ひとりの心も動揺させられやすく、健康との関連がより深まる時代となっている。一方人間は古くから「心とは何か」への探求を行ってきた。近年は心理学という学問領域が成立し、多くの知見から、複雑化する社会における私たちの心のあり方への応用も盛んに議論されている。

本講義では、心理学の理論を紹介しつつ、現代社会の捉え方や私たちの健康へいかに応用させていくかについての理解を深め、実践していける力を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：心理学の基礎的な理論を参照しながら、心と現代社会との関係、健康との関係について、生活実感をともなった理解をする。

個別目標：1) 自らの心理に影響を与えている身体の機能や社会との関係について理解を深め、説明することができる。
2) 日常生活における、自らの心理的特性や行動傾向についての理解を深め、説明することができる。
3) 健康で充実した生活を過ごすための、心理的なセルフケア行動を実践することができる。

▌履修条件

1）初回の授業に必ず出席し、履修上の諸注意を順守できること（特に不要な授業途中の入退室、私語は慎むこと）。2）授業ではアクティブラーニングの手法も取り入れていくため、自主的、積極的に学ぶ意欲があること。3）アクティブラーニングの実効性の観点から履修者が多数の場合は履修動機、履修意欲を記述するレポートをもとに履修者を選抜する可能性がある。

▌評価基準・方法

1) 授業への取り組みと、授業内で提示する質問や理解度チェックへの応答、授業ごとの小課題の作成（60 %）　2) 最終課題（レポート）（40 %）をもとに総合的に評価する。

※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とするが出席のみでの評価点は設けない。あくまで授業内での取り組み、提出された課題の内容を踏まえて評価をする。

▌フィードバック方法

毎回の小課題、授業中に行った respon による意見共有などに対するフィードバックを、学習支援システム manaba を通じて、あるいは翌週以降の授業内でのコメントによって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学習支援システム manaba、respon を使用した意見共有、フィードバック、ディスカッションを中心に行う。受講人数、受講生の理解度も参考にしながらグループワーク、PBL（課題解決型学習）を用いることもある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学習支援システム manaba、respon を使用した意見共有、フィードバック、ディスカッションを行う。スマホ、タブレットでも可。）

▌教科書

授業内でレジュメを配布。

▌参考書

無藤隆（他著）「新版　心理学」有斐閣　2018

下山晴彦（編）「よくわかる臨床心理学［改訂新版］」ミネルヴァ書房 2009

宗像恒次（他著）「ＳＡＴ法を学ぶ」金子書房 2007

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・心理学とは―本講義の目的―** 授業内容：履修にあたっての諸注意と講義の進め方についてのガイダンスを行う。また心理学の学術的な位置づけについて概説を行い、自身がもつ心理学のイメージとの対比について考える。 事前学修 2.0hr：履修動機と意欲、心理学について自分自身が持っている関心についてまとめる。 事後学修 2.0hr：自身がもつ心理学のイメージと学術的な心理学の位置づけについて、重なる点、異なる点についてまとめる。
2回	**授業テーマ：心理学の全体像―心理学の歴史とさまざまな分野―** 授業内容：心に対する探求は古代から哲学や宗教を中心に行われ、近年では実験、調査などの科学を中心とした心理学が発展している。その心理学の歴史と研究対象とするさまざまな分野の広さについて概説し、身近な問題との関連を考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学の歴史的・社会的な位置づけと研究対象となるさまざまな分野などについてまとめる。
3回	**授業テーマ：感覚と知覚－脳・神経の働きと環境の認識―** 授業内容：心と不可分の関係にある脳や周囲の環境の安全や危険を認識する感覚器官のはたらき、仕組みについての概説を行い、身近な心理的問題を取り上げて、身体機能の視点も踏まえた多角的な解釈を試みる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心と脳の関係、環境を認識する感覚器官のはたらきについてまとめる。
4回	**授業テーマ：感情と社会―喜怒哀楽の機能と制御―** 授業内容：感情が生じるメカニズムや社会的な機能について概説を行い、身近な問題を取り上げて多角的に自己理解、他者理解を試みる。また自分の心のコントロール、他者との良好なコミュニケーションについても考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：感情の心理学的基礎理論と現代社会における感情の問題についてまとめる。
5回	**授業テーマ：心理的ストレスとは何か** 授業内容：思い通りに進まない事柄や突発的な出来事などから生じるストレス状態のメカニズムについて概説し、ストレス社会と言われる現代社会の構造から受ける影響、自身の健康を維持するための対処法について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理的ストレスの概念と、関連する社会問題についてまとめる。
6回	**授業テーマ：心理学と日常生活―身近な問題への応用―** 授業内容：第２回から第６回の内容を復習し、その理解をもとに日常生活で起こりがちな心理的問題を考える。教員から提示する事例、ケースに対してどのように思考し対処するか、セルフワークまたはグループワークを通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業の内容を踏まえ、自身の日常生活に応用して新たな理解を得られる場面があるか考える。 事後学修 2.0hr：第 6 回の授業を踏まえて、自身の日常生活場面について、さらに多角的な理解を試み、まとめる。

7回	**授業テーマ：社会的認知ー印象形成の理論ー** 授業内容：コミュニケーションの入口ともいうべき他者に対する印象形成のメカニズム、行動から他者の特性を推論する帰属のバイアスなどについて概説を行い、その理解を踏まえて自身が経験してきた人間関係を振り返る。また今後の他者理解について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：印象形成、帰属バイアスについての理論を自身の経験と関連づけてまとめる。
8回	**授業テーマ：社会的影響①ー他者・集団との関係ー** 授業内容：人が個人として選択しているように思える思考、行動も、他者や文化といった社会的影響を受けており、また何らかの影響を他者や文化に与えてもいる。社会心理学の観点を踏まえた心の理解について概説し、身近な問題と関連させて自身の心の経験を考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学的理論を応用させながら、他者、集団、組織、規範など、個人に及ぼす社会的影響についてまとめる。
9回	**授業テーマ：社会的影響②ー人間関係とコミュニケーションー** 授業内容：人生の豊かさや楽しみをもたらす一方で、葛藤や嫌悪が生じてしまうこともある人間関係。親密さや攻撃性を生み出すメカニズム、良好なコミュニケーションの構成要素について概説し、自身の人間関係やコミュニケーション傾向について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学的理論を応用させながら身近な人間関係について考察し、現代社会の問題も踏まえてまとめる。
10回	**授業テーマ：ライフサイクルと心理的問題** 授業内容：人間は生まれてから死ぬまで常に変化している。その中で生じる一定の時期に応じた発達段階ごとの心理的課題について、特に青年期、高齢期を取り上げて概説する。その理解を踏まえて自身の現在の心理的な発達課題、将来的に直面するであろう発達課題について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：生涯発達の視点から、各ライフステージにおける心理的問題についてまとめる。
11回	**授業テーマ：心理学と社会生活ー社会との関係への応用ー** 授業内容：第７回から第１０回の内容を復習し、その理解をもとに社会との関連で自身が抱える心理的問題を考える。教員から提示する事例、ケースに対してどのように思考し対処するか、セルフワークまたはグループワークを通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業の内容を踏まえ、自身が感じる社会との関係の問題に応用して、新たな理解を得られる場面があるか考える。 事後学修 2.0hr：第 11 回の授業を踏まえて、自身がもつ社会と関連した心理的課題について、さらに多角的な理解を試み、まとめる。
12回	**授業テーマ：自己と社会ー自分とは何かー** 授業内容：「自分のことなのによく分からない」といった現象のように、社会心理学の主要なテーマとして扱われる「自己」に関する理論について概説を行い、その理解を踏まえて自身の経験を重ね、自己理解の基礎づくりを試みる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：自己に関する理論について整理し、自身を対象として「自己」についての新たな気づきについてまとめる。
13回	**授業テーマ：パーソナリティ理論** 授業内容：同じ人間であっても一人ひとりに無意識に行いがちな思考や行動の傾向がある。人格、性格を探究するパーソナリティ理論の概説と質問紙を使ったセルフワークを通して自己理解を深め、健康な生活に資する自分らしいセルフケアについて考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：パーソナリティ理論と自らのパーソナリティーについての気づきをまとめる。
14回	**授業テーマ：気質と本質的欲求** 授業内容：生まれもった遺伝的、生得的な要因である気質に基づく個性と、行動の基となる根源的な欲求についての理論を概説し、質問紙を使ったセルフワークを通して自己理解を深め、健康な生活に資する自分らしいセルフケアについて考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質、本質的欲求についての理論と気質コーチングを通じた自身の特性の気づきをまとめる。
15回	**授業テーマ：心理学と学生生活ー復習とまとめー** 授業内容：学生生活における心理的課題の理論について概説を行うとともに、これまでの授業の復習を行う。シラバスの個別目標について、各自の到達度を自己評価する。 事前学修 2.0hr：第 14 回までの内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業の内容と自らの生活を重ねて総合的に振り返る。

からだと健康

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

宮澤　慶（みやざわ　けい）

▌授業の概要

現代社会に生きる人間にとって健康は大切なものであり、かけがえのない財産である。自己実現のためにも、健康の保持・増進は重要である。本講義は、学生がからだの仕組みを理解し、健康に関する基本的知識を有する事を目的として、講義を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：学生が健康的な生活を送るための基本的な知識を持ち、自己の健康を管理でき、健康に関して科学的又は医学的な考え方ができるようになることを到達目標とする。

個別目標：(1) 各臓器の機能、役割について説明できる。
(2) 健康問題にかかわる要因について説明できる。
(3) 健康維持増進および病気の予防について説明でき、実践することができる。

▌履修条件

健康や栄養について興味をもつもの。

授業中の私語、入退室及び携帯電話の使用等の授業妨害行為、並びに不適切な行為を慎める者。問題のある行為が認められた受講停止を求める。原則遅刻・早退を認めない。

▌評価基準・方法

中間テスト(2 回)の成績、出席ペーパー(12 回)、学修態度に基づき総合的に評価する (おおよその目安：期末 60 %、中間テスト 15 %、出席ペーパー 20 %、出席 5 %程度)。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。(欠席事由等については『履修の手引』を参照すること。

▌フィードバック方法

出席ペーパーの回答が十分でない部分は講義時もしくは manaba 上で追加説明を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （課題(出席ペーパー)等を用いて実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイントを使用して講義を行なう。）

▌教科書

適宜、資料を配布する。

▌参考書

今村裕行ら他 8 名著　「健康増進科学概論 －運動・栄養・休養－」(東京教学社) 2015

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：人体・医学・倫理・健康科学** 授業内容：講義に臨む態度について。 医学の進歩と払われた犠牲について。 事前学修 2.0hr：現代生活の特徴と QOL(生活の質)について考察しておく。未来にむけた医療のあり方について考える。 事後学修 2.0hr：医学の進歩とその意義について理解する。受講ルールをよく理解して遵守できるようにする。
2 回	**授業テーマ：人体と健康(肺)** 授業内容：呼吸について。 呼吸運動について。 喫煙と関連疾患について。 COPD について。 肺がんについて。 禁煙方法について。 事前学修 2.0hr：COPD と肺の健康について調べる。 事後学修 2.0hr：エネルギーを引き出す呼吸の仕組みやその調節機構および肺の健康について復習する。
3 回	**授業テーマ：人体と健康(心臓)** 授業内容：心臓について。 血液循環について。 血液の成分と働きについて。 循環調節について。 血圧について。 事前学修 2.0hr：心臓の役割や血液の循環について復習する。 事後学修 2.0hr：全身に栄養や酸素をめぐらす心臓のポンプ作用や血管の構造について復習する。
4 回	**授業テーマ：人体と健康(脳)　栄養と健康** 授業内容：神経について。 脳の構造について。 自律神経について。 脳卒中について。 神経系の病気について。 アルツハイマー症について。 事前学修 2.0hr：脳卒中・脳出血・脳梗塞について調べる。認知症について調べる。 事後学修 2.0hr：情報をコントロールする脳・神経系の働きや記憶・学習の仕組みについて復習する。
5 回	**授業テーマ：中間テスト 1　　1 回から 4 回の講義内容確認** 授業内容：第 1 回から第 4 回までの授業内容をテストする。 事前学修 3.0hr：中間テスト 1 を行なうので第 1 回から第 4 回までの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：テストの内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：応急手当と健康** 授業内容：心肺蘇生法について。 AED の使用法について。 RICE 処置などさまざまな救急法について。 歯の脱臼時の対応について。 バイタルサインについて。 事前学修 2.0hr：救急蘇生法と AED について調べる。 事後学修 2.0hr：心肺蘇生の方法や AED の使い方、および簡単な応急手当法について復習する。

7回	**授業テーマ：人体と健康(消化器)** 授業内容：消化器官について。 唾液について。 胃の構造と働きについて。 小腸について。 大腸について。 急性虫垂炎について。 大腸がんについて。 事前学修 2.0hr：食生活の飽食化・欧米化・簡便化について調べる。 事後学修 2.0hr：胃・腸の役割について復習する。
8回	**授業テーマ：人体と健康(肝臓)** 授業内容：栄養の消化について。 肝臓の構造と働きについて。 胆嚢の役割について。 膵臓の構造と働きについて。 肝炎とその種類について。 飲酒について。 事前学修 2.0hr：日本人の肝疾患のリスクファクターについて調べる。 事後学修 2.0hr：肝臓の役割、肝疾患について復習する。
9回	**授業テーマ：食事と健康** 授業内容：五大栄養素について。 ビタミンについて。 ビタミン欠乏症について。 食塩摂取と高血圧や脳血管疾患との関係について。 BMI について。 食事バランスガイドについて。 事前学修 2.0hr：五大栄養素について調べる。ビタミン欠乏症について調べる。食育について調べる。 事後学修 2.0hr：生命を維持するための栄養素がどのようにエネルギーや生体成分に変換されるかを復習する。
10回	**授業テーマ：中間テスト 2　 6 回から 9 回の講義内容** 授業内容：第 6 回から第 9 回までの授業内容をテストする。 事前学修 3.0hr：中間テスト 2 を行なうので第 6 回から第 9 回までの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：テスト内容を復習する。
11回	**授業テーマ：人体と健康(腎臓)** 授業内容：腎臓の構造と働きについて。 泌尿器系にみられる疾患の種類について。 人工透析について。 糖尿病について。 事前学修 2.0hr：糖尿病の自覚症状と合併症について調べる。人工透析について調べる。 事後学修 2.0hr：腎臓の構造と尿を作る仕組みについて復習する。
12回	**授業テーマ：生活習慣病と健康** 授業内容：日本人の死因について。 メタボリックシンドロームについて。 特定健診について。 骨粗しょう症について。 痛風について。 事前学修 2.0hr：日本人の死亡原因について調べる。ヘルスプロモーションについて調べる。 事後学修 2.0hr：生活習慣病の種類や発症および予防対策について復習する。
13回	**授業テーマ：感染症予防と健康** 授業内容：感染について。 感染源と感染経路について。 ワクチンについて。 性感染症について。 動物や節足生物からの感染症について。 手洗いについて。 事前学修 2.0hr：新興感染症と再興感染症について調べる。STD について調べる。 事後学修 2.0hr：感染症対策について復習する。
14回	**授業テーマ：高齢化社会と健康** 授業内容：健康について。 生活習慣病予防について。 ヘルスプロモーションについて。 国際生活機能分類(ICF)について。 事前学修 2.0hr：日本の人口の問題点について調べる。 事後学修 2.0hr：ノーマライゼーションとバリアフリーについて復習する。
15回	**授業テーマ：テスト対策　歯科疾患と健康　まとめ** 授業内容：う蝕について。 歯周病について。 顎顔面領域の外傷について。 マウスガードについて。 期末テスト対策を行なうので第 1 回から第 14 回までの授業内容を復習する。 事前学修 3.0hr：第 1 回から第 14 回までの講義を復習する。 事後学修 3.0hr：全ての講義内容を復習し、期末テストに臨む。　からだの仕組みを理解し、自分の健康管理ができるようにする。

日本人の生活意識

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

我々人間は、ほぼ意図することなく一定の世界観・価値観に従って日々の生活を送っている。この世界観・価値観は日常生活において顧みられることなく、広義の「世間知」として習得されてきたものである。本講義はカントの人間学的な観点から、さまざまな現代日本の生活にまつわる「世間知」についてより深く反省を加え、成熟した人間になるために必要なことは何かを考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：　現代日本を取り巻く社会問題を学び、自身の身の回りで起きていることを複数の視点で合理的に思考し、断片的にではなく全体の構図から自分の言葉で説明することができる。

個別目標：1）現代日本が直面している誕生と死にまつわる現状とその問題点について説明することができる
2）コミュニケーション能力の定義を理解し、日本のコミュニケーション空間の変質と現状について説明することができる
3）日本の宗教意識の特徴点を列挙し、説明することができる
4）価値の諸相について理解し、使用価値と交換価値の違いについて日本の現状から説明することができる

▌履修条件

新聞やニュースなどに関心を持ち、主体的に世の中の動きや自分自身のあり方について考える意志のある学生であること。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書は指定しない。
資料は教室で配布する

▌参考書

ＮＨＫ放送文化研究所『現代日本人の意識構造』[第九版]、２０２０他、必要に応じて提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：導入　人間学と日本人の意識** 授業内容：単位取得の条件の確認、およびこの講義で扱う日本を取り巻く問題圏とカントの「人間学」の視点を紹介し検討する。 事前学修 2.0hr：自分の人生のあり方を死ぬ瞬間まで考えてみる 事後学修 2.0hr：身の回りの「世間知」について考えて列挙する
2回	**授業テーマ：誕生と死　誕生にまつわる現状と意識** 授業内容：少子化の現状を様々なデータから紹介し、それにまつわる意識調査の情報を共有する。 事前学修 2.0hr：人間の誕生に関してどのようなことが問題になるのか考える 事後学修 2.0hr：誕生にまつわる現状と課題を整理し、望ましい誕生のあり方をまとめる
3回	**授業テーマ：誕生と死　死にまつわる現状** 授業内容：高齢、長寿化の現状について様々なデータを紹介し、それにまつわる意識調査の情報を共有する。 事前学修 2.0hr：自身の経験したあるいは想像する死にまつわることがらについて列挙する 事後学修 2.0hr：死にまつわる現状と課題を整理し、望ましい死のありかたをまとめる
4回	**授業テーマ：誕生と死　死に向かうということ** 授業内容：尊厳死や安楽死といった新しい形の死についての紹介とそれにまつわる意識調査のデータを共有し、人間学的な視点から少子高齢化問題をまとめる。 事前学修 2.0hr：死に直面した時の状況について考えてみる 事後学修 2.0hr：死に直面した時の自身の心の動きと命の重みを重ね合わせ、人間の生について思うところをまとめてみる
5回	**授業テーマ：孤独と仲間　孤独と仲間をめぐる現状** 授業内容：コミュニケーションの現状とそれに伴う意識調査の内容を紹介し、情報を共有する。 事前学修 2.0hr：現代のコミュニケーション状況の特徴について自分の考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：コミュニケーション不調の場合にみられる諸特徴について列挙しておく
6回	**授業テーマ：孤独と仲間　コミュニケーション能力の定義とコミュニケーション空間の変質について** 授業内容：コミュニケーション能力についていくつか具体的な定義を紹介し、スマートフォンを用いた SNS の各種サービスの使用現状を概括する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーション能力と呼ばれているものについて自分の考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：コミュニケーション能力の様々な定義についてまとめておく
7回	**授業テーマ：孤独と仲間　孤独病と承認要求について** 授業内容：片田珠美『孤独病』を軸に孤独感が強すぎてコミュニケーション不調について検討する。 事前学修 2.0hr：孤独感が強すぎることによって生じるコミュニケーション障害について列挙しておく 事後学修 2.0hr：孤独感と承認欲求の関係について自分なりにまとめておく
8回	**授業テーマ：孤独と仲間　仲間と呼べるものは誰か** 授業内容：鴻上尚志『世間と空気』を軸に日本的集団意識の問題点や特徴を取り上げ、検討する。 事前学修 2.0hr：仲間集団についてその必要条件について自分なりにまとめておく 事後学修 2.0hr：「世間」集団を形成する時に守られるべきルールを自分なりにまとめておく
9回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：これまで講義で扱った「誕生と死」、「孤独と仲間」の内容をまとめ、習熟度の確認のために中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで学習した内容のポイントを自分なりにまとめ、テストに備える。 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する

10回	**授業テーマ：神と仏　宗教をめぐる現状について** 授業内容：日本の宗教意識の現状について、各種の意識調査のデータを紹介し、共有する。 事前学修 2.0hr：日本の宗教の現状について自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：諸宗教のデータをまとめ、日本の宗教の動向をまとめておく
11回	**授業テーマ：神と仏　神道と仏教** 授業内容：日本の宗教において中心を占める神道と仏教について簡単に歴史をまとめ、自身の宗教理解を反省する。 事前学修 2.0hr：自分の身の回りの宗教的儀礼や行為について考え、ノートに列挙する 事後学修 2.0hr：自身が行ってきた宗教儀礼、宗教的行為を分類し整理する
12回	**授業テーマ：神と仏　日本的宗教意識について** 授業内容：日本の宗教意識を特徴づける「神仏習合」、「現世利益」、「祖先崇拝」の 3 つを軸に日本的宗教意識のあり方について検討する。 事前学修 2.0hr：超越的な存在について自分の考えをノートにまとめておく 事後学修 2.0hr：現世利益、祖先崇拝、神仏習合などの大事な概念についてまとめておく
13回	**授業テーマ：お金と価値　交換価値と使用価値** 授業内容：使用価値と交換価値の違いを具体的に検討した後、日本の平均収入の変化や経済的な豊かさについての意識調査を紹介し、情報共有する。 事前学修 2.0hr：お金で買えるものと買ってはいけないものの違いについて考えておく 事後学修 2.0hr：講義内容をまとめ、お金の歴史について調べておく
14回	**授業テーマ：お金と価値　資本主義の精神と疎外 -S. ゲゼルの思想-** 授業内容：ヴェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義』の末尾に見られる未来図と、ゲゼルの価値を減じる貨幣システムについて学び、人間学的にまとめる。 事前学修 2.0hr：ヴェーバーの主張と地域通貨について調べておく 事後学修 2.0hr：理想的な交換価値と使用価値のあり方について考えておく
15回	**授業テーマ：まとめのテストと振り返り** 授業内容：「人間的な生き方」を軸にこれまで扱ってきた諸問題をまとめ、まとめのテストと振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：テストに備え、１４回までの講義内容をまとめておく 事後学修 2.0hr：これまでの講義内容を踏まえ、人間学的に自分自身の生活の「世間知」について考える

日本人の生活意識

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

堀内　貴子（ほりうち　たかこ）

▌授業の概要

日本人の生活意識（留学生クラス）では、日常の会話でなにげなく使われる言葉について書かれた文章を読む。そして、その内容を、自分の経験や自国の文化と比較しながら、日本人の感じ方や考え方について理解する。
また、理解したことを言語化し、クラスメートと話し合ったり、文章にまとめたりする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本人の言動に内在する価値観を理解し、それに対し、自らの考えを述べることができる。
個別目標：・日本語の文章を読んで、内容を正確に読み取ることができる。
・日常の会話でなにげなく使われる言葉に内在する日本人の考えや価値観を捉えることができる。
・日本人の考えや価値観に対する自分の考えを論理的に説明したり、文章にまとめたりすることができる。
・他者と意見交換をしながら、さらに自分の考えを深めることができる。

▌履修条件

留学生対象のクラスである。
事前事後課題を必ず行い、授業活動に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

試験 40 %・授業内評価 (小テスト、授業課題、振り返り)50 %、態度（授業への参加姿勢及び発言等）10 %。

▌フィードバック方法

授業内または manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森田六郎『改訂新版　日本人の心が分かる日本語』アスク出版　ISBN：9784866393773

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーションと事前テスト** 授業内容：オリエンテーション、事前テスト 事前学修 2.0hr：テキストを読む 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
2回	**授業テーマ：内と外を分ける：内と外、世間** 授業内容：「内と外」「世間」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
3回	**授業テーマ：内と外を分ける：しつけ、けじめ** 授業内容：「しつけ」「けじめ」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
4回	**授業テーマ：内と外を分ける：素直、甘える** 授業内容：「素直」「甘える」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
5回	**授業テーマ：他人の目を意識する：人目、恥、照れる** 授業内容：「人目」「恥」「照れる」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
6回	**授業テーマ：周囲に配慮する：遠慮、気をつかう** 授業内容：「遠慮」「気をつかう」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
7回	**授業テーマ：周囲に配慮する：人並み、空気を読む** 授業内容：「人並み」「空気を読む」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
8回	**授業テーマ：人間関係を大切にする：つきあい、愛想、礼儀** 授業内容：「つきあい」「愛想」「礼儀」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
9回	**授業テーマ：人間関係を大切にする：本音と建て前、おかげさま** 授業内容：「本音と建て前」「おかげさま」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
10回	**授業テーマ：表現を押さえる：控えめ、ほのめかす、角を立てない** 授業内容：「控えめ」「ほのめかす」「角を立てない」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。

11回	**授業テーマ：精神主義を好む：がんばる、根性、無理** 授業内容：「がんばる」「根性」「無理」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
12回	**授業テーマ：精神主義を好む：修行、武士道** 授業内容：「修行」「武士道」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
13回	**授業テーマ：日本人の価値観：品、やまとなでしこ、派手・地味** 授業内容：「品」「やまとなでしこ」「派手・地味」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
14回	**授業テーマ：日本人の価値観：恩・義理、いさぎよい、もったいない** 授業内容：「恩・義理」「いさぎよい」「もったいない」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：今まで学んできたことについて、総復習を行う。 事前学修 2.0hr：今まで学んだことを確認する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。

性格とは何か

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

性格(パーソナリティ)は、「人となり」や「その人らしさ」を指します。言動に現れるものから、内面に隠されたものまで、その人の人間性のすべてが、パーソナリティに含まれます。多くの人々は、自分自身のパーソナリティに関して悩んだり、自分と相手のパーソナリティの違いによって人間関係障害を体験したりします。本講義では、性格を固定的な特性として理解するのではなく、状況・関係・行動の中で立ち上がるプロセスとして捉えることを重視します。さらに、性格理論、自己効力感、気質、ニューロダイバーシティ、ストレス行動特性などの知見をもとに、対話とリフレクションを通じて、自身の考えを更新し続ける姿勢を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：パーソナリティに関する理論的理解を基盤として、自己理解・他者理解を深め、状況に応じた判断や行動選択、補完し合える人間関係を構築する力を涵養する。

個別目標：1）性格(パーソナリティ)に関する主要な概念や理論を、具体的な事例や文脈に即して解釈し、その有効性や限界を踏まえて説明できる。
2）ニューロダイバーシティ(脳多様性)の概念を理解し、特性を固定的なラベルとしてではなく、状況や環境との相互作用として捉え、他者との関係性を調整する視点を持つことができる。
3）自らの性格(パーソナリティ)について、一つの答えとしてではなく仮説として捉え、経験や対話を通して見直しながら、自己調整や意思決定に活かす視点を持つことができる。
4）自他の性格(パーソナリティ)の違いを把握し、一致や理解を急がず、違いが存在したまま対話を続ける姿勢を持ち、状況に応じた関わり方を選択できる。

▌履修条件

授業は、ピア・インストラクションやグループによるダイアローグなどのクリエイティブ・ラーニングの手法で行われる。
そのため、仲間と共に学習し合う雰囲気を心がけてほしい。不得意な場合は、必ず相談のこと(一緒に考えます)。
履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定する(最大受講人数 70 名程度)ため、第 1 回の講義に必ず出席すること。
また、本講義では、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提とする。必要に応じて、学修方法や参加の在り方について合理的配慮を行うため、配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

1)講義内での質問や応答(20%)と　学習の成果物①:講義ごとの小課題(60%)、学習の成果物②:最終課題(レポート)(20 %)によって総合的に評価します。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体コメント、manaba 上での個別コメントで行います。
個別指導は、ワークブックへのコメントを以って行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義形式に加えて、Think － Pair － Share、Think － Group － Share、ダイアローグ、リフレクティング・トーク等のアクティブ・ラーニング手法を用いて実施する。 理論の理解にとどまらず、自らの考えの変化や揺らぎを言語化する過程を重視する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

①性格とは何かワークブック(￥600)
　購入方法については、講義内や manaba で案内いたします。
②配布資料

▌参考書

岡田康伸・他：パーソナリティの心理学　有斐閣

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　　パーソナリティ心理学入門** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。 2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．自分の性格や周りの人の性格の悩みなど、身近な問題を考える。 事前学修 2.0hr：履修動機と自分自身の性格について理解していることをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ視点から、自分自身の性格に関する気づきをまとめる。
2回	**授業テーマ：パーソナリティの把握(TAT)** 授業内容：TAT という投影法を用いた性格検査を実施して、自己分析を行う。 その結果を、Think-Pair-Share によって共有し、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック「TAT を使った自己イメージの理解」を読み、セルフチェックを実施し、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：自己イメージに関する気づきをまとめ、考察する。
3回	**授業テーマ：パーソナリティと自己効力感** 授業内容：行動と自己効力感について理解する。 自らの自己効力感について把握する。 自己効力感を高めること、成長型マインドセットについて話し合う。 安易に自己効力感を高めることのデメリットについて、話し合う。 事前学修 2.0hr：ワークブック「3．自己効力感」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：成長型マインドセットがパーソナリティ形成に与える影響についてまとめる。
4回	**授業テーマ：パーソナリティの諸理論(類型論と特性論)** 授業内容：パーソナリティの諸理論を理解する。 類型論タイプと特性論タイプのパーソナリティチェックを実施する。 Think-Pair － Share で気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：類型論と特性論、それぞれのパーソナリティのとらえ方についてまとめる。

5回	**授業テーマ：類型論①　遺伝的気質で知るあるがままの自分** 授業内容：類型論の一つである、遺伝的気質の自己チェックを行う。 人格気質とストレス気質の特徴やセルフケアについて理解する。 Think-Pair-Share で、人格気質の違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質の特徴から自らの強みと弱点を理解し、自らの能力を生かすセルフケアをまとめる。
6回	**授業テーマ：類型論②　気質コーチング（あるがままの自分と相手を生かすためのマネジメント）** 授業内容：6 つの気質の組み合わせのパターン毎の重複気質について理解する。 気質コーチングチャートに従って、ペアワークで重複気質の特徴とセルフケアを説明し合う。 Think-Pair-Share で、気質の違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質コーチングチャートを活用し、協力者を得てコーチングを実施する。
7回	**授業テーマ：ニューロダイバーシティー（脳多様性を尊重する）** 授業内容：ADHD 特性と自閉スペクトラム特性について理解する。 ２つの特性のチェックシートを実施し、自らの特性を振り返る。 講義や Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 5 章 「ニューロダイバーシティ（脳多様性）を活かしあう」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：それぞれのニューロダイバーシティの活かされる環境とかかわりを考える。
8回	**授業テーマ：前半の内容についてのまとめ** 授業内容：コースの前半で実施した内容（自己効力感・気質・ストレス行動特性）について、総合的に振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。 「それはなぜ重要と考えたのか」「今後どのように活用するのか」について、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：第 1～7 回までの講義内容を復習し、ポートフォリオのレポートを振り返る。 事後学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、レポートをまとめる。
9回	**授業テーマ：パーソナリティとストレス①（ストレス行動特性）** 授業内容：ストレスを生み出しやすい特性と、ストレスを活用できる特性について理解する。 ストレス行動特性を実施し、自らの特性を理解する。 講義や Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 1.0hr：ワークブック 6 章「ストレス行動特性からレジリエンス型特性へ」をよく読み、疑問点を明確にする。 事後学修 3.0hr：自分自身のストレスパーソナリティの特徴をまとめ、考察する。理解が不十分であった内容を、再度復習する。
10回	**授業テーマ：パーソナリティとストレス②　（メンタルヘルスコーチング）** 授業内容：メンタルヘルスコーチングをガイドラインを参考に、相手のストレス行動特性について説明する。 相手に対し、どのようなストレス反応が生じやすく、それはどのようなストレス行動特性が関連しているのかについて説明する。 事前学修 2.0hr：ワークブック 8 章「メンタルヘルスティーチング＆コーチング」をよく読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：メンタルヘルスコーチングを協力者 2 名に実施し、その結果を考察する。
11回	**授業テーマ：ストレス反応とストレスコーピング** 授業内容：ストレス反応の種類、よいストレスと悪いストレス、ストレスコーピングについて理解する。 自分自身のストレスコーピングは、問題解決型か否か、情動コントロール型か否かについて振り返る。 ストレスコーピングの気づきを、Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 7 章 「ストレス反応とストレスコーピング」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：実行可能な積極的対処型のストレスコーピングを具体的に考えて、レポートにまとめる。
12回	**授業テーマ：タイムマネジメントによるストレスマネジメント** 授業内容：なりたい自分、ありたい自分について考えてみる。 有限な時間を、何を大事に生きるかに見通しを持つ。 ストレス関数によるストレスマネジメント理論を理解する。 具体的なストレスマネジメントを考え、Think-Pair-Share で気づきを深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック９章 「タイムマネジメントによるストレスマネジメント」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.5hr：レジリエンスを高める対処を復習し、実践する。
13回	**授業テーマ：Well-being のためのストレスマネジメント** 授業内容：気分が落ち込んだ時やストレスを抱えた時のセルフマネジメントの理論を理解する。 4 種類のストレスマネジメントシートを、セルフワークで実施する。 セルフワークでの気づきを、Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 10 章 「Well-being のためのストレスマネジメント」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.5hr：講義内で実施したワークを再度実施し、どのような気づきを得たのかをまとめる。
14回	**授業テーマ：Healthy Personality を育む** 授業内容：どのような要素が Healthy Personality につながるかを理解する。 自分自身のサヴァイヴァル型のパーソナリティ特性を振り返る。 なりたい自分・ありたい自分に必要な共生型パーソナリティ特性を考える。 気づきを Think-Group-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 11 章「Healthy Personality を育む」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.5hr：なりたい自分・ありたい自分に必要な共生型パーソナリティ特性に関する気づきをまとめる。
15回	**授業テーマ：コース全体のまとめ** 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオに目を通し、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択し、まとめてくる。 事後学修 3.0hr：前向きなライフキャリアにつながるパーソナリティの成長についての最終課題（レポート）を仕上げる。

生命と遺伝子

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

桑山　秀一（くわやま　ひでかず）

▌授業の概要

すべての生物には遺伝子が含まれています。遺伝子の構造は同じであることから、遺伝子の機能はすべての生物の存続にとって必須であることがわかります。本講義の前半では、まず生命の基本単位である細胞の構造や機能を学びます。さらに遺伝子の構造と機能について理解し、「遺伝子と生命」について学修します。中盤では、生命の誕生や進化の歴史を俯瞰しながら、単細胞からヒトのような高度な多細胞体の特徴に至るまでを順を追って学修します。終盤においては、「遺伝子と病気」や「遺伝子と地球環境」をテーマに遺伝子と社会の接点について学修します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：どのような学問においてもそれを行う主体が人間であるかぎり、生物に関する理解は必須です。本講義では、生命の営みに必須である遺伝子の構造や機能、その重要性について理解します。遺伝子を理解することにより、「生命とは何か？」という基本的かつ根源的な問いに対して自分なりの考察できるようになることを一般的な目標にします。

個別目標：授業を理解することにより、まず「生命とは何か？」という問いに興味を持つことを目標とします。本授業を履修することにより、「遺伝子と自分」との接点について考察し、今後自らの専攻する学問分野における諸問題を生物学的視点で考察できるようになることを個別目標とします。

個別目標：授業を理解することにより、まず「生命とは何か？」という問いに興味を持つことを目標とします。本授業を履修することにより、「遺伝子と自分」との接点について考察し、今後自らの専攻する学問分野における諸問題を生物学的視点で考察できるようになることを個別目標とします。

▌履修条件

生物や生命現象に興味があることを履修条件とする。

▌評価基準・方法

成績は、定期試験（70 %）とその他（出席、事後学修（レポート、授業態度）（30 %）の結果に基づき総合的に判断する。

単位取得の最低条件は、講義の 5 分の 4 以上（15 回の講義中 12 回）の出席（講義の出席と学習支援システム『manaba』によるレポートの提出により完結）と定期試験（『manaba』上で行う）の参加とする。

▌フィードバック方法

講師への質問や要望、欠席連絡等は、講師への電子メールや学習支援システム『manaba』の個別指導コレクションを通じて行うことができる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業中における講師から聴講生への質問や学生間における討論）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし

▌参考書

Biology: A Global Approach、Global Edition、Molecular Biology of the Cell 第７版、ゲノム（Genomes）第４版等

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イダンス、および「生命」とは何か？ という問いに対する最初の考察** 授業内容：ガイダンス（本講義の目的と概要） 本講義の目的と概要についての説明。 「生命とはなにか？」について一緒に考察する。 事前学修 2.0hr：自分が知っている生命現象をまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
2 回	**授業テーマ：細胞の構造** 授業内容：細胞の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：細胞とは何かについて、自分の知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
3 回	**授業テーマ：細胞の機能** 授業内容：細胞の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：細胞内では一体何が起こっているのかを自分なりに考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
4 回	**授業テーマ：遺伝子とは何か？** 授業内容：遺伝子とは何か？ ついて一緒に考察する。 事前学修 2.0hr：現在の遺伝子に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
5 回	**授業テーマ：遺伝子 DNA の構造** 授業内容：遺伝子 DNA の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：自身の DNA に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
6 回	**授業テーマ：遺伝子 DNA の機能** 授業内容：遺伝子 DNA の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：DNA の働きに関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
7 回	**授業テーマ：タンパク質の構造** 授業内容：タンパク質の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：タンパク質の構造に関する知識について整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
8 回	**授業テーマ：タンパク質の機能** 授業内容：タンパク質の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：タンパク質の機能に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解

9回	**授業テーマ：細胞が環境を感じるしくみ** 授業内容：細胞が環境を感じるしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：細胞が環境を感じるしくみについてまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
10回	**授業テーマ：細胞が動くしくみ** 授業内容：細胞が動くしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：細胞が運動するためには何が必要かを考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
11回	**授業テーマ：がん細胞** 授業内容：がん細胞について学修する。 事前学修 2.0hr：がんとは何かを生物学的に考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
12回	**授業テーマ：幹細胞とは何か？** 授業内容：幹細胞や iPS 細胞とは何か？ とそれらの医学的、社会的意義について学修する。 また、これらの事を理解するために細胞分化についても学修する。 事前学修 2.0hr：幹細胞や iPS 細胞について事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
13回	**授業テーマ：多細胞体生物の特徴と構造** 授業内容：多細胞体生物の特徴と構造について学修する。 また、単細胞から多細胞への生物進化に必要な細胞機能とその意義を学修する。 事前学修 2.0hr：単細胞と多細胞の違いをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
14回	**授業テーマ：遺伝子と地球環境** 授業内容：遺伝子と地球環境との関わりについて討論する。 事前学修 2.0hr：遺伝子と地球環境についてまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
15回	**授業テーマ：「生命と遺伝子」についての討論** 授業内容：各人の専門分野と「生命と遺伝子」との関連についての討論 事前学修 2.0hr：自身の興味や専攻分野と生命あるいは遺伝子との関わりを考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義前と講義後で自身の遺伝子に対する考え方の変化をまとめる。

スポーツ科学講義 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜アスリートの科学＞
世界で活躍するアスリートの心・技・体に焦点を当てる。実在するアスリートやその実話をもとに「競技スポーツ」の知られざる全貌に迫る。いまや、トップアスリートにとってスポーツ科学の導入は、必要不可欠である。試合の結果のみならず、そこに辿りつくまでのプロセスも実に興味深い。これを知れば、スポーツを「みる」ときの楽しさが倍増するだろう。授業では、動画、スライド、資料を存分に活用し、「アスリートの科学」を学ぶ。授業は、アカディミックアプローチによる interacitve な対話形式で行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：競技スポーツを「みる」ことで「人生を歩んでいくためのヒントを得る」ことができるようになる。
個別目標：正解のない問いに挑む。

▌履修条件

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。
但し、特段の事情のある者は、担当教員に直接コンタクトをとること。
教科書の購入を必須とする。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
授業への参加姿勢・課題レポート・教科書の活用度・アカディミックアプローチ (50%) および最終アカディミックアプローチ or 最終レポート (50%) の結果に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教科書・授業資料を活用した対話(アカディミックアプローチ)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方および留意点 事前学修 2.0hr：講義概容を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：教科書　1 章・6 章・7 章・8 章・9 章を読み、授業内容の総論について、理解する。
2 回	**授業テーマ：スポーツを考える** 授業内容：競技スポーツとは 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「スポーツの力」について、自分の意見や考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：スポーツとアスリート** 授業内容：競技スポーツにおける science and art 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「競技スポーツにおける science and art」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
4 回	**授業テーマ：スポーツリテラシー** 授業内容：体育とスポーツの連続体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「体育とスポーツの連続体」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
5 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの心を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの心を」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
6 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの技を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの技」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
7 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの体力・運動能力を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの体力・運動能力」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
8 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの才能を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの才能」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
9 回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：走高跳びのイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「走高跳びのイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
10 回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：水着のイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「水着のイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。

11回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：陸上競技アンダーハンドパスのイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「陸上競技アンダーハンドパスのイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
12回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：ドーピングとアンチドーピング 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「ドーピングとアンチドーピング」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
13回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：テクノロジーの発達と人間の真価 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「テクノロジーの発達と人間の真価」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
14回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツ文化を知る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「スポーツ文化」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
15回	**授業テーマ：スポーツ科学リテラシー** 授業内容：人生を歩くヒントを得る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：スポーツ科学・アスリートから、人生を学ぶ

スポーツ科学講義 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆講義授業◆【映像に学ぶエンターテイメントの世界】～ステージとエンターテイメント産業～（前学期 月 1）
本講義は、ショービジネスやエンターテインメント産業の発展を、社会の変遷（歴史）とともに学んでいく授業です。 主な内容として、ダンスやミュージカルの発展、ウォルト・ディズニーの人生と偉業、ミュージックビデオの歴史、伝統芸能、そして巨大なエンタメイベント（グラディエーター、オリンピック等）について取り扱います。 映像資料を通じて、クラウド・ネット時代におけるこれからのエンタメ産業の将来を考えていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：エンターテインメントや舞台表現の発展史を学ぶことで、人間の「遊び」「欲望」「楽しさ」の本質について考察します。その上で「今後どのようなエンターテインメントが流行るのか？」という問いへの答えを探求していきます。多くの歴史的な映像資料や AI が持つ最新の知見を活用しながら、時代の先を読む力（将来を見つめる力）を養うことを目標とします。
個別目標：①歴史の把握：古代から現代までのエンタメ史の流れを理解し、その時代の背景を説明できる。
②偉業に学ぶ：ウォルト・ディズニーの生涯と、彼が生んだ革新的なビジネスモデルを解説できる。
③遊びの考察：「楽しさ」や「遊び」の視点から、エンタメが社会に果たす役割を自分の言葉で論じられる

▌履修条件

映像やステージを観るのが好きな方、エンタメの裏側を知りたいと思う方をお待ちしています。感性を豊かにしたいという意欲的な学生を歓迎します。

▌評価基準・方法

本講義は定期試験（テスト期間中の試験）を行わず、日々の取り組みを重視して評価します。
授業ごとの課題（60%）： 毎回の授業内で行う記述課題
事前・事後学習（40%）： manaba を利用した予習・復習課題
【重要：評価の条件】
全 15 回のうち、12 回以上（4/5）の出席が成績評価（D ～ S）の必須条件です。
定期テスト期間中にテストがない分、毎回の授業課題と manaba での学習にしっかりと取り組んでください。

▌フィードバック方法

本講義では、授業への感想や意見を manaba の「プロジェクト」欄に投稿してメンバー全員で共有し、お互いの投稿にコメントし合うことなどで、多角的な視点からフィードバックを行います。 教員サイドからも、皆さんの投稿やコメントに対して授業内で紹介したり、補足解説を行ったりすることで、全体の理解度を高めていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中に manaba を利用しますので、スマホ、タブレット、PC 等をご持参ください。）

▌教科書

特段にありません。

▌参考書

適宜、ご紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：授業の説明、エンタメ産業、そして映像の世界** 授業内容：エンターテイメント産業とは？ どんなジャンルがあるのか？ 授業の全体を概観します。 事前学修 2.0hr：シラバスを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
2 回	**授業テーマ：エンターテイメントを創る！　東京ディズニーランド開園とディズニー作品の成長の秘密** 授業内容：東京ディズニーランドがどのように浦安の地に存在するようになったのか？、ディズニーの作品の成長の秘密も考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：ディズニー作品がヒットする秘密を考えてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
3 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「ミッキーマウスの誕生」と 1920 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その１　ミッキーマウスが誕生する 1920 年代。 事前学修 2.0hr：1920 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
4 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「アニメーションのパイオニア」と 1930 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その２　ディズニーといえばアニメーション！「白雪姫」誕生。 事前学修 2.0hr：1930 年代　50 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
5 回	**授業テーマ：授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「戦争と混乱の時代」と 1940・50 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その３　ウォルトも社会も戦争に影響され混とんとした年代。 事前学修 2.0hr：1940、50 年代のアメリカを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
6 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「“夢の国” ディズニーランド」と 1960 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その４　夢の国の完成（1955）、そして、、、。 事前学修 2.0hr：1960 年代のアメリカを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
7 回	**授業テーマ：ディズニーの挑戦：ディズニーシーとディズニーファンタジースプリングス** 授業内容：世界唯一のコンセプトを持つ「東京ディズニーシー」の独創性と、最新エリア「ファンタジースプリングス」が提示する次世代の没入体験を分析します。ゲストの期待を超え続けるための絶え間ない革新とブランド戦略を考察します。 事前学修 2.0hr：ファンタジースプリングスの作品の世界観を予習してください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
8 回	**授業テーマ：日本のアニメがなぜ世界中で愛されているのか。** 授業内容：アニメが「日本という国」のイメージをどう変え、世界を動かしているのかを考えます。 事前学修 2.0hr：現代に流行っているアニメの内容がどのようなものか調べてきてください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

9回	**授業テーマ：エンターテイメント産業とアニメ：アメコミの世界と日本のアニメ** 授業内容：アメリカンコミックス、特にマーベルはどのように発展したのか？　社会状況の変化とともに理解していきます。 事前学修 2.0hr：世界におけるアニメの発展状況について調べてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
10回	**授業テーマ：ヒップホップの発祥は、いつ、どこで？** 授業内容：アメリカの貧困街で生まれた音楽が、なぜ世界中の若者の「代弁者」になったのか。SNS 時代の新しい「声」の上げ方を学びます。 事前学修 2.0hr：ヒップホップ音楽、ラップは、何を言おうとしているのか触れてきてください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
11回	**授業テーマ：アイドルってなんでしょう。** 授業内容：そもそもアイドルって何でしょう。日本のアイドル文化との違いや、国を挙げた「推し」ビジネスの凄さを分析します。 事前学修 2.0hr：世界のアイドル事情につてい予備知識を入れてきてください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
12回	**授業テーマ：ミュージックｖｉｄｅｏの登場：KING OF POP マイケル・ジャクソンと音楽の表現者たち** 授業内容：アーティスト(歌手・俳優等)の社会へのメッセージを読み解く：マイケル・ジャクソンは何を残したのか？ 事前学修 2.0hr：ご自身の好きなアーティスト(歌手・俳優等)の社会へのメッセージとは何か考えてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
13回	**授業テーマ：ダンスの歴史を知る「ザッツ・ダンシング！」と映画産業** 授業内容：映像産業の歴史を理解する。ダンスはいつごろからはじまった？ ダンスの発展について理解します。 事前学修 2.0hr：今流行っているダンスはどんなダンス？ ダンスの発展について考えてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
14回	**授業テーマ：古典の伝承：歌舞伎　市川團十郎　そして新作歌舞伎** 授業内容：日本には、多くの古典芸能・伝統芸能があります。能(のう)・狂言(きょうげん)歌舞伎(かぶき)等々。特に日本の代表的な舞台作品として「歌舞伎」があります。近年では、アニメの題材を用いたり。変化する歌舞伎世界についても理解していきます。 事前学修 2.0hr：歌舞伎の映像を見てくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
15回	**授業テーマ：将来に残したい記憶・記録・出来事　まとめのテスト** 授業内容：後世に残したい記憶・記録・映像・出来事ってどんなことでしょう。過去を理解し、そして未来を紡ぐ。エンタメ世界の視点からまとめてまいります。 事前学修 2.0hr：将来に残したい記憶・記録・出来事をあげてみましょう。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

スポーツ科学講義 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜健康スポーツの科学＞
スポーツの魅力は、「する」ことにあるといってよい。もともとスポーツには、遊び感覚で身体を動かすこと、それ自体に楽しさがある。また、体力年齢の低下を緩やかにしたり、生活習慣病も予防できる。実際にスポーツを実践している人たちは、心身共に健康な生活を送るために、日常生活の限られた時間の中で、真剣に楽しみ一所懸命に遊んでいる。授業ではスライド、資料を存分に活用し、「健康スポーツ科学」を学ぶ。なお、本授業は、社会の情勢を鑑み、学生対応(対面・遠隔)を機動的に行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：健康スポーツを「する」ことで、人生を歩んでいくときに欠かせない健康と体力をキープしていくことの重要性が理解できる。また、生涯を通じて実践するスポーツ種目の KNOW HOW と、身体とスポーツとの関係についても考えることができる。そして、「わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える」について、まとめられる。
個別目標：正解のない問いに挑む。

▌履修条件

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。
但し、特段の事情のある者は、担当教員にコンタクトをとること。
教科書の購入を必須とする。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
授業への参加姿勢・課題レポート・教科書の活用度 (50%) および最終レポート (50%) の結果に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教科書・授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方と留意点 事前学修 2.0hr：講義概容を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：教科書　1 章・2 章・3 章・4 章・5 章・9 章を読み、授業内容の総論について、理解する。
2回	**授業テーマ：スポーツと健康・体力** 授業内容：運動不足と生活習慣病　健康と体力を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「運動不足と生活習慣病　健康と体力を考える」について、自分の意見や考え、思いをまとめる。
3回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：スタミナのある身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「スタミナのある身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
4回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：力強い身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「力強い身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
5回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：しなやかな身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「しなやかな身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
6回	**授業テーマ：身体を都整える** 授業内容：骨・筋肉　女性の「やせすぎ」にご用心 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「骨・筋肉　女性のやせすぎ」について、自分の意見や考えをまとめる。
7回	**授業テーマ：身体を整える** 授業内容：脂肪　肥満を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「脂肪　肥満を考える」について、自分の意見や考えをまとめる。
8回	**授業テーマ：身体を整える** 授業内容：水分　熱中症を予防する 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「水分　熱中症を予防する」について、自分の意見や考えをまとめる。
9回	**授業テーマ：身体を動かす** 授業内容：代表的な有酸素系・フィットネススポーツ 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「代表的な有酸素系・フィットネススポーツ」について、自分の意見や考えをまとめる。
10回	**授業テーマ：身体を動かす** 授業内容：楽しくスポーツをする 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「楽しくスポーツをする」について、自分の意見や考えをまとめる。

11回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツは文化　スポーツと健康寿命社会　スポーツとまちづくり 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツは文化　スポーツと健康寿命社会」について、自分の意見や考えをまとめる。
12回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：フィジカル・リテラシー 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「フィジカル・リテラシー」について、自分の意見や考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツの未来を育てる① 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツの未来を育てる①」について、自分の意見や考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツの未来を育てる② 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「スポーツの未来を育てる②」について、自分の意見や考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：科学知を生活知へ** 授業内容：わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える」について、自分の意見や考えをまとめる。

スポーツ科学講義 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆講義授業◆【映像に学ぶメディアとしての身体】～社会とともに変化する身体～（後学期 月 1）
本講義では、医学の進歩や価値観の変化によって、私たちの「身体（からだ）」のあり方がどう変わってきたかを考察します。「ネット社会における身体」「整形やサイボーグ化する身体」「男らしさ・女らしさとジェンダー」「命の尊厳」など、現代を生きる私たちの体の「今」を、豊富なビデオ資料を通じて探ります。 身近なテーマから、自分という存在や社会のあり方を一緒に考えていきましょう。（※進行やクラスの状況により、内容を調整する場合があります）

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：人生を豊かにする「身体への視点」と「思考力」を養う授業。
本講義では、自分の「身体（からだ）」を広く豊かに捉え直すための、しなやかな感性と考える力を身につけます。 映像資料を通じて感じたことや考えたことを言葉にし、他者の意見に触れることで、さらに自分の考えを深めていく「探求する力」を高めていくことを目標とします。
個別目標：①社会の課題に気づく：医療や人権など、ニュースになるような社会問題が「自分たちの体」にどう関わっているかを理解できる。
②身近な変化を見つける：自分の周りにある「体の悩み」や「価値観の変化」を、社会のルールや環境と結びつけて発見できる。
③自分の考えを言葉にする：正解のない複雑な問題に対して、自分なりに考えをまとめ、文章で表現できる。

▌履修条件

「なぜだろう？」と考えることが好きな方、自分の意見を大切にしたい方を歓迎します。正解を求めるのではなく、自分なりの答えを探しながら、前向きに授業に参加してくれる皆さんをお待ちしています。

▌評価基準・方法

成績評価の基準 定期試験（テスト期間中の試験）は行わず、毎回の積み重ねを評価します。
授業ごとの課題（60%）：毎回の授業内での記述課題
事前・事後学習（40%）：manaba を利用した予習・復習課題
【重要：評価の条件】
全 15 回のうち、12 回以上（4/5）の出席が成績評価（D～S）の必須条件です。定期テスト期間中のテストがない分、毎回の課題にコツコツ取り組むことが、良い成績への近道です。

▌フィードバック方法

授業内容への意見や感想を授業メンバーと manaba のプロジェクト欄を使って共有し、manaba の小テスト欄を有効に利用しながら互いにコメントすることによって、授業課題や授業のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中に manaba を利用しますので、スマホ、タブレット、PC 等をご持参ください。）

▌教科書

適宜、提示いたします。

▌参考書

適宜、提示いたします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：授業の進め方　ネット時代　SNS　誹謗中傷** 授業内容：学習の進め方の説明。現代社会が抱える身体をめぐる課題の視点を説明し、授業全体を概観する授業です。身体は、科学技術の進歩によっていよいよ変化し、新しい生活スタイルが創造されていく可能性を持っています。さて、これからの身体と社会は？ 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：授業中に記入したメンバーの全記述を読み、意見、評価を行う。
2回	**授業テーマ：ネット社会１：性の欲望　デジタル技術 “解放” か “堕落” か** 授業内容：ネットの時代。AI の技術によっても “性欲のバーチャル化” が進み、新たな幸福感が生み出されつつあります。ネット社会と人間特有の「性の欲望」について考えてまいります。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェックする。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
3回	**授業テーマ：ネット社会２：オンラインカジノ 底知れぬ闇** 授業内容：オンラインカジノは、インターネットを通じて賭け事を楽しむことができる場所ですが、日本ではオンラインカジノは法律で禁止されています。無意識に巻き込まれてしまうネット社会の闇。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
4回	**授業テーマ：身体を知る１：テストステロン～謎多き男性ホルモン～** 授業内容：AI やデジタル化によって身体をめぐる環境はいよいよ変わってきています。しかしながら、生身の体は、そうは簡単にコントロールできません。特に男性の生活様式に大きな影響を与えている、男性ホルモンといわれるテストステロンについて、理解していきます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
5回	**授業テーマ：身体を知る２：生殖レース：受精までの闘い** 授業内容：” 精子と卵子” の出会いは、意外に大変。現在、結婚希望年齢は「29.4 才」、出産希望年齢は「30.9 才」とのこと。最近では、妊娠を望んでいてもなかなか妊娠できず、不妊に悩んでいる話も多くなっています。受精という視点から人って何だろう？ と改めて考えてみます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
6回	**授業テーマ：身体を知る３：女性の生殖メカニズム** 授業内容：男性と女性の体の違い。一般的には、生殖のメカニズムが大きく異なります。今回は、女性の身体と生活について、理解してみましょう。同時に、「社会的な性」という視点でジェンダーという言葉があります。多様性についても考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

7回	**授業テーマ：生命の意味１：幸せのかたち　出生前診断の現場** 授業内容：出生前診断は、妊娠中におなかの赤ちゃんについて先天性の病気や形態の異常がないかを調べる検査です。最近は簡便に検査ができるようにもなってきました。女性の体に宿った命、赤ちゃんの命、命の選別への懸念。多面的に考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
8回	**授業テーマ：生命の意味２：性と人権：性加害、性的同意を考える** 授業内容：近年　社会の話題となっている性加害。事例を紐解きながら、互いの存在の尊厳について考えてまいりしょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
9回	**授業テーマ：生命の意味３：人の命を守る方法：こうのとりのゆりかご　アメリカの政治と中絶** 授業内容：望まれる妊娠、望まれない妊娠、生む女性の権利、赤ちゃんの人権。日本では、妊娠 21 週 6 日までは、医師の同意があれば中絶が合法的に行われていますが、中絶は多くの国で非常に議論の多い問題となっており、政治的な課題とも言えます。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
10回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって１：尊厳死　安楽死(日本の場合)** 授業内容：人は自分の最後を決めることができるのか？ その１。現在の日本では、安楽死は認められていませんが、安楽死(または医師補助自殺)が合法とされている国や地域にはいくつかあります。基本的な知識を身に着けてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
11回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって２：尊厳死　安楽死 (海外の場合)** 授業内容：人は自分の最後を決めることができるのか？ その２。 世界では、安楽死の合法化に関して大きな動きがあります。オランダ, ベルギー(2002 年), ルクセンブルク:(2009 年) に安楽死が合法化されました。スイスでは、安楽死は明確には認められていませんが、自殺幇助は広く行われそのため、終末期の医療を考慮する日本人がスイスでその選択を求めることがあるようです。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
12回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって３：脳死　移植医療** 授業内容：日本では脳死に関する認識によって、臓器提供者が少ない現状があります。人の死の定義について考えてみましょう。海外では臓器移植は自国の自給自足に務め、移植ツーリズムを禁止するといった流れもあります。移植医療について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
13回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって４：死刑　生きること、生きる権利、そして法整備** 授業内容：人は人を裁くことができるのか？ 考えていきます。多くの諸外国が、死刑を実施しない傾向にあります。日本と世界の死刑制度とを比較しながら考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
14回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって５：サイボーグと人間、オーダーメイド・ベビー** 授業内容：ゲノム編集ってなにをすることでしょう。CRISPR-Cas 9(クリスパー・キャス・ナイン)とは？ どこまで人は人の身体を操作・改造してよいのでしょうか？ 考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
15回	**授業テーマ：まとめ－身体は 21 世紀に何が求められているのか？ 生きること、生きる権利　差別** 授業内容：人の命、生活、法律、、、多様性社会における人の存在について考えていきます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜ビギナーズ ゴルフ＞

10～20 歳代のプロゴルファーの活躍によって、ゴルフのイメージは大きく変わりつつある。ウェアーも華やかになり、ゴルフ場でプレーする女性も増えている。「紳士の社交場」としての景色も変わり、いまや性別・年齢を問わず、多くの人々が、健康スポーツとしてゴルフを楽しむようになった。ゴルフは基礎からきちんと習うと、意外にも短時間で上達する。まずはクラブを握り、振ってみることから、ゴルフの面白さ体験してみる。なお本授業は、社会情勢を鑑み、授業内容に対して機動的な対応を行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ゴルフが教養や趣味として、あるいは将来のために、役立つようにする。これから経験するであろうさまざまな場面（余暇、仕事の一環 “つきあい・接待” としてなど）、ゴルフ場でプレーできる基本的なマナーや、技術などの初歩的な実践能力が身につく。また授業を通じて、相互の協働関係を築いていくことができる。

個別目標：ゴルフを健康スポーツとし実践するために、個々のレベルに応じた楽しみ方およびコミュニケーション能力を習得する。

▌履修条件

ガイダンスに出席し、教員の指示に従うこと（人数調整を行なうので必ず出席すること）。集合教室は、別途指示する。

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。但し、特段の事情のある者は、担当教員にコンタクトをとること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

ゴルフに関する基本的な知識や技能の習得とそれに基づく実践の完成度 (50%) およびコミュニケーション能力 (50%) を総合的に判断する。

▌フィードバック方法

演習時の質疑応答、次回演習

冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料を配布する。

▌参考書

Lecture ゴルフの基礎

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方および留意点 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：授業計画について、確認する。
2回	**授業テーマ：「ゴルフとのつきあい方」を考える。** 授業内容：健康・趣味。社交・仕事など 事前学修 2.0hr：「ゴルフ」について、興味をもち、調べる。 事後学修 2.0hr：「ゴルフのつきあい方」について、自分の目標を明確にする。
3回	**授業テーマ：「ドライバー・アイアン・パターの性能」について、学ぶ。** 授業内容：道具の特性について 事前学修 2.0hr：「ゴルフの用具」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「ドライバー・アイアン・パターの性能」について、理解し、まとめる。
4回	**授業テーマ：クラブ（アイアン）を正しく握って、とりあえず振ってみる。** 授業内容：身体感性を高める 事前学修 2.0hr：クラブ（アイアン）を正しく握れるよう、調べる。 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
5回	**授業テーマ：スイング動作を学習する（正面・背後）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用① 事前学修 2.0hr：スイング動作における身体の動かし方を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
6回	**授業テーマ：スイング動作を学習する（正面・背後）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用② 事前学修 2.0hr：まちがいのないスイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
7回	**授業テーマ：スイング動作を撮影する（正面・背後）** 授業内容：思考脳と作業脳の活用③ 事前学修 2.0hr：まちがいのないスイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
8回	**授業テーマ：スイング動作を分析する（エラーの発見および矯正）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用④ 事前学修 2.0hr：撮影された動画を繰り返し、再生する。 事後学修 2.0hr：スイング動作のエラーを理解する。
9回	**授業テーマ：スイング動作を完成する。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑤ 事前学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
10回	**授業テーマ：学内のグリーンで、 “パター動作” 経験する（パター）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑥ 事前学修 2.0hr：パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング

11回	**授業テーマ：ゴルフ練習場で、“打ち放し” を経験する(アイアン・ドライバー)。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑦ 事前学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
12回	**授業テーマ：ゴルフ独特の「ルールやマナー」を学ぶ。** 授業内容：ルールとレギュレーション 事前学修 2.0hr：試合の進行に関するルールやマーナーについて、理解する。 事後学修 2.0hr：試合の進行に関するルールやマーナーについて、まとめる。
13回	**授業テーマ：宿泊形式で、ゴルフを実践する(ショート・コース)** 授業内容：コミュニケーション能力を養う① 事前学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
14回	**授業テーマ：宿泊形式で、ゴルフを実践する(ショート・コース)** 授業内容：コミュニケーション能力を養う② 事前学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
15回	**授業テーマ：「ゴルフ・人とのつきあい方」** 授業内容：非認知能力の向上 事前学修 2.0hr：ゴルフに関する知識・技能の確認、コミニュケーション能力とは 事後学修 2.0hr：ゴルフ・人とのつきあい方をまとめる

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆ 【コアトレーニング＆リズムタップダンス(動ける身体作り)ベーシック】前学期 火 4 ／水 3
動ける身体とリズム感を身につけたい人向けの講座です。授業では、〇ウォーミングアップとストレッチ　〇コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化　〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどの基礎ステップ習得　〇簡単なステップを組み合わせて、みんなで楽しんで踊るセッションを行います。授業の流れは「up&コアトレーニング」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。ダンス未経験者も安心して参加できます。
●初回火曜 4（4/7）あるいは水曜 3（4/8）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名～15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：リズムの学習を基礎に、多様なダンスの身体の動かし方を習得し、コアトレーニングを通して、健康で美しく動ける身体づくりと意識の向上を目標とします。仲間とコミュニケーションを図り、クラス全体でスキルアップします。
個別目標：①基本的なリズムの取り方や、コア（体の中心軸）を意識した身体の動かし方ができる。
②身体の機能を理解し、自らのボディイメージを作り、活動に活かせる。
③クラスのメンバーと協力し、効果的な学習活動に参加できる。

▌履修条件

定員：10 名～15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、火曜 4（4/7）水曜 3（4/8）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業内容を確認し、明海クラブの収容人数に合わせて人数調整。名簿作成、タップシューズサイズ合わせ、リズムの取り方の基礎を実施。 ●中心課題：授業全体の流れを理解し、自分の目標課題を設定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2回	**授業テーマ：自分の体と向かい合うエクササイズ理論を習得** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス＋カスタネット）→ Down（クールダウン） ●中心課題：明海クラブの設備を利用し、実際に動きながら体の感覚をつかむ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：ストレッチの理論とストレッチポールの使い方を習得** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：ダンスのリズムの基礎を学び、チューブを用いたコアトレーニングを習得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：リズムを身体で刻む方法や身体のパーツの動かし方を習得** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：ジャズリズムの基礎と、ステップ台を使ったコアトレーニングを体感し、動きの精度を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習１（シャッフルステップとフラップ）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：カスタネットとタップダンスの基礎・応用を習得し、スライドボードを使ったコアトレも実践する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習２（連続ターン）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの基礎・応用を習得し、チューブを使ったコアトレーニングで体幹を鍛える。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7回	**授業テーマ：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習３（タイムステップ）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの基礎・応用を習得し、ステップ台を使って連動した動きを体得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する１（基本の動き）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの一連の動きを学び、チューブで体幹の動きを確認する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する２（連続した動き）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：一連の動きを学び、ステップ台で体の正確な動きを確認する。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する３（音楽に合わせる）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：基礎の動きを音楽に合わせて踊り、スライドボードで体幹を強化する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：ダンススキルを高める１（コンパクトに動く）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（応用技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの一連の動きを学び、コンパクトに体を動かす技術を習得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：ダンススキルを高める２（動きの繋ぎに注意）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：ひとつひとつの動きを繋ぎ、流れのあるダンスを体現する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：ダンススキルを高める３（全体の動きに抑揚をつける）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：一連の動きに抑揚をつけ、表現力を向上させる。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習
14回	**授業テーマ：仲間と踊る１（息を合わせる）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：動きの完成度を高め、仲間と合わせる協調性を養う。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：仲間と踊る２（チームでお互いに見せ合う）** 授業内容：Up →コアトレ→発表会→ Down ●中心課題：チームごとにダンスを見せ合い、互いに評価し合い、自分の課題と今後の目標を明確にする。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を確認し、今後の目標をみつける。

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆ 【ストレッチ＆リズムタップダンス（身体感覚向上）ベーシック】前学期 水 4
柔軟でしなやかな身体を作りながら、リズムに乗って踊る楽しさを体験する講座です。授業では、〇身体を整えるストレッチとウォーミングアップ 〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどの基礎ステップ習得　〇簡単なステップを組み合わせて、みんなで楽しんで踊るセッションを行います。授業の流れは「ストレッチ」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。ダンス未経験者も安心して参加できます。
●初回水曜 4（4/8）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名〜15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自分の身体のイメージを創り、しなやかで強い身体づくりの基礎を学びます。特にこのクラスでは、多様なダンスの基本的なテクニックを身につけることを重視します。仲間とコミュニケーションを図りながら、楽しみつつスキルアップを目指します。
個別目標：①基本的なダンスのリズムを理解し、リズムに乗ることができる（カスタネットを奏でながら踊るテクニック、タップダンスの基礎を含む）
②体のストレッチやリラクゼーションの方法を理解し、実践でき
③クラスのメンバーと協力し、効果的な学習活動に参加できる。

▌履修条件

定員：10 名〜15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は　水曜 4（4/8）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業の進め方を確認、明海クラブの収容人数に合わせて名簿作成、タップシューズサイズ合わせ、リズムの取り方の基礎を実施。 ●中心課題：授業への意欲を高め、自分の目標を設定する 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（1）** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：正しい姿勢と足首・腰の柔軟性を意識しながら、明海クラブで実際に動いてみる。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（2）** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：ダンスのリズムの基礎を学ぶ。バランスの良い体幹を感じながら動く 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（3）** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：ジャズのリズムの基礎を学ぶ。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：ダンスムーブメント（1）リズムにのって踊る** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：音楽のリズムを感じ、軽やかに体を動かす楽しさを体感する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：ダンスムーブメント（2）ステップを覚える** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：ステップを意識してリズムに合わせ、動きをつなげる。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7回	**授業テーマ：ダンスムーブメント(3)バランスをとる** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：バランスを意識して、安定した動きと体幹の感覚を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(1)音を出す** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：タップとカスタネットでリズム感を養い、音楽に合わせて軽やかに動く。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(2)音を出しながら動く** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップの基本をマスターし、体にリズムを刻む感覚を養う。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(3)動きを繋ぐ** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップを組み合わせて、流れるような動きを意識する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(4)簡単な一連の動きで踊って** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：一連の動きをつなげ、全体の流れで踊る感覚を身につける。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(1)音楽を通して踊る** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽を通して、リズムや表現力を意識しながら動く。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(2)友達と合わせて踊る** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ペアやグループで息を合わせ、協調性と表現力を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(3)演技を見せあう** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：自分の踊りを披露し、仲間の演技を観察して学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：リズム感が良くなりましたか？ 表現力がつきましたか？** 授業内容：Up →発表会→ Down ●中心課題：ダンス作品を見せ合い、自己評価と他者評価を通じて成長を確認する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を確認し、今後の目標をみつける。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

（Sport in Life に挑戦）
健康管理の手段および生涯スポーツとしての身体活動について、考え実践する。身体活動（スポーツ）を、日常生活の中に採り入れる工夫を個々で行なう。「いかに楽しんで、身体を動かすか」によって、意外なほど簡単に身体活動（スポーツ）を実践できることを体得し、今後の健康・体力づくりに活かしていく。なお授業は、アカディミックアプローチによる interactive な対話形式で行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：健康・体力づくりのひとつの手段として、自分に合った運動種目を選定し、実践する。身体を動かすことの達成感や新しい自分とので出会いを経験する。また授業を通じて、相互の協働関係を築いていく。
個別目標：個々に応じた「運動習慣の確立」を目指す。

▌履修条件

ガイダンスに出席し、教員の指示に従うこと（人数調整を行なうので必ず出席すること）。集合教室は、別途指示する。
履修登録修正期間の登録は、原則認めない。但し、特段の事情のある者は、担当教員に直接コンタクトをとること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
健康スポーツに関する基本的な知識や技能の習得とそれに基づく実践の完成度 (50%) およびコミュニケーション能力 (50%) を総合的に判断する。

▌フィードバック方法

演習時の課題に対する指導、次回演習冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

必要に応じて資料を配付する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：授業計画について、確認する。
2回	**授業テーマ：「健康スポーツ」について考える。** 授業内容：健康体力 事前学修 2.0hr：「健康・体力」について、興味をもち、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツとのつきあい方」について、自分の目標を明確にする。
3回	**授業テーマ：「運動種目①」について、学ぶ。** 授業内容：一人で実践するスポーツとは 事前学修 2.0hr：「一人で実践するスポーツ」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「運動種目の特性」について、理解し、まとめる。
4回	**授業テーマ：「運動種目②」ついて、学ぶ。** 授業内容：複数で実践するスポーツとは 事前学修 2.0hr：「複数で実践するスポーツ」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「運動種目の特性」について、理解し、まとめる。
5回	**授業テーマ：「日常における活動量」を知る。** 授業内容：身体活動とは 事前学修 2.0hr：「身体活動」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
6回	**授業テーマ：「日常における活動量」を知る。** 授業内容：生活活動とは 事前学修 2.0hr：「生活活動」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
7回	**授業テーマ：「健康スポーツ種目の実践①」を考える。** 授業内容：適切な強度・時間・頻度とは 事前学修 2.0hr：「スポーツ種目」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
8回	**授業テーマ：「健康スポーツ種目の実践②」を考える。** 授業内容：適切な強度・時間・頻度とは 事前学修 2.0hr：「スポーツ種目」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
9回	**授業テーマ：「積極的に、動く①」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って個人の記録をとる① 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
10回	**授業テーマ：「積極的に、動く②」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って個人の記録をとる② 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
11回	**授業テーマ：「アプリケーションソフトを使って、動く①」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って、グループで記録をとる① 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「「アプリケーションソフトを使って、スポーツ・運動」を実践する。

12回	**授業テーマ：「アプリケーションソフトを使って、動く②」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って、グループで記録をとる② 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「アプリケーションソフトを使って、スポーツ・運動」を実践する。
13回	**授業テーマ：「フィジカルリテラシー①」を考える。** 授業内容：体育とは 事前学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」を実践する。
14回	**授業テーマ：「フィジカルリテラシー②」を考える** 授業内容：スポーツとは 事前学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」について、深める 事後学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」を実践する。
15回	**授業テーマ：「スポーツとのつきあい方」について学ぶ。** 授業内容：Sport in Life に挑戦 事前学修 2.0hr：「スポーツの意義」「健康・体力」について、再考する。 事後学修 2.0hr：スポーツと健康について、まとめる。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆【コアトレーニング＆リズムタップダンス（動ける身体作り）リズムセッション】後学期 火 4 ／水 3
動ける身体とリズム感を磨き、踊る楽しさを深める講座です。授業では、〇ウォーミングアップとストレッチ　〇コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化　〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどのステップ習得　〇学期の後半には、学んだ動きを組み合わせて、みんなで作品として踊るセッションを行います。授業の流れは「up&コアトレーニング」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。どなたでも安心して参加できます。
●初回火曜 4（9/15）あるいは水曜 3（9/16）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名～15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：リズム感を活かし、多様なダンスの身体表現を習得するとともに、コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化し、動ける身体と表現力をさらに高めます。学んだ動きを組み合わせて、作品として踊る楽しさを体験します。仲間と協力しながら、クラス全体でスキルアップを目指します。
個別目標：①基本的なリズムの取り方やコア（体の中心軸）を意識した動きができる。
②身体の機能を理解し、自らのボディイメージを作り、表現に活かせる。
③クラスのメンバーと協力し、作品として踊る活動を通して学習できる。

▌履修条件

定員：10 名～15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、火曜 4（9/15）水曜 3（9/16）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業内容の確認、明海クラブ収容人数に合わせた人数調整、名簿作成、タップシューズのサイズ確認、リズムの取り方の基礎確認する。 ●中心課題：後期の到達目標を明確にし、自分の課題を再設定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2 回	**授業テーマ：自分の体と向き合うエクササイズ理論の再確認** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：明海クラブの設備を活用し、身体の軸と重心を意識して動く。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3 回	**授業テーマ：ストレッチ理論とリズム** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：ダンスのリズムの基礎と応用を理解し、チューブを使ったコア強化を行う。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4 回	**授業テーマ：リズムを身体で刻む方法や身体のパーツの動かし方をチェック** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：ジャズリズムの強弱を体で表現し、ステップ台を使ったコア連動を体得する。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5 回	**授業テーマ：いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習 1（シャッフルステップとフラップ）** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：基礎動作を着実にできるように、スライドボードで下半身の安定性を高める。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

6回	**授業テーマ：いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習２(連続ターンと体幹の安定)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(基礎タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：連続ターンを安定させ、チューブを用いた体幹強化を行う。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
7回	**授業テーマ：いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習３(タイムステップの深化)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：リズムの正確性とスピードの安定を目指す。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する１(セビジャーナスを踊る)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：基礎から応用へ発展させ、音と動きを一致させる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する２(フレンド・ライク・ミーで踊る)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動きを学ぶ。用具を使ってコアトレーニング(ステップ台)。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する３(動きの繋がりをスムーズ)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽との一体感を高め、表現力を向上させる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する４(コンパクトに動く技術)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：無駄のない動きで音を明確に出す。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する５(作品のまとまり)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：動きの間を意識し、滑らかな構成に仕上げる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する６(抑揚と構成美)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：作品全体に強弱・緩急をつける。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：仲間と作品を踊る** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：チームでの完成度を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：チーム発表・相互評価** 授業内容：Up →コアトレ→発表会→ Down ●中心課題：作品を発表し、相互評価を通して今後の課題を明確にする。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を整理し次の目標を設定する。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆ 【ストレッチ＆リズムタップダンス（身体感覚向上）リズムセッション】後学期 水 4
柔軟でしなやかな身体を作りながら、リズムに乗って踊る楽しさをさらに深める講座です。授業では、〇身体を整えるストレッチとウォーミングアップ　〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどのステップ習得　〇学期の後半には、学んだ動きを組み合わせて、みんなで作品として踊るセッションを行います。授業の流れは「ストレッチ」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。どなたでも安心して参加できます。
●初回水曜 4（9/16）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名〜15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自分の身体のイメージを創り、しなやかで強い身体づくりの基礎をさらに発展させます。多様なダンスの基本テクニックを活かし、学んだ動きを組み合わせて、作品として踊る楽しさを体験します。仲間と協力しながら、より表現力豊かにスキルアップを目指します。
個別目標：①基本的なダンスのリズムを理解し、リズムに乗って踊ることができる（カスタネットを奏でながらの演奏・タップダンスを含む）。
②体のストレッチやリラクゼーションの方法を理解し、実践できる。。
③クラスのメンバーと協力し、作品として踊る活動を通して学習できる。

▌履修条件

定員：10 名〜15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、水曜 4（9/16）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業内容の確認、明海クラブ収容人数に合わせた人数調整、名簿作成、タップシューズのサイズ確認、リズムの取り方の基礎確認。 ●中心課題：後期の到達目標を明確にし、自分の課題を再設定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2 回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（1）** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：明海クラブの設備を活用し、身体の軸と重心を意識して動く。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3 回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（2）** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：ダンスのリズムを理解し、体幹の安定感を高める運動をする 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4 回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（3）** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：ジャズリズムの強弱を体で表現し、ステップ台を使ったコア連動を体得する。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5 回	**授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに（1）リズムにのって** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：基礎動作を応用へ発展させ、スライドボードで下半身の安定性を高める。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6 回	**授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに（2）ステップを使って** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：連続ターンを安定させ、チューブを用いた体幹強化を行う。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7回	**授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに(3)バランスを使って** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：バランスを意識し、安定した動きと体幹の感覚を向上させる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：タップ&カスタネットで軽やかに(1)技術を正確に** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：タップとカスタネットでリズム感を養い、音楽と体を一体化する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(2)ステップを体に** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップをマスターし、体にリズムを刻む感覚を身につける 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(3)動きをつないで** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップを連結し、滑らかで表現力のある動きをつくる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(4)一連の動きで踊って** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：一連の動きを組み合わせ、全体の流れで踊る楽しさを体感する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(1)音楽を通して踊る** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽に合わせ、リズム・表現力・体の動きを連動させる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(2)友達と合わせて踊る** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ペアやグループで息を合わせ、協調性と表現力を高める 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(3)演技を見せあう** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：自分の踊りを仲間に見せ、フィードバックを受けて表現力を磨く 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：チーム発表・相互評価** 授業内容：Up →発表会→ Down ●中心課題：ダンス作品を見せ合い、自己評価と他者評価を通じて成長を確認する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を整理し次の目標を設定する。

ボランティア講義

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川 正純（おがわ まさずみ）

▌授業の概要

ボランティアに興味はあるが、何をすればいいのかわからない、本当に意味があるのか不安、と感じたことはありませんか。本講義では、身近なボランティアから海外での活動までを題材に、ボランティアの意義を考えます。本講義は正解のボランティアを教える授業ではありません。グループワーク、プレゼンテーションを通じて、社会とどう関わるかを、自分で考え続けるための視点を身につける授業です。ボランティアとは誰のための行為なのか、善意は本当に相手のためになっているのか、という問いを持ち続けながら学びます。この講義は「国際貢献論」の内容と一部関連・重複する部分があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：ボランティアのあり方と意義、実際にボランティアをする際に自分が考えて行うべき知識・スキルを身につける。

個別目標：1．ボランティアの意義や役割、社会との関係を理解し、説明できる。

2．ボランティアは誰のために何をするのか、社会とどう向き合うべきかを考え、実践を想定しながらボランティアを行う視点を養うことができる。

グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

▌履修条件

1．国内外のボランティアや社会課題に関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2．グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3．専門知識や経験は不要であり、初めて学ぶ学生も歓迎する。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 %を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。
原則として5分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導（コレクション）などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、プレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：ボランティアとは何かについて** 授業内容：講義の目的、授業、到達目標、評価方法の説明とともに、ボランティアの定義、必要条件、どのような活動があるかについて解説し、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：ボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。課題レポート作成。
2回	**授業テーマ：ボランティアの歴史と社会との関わり** 授業内容：日本におけるボランティアの歴史とボランティアと社会の関わり、大学生としてできるボランティアの活動について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：ボランティアの歴史について関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：スーパーボランティアについて学ぶ** 授業内容：スーパーボランティア尾畠春夫さんの行動や生き方について解説した後、なぜ人は無償で他者を助けるのか、私たち自身にできる社会への関わり方とは何かについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：尾畠春夫さんについて関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：援助する前に考えよう** 授業内容：ワークショップを通して、開発途上国でものやお金を送る援助、援助が現地に与える影響等について考える。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：阪神・淡路大震災と東日本大震災のボランティア** 授業内容：阪神・淡路大震災と東日本大震災を契機とした日本におけるボランティア活動の広がりについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：阪神・淡路大震災と東日本大震災のボランティアについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：地方創成・地方活性化のボランティア** 授業内容：地域・地方の現状と課題、地方創生においてボランティアや外部人材が果たす役割について解説した後、支援する側／される側ではなく、地域と共に生きる関係性（共助）の重要性について意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：地方創成・地方活性化のボランティアについて関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：国際協力とボランティア** 授業内容：国際協力やボランティアが、現地社会・参加者本人・国際社会にどのような影響を与えるかについて解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

8回	**授業テーマ：人の人生・尊厳とボランティア** 授業内容：海外で活動するボランティアの事例から、他者の人生・尊厳と向き合うことの意味を考える。授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
9回	**授業テーマ：JICA 海外協力隊について** 授業内容：JICA 主催の JICA 海外協力隊セミナーを実施し、海外協力隊の事業概要、海外協力隊経験者体験談を聞き、海外協力隊がどのようなものかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：JICA 海外協力隊の関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：ボランティア・コーディネーション** 授業内容：ワークショップを通してボランティア・コーディネーションの重要性と、「される側から見たボランティア」について考える。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：ボランティア・コーディネーションについての関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：在日外国人を支援するボランティア** 授業内容：日本にいる外国人を支援するボランティアに関する課題及び支援の必要性と意義について解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：在日外国人の現状についての関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備** 授業内容：開発途上国でボランティア活動をする際の支援内容について学ぶ。グループワークにより支援内容と裨益効果を考え、第 14 回、15 回の授業で発表するプレゼンテーションの準備を行う。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの作成** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション①** 授業内容：プレゼンテーションは第 14 回と第 15 回の授業で分けて行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション②** 授業内容：第 14 回授業に続き、プレゼンテーションと意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：授業全体のふりかえり。レポート作成。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

伊藤　直樹 (いとう　なおき)

▌授業の概要

本講義は、対話し、議論し、発表する授業です。映画や漫画や自分たちで決めたテーマを題材にして、それについてグループでディスカッションし、その結果をプレゼンテーションしたり、文章にしたりします。
受講生は最初は初対面ですが、他学部であっても、だんだんと知り合いになり、テーマをとおしての議論も深まります。
また、他人に向けて問いを発するさいに、水平的にのみ問うのではなく、垂直的に、つまり深掘りし哲学的に問うことにも注意を払います。機を見て哲学的な話題を取りあげます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：対話する力を養うことです。他人の話しを聞き、それに対して自分の考えを話す。そして自分の考え方を相対化し、深めてゆくことです。
そしてそれを文章にする。
個別目標：質問する力をつけることです。人の話を聞くときに、ただ聞くのではなく、質問するつもりで聞く。
そしてその質問を自分にも振り向けます。すると、考え方が深まります。そしてそれを文章にする。それが「考えること」になるのです。
この作業をあるテーマでおこなったり、「映画」でおこなったりします。

▌履修条件

ディスカッションし、対話し、プレゼンテーションすることが授業内容です。言語は日本語を用いますので、それに十分な日本語力があることが条件です。また人前で話すことになりますので、それができることも条件です。ただ、人前で話すのがあまり得意でない人は、この授業をとおして、それを身に付けるというふうに考えてもよいでしょう。

▌評価基準・方法

グループ討議報告レポート 60 %、授業貢献度 40 %です。
レポートは、課題として出されたものの 2 ／ 3 以上を提出しなければ、カウントされません。
「授業貢献度」とは、出席や授業での討論への自発的参加などです。「聞く」だけの受け身的態度では評価は下がってしまいます。
また、4／5以上の出席がないと単位は取れません。
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌フィードバック方法

manaba を用いておこないます。
適宜、前回の授業を取り上げて、再び議論をします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ討議・発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章は PC での作成を推奨しています。）

▌教科書

教科書として使用しませんが、次の書籍を参考にします。
梶谷真司『考えるとはどういうことか』幻冬舎新書
梶谷真司『書くとはどういうことか』飛鳥新社

▌参考書

関連する書籍、作品などは授業中に紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義内容の説明** 授業内容：講義内容について説明します。単位の取得の条件、授業の展開、心構えなどについての説明です。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：議論することなどについて、自分なりのイメージをつくる。
2回	**授業テーマ：自己紹介と質問ゲーム：自己紹介を質問ゲームを使って行います。** 授業内容：自己紹介を、質問ゲームで行います。紹介者に質問をしますが、よりよい質問のみが、紹介者によって答えられます。どのような質問をすれば、答えてもらえるかを考えながら質問します。 事前学修 2.0hr：自己紹介する内容を考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを書く
3回	**授業テーマ：哲学対話についての説明：哲学対話とはどのようなものかを説明します。またレポートの書き方についても説明します。** 授業内容：哲学対話について、紹介ビデオを観ながら説明します。哲学対話のテーマを決めます。 残った時間で、レポートの書き方についても説明します。 事前学修 2.0hr：哲学対話について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：第 1 回「哲学対話」：設定されたテーマについて、みなで議論します。** 授業内容：前回決めた哲学対話のテーマを、問いのかたちにし、それについて議論します。 事前学修 2.0hr：テーマについて予め、自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：議論したテーマについてエッセイ・レポートを書く
5回	**授業テーマ：前回の哲学対話の内容を文章にします。** 授業内容：文章を書くとはどういうことかを説明した上で、前回の哲学対話の内容を文章にする作業をします。 事前学修 2.0hr：テーマについて予め、自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを仕上げます。
6回	**授業テーマ：あるテーマについてレポートを作成する** 授業内容：課されたテーマについてレポートを作成します。 事前学修 2.0hr：テーマについてあらかじめ自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを仕上げる
7回	**授業テーマ：映画を観て、議論する　第 1 回：議論の題材となる映画を観ます。** 授業内容：映画を観て議論する作業をおこないます。 第 1 回目は、議論するテーマを示したうえで、映画鑑賞をおこないます。 事前学修 2.0hr：映画についての自分なりのイメージをもっておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入

8回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第１回続き：映画の続きを観ます。** 授業内容：前回の映画鑑賞の続きです。 すこし時間が余りますので、映画の内容についておさらいします。 事前学修 2.0hr：前回までの映画内容の確認 事後学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく
9回	**授業テーマ：映画を観て、議論する。第１回の続きです。：設定されたテーマについて議論します。** 授業内容：予め与えられていたテーマに沿って、映画について議論します。 事前学修 2.0hr：議論するテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：議論内容についての報告レポート作成
10回	**授業テーマ：ディベート：議論をディベート形式で行います。** 授業内容：ディベートを行います。 ディベートは、予め、賛成／反対の立場を決めたうえで、その立場から議論するものです。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：議論内容についての報告レポート作成
11回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回：映画鑑賞** 授業内容：映画を観て議論する作業をおこないます。 今回も、議論するテーマを示したうえで、映画鑑賞をおこないます。 事前学修 2.0hr：映画について自分なりのイメージをもっておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入
12回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回続き：前回の映画の続きを観る** 授業内容：前回の映画鑑賞の続きです。 すこし時間が余りますので、映画の内容についておさらいします。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入
13回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回：設定されたテーマについて議論する** 授業内容：予め与えられていたテーマに沿って、映画について議論します。 すこし時間を残して、次回の哲学対話のテーマを決めます。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポート
14回	**授業テーマ：第２回「哲学対話」：設定されたテーマについてみなで議論します。** 授業内容：決めてあったテーマについて議論をします。 事前学修 2.0hr：あらかじめテーマについて考えておきます 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを書く
15回	**授業テーマ：レポート講評会：前回書いたレポートを発表し、みなで講評します。** 授業内容：前回のテーマについてのレポートをみんなでもちより、講評会をします。 事前学修 2.0hr：前回書いたレポートを発表できるようにしておきます 事後学修 2.0hr：感想シートの提出

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

【対話で学ぶピアサポート】
このゼミナールでは、ピアサポーターに求められる基礎的な関わり方として、傾聴および省察に着目し、対人支援における基本姿勢を学ぶことを目的とします。ピアサポートとは、年齢や立場、経験などにおいて比較的近い立場にある人同士が、対等な関係のもとで互いに支え合う実践を指します。専門職による支援とは異なり、「援助する側／される側」という固定的な役割分担ではなく、相互性や共感、経験の共有を基盤とする点に特徴があります。具体的には、他者の語りを評価や解釈を加えずに受け止めること、自身および相手の感情や経験を振り返り言語化すること、助ける・助けられるという一方向的関係ではなく、相互性を基盤とした関係性として支援を捉えることを学びます。本ゼミでは、こうしたピアサポートの基礎的理解と実践的態度の形成を目指します。ここでは、専門的知識の習得そのものよりも、日常の中にあふれている支援場面における姿勢や関わり方、そして気づきのプロセスを重視します。対話を通して生まれる小さな変化や揺らぎを丁寧に振り返ることを通して、他者とともにある在り方を探究していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：対話的姿勢に基づくピアサポートの理論と実践を統合し、他者との相互性を尊重しながら、大学という場において支え合いを創出できる基礎的な実践力を身につける。
個別目標：・傾聴・リフレクティング・オープンダイアローグの基本姿勢を説明できる。
・感情・身体感覚・内的対話に気づき、それを言語化できる。
・「助ける／助けられる」という一方向的関係ではなく、相互的関係として支援を捉えることができる。
・困難場面においても、不確かさにとどまりながら対話を継続する態度を示せる。
・学内資源や合理的配慮の視点を踏まえ、必要に応じて「つなぐ」判断ができる。
・小規模なピアサポート企画を立案・実践し、そのプロセスを省察できる。

▌履修条件

他者と共に学習し合う雰囲気を工夫できること。不得意な場合は、必ず相談のこと(一緒に考えます)。
履修希望者が多数の場合は、履修動機をもとに受講者を決定します(最大受講人数 15 名程度)。受講を希望する者は、第 1 回の講義に必ず出席してください(初回に人数調整を行います)。なお、本ゼミでは時間外の課外活動への参加が必要となります。
また、本講義は、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提としています。学修上の困難さがある場合には、個人の努力のみで解決を求めるのではなく、学修環境や参加方法を調整する合理的配慮を行います。配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

本科目では、学修の過程と省察を重視し、ラーニングポートフォリオを用いて評価を行う。
各回のリフレクションや最終回の講義での統合的振り返りをもとに、対話を通して形成された学びを総合的に評価する。
あわせて、自己評価および授業への参加状況を評価に含める。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体ダイアローグとコメントにより実施します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Think-Group-Share　フィールドワーク　ダイアローグ　リフレクティング）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし

▌参考書

講義内で、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーションと学習環境づくり** 授業内容：・このゼミの目的・進め方の共有 ・安心して話すためのルール確認 ・ミニ・リスニング体験(導入) 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、印象に残った言葉を拾う。 事後学修 2.0hr：今日の授業で、安心して話せたもしくは話しにくかった場面を振り返り、感じたことを記述する。
2回	**授業テーマ：「聴く」とは何か** 授業内容：・傾聴の基本 ・「聞く」と「聴く」の違い ・リスニングワーク① 事前学修 2.0hr：「聴いてもらえた」と感じた経験を思い出し、良かった点を整理する。 事後学修 2.0hr：ワークで難しかった点・できた点を整理し、気づきを記述する。
3回	**授業テーマ：大学におけるピアサポート** 授業内容：・大学での実践例 ・専門職支援との違い ・ピアサポートの意義と限界 事前学修 2.0hr：学内で学生同士が支え合っている場面を想像し、知っている点・知らない点を書く。 事後学修 2.0hr：ピアサポートと専門職支援の違い、大学で行う意味を整理する。他大学のピアサポート事例を調べる。
4回	**授業テーマ：感情に注目して聴く** 授業内容：・事実と感情を区別する ・感情・身体感覚への気づき ・リスニングワーク②(感情から期待や要求を明確にする) 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。最近の出来事を一つ選び、事実と気持ちを分けて書いてみる。 事後学修 2.0hr：感情から期待や要求を明確にする聴き方を試し、レポートにまとめる。

5回	**授業テーマ：リフレクティング(会話に関する会話)** 授業内容：・内的会話と外的会話 ・話す・聴くを分ける ・リフレクティングワーク 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：リフレクティングの体験をまとめる。
6回	**授業テーマ：当事者性と対等性** 授業内容：・「同じ立場」とは何か ・分かったつもりの危うさとわからないを深める力 ・わかったつもりのダイアローグ 事前学修 2.0hr：「わかる」と言われ違和感の経験を振り返り、まとめてくる。 事後学修 2.0hr：当事者性のメリット・難しさ、対等な関係について整理する。
7回	**授業テーマ：中間リフレクション** 授業内容：前半の学びを Think-Pair-Share で言語化する。 これまでの学びの整理／変化の振り返り／リフレクティング② リフレクティング・トークの気づきを、全体でシェアする。 事前学修 2.0hr：第 1 ～ 6 回の manaba のリフレクションを読み返し、自分の変化を見つける。 事後学修 2.0hr：ピアサポートの基本姿勢や聴き方・関わり方の変化と今後の課題をまとめる。
8回	**授業テーマ：困ったときの対応とつなぎ** 授業内容：・一人で抱え込まない ・相談と連携 ・学内資源の活用 事前学修 2.0hr：困ったとき誰に相談してきたかを振り返る。 事後学修 2.0hr：相談・連携についての気づきをまとめる。
9回	**授業テーマ：支援者のセルフケア** 授業内容：・感情労働とは ・こころのセルフケア(レジリエンスとストレスマネジメント)の理論と実践 ・セルフワークやペアワークで、ストレスマネジメントを体験する。 事前学修 1.5hr：これまでに、こころのセルフケアとして、自分なりにどのようなことをやってきたかを振り返る。 事後学修 2.5hr：こころのセルフケアを 1 週間続けてみる(トライアル)。その結果についてまとめる。
10回	**授業テーマ：２つの問題対処** 授業内容：・2 種類の問題対処力(ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティ)について理解する。 ・ポジティヴ・ケイパビリティによる問題対処法について、セルフワークを通して身に着ける。 ・ネガティヴ・ケイパビリティによる問題対処法について、ダイアローグを通して、考える。 事前学修 1.5hr：ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティに関する資料を事前に読み、疑問点を明らかにしてくる。 事後学修 2.5hr：ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティを日常の中で活用し、その事例についてまとめる。
11回	**授業テーマ：オープンダイアローグ** 授業内容：・オープンダイアローグの基本的考え方(概要) ・「答えを出さない」「不確かさにとどまる」姿勢 ・ミニ・ダイアローグ体験(話す人／聴く人／観察者) 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：今日の対話で印象に残った「沈黙」や「言葉」を振り返り、オープンダイアローグ的な聴き方についての気づきを記述する。
12回	**授業テーマ：障がいと合理的配慮** 授業内容：・公正な社会(差別や抑圧のない社会)と多様性尊重社会について考える。 ・新しい社会における障害支援やピア・サポートを考える。 事前学修 1.5hr：日本や世界の多様性尊重社会の取り組みや背景について調べてくる。 事後学修 2.5hr：新しい社会における障害支援やピア・サポートに関する考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：ピアサポートを実践する①** 授業内容：・これまでの学びを踏まえ、学内でのピアサポート企画を立案する。 ・目的・対象・方法・ルールを検討する。 ・合理的配慮の視点を含めた参加設計を考える。 ・グループ間でリフレクティングを行い、改善点を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでの学びを振り返り、実践したいテーマを考えてくる。 事後学修 2.0hr：企画の強みと改善点を整理し、次回に向けた目標をまとめる。
14回	**授業テーマ：ピアサポートを実践する②** 授業内容：・ピアサポート企画を実践する。 ・実践後、リフレクティングを行う。 ・対話の中で起きたことを共有し、学びを統合する。 事前学修 2.0hr：自分の役割を確認し、想定される困難を整理する。 事後学修 2.0hr：実践を振り返り、気づきと今後の課題をまとめる。
15回	**授業テーマ：ピアサポート実践のまとめとリフレクション** 授業内容：・実践の中で生じた気づき、関係の変化、困難への対応を共有する。 ・対話的姿勢や相互性の観点から、自身の学びを整理する。 ・今後の学内でのピアサポートの可能性を検討する。 事前学修 1.5hr：実践時の記録やポートフォリオを読み返し、印象に残った場面を整理する。 事後学修 2.5hr：ピアサポート実践を通して得た学びと今後の課題をまとめ、最終レポートとして提出する。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆少人数トークゼミ◆【エンターテイメント文化研究ゼミ～ディズニーの経営学を中心に～】(前学期 月２　/後学期 月２)
このゼミでは、ディズニーの「おもてなし」や「組織のしくみ」に関するテキストを読み解きながら、これからのエンタメ産業や遊びの文化がどう変わっていくのか、テキストのプレゼンや仲間との対話を通じて自分の考えを深めていきます。
「ディズニーについて語りたい」「経営の基本を知りたい」「エンタメビジネスに興味がある」という方の参加をお待ちしています。
重要(人数調整)：初回に 12 名～ 15 名程度の人数調整を行いますので、履修希望者は必ず出席してください。
初回日程：【前学期】4 月 6 日(月 2)／【後学期】9 月 14 日(月 2)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ゼミナール【Seminar】とは、少人数の学生が集まり、教員の指導のもとで自ら調査・研究を行い、発表や討論を通して理解を深めていく授業形態です。
本ゼミでは、ディズニーを中心としたエンターテイメント文化と、その背景にある経営学およびマネジメントの考え方について学びます。トーク形式の議論を重ねることで、物事を多角的に分析する力を養い、エンターテイメントを社会・経済・文化の視点から捉える広い視野を身につけることを目標とします。
個別目標：① アミューズメント産業およびエンターテイメント産業の現状について、基礎的な知識をもとに説明することができる。
② 米国ディズニーの経営システムを理解し、その考え方を他の分野や事例に応用する視点をもつことができる。
③ 仲間と協働しながらテーマに沿って対話・ディスカッションを行い、その内容を整理してプレゼンテーションすることができる。

▌履修条件

履修者は 12 名～15 名程度。ディズニーが好きな方、エンターテイメント産業の経営に強い興味・関心をもつ方を歓迎します。
履修を希望する学生は、前期は 4 月 6 日(月 2)、後期は 9 月 14 日(月 2)の初回授業に必ず出席してください。
本ゼミは少人数のトークゼミであるため、原則として欠席を避け、継続的に参加しながら、一歩一歩学びを積み重ねていきましょう。

▌評価基準・方法

成績評価は、授業への参加姿勢(60 %)、クラス仲間とのコミュニケーション(30 %)、および学修内容の理解や到達度(10 %)を基準とし、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

個人またはグループでの発表を予定しているため、manaba のプロジェクト機能や小テスト機能を活用し、情報や意見の共有を行いながら、授業内容に対するフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回メンバー同士のディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （発表担当者はプレゼン資料を作成し、プレゼンしていただきます）

▌教科書

「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法 (日経ビジネス人文庫) 」ディズニー・インスティチュート (著) を利用しますが、教員が用意します。

▌参考書

「どんな人も活躍できる ディズニーのしくみ大全」大住 力 (著)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：セレクション(人数調整)とミーティング** 授業内容：初回授業では、セレクション(人数調整)およびオリエンテーションを行い、授業内容について確認します。履修希望者が定員(12 名～15 名程度)を超えた場合は、志望動機等を確認したうえで、適正な人数に調整します。 メンバー決定後は、各自の興味・関心について情報交換を行い、今後の授業の進め方やゼミの展開について確認します。 事前学修 2.0hr：シラバスを理解してくる。 事後学修 2.0hr：自分の好きな分野の遊び文化の状況をリサーチする。
2回	**授業テーマ：遊びの文化とはなにか？ アミューズメント産業・エンターテイメント産業とはなにか？** 授業内容：「遊びの文化とは何か」「アミューズメント産業およびエンターテイメント産業とは何か」をテーマに、基礎的な概念についてディスカッションを行います。あわせて、テキスト『ディズニーが教える お客様を感動させる最高の方法(日経ビジネス人文庫)』を用いた学修を開始します。 事前学修 2.0hr：遊び(Play) の定義について考えてくる。 事後学修 2.0hr：遊びの定義をまとめる。
3回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(1)―ミッキーマウスの誕生―** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、創業者であるウォルト・ディズニー(Walt Disney、1901 年– 1966 年)について理解します。本回では、ウォルト・ディズニーの人物像と、ミッキーマウス誕生の背景を中心に取り上げます。あわせて、テキスト『ディズニーが教える お客様を感動させる最高の方法(日経ビジネス人文庫)』について、今後の発表分担を決定します。 事前学修 2.0hr：興味のある遊びネタ・話題を調べる。 事後学修 2.0hr：アミューズメント産業・エンターテイメント産業の広がりをまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
4回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(2)―アニメーションの創造―** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、ディズニーにおけるアニメーション創造の卓越性と、その背景にある発想や価値観について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーの実績(作品)について調べてくる。 事後学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーの作品を観てくる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
5回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(3)ー混乱の社会における表現ー** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、戦争という時代背景のもとでの表現活動や、社会の混乱の中で示されたウォルト・ディズニーの生き方や思想について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：ディズニー社の歴史的展開を調べてくる。 事後学修 2.0hr：ウォルトが残した格言について調べておく(発表担当はプレゼン資料を作成)。
6回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(4)ディズニーランドの建設** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、1955 年に開園したディズニーランドの建設過程と、「夢の国」が誕生するまでの構想や挑戦について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：ウォルトの人となりをまとめておく(発表担当はプレゼン資料を作成)。

7回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(1)ゲストロジーとゲストとの約束** 授業内容：テキストの内容をもとに、「ゲストロジー」および「ゲストとの約束」という概念について理解を深めます。また、ディズニーリゾートとユニバーサル・スタジオ・ジャパンの強みを比較し、エンターテイメント施設における顧客体験の特徴について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
8回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(2)第一印象** 授業内容：テキストの内容をもとに、「第一印象」の重要性について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察を深めます。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
9回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(3)サービスのカスタマイズ** 授業内容：テキストの内容をもとに、「サービスのカスタマイズ」という視点から、ディズニーにおける顧客対応の特徴について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについてメンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
10回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(4)セットとは** 授業内容：テキストの内容をもとに、「セット」という概念について理解を深め、ディズニーにおける空間演出や体験設計の特徴について考察します。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについてメンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して理解を深めます。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
11回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(5)効果と五感** 授業内容：テキストの内容をもとに、ディズニーの演出が生み出す「効果」と五感を通した顧客体験について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
12回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(6)ゲストの不満** 授業内容：テキストの内容をもとに、ゲストの不満やクレームへの対応の重要性について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：担当するフィールドワーク研究対象の調査方法・段取りを考えてくる。
13回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(7)不満を解消する** 授業内容：テキストの内容をもとに、ゲストの不満をどのように解消し、感動体験に変えていくかについて理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
14回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(8)クオリティ・サービス** 授業内容：テキストの内容をもとに、ディズニーが提供するクオリティの高いサービスについて理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
15回	**授業テーマ：まとめ：ディズニー社はどこにいくのか？** 授業内容：全体を通じて学んだ内容をまとめます。本回では、ウォルト・ディズニー(Walt Disney、1901 年− 1966 年)の功績を振り返るとともに、ディズニー社が今後どのように発展していくのか、またエンターテイメント産業の将来像について考察し、ディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーとディズニー社の歴史・功績についてまとめてくる。 事後学修 2.0hr：アミューズメント＆エンターテイメント産業についてまとめる。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆少人数トークゼミ◆【劇場文化研究ゼミ】ミュージカルを見に行こう！（前学期 火3 /後学期 火3）
本ゼミでは、ミュージカルや 2.5 次元舞台、歌舞伎などの舞台表現を題材に、実際に舞台を鑑賞する体験を通して、東西の劇場文化の特徴や面白さを語り合うクラスです。鑑賞する舞台には、「美女と野獣」「アナと雪の女王」「アラジン」「ミュージカル『SPY × FAMILY』」などがあります。
また、テキスト『2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ』を用いて、順番にプレゼンテーションを行いながら、現代の舞台表現について考えていきます。演劇やミュージカル、舞台芸術・表現に関心のある方を歓迎します。
初回授業では、人数調整（12 名〜15 名程度）を行いますので、前期は 4 月 7 日（火 3）、後期は 9 月 15 日（火 3）に必ず出席してください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ゼミナール【Seminar】とは、大学で少人数の学生が集まり、教員の指導のもとで自ら研究し、発表や討論を通して理解を深めていく授業形態です。本ゼミでは、実際に舞台を鑑賞する体験を行い、その経験を踏まえながら、テキストやゼミ仲間との議論を通して舞台や表現について語り合います。これにより、西洋と日本の舞台の特徴を理解し、説明できる力を養います。
個別目標：①日本と西洋の舞台表現の歴史を理解し、その特徴を説明できるようにします。
②日本文化と西洋文化の発展の歴史を比較し、概略を整理して述べられるようにします。
③仲間と協力してフィールドワークを行い、その成果を有効にプレゼンテーションできる力を身につけます。

▌履修条件

定員は 12〜15 名程度です。舞台・芸能・ダンスに関心のある方や、経験のある方、そしておしゃべりが大好きな方を歓迎します。
履修を希望する方は、初回授業の人数調整に必ず出席してください。前期は 4 月 7 日（火 3）、後期は 9 月 15 日（火 3）です。本ゼミは少人数で運営するため、原則として欠席せず、一歩一歩学びを積み重ねてまいりましょう。
また、ゼミの中心であるフィールドワーク（観劇活動）には、チケット代などの費用がかかります。大学の活動助成金を申請予定ですが、ある程度の自己負担が必要になることをご承知おきください。

▌評価基準・方法

本ゼミの評価は、授業への参加姿勢（60 %）、クラス仲間とのコミュニケーション（30 %）、学習達成度（10 %）**を基本の比重として、総合的に行います。

▌フィードバック方法

授業のほか、授業外で観劇活動をしていただきますので、manaba のプロジェクトや小テスト機能を有効に利用しながら情報・意見交換や授業内容のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回メンバー同士のディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （発表担当者はプレゼン資料を作成し、プレゼンしていただきます）

▌教科書

2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ (星海社新書) （教員が用意します）

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：セレクション（人数調整）とガイダンス** 授業内容：授業の目的・進め方を確認します。履修希望者が多い場合は志望動機を確認し、ディスカッションに適正な人数への選抜を行います。メンバー決定後、自己紹介および鑑賞希望作品についての意見交換を行います。 事前学修 2.0hr：シラバスを熟読し、本授業の目的を理解しておく。 事後学修 2.0hr：今期鑑賞可能な舞台情報を収集し、候補を絞り込む。
2回	**授業テーマ：舞台の魅力の探求** 授業内容：舞台芸術にはどのような種類があるのか？ その魅力とは何かをディスカッションします。各自、鑑賞候補作品をリストアップし、スケジュールを確認します。 事前学修 2.0hr：興味のある舞台ジャンルについて、最新の上演スケジュールを調べる。 事後学修 2.0hr：鑑賞候補作品の上演期間・場所・チケット代金を具体的に確認する
3回	**授業テーマ：身体・思想・メッセージ：西洋と日本の比較** 授業内容：日本と西洋の舞台における表現技法や思想の違いについてディスカッションします。テキスト『2.5 次元舞台へようこそ』を配布し、今後の輪読計画を立てます。 事前学修 2.0hr：伝統芸能（歌舞伎等）と現代演劇（ミュージカル等）の表現の違いを調べておく。 事後学修 2.0hr：鑑賞作品を決定し、チケットの手配を開始する。
4回	**授業テーマ：ミュージカルと 2.5 次元舞台の表現構造** 授業内容：ミュージカルの三要素（歌・ダンス・演劇）の特徴と、2.5 次元舞台が何を表現しようとしているのかを考察します。テキストの発表担当を決定します。 事前学修 2.0hr：自身の鑑賞予定作品のあらすじを確認する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
5回	**授業テーマ：2.5 次元舞台の定義と現状** 授業内容：テキスト「第 1 章 2.5 次元舞台とは」の発表とディスカッション。現代のエンターテインメントにおける 2.5 次元の位置づけを考えます。※鑑賞済みの学生は随時報告を開始 事前学修 2.0hr：テキスト第 1 章を読み、疑問点を抽出する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
6回	**授業テーマ：テニスの王子様：ムーブメントの原点** 授業内容：テキスト「第 2 章 すべてはミュージカル『テニスの王子様』から始まった」の発表とディスカッション。鑑賞作品の具体的な見どころを整理します。 事前学修 2.0hr：第 2 章の精読、発表資料の作成。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
7回	**授業テーマ：宝塚歌劇と 2.5 次元のミッシングリンク** 授業内容：古典としての歌舞伎の要素を孕みつつ、少女漫画を舞台化した宝塚の影響を考察。テキスト「第 3 章 2.5 次元舞台誕生前夜」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：宝塚歌劇団の歴史について概要を調べておく。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。

8回	**授業テーマ：舞台表現の革命：弱虫ペダルの衝撃** 授業内容：自転車を使わずに自転車レースを表現した手法など、2.5 次元特有の演出を考察。テキスト「第 4 章 劇場から飛び出した舞台『弱虫ペダル』の誕生」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：歌舞伎や 2.5 次元舞台における「見立て」の技法を調べる。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
9回	**授業テーマ：舞台を支える役者たちの身体性** 授業内容：前半戦の振り返りと個人活動状況の確認。テキスト「第 5 章 2.5 次元舞台の可能性を信じる役者たち」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：注目の舞台俳優やそのトレーニング方法について調べる。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
10回	**授業テーマ：観客が作る舞台空間** 授業内容：舞台と観客の関係性について。テキスト「第 6 章 2.5 次元舞台を観てみませんか」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：舞台批評やファンの感想ブログなどを読み、観客の反応を分析する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
11回	**授業テーマ：刀剣乱舞：メディアミックスの極致** 授業内容：ゲームから舞台、そして社会現象へ。テキスト「第 7 章 『刀剣乱舞』という全方位のコンテンツ」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：メディアミックス戦略の成功事例を調べておく。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
12回	**授業テーマ：受け手の視点と愛の形** 授業内容：舞台を愛するファンの心理と消費行動について。テキスト「第 8 章 2.5 次元舞台を愛する受け手の視点」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：推し活やファンコミュニティのあり方について考える。 事後学修 2.0hr：最終レポートの完成度を高める。
13回	**授業テーマ：和魂洋才の舞台構造：西洋と日本の融合** 授業内容：鑑賞活動とテキストの学びを総括し、日本独自の舞台表現の構造についてディスカッションします。 事前学修 2.0hr：西洋演劇と日本演劇の構造的特徴を比較検討する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションの内容を反映し、レポートを最終化する。
14回	**授業テーマ：未来の舞台芸術：トレンドの予測** 授業内容：現代の観客が求めているテーマとは何か？ 今後の舞台芸術のトレンドについてメンバーで予測・討論します 事前学修 2.0hr：近年のヒット作に共通する要素を抽出しておく。 事後学修 2.0hr：自身の「理想の舞台」についての意見をまとめておく。
15回	**授業テーマ：デジタル社会と生のパフォーマンス** 授業内容：コロナ禍を経て進化したネット配信と、劇場での生の体験の価値。今後の舞台芸術の発展可能性についてまとめます。 事前学修 2.0hr：14 回までの学習内容全体を振り返る。 事後学修 2.0hr：本講義全体を通した自己評価を行う。

ボランティア活動 A

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

国内における社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位を認定する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自己実現に向け努力することができるよう、ボランティア活動という経験を通して、社会と向き合い、自分自身の今と将来を見極める能力を身につける。

個別目標：1　ボランティア活動を通じて、自ら考えて行動することができる。
2　ボランティア活動の経験から得た情報や意見を報告会等で積極的に交換し、自身の言葉で社会貢献活動の意義を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

以下の 4 点の条件をすべて充たすこと。

1　ボランティア講習会（理論編・実践編）の受講
2　学外施設・団体等における 60 時間以上の活動
3　活動日誌と終了レポートの作成
4　ボランティア活動報告会への参加

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （活動日誌及び終了レポートの作成、活動報告会等で使用する。）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ボランティア講習会(理論編)** 授業内容：ボランティアの理論を学ぶ 事前学修 2.0hr：ボランティアとは何かを調べる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを復習する
2 回	**授業テーマ：ボランティア講習会(実践編)** 授業内容：ボランティアの実践を学ぶ 事前学修 2.0hr：ボランティアの心構えやマナーを調べる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを復習する
3 回	**授業テーマ：ボランティア活動①** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者と打合せを行う 事後学修 2.0hr：打合せで確認した活動内容等をまとめる
4 回	**授業テーマ：ボランティア活動②** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
5 回	**授業テーマ：ボランティア活動③** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
6 回	**授業テーマ：ボランティア活動④** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
7 回	**授業テーマ：ボランティア活動⑤** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
8 回	**授業テーマ：ボランティア活動⑥** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
9 回	**授業テーマ：ボランティア活動⑦** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
10 回	**授業テーマ：ボランティア活動⑧** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
11 回	**授業テーマ：ボランティア活動⑨** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる

12回	**授業テーマ：ボランティア活動⑩** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
13回	**授業テーマ：ボランティア活動⑪** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：活動内容をレポートにまとめる 事前学修 2.0hr：活動内容を振り返り、レポート作成の準備をする 事後学修 2.0hr：作成したレポートを確認し、活動内容や活動を通じて感じたこと等が簡潔にまとめられているか確認する
15回	**授業テーマ：ボランティア活動報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 2.0hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 2.0hr：これまでの活動のまとめを行う

ボランティア活動 B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

国外における社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位を認定する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自己実現に向け努力することができるよう、ボランティア活動という経験を通して、社会と向き合い、自分自身の今と将来を見極める能力を身につける。

個別目標：1　ボランティア活動を通じて、自ら考えて行動することができる。
2　ボランティア活動の経験から得た情報や意見を報告会等で積極的に交換し、自身の言葉で社会貢献活動の意義を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

以下の 5 点の条件をすべて充たすこと。

1　国際ボランティア団体主催の事前オリエンテーション等への参加
2　事前・事後学修を含み総活動時間 90 時間以上の活動
3　活動日誌と終了レポートの作成
4　国際ボランティア団体が発行したプログラム修了証明書の提出
5　ボランティア活動報告会への参加

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （活動日誌及び終了レポートの作成、活動報告会等で使用する。）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ボランティア活動①** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者と打合せを行う 事後学修 2.0hr：打合せで確認した活動内容等をまとめる
2回	**授業テーマ：ボランティア活動②** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
3回	**授業テーマ：ボランティア活動③** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
4回	**授業テーマ：ボランティア活動④** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
5回	**授業テーマ：ボランティア活動⑤** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
6回	**授業テーマ：ボランティア活動⑥** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
7回	**授業テーマ：ボランティア活動⑦** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
8回	**授業テーマ：ボランティア活動⑧** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
9回	**授業テーマ：ボランティア活動⑨** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
10回	**授業テーマ：ボランティア活動⑩** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる

11回	**授業テーマ：ボランティア活動⑪** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
12回	**授業テーマ：ボランティア活動⑫** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
13回	**授業テーマ：ボランティア活動⑬** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：活動内容をレポートにまとめる 事前学修 2.0hr：活動内容を振り返り、レポート作成の準備をする 事後学修 2.0hr：作成したレポートを確認し、活動内容や活動を通じて感じたこと等が簡潔にまとめられているか確認する
15回	**授業テーマ：ボランティア活動報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 2.0hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 2.0hr：これまでの活動のまとめを行う

日本の歴史

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

野田　有紀子（のだ　ゆきこ）

▌授業の概要

高校まで「歴史」の授業を受けてきた皆さんは、「歴史」というと昔の年号や用語の “暗記” ばかりの学問という印象を持っているかもしれませんが、実は「歴史」という学問は、歴史上の出来事や人物や物品を通して、現代までの流れを “考える” ための学問です。また、日本の歴史を考えるためには、日本のことだけでなく、日本と海外との “交流” や “比較” という視点も重要です。この講義では日本の歴史、とくに古代 (飛鳥時代・奈良時代・平安時代) のなかで、皆さんが身近に感じられるようないくつかの具体的テーマをとりあげて、国内外の文献や絵画、地図や系図、遺跡や文化財の写真など、さまざまな歴史資料を用いて、多角的・視覚的に解説します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：日本の歴史に関するさまざまな資料を観察し、その背景を知ることにより、現代の日本の姿は、過去の歴史の流れの上に形成されてきたものであることを理解できるようにしましょう。また、海外との交流や、外国人からの視点、日本と海外との比較といった、国際的な観点からも日本を見る姿勢を養いましょう。

個別目標：①日本の歴史を理解するために、さまざまな歴史資料を観察して、その背景や価値を理解できるようになる。
②日本と海外との交流や比較といった国際的視野を身につけられる。

▌履修条件

特にありませんが、日本の歴史や文化に興味をもって授業にのぞんでください。

▌評価基準・方法

定期試験は実施しません。
毎回、授業中～後に manaba から事後課題(小テスト)を提出してもらうことによって、内容理解を確認します。
全 15 回分の事後課題(小テスト)の提出率・合計点、授業への参加姿勢を合わせて、総合的に評価します(100 %)。
＊原則として、5 分の 4 以上の出席を評価対象とします。
＊授業を欠席した場合でも、事後課題(小テスト)は必ず提出してください。
＊欠席した場合は、事後課題(小テスト)に加え、manaba から【欠席者★追加課題】を提出してください。出席扱いとします。(公欠の場合をのぞく)

▌フィードバック方法

事後課題(小テスト)のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。
＊質問などがあれば、manaba から連絡してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しません。
＊毎回の授業前に、manaba を通じて資料 pdf を配布しますので、各自ダウンロードして予習してください。

▌参考書

特に指定しません。
(ある場合は授業ごとに紹介します)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：《はじめに》文化財の基礎知識①文化財保護法～「保存」と「活用」** 授業内容：この講義では、「日本の歴史」を学習する上で「国宝」や「史跡」といった、文化財をたくさん紹介します。そこで第 1 回目の今回は、文化財の基礎知識として、①「文化財保護法」の目的、②文化財の分類のうち「有形文化財」(国宝など)について、③博物館の機能について学びます。 事前学修 2.0hr：興味のある文化財の内容について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
2回	**授業テーマ：文化財の基礎知識②「記念物」～飛鳥の「史跡」めぐり** 授業内容：前半は、「文化財保護法」での分類のうち「記念物」(史跡など)について説明します。後半では、飛鳥時代(592～710)に宮都が置かれた「飛鳥」(奈良県明日香村)の史跡めぐりをしましょう。 事前学修 2.0hr：飛鳥時代のおもな舞台となった奈良県明日香村の地理や史跡について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
3回	**授業テーマ：古代の遷都～大和朝廷から律令国家へ〔古墳時代～飛鳥時代〕** 授業内容：古墳時代の「歴代遷宮」から、飛鳥時代の藤原京(694 年遷都)まで、古代の都の史跡をたどりながら、律令国家が形成されていく過程について学びます。 事前学修 2.0hr：古墳時代から飛鳥時代までの遷都や歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
4回	**授業テーマ：平城京遷都～正倉院の世界〔奈良時代〕** 授業内容：日本古代の「遷都」は、「律令国家の形成」と深い関係があります。今回は奈良の都「平城京」(710 年遷都)の史跡めぐりと、遷都の理由、さらに今日まで伝わる正倉院宝物の歴史について学びます。 事前学修 2.0hr：平城京への遷都や律令・戸籍の施行など、奈良時代の歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
5回	**授業テーマ：平安京遷都～千年の都〔平安時代〕** 授業内容：いよいよ平安京に到着です!!まず平安京へ遷都(794 年)した過程と理由について学習します。さらに、平安宮跡が現在どのように保存されているか確認しながら、史跡めぐりをしましょう。 事前学修 2.0hr：平安京への遷都や、京都の地理や史跡について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
6回	**授業テーマ：〈計画都市〉平安京～「かたち」と「くらし」〔平安時代〕** 授業内容：〈計画都市〉として建設された「平安京」が、遷都後しだいに、かたちを変えていった過程と理由について学びます。さらに、平安京での都市民のくらしをさぐりましょう。 事前学修 2.0hr：平安時代の歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
7回	**授業テーマ：日本古代の風習と唐風化〔弥生時代～平安時代初期〕** 授業内容：『魏志倭人伝』や、人物埴輪に見える日本古代の風習が、律令国家の形成とともに、どのように「唐風化」していったかを学びます。 事前学修 2.0hr：魏志倭人伝の内容や、遣隋使・遣唐使の役割について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。

8回	**授業テーマ：唐風文化から国風文化へ〜「ひらがな」と「十二単」の誕生〔平安時代中期〕** 授業内容：９世紀までの唐風文化が、１０世紀から国風文化(かな文字・かな文学、十二単などの衣装)に発展していった過程を学習します。 事前学修 2.0hr：かな文字・かな文学、十二単などの衣装に代表される、平安時代の国風文化について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
9回	**授業テーマ：天皇と貴族「藤原氏」〜中臣鎌足から藤原道長まで〔飛鳥時代〜平安時代中期〕** 授業内容：今回と次回は、平安貴族社会における「天皇と貴族との関係」がテーマです。今回の前半は、「貴族」とは何かを説明します。後半では、貴族のなかで「藤原氏」(北家本流)が、天皇との関わりのなかで、どうやって貴族のトップを独占するようになったかを、中臣鎌足の「藤原氏の誕生」から、藤原道長の「全盛期」までの軌跡をたどって学びます。 事前学修 2.0hr：飛鳥時代から摂関期までの政治の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
10回	**授業テーマ：古代の専門職〜貴族社会をどう生きるか〔平安時代中期〕** 授業内容：貴族社会において、藤原氏北家本流以外の氏族がどうやって生き残っていったかを、①地方に土着 (武士化・武士団) コース、②専門職を世襲コース、③権力者に奉仕コースに分けて学習します。 事前学修 2.0hr：陰陽師や武士など、平安時代のさまざまな職業について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
11回	**授業テーマ：日本古代の子ども〜誕生から成人まで〔平安時代中期〕** 授業内容：現代日本で行われている「誕生〜成人までの通過儀礼」は、平安時代(９世紀)から記録されています。今回は平安貴族家庭の、結婚儀礼と、誕生から成人までの通過儀礼を学習し、今日行われている結婚儀礼・通過儀礼とのつながりを学びましょう。 事前学修 2.0hr：子どもの誕生や成長に関する儀礼について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
12回	**授業テーマ：平安貴族女性の教育と仕事〜「女房」と「斎王」〔平安時代中期〕** 授業内容：まず平安貴族家庭の男子と女子の教育の違いについて説明します。つぎに、貴族女性の仕事をテーマに、皇族・貴族に仕える侍女「女房」と、伊勢神宮の巫女「斎王」について習びましょう。 事前学修 2.0hr：紫式部や清少納言といった平安時代の女性について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
13回	**授業テーマ：欧米から見た日本①日本情報の報告〔鎌倉時代〜江戸時代〕** 授業内容：今回と次回は、これまで学んできた古代の「唐風化」と比較するため、近代の「欧米化」について学習します。今回は中世〜近世の日本情報を、欧米人がどのように記録・報告したかを学びましょう。 事前学修 2.0hr：宣教師の来日や、江戸時代の鎖国と出島について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
14回	**授業テーマ：欧米から見た日本②文明開化と欧米化〔江戸時代末期〜明治時代初期〕** 授業内容：１９世紀後半(江戸時代末期〜明治時代初期)、訪日した欧米人が見た日本の風習と、明治政府による風習の欧米化政策を学びましょう。 事前学修 2.0hr：明治時代の文明開化について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
15回	**授業テーマ：《おわりに》海外に流出した日本文化財〔明治時代〜現代〕** 授業内容：１９世紀後半以降、日本の文化財が軽視・廃棄され、海外に流出した背景と、それを防ぐための文化財保護の法律や政策について学習します。 事前学修 2.0hr：文化財保護の法律や制度について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。

国際関係論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

東　夢子（あずま　ゆめこ）

▌授業の概要

この授業の目的は多極化する世界に移行し、不確実性を増しつつある今日において、日本をめぐる国際関係を考え、日本の重要性を認識し、明日の国際関係を洞察する力を養うことにある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：今まで日本にとって、一番重要な国際関係ー日米関係、日英関係、日露関係、日韓関係、日中関係、日本と東南アジアの関係などを顧みることによって、先人の英知を学び、危機の状況下における物事の見方、考え方を身に付けることができる。

個別目標：未来の国際社会で活躍する時に必要な先見性、合理性、国際関係に対する分析力を身に付けるということを目標とする。

▌履修条件

学習する意欲のある者。自己学習の習慣を有する者。特に自分で調べることがレポート作成の上で重要なので、自己学習能力が是非とも必要である。

▌評価基準・方法

①期末テストの代わりに、毎回のレポート 50 %、レポートに必要な予備知識のアンケート 10 %と授業への参加 (DVD をきちんと見て、レスポンに感想を書く）40%等で総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

②レポートの提出が 12 回以上でなければ、不合格となる。

③毎回のレポートに字数の規定(毎回、3 問の課題があり、1 問は大体 300 文字～400 文字)があり、極端に字数が少ない場合、評価不能とされることがあるので、ご注意ください。

④レポートの提出と質問へのフィードバックは manaba を経由する。

▌フィードバック方法

授業中で説明します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

岩下哲典著『近現代日本の国際関係』北樹出版 ISBN978-4-7793-0285-5 C3021

▌参考書

1、國史大辭典 /国史大辞典編集委員会編出版 東京：吉川弘文館 , 1979.3-1997.4

2、教科書の参考文献及び各授業中で流す DVD の内容に沿う学術論文と著作。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：江戸幕府の政治構造と授業スタイルについての説明。 事前学修 2.0hr：1820 年代から 1950 年までの日本をめぐる大事件について簡単に調べる。 事後学修 2.0hr：授業中で指示された歴史用語について調べる。
2回	**授業テーマ：日本とオランダの関係＝シーボルトと日本開国** 授業内容：シーボルトと日本開国 事前学修 2.0hr：シーボルトについて「國史大辭典」などで調べる。 事後学修 2.0hr：シーボルトの伝記を読む。
3回	**授業テーマ：日米関係(日米和親条約)** 授業内容：ペリー来航幕府が知っていた。 事前学修 2.0hr：ペリー来航前後の日本をめぐる世界情勢について調べる。 事後学修 2.0hr：老中阿部正弘について調べる。
4回	**授業テーマ：日米関係** 授業内容：(日米修好通商条約)＝通商か亡国か 。ハリスと幕府交渉の過程。 事前学修 2.0hr：ハリスについて調べる。 事後学修 2.0hr：安政の五か国条約について調べる。
5回	**授業テーマ：慶喜大政奉還ー松平春嶽の構想** 授業内容：立憲思想の日本に芽生える過程。 事前学修 2.0hr：松平春嶽と徳川慶喜について調べる。 事後学修 2.0hr：日本立憲制度導入の思想的な基盤と過程について調べる。
6回	**授業テーマ：外交立国いまだ死なず** 授業内容：函館政権と国際関係法 事前学修 2.0hr：榎本武揚について調べる。 事後学修 2.0hr：明治新政府と列強との関係について調べる。
7回	**授業テーマ：大久保利通暗殺の悲劇** 授業内容：廃藩置県と武士の反乱とその背景。 事前学修 2.0hr：大久保利通と明治新政府の課題について調べる。 事後学修 2.0hr：征韓論について調べる。
8回	**授業テーマ：銀行は人々のために 。** 授業内容：日本における銀行誕生の経緯 事前学修 2.0hr：渋沢栄一について調べる。 事後学修 2.0hr：日本の近代経済について調べる。
9回	**授業テーマ：日露関係と日英関係** 授業内容：日清戦争と日露戦争の背景 事前学修 2.0hr：日清戦争について調べる。 事後学修 2.0hr：当時の国際情勢と日韓関係について調べる。
10回	**授業テーマ：日中関係** 授業内容：満州事変及び日中戦争 事前学修 2.0hr：三国干渉について調べる。 事後学修 2.0hr：満州建国と日中戦争について調べる。

11回	**授業テーマ：日独関係** 授業内容：三国同盟の締結と当時の国際情勢 事前学修 2.0hr：松岡洋右と当時の国際情勢について調べる。 事後学修 2.0hr：当時の日独関係と日米関係について調べる。
12回	**授業テーマ：日米関係 ＝日米開戦を回避せよ** 授業内容：日米開戦前夜の国際情勢 事前学修 2.0hr：南進論について調べる。 事後学修 2.0hr：チャーチル及び蒋介石について調べる。
13回	**授業テーマ：日米関係＝ 現在日米関係の原点** 授業内容：マッカーサーと天皇との会見 事前学修 2.0hr：サンフランシスコ講和条約などについて調べる。 事後学修 2.0hr：戦後の占領政策とマッカーサーについて調べる。
14回	**授業テーマ：海上自衛隊はこうして生まれた。** 授業内容：海上自衛隊と戦前海軍 事前学修 2.0hr：日米安保条約の流れについて調べる。 事後学修 2.0hr：自衛隊の誕生と日本の軍事力について調べる。
15回	**授業テーマ：原爆の絵** 授業内容：原爆の投下について考える 事前学修 2.0hr：1 回目～14 回目のレポートを紙で再提出する。 事後学修 2.0hr：戦争と原爆についての感想を書く。

国際貢献論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川 正純（おがわ まさずみ）

▌授業の概要

国際貢献や国際協力について、日本が開発途上国を支援する政府開発援助 (ODA) や NGO、民間団体が行う支援、持続可能な開発目標 (SDGs) など様々な観点から考えます。国際貢献を知るだけでなく、支援を選び、考え、説明する力を身につけることを目指します。また、善意だけでなく、なぜその支援が必要かを論理的に考える視点を養います。本講義は、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、国際貢献や国際協力についての理解を向上させます。なお、この授業は「ボランティア講義」の内容と一部関連・重複する部分があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：開発途上国をはじめとする地球規模の問題と国際貢献の意義を理解し、国際貢献を実際に行うための知識・スキルを身につける。

個別目標：1．国際社会がどのような国際貢献や国際協力を行っているか説明できる。
2．開発途上国の課題に対して 適切な支援方法を考えられる。
グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

▌履修条件

1. 国際貢献や国際協力に関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2. グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3. 将来、国際的な仕事に興味がある人はもちろん国際貢献を自分の言葉で考えられるようになりたい人にもおすすめです。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 %を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。原則として５分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導（コレクション）などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、プレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション:国際協力とは何かについて** 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、国際貢献と国際協力について解説する。授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2回	**授業テーマ：日本の国際協力** 授業内容：日本が国際機関や他国から受けた援助と日本が行っている政府開発援助 (ODA) について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：世界の状況を知る** 授業内容：グループワークにより、世界がどのように変化しているか理解する。また、国際社会の取り組みと成果を知り「持続可能」の意味を考え、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：近年の国際会議と国際社会の取り組みについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：「地球にやさしい」とは？** 授業内容：グループワークにより、私たちが日常的に使っている製品が、世界のどこで・誰の暮らしとつながっているかを考え、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：持続可能な開発目標 (SDGs) について** 授業内容：持続可能な開発目標 (SDGs) の内容、特徴、目標、企業の SDGs の取り組み等について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：SDGs について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：気候変動** 授業内容：グループワークにより、気候変動によって影響を受けている人々について知り、その立場を想像して自分事として捉える。私たちの生活とのつながりや自分に何ができるか考え、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：気候変動について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：人道援助** 授業内容：人道援助の人道・公平・中立・独立という原則の意味と国際緊急援助隊（JDR）と NGO の特徴を具体例から解説し、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：人道援助について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
8回	**授業テーマ：NGO** 授業内容：日本及び海外の国際 NGO がどのような活動を行っているか、また NGO がどのように国際社会に貢献しているか具体例を示して解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：NGO の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習、レポート作成。

9回	**授業テーマ：JICA 海外協力隊について** 授業内容：JICA 主催の JICA 海外協力隊セミナーを実施し、海外協力隊の事業概要、海外協力隊経験者体験談を聞き、海外協力隊がどのようなものかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：JICA 海外協力隊の関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：フェアトレードについて** 授業内容：フェアトレードとはどのようなものかと意義、認証ラベル、普及状況、今後のフェアトレードの方向性について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：フェアトレードについての関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：一村一品運動の世界への広がり** 授業内容：大分県発祥である一村一品運動に関する世界への広がりについて、キルギス一村一品プロジェクトについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：キルギスと一村一品運動について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：プロジェクト選定の視点/開発途上国と私たちのつながり** 授業内容：開発プロジェクトの種類や選定の手法を習得し、開発プロジェクトをどのような視点で選ぶべきかを整理する。また、開発途上国の子どもと私たちの生活のつながりについて意見交換し、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：開発プロジェクトについて関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備** 授業内容：開発途上国で技術協力をする際の支援内容について学ぶ。グループワークにより支援内容と裨益効果を考え、第 15 回の授業で発表するプレゼンテーションの準備を行う。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
14回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの作成** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：プレゼンテーションと意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：授業全体のふりかえり。レポート作成。

民族と宗教

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

岩田　成就（いわた　しげなり）

▌授業の概要

「我々はどこから来たか？　我々は何者か？　我々はどこへ行くのか？」　このような問いに、現代の科学は必ずしも答えてはくれません。しかし、科学的知識をどう用い、この世界でどう生きていくかは、この問いにどう答えるかにかかっています。もし、この問いに答える営みを「宗教」ないしは「宗教性」と呼ぶなら、どのような「宗教」「宗教性」をもつかによって、現代の世界で私たちが出会うさまざまな取り組みは、大きな影響をうけるのではないでしょうか。科学技術の革新が飛躍的に進むこれからの社会で、生きる意味を問い、深みを持った生活を送るために、「宗教」について知り、「宗教性」への感受性を身につけていきたいと思います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：自分の生まれ育った文化やその基盤となる宗教について意識し、自覚的にとらえなおすこと。以外の民族の文化や考え方を知り、人間の多様性を受け入れ、他者を受容するとともに、自分自身を理解すること。

個別目標：「宗教」についての偏見を取り除き、「宗教」がどんな人間にも関わりのある普遍的な営みであることを理解すること。世界の主要宗教（仏教、キリスト教、イスラム教など）や日本人の宗教性についての基本的な理解を持ち、信仰をもつ人の気持ちを理解できるようになること。今日の社会における宗教をめぐる様々な問題について理解し、自分の意見を述べることできるようになること。自分以外の民族の文化や考え方を知り、人間の多様性を受け入れ、他者を受容するとともに、人間の宗教性一般について理解し、自らの宗教性について自覚的になること。

▌履修条件

とくにありませんが、上記のような問いを考えたことがある人、宗教や宗教が関わる問題に関心がある人、世界の歴史や世界の現在の情勢に関心のある人に受講していただきたいと思います。

▌評価基準・方法

期授業への積極的な取り組み（リアペ、コメント、質問など）（40%）、および最終授業日に行う試験（60 %）により評価する。

▌フィードバック方法

授業内容へのコメント、質問などをリアクションペーパー、コメントとして提出してもらい次の授業で回答したり、必要に応じて簡単な課題を出したりする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業で配布するプリントが教科書のかわりとなる。

▌参考書

授業で多くの文献を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：世界の文明と宗教** 授業内容：オリエンテーション／宗教復興説／宗教衰退説／宗教変容説 事前学修 2.0hr：[宗教」という言葉で自分が何を思い浮かべているか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえ
2回	**授業テーマ：日本人の宗教性** 授業内容：日本人は「無宗教」か／創唱宗教と自然宗教／神様と仏様（神仏習合） 事前学修 2.0hr：「初詣」に行ったことのある人は、それが「宗教」かどうかを考えておくといよい。行ったことのない人は、「墓参り」「お祭り」「クリスマス」などについてでもよい。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
3回	**授業テーマ：ヒンドゥー教** 授業内容：インド宗教史／ヒンドゥー教の神々／世界観と教え／生活規範／ショナリズム 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で、古代インドの歴史を復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
4回	**授業テーマ：仏教①** 授業内容：釈迦の生涯と教え 事前学修 2.0hr：自分の苦しみの原因は何か？ 考えておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
5回	**授業テーマ：仏教②** 授業内容：大乗仏教と密教 事前学修 2.0hr：「仏」と「菩薩」の違い、「成仏」と「往生」の違いについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
6回	**授業テーマ：仏教③** 授業内容：日本の仏教（国家仏教／鎌倉新仏教／江戸国家仏教） 事前学修 2.0hr：家の人に聞くなどして、自分の家の宗教が何かを調べ、自分がそれを受け継いでいくかどうかについて考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
7回	**授業テーマ：儒教と道教** 授業内容：中国人の死生観／儒教／道教／共産主義 事前学修 2.0hr：身の回りのもの、考え方、習慣などの中に、中国由来のものがないか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
8回	**授業テーマ：神道** 授業内容：神道の原型／神話の原型／神道の教え／神仏習合／様々な神道 事前学修 2.0hr：近くにある神社にどんな神さが祀られており、どんな由来のある神社かを調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
9回	**授業テーマ：ユダヤ教** 授業内容：「ユダヤ人」の歴史／ユダヤ教の聖典（TNK）と「旧約聖書」／ユダヤ教の教え 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で古代オリエントや古代イスラエルの歴史について確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる

10回	**授業テーマ：キリスト教①** 授業内容：イエスの教えとキリスト教信仰 事前学修 2.0hr：高校の歴史の教科書で古代ローマ帝国やキリスト教の発生などについて確認しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
11回	**授業テーマ：キリスト教②** 授業内容：キリスト教の歴史(カトリック、オーソドックス、プロテスタント) 事前学修 2.0hr：高校の歴史の教科書で「宗教改革」について確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
12回	**授業テーマ：イスラム教①** 授業内容：ムハンマドの生涯／「イスラム世界」の展開／「イスラム世界」の現状 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で、イスラム世界のはじまりついて確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
13回	**授業テーマ：イスラム教②** 授業内容：イスラムの教えと規範 事前学修 2.0hr：ムスリム(イスラム教徒)の人たちの生活や習慣について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
14回	**授業テーマ：宗教過激主義と現代社会** 授業内容：「オウム真理教」と「イスラム過激主義」 事前学修 2.0hr：「地下鉄サリン事件」(1995 年)や「9.11 同時多発テロ事件」について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
15回	**授業テーマ：試験** 授業内容：授業内容への把握を問う試験を行う。 事前学修 2.0hr：プリントやノートを読み返し、授業内容を振り返っておく 事後学修 2.0hr：授業全体をふりかえる

異文化コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

岡田　麻唯（おかだ　まい）

▌授業の概要

異文化コミュニケーションの概念や理論を学び、理解する。それらを用いて、日常の出来事から異文化コミュニケーションについて考え、異なる文化背景の人々と、より良いコミュニケーションをするにはどうしたらよいかを考える。本クラスでは、講義だけでなく、個人ワーク、ペアワーク、グループワークを通して、学びを深めていくため、積極的な参加が求められる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：異文化コミュニケーションの基礎概念を理解する
個別目標：①自己の価値観や考え方、コミュニケーションの取り方を理解し、異なる他者の世界を理解することができる
②社会的課題や身近な人間関係を振り返り、異文化コミュニケーションの理論を用いて分析できる

▌履修条件

①授業は毎回受講し、授業の終わりに振り返りシートを提出すること。
②授業中のペアワーク、グループワーク等に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

グループワークの貢献度(20%)、理解度チェッククイズ(20%)、グループプロジェクト課題(40%)、レポート(20 %)
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba、または授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （回によってペアワークおよびグループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループプロジェクト準備に利用。毎回の振り返りシートは、Google form 使用のため、PC もしくは携帯から記入、提出すること。）

▌教科書

特定の教科書はありません。必要資料は授業で配布します。

▌参考書

授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスの内容について説明する。学生同士の自己紹介と異文化コミュニケーションのケーススタディについて話し合う。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：コミュニケーションとは何か** 授業内容：コミュニケーションの定義と特徴について学ぶ。異文化コミュニケーションとは何か知識を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：文化とは何か** 授業内容：文化の定義と特徴について学び、日本文化の特徴について考える。文化とコミュニケーションの関係について知識を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：自己とアイデンティティ、理解度チェッククイズ①** 授業内容：自己の価値観や物の見方に影響を受けた文化について、ペアワークで振り返る。社会的アイデンティティとは何かを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション①** 授業内容：非言語コミュニケーションとは何か。表情、アイコンタクト、ジェスチャー、空間と対人距離、時間の感覚など、文化によって捉え方にどのような違いがあるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション②** 授業内容：表情、アイコンタクト、ジェスチャー、空間と対人距離、時間の感覚など、文化によって捉え方にどのような違いがあるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：コミュニケーション・スタイル①　コンテクスト** 授業内容：ハイコンテクスト文化とローコンテクスト文化について知識を深め、コンテクストとコミュニケーションの関係性を理解する。中間課題を提出する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：コミュニケーション・スタイル②　３つのスタイル** 授業内容：アグレッシブ・パッシブ・アサーティブのコミュニケーション・スタイルの事例を学び、自己のコミュニケーション・スタイルの傾向を分析する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：カルチャーショックと異文化適応、理解度チェックのクイズ②** 授業内容：カルチャーショックとは何か、その特徴と対処法について知識を深める。異文化適応プロセスについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：異文化センシティビティモデル①** 授業内容：異文化センシティビティモデルについて学ぶ。自文化優越主義ステージの特徴について知識を深め、ケーススタディを用いてグループで話し合いを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：異文化センシティビティモデル②** 授業内容：異文化センシティビティモデルの文化相対主義ステージの特徴について知識を深め、ケーススタディを用いてグループで話し合いを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備①** 授業内容：グループに分かれて、プロジェクトの話しあいと資料作成の準備を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備②** 授業内容：異文化コミュニケーション場面で誤解が起きた事例を紹介し、これまで学んだ異文化コミュニケーションの理論を使って分析したことを、パワーポイントを用いてまとめる。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備③、プロジェクト提出** 授業内容：異文化コミュニケーション場面で誤解が起きた事例を紹介し、これまで学んだ異文化コミュニケーションの理論を使って分析したことを、パワーポイントを用いてまとめて、授業内に提出する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：グループプロジェクトの振り返りレポート提出、異文化コミュニケーション・スキル(まとめ)** 授業内容：グループプロジェクトの自己評価と他者評価のレポート提出を行う。これまでの学びから、異文化コミュニケーションに必要な能力とは何か、また日常の人間関係において、それをどのように活かせるのかについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

日本語と日本文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生選択科目

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

宮崎駿（ジブリ）のアニメーションは、日本の文学と日本文化の背景を学べる宝庫です。アニメーションに引用されている「ダイダラボッチ」「笠地蔵」「猿蟹合戦」などの神話伝説や昔話を、リスニングとリーディングの力を育てることも意識しながら、学んでいきます。また、昔話や神話を読み解くことが、明治時代の日本になぜ民俗学として必要とされたのか、その後の高度経済成長期には、民俗学はどのように消費されていくのか。古来の画像をもとに水木しげるが作り出した妖怪のビジュアルや、神々が零落したものが妖怪だとする柳田國男の理解を通して、日本文化のありようも学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：柳田國男という日本を代表する民俗学者の仕事を、ひとつの日本文化の生成のあり方として捉え、世界各国との交流が日本の伝統文化の再発見につながったことを知る。

個別目標：妖怪とは何か、幽霊との違いを、日本文化のありようとして説明できるようになる。
また、日本の文学・文化を学びつつ、日本の古典や昔話・神話を読むことができるようになる。

▌履修条件

※当該言語（日本語）を母語とする学生は、履修できません。

同じ高度経済成長期の日本の文化を扱うので、「日本語と日本文化B（留）」とセットで受講することが望ましい。

▌評価基準・方法

授業内リアクションペーパー 40%と、期末テスト 60%で総合的に評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。

課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあればよい。）

▌教科書

毎回、プリントを配布する。

▌参考書

授業内で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに（作業のためのガイダンス）** 授業内容：授業のガイダンス。 事前学修 1.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 3.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の学習計画を立てる。
2回	**授業テーマ：高度経済成長期の妖怪** 授業内容：日本の高度経済成長期の文化を学ぶ、というのがこの授業の目的なので、高度経済成長とは何かの説明、そして、そこに妖怪がどうかかわるのかを学ぶ。 事前学修 1.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 3.0hr：授業をふまえて、プリントをもう一度読み直す。
3回	**授業テーマ：水木しげると日本の妖怪** 授業内容：日本の妖怪研究の第一人者であり、妖怪というものに、私たちがよくしっているビジュアルを与えたのが、水木しげるなので、DVD をもとに、日本にはどういう妖怪がいるのか学ぶ。自分の国にいる妖怪とくらべながら、学んでもらう。 事前学修 1.0hr：自国の妖怪についてピックアップしてくる。 事後学修 3.0hr：プリントで妖怪のなりたちと時代背景を復習する。
4回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(1)日本の高度経済成長で消えていく妖怪たち** 授業内容：日本の高度経済成長が、このアニメーションにどう反映しているのかを考えながら、高度経済成長で消えかかっている妖怪が、このアニメーションにでてくる意味について考える。 事前学修 1.0hr：妖怪とは何かを考えてくる。 事後学修 3.0hr：妖怪の民俗学的定義を踏まえて、トトロやマックロクロスケを理解する。
5回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(2)柳田國男の『妖怪談義』** 授業内容：柳田國男による妖怪の学術的定義と、アニメーションに描かれている妖怪を比べてみる。柳田が定義したことを、しっかり守って、アニメーションが作られていることがわかる。「妖怪」と「幽霊」の違いは何かについても考える。 事前学修 1.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 3.0hr：「妖怪」と「幽霊」の違いを理解し、柳田民俗学が映画にどう反映されているかまとめる。
6回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(3)「笠地蔵」「猿蟹合戦」と、中尾佐助の照葉樹林文化論** 授業内容：『となりのトトロ』には「笠地蔵」「猿蟹合戦」の２つの昔話が引用されています。私自身の研究ももとにしながら、昔話をまず読んで学び、そのうえで、アニメーションにそれらがどう生かされているのかを考える。 事前学修 1.0hr：自国の昔話を思い出してくる。 事後学修 3.0hr：アジア文化（照葉樹林文化）の中で昔話の話型を理解する。
7回	**授業テーマ：柳田國男と民俗学、授業の中間まとめ** 授業内容：中間まとめ。manaba による理解テスト (練習問題) なども取り入れる。※テスト実施回は授業進度の都合で、ずれることがある。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を復習してくる。 事後学修 2.0hr：文明開化と民俗学の発展について、また、同じ話でも語り手によって異なる「語りの自由領域」について、理解する。
8回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(1)『古事記』** 授業内容：『もののけ姫』のなかに出てくる大和王権と蝦夷の関係について、『古事記』の漫画と現代語訳をプリントで読みながら、学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントで『古事記』の現代語訳を読んでくる。 事後学修 2.0hr：日本の昔話や神話のルーツを理解する。
9回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(2)「花咲爺さん」** 授業内容：『もののけ姫』のなかで引用されている昔話「花咲爺さん」を読む。 事前学修 2.0hr：必要があれば各国語の『もののけ姫』を予習してくる。 事後学修 2.0hr：「花咲爺さん」の話が製鉄民の民話であることを理解する。

10回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(3)ダイダラボッチ** 授業内容：『もののけ姫』のなかで引用されている「ダイダラボッチ」の伝説について、プリントを読み、日本の土地のなりたちと、ダイダラボッチの関係、製鉄をおこなっている土地 (タタラ場) とダイダラボッチの関係について、考える。 事前学修 1.0hr：巨人伝説について調べてくる。 事後学修 3.0hr：日本各地でダイダラボッチの語られ方が違うことを理解する。
11回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(4)リスニングとまとめ** 授業内容：『もののけ姫』を民俗学から読み解くまとめ。※リスニングの実施回は授業進度やコロナの感染状況によって変更することがある。 事前学修 1.0hr：リスニングの予習。 事後学修 3.0hr：リスニングの復習。
12回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(1)バブル崩壊** 授業内容：バブル崩壊について、アニメーションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：必要があれば各国語の『千と千尋の神隠し』を予習してくる。 事後学修 2.0hr：物語の背景となるバブル崩壊について理解する。
13回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(2)神々の零落と、日本の神話** 授業内容：テーマパーク建設のために埋め立てられたり、信仰されなくなったことで力を失った神々が、アニメーションにどのように描かれているのか読み解くとともに、日本の神話がどのように反映されているのかも読み解く。また、「妖怪」とは何なのかについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：神が零落して妖怪になっていくこと、日本神話の反映などを理解する。
14回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(3)リスニングとまとめ** 授業内容：リスニングとまとめ。※リスニングの実施回は授業進度やコロナの感染状況によって変更することがある。 事前学修 2.0hr：リスニングの予習。 事後学修 2.0hr：リスニングの復習。プリントを整理しておく。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ。 事前学修 3.0hr：試験に備えた学習。 事後学修 1.0hr：試験問題の不明点の復習。

日本語と日本文化Ｂ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生選択科目

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

前期の「日本語と日本文化Ａ」で、高度経済成長期の日本文化を学んだことを生かし、後期は、映画を通して、高度経済成長期の文化を学ぶ。推理小説『点と線』、直木賞受賞作『江分利満氏の優雅な生活』、ＳＦ小説『日本沈没』を通して、〈日本人〉がどのような国民として描かれてきたかにも注目していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：映像も参考にしながら、高度経済成長期の文学や、高度経済成長期に新しく作り出された言葉について学ぶ。それとともに、終戦からオイルショックまでの日本の歴史や文化を知ることができる。

個別目標：日本を研究したり、日本を訪れたりした外国人が見た「日本人らしさ」とは何なのかを考えることができる。

▌履修条件

※当該言語（日本語）を母語とする学生は、履修できません。

「日本語と日本文化Ａ（留）」とセットで受講することが望ましいが、Ａを受講していなくても問題ない。

▌評価基準・方法

授業内の作業 40%とテスト 60%で総合的に評価する。授業内の作業のなかには、リアクションペーパーも含まれる。

5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。

課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあれば問題ない。）

▌教科書

毎回、プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜、指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：ガイダンス。 事前学修 1.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 3.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の授業計画を立てる。
2回	**授業テーマ：松本清張と芥川賞―『点と線』がブームを呼び起こすまでの軌跡** 授業内容：松本清張についての概説と、高度経済成長期より少し前の日本の文化が、『点と線』にどのようにかかわるのかを説明。 事前学修 1.0hr：新聞のドラマ欄で松本清張を探してみる。 事後学修 3.0hr：プリントで復習。
3回	**授業テーマ：1950 年代(1)松本清張『点と線』(昭和 32 年)―映画と単語ノート** 授業内容：分からない言葉を調べながら一緒にミステリー小説を読む。授業内で答え合わせする。小説に対応する場面の映画を見て、さらに理解を深める。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読み、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：単語ノートの復習。
4回	**授業テーマ：1950 年代(2)『点と線』―映画とクイズ** 授業内容：犯人を推理しながら、manaba の機能を使いながら理解度クイズをおこなう。※クイズの実施回は進度などによって変更することがある。 事前学修 2.0hr：プリントを読み、犯人は誰か推理してくる。 事後学修 2.0hr：東京駅「４分間の空白」のトリックを復習。
5回	**授業テーマ：1950 年代(3)『点と線』―まとめ** 授業内容：『点と線』では、犯人がなぜ犯罪を犯したのかという心理的な動機が描かれる。その動機を理解するとともに、そうした動機を描こうとすることじたいが、当時のミステリーでは新しく、松本清張によって新しい文学が作られたことを文学史的に理解できるようにする。 事前学修 2.0hr：プリントを読み、犯人がなぜ犯罪をおかしたのか、動機を考えてくる。 事後学修 2.0hr：文学史のなかの清張の役割を復習。
6回	**授業テーマ：団地とマイホームの時代(附：ニュース映像ＤＶＤ)** 授業内容：ニュース映像 DVD を見ながら、高度経済成長期の日本文化を理解できるようにする。サラリーマン人口が増えて専業主婦が誕生すること、光化学スモッグなどの公害が車社会の到来によって始まり、核家族が多数となり、団地が郊外につくられ、海外旅行が自由化され、パンダブームが到来し、万博開催に合わせて新幹線が開通し、電化製品をそろえてマイホームを作ることが理想とされ、特に庭つきの住宅が憧れとなるといった時代背景を理解できるようにする。 事前学修 2.0hr：６０～７０年代日本で普及した電化製品を調べてくる。 事後学修 2.0hr：高度経済成長の復習(サラリーマンと専業主婦誕生、公害、団地、核家族、交通戦争等)。
7回	**授業テーマ：山口瞳と直木賞―『江分利満氏の優雅な生活』が出来るまで** 授業内容：『江分利満氏の優雅な生活』の概説。エブリマン(everyman)という名前であり、平均的でどこにでもいるような日本人として描かれた主人公を通して、高度経済成長期の日本人の生活を学ぶ。電化製品の普及、サントリーという会社が海外旅行自由化に合わせて広告で発信していた情報や、文化的に果たした意義なども考える。 事前学修 2.0hr：直木賞について調べてくる。 事後学修 2.0hr：主人公(東西電機社員)と山口瞳の実際(サントリー社員)の違いを理解する。
8回	**授業テーマ：1960 年代(1)山口瞳『江分利満氏の優雅な生活』(昭和 37 年)―映画と単語ノート** 授業内容：映画「江分利満氏の優雅な生活」を見て理解を深めながら、サラリーマンと主婦、社宅、核家族として構成された小説のなかの家族像を、読み解いていく。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んで、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：サラリーマン＋主婦、社宅、核家族等の同時代的要素を理解する。

9回	**授業テーマ：1960 年代(2)『江分利満氏の優雅な生活』―映画とクイズ** 授業内容：プリントを読み映画で内容を確認。manaba の機能を利用して理解度クイズをおこなう。※クイズの実施回は進度などによって変更することがある。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：公害、交通戦争、団地生活の弊害がどのように描かれているか理解する。
10回	**授業テーマ：1960 年代(3)『江分利満氏の優雅な生活』―『菊と刀』の日本人論** 授業内容：アメリカ人による日本人理解として全世界で有名になった『菊と刀』を読みながら、日本人の平均的サラリーマンであり、なおかつ日本人論の典型的特徴をそなえた人物として江分利が描かれていることを理解する。キリスト教世界では人間の弱さを示す飲酒が日本では人間らしさとして許容されており、勤勉に生きる日本人の努力は、個人ではなく村や社会や国家のためのものであって、期待される人間であろうとするのが日本人だとするなど、『菊と刀』は鵜呑みに出来ない部分もあるが、小説にはそうした日本人論のステレオタイプがそっくり反映されていると思われるので、それを読み解いていくことで、当時の日本人の理想的な生活や憧れが何だったのかを考える。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：江分利満(everyman)が日本人の典型として描かれていることを日本人論から理解する。
11回	**授業テーマ：オイルショックと『日本沈没』** 授業内容：オイルショックについての説明をしたあと、オイルショックと『日本沈没』をめぐる世紀末ブームとの関係を考える。 事前学修 2.0hr：オイルショックについて調べてくる。 事後学修 2.0hr：オイルショックと『日本沈没』ブームの関係を理解し、７０年代日本をキーワードで記憶する。
12回	**授業テーマ：1970 年代(1)小松左京『日本沈没』―小松左京の紹介** 授業内容：高度経済成長期になぜこの小説が書かれたのか、万国博覧会のテーマ企画との関係や、田中角栄の『日本列島改造論』との関係について説明する。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んで、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：小松左京の仕事の総体を理解する。単語ノートを復習。
13回	**授業テーマ：1970 年代(2)小松左京『日本沈没』―映画と原作** 授業内容：小説公開当時に作られた特撮映画「日本沈没」を DVD で補助として見ながら、『日本沈没』を読む。国土を失った日本人が、外交上、文化上、どのように生きていけるのか、地球人として生きていくために何が必要かを小説から考えるとともに、そうしたテーマが、東京オリンピックや万国博覧会で世界に活躍し始めた日本人の世界的地位に関係があることを読み解いていく。また、国土開発と自然破壊のテーマについても考察する。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『日本列島改造論』(国土開発)、万博の未来学、などのキーワードを理解して復習する。
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：50 年代、60 年代、70 年代、と 10 年ごとに授業を進めてきた。そのまとめと試験対策。 事前学修 2.0hr：これまでの授業をキーワードでまとめる復習作業をする。 事後学修 2.0hr：高度経済成長の様子が、授業で取り上げた小説にどのように描かれていたかをまとめておく。
15回	**授業テーマ：テストと振り返り** 授業内容：テストと振り返り。 事前学修 3.0hr：テストに備えた学習。 事後学修 1.0hr：テストの不明点の復習。

フランス語とフランス文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

馬越　洋平（うまこし　ようへい）

▌授業の概要

フランス語やフランス文化を学ぶ授業になります。フランス語については、発音や文法などの基礎的な学習から始めてゆきます。フランス語入門者のための授業です。グループワーク(アクティブラーニング)として、教科書を用いながら学生同士でフランス語の会話の練習なども実施します。この授業を受けることで、フランスを旅行するのに十分な語学力を身に着けることができるでしょう。また、いくつかのテーマに分けてフランス文化の講義も行います。フランス文化を様々なテーマから取り上げる予定です。半期で一区切りとなります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：・発音、文法などの初歩的なフランス語を身につけて、平易な表現を使えるようにする。
　　・文化、歴史、生活などの面から、フランスという国の特色を理解する。異文化への理解を育む。
個別目標：・フランス語の仕組みを理解し、あいさつ、自己紹介、注文など、簡単な日常会話ができる。
　　・フランスという国の特徴を、文化、歴史、生活などの面から理解し、説明できる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生、及びそれと同等の語学力(フランス語)を有する学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(６０%)、授業の参加度(２０%)、課題提出(２０%)。これらを総合的に判断して成績が決まります。原則として５分の４以上の出席を前提条件とします。

▌フィードバック方法

授業や manaba を通して伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

カフェ・フランセ<新装版>、ニコラ・ガイヤール (著), 加藤豊子 (著), 中川高行 (著), フロランス・容子・シュードル (著), 柳嶋周 (著)、朝日出版社、(初版２０１６年)

▌参考書

必須ではないが、フランス語の辞書を手に入れていることが望ましい。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、アルファベ** 授業内容：授業のガイダンスから始める。フランス語のアルファベの読み方を確認する。フランスの地理や、日本語のなかに溶け込んだフランス語を取り上げる。 事前学修 2.0hr：フランスについてイメージしておく 事後学修 2.0hr：フランス語のアルファベの復習
2回	**授業テーマ：母音の発音、子音の発音、リエゾン、アンシェヌマン** 授業内容：フランス語の発音の勉強をする。母音、子音をフランス語の単語を例に確認する。リエゾンやアンシェヌマンと言った発音上の現象を学ぶ。 事前学修 2.0hr：フランス語のアルファベの復習 事後学修 2.0hr：「これは何ですか？」などの確認した表現の復習
3回	**授業テーマ：発音のまとめ、「フランスのカフェ文化」** 授業内容：前回の授業で学んだ発音の規則を復習する。「フランスのカフェ文化」の講義を行う。フランス文化がカフェという場所を中心に育まれていった経緯を学ぶ。 事前学修 2.0hr：発音の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
4回	**授業テーマ：第１課　自己紹介と挨拶、主語人称代名詞と動詞「です」** 授業内容：自己紹介と挨拶の表現を学ぶ。そのために主語人称代名詞や動詞「～です」などの文法の確認から始める。具体的に会話文で練習する。 事前学修 2.0hr：発音の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、確認した表現を覚える
5回	**授業テーマ：第１課　国籍、数字、「フランスの年中行事」** 授業内容：引き続き、自己紹介と挨拶の表現を学ぶ。国籍や数字もフランス語で言えるようにする。「フランスの年中行事」を知ることで、フランス人の一年の営みを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：主語人称代名詞、動詞「です」の復習
6回	**授業テーマ：第２課　はいといいえ、職業・身分の表現、住んでいる場所を言う** 授業内容：フランス語で職業や身分を言えるようにする。はいといいえを用いた応答を学ぶ。「住む」という動詞を確認する。 事前学修 2.0hr：主語人称代名詞、動詞「です」の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、動詞「住む」の復習
7回	**授業テーマ：第２課　er 動詞、「フランスの美術」** 授業内容：er 動詞の活用を確認する。前回の授業で学んだ表現を用いて、学生同士で会話の練習をする。「フランスの美術」を、映像で主要美術館をめぐりながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：er 動詞の活用を覚える
8回	**授業テーマ：第３課　否定文、不定冠詞、注文する** 授業内容：名詞の性と数、否定文、不定冠詞などの文法の確認から始める。フランスのカフェで注文するのに必要な表現を学ぶ。学生同士で会話の練習をする。 事前学修 2.0hr：er 動詞の活用の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、否定文、不定冠詞の復習
9回	**授業テーマ：第３課　注文する、「フランスの小説」** 授業内容：注文の表現の練習を引き続き行う。「フランスの小説」の主要作品を紹介する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習

10回	**授業テーマ：第４課　動詞「持っている」、否定の de、疑問文** 授業内容：動詞「持っている」の活用を確認する。否定の de を学ぶ。フランス語の疑問文を学ぶ。身の回り品に冠詞をつけてみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、動詞「持っている」の活用を覚える
11回	**授業テーマ：第４課　年齢やメールアドレスを聞く、「フランス映画」** 授業内容：例文を参考に、年齢やメールアドレスを聞けるようにする。フランス映画史をたどりながら、重要な「フランス映画」を紹介する。 事前学修 2.0hr：動詞「持っている」の活用復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
12回	**授業テーマ：第５課　所有形容詞、疑問詞、形容詞の性と数、人物を描写する** 授業内容：「私の」「君の」などの所有形容詞を覚える。「誰」、「どこ」などの疑問詞を学ぶ。形容詞を用いて人物を描写してみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：所有形容詞、形容詞の性と数、疑問詞の復習
13回	**授業テーマ：第５課　人物を描写する、国名、「シャンソンを聴くⅠ」** 授業内容：前回の授業で学んだ文法を思い出しながら、人物を問い、人物を描写する練習をする。シャンソンの名曲を、フランス語で歌詞を読みながら聴く。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
14回	**授業テーマ：前期のフランス語の復習、「シャンソンを聴くⅡ」** 授業内容：フランス語の練習問題を解いて、前期に習ったフランス語の復習を行う。授業時間内に答え合わせと解説を行う。フランス語の歌詞を読みながら、シャンソンの名曲を聴く。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した問題の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前期の授業のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前回確認した問題の復習 事後学修 2.0hr：全体の復習

フランス語とフランス文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

西村　美穂（にしむら　みほ）

▌授業の概要

テクストのタイトル『 Ça sonne bien! 』は、音の響きがステキ！ という意味です。フランス語会話、シャンソン(歌)、ポエム(詩)、映画などを鑑賞しながら、フランス語の音をたくさん聞き、みんなで一緒にフランス語の音やフレーズを何度も声に出し、友達と協力しながら、使えるフランス語を身につけていきましょう。まずは、Alphabet（アルファベ)から。

フランス語と英語の似ているところと違うところを考えながら、フランスの文化、そしてフランス語圏の文化についても理解を深めていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：フランス語圏の人に、フランス語で簡単な自己紹介ができるようにする。

個別目標：①フランス語の母音を理解し、フランス語圏の人に理解してもらえる発音を目指す。
②綴り字の規則を覚え、フランス語が読めるようにする。
③友達と協力しながら、使えるフランス語を覚える。
④フランスやフランス語圏の文化に触れてみる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生は履修不可。

▌評価基準・方法

評価基準・方法：課題・小テスト 40 %、評価テスト 60 %

評価テスト：最終回 15 回目に行う。詳しくは授業中に指示する。

▌フィードバック方法

授業内、または学修支援システム manaba を使用。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

" Ça sonne bien! ", Atsuko Nakamura, 駿河台出版社, 2017.

▌参考書

ドラ・トーザン　『パリジェンヌのパリ 20 区散歩』　ポプラ社

S. リキエル　『ソニア・リキエルのパリ散歩』　集英社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Alphabet** 授業内容：①ガイダンス　②フランス語の簡単な挨拶　③アルファベ　La chanson de l'Alphabet 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
2 回	**授業テーマ：発音記号の読み方＆綴り字の読み方** 授業内容：①フランス語母音字の発音記号の読み方＆綴り字の読み方　②発音記号を見ながら正しい発音で　Alphabet を読む 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
3 回	**授業テーマ：C'est un musée.** 授業内容：①名詞の性と数　③不定冠詞と定冠詞　③提示表現 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
4 回	**授業テーマ：Je suis contente.** 授業内容：①動詞 être　②形容詞(国籍、性格、職業、色) 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
5 回	**授業テーマ：Nous n'avons plus de croissants.** 授業内容：①動詞 avoir　②部分冠詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
6 回	**授業テーマ：J'étudie le français.** 授業内容：① -er 動詞　②疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
7 回	**授業テーマ：Je finis mon travail à 18 heures.** 授業内容：① -ir 動詞　②指示形容詞　③所有形容詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
8 回	**授業テーマ：Bilan 1 自己紹介をしよう！** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
9 回	**授業テーマ：Qu'est-ce qu'il fait dans la vie ?** 授業内容：①疑問代名詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
10 回	**授業テーマ：Où est-ce que vous passez vos vacances?** 授業内容：①動詞 aller,partir ②前置詞と定冠詞の縮約　③近接未来　④疑問副詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題

11回	**授業テーマ：Je viens d'acheter une chemise rose.** 授業内容：①動詞 venir ②前置詞と前置詞の縮約　③近接過去　④指示代名詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
12回	**授業テーマ：Je vous vois dimanche.** 授業内容：①動詞 voir, descendre　②直接目的語・強勢形の人称代名詞　③命令法 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
13回	**授業テーマ：Dis-lui bonjour de ma part.** 授業内容：①動詞 écrire,dire　②間接目的語の人称代名詞　③非人称構文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
14回	**授業テーマ：Bilan 2　道を尋ねる** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
15回	**授業テーマ：Ça sonne bien !** 授業内容：総復習 事前学修 2.0hr：学習内容総復習 事後学修 2.0hr：総復習

フランス語とフランス文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

馬越　洋平（うまこし　ようへい）

▌授業の概要

フランス語やフランス文化を学ぶ授業になります。前期に引き続き、文法を中心にフランス語の基礎を学んでゆきます。フランス語は入門レベルの授業です。グループワーク(アクティブ・ラーニング)として、教科書を用いて学生同士でフランス語の会話の練習なども行います。比較級など前期の授業よりもより発展した内容になります。この授業を受けることで、フランスを旅行するのに十分な語学力を身に着けることができるでしょう。また、様々なテーマから、フランス文化の講義も行います。半期で一区切りとなります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：・発音、文法などの初歩的なフランス語を身につけて、平易な表現を使えるようにする。
　　・文化、歴史、生活などの面から、フランスという国の特色を理解する。異文化への理解を育む。
個別目標：・フランス語の仕組みを理解し、あいさつ、自己紹介、尋ねる、注文など、簡単な日常会話ができる。
　　・フランスという国の特徴を、文化、歴史、生活などの面から理解し、説明できる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生、及びそれと同等の語学力(フランス語)を有する学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(６０%)、授業参加度(２０%)、課題提出(２０%)。これらを総合的に判断して成績が決まります。原則として５分の４以上の出席を前提条件とします。

▌フィードバック方法

授業や manaba を通して伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

カフェ・フランセ<新装版>、ニコラ・ガイヤール (著), 加藤豊子 (著), 中川高行 (著), フロランス・容子・シュードル (著), 柳嶋周 (著)、朝日出版社、(初版２０１６年)

▌参考書

必須ではないが、フランス語の辞書を手に入れておくことが望ましい。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、前期の内容の復習** 授業内容：授業についてのガイダンスを行う。教科書とプリントを用いて、前期に習ったフランス語の文法のおさらいをする。 事前学修 2.0hr：発音、動詞の活用などの復習 事後学修 2.0hr：確認した文法の復習
2回	**授業テーマ：第６課　これは何ですか？　物の位置を言う** 授業内容：定冠詞や場所を表す語句を学んで、物の位置を表せるようにする。「これは何ですか」というフレーズを使って会話してみる。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：「これは何ですか？」などの確認した表現の復習
3回	**授業テーマ：第６課　定冠詞、場所を表す語句、「フランスのことわざと名言」** 授業内容：前回に引き続き、場所の表現を応用して会話の練習を行う。場所の表現と定冠詞に親しむ。フランスの「ことわざ」と「名言」を取り上げて考察する。 事前学修 2.0hr：前回確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
4回	**授業テーマ：第７課　好みを言う、形容詞の位置、～があります** 授業内容：「～が好きです」という表現を学ぶ。好きなこと、その程度も言えるようにする。「～があります」などの重要表現も学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、確認した表現を覚える
5回	**授業テーマ：第７課　様々な好みを言う、「パリについて」** 授業内容：フランス語で好みを聞き、好みを言ってみる。文化講義として「パリ」について歴史や文化などの観点から学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：好みの表現や形容詞の位置について復習
6回	**授業テーマ：第８課　天気の表現、比較級、非人称構文** 授業内容：フランス語の天気を表す表現を学ぶ。非人称構文、比較級などの文法知識も習得する。学生同士で、フランス語で天気や洋服について話してみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
7回	**授業テーマ：第８課　色と洋服、「フランスの地方について」** 授業内容：洋服や色に関する表現に親しむ。実際に人・物を比較級で比べてみる。「フランス地方」の魅力を様々な都市を取り上げて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：比較級の復習
8回	**授業テーマ：第９課　部分冠詞、中性代名詞、動詞「取る」と「する」** 授業内容：部分冠詞や中性代名詞を学ぶ。頻出動詞「取る」と「する」の活用を覚える。それらを会話文のなかで実際に使ってみる。 事前学修 2.0hr：比較級の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
9回	**授業テーマ：第９課　～をします、朝食をとる、「フランスの世界遺産」** 授業内容：「朝食に～をとる」などをフランス語で言えるようにする。パリから地方まで「フランスの世界遺産」を映像などを用いて学ぶ。 事前学修 2.0hr：動詞「取る」、「する」の活用の復習 事後学修 2.0hr：朝食をとるなどの確認した表現の復習
10回	**授業テーマ：第１０課 ～に行く、中性代名詞 y** 授業内容：動詞「行く」を学ぶ。他の頻出動詞も学ぶ。動詞「行く」や中性代名詞 y を使って会話する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習

11回	**授業テーマ：第１０課　乗り物、曜日や場所、招待する、「ワインについて」** 授業内容：乗り物を使った表現や、曜日、場所を組み合わせて文を作ってみる。フランス語で招待できるようにする。フランス文化における「ワイン」の重要性を講義する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：動詞「行く」など確認した表現の復習
12回	**授業テーマ：第１１課　日常生活と時間の表現、代名動詞** 授業内容：フランス語の時間の表現について学ぶ。代名動詞を使えるようにする。日常生活を語るための表現を覚える。 事前学修 2.0hr：動詞「行く」などの確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：時間・代名動詞などの確認した表現の復習
13回	**授業テーマ：第１１課　時間の言い方、代名動詞、「シャンソンを聴くⅢ」** 授業内容：前回覚えた時間の表現や代名動詞などを用いて、一日を描写してみる。「シャンソンを聴くⅢ」では前期と同様で、歌詞を確認しながらシャンソンの名曲を聴く。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：時間の表現、代名動詞の復習
14回	**授業テーマ：後期のフランス語の復習、「シャンソンを聴くⅣ」** 授業内容：後期のフランス語の内容をおさらいするために練習問題を解く。授業時間内に答え合わせと解説を行う。「シャンソンを聴くⅣ」では、フランス文化を学びながらシャンソンを聴く。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した問題の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後期の授業のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前回確認した問題の復習 事後学修 2.0hr：全体の復習

フランス語とフランス文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

西村　美穂（にしむら　みほ）

▌授業の概要

フランス語とフランス文化Ａで使用したテクスト『 Ça sonne bien! 』を引き続き勉強します。この題名は、音の響きがステキ！ という意味です。フランス語会話、シャンソン(歌)、ポエム(詩)、映画などを鑑賞しながら、フランス語の音をたくさん聞き、みんなで一緒に、フランス語の音やフレーズを何度も声に出し、友達と協力しながら、使えるフランス語を身につけていきましょう。まずは、フランス文化Ａで学習したフランス語の読みから。

フランス語と英語の似ているところと違うところを考えながら、フランスの文化、そしてフランス語圏の文化についても理解を深めていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：フランス語圏の人に、フランス語で簡単な自己紹介ができるようにする。

個別目標：①フランス語の母音を理解し、フランス語圏の人に理解してもらえる発音を目指す。
②綴り字の規則を覚え、フランス語が読めるようにする。
③友達と協力しながら、使えるフランス語を覚える。
④フランスやフランス語圏の文化に触れてみる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生は履修不可。

▌評価基準・方法

評価基準・方法：課題・小テスト 40 %、評価テスト 60 %

評価テスト：最終回 15 回目に行う。詳しくは授業中に指示する。

▌フィードバック方法

授業内、または学修支援システム manaba を使用。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

" Ça sonne bien! ", Atsuko Nakamura, 駿河台出版社, 2017.

▌参考書

ドラ・トーザン　『パリジェンヌのパリ 20 区散歩』　ポプラ社

S. リキエル　『ソニア・リキエルのパリ散歩』　集英社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：復習１** 授業内容：①ガイダンス　②フランス語母音字の発音記号の読み方＆綴り字の読み方　③アルファベ　④数字 1-20 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
2 回	**授業テーマ：復習２** 授業内容：①時刻、数詞 20-60 ②６文型 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
3 回	**授業テーマ：復習３** 授業内容：①月、曜日、数詞 70-100　③疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
4 回	**授業テーマ：復習４** 授業内容：①名詞　②冠詞　③形容詞　③疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
5 回	**授業テーマ：Dépêche-toi!** 授業内容：①題名動詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
6 回	**授業テーマ：Ma mère m'a téléphné.** 授業内容：①直接法複合過去 1　② puvoir, devoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
7 回	**授業テーマ：Nous sommes montés à la tour Eiffel.** 授業内容：①直接法複合過去 2　② croire, lire 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
8 回	**授業テーマ：Des citrons, j'en prends deux.** 授業内容：① 中性代名詞 ② vouloir, savoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
9 回	**授業テーマ：Quelle est la meilleure saison ?** 授業内容：①比較級　②最上級　③ connaitre, courir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
10 回	**授業テーマ：Bilan 1 日記を書こう！** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題

11回	**授業テーマ：L'été, j'allais à la mer.** 授業内容：①直接法半過去　②直接法大過去 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
12回	**授業テーマ：Quelle est la région que tu aimes le plus ?** 授業内容：①関係代名詞 ② offrir, recevoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
13回	**授業テーマ：Tu viendras avec nous.** 授業内容：①直接法単純未来　②受動態 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
14回	**授業テーマ：Bilan 2　グリーティングカード(誕生日カード、クリスマスカード、年賀状)を書こう！** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
15回	**授業テーマ：Ça sonne bien !** 授業内容：総復習 事前学修 2.0hr：学習内容総復習 事後学修 2.0hr：課題

ドイツ語とドイツ文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

ドイツと聞いて初めに何を想像しますか？ まずは誰もがビールにソーセージ、自動車産業にサッカーなどを連想するでしょう。そして第二次世界大戦や冷戦期の東西ドイツの分断なども思い出すことでしょう。しかしそれだけではありません。日本では明治時代以降、ドイツの様々な文化や社会制度を手本として取り入れて来ました。この授業では、ドイツの歴史、社会や文化、法律、そしてドイツ語の基礎を学ぶことを通じて、同時に私たちが住んでいる日本という国についての理解も深めていきます。前期の授業では歴史を中心に学ぶ予定ですが、授業テーマは随時変更することがあります。各テーマについて積極的に考えてもらうため、授業中の発言や意見交換をする機会を定期的に作ります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会システムや問題点について理解するためには、海外の状況と比較することが有効です。外国の制度とそれに至るまでの歴史的過程を知ることで、日本とは異なった視点があることを知ることができ、日本の制度の特色や問題点に気づくことができます。日本の価値観や考え方だけにとらわれず、多面的でバランスのとれた見方ができるようになることがこの授業の到達目標です。また、ドイツ語の基礎知識を織り交ぜることで、新たな言語に対する理解を深めます。

個別目標：1. ドイツの歴史を中心に、社会制度や文化など、様々な特徴や問題について考え、日本との違いを説明できるようになる。
2. ドイツ語という言語の基礎知識を知って知的視野を広げる。

▌履修条件

ドイツという国およびドイツ語への興味関心、日本と異なる文化や考え方を学ぶ探求心、そして主体的に課題に取り組める方をお待ちしています。
※当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業中の課題（授業中の発言・意見交換、小テスト等）：30 %
期末試験：70%
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム等）で課題提出を行う。成績に影響するため、メールの通知設定も含めて必ず事前準備しておくこと

▌フィードバック方法

質問がある場合、授業後に担当者に直接聞いて下さい。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて意見交換やディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて課題等で使用する）

▌教科書

伊藤直子 /吉村暁子 /小野寺賢一『ひらめき、発見、ドイツ語文法 (Sei aktiv!)』朝日出版社
授業時間の約半分はドイツ語学習です。ドイツ語の文法説明と練習問題で毎週使用するため、必ず持参すること。
その他、担当者が作成したレジュメやパワーポイントなどの追加資料を併用して授業を進める。

▌参考書

特になし。必要に応じて参考書を履修者に提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに：ドイツについて** 授業内容：数ある外国の中でなぜドイツに興味を持ったのかを考える。ドイツの制度や文化について、何をどう学んでいきたいかを説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
2 回	**授業テーマ：ドイツの宗教と祭り** 授業内容：ドイツのキリスト教文化と代表的な祭り（カーニバル、イースター、クリスマスマーケット）について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：ドイツの生活文化と価値観** 授業内容：ドイツにおける生活文化の違いや価値観について、動画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：歴史①ドイツの成り立ち（前編）** 授業内容：18 世紀頃までのドイツの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：歴史②ドイツの成り立ち（後編）** 授業内容：19〜20 世紀初頭までのドイツの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：歴史③第二次世界大戦前〜戦後ドイツ** 授業内容：第二次世界大戦が始まるまで、そして戦後ドイツの状況を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：EU とドイツ** 授業内容：EU ができるまでの歴史的発展を概説する。EU 組織の基礎知識と制度やシステムについて説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8 回	**授業テーマ：ドイツの移民について** 授業内容：ドイツの移民に関する歴史や政策、現在の課題について概説する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

9回	**授業テーマ：ドイツとトルコ系移民(前編)** 授業内容：本テーマにまつわる映画を視聴して、ドイツにおけるトルコ系移民について知見を深める。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10回	**授業テーマ：ドイツとトルコ系移民(後編)** 授業内容：本テーマにまつわる映画を視聴して、ドイツにおけるトルコ系移民について知見を深める。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：ドイツの政治** 授業内容：ドイツの政治、選挙システム、政党について概説する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：ドイツとジェンダー①憲法の母たち** 授業内容：ドイツの歴史をジェンダー視点から振り返る。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：ドイツとジェンダー②選択的夫婦別姓と専業主婦** 授業内容：ドイツが選択的夫婦別姓制度を取り入れた経緯を概説する。また、専業主婦に対する考え方が日本と異なることを説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
14回	**授業テーマ：ドイツの観光** 授業内容：ドイツにおける有名な観光地・グルメについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
15回	**授業テーマ：まとめ：総復習** 授業内容：全体の復習と今後の展望について説明する。この授業を通じて何を学んだか、そしてこれから何をどう学んでいくかを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

ドイツ語とドイツ文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

リースナー　フランク　ペーター

▌授業の概要

ドイツ語については、発音をしっかり身につけ、やさしい日常会話に必要な文法を習得してもらい、初歩的な日常会話を練習します。
文化については、履修者は文化的なトピックについて特別な課題に取り組み、先生からフィードバックを受けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会の仕組みやそこに生起する問題について深く理解するための 1 つの方法は、外国の状況と比較することである。外国の制度や問題解決を参照することにより、日本におけるのとは異なった方法があることを知ることができる。また、外国の状況を知ることによりはじめて、日本の制度や文化のもつ際立った特色や問題点について気づくこともできる。こうした比較のためにドイツはきわめて適している。履修者がこうした、多面的でバランスのとれた見方ができるようになるための一助とすることを授業の到達目標としたい。

個別目標：日本とドイツのそれぞれの社会制度や文化、言語について、それぞれの特色や問題点を指摘し、相互に比較しながらそれぞれの利害得失について説明できるようになること、である。この授業を通して履修者が、ドイツ語という言語と、その言語が使われているドイツ社会に大いに関心をもち、知的視野を広げてくれることを願っている。
「ドイツ語検定 5 級」に合格できる。

▌履修条件

当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。主体的に課題に取り組み、自分にとって未知の問題でも、積極的に取り組もうという気持ちをもった学生に履修してほしい。

▌評価基準・方法

授業への参加度（授業への参加姿勢＋課題の提出の有無・出来具合）50 %、期末試験 50 %の結果に基づき、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

期末試験の具体的内容については、試験の 1,2 週間前に、説明します。
尚、課題および定期試験のフィードバックは、授業中行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートを行ってもらう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森公正・Frank Riesner『ドイツ語の泉』、同学社　ISBN 978-4-8102-0977-8

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：アルファベット、発音(母音、子音)** 授業内容：ドイツ語ではどれだけの文字を使うのかを説明します(英語で使用する文字に、さらに 4 文字余計に使用します)。 それらの文字が、語のなかでどのように発音されるかが、発音の問題です。初回の授業では、発音について、説明・練習をします。 事前学修 2.0hr：シラバスをもう一度確認し、テキストの発音部分を眺めておく。 事後学修 2.0hr：ドイツ語の文字の確認と、母音や子音の発音の復習。
2 回	**授業テーマ：発音(母音, 子音)、動詞の現在人称変化** 授業内容：発音の説明・練習の続きです。発音を終らせます。動詞、動詞の現在人称変化を導入します。 ドイツ語では、主語の人称(1 人称単数(「私は」)・2 人称単数(「君は」)……)に応じて、動詞が変化するという現象があります。それを人称変化と言います。 事前学修 2.0hr：テキストの今回の発音の部分を眺めておく。 事後学修 2.0hr：英語と比較しての、ドイツ語の動詞の確認する。
3 回	**授業テーマ：定動詞の位置、動詞の現在人称変化の練習** 授業内容：規則動詞の現在人称変化を練習し、文中の動詞の位置に注意すること。口調上注意すべき動詞の現在人称を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの口調上注意すべき動詞の現在人称変化や文中の動詞の位置の部分を予習しておく。 事後学修 2.0hr：口調上注意すべき動詞の現在人称変化や文中の動詞の位置の部分の復習しておく。
4 回	**授業テーマ：sein (である) の現在人称変化、動詞の現在人称変化の練習** 授業内容：sein 動詞の不規則現在人称変化の練習・規則現在人称変化復習です。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの動詞の現在人称変化の部分を予習しておく。 事後学修 2.0hr：動詞の現在人称変化の復習しておく。
5 回	**授業テーマ：名詞の性** 授業内容：名詞の性、男性名詞、女性名詞、中性名詞の特徴を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの第 2 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：男性名詞、女性名詞、中性名詞の復習しておく。
6 回	**授業テーマ：名詞の性、冠詞の格変化(1)** 授業内容：名詞の性、冠詞の格変化の 1,4 格を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：冠詞の格変化の 1,4 の復習しておく。
7 回	**授業テーマ：名詞の性、冠詞の格変化 (2)** 授業内容：名詞の性、冠詞の格変化の 2,3 格を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは旧東西ドイツです。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：冠詞の格変化の 2,3 の復習しておく。

8回	**授業テーマ：不規則動詞 sein を復習、haben の導入** 授業内容：ドイツ語で圧倒的に使われる”sein”と、2 番目によく使われる”haben”という動詞の現在人称変化、および、発音の都合上、規則的な現在人称変化と若干変化が異なる動詞を扱います。 「ドイツ文化」のテーマは旧東西ドイツです。 事前学修 2.0hr：テキストの 2 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：不規則動詞 sein や haben の現在人称変化の復習しておく。
9回	**授業テーマ：複数形** 授業内容：複数形の形が紹介されています。どのような語尾がありますか。 「ドイツ文化」のテーマはベルリンの壁崩壊です。 事前学修 2.0hr：複数形を予習しておく。 事後学修 2.0hr：複数形の復習しておく。
10回	**授業テーマ：複数形の格変化** 授業内容：複数形の格変化の導入 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (1) です。 事前学修 2.0hr：3 課の文法事項を予習しておく。 事後学修 2.0hr：複数形の格変化の復習しておく。
11回	**授業テーマ：男性弱変化名詞** 授業内容：複数形の使い方と特殊な形を紹介します。。 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (2) です。 事前学修 2.0hr：3 課の文法事項を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
12回	**授業テーマ：教科書の第 1、第 2、第 3 課の復習** 授業内容：動詞の現在人称変化、名詞の 1,2,3,4 格 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (3) です。 事前学修 2.0hr：テキストで第 1、第 2、第 3 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：テキストで第 1、第 2、第 3 課を復習しておく。
13回	**授業テーマ：定冠詞の格変化の復習** 授業内容：定冠詞の使い方 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (1) です。 事前学修 2.0hr：定冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
14回	**授業テーマ：不定冠詞の格変化の復習** 授業内容：不定冠詞のの練習 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (2) です。 事前学修 2.0hr：不定冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
15回	**授業テーマ：第 1 課から第 3 課までの繰り返し** 授業内容：前期にやったことのまとめ 事前学修 2.0hr：これまでにやったことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：これまでにやったことを確実に身につけておく。

ドイツ語とドイツ文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

日本では明治時代以降、ドイツの様々な文化や社会制度を手本として取り入れて来ました。この授業では、ドイツ社会や文化、法律、そしてドイツ語の基礎を学ぶことを通じて、同時に私たちが住んでいる日本という国についての理解も深めていきます。履修者には各テーマについて積極的に考えてもらうため、授業中の発言や意見交換をする機会を定期的に作ります。なお、この科目は、前期「ドイツ語とドイツ文化 A」の後半部分です。歴史にまつわるテーマが中心だった前期に比べて、後期はドイツの社会制度や文化に関する割合が多くなっています。※授業内容は随時変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会システムや問題点について理解するためには、外国の状況と比較することが有効です。外国の制度を知ることで、日本とは異なった視点があることを知ることができ、さらに日本の制度・文化の特色・問題点に気づくこともできます。日本の価値観や考え方だけにとらわれず、多面的でバランスのとれた見方ができるようになることがこの授業の到達目標です。また、ドイツ語の基礎知識を織り交ぜることで、新たな言語に対する理解を深めます。

個別目標：1. 日本とドイツの社会制度や文化・考え方など、様々な特徴や問題点を指摘し、相互を比較して違いを説明できるようになる。
2. ドイツ語という言語の基礎知識を知って知的視野を広げる。

▌履修条件

ドイツという国およびドイツ語への興味関心、日本と異なる文化や考え方を学ぶ探求心、そして主体的に課題に取り組める方をお待ちしています。
※当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。
※ドイツ語の文法は前期からの継続となります。後期から履修される方は事前に教科書の前半を読んで、ある程度キャッチアップしておいて下さい。

▌評価基準・方法

授業中の課題（授業中の発言・意見交換、小テスト等）：30 %
期末試験：70%
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム等）で課題提出を行う。成績に影響するため、メールの通知設定も含めて必ず事前準備しておくこと

▌フィードバック方法

質問がある場合、授業後に担当者に直接聞いて下さい。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて意見交換やディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて課題等で使用する）

▌教科書

伊藤直子 /吉村暁子 /小野寺賢一『ひらめき、発見、ドイツ語文法 (Sei aktiv!)』朝日出版社
授業時間の約半分はドイツ語学習です。ドイツ語の文法説明と練習問題で毎週使用するため、必ず持参すること。
その他、担当者が作成したレジュメやパワーポイントなどの追加資料を併用して授業を進める。

▌参考書

特になし。必要に応じて参考書を履修者に提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに：ドイツについて** 授業内容：前期の授業を振り返りながら、ドイツという国とその制度や文化について、どのように知識を深めていきたいかを改めて考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
2 回	**授業テーマ：ドイツの教育制度** 授業内容：ドイツの教育システムを学びながら、日本の教育システムとの違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：ドイツの大学制度** 授業内容：ドイツの大学制度を学びながら、日本の大学制度との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：旧東ドイツ①社会状況と日常生活** 授業内容：旧東ドイツ（DDR）時代の人々の日常生活について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：旧東ドイツ②オスタルギーとは（前編）** 授業内容：東西ドイツ再統一とその後の旧東ドイツの状況について、映画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：旧東ドイツ③オスタルギーとは（後編）** 授業内容：東西ドイツ再統一とその後の旧東ドイツの状況について、映画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：ドイツの職業訓練と仕事観** 授業内容：ドイツ人の職業に対する意識と仕事観について学びながら、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8 回	**授業テーマ：ドイツの産業と企業** 授業内容：ドイツを代表する企業やドイツの産業について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

9回	**授業テーマ：ドイツと貧困** 授業内容：ドイツにおける人々の経済事情や貧困について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10回	**授業テーマ：ドイツ人の働き方** 授業内容：ドイツ国内の仕事事情について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：ドイツの税金と社会保険** 授業内容：ドイツの税金制度や社会保険システムを学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう①各地域の特色** 授業内容：ドイツ留学を検討する際に考えるべき、選ぶべき地域の特色について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう②食文化や生活習慣** 授業内容：ドイツ留学を検討する際に考えるべき、ドイツ人の食文化や生活習慣について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
14回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう③外国人として生活する** 授業内容：ドイツ留学を検討する際、自身が外国人として生活することについて考えてみる。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
15回	**授業テーマ：まとめ：総復習** 授業内容：全体の復習を行う。この授業を通じて何を学んだか、そしてこれから何をどう学んでいくかを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

ドイツ語とドイツ文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

リースナー　フランク　ペーター

▌授業の概要

ドイツ語については、『ドイツ語とドイツ文化 A』に引き続き、やさしい日常会話に慣れ親しんでもらうことを目指します。
文化については、履修者は文化的なトピックについての特別な課題に取り組み、先生からフィードバックを受けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会の仕組みやそこに生起する問題について深く理解するための 1 つの方法は、外国の状況と比較することである。外国の制度や問題解決を参照することにより、日本におけるのとは異なった方法があることを知ることができる。また、外国の状況を知ることによりはじめて、日本の制度や文化のもつ際立った特色や問題点について気づくこともできる。こうした比較のためにドイツはきわめて適している。履修者がこうした、多面的でバランスのとれた見方ができるようになるための一助とすることを授業の到達目標としたい。

個別目標：日本とドイツのそれぞれの社会制度や文化、言語について、それぞれの特色や問題点を指摘し、相互に比較しながらそれぞれの利害得失について説明できるようになること、である。この授業を通して履修者が、ドイツ語という言語と、その言語が使われているドイツ社会に大いに関心をもち、知的視野を広げてくれることを願っている。
「ドイツ語検定 5 級」に合格できる。

▌履修条件

当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。
尚、ドイツ語に関しては、『ドイツ語とドイツ文化 A』のレベルの内容（具体的には、ドイツ語の発音、現在人称変化、名詞の性・格の知識）を前提とすることを、承知しておいてください。

▌評価基準・方法

・授業への参加度（授業への参加姿勢＋課題の提出の有無・出来具合）50 %、期末試験 50 %の結果に基き、総合的に評価します。期末試験の具体的内容については、試験の 1,2 週間前に、説明します。

▌フィードバック方法

課題および定期試験のフィードバックは、授業中行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートを行ってもらう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森公正・Frank Riesner『ドイツ語の泉』、同学社 ISBN 978-4-8102-0977-8

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ドイツとドイツ語の基本情報** 授業内容：ドイツ語については、「ドイツ語とドイツ文化 A」で勉強した内容の復習 事前学修 2.0hr：これまでに学習したことを予習しておく。 事後学修 2.0hr：初回の授業の内容を復習しておく。
2 回	**授業テーマ：動詞の現在人称変化(不規則)** 授業内容：不規則動詞の現在人称変化の導入。 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (1) です。 事前学修 2.0hr：動詞の現在人称変化の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：不規則動詞の現在人称変化の復習をしておく。
3 回	**授業テーマ：命令形** 授業内容：命令形の導入。 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (2) です。 事前学修 2.0hr：命令形の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
4 回	**授業テーマ：nicht の位置** 授業内容：否定文の導入 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (3) です。 事前学修 2.0hr：否定文の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
5 回	**授業テーマ：定冠詞類** 授業内容：定冠詞類の導入 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (4) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。(１格、２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
6 回	**授業テーマ：不定冠詞類** 授業内容：不定冠詞類んの導入、所有代名詞の使い方 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (5) です。 事前学修 2.0hr：不冠詞の格変化を予習しておく。(１格、２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
7 回	**授業テーマ：人称代名詞　１格、３格、４格** 授業内容：人称代名詞の導入、定冠詞類や不定冠詞類の練習 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (6) です。 事前学修 2.0hr：テキストの第５課を予習しておく。(２９ページ) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。

8回	**授業テーマ：文法的否定形 nicht , kein** 授業内容：nicht, kein の使い分け 「ドイツ文化」のテーマは 法制度 (1) です。 事前学修 2.0hr：nicht, kein を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
9回	**授業テーマ：２、３，４格支配の前置詞** 授業内容：２、３，４格支配の前置詞の導入。 「ドイツ文化」のテーマは 法制度 (2) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。(２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
10回	**授業テーマ：２、３，４格支配の前置詞の復習** 授業内容：３格、４格、スイッチ型前置詞のを復習しておく。 「ドイツ文化」のテーマは経済 (1) です。 事前学修 2.0hr：３格、４格の前置詞と冠詞類を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
11回	**授業テーマ：前置詞の融合形** 授業内容：前置詞と冠詞の組み合わせ方 「ドイツ文化」のテーマは経済 (2) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
12回	**授業テーマ：縦続接続詞と副文** 授業内容：主文と副文の特徴の説明、副文の構造の導入。 「ドイツ文化」のテーマは経済 (３) です。 事前学修 2.0hr：動詞の位置を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
13回	**授業テーマ：第 4 の復習** 授業内容：第 4 の復習 「ドイツ文化」のテーマは教育 (1) です。 事前学修 2.0hr：命令形と動詞の現在人称不規則変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
14回	**授業テーマ：第 5、第 6 の復習** 授業内容：第 5、第 6 の復習 「ドイツ文化」のテーマは教育 (2) です。 事前学修 2.0hr：前置詞と冠詞類を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
15回	**授業テーマ：第課 4 から第 6 課までの繰り返し** 授業内容：後期にやったことのまとめ 事前学修 2.0hr：これまでにやったことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。

スペイン語とスペイン文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

ゴンサレス　ガブリエル

▌授業の概要

スペイン語は、使用人口が世界で 3 番目に多く、20 を超える国々で話されています。
本講座の中心目標は、スペイン語の基本を習得することです。それを通じて、スペイン語文化圏の理解にも努めます。
スペイン語圏を紹介するビデオも数回見ます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：スペイン語の基本を身に付けること。
　　スペイン語で最低限の会話のやり取りができるようになること。
個別目標：スペインとスペイン語圏の国の文化や習慣など理解できること。
　　スペイン語圏、スペイン語圏のビジネス界を理解する。

▌履修条件

1 年次からの開講科目。
スペイン語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業への参加度と宿題: 20%
学期中の小テスト: 20%
期末試験: 60%

▌フィードバック方法

Manaba の個別指導。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で積極的な参加）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Manaba）

▌教科書

スペイン語とわたし
－日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ －
El español y yo. スペイン語教材研究会編者、2025 年 (改訂版)、朝日出版社

▌参考書

「本気で学ぶスペイン語」菅原昭江著、2011 年、同学社
「スペイン語ワークブック」小川雅美編著、2007 年、同学社
「先生と学ぶスペイン語」山下好孝、森淳子共著、2009 年、同学社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：スペイン語のアルファベット** 授業内容：授業の進め方について　2と3ページスペイン語のアルファベット、発音について 事前学修 2.0hr：2と3ページを読む 事後学修 2.0hr：スペイン語のアルファベット、発音について
2回	**授業テーマ：スペイン語の国際言葉** 授業内容：ユニットすでに知っているスペイン語の言葉4－7ページ. Preliminar: Tú ya sabes cosas 事前学修 2.0hr：4－7ページを読む 事後学修 2.0hr：固有名詞、教室で役に立つ表現、数字(0－10)
3回	**授業テーマ：スポーツ I** 授業内容：ユニット1スポーツとわたし　8－10ページ　Unidad 1: Los deportes y yo 事前学修 2.0hr：8－10ページを読む 事後学修 2.0hr：名詞の性、名詞の数、定冠詞、主語代名詞を勉強する
4回	**授業テーマ：スポーツ　II** 授業内容：ユニット1スポーツとわたし　11-13ページ　Unidad 1: Los deportes y yo 事前学修 2.0hr：11-13ページを読む 事後学修 2.0hr：「ser」動詞の現在形、疑問文、否定文を勉強する
5回	**授業テーマ：食べ物と料理　I** 授業内容：ユニット2食べ物とわたし14-16ページ 事前学修 2.0hr：14-16ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(名詞、定冠詞、主語)を勉強する
6回	**授業テーマ：食べ物と料理　II** 授業内容：ユニット2食べ物とわたし17-19ページ.　Unidad 2: Las comidas y yo 事前学修 2.0hr：17-19ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「ser」動詞、疑問文、否定文)を勉強する
7回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：ユニット1、2の中の小テストトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット1と2を小テストトレーニングする 事後学修 2.0hr：小テストトレーニングの振り返りをする
8回	**授業テーマ：旅行 I** 授業内容：ユニット旅行とわたし20-22ページ. Unidad 3: Los viajes y yo 事前学修 2.0hr：20-22ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(数字) を勉強する
9回	**授業テーマ：旅行 II** 授業内容：ユニット旅行とわたし23-25ページ. Unidad 3: Los viajes y yo 事前学修 2.0hr：23-25ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(職業、国籍) を勉強する

10回	**授業テーマ：音楽 I** 授業内容：ユニット音楽とわたし２６- ２８ページ. Unidad 4: La música y yo 事前学修 2.0hr：２６-２８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(不定冠詞、品質形容詞)を勉強する
11回	**授業テーマ：音楽 II** 授業内容：ユニット音楽とわたし２９- ３１ページ. Unidad 4: La música y yo 事前学修 2.0hr：２９-３１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(所有詞前置形)を勉強する
12回	**授業テーマ：趣味と仕事** 授業内容：ユニット趣味対仕事３２- ３３ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：３２-３３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「tener」動詞、疑問詞)を勉強する
13回	**授業テーマ：仕事** 授業内容：ユニット趣味対仕事３４-３５ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：３４-３５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(指示の形容詞と代名詞)を勉強する
14回	**授業テーマ：趣味** 授業内容：ユニット趣味対仕事３６-３７ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：３６-３７ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「estar」動詞、「haber」動詞)を勉強する
15回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：まとめ　ユニット３、４と５の試験のトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット３、４と５を勉強トレーニングする 事後学修 2.0hr：前期の復習を勉強する

スペイン語とスペイン文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

ゴンサレス　ガブリエル

▌授業の概要

スペイン語は、使用人口が世界で 3 番目に多く、20 を超える国々で話されています。
本講座の中心目標は、スペイン語の基本を習得することです。それを通じて、スペイン語文化圏の理解にも努めます。
スペイン語圏を紹介するビデオも数回見ます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：スペイン語の基本を身に付けること。
　　スペイン語で最低限の会話のやり取りができるようになること。
個別目標：スペインとスペイン語圏の国の文化や習慣など理解できること。
　　スペイン語圏、スペイン語圏のビジネス界を理解する。

▌履修条件

1 年次からの開講科目。
スペイン語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業への参加度と宿題: 20%
学期中の小テスト: 20%
期末試験又は小テスト: 60%

▌フィードバック方法

Manaba の個別指導。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で積極的な参加）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Manaba）

▌教科書

スペイン語とわたし
－日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ －
El español y yo. スペイン語教材研究会編者、2025 年 (改訂版)、朝日出版社

▌参考書

「本気で学ぶスペイン語」菅原昭江著、2011 年、同学社
「スペイン語ワークブック」小川雅美編著、2007 年、同学社
「先生と学ぶスペイン語」山下好孝、森淳子共著、2009 年、同学社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業の進め方について 事前学修 2.0hr：前期の復習 事後学修 2.0hr：前期の復習を勉強する
2 回	**授業テーマ：ショーとエンターテイメント I** 授業内容：ユニット６ユニット映画　演劇等とわたし３８-４０ページ Unidad 6: Los espectáculos y yo 事前学修 2.0hr：３８-４０ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(GUSTAR 動詞)を勉強す
3 回	**授業テーマ：ショーとエンターテイメント II** 授業内容：ユニット６ユニット映画　演劇等とわたし４１-４３ページ Unidad 6: Los espectáculos y yo 事前学修 2.0hr：４１-４３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(GUSTAR と同じように用いられる動詞、比較表現 II)を勉強する
4 回	**授業テーマ：伝統 I** 授業内容：ユニット７色々な習慣４４-４５ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４４-４５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(語幹母音変化動詞)を勉強する
5 回	**授業テーマ：伝統 II** 授業内容：ユニット７色々な習慣４６-４７ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４６-４７ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(再帰動詞)を勉強する
6 回	**授業テーマ：伝統 III** 授業内容：ユニット７色々な習慣４８- ４９ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４８-４９ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(居間、天候表現)を勉強する
7 回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：ユニット６と７の中の小テスト 事前学修 2.0hr：ユニット６と７を小テストトレーニングする 事後学修 2.0hr：小テストの振り返りをする
8 回	**授業テーマ：買い物に行く I** 授業内容：ユニット８買い物に行く５０-５１ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５０-５１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(食べ物と飲み物)を勉強する
9 回	**授業テーマ：買い物に行く II** 授業内容：ユニット８買い物に行く５２-５３ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５２-５３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(レシピ)を勉強する

10回	**授業テーマ：買い物に行く III** 授業内容：ユニット８買い物に行く５４-５５ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５４-５５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(衣服とアクセサリー、品質形容詞、色)を勉強する
11回	**授業テーマ：家族と友達 I** 授業内容：ユニット９家族と友人５６-５８ページ Unidad 9: Familia y amigos 事前学修 2.0hr：５６-５８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(体の部分の名称)を勉強する
12回	**授業テーマ：家族と友達 II** 授業内容：ユニット９家族と友人５９-６１ページ Unidad 9: Familia y amigos 事前学修 2.0hr：５９-６１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(状態、体調・感情表現)を勉強する
13回	**授業テーマ：祭り I** 授業内容：ユニット１０行事　お祭り等とわたし６２-６４ページ Unidad 10: Las fiestas y yo 事前学修 2.0hr：６２-６４ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(日常生活を表す動詞)を勉強する
14回	**授業テーマ：祭り II** 授業内容：ユニット１０行事　お祭り等とわたし６５-６８ページ Unidad 10: Las fiestas y yo 事前学修 2.0hr：６５-６８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(曜日、頻度を表す副詞表現)を勉強する
15回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：まとめ　ユニット８、９と１０の試験のトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット８、９と１０を勉強する 事後学修 2.0hr：後期の復習を勉強する

韓国語と韓国文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

全　イジョング（じょん　いじょんぐ）

▌授業の概要

韓国の言葉と文化に対する理解を深め、音声や文字、語彙、表現、文構造などについて、日本語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読み書きに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる基礎的な技能を身につけていく授業です。また、ハングルキーボード使用法の習熟なども行われます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：(1) 自然なイントネーションや正確な発音を身につける。
(2) 綴り字と発音の違いについて習得し、単語やフレーズを正しく発音できる。
(3) 積極的なコミュニケーション能力の素地を養う。
(4) ハングルキーボード使用法の習熟を図り、ハングルワードの作成やネット検索ができる。

個別目標：(1) 正しく発音できて、音声を聴き正しく書き取れる。
(2) 発話練習を繰り返し、簡単な挨拶、自己紹介ができる。
(3) パソコンを使った検索やハングルワードの作成ができる。

▌履修条件

・韓国語や朝鮮語を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修できない。
・授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること。
・教科書は必ず購入すること。
・履修者の抽選を行うので第 1 回目の授業に出席しないと履修ができない。

▌評価基準・方法

・学期末試験 (40%)、授業時の小テスト及び「振り返りシート」(30%)、課題・学習態度 (30%) によって総合的に評価する。
・5 分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
・課題などのフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。
＊学期末テストの再試験は行わない。

▌フィードバック方法

課題をはじめ「小テスト」、授業後の質疑応答などは大学の学修支援システム (manaba) を利用し行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワードソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

ジョン・イジョング著 『一人でできる韓国語発音トレーニング』(ask 出版)

▌参考書

適宜資料を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション、「ハングルとは何か」** 授業内容：ハングルができる前の朝鮮半島の文字生活に身て、それからハングルの制字原理や制字思想など、ハングル誕生に関わるいくつかの事柄について触れて行く。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業の概要を理解する。 事後学修 2.0hr：配布された資料を読み直し「確認問題」に取り組む。講義動画を閲覧する。
2 回	**授業テーマ：「短母音、半母音Ⅰ」** 授業内容：短母音 8 つと半母音 (ヤ系) 6つの習得する (書き方、発音方法などをしっかり覚える)。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧しハングル母音について学修する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：「半母音Ⅱ、二重母音、基本子音字」/小テスト** 授業内容：半母音 (ワ系) 6つと二重母音 1 つの書き方、発音方法を覚え、発音の練習を行う。また、14 個の基本子音字の書き方、発音方法などを覚え、母音と組み合わせて読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：「二重子音字、ハングル字母表の読み練習」** 授業内容：基本子音字と二重子音字の音の違いを理解し発音練習に取り組む。ハングル字母表をつくり、読みの練習をする。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：「パッチム、聞き取り小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。パッチムの仕組み、読み方などの説明。パッチムのついた単語の聞き分け、言い分けの練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧しバッチムについて予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：「バッチムの読み練習、ハングルキーボード使用法」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。パッチムがついた単語を読む練習。書き取りテスト実施。ハングルキーボード使用法を習熟に取り組む。ワード入力練習やハングルでネット検索を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧する。読みながら書く練習をする。 事後学修 2.0hr：バッチムを繰り返し音読する。ワードの打ち方を習熟させる。
7 回	**授業テーマ：「読み書き練習、仮名のハングル表記/小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。単語を聴き正確に書き取る練習を繰り返し行う。日本語の仮名をハングル表記法を覚え、人名や地名を使い書き方の練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を声に出して数回読み予習する。 事後学修 2.0hr：声の上がり下がりの調子や息の出し方に注意し発話練習をする。

8回	**授業テーマ：「発音のルール」(連音化、弱音化)/小テスト」** 授業内容：綴りと発音について把握し発音のルールを覚える。歌の歌詞を使い、連音化と弱音化を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：「発音のルール」(濃音化、激音化、流音化)/小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。歌の歌詞、簡単な語彙を使い、濃音化、激音化、流音化を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：「発音のルール」(鼻音化、口蓋音化 、添加)** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。歌の歌詞、簡単な語彙を使い、鼻音化、口蓋音化 、添加を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：「韓国語の文法の仕組み、品詞について」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。日本語と韓国語の文章を比較しながら共通点と違いを把握する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、「確認問題」に取り組む。
12回	**授業テーマ：「日常の挨拶の言葉」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。簡単な挨拶言葉の発音をチェックし、発話の練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：音声教材を聴き何度も音読する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：「体言の叙述」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。体言の叙述表現について習得する。作文に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、「確認問題」に取り組む。
14回	**授業テーマ：「体言の否定形、自己紹介発表/小テスト」** 授業内容：フィードバックを行う。体言の否定形表現について習得する。作文に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。自己紹介文を作成しておく。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ、各自発表 (品物や人物、場所などを紹介する)** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。学習してきた内容をおさらいする。グループ別に発表する。 事前学修 2.0hr：試験に備えてまとめをする。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。

韓国語と韓国文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

全 イジョング（じょん いじょんぐ）

▌授業の概要

TOPIK2 級レベルのの実用的な表現やよりネイティブに近い言い回しを覚え、韓国語で発信するための準備運動(作文作り、内容をコンパクトにまとめる) をし、話すステップへ移行していきます。誰かに説明する時に求められる語彙力や要約力を高め、上手に話せる力をしっかり磨きます。また、K-POP や韓国ドラマ等にも触れ、自然で伝わりやすい表現方法を丁寧に説明します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：基礎文法を固めながら語彙力や要約力を高め、読解力を養うとともにプレゼンテーションに役立つ能力を身に付ける。

個別目標：・文章を読む上で必要な読解力を高めていく。
・文章の要点を掴んで簡潔にまとめる力を養う。
・韓国語の TOPIK2-３級の合格を目指す。

▌履修条件

・「韓国語と韓国文化 A」を履修ずみであることが望ましい。(履修済みでない場合は担当教員へご相談ください)。
・授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること。
・グループワークを行うことが多いので遅刻や欠席をしないこと。
・履修者の抽選を行いますので必ず第１回目の授業にご出席ください。

▌評価基準・方法

・学期末試験 (40%)、授業時の小テスト及び「振り返りシート」(30%)、課題・学習態度 (30%) によって総合的に評価する。
・5 分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
・課題などのフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。
＊再試験は行わない。

▌フィードバック方法

課題のフィドバックをはじめ「レポート提出」、「小テスト」、「授業後の質疑応答」などは大学の学修支援システム (manaba) を利用し行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワードソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

テキストは学修支援システム manaba に掲載する。

▌参考書

Never 検索辞書
ジョンイジョング著『一人でできる韓国語トレーニング』(ask 出版)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：用言の叙述表現** 授業内容：用言の叙述表現につて学習する。作文づくりあり。発話練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義概要を理解する。講義動画を閲覧する。 事後学修 2.0hr：講義動画を閲覧し学習した内容を復習し、課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：不規則用言について/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。不規則用言活用をする用例を確認し、作文づくりに取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：指示詞と疑問詞/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。指示詞と疑問詞を学習する。グループ別に発表する。 事前学修 2.0hr：疑問詞と指示詞の講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習したものを復習し、課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：動詞・形容詞の否定形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。用言の否定形について学習する。文章作りに取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：漢数字/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。漢数字を学習しテキストの「練習問題」に取り組む。会話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：存在詞/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。存在詞の言い回しをまとめる。日本語の文章を韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：固有数字/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。固有数字について学習。日本語の文章から韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：過去形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。過去形を学習した後、テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：文の接続 (状態・動作の羅列)** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。文の接続表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：仮定・条件表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。仮定・条件表現叙述表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：許可・不許可表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。許可・不許可表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：勧誘形表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。勧誘表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：連体形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。連体形について学習する。連体形を使った文章作りをし発話練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：可能・不可能表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。可能・不可能表現について学習する。日本語の文章から韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：基本文法のまとめ。振り返りシート完成** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。前期の授業で学習された内容を確認し、「振り返りシート」を完成する。 事前学修 2.0hr：基礎文法のまとめ、振り返りシートを作成する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習する。

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

于　明明 (う　めいめい)

▌授業の概要

初心者を対象に、中国語を学ぶ楽しさを知り、文化として中国語を学ぶ意味を主眼に置きながら、初級中国語を習得する。具体的に、発音の表記記号ピンインから始まり、初級文法(入門編)を系統的に学び、簡単な会話を習得していく。また、中国の生活、社会、歴史など文化的な要素に触れ、中国語を学ぶ意味を深めていく。中国語学習をメインとする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：中国語の発音については、仕組みの特徴を理解し、読み書きできる。中国語の文字については、日本語漢字との違いを区別することができ、書けるようになる。独力で基礎的な中国語を学習していく能力を身につける。中国の文化については、中国の生活、社会などに関することを概略的に言える。

個別目標：初級文法を学習し、簡単な会話で使えるようになる。
日常挨拶、買い物、レストランでの注文、道尋ね、家族構成の紹介、旅行や留学など日常生活についての表現ができる。

▌履修条件

初学者を対象とする。
当該言語 (中国語) を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修不可。

▌評価基準・方法

①試験 60 %：学習到達度を測定するため、授業内で小テストを実施する。テストの成績によって、以降の授業の進み方を見直し、改善していくことができる。
②受講状況 40 %：授業内容によって、課題提出や口頭発表等のこともある。また、しっかり出席することも重要。
原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba 実施

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （対話練習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書：『しゃべっていいとも中国語 トータル版』
著者：陳淑梅 劉光赤
朝日出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：「中国語」の仕組みと発音の慣らし** 授業内容：授業の進め方、予習の方法、評価方法などについて説明する。今後中国語学習していく上での目標を定めましょう。 「中国語」の仕組みと発音記号ピンインの構造についての説明及び数字の発音の慣らし。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業概要を理解する。 事後学修 2.0hr：本日学習した内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習** 授業内容：声調、単母音、複母音、声調記号のつけ方の学習。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習** 授業内容：子音 (1)、子音 (2) の学習。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習** 授業内容：鼻母音 (-n,-ng を伴う母音)、軽声、声調変化、声調の組み合わせ。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：第 5 課　〈迎接〉 出迎える** 授業内容：姓の言い方、名前(フルネーム)の言い方の学習。人称代名詞、名前の尋ね方の学習。 事前学修 2.0hr：ピンイン、数字と基本の挨拶の暗唱、テキストの予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 5 課 初対面挨拶の仕方の確認。 第 5 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
6 回	**授業テーマ：第 6 課　〈歓迎会〉 歓迎パーティー** 授業内容：①動詞「是 shì」、助詞「的 de」、疑問詞の学習。②肯定文、否定文、疑問文の学習。 事前学修 2.0hr：第 5 課 人称代名詞の復習、第 6 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 6 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 6 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
7 回	**授業テーマ：第 7 課　〈打的〉 タクシーに乗る** 授業内容：基本語順(S+V+O)と二つ以上の動詞からなる文―連動文の学習。 事前学修 2.0hr：第 5 課～第 6 課の内容の復習、第 7 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 7 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 7 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
8 回	**授業テーマ：第 8 課　〈住宿〉 宿泊する** 授業内容：①希望や願望を表す助動詞「想 xi ǎ ng」の学習。②所有と存在を表す動詞、指示代名詞の学習。指示代名詞の導入。 事前学修 2.0hr：第 7 課の内容の復習、第 8 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 8 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 8 課の単語を覚え、会話文を熟読し、ホテルでチェックインする時の言い方を覚える。
9 回	**授業テーマ：第 9 課　〈問路〉 道を尋ねる** 授業内容：所在を表す動詞、方位詞、前置詞の学習。動詞「在 zài」、方向位置を表すことば―方位詞、前置詞「从 cóng」、「往 w ǎ ng」など。 事前学修 2.0hr：第 8 課の内容の復習、第 9 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 9 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 9 課の単語を覚え、会話文を熟読し、道の尋ね方を確認すること。

10回	**授業テーマ：第 10 課　〈買東西〉 ショッピングをする** 授業内容：①数の言い方、中国語のお金の言い方、値段の尋ね方の学習。②形容詞、副詞、形容詞述語文の学習。 事前学修 2.0hr：第 9 課の内容の復習、第 10 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 10 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 10 課の単語を覚え、会話文を熟読し、買い物の場面の会話確認。
11回	**授業テーマ：第 11 課　〈聊天儿〉 おしゃべりをする** 授業内容：年月日、曜日、年齢の言い方、年齢の尋ね方の学習。 事前学修 2.0hr：第 10 課の内容の復習、第 11 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 11 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 11 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
12回	**授業テーマ：第 12 課　〈点菜〉 料理を注文する** 授業内容：①量詞、動詞の重ね型の学習。②料理の名前、注文の仕方の学習。 事前学修 2.0hr：第 11 課の内容の復習、第 12 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 12 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 12 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
13回	**授業テーマ：第 13 課　〈買足球票〉 サッカーのチケットを買う** 授業内容：時間の長さの言い方、動作行為の完了を表す助詞「了 le」の学習。 事前学修 2.0hr：第 12 課の内容の復習、第 13 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 13 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 13 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
14回	**授業テーマ：第 1 課～第 13 課を復習** 授業内容：①前期授業内容を復習。②これまでの内容を復習し、既出の単語（意味とピンイン、簡体字）、文法などを覚える。また、日本語から中国語訳ができるようにする。 事前学修 2.0hr：第 1 課～第 13 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 1 課～第 13 課の内容の復習。
15回	**授業テーマ：授業のまとめ** 授業内容：総括及び学習到達度確認、今学期学んだ事を中心として確認テストなどを行う。 事前学修 2.0hr：第 1 課～第 13 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：特になし

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

初学者を対象に中国語「普通話」の基礎を学ぶ科目である。中国および中国語の概要に始まり、発音、文法、表現などについて、講義および演習を通じて理解を促す。さらに中国文化についても紹介する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：中国の現状を知るとともに、中国語で簡単な文章を理解し、聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：1. 中国と中国文化について知る。
2. ピンインを読むことができる。
3. 基本文型を用いて表現できる。

▌履修条件

中国語を母語とする学生は履修できない。

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中国語ポイント 55』本間史・孟広学著、白水社

▌参考書

授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：中国と中国語の概要** 授業内容：中国がどのような国であり、中国語がどのような言語であるか説明する。 事前学修 2.0hr：中国について文献等の資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、さらに自ら資料を精読して理解を深める。
2回	**授業テーマ：普通話、ピンイン、簡体字** 授業内容：普通話がどのようなものであるか説明し、普通話と不可分のピンインや簡体字を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3回	**授業テーマ：文の構造** 授業内容：中国語の文を構成するには主語、述語、目的語などを適切な語順で配列する必要があることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4回	**授業テーマ：人称代名詞、是** 授業内容：一人称、二人称、三人称、単数、複数などの人称代名詞を紹介し、動詞「是」を用いた文の構成方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5回	**授業テーマ：疑問文、名前** 授業内容：疑問文の作り方、および氏名の名乗り方を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6回	**授業テーマ：動詞述語文、指示代名詞** 授業内容：近称や遠照の指示代名詞を紹介し、それらを用いて動詞述語文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
7回	**授業テーマ：疑問詞、的** 授業内容：疑問詞を用いた疑問文のつくり方、および「的」を用いた定語の用法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8回	**授業テーマ：形容詞述語文、有** 授業内容：形容詞述語文のつくり方、および動詞「有」の用法について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9回	**授業テーマ：反復疑問文、也、都** 授業内容：反復疑問文を紹介するとともに、状語として副詞を用いる方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10回	**授業テーマ：場所代名詞、在** 授業内容：場所を指示する代名詞を紹介し、さらに動詞「在」を用いて文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11回	**授業テーマ：動詞の重ね型、省略疑問文** 授業内容：動詞の重ね型について説明し、さらに語気助詞を用いた省略疑問文を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

12回	**授業テーマ：数詞、量詞** 授業内容：数の発音を練習し、1 個のりんご、3 冊の本などをどう表現するか説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13回	**授業テーマ：幾と多少、語気助詞** 授業内容：疑問詞を用いて数量を尋ねる方法を紹介し、さらに語気助詞について詳説する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14回	**授業テーマ：存在、連動文** 授業内容：動詞「有」を用いて存在を表現する方法を説明し、さらに連動文という型を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15回	**授業テーマ：月日、時刻** 授業内容：月日、曜日、時刻などの表現方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

于　明明（う　めいめい）

▌授業の概要

後期の授業では、前期で学んだ発音や基本的な文法をさらに発展させ、簡単な日常会話に必要な表現や語彙を習得していく。前期で学んだピンインに基づく発音をさらに磨き、音の変化や声調の使い分けを実践的に学び、発音力を高めることを目指す。初級文法(ステップアップ編)をしっかりと学習し、基本的な文の構造や表現を理解し、簡単な会話で使えるようになる。また、簡単な日常会話で使うフレーズを繰り返し練習する。中国の習慣、社会、歴史的背景を学ぶことで、言語が持つ意味や背景を理解し、中国語を使う楽しさと重要性を実感する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：後期の授業では、中国語の発音と基本文法をマスターして、発音、会話、文法、文化の理解を深めることを目標にしている。中国語の発音に関して、前期で学んだピンインや声調の理解を深め、正確に発音できるようになる。中国語の文字について、日本語漢字との違いをより詳細に理解し、実際に書けるようになる。

個別目標：学生は日常的なシチュエーションで使われるフレーズや表現を習得し、簡単な会話をスムーズにこなせるようになる。
中国語検定試験 4 級に合格できるレベルの文法、語彙、会話スキルを習得する。

▌履修条件

初学者を対象とする。
当該言語 (中国語) を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修不可。

▌評価基準・方法

①試験 60 %：学習到達度を測定するため、授業内で小テストを実施する。テストの成績によって、以降の授業の進み方を見直し、改善していくことができる。
②受講状況 40 %：授業内容によって、課題提出や口頭発表等のこともある。また、しっかり出席することも重要。
原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba 実施。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （対話練習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書：『しゃべっていいとも中国語　トータル版』
著者：陳淑梅　劉光赤
朝日出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、第 14 課の予習** 授業内容：前期の内容を復習する。前期の皆さんの中国語学習の状況について確認する。後期の授業の進め方、予習の方法、評価方法などについて説明する。第 14 課を予習する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、後期授業概要を理解する。第 14 課の内容を復習する。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：学習した内容の復習。
2回	**授業テーマ：第 14 課　〈做足底按摩〉 足裏マッサージ** 授業内容：①時間の長さの言い方の学習。②動作行為の完了を表す助詞「了 le」の学習。 事前学修 2.0hr：第 13 課の内容の復習、第 14 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 14 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 14 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
3回	**授業テーマ：第 15 課　〈在前台〉 フロントで** 授業内容：前置詞「給 g ě i」、助動詞「可以 k ě yǐ 」、「能 néng」の学習。 事前学修 2.0hr：第 14 課の内容の復習、第 15 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 15 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 15 課の単語を覚え、会話文を熟読し、ホテルフロントでの様々な頼みことができるかの確認。
4回	**授業テーマ：第 16 課　〈打電話〉 電話をかける** 授業内容：動詞の現在進行形、助動詞「会 huì」の学習。 事前学修 2.0hr：第 15 課の内容の復習、第 16 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 16 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 16 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
5回	**授業テーマ：第 17 課　〈打工〉 アルバイトする** 授業内容：前置詞「在 zài」 、二重目的語をとる動詞の学習。 事前学修 2.0hr：第 16 課の内容の復習、第 17 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 17 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 17 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
6回	**授業テーマ：第 18 課　〈在飯店〉 レストランで** 授業内容：経験を表す助詞「過 guo」、選択疑問文の学習。 事前学修 2.0hr：第 17 課の内容の復習、第 18 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 18 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 18 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
7回	**授業テーマ：第 19 課　〈去唱卡拉 OK〉 カラオケに行く** 授業内容：助動詞「得 d ě i」、「一～就 y ī ～jiù」構文の学習。 事前学修 2.0hr：第 18 課の内容の復習、第 19 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 19 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 19 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
8回	**授業テーマ：第 20 課　〈你唱得真好〉 あなたは歌がうまい** 授業内容：結果補語、様態補語の学習。 事前学修 2.0hr：第 19 課の内容の復習、第 20 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 20 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 20 課の単語を覚え、会話文を熟読する。

9回	**授業テーマ：第 21 課　〈全家福〉 家族写真** 授業内容：「是～的 shì～de」構文、比較表現―前置詞「比 b ǐ 」の学習。 事前学修 2.0hr：第 20 課の内容の復習、第 21 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 21 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 21 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
10回	**授業テーマ：第 22 課　〈買襯衫〉 シャツを買う** 授業内容：方向補語①単純方向補語、「有点儿 y ǒ udi ǎ nr」と「一点儿 yìdi ǎ nr」の学習。 事前学修 2.0hr：第 21 課の内容の復習、第 22 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 22 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 22 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
11回	**授業テーマ：第 23 課　〈生日晚会〉 誕生パーティー** 授業内容：「把 b ǎ 」構文の学習、方向補語(2)複合方向補語の学習。 事前学修 2.0hr：第 22 課の内容の復習、第 23 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 23 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 23 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
12回	**授業テーマ：第 24 課　〈看 DVD〉 DVD を見る** 授業内容：程度補語、可能補語の学習。 事前学修 2.0hr：第 23 課の内容の復習、第 24 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 24 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 24 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
13回	**授業テーマ：第 25 課　〈看病〉 診察を受ける** 授業内容：主述述語文、受け身表現の学習。 事前学修 2.0hr：第 24 課の内容の復習、第 25 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 25 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 25 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
14回	**授業テーマ：第 26 課　〈回国之前〉 帰国前** 授業内容：「就要～了 jiùyào～le」、使役日表現の学習。 事前学修 2.0hr：第 25 課の内容の復習、第 26 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 26 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 26 課の単語を覚え、会話文を熟読する。 第 13 課～第 26 課の内容の復習。
15回	**授業テーマ：授業のまとめ** 授業内容：総括及び学習到達度確認、今学期学んだ事を中心として確認テストなどを行う。 事前学修 2.0hr：第 13 課～第 26 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：特に無し

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

前学期に引き続き、中国語「普通話」の基礎を学ぶための授業である。発音について復習した後に、より進んだ内容の講義と演習を行い、中国語の基礎を確かなものにする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：中国の現状を広く理解するとともに、中国語で様々な文章を理解し、聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：1. 中国と中国文化について広く知る。
2. 定語、状語、補語を加えた文を理解することができる。
3. 基本文型を応用して表現できる。

▌履修条件

中国語を母語とする学生は履修できない。

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中国語ポイント 55』本間史・孟広学著、白水社

▌参考書

授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：中国語と中国文化** 授業内容：中国とはどのような国か、中国語とはどのような言語か、中国文化圏がどのように広がっているか説明する。 事前学修 2.0hr：中国について文献等の資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、さらに自ら資料を精読して理解を深める。
2 回	**授業テーマ：普通話、ピンイン、簡体字** 授業内容：普通話において用いられる簡体字とピンインについて説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3 回	**授業テーマ：文の構造** 授業内容：主語、述語、目的語、状語などを用いて中国語の文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4 回	**授業テーマ：要、想、在、従** 授業内容：助動詞を用いて願望を表現する方法を紹介し、さらに前置詞を状語として用いることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5 回	**授業テーマ：完了** 授業内容：助詞「了」について、語気助詞としての用法と動態助詞としての用法を紹介し、完了の概念を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6 回	**授業テーマ：能、会、可以** 授業内容：助動詞を用いて可能を表現する方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
7 回	**授業テーマ：経験、動量詞** 授業内容：動態助詞を用いて経験を表現する方法、および動量詞を補語として用いる方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8 回	**授業テーマ：給、対、正在** 授業内容：前置詞「給」「対」の用法と、副詞を用いて進行を表現する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9 回	**授業テーマ：着、要、快** 授業内容：動態助詞を用いて持続を表現する方法と、近未来の表現方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10 回	**授業テーマ：結果補語** 授業内容：結果補語の用法と語義について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11 回	**授業テーマ：様態補語、還是** 授業内容：様態補語の用法を説明し、さらに選択疑問文の構成方法を詳説する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

12回	**授業テーマ：方向補語** 授業内容：方向補語の用法と語義を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13回	**授業テーマ：把、比** 授業内容：前置詞「把」「比」を紹介し、それらが状語として用いられることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14回	**授業テーマ：可能補語、二重目的語** 授業内容：可能補語の用法と、例外的な二重目的語について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15回	**授業テーマ：是と的** 授業内容：強調構文を構成し、動作の時間、場所、方法を強調する方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

英語文化研究 A

開講学科等：日中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

英語圏と聞いて、皆さんがまず思い浮かべるのはアメリカとイギリスだと思います。しかし他にもたくさんの国々があります。例えばカナダやオーストラリア、ニュージーランドはもちろん、アイルランド、インド、シンガポール、フィリピンなども英語圏です。この授業では、英語圏の様々な国々の社会や文化を学び、異文化の知見を深めます。また、英語圏の国々の社会や文化を知ることで、日本の社会や文化について考える姿勢も養います。
同時に英語力の向上にも力を入れます。教科書は全て英語で書かれているため、英文や問題集を通して読解力や語彙の強化に取り組みます。グループワークや会話練習では話す力を、トピックに関連した英語の動画を視聴して聴く力を養います。授業前は、教科書の指定箇所の内容を事前学習していることが求められます。
なお、こちらはオーリングリッシュの授業ではありません。しかし履修人数や履修者の英語レベルに応じて、短い発表練習を行ったり、ごく簡単な英語を授業中に取り入れて、日常会話を英語で受け答えする練習も行います。会話練習はあくまで声出しが目的なので、成績には一切影響しません。イングリッシュカフェのような、英会話道場のような感覚ですので、単語の羅列だったり日本語が混じっていても全然 OK です。発音も一切考慮しなくて良いです。片言でも間違っていても通じれば良いので安心してください。完全な文章で話す必要はありません。英語をチャンク（ひとかたまりのブロック）として気軽に発言できるようになることを目標に楽しく学びましょう。
※この授業は、前期は「英語文化研究 A」で後期は「英語文化研究 B」となります。1 年間を通して継続的に学ぶことが可能な科目です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：1. 英語圏の国々の文化・社会を知ることで、他国について自ら興味を持って学んでいく姿勢を身につける。
2. 長めの英文を読んだり、自分の考えを書いたりすることで、読解力と語彙力を強化する。
3. 会話練習を行うことで、英会話に対する瞬発力、表現力を高める。
4. 英語で配信された動画を視聴することでトピックに関する視野を広げ、リスニング力を向上させる。

個別目標：1. 教科書で紹介されたトピックについて、内容を一通り理解して説明できる。
2. 教科書で紹介されたトピックについて、自分の考えを述べることができる。
3. 英語圏の国々の社会や文化を知り、日本の状況と比較できる。
4. 英語のチャンク（ひとかたまりのブロック）を用いて簡単な日常会話ができる。

▌履修条件

1. 英語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません
2. 教科書を購入して毎回持参すること（常に授業で使うため、教科書を購入しない場合は単位の取得は出来ません）
3. 授業までに教科書の指定箇所の内容を事前学習しておくこと（内容を知っている前提で授業が進みます）
4. 会話練習、グループワーク、意見交換など積極的に参加すること ※出席＆期末試験だけで単位取得はできません

▌評価基準・方法

授業への積極的参加（授業中の発言・意見交換、グループワーク、小テスト、授業外の課題提出等）：60 %
期末試験：40%（期末試験を受けないと単位の認定はできません）
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム）等で課題提出を行う。成績に影響するため、必ず事前準備しておくこと
※履修人数によって評価割合に変更が生じる可能性がある。変更がある場合は授業中に速やかに周知する。

▌フィードバック方法

授業時間内は口頭でフィードバックする。授業時間外は manaba または Google Classroom を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （会話練習や教科書のトピックについてグループワークや意見交換をする）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon（ルーム等）または Google Classroom を用いて授業時間内で課題・小テストなどに取り組む）

▌教科書

著者：Jesse Elam/Dawn Grimes-MacLellan/JA Kusaka/Dax Thomas
書名：Intercultural Pathways to the English-speaking World（グローバル・マインドでひろがる異文化の世界）
出版社：松柏社
※常に授業で使用するため、必ず購入して持参してください

▌参考書

英和/和英辞書（紙の辞書・電子辞書共に可。大学入学までに使用してきたもので構いません）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：この授業の概要を説明する。なぜこの授業に興味を持ったのかを共有する。英語圏の国々の社会や文化について、何をどう学んでいきたいかを考える。毎回の授業の流れや評価方法、出席登録や respon 等のシステム操作方法など重要なことを説明するため、可能な限り出席すること。※この日に教科書の紹介も行います 事前学修 2.0hr：シラバスを確認して、書店で教科書を手に取って試し読みする。履修が確定している場合は必ず購入しておくこと。 事後学修 2.0hr：教科書を購入したら目次を読んで、各チャプターがどのような内容であるか確認しておく。
2 回	**授業テーマ：Chapter 1: Introduction (1)** 授業内容：教科書の使い方の説明、および各チャプターの内容を紹介する。教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
3 回	**授業テーマ：Chapter 1: Introduction (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4 回	**授業テーマ：Chapter 2: The UK (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。

5回	**授業テーマ：Chapter 2: The UK (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6回	**授業テーマ：Chapter 3: Ireland (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
7回	**授業テーマ：Chapter 3: Ireland (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8回	**授業テーマ：Chapter 6: New Zealand (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Chapter 6: New Zealand (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10回	**授業テーマ：Chapter 7: Australia (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
11回	**授業テーマ：Chapter 7: Australia (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12回	**授業テーマ：Chapter 9: Singapore (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
13回	**授業テーマ：Chapter 9: Singapore (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14回	**授業テーマ：前期の総復習** 授業内容：これまでの授業の総復習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認して、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：前期の授業全体を復習して試験に備える。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前期授業で取り上げたトピックについて振り返り、自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：前期の授業全体を復習して試験に備える。 事後学修 2.0hr：試験の振り返りをする。

英語文化研究 B

開講学科等：日中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

英語圏と聞いて、皆さんがまず思い浮かべるのはアメリカとイギリスだと思います。しかし他にもたくさんの国々があります。例えばカナダやオーストラリア、ニュージーランドはもちろん、アイルランド、インド、シンガポール、フィリピンなども英語圏です。この授業では、英語圏の様々な国々の社会や文化を学び、異文化の知見を深めます。また、英語圏の国々の社会や文化を知ることで、日本の社会や文化について考える姿勢も養います。
同時に英語力の向上にも力を入れます。教科書は全て英語で書かれているため、英文や問題集を通して読解力や語彙の強化に取り組みます。グループワークや会話練習では話す力を、トピックに関連した英語の動画を視聴して聴く力を養います。授業前は、教科書の指定箇所の内容を事前学習していることが求められます。
なお、こちらはオーリングリッシュの授業ではありません。しかし履修人数や履修者の英語レベルに応じて、短い発表練習を行ったり、ごく簡単な英語を授業中に取り入れて、日常会話を英語で受け答えする練習も行います。会話練習はあくまで声出しが目的なので、成績には一切影響しません。イングリッシュカフェのような、英会話道場のような感覚ですので、単語の羅列だったり日本語が混じっていても全然 OK です。発音も一切考慮しなくて良いです。片言でも間違っていても通じれば良いので安心してください。完全な文章で話す必要はありません。英語をチャンク（ひとかたまりのブロック）として気軽に発言できるようになることを目標に楽しく学びましょう。
※この授業は、前期は「英語文化研究 A」で後期は「英語文化研究 B」となります。1 年間を通して継続的に学ぶことが可能な科目です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：1. 英語圏の国々の文化・社会を知ることで、他国について自ら興味を持って学んでいく姿勢を身につける。
2. 長めの英文を読んだり、自分の考えを書いたりすることで、読解力と語彙力を強化する。
3. 会話練習を行うことで、英会話に対する瞬発力、表現力を高める。
4. 英語で配信された動画を視聴することでトピックに関する視野を広げ、リスニング力を向上させる。

個別目標：1. 教科書で紹介されたトピックについて、内容を一通り理解して説明できる。
2. 教科書で紹介されたトピックについて、自分の考えを述べることができる。
3. 英語圏の国々の社会や文化を知り、日本の状況と比較できる。
4. 英語のチャンク（ひとかたまりのブロック）を用いて簡単な日常会話ができる。

▌履修条件

1. 英語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません
2. 教科書を購入して毎回持参すること（常に授業で使うため、教科書を購入しない場合は単位の取得は出来ません）
3. 授業までに教科書の指定箇所の内容を事前学習しておくこと（内容を知っている前提で授業が進みます）
4. 会話練習、グループワーク、意見交換など積極的に参加すること ※出席＆期末試験だけで単位取得はできません

▌評価基準・方法

授業への積極的参加（授業中の発言・意見交換、グループワーク、小テスト、授業外の課題提出等）：60 %
期末試験：40%（期末試験を受けないと単位の認定はできません）
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム）等で課題提出を行う。成績に影響するため、必ず事前準備しておくこと
※履修人数によって評価割合に変更が生じる可能性がある。変更がある場合は授業中に速やかに周知する。

▌フィードバック方法

授業時間内は口頭でフィードバックする。授業時間外は manaba または Google Classroom を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （会話練習や教科書のトピックについてグループワークや意見交換をする）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon（ルーム等）または Google Classroom を用いて授業時間内で課題・小テストなどに取り組む）

▌教科書

著者：Jesse Elam/Dawn Grimes-MacLellan/JA Kusaka/Dax Thomas
書名：Intercultural Pathways to the English-speaking World（グローバル・マインドでひろがる異文化の世界）
出版社：松柏社
※前期/後期で共通です。常に授業で使用するので、後期からの新規履修生は必ず購入して持参して下さい

▌参考書

英和/和英辞書（紙の辞書・電子辞書共に可。大学入学までに使用してきたもので構いません）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：新規履修生に向けて、この授業の概要を改めて説明する。なぜこの授業に興味を持ったのかを共有して、英語圏の国々の社会や文化について何をどう学んでいきたいかを考える。毎回の授業の流れや評価方法、出席登録や respon 等のシステム操作方法など重要なことを説明するため、可能な限り出席すること。※新規履修生がいない場合は前期の復習を行う。 事前学修 2.0hr：新規履修生は、書店で教科書を手に取って試し読みする。履修が確定している場合は必ず購入しておくこと。 事後学修 2.0hr：新規履修生は、教科書を購入したら目次を読んでおく。継続履修生は、前期で学んだことを振り返っておくこと。
2 回	**授業テーマ：Chapter 8: World Englishes (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
3 回	**授業テーマ：Chapter 8: World Englishes (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4 回	**授業テーマ：Chapter 10: India (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。

5回	**授業テーマ：Chapter 10: India (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6回	**授業テーマ：Chapter 11: The Philippines (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
7回	**授業テーマ：Chapter 11: The Philippines (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8回	**授業テーマ：Chapter 13: The USA (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Chapter 13: The USA (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10回	**授業テーマ：Chapter 14: Canada (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
11回	**授業テーマ：Chapter 14: Canada (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12回	**授業テーマ：Chapter 15: The Commonwealth (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
13回	**授業テーマ：Chapter 15: The Commonwealth (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14回	**授業テーマ：後期の総復習** 授業内容：これまでの授業の総復習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認して、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：後期の授業全体を復習して試験に備える。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後期授業で取り上げたトピックについて振り返り、自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：後期の授業全体を復習して試験に備える。 事後学修 2.0hr：試験の振り返りをする。

国際理解ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川　正純（おがわ　まさずみ）

▌授業の概要

世界で起きている戦争、差別、難民問題は、決して「遠い世界の話」ではありません。このゼミでは、世界で起きている出来事を、事実や背景から読み解く力を身につけます。話し合いを通して、「世界と自分とのつながり」を自分の言葉で考えていきます。人種や民族、多様性、多文化共生、難民問題、宗教が世界情勢に及ぼす影響などについて学び、国際問題を「感情」ではなく「背景」から考えられるようになります。グループワーク、プレゼンテーションを通じて、異なる価値観を持つ人と話すことへの抵抗が少なくなります。正解を覚えるのではなく、考え、話し合いながら理解を深めていくゼミです。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：世界情勢や宗教、人種問題などの多様性と多文化共生などについて理解し、世界を正しく読み解く知識・スキルを身につける。

個別目標：1. 世界の情勢とその背景、多様性や多文化共生、宗教が世界に及ぼす影響などについて自分の言葉で話せる。

2. 国際問題を遠い話ではなく、自分とつながる話として捉えることができる。

グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

▌履修条件

1．世界情勢や宗教、人種問題などの多様性と多文化共生など異文化、人種・性などの多様性などに関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2．グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3．専門知識や経験は不要であり、初めて学ぶ学生も歓迎する。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 %を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。原則として５分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導（コレクション）などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただしプレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、国際理解とは何か、経済と人間の尊厳** 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、資源・経済の価値と、人間の尊厳・未来の価値を対比して考えるグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：開発途上国の状況について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2回	**授業テーマ：日本を取り巻く世界情勢** 授業内容：日本を取り巻く領土問題、日米同盟、日本の外交の取り組みなどについて解説した後、グループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：日本を取り巻く世界情勢などについてのニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：世界を正しく読み解く** 授業内容：クイズとグループワークにより、先入観や思い込みでなく、事実やデータに基づき正しく世界を読み解く視点を身につける。授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：世界情勢についての関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：世界情勢①　アメリカ、ヨーロッパの動向** 授業内容：アメリカ、ヨーロッパの動向、ウクライナ情勢について解説した後、国際情勢は、同じ出来事でも立場によって見え方が大きく異なることについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：欧米の状況についてのニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：世界情勢②　アジアの動向** 授業内容：中国を軸にしたアジア情勢と台湾、朝鮮半島、インドが、なぜ重要な場所になっているのかについて解説した後、国際問題を善悪や感情ではなく、国家の立場から考えて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：アジアの情勢について関連のニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：グローバルサウスの動向** 授業内容：グローバルサウスは、世界に大きな影響力を持つ存在で、国際秩序を左右する主体であることを解説した後、国際問題を国の立場と利害から考えられる視点について意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：グローバルサウスについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：多文化共生について** 授業内容：多文化共生とは何か、なぜ差別が起きるのか、その背景にある不安や制度の問題について解説した後、私たちはどう向き合うべきかについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：多文化共生の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
8回	**授業テーマ：ダイバーシティ(多様性)について** 授業内容：ダイバーシティ(多様性)とは何か、人種、民族、性の多様性について解説した後、授業テーマについて、自分の立場や日常生活と結びつけてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：ダイバーシティ(多様性)について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

9回	**授業テーマ：難民問題について** 授業内容：難民問題に関するワークショップを実施し、難民問題に対する基礎的な事実を把握するとともに、日本の難民受け入れをめぐる状況について考える。その後、グループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：難民問題の関連の情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：宗教が世界に及ぼす影響** 授業内容：イスラム教、キリスト教、ユダヤ教が世界に及ぼす影響について解説した後、宗教が政治・社会問題に影響する理由ついてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：世界情勢と宗教の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：宗教紛争の本質** 授業内容：宗教紛争の多くは、宗教そのものが直接の原因ではなく、対立を正当化する論理として使われていることについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：世界情勢と宗教の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：「世界がもし 100 人の村だったら」ワークショップ** 授業内容：世界には、多様な言語や文化を持つ人びとが住んでおり、そこには大きな貧富の差があることを、シミュレーション(疑似体験)のワークショップで体験し、私たちが暮らす日本は世界のどこに位置するのか考える。 事前学修 2.0hr：世界情勢についてのニュースなどを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備** 授業内容：各グループで関心がある国際問題を選定し、テーマとプレゼンテーションをする内容について話し合う。ディスカッションを基に第 15 回に発表するプレゼンテーションの資料作成の準備を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションを行う国際問題のテーマを考えておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
14回	**授業テーマ：グループワーク:プレゼンテーション資料の作成** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。
15回	**授業テーマ：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。** 授業内容：プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

異文化実地研修 A・B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

本学と協定を締結している海外の大学等において、特定の分野について集中的な研修を行うとともに、異なる文化社会の側面に触れることにより、より高度な知識や技能を備えた国際社会に活躍する人材を育成することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：学部・学科、派遣先によって異なる。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。
個別目標：学部・学科、派遣先によって異なる。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌履修条件

GPA 及び修得単位等による出願資格を設ける。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌評価基準・方法

学部・学科、派遣先によって異なり、国内における事前・事後研修への参加及び派遣先での研修期間を修了することにより単位認定する。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （報告書の作成）

▌教科書

派遣大学等で別途指示する。

▌参考書

派遣大学等で別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

異文化実地研修

授業内容

60 時間相当分の研修内容とする。
派遣先、研修時期・期間及び認定される単位数等詳細については、履修の手引を参照すること。

事前学修

15 時間相当分の事前学修とする。
事前のオリエンテーション等で指示する。

事後学修

15 時間相当分の事後学修とする。
事前のオリエンテーション等で指示する。

法学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

櫻井　博子 (さくらい　ひろこ)

▌授業の概要

社会のルールの一つである法は、私たちの生活の様々な場面で関わっている。そのため、法律に関する基礎的な知識や考え方を学ぶことは、社会生活を送るうえでも有用である。
この授業では、私たちの生活に身近な法制度に関する基礎的知識を理解するし、現実の社会の具体的問題を「法的」に検討することを目的とする。
また、法を学ぶことを通じ、法律の規定にも様々な解釈の仕方があること、物事の解決に「唯一の正解」は存在しないことを知り、物事を多面的にとらえることを意識し、自分自身で考えてみるための基礎となる力を涵養する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：将来社会人となった際、直面し得る問題を、自身で処理できる能力を身に着けられるよう、法の論理的なものの考え方の重要性を理解した上で、基礎的な法律の知識を身につける。
個別目標：(1) 社会のなかで法が果たす役割や法の意義を、具体的な事例とともに説明できる。
(2) 具体的な法制度の機能を、その制度の成り立ちや社会での現実的な意義等を踏まえて評価できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

各回の講義内容を復習する確認問題(小テスト)と期末試験の結果の合計(90 %)、授業内における参加姿勢等(10 %)、
到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
なお、講義ごとの課題は、学修支援システム manaba を通して行い、次回の授業で解説を行う。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの入力(スマートフォンで可能)）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

初回講義と講義中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、私たちの生活にかかわる法の種類とその分類** 授業内容：法とは何か、法の種類、法の分類 事前学修 1.5hr：ニュースや新聞等で、「法」に関わるものがどれくらいあるのか確認してみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
2回	**授業テーマ：ルールとその「適用」** 授業内容：法の適用による紛争の解決、解釈の必要性、条文の構造、法の解釈、解釈の技術 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
3回	**授業テーマ：国の仕組みに関する法(1)** 授業内容：憲法の役割と構造、人権(人権の種類、人権の制約、精神的自由、経済的自由、社会権) 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：国の仕組みに関する法(2)** 授業内容：統治(三権分立、立法権(国会)の役割、行政権と議院内閣制、司法権の役割) 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
5回	**授業テーマ：取引社会と法(1)** 授業内容：日常生活を取り巻く契約と民法、契約と債権の発生、自由で健全な意思が結ぶ契約関係 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
6回	**授業テーマ：取引社会と法(２)** 授業内容：意思表示の構造、意思表示の瑕疵と意思の不存在、消費者保護のための特別法 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
7回	**授業テーマ：取引社会と法(３)** 授業内容：契約の意義、契約成立後の法律関係、履行遅滞、履行不能、その他の債務不履行、損害賠償 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
8回	**授業テーマ：取引社会と法(４)** 授業内容：住まいをめぐる法律関係、不法行為に基づく責任 (契約によらない債権債務の発生)、製造物責任法による消費者の保護 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
9回	**授業テーマ：家族にかかわる法(１)** 授業内容：夫婦間の法律関係、親子関係、離婚 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
10回	**授業テーマ：家族にかかわる法(２)** 授業内容：相続、法定相続人と法定相続分、相続の承認と放棄、遺産分割 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。

11回	**授業テーマ：犯罪にかかわる法** 授業内容：刑法とは、犯罪の成立と構成要件、犯罪の成立を阻却する事由 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
12回	**授業テーマ：責任と裁判制度** 授業内容：裁判と裁判手続の種類、裁判所と審級、民事裁判、刑事裁判 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
13回	**授業テーマ：企業に関する法** 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：雇用と労働関係に関する法** 授業内容：労働契約、労働者を保護する様々な制度、派遣労働における労働形態 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：これまでの授業内容の総括 事前学修 1.5hr：これまでの講義内容を復習する。 事後学修 2.5hr：これまで学んできた内容を復習し、課題に解答する。

日本国憲法

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

吉田　成利 (よしだ　なるとし)

▌授業の概要

日本国憲法に関する身近な事例を素材とし、日本国民の権利義務や国家統治について学ぶ。
毎回の講義後、小レポートを条件に従い Manaba へ期限内に提出することが求められる。体育会の活動や就活、インターンなどで講義に出席できない場合や、履修修正などで遅れて履修を開始した場合には、必ず Manaba かメールで担当教員に連絡すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本国憲法に関する知識を習得し、客観的で公正な法的思考を会得する。
個別目標：(1) 日本国憲法が日本の国益を守り、国際未来社会における「この国のかたち」を描けていけるのか、各人が合理的な意見を創造する。
(2) 偏りのある意見や報道に惑わされることなく、日本の現実に即した憲法のあるべき姿について、各人が説明できる。
(3) 日々のニュースを憲法の観点からとらえ、自分なりの説明ができる。

▌履修条件

(1) 必ず指定された教科書を購入すること。教科書がないと、レポートが作成できません。
(2) 毎回の小レポートを、期限までに条件を守って本講義の Manaba の指定された提出先へ提出すること。

▌評価基準・方法

各自が所有する指定された教科書のみ持込可能である期末試験(60 %)、
毎回の講義終了後に提出する小レポート(30%)、
授業内の発言・姿勢(10%。講義内で教員により指名された際に真摯に回答しないと加点されない。)
毎回の講義冒頭に、前回の講義内容および小レポートについてフィードバックがなされる。

▌フィードバック方法

毎回の小レポート提出後に講義内でフィードバックを行います。必ず期限までに小レポートを提出してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回または 2 回に一度、教員にあてられ自分の意見を求められる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回の講義資料を Manaba にアップし、レポート作成も PC で行う。）

▌教科書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』(慶應義塾大学出版会、2020 年)

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：法学における憲法の位置づけ** 授業内容：序論とオリエンテーション。 事前学修 2.0hr：憲法改正のニュースについて調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2回	**授業テーマ：日本国憲法の基本原理と基本構造** 授業内容：日本国憲法の核となる原理と構造について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：天皇と譲位** 授業内容：我が国の象徴である天皇について、憲法はどのように規定しているのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：人権保障とその限界** 授業内容：人権や自由は人としての当然の権利である一方、絶対ではないことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：信教の自由と靖国神社参拝** 授業内容：宗教を信じる自由と信じなくても良い自由について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6回	**授業テーマ：表現の自由とプライヴァシー侵害** 授業内容：言いたいことを言う自由について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：婚姻の自由と同性婚** 授業内容：結婚とは男女の合意に基づくものであると日本国憲法が規定していることについて、LGBTQ の問題について、憲法が果たすべき役割について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：学問の自由と教育無償化** 授業内容：教育について憲法はどのように規定しているのか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
9回	**授業テーマ：社会権と勤労の義務** 授業内容：我々が労働するという行為について憲法はどのように規定しているのか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：国会と参政権** 授業内容：立法府こそが国家権力の最高機関であることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

11回	**授業テーマ：内閣と行政機構** 授業内容：内閣総理大臣は日本で最強の権力者なのか？ 学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：司法府と裁判員制度** 授業内容：裁判所と国民の司法参加について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：地方自治と地方創生** 授業内容：地方分権を進めれば日本はより活性化するのだろうか？ 学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：憲法９条と集団的自衛権** 授業内容：憲法 9 条と平和主義、自衛隊、そして日米安保条約の存在意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：憲法改正とその必然性** 授業内容：憲法改正の歴史的・社会的必然性について学び、結論付ける。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

経済のしくみ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

野口　尚洋 (のぐち　なおひろ)

▌授業の概要

本講義では、経済の仕組みについて理論と現実の両面から説明していきます。経済学の理論はミクロ経済学とマクロ経済学に大きく分けることが出来ます。前半はミクロ経済学の分野で市場の話を中心に説明していきます。後半はマクロ経済学の分野で日本の国全体の経済について説明していきます。「経済のしくみ」という講義名にあるように、経済学の理論だけでなく、経済学の理論を使って現実の経済のしくみを理解することを主眼に置き、なるべく身近な例を用いて説明していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：身の回りに起こっている経済の問題について、自分で考えを持てるようにことができるようになります。経済の話は、アルバイトなど普段の生活から、就職活動や就職後も常に関係するものです。そのときの判断の基礎となるものだと考えています。また、現実のデータやグラフを多く紹介する予定です。一般常識としての知識も得ることができます。

個別目標：身の回りに現実に起きている経済問に興味をもち，その理由を自分で考え，行動判断の基礎とできる。

▌履修条件

80 %以上出席することが履修条件です。また、経済学はグラフを多用しますので、自分で手を動かしながら自分で頭で考えることが重要です。したがって、主体的に授業に参加できる学生の履修を望みます。また、授業中に静粛を保てない学生の履修は遠慮下さい。

▌評価基準・方法

小テスト (30%)、期末試験 (70%) で評価します。学生の履修状況、講義の進度によっては中間試験を課すこともあります。また、原則 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件としますが、成績評価の対象にはしません。

▌フィードバック方法

小テストと期末試験のフィードバックは学習支援システム manaba を通して行いますので、必ず確認してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。プリントにより授業を行います。授業で使用したプリントは manaba のコースコンテンツにもアップロードいたしますので、欠席した回の授業に関するプリントは、各自ダウンロードし、プリント・アウトして下さい。

▌参考書

参考書は適宜指定します。代表的な参考書として以下を挙げておきます。

前半のミクロ経済学分野：安藤至大『ミクロ経済学の第１歩』有斐閣 2013 年

後半のマクロ経済学分野：柴田章久・宇南山卓『マクロ経済学の第一歩』有斐閣　2013 年

全体の参考書：伊藤元重 『入門　経済学　第４版』日本評論社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・履修に当たっての諸注意と授業内容全体の説明・経済学独特の考え方(インセンティブ)** 授業内容：授業内容の全体と注意事項等、履修にあたり必要と思われる内容を説明します。その後に授業を行います。また、授業中に DVD を視聴します。 事前学修 1.0hr：繰り返し，シラバスをよく読んでくること 事後学修 3.0hr：この授業の履修に当たっての約束事項と授業の全般的内容を確認すること．経済学独特の考え方に触れる。manaba のアンケートの答える。
2回	**授業テーマ：経済学独特の考え方(トレード・オフ、交換の利益、機会費用)** 授業内容：貿易の比較優位の理論を例に、トレード・オフ、交換の利益、機会費用について説明していきます。具体的な数値例を用いて説明していきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを読み、インセンティブについて復習しておく。 事後学修 2.0hr：トレード・オフ、機会費用について現実の実例を考える。期限までに、manaba の小テストを受験する。
3回	**授業テーマ：企業の諸費用費用と利潤最大化** 授業内容：企業の費用についてグラフを描きながら解説していきます。特に「限界」の概念は経済学で必須の概念ですので丁寧に説明していきます。その後に企業の利潤最大化行動を考えます。最後にオリエンタルランドを例にとり損益分岐点における入場者数を求めていきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントにある問題を解き、間違えた問題は考え方をまとめておく。 事後学修 2.0hr：各費用の図を自分で導出し、自分で描いてみる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
4回	**授業テーマ：市場の均衡と価格調整** 授業内容：市場についてみていきます。財の種類と需要曲線、供給曲線の変化の関係を分析していきます。また、次回の導入として、余剰の基本的な概念まで説明します。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントにある問題を解き、間違えた問題は考え方をまとめておく。 事後学修 2.0hr：非常に大事な「余剰」の概念を復習する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
5回	**授業テーマ：余剰分析** 授業内容：余剰の概念について説明し、その後に課税の効果について説明します。内容的には「経済のしくみ」の中で最も難しい内容だと思いますが、経済学の独特の考え方につながりますので、しっかり授業を聞いてください。 事前学修 2.0hr：供給曲線と需要曲線の導出をもう１度確認する。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題に関して、余剰の図を自分で描き、消費者余剰・生産者余剰・総余剰について確認する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
6回	**授業テーマ：保険のしくみ** 授業内容：消費者の効用最大について簡単に触れ、その後、保険のしくみと情報の非対称性について説明していきます。 事前学修 2.0hr：限界の概念をもう一度復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。情報の非対称性があるときの対策をまとめる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
7回	**授業テーマ：ゲーム理論について理解する** 授業内容：色々な例を交えながらゲーム理論について説明していきます。具体的にはナッシュ均衡をメインに説明していきます。 事前学修 2.0hr：第４回の配布プリントの問題を解きながら、企業の利潤最大化をもう１度確認する 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。

8回	**授業テーマ：経済をマクロからとらえる** 授業内容：この回からはマクロ経済学の分野に入ります。GDP など一般常識として知っておくべき言葉の説明と戦後の日本経済の歩みについて説明していきます。 事前学修 2.0hr：配布プリントの GDP 成長率の図の指定の年に何があったか調べておく。 事後学修 2.0hr：戦後、日本の GDP の動きと、GDE と GDI の各構成要素のデータを調べる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
9回	**授業テーマ：財市場の分析** 授業内容：財市場を分析し、GDP の大きさがどのように決まるのかを説明する。その後、財政政策の効果について説明する。 事前学修 2.0hr：公共事業の具体例や減税についての近年の各党の主張を調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題をとき、財政政策の有効性を確認する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
10回	**授業テーマ：貨幣市場の分析** 授業内容：貨幣とは何かから始まり、貨幣市場の説明をしていきます。実際に日本銀行のホームページを見ながら貨幣の歴史も振り返ります。 事前学修 2.0hr：日本銀行のホームページから貨幣博物館のサイトへいき、貨幣の歴史について調べる。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題をとき、貨幣の需要と供給、金融政策についてまとめる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
11回	**授業テーマ：物価の変動と失業を理解する** 授業内容：物価とインフレについて実際のデータを見ながら解説していきます。また、労働市場についても説明していきます。 事前学修 2.0hr：第 8 回のプリントから物価の上昇した時期と低下した時期にどのような経済的出来事があったかを調べておく。 事後学修 2.0hr：インフレとデフレの仕組みと影響，労働市場について復習しておく。期限までに、manaba の小テストを受験する。
12回	**授業テーマ：利子、債券、株についての理解する。** 授業内容：複利計算を説明していきます。また、債権と株の違いを説明し債券価格と株価の決まり方を説明していきます。 事前学修 2.0hr：第 6 回講義の余剰を復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
13回	**授業テーマ：為替レートの決定と貿易の関係を理解する。** 授業内容：為替レートの決定を短期と長期に分けて説明します。また、為替レートの変動が貿易に与える影響についてもみていきます。さらに、国際収支統計を確認し、現在に日本の貿易状況を説明します。 事前学修 2.0hr：第 2 回のプリントから、絶対優位・比較優位の理論を復習する。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
14回	**授業テーマ：日本の財政と社会保障制度** 授業内容：現実の日本財政を予算、税、国債、プライマリー・バランスに分けて解説していきます。また、年金を中心に社会保障制度についても触れていきます。 事前学修 2.0hr：第 7 回講義の保険のしくみを復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
15回	**授業テーマ：これまでの復習と授業内試験** 授業内容：これまでの復習を行い、授業内試験を実施後その解説を行う。 事前学修 3.0hr：manaba で受験した小テストをもう一度復習する。manaba で配布する昨年度の問題を解いて答え合わせを行う。 事後学修 2.0hr：授業内試験で間違えた問題をもう一度解き直し、理解を深める。

社会と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

櫻井　博子 (さくらい　ひろこ)

▌授業の概要

私たちが生活している社会の仕組みは、そのほとんどが「法律」によって作られている。この授業では、私たちの生活に身近な法制度に関する基礎的知識を理解し、現実の社会の具体的問題を「法的」に検討する。履修者が社会生活を送るなかでかかわる法律の仕組みを正確に、またより深く理解することができるようになるという「社会人基礎力」と、法を学ぶことを通じ、法律の規定にも様々な解釈の仕方があること、物事の解決に「唯一の正解」は存在しないことを知り、物事を多面的にとらえることができるようになる「論理力」を身に着けることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：将来社会人となった際、直面し得る問題を、自身で処理できる能力を涵養するために、法の論理的なものの考え方の重要性を理解した上で、基礎的な法律の知識を身につける。

個別目標：(1) 社会のなかで法が果たす役割や法の意義を、具体的な事例とともに説明できる。
(2) 具体的な法制度の機能を、その制度の成り立ちや社会での現実的な意義等を踏まえて評価できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

各回の講義内容を復習する確認問題(小テスト、40 %)と期末試験の結果の合計(80 %)、授業内における参加姿勢等(10 %)、
到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
なお、講義ごとの課題は、学修支援システム manaba を通して行い、次回の授業で解説を行う。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの入力(スマートフォンで可能)）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

初回講義と講義中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、私たちの生活にかかわる法の種類とその分類** 授業内容：法とは何か、法の種類、法の分類 事前学修 1.5hr：ニュースや新聞等で、「法」に関わるものがどれくらいあるのか確認してみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
2回	**授業テーマ：ルールとその「適用」** 授業内容：法の適用による紛争の解決、解釈の必要性、条文の構造、法の解釈、解釈の技術 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
3回	**授業テーマ：取引社会と法(1)** 授業内容：日常生活を取り巻く契約と民法、契約と債権の発生、自由で健全な意思が結ぶ契約関係 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：取引社会と法(2)** 授業内容：契約の成立をめぐる問題：意思表示の構造、意思表示の瑕疵と意思の不存在、 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
5回	**授業テーマ：取引社会と法(3)** 授業内容：消費者を保護するための法、制限行為能力者制度 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
6回	**授業テーマ：取引社会と法(4)** 授業内容：契約成立後の法律関係：履行遅滞、履行不能、その他の債務不履行、損害賠償 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
7回	**授業テーマ：取引社会と法(5)** 授業内容：住まいをめぐる法律関係、不法行為に基づく責任 (契約によらない債権債務の発生)、 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
8回	**授業テーマ：取引社会と法(5)** 授業内容：金銭の貸借に関する制度：人的担保、物的担保、割賦販売法 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
9回	**授業テーマ：家族にかかわる法 (1)** 授業内容：夫婦間の法律関係、親子関係、離婚 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
10回	**授業テーマ：家族にかかわる法(2)** 授業内容：相続、法定相続人と法定相続分、相続の承認と放棄、遺産分割 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。

11回	**授業テーマ：犯罪にかかわる法** 授業内容：刑法の役割、犯罪の成立と構成要件、犯罪の成立を阻却する事由 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
12回	**授業テーマ：裁判の役割** 授業内容：裁判と裁判手続の種類、裁判所と審級、民事裁判、刑事裁判 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
13回	**授業テーマ：企業に関する法** 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：雇用と労働関係、社会保障に関する法** 授業内容：労働契約、労働者を保護する様々な制度、派遣労働における労働形態、社会保障制度 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：これまでの授業内容の総括 事前学修 1.5hr：これまでの講義内容を復習する。 事後学修 2.5hr：これまで学んできた内容を復習し、課題に解答する。

社会と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

絶えず変化し複雑化する日本社会の特徴を多角的に捉えることを目的とし、その背景や要因、今後のあり方について考察する。毎回、特定の社会領域に焦点を当て、資料の読解を通して理解を深めるとともに、日本語で自分の意見を整理し、クラスメートと意見交換を行う。コース前半では基礎的な語彙や表現の定着を確認する小テストを実施し、後半ではグループまたは個人による学習成果の発表と質疑応答を通して、学びを深化させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本の現代社会におけるさまざまな問題について正しく理解し、適切な判断、提言ができる。

個別目標：(1) 現代社会における問題を取り上げた資料を正確に読み取ることができる。
(2) 現代社会における問題について資料を集め、因果関係、取り組みなどを体系的に整理できる。
(3) 集めた資料をもとに、倫理性に配慮しながら他者に向けて自分の言葉で説明したり自分の立場でできることを提言したりできる。
(4) 他者との意見交換を通じて自分とは異なる価値観や考え方について比較対照し、一定の理解ができる。

▌履修条件

留学生である。
manaba の情報を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
積極的に発言する。

▌評価基準・方法

テスト 40%、課題の内容 30%、発表 20 %、授業参加度 10%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは対面授業および manaba から行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表準備の回で利用する。また、manaba、respon を使用する。）

▌教科書

開講時に提示する。

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、テスト** 授業内容：授業目標、授業の進め方を伝える。現在の社会の中で自分はどのような立場でどのような役割を担っているのか考え、考察する。 事前学修 2.0hr：日本の新聞を読んで現代社会の問題をみつける。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：深夜営業** 授業内容：現代社会における深夜営業の役割を取り上げ、利便性や経済効果と、労働環境・地域社会への影響の両面から考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：家族関係** 授業内容：社会集団としての家族の定義や範囲の多様性を踏まえ、核家族化が進む日本における家族関係の特徴や背景、家族に求められる役割を資料から考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：若者言葉** 授業内容：若者言葉を社会集団の言語使用の一例として取り上げ、その特徴や生まれる背景、世代間の認識の違いを資料から考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：学校** 授業内容：日本の学校制度と世界の学校制度を比較して日本の学校の特徴を明らかにし、あわせて日本の学校が抱える課題とその背景を資料をもとに考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：ジェンダー** 授業内容：性別による社会的格差を取り上げ、その背景を複数の概念やデータから読み解き、社会において平等や公平性が十分に保たれていない場面について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：人間関係** 授業内容：大人にとっての「友達」の数や偏りを踏まえて検討し、「友達」に限らない多様な人間関係に着目しながら、日本社会における人間関係の特性や課題について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：情報通信インフラ整備と社会** 授業内容：情報通信インフラ整備を取り上げ、社会における利便性や公共性と、地域住民の不安や対立の関係を資料から読み解き、考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：格差社会** 授業内容：日本人の階層意識が「一億総中流」から格差社会へと変化してきた経緯を学習したうえで、格差拡大の現状や背景について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

10回	**授業テーマ：経済・働き方** 授業内容：日本の経済的活力の長期的推移を示す資料を読み、働くことへの考え方を他国と比較して分析し、日本の働き方の特徴を整理したうえで、将来の働き方について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：政治・社会参加** 授業内容：「民主主義」とはどのようなものかいくつかの議論を参照する。日本の若者の政治意識を検討し、なぜ若者の政治意識が低調になっているのかいくつかの仮説を読んで、意見をまとめる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：発表準備①データ収集** 授業内容：これまで学習してきたテーマの中から関心のある課題を選び、問題意識を明確にしたうえで問いを立て、関連する資料を収集・整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：発表準備②資料作成** 授業内容：集めた資料を整理し、発表原稿を書く。その後、ポスターとしてまとめる。原稿、ポスターをもとに話し方の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：発表** 授業内容：質問の種類や目的、適切なタイミングとマナーについて学んだうえでポスター発表会を実施する。発表では質疑応答を通して相互理解を深め、建設的な議論を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：学習のまとめと振り返り** 授業内容：第 1 回から第 14 回までの学習内容を総合的に振り返り、ノートを整理しながら理解の定着を確認する。あわせてテストを実施し、知識や思考の変化を振り返ることで、自らの学習の成果や成長を実感する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

政治のしくみ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

河野　武司 (こうの　たけし)

▌授業の概要

本講義では、政治のしくみ(制度と過程)について、理論と現実の両面から説明します。具体的には、日本政治を前提に、選挙制度など代議制民主主義を支える様々な制度や、政・官・財の「鉄の三角関係」、メディア、インターネットなどが政策決定に及ぼす影響を中心に、政策決定における現実について紹介していく予定です。その際、必要に応じて、政治に関する専門用語や理論を解説します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本政治の現実を理解し、他者に対してどうしてそうなのかを理論的に説明できる力を身に付けていただければと思っています。
個別目標：選挙において、主体的に選び、投票することができる情報を持った有権者となることを目指していただければと思っています。

▌履修条件

私が話したこと、板書したことを要領よくまとめ、自らの手でこの講義を受講したことの証としてのノートを作成して、持込可を予定している期末試験に臨んでください。ノートを充実させるにあたっては、授業中や予習・復習での生成 AI の活用を推奨します。そのため、授業中のスマフォや PC の利用を認めます。

▌評価基準・方法

期末試験 (80 %)、平常点(20 %：私からの質問に対する回答や疑問点に対する問題の提起といった普段の受講態度、場合によっては小テストも実施し、その結果も含める場合があります)で評価します。

▌フィードバック方法

定期試験等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

授業中に適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(インセンティブ)** 授業内容：・履修に当たっての諸注意と授業内容の説明。 事前学修 2.0hr：シラバスを繰り返し読んでおいてください。 事後学修 2.0hr：この授業の履修に当たっての約束事項と授業の全般的内容を確認してください。
2回	**授業テーマ：政治とは何か** 授業内容：・政治と国家→政治概念論争、様々な政治の定義の紹介 事前学修 2.0hr：アリストテレスによる「ポリスを必要としない者は、神か野獣に違いない」という言葉を調べましょう。 事後学修 2.0hr：自らの政治に関する定義について考えてください。
3回	**授業テーマ：民主主義とは何か** 授業内容：・プラトンが理想とした哲人王による政治は民主主義か、直接民主制と間接民主制の長短 事前学修 2.0hr：民主主義とは何かについて考えておいてください。 事後学修 2.0hr：民主主義に関する説明を整理してください。
4回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ①** 授業内容：・立憲主義、三権分立、様々な政治システム(大統領制、半大統領制、議院内閣制)、議会における一院制と二院制 事前学修 2.0hr：「絶対的権力は絶対的に腐敗する」という言葉を調べましょう。 事後学修 2.0hr：日本に首相公選制が相応しいか否か考えてみましょう。
5回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ②　様々な選挙制度** 授業内容：・代表の意味(国民代表、地域代表、職能代表)、様々な選挙制度(小選挙区制、大選挙区制、比例代表制、混合システム) 事前学修 2.0hr：日本の衆議院の選挙制度(小選挙区比例代表並立制)について調べておいてください。 事後学修 2.0hr：日本の衆議院に相応しい選挙制度について、自身の考えをまとめましょう。
6回	**授業テーマ：日本の選挙の諸問題** 授業内容：・政治的景気循環と政治的波乗り(7 条解散の是非)、一強多弱、重複立候補の是非 事前学修 2.0hr：自身が特に感じる日本政治における問題点を一つ挙げてみましょう。 事後学修 2.0hr：自身が挙げた日本政治の問題点の解決策について考えましょう。
7回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ③　政党** 授業内容：・政党システム論とデュヴェルジェの法則、日本の政党システムとしての 55 年体制 事前学修 2.0hr：55 年体制について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：日本の政党システムにおける問題点についてまとめましょう。
8回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ④　民主的選挙の 5 原則** 授業内容：・普通選挙、平等選挙、直接選挙、秘密選挙、投票の自由 事前学修 2.0hr：間接投票を採用しているアメリカの大統領選挙のしくみについて調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：義務投票制の是非について考察してみましょう。
9回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ⑤　投票参加** 授業内容：・投票参加の計算式(期待効用モデル)、投票率の向上策 事前学修 2.0hr：投票参加の計算式について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：自身のオリジナルな投票率の向上策について考えましょう。
10回	**授業テーマ：民主主義を支える仕組み⑥　投票方向の決定** 授業内容：・選挙における選択の基準(支持政党、争点、業績評価、選挙区に利益をもたらす政治家か否か) 事前学修 2.0hr：自身の過去の選挙における投票を振り返っておいてください。 事後学修 2.0hr：どのような基準で投票を行うのがよいかについて考えてみましょう。
11回	**授業テーマ：政策決定における諸問題①　メディアの役割** 授業内容：・メディアは政府の活動を監視する番犬か、政府の飼い犬か、選挙におけるアナウンスメント効果 事前学修 2.0hr：メディアの報道によって自身の考えや行動が変わったことがあるか否かについて思い出してください。 事後学修 2.0hr：メディアの政治的役割について自身の考えをまとめましょう。

12回	**授業テーマ：政策決定における諸問題②　選挙政治と利益団体政治** 授業内容：・圧力団体政治と鉄の三角形、利益団体自由主義（多元主義と労働抜きのコーポラティズム） 事前学修 2.0hr：アメリカで最大の利益団体として知られる全米ライフル協会について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：政策を巡る自由市場が機能するか否かについて考えましょう。
13回	**授業テーマ：政策決定における諸問題③　利益の集中とコストの分散** 授業内容：・市民における合理的無知と政策決定における反消費者生産者支持の偏向、利益の組織化と政治的企業家 事前学修 2.0hr：孔子の「民は之に由らしむべし、知らしむべからず」という言葉を調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：政治現象を合理的選択という観点から説明することの妥当性について考えましょう。
14回	**授業テーマ：インターネットと民主主義** 授業内容：・インターネットは民主主義の敵か、インターネットが可能とする新しい民主主義の形（陪審制デモクラシー、カウンターデモクラシー） 事前学修 2.0hr：キャス・サンスティーンが書いた『民主主義はインターネットの敵か』の内容について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：インターネットを利用した 21 世紀にふさわしい新たな民主主義のしくみについて自身で考えてみましょう。
15回	**授業テーマ：授業の総括と質疑応答** 授業内容：まとめとして、これまでの授業内容を振り返るとともに、受講生からの質問に答えます。 事前学修 3.0hr：自らがまとめたノートを確認し、疑問点を抽出しておいてください。 事後学修 3.0hr：自らがまとめたノートを試験に備えて完成させ、繰り返し確認してください。

社会思想史

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

上野　大樹（うえの　ひろき）

▌授業の概要

経済学をはじめとする社会科学を学ぶ上で必須となるのが、近代社会についての思想・理論についての理解である。本講義では、社会思想・社会理論・経済思想・政治思想について歴史的な視点から学んでいく。今日われわれが生きている複雑な社会をトータルに理解するためには、表層的な現象面だけでなく、その背景にある構造を把握する必要がある。しかし、経済学を含む社会科学は専門分化が著しく、個々の専門科目を修めていくだけでは社会の全体像をつかみ取ることは容易ではない。本講義では、社会について総合的・学際的な視点から分析を重ねた思想家たちの考えを、その歴史的背景とも関連づけながら詳しく紹介していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：(1) 社会を総合的な視点から理解するための思想・理論について理解を深める。
(2) 人類社会の歴史的・段階的な発展について、俯瞰的な視座から把握することができる。
(3) 経済や政治など機能分化した諸領域と全体社会との関係について、歴史的な観点から説明することができる。

個別目標：(1) 古代ギリシア・ローマ世界の思想・文化がその後の世界にどのような影響を与えたのかを理解し、説明できる。
(2) ヨーロッパで出現した近代社会の基本的な特徴について、歴史的な観点から把握し説明することができる。
(3) 近代社会の経済面での大きな特徴である資本主義・産業化について、アダム・スミスやカール・マルクスといった社会思想家がどのように分析を行ったのかを理解し、説明できる。
(4) 20 世紀以降の人類社会・地球社会が直面するさまざまな課題について、本授業で学ぶ社会思想家の考え方や理論を用いて自分なりの見解を提示することができる。

▌履修条件

高校世界史(あるいは歴史総合)の教科書を復習しておくことが望ましい。特に 15・16 世紀から現代史まで。

▌評価基準・方法

期末試験 60 %、授業内容を振り返るための小レポート(3 回程度) 30%、授業時の積極的な参加や質問 10 %

▌フィードバック方法

小レポートの内容や授業後に受けた質問について各回の授業冒頭等で全体と(匿名で)共有して答えるとともに、以降の授業内容にも適宜フィードバックを行っていく。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

【前期】大澤真幸『社会学史』(講談社現代新書、2019 年)
【後期】木村俊道『西洋政治思想の文脈』(放送大学教育振興会、2025 年)

▌参考書

山脇直司『ヨーロッパ社会思想史　新版』(東京大学出版会、2024 年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：社会思想史・概論** 授業内容：社会思想史とはなにか？　なぜ社会思想史を学ぶのか？ 事前学修 2.0hr：【前期】インターネットの検索エンジンなどを使って、「社会思想史」についての事典上の定義を複数(3 つ以上)調べてきてください。／【後期】第 1 章「西洋政治思想の探究」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：教科書を入手し、まずは序と目次を熟読する。本書序文の内容と授業で説明したこととがどのように関連するか、あるいは異なる部分があるとすればどこか、考えてくること。
2 回	**授業テーマ：現代の社会問題と社会思想の視点** 授業内容：現代社会における医療・福祉に関する諸問題を取り上げ、社会思想の歴史からみたときに何が言えるのかを考える。それを通じて、社会思想史を学ぶことのアクチュアリティを理解する。 事前学修 2.0hr：【前期】現代日本の医療・福祉や社会政策について昨今どのようなことが問題となっているか、調べてくる。／【後期】第 2 章「デモクラシーの系譜」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて、あらためて現代日本の医療福祉の課題や将来像について考えてみる。
3 回	**授業テーマ：古代ギリシア・ローマの政治思想** 授業内容：政治や国家の語源ともなったポリス(都市国家)で展開された民主主義・共和主義とその思想的基盤について学ぶ。 事前学修 2.0hr：【前期】『社会学史』第 1 部・1「古代の社会理論　アリストテレス」を読んでくる。理解できた点と分からなかった点を腑分けしておく。／【後期】第 3 章「政治と教養」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえてもう一度教科書の該当箇所を読み、理解の進展を確認する。
4 回	**授業テーマ：古代ギリシア・ローマの経済思想と社会思想** 授業内容：公的領域で展開された政治に比して、大家族を中心とした私的領域で営まれた経済活動への評価は低かったが、現代の家政学や経営学にも通じる理論を展開した古代の思想家を概観する。 事前学修 2.0hr：【前期】前回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。／【後期】第 4 章「ポリスの政治学」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：配布資料を読む。
5 回	**授業テーマ：中世の社会思想** 授業内容：宗教(特にキリスト教)と世俗社会の関係について学ぶとともに、キリスト教世界のもとでの政治と経済の位置づけについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：【前期】前回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。／【後期】第 5 章「レス・プブリカ」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：今回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。
6 回	**授業テーマ：社会契約論 (1)：ホッブズ・ロック** 授業内容：近代社会の理論的・思想的基礎を構築した社会契約説について学ぶ。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第 1 部 2「社会契約の思想」を読んでくる。／【後期】第 6 章「帝国とキリスト教」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえてもう一度教科書の該当箇所を読み、理解の進展を確認する。
7 回	**授業テーマ：社会契約論 (2)：ルソーとフランス革命** 授業内容：近代社会の理論的・思想的基礎を構築した社会契約説について学ぶ。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第 1 部 2「社会契約の思想」を再読してくる。／【後期】第 7 章「キリスト教共同体」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：高校世界史の教科書をもとに市民革命(英米仏の諸革命)と産業革命について復習する。

8回	**授業テーマ：社会契約説批判と歴史社会学の誕生** 授業内容：スコットランド啓蒙について学ぶ。 事前学修 2.0hr：【前期】配布資料を読む。／【後期】第 8 章「ルネサンスと人文主義」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。
9回	**授業テーマ：アダム・スミスと経済学の生誕** 授業内容：ヒュームとアダム・スミスの社会思想・歴史叙述・政治経済学について概観する。 事前学修 2.0hr：【前期】配布資料を読む。／【後期】第 9 章「統治のアート」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。
10回	**授業テーマ：社会科学の誕生と初期社会主義の潮流** 授業内容：フランス革命以降の産業社会・労働社会をめぐる思想と実践について概観する。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第１部３「社会科学の誕生」を読んでくる。／【後期】第 10 章「『リヴァイアサン』と『ビヒモス』」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて、もう一度教科書の該当箇所を再読する。
11回	**授業テーマ：スミスからマルクスへ** 授業内容：労働価値説と古典派経済学に対する 19 世紀産業革命以降の批判的展開について、ドイツを中心に理解する。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第１部４「マルクス」を読んでくる。／【後期】第 11 章「統治と寛容」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
12回	**授業テーマ：ヴェーバーとジンメルにおける社会学の誕生** 授業内容：18 世紀の啓蒙思想や 19 世紀前半の社会主義・産業主義の思想を踏まえて、近代知としての社会学がどのように出現してきたかを 19 世紀後半以降のドイツに焦点を当てて理解する。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第２部３「ジンメル」、４「ヴェーバー」を読んでくる。／【後期】第 12 章「アンシャン・レジームと啓蒙」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
13回	**授業テーマ：ヴェーバー、フロイト、デュルケーム** 授業内容：社会学と精神分析の関係について、世紀末の時代背景を把握しつつ理解を深める。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第２部１「フロイト」、２「デュルケーム」を読んでくる。／【後期】第 13 章「文明社会」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
14回	**授業テーマ：社会システム論の誕生** 授業内容：20 世紀の社会学、特にパーソンズの構造機能主義と、現象学を基盤とするミクロ社会学の展開について学ぶ。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第３部１「パーソンズ」、２「〈意味〉の社会学」を読んでくる。／【後期】第 14 章「独立・建国・革命」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
15回	**授業テーマ：社会システム論の発展** 授業内容：フランス現代思想の基礎を学び、さらにルーマンによる社会システム論の「転回」についてポストモダンの時代状況と関連づけながら理解を深める。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第３部３「意味構成的なシステムの理論」、４「社会学の未来に向けて」を読んでくる。／【後期】第 15 章「西洋近代の風景」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。

日本企業論

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

粟沢　尚志（あわさわ　たかし）

▌授業の概要

本科目は教育目標「人間力形成」達成のための科目です。日本企業の過去・現在・未来に関心をもつ学生を対象に、経済学と経営学の二つの分析視点から、日本企業の組織・行動・成果を体系的に理解するために必要な幅広い教養的知識・技能のほかに、主体的に学ぶ能力の養成を目指しています。授業で探究する主な課題は、日本企業の特徴、グローバル市場での外国企業との競争と協調、組織と戦略の独自性がもたらすイノベーションという日本企業が直面する課題です。特に、「日本資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一の経営哲学「論語と算盤」を学ぶことから、日本型経営の特徴やその強みを理解できるようにします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：(1) 日本企業の活動を理解するために必要となる経済学と経営学の基本的な考え方を身につけることができる。
(2) 日本の企業・取引システムの歴史と現代日本企業の課題を理解するために必要な基礎的な知識と技能を修得することができる。
(3) 渋沢栄一の経営哲学「論語と算盤」を学ぶことから、日本型経営の特徴やその強みを理解できる。
(4) 競争戦略論やマーケティングの基礎を、日本企業というケーススタディから修得することができる。

個別目標：(1) 日本企業に特徴的な雇用や生産などを理解するのに必要となる経済学的及び経営学的要素を説明できる。
(2) 日本企業の組織と戦略とイノベーションの相互関係を解明する複数の理論モデルを説明できる。
(3) 日本に強く見られる経営倫理観（渋沢栄一の道徳経済合一説）を理解し、その今日的な実践（たとえば SDGs）を卒業後に実践可能にする。

▌履修条件

履修に必要な予備的知識として、日本経済新聞などを通じて日本企業に関する現実の動きをフォローすることが望ましい。

▌評価基準・方法

毎週の課題 60 %、最終試験 40 %の合計点から評価する。ともに出題も採点も manaba を用いる。

▌フィードバック方法

manaba を通じて採点結果や必要に応じてコメントをフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

指定なし。

▌参考書

加護野忠雄・山田幸三編『日本のビジネスシステム』有斐閣、2016 年.
丸山雅祥『経営の経済学　第 3 版』有斐閣、2017 年.
加藤健太・大石直樹『ケースに学ぶ日本の企業』有斐閣、2013 年.
橘川武郎・平野創・板垣暁編『日本の産業と企業』有斐閣、2014 年.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ダイキンエアコン** 授業内容：ダイキンエアコンが「人」を中心とした経営と競争戦略で成功したことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
2 回	**授業テーマ：小松製作所** 授業内容：小松製作所が強みの「組み合わせ」で強力な差別化に成功したことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
3 回	**授業テーマ：ヤマト運輸** 授業内容：ヤマト運輸の源流となるビジネスモデルが、渋沢栄一の経営哲学の特徴である「先義後利」と同じであることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
4 回	**授業テーマ：伊那食品工業** 授業内容：伊那食品工業の「年輪経営」から（渋沢栄一の経営哲学に基づく）長期的な利益の大切さを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
5 回	**授業テーマ：村田製作所** 授業内容：企業という組織内に人の持つ「知」を蓄積することで、企業に強さ（競争優位）を生み出すことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
6 回	**授業テーマ：公文（くもん）** 授業内容：教育サービスにおける公文のビジネスモデルの独自性について経営学から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
7 回	**授業テーマ：ルミネ** 授業内容：ルミネの強さをコーペティション戦略（協調と競争の組み合わせによって競争優位を高めるような戦略）から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
8 回	**授業テーマ：ベネッセ** 授業内容：ベネッセが出版、模試、通信教育、介護へと多角化に成功してきた理由やメカニズムを経済学と経営学から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
9 回	**授業テーマ：トヨタ** 授業内容：トヨタの経営の特徴を同社の「パーパス」「ヴィジョン」「ミッション」から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）

10回	**授業テーマ：サイゼリヤ** 授業内容：サイゼリヤの経営の特徴(＝強さの理由)を競争戦略論から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
11回	**授業テーマ：スバル自動車** 授業内容：スバル自動車の経営の特徴(＝強さの理由)を「共通善」の追求という経営戦略から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
12回	**授業テーマ：アサヒビール** 授業内容：アサヒビールが業界第 1 位に登りつめた戦略(＝ポジショニングアプローチ)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
13回	**授業テーマ：『ビジョナリーカンパニー』を読む** 授業内容：全世界でベストセラーとなったビジネス書である『ビジョナリーカンパニー』を読んで日本型経営の特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントを用いた予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
14回	**授業テーマ：銚子電鉄** 授業内容：銚子電鉄の経営戦略を渋沢栄一の経営哲学から読み解くことで、地域に根差すローカル鉄道の生き残り戦略を学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
15回	**授業テーマ：企業とは「社会の公器」：明治の偉人たちから学ぶ** 授業内容：明治時代の研究者(北里柴三郎と高峰譲吉)と実業家(渋沢栄一)から企業経営における長期的利益の重要性を学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)

地理と環境

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

池田　和子（いけだ　かずこ）

▌授業の概要

本講義は、人文地理学のなかでも環境と人との相互作用に焦点を当てる。本講義での「環境」は、自然環境にとどまらずそれまでに蓄積された地域の資源や既存の産業、人々の行動様式などを含む。

講義は 2 つの柱からなり、1 つは事例研究を通じて変化の具体的なプロセスとその背景にある地理的な考え方を学習する。もう 1 つは地図の技能に関わるもので、地域の特徴やその変化を地図からよみとる。また作図から、効果的な図とは何かを学んでいく。

なお、2026 年度は前期のみの開講となる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：地域を観察し、地域の個性が多様な要素の絡み合いから生じ、変化し続けている様子を捉えられるようになる。地域をよみとくための基礎知識を習得する。
地図、特に地形図を読むための基礎知識を習得する。また主題図の作図に関する基礎知識を習得し、効果的な作図について工夫できるようになる。

個別目標：・地理的スケールを意識しながら地域を観察することができる。
・地図や統計などの資料を読みとることができる。
・書かれた内容を適切に理解し、自分の考えを述べることができる。
・与えられたテーマについてグループディスカッションができる。

▌履修条件

高校で地理を履修していなくても構いませんが、積極的に学ぶ姿勢を求めます。

▌評価基準・方法

平常評価（講義中の課題）40%、最終試験（教場）60%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

講義での課題に対するフィードバックは翌週の講義中に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、地図の作図・読図）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （統計検索、ウェブ GIS の活用）

▌教科書

なし。配付資料にて行う。

▌参考書

適宜指示する。

高校生向けの地図帳や参考書があれば理解を助ける。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：(大学の)地理学とは、本講義の内容や評価方法について理解する。 事前学修 2.0hr：これまでに学校で学んだ「地理」のイメージや印象を考えてみる。 事後学修 2.0hr：「地理」のイメージが変化したかや、授業の内容から考えたことを文章にまとめてみる。
2 回	**授業テーマ：地形図の基本と山地の地形** 授業内容：地形図の基礎を学び、紙の地形図で尾根や谷を見分ける。また地理院地図も使ってみる。 事前学修 2.0hr：「地形図」とは何かを確認する。 事後学修 2.0hr：地理院地図で関心のある場所を見てみる。
3 回	**授業テーマ：浦安を知る①／地理院地図と低地の地形** 授業内容：地形図の基礎を学び、実際に浦安の地形図を読みとる。また低地の土地利用について学ぶ。 事前学修 2.0hr：地理院地図で山と平野の図を見比べて、印象の違いや使用される地図記号の違いを検討する。 事後学修 2.0hr：地理院地図で機能のいくつかを利用してみる。
4 回	**授業テーマ：浦安を知る②／「地図感覚」をやしなう** 授業内容：時期の異なる浦安の地形図を比較し、浦安がどのように変化してきたかを読みとる。また、感覚的に地形図を理解することについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：地形図に関する課題に取組む。
5 回	**授業テーマ：浦安を知る③多面的に理解する** 授業内容：浦安の変化を資料から読みとり、地形図の変化にどのように表現されるのかを理解する。 事前学修 2.0hr：浦安市内を歩いて、地図と実際の景観の対応を確認したり、まだ行ったことのない場所を観察する。 事後学修 2.0hr：自分に身近な別の場所を例に調べ、授業の内容があてはまることがあるかを考える。
6 回	**授業テーマ：製造業の盛んな地域①／統計データの利用** 授業内容：実証研究論文を用いて、事例地域の特徴とその変化を読みとる。論文で扱われている統計にはどのようなものがあるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心のある事柄について、統計情報を探してみる。
7 回	**授業テーマ：製造業の盛んな地域②／統計データの分析** 授業内容：工業立地の基礎と、事例となる産業の特徴、戦後日本の工業発展について学ぶ。これを踏まえて改めて論文の内容を理解する。また論文で扱われている統計データを実際に分析してみる。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：6〜7 回目を通して、考えたことをまとめておく。
8 回	**授業テーマ：主題図と GIS（地理情報システム）の利用** 授業内容：主題図および、GIS による作図と分析について学ぶとともに、実際にウェブ GIS を使うなどして主題図を作成する。 事前学修 2.0hr：主題図とは何か調べてみる。 事後学修 3.0hr：主題図作成の課題に取り組む。
9 回	**授業テーマ：よい主題図について検討する** 授業内容：地図の表現にこだわり、適切でわかりやすい主題図にする工夫を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の事後学修で感じたことや考えたことをまとめる。 事後学修 3.0hr：主題図作成の課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域①** 授業内容：実証研究論文を用いて、事例地域の特徴とその変化を読みとる。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：身近なサービス業の場について、授業の内容があてはまるか異なるかを考える。
11回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域②** 授業内容：事例となる産業の、立地の基礎や産業史、近年の動向について理解する。これを踏まえて論文を精読する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：これまで学んだ事例の、産業としての違いを考える。
12回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域③** 授業内容：扱う実証研究論文に関係する、発展的な知識について学ぶ。環境と人間との関わりとその変化について、より抽象的に理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：10～12 回目を通して、考えたことをまとめておく。
13回	**授業テーマ：時計の歴史①と地図・緯度・経度** 授業内容：時計の歴史をたどりながら、地図や特に緯度・経度との関わりについて理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心を持った事柄について調べる。
14回	**授業テーマ：時計の歴史②と地球・標準時・暦** 授業内容：時計の歴史をたどりながら、地球を知ることや標準時・暦との関わりについて理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心を持った事柄について調べる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：全体のまとめ、試験について 事前学修 3.0hr：これまでの復習をしておく。 事後学修 3.0hr：これまでに学んだことへの理解を深める。

地理と環境

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）

▌授業の概要

地理と環境(留学生クラス)では、文章、図版、データ、写真など様々な情報を統合し、様々な現代的なテーマのシステム的な理解をすることで、現実世界の諸事象の観察や洞察を行う力を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：自然と人文環境の両者を理解できるような複眼的な思考ができる。

個別目標：(1) 様々なスケールごとに人と環境の関わりについて、情報を深く読み取り、課題の解決方法を理論的に表現できる。
(2) 文章、地図、図表、写真、統計データなどの資料を集め、倫理性に配慮し、活用できる。
(3) 地図、統計データ等の情報を処理し文章と統合して、内容を正確に理解する。
(4) 課題達成のために他者との協働作業を行うことができる。
(5) 地理と環境に対するシステム的な思考力を適切に評価し、計画をたて、能動的に学習し、正しく振り返ることができる。

▌履修条件

毎回出席し、授業活動に積極的に参加する。
manaba のコースニュースでの連絡を読む。
課題等の提出期限を守る。
使えるリソースを適切に利用する。

▌評価基準・方法

平常評価（通常週の課題提出による評価）50%、最終試験 50%の割合で評価する。
詳細は第 1 回授業で説明をする。

▌フィードバック方法

毎回、コメントシートで質問等を受け付ける。
課題及び試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （コンセプトテスト・ピアインストラクション・コメントシート・ジグソー活動）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （地図、データなどの検索に利用する。）

▌教科書

高橋伸夫ほか　『改定新版ジオグラフィー入門』古今書院

▌参考書

授業で指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：科目の概要、目標、評価基準、授業および課題提出などについての説明を行い、事前テストを行う。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク・アンケート 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
2回	**授業テーマ：人間環境と人間社会** 授業内容：地形、気候などの自然環境と政治、経済活動などの社会環境との関わりを複眼的に分析する、という地理学の本質的な考え方を理解する。高知県を例にとって日本の産業構造の変化を自然条件、社会条件から分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
3回	**授業テーマ：日本を縮める新幹線** 授業内容：日本の新幹線の延伸を年代別の地図から読み解く。時間距離という概念を理解し、新幹線の延伸の背景にある、日本の人口分布の変化、鉄道を用いた物流システムの変化などから日本経済の発展を分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
4回	**授業テーマ：分布図で見るオーストラリア** 授業内容：オーストラリアの人口分布と耕地の分布を比較する。鉱業、畜産業などの分布図と地域ごとの産業構造を比較した表を対照させてオーストラリアの自然条件と産業構造を理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
5回	**授業テーマ：選挙にみる地理学** 授業内容：衆議院総選挙結果と人口指標の推移、地域別投票率、政党別獲得議席数などから日本の政治の地域性を理解する。一票の格差、ゲリマンダー選挙区など選挙制度上の問題について考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
6回	**授業テーマ：人々の行動を分析する** 授業内容：社会生活基本調査による生活時間の増減と男女有業者の週平均活動時間から日本人の生活活動の分析を時間の側面から把握する。それにパーソントリップ調査を加えて、子どもを持つ夫婦の生活を時間移動から分析し、日本の少子化問題を考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・レポート・コンセプトマップを作成する。
7回	**授業テーマ：頭のなかの地図** 授業内容：人間が頭の中に持つ認知地図の要素、構造を理解し、いかに形成されるか、どのような要因で認知地図の歪みが生じるかを事例から理解する。認知地図がサーベイマップなのかルートマップなのかという議論を学ぶ。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
8回	**授業テーマ：地図は語る** 授業内容：縮尺、地図記号など地形図の見方の基本を学ぶ。1961 年、1970 年、1994 年の浦安市の地形図を比較し、漁師町から住宅・文教・レジャー施設を持つ海浜ニュータウン地域へと変容した浦安の都市化を理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。

9回	**授業テーマ：地形図の読み取り** 授業内容：同じ地域の年代の異なる地形図を読み取り、その地域における産業の変遷などを推測する。ジグソー活動によって、他の学習者と協力してタスクシートを完成させる。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
10回	**授業テーマ：人はいかに分布するか** 授業内容：人が居住する範囲であるエクメーネにおける人の分布を表す方法として、人口密度、一人あたり面積、人口接近度などの用語を学び、各国のデータを用いて実態を分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
11回	**授業テーマ：人は移動する** 授業内容：移動者数の推移や地域ごとの人口変動のタイプから、地方の中心県が周辺県からの流入と東京への転出を行うという都市システムを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト
12回	**授業テーマ：都市の内部に構造をみる** 授業内容：都市地理学における古典的内部構造モデル、同心円地帯モデル、セクターモデル、多核心モデルを理解し、都市の内部構造が形成される要因とプロセスを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
13回	**授業テーマ：東京一極集中は進む** 授業内容：日本の地域別人口の歴史的変化から東京一極集中の背景を理解する。主要都市の経済的中枢管理機能を比較し東京にある行政的中枢管理機能の集中と首都機能移転を巡る議論を考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
14回	**授業テーマ：都市は気候を変える** 授業内容：環八雲やヒートアイランドなどの現象を通して都市気候が発生する仕組みを学ぶ。人口集中によって地表面の特性が変わり、代謝熱によるエアロゾルの発生が都市気候の背景にあることを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
15回	**授業テーマ：最終試験とフィードバック** 授業内容：最終試験を行いフィードバックを行う。コース全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：アンケート

自然環境論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

磯田　尚子（いそだ　しょうこ）

▌授業の概要

現代社会における最も重要な課題のひとつである環境問題について、その原因や発生のメカニズムは何か、何が問題となっているか、そして解決のためにどのようなしくみを構築すべきかを学ぶ。環境法政策学をに中心として、自然保護に関する環境倫理学・環境哲学の知見をも取り入れながら、法的なしくみの現状と課題について学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：環境問題に関する法的なしくみについて、基本的な知識を習得するとともに、持続可能な社会、自然と人間の共生に向けて何が必要かを理解する。

個別目標：環境問題に関する法的な制度やしくみについて、専門用語とその内容を、自分の言葉できちんと説明し、他人に伝えることができるようになる。

▌履修条件

学問に対する誠実な姿勢を有し、自主的、積極的に学ぶ学生を歓迎する。

▌評価基準・方法

筆記試験９０%、レポートまたは授業中の発表・発言１０%を総合して成績評価を行う。
原則として、授業回数１５回のうち５分の４以上の出席を評価の前提基準とする。

▌フィードバック方法

レポートのフィードバックは、授業内で行い、筆記試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子(編著)『多元的環境問題論(増補改訂版)』(ぎょうせい)
ISBN978-4-324-08009-2

▌参考書

講義において適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、環境問題の歴史１(公害問題)** 授業内容：初めに、授業の概要・進め方と評価方法、留意事項などについて説明する。続いて、日本の公害の歴史を概観した後、戦前の公害問題の典型例である足尾鉱毒事件を取り上げ、この時代の公害問題の原因や背景を考える。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．１を熟読する。 事後学修 2.0hr：足尾鉱毒事件について調べる。
2回	**授業テーマ：環境問題の歴史２(四大公害訴訟)** 授業内容：戦後高度経済成長期に起こった四大公害事件から学びを得るとともに、四大公害訴訟を通じて形成された法理論の内容と意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．２～２．１．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：四大公害訴訟を通して形成された法理論を４つ挙げて、それぞれについて説明する。
3回	**授業テーマ：環境問題の歴史３(公害の未然防止)** 授業内容：高度経済成長後の公害裁判において課題となった公害の未然防止に関し、差止訴訟の事例を紹介しながら、裁判で用いられた論理を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．５を熟読する。 事後学修 2.0hr：受忍限度論について説明する。
4回	**授業テーマ：環境基本法の制定と環境基本計画** 授業内容：公害問題と環境問題の根本的な違いを知るとともに、環境基本法と環境基本計画の内容を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．６および２．２．１を熟読する。 事後学修 2.0hr：環境基本法の特徴を述べる。
5回	**授業テーマ：環境保全手法** 授業内容：公害問題の時代から有効であった規制的手法と、環境問題の解決のために新たに導入されてきている経済的手法の２つを中心に、協定的手法、情報的・教育的手法その他を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．２．３～２．２．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：規制的手法と経済的手法を比較する。
6回	**授業テーマ：環境保全のための理念と基本原則** 授業内容：環境問題の解決のために採用されている理念や基本原則のうち、持続可能な開発/発展(SD)、汚染者負担原則(PPP)、予防原則について学ぶ。 事前学修 2.0hr：持続可能な開発/発展について調べる。 事後学修 2.0hr：環境と経済の同時達成について具体例を調べる。
7回	**授業テーマ：大気環境１(大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊)** 授業内容：大気汚染、国境を越えて被害が生ずる酸性雨、さらに地球規模で影響があるオゾン層破壊について、その発生メカニズムと影響と法的な対策を学ぶ。 事前学修 2.0hr：酸性雨とオゾン層破壊のそれぞれについて、発生メカニズムと影響について説明する。 事後学修 2.0hr：大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊のそれぞれについて、どんな対策が取られているか説明する。
8回	**授業テーマ：大気環境２(気候変動)** 授業内容：今世紀最大の環境問題である気候変動について、その発生メカニズム、影響、法的な対策の歴史と現状(気候変動枠組条約、京都議定書、パリ協定)を学ぶ。 事前学修 2.0hr：気候変動(地球温暖化)の発生メカニズムと影響について説明する。 事後学修 2.0hr：京都議定書とパリ協定の内容を説明する。
9回	**授業テーマ：土壌環境(土壌汚染)** 授業内容：土壌汚染の特徴を理解するとともに、土壌汚染問題のタイプと対策の歴史、土壌汚染対策法の内容を意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：土壌汚染対策法の内容について説明する。

10回	**授業テーマ：廃棄物１（廃棄物法制度の概要）** 授業内容：廃棄物関連の法律の全体像をつかんだ後、廃棄物処理法、資源有効利用促進法、リサイクル関連の法律の内容と意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．６を熟読する。 事後学修 2.0hr：廃棄物処理法、リサイクル関連の法律、グリーン購入法の内容について説明する。
11回	**授業テーマ：廃棄物２（循環型社会形成に向けて）** 授業内容：リサイクル関連の法律の進展を知るとともに、循環型社会形成推進基本法で定める理念や原則を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．６を熟読する。 事後学修 2.0hr：循環型社会形成推進基本法の内容について説明する。
12回	**授業テーマ：生物環境１（自然の権利）** 授業内容：自然を原告として提訴する自然の権利訴訟について、日本の訴訟とそのモデルとなったアメリカの訴訟を通して、ある地域の開発について地域住民以外の者が法的に意見を述べることについて考えるとともに、自然に権利を付与する法政策的な意義を論じる。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．５．４及び第４章４．２．３を熟読する。 事後学修 2.0hr：自然の権利を主張する意義について論じる。
13回	**授業テーマ：生物環境２（自然環境保全制度）** 授業内容：日本の自然環境保全のための法律４つ（自然公園法、自然環境保全法、種の保存法、鳥獣保護法）の内容を理解し、国法レベルでの自然保護手法の特徴について考える。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．５．３を熟読する。 事後学修 2.0hr：自然環境保全のための４つの法律に共通する考え方を論じる。
14回	**授業テーマ：生物環境３（里山の保全）** 授業内容：近年の里山保全についての政策転換と、里山保全に関する地方自治体の条例の内容を学ぶ。 事前学修 2.0hr：関心のある自然の保護について具体例を調べる。 事後学修 2.0hr：調べた自然保護の具体例において、どのような制度やしくみが用いられているかを調べる。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：授業で関心を持った事項について、その内容と示唆をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業で関心をもった事項について、さらに調べる。

都市と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中嶋　久人 (なかじま　ひさと)

▌授業の概要

20 世紀後半以降の世界は、都市化が進展し、都市的な生活が村落地域でも浸透しているようになっている。それでも、大都市の中心地域は、他地域とは違った様相を示している。本授業では、大都市の中心地域の一例として東京中心部を把握し、微視的に住民それぞれによる都市における生活の様相をとらえ、さらに巨視的に都市全体を俯瞰して経営の対象としての都市を歴史的に考察し、生活と都市という二つの契機が結びついている状況を検討したい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：それぞれの住民にとって大都市において生活することのあり方を把握し、その上で、そのような住民の生活をもとに都市全体を経営することを歴史的に検討する。このことは、学問的課題であるとと同時に、それぞれにとっての生活的課題であり、さらには都市全体の社会的課題である。この授業で学習したことをもとに、新たな学問的課題に取り組むとともに、都市で生活することの基礎知識を習得し、都市全体を経営する視点を展望することができる。

個別目標：①東京北部を主要な対象としている吉見俊哉『東京裏返し』を教科書にして、講師が「街歩き」＝フィールドワークにおいて撮影した写真や講師自身の生活体験などを交えて、都心部で生活するということについて、地理的環境や前近代の伝統などの影響もふまえて、イメージを形成することができる。

②「破壊と復興が築いた都市」「帝都・首都圏とインフラの拡大」「近代都市を生きる民衆」など七つのテーマで東京全体の近現代都市を考察した源川真希『東京史』を教科書にして、都市全体を俯瞰した都市経営を構想することができる。

③コメントペーパー作成、討論、教場レポート提出、論述試験などを通じて、論理的に自己の考え方を表現することに習熟することができる。

▌履修条件

履修条件は特にない。他用の折でもよいので「街歩き」＝フィールドワークを行い、さらに、教科書や講師の提示した参考文献に目を通すという積極的な姿勢が望まれる。

▌評価基準・方法

評価基準は、試験 60 %平常点 40 %とする。定期試験については五分の四以上の出席を条件とする。平常点は、授業中に教場にてコメントペーパーを提出してもらい、それぞれ採点し、それを中心として、授業態度なども総合して評価する。

▌フィードバック方法

授業でコメントペーパーをもとに討論を行い、それによってフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （コメントペーパーを配布し授業中にそれをもとに討論する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

吉見俊哉『東京裏返し一社会学的街歩きガイド』(集英社新書 1033B 2020 年　980 円＋税)

源川真希『東京史一七つのテーマで巨大都市を読み解く』(ちくま新書 1727 2023 年　900 円＋税)

▌参考書

東京の地理に詳しくないものは東京の地図を持参することが望ましい。その他、教科書に挙げられている文献を中心に授業の進行に合わせて必要に応じ適宜指定する予定である。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：本授業の運営方法、講師・学生の自己紹介、教科書の概要説明** 授業内容：本授業の運営についてガイダンスを行う。講師の自己紹介の後、学生が自身の自己紹介と本授業に期待することを述べる。その後、本授業の到達目標・運営方法などを説明し、吉見『東京裏返し』と源川『東京史』について、序章にあたる部分を中心にそれぞれの概要を述べる。 事前学修 2.0hr：『東京裏返し』の「はじめに」と『東京史』の「プロローグ」を中心に目を通すこと。本授業に期待することを検討しておくこと。 事後学修 2.0hr：本日の講義内容を把握しておくこと。教科書の序章部分で挙げられた文献に目を通すこと。
2 回	**授業テーマ：「都電荒川線に乗って東京を旅する」(『東京裏返し』第一日)** 授業内容：「都電荒川線に乗って東京を旅する」(『東京裏返し』第一日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
3 回	**授業テーマ：「秋葉原ー上野ー浅草間に路面電車を復活させる」(『東京裏返し』第二日)** 授業内容：「秋葉原ー上野ー浅草間に路面電車を復活させる」(『東京裏返し』第二日)(『東京裏返し』第一日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
4 回	**授業テーマ：「動物園を開放し、公園を夜のミュージアムパークに」(『東京裏返し』第三日)** 授業内容：「動物園を開放し、公園を夜のミュージアムパークに」(『東京裏返し』第三日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
5 回	**授業テーマ：「都市にメリハリをつけながら、古い街並みを守る」(『東京裏返し』第四日)** 授業内容：「都市にメリハリをつけながら、古い街並みを守る」(『東京裏返し』第四日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
6 回	**授業テーマ：「都心北部で大学街としての東京を再生させる」(『東京裏返し』第五日)** 授業内容：「都心北部で大学街としての東京を再生させる」(『東京裏返し』第五日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
7 回	**授業テーマ：「武蔵野台地東端で世界の多様な宗教が連帯する」(『東京裏返し』第六日)** 授業内容：「武蔵野台地東端で世界の多様な宗教が連帯する」(『東京裏返し』第六日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。

8回	**授業テーマ：「未来都市東京を江戸にする」(『東京裏返し』第七日)** 授業内容：「未来都市東京を江戸にする」(『東京裏返し』第七日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
9回	**授業テーマ：「破壊と復興が築いた都市」(『東京史』第１章)** 授業内容：「破壊と復興が築いた都市」(『東京史』第１章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
10回	**授業テーマ：「帝都・首都圏とインフラの拡大」(『東京史』第２章)** 授業内容：「帝都・首都圏とインフラの拡大」(『東京史』第２章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
11回	**授業テーマ：「近代都市を生きる民衆」(『東京史』第３章)** 授業内容：「近代都市を生きる民衆」(『東京史』第３章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
12回	**授業テーマ：「自治と政治」(『東京史』第４章)** 授業内容：「自治と政治」(『東京史』第４章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
13回	**授業テーマ：「工業化と脱工業化のなかで」(『東京史』第５章)** 授業内容：「工業化と脱工業化のなかで」(『東京史』第５章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
14回	**授業テーマ：「繁華街・娯楽と都市社会」(『東京史』第６章)** 授業内容：「繁華街・娯楽と都市社会」(『東京史』第６章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
15回	**授業テーマ：「高いところ低いところ」(『東京史』第７章)** 授業内容：「高いところ低いところ」(『東京史』第７章)について、「エピローグ　東京を通して見た近現代」も含めて、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。

生活と安全

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

笠嶋　義夫（かさしま　よしお）

▌授業の概要

人間が生活をしていく上で、「安全」は最も重要な要素である。しかし、その範囲はあまりに広いので、本講義では、「地球温暖化とエネルギー問題」「食糧問題」「水問題」「廃棄物問題」に焦点をあてる。国連が SDG ｓを提唱してから、世界的に注目され、最も重要でかつ解決しなければならない分野と位置づけされている問題ばかりである。これらの問題から、現代における人間社会の「安全」とは何かを考えてみる。なお、社会情勢と密接に関係している科目のため、社会情勢の変化により、講義の進行順序を入れ替えたり、内容を変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：人間が「生活」していくうえで、避けることのできない問題である、「地球温暖化とエネルギー問題」、「食糧問題」、「水問題」、「廃棄物問題」のかかえている重要な要素を理解する。

個別目標：(1)「地球温暖化とエネルギー問題」、「食糧問題」、「水問題」、「廃棄物問題」それぞれについて、概略を説明できる。
(2)これらの問題について、どのように対応すべきか、個別に説明できる。
(3)これらの問題が身近に差し迫ったとき、どのように、人間が「安全に」生活していけるのか、その道筋を判断できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

4 回の大きなレポート(講義の振り返りを含む)で 64 点満点(16 点満点× 4 回)、講義の振り返りシート(前述の「大きなレポート」以外)が 36 点満点(4 点満点× 9 回)で、合計 100 点満点とします。レポートは、提出したからといって、「満点」が与えられるのではありませんので、くれぐれも注意のこと。レポートは、ほぼ毎回出ることになります。出席は、８０%以上が単位取得の条件となりますので、注意のこと(公欠は除く)。レポート提出は、スクリーンショットや画像ファイルでの提出は認めないので、注意のこと。

▌フィードバック方法

レポートのフィードバックは、講義または manaba で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義の振り返りシートの提出とそのフィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポートは、ワードファイルで提出してもらいます。）

▌教科書

「新版(第３版)　環境の科学」中田昌宏・笠嶋義夫　著　(三共出版)

あと、必要に応じてプリントを pdf または jpeg、パワーポイントで manaba にアップします。manaba を見れるものを持参してください(講義でプリントは配布しません)。

▌参考書

「森が消えれば海も死ぬ」第 2 版　松永勝彦　著　(講談社)

「地球の限界」オーウェン・ガフニー/ヨハン・ロックストローム　著　戸田早紀　訳　(河出書房新社)

「もうコメは食えなくなるのか」鈴木宣弘　著　(講談社)

「牡蠣養殖 100 年　汽水の匂いに包まれて」畠山重篤著(株式会社マガジンランド)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンスと本講義の概略** 授業内容：ガイダンスで講義内容・学習方法・評価方法について解説する。その後、本講義の概略を解説し、現代社会の抱えている問題を提起する。 事前学修 2.0hr：インターネットなどで、地球上の環境問題でどんなことが起きているかをしらべてみてください。 事後学修 2.0hr：事前学修と講義を聴いたうえで、自分なりに再度環境問題について考えてみてください。
2回	**授業テーマ：地球温暖化の現況** 授業内容：地球の成り立ちから振り返り、IPCC 報告書をもとに、地球温暖化とはどのような状態であるかを説明する。 事前学修 1.5hr：地球温暖化によって、どのようなことが地球上で起こっているかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
3回	**授業テーマ：パリ協定** 授業内容：温暖化対策の世界的な取り組みである「パリ協定」について、その成り立ちと中身について解説する。 事前学修 1.5hr：「京都議定書」と「パリ協定」について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
4回	**授業テーマ：原子力発電** 授業内容：地球温暖化対策の一番手といわれる「原子力発電」。その利点と欠点を探る。あわせて、福島原発の事故についてと、現況についても触れる。 事前学修 1.5hr：原子力発電のしくみと、福島原発の事故と現況について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
5回	**授業テーマ：再生可能エネルギー** 授業内容：再生可能エネルギーについて、風力発電と、太陽光発電を中心に、その原理と、先進事例について学ぶ。 事前学修 1.5hr：再生可能エネルギー導入事例として、ヨーロッパではどのようなことが行われているかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
6回	**授業テーマ：世界の森林問題** 授業内容：世界の森林のあり方について、アマゾンを中心に考える。あわせて、世界各地の森林保護運動にも触れる。 事前学修 1.5hr：世界各地の森林保護運動について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
7回	**授業テーマ：日本の森林問題** 授業内容：日本の森林のあり方について考える。森林が荒廃している現況、森林がどのように人類の営みに影響を与えているかを考える。 事前学修 1.5hr：日本の森林は、なぜ荒廃しているのか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
8回	**授業テーマ：森永ヒ素ミルク事件** 授業内容：森永ヒ素ミルク事件が、現代社会に与えた影響を考察する。 事前学修 1.5hr：森永ヒ素ミルク事件について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。

9回	**授業テーマ：世界の食糧問題** 授業内容：途上国では深刻な食糧問題が、世界で見ると見方が大きく変わる。その点を解説する。 事前学修 1.5hr：現在の世界の食糧事情について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
10回	**授業テーマ：日本の食糧問題** 授業内容：食料自給率が、先進国の中では最も低い日本。その食糧事情と、食品ロスについて考える。 事前学修 1.5hr：日本の食品ロスについて、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
11回	**授業テーマ：水問題** 授業内容：人間が生きていくうえで最も必要なもの。日本でも世界でも、水を得るためにどのような問題点があるかを考える。 事前学修 1.5hr：日本の食料事情で、どのような問題が起こっているか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
12回	**授業テーマ：オゾン層と紫外線** 授業内容：オゾン層がどのように「有害紫外線」から、地球上の生き物を守っているか、またオゾンホールを中心にオゾン層破壊の問題について考える。 事前学修 1.5hr：オゾン層破壊のメカニズムを、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
13回	**授業テーマ：代替フロンの問題** 授業内容：オゾン層を破壊しないで、フロンの性質を持つ「代替フロン」。その問題点と、解決方法を探る。 事前学修 1.5hr：代替フロンについて、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
14回	**授業テーマ：廃棄物問題** 授業内容：国土が狭いゆえに抱える日本のアキレス腱。その実態と、世界と日本の新しい取り組みについて説明する。あわせて、「海洋プラスチックゴミ(マイクロプラスチック)」の問題にも触れる。 事前学修 1.5hr：日本と世界の「廃棄物」の処理方法と、有効活用について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
15回	**授業テーマ：日本はどうあるべきか** 授業内容：今までの講義を振り返りながら、「日本はどうあるべきか」について考える。 事前学修 1.5hr：今までの講義(１４回分)の内容を見返してみてください。 事後学修 3.0hr：講義振り返りシートの作成。

行動科学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

行動科学は、人間の行動を心理学・社会学・教育学などの学際的視点から捉え、行動の理解や変容について実証的に検討する学問です。ビジネス領域における動機づけやパフォーマンス向上、保健医療領域における健康行動の形成と維持など、日常生活や専門実践の中で幅広く応用されています。近年、AI をはじめとする情報技術の発展により、人間の行動に関する知識や説明が、あたかも容易に理解できるかのように提示される状況が生じています。理論や情報をどのように解釈し、状況や関係性の中で意味づけ、Well-being を支える行動として選択・調整していく判断は、人に求められる重要な力です。本講義では、Well-being につながる行動科学の諸理論を学び、対話や省察を通して、日常生活に活かす視点を養うことを目的とします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：人間の行動にかかわる諸理論を理解し、その理論を基盤とした「人と共に、こころ豊かに生きる」ために何ができるかを考える力を涵養する。社会において、互いの多様性を尊重しあい Well-being を実現する態度とコミュニケーション（社会性・合理性・創造性）を身につける。

個別目標：1）人間の行動にかかわる諸理論を、具体的な場面や経験に即して解釈し、その有効性や限界を踏まえて説明できる。
2）様々な場面における人間の行動を、多角的な理論的視点から捉え、行動の選択や調整について考えることができる。
3）ヒューマン・スキルを、固定的な技法としてではなく、状況に応じて選択・調整する視点として理解し、日常生活に活かすことができる。
4）前向きな自己成長行動をとりながら、価値観の異なる他者と、理解や一致を急がずに関わり続けるコミュニケーションの姿勢を持つことができる。

▌履修条件

授業は、対話的にピア・エデュケーション、クリエーティブ・ラーニングの手法で行われます。
そのため、仲間と共に学習し合う姿勢が求められます。
履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定しますので（最大受講人数 60 名程度）、第 1 回の講義に必ず出席してください。
また、本講義は、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提としています。学修上の困難さがある場合には、個人の努力のみで解決を求めるのではなく、学修環境や参加方法を調整する合理的配慮を行います。配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。質問や発言による講義への参加度（25 %）と、学習の成果物①講義ごとの小課題（50 %）、学習の成果物②最終レポート課題（25 %）により総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題に対するフィードバックは、翌週以降の講義冒頭および学修支援システム manaba を通じて全体に対して行う。理解が不十分な場合には補習を実施する。個別指導は、ワークブックへのコメントを通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Thik-Group-Share　Dialogue　Reflecting-Talk）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

1）Well-being の行動科学ワークブック（￥600）
※登校日にワークブックを購入してください。購入方法は、講義内や manaba で案内します。
2）配布資料

▌参考書

授業内で、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：行動科学入門** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。 2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．人々の行動に関する多様な考え方を、身近な事例から考える。 事前学修 2.5hr：行動科学を履修する目的を 400 文字程度でまとめる（manaba で提出を求めます）。 事後学修 1.5hr：タイプ A 行動特性のチェックから、自分の行動のパターンを分析、考察する。
2回	**授業テーマ：Well-being と自己理解（エゴグラムを活用した自己理解）** 授業内容：エゴグラムのワークシートを活用し、自己理解を深める。 エゴグラム特徴と行動パターンをセルフワークで考察する。 Think-Pair-Share により、自己理解・他者理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 1 章「Well-being と自己理解」を読み、エゴグラムのチェックを実施する。 事後学修 2.0hr：エゴグラムから、自分の行動のパターンや人間関係を分析、考察する。
3回	**授業テーマ：Well-being と自己理解②（エゴグラムを活用した他者理解）** 授業内容：エゴグラム特徴と、人間関係の特徴をセルフワークで考察する。 人間関係の改善のために、どの領域を高める必要があるかを考える。 Think-Pair-Share により、自己理解・他者理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第２章「Well-being のコミュニケーション」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、日常の非言語コミュニケーションの改善について考察する。
4回	**授業テーマ：安心できる人間関係をつくる①　非言語コミュニケーション・アクティブ・リスニング** 授業内容：気持ちの交流に不可欠な非言語領域（表情、声、視線、姿勢と動作）について理解する。 人間関係に効果的に働く非言語について考える。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 2 章「Well-being の非言語コミュニケーション」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、非言語コミュニケーションの改善について考察する。
5回	**授業テーマ：安心できる人間関係をつくる②　沈黙と傾聴** 授業内容：「話す」と「きく」からなるコミュニケーションの半分を占めている「きく」について考える。 沈黙のゲームを通して、「きく」ことの影響力を確かめる。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック３章 「Well-being とリスニング」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：効果的な沈黙姿勢とブロッキングリストをまとめ、これまでの自分の聴き方を分析し、改善策を検討する。

6回	**授業テーマ：自己イメージとグループダイナミクス** 授業内容：自己抑制型行動特性と対人依存型行動特性の視点から、自らのコミュニケーションを振り返る。 価値交流のグループワークを体験する。 体験学習から得たコミュニケーションの気づきを、Think-Group-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 1 章「1.5 パーソナリティチェック」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、自他の能力を引き出すコミュニケーションを考察する。
7回	**授業テーマ：共感の時代の Well-being** 授業内容：なぜ共感の時代なのかを考える。 共感的な聴き方を、ペアで体験する。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 3 章「Well-being のリスニングスキル」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：協力者を得て、共感的な聴き方を再度行ってみる。その結果や気づきをまとめる。
8回	**授業テーマ：コース前半のまとめ** 授業内容：コース前半の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。 事後学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、レポートをまとめる。
9回	**授業テーマ：Well-being のアサーション①　アサーション入門** 授業内容：自他を尊重したコミュニケーションとしてのアサーションについて知る。 自らの表現型(アサーティヴ、ノンアサーティヴ、アグレッシヴ)を、セルフチェックを通して振り返る。 アサーティヴに、「謝る」「励ます」を、ペアで体験学習し、Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章 Well-being のアサーションを読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：共感のワークを、2 名の協力者を得て復習する。
10回	**授業テーマ：Well-being のアサーション②　アサーティヴにお願いする・断る** 授業内容：アサーティヴに「お願いする・断る」ための伝え方を理解する。 アサーティヴに「お願いする・断る」をグループで体験学習し、Think-Group-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章 Well-being のアサーションを読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：アサーションを日常会話に取り入れ、自己観察した結果を、分析及び考察する。
11回	**授業テーマ：Well-being を実現する支援スキル①　基本姿勢とコーチング法** 授業内容：援助者コンピテンシー・セルフアセスメントを実施する。 援助の基本姿勢と行動段階ごとの支援法について理解する。 コーチングの理論を理解する。 コーチングのガイドラインを活用し、ペアで体験学習する。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 6 章 「Well-being の対人援助」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：協力者を得てコーチングを実施し、そのプロセスを記録し考察する。
12回	**授業テーマ：Well-being を実現する支援スキル②　―カウンセリング法** 授業内容：カウンセリングの理論を理解する。 カウンセリングのガイドラインを活用し、ペアでカウンセリング体験をする。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 6 章 「Well-being の対人援助」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：協力者を得てカウンセリングを実施し、そのプロセスを記録し考察する。
13回	**授業テーマ：Well-being のダイアローグ①　対話姿勢と外在化の姿勢** 授業内容：対話と会話の違いについて理解する。 オープンダイアローグの理論と実践について理解する。 オープンダイアローグの動画をみて、モデル学習する。 気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 5 章 「Well-being のダイアローグ」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：身近な人との会話の中で、対話(ダイアローグ)の基本姿勢を試し、その結果をまとめる。
14回	**授業テーマ：Well-being のダイアローグ②　リフレクティング・トーク** 授業内容：リフレクティング・トークの理論と実践を理解する。 ガイドラインを活用し、グループでリフレクティング・トークを体験する。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 2.0hr：5 章の 5.2 オープンダイアローグの講を読んで、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：リフレクティング・トークの体験を振り返り、今後どのように生かせるかを考えてまとめる。
15回	**授業テーマ：コース全体のまとめ** 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオに目を通し、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択し、まとめてくる。 事後学修 2.0hr：このコースでの学びの活用に関する最終課題に取り組む。

データのまとめ方

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

新井　啓（あらい　けい）

▌授業の概要

各学部に設置されている統計関連の専門科目の基礎となる統計学の基礎的な考え方を学ぶ授業です。2018 年ころから GAFA による個人情報の利用が世界的に問題になっており、データの分析技術以前にデータを収集する前の段階において個人情報保護法を理解しなければならない世界になりました。そこでこの授業でも個人情報保護法の基礎的な考え方も説明します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：平均や標準偏差などの統計学の基礎的な知識と個人情報保護法の基礎的な考え方とプライバシー権を理解できること。
個別目標：プライバシー権と個人情報保護法の基礎的な考え方を理解できる。

▌履修条件

統計学に関心があること。

▌評価基準・方法

毎回の授業時に行う manaba の小テスト(50%)、事前・事後学修(50 %)

▌フィードバック方法

小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （manaba は利用）

▌教科書

新井啓『プロ野球と経済　２０１８』開成出版。

▌参考書

特に指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：統計とは？** 授業内容：統計と経済の関係。統計に法律の知識が必要なのはなぜ？ 事前学修 2.0hr：教科書の 1 から 3 ページをよく読むこと。 事後学修 2.0hr：授業ノートの復習
2 回	**授業テーマ：標本と母集団** 授業内容：標本とは？　母集団とは？ 事前学修 2.0hr：教科書の 4 から 6 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 2 回目の授業ノートの復習
3 回	**授業テーマ：個人のデータと個人情報保護法。** 授業内容：個人の情報はなぜ重要なのか？　個人情報の保護はなぜ必要なのか？　フェイスブックと個人情報の経済問題。バックアップデータはどんなデータになるのか？ 事前学修 2.0hr：教科書の 7 から 8 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 3 回目の授業ノートの復習
4 回	**授業テーマ：データをどうまとめるのか？** 授業内容：データの中心の尺度とばらつきの尺度。ヒストグラム。標準偏差の意味。 事前学修 2.0hr：教科書の 9 から 11 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 4 回目の授業ノートの復習
5 回	**授業テーマ：著作権と肖像権** 授業内容：著作権とは？　YouTube を利用する際の注意点　プロスポーツ選手の肖像権 事前学修 2.0hr：教科書の 65 から 68 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 5 回目の授業ノートの復習
6 回	**授業テーマ：インターネットの利用で損害を被った場合** 授業内容：民事訴訟法の基礎 事前学修 2.0hr：教科書 69 ページから 71 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 6 回目の授業ノートの復習
7 回	**授業テーマ：インターネットの利用で犯罪に巻き込まれてしまったら** 授業内容：刑事訴訟法の基礎 事前学修 2.0hr：教科書 67 ページから 72 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 7 回目の授業ノートの復習
8 回	**授業テーマ：個人情報保護法と憲法の基礎。** 授業内容：憲法におけるプライバシー権とは？　SNS を利用する上での表現の自由(憲法 21 条)。三権分立はなぜ必要なのか。 事前学修 2.0hr：教科書 99 ページから 100 ページ読むこと 事後学修 2.0hr：第 8 回目の授業ノートの復習
9 回	**授業テーマ：企業法の基礎** 授業内容：商法と会社法。内部統制制度と企業の情報の管理。 事前学修 2.0hr：教科書 101 ページから 103 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 9 回目の授業ノートの復習
10 回	**授業テーマ：情報法の基礎** 授業内容：モノとしての放映権の経済問題。匿名加工データと深層学習。 事前学修 2.0hr：教科書 115 ページから 118 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 10 回目の授業ノートの復習
11 回	**授業テーマ：情報刑法の基礎** 授業内容：刑法とは？　アメリカの経済とヨーロッパの経済の違い。 事前学修 2.0hr：教科書 110 ページから 113 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 11 回目の授業ノートの復習
12 回	**授業テーマ：SPI の基礎的問題** 授業内容：数学を中心にして、国語・英語・地理歴史。 事前学修 2.0hr：教科書 145 ページから 148 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 12 回目の授業ノートの復習

13回	**授業テーマ：個人情報保護法と民法の基礎。** 授業内容：民法とは？　契約とは？　学籍番号は個人情報？　オプトアウトとオプトインの違い 事前学修 2.0hr：教科書 119, 135 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 13 回目の授業ノートの復習
14回	**授業テーマ：個人情報保護法と行政法の基礎。** 授業内容：行政法とは？　行政法と憲法の関係。行政機関が保有する個人情報とは？　仮名加工データ。社会福祉国家とは。 事前学修 2.0hr：教科書 86 ページから 90 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 14 回目の授業ノートの復習
15回	**授業テーマ：セイバーメトリックス** 授業内容：プロ野球と統計学の関係。日本のプロ野球のドラフト制度。収益分配制度。 事前学修 2.0hr：教科書 136, 144 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 15 回目の授業ノートの復習

数理の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

◆数学オムニバス◆【前学期 火 3 /後学期 水 2】本授業は、数学が苦手な学生を主な対象として、数式や計算に重点を置かず、「数理的なものの見方」を学ぶことを目的とします。指数や確率、暗号、ゲーム、数の並びなど、身近で具体的な題材を用いながら、数量的に考えることや、規則性・構造を捉えることの重要性を紹介します。日常生活や社会の中で数理がどのように用いられているかを知ることで、数学が単なる計算技術ではなく、世界を理解し判断するための思考の道具であることを実感できるようにします。オムニバス形式の講義を通じて、文系学生にも数理の面白さと意義が伝わることを目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：数理的な視点から物事を捉える重要性を理解し、日常生活や社会における数量的情報を適切に解釈・判断できる力を身につける。
個別目標：① 数や確率、指数的変化などの基本的な考え方を説明できる。
② グラフや数値情報の意味を読み取り、その妥当性を判断できる。
③ 簡単なルールから全体の構造を考える数理的思考を実践できる。

▌履修条件

特に前提となる知識はありませんが、原則として第 1 回から参加することを求めます。履修修正期間中であっても、授業に参加しなかった回は欠席として扱います。数学に苦手意識をもつ学生の受講を想定しています。

▌評価基準・方法

授業内で実施する課題(思考課題・小テスト・ワークシート等)を 100 %として評価します。各回の課題を通して、数理的な考え方を理解し、自分の言葉で説明しようとする姿勢および到達目標の達成度を総合的に評価します。

▌フィードバック方法

授業内課題に対するフィードバックは、授業内での解説および学修支援システム(manaba)を通じて行います。代表的な考え方や解答例を共有し、数理的な視点の整理を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （数やゲーム、具体的事例を題材とした個人・グループでの思考活動、簡単なディスカッション、授業内課題への取り組みを通じて、学生の主体的な参加を促します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり（授業資料の閲覧や課題への回答に加え、ローンや複利を扱う回では、表計算ソフト(Excel)を用いて数値の変化を簡単に確認します。また、manaba を用いた小テストや課題提出にも PC を利用します。）

▌教科書

使用しません。必要な資料は授業内で配布、または manaba に掲載します。

▌参考書

特にありません。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：導入―数学と数理の違い** 授業内容：本講義の目的を説明し、数学と数理の違い、数理的に考えるとはどういうことかを概観する。評価方法や注意事項についてのガイダンスも行なう。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
2 回	**授業テーマ：指数と対数（Ⅰ）―増え方を考える** 授業内容：指数的増加の特徴を例に、直線的な変化との違いを理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
3 回	**授業テーマ：指数と対数（Ⅱ）―時間と逆算の数理** 授業内容：対数的な考え方を用いて、増加に要する時間や元に戻る過程を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
4 回	**授業テーマ：ローンと複利の数理** 授業内容：ローンを題材に、時間とお金の関係を指数的変化として捉える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
5 回	**授業テーマ：確率と直感（Ⅰ）** 授業内容：確率に関する直感的判断がどのように誤るかを具体例で考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
6 回	**授業テーマ：確率と直感（Ⅱ）―ベイズの定理** 授業内容：情報によって判断を更新する考え方を、身近な事例を通して理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
7 回	**授業テーマ：石取りゲームの数理** 授業内容：単純なゲームを通して、必勝法と数理的構造の関係を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
8 回	**授業テーマ：Conway – Coxeter frieze（Ⅰ）―数の並びの遊び** 授業内容：数を埋める規則的な遊びを体験し、数の並びの特徴を観察する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
9 回	**授業テーマ：Conway – Coxeter frieze（Ⅱ）―局所ルールと構造** 授業内容：局所的な規則から全体の構造が決まる仕組みを考察する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。

10回	**授業テーマ：暗号と数学** 授業内容：RSA 暗号を例に、解けないことが安全性を生む理由を理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
11回	**授業テーマ：無限という概念** 授業内容：無限の性質を例に、直感と数理の違いを考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
12回	**授業テーマ：数理モデルと予測** 授業内容：天気予報を例に、数理モデルの役割と限界を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
13回	**授業テーマ：方程式と解の限界** 授業内容：代数方程式の歴史を通して、解ける問題と解けない問題の違いを考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
14回	**授業テーマ：数理と社会** 授業内容：お金、情報、リスク判断における数理の役割を整理する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
15回	**授業テーマ：総括―数理的に考えるとは** 授業内容：講義全体を振り返り、数理的思考の特徴と意義を整理する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。

数理の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

◆ AI の数学◆【前学期 水 3 /後学期 木 1】
本講義は、AI・機械学習を支える最小限の数学（平均・分散・相関、回帰の考え方、確率・ロジスティック回帰の直感、ベクトル・行列の入門、微分と勾配降下の直感）を、数式を最小限に、図・比喩・軽い計算ワークで理解することを目的とします。Excel などを用いた小規模データの集計・可視化、2 × 2 行列演算、差分近似による “傾き（微分）” の体験などを通して、「AI は何をどのように計算しているか」を自分の言葉で説明できる力を養います。授業はグループワークやペア演習を取り入れ、学びのプロセスを重視していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：AI の基本的な数理発想を直感と簡単な計算で理解し、身の回りのデータや事例に適用して説明できる力を身につける。
個別目標：① 平均・分散・相関を算出し、散布図で関係性を説明できる。
② 回帰（残差・二乗和）やロジスティックの直感を言語化できる。
③ 2 × 2 行列×ベクトルの演算を行い、“変換” の意味を説明できる。
④ 差分近似を用いて “傾き” を求め、勾配降下の 1 ステップ更新を計算できる。
⑤計算結果を自分の言葉で解釈し、レポートとしてまとめられる。

▌履修条件

特に前提となる知識はありませんが、原則として第 1 回から参加することを求めます。履修修正期間中であっても、授業に参加しなかった回は欠席として扱います。中学数学の復習から始めますし、数式操作は最小限に留めるので、数学が苦手な学生でも履修可能な内容になっています。

▌評価基準・方法

平常点（ワーク提出・参加）40 %、小テスト 20 %、期末レポート 40 %。授業内課題・小テストで基礎計算と理解を確認し、レポートで概念説明と結果の解釈力を評価。出席そのものは評価対象に含めず、課題提出・発表等で学修状況を反映する。

▌フィードバック方法

小テスト・課題は学修支援システム manaba を通じて個別コメントを返却し、授業内で代表例を解説します。レポートはルーブリックに基づき評価観点（正確さ・説明の明瞭さ・解釈）を明示して返却します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回のペア/小グループ演習、ディスカッション、小規模データ分析（Excel）、簡易プレゼンテーションを実施。第 15 回はミニ発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学生は各自 PC を持参すること。Microsoft365 と manaba を利用し、データ集計・可視化、演習提出、スライド作成を行います。授業内の小テストやアンケートでも manaba を利用します。）

▌教科書

特になし（希望者向けに易しい入門書・解説サイトを授業内で随時案内）。

▌参考書

特になし（希望者向けに易しい入門書・解説サイトを授業内で随時案内）。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス／ AI は何を “計算” しているのか** 授業内容：AI と機械学習の全体像、講義方針、評価。ミニ演習「人間が AI のふりをして分類してみる」。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、AI に関して知っていることを 100 字でメモ。 事後学修 2.0hr：身近なサービスで AI が使われていそうな例を 2 つ収集し、200 字で説明。
2 回	**授業テーマ：データの基礎：平均・中央値・分散** 授業内容：小データで平均・中央値・分散を手計算→ Excel で検算・可視化。 事前学修 2.0hr：配布データを眺め、値の範囲を確認。Excel の基本操作チュートリアル。 事後学修 2.0hr：自分の小データ（10 件）を作成し、平均・分散を算出して短い解釈を書く。
3 回	**授業テーマ：相関と散布図：関係の強さを掴む** 授業内容：共分散・相関係数の直感。散布図と相関のサイン（±）。 事前学修 2.0hr：第 2 回の自作データに第 2 変数を追加。相関の読み取り資料を読む。 事後学修 2.0hr：Excel で散布図と相関を作成し、関係を 150 字で記述。
4 回	**授業テーマ：回帰のアイデア：残差と二乗和** 授業内容：2 本の候補直線に対して残差と二乗和を比較。最小二乗の直感。 事前学修 2.0hr：回帰直線の意味の配布資料を読む。例題の散布図に手書きで線を引く。 事後学修 2.0hr：Excel で 2 本の線の残差二乗和を比較し、より良い線を説明。
5 回	**授業テーマ：分類の基本：境界線とスコア** 授業内容：2 特徴の重み付きスコア a × x1+b × x2 の計算で正負分類を体験。 事前学修 2.0hr：メール分類の例を読み、特徴を 2 つ考えてくる。 事後学修 2.0hr：配布データでしきい値を変えたときの誤判定例を記述。
6 回	**授業テーマ：ロジスティックの直感：S 字で “確率” を表す** 授業内容：0 ～ 1 の確率解釈。S 字カーブを Excel で描き、閾値と確率の関係を確認。 事前学修 2.0hr：確率の基礎メモ（0 ～ 1 の意味）を作成（1.0h）。テンプレ Excel に数値入力。 事後学修 2.0hr：2 つのしきい値の違いを図と 100 字で説明。
7 回	**授業テーマ：ベクトルと行列：2 × 2 の変換を体験** 授業内容：ベクトルは “並んだ数”、行列は “変換の装置”。2 × 2 × (2 × 1) の手計算、拡大・回転の直感化。 事前学修 2.0hr：配布の行列入門を読む（1.0h）。例題の計算を 1 問試す。 事後学修 2.0hr：与えられた 2 × 2 行列 2 種をデータ点に適用し、変換前後を散布図で比較。
8 回	**授業テーマ：ニューラルネット①：ニューロンの計算** 授業内容：$z=w\cdot x+b$ と ReLU の手計算。小さなネットの入出力を追う。 事前学修 2.0hr：記号の意味（w,b,x,z）を 30 字ずつ要約。例題の前半を手計算。 事後学修 2.0hr：同型の別パラメータで出力を再計算し、違いを説明。
9 回	**授業テーマ：ニューラルネット②：重みが変わると何が起こるか** 授業内容：重み更新のイメージ。活性化後の影響を可視化し、出力変化を議論。 事前学修 2.0hr：第 8 回のネットに小さな変更を加えて出力を予想。確認用計算。 事後学修 2.0hr：出力変化と “意味” を図と文章で報告。

10回	**授業テーマ：微分の直感：差分で “傾き” を読む** 授業内容：$f(x)=x^2$ の差分近似で傾きを求める。傾きの符号と “進む向き”。 事前学修 2.0hr：差分近似の例を読んで $\Delta y/\Delta x$ を 2 点で計算。 事後学修 2.0hr：別関数 x^2+3x の 2 点で傾きを試算。
11回	**授業テーマ：最適化：勾配降下の 1 ステップ** 授業内容：$E(x)=x^2+3x$、η を指定して $x \to x-\eta\cdot(\Delta E/\Delta x)$ を 1 ～ 2 ステップ。Excel で軌跡を可視化。 事前学修 2.0hr：テンプレ Excel のセル式を確認。$E(x)$ のグラフを概形でスケッチ。 事後学修 2.0hr：初期値・η を変えて比較グラフを作り、200 字で解釈。
12回	**授業テーマ：類似度の数学：コサイン類似度(2 次元で手計算)** 授業内容：内積・長さの直感。2 次元ベクトルで cos θ を算出し、似ている／違うを説明。 事前学修 2.0hr：2 組の 2 次元ベクトルを自作。内積と長さの復習。 事後学修 2.0hr：文書ベクトルの簡易例で “似ている度” を説明。
13回	**授業テーマ：モデルを読み解く：特徴量重要度の基礎** 授業内容：簡易決定木の分岐を手で辿り、効いている特徴を解釈。 事前学修 2.0hr：配布の分岐図を追って結果を予想。用語確認。 事後学修 2.0hr：別ケースで “どの特徴が効いたか” を 100 字で説明。
14回	**授業テーマ：AI と社会：指標で考える公平性** 授業内容：適合率・再現率・誤判定率などを小データで計算し、社会的影響を議論。 事前学修 2.0hr：指標の定義表をまとめる。例題の予測結果表を読む。 事後学修 2.0hr：指標のトレードオフを 150 字で記述。
15回	**授業テーマ：まとめ・ミニ発表会** 授業内容：各自 3 ～ 5 分発表(例：コサイン類似度／勾配降下の比較結果など)、総括。 事前学修 2.0hr：スライド作成(PowerPoint)(2.0h)。原稿練習。 事後学修 2.0hr：学修振り返りシートの提出。返却と講評は学修支援システムで実施。

身近な物理

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

この講義では、私たちの身のまわりで起こっているさまざまな現象を題材にして、物理学が自然をどのように理解しているのかを学びます。力学、熱、波、電気・磁気といった古典物理学の基本的な分野を取り上げ、日常生活や身近な技術と結び付けながら説明します。数式の計算を目的とした授業ではありませんが（計算はほとんどしません）、物理学が自然現象を数式という簡潔な言語で表現する学問であることを大切にします。数式を現象どうしの関係を表す表現として読み取り、物理学ならではのものの見方に親しむことを目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：身近な物理現象について物理学の基本的な考え方を用いて理解し、自然現象が数式によってどのように表現・整理されているかを説明できるようになる。

個別目標：① 日常生活で経験する運動、熱、音や光、電気に関する現象について、物理学的な視点から説明できる。
② 力学、熱力学、波動、電磁気学における基本的な数式が、どのような現象の関係を表しているかを言葉で説明できる。
③ 数式による表現が、曖昧な理解を整理し、異なる現象を統一的に捉えるために用いられていることを理解する。
④ 物理学の考え方を通して、身近な出来事や技術に対する見方がどのように変化したかを、自身の言葉で振り返ることができる。

▌履修条件

1 回目の授業から参加すること。なお、履修変更（補正）で 1，2 回目の授業に出ていない場合の調整はしません（単純に欠席になります）。

▌評価基準・方法

授業ごとに行う小テスト（計算はしません）および記述課題の合計得点のみで評価します。定期試験は実施しません。
評価にあたっては、物理現象に対する理解度や、数式が表している関係を言葉で説明できているかといった観点を重視します。

▌フィードバック方法

課題や小テストのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行います。必要に応じて授業内で代表的な回答を取り上げ、考え方の整理や補足説明を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （身近な物理現象に関する問いについて個人で考え、簡単な記述や意見共有を行う活動を取り入れます。また、数式が表している現象の関係を日本語で説明する課題を通じて、主体的な理解を促します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業資料の閲覧、簡単な小テストやアンケートへの回答、記述課題の作成および提出に PC を使用します。）

▌教科書

特定の教科書は使いません。

▌参考書

朝永振一郎「物理学とは何だろうか 上下」（岩波新書）
西成活裕「東大の先生！　文系の私に超わかりやすく物理を教えてください！」（かんき出版）
鎌田浩毅・米田誠「一生モノの物理学―文系でもわかるビジネスに効く教養」（祥伝社）
松尾泰監修「東京大学の先生伝授　文系のためのめっちゃやさしい物理」（株式会社ニュートンプレス）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：物理学は何をしている学問か** 授業内容：講義全体の構成と評価方法を説明し、物理学が自然現象を数式で表現する学問であることを身近な例を用いて紹介する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、身のまわりの不思議な現象を一つ考えておく。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された現象や人物について調べる。
2 回	**授業テーマ：力学① 位置・時間・速さ** 授業内容：運動を表す基本量を整理し、速さを表す数式の意味を日本語で読み取る。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、日常の移動の例を考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、数式が何を表しているか整理する。
3 回	**授業テーマ：力学② 速さが変わる運動** 授業内容：速さが変化する運動を題材に、加速度の概念を整理した上で、運動方程式を紹介する。数式を計算に用いるのではなく、力・質量・運動の変化の関係を表す自然界の基本的なルールとして理解する。 事前学修 2.0hr：身近な「だんだん速くなる」例を考える。 事後学修 2.0hr：授業内課題の復習を行う。
4 回	**授業テーマ：力学③ 円運動と見かけの力** 授業内容：円運動を例に、力を用いた運動の記述と遠心力の考え方を整理する。 事前学修 2.0hr：回転する遊具や乗り物の例を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を言葉でまとめる。
5 回	**授業テーマ：力学④ エネルギーの考え方** 授業内容：仕事とエネルギー、保存則の考え方を導入し、数式が果たす役割を理解する。 事前学修 2.0hr：エネルギーという言葉の使われ方を調べる。 事後学修 2.0hr：保存則の意味を整理する。
6 回	**授業テーマ：熱力学① 熱と温度** 授業内容：雲の発生やエアコンを例に、熱と温度の違いを整理し、熱力学の対象を理解する。 事前学修 2.0hr：身近な温度変化の例を考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の要点をまとめる。
7 回	**授業テーマ：熱力学② 熱とエネルギー保存** 授業内容：熱力学第一法則を通して、熱も含めたエネルギーが保存されることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：エネルギー保存の例を調べる。 事後学修 2.0hr：数式が示す関係を言葉で説明する。
8 回	**授業テーマ：熱力学③ 熱力学第二法則と時間の向き** 授業内容：エアコンが万能でない理由を手がかりに、熱現象の不可逆性を考える。 事前学修 2.0hr：関連する身近な現象を調べる。 事後学修 2.0hr：仕組みを文章で説明する。

9回	**授業テーマ：波① 波を表す量** 授業内容：波を特徴づける量と、それらを結び付ける数式の意味を理解する。 事前学修 2.0hr：音や水面波の例を考える。 事後学修 2.0hr：数式の読み取りを整理する。
10回	**授業テーマ：波② 重ね合わせの原理** 授業内容：ノイズキャンセリングを例に、波の重ね合わせを説明する。 事前学修 2.0hr：音に関する技術を調べる。 事後学修 2.0hr：現象を言葉でまとめる。
11回	**授業テーマ：波③ 媒質と観測条件による見え方の違い** 授業内容：媒質によって波の伝わり方が変わる屈折・散乱と、観測者の運動で聞こえ方が変わるドップラー効果を比較する。 事前学修 2.0hr：身近な光の現象やドップラー効果を探してみる。 事後学修 2.0hr：授業内容を整理する。
12回	**授業テーマ：電磁気① 電気の歴史** 授業内容：電気と磁気の発見の歴史を通して、法則が数式化される過程を学ぶ。 事前学修 2.0hr：電気に関する歴史的出来事を調べる。 事後学修 2.0hr：数式化の意義を考える。
13回	**授業テーマ：電磁気② 電場と磁場** 授業内容：電場・磁場の考え方を導入し、見えない量を表す数式の役割を理解する。 事前学修 2.0hr：磁石や電気製品の例を調べる。 事後学修 2.0hr：概念を言葉で整理する。
14回	**授業テーマ：電磁気③ 電磁気の応用** 授業内容：モーターや発電機などの応用を通して、法則と技術の関係を学ぶ。 事前学修 2.0hr：身近な電気機器を調べる。 事後学修 2.0hr：仕組みを文章で説明する。
15回	**授業テーマ：身近な物理の総まとめ** 授業内容：これまでの内容を振り返り、共通する考え方や数式の役割を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでの資料を読み返す。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを作成する。

現代物理のはなし

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

この講義では、相対性理論と量子力学を中心に、私たちの日常的な感覚や直感とは大きく異なる自然の姿について学びます。時間や空間が絶対的ではないことや、物理量が確定した値ではなく確率として扱われることなど、古典物理学では想定されていなかった考え方を、具体例や歴史的背景とともに紹介します。数式の計算は行いませんが、現代物理学が自然を数式で厳密に記述している学問であることを重視し、数式を世界のルールを表す表現として理解することを目標とします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：相対性理論および量子力学の基本的な考え方を理解し、私たちの直感とは異なる自然のルールが、数式によってどのように表現されているかを説明できるようになる。

個別目標：① 相対性理論に基づき、時間や空間が観測者や状況によって異なる振る舞いを示すことを説明できる。
② 双子のパラドックスや膨張宇宙論などの具体例を通して、相対論的世界観の特徴を言葉で説明できる。
③ 量子力学において、物理量が確定値ではなく確率として扱われる理由を説明できる。
④ 数式が現代物理において、直感に反する世界のルールを明確に表現する役割を果たしていることを理解する。
⑤ 現代物理学が、現代社会の科学技術や私たちの世界観に与えている影響を振り返り、自身の言葉で表現できる。

▌履修条件

1 回目の授業から参加すること。なお、履修変更（補正）で 1，2 回目の授業に出ていない場合の調整はしません（単純に欠席になります）。

▌評価基準・方法

授業ごとに行う小テスト（計算はしません) および記述課題の合計得点のみで評価します。定期試験は実施しません。
評価にあたっては、相対性理論や量子力学の概念を理解し、数式が表している物理的意味を言葉で説明できているかを重視します。

▌フィードバック方法

課題や小テストのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行います。必要に応じて授業内で代表的な回答を取り上げ、考え方の整理や補足説明を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （直感に反する物理現象について個人で考え、簡単な記述や意見共有を行う活動を取り入れます。また、数式が示す物理的意味を日本語で説明する課題を通じて、主体的な理解を促していきます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業資料の閲覧、簡単な小テストやアンケートへの回答、記述課題の作成および提出に PC を使用します。）

▌教科書

特定の教科書は使いません。

▌参考書

ウォルター・ルーウィン「これが物理学だ！」（文藝春秋）
松尾泰（監修）「文系のためのめっちゃやさしい量子論」（ニュートンプレス）
ヨビノリたくみ「難しい数式はまったくわかりませんが、相対性理論を教えてください! 」（SB クリエイティブ）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：現代物理はなぜ必要か** 授業内容：古典物理学の成功と限界を概観し、現代物理学が必要になった背景を説明する。合わせて、受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明もする。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読んでおく。相対性理論や量子力学について、ネット等で調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、疑問点を整理する。
2 回	**授業テーマ：光速という特別な速さ** 授業内容：光速測定の歴史を通して、光速が特別な意味を持つ理由を解説する。 事前学修 2.0hr：光に関する身近な例を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を文章でまとめる。
3 回	**授業テーマ：同時性の崩壊** 授業内容：「同じ瞬間」が観測者によって異なることを説明し、時間の相対性を理解する。 事前学修 2.0hr：同時という言葉の意味を考える。 事後学修 2.0hr：相対論的な時間観を整理する。
4 回	**授業テーマ：時間の遅れ・空間の収縮** 授業内容：双子のパラドックスを題材に、時間と空間が切り離せないことを説明し、時空という考えを導入する。 事前学修 2.0hr：双子のパラドックスについて調べる。 事後学修 2.0hr：相対論的世界観をまとめる。
5 回	**授業テーマ：質量とエネルギーの等価性** 授業内容：$E=mc^2$ という数式を通して、質量とエネルギーが等価であるという考え方を説明する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
6 回	**授業テーマ：重力とは何か？** 授業内容：一般相対性理論の基本的な考え方を紹介し、重力が力ではなく時空の幾何として理解されることを説明する。重力による時間の遅れなどの例を通して世界観の変化を確認する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
7 回	**授業テーマ：ブラックホールと膨張する宇宙** 授業内容：一般相対性理論から導かれる現象である、ブラックホール、膨張宇宙論、重力波観測について解説する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
8 回	**授業テーマ：量子の誕生** 授業内容：黒体輻射や光電効果を通して、量子概念の誕生を説明する。 事前学修 2.0hr：量子という言葉の使われ方を調べる。 事後学修 2.0hr：古典物理学との違いを整理する。

9回	**授業テーマ：粒子でもあり波でもある何か** 授業内容：二重スリット実験を通して、波動粒子二重性を解説する。 事前学修 2.0hr：干渉現象の例を探す。 事後学修 2.0hr：結果の意味を文章でまとめる。
10回	**授業テーマ：状態という考え方** 授業内容：量子力学における「状態」の考え方を導入し、物理量が確定値ではなく可能性として扱われることを説明する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
11回	**授業テーマ：確率が基本になる世界** 授業内容：量子力学における確率の扱いを取り上げる。確率が基本原理として組み込まれている点を強調する。 事前学修 2.0hr：確率の使われ方を調べる。 事後学修 2.0hr：量子力学的確率を整理する。
12回	**授業テーマ：不確定性原理** 授業内容：測定と物理量の関係を通して、不確定性原理を理解する。 事前学修 2.0hr：測定とは何かを考える。 事後学修 2.0hr：決定論との違いを整理する。
13回	**授業テーマ：重ね合わせと観測問題** 授業内容：重ね合わせの概念と観測問題を紹介し、量子論の解釈に触れる。 事前学修 2.0hr：観測という行為について考える。 事後学修 2.0hr：解釈の違いを整理する。
14回	**授業テーマ：量子力学が作る現代社会** 授業内容：半導体やレーザー、量子コンピューターなどの例を通して、量子力学の応用を解説する。 事前学修 2.0hr：量子技術の例を調べる。 事後学修 2.0hr：理論と技術の関係をまとめる。
15回	**授業テーマ：現代物理が示す世界像** 授業内容：相対性理論と量子力学を総括し、直感とは異なる世界像を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでの資料を読み返す。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを作成する。

身近な化学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

藤井　大輔（ふじい　だいすけ）

▌授業の概要

私たちの身の回りには、自然界で産出された物質や、人工的につくられた物質が数多く存在し私たちの生活と密接に結びついています。
本講義は、身の回りにある物質の性質に着目し様々な現象が発現する原理を物理的化学的に捉えるなど、現代を生きるために大切な科学知識を習得し、自らの生活において課題発見・解決を行う力を高めることを目的とします。
日常に着目するなかで様々な科学の法則や構造にも簡単に触れますが高校での化学の履修の有無は問いません。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：化学の面白さや重要性を知り、化学と現代社会の関係を理解するとともに、日常を科学的に見る目を養うなど科学リテラシーを身につける。
個別目標：①様々な物質の性質を理解しこれまでの技術の進歩とこれからの発展について大観できることができる。
②身の回りの現象について科学的に説明することができる。
③科学事象を自らの言葉で表現できるようになるなど、実社会の様々な場面で多面的なものの見方ができるようになり課題解決に必要な基礎力を身に付けることができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

manaba を活用したアンケート、小テスト（５０%）やレポート（５０%）授業への参加度（授業中に使用する教材ペーパーの完成提出　割合は小テストに含む）等を総合評価する。

▌フィードバック方法

アンケート、小テスト、レポート等のフィードバックは、学修支援システム manabu を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、グループワーク、講義の度に行う小テストの提出）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （個人所要のスマートフォンや PC（小テストや教材ペーパー等はワードで提出））

▌教科書

使用しない（毎回パワーポイントファイルを用意します。）

▌参考書

特になし　ただし高校で使用した理科・専門（化学関係）の教科書がある場合は適宜参考にしてください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、科学技術の進歩について考えてみよう** 授業内容：講義の内容、評価方法について解説する。 科学と人間生活をテーマに科学技術全般について、その始まりから今後の活用について概説する。 事前学修 2.0hr：興味がある身の回りの化学現象について調べる。 事後学修 2.0hr：興味を持った化学現象が発現する原因を予測する。
2回	**授業テーマ：水について考えてみよう** 授業内容：水は人体を構成する主な成分です。水の構造や性質を知り、水がもたらす様々な現象の要因について理解する。 キーワード　分子構造、電気陰性度、水素結合、状態変化、浸透圧　超臨界流体、過熱水蒸気、硬水・軟水 事前学修 1.5hr：水について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
3回	**授業テーマ：発酵について考えてみよう** 授業内容：微生物の力を借りて製造する発酵食品について理解する。 キーワード 微生物の役割　アルコール発酵　酒の種類、味噌や醤油の製造 事前学修 1.5hr：発酵について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
4回	**授業テーマ：色と光の科学** 授業内容：色の見え方や化学反応における発色について理解する。 キーワード　光の 3 原則、波長、炎色反応、生物発光 事前学修 1.5hr：色について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
5回	**授業テーマ：栄養の化学について考えてみよう** 授業内容：私たちの体を作り健康を維持するために必要な５代栄養素が体の中でどのような役割を果たしているか理解する。 キーワード　炭水化物、タンパク質　必須アミノ酸　クエン酸回路　酵素 事前学修 1.5hr：栄養素について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
6回	**授業テーマ：薬と毒について考えてみよう** 授業内容：薬の効能と作用の仕方を理解する。また毒の特性を理解し日常生活における安全にむけた態度を養う。 キーワード　薬剤、ペニシリン、抗生物質、ウイルス、自然毒 事前学修 1.5hr：栄養素について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
7回	**授業テーマ：衣類で使われている様々な繊維の性質について考えてみよう** 授業内容：繊維には天然繊維と化学繊維がある。それぞれの特性を理解し繊維製品の上手な利用方法や管理方法について理解する。 キーワード　天然繊維　合成繊維　炭素繊維　機能性繊維 事前学修 1.5hr：衣類に使われている繊維について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
8回	**授業テーマ：衣類の汚れはどのように落とすのか考えてみよう** 授業内容：洗剤の分子構造や汚れが落ちるメカニズムを知り効率的に汚れを取り除く方法を理解する。 キーワード　石鹸　界面活性剤　疎水性　親水性　ミセル　漂白剤　コロナ　消せるボールペン 事前学修 1.5hr：汚れについて知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。

9回	**授業テーマ：日用品に使われている化学のしくみをについて考えてみよう** 授業内容：普段何気なく使用している電化製品に着目してどのような原理が応用されているのか理解する。 キーワード　カイロ　冷蔵庫　ヒートポンプ　調湿　液晶　電子レンジ　オーブン 事前学修 1.5hr：日用品に使われている化学の仕組みについて知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
10回	**授業テーマ：金属の特徴を知り、産業における利用状況を考えてみよう** 授業内容：鉄や銅の性質を知り使用に係る時代変遷を理解する。 キーワード　鉄　銅　さび　合金　めっき 事前学修 1.5hr：金属について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
11回	**授業テーマ：石油からつくられる物質について考えてみよう** 授業内容：プラスチック製品は人間の生活を豊かにしてきたが、昨今は環境汚染問題にも言及されている。プラスチックの製法や種類、リサイクルについて理解する。 キーワード　石油　分留　熱可塑性樹脂　熱硬化性樹脂　マイクロプラスチック　接着剤 事前学修 1.5hr：石油から作られる物質について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
12回	**授業テーマ：生活に必要なエネルギー源の変遷について考えてみよう** 授業内容：人間が生きていくために必要なエネルギーの活用の変遷とその性質について理解し、今後の望ましいエネルギー利用について考える。 キーワード　石炭　石油　天然ガス　原子力発電　太陽光発電　電気　電池 事前学修 1.5hr：エネルギー源の変遷について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
13回	**授業テーマ：地球環境について考えてみよう** 授業内容：大気成分の変化と人間生活に着目し地球環境について考える。 キーワード　大気成分　二酸化炭素　フロン　オゾン層　酸性雨 事前学修 1.5hr：地球環境について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
14回	**授業テーマ：興味を持った身近な科学現象やそれが発現する原理について調べレポートする。**① 授業内容：４月から７月において話題になったことや、今後、発展が予想される技術等について自ら調べた内容をレポートする。 事前学修 3.0hr：題材を決める。 事後学修 1.0hr：他の人の発表を聞き自分の発表にいかす。
15回	**授業テーマ：興味を持った身近な科学現象やそれが発現する原理について調べレポートする。**② 授業内容：４月から７月において話題になったことや、今後、発展が予想される技術等について自ら調べた内容をレポートする。 事前学修 3.0hr：題材を決める。 事後学修 1.0hr：授業全体の振り返りシートを作成する。

身近な化学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

笠嶋　義夫（かさしま　よしお）

▌授業の概要

本講義は、身近にある化学物質を通して、化学の成り立ち、化学の基礎知識、化学物質の応用例を学ぶとともに、「科学」の発展がいかなるものであったかを、「化学」を通して理解することを目的とする。文系の学生のみなさんにも、わかりやすいように、そこは意識して解説するつもりです。この講義では、化学の基本的な原理や、技術が生まれた背景、歴史的流れなどを中心に扱いますので、「元素記号を覚える」「化学反応式をつくる」というようなことはやりません。なお、講義の進行や社会情勢により、講義の順番を入れ替えることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：「化学」を通して、社会の発展や現代の生活において、「科学」がどのような役割を担ってきたかを理解する。
個別目標：(1)「化学」が身近な生活にとって必要不可欠なものであることを、実例を挙げて説明することができる。
(2)「化学」の発展が、人間生活と密接につながってきたことを、実例により説明することができる。
(3) 「化学」を通して、「科学」と「人間生活」とのかかわりを説明することが出来る。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

2 回の大きなレポート(20 点満点レポート 1 回、10 点満点レポート 1 回)と、毎回課す講義の振り返りシート(5 点× 14 回＝ 70 点満点)で、合計 100 点満点として評価を行います。なお、すべてのレポートは、評価をつけます。提出したからといって、「満点」とは限りませんので、くれぐれも注意すること。この講義は、８０%以上の出席がないと、単位は出ませんので注意のこと(公欠は除く)。また、レポートの提出は、スクリーンショットや画像ファイルでの提出は認めませんので、注意のこと。

▌フィードバック方法

フィードバックは、manaba の評価欄または講義で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義の振り返りシートの提出とそのフィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （講義の振り返りシートは、ワードで提出してもらいます。）

▌教科書

初回以外は、jpeg または pdf、パワーポイントファイルを用意します。manaba にアップしますので、manaba が見れるものを用意してください(講義でプリントは配布しませんので、注意のこと)。

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：この講義の内容、進め方、評価方法について解説する。あわせて、「化学」の持つイメージを確認する。 事前学修 3.0hr：「化学」が身近に使われている事例を自分なりに調べてみてください。 事後学修 1.0hr：講義を聴いて、事前学修で調べた内容が正しかったか、検証してみてください。
2 回	**授業テーマ：プルシアンブルー** 授業内容：プルシアンブルーは、「世界で最初に開発された顔料」であるが、これがどのような変遷を経て現代にあるか、また現代での利用法などについて解説する。 事前学修 1.5hr：「プルシアンブルー」とは何かを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
3 回	**授業テーマ：色** 授業内容：色の見え方には発光と補色の 2 通りがある。まず、この違いと、仕組みを学習し、ヒト以外の動物の色の認識、植物の色の認識を学習し、あわせて前回の講義とのつながりを考える。 事前学修 1.5hr：「色」の見え方を自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
4 回	**授業テーマ：花火** 授業内容：化学の技術の「粋」といわれる花火。その原理と構造、歴史的流れについて解説する。 事前学修 1.5hr：打ち上げ花火の構造を自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
5 回	**授業テーマ：古伊万里** 授業内容：日本における窯業の大きな変遷期の一つが、江戸時代の古伊万里の誕生である。窯業のそれまでの流れをみるとともに、古伊万里の製法と化学の関係について探る。 事前学修 1.5hr：「磁器」はどのようにつくられるかを自分なりに調べてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
6 回	**授業テーマ：ファインセラミックス** 授業内容：現代の最先端で使われているセラミックとはどのようなものか、その製法と、前回の講義の古伊万里の製法との関係について、考察する。 事前学修 1.5hr：「ファインセラミックス」とはどのようなものか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
7 回	**授業テーマ：イベルメクチン** 授業内容：抗寄生虫薬である、イベルメクチンの開発の流れと、現代社会に与えたインパクトについて解説する。 事前学修 1.5hr：「イベルメクチン」とはどういう薬か、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成
8 回	**授業テーマ：接着剤** 授業内容：現代社会では、もはや必須のものとなった接着剤。「ものがくっつく原理」と、接着剤の用途、接着剤がもたらした技術革新について解説する。 事前学修 1.5hr：「でんぷん」とはどのようなものか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
9 回	**授業テーマ：カロザース** 授業内容：ナイロンと、合成ゴムを開発した、ウォーレス・カロザースの偉業について考えてみる。 事前学修 1.5hr：「ナイロン」はどのように発明されたかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。

10回	**授業テーマ：ダイヤモンド** 授業内容：天然から人工まで、宝飾用から産業用まで、発見の過程と意外な用途まで探る。 事前学修 1.5hr：「ダイヤモンド」はなぜきらきら光るのかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
11回	**授業テーマ：ルビーとサファイア** 授業内容：ルビーとサファイアは、どこが同じで、どこが違うのか、を探るとともに、工業用用途についても考えてみる。 事前学修 1.5hr：サファイアとルビーの違いを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
12回	**授業テーマ：炭素繊維** 授業内容：炭素繊維の開発過程について学ぶとともに、炭素繊維が現代社会にどのような影響を及ぼしたかを考えてみる。 事前学修 1.5hr：炭素繊維はどこに使われているかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
13回	**授業テーマ：でんぷん(1)でんぷんの種類** 授業内容：でんぷんの種類と、その用途(食品用から、他の用途まで)について解説する。 事前学修 1.5hr：でんぷんの種類について、自分なりに調べてみる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成
14回	**授業テーマ：でんぷん(2)「コメとでんぷん」** 授業内容：「コメ」を炊く過程でどのようにでんぷんが変化するか、でんぷんの種類の違いでコメの食味にどのような変化を与えるか、など、コメとでんぷんの関係について、考察する。 事前学修 1.5hr：コメの中に含まれているでんぷんについて調べておくこと。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
15回	**授業テーマ：リチウムイオン電池** 授業内容：現代において、最も必要とされている 2 次電池の代表格。その原理と応用、そして問題点について考えてみる。 事前学修 1.5hr：リチウムイオン電池がどのようなところに使われているかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。

科学技術と社会

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

遠藤　信一（えんどう　しんいち）

▌授業の概要

本科目は，科学技術と社会との関わりをテーマとするが，様々な社会課題の解決に立ち向かえるようにするために，解決すべき目標を設定できること，必要な情報を収集し，加工できることなどを目指す。問題解決にあたっては，建学の精神を問題解決学習の柱と捉え，学修の基礎Ⅰ やⅢ b での学びを前提としながら，加重平均法の手法を採り入れ，他人を説得できるレベルに到達してもらいたい。それゆえ「プレゼンテーションスキルを高めたい」，「どうやって情報収集すれば良いのかわからない」といった悩みを持つ学生諸君のニーズに応えたいと思う。自分のプレゼン力，問題解決力をつけたい諸君を歓迎する。プレゼンは場数を踏むことが重要なので，3 回の制作・発表を必須とする。なお，例年月曜日の履修者が少なく火曜日に集中している（1：5）。月曜日に受講可能な場合は月曜日を選んで欲しい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：社会課題をどの側面から斬っていくのか，建学の精神を道しるべとして，問題解決の方法や手順を身につける。中でも，学修の基礎Ⅰ やⅢ b での学びに基づくデータの利活用は必須と考えている。
また，この授業では，科学技術と社会との関わりに注目し，プレゼンテーションスライドを作成し，発表できるようにする。各自が作成，発表の双方を行うことを必須とする (合理的配慮申請がある場合を除く)。

個別目標：①建学の精神を問題解決学習の柱とすることができる
②課題を自ら発見し，情報を分析し，解決の道筋を考えることができる
③主権者に必要な情報活用能力を身につける
④情報モラル，技術者倫理，企業倫理などについて理解している
⑤他人を説得するために必要なプレゼンテーション作成や発表ができる

▌履修条件

建学の精神に基づいて，プレゼンテーションスキルや問題解決能力を高めたいと考えていること
授業に出席し，発表，ファイルの提出などが出来ること
出席確認は，スマートフォンによる出席確認と授業後半での点呼の 2 回を予定している。

▌評価基準・方法

【評価基準】
1，授業内で指示する「Worksheet」(提出および内容)：5 点× 6 回
2，協働学習によるプレゼンテーションスライドの作成および提出：30 %
3，プレゼンテーションの発表(発表態度など)：40 %
※プレゼンテーションスライドのファイル提出を最終課題の提出とします
※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。

▌フィードバック方法

課題に対し全体に対する講評，発表など協働学習に対する授業時間内での講評，manaba のコンテンツへの掲載など

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （協働学習による発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンスライドの作成などに PC を使用）

▌教科書

指定しない
授業ごとに資料を提示

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　本授業の進め方** 授業内容：この授業の目的，授業方法・課題・評価について説明する。 建学の精神に基づいた明海大学独自の問題解決の手順について理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み，授業全体の流れを確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントを復習する。
2 回	**授業テーマ：脳に汗をかく(１)心理学的アプローチ** 授業内容：「ハインツのジレンマ」や「カルディアネスの板」などのジレンマ問題について考える。 事前学修 2.0hr：「ハインツのジレンマ」や「カルディアネスの板」について検索する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。
3 回	**授業テーマ：脳に汗をかく(2)功利主義からのアプローチ** 授業内容：功利主義の考え方について学び，得をすることが人間にとって最も大切なことなのか，考える。 事前学修 2.0hr：功利主義について予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。
4 回	**授業テーマ：脳に汗をかく(3)データを読む　情報を利用しない弁当屋が潰れる理由** 授業内容：平均 150 個売れる弁当屋が「今日は晴れて行楽日和だから 200 個作る」ということを繰り返していたら潰れてしまった。「間口を広げたら味が落ちた」とはどういうことなのか，その仕組みについてデータ解析の観点から考える。 事前学修 2.0hr：平均と何がわかれば売れる数を予測出来るのか，考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントをまとめる。
5 回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(1)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：プレゼンテーションの基礎を学び，自分たちが薦めるものの順位を合理的につける。そのための手法を示した上で協働学習を行う。 また，加重平均法について学び，学修の基礎よりワンランク上の比較方法を身につける。 事前学修 2.0hr：グループを作っておく。また，ランキングをつけたいことを選んでおく。 事後学修 3.0hr：プレゼンスライドを完成させる。
6 回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(2)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：(1)のスライドを作成し，提出する。 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドで使用するデータを収集。 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションスライドを完成させる。

7回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(3)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：(1)のスライドに基づき，発表する。 (※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。) 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドを完成させ，発表練習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。ファイルを提出する。
8回	**授業テーマ：企業人として必要な説得力　説明の理解と説得の違い** 授業内容：他人を説得することについて考える。どのような説得方法があるのか，データを示す必要はないのか，『今日の昼ご飯に何を食べるべきか』を説得出来る材料を用意し，受講者を説得する。 事前学修 2.0hr：他人を説得し，賛同してもらうには何が必要か，考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントをまとめる。
9回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(1)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：国際交流では，エネルギー環境分野を交流テーマとする場合が多い。そのために必要なわが国の電力事情や東南アジアの電力事情について学ぶ。 事前学修 2.0hr：わが国の電力事情について調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントを復習する。
10回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(2)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：東南アジアの学校との交流を念頭に，お勧めする発電方法について提案するため，プレゼンテーションスライドの作成に着手する。 事前学修 3.0hr：プレゼンのテーマを考えておく。グループを作っておく。 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションスライドの作成。
11回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(3)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：(2)について，発表を行う。 (※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。) 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドを完成させ，発表練習する。 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。
12回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(1)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：大学生であっても社会人であっても魅力ある人はいるものである。必ずしも容姿の問題ではなく，どのような人が魅力あると考えられるのか，プレゼンテーションスライドの作成を開始する。 事前学修 2.0hr：グループを作り，提案内容を考えてくる。 事後学修 3.0hr：発表するためのプレゼンテーションスライドの作成に着手する。
13回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(2)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：(1)のスライドを作成し，提出する。 事前学修 3.0hr：チームの仲間と十分話し合いをしておく。 事後学修 3.0hr：発表するためのプレゼンテーションスライドを作成し，班員と合成する
14回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(3)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：(1)の発表を行い，各チームの内容を検討する。それに基づきスライドを修正し提出する。 (※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。) 事前学修 3.0hr：プレゼンスライドを完成させ，発表練習をする。 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。修正したプレゼンのファイルを提出する。
15回	**授業テーマ：授業全体のまとめ　明海大学独自の問題解決方法のまとめ** 授業内容：これまでの学修内容をまとめ，他人を説得するためにはどのような説得方法があるのか，どのようなデータを示すことが効果的なのかまとめ，レポートを作成する。 事前学修 2.0hr：いままでのプレゼンスライドなどを振り返る。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。

社会生活ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

新井　啓（あらい　けい）

▌授業の概要
有名な文学作品を読むみ、その感想を書く。なお授業の理解力向上のため、SPI に対応するための基礎的問題を解くことを毎回行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）
一般目標：社会人として最低限読んでおくべき、名作のあらすじを理解できること
個別目標：最も関心を持っている文学作品の良さをみんなの前で発表できること

▌履修条件
文学に関心があること

▌評価基準・方法
毎回の授業時に行う manaba の小テスト(50%)、事前・事後学修(30 %)、授業に取り組む姿勢 (20%)。

▌フィードバック方法
小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし （manaba は利用）

▌教科書
特になし

▌参考書
特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：夏目漱石** 授業内容：「吾輩は猫である」「坊ちゃん」「こころ」 事前学修 2.0hr：第 1 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 1 回の事後学習の小テスト
2回	**授業テーマ：芥川龍之介** 授業内容：「羅生門」「杜子春」 事前学修 2.0hr：第 2 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 2 回の事後学習の小テスト
3回	**授業テーマ：森鴎外** 授業内容：「舞姫」 事前学修 2.0hr：第 3 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 3 回の事後学習の小テスト
4回	**授業テーマ：太宰治** 授業内容：「走れメロス」「人間失格」 事前学修 2.0hr：第 4 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 4 回の事後学習の小テスト
5回	**授業テーマ：福沢諭吉** 授業内容：「学問のすすめ」 事前学修 2.0hr：第 5 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 5 回の事後学習の小テスト
6回	**授業テーマ：吉川英治** 授業内容：「宮本武蔵」 事前学修 2.0hr：第 6 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 6 回の事後学習の小テスト
7回	**授業テーマ：柳田國男** 授業内容：「遠野物語」 事前学修 2.0hr：第 7 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 7 回の事後学習の小テスト
8回	**授業テーマ：谷崎潤一郎** 授業内容：「細雪」 事前学修 2.0hr：第 8 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 8 回の事後学習の小テスト
9回	**授業テーマ：SPI の一般教養問題** 授業内容：数学、国語(読めそうで読めない漢字が中心)、英語、地理・歴史。 事前学修 2.0hr：第 9 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 9 回の事後学習の小テスト
10回	**授業テーマ：中島敦** 授業内容：「山月記」 事前学修 2.0hr：第 10 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 10 回の事後学習の小テスト
11回	**授業テーマ：梶井基次郎** 授業内容：「檸檬」 事前学修 2.0hr：第 11 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 11 回の事後学習の小テスト
12回	**授業テーマ：小林多喜二** 授業内容：「蟹工船」 事前学修 2.0hr：第 12 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 12 回の事後学習の小テスト

13回	**授業テーマ：中勘助** 授業内容：「銀の匙」 事前学修 2.0hr：第 13 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 13 回の事後学習の小テスト
14回	**授業テーマ：ドストエフスキー** 授業内容：「カラマーゾフの兄弟」 事前学修 2.0hr：第 14 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 14 回の事後学習の小テスト
15回	**授業テーマ：宮沢賢治** 授業内容：「銀河鉄道の夜」 事前学修 2.0hr：第 15 回目の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 15 回目の事後学習の小テスト

社会生活ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

SPI3 は、多くの企業で実施されている採用適性検査です。本授業ではそのうち非言語分野を扱います。数学が得意でない学生を主な対象とし、問題を「解法の型」に整理して学ぶことで、基本問題を安定して解ける力を養います。割合、速さ、場合の数、推論などを分野別に扱うのではなく、思考の型ごとに反復演習を行います。授業内では演習と確認小テストを実施し、学修支援システム manaba も活用して理解の定着を図ります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：SPI3 非言語問題の基本問題を安定して正答できる力を身につけるとともに、問題を解法の「型」に分類し、適切なアプローチを選択できる能力を修得する。

個別目標：① 割合・損益・濃度・平均などの問題を分数構造に基づいて処理できる。
② 出会い・追いつき・区間分割を含む速さの問題を図示し、式を立てて解くことができる。
③ 条件を表に整理し、内訳問題を処理できる。
④ 基本的な順列・組合せ・確率の問題を解くことができる。
⑤ 与えられた条件を整理し、論理的に推論できる。

▌履修条件

特にありません。ただし、高校までの基礎的な計算力(分数計算、一次方程式程度)は前提とします。第 1 回からの出席を前提とします(履修修正による 1、2 回目の不在は欠席となります)。

▌評価基準・方法

型別到達チェック 40 %、中間・期末の到達度テスト 40 %、授業内小テスト 20 %の割合で総合的に評価します。型別到達チェックは各解法の型ごとに実施し、再挑戦の機会を設けます。授業内小テストは manaba の自動採点機能を用いて実施する予定です。

▌フィードバック方法

型別到達チェックおよび到達度テストの解説は授業内で行います。解答例や補足資料は manaba を通して提示します。授業内小テストは manaba 上で自動採点結果を確認できるようにし、理解状況をその都度把握できるようにします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内での個別演習、ペアでの解法確認、型分類活動、manaba を用いた小テストなどを実施します。問題解決型の学修を取り入れ、学生が主体的に考える時間を確保します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba を用いた小テスト、資料の閲覧、課題の提出などに PC を利用します。BYOD 環境を活用し、各自の端末で確認問題に取り組みます。）

▌教科書

教科書は使用しません。配布プリントおよび manaba 掲載資料を使用します。

▌参考書

市販の SPI3 対策書を、必要に応じて授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・SPI3 と「解法の型」** 授業内容：SPI3 の概要と評価方法を説明し、問題を「型」に分類する考え方を導入する。簡単な例題で型分類演習を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業の目的を確認する。 事後学修 2.0hr：配布資料を復習し、型の一覧を整理する。
2 回	**授業テーマ：比例・割合型① 基礎** 授業内容：損益算、濃度、平均を分数構造に統一して扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
3 回	**授業テーマ：比例・割合型② 損益・濃度・平均** 授業内容：損益算、濃度、平均を分数構造に統一して扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
4 回	**授業テーマ：比例・割合型③ 総合演習** 授業内容：基本問題の反復演習を行い、型①到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの問題を復習する。 事後学修 2.0hr：間違えた問題を解き直す。
5 回	**授業テーマ：速さ型① 基本と単位変換** 授業内容：距離＝速さ×時間の関係を確認し、図示を徹底する。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：単位換算を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
6 回	**授業テーマ：速さ型② 出会い・追いつき** 授業内容：相対速度(和・差)の考え方を学ぶ。図を必ず描く練習を行う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容の復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。
7 回	**授業テーマ：速さ型③ 区間分割** 授業内容：途中で速度が変わる問題や往復問題を扱う。型②到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：速さの基本公式の確認。 事後学修 2.0hr：解き直し。
8 回	**授業テーマ：到達度確認(前半内容)** 授業内容：比例・速さ型の総合問題に取り組み、理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：第 2～7 回の復習。 事後学修 2.0hr：事後学修： 間違えた問題の再確認。
9 回	**授業テーマ：表作成型① 基本** 授業内容：集合や清算問題を表で整理する方法を学ぶ。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回までの復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。

10回	**授業テーマ：表作成型② 内訳整理** 授業内容：条件整理と内訳問題の演習を行い、型③到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習。 事後学修 2.0hr：間違えた問題の整理。
11回	**授業テーマ：場合の数① 順列・組合せ** 授業内容：書き出しと基本公式を扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：基本的な数え上げを確認。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
12回	**授業テーマ：場合の数② 確率** 授業内容：基本確率を扱い、型④到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。
13回	**授業テーマ：推論型① 命題と並び順** 授業内容：条件整理と真偽判定の基本を扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：条件整理の練習。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
14回	**授業テーマ：推論型② 複数条件と構造的把握** 授業内容：推論の総合演習を行い、型⑤到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：推論問題の復習。 事後学修 2.0hr：間違えた問題の整理。
15回	**授業テーマ：総合到達度確認** 授業内容：全範囲の基本問題を解き、学修の成果を確認する。 事前学修 2.0hr：全範囲の復習。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返り。

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、キャリア観の醸成に焦点をあて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、就業観の醸成やジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：**M1 ◎/M2 ◎/M3 ○**）

一般目標：① **Well-being を実現**するために、「なりたいじぶん」について言語化する。
②**ジェネリックスキル (対人・対自己・対課題基礎力)** の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

個別目標：【社会人インタビュー】①目的を理解し自分の将来像を意識してインタビューに取り組むことができる②他者のレポートと比較し自分のレポートの改善点を言語化することができる③将来を見据え大学生活で取り組む活動を探り実践できる【自己理解】①自分の強みを文章で伝えることができる②ジェネリックスキルを理解し自己評価できる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:30%, 学修内容振り返り:25%, グアム研修への参加やこれまでの経験に基づく課題への取り組みと振り返り：25%, 自己ＰＲ:10%,MEIKAI SPI 模擬試験 (マークシート):10% ※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や PowerPoint,Word ソフトによる課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標、MEIKAI SPI の目的と使い方について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に受講ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：グアム研修等の振り返り (じぶん編)** 授業内容：グアム研修やこれまでの経験で気づいたこと等を文章や図で可視化する。 事前学修 2.0hr：グアム研修やこれまでの経験について振り返りメモしておく 事後学修 3.0hr：授業で取り組んだ内容をさらに改善させる
3回	**授業テーマ：グアム研修等の振り返り (社会編)** 授業内容：グアム研修に参加して実感した社会あるいはこれまでの経験で実感した社会について言語化する。 事前学修 2.0hr：グアム研修やこれまでの経験で社会に触れて気づいたことをメモしておく 事後学修 3.0hr：授業で取り組んだ内容をさらに改善させる
4回	**授業テーマ：グアム研修等の振り返り共有** 授業内容：グアム研修あるいはこれまでの経験の振り返りを共有し他者の気づきからも学ぶ。 事前学修 2.0hr：グアム研修あるいはこれまでの経験を共有する準備をしておく 事後学修 2.0hr：ここまでの学修を踏まえ、学生生活における目標を設定する
5回	**授業テーマ：なりたいじぶんと建学の精神** 授業内容：建学の精神について確認し、自分の将来や学びの方向性などを考える。 事前学修 2.0hr：明海大学の「建学の精神」を再確認し、現時点での自分と照らし合わせる 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんを言語化しそれに向かう活動について調べる
6回	**授業テーマ：共生・協働** 授業内容：「共生・協働」をテーマにパネルディスカッションを行い、多様な視点から共に生き・働くための考え方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：「共生・協働」について調べた上で、自分の考えを言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業での学修を踏まえ「共生・協働」について情報収集し自分の考えを整理する
7回	**授業テーマ：「働くこと」について考える** 授業内容：プロのライターが取材し作成した社会人のインタビュー記事を読み、仕事との向き合い方について考察する。 事前学修 2.0hr：就職ジャーナルやスタディサプリの記事を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就職ジャーナルなどの記事を読む
8回	**授業テーマ：今後のキャリアを考える** 授業内容：キャリア体感ゲームを通じて大学生活が社会人生活に活きることを知る。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を見直しジェネリックスキルについて復習しておく 事後学修 2.0hr：授業の学修に基づき、自分の学生生活について計画立案する
9回	**授業テーマ：ディスカッションの流れとポイント** 授業内容：ディスカッションの流れとポイントを学び、グループでディスカッションを体験する。 事前学修 2.0hr：参考にできるグループディスカッションの動画を探す 事後学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて情報収集する

10回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：ディスカッションの流れとポイントを意識し、合意形成できるようディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて自分の意見を考えておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションの動画を視聴し自分の課題を整理する
11回	**授業テーマ：自己理解 (価値観探索編)** 授業内容：自分が大切にしたい価値観やその理由について深く考える。 事前学修 2.0hr：自分が大切にしたい価値観を列挙しておく 事後学修 2.0hr：自分が大切にしたい価値観とその理由を文章化する
12回	**授業テーマ：自己理解 (強み探索編)** 授業内容：強み探索ワークを通じて、自分の強みを探索する。また、強みに関係する過去の出来事を言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の強みを考え、これまでの出来事を思い出し書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にする
13回	**授業テーマ：PREP 法で文章作成** 授業内容：自分の強みについて PREP 法を用いて伝わる文章を作成する。 事前学修 2.0hr：PREP 法について調べた上で理解しておく 事後学修 2.0hr：授業で作成した文章を改善し完成させる
14回	**授業テーマ：授業の振り返りと公務員クラスガイダンス** 授業内容：ここまでの学修を振り返り、学んだ内容と自分の気づきや考えについて言語化する。また、公務員クラスについての説明を行う。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業内容や記録を見直しておく 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんと行動計画について振り返りをする
15回	**授業テーマ：社会人インタビューの共有となりたいじぶん** 授業内容：自分の「社会人インタビュー」を伝え、他者の社会人インタビューを聞き、働くことについて考察する。 事前学修 2.5hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直す 事後学修 2.5hr：社会人インタビューの気づきを踏まえあらためて「なりたいじぶん」への道筋を検討する

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラムクラス

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、就業観の醸成に焦点をあて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①**日本における就職および就職活動**について情報を収集・整理しながら理解を深める。
②**ジェネリックスキル (対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)** の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

個別目標：【社会環境理解】①日本における就職の知識を習得し、準備に必要な活動について理解する。【自己理解】①自分の強みを文章で伝えることができる②ジェネリックスキルを理解し自己評価できる。【プレゼンテーション】自分の将来についての考えなどをプレゼンテーション形式で伝えることができるようになる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:35%, 学修内容振り返り:30%, 国内研修への参加と振り返り：25%,MEIKAI SPI 模擬試験 (マークシート):10%※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に授業ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：自己紹介と MEIKAI SPI の活用** 授業内容：自己紹介ワークでクラスメンバーと交流する。MEIKAI SPI の目的と活用方法を理解し操作する。 事前学修 2.0hr：受講ルールやマニュアルを読み返し理解しておく 事後学修 2.0hr：MEIKAI SPI の練習問題を解く
3回	**授業テーマ：日本の就職と就職活動 (知識編)** 授業内容：日本における新卒採用の現状や採用環境について解説を聞き理解する。 事前学修 2.0hr：日本の就職について、関連サイトで探索しておく 事後学修 2.0hr：今後の目標や行動計画について考えを整理する
4回	**授業テーマ：日本の就職と就職活動 (キャリア形成編)** 授業内容：日本における新卒採用の現状や採用環境について理解した上で、自分の日本でのキャリアを考える。 事前学修 2.0hr：第 3 回授業の内容を振り返る 事後学修 2.0hr：日本でのキャリアをどう形成するか検討する
5回	**授業テーマ：MGO 探索とビジネスメール** 授業内容：MGO プログラムを理解し学内で情報収集できる場所を確認する。また、ビジネスメールの書き方を理解する。 事前学修 2.0hr：ビジネスメールについて関連資料を読む 事後学修 2.0hr：授業で確認した情報収集について振り返る
6回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの作成** 授業内容：卒業時点での目標を考え、1 年・半年・1 ヶ月単位で、具体的な行動計画を立てる。 事前学修 2.0hr：将来のキャリアに向かうための目標や具体的な行動について考えておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
7回	**授業テーマ：「働く」ことについて考える** 授業内容：プロのライターが取材し作成した社会人のインタビュー記事を読み、仕事との向き合い方について考察する。 事前学修 2.0hr：就職ジャーナルやスタディサプリの記事を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就職ジャーナルなどの記事を読む
8回	**授業テーマ：自己分析** 授業内容：大切にしたい価値観を言葉を選びその理由を考え言語化する。 事前学修 2.0hr：これまでの自分を振り返って年代ごとに出来事をメモしておく 事後学修 2.0hr：授業で実施したワークを基に自分について言語化しておく
9回	**授業テーマ：自己理解** 授業内容：強み探索ワークを通じて、自分の強みを探索する。また、強みに関係する過去の出来事を言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の強みを考えこれまでの出来事を思い出し書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にする
10回	**授業テーマ：ここまでの学修を振り返る** 授業内容：ここまでに学修した内容を振り返り、今後必要な活動を整理する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業を振り返っておく 事後学修 2.5hr：今後必要な活動について具体的に計画立案する

11回	**授業テーマ：プレゼンテーション理解** 授業内容：プレゼンテーションに必要な要素について学ぶ。 事前学修 2.0hr：インターネット等でプレゼンテーションに必要なことを調べておく 事後学修 3.0hr：授業の内容を基に、プレゼンテーションの内容を検討する
12回	**授業テーマ：プレゼンテーション作成** 授業内容：前回授業で学修したことを踏まえて、自分がプレゼンテーションする内容を決め、スライドを作成する。 事前学修 2.0hr：自分がプレゼンテーションしたい内容を決め情報収集しておく 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションで使用するスライドを完成させる
13回	**授業テーマ：プレゼンテーション実践** 授業内容：準備してきた内容を、スライドを使用してプレゼンテーションする。 事前学修 3.0hr：本番での発表を意識しプレゼンテーションの練習をする 事後学修 2.0hr：自分のプレゼンテーションの改善点を明確にしておく
14回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの振り返り** 授業内容：START を活用し、なりたいじぶんとアクションプランを見直し、今後の活動計画を考える。 事前学修 2.0hr：START の記録を確認し、自分活動状況を整理しておく 事後学修 2.0hr：見直した内容と今後の活動計画を完成させ START に記録しておく
15回	**授業テーマ：授業の振り返りと夏季休暇のアクションプラン作成** 授業内容：第 14 回までの学びを振り返り、進級した後の姿を想像しながら、夏季休暇の行動計画を作成する。 事前学修 2.0hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今回の振り返りを基に春季休暇に取り組むことをより具体的にしておく

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃 (おのでら　じゅり)・**行田　悦子** (こうだ　えつこ)・**髙橋　亜里沙** (たかはし　ありさ)・**林　苗** (りん　みょう)・**範　弘宇** (はん　こうう)

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニング I では、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修課題がある。ほぼ毎回授業内に小テストを行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解し、適切な表現や文体を産出できる。自分の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 日本文化に関わる文章を読ん正確に理解できる。
(2) 論説、評論などに出てくる語彙・表現が正確に使うことができる。
(3) 論説、評論などの内容を要約し、他者と意見を交換することができる。
(4) 自分の日本語能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、能動的に学習を実行することができる。
(5) 学習成果を正しくふりかえることができる。

▌履修条件

(1) 留学生を対象とするクラスである。
(2) 日本語能力を測る資格試験を受験する。
(3) 毎回出席し、授業活動に積極的に参加する。
(4) 課題の提出日を守る。
(5) 自らの日本語能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。
(6) 授業外の講座に参加する。

▌評価基準・方法

課題提出 30 %、テスト 30%、資格試験 15 %、国内研修への参加とふり返り 25%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を利用する。）

▌教科書

目黒真実『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界①** 授業内容：授業概要や到達目標、履修条件等についてのガイダンスを行う。「日本語の世界①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本語の世界②** 授業内容：「日本語の世界②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：「日本の文化」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：「日本人の行動様式」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：「言語とコミュニケーション」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：「異文化理解」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：「環境と人間」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：「IT と情報社会」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：「生物と自然」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：人生と生き方** 授業内容：「人生と生き方」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：子どもと教育** 授業内容：「子どもと教育」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：「報道とマスコミ」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：「科学と技術」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：生命と倫理①** 授業内容：「生命と倫理①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：生命と倫理②、まとめとコース全体の振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：「生命と倫理②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。これまで学修した内容を振り返り、学んだことや気付いたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス／留学生

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニング I では、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修課題がある。ほぼ毎回授業内に小テストを行う。

▌到達目標

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解し、適切な表現や文体を産出できる。自分の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。
個別目標：(1) 日本文化に関わる文章を読ん正確に理解できる。
(2) 論説、評論などに出てくる語彙・表現が正確に使うことができる。
(3) 論説、評論などの内容を要約し、他者と意見を交換することができる。
(4) 自分の日本語能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、能動的に学習を実行することができる。
(5) 学習成果を正しくふりかえることができる。

▌履修条件

(1) 留学生を対象とする再履修クラスである。
(2) 日本語能力を測る資格試験を受験する。
(3) 毎回出席し、授業活動に積極的に参加する。
(4) 課題の提出日を守る。
(5) 自らの日本語能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。
(6) 授業外の講座に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30 %、テスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を利用する。）

▌教科書

目黒真実『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界①** 授業内容：授業概要や到達目標、履修条件等についてのガイダンスを行う。「日本語の世界①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本語の世界②** 授業内容：「日本語の世界②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：「日本の文化」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：「日本人の行動様式」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：「言語とコミュニケーション」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：「異文化理解」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：「環境と人間」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：「IT と情報社会」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：「生物と自然」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：人生と生き方** 授業内容：「人生と生き方」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：子どもと教育** 授業内容：「子どもと教育」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：「報道とマスコミ」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：「科学と技術」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：生命と倫理①** 授業内容：「生命と倫理①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：生命と倫理②、まとめとコース全体の振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：「生命と倫理②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。これまで学修した内容を振り返り、学んだことや気付いたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、課題発見と解決に取り組み①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、企業や仕事を研究する観点を理解し、ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①**身近な課題発見**から社会と自分を理解し、進路選択において主体的に活用できるようになる。
②**ジェネリックスキル (対人・対自己・対課題基礎力)** を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。

個別目標：【社会理解】①必要な情報を理解しその情報源を探索することができる②学修するフレームを活用することができる②自分の興味・関心と照らし合わせて考えることができる【自己理解】自分の強みと裏付ける出来事を文章で伝えることができる【目標設定】1 年次の「なりたい自分とアクションプラン」を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%、MEIKAI SPI 模擬試験 (Web テスティング):10%とする。※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み授業の概要や評価について理解しておく 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：キャリアの理論** 授業内容：進路の選択肢をイメージし、キャリア形成について考える。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠで考えた自分のキャリアについての資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：授業で得たアドバイスやヒントを参考に自分の将来について考える
3回	**授業テーマ：これまでの自分を振り返る** 授業内容：モチベーショングラフを作成し、これまでの自分を振り返る。 事前学修 2.0hr：モチベーショングラフについて検索し情報収集しておく 事後学修 2.0hr：モチベーショングラフで気づいた自分の価値観を整理する
4回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの作成** 授業内容：キャリアプランニングⅠで考えた「なりたいじぶんとアクションプラン」を基に、あらためて検討し作成してみる。 事前学修 2.0hr：1 年次に受験した PROG の結果報告書と強化書を読み返しておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
5回	**授業テーマ：社会人に学ぶ** 授業内容：社会人の経験や知識を参考にし、今後の大学生活で取り組む活動を考える。 事前学修 2.0hr：大学在学中に取り組む活動をリストアップしておく 事後学修 2.0hr：大学在学中に取り組む活動を検討しスケジューリングする
6回	**授業テーマ：ディスカッションの復習** 授業内容：キャリアプランニングⅠで学修したディスカッションを復習し、グループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠのディスカッション関連の授業を復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションの手本となる動画を探して視聴する
7回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：前回授業で実施したグループディスカッションを振り返り、改善を目指し実践する。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションにおける自分の課題を整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で実践したグループディスカッションを振り返る
8回	**授業テーマ：課題発見 (社会理解編)** 授業内容：課題発見の方法を理解し、課題と社会における事業等のつながりを知る。 事前学修 2.0hr：自分の身の回りで課題に感じることを列挙しメモしておく 事後学修 2.0hr：授業で学修したことを復習する

9回	**授業テーマ：課題発見 (自己理解編)** 授業内容：「課題発見を整理していくと自分の価値観が影響している」ことを理解する。 事前学修 2.0hr：課題発見で挙げたものに対する自分の興味・関心を確認しメモしておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を踏まえ、具体的に解決したい課題を列挙しメモしておく
10回	**授業テーマ：課題解決 (社会編)** 授業内容：解決したい課題を 1 つ挙げ、実際にどのように解決されているかを調べる。 事前学修 2.0hr：第 8 回、第 9 回授業の内容を復習し取り上げる課題を吟味する 事後学修 3.0hr：授業で学修した内容をさらに改善し完成させる
11回	**授業テーマ：課題解決 (自分編)** 授業内容：解決したい課題について、自分の価値観や興味・関心がどのようにつながっているか考える。 事前学修 2.0hr：第 8 回～第 10 回授業の内容を復習し自分とのつながりを考えておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容をさらに改善し完成させる
12回	**授業テーマ：自己理解** 授業内容：キャリアプランニングⅠで探索したストレングス、キャリアプランニングⅡで作成したモチベーショングラフを踏まえて、自分について発見したことや再確認したことを言葉にして伝える。 事前学修 2.0hr：ストレングスとモチベーショングラフを見直しておく 事後学修 2.0hr：自己理解した内容を文章にしてまとめておく
13回	**授業テーマ：自己 PR 作成** 授業内容：前回授業の学修を活用し、自分らしさを伝える自己 PR を作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠで返却された添削データを確認しておく 事後学修 2.0hr：自己 PR を完成させ提出する
14回	**授業テーマ：Well-being を考える** 授業内容：就職活動だけでない「キャリア」について理解する。 事前学修 2.0hr：5 つの Well-being について調べておく 事後学修 2.0hr：Wel-being につながる「なりたいじぶん」をあらためて考える
15回	**授業テーマ：授業の振り返り** 授業内容：授業で学んだことを振り返り、今後の活用を想像し、夏季休暇の過ごし方を考える。 事前学修 2.0hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今回の振り返りを基に夏季休暇に取り組むことをより具体的にしておく

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、公務員試験対策に特化した科目の知識を身につける事を目的とする。
公務員は全体の奉仕者として、国民の生活に密着した不可欠なサービスを提供する業務を執行するが、そのために必要な基礎的な知識を修得する事を支援する。教養科目と言われている 5 科目(数的処理・文章理解・社会科学・人文科学・自然科学)と SPI、面接・論文の対策も行う。オムニバス形式の授業である。
※授業の他、全 15 回の講座を実施する。講座の詳細内容は別途指示する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①公務員試験の試験科目は一般知識・一般知能に分けられ、多岐にわたるが、教養科目には何があるのか、その対策として何をすればよいのかを身につける。
②試験問題には、出題頻度・難易度が様々であるが、基礎的問題を解答出来る能力を身につける。
個別目標：①一般知識は、中学・高校で学んだ知識が問われているので、各科目について高校までの知識を身につける。
②一般知能は公務員試験独自の問題であるが、パターンがあるので、そのパターンの対応能力を身につける。

▌履修条件

必修科目である。
2025 年度キャリアプランニング I の授業内アンケートで本クラスの履修を希望した者およびキャリアサポートセンター窓口で指定の期間に所定の手続きをした者。本授業の他に実施する講座(全 15 回)も必ず受講すること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

対面授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として￥7,400(自己負担) を回収する。
管理・研究棟 2 階の証紙券売機で￥7,400 の証紙を購入し、第 1 回授業で教員に提出すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・人文科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス①公務員試験の概要(職種・試験科目・試験日程)②2年次の授業の目的・到達目標 人文科学　人文科学の各科目の概要(世界史・日本史・地理・思想・文学芸術)、世界史(基礎)：古代、中世、近世 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：公務員試験の概要について復習し授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
2回	**授業テーマ：SPI・数的処理 1 回目** 授業内容：四則逆算、つるかめ算、n 進法、年齢算 事前学修 2.0hr：四則逆算、つるかめ算、n 進法、年齢算について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
3回	**授業テーマ：SPI・数的処理 2 回目** 授業内容：濃度算、命題 事前学修 2.0hr：濃度算、命題について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
4回	**授業テーマ：SPI・数的処理 3 回目** 授業内容：場合の数、確率 事前学修 2.0hr：場合の数、確率について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
5回	**授業テーマ：SPI・数的処理 4 回目** 授業内容：旅人算、流水算、通過算 事前学修 2.0hr：旅人算、流水算、通過算 について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
6回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：社会科学のガイダンスと社会保障 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：市場の仕組み・経済循環、国民所得と経済理論 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
8回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：世界史(基礎)：近現代、中国史、日本史(基礎)：古代、中世 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
9回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：日本史(基礎)：近世、近現代 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

10回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：景気循環、財政・金融政策、国際経済、法律概論、日本国憲法で保障されている人権 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
11回	**授業テーマ：社会科学 4 回目** 授業内容：政治制度、補足・まとめ、問題演習／社会科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
12回	**授業テーマ：人文科学 4 回目** 授業内容：地理(基礎)：自然地理、地誌／人文科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
13回	**授業テーマ：SPI・数的処理 5 回目** 授業内容：仕事算、推論(うそつき、席順、順序) 事前学修 2.0hr：仕事算、推論(うそつき、席順、順序)について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：SPI・数的処理 6 回目** 授業内容：損益算、暗号 事前学修 2.0hr：損益算、暗号 について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
15回	**授業テーマ：SPI・数的処理 7 回目** 授業内容：サイコロ、図形、展開図／数的処理前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：サイコロ、図形、展開図について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

荷見　美有（はすみ　みゆう）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニングⅡでは、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修、課題を行う。ほぼ毎回、小テストがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解することを目指す。
　　自身の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育成する。
個別目標：(1) 幅広い分野に渡る抽象度の高い日本語の文章を読んで正確に理解できる。
　　(2) 正しい文法知識と語彙を増やし、正確に産出できる。
　　(3) 日本社会に関わる背景知識を増やす。

▌履修条件

留学生クラスである。
日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題提出の期限を守る。
積極的に授業に参加する。
授業外の講座、模擬試験に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40 %、テスト 20%、課題提出 20 %、講座 10%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を利用する。）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

授業時に随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界** 授業内容：教科書の「日本語の世界」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本語についての考えをあげ、グループワークを行い、意見交換をする。 事前学修 2.0hr：自身の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補うために必要な学習計画を立てる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：教科書の「日本の文化」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本の文化について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：教科書の「日本人の行動様式」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本人の行動様式について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：教科書の「言語とコミュニケーション」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、言語とコミュニケーションについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：教科書の「異文化理解」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、異文化について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：教科書の「環境と人間」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、環境と人間について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：教科書の「IT と情報社会」の文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、IT と情報社会について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：教科書の「生物と自然」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、生物と自然について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

9回	**授業テーマ：心理と哲学** 授業内容：教科書の「心理と哲学」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、心理と哲学について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：教育と学び** 授業内容：教科書の「教育と学び」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、教育と学びについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：教科書の「報道とマスコミ」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、報道とマスコミについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：教科書の「科学と技術」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、科学と技術について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：現代の社会** 授業内容：教科書の「現代の社会」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、現代の社会について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：余暇と娯楽** 授業内容：教科書の「余暇と娯楽」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、余暇と娯楽について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：総まとめと振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習した内容を振り返り、学んだことや気づいたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、自分史の作成に取り組み①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を使用する。
【授業方法】講義
【実務家教員と当該授業科目との関連性】
一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、相手視点で課題解決に取り組み、ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①自分史の作成を通じて、これまでの経験・価値観・学びを整理し、現在の自分の関心や強みを再確認することができる。
②ジェネリックスキル (対人・対自己・対課題基礎力) を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。
個別目標：【自分史作成】①自身のこれまでの経験・価値観・行動を整理し言語化できる②過去の経験から現在の関心・強み・学びの傾向を分析できる③自己理解に基づいてキャリア形成の方向性を検討できる④自分史を他者に共有し、フィードバックを踏まえて内容を改善できる【自己理解】完成度の高い (採用選考通過を見据えた) 自己 PR を作成できる【目標設定】キャリアプランニングⅡの目標と行動計画を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%、MEIKAI SPI 模擬試験 (テストセンター):10%とする。※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や PowerPoint,Word ソフトによる課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション (授業の目的・受講ルール・評価方法の理解、社会で求められる力の理解)** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に受講ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：なりたいじぶんと Well-being** 授業内容：well-being と「なりたいじぶん」について見直し、今後の活動について検討する。 事前学修 2.0hr：学修ポートフォリオ「START」を見直し自分の Well-being を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を踏まえ、今後の活動を検討し決定する
3回	**授業テーマ：自分史とは** 授業内容：自分史の目的と作成の手順を理解する。 事前学修 2.0hr：自分史について情報収集しておく 事後学修 3.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
4回	**授業テーマ：これまでの自分** 授業内容：過去の経験から得た自分の強みや価値観、成長のきっかけを言語化する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで実施した自己理解ワークを復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
5回	**授業テーマ：これからの自分** 授業内容：過去からつながる今の自分を踏まえ、これからの自分を言語化する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで考えた「なりたいじぶん」について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
6回	**授業テーマ：ディスカッションの振り返り** 授業内容：キャリアプランニングⅠ・Ⅱで実施したグループディスカッションを振り返る。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションについて復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて情報収集する
7回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：キャリアプランニングの集大成としてグループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションにおける自分の課題を整理しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションにおける課題が解決できたか振り返る
8回	**授業テーマ：社会に触れる** 授業内容：社会人の経験や知識から、自分のキャリアについて可能性を広げて考える。 事前学修 2.0hr：これまで記録してきたなりたいじぶんについて確認しておく 事後学修 2.0hr：今後のキャリアについて言語化し記録しておく

9回	**授業テーマ：業界・企業理解** 授業内容：業界・企業理解において必要なことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：業界地図を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習する
10回	**授業テーマ：企業研究** 授業内容：事業内容、商品・サービス、理念ビジョンなど、企業研究で調べる項目について、同業２社で情報を整理し比較する。 事前学修 2.0hr：業界地図を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業で取り上げた業界や企業について情報収集する
11回	**授業テーマ：職種理解** 授業内容：職種においても、企業によって扱うものや関わる組織や人など、違いがあることを理解する。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げた企業の職種について情報収集しておく 事後学修 2.0hr：自分が興味を持った業界や企業、職種についてさらに情報収集する
12回	**授業テーマ：自分史ポスターの作成** 授業内容：第 6 回～第 11 回授業の学修を基に、社会にどう接続していくかを言語化しポスターに集約する。 事前学修 3.0hr：第 6 回～第 11 回授業の学修を振り返る 事後学修 2.0hr：自分史ワークシートに社会との接点を追加して改善する
13回	**授業テーマ：自分史ポスターの完成** 授業内容：自分史ポスターを完成させる (発表できるように準備する)。 事前学修 3.0hr：第 6 回～第 12 回授業の学修を振り返る 事後学修 3.0hr：自分史ポスターを発表できるように準備する
14回	**授業テーマ：授業となりたいじぶんの振り返り** 授業内容：キャリアプランニングⅠ～Ⅲまでを振り返り、何を学び、気づき、今後のキャリア選択に対する準備ができたのかを言語化し伝える。 事前学修 2.0hr：これまでの授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今後の自分のキャリアを考え言語化し記録しておく
15回	**授業テーマ：自分史ポスターの共有と振り返り** 授業内容：作成した自分史をグループとクラスで共有し相互に学び合う。 事前学修 3.0hr：作成した自分史を確認しておく 事後学修 2.0hr：これまでの学修内容と記録を確認し、今後のキャリアに向けた活動を具体的に考え記録する

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、公務員試験対策に特化した科目の知識を身につける事を目的とする。
公務員は全体の奉仕者として、国民の生活に密着した不可欠なサービスを提供する業務を執行するが、そのために必要な基礎的な知識を修得する事を支援する。後学期では、数的処理・社会科学・人文科学は演習問題を使用し解き方を身につけていく。文章理解は基礎から学習していく。オムニバス形式の授業である。
※授業の他、全 15 回の講座を実施する。講座の詳細内容は別途指示する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：前学期で修得した知識を基にして、新たな問題についても自分の力で正解にたどり着ける能力を身につける。
個別目標：前学期に学習した問題は確実に解くことができ、新たな問題についても自分の力で解くことができるように、予習復習を繰り返す習慣を身につける。

▌履修条件

必修科目である。
2026 年度前学期開講のキャリアプランニングⅡ (公務員クラス) の単位を取得していること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

対面授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として￥4,700 円(自己負担)を回収する。管理・研究棟 2 階の証紙券売機で￥4,700 の証紙を購入し、第 1 回授業で担当教員に証紙を提出すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：人文科学 1 回目** 授業内容：世界史(実践)：世界史問題演習(古代、中世、近世、近現代、中国史) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
2回	**授業テーマ：数的処理 1 回目** 授業内容：n 進法、濃度算、命題の復習、及び約数と倍数、比 事前学修 2.0hr：n 進法、濃度算、命題の復習、及び約数と倍数、比について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
3回	**授業テーマ：文章理解 1 回目** 授業内容：文章理解解き方のポイント 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
4回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：消費者と生産者の行動、市場と経済厚生 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
5回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：憲法；統治機構、日本国憲法の特徴 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
6回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：日本史(実践)：日本史問題演習(古代、中世、近世、近現代) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：選挙制度、国際政治 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
8回	**授業テーマ：社会科学 4 回目** 授業内容：社会：環境・医療問題、科学技術、文化等 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
9回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：地理(実践)：地理問題演習(自然地理、地誌) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
10回	**授業テーマ：社会科学 5 回目** 授業内容：補足、まとめ、問題演習①、問題演習②／社会科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

11回	**授業テーマ：数的処理 2 回目** 授業内容：場合の数、確率の復習、及び集合、試合の勝敗 事前学修 2.0hr：場合の数、確率の復習、及び集合、試合の勝敗について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
12回	**授業テーマ：数的処理 3 回目** 授業内容：速さ、仕事算の復習、及び軌跡、一筆書き 事前学修 2.0hr：速さ、仕事算の復習、及び軌跡、一筆書きについて予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
13回	**授業テーマ：数的処理 4 回目** 授業内容：推論、損益算、暗号の復習、及び積み木、切断面 事前学修 2.0hr：推論、損益算、暗号の復習、及び積み木、切断面について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：数的処理 5 回目** 授業内容：サイコロ、図形、展開図の復習、及び資料解釈／数的処理後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：サイコロ、図形、展開図、資料解釈について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする。
15回	**授業テーマ：人文科学 4 回目** 授業内容：人文科学(総まとめ)：世界史、日本史、地理のポイントチェック／人文科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：留学生クラス

荷見　美有（はすみ　みゆう）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアプランニングは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニングⅢでは、日本社会で成果をあげるためにビジネス日本語について学習する。授業外に事前学修、事後学修、課題がある。小テストはほぼ毎回、授業内に行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本社会、文化的な背景、心理的な状況を理解したうえで、ビジネス上の課題に対して適切に対応する力を育成する。限られたビジネス場面で日本語による適切なコミュニケーションができる。

個別目標：(1) 標準的な日本語で話されれば、社内で行われる議論等で担当領域の議論の流れを理解することができる。
(2) 担当領域の文書や記事、メールを読み解くことができる。
(3) 担当領域に関連するテーマについて、多様な選択肢の利点や不利な点を示しながら主張することができる。
(4) 担当領域に関する事柄を詳細に書くことができる。
(5) 自身の考えの根拠を示しながら説明する文章を書くことができる。

▌履修条件

留学生クラスである。
日本語能力を測る資格試験、ビジネス日本語能力を測る資格試験を受験する。
授業活動に積極的に参加する。
課題の提出日を守る。
授業外の講座、模擬試験等に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 20%、テスト 20%、講座 10%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

木山三佳・田川麻央『学生・留学生のためのキャリアプランニング』実教出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：ビジネスで必要な日本語能力とはどのようなものかを確認する。そのうえで、現時点でどの程度のビジネス日本語能力があるのか事前テストで測る。テストの成績をもとに、どのように能力を伸ばしていくか計画を立てる。 事前学修 2.0hr：BJT ビジネス日本語能力テストについて調べる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：就職活動** 授業内容：就職活動では選考の材料となる提出書類の作成や面接試験など重要なことがある。その中で、エントリーシートなどの書類の書き方、面接時の話し方を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：入社** 授業内容：入社後、新入社員は初対面の人とコミュニケーションをとる機会が多い。その一つとして自己紹介があり、話を聞いた人が記憶に残る一言が言えるよう練習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：基本的な業務** 授業内容：基本的な業務の一つとして伝言を取り上げる。また、稟議についても学ぶ。稟議は、社内で物品を購入するときなどに説明を書類に書いて、承認を受けることで一連の流れを学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：報告** 授業内容：上司や先輩、同僚への報告を取り上げる。仕事は同じ目標を持つ人々とうまく連携できるよう、わかりやすく伝えられるよう学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：謝罪** 授業内容：謝罪について取り上げる。仕事でミスがあったときに早い段階で上司に正確に事実を報告し、素直に謝罪できるよう学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：インターンシップの受け入れ** 授業内容：インターンシップの受け入れ側の仕事について取り上げる。会社側の立場になって自社を紹介し、業務や職種を理解してもらうとともに、さまざまなリスク管理について学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：会議の準備** 授業内容：会議の準備においては、会場の予約、機器の設置、会議議題の決定、前回の議事録の作成など、様々な資料を作成、配布する、欠席者への対応など一連の業務を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：会議** 授業内容：会議では、各種の報告と意志決定をおこなう審議が行われる。議長の指示に従い、発言したり反対意見を述べたりする。意見の述べ方、議事録の作成など一連のやりとりを学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：取引** 授業内容：取引について取り上げる。良い関係を築くコミュニケーションを基本とし、正確な情報のやり取りを行う。不明な点がないように、お互いの話を引用した形で質問するなどの工夫も学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：苦情** 授業内容：苦情について取り上げる。苦情の対応を誤ると大きな問題に発展することもあり、より良いコミュニケーションが求められるためその対応方法を学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：商談** 授業内容：商談について取り上げる。相手に必要な情報を正確に伝えるとともに、相談や注文を受けた時の対応の仕方、不明慮な点があるときの聞き返しなどを学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：社会貢献** 授業内容：企業が果たすべき社会的責任について学ぶ。社会貢献としてさまざまな活動を行うときに必要なコミュニケーションについて学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：実力判定テスト、フィードバック** 授業内容：これまで学習した内容が身に付いたかどうか実力判定テストで測る。テストの結果より得られた強み、弱みをもとに学習を振り返る。また教師からもフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：コース全体をふりかえり、改善点をみつける** 授業内容：コースの目標とこれまでの活動を照らし合わせて学習を振り返り、自身のビジネス日本語能力を的確に分析する。就職に向けて活動計画を立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

一般企業での就業経験があり、キャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験を活かし就職活動において主体的に行動できることを目的として支援する。受講生が納得のいく進路を決定するために就職活動の準備をする。事前準備（企業・仕事研究、自己 PR・志望動機作成）と実践及び振り返りにより改善を重ね就活力を伸ばす。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験があり、キャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験を活かし、就職活動において主体的に行動できることを目的として、情報の収集や分析、計画立案及び振り返り等、就職活動に活用できる知識を与える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：この授業の目的は、就職活動を乗り越え社会で活躍する人材となるために必要な力とスキルを伸ばすことである。キャリアデザインでは、就職活動準備を就職スキルの向上に焦点をあてる。また、日頃から意識できるよう「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

個別目標：【企業・仕事研究】キャリアプランニングの学修を活用し就職活動における企業選択に十分な情報収集・分析をする【自己 PR】自分の強みと裏付けるエピソードを選考通過レベルで準備する【志望動機】企業・仕事研究で得た情報と自己 PR をつなげ入社後どう貢献できるかを伝えられる【グループディスカッション・面接】選考通過レベルのスキルを身に付ける【インターンシップ】インターンシップに参加し早期選考につなげる

▌履修条件

2 年生修了時に、60 単位以上取得していること（就職活動にある程度の時間が割ける状態）が望ましい。

留学生については、日本語能力試験で N1 を取得しており、MGO 留学生プログラムの要件を満たしていること。

▌評価基準・方法

重要課題:30%、学修内容振り返り:30%、インターンシップ参加：30%、MEIKAI SPI の模擬試験 (テストセンター):10% ※それ以外に、就活コーチとの面談実施・OBOG セミナー参加・学内業界研究セミナー参加を単位認定要件とする。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。詳細については第 2 回授業で説明する。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。適職診断テスト受検の費用として￥6,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(履修登録のルールを理解し正しく手続きする)** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：資料を読み返し正しく履修登録の手続きをする	16回	**授業テーマ：インターンシップを振り返る** 授業内容：参加したインターンシップを振り返り経験について言語化する。 事前学修 2.0hr：インターンシップを振り返る準備をしておく 事後学修 2.0hr：授業の内容を踏まえ、選考を受ける企業を検討する
2回	**授業テーマ：就活スケジュールと準備確認** 授業内容：就活スケジュールを確認し必要な準備を確認する。 事前学修 2.0hr：就職活動の流れについて調べておく 事後学修 2.0hr：就活サイトで企業情報を見ておく	17回	**授業テーマ：PROG 受験** 授業内容：目的を理解し正しく PROG を受験する。 事前学修 2.0hr：1 年生で受験した PROG の結果を見直しておく 事後学修 2.0hr：ジェネリックスキルについて再確認する
3回	**授業テーマ：就活サイトの使い方** 授業内容：就職活動において情報源となる就活サイトの使い方を説明し活用してみる。 事前学修 2.0hr：就活サイトで企業検索をしておく 事後学修 2.0hr：就活サイトで企業情報を検索し、イベント等の予約をする	18回	**授業テーマ：コーチ支援に関する授業** 授業内容：就活コーチの支援を受ける手続き (求人 NAVI) を理解し実践する。 事前学修 2.0hr：求人 NAVI で就活に関する情報を確認する 事後学修 2.0hr：就活コーチの面談予約を確認しスケジュールに入れる
4回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプラン** 授業内容：就職活動におけるアクションプランを作成する。 事前学修 2.0hr：記録したなりたいじぶんとアクションプランを確認しておく 事後学修 2.0hr：就職活動におけるアクションプランをスケジューリングする	19回	**授業テーマ：就活の軸を言語化する** 授業内容：これまでの就職活動で得た経験を振り返り就活の軸を再検討する。 事前学修 2.0hr：就職活動の状況を共有できるよう準備しておく 事後学修 2.0hr：就活の軸を使い就活サイト等で選考を受ける企業を選ぶ
5回	**授業テーマ：応募準備：ガクチカ作成** 授業内容：キャリアプランニングで作成と改善を重ねてきた自己 PR を確認しガクチカを作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで作成した自己 PR をすべて見直しておく 事後学修 2.0hr：明海大学の履歴書に合わせて自己 PR とガクチカを完成させる	20回	**授業テーマ：PROG 結果活用** 授業内容：PROG の結果を参考に自分の強みを確認し、企業選択につなげる。また、1 年次より伸びた力やその要因について考える。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を確認しジェネリックスキルを再確認しておく 事後学修 2.0hr：PROG の結果から自分の強みを確認し、紐づく経験を記録する
6回	**授業テーマ：応募準備：志望動機作成** 授業内容：自己 PR・ガクチカとつながりを意識して志望動機を書いてみる。 事前学修 2.0hr：志望動機の書き方について情報収集しておく 事後学修 2.0hr：明海大学の履歴書に合わせて志望動機を作成する	21回	**授業テーマ：就活スキル選考準備 (グループディスカッション)** 授業内容：本選考を見据え、グループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：これまでに取り組んだグループディスカッションを振り返っておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り改善点を明確にする
7回	**授業テーマ：R-CAP 結果解説** 授業内容：R-CAP の結果を正しく理解し就職活動への活用法を知る。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を読み直し自己理解を深めておく 事後学修 2.0hr：R-CAP の結果をあらためて読み自分について言語化する	22回	**授業テーマ：就活スキル選考準備 (面接)** 授業内容：本選考を見据え、面接練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：自己 PR やガクチカ、志望動機を伝えられるようにしておく 事後学修 2.0hr：授業で実践した面接練習を振り返り、改善点を整理する
8回	**授業テーマ：フセンゲーム** 授業内容：ジョブカタログの言葉と KJ 法を使い、自分の就活の軸を言語化する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り就活の軸を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就活の軸を再検討する	23回	**授業テーマ：OBOG セミナー参加準備** 授業内容：OBOG セミナーの目的や概要、必要な事前準備について理解する。 事前学修 2.0hr：OBOG セミナー参加予定企業について調べておく 事後学修 2.0hr：OBOG セミナー当日の動き方を検討する

9回	**授業テーマ：インターンシップの選び方** 授業内容：インターンシップの選択基準を考え実践する。 事前学修 2.0hr：就活サイトや企業のホームページで企業情報を収集する 事後学修 2.0hr：授業の学修を活用しインターンシップの情報を探し企業研究する	24回	**授業テーマ：OBOG セミナー参加** 授業内容：OBOG が参加する企業の説明を聞き、企業や仕事の理解を深める。 事前学修 2.0hr：身だしなみを整え OBOG セミナーに参加する企業について調べる 事後学修 2.0hr：OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る
10回	**授業テーマ：グループディスカッション実践** 授業内容：グループディスカッションの練習をする。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで学修した内容を復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り課題を明確にしておく	25回	**授業テーマ：OBOG セミナーの振り返り** 授業内容：OBOG セミナーで得たことを言語化し、事前準備が妥当であったかを振り返る。 事前学修 2.0hr：OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る 事後学修 2.0hr：企業や仕事について知りたいことを整理する
11回	**授業テーマ：面接対策 (非言語編)** 授業内容：デリバリーのプロに、発生や言葉・表現などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：面接について就活サイトで情報収集しておく 事後学修 2.0hr：就活サイト等でインターンシップの情報を収集しエントリーする	26回	**授業テーマ：面接練習 (1) 会話のキャッチボール** 授業内容：採用選考に向けて企業の意図を理解し、会話のキャッチボールを意識して面接練習する。 事前学修 2.0hr：自己 PR・ガクチカ・志望動機など、応募書類の内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：面接練習で改善が必要な点を明確にする
12回	**授業テーマ：先輩(内定した４年生)に学ぶ** 授業内容：パネルディスカッション形式で先輩の体験談を聞き就職活動の参考にする。 事前学修 2.0hr：これまでの就職活動を振り返り悩みや疑問を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業での学修をヒントにし今後の行動計画を立てる	27回	**授業テーマ：面接練習 (2) 自己 PR と志望動機** 授業内容：前回の面接練習を踏まえ改善すべき点を意識しながら、自己 PR と志望動機を伝える練習をする 事前学修 2.0hr：自己 PR・ガクチカ・志望動機など、応募書類の内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：面接練習を振り返り、改善点を解決する
13回	**授業テーマ：仕事研究セミナー振り返り** 授業内容：仕事研究セミナーで収集した情報と自分の強みを照らし合わせ、マッチングポイントを考える。 事前学修 2.0hr：仕事研究セミナーを振り返り、情報を整理しておく 事後学修 2.0hr：仕事研究セミナーで経験を踏まえ、今後の就職活動を検討する	28回	**授業テーマ：面接練習 (3) 同窓生と模擬面接** 授業内容：社会人の代表として同窓生をゲストとして迎え、模擬面接を実践する。 事前学修 2.0hr：前回の面接練習で見つけた自分の改善点を意識しておく 事後学修 2.0hr：面接で伝える内容を準備し、自主的に伝える練習をする
14回	**授業テーマ：面接対策 (言語編)** 授業内容：面接において必要なことを復習し模擬面接などの実践から学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの就職活動を整理しておく 事後学修 2.0hr：夏季インターンシップを探索しエントリーする	29回	**授業テーマ：就活進度別選考準備 (課題別編)** 授業内容：グループディスカッション、面接、応募書類など、採用選考において準備が必要な面をトレーニングする。 事前学修 2.0hr：自分の選考における課題を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業での練習を踏まえ、さらに選考準備を進める
15回	**授業テーマ：夏季休暇の活動計画立案** 授業内容：夏季休暇中に取り組む、就職活動について具体的にしておく 事前学修 2.0hr：夏季休暇中の就職活動計画を整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で検討した内容を夏季休暇中の就職活動計画に反映させる	30回	**授業テーマ：就職活動振り返りと今後の行動計画立案** 授業内容：今後の就活において、改善点や具体的な行動について言語化し伝え合う。 事前学修 2.0hr：就職活動の進捗を整理し伝えられるように準備する 事後学修 2.0hr：授業で明確になった現状を見直し今後の計画を再確認する

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、2 年次に学習した知識をもとに、公務員試験の多くの過去問を解くことにより、実戦力を身につけることを目的とする。
公務員試験においては、過去に出題した問題を、視点を少し変えて再度出題することが多いので、形式に惑わされないように過去問を丁寧に検討することにより、柔軟な対応力を修得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：2 年次に身につけた知識をもとにして、様々な問題について、正誤を正しく判断できる能力を獲得する。
個別目標：①不得意科目を克服する。
②新しく加わる科目の自然科学・論文・面接の知識を身につける。論文は、過去に出題された課題で出来るだけたくさん書く。

▌履修条件

選択科目である。2025 年度キャリアプランニングⅡ・Ⅲ (公務員クラス) の単位を取得していること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

授業内と学習支援システム manaba で実施。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として前学期￥6,900・後学期￥8,700・計￥15,600 を自己負担として回収する。それぞれ第 1 回授業で担当教員に証紙を提出すること。管理・研究棟 2 階の証紙券売機で購入すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：人文科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス(試験内容の確認、合格に向けて取り組むべきこと)、人文科学：世界史の問題演習と解説講義 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	16回	**授業テーマ：社会科学_後学期 1 回目** 授業内容：民主政治の基本原則・選挙制度、費用曲線と供給曲線の導出・余剰分析 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
2回	**授業テーマ：数的処理 1 回目** 授業内容：整数の性質、濃度計算・割合、速さの考え方 事前学修 2.0hr：整数の性質、濃度計算・割合、速さの考え方について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	17回	**授業テーマ：数的処理_後学期 1 回目** 授業内容：整数問題、不定方程式・場合の数、経路計算、速度計算 1 事前学修 2.0hr：整数、自然数、無理数、場合の数、速度の計算について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
3回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：行政国家に対する統制・選挙制度、市場全体の需要供給曲線と資源配分の最適化・不完全競争市場 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	18回	**授業テーマ：自然科学_後学期 1 回** 授業内容：自然科学(生物)(数学)(物理)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
4回	**授業テーマ：文章理解 1 回目** 授業内容：現代文・英文それぞれの解き方やより実践的な問題の解き方等 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	19回	**授業テーマ：自然科学_後学期 2 回目** 授業内容：自然科学(生物)(化学)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする／自然科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
5回	**授業テーマ：自然科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス・自然科学(地学) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	20回	**授業テーマ：社会科学_後学期 2 回目** 授業内容：主要国の政治制度・国際法と国際機関、国際貿易の基礎理論・財政政策と金融政策 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
6回	**授業テーマ：自然科学 2 回目** 授業内容：自然科学(数学)(生物)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	21回	**授業テーマ：社会科学_後学期 3 回目** 授業内容：日本国憲法が保障する人権・日本の統治制度、国際経済協力・戦後日本経済史／社会科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：自然科学 3 回目** 授業内容：自然科学(化学)(物理)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする／自然科学前期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	22回	**授業テーマ：面接・論文_後学期 1 回目** 授業内容：前学期の授業内容を踏まえ、取り組みやすい課題を取り上げ、本試験に向けて論文作成を行う。また、公務員試験の面接について最新の情報をもとに、模擬面接(個人)を実施する。 事前学修 2.0hr：面接・論文試験について調べておく 事後学修 2.0hr：授業で習ったことをまとめて活用できるように整理しておく
8回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：日本史の問題演習と解説講義 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	23回	**授業テーマ：面接・論文_後学期 2 回目** 授業内容：論文：より発展的な課題を取り上げ、本試験に向けて実践的な授業を行う。面接：１回目の授業を基に、模擬面接(個人及び集団)を行う。 事前学修 2.0hr：前回の面接・論文の授業で学んだ内容について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で習ったことをまとめて活用できるように整理しておく
9回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：日本の戦後政治史・国際法と国際関係、財政・金融政策 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	24回	**授業テーマ：時事_後学期 1 回目** 授業内容：社会で起こった出来事について学習する 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

10回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：地理の問題演習と解説講義／人文科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	25回	**授業テーマ：時事_後学期 2 回目** 授業内容：時事試験対策テキストに沿って解説授業を行う／時事確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
11回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：日本国憲法の仕組み、戦後の日本の経済事情／社会科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	26回	**授業テーマ：数的処理_後学期 2 回目** 授業内容：速度計算 2、ニュートン算、濃度計算、論理、ベン図の作成、線分図など 事前学修 2.0hr：速度計算 2、ニュートン算、濃度計算、論理、ベン図の作成、線分図について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
12回	**授業テーマ：面接・論文 1 回目** 授業内容：論文 1 回目(基礎編)公務員試験の論文と最近の試験傾向などの説明 面接 1 回目(基礎編)公務員試験の面接と最近の試験傾向などの説明 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	27回	**授業テーマ：数的処理_後学期 3 回目** 授業内容：対応、試合、順序、位置関係の問題など 事前学修 2.0hr：対応、試合、順序、位置関係の問題について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
13回	**授業テーマ：数的処理 2 回目** 授業内容：速度計算、場合の数・確率、図形の性質 事前学修 2.0hr：速度計算、場合の数・確率、図形の性質について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	28回	**授業テーマ：数的処理_後学期 4 回目** 授業内容：図形、求積の問題、空間把握のパズル、回転体の考え方など 事前学修 2.0hr：図形、求積の問題、空間把握のパズル、回転体の考え方について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：数的処理 3 回目** 授業内容：順序、論理、対応、試合の問題など 事前学修 2.0hr：順序、論理、対応、試合の問題について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	29回	**授業テーマ：数的処理_後学期 5 回目** 授業内容：立体構成、展開図の問題、資料解釈など／数的処理後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：立体構成、展開図、資料解釈について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
15回	**授業テーマ：数的処理 4 回目** 授業内容：真偽、位置関係の問題、空間把握の問題／数的処理前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：真偽、位置関係、空間把握について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	30回	**授業テーマ：模擬試験** 授業内容：本番を意識した模擬試験を行う。 事前学修 2.0hr：各科目のまとめをしておく 事後学修 2.0hr：自己採点をもとに試験に向けて学習計画を立てておく

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

範　弘宇（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアデザインでは、就職活動及び就職後に必要なビジネス日本語能力を総合的に育成することを目的とする。前学期は「聞く」「話す」技能に重点を置き、ビジネス場面での会話理解、適切な応答、報告・連絡・相談などのコミュニケーション能力を高める。後学期は「読む」「書く」技能に重点を置き、ビジネス文書の読解や、メール・報告書などの作成力を高める。さらに、日本の企業文化や職場における考え方への理解を深めるとともに、ビジネス場面で求められる日本語表現、ビジネスマナー、日本の習慣などを実践的に学び、実際の職場で適切に行動し、円滑なコミュニケーションができるようになることを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：就職活動を円滑に進め、就職後においても社会で活躍できる人材となるために必要なビジネス日本語能力およびコミュニケーション能力を習得する。

個別目標：(1) 日本の企業文化やビジネスマナー、職場におけるコミュニケーションの基本を理解し、状況や相手に応じた適切な語彙・表現を用いて、円滑にやり取りすることができる。

(2) 相手の発言に言葉どおりではない意図や配慮が含まれている場合でも、その意味を的確に読み取り、場面にふさわしい対応をとることができる。

(3) 一般的な社内文書、ビジネス文書、手紙・メールなどを、それぞれの目的や形式に則って、正確かつ適切に書くことができる。

(4) ビジネス場面における報告・連絡・相談などについて、必要な情報を取捨選択し、論理的な構成で、かつ簡潔で分かりやすい文章としてまとめることができる。

▌履修条件

・留学生を対象とするクラスである。
・課題の提出期限を守る。
・資格試験を積極的に受験する。

▌評価基準・方法

課題提出 40%、テスト 30%、資格取得 30%で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 及び対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、ロールプレイ、ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

村野節子、山辺真理子、向山陽子『上級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク
村野節子、向山陽子、山辺真理子『タスクで学ぶ日本語ビジネスメール・ビジネス文書』スリーエーネットワーク

▌参考書

白崎佐夜子『8 の基本ルールで学ぶ外国人のための仕事のメールの書き方』スリーエーネットワーク
ビジネス総合研究会『しっかり役立つビジネス文書実例集』法研
羽鳥美由紀『日本で働くための本　就活生から社会人まで』アスク出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、自己紹介を行う（社内）** 授業内容：授業の概要・目的・評価方法を理解する。事前テストを受ける。社内における自己紹介の流れや内容、必要なマナーを理解し、自己紹介時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、自己紹介の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業について理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１に取り組む。	16回	**授業テーマ：前学期の復習、ビジネスメールの基本** 授業内容：前学期に学習した日本の企業文化、ビジネスマナー・表現などの復習テストとフィードバックを受ける。社内メールと社外メールの違いを理解する。ビジネスメールの構成、基本マナー、よく使う表現を学び、状況に応じたメールを作成する。 事前学修 2.0hr：ビジネスメールで役に立つ表現の意味と使い方を調べておく。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１に取り組む。。
2回	**授業テーマ：自己紹介を行う（社外）** 授業内容：社外における自己紹介の場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。自己紹介時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、自己紹介の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題２に取り組む。	17回	**授業テーマ：ビジネス文書の基本** 授業内容：社内文章と社外文章の違い、それぞれの種類と特徴を理解する。様々な種類のビジネス文書を読み、構成、書式、表現の共通点と相違点を学ぶ。ビジネス文書の目的、対象者、内容に応じた適切な構成、基本マナー、よく使う表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビジネス文書で役に立つ表現の意味と使い方を調べておく。 事後学修 2.0hr：読解練習問題２に取り組む。
3回	**授業テーマ：電話を受ける** 授業内容：電話を受ける際、担当者に取り次ぐ場面と伝言を受ける場面を想定し、それぞれの話の流れや内容、必要なマナーを理解する。電話対応時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、電話対応の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題３に取り組む。	18回	**授業テーマ：お知らせ（社内）** 授業内容：社内お知らせメールの作成のポイント、お知らせへの返信メールのポイントを理解する。社内お知らせメールの構成、書式、表現を学び、新入社員歓迎会のお知らせメールを作成する。届いたお知らせメールの返信を作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題３に取り組む。
4回	**授業テーマ：アポイントを取る** 授業内容：アポイントを取る場面とアポイントを変更する場面を想定し、それぞれの話の流れや内容、必要なマナーを理解する。アポイントを取る際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、アポイントを取る事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題４に取り組む。	19回	**授業テーマ：お知らせ（社外）** 授業内容：社外お知らせメールの作成のポイント、お知らせへの返信メールのポイントを理解する。社外お知らせメールの構成、書式、表現を学び、展示会のお知らせメールを作成する。展示会のお知らせへの返信・転送メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題４に取り組む。

5回	**授業テーマ：会議に参加する** 授業内容：他部門が主催する会議に参加する場面を想定し、会議の流れや内容、必要なマナーを理解する。自分の意見を述べる際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、会議の会話事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題５に取り組む。	20回	**授業テーマ：お礼(社外)、日報(社内)** 授業内容：お礼メールの作成のポイントを理解し、展示会への来訪のお礼メールを作成する。日報の構成、書式、表現を学び、営業日報を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した営業日報をチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題５に取り組む。
6回	**授業テーマ：クレームを受ける** 授業内容：取引先からクレームの電話を受ける場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。クレーム対応時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、クレーム対応の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題６に取り組む。	21回	**授業テーマ：送付依頼** 授業内容：送付依頼メールの作成のポイント、送付依頼への返信メールのポイントを理解し、送付依頼メールと返信メールを作成する。発注と受注の違い、それぞれのポイントを理解し、発注メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題６に取り組む。
7回	**授業テーマ：クレームを報告する** 授業内容：取引先から受けたクレームを上司に報告する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。上司に報告する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、報告の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題７に取り組む。	22回	**授業テーマ：納期延長依頼** 授業内容：納期延長依頼メールの作成のポイント、納期延長依頼への返信メールのポイントを理解し、納期延長依頼メールと返信メールを作成する。代金振込通知メールの作成のポイントを理解し、通知メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題７に取り組む。
8回	**授業テーマ：クレームを処理する** 授業内容：取引先から受けたクレームを処理する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。クレームを処理する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、クレーム処理の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題８に取り組む。	23回	**授業テーマ：照会(在庫)** 授業内容：在庫照会メールの作成のポイント、在庫照会への回答メールのポイントを理解する。在庫照会メールと回答メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題８に取り組む。
9回	**授業テーマ：会議で提案する** 授業内容：課内の営業会議で提案する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。提案する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、会議での提案事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題９に取り組む。	24回	**授業テーマ：照会(商品未着・数量不足)** 授業内容：問い合わせメールとお詫びメールの作成のポイントを理解する。商品未着についての問い合わせメールと商品未着のお詫びメールを作成する。納品と納入の違いを理解し、納品数量の照会メールと数量不足のお詫びメールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題９に取り組む。
10回	**授業テーマ：新規顧客を開拓する** 授業内容：新規顧客を開拓するため、既存の取引先に紹介を依頼する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。依頼する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、依頼の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１０に取り組む。	25回	**授業テーマ：社内会議１(クレームを受ける)** 授業内容：議事録の構成、書式、表現を学び、議事録を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した議事録をチェックし合い、修正する。議事録の送付メールを作成する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１０に取り組む。
11回	**授業テーマ：新規顧客とアポイントを取る** 授業内容：新規顧客とアポイントを取る場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。アポイントを取る際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、ビジネス会話の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１１に取り組む。	26回	**授業テーマ：依頼(セミナーの講師)** 授業内容：依頼メールのポイント、依頼に対する断るメールのポイントを理解する。講師依頼メールと断るメールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１１に取り組む。
12回	**授業テーマ：商品を売り込む** 授業内容：取引先を訪問して商品を売り込む場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。初対面の表現や営業用語を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、ビジネス会話の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１２に取り組む。	27回	**授業テーマ：稟議書(伺い書)** 授業内容：稟議書の構成、書式、表現を学び、セミナー関連の稟議書を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した稟議書をチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１２に取り組む。
13回	**授業テーマ：催促の電話をかける** 授業内容：取引先に返事を促す電話場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。催促電話をかける際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、催促の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１３に取り組む。	28回	**授業テーマ：社内会議２(新規顧客を開拓する)** 授業内容：議事録の構成、書式、表現を復習し、議事録を具体的な内容で作成する。注意するメールのポイントを理解し、後輩に議事録について注意するメールを作成する。ペアワークで作成した議事録とメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１３に取り組む。
14回	**授業テーマ：交渉を進める** 授業内容：取引開始に向けた交渉場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。交渉する際に用いる語彙・表現などを学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、交渉の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１４に取り組む。	29回	**授業テーマ：出張報告** 授業内容：出張報告書の構成、書式、表現を学び、出張報告書を作成する。ペアワークで作成した報告書をチェックし合い、修正する。催促メールの作成のポイント、催促に対する返信メールの作成のポイントを理解する。出張経費精算書提出の催促メールと催促メールに対する返信を作成する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１４に取り組む。
15回	**授業テーマ：受注に成功する、まとめ・総合練習、中間テストとフィードバック** 授業内容：取引の具体的内容について話を詰める場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。話を詰める際に用いる語彙・表現などを学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。これまで学習した日本の企業文化、ビジネスマナー・表現を整理する。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１５に取り組む。	30回	**授業テーマ：始末書、まとめ・総合練習、最終テストとフィードバック** 授業内容：始末書の構成、書式、表現を学び、始末書を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した始末書をチェックし合い、修正する。これまで学習したビジネスメールとビジネス文書の構成や書き方を整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１５に取り組む。

インターンシップ A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

本学が定める企業等における実習・研修的な就業体験(インターンシップ)の成果に対して単位を認定する科目である。
この単位認定制度は、学生が自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことにより、学習意欲を喚起し、さらに、高い就業意識の涵養や自分の適性にあった職業について考える機会を提供することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：将来のキャリア形成のために、働くこととは何かを理解する。
個別目標：①業種及び職種形態に対するイメージのギャップを解消し、進路の方向性を判断することができる。
②社会人のマナーを理解し、身につけることができる。
③自己の強みや弱みを見つけ、学修における個々の目標を明確にできる。

▌履修条件

目的意識を持って就業体験に臨める学生。
詳細については、当該年度の実施要項及びガイダンス等で確認すること。

▌評価基準・方法

各 5 日以上 40 時間以上の研修時間を要する。
本人レポート、派遣先からの報告書、事前研修会の出席及び報告内容等よって単位を認定する。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （研修機関における資料、レポートの作成及び事後学修におけるレポートの作成等）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：エントリーシート、面接** 授業内容：エントリーシートの書き方、面接の受け方を学ぶ 事前学修 0.5hr：エントリーシートとは何かを調べる 事後学修 0.5hr：面接指導を受ける	16回	**授業テーマ：就業体験⑬** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
2回	**授業テーマ：履歴書** 授業内容：履歴書の書き方を学ぶ 事前学修 0.5hr：履歴書とは何かを調べる 事後学修 0.5hr：履歴書を実際に書く	17回	**授業テーマ：就業体験⑭** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
3回	**授業テーマ：ビジネスマナー** 授業内容：ビジネスマナー等を学ぶ 事前学修 0.5hr：事前研修資料を読み理解する 事後学修 0.5hr：事前研修で学んだことを復習する	18回	**授業テーマ：就業体験⑮** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
4回	**授業テーマ：就業体験①** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：業界・企業等研究を行う 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	19回	**授業テーマ：就業体験⑯** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
5回	**授業テーマ：就業体験②** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	20回	**授業テーマ：就業体験⑰** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
6回	**授業テーマ：就業体験③** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	21回	**授業テーマ：就業体験⑱** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
7回	**授業テーマ：就業体験④** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	22回	**授業テーマ：就業体験⑲** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
8回	**授業テーマ：就業体験⑤** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	23回	**授業テーマ：就業体験⑳** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
9回	**授業テーマ：就業体験⑥** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	24回	**授業テーマ：就業体験㉑** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
10回	**授業テーマ：就業体験⑦** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	25回	**授業テーマ：就業体験㉒** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
11回	**授業テーマ：就業体験⑧** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	26回	**授業テーマ：就業体験㉓** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する

12回	**授業テーマ：就業体験⑨** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	27回	**授業テーマ：就業体験㉔** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
13回	**授業テーマ：就業体験⑩** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	28回	**授業テーマ：就業体験㉕** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
14回	**授業テーマ：就業体験⑪** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	29回	**授業テーマ：就業体験㉖** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
15回	**授業テーマ：就業体験⑫** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	30回	**授業テーマ：報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 0.5hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 0.5hr：これまでの研修のまとめを行う

特別聴講科目 A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

【①千葉県私立大学(短期大学を含む。)及び放送大学間の単位互換制度】
　専門領域にとらわれない幅広く深い教養を身につけ、豊かな人間性を養うことを目的とし、協定を締結している他の大学等において履修した授業科目について修得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定する。
【②学内において実施する語学研修】
　学内において実施する語学研修の成果に対して単位を認定する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
　　②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。
個別目標：①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
　　②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌履修条件

①「派遣学生出願要項(本学)」及び協定大学等における募集要項で確認すること。
　なお、協定大学等については「履修の手引」又は「派遣学生出願要項(本学)」を参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌評価基準・方法

①協定大学等における開放授業科目の単位を修得した場合、所定の手続きを行うことにより本科目に置き換えて単位の認定をする。
　なお、単位認定方法(手続)等については、「履修の手引」又は「派遣学生出願要項(本学)」を参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌参考書

①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

特別聴講科目 A・B・C・D

授業内容

30 時間相当分の講義内容とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

事前学修

30 時間相当分の事前学修とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

事後学修

30 時間相当分の事後学修とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

ビジネススキル A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

TOEFL iBT、TOEIC Listening &Reading Test、実用英語技能検定などの技能審査や、各種資格取得等の成果を本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定する科目である。この単位認定制度は、より実践的な技術・技能を身につけることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：技能審査及び各種資格取得等の合格要件を満たす。
個別目標：技能審査及び各種資格取得等の合格要件に準ずる。

▌履修条件

単位認定科目のため特になし。

▌評価基準・方法

単位の認定には、申請手続きが必要となる。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

ビジネススキル A・B・C・D

授業内容

30 時間相当分の講義内容とする。
単位認定制度及び単位認定を受けることのできる技能審査・各種資格等の詳細については、履修の手引等を参照すること。

事前学修

30 時間相当分の事前学修とする。

事後学修

30 時間相当分の事後学修とする。

ビジネスコミュニケーション A・B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：集中 ｜ 備考：ビジネスコミュニケーションプログラム

豊田　順子（とよだ　じゅんこ）

▌授業の概要

社会人に求められる資質として、コミュニケーション能力はどんな場面においても、人間関係を構築する必要不可欠な能力です。とりわけビジネスにおいては、自身の持つ積極性・責任感を相手に理解してもらい、職場に合った対応力を発揮することで未来を切り拓くことにつながります。この集中プログラムでは、コミュニケーションを理論と実践の面から学び、将来ビジネスで活かしていく基礎力を身につけます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：今まで意識してこなかったコミュニケーションの様々な意味を多角的視点から理解し、個々の能力を改善することによって、就職活動で実践できる力を身につける。

個別目標：ビジネスにおける良いマナーを認識し、自らの課題を客観的に受けとめ、相手に好印象を与える自分自身の表現力を身につける。

▌履修条件

学事課（教務担当）で各自履修申請を行う。学事課（教務担当）の指示に従ってください。
また、1 クラス 10 名以内とし、受講生は先着順とします。

▌評価基準・方法

評価は S・A・B・C の評価ではなく N（認定）の判定とし、担当教員が下記の基準で判断します。
無遅刻、無欠席で受講した場合のみ単位を認定します。

▌フィードバック方法

各授業・最終講義内でコメントを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （他の学生の前で、自己紹介などのスピーチを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （但し、スマートフォンでの録画を行う。）

▌教科書

使用しません。

▌参考書

必要に応じ、授業内で案内します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

第 1 回：コミュニケーション・リテラシー（1）自己紹介
第 2 回：コミュニケーション・リテラシー（2）自己分析
第 3 回：ビジネス・スピーチの基本（1）呼吸法・発声
第 4 回：ビジネス・スピーチの基本（2）発音・滑舌
第 5 回：ビジネス・コミュニケーション（1）正しい敬語表現
第 6 回：ビジネス・コミュニケーション（2）メールの書き方・電話対応の基本
第 7 回：プレゼンテーション演習（1）総合演習
第 8 回：プレゼンテーション演習（2）総合演習

授業内容

第 1 回：現状の自己紹介を客観的に観察し、心理学的理論から第一印象に影響する改善点を発見する。
第 2 回：就職活動・ビジネスシーンにおける自己表現の取り組みを考える。「ガクチカ」と「自己 PR」をいかに表現して、社会人としての自分の可能性をアピールしていくかなどの方法を理解する。
第 3 回：他者とのコミュニケーションにおいて、自分の身体を意識的かつ有効に使うことの重要性を学ぶ。
第 4 回：他者とのコミュニケーションにおいて、身体的な「伝え方」を認識し、意識改革を図る。
第 5 回：日本語の正しい敬語表現を理論的に理解する。
第 6 回：ビジネスにおけるメールのやり取りや、電話での話し方の基本を学ぶ。
第 7 回：模擬面接を実施し（ビデオ撮影）、自分の印象を客観的に確認し、将来の自分の面接に活かすための改善点を認識する。
第 8 回：模擬面接を実施し（ビデオ撮影）、自分の印象を客観的に確認し、将来の自分の面接に活かすための改善点を認識する。

事前学修

第 1・2 回事前学習　2.0hr：1 分間の「自己紹介」で口頭表現できるよう準備しておく。
第 3・4 回事前学習　2.0hr：1 分間の「自己 PR」を口頭表現できるよう準備しておく。
第 5・6 回事前学習　2.0hr：1 分間の「自分が将来なりたい姿」を口頭表現できるよう準備しておく。
第 7・8 回事前学習　2.0hr：模擬面接でどんな質問を投げかけられるかを予想し、自分自身の意見を自らの言葉で表現できるよう準備しておく。

事後学修

第 1 回・第 2 回事後学習　2.0hr：自分の強みを言語化し、常に様々なアピールポイントを表現する応用力を身につける。
第 3 回・第 4 回事後学習　2.0hr：日常生活における自分の話し方を客観的に意識し続ける。
第 5 回・第 6 回事後学習　2.0hr：自分より立場が上の人との言葉遣いを意識し、積極的に学習した内容を実践していく。
第 7 回・第 8 回事後学習　2.0hr：自分自身のプレゼンテーション能力について反省点を整理し、実際の就職活動開始までに、何度もシミュレーションを重ねる。

資本市場の役割と証券投資

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）

廣部　恒忠（ひろべ　つねただ）

▌授業の概要

野村證券株式会社派遣講師が本授業を通じ、資本市場と証券投資に関する知識を与えている。
少子高齢化や人口減少などの人口動態の変化、「金利のある世界」への移行、成年年齢の引き下げなど我々の日常生活を取り巻く環境が著しく変化している中、自己責任の原則の下、一般生活者・消費者或いは貯蓄・投資者として賢くふるまうためには、ファイナンスに関する実践的な知識が必要不可欠となってきている。このような社会情勢等を鑑み、明海大学と野村證券株式会社が、活力ある社会と経済を形成していくための人材を育成する社会的使命を共有しつつ、広く人類・社会のより豊かな発展に寄与するため、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」を開設し、資本市場と証券投資に関して実践的に学んでいくものである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：・経済ニュースがわかるようになる。
・自分で投資できる力が身につく。
・社会人基礎力が身につく。

個別目標：・リスクとリターンの関係がわかる。　・証券投資におけるリスクを理解できる。
・債券と株式における違いを理解できる。　・投資信託の種類がわかる。

▌履修条件

金融業界に興味のある者。1 クラス 50 名以内とし、これを超える場合は成績等を勘案し選抜する。事前の産学連携教育プログラムガイダンスに出席し、履修すること。

▌評価基準・方法

授業への取り組み（40 %）及び参加態度（60 %）に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業中に適宜、或いは manaba を通じて実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし

▌参考書

「新・入門証券論」榊原茂樹、城下賢吾、岡村秀夫、山口聖、月岡靖智、北島孝博著／有斐閣コンパクト

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ガイダンス 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：第 1 回目授業の復習
2 回	**授業テーマ：経済情報の捉え方** 授業内容：様々な経済情報を通じて、どのように「経済」というものが成り立っているのかを理解していく。企業、家計、国、海外と各項目に分けることによってその関連性を確認し、経済情報の捉え方を学習する。 事前学修 2.0hr：経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 2 回目授業の復習
3 回	**授業テーマ：金融資本市場の役割とその変化** 授業内容：金融市場への理解を深める意味で、金融の仕組み、我が国の資金循環の状況、経済と関連した最近の構造的変化などを解説し、今後の展望を交えながら金融市場の役割を学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 3 回目授業の復習
4 回	**授業テーマ：債券市場の役割と投資の考え方 (基礎編)** 授業内容：債券の基本、債券と株式の違い、債券と預金の違い、債券の種類について学習する。また、債券投資のリスク、利率と利回りの違い、利回り計算の具体例を示し、計算問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 4 回目授業の復習
5 回	**授業テーマ：債券市場の役割と投資の考え方 (応用編)** 授業内容：債券価格（＝金利）の変動と景気・政策・需給などとの関連について理解を深める。また、債券投資に伴う投資リスクについても学習し、グローバルな債券投資についても学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 5 回目授業の復習
6 回	**授業テーマ：外国為替相場とその変動要因** 授業内容：外国為替に関する基本的な用語、メカニズムを学び、経済の動きとの関連に関し学習することにより、日本経済と世界経済との連動に対する理解を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 6 回目授業の復習
7 回	**授業テーマ：リスク・リターンとポートフォリオ分析」** 授業内容：「投資とは」、「リスクとは」、「リターンとは」という基礎知識について学習した後、リスクコントロールの基本的な考え方とその具体的な手法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 7 回目授業の復習
8 回	**授業テーマ：株式市場の役割と投資の考え方 (基礎編)** 授業内容：株式の誕生からその意義、原則などの基礎知識と、株式投資の魅力や株式市場について学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 8 回目授業の復習

9回	**授業テーマ：株式市場の役割と投資の考え方 (応用編)** 授業内容：株価の分析、評価方法を踏まえた銘柄選択の考え方などについて理解を深める。また、投資情報として投資に関するレポートなどを紹介する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 9 回目授業の復習
10回	**授業テーマ：投資信託の役割とその仕組み** 授業内容：「投資信託」という言葉の意味から、特徴、仕組みなどについて学習する。また、投資信託の選び方や最近注目されている投資信託についても、具体的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 10 回目授業の復習
11回	**授業テーマ：行動ファイナンス～投資家心理について** 授業内容：証券投資を行なう際の心構えとして、私たちの投資判断に影響を与える様々な心理的バイアスについて理解するとともに、その具体例を通して対処法と投資行動への応用法や「行動ファイナンス」の基本を学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 11 回目授業の復習
12回	**授業テーマ：ライフプランと資産形成** 授業内容：なぜライフプランが必要なのか、充実した将来のために必要な「ライフプラン」についての考え方を学習する。将来に予想される環境の理解と、私たちの暮らしに影響を与える年金制度改革の概要についても学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 12 回目授業の復習
13回	**授業テーマ：公的年金制度について** 授業内容：公的年金制度の仕組みや制度を詳しく学ぶ。年金制度を取り巻く変化や、改正への動きも把握し、自助努力の必要性を理解する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 13 回目授業の復習
14回	**授業テーマ：確定拠出年金について** 授業内容：確定拠出年金の仕組み、企業型と個人型の違いや税制のメリットとその効果等を具体的な運用商品の例も含めて学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 14 回目授業の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 1～15 回目授業の復習

はじめての起業講座(Start up Basics)

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：浦安商工会議所起業プログラム(寄附講座)

飯田　信一（いいだ　のぶかず）

▌授業の概要

本授業は、「起業は楽しい、ハードルが低い」というコンセプトのもと、起業を特別な人だけのものではなく、身近な選択肢の一つとして捉え直すことを目的とする。講義だけでなく、創業者の実体験に基づく講演、ワークショップ、グループワーク、プレゼンテーションを中心に構成し、学生自身が社会課題や身近な違和感を出発点としてビジネスアイデアを考え、事業計画として形にすることを目指す。講師陣は浦安商工会議所推薦の、起業に精通した、税理士、中小企業診断士、コンサルタント、起業家、金融機関担当者等の実務家であり、それぞれの実務経験を活かした実践的な内容を学ぶことができる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①起業・創業の基本的な考え方と心構えを理解する
②社会課題や自身の経験をもとにビジネスアイデアを構想できる
③マーケティング(3C・SWOT・STP 等)の基礎を実践的に使える
④資金調達や収支計画の基本構造を理解する

個別目標：学生が自ら考案したビジネスアイデアについて、事業計画書を作成し、発表できるレベルに到達することをゴールとする。

▌履修条件

２年生以上、起業に関心がある者。履修生は２４名以内とし、これを超える場合は成績等を勘案し選抜する。事前の産学連携教育プログラムガイダンスに出席すること。

▌評価基準・方法

グループワークでの取組み・参加姿勢（３０%）、授業課題の提出（３０%）、事業計画作成・発表（４０%）に基づき総合的に評価する。
なお、原則無欠席者のみ評価対象とする。

▌フィードバック方法

授業中に適宜実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼン資料作成、事業計画書作成など）

▌教科書

特になし

▌参考書

授業中適宜指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：起業とは何か** 授業内容：起業の定義、日本における起業の現状を整理。「起業＝特別な才能が必要」という固定観念を問い直し、小さく始める起業など多様なスタイルを紹介する。 事前学修 2.0hr：起業に対する自らの思い、志の整理 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
2回	**授業テーマ：起業者講演会①** 授業内容：地元・浦安で実際に起業した経営者 2 名による講演。起業のきっかけ、初期の苦労、失敗談、現在に至るまでのプロセスを通じて、リアルな起業像を学ぶ。 事前学修 2.0hr：起業者の事業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
3回	**授業テーマ：起業者講演会②** 授業内容：地元・浦安で実際に起業した経営者 2 名による講演。起業のきっかけ、初期の苦労、失敗談、現在に至るまでのプロセスを通じて、リアルな起業像を学ぶ。 事前学修 2.0hr：起業者の事業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
4回	**授業テーマ：社会課題をテーマとした起業** 授業内容：社会課題解決型ビジネス(ソーシャルビジネス)の考え方を学ぶ。地域活性化(千葉県内)など身近な社会課題をビジネスに結びつける視点を具体的事例を通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
5回	**授業テーマ：自己分析とビジネスアイデアの整理** 授業内容：自身の経験・強み・関心を棚卸し整理し、ビジネスアイデアの種を洗い出す。 事前学修 2.0hr：自己分析、ビジネスアイデア整理の準備作業 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
6回	**授業テーマ：ビジネスアイデアの整理、深堀り** 授業内容：前回で抽出したアイデアをもとに、誰のどんな課題を解決するのかを明確化する。グループワークを通じてアイデアのブラッシュアップを行う。 事前学修 2.0hr：ビジネスアイデアの整理、精査 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
7回	**授業テーマ：マーケティング基礎(戦略・3C・SWOT)** 授業内容：マーケティングの基本的な考え方を学ぶ。戦略概念、3C 分析、SWOT 分析を用いてビジネスアイデアを分析する演習を行う。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
8回	**授業テーマ：マーケティング(STP)** 授業内容：STP（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング)の考え方を学び、演習を行う。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習

9回	**授業テーマ：マーケティング(集客・愛顧化)** 授業内容：集客方法や顧客との関係構築(リピート・愛顧化)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
10回	**授業テーマ：マーケティング分析** 授業内容：履修生が自身のビジネスアイデアについてマーケティング分析を行い、発表する(グループワーク)。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
11回	**授業テーマ：資金調達(クラウドファンディング)** 授業内容：資金調達の基礎と、クラウドファンディングの仕組みを具体的事例を通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
12回	**授業テーマ：資金調達・収支計画の立て方** 授業内容：事業の「お金の流れ」を理解し、収益・費用構造、簡単な収支計画の立て方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
13回	**授業テーマ：事業計画書の作成** 授業内容：実現可能性や一貫性を意識しながら、学習内容を整理・統合し、事業計画書を作成する。 事前学修 2.0hr：事業計画書案の作成 事後学修 2.0hr：事業計画書案の見直し、精査
14回	**授業テーマ：事業計画書プレゼンテーション①** 授業内容：履修生によるグループ毎の事業計画書の最終プレゼンテーション(前半)。外部講師からの講評を通じて、実践的な視点を得る。 事前学修 2.0hr：事業計画書の作成、精査 事後学修 2.0hr：講評に基づいた事業計画書の修正、精査
15回	**授業テーマ：事業計画書プレゼンテーション②、まとめ** 授業内容：履修生によるグループ毎の事業計画書の最終プレゼンテーション(後半)。外部講師からの講評を通じて、実践的な視点を得る。授業全体の振り返りを行い、起業を「将来の選択肢」として捉え直す。 事前学修 2.0hr：事業計画書の作成、精査 事後学修 2.0hr：講評に基づいた事業計画書の修正、精査

アカデミック日本語Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

富樫　里真（とがし　りま）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅰの内容は「文法」である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。授業外には事前学修、事後学修、課題に取り組み、授業内では毎回小テストがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 を取得している。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

福島佐知、友松悦子、中村かおり『新完全マスター文法 N1』スリーエーネットワーク

▌参考書

『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、時間関係** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。時間関係を表す文法表現「～が早いか」「～や否や」「～なり」「そばから」「てからというもの (は)」「～にあって」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：結末・最終の状態、前学期の復習** 授業内容：結末・最終の状態を表す表現「～に至って」「～に至っては」「～始末だ」「～っぱなしだ」を練習する。第１回から第１５回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：範囲の始まり・限度** 授業内容：範囲の始まり・限度を表す文法表現「～を皮切りに(して)」「～に至るまで」「～を限りに」「～をもって」「～といったところだ」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：強調** 授業内容：強調を表す表現「～たりとも～ない」「～すら」「～だに」「～にして」「～あっての」「～からある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：限定・非限定・付加** 授業内容：限定・非限定・付加を表す文法表現「～をおいて」「～ならでは」「～にとどまらず」「～はおろか」「～もさることながら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：主張・断定** 授業内容：主張・断定を表す表現「～までもない」「～までだ」「～ばそれまでだ」「～には当たらない」「～でなくてなんだろう(か)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：例示** 授業内容：例示を表す文法表現「～なり～なり」「～であれ～であれ」「～といい～といい」「～といわず～といわず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：評価・感想** 授業内容：評価・感想を表す表現「～に足る」「～に堪える」「～といったらない」「～かぎりだ」「～極まる／極まりない」「～とは」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：関連・無関係** 授業内容：関連・無関係を表す文法表現「～いかんだ」「～いかんにかかわらず」「～をものともせず(に)」「～をよそに」「～ならいざしらず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 5 を練習する。	20回	**授業テーマ：心情・強制的思い** 授業内容：心情・強制的思いを表す表現「～てやまない」「～に堪えない」「～ないではすまない」「～ないではおかない」「～禁じ得ない」「～余儀なくされる」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 20 を練習する。
6回	**授業テーマ：様子** 授業内容：様子を表す文法表現「～ばかりだ」「～ばかり(に)」「～ともなく」「～ながらに(して)」「～きらいがある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 6 を練習する。	21回	**授業テーマ：文の組み立て** 授業内容：文の組み立てルール「後に否定の言い方が来るもの」「疑問詞につくもの」「数字につくもの」、名詞を説明「後に名詞が来るもの」「名詞を説明する形式」「名詞につくもの」「名詞・動詞辞書形につながるもの」「動詞辞書形につながるもの」を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 21 を練習する。
7回	**授業テーマ：付随行動** 授業内容：付随行動を表す文法表現「～がてら」「～かたがた」「～かたわら」を練習する。第１回から第４回の復習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 7 を練習する。	22回	**授業テーマ：時制** 授業内容：時制を表す用法「現在の文の特別な用法」「過去形の文の特別な用法」「動詞のている形の特別な用法」「名詞を説明する文の時制」を整理し、文章の中で使えるよう練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 22 を練習する。

8回	**授業テーマ：逆接** 授業内容：逆接を表す文法表現「～ところを」「～ものを」「～とはいえ」「～といえども」「～と思いきや」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 8 を練習する。	23回	**授業テーマ：条件を表す文** 授業内容：仮定か確定かの判断、反実仮想、前置き表現など条件を表す文法形式を整理し、文章の中で使えるよう練習する。第１回から第２０回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 23 を練習する。
9回	**授業テーマ：条件** 授業内容：条件を表す文法表現「～とあれば」「～たら最後」「～ようでは」「～なしに(は)」「～くらいなら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 9 を練習する。	24回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 1,2** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「動詞の使い方」「自他動詞の使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 24 を練習する。
10回	**授業テーマ：逆接条件** 授業内容：逆接表現「～(よ)うと(も)」「～(よ)うと～まいと」「～であれ」「～たところで」「～ば～で」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 10 を練習する。	25回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 3,4** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「受け身・使役・使役受け身の使い分け」「～てあげる・～てもらう・～てくれるの使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 25 を練習する。
11回	**授業テーマ：目的・手段** 授業内容：目的・手段を表す文法表現「～べく」「～んがため(に)」「～をもって」を練習する。第１回～第８回の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 11 を練習する。	26回	**授業テーマ：模擬試験とフィードバック** 授業内容：これまで学習した文法をどの程度理解しているか測定するテストを実施する。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 26 を練習する。
12回	**授業テーマ：原因・理由** 授業内容：原因・理由を表す表現「～ばこそ」「～とあって」「～ではあるまいし」「～手前」「～ゆえ(に)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 12 を練習する。	27回	**授業テーマ：指示表現「こ・そ・あ」の使い分け、「は・が」の使い分け** 授業内容：文章中に出てくる指示表現の使い分けと「は・が」の使い分けを整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 27 を練習する。
13回	**授業テーマ：可能・不可能・禁止** 授業内容：可能・不可能・禁止を表す表現「～にかたくない」「～に～ない」「～てはいられない」「～べくもない」「～べからず」「～まじき」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 13 を練習する。	28回	**授業テーマ：接続表現** 授業内容：文章の展開を助け、文章のまとまりをもたせる役割をもつ接続表現を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 28 を練習する。
14回	**授業テーマ：話題・評価の基準** 授業内容：話題・評価の基準を表す表現「～ときたら」「～ともなると」「～ともあろう」「～たるもの」「～なりに」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 14 を練習する。	29回	**授業テーマ：省略・繰り返し・言い換え、文体の一貫性、話の流れを考える** 授業内容：文章中の省略、繰り返し、言い換えを理解する。文体の一貫性を保つための表現「硬い表現」「会話で使う表現」を整理し、練習する。話しの進め方にかかわる表現を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 29 を練習する。
15回	**授業テーマ：比較対照、中間テストとフィードバック** 授業内容：比較対照を表す表現「～にひきかえ」「～にもまして」「～ないまでも」を練習する。第１回～第１４回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 15 を練習する。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：第１回から第２９回までに学習した内容を最終テストする。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

高柳　奈月（たかやなぎ　なつき）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語 I の内容は「文法」である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。授業外には事前学修、事後学修、課題に取り組み、授業内では毎回小テストがある。

▌到達目標

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

『文法 Buddy JLPT 日本語能力試験 N2 一文法からひろげる日本語トレーニングー』The Japan Times

▌参考書

『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、第１課①～④** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：これまで学習した文法知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	16回	**授業テーマ：第８課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
2回	**授業テーマ：第１課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	17回	**授業テーマ：第 9 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
3回	**授業テーマ：第２課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	18回	**授業テーマ：第 9 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
4回	**授業テーマ：第２課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	19回	**授業テーマ：第 10 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
5回	**授業テーマ：第３課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 10 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
6回	**授業テーマ：第３課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	21回	**授業テーマ：第 11 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
7回	**授業テーマ：第４課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	22回	**授業テーマ：第 11 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
8回	**授業テーマ：第４課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	23回	**授業テーマ：第 12 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。

9回	**授業テーマ：第５課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	24回	**授業テーマ：第 12 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
10回	**授業テーマ：第５課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 13 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
11回	**授業テーマ：第６課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	26回	**授業テーマ：第 13 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
12回	**授業テーマ：第６課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	27回	**授業テーマ：第 14 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
13回	**授業テーマ：第７課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	28回	**授業テーマ：第 14 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
14回	**授業テーマ：第７課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	29回	**授業テーマ：第 15 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
15回	**授業テーマ：第８課①～④、中間テストとフィードバック** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。第１回～第１４回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	30回	**授業テーマ：第 15 課⑤～⑧、まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。第 1 回～第 29 回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。

アカデミック日本語Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス（留 H）

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。「アカデミックⅠ」は日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：背景の異なるさまざまな人と一緒に働くことを想定し、社内外の人と担当領域から一般的なものまで幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を用いて、言いたいことを概ね表現できる。その場にふさわしい丁寧さで自然なコミュニケーションをとることができる。

個別目標：(1) 日本語話者を相手に一般的な事柄についてストレスを感じさせることなく流暢に会話することができる。
(2) 日本のビジネスマナー、コミュニケーションスタイルに関する基本的な知識があり、状況に応じた表現を使い分けることができる。
(3) 相手の発言に言葉の内容とは異なる意図が含まれている場合、その意図を概ね理解して的確に対応することができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N1 を取得している。
日本語のコミュニケーション能力を客観的に測る資格試験を受験する。
授業への主体的な参加を求める。
課題提出の期限を守る。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、テスト 30%、課題提出 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba および対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアおよびグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

村野節子・山辺真理子・向山陽子『上級レベル　ロールプレイで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク
牧野成一 (監)『PJC 実践日本語コミュニケーション検定ガイドブック』ウィネット出版

▌参考書

JAL アカデミー株式会社『改訂新版 ビジネス日本語用例辞典』アスク
公益財団法人日本電信電話ユーザー協会編『もしもし検定電話対応技能検定３・４級公式問題集』日本経済新聞出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、自己紹介を行う（社内）** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価方法について理解する。そのあと、社内で自己紹介を行う場面の会話を聞いて語彙と表現を学習し、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。 事前学修 2.0hr：ビジネスにおける日本語コミュニケーションにおいて必要な知識をまとめる。 事後学修 2.0hr：自身の日本語ビジネス日本語コミュニケーション能力について客観的に分析し、目標を立てる。	16回	**授業テーマ：私の言い分「私は能力のある人間です」異文化ロールプレイ「自慢話と自己アピール」、前学期の復習** 授業内容：私の言い分「私は能力のある人間です」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「自慢話と自己アピール」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。前学期の復習をする。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。前学期の復習をしておく。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
2回	**授業テーマ：自己紹介を行う（社外）** 授業内容：社外で自己紹介を行う場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開、表現を学習する。PJC の概要を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。PJC について調べる。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	17回	**授業テーマ：私の言い分「お茶くみは誰の仕事？」異文化ロールプレイ「仕事の範囲」、会議・打ち合わせ、面接** 授業内容：私の言い分「お茶くみは誰の仕事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「仕事の範囲」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。「会議・打ち合わせ、面接」について学習する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
3回	**授業テーマ：電話を受ける、社会人としての心構え** 授業内容：電話を受ける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。社会人としての心構えを学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	18回	**授業テーマ：私の言い分「家庭と仕事、どっちが大事？」異文化ロールプレイ「休暇の申請」** 授業内容：私の言い分「家庭と仕事、どっちが大事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「休暇の申請」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
4回	**授業テーマ：アポイントを取る、人間関係の作り方①コミュニケーションを取る際の留意点、敬語** 授業内容：アポイントを取る場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。コミュニケーションを取る際の留意点、敬語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	19回	**授業テーマ：私の言い分「会議で使う資料はいつまでに作ればいい？」異文化ロールプレイ「指示の仕方」** 授業内容：私の言い分「会議で使う資料はいつまでに作ればいい？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「指示の仕方」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
5回	**授業テーマ：会議に参加する、人間関係の作り方②効果的な伝え方、話の組み立て方、ビジネスにおける指示の受け方、確認の仕方** 授業内容：会議に参加する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。効果的な伝え方、話の組み立て方、ビジネスにおける指示の受け方、確認の仕方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	20回	**授業テーマ：私の言い分「沈黙は金？」異文化ロールプレイ「ミーティングでの発言」** 授業内容：私の言い分「沈黙は金？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「ミーティングでの発言」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。

6回	**授業テーマ：クレームを受ける、人間関係の作り方③あいづちの打ち方、依頼の断り方、日本文化特有のコミュニケーション** 授業内容：クレームを受ける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。あいづちの打ち方、依頼の断り方、日本文化特有のコミュニケーションを学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	21回	**授業テーマ：私の言い分「どうして謝らなきゃいけないの？」異文化ロールプレイ「謝罪」** 授業内容：私の言い分「どうして謝らなきゃいけないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「謝罪」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
7回	**授業テーマ：クレームを報告する、効率的な仕事の進め方①報告連絡相談、PDCA、仕事の優先順位** 授業内容：クレームを報告する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。報告連絡相談、PDCA、仕事の優先順位を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	22回	**授業テーマ：私の言い分「もう解決したんじゃないの？」異文化ロールプレイ「報告ー解決済みの小さなトラブル」** 授業内容：私の言い分「もう解決したんじゃないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「報告ー解決済みの小さなトラブル」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
8回	**授業テーマ：クレームを処理する、効率的な仕事の進め方②来客対応** 授業内容：クレームを処理する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。来客対応を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	23回	**授業テーマ：私の言い分「報連相は大事？」異文化ロールプレイ「報告・連絡・相談」** 授業内容：私の言い分「報連相は大事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「報告・連絡・相談」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
9回	**授業テーマ：会議で提案する、効率的な仕事の進め方③電話応対** 授業内容：会議で提案する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。電話応対を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	24回	**授業テーマ：私の言い分「情報の共有って？」異文化ロールプレイ「メールでの情報の共有」** 授業内容：私の言い分「情報の共有って？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「メールでの情報の共有」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
10回	**授業テーマ：新規顧客を開拓する、効率的な仕事の進め方④アポイントメント** 授業内容：新規顧客を開拓する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。アポイントメントについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	25回	**授業テーマ：私の言い分「人前で怒るなんて！」異文化ロールプレイ「メンツー人前での叱責」** 授業内容：私の言い分「人前で怒るなんて！」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「メンツー人前での叱責」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
11回	**授業テーマ：新規顧客とアポイントをとる、効率的な仕事の進め方④名刺交換、E メール** 授業内容：新規顧客とアポイントをとる場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。名刺交換、E メールの活用方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	26回	**授業テーマ：私の言い分「目標は高いほうがいいに決まっているじゃない？」異文化ロールプレイ「目標設定と評価」** 授業内容：私の言い分「目標は高いほうがいいに決まっているじゃない？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「目標設定と評価」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
12回	**授業テーマ：商品を売り込む、模擬問題①基礎知識編とフィードバック** 授業内容：商品を売り込む場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。基礎知識の習得を模擬問題で確認する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	27回	**授業テーマ：私の言い分「能力だけじゃいけないの？」異文化ロールプレイ「同僚の昇進と不満」** 授業内容：私の言い分「能力だけじゃいけないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「同僚の昇進と不満」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
13回	**授業テーマ：催促の電話をかける、他社訪問、接遇・接客、クレーム対応** 授業内容：催促の電話をかける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。他社訪問、接遇・接客、クレーム対応を学習する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	28回	**授業テーマ：私の言い分「縁故採用のどこが問題？」異文化ロールプレイ「コネ縁故採用」** 授業内容：私の言い分「縁故採用のどこが問題？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「コネ縁故採用」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
14回	**授業テーマ：交渉を進める、模擬問題②事例編とフィードバック** 授業内容：交渉を進める場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。模擬問題②事例編を行い、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	29回	**授業テーマ：私の言い分「残業は当たり前？」異文化ロールプレイ「残業」** 授業内容：私の言い分「残業は当たり前？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「残業」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
15回	**授業テーマ：受注に成功する、中間テストとフィードバック** 授業内容：受注に成功する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。中間テストとフィードバックを受け、学習内容を整理する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	30回	**授業テーマ：私の言い分「最高の接待はお腹がすくもの？」、最終テストとフィードバック** 授業内容：私の言い分「最高の接待はお腹がすくもの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：自身の日本語ビジネス日本語コミュニケーション能力について客観的に分析し、１年間の成長をまとめる。

アカデミック日本語Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

荷見　美有（はすみ　みゆう）・**範　弘宇**（はん　こうう）・**堀内　貴子**（ほりうち　たかこ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅰの内容は文法である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N2 を取得している。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

福島佐知・友松悦子・中村かおり『新完全マスター文法 N1』スリーエーネットワーク

▌参考書

友松悦子・和栗 雅子・宮本 淳『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、時間関係** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。時間関係を表す文法表現「～が早いか」「～や否や」「～なり」「そばから」「てからというもの(は)」「～にあって」を練習する。 事前学修 2.0hr：これまで学習した文法知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：結末・最終の状態** 授業内容：結末・最終の状態を表す表現「～に至って」「～に至っては」「～始末だ」「～っぱなしだ」を練習する。第１回から第１５回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：範囲の始まり・限度** 授業内容：範囲の始まり・限度を表す文法表現「～を皮切りに(して)」「～に至るまで」「～を限りに」「～をもって」「～といったところだ」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17回	**授業テーマ：強調** 授業内容：強調を表す表現「～たりとも～ない」「～すら」「～だに」「～にして」「～あっての」「～からある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3回	**授業テーマ：限定・非限定・付加** 授業内容：限定・非限定・付加を表す文法表現「～をおいて」「～ならでは」「～にとどまらず」「～はおろか」「～もさることながら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18回	**授業テーマ：主張・断定** 授業内容：主張・断定を表す表現「～までもない」「～までだ」「～ばそれまでだ」「～には当たらない」「～でなくてなんだろう(か)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4回	**授業テーマ：例示** 授業内容：例示を表す文法表現「～なり～なり」「～であれ～であれ」「～といい～といい」「～といわず～といわず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19回	**授業テーマ：評価・感想** 授業内容：評価・感想を表す表現「～に足る」「～に堪える」「～といったらない」「～かぎりだ」「～極まる／極まりない」「～とは」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5回	**授業テーマ：関連・無関係** 授業内容：関連・無関係を表す文法表現「～いかんだ」「～いかんにかかわらず」「～をものともせず(に)」「～をよそに」「～ならいざしらず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20回	**授業テーマ：心情・強制的思い** 授業内容：心情・強制的思いを表す表現「～てやまない」「～に堪えない」「～ないではすまない」「～ないではおかない」「～禁じ得ない」「～余儀なくされる」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
6回	**授業テーマ：様子** 授業内容：様子を表す文法表現「～ばかりだ」「～ばかり(に)」「～ともなく」「～ながらに(して)」「～きらいがある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	21回	**授業テーマ：文の組み立て** 授業内容：文の組み立てルール「後に否定の言い方が来るもの」「疑問詞につくもの」「数字につくもの」、名詞を説明「後に名詞が来るもの」「名詞を説明する形式」「名詞につくもの」「名詞・動詞辞書形につながるもの」「動詞辞書形につながるもの」を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

7回	**授業テーマ：付随行動** 授業内容：付随行動を表す文法表現「～がてら」「～かたがた」「～かたわら」を練習する。第１回から第４回の復習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8回	**授業テーマ：逆接** 授業内容：逆接を表す文法表現「～ところを」「～ものを」「～とはいえ」「～といえども」「～と思いきや」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9回	**授業テーマ：条件** 授業内容：条件を表す文法表現「～とあれば」「～たら最後」「～ようでは」「～なしに(は)」「～くらいなら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10回	**授業テーマ：逆接条件** 授業内容：逆接表現「～(よ)うと(も)」「～(よ)うと～まいと」「～であれ」「～たところで」「～ば～で」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11回	**授業テーマ：目的・手段** 授業内容：目的・手段を表す文法表現「～べく」「～んがため(に)」「～をもって」を練習する。第１回～第８回の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12回	**授業テーマ：原因・理由** 授業内容：原因・理由を表す表現「～ばこそ」「～とあって」「～ではあるまいし」「～手前」「～ゆえ(に)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13回	**授業テーマ：可能・不可能・禁止** 授業内容：可能・不可能・禁止を表す表現「～にかたくない」「～に～ない」「～て(は)いられない」「べくもない」「～べからず」「～まじき」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14回	**授業テーマ：話題・評価の基準** 授業内容：話題・評価の基準を表す表現「～ときたら」「～ともなると」「～ともあろう」「～たるもの(は)」「～なりに」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15回	**授業テーマ：比較対照、総合練習、中間テストとフィードバック** 授業内容：比較対照を表す表現「～にひきかえ」「～にもまして」「～ないまでも」を練習する。第１回～第１４回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
22回	**授業テーマ：時制** 授業内容：時制を表す用法「現在の文の特別な用法」「過去形の文の特別な用法」「動詞のている形の特別な用法」「名詞を説明する文の時制」を整理し、文章の中で使えるよう練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
23回	**授業テーマ：条件を表す文** 授業内容：仮定か確定かの判断、反実仮想、前置き表現など条件を表す文法形式を整理し、文章の中で使えるよう練習する。第１回から第２０回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
24回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 1,2** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「動詞の使い方」「自他動詞の使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
25回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 3,4** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「受け身・使役・使役受け身の使い分け」「～てあげる・～てもらう・～てくれるの使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
26回	**授業テーマ：模擬試験とフィードバック** 授業内容：これまで学習した文法をどの程度理解しているか測定するテストを実施する。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
27回	**授業テーマ：指示表現「こ・そ・あ」の使い分け、「は・が」の使い分け** 授業内容：文章中に出てくる指示表現「こ・そ・あ」の使い分けと「は・が」の使い分けを整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
28回	**授業テーマ：接続表現** 授業内容：文章の展開を助け文章のまとまりをもたせる役割をもつ接続表現を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
29回	**授業テーマ：省略・繰り返し・言い換え、文体の一貫性、話の流れを考える** 授業内容：文章中の省略、繰り返し、言い換えを理解する。文体の一貫性を保つための表現「硬い表現」「会話で使う表現」を整理し、練習する。話しの進め方にかかわる表現を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：第１回から第２９回までに学習した内容をテストする。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

林　苗（りん　みょう）

▌授業の概要

「アカデミック日本語」では大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。「アカデミック日本語Ⅱ」の内容は読解である。さまざまな目的で書かれた長くて複雑な文章の中身を詳細に理解できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
　　要点の把握を含め、理解のために多様な読解ストラテジーを駆使でき、文脈上の手がかりから理解の当否を確かめることができる。
　　自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
　　(2) 文章の論理的な構造（主張と根拠、事実と考察など）を正しく理解できる。
　　(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
　　(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
　　(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
　　(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 を取得している。
各学期に日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアワークもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

奥山貴之、宇津木奈津子、東会娟『考える人の上級日本語読解』凡人社
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N1』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：新聞等日本語の文章を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：貿易の基本原理－比較優位** 授業内容：文章「貿易の基本原理－比較優位」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：ゲームの今と将来** 授業内容：文章「ゲームの今と将来」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：グローバル化とどう向き合うか** 授業内容：文章「グローバル化とどう向き合うか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：ゲームは悪影響を及ぼすのか？** 授業内容：文章「ゲームは悪影響を及ぼすのか？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：ある熟年夫婦の関係性** 授業内容：文章「ある熟年夫婦の関係性」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：私の名は。** 授業内容：文章「私の名は。」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：女性の働き方** 授業内容：文章「女性の働き方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：多言語状況を考える** 授業内容：文章「多言語状況を考える」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 1 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：いのちの『終わり』は誰が決めるのか** 授業内容：文章「いのちの『終わり』は誰が決めるのか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：幸福度の低い日本の子ども** 授業内容：文章「幸福度の低い日本の子ども」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：いのちを “つくって” もいいですか** 授業内容：文章「いのちを “つくって” もいいですか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：『自尊感情を高めよう』を再考** 授業内容：文章「『自尊感情を高めよう』を再考」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：科学は魔法？** 授業内容：文章「科学は魔法？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：科学と社会の関係が変わるとき** 授業内容：文章「科学と社会の関係が変わるとき」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：高度経済成長期の日本** 授業内容：文章「高度経済成長期の日本」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：高持続可能な社会** 授業内容：文章「高持続可能な社会」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：研究とは―研究は勉強とまったく違う** 授業内容：文章「研究とは―研究は勉強とまったく違う」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：フィールドワーク研究の意義** 授業内容：文章「フィールドワーク研究の意義」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：人生の先輩が教えるキャリアのつくり方** 授業内容：文章「人生の先輩が教えるキャリアのつくり方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：レジュメ作成** 授業内容：レジュメ作成例を参考にしながらレジュメを作成する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは** 授業内容：文章「変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：レジュメ発表** 授業内容：作成したレジュメの発表を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

富樫　里真（とがし　りま）

▌授業の概要

「アカデミック日本語」では大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。「アカデミック日本語Ⅱ」の内容は読解である。さまざまな目的で書かれた文章の中身を理解し、多角的に考察できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
多様なテーマについて自ら考え、判断し、表現する力を育成する。
自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
(2) 文章の論理的な構造（主張と根拠、事実と考察など）を正しく理解できる。
(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
各学期に日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

西隈俊哉（編）『読む聞く考える日本語トレーニング』アスク
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N2』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、待ち合わせをする** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。「待ち合わせをする」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：日本語で書かれたニュース、小説等を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：心理学を学ぶ、芸術を学ぶ** 授業内容：「心理学を学ぶ」「芸術を学ぶ」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：本を選ぶ、荷物を受け取る** 授業内容：「本を選ぶ」「荷物を受け取る」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：旅の話、仕事の話** 授業内容：「旅の話」「仕事の話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：外食をする、料理を作る** 授業内容：「外食をする」「料理を作る」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：進路の話、大切な人** 授業内容：「進路の話」「大切な人」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：電車を利用する、薬の使い方を確認する** 授業内容：「電車を利用する」「薬の使い方を確認する」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：お悩み相談、開発秘話** 授業内容：「お悩み相談」「開発秘話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：生活のルールを確認する、イベント** 授業内容：「生活のルールを確認する」「イベント」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 1 回を練習する。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：街角インタビュー、評論** 授業内容：「街角インタビュー」「評論」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：事故、地域** 授業内容：「事故」「地域」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：動物の気持ち、童話** 授業内容：「動物の気持ち」「童話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：災害、トレンド** 授業内容：「災害」「トレンド」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：タイムスリップ** 授業内容：「タイムスリップ」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：ラブストーリー** 授業内容：「ラブストーリー」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：トラブル、政治** 授業内容：「トラブル」「政治」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：国際、仕事の連絡** 授業内容：「国際」「仕事の連絡」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：未来の世界** 授業内容：「未来の世界」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：夢の中** 授業内容：「夢の中」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：業務の説明、アンケート結果の分析** 授業内容：「業務の説明」「アンケート結果の分析」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：時代劇** 授業内容：「時代劇」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：企画会議、調べたことの発表** 授業内容：「企画会議」「調べたことの発表」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：怪談** 授業内容：「怪談」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：実験結果の発表、中間テストとフィードバック** 授業内容：「実験結果の発表」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅱの内容は読解である。ビジネスにかかわる新聞記事によく見られる語彙・表現の習得、未知語への対応のしかたなどの練習を通じて正確な理解を身に付ける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日常的なビジネス文書、ビジネスに関する新聞の資料を読み、内容を正確に理解できる。
個別目標：(1)日本語で新聞記事を正確に読むことができる。
(2)ビジネスにかかわる資料を読んで、企画を提案するプレゼンテーションができる。
(3)他者と意見を交換し、さまざまな価値観、考え方について比較し、対照できる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
各学期にビジネス日本語能力を客観的に測る資格試験を受験する。
自分のビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、テスト 30%、課題提出 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回、他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

澁川晶・高橋紗弥子・庵功雄『留学生のためのジャーナリズムの日本語―新聞・雑誌で学ぶ重要語彙と表現―』スリーエーネットワーク
近藤彩・品田潤子・金孝卿・内海美也子『課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション〈改訂新版〉』ココ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：授業の内容、進め方について説明を聞き、これからどんなことを学習するのかイメージし、目的意識を持って学習を進められるよう動機づけを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでコースの内容を把握する。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：企業の求める人材** 授業内容：仕事で成果を上げるためのスキルについて日本と自国の共通点を見出す。自分の専門分野や関心の範囲で企業ガイダンスや説明会資料を読み、企業の求める人材を理解する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：体に関連のある語彙・表現** 授業内容：体に関連のある語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：企業ガイダンス** 授業内容：企業ガイダンスを聞いて、重要事項を漏らさずノートをとる練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：体に関連のある語彙・表現が含まれた読解** 授業内容：体に関連のある語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：会社概要の調査** 授業内容：企業のパンフレット、企業のホームページ等ある程度長い文章にざっと目を通して読み、ポイントを理解する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(1)身近なものに関連のある語彙・表現** 授業内容：身近なものに関連のある語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：就職のための提出書類** 授業内容：長所や短所をはじめ簡単な自己 PR 文を就職のための提出資料に書き、クラスメートと評価しあう。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：身近なものに関連のある語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：身近なものに関連のある語彙・表現の知識を整理する。身近なものに関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：会議の内容** 授業内容：参加した会議の内容を理解して、参加者から出たいろいろな情報や議論をまとめて議事録に書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(2)戦いに関連のある語彙・表現** 授業内容：戦いに関連のある語彙・表現語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：図表の理解** 授業内容：社内会議などで企業の販売実績や市場の動向を示すグラフを見ながら、現状を理解する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：戦いに関連のある語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：戦いに関連のある語彙・表現語彙・表現の知識を整理する。戦いに関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：会議内容の整理と報告** 授業内容：参加した会議の内容を理解して、参加していない人に明瞭で簡潔なメールを書いて報告する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(３)社会的背景を持つ語彙・表現** 授業内容：社会的背景を持つ語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：SWOT 分析(１)手順** 授業内容：マーケティングにおける SWOT 分析の方法を学習し、ビジネスに関する記事を特定の視点から分析する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：社会的背景を持つ語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：社会的背景を持つ語彙・表現の知識を整理する。社会的背景を持つ語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：SWOT 分析(２)資料の収集と分析** 授業内容：自らの関心に従って企業を一つ決め、新聞記事、雑誌記事、企業のホームページの情報を集める。そのうえで、ＳＷＯＴ分析を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：もとの形から変化している語彙・表現** 授業内容：もとの形から変化している語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：戦略** 授業内容：ＳＷＯＴ分析の結果から、問題解決のための戦略を考える。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：もとの形から変化している語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：もとの形から変化している語彙・表現の知識を整理する。もとの形から変化している語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：戦略の根拠** 授業内容：戦略の根拠を説明するための資料を集める。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：今後の学習にむけて** 授業内容：これまで学習したことを振り返りながら長文を読み、「慣用表現」「時間を表す表現」「カギ括弧のついたことば」「筆者の価値観を表す表現」などにも注目して読む練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：原稿の作成** 授業内容：プレゼンテーションで受け手に与える影響を考えイメージしながら、伝えること、その表現方法について準備する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：総合練習** 授業内容：これまで学習してきたストラテジーを用いて比較的長い新聞記事を読む練習を行う。内容理解を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：プレゼンテーション資料の作成** 授業内容：集めた情報や企画のアイデアを整理し、わかりやすいプレゼンテーションの資料を作る。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：現代社会ニュースの紹介** 授業内容：特別な立場や視点から取り上げた現代社会に関する複数の新聞記事を読む。共通点を見抜き、含意された意見や立場を比較しながら詳細に内容を報告する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：発表と他者評価** 授業内容：用意したプレゼンテーションをはっきりとした声でわかりやすく伝える。プレゼンテーションで話し手の発話を正しく理解したかどうか確認するための質問をしたり説明が曖昧だった部分に対して指摘をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テスト・フィードバック** 授業内容：これまで学習したことをある程度長く複雑な文章の中でも理解できるかどうか中間テストを行う。その後、解答と解説等フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：コース全体のふりかえり・最終テストとフィードバック** 授業内容：コース全体を振り返り、自らの成長を実感する。これまで学習してきたことが定着しているかどうか最終テストで確かめたあと、解説を聞きフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**行田　悦子**（こうだ　えつこ）・**荷見　美有**（はすみ　みゆう）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅱの内容は読解である。さまざまな目的で書かれた長くて複雑な文章の中身を詳細に理解できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
要点の把握を含め、理解のために多様な読解ストラテジーを駆使でき、文脈上の手がかりから理解の当否を確かめることができる。
自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
(2) 文章の論理的な構造(主張と根拠、事実と考察など)を正しく理解できる。
(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N2 を取得している。
各学期に日本語能力を測定する資格試験を受験する。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分の読解能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアワークもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

奥山貴之、宇津木奈津子、東会娟『考える人の上級日本語読解』凡人社
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N1』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：新聞等日本語の文章を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：貿易の基本原理−比較優位** 授業内容：文章「貿易の基本原理−比較優位」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：ゲームの今と将来** 授業内容：文章「ゲームの今と将来」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：グローバル化とどう向き合うか** 授業内容：文章「グローバル化とどう向き合うか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：ゲームは悪影響を及ぼすのか？** 授業内容：文章「ゲームは悪影響を及ぼすのか？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：ある熟年夫婦の関係性** 授業内容：文章「ある熟年夫婦の関係性」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：私の名は。** 授業内容：文章「私の名は。」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：女性の働き方** 授業内容：文章「女性の働き方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：多言語状況を考える** 授業内容：文章「多言語状況を考える」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 1 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：いのちの『終わり』は誰が決めるのか** 授業内容：文章「いのちの『終わり』は誰が決めるのか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：幸福度の低い日本の子ども** 授業内容：文章「幸福度の低い日本の子ども」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：いのちを “つくって” もいいですか** 授業内容：文章「いのちを “つくって” もいいですか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：『自尊感情を高めよう』を再考** 授業内容：文章「『自尊感情を高めよう』を再考」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：科学は魔法？** 授業内容：文章「科学は魔法？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：科学と社会の関係が変わるとき** 授業内容：文章「科学と社会の関係が変わるとき」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：高度経済成長期の日本** 授業内容：文章「高度経済成長期の日本」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：高持続可能な社会** 授業内容：文章「高持続可能な社会」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：研究とは―研究は勉強とまったく違う** 授業内容：文章「研究とは―研究は勉強とまったく違う」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：フィールドワーク研究の意義** 授業内容：文章「フィールドワーク研究の意義」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：人生の先輩が教えるキャリアのつくり方** 授業内容：文章「人生の先輩が教えるキャリアのつくり方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：レジュメ作成** 授業内容：レジュメ作成例を参考にしながらレジュメを作成する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは** 授業内容：文章「変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：レジュメ発表** 授業内容：作成したレジュメの発表を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

範　弘宇（はん　こうう）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(1)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
(2)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
(4)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
(5)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N 2を取得している。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

佐藤尚子、佐々木仁子『留学生のための漢字の教科書 上級 1000[改訂版] 』 国書刊行会
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 ニュースの日本語聴解 50 中級後半ー上級レベル 』 スリーエーネットワーク
藤田朋世、塩川絵里子、青木幸子『スピードマスター聴解 N1』 J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、経済・金融１(聴解)、入国手続き(漢字)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明する。経済・金融１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習をする。入国手続きにかかわる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：初級・中級で学習した漢字の上級での読み方を確認する。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１を練習する。	16回	**授業テーマ：社会・生活１(聴解)、自然と災害(漢字)** 授業内容：社会・生活１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。自然と災害に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１６を練習する。シャドーイング練習をする。
2回	**授業テーマ：経済・金融２(聴解)、在留カード(漢字)** 授業内容：経済・金融２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。在留カードに関する漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２を練習する。シャドーイング練習をする。	17回	**授業テーマ：社会・生活２(聴解)(聴解)、事件(漢字)** 授業内容：社会・生活２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事件に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１７を練習する。シャドーイング練習をする。
3回	**授業テーマ：経済・金融３(聴解)、大学(漢字)** 授業内容：経済・金融３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。大学に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３を練習する。シャドーイング練習をする。	18回	**授業テーマ：社会・生活３(聴解)、事故・裁判(漢字)** 授業内容：社会・生活３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事故・裁判に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１８を練習する。シャドーイング練習をする。
4回	**授業テーマ：経済・金融４(聴解)、学生生活(漢字)** 授業内容：経済・金融４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。学生生活に関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル４を練習する。シャドーイング練習をする。	19回	**授業テーマ：社会・生活４(聴解)、政治・経済(漢字)** 授業内容：社会・生活４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。政治・経済に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１９を練習する。シャドーイング練習をする。
5回	**授業テーマ：経済・金融５(聴解)、就職活動Ⅰ(漢字)** 授業内容：経済・金融５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅰに関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル５を練習する。シャドーイング練習をする。	20回	**授業テーマ：社会・生活５(聴解)、国際・スポーツ(漢字)** 授業内容：社会・生活５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。国際・スポーツに関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２０を練習する。シャドーイング練習をする。
6回	**授業テーマ：経済・金融６(聴解)、就職活動Ⅱ(漢字)** 授業内容：経済・金融６のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅱに関する漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル６を練習する。シャドーイング練習をする。	21回	**授業テーマ：社会・生活６(聴解)、社会・産業(漢字)** 授業内容：社会・生活６のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。社会・産業に関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２１を練習する。シャドーイング練習をする。

7回	**授業テーマ：経済・金融7（聴解）、地名（漢字）** 授業内容：経済・金融7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。地名に関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：漢字ドリル7を練習する。シャドーイング練習をする。	22回	**授業テーマ：社会・生活7（聴解）、芸術（漢字）** 授業内容：社会・生活7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。芸術に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２２を練習する。シャドーイング練習をする。
8回	**授業テーマ：経済・金融8（聴解）、歴史（漢字）** 授業内容：経済・金融8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。歴史に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル８を練習する。シャドーイング練習をする。	23回	**授業テーマ：社会・生活8（聴解）、農業（漢字）** 授業内容：社会・生活8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。農業に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２３を練習する。シャドーイング練習をする。
9回	**授業テーマ：経済・金融9（聴解）、日本文化（漢字）** 授業内容：経済・金融9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日本文化に関する漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル９を練習する。シャドーイング練習をする。	24回	**授業テーマ：社会・生活9（聴解）、生物学Ⅰ（漢字）** 授業内容：社会・生活9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２４を練習する。シャドーイング練習をする。
10回	**授業テーマ：経済・金融 10（聴解）、世界遺産（漢字）** 授業内容：経済・金融 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。世界遺産に関わる漢字を練習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１０を練習する。シャドーイング練習をする。	25回	**授業テーマ：社会・生活 10（聴解）、生物学Ⅱ（漢字）** 授業内容：社会・生活 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅱに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２５を練習する。シャドーイング練習をする。
11回	**授業テーマ：経済・金融 11（聴解）、日常語彙Ⅰ（漢字）** 授業内容：経済・金融 11 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１１を練習する。シャドーイング練習をする。	26回	**授業テーマ：社会・生活 11（聴解）、漢語の語構成（漢字）** 授業内容：社会・生活 11 ニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。漢語の語構成に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２６を練習する。シャドーイング練習をする。
12回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、経済・金融 12（聴解）、日常語彙Ⅱ（漢字）** 授業内容：経済・金融 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅱに関わる漢字を練習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためのテストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１２を練習する。シャドーイング練習をする。	27回	**授業テーマ：社会・生活 12（聴解）、熟語の読み方（漢字）** 授業内容：社会・生活 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。熟語の読み方にかかわる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２７を練習する。シャドーイング練習をする。
13回	**授業テーマ：経済・金融 13（聴解）、旅行（漢字）** 授業内容：経済・金融 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。旅行に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１３を練習する。シャドーイング練習をする。	28回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、社会・生活 13（聴解）、様子・態度（漢字）** 授業内容：社会・生活 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。様子・態度に関わる漢字を学習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためにテストを行ったあと、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２８を練習する。シャドーイング練習をする。
14回	**授業テーマ：経済・金融 14（聴解）、人間の体（漢字）** 授業内容：経済・金融 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。人間の体に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１４を練習する。	29回	**授業テーマ：社会・生活 14（聴解）、心情（漢字）** 授業内容：社会・生活 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。心情に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２９を練習する。
15回	**授業テーマ：経済・金融 15（聴解）、医療（漢字）、中間テストとフィードバック** 授業内容：経済・金融 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。医療に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理し、中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１５を練習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、社会・生活 15（聴解）、状態（漢字）、最終テストとフィードバック** 授業内容：社会・生活 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。状態に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３０を練習する。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

林　苗（りん　みょう）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストがある。

▌到達目標

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：（1）一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
（2）聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
（3）講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
（4）自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で、N2 相当を対象とする。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

岡まゆみ(監)『上級へのとびら　きたえよう漢字力　上級へつなげる基礎漢字 800』くろしお出版
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 中級からはじめるニュースの日本語聴解 40』 スリーエーネットワーク
棚橋明美・杉山ますよ・野原ゆかり『N2 聴解スピードマスター』J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、第１課読み(漢字)、ニュース１(聴解)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明を聞いて理解する。第１課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。 事前学修 2.0hr：これまで学習してきた漢字の知識を整理し、読み方と書き方を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：第８課書き(漢字)、ニュース２６(聴解)** 授業内容：第８課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース２６を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の課題理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：第１課書き(漢字)、ニュース２(聴解)** 授業内容：第１課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース２を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	17回	**授業テーマ：第９課読み(漢字)、ニュース２７(聴解)** 授業内容：第９課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース２７を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の課題理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
3回	**授業テーマ：第２課読み(漢字)、ニュース３(聴解)** 授業内容：第２課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	18回	**授業テーマ：第９課書き(漢字)、ニュース２８(聴解)** 授業内容：第９課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース２８を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
4回	**授業テーマ：第２課書き(漢字)、ニュース４(聴解)** 授業内容：第２課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース４を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	19回	**授業テーマ：第１０課読み(漢字)、ニュース２９(聴解)** 授業内容：第１０課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース２９を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT のポイント理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
5回	**授業テーマ：第３課読み(漢字)、ニュース５(聴解)** 授業内容：第３課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース５を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	20回	**授業テーマ：第１０課書き(漢字)、ニュース３０(聴解)** 授業内容：第１０課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３０を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT のポイント理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
6回	**授業テーマ：第３課書き(漢字)、ニュース６(聴解)** 授業内容：第３課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース６を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の概要理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	21回	**授業テーマ：第１１課読み(漢字)、ニュース３１(聴解)** 授業内容：第１１課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３１を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の概要理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。

7回	**授業テーマ：第４課読み(漢字)、ニュース７(聴解)** 授業内容：第４課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース７を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの概要理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	22回	**授業テーマ：第１１課書き(漢字)、ニュース３２(聴解)** 授業内容：第１１課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３２を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。聴解能力を測りフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
8回	**授業テーマ：第４課書き(漢字)、ニュース８(聴解)** 授業内容：第４課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース８を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	23回	**授業テーマ：第１２課読み(漢字)、ニュース３３(聴解)** 授業内容：第１２課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３３を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
9回	**授業テーマ：第５課読み(漢字)** 授業内容：第５課の漢字について「読み」を中心に学習する。小テスト、ディクテーションをする。聴解能力を測りフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	24回	**授業テーマ：第１２課書き(漢字)、ニュース３４(聴解)** 授業内容：第１２課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３４を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
10回	**授業テーマ：第５課書き(漢字)、ニュース９(聴解)** 授業内容：第５課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース９を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	25回	**授業テーマ：第１３課読み(漢字)、ニュース３５(聴解)** 授業内容：第１３課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３５を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
11回	**授業テーマ：第６課読み(漢字)、ニュース１０(聴解)** 授業内容：第６課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１０を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	26回	**授業テーマ：第１３課書き(漢字)、ニュース３６(聴解)** 授業内容：第１３課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３６を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
12回	**授業テーマ：第６課書き(漢字)、ニュース１１(聴解)** 授業内容：第６課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース１１を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	27回	**授業テーマ：第１４課読み(漢字)、ニュース３７(聴解)** 授業内容：第１４課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３７を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
13回	**授業テーマ：第７課読み(漢字)、ニュース１２(聴解)** 授業内容：第７課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１２を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	28回	**授業テーマ：第１４課書き(漢字)、ニュース３８(聴解)** 授業内容：第１４課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３８を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
14回	**授業テーマ：第７課書き(漢字)、ニュース１３(聴解)** 授業内容：第７課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース１３を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	29回	**授業テーマ：第１５課読み(漢字)、ニュース３９(聴解)** 授業内容：第１５課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３９を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
15回	**授業テーマ：第８課読み(漢字)、ニュース１４(聴解)、中間テストとフィードバック** 授業内容：第８課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１４を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。中間テストとフィードバックを受けて、前学期の学習を振り返る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30回	**授業テーマ：第１５課書き(漢字)、ニュース４０(聴解)、最終テストとフィードバック** 授業内容：第１５課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース４０を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

沈　伽迪（ちん　かてき）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は聴解、聴読解である。スピーチ、講演会、顧客による説明などを理解したり、聞きながら資料を見て要求された課題を達成することを目指す。また、社内外の人との担当領域および一般的な話題について自然なコミュニケーションをとることを目指す。毎回、事前学修、事後学修がある。授業では小テストをほぼ毎回、実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：就労場面でのやりとり、独話を正確に聞き取ることができ、聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えて説明することができる。社内外の人とその場にふさわしい丁寧さで円滑にコミュニケーションをとることができる。

個別目標：(1) 標準的な日本語で特殊な慣用表現などが使われていなければ、講演会、スピーチ、顧客による説明などを理解することができる。
(2) 自社や競合他社のニュースを聞いて理解することができる。
(3) 社内外の人と担当領域から一般的なものまで幅広い話題について流暢かつ正確に、言いたいことを表現できる。
(4) その場にふさわしい丁寧さで自然なコミュニケーションをとることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分のビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%によって評価する。

▌フィードバック方法

対面授業および manaba でフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

木山三佳・田川麻央『学生・留学生のためのキャリアプランニング』実教出版
小野塚 若菜・篠﨑 佳子・島 恭子・吉沢 由香里『改訂版ビジネス日本語 オール・イン・ワン問題集』ジャパンタイムズ

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：ビジネスで必要な日本語能力とはどのようなものかを確認する。そのうえで、現時点でどの程度のビジネス日本語能力があるのか事前テストで測る。テストの成績をもとに、どのように能力を伸ばしていくか計画を立てる。 事前学修 2.0hr：BJT ビジネス日本語能力テストについて調べる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：社内一斉メール、会議準備** 授業内容：メールを読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。会議準備に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：就職活動** 授業内容：就職活動において選考資料となる提出書類および面接試験を取り上げ、エントリーシート等の書類作成方法や面接時の話し方について学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：電話とお詫び** 授業内容：お詫びに関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。電話でのやりとりを聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：入社** 授業内容：入社後の業務場面を想定し、初対面の相手との自己紹介において、聞き手の記憶に残る一言を伝える練習を行う。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：お知らせ文書** 授業内容：お知らせ文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：基本的な業務** 授業内容：基本的な業務の一つとして伝言を取り上げる。また、稟議についても学ぶ。稟議は、社内で物品を購入するときなどに説明を書類に書いて承認を得るまでの一連の流れを学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：キャッチコピー、同僚との雑談** 授業内容：同僚との雑談を聞き取り、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞き取って、要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：報告** 授業内容：上司・先輩・同僚への報告を取り上げる。共通の目標に向けて円滑に連携できるよう、分かりやすく伝える方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：値下げ交渉** 授業内容：値下げ交渉のやりとりを聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：謝罪** 授業内容：謝罪を取り上げる。業務上のミスが生じた際に、早い段階で上司に事実を正確に報告し、適切に謝罪する方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：営業** 授業内容：営業のやりとりを聞き、公的場面での話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：インターンシップの受け入れ** 授業内容：インターンシップの受け入れ側の仕事について取り上げる。会社側の立場に立って自社を紹介し、業務内容や職種への理解を促すとともに、企業活動におけるリスク管理について学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：売り上げ** 授業内容：売り上げに関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。売上に関わる文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：会議の準備** 授業内容：会議の準備について取り上げる。会場予約、機器の設置、会議議題の決定、議事録の作成、資料の作成・配布、欠席者への対応など、会議運営に関わる一連の業務を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：個人情報** 授業内容：個人情報に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。個人情報に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：会議** 授業内容：会議における報告および意思決定のための審議を取り上げる。議長の指示に従って発言や反対意見を述べる方法、ならびに議事録作成を含む一連のやりとりを学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：顧客満足調査** 授業内容：顧客満足調査に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：取引** 授業内容：取引について取り上げる。良好な関係構築を基盤としたコミュニケーションを重視し、正確な情報のやり取りを行う方法を学ぶとともに、不明点を残さないために相手の発言を引用して確認・質問する工夫を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：出張** 授業内容：出張に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。出張に関する話の聞き取り、話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：苦情** 授業内容：苦情について取り上げる。苦情対応を誤ると大きな問題に発展する可能性があることを踏まえ、より良いコミュニケーションに基づく適切な対応方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：販売員増員の提案、パッケージ案** 授業内容：販売員増員の提案に関する話を聞き取り、話し方を学ぶ。パッケージ案に関する書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：商談** 授業内容：商談について取り上げる。相手に必要な情報を正確に伝えるとともに、相談や注文を受けた際の対応方法や不明点がある場合の聞き返し方について学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：インタビュー** 授業内容：インタビューを依頼する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。インタビューを題材として話を聞き取り、公的場面で求められる話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：社会貢献** 授業内容：企業が果たすべき社会的責任について取り上げる。社会貢献の目的を理解するとともに、さまざまな活動を行う際に求められるコミュニケーションについて学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：日程調整、衣料品業界** 授業内容：日程調整に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。日程調整、衣料品業界に関するやりとりを聞き取り、公的場面で求められる話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：実力判定テスト、フィードバック** 授業内容：これまでに学習した内容の定着状況を実力判定テストによって確認し、その結果から得られた強み・弱みをもとに学習を振り返るとともに、教員からのフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：展示会、業界フローチャート** 授業内容：展示会に関わる資料、業界フローチャートを見ながら話を聞きとる練習、要求された課題を処理する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：中間テストとフィードバックを受け、現時点のビジネス能力を把握する。今後の学習計画を立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：学習内容の理解度を確認し、フィードバックを踏まえてコース全体を振り返り、社会生活への応用を検討する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**髙橋　亜里沙**（たかはし　ありさ）・**田川　麻央**（たがわ　まお）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(1)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
(2)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
(3)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
(4)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済で、N2 を取得している。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

佐藤尚子、佐々木仁子『留学生のための漢字の教科書 上級 1000[改訂版] 』 国書刊行会
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 ニュースの日本語聴解 50 中級後半ー上級レベル 』 スリーエーネットワーク
藤田朋世、塩川絵里子、青木幸子『スピードマスター聴解 N1』 J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、経済・金融１(聴解)、入国手続き(漢字)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明する。経済・金融１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習をする。入国手続きに関わる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：初級・中級で学習した漢字の上級での読み方を確認する。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１を練習する。	16回	**授業テーマ：社会・生活１(聴解)、自然と災害(漢字)** 授業内容：社会・生活１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。自然と災害に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１６を練習する。
2回	**授業テーマ：経済・金融２(聴解)、在留カード(漢字)** 授業内容：経済・金融２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。在留カードに関わる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２を練習する。シャドーイングをする。	17回	**授業テーマ：社会・生活２(聴解)(聴解)、事件(漢字)** 授業内容：社会・生活２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事件に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１７を練習する。シャドーイング練習をする。
3回	**授業テーマ：経済・金融３(聴解)、大学(漢字)** 授業内容：経済・金融３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。大学に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３を練習する。シャドーイング練習をする。	18回	**授業テーマ：社会・生活３(聴解)、事故・裁判(漢字)** 授業内容：社会・生活３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事故・裁判に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１８を練習する。シャドーイング練習をする。
4回	**授業テーマ：経済・金融４(聴解)、学生生活(漢字)** 授業内容：経済・金融４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。学生生活に関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル４を練習する。シャドーイング練習をする。	19回	**授業テーマ：社会・生活４(聴解)、政治・経済(漢字)** 授業内容：社会・生活４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。政治・経済に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１９を練習する。シャドーイング練習をする。
5回	**授業テーマ：経済・金融５(聴解)、就職活動Ⅰ(漢字)** 授業内容：経済・金融５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅰに関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル５を練習する。シャドーイング練習をする。	20回	**授業テーマ：社会・生活５(聴解)、国際・スポーツ(漢字)** 授業内容：社会・生活５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。国際・スポーツに関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２０を練習する。シャドーイング練習をする。

6回	**授業テーマ：経済・金融6（聴解）、就職活動Ⅱ（漢字）** 授業内容：経済・金融6のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅱに関する漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル６を練習する。シャドーイング練習をする。	21回	**授業テーマ：社会・生活6（聴解）、社会・産業（漢字）** 授業内容：社会・生活6のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。社会・産業にかかわる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２１を練習する。シャドーイング練習をする。
7回	**授業テーマ：経済・金融7（聴解）、地名（漢字）** 授業内容：経済・金融7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。地名に関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：漢字ドリル７を練習する。シャドーイング練習をする。	22回	**授業テーマ：社会・生活7（聴解）、芸術（漢字）** 授業内容：社会・生活7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。芸術に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２２を練習する。シャドーイング練習をする。
8回	**授業テーマ：経済・金融8（聴解）、歴史（漢字）** 授業内容：経済・金融8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。歴史に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル８を練習する。シャドーイング練習をする。	23回	**授業テーマ：社会・生活8（聴解）、農業（漢字）** 授業内容：社会・生活8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。農業に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２３を練習する。シャドーイング練習をする。
9回	**授業テーマ：経済・金融9（聴解）、日本文化（漢字）** 授業内容：経済・金融9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日本文化に関する漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル９を練習する。シャドーイング練習をする。	24回	**授業テーマ：社会・生活9（聴解）、生物学Ⅰ（漢字）** 授業内容：社会・生活9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２４を練習する。シャドーイング練習をする。
10回	**授業テーマ：経済・金融 10（聴解）、世界遺産（漢字）** 授業内容：経済・金融 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。世界遺産に関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１０を練習する。シャドーイング練習をする。	25回	**授業テーマ：社会・生活 10（聴解）、生物学Ⅱ（漢字）** 授業内容：社会・生活 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅱに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２５を練習する。シャドーイング練習をする。
11回	**授業テーマ：経済・金融 11（聴解）、日常語彙Ⅰ（漢字）** 授業内容：経済・金融 11 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１１を練習する。シャドーイング練習をする。	26回	**授業テーマ：社会・生活 11（聴解）、漢語の語構成（漢字）** 授業内容：社会・生活 11 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。漢語の語構成に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２６を練習する。シャドーイング練習をする。
12回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、経済・金融 12（聴解）、日常語彙Ⅱ（漢字）** 授業内容：経済・金融 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅱに関わる漢字を学習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためのテストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１２を練習する。シャドーイング練習をする。	27回	**授業テーマ：社会・生活 12（聴解）、熟語の読み方（漢字）** 授業内容：社会・生活 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。熟語の読み方に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２７を練習する。シャドーイング練習をする。
13回	**授業テーマ：経済・金融 13（聴解）、旅行（漢字）** 授業内容：経済・金融 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。旅行に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１３を練習する。	28回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、社会・生活 13（聴解）、様子・態度（漢字）** 授業内容：社会・生活 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。様子・態度にかかわる漢字を学習する聴解能力がどのくらいあるか測るためにテストを行ったあと、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２８を練習する。シャドーイング練習をする。
14回	**授業テーマ：経済・金融 14（聴解）、人間の体（漢字）** 授業内容：経済・金融 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。人間の体に関わる漢字を練習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１４を練習する。シャドーイング練習をする。	29回	**授業テーマ：社会・生活 14（聴解）、心情（漢字）** 授業内容：社会・生活 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。心情に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２９を練習する。
15回	**授業テーマ：経済・金融 15（聴解）、医療（漢字）、中間テストとフィードバック** 授業内容：経済・金融 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。医療に関わる漢字を練習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理し、中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１５を練習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、社会・生活 15（聴解）、状態（漢字）、最終テストとフィードバック** 授業内容：社会・生活 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。状態に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３０を練習する。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

荷見　美有（はすみ　みゆう）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は語彙と作文である。複雑な話題について明確でしっかりとした構成の詳細なテクストを作る。自己の視点から意見を述べたり説明したりできるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を学習する。毎回事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くことができる。
重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わることができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回、グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回、manaba、respon を使用する。）

▌教科書

田中祐輔(編)『《書き込み式》表現するための語彙文法練習ノート〈上〉―語/コロケーション/慣用句/表現文型』 凡人社
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』 DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レッスン 1 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。レッスン 1 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ単語を復習しておく。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：レッスン 8 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 8 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：レッスン 1 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 1 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：まずやってみよう** 授業内容：レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：レッスン 2 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 2 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：書き言葉** 授業内容：レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：レッスン 2 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 2 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：レッスン 3 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 3 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 5 を復習する。	20回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 20 を復習する。

6回	**授業テーマ：レッスン 3 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 3 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 6 を練習する。	21回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 21 を練習する。
7回	**授業テーマ：レッスン 4 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 4 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 7 を練習する。	22回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 22 を練習する。
8回	**授業テーマ：レッスン 4 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 4 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 8 を練習する。	23回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 23 を練習する。
9回	**授業テーマ：レッスン 5 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 5 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 9 を練習する。	24回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 24 を練習する。
10回	**授業テーマ：レッスン 5 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 5 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 10 を復習する。	25回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 25 を復習する。
11回	**授業テーマ：レッスン 6 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 6 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 11 を練習する。	26回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 26 を練習する。
12回	**授業テーマ：レッスン 6 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 6 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 12 を練習する。	27回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 27 を練習する。
13回	**授業テーマ：レッスン 7 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 7 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 13 を練習する。	28回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 28 を練習する。
14回	**授業テーマ：レッスン 7 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 7 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 14 を練習する。	29回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。必要があれば、レポートを修正し、最終版を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 29 を練習する。
15回	**授業テーマ：レッスン 8 文字・語彙・コロケーション、中間テストとフィードバック** 授業内容：レッスン 8 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 15 を復習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は読解と作文である。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテクストを作り、自己の視点から説明できるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くために必要な読解能力を身に付ける。
重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わるレポートを作成することができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。
(5) 資料を読み取るための読解能力を育成する。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba、respon を使用する）

▌教科書

松浦真理子・宮谷敦美・鈴木健司『日本語パワードリル N2 読解』ask
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、第１回** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。第 1 回の読解問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまで学んだ語彙を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：第 29 回、まずやってみよう** 授業内容：第 29 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：第２回、第３回** 授業内容：第２回、第３回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17回	**授業テーマ：第 30 回、書き言葉** 授業内容：第 30 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3回	**授業テーマ：第４回、第５回** 授業内容：第４回、第５回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4回	**授業テーマ：集中トレーニング①、第６回** 授業内容：集中トレーニング①、第６回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5回	**授業テーマ：第７回、第８回** 授業内容：第７回、第８回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
6回	**授業テーマ：第９回、第 10 回** 授業内容：第９回、第 10 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	21回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

7回	**授業テーマ：集中トレーニング②、第 11 回** 授業内容：集中トレーニング②、第 11 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	22回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8回	**授業テーマ：第 12 回、第 13 回、集中トレーニング③** 授業内容：第 12 回、第 13 回、集中トレーニング③の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	23回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 14 回、第 15 回** 授業内容：第 14 回、第 15 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	24回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10回	**授業テーマ：第 16 回、第 17 回** 授業内容：第 16 回、第 17 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	25回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11回	**授業テーマ：第 18 回、第 19 回** 授業内容：第 18 回、第 19 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	26回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 20 回、集中トレーニング④** 授業内容：第 20 回、集中トレーニング④の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	27回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13回	**授業テーマ：第 21 回から第 25 回** 授業内容：第 21 回から第 25 回の読解問題を JLPT の模擬試験のつもりで練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	28回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14回	**授業テーマ：第 26 回、第 27 回** 授業内容：第 26 回、第 27 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	29回	**授業テーマ：課題レポートの改善と振り返り** 授業内容：クラスメートや教員から受けた評価をもとにレポートを修正し、最終版を作成する。レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15回	**授業テーマ：第 28 回、中間テストとフィードバック** 授業内容：第 28 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

藤本　陽子（ふじもと　ようこ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容はビジネス文書の書き方、作成である。実務に役立つ文書作成技能について知識と技能の基本を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日常的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどを自然な言い回し、表現を使って、読み手に負担のないよう書くスキルを身に付ける。

個別目標：(1) 日常的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどの文章を形式を整えて書くことができる。
(2) ビジネス場面での日常的な文書による報告を簡潔に書くことができる。
(3) ビジネス場面での文書にかかわる慣習、マナーなどの知識を獲得する。
(4) 自らのビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を強化する。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分のビジネス文書作成能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

課題提出 50%、テスト 50%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

『ビジネス文書検定第７１回～７５回実問題集３級』早稲田教育出版
『ビジネス文書検定第７１回～７５回実問題集１，２級』早稲田教育出版

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価についての説明を理解する。その後、ビジネス文章の作成能力がどの程度あるか事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：3 級第 71 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：3 級第 75 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：2 級第 75 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：3 級第 75 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：2 級第 75 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：3 級第 75 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：2 級第 75 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：3 級第 74 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：2 級第 74 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：3 級第 74 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：2 級第 74 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：3 級第 74 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：2 級第 74 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：3 級第 73 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：2 級第 73 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：3 級第 73 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：2 級第 73 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：3 級第 73 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：2 級第 73 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：3 級第 72 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：2 級第 72 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：3 級第 72 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：2 級第 72 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：3 級第 72 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：2 級第 72 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：3 級第 71 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：2 級第 71 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：3 級第 71 回表現技能、中間テストとフィードバック** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：2 級第 71 回表現技能、最終テストとフィードバック** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。テストとフィードバックを受ける。コース全体を振り返り、整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**行田　悦子**（こうだ　えつこ）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は語彙と作文である。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテクストを作り、自己の視点から説明できるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くことができる。重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わることができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N2 を取得している。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

田中祐輔(編)『《書き込み式》表現するための語彙文法練習ノート〈上〉―語/コロケーション/慣用句/表現文型』凡人社
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レッスン 1 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。レッスン 1 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ単語を復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：レッスン 8 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 8 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題演習を行なう。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：レッスン 1 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 1 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17回	**授業テーマ：まずやってみよう** 授業内容：レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3回	**授業テーマ：レッスン 2 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 2 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18回	**授業テーマ：書き言葉** 授業内容：レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4回	**授業テーマ：レッスン 2 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 2 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5回	**授業テーマ：レッスン 3 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 3 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

6回	**授業テーマ：レッスン 3 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 3 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	21回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
7回	**授業テーマ：レッスン 4 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 4 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	22回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8回	**授業テーマ：レッスン 4 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 4 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	23回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9回	**授業テーマ：レッスン 5 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 5 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	24回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10回	**授業テーマ：レッスン 5 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 5 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	25回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11回	**授業テーマ：レッスン 6 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 6 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	26回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12回	**授業テーマ：レッスン 6 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 6 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	27回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13回	**授業テーマ：レッスン 7 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 7 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	28回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14回	**授業テーマ：レッスン 7 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 7 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	29回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。必要があれば、レポートを修正し、最終版を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15回	**授業テーマ：レッスン 8 文字・語彙・コロケーション、中間テストとフィードバック** 授業内容：レッスン 8 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30回	**授業テーマ：まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

［専門科目］

Academic English Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

This is a set course with Advanced English Skills A. The course is designed to prepare students for the TOEFL iBT test. Students will be familiar with the format and with the types of questions asked in each section of reading, listening, speaking, and writing as the TOEFL iBT test is structured into these four areas. The curriculum places emphasis on the skills work and practices of each section. Students will practice, build and develop skills and strategies necessary in order to be successful on the test. Students are recommended to take the TOEFL iBT or IELTS test twice per semester.

The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students improve their reading, listening, speaking, and writing skills at the level of English-speaking universities. The goal is to score a minimum of 50 (5.0 for IELTS; 460 for ITP) in the first semester.

個別目標：Strength and weakness of each student in the areas are determined and targeted for improvement. Each student is encouraged to score higher in the areas than his/her previous TOEFL iBT/IELTS or ITP test score taken.

▌履修条件

Students are also required to enroll in Advanced English Skills A.

▌評価基準・方法

Grades will be based strictly on attendance/attitude/performance, class works, assignments, and a final exam.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works of reading, listening, speaking, and writing sections, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for speaking activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.(BYOD)）

▌教科書

To be notified by the instructor when the new edition is published.

Meanwhile, the materials will be provided by the instructor.

▌参考書

ETS The Official Guide to the TOEFL iBT Test 7th edition (ISBN: 978-1265477318)

Other materials, as appropriate, may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction and Overview of the TOEFL iBT Test** 授業内容：Course Orientation/Chapter 1: About the TOEFL iBT Test 事前学修 0.5hr：preview the textbook 事後学修 1.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Reading Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 2: Reading Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Listening Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 3: Listening Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Speaking Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 4: Speaking Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Writing Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 5: Writing Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：More Reading Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 2: Reading Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：More Listening Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 3: Listening Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：More Speaking Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 4: Speaking Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：More Writing Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 5: Writing Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

10回	**授業テーマ：English Grammar, Usage, Mechanics, Style, Organization, and Development** 授業内容：Chapter 10: Writer's Handbook for English Language Learners 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
11回	**授業テーマ：English Grammar, Usage, Mechanics, Style, Organization, and Development** 授業内容：Chapter 10: Writer's Handbook for English Language Learners 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：More Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Authentic TOEFL iBT Practice Test 1 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：More Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Authentic TOEFL iBT Practice Test 1 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：More Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Authentic TOEFL iBT Practice Test 1 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Semester 1 Final Class** 授業内容：Final Exam/Course Review 事前学修 2.0hr：prepare for the exam as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

Academic English Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

This course will prepare students to pass the IELTS exam with a minimum score of 5.0. The course will cover all four skills (speaking, reading, listening, and writing) and there will be a strong focus on practice tests to assess students abilities and areas for improvement. Students will receive individual advice and support to ensure they reach their full potential and are confident when sitting the IELTS exam.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：This course aims to help every student achieve a minimum score of 5.0 on the IELTS exam. Students will gain confidence in test taking skills.

個別目標：This course will help every student achieve a minimum score of 5.0 on the IELTS exam.

▌履修条件

Students are required to attend class every week and complete all homework assignments fully. There will be practice tests conducted throughout the course and students must prepare to sit these exams under test conditions.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated on a final exam (100%). Students will continually take practice tests and receive feedback and comments on areas of improvement.

▌フィードバック方法

Feedback will be given during every class and after every practice test and final exam.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

The Official Cambridge guide to IELTS

▌参考書

The Official Cambridge guide to IELTS

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：IELTS Listening skills: 1** 授業内容：Understanding the context. Using the correct spelling. Writing numbers. 事前学修 3.0hr：Read pages 5-12 of the textbook. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1 and read unit 1: reading skills
2回	**授業テーマ：IELTS Reading Skills: 1** 授業内容：Using the features of a reading passage. Skimming a passage and speed reading. Global understanding. 事前学修 3.0hr：Complete unit 1: listening skills and read unit 1: reading skills. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: writing skills.
3回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 1** 授業内容：Understanding graphs, tables and charts. More complex charts. Improve your Task Achievement score. 事前学修 3.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: writing skills. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1: speaking skills
4回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 1** 授業内容：Getting ready to speak. Part 1-talking about familiar topics. Using the right tense. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1:speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills..
5回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 2** 授業内容：Following a conversation. Identifying the speakers. Identifying function. Understanding categories. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills.
6回	**授業テーマ：IELTS reading skills: 2** 授業内容：Descriptive passage. Scanning for details. Using words from the passage. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills. 事後学修 2.0hr：Take one practice test under test conditions.
7回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 2** 授業内容：Comparing and contrasting graphs and tables. Avoiding repetitions. Comparing and contrasting data. 事前学修 2.0hr：Reflect on practice test scores. Read unit 2: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: writing skills, read unit 3: speaking skills.

8回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Part 2 - Giving a talk. Understanding the task. Improving fluency and coherence. Organising your notes and your talk. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2 writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills, read unit 3: listening skills.
9回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 3** 授業内容：Recognising paraphrase. Identifying distractors. Recognising paraphrase. Selecting from a list. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills, read unit 3: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills.
10回	**授業テーマ：IELTS Reading skills: 3** 授業内容：Understanding the main idea. Locating and matching information. How ideas are connected. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills.
11回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 3** 授業内容：Describing diagrams. Describing a process - coherence and cohesion. Lexical resource - being accurate. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills.
12回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Talking about abstract topics. Agreeing and disagreeing. Improving your Lexical Resource score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills. Revise for the test.
13回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
15回	**授業テーマ：Final Exam and feedback.** 授業内容：Final exams and feedback. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Review the course.

Academic English Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

This is a set course with Advanced English Skills B. Following the first semester, the course is designed to further prepare students for the TOEFL iBT test. Students will be more familiar with the format and with the types of questions asked in each section of reading, listening, speaking, and writing as the TOEFL iBT test is structured into these four areas. The curriculum places further emphasis on the skills work and practices of each section. Students will further practice, build and develop skills and strategies necessary in order to be successful on the test. Students are recommended to take the TOEFL iBT or IELTS test twice per semester.
The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students improve their reading, listening, speaking and writing skills at the level of English-speaking universities. The goal is to score a minimum of 60 (5.5 for IELTS; 500 for ITP) in the first year in order to proceed to the second year.
個別目標：Strength and weakness of each student in the areas are determined and targeted for improvement. Each student is encouraged to score higher in the areas than his/her previous TOEFL iBT/IELTS or ITP test score taken.

▌履修条件

Students are required to enroll in Advanced English Skills B as well.

▌評価基準・方法

Grades will be based strictly on attendance/attitude/performance, class works, assignments, a final exam, and an achievement of the minimum required score in TOEFL iBT (60) or IELTS (5.5) to receive credit for this course.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works of reading, listening, speaking, and writing sections, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for speaking activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.(BYOD)）

▌教科書

To be notified by the instructor when the new edition is published.
Meanwhile, the materials will be provided by the instructor.

▌参考書

ETS The Official Guide to the TOEFL iBT Test 7th edition (ISBN: 978-1265477318)
Other materials, as appropriate, may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction/Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Course Orientation/Chapter 7: Authentic TOEFL IBT Practice Test 2 事前学修 1.0hr：review the materials studied in the first semester 事後学修 2.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL IBT Practice Test 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL IBT Practice Test 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 8: Authentic TOEFL IBT Practice Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 8: Authentic TOEFL IBT Practice Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 8: Authentic TOEFL IBT Practice Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 9: Authentic TOEFL IBT Practice Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 9: Authentic TOEFL IBT Practice Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 9: Authentic TOEFL IBT Practice Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

10回	**授業テーマ：More Reading and Listening Practice Tasks** 授業内容：Reading and Listening Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
11回	**授業テーマ：More Speaking and Writing Practice Tasks** 授業内容：Speaking and Writing Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：More Reading and Listening Practice Tasks** 授業内容：Reading and Listening Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：More Speaking and Writing Practice Tasks** 授業内容：Speaking and Writing Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：Exam Preparation** 授業内容：Review of Reading, Listening, Speaking, and Writing Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Semester 2 Final Class** 授業内容：Final Exam/Course Review 事前学修 2.0hr：prepare for the exam as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

Academic English Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

This course will prepare students to pass the IELTS exam with a minimum score of 5.5. The course will cover all four skills (speaking, reading, listening, and writing) and there will be a strong focus on practice tests to assess students abilities and areas for improvement. Students will receive individual advice and support to ensure they reach their full potential and are confident when sitting the IELTS exam.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：This course aims to help every student achieve a minimum score of 5.5 on the IELTS exam. Students will gain confidence in test taking skills.

個別目標：This course will help every student achieve a minimum score of 5.5 on the IELTS exam.

▌履修条件

Students are required to attend class every week and complete all homework assignments fully. There will be practice tests conducted throughout the course and students must prepare to sit these exams under test conditions.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated on attendance, attitude, performance, class work, assignments, a final exam and an achievemnet of the minimum required score in IELTS (5.5).

Students will continually take practice tests and receive feedback and comments on areas for improvement.

▌フィードバック方法

Feedback will be given during every class and after every practice test and final exam.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

The Official Cambridge guide to IELTS

▌参考書

The Official Cambridge guide to IELTS

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：IELTS Listening skills: 1** 授業内容：Understanding the context. Using the correct spelling. Writing numbers. 事前学修 3.0hr：Read pages 5-12 of the textbook. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1 and read unit 1: reading skills
2回	**授業テーマ：IELTS Reading Skills: 1** 授業内容：Using the features of a reading passage. Skimming a passage and speed reading. Global understanding. 事前学修 3.0hr：Complete unit 1: listening skills and read unit 1: reading skills. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: writing skills.
3回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 1** 授業内容：Understanding graphs, tables and charts. More complex charts. Improve your Task Achievement score. 事前学修 3.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: writing skills. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1: speaking skills
4回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 1** 授業内容：Getting ready to speak. Part 1-talking about familiar topics. Using the right tense. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1:speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills..
5回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 2** 授業内容：Following a conversation. Identifying the speakers. Identifying function. Understanding categories. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills.
6回	**授業テーマ：IELTS reading skills: 2** 授業内容：Descriptive passage. Scanning for details. Using words from the passage. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills. 事後学修 2.0hr：Take one practice test under test conditions.
7回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 2** 授業内容：Comparing and contrasting graphs and tables. Avoiding repetitions. Comparing and contrasting data. 事前学修 2.0hr：Reflect on practice test scores. Read unit 2: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: writing skills, read unit 3: speaking skills.

8回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Part 2 - Giving a talk. Understanding the task. Improving fluency and coherence. Organising your notes and your talk. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2 writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills, read unit 3: listening skills.
9回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 3** 授業内容：Recognising paraphrase. Identifying distractors. Recognising paraphrase. Selecting from a list. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills, read unit 3: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills.
10回	**授業テーマ：IELTS Reading skills: 3** 授業内容：Understanding the main idea. Locating and matching information. How ideas are connected. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills.
11回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 3** 授業内容：Describing diagrams. Describing a process - coherence and cohesion. Lexical resource - being accurate. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills.
12回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Talking about abstract topics. Agreeing and disagreeing. Improving your Lexical Resource score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills. Revise for the test.
13回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
15回	**授業テーマ：Final Exam and feedback.** 授業内容：Final tests and feedback. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Review the course.

Academic English Ⅲ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

The course provides in-depth instruction in the four areas of reading, listening, speaking, and writing to the students with the existing knowledge of TOEFL iBT test as studied in the first year. The aim of the course is for the students to score higher on the test and to prepare them for their study abroad program (for Japanese nationals). Students are recommended to take the TOEFL iBT or IELTS test twice per semester.
The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students improve their reading, listening, speaking, and writing skills at the level of English-speaking universities. The goal is to score a minimum of 70 (6.0 for IELTS) this semester, and eventually to score a minimum of 80 (6.5 for IELTS) in order to proceed to the third year and for the Japanese nationals, to participate in the one-year study abroad program, leading them to the broadening of an individual's perspective and corresponding to globalization.

個別目標：Each student is encouraged to score higher in the four areas than his/her previous TOEFL iBT or IELTS test score taken.

▌履修条件

Students need to have scored a minimum of 60 in TOEFL iBT (5.5 for IELTS; 500 for ITP) and to have passed the Academic English II course.

▌評価基準・方法

Grades will be strictly based on attendance/attitude/performance, class works, assignments, and a final exam.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works of reading, listening, speaking, and writing sections, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for speaking activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.(BYOD)）

▌教科書

To be notified by the instructor when the new edition is published.
Meanwhile, the materials will be provided by the instructor.

▌参考書

Barron's TOEFL iBT 18th Edition (ISBN: 978-1506290539)
Other materials, as appropriate, may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction/Course Orientation/Pre-Test** 授業内容：Course Orientation/Chapter 1: Study Plan/Chapter 2: Orientation/Chapter 3: Pretest- Model Test 1 事前学修 1.0hr：review the materials studied in the first year and preview the textbook 事後学修 2.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Pretest** 授業内容：Chapter 3: Pretest- Model Test 1 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Reading Section Practice Tasks &Strategies** 授業内容：Chapter 4: Review of TOEFL iBT Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Listening Practice Tasks &Strategies** 授業内容：Chapter 4: Review of TOEFL iBT Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Speaking Practice Tasks &Strategies** 授業内容：Chapter 4: Review of TOEFL iBT Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：Writing Practice Tasks &Strategies** 授業内容：Chapter 4: Review of TOEFL iBT Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：Campus Vocabulary, Taking Notes, Paraphrasing, Summarizing, &Synthesizing** 授業内容：Chapter 5: Academic Skills 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
10回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

11回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Reading &Listening Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Final Exam/Semester 1 Final Class** 授業内容：Speaking &Writing Sections/Course Review 事前学修 2.0hr：prepare for the exam as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

Academic English Ⅲ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

This course will prepare students to pass the IELTS exam with a minimum score of 6.0. The course will cover all four skills (speaking, reading, listening, and writing) and there will be a strong focus on practice tests to assess students abilities and areas for improvement. Students will receive individual advice and support to ensure they reach their full potential and are confident when sitting the IELTS exam. Course content is subject to change based on students' needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The goal of this class is for every student to achieve a minimum score of 6.0 on the IELTS exam. Students will gain confidence in test taking skills and techniques.

個別目標：The goal of this class is for every student to achieve a minimum score of 6.0 on the IELTS exam.

▌履修条件

Students are required to attend class every week and complete all homework assignments fully. There will be practice tests conducted throughout the course and students must prepare to sit these exams under test conditions.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated on a final exam (100%). Students will continually take practice tests and receive feedback and comments on areas of improvement.

▌フィードバック方法

Feedback will be given during class and after every practice test and final exam.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

The Official Cambridge Guide to IELTS.

▌参考書

The Official Cambridge Guide to IELTS.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：IELTS Listening skills: 4** 授業内容：Places and directions. Describing a place. Following directions. Labelling a map. 事前学修 2.0hr：Read pages 5-12 of the textbook. 事後学修 2.0hr：Complete unit 4: listening skills and read unit 4: reading skills
2回	**授業テーマ：IELTS Reading skills: 4** 授業内容：Locating and matching information. Identifying types of information. How ideas are connected. 事前学修 2.0hr：Complete unit 4: listening skills and read unit 4:reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 4: reading skills and read unit 4: writing skills.
3回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 4** 授業内容：Describing a map. Describing changes in a place. Grammatical accuracy. 事前学修 2.0hr：Complete unit 4: reading skills and read unit 4: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 4: writing skills and read unit 4: speaking skills
4回	**授業テーマ：IELTS Speaking skills: 2** 授業内容：Understanding the task. Improving fluency and coherence. Organising your notes and your talk. 事前学修 2.0hr：Complete unit 4: writing skills and read unit 2: speaking skills 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills and read unit 5: listening skills
5回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 5** 授業内容：Listening for actions and processes. Understanding mechanical parts. Describing an action or process. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills and read unit 5: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 5: listening skills and read unit 5: reading skills.
6回	**授業テーマ：IELTS Reading skills: 5** 授業内容：Discursive passages. Identifying theories and opinions. Matching features. 事前学修 2.0hr：Complete unit 5: listening skills and read unit 5: reading skills. 事後学修 2.0hr：Take one practice test under test conditions.
7回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 5** 授業内容：Understanding the task. Improving your score. Checking and correcting. 事前学修 2.0hr：Reflect on practice test scores. Read unit 5: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 5: writing skills, read unit 3: speaking skills.

8回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Talking about abstract topics. Agreeing and disagreeing. Improving your Lexical Resourse score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 5: writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3: speaking skills, read unit 6: listening skills.
9回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 6** 授業内容：Identifying attitudes and opinions. Persuading and suggesting. Reaching a decision. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills, read unit 6: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 6: listening skills, read unit 6: reading skills.
10回	**授業テーマ：IELTS Reading Skills: 6** 授業内容：Multiple choice questions. Understanding longer pieces of text. Different types of multiple choice. Identifying a writer's purpose. 事前学修 2.0hr：Complete unit 6 listening skills, read unit 6: reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 6 reading skills, read unit 6: writing skills.
11回	**授業テーマ：IELTS writing skills: 6** 授業内容：Understanding the task. Planning and organising your ideas. Writing an introduction. 事前学修 2.0hr：Complete unit 6: reading skills, read unit 6: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 6 writing skills, read unit 4: speaking skills.
12回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 4** 授業内容：Dealing with problems. Pronunciation, intonation and 'chunking'. Assessing yourself and improving your score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 6 writing skills, read unit 4: speaking skills. 事後学修 4.0hr：Complete unit 4 speaking skills. Revise for the test.
13回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
15回	**授業テーマ：Final Exam and feedback.** 授業内容：Final exam and feedback. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 3.0hr：Review the course.

Academic English Ⅳ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

The course continues to provide in-depth instruction in the four areas of reading, listening, speaking, and writing to the students with the existing knowledge of TOEFL iBT test as studied in the first semester of the second year. The aim of the course is for the students to score higher on the test and to prepare them for their study abroad program (for Japanese nationals). Students are recommended to take the TOEFL iBT or IELTS test twice per semester.

The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students improve their reading, listening, speaking, and writing skills at the level of English-speaking universities. The goal is to score a minimum of 80 (6.5 for IELTS) in order to proceed to the third year and for the Japanese nationals, to participate in the one-year study abroad program, leading to the broadening of an individual's perspective and corresponding to globalization.

個別目標：Each student is encouraged to score higher in the four areas than his/her previous TOEFL iBT or IELTS test score taken.

▌履修条件

Students need to have scored a minimum of 60 in TOEFL iBT (5.5 for IELTS; 500 for ITP).

▌評価基準・方法

Grades will be strictly based on attendance/attitude/performance, class works, assignments, a final exam, and an achievement of the minimum required score in TOEFL iBT (80) or IELTS (6.5) to receive credit for this course.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works of reading, listening, speaking, and writing sections, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for speaking activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.(BYOD)）

▌教科書

To be notified by the instructor when the new edition is published.

Meanwhile, the materials will be provided by the instructor.

▌参考書

Barron's TOEFL iBT 18th Edition (ISBN: 978-1506290539)

Other materials, as appropriate, may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction/Course Orientation/Reading, Listening, Speaking, Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 4 事前学修 1.0hr：review the materials studied in the first semester 事後学修 2.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 5 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 5 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 5 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 6 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 6 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 6 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

10回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 7 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
11回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 7 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 7 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：More Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Review 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Reading &Listening Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Final Exam/Semester 2 Final Class** 授業内容：Speaking &Writing Sections/Course Review 事前学修 2.0hr：prepare for the exam as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

Academic English Ⅳ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

This course will prepare students to pass the IELTS exam with a minimum score of 6.5. The course will cover all four skills (speaking, reading, listening, and writing) and there will be a strong focus on practice tests to assess students abilities and areas for improvement. Students will receive individual advice and support to ensure they reach their full potential and are confident when sitting the IELTS exam. Course content is subject to change based on students' needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The goal of this class is for every student to achieve a minimum score of 6.5 on the IELTS exam. Students will gain confidence in exam taking skills and techniques.

個別目標：The goal of this class is for every student to achieve a minimum score of 6.5 on the IELTS exam.

▌履修条件

Students are required to attend class every week and complete all homework assignments fully. There will be practice tests conducted throughout the course and students must prepare to sit these exams under test conditions.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated on attendance, attitude, performance, class work, assignments, a final exam and an achievemnet of the minimum required score in IELTS (6.5).

Students will continually take practice tests and receive feedback and comments on areas for improvement.

▌フィードバック方法

Feedback will be given during class and after every practice test and final exam.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

The Official Cambridge Guide to IELTS.

▌参考書

The Official Cambridge Guide to IELTS.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：IELTS Listening skills: 1** 授業内容：Understanding the context. Using the correct spelling. Writing numbers. 事前学修 2.0hr：Read pages 5-12 of the textbook. 事後学修 2.0hr：Complete unit 1: listening skills and read unit 1: Reading skills
2 回	**授業テーマ：IELTS Reading Skills: 1** 授業内容：Using the features of a reading passage. Skimming a passage and speed reading. Global understanding. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1:Listening skills and read unit 1: Reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: Writing skills.
3 回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 1** 授業内容：Understanding graphs, tables and charts. More complex charts. Improve your Task Achievement score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1: speaking skills
4 回	**授業テーマ：IELTS Speaking skills: 1** 授業内容：Getting ready to speak. Part 1-talking about familiar topics. Using the right tense. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1:speaking skills 事後学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills
5 回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 2** 授業内容：Following a conversation. Identifying the speakers. Identifying function. Understanding categories. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills.
6 回	**授業テーマ：IELTS Reading skills: 2** 授業内容：Descriptive passages. Scanning for details. Using words from the passage. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills. 事後学修 3.0hr：Take one practice test under test conditions.
7 回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 2** 授業内容：Comparing and contrasting graphs and tables. Avoiding repetitions. Comparing and contrasting data. 事前学修 2.0hr：Reflect on practice test scores. Read unit 2: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: writing skills, read unit 3: speaking skills.

8回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 2** 授業内容：Understanding the task. Improving fluency and coherence. Organising your notes and your talk. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2 writing skills, read unit 2: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills, read unit 3: listening skills.
9回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 3** 授業内容：Recognising paraphrase. Identifying distractors. Selecting from a list. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills, read unit 3: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills.
10回	**授業テーマ：ILETS Reading Skills: 3** 授業内容：Understanding the main idea. Locating and matching information. How ideas are connected. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills.
11回	**授業テーマ：IELTS writing skills: 3** 授業内容：Describing diagrams. Describing a process - coherence and cohesion. Lexical resource - being accurate. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills.
12回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Talking about abstract topics. Agreeing and disagreeing. Improving your Lexical Resourse score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 3.0hr：Complete unit 3 speaking skills. Revise for the test.
13回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final Exam 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam 事後学修 4.0hr：Review the course
15回	**授業テーマ：Final Exam and feedback.** 授業内容：Final exam and feedback. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 2.0hr：Review the course.

Advanced English skills A

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

This is a set course with Academic English I. The course is designed to prepare students for the TOEFL iBT test. Students will be familiar with the format and with the types of questions asked in each section of reading, listening, speaking, and writing as the TOEFL iBT test is structured into these four areas. The curriculum places emphasis on the skills work and practices of each section. Students will practice, build and develop skills and strategies necessary in order to be successful on the test. Students are recommended to take the TOEFL iBT or IELTS test twice per semester. The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students improve their reading, listening, speaking, and writing skills at the level of English-speaking universities. The goal is to score a minimum of 50 (5.0 for IELTS; 460 for ITP) in the first semester.

個別目標：Strength and weakness of each student in the areas are determined and targeted for improvement. Each student is encouraged to score higher in the areas than his/her previous TOEFL iBT/IELTS or ITP test score taken.

▌履修条件

Students are also required to enroll in Academic English I.

▌評価基準・方法

Grades will be based strictly on attendance/attitude/performance, class works, assignments, and a final exam.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works of reading, listening, speaking, and writing sections, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for speaking activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.(BYOD)）

▌教科書

To be notified by the instructor when the new edition is published.
Meanwhile, the materials will be provided by the instructor.

▌参考書

ETS The Official Guide to the TOEFL iBT Test 7th edition (ISBN: 978-1265477318)
Other materials, as appropriate, may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Course Introduction and Overview of the TOEFL iBT Test** 授業内容：Course Orientation/Chapter 1: About the TOEFL iBT Test 事前学修 0.5hr：preview the textbook 事後学修 1.0hr：review as specified
2 回	**授業テーマ：Reading Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 2: Reading Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
3 回	**授業テーマ：Listening Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 3: Listening Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
4 回	**授業テーマ：Speaking Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 4: Speaking Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
5 回	**授業テーマ：Writing Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 5: Writing Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
6 回	**授業テーマ：More Reading Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 2: Reading Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
7 回	**授業テーマ：More Listening Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 3: Listening Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
8 回	**授業テーマ：More Speaking Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 4: Speaking Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
9 回	**授業テーマ：More Writing Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 5: Writing Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
10 回	**授業テーマ：English Grammar, Usage, Mechanics, Style, Organization, and Development** 授業内容：Chapter 10: Writer's Handbook for English Language Learners 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

11回	**授業テーマ：English Grammar, Usage, Mechanics, Style, Organization, and Development** 授業内容：Chapter 10: Writer's Handbook for English Language Learners 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：More Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Authentic TOEFL iBT Practice Test 1 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：More Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Authentic TOEFL iBT Practice Test 1 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：More Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Authentic TOEFL iBT Practice Test 1 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Semester 1 Final Class** 授業内容：Final Exam/Course Review 事前学修 2.0hr：prepare for the exam as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

Advanced English skills A

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

This course will prepare students to pass the IELTS exam with a minimum score of 5.0. The course will cover all four skills (speaking, reading, listening, and writing) and there will be a strong focus on practice tests to assess students abilities and areas for improvement. Students will receive individual advice and support to ensure they reach their full potential and are confident when sitting the IELTS exam.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：This course aims to help every student achieve a minimum score of 5.0 on the IELTS exam. Students will gain confidence in test taking skills.

個別目標：This course will help every student achieve a minimum score of 5.0 on the IELTS exam.

▌履修条件

Students are required to attend class every week and complete all homework assignments fully. There will be practice tests conducted throughout the course and students must prepare to sit these exams under test conditions.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated on a final exam (100%). Students will continually take practice tests and receive feedback and comments on areas of improvement.

▌フィードバック方法

Feedback will be given during every class and after every practice test and final exam.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

The Official Cambridge guide to IELTS

▌参考書

The Official Cambridge guide to IELTS

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：IELTS Listening skills: 1** 授業内容：Understanding the context. Using the correct spelling. Writing numbers. 事前学修 3.0hr：Read pages 5-12 of the textbook. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1 and read unit 1: reading skills
2回	**授業テーマ：IELTS Reading Skills: 1** 授業内容：Using the features of a reading passage. Skimming a passage and speed reading. Global understanding. 事前学修 3.0hr：Complete unit 1: listening skills and read unit 1: reading skills. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: writing skills.
3回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 1** 授業内容：Understanding graphs, tables and charts. More complex charts. Improve your Task Achievement score. 事前学修 3.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: writing skills. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1: speaking skills
4回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 1** 授業内容：Getting ready to speak. Part 1-talking about familiar topics. Using the right tense. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1:speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills..
5回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 2** 授業内容：Following a conversation. Identifying the speakers. Identifying function. Understanding categories. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills.
6回	**授業テーマ：IELTS reading skills: 2** 授業内容：Descriptive passage. Scanning for details. Using words from the passage. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills. 事後学修 2.0hr：Take one practice test under test conditions.
7回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 2** 授業内容：Comparing and contrasting graphs and tables. Avoiding repetitions. Comparing and contrasting data. 事前学修 2.0hr：Reflect on practice test scores. Read unit 2: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: writing skills, read unit 3: speaking skills.

8回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Part 2 - Giving a talk. Understanding the task. Improving fluency and coherence. Organising your notes and your talk. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2 writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills, read unit 3: listening skills.
9回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 3** 授業内容：Recognising paraphrase. Identifying distractors. Recognising paraphrase. Selecting from a list. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills, read unit 3: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills.
10回	**授業テーマ：IELTS Reading skills: 3** 授業内容：Understanding the main idea. Locating and matching information. How ideas are connected. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills.
11回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 3** 授業内容：Describing diagrams. Describing a process - coherence and cohesion. Lexical resource - being accurate. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills.
12回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Talking about abstract topics. Agreeing and disagreeing. Improving your Lexical Resource score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills. Revise for the test.
13回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
15回	**授業テーマ：Final Exam and feedback.** 授業内容：Final tests and feedback. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Review the course.

Advanced English skills B

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

This is a set course with Academic English II. Following the first semester, the course is designed to further prepare students for the TOEFL iBT test. Students will be more familiar with the format and with the types of questions asked in each section of reading, listening, speaking, and writing as the TOEFL iBT test is structured into these four areas. The curriculum places further emphasis on the skills work and practices of each section. Students will further practice, build and develop skills and strategies necessary in order to be successful on the test. Students are recommended to take the TOEFL iBT or IELTS test twice per semester.
The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students improve their reading, listening, speaking and writing skills at the level of English-speaking universities. The goal is to score a minimum of 60 (5.5 for IELTS; 500 for ITP) in the first year in order to proceed to the second year.
個別目標：Strength and weakness of each student in the areas are determined and targeted for improvement. Each student is encouraged to score higher in the areas than his/her previous TOEFL iBT/IELTS or ITP test score taken.

▌履修条件

Students are required to enroll in Academic English II as well.

▌評価基準・方法

Grades will be based strictly on attendance/attitude/performance, class works, assignments, and a final exam.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works of reading, listening, speaking, and writing sections, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for speaking activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.(BYOD)）

▌教科書

To be notified by the instructor when the new edition is published.
Meanwhile, the materials will be provided by the instructor.

▌参考書

ETS The Official Guide to the TOEFL iBT Test 7th edition (ISBN: 978-1265477318)
Other materials, as appropriate, may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction/Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Course Orientation/Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 2 事前学修 1.0hr：review the materials studied in the first semester 事後学修 2.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

10回	**授業テーマ：More Reading and Listening Practice Tasks** 授業内容：Reading and Listening Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
11回	**授業テーマ：More Speaking and Writing Practice Tasks** 授業内容：Speaking and Writing Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：More Reading and Listening Practice Tasks** 授業内容：Reading and Listening Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：More Speaking and Writing Practice Tasks** 授業内容：Speaking and Writing Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：Exam Preparation** 授業内容：Review of Reading, Listening, Speaking, and Writing Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Semester 2 Final Class** 授業内容：Final Exam/Course Review 事前学修 2.0hr：prepare for the exam as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

Advanced English skills B

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

This course will prepare students to pass the IELTS exam with a minimum score of 5.5. The course will cover all four skills (speaking, reading, listening, and writing) and there will be a strong focus on practice tests to asses students abilities and areas for improvement. Students will receive individual advice and support to ensure they reach their full potential and are confident when sitting the IELTS exam.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The goal of this class is for every student to increase their confidence in English, gain a greater understanding of test taking skills and achieve a minimum score of 5.5 on the IELTS exam.

個別目標：The goal of this class is for every student to achieve a minimum score of 5.5 on the IELTS exam.

▌履修条件

Students are required to attend class every week and complete all homework assignments fully. There will be practice tests conducted throughout the course and students must prepare to sit these exams under test conditions.

▌評価基準・方法

The course will be evaluated through a final practice IELTS exam covering all four language skills (100%).

▌フィードバック方法

Test papers will be returned to students with time in class to discuss how to improve and areas to focus on. Feedback will be given during every class with specific areas for students to focus on identified.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

The Official Cambridge Guide to IELTS

▌参考書

The Official Cambridge Guide to IELTS

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：IELTS Listening skills: 4** 授業内容：Places and directions. Describing a place. Following directions. Labelling a map. 事前学修 2.0hr：Read the contents page of the textbook 事後学修 2.0hr：Complete unit 4: listening skills and read unit 4: reading skills
2回	**授業テーマ：IELTS Reading Skills: 4** 授業内容：Locating and matching information. Identifying types of information. How ideas are connected. 事前学修 2.0hr：Complete unit 4: Listening skills and read unit 4: reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 4: Reading skills and read unit 4: Writing skills.
3回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 4** 授業内容：Describing a map. Describing changes in a place. Grammatical accuracy. 事前学修 2.0hr：Complete unit 4: reading skills and read unit 4: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 4: writing skills and read unit 4: speaking skills
4回	**授業テーマ：IELTS Speaking skills: 2** 授業内容：Understanding the task. Improving fluency and coherence. Organising your notes and your talk. 事前学修 2.0hr：Complete unit 4: writing skills and read unit 2:speaking skills 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills and read unit 5: listening skills
5回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 5** 授業内容：Listening for actions and processes. Understanding mechanical parts. Describing an action or process. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills and read unit 5: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 5: listening skills and read unit 5: reading skills.
6回	**授業テーマ：IELTS Reading skills: 5** 授業内容：Discursive passages. Identifying theories and opinions. Matching features. 事前学修 2.0hr：Complete unit 5: listening skills and read unit 2: reading skills. 事後学修 2.0hr：Take one practice test under test conditions.
7回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 5** 授業内容：Understanding the task. Improving your score. Checking and correcting. 事前学修 2.0hr：Reflect on practice test scores. Read unit 5: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 5: writing skills, read unit 3: speaking skills.

8回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Talking about abstract topics. Agreeing and disagreeing. Improving your Lexical Resourse score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 5: writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3: speaking skills, read unit 6: listening skills.
9回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 6** 授業内容：Identifying attitudes and opinions. Persuading and suggesting. Reaching a decision. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills, read unit 6: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 6: listening skills, read unit 6: reading skills.
10回	**授業テーマ：IELTS Reading Skills: 6** 授業内容：Multiple choice questions. Understanding longer pieces of text. Different types of multiple choice. Identifying a writer's purpose. 事前学修 2.0hr：Complete unit 6 listening skills, read unit 6: reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 6 reading skills, read unit 6: writing skills.
11回	**授業テーマ：IELTS writing skills: 6** 授業内容：Understanding the task. Planning and organising your ideas. Writing an introduction. 事前学修 2.0hr：Complete unit 6: reading skills, read unit 6: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 6 writing skills, read unit 4: speaking skills.
12回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Dealing with problems. Pronunciation, intonation and 'chunking'. Assessing yourself and improving your score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 6 writing skills, read unit 4: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 4 speaking skills. Revise for the test.
13回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
15回	**授業テーマ：Final Exam and feedback.** 授業内容：Final exam and feedback. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Review the course.

Advanced English skills C

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

The course is on Communication Studies. Communication Studies is an academic field that deals with processes of human communication and behavior. Communication, the use of messages to generate meaning, is a fundamental and essential part of life. This course provides an approach of theories and applications as to how verbal and nonverbal communications affect humans in different settings of interpersonal social interactions. The practicum experience will provide students with the opportunity to apply theories and principles in practice.
The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Knowing how to communicate is a key factor to success. Through the effective practices of communication, students will be able to improve personal, social, cultural and professional experiences between individuals and enterprises that they may encounter in this global world.

個別目標：An individual student will learn how to build and convey messages effectively. The course will help a student to become more confident, more articulate and to become a better communicator and an interpreter of communication.

▌履修条件

An interest and a desire to improve in communication.

▌評価基準・方法

Grades will be strictly based on attendance/attitude/performance, class works, assignments, exams, and a research project.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for communication activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Required for Digital PDF, class works and assignments.(BYOD)）

▌教科書

Communication in the Real World: An Introduction to Communication Studies (University of Minnesota Libraries Publishing)
https://open.lib.umn.edu/communication/(”Digital PDF”)

▌参考書

The Basics of Communication Studies 2nd Edition (Scott McLean)
Other materials, as appropriate, may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction/History, Process, and Principles of Communication** 授業内容：Course Orientation/Chapter 1: Introduction to Communication Studies 事前学修 0.5hr：download the PDF and preview the material 事後学修 1.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Perceiving Self and Others** 授業内容：Chapter 2: Communication and Perception 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Meaning and Functions of Language** 授業内容：Chapter 3: Verbal Communication 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Principles, Functions, and Types of Nonverbal Communication** 授業内容：Chapter 4: Nonverbal Communication 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Functions and Importance of Listening** 授業内容：Chapter 5: Listening 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：Principles of Interpersonal Communication and Self-Disclosure** 授業内容：Chapter 6: Interpersonal Communication Processes 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：Midterm Exam** 授業内容：Written Test on Chapters 1-6 事前学修 2.5hr：prepare for the exam as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：Foundations of Relationships and Types of Relationships** 授業内容：Chapter 7: Communication in Relationships 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：Explorations of Cultural Identity and Intercultural Communication** 授業内容：Chapter 8: Culture and Communication 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
10回	**授業テーマ：Development and Dynamics of Small Groups** 授業内容：Chapter 13: Small Group Communication 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified

11回	**授業テーマ：Roles and Communication in Small Groups** 授業内容：Chapter 14: Leadership, Roles and Problem Solving in Groups 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：Functions and Theories of Mass Communication** 授業内容：Chapter 15: Media, Technology and Communication 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：New Media Technologies, Society, Self, and Realtionships** 授業内容：Chapter 16: New Media and Communication 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Written Test on Chapters 7, 8, 13-16 事前学修 2.5hr：prepare for the exam as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Semester 1 Final Class** 授業内容：Project Presentation/Course Review 事前学修 3.0hr：prepare for the research project as specified 事後学修 1.0hr：review as specified

Advanced English skills D

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

The course is on Presentations. The course is designed to prepare students on how to deliver presentations. Presentation skills are a powerful tool to become an effective communicator which is a valuable life skill. Students learn and practice the public speaking skills which enable them to improve all areas of the language (such as speaking, reading, writing, listening, vocabulary, phonology and grammar), time management and to build confidence speaking in front of an audience.

The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students learn to analyze audience and goals, plan, research, structure and effectively deliver ideas.

個別目標：Strength and weakness of each student in the areas of the presentation skills are determined and targeted for improvement. Each student is encouraged to improve the communication skill which is vital for an individual's academic, social and work lives.

▌履修条件

Not limited to, but recommended to have taken the Advanced English Skills C (Communication Studies) course in the first semester.

▌評価基準・方法

Grades will be based strictly on attendance/attitude/performance, class works, assignments, class presentations, and exams.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for communication activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Required for class works and assignments.(BYOD)）

▌教科書

None.

PDF materials prepared by the instructor.

▌参考書

The Art of Public Speaking 12th Edition (Stephen E. Lucas)

Other materials, as appropriate, may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction/Principles of Public Speaking** 授業内容：Course Orientation/Chapter 1: Speaking in Public 事前学修 0.5hr：preview the textbook 事後学修 1.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Guidelines for Ethical Speaking and Listening** 授業内容：Chapter 2: Ethics and Public Speaking/Chapter 3: Listening 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Preparing Speech** 授業内容：Chapter 4: Giving Your First Speech/Chapter 5: Selecting a Topic and a Purpose 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Audience Analysis and Researching** 授業内容：Chapter 6: Analyzing the Audience/Chapter 7: Gathering Materials 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specifid
5回	**授業テーマ：First Class Presentation /Examples, Statistics, Testimonies, and Citations as Supporting Materials** 授業内容：Class Presentation 1/Chapter 8: Supporting Your Ideas 事前学修 3.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：Main Points of Speech** 授業内容：Chapter 9: Organizing the Body of the Speech /Chapter 10: Beginning and Ending the Speech 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：Midterm Test** 授業内容：Written Test on Chapters 1-10 事前学修 2.5hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：Preparation Outline and Speaking Outline** 授業内容：Chapter 11: Outlining the Speech 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：Using Language Accurately, Clearly, Vividly, and Appropriately** 授業内容：Chapter 12: Using Language/Chapter 13: Delivery 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
10回	**授業テーマ：Second Class Presentation/Guidelines for Preparing and Presenting Visual Aids** 授業内容：Class Presentation 2/Chapter 14: Using Visual Aids 事前学修 3.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified

11回	**授業テーマ：Guidelines for Informative Speaking** 授業内容：Chapter 15: Speaking to Inform 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：Psychology of Persuasion, Kinds of Persuasive Speeches, and How to Appeal** 授業内容：Chapter 16: Speaking to Persuade/Chapter 17: Methods of Persuasion 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：Kinds of Special Occasion Speeches** 授業内容：Chapter 18: Speaking on Special Occasions/Chapter 19: Speaking in Small Groups 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Written Test on Chapters 11-19 事前学修 2.5hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Semester 2 Final Class** 授業内容：Class Presentation 3/Course Review 事前学修 3.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified

Business Chinese Ⅰ-a (Elementary)

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

李　思薇（り　すうぇい）

▌授業の概要

授業の概要

This introductory Chinese course is designed to cover the first semester of study at the college level. Students develop real-life communication skills as they discuss topics related to everyday life and learn useful grammatical structures. There is an emphasis on practicing a broad range of written and verbal communication skills and building cultural understanding. This course is suited for students who want a comprehensive introduction to the Chinese language. Coordinated practice develops students' listening, speaking, reading and writing, and builds proficiency in using the Chinese language in a variety of real-life situations. This course also helps students to develop interpretive, interpersonal, and presentational skills. Students are expected to preview and review for each class.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Our goal is to achieve basic linguistic and conversational competence in the Chinese language. Students will learn Chinese pinyin and its four tones, and to understand Chinese culture. Students will work on all the language skills－ listening, speaking, reading and writing. Students are also expected to work on building vocabulary, phrases and remembering sentence patterns to develop their spoken and written skills.

個別目標：By the end of the semester, the students are expected to be able to engage in a simple conversation, read and comprehend passages in Chinese, and write a short essay related to daily life.

▌履修条件

None

▌評価基準・方法

Students will be evaluated by class participation and activities, homework and assignments, review and correct mistakes, quizzes and tests.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be given for each assignment both by email and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり（Group activities, individual and/or pair presentations, conversation on given subjects.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし（I prefer students taking notes by hand, because practicing writing Chinese by hand is part of the learning process and makes learning easier.）

▌教科書

Integrated Chinese Volume 1, 4th Edition, Simplified Characters by Yuehua Li et al., published by Cheng &Tsui company. Students should obtain both the textbook and workbook, and download the audios after purchasing the books.

▌参考書

Other learning materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction [Basics] (1)** 授業内容：1. Syllabic structure, Pinyin, consonants, and vowels 2. Practice pronunciation: four tones and neutral tones 事前学修 1.0hr：study textbook P2－ P12. Read along with the audio to practice pinyin. 事後学修 1.0hr：Review P2－ P12, preview P13－ 20. Listen and read along with the audio to practice pinyin. Complete assignments.
2回	**授業テーマ：Introduction [Basics] (2)** 授業内容：1. Writing System 2. Important grammatical features. 3. Useful expressions, and numbers 事前学修 1.0hr：Study textbook P13－ P20. Read along with the audio to practice pinyin. Memorize Useful Expressions. 事後学修 1.0hr：Review chapter [Basic] and prepare for quiz. Practice pinyin along with the audio. Complete Lesson 1－ 1 assignment.
3回	**授業テーマ：Lesson 1 [Greetings] Part I** 授業内容：1. Quiz on Pinyin, Useful Expressions, and numbers 2. Exchange basic greetings, ask for a person's name and introduce Yourself. 3. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 事前学修 1.0hr：Preview Lesson 1 vocabulary, grammars. Read the dialogue along with audio, and prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Review Part I. Preview Part II. Continue to listen and read both the dialogues along with the audio. Complete Lesson 1－ 2 assignments.
4回	**授業テーマ：Lesson 1 [Greetings] Part II** 授業内容：1. Ask whether someone is a teacher or a student 2. Ask where someone is from 3. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 4. Cultural literacy 事前学修 1.0hr：Study Part II vocabulary, grammar. Read the dialogue along with the audio, and prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Prepare for quiz on Lesson 1. Preview Lesson 2 Part I. Listen and read the dialogue along with audio. Complete assignment.
5回	**授業テーマ：Lesson 2 [Family] Part I** 授業内容：1. Quiz on Lesson 1 2. Use basic kinship terms to describe a family photo 3. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 事前学修 1.0hr：Preview Part I. Listen and read the dialogue along with audio. Prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Review the lesson. Preview Part II. Practice listening and reading the dialogue along with the audio. Complete assignment.

6回	**授業テーマ：Lesson 2 [Family] Part II** 授業内容：1. Ask about someone’s profession 2. Name some common professions 3. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 4. Cultural literacy 事前学修 1.0hr：Preview Part II. Listen and read the dialogue along with audio. Prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Prepare for quiz on Lesson 2. Preview Lesson 3 Part I. Practice listening and reading the dialogue along with the audio. Complete assignment.
7回	**授業テーマ：Mid-term exam** 授業内容：Test on Lessons [Basic] thru 2 事前学修 1.0hr：Review Lessons [Basic] thru 2. Listening comprehension, reading comprehension, grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Preview Lesson 3 Part I. Practice listening and reading the dialogue along with the audio. Complete assignment
8回	**授業テーマ：Lesson 3 [dates and Time] Part I** 授業内容：1. Quiz on Lesson 2 2. Study items and dates, talk about ages and birthdays. 3. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 事前学修 1.0hr：Preview Part I. Listen and read the dialogue along with audio. Prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Review the lesson. Preview Part II. Practice listening and reading the dialogue along with the audio. Complete assignment.
9回	**授業テーマ：Lesson 3 [Dates and Time] Part II** 授業内容：1. Arrange a dinner date with someone. 2. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 3. Cultural Literacy 事前学修 1.0hr：Preview Part II. Listen and read the dialogue along with audio. Prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Review and prepare for quiz on Lesson 3. Practice listening and Reading the dialogue along with audio. Complete assignment.
10回	**授業テーマ：Lesson 4 [Hobbies] Part I** 授業内容：1. Quiz on Lesson 3 2. Name common hobbies and ask about someone’s hobbies. 3. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 事前学修 1.0hr：Preview Part I. Listen and read the dialogue along with audio. Prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Review the lesson. Preview Part II. Practice listening and reading the dialogue along with the audio. Complete assignment.
11回	**授業テーマ：Lesson 4 [Hobbies] Part II** 授業内容：1. Make plans for the weekend with friends. 2. Vocabulary, grammar, language notes and language practice. 3. Cultural literacy 事前学修 1.0hr：Preview Part II. Listen and read the dialogue along with audio. Prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Review and prepare quiz for lesson 4. Practice listening and reading the dialogue along with audio. Complete assignment.
12回	**授業テーマ：Lesson 5 [Visiting Friends] Part I** 授業内容：1. Quiz on Lesson 4 2. Welcome a visitor, introduce one person to another. 3. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 事前学修 1.0hr：Preview Part I. Listen and read the dialogue along with audio. Prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Review the lesson. Preview Part II. Practice listening and reading the dialogue along with audio. Complete assignment.
13回	**授業テーマ：Lesson 5 [Visiting Friends] Part II** 授業内容：1. Ask for beverages as a guest and offer beverages to a visitor 2. Describe a visit to a friend’s place 3. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 4. Cultural Literacy 事前学修 1.0hr：Preview Part II. Listen and read the dialogue along with audio. Prepare for in class conversation. Complete Part II assignment. 事後学修 1.0hr：Review and prepare final exam.
14回	**授業テーマ：Review for Final Exam** 授業内容：Review Lessons [Basic] thru 5 事前学修 1.0hr：Review Lessons [Basic] thru 5. Listening comprehension, reading comprehension, grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Listening, reading, writing and speaking (if possible) exercises every day for 10－15 minutes.
15回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam Lessons Basic thru 5 事前学修 1.0hr：Review Lessons Basic thru 5, all assignments and mistakes. Listening comprehension, Reading comprehension, speaking exercises. 事後学修 0.5hr：Continue learning (review the lessons and preview the next textbook)

Business Chinese Ⅰ-b (Pre-intermediate)

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

李　思薇（り　すうぇい）

▌授業の概要

This Chinese course is the continuation of first semester Chinese I-a and is designed to cover the second semester of study at the college level to further students' communication and language skills. Students must have successfully completed the first semester of Chinese or its equivalent at Meikai University or elsewhere. This course is suited for students who want to further their study of the Chinese language. Coordinated practice enhances students' listening, speaking, reading and writing, and builds proficiency using the Chinese language in a variety of real-life situations. This course also incorporates interpretive, interpersonal, and presentation skills.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：We will continue our goal to achieve basic linguistic and conversational competence in the Chinese language. Students will continue to work on all the language skills – listening, speaking, reading and writing. At the same time students will further understand Chinese culture. Students are also expected to work on building vocabulary, phrases, grammar and remember sentence patterns to enhance their spoken and written skills. In this course we will focus more on writing and presentation skills.

個別目標：By the end of the semester, the students are expected to be able to initiate a phone conversation, set up an appointment, ask a favor, talk about experience in learning Chinese, discuss different means of transportation, express gratitude after receiving a favor, etc. The students should be able to conduct simple, practical conversations, give a presentation in Chinese, and write short passages on daily topics such as school life, shopping, transportation, dinning etc.

▌履修条件

A grade of C or higher on Business Chinese I-a or equivalent

▌評価基準・方法

Students will be evaluated by class participation and in class activities, homework assignments, reviewing and correcting mistakes, unit tests and final exam.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be given for each assignment both by email and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group activities, individual and/or pair presentations, practice speaking with classmates. Students are also asked to use newly learnt vocabulary and grammar to write sentences and make presentations. ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （I prefer students taking notes by hand since practicing writing Chinese by hand is part of the learning process and makes learning easier.）

▌教科書

Integrated Chinese Volume 1, 4th Edition, Simplified Characters by Yuehua Li et al. Published by Cheng &Tsui Company. Students should obtain both the Textbook and Workbook, and download the audios after purchasing the books.

▌参考書

Other learning materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Lesson 6 [Making Appointment] Part I** 授業内容：1. Pop quiz on Lessons 1 – 5 2. Making a phone conversation 3. Set up an appointment with a teacher on the phone 4. Vocabulary, grammar, language notes and language practice. 事前学修 1.0hr：Review Lessons 1 – 5. Preview Lesson 6 Part I. Read the dialogue along with audio. Prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Review the lesson, preview Part II. Practice reading the dialogue along with audio. Complete assignment.
2回	**授業テーマ：Lesson 6 [Making Appointments] Part II** 授業内容：1. Ask for a favor 2. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 3. Cultural Literacy 事前学修 1.0hr：Preview Lesson 6 Part II. Read the dialogue along with the audio. Prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Prepare for the unit test. Practice reading the dialogue along with the audio.
3回	**授業テーマ：Lesson 6 [Making Appointments] Unit test** 授業内容：1. Vocabulary, grammar will be tested, including listening comprehension, reading comprehension, making sentences, translation and speaking 2. Go over the result of Unit Test 事前学修 1.0hr：Review Lesson 6. Listening exercises (both textbook dialogue and workbook listening comprehension). Reading exercises from workbook. Vocabulary, grammar and language practice. 事後学修 1.0hr：Preview Lesson 7 Part I. Complete assignment. Listen and read the dialogue along with audio.
4回	**授業テーマ：Lesson 7 [Studying Chinese] Part I** 授業内容：1. Discuss your experience learning Chinese 2. Vocabulary, grammar, language notes, and language practice 事前学修 1.0hr：Study Part I vocabulary, grammar. Read the dialogue along with audio, and prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Review the lesson. Preview Part II. Listen and read the dialogue along with audio. Complete assignment.
5回	**授業テーマ：Lesson 7 [Studying Chinese] Part II** 授業内容：1. Talk about your study habits and describe typical classroom situations 2. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 3. Cultural Literacy 事前学修 1.0hr：Preview Part II. Listen and read the dialogue along with audio. Prepare for in class presentation. 事後学修 1.0hr：Review Lesson 7 and prepare for the unit test. Practice listening and reading exercises both from the textbook and workbook.

6回	**授業テーマ：Lesson 7 [Studying Chinese] Unit Test** 授業内容：1. Vocabulary, grammar will be tested, including listening comprehension, reading comprehension, making sentences, translation and speaking 2. Go over the result of Unit Test 事前学修 1.0hr：Review Lesson 7. Listening exercises (textbook dialogue and workbook listening comprehension). Reading exercises from workbook. Vocabulary, grammar and language practice. 事後学修 1.0hr：Preview Lesson 8 Part I. Complete assignment. Listen and read the Diary Entry along with audio.
7回	**授業テーマ：Lesson 8 [School Life] Part I** 授業内容：1. Go over the Unit test result 2. Describe a student’s daily routine 3. Learn to write a simple diary entry or blog post 4. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 事前学修 1.0hr：Preview the lesson. Read and comprehend the Diary Entry. Prepare for in class conversation and presentation. 事後学修 1.0hr：Review the lesson. Preview Part II, practice listening and reading the Letter along with audio. Complete assignment
8回	**授業テーマ：Lesson 8 [School Life] Part II** 授業内容：1. Write a brief letter to update a friend on recent activities. 2. Write an email invite a friend. 3. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 4. Cultural Literacy 事前学修 1.0hr：Preview the lesson. Read and comprehend the Letter. Prepare for in class conversation and presentation. 事後学修 1.0hr：Review Lesson 8 and prepare for Unit Test. Listening exercises (textbook dialogue and workbook listening comprehension).
9回	**授業テーマ：Lesson 8 [School Life] Unit Test** 授業内容：Vocabulary, grammar will be tested, including listening comprehension, reading comprehension, making sentences, translation and speaking 事前学修 1.0hr：Review Lesson 8. Listening exercises (textbook dialogue and workbook listening comprehension). Reading exercises from workbook. Vocabulary, grammar and language practice. 事後学修 1.0hr：Preview Lesson 9 Part I. Complete assignment. Listen and read Dialogue 1 along with audio.
10回	**授業テーマ：Lesson 9 [Shopping] Part I** 授業内容：1. Go over the Unit Test result 2. Learn colors, sizes, Chinese currency, and payment methods 3. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 事前学修 1.0hr：Preview Part I. Listen and read the dialogue 1 along with audio. Prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Review the lesson. Preview Part II. Practice listening and reading the dialogue 2 along with audio. Complete assignment.
11回	**授業テーマ：Lesson 9 [Shopping] Part II** 授業内容：1.Exchange merchandise. 2. Vocabulary, grammar, language notes and language practice. 3. Cultural literacy 事前学修 1.0hr：Preview Part II. Listen and read the dialogue along with audio. Prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Review and prepare Unit Test for lesson 9. Listening exercises (textbook dialogue and workbook listening comprehension).
12回	**授業テーマ：Lesson 9 [Shopping] Unit Test** 授業内容：Vocabulary, grammar will be tested, including listening comprehension, reading comprehension, making sentences, translation and speaking 事前学修 1.0hr：Review Lesson 9. Listening exercises (textbook dialogue and workbook listening comprehension). Reading exercises from workbook. Vocabulary, grammar and language practice. 事後学修 1.0hr：Preview Lesson 10 Part I. Complete assignment. Listen and read the Dialogue 1 along with audio.
13回	**授業テーマ：Lesson 10 [Transportation] Part I** 授業内容：1. Go over the Unit Test result 2. Discuss different means of transportation and how to ride subway/bus, transfer from one to another. 3. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 4. Cultural Literacy 事前学修 1.0hr：Preview the lesson. Read and comprehend the dialogue 1. Prepare for in class conversation. 事後学修 1.0hr：Review the lesson. Preview Part II, complete assignment. Read the Email along with audio.
14回	**授業テーマ：Lesson 10 [Transportation] Part II** 授業内容：1. Express gratitude after receiving a favor. 2. Offer New Year wishes 3. Vocabulary, grammar, language notes and language practice 4. Review Lessons 6 – 10 事前学修 1.0hr：Preview the lesson. Read and comprehend the Email, and prepare for presentation 事後学修 1.0hr：Review Lessons 6 thru 10. Review listening and reading exercises, grammar, language practice and prepare for an oral test.
15回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Lessons 6 thru 10 事前学修 1.0hr：Review Lessons 6 thru 10. Listening comprehension, reading comprehension, grammar, etc. 事後学修 0.5hr：Listening, reading and speaking exercises10 minutes respectively each day.

Business Chinese Ⅱ-a (Intermediate)

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

李　思薇（り　すうぇい）

▌授業の概要

Chinese II-a is the continuation of the first year course, Chinese I. It’s designed for students who already have a pre-intermediate level of Chinese. This second year course builds upon the skills developed in the previous course, Chinese I, extending students’ ability to understand and express themselves in Chinese with richer vocabulary and sentence structures, and continues to further the overview of Chinese language and culture through listening, speaking, reading and writing in variety of everyday situations. In this course, we will have group work or/and individual presentations.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students will extend their Chinese communication skills relating to a variety of real-life situations. They are expected to respond and interact with peers and the teacher in Chinese in class, and are expected to give presentations using appropriate Chinese. Students should be able to write a short essay on everyday topics as well.

個別目標：At the end of the course, students will be able to give extended information about themselves, their families and friends, daily-life, and their immediate environment. Students should be able to write short passages on topics about school life, dining, directions, seeing a doctor, etc. Students are also expected to use linguistic rules and vocabulary with confidence, and further their understanding of Chinese culture.

▌履修条件

A grade of C or higher on Chinese I-b (completion of Integrated Chinese Volume I) or equivalent.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated by class participation and activities, homework assignments, review and correction exercises, unit tests and a final exam.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be given for each assignment both by email and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group activities, individual and/or pair presentations, and conversations about the topics learned.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （I prefer students taking notes by hand since writing notes in Chinese by hand is part of the learning process, and helps students to learn more effectively.）

▌教科書

Integrated Chinese Volume 2, 4th Edition, Simplified Characters by Yuehua Li et al. Cheng &Tsui Company, including the Textbook and Workbook. Also download the audios after purchasing the books.

▌参考書

Other learning materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Lesson 11 [Weather] Part I** 授業内容：1. Study vocabulary, dialogue1, language notes, and grammar. 2. Learn about the weather in basic terms and compare weather in two places. 3.Language practice and conversation exercises 事前学修 1.5hr：Preview Part I vocabulary, grammar, and dialogue. Read dialogue1 along with the audio, understand the context and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review the lesson. Preview Part II, listen and read dialogue2 along with the audio, and complete the assignment.
2回	**授業テーマ：Lesson 11 [Weather] Part II** 授業内容：1. Review homework mistakes. 2. Study vocabulary, language notes and grammar. 3. Learn how to talk about what you can do in nice or bad weather, present a simple weather forecast. 4. Language practice and conversation exercises. 事前学修 1.5hr：Preview Part II, listen and read the dialogue2 along with audio, understand the context, and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review Lesson 11, and all assignments. Prepare for the Unit Test, including both written and oral parts.
3回	**授業テーマ：Lesson 11 Unit Test** 授業内容：1. Unit Test on Lesson 11, written (includes listening, reading and writing) and oral parts. 2. Go over the result of the Unit Test 事前学修 1.5hr：Review Lesson 11, and all the assignments. Also prepare for the oral part. 事後学修 1.5hr：Preview Lesson 12 Part I, listen and read dialogue1 along with the audio, and complete the assignment.
4回	**授業テーマ：Lesson 12 [Dining] Part I** 授業内容：1. Review homework mistakes. 2. Study dialogue 1, dialogue1 and grammar. 3.Learn how to ask if there are seats available at a restaurant, ordering some Chinese dishes and rushing your order. 4. Language practice and conversation exercise 事前学修 1.5hr：Preview Part I vocabulary, language notes, grammar and language practice. Listen and read dialogue1 along with the audio, understand the context, and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review the lesson. Preview Part II. Complete assignment. Listen and read dialogue2 along with the audio.
5回	**授業テーマ：Lesson 12 [Dining] Part II** 授業内容：1. Review homework mistakes. 2. Study dialogue2, language notes and grammar. 3. Learn how to describe your dietary preferences and restrictions, and ask for recommendations. 4. Language practice, conversation exercise, cultural literacy 事前学修 1.5hr：Preview Part II vocabulary, language notes and grammar. Listen and read dialogue2 along with the audio, and understand the context. 事後学修 1.5hr：Review Lesson 12, and all assignments. Prepare for the Unit Test (both written and oral parts).

6回	**授業テーマ：Lesson 12 Unit Test** 授業内容：1. Unit Test, including listening, reading, writing and speaking. 2. Go over the result of the Unit Test. 事前学修 1.5hr：Review Lesson 12, and all assignments, speaking exercises. 事後学修 1.5hr：Preview Lesson 13 Part I. Complete assignment, listen and read dialogue1 along with the audio.
7回	**授業テーマ：Lesson 13 [Asking Directions] Part I** 授業内容：1. Review homework mistakes. 2. Study dialogue1, language notes and grammar 3. Learn how to ask for and give directions, identify locations by using landmarks as references. 4. Language practice and conversation exercises. 事前学修 1.5hr：Preview Part I vocabulary, language notes and grammar. Listen and read dialogue1 along with the audio, understand the context, and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review the lesson. Preview Part II vocabulary, language notes and grammar. Listen and read dialogue2. Complete assignment.
8回	**授業テーマ：Lesson 13 [Asking Directions] Part II** 授業内容：1. Review homework mistakes 2. Study dialogue2, language notes and grammar. 3. Learn how to say the distances between two places. 4. Language practice, conversation exercises and cultural literacy. 事前学修 1.5hr：Preview Part II vocabulary, language notes and grammar. Listen and read dialogue2 along with the audio, understand the context, and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review Lesson 13, and all assignments. Prepare for Unit Test (both written and oral).
9回	**授業テーマ：Lesson 13 Unit Test** 授業内容：1. Unit Test, including listening, reading, writing and speaking. 2. Go over the result of the Unit Test. 事前学修 1.5hr：Review Lesson 13, and all assignments and mistakes. Also prepare for the oral test. 事後学修 1.5hr：Preview Lesson 14 Part I vocabulary, language notes and grammar. Listen and read dialogue1 along with the audio, and complete assignment.
10回	**授業テーマ：Lesson 14 [Birthday Party] Part I** 授業内容：1. Review homework mistakes. 2. Study dialogue1, language notes and grammar. 3. Learn how to ask a friend to go to a party with you, and suggest things to bring to a get-together. 4. Language practice and conversation exercises. 事前学修 1.5hr：Preview Part I vocabulary, language notes and grammar. Listen and read dialogue1 along with the audio, understand the context, and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review the lesson. Preview Part II, listen and read dialogue2 along with the audio, complete assignment.
11回	**授業テーマ：Lesson 14 [Birthday Party] Part II** 授業内容：1. Review homework mistakes. 2. Study dialogue2, language notes and grammar 3. Learn how to thank people for gits, describe a duration of time, and talk about Chinese zodiac signs. 4. Language practice, conversation exercises and cultural literacy. 事前学修 1.5hr：Preview Part II vocabulary, language notes and grammar. Listen and read dialogue2 along with the audio, understand the context, and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review Lesson 14, and all assignments. Prepare for the Unit Test (both written and oral).
12回	**授業テーマ：Lesson 14 Unit Test** 授業内容：1. Unit Test, including listening, reading, writing and speaking. 2. Go over the result of the Unit Test. 事前学修 1.5hr：Review Lesson 14, and all assignments. 事後学修 1.5hr：Preview Lesson 15 Part I vocabulary, language notes and grammar. Listen and read dialogue1 along with the audio, complete assignment.
13回	**授業テーマ：Lesson 15 [Seeing a doctor] Part I** 授業内容：1. Review homework mistakes. 2. Study dialogue1 language notes and grammar 3. Learn how to describe common cold and allergy symptoms, understand instructions on taking medications. 4. Language practice and conversation exercise 事前学修 1.5hr：Preview Part I vocabulary, language notes and grammar. Listen and read dialogue 1 along with the audio, understand the context, and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review the lesson. Preview Part II, listen and read dialogue2 along with the audio, complete assignment.
14回	**授業テーマ：Lesson 15 [Seeing a doctor] Part II** 授業内容：1. View homework mistakes. 2. Study dialogue2 language notes and grammar 3. Learn how to talk about why you do or don’ t want to see the doctor 4. Language practice, cultural literacy and conversation exercise 事前学修 1.5hr：Preview Part II vocabulary, language notes and grammar. Listen and read dialogue2 along with the audio, understand the context, and prepare for in class conversation 事後学修 1.5hr：Review Lesson 11 thru 15. Prepare for the final exam.
15回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Exam on Lessons 11 thru 15 Listening, reading, writing and speaking will be tested. 事前学修 1.5hr：Review all grammar, assignments, unit tests, language practice. Practice listening, and prepare for the oral test as well. 事後学修 0.5hr：Continue to study Chinese every day for 15 minutes per day.

Business Chinese Ⅱ-b (Upper Intermediate)

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

李　思薇（り　すうぇい）

▌授業の概要

Chinese II-b is the continuation of the course Chinese II-a. To take this course, students must have successfully completed the previous Chinese course II-a at Meikai University or its equivalent elsewhere. This course builds upon the skills developed in the previous Chinese courses, strengthening students' Chinese language ability comprehensively through listening, speaking, reading, and writing in a variety of settings.
This course continues to extend students' ability to understand and express themselves in Chinese with a richer vocabulary and more complicated sentence structures. In this course, we will continue to have group work and/or individual presentations. The course also continues to further students' knowledge of Chinese culture.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：At the end of this course, students will be able to engage in a conversation using more polite expressions and providing more detailed information about themselves, their daily lives and their surrounding environments in Chinese. Students will also be able to increase their understanding of Chinese language and culture. In addition, students should be able to write essays on everyday life topics, such as renting an apartment, talking about sports, travel plans, at the airport, etc.

個別目標：Students will enhance their Chinese communication skills in the context of a variety of real life situations. They are expected to use Chinese language extensively in class, and through group work and individual presentations to interact with each other in class. Students are required to prepare before each lesson and review after each lesson.

▌履修条件

A grade of C or higher on Chinese II-a or equivalent

▌評価基準・方法

Students will be evaluated by class participation and in-class activities, homework and assignments, review mistakes, quizzes and tests.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be given for each assignment both by email and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group activities, individual and/or pair presentations, and conversation about the text.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （I prefer students taking notes by hand since writing notes in Chinese by hand is part of the learning process, and it helps students to learn more effectively.）

▌教科書

Integrated Chinese Volume 2, 4th Edition, Simplified Characters by Yuehua Li et al. Cheng &Tsui Company, including the Textbook and Workbook. Also download the audios after purchasing the books.

▌参考書

Other learning materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Lesson 16 [Dating] Part I** 授業内容：1. Pop quiz on Lesson 11 – 15 and go over the result 2. Study vocabulary, dialogue1, language notes, and grammar. 3. Learn how to invite someone to activities. 4.Language practice and conversation exercises 事前学修 1.5hr：Preview Part I vocabulary, grammar, dialogue. Read dialogue1 along with the audio, understand the context and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review the lesson. Preview Part II, listen to and read dialogue2 along with the audio, and complete assignment. Correct homework mistakes after getting back the feedback.
2回	**授業テーマ：Lesson 16 [Dating] Part II** 授業内容：1. View homework 2. Study dialogue 2, language notes and grammar. 3. Learn how to accept or gently decline an invitation, and how to end a phone conversation politely. 4. Language practice and conversation exercises. 事前学修 1.5hr：Correct homework mistakes. Preview Part II, listen and read dialogue2 along with the audio, understand the context, and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review Lesson 16, all assignments and all corrected homework mistakes. Prepare for the Unit Test.
3回	**授業テーマ：Lesson 16 Unit Test** 授業内容：1. Unit Test includes listening, reading, writing and speaking. 2. Go over the result of the test 事前学修 1.5hr：Review Lesson 16, listening, reading and speaking exercises. Review all assignments and corrections. 事後学修 1.5hr：Preview Lesson 17 Part I vocabulary, grammar, and Narrative. Complete assignment. Read the Narrative along with audio. Correct homework mistakes after getting the feedback.
4回	**授業テーマ：Lesson 17 [Renting an apartment] Part I** 授業内容：1. Review homework 2. Study Narrative, language notes, and grammar. 3. Learn to describe your current and ideal dwellings, names of furniture, etc. 4.Language practice and conversation exercises 事前学修 1.5hr：Preview Part I vocabulary, grammar, Narrative. Read the Narrative along with the audio, understand the context and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review the lesson. Preview Part II, listen and read dialogue2 along with the audio, and complete assignment. Correct homework mistakes after getting back the feedback.

5回	**授業テーマ：Lesson 17 [Renting an apartment] Part II** 授業内容：1. View homework mistakes. 2. Study Dialogue 2, language notes, and grammar. 3. Learn to negotiate rent, utilities, and security deposits; and be able to explain why a place is right for someone or not. 4.Language practice and conversation exercises 事前学修 1.5hr：Correct homework mistakes. Preview Part II vocabulary, grammar, Dialogue 2. Read the Dialogue along with the audio, understand the context and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review Lesson 17, all the assignments and all corrected homework mistakes. Prepare for the Unit Test.
6回	**授業テーマ：Lesson 17 Unit Test** 授業内容：1. Unit Test includes listening, reading, writing and speaking. 2. Go over the result of the test 事前学修 1.5hr：Review Lesson 17, listening, reading and speaking exercises. Review all assignments and corrected homework mistakes. 事後学修 1.5hr：Preview Lesson 18 Part I vocabulary, grammar, Narrative. Complete assignment. Read the Narrative along with the audio. Correct homework mistakes after receiving the feedback.
7回	**授業テーマ：Lesson 18 [Sports] Part I** 授業内容：1. View homework mistakes. 2. Study dialogue1, language notes, and grammar. 3. Name and discuss some popular sports, talk about your exercise habits 4.Language practice and conversation exercises 事前学修 1.5hr：Correct homework mistakes. Preview Part I vocabulary, grammar, dialogue1. Read dialogue1 along with the audio, understand the context and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review the lesson. Preview Part II, listen and read dialogue2 along with the audio, and complete assignment. Correct homework mistakes after receiving the feedback.
8回	**授業テーマ：Lesson 18 [Sports] Part II** 授業内容：1. View homework 2. Study Dialogue 2, language notes, and grammar. 3. Compare soccer and American football in simple terms 4.Language practice and conversation exercises, cultural literacy 事前学修 1.5hr：Preview Part II vocabulary, grammar, Dialogue 2. Read Dialogue2 along with the audio, understand the context and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review Lesson 18, and all the assignments. Prepare for the Unit Test.
9回	**授業テーマ：Lesson 18 Unit Test** 授業内容：1. Unit Test includes listening, reading, writing and speaking. 2. Go over the result of the test 事前学修 1.5hr：Review Lesson 18, listening, reading and speaking exercises. Review all assignments. 事後学修 1.5hr：Preview Lesson 19 Part I vocabulary, grammar, Dialogue1. Complete assignment. Read the Dialogue1 along with audio. Correct homework mistakes after receiving feedback.
10回	**授業テーマ：Lesson 19 [Travel] Part I** 授業内容：1. Review homework 2. Study dialogue1, language notes, and grammar. 3. Talk about your summer plans, travel itinerary, and describe what kind of city Beijing is. 4.Language practice and conversation exercises 事前学修 1.5hr：Preview Part I vocabulary, grammar, dialogue1. Read dialogue1 along with the audio, understand the context and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review the lesson. Preview Part II, listen and read dialogue2 along with the audio, and complete assignment. Correct homework mistakes after receiving feedback.
11回	**授業テーマ：Lesson 19 [Travel] Part II** 授業内容：1. Review homework 2. Study Dialogue 2, language notes, and grammar. 3. Compare soccer and American football in simple terms 4.Language practice and conversation exercises, cultural literacy 事前学修 1.5hr：Preview Part II vocabulary, grammar, Dialogue 2. Read Dialogue2 along with the audio, understand the context and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review Lesson 19, all the assignments and all corrected homework mistakes. Prepare for Unit Test.
12回	**授業テーマ：Lesson 19 [Travel] Unit Test** 授業内容：1. Unit Test includes listening, reading, writing and speaking. 2. Go over the result of the test 事前学修 1.5hr：Review Lesson 19, listening, reading and speaking exercises. Review all assignments. 事後学修 1.5hr：Preview Lesson 20 Part I vocabulary, grammar, Dialogue1. Complete assignment. Read Dialogue1 along with the audio. Correct homework mistakes after receiving feedback.
13回	**授業テーマ：Lesson 20 [At the airport] Part I** 授業内容：1. View homework 2. Study dialogue1, language notes, and grammar. 3. Learn to check in at the airport, and wish friends a safe journey 4.Language practice and conversation exercises 事前学修 1.5hr：Preview Part I vocabulary, grammar, dialogue1. Read dialogue1 along with the audio, understand the context and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review the lesson. Preview Part II, listen and read dialogue2 along with the audio, and complete assignment. Correct homework mistakes after receiving feedback.
14回	**授業テーマ：Lesson 20 [At the airport] Part II** 授業内容：1. View homework 2. Study Dialogue 2, language notes, and grammar. 3. Learn to greet friends at the airport, compliment someone’s language ability, etc. 4.Language practice and conversation exercises, cultural literacy 事前学修 1.5hr：Preview Part II vocabulary, grammar, Dialogue 2. Read Dialogue2 along with the audio, understand the context and prepare for in class conversation. 事後学修 1.5hr：Review Lessons 16 thru 20, all the assignments and all corrected homework mistakes. Prepare for the Final.
15回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final will be on Lessons 16 thru 20, with focus on Lesson 20 Listening, reading, writing and speaking will be tested. 事前学修 1.5hr：Review lessons 16 thru 20, all the assignments, corrected homework mistakes, listening comprehension, reading comprehension, speaking exercises. 事後学修 0.5hr：Shifting your goal from “learning” to “using”. For instance, having a 10-minute conversation with a Chinese speaking friend, or practice reading and understanding a Chinese news article, etc.

Japanese A

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

林　苗（りん　みょう）

▌授業の概要

This course is designed for students with no or little background in Japanese. In the course, students will learn basic knowledge of Japanese such as Japanese characters, vocabulary, grammar, and basic sentence patterns necessary for communication with people from a variety of cultural background.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The goals of this class are to acquire basic knowledge of Japanese that is necessary for communication and develop Japanese communication skills and deepen understanding of Japan.

個別目標：By the end of the course, students are expected to be able to

① read and write words written in hiragana and katakana.
② give simple explanations of things related to themselves.
③ ask simple questions about daily life and understand the answers of others.

▌履修条件

Students are required to take Japanese B with this course.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via term-end exam (40%), assignments (30%), quiz (20%), and reflection (10%).
To obtain a passing grade, students must attend 4/5 of the classes.

▌フィードバック方法

Feedback will be provided in the lesson or through the learning support system manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion, Group work, Presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （In order to share class material.Please bring your laptop or tablet.）

▌教科書

to be distributed in class.

＊ Distribution prints are created with reference to AJALT (author) ‘Japanese for Busy People Japanese I: Kana Version’ Kodansha International Publishing.

▌参考書

AJALT (著)『Japanese for Busy People 日本語Ⅰ: Kana Version』Kodansha International 出版社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and Pre-test** 授業内容：Introducing Useful Expressions and Online tools.Pre-test. 事前学修 1.0hr：Read the syllabus of this class 事後学修 1.0hr：Read course materials and the schedule.
2回	**授業テーマ：Lesson 1　Hiragana** 授業内容：Read and Write Hiragana 事前学修 1.0hr：Read Lesson1 事後学修 1.0hr：Hiragana worksheet
3回	**授業テーマ：Lesson 2　Katakana** 授業内容：Read and Write Katakana 事前学修 1.0hr：Read Lesson2 事後学修 1.0hr：Katakana worksheet
4回	**授業テーマ：Review of Lesson1 and Lesson2** 授業内容：Review Lesson 1 and Lesson 2 事前学修 1.0hr：Review Lesson1 and Lesson2 事後学修 1.0hr：Worksheet for L1 &L2 review.
5回	**授業テーマ：Lesson 3　Introductions** 授業内容：Talk about nationalities and occupations. Introduce yourself and others, at yourworkplace or at a party. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.
6回	**授業テーマ：Lesson 4 Exchanging business cards** 授業内容：Talk about a nearby object and its owner. Ask for telephone numbers. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.
7回	**授業テーマ：Review of Lesson 3 and Lesson 4** 授業内容：Review Lesson 3 and Lesson 4 事前学修 1.0hr：Review Lesson3 and Lesson4 事後学修 1.0hr：Worksheet for L3 &L4 review
8回	**授業テーマ：Lesson 5　Asking about business hours** 授業内容：Talk about the times of meetings and parties. Ask the hours of services in stores and hotels. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.
9回	**授業テーマ：Lesson 6　Shopping,part Ⅰ** 授業内容：Ask the prices of items in a store and make a purchase. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.

10回	**授業テーマ：Lesson 7　Shopping,part Ⅱ** 授業内容：Ask what the size,color,and country of origin of an item is,and buy the item. Buy one or more of an item, telling the clerk how many you need. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.
11回	**授業テーマ：Review of Lesson 5, Lesson 6, Lesson 7** 授業内容：Review Lesson5, Lesson6, Lesson7 事前学修 1.0hr：Review Lesson 5, Lesson 6, Lesson 7 事後学修 1.0hr：Worksheet for L5 &L6 &L7 review
12回	**授業テーマ：Lesson 8　Confirming schedules** 授業内容：Talk about where you will go,when,and with whom. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.
13回	**授業テーマ：Lesson 9　Visiting another company** 授業内容：Talk about travel destinations,places and people to visit,dates and times,and means of transportation. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.
14回	**授業テーマ：Review of Lesson 8 and Lesson 9** 授業内容：Review Lesson8 and Lesson9 事前学修 1.0hr：Review Lesson8 and Lesson9 事後学修 1.0hr：Worksheet for L8 &L9 review
15回	**授業テーマ：Final exam** 授業内容：Term-end exam. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.

Japanese B

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

林　苗（りん　みょう）

▌授業の概要

The aim of the course is to help students develop communicative skills using basic Japanese. In the course, students will learn basic knowledge of Japanese such as orthographic system, vocabulary, grammar, and basic sentence patterns necessary for communication with people from a variety of cultural background.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The goals of this class are to deepen understanding of Japan, develop Japanese communication skills in situations where international cultural exchange takes place and acquire knowledge of Japanese that is necessary for communication.

個別目標：By the end of the course, students are expected to be able to

① read words written in very basic kanji.
② interact with others about interests and entertainment.
③ express their own ideas and their opinions using simple expressions.

▌履修条件

Students are required to take Japanese A with this course.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via assignments (40%), quizzes (30%), presentation (20%) and reflection (10%).
To obtain a passing grade, students must attend 4/5 of the classes.

▌フィードバック方法

Feedback will be provided in the lesson or through the learning support system manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion, Group work, Presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （In order to share class material.Please bring your laptop or tablet.）

▌教科書

迫田久美子 (監修), 古本 裕美 (著, 編集), 近藤 玲子・近藤 妙子・リード真澄 (著)『shadowing もっと日本語を話せる中上級編 [英語・中国語・ベトナム語訳付き]』くろしお出版

▌参考書

Introduce as appropriate.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and Pre-test** 授業内容：Explains the guidance for this course.Introduces the books will need to prepare.Pre-test. 事前学修 1.0hr：Read a syllabus of this class. 事後学修 2.0hr：Complete specified assignments.
2回	**授業テーマ：Lesson 1 Food** 授業内容：Expressing opinions about Japanese food culture. Talking ideas using comparison expressions. 事前学修 2.0hr：Complete a pre-assignment. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
3回	**授業テーマ：Lesson 2 History** 授業内容：Explaining regional characteristics based on history. Talking about differences between the past and the present. 事前学修 2.0hr：Complete a pre-assignment. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
4回	**授業テーマ：Lesson 3 Habits** 授業内容：Explaining the custom of return gifts in Japan. Making simple comparisons with customs in one's own country. 事前学修 2.0hr：Complete a pre-assignment. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
5回	**授業テーマ：Lesson 4 Leisure facilities** 授業内容：Talking about café use and personal preferences. Explaining one's lifestyle briefly. 事前学修 2.0hr：Complete a pre-assignment. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
6回	**授業テーマ：Lesson 5 Seasons** 授業内容：Explaining the importance of cherry blossoms in Japan. Talking about seasons and feelings. 事前学修 2.0hr：Complete a pre-assignment. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
7回	**授業テーマ：Lesson 6 Comics and Animation** 授業内容：Explaining the work of voice actors. Talking about Japanese anime culture. 事前学修 2.0hr：Complete a pre-assignment. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
8回	**授業テーマ：Review and Quiz** 授業内容：Review and quiz from Lesson 1 to Lesson 6. 事前学修 2.0hr：Complete a pre-assignment. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.

9回	**授業テーマ：Lesson 7 Traditional Arts** 授業内容：Explaining the basic features of Rakugo(Japanese comic story). Talking about impressions of Japanese traditional culture. 事前学修 2.0hr：Complete a pre-assignment. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
10回	**授業テーマ：Lesson 8 Shopping** 授業内容：Explaining problems with online shopping. Giving warnings and simple advice. 事前学修 2.0hr：Complete a pre-assignment. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
11回	**授業テーマ：Lesson 9 Tourist spots** 授業内容：Explaining the history of a tourist spot. Talking about facts and personal impressions separately. 事前学修 2.0hr：Complete a pre-assignment. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
12回	**授業テーマ：Lesson 10 Events throughout the year** 授業内容：Explaining foreign events introduced into Japan. Comparing them with events in one's own country. 事前学修 2.0hr：Complete a pre-assignment. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
13回	**授業テーマ：Lesson 11 Geography and Climate** 授業内容：Explaining Japan's geographical features. Talking about regional differences. 事前学修 2.0hr：Complete a pre-assignment. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
14回	**授業テーマ：Lesson 12 Presentation** 授業内容：Explaining characteristics of part-time jobs for college students. Communicating ideas through a short presentation. 事前学修 2.0hr：Complete a pre-assignment. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
15回	**授業テーマ：Final exam** 授業内容：Presentations.Perform end-of-term tests. 事前学修 2.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 2.0hr：Review the course.

Japanese C

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

高柳　奈月（たかやなぎ　なつき）

▌授業の概要

To improve Japanese language proficiency, students will develop the ability to understand the conjugation rules of Japanese verbs and adjectives and to use sentence patterns correctly. Furthermore, they will cultivate conversational skills to express their thoughts appropriately in communication settings according to the situation and context.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：① Be able to correctly understand the conjugation rules of Japanese verbs and adjectives.
② Be able to use appropriate sentence patterns according to the situation.
③ Be able to express what you want to say appropriately.

個別目標：① Be able to correctly form conjugated forms.
② Be able to hold simple conversations by combining conjugated forms with sentence patterns.

▌履修条件

・Students are required to take Japanese A with this course.
・Assignments are given every time. Submit them by the deadline.

▌評価基準・方法

Final Exam 30%, Quiz20%, assignment40%, reflection10%
For evaluation, students must attend 4/5 of the classes.

▌フィードバック方法

Provide feedback through the learning support system ”manaba” and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

渡部由紀子・左弥寿子・臼井紫瑞子『NIHONGO FUN &EASY Ⅱ Basic Grammar for Coversastion』アスク出版

▌参考書

Introduce as appropriate.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance &pre-test** 授業内容：This explains an overview of this class. A pre-test will also be given. 事前学修 2.0hr：Read the class syllabus. 事後学修 2.0hr：Check the Verb Groups and categorize them.
2回	**授業テーマ：Expressions Using Dictionary Form** 授業内容：Dictionary Form:(1)I like to watch soccer.(2)I plan to go to the party.(3)I read a book before going to sleep. 事前学修 2.0hr：Check the Dictionary Form and try making it. 事後学修 2.0hr：Listening or Shadowing practice.
3回	**授業テーマ：Expressions Using Masu-Form** 授業内容：Masu-Form:(1)Shall I carry your bag(s)?(2)I'll go to Shinjuku to see a movie.(3)I want to eat ramen.(4)I ate too much cake yesterday. 事前学修 2.0hr：Check the Masu-Form and try making it. 事後学修 2.0hr：Listening or Shadowing practice.
4回	**授業テーマ：Expressions Using Te-Form ①** 授業内容：Te-Form ①:(1)Please speak slowly.(2)Could you write in hiragana?(3)I'll go Shibuya and have some food.(4)May I leave early today? 事前学修 2.0hr：Check the Te-Form ① and try making it. 事後学修 2.0hr：Listening or Shadowing practice.
5回	**授業テーマ：Expressions Using Te-Form ②** 授業内容：Te-Form ②:(1)I'm studying Japanese now.(2)I'm working in Shinjuku.(3)I used to live in Paris ten years ago.(4)I haven't eaten lunch yet. 事前学修 2.0hr：Check the Te-Form ② and try making it. 事後学修 2.0hr：Listening or Shadowing practice.
6回	**授業テーマ：Expressions Using Ta-Form** 授業内容：Ta-Form:(1)I have climbed Mount Fuji.(2)It's better to go by bus.(3)I do things like watching movies and going shopping.(4)If I had the money, I would travel around the world. 事前学修 2.0hr：Check the Ta-Form and try making it. 事後学修 2.0hr：Listening or Shadowing practice.
7回	**授業テーマ：Expressions Using Nai-Form** 授業内容：Nai-Form:(1)Please don't be late.(2)I have to leave earlier today.(3)It's better not to work too hard.(4)You don't have to write in Japanese. 事前学修 2.0hr：Check the Nai-Form and try making it. 事後学修 2.0hr：Listening or Shadowing practice.
8回	**授業テーマ：Expressions Using Plain-Form ①-1** 授業内容：Plain-Form ①-1[Non Past]:(1)I think Tanaka-san is in the office.(2)It might rain tomorrow.(3)This song seems to be popular. 事前学修 2.0hr：Check the Plain-Form ①-1 and try making it. 事後学修 2.0hr：① Listening practice. ② Check the casual conversation between friends1
9回	**授業テーマ：Expressions Using Plain-Form ①-2** 授業内容：Plain-Form ①-2[Past]:(4)I think the manager already went home.(5)The sale might have been until yesterday.(6)John-san seems to have quit his job. 事前学修 2.0hr：Check the Plain-Form ①-2 and try making it. 事後学修 2.0hr：① Shadowing practice. ② Check the casual conversation between friends2

10回	**授業テーマ：Expressions Using Adjectives** 授業内容：Adjectives:(1)The train is faster than a taxi.(2)Tokyo's rent is the highest in Japan.(3)Tokyo is full of people and lively.(4)This ramen looks tasty.(5)Japanese sweets are too sweet. 事前学修 2.0hr：Check the Adjectives and try making it. 事後学修 2.0hr：Listening or Shadowing practice.
11回	**授業テーマ：Expressions Using Potential Verbs** 授業内容：Potential Verbs:(1)I can play the guitar.(2)I became able to read Kanji.(3)I can see Mount Fuji from here. 事前学修 2.0hr：Check the Potential Verbs and try making it. 事後学修 2.0hr：Listening or Shadowing practice.
12回	**授業テーマ：Expressions Using Plain-Form ②** 授業内容：Plain-Form ② [Non Past/Past]:(1)The manager should still be in the meeting room.(2)I'll miss the lesson because I'm busy at work.(3)This is a photo taken in Okinawa.(4)I don't know if I'll take the JLPT or not.(5)I don't know what time she will come. 事前学修 2.0hr：Check the Plain-Form ② and try making it. 事後学修 2.0hr：Listening or Shadowing practice.
13回	**授業テーマ：Expressions Using Te-Form ③** 授業内容：Te-Form ③:(1)I'll try to make it myself.(2)I'll make the reservation(in advance).(3)The cherry blossoms are blooming.(4)Unfortunately, I dropped the wallet. 事前学修 2.0hr：Check the Te-Form ③ and try making it. 事後学修 2.0hr：Listening or Shadowing practice.
14回	**授業テーマ：Expressions Using Conditional Form** 授業内容：Conditional Form:(1)You can make it if you take a taxi.(2)I should have studied harder.(3)How should I order? 事前学修 2.0hr：Check the Conditional Form and try making it. 事後学修 2.0hr：Listening or Shadowing practice.
15回	**授業テーマ：Giving and Receiving &Review** 授業内容：① Giving and Receiving:(1)I gave my friend the DVD./My friend gave me snacks.(2)I got tickets to the movies from my friends.(3)I taught my friend English./My friend taught me Japanese.(4)I had my friend help me with my homework. ② Review 事前学修 2.0hr：Check the giving and receiving and 事後学修 2.0hr：Review the contents of lesson.

Japanese D

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

This course provide opportunities to develop communication skills for everyday life. In Japanese D you will learn expressions through activities to achieve the tasks you face in everyday life.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Through activities, deepen understanding of Japanese culture and acquire Japanese language skills to promote communication with others in multiple cultures.

個別目標：To acquire Japanese expressions to achieve tasks
To have knowledge of Japanese culture in everyday life
To be able to express your thoughts and opinions in simple Japanese

▌履修条件

Students are required to take Japanese B with this course.

▌評価基準・方法

Students are evaluated by assignments (60%), quizzes (20%), final assignment &presentation (10%) and reflection papers (10%).
In principle, at least four-fifths of attendance is a prerequisite for evaluation.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments is given during class or through the learning support system Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion, Group work, Presentation.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （In order to share class material.Please bring your laptop or tablet.）

▌教科書

to be distributed in class.

▌参考書

斎藤仁志・深澤道子・酒井理恵子・中村雅子 (著)『シャドーイング日本語を話そう！ 就職・アルバイト・進学面接編 [英語・中国語・韓国語訳版]』くろしお出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance & Pre Test** 授業内容：Guidance & Pre-Test 事前学修 2.0hr：Read course materials and the schedule. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
2回	**授業テーマ：Lesson 1** 授業内容：Questions About Your Strong and Weak Points. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
3回	**授業テーマ：Lesson 2** 授業内容：Questions About University and Study. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
4回	**授業テーマ：Review and Quiz ①** 授業内容：Review and Quiz of Lesson 1 and Lesson 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
5回	**授業テーマ：Lesson 3** 授業内容：Questions About Extracular Activities. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
6回	**授業テーマ：Lesson 4** 授業内容：Questions About Your Future. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
7回	**授業テーマ：Review and Quiz ②** 授業内容：Review and Quiz of Lesson 3 and Lesson 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
8回	**授業テーマ：Lesson 5** 授業内容：Questions About Your Skills and Abilities. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
9回	**授業テーマ：Lesson 6** 授業内容：Questions for Foreigners. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
10回	**授業テーマ：Review and Quiz ③** 授業内容：Review and Quiz of Lesson 5 and Lesson 6 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
11回	**授業テーマ：Lesson 7** 授業内容：Questions About Personal Character. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.

12回	**授業テーマ：Lesson 8** 授業内容：One-Minute Personal Appeal. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
13回	**授業テーマ：Review and Quiz ④** 授業内容：Review and Quiz of Lesson 7 and Lesson 8 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
14回	**授業テーマ：Lesson 9** 授業内容：Collection of phrases and answers for when you have trouble. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
15回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Presentation and course reflection 事前学修 2.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 2.0hr：Review the course.

Japanese E

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

行田　悦子（こうだ　えつこ）

▌授業の概要

This course provides opportunities to acquire knowledge of Japanese business communication skills. Specifically, students learn the different business cultures. For example, how to learn from taking part in an intership to join a company, and how to fill out documents.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：By the end of this course, students will be able to use business communication skills at the Japanese firm.

個別目標：・Students will be able to understand Japanese speech intention and business practices of Japan.

・Students will be able to use appropriate expressions when working with Japanese.

▌履修条件

・Students are required to take Japanese F.

・Classes are preparation based. Each lesson will proceed under the assumption that the student has prepared. Please check the schedule and manaba for the preparations and assignments.

・If you will be absent, contact the instructor and explain the the reason for your absence.

▌評価基準・方法

The performance on the following items will be taken into account for the course grade: Participation in class activities 15%, Assignments 20%, Quizzes 15%, Oral performance 20%, Final Exam 20% and reflection 10%.

Students are required to attend 4/5（80%) or more of the scheduled classes in order to qualify to receive credits for the course.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments and examinations will be provided in class and through the study supports system manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair/Group work, Mini-presentation, Discussion.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Bring your own PC, tablet or other device.）

▌教科書

『中級レベルロールプレイで学ぶビジネス日本語ー就活から入社まで』村山節子、山辺真理子、向山陽子　スリーエーネットワーク,2018

ISBN-10:4883197700

ISBN-13:978-4883197705

Purchase the textbook and be sure to bring it with you on the first day.

▌参考書

Will specify the reference books at class time.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and self-evaluation** 授業内容：Course Introduction. Evaluate your current Japanese level and set your own learning goal and plan. 事前学修 2.0hr：Read the class syllabus. 事後学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba.
2回	**授業テーマ：1.Obtain information on internship** 授業内容：Importance of internship. Ask for information about internships at the Career Center. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. Complete an assignment for the next class through manaba.
3回	**授業テーマ：2.Apply for an internship /Create a resume** 授業内容：Prepare an internship application. Introduce yourself, strengths, and weaknesses. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. Complete an assignment for the next class through manaba.
4回	**授業テーマ：3.Take part in an internship** ① 授業内容：Work in a multilingual environment where Japanese is the primary language. Self-introduction, Greetings. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. Complete an assignment for the next class through manaba.
5回	**授業テーマ：4.Take part in an internship** ② 授業内容：Understand the Japanese company culture. Organization Chart. Different speaking styles. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
6回	**授業テーマ：5.Have job interview** ① 授業内容：Prepare for a job interview. Analyze your strengths and weaknesses and talk about them effectively. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
7回	**授業テーマ：6.Have job interview** ② **/Oral performance** 1 **:State the reason for applying the interview and your strengths** 授業内容：Participate in group discussions. Argue from data and experience. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
8回	**授業テーマ：7.Write and Talk about internship experience** ① 授業内容：Reflect and report on your internship experience. Explain what you have learned and experience with specific examples and data. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.

9回	**授業テーマ：8.Write and Talk about internship experience** 授業内容：Analyze the Japanese workplace. Express gratitude to the internship supervisor. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
10回	**授業テーマ：9.Talking on the phone　② /Oral performance ２：Role-play** 授業内容：Answer internal and external calls. Learn formal business expressions. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class. through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
11回	**授業テーマ：10.Convey message and information** 授業内容：Confirm or Change the schedule. Receive messages and write notes appropriately for business situations. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
12回	**授業テーマ：11.Arrange an appointment /Oral performance ３：Role play** 授業内容：Ask for the availability of clients. Reserve a meeting room. Send information to group members. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
13回	**授業テーマ：12.Apologize** 授業内容：Explain the situation or the problem, and apologize. Suggest appropriate solutions. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
14回	**授業テーマ：13.Consult your supervisor for advice /Review for final exam** 授業内容：Explain the problem and ask for advice on a solution. Ask for permission. Review the course, and clarify what you don’t understand yet. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. Review the course for final exam. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary for final exam.
15回	**授業テーマ：Final exam and Reflection** 授業内容：Final exam and feedback. Reflect on your learning. Evaluate and set a new goal and learning plan for your career. 事前学修 2.0hr：Review and prepare for final exam. 事後学修 2.0hr：Review the course and begin a new learning plan for your new goals.

Japanese F

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

In this course, students will learn business communication skills for working in Japanese companies. Specifically, students will learn conversational expressions used when working in Japanese companies and business rules specific to Japanese culture.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：By the end of this course, students will be able to use business comminication skills at the Japanese firm.
個別目標：・Students will be able to understand Japanese speech intention and business practices of Japan.
・Students will be able to use appropriate expressions when working with Japanese.

▌履修条件

・Students are required to take Japanese E.
・Students have homework every time.Please submit your assignments on time.
・If you have to be absent, please contact the teacher.

▌評価基準・方法

Final Exam 30%, Evaluation in class 70% (short test, Course assignment, Homework, Self-reflection).
Student needs to attend 4/5 of the class sessions.

▌フィードバック方法

Provide feedback through the learning support system ”manaba” and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり（This class will be a collaborative learning experience. Specifically, students will practice and evaluate business conversations with classmates. We will also discuss how to solve problems that arise in business situations in Japan.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『にほんごで働く！ ビジネス日本語 30 時間』宮崎道子・郷司幸子, スリーエーネットワーク
『外国人のための日本語敬語の使い方基本表現 85』清ルミ,J リサーチ出版

▌参考書

Introduce as appropriate.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance &pre-test** 授業内容：An overview of this class will be given. A pre-test will also be given. 事前学修 2.0hr：Read the class syllabus. 事後学修 2.0hr：complete an assignment before the class.
2回	**授業テーマ：Introduction ①** 授業内容：(1) Introduce yourself (2) Greet people from other companies (3) Introduce your company’s people to other people 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
3回	**授業テーマ：Introduction ②** 授業内容：(1) Introduce yourself (2) Greet people from other companies (3) Introduce your company’s people to other people 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
4回	**授業テーマ：Greeting ①** 授業内容：(1) Greetings when you take a day off or leave early (2) Greetings when you see someone you haven’t seen in a while (3) Say congratulations (4) When you leave the company or are transferred 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
5回	**授業テーマ：Greeting ②** 授業内容：(1) Greetings when you take a day off or leave early (2) Greetings when you see someone you haven’t seen in a while (3) Say congratulations (4) When you leave the company or are transferred 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
6回	**授業テーマ：Make a call &receive a call ①** 授業内容：(1) Tell the person you are not available (2) Ask for a message (3) Confirm the message (4) Ask for the person’s company name or name back 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
7回	**授業テーマ：Make a call/receive a call ②** 授業内容：(1) Tell the person you are not available (2) Ask for a message (3) Confirm the message (4) Ask for the person’s company name or name back 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
8回	**授業テーマ：Paying Attention/Receiving Attention ①** 授業内容：(1) Give a warning and apologize (2) Give a warning euphemistically (3) Complain and apologize to people at other companies. 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
9回	**授業テーマ：Paying Attention/Receiving Attention ②** 授業内容：(1) Give a warning and apologize (2) Give a warning euphemistically (3) Complain and apologize to people at other companies. 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.

10回	**授業テーマ：Asking and refusing ①** 授業内容：(1) Make a request to your boss (2) Confirm the request (3) Refuse the boss's request (4) Negotiate the price (5) Refuse the solicitation 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
11回	**授業テーマ：Asking and refusing ②** 授業内容：(1) Make a request to your boss (2) Confirm the request (3) Refuse the boss's request (4) Negotiate the price (5) Refuse the solicitation 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
12回	**授業テーマ：Ask permission ①** 授業内容：(1) Ask your supervisor for permission (2) Ask someone from another company for permission 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
13回	**授業テーマ：Ask permission ②** 授業内容：(1) Ask your supervisor for permission (2) Ask someone from another company for permission 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
14回	**授業テーマ：Make an appointment ①** 授業内容：(1) Make an appointment with someone in your company (2) Make an appointment with someone in another company (ask permission or make a proposal) (3) Make an appointment with someone you are not acquainted with (4) Change an appointment 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：Through a review of the entire course, students will review the proper use of honorific and business expressions and how these expressions are used in different situations. 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.

Japanese Culture

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

信常　幸恵（のぶつね　ゆきえ）

▌授業の概要

The purpose of this course is to help students deepen their knowledge about Japanese culture. Students will be able to explain Japanese culture to foreign visitors with confidence. Students will be required to actively participate in group discussions in class.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：At the end of the course, students are expected to have deeper understanding of Japanese culture including foreign peoples' viewpoint. Students will be able to understand the important points of various questions about Japan from foreign visitors.

個別目標：At the end of the course, students will be able to answer various questions about Japan from foreign visitors. Students will be able to explain Japanese Culture using their own words.

▌履修条件

Students who are interested in taking this course should have a positive attitude and interest in Japanese culture, society and history.

▌評価基準・方法

Grading will be based on active participation in class and group discussion 40%
In-class quizzes 40% and final quiz 20%

▌フィードバック方法

Feedback will be carried out through 'manaba.'
Students can have complementary feedback in person.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （group discussion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

None. A number of hand-outs will be distributed in class.

▌参考書

Reference books will be introduced in class

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：The purpose of this course, grading method, and reference materials will be introduced. 事前学修 1.0hr：Information gathering 事後学修 3.0hr：Review the previous class
2回	**授業テーマ：Geography and History 1** 授業内容：Learn about the geography and history of Japan. (From the Jomon Period to the Azuchi-Momoyama Period) 事前学修 2.0hr：Read handouts and grasp the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
3回	**授業テーマ：Geography and History 2** 授業内容：Learn about the geography and history of Japan. (since the Edo period) 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
4回	**授業テーマ：Sightseeing** 授業内容：Learn about typical tourist destinations in Japan. (Tokyo, Kyoto, and other places) 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
5回	**授業テーマ：Japanese Cuisine** 授業内容：Learn about the characteristics of Japanese cuisine. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
6回	**授業テーマ：Theatrical Arts and Music** 授業内容：Learn about traditional Japanese performing arts (Kabuki, Noh, Bunraku, etc.). 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
7回	**授業テーマ：Arts and Crafts** 授業内容：Learn about the characteristics of Japanese arts and handicrafts. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
8回	**授業テーマ：National treasure** 授業内容：Learn about Japan's national treasure (country's most significant tangible cultural properties). 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
9回	**授業テーマ：Religion** 授業内容：Learn about the characteristics of Japanese religions, focusing on Shintoism and Buddhism. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
10回	**授業テーマ：Cultural Events and Holidays** 授業内容：Learn about the characteristics of Japanese annual events and national holidays. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class

11回	**授業テーマ：Lifestyle** 授業内容：Learn about the characteristics of the Japanese lifestyle. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
12回	**授業テーマ：Education** 授業内容：Learn about the characteristics of Japanese education. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
13回	**授業テーマ：Business** 授業内容：Learn about the characteristics of Japanese business practices. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
14回	**授業テーマ：Japanese People** 授業内容：Learn about the characteristics of the Japanese people, focusing on cultural aspects. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
15回	**授業テーマ：Review and final quiz** 授業内容：Review Japanese culture in general and discuss how to perceive Japanese culture in class. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class

Destination Studies A (Japan)

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

This course examines major tourist destinations in Japan and analyzes the tourism resources, regional characteristics, and development potential of each area. Through research and discussion, students explore how regional assets can be transformed into attractive tour products for international visitors.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Develop knowledge of major tourist destinations in Japan and design attractive tour plans for international visitors based on systematic research.

個別目標：・Acquire foundational knowledge of major tourist destinations in Japan.
・Conduct in-depth research on regional tourism resources.
・Design tour plans for international visitors and present them effectively.

▌履修条件

This course is intended for students who are interested in tourism and regional development in Japan, creating travel products, planning tours, or becoming interpreter-guides.

▌評価基準・方法

Presentations (2) and Peer Review Activities: 30%
Short Analytical Essays: 20%
Fieldwork Participation and Reflection Report: 20%
Final Integrative Assignment: 30%

▌フィードバック方法

Feedback will be conducted through the learning support system manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Class excursion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Short Essays, reports and presentations）

▌教科書

None

▌参考書

Teikoku's Discovery ATLAS of JAPAN (Teikoku-Shoin 2019)
Useful information will be provided in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Self-Introduction, Latest status of travel to Japan, characteristics of tourist destinations in Japan 事前学修 2.0hr：Read the course summary and think about what you want to achieve in this course. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
2回	**授業テーマ：Regional Studies Kanto (1)** 授業内容：Tourist destinations in the Kanto Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Kanto Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
3回	**授業テーマ：Regional Studies Kanto (2)** 授業内容：Tourist destinations in the Kanto Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Kanto Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
4回	**授業テーマ：Regional Studies Hokkaido** 授業内容：Tourist destinations in Hokkaido and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in Hokkaido. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
5回	**授業テーマ：Regional Studies Tohoku** 授業内容：Tourist destinations in the Tohoku Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Tohoku Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
6回	**授業テーマ：Regional Studies Chubu** 授業内容：Tourist destinations in the Chubu Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Chubu Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
7回	**授業テーマ：Regional Studies Kinki** 授業内容：Tourist destinations in the Kinki Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Kinki Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
8回	**授業テーマ：Regional Studies Chugoku** 授業内容：Tourist destinations in the Chugoku Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Chugoku Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
9回	**授業テーマ：Regional Studies Shikoku** 授業内容：Tourist destinations in the Shikoku Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Shikoku Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.

10回	**授業テーマ：Regional Studies Kyushu** 授業内容：Tourist destinations in the Kyushu Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Kyushu Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
11回	**授業テーマ：Regional Studies Okinawa and the Southwest Islands** 授業内容：Tourist destinations in Okinawa and the Southwest Islands including Yakushima and Amami Islands, and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in Okinawa and the Southwest Islands. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
12回	**授業テーマ：Creating a tour plan** 授業内容：In-depth research on tourist destinations and creation of an attractive tour plan. 事前学修 2.0hr：Conduct prior research for a tour plan. 事後学修 2.0hr：Prepare for the presentation.
13回	**授業テーマ：Presentations of tour plans (1)** 授業内容：Presentations of tour plans and evaluation. 事前学修 2.0hr：Prepare for the presentation. 事後学修 2.0hr：Review the presentations.
14回	**授業テーマ：Presentations of tour plans (2)** 授業内容：Presentations of tour plans and evaluation. 事前学修 2.0hr：Prepare for the presentation. 事後学修 2.0hr：Review the presentations.
15回	**授業テーマ：Conclusion** 授業内容：Analyze future trends and challenges in Japan’s inbound tourism market and reflect on how regional tourism planning can respond to changing global demands. 事前学修 1.0hr：Review all the lessons and write what you have learned in this course. 事後学修 3.0hr：Prepare and organize your ideas for the Final Integrative Assignment.

Art and Culture

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

川村　一司（かわむら　かずし）

▌授業の概要

The course is designed for students who are seeking management positions in the global hospitality industry.
Since it is essential for management level persons to employ culturally diverse knowledge to deal with various social problems,
you will obtain the deep roots of the Japanese culture and history through the courses.
After completion of the courses, you will possess the ability to contrast and compare your own culture and Japanese ones.
The schedule, time, date and contents may be changed or combined.
Additional attendance will be required which be on June, ”Kabuki performance”. Venue will be accnounced after registration.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：to understand the history, tradition and characteristics of Japanese culture and arts.
to learn the lifestyle and the way of thinking in the society of Japan.
個別目標：to be able to identify and to describe major Japanese culture and arts.
to understand Japanese traditional arts in detail.
to be able to explain and introduce Japanese traditional arts.
to know it’s relation and influence on the current Japanese systems and habits.

▌履修条件

The session will be sometimes held on irregular days.
You are required to join each respective session in a proper manner.
The schedule will be timely announced in the course.
We will make on site visit depends on the sessions.

▌評価基準・方法

Homework Assignment /Report and Presentation 80%
Positive activity, output and challenge in the class 20%
80% attendance is mandatory

▌フィードバック方法

Feedback for your work would be mainly provided in the session.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion and presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Presentation and report）

▌教科書

none

▌参考書

to be announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Orientation** 授業内容：Making a course overview and objectives 事前学修 2.0hr：to find what you know about art 事後学修 2.0hr：to review and clearly understand objectives of the course
2回	**授業テーマ：Peforming arts experience Noh** 授業内容：Review and summarize Noh 事前学修 2.0hr：to research Noh in advance 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
3回	**授業テーマ：Introduction of Shinto from global view** 授業内容：Lecture on the basic idea of Shinto and its influence on the modern lifestyle in Japan. 事前学修 2.0hr：to research and make a report about Shinto in advance. 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
4回	**授業テーマ：Japanese Shinto relating to lifestyle, culture and art** 授業内容：Making an on-site visit to shrine and having a lecture by the Shinto priest 事前学修 2.0hr：to research and make a report about Shinto in advance 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
5回	**授業テーマ：Japanese shinto on site visit** 授業内容：Making an on-site visit to the Art Centre and having a lecture by the specialist 事前学修 2.0hr：to research and make a report about Shinto in advance 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
6回	**授業テーマ：Performing arts experience - Bunraku** 授業内容：Making an on-site visit to the National Theater and find out the history and its hidden influence on the Japanese culture and life 事前学修 2.0hr：to research and make a report about Bunraku in advance 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand the Bunraku
7回	**授業テーマ：Performing arts experience - Bunraku** 授業内容：Review and summarize the Bunrau 事前学修 2.0hr：to research and make a report about Bunraku in advance 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand the Bunraku
8回	**授業テーマ：Japanese Manner** 授業内容：Lecture on Japanese manner and etiquet which has been inherited for more than 1000 years. 事前学修 2.0hr：to research Japanese manner in advance 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class

9回	**授業テーマ：Mid term presentation and lecture on Japanese traditional crafts.** 授業内容：You will make a mid term presentation and will have brief lecture on Japanese tradtional crafts. 事前学修 2.0hr：to prepare for the mid term presentation. 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
10回	**授業テーマ：Traditional crafts of Japan, lecture from Art Centre** 授業内容：Makind an on-site visit to the Art Centre and having a lecture by the specialist. 事前学修 2.0hr：to research Japanese tradtional crafts in advance. 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
11回	**授業テーマ：Spirit of Do, tea ceremony.** 授業内容：Having a first-hand lecture by the specialist and reviews it during the class. 事前学修 2.0hr：to research and make a report about the way of Do and Tea ceremony. 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
12回	**授業テーマ：Spirit of Do, flower arrangement and calligraply.** 授業内容：Having a first-hand lecture by the specialist and reviews it during the class. 事前学修 2.0hr：to research and make a report about the way of Do, flower arrangement and calligraphy. 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
13回	**授業テーマ：Research and presentation on Peforming arts.** 授業内容：Review and summarize the arts in general. 事前学修 2.0hr：to research and make a report about Japanese performing arts. 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class.
14回	**授業テーマ：Performing arts in general** 授業内容：Review and summarize the arts in general 事前学修 2.0hr：to find what you know about traditional performing arts in Japan 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
15回	**授業テーマ：Wrapping up** 授業内容：Presentation on the relationship between the traditional arts and modern lifestyle 事前学修 3.0hr：to prepare for the presentation ”the influence of Japanese traditional arts to the lifestyle of Japan 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class

World Heritage

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：集中 ｜ 備考：GMM 対象科目

ニコラ　ナウモフ

▌授業の概要

This course provides an introduction to World Heritage and World Heritage sites. You will learn more about the history of UNESCO, World Heritage Centre and The World Heritage Convention (1972). You will explore the inscription criteria of the World Heritage List and learn more about the Outstanding Universal Value.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The unit will enable you to locate and explore the most visited World Heritage sites, learn more about their history and study their appeal as tourist destinations.

個別目標：・Be able to explain the history of World Heritage and discuss the principles of the World Heritage Convention
・Be able to locate cultural, natural and mixed World Heritage Sites
・Be able to explain the interrelationship between World Heritage and tourism

▌履修条件

All lectures contain many case studies from different parts of the world, various activities in which you are required to actively participate, and in class tasks in which you are expected to work individually or as a part of a group.

▌評価基準・方法

The assessment for this module is based on a final exam (100%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

1)Labadi, S. (2013). UNESCO, Cultural Heritage, and Outstanding Universal Value: Value-based Analyses of the World Heritage and Intangible Cultural Heritage Conventions. USA: AltaMira Press.
2)Di Giovine, M. (2009) The Heritage – scape: UNESCO, World Heritage, and Tourism. Lanham, MD: Lexington Books.

▌参考書

1)UNESCO World Heritage Centre (whc.unesco.org)
2)UNESCO (1972). Convention Concerning the Protection of the World Cultural and Natural Heritage. Available at: http://whc.unesco.org/en/conventiontext/,
3)UNESCO (2005). Operational Guidelines for the Implementation of the World Heritage Convention. Paris: UNESCO World Heritage Centre.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to World Heritage: introduction to the unit; introduction to heritage and tourism; overview of World Heritage sites; main destinations** 授業内容：The course overview will be instructed and placed on World Heritage sites within the context of tourism. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
2回	**授業テーマ：History of World Heritage and World Heritage Convention** 授業内容：The history of World Heritage and World Heritage Convention will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
3回	**授業テーマ：Types of World Heritage: cultural, natural and mixed** 授業内容：The typology of World Heritage will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
4回	**授業テーマ：Inscription Criteria and the World Heritage List** 授業内容：Inscription Criteria and the World Heritage List will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
5回	**授業テーマ：Intangible Heritage and Intangible Heritage Convention (2003)** 授業内容：Intangible Heritage and Intangible Heritage Convention will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
6回	**授業テーマ：World Heritage : Protection and Conservation** 授業内容：The method and procedure to protect and conserve world heritage will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
7回	**授業テーマ：World Heritage &Tourism** 授業内容：World Heritage in the context of tourism will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
8回	**授業テーマ：World Heritage &Local Communities** 授業内容：World Heritage in the context of local communities will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
9回	**授業テーマ：Destination Studies: World Heritage Sites in Europe** 授業内容：World Heritage Sites as destinations/attractions in Europe will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson

10回	**授業テーマ：Destination Studies: World Heritage Sites in North America** 授業内容：World Heritage Sites as destinations/attractions in North America will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
11回	**授業テーマ：Destination Studies: World Heritage Sites in South America** 授業内容：World Heritage Sites as destinations/attractions in South America will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
12回	**授業テーマ：Destination Studies: World Heritage Sites in Africa** 授業内容：World Heritage Sites as destinations/attractions in Africa will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
13回	**授業テーマ：Destination Studies: World Heritage Sites: Australia &Oceania** 授業内容：World Heritage Sites as destinations/attractions in Australia and Oceania will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
14回	**授業テーマ：Destination Studies: World Heritage Sites: Asia** 授業内容：World Heritage Sites as destinations/attractions in Asia will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
15回	**授業テーマ：Review and future of World Heritage: review of all topics covered; future of World Heritage List, tourism and the development of World Heritage destinations** 授業内容：The course content will be summarized, and the future of the World Heritage List, tourism, and the development of World Heritage destinations will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the final class and think of questions to ask 事後学修 4.0hr：Prepare for the final examination

Destination Studies B (Europe)

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：集中 ｜ 備考：GMM 対象科目

ニコラ　ナウモフ

▌授業の概要

Destination Europe looks at destinations in Europe that both leisure and business travellers visit. You will explore the variety of destinations, analyse where they are located and discuss the features that make them popular. The unit will enable you to locate and explore the most visited destinations that comprise the European travel market, learn more about their history and culture and study the importance of tourism from economic and socio-cultural perspectives.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Overall understanding of European destinations and you will develop knowledge of the appeal of destinations for different leisure experiences and gain an understanding of the factors affecting the development and decline of selected destinations.

個別目標：・Be able to name and locate the countries that comprise Europe
・Be able to locate major airport hubs and leisure destinations within the European travel market
・Be able to differentiate between different types of holidays available in Europe to meet differing visitor motivations
・Be able to explain the factors and features determining the appeal of leisure destinations in the European travel market for international visitors

▌履修条件

All lectures contain many case studies from different parts of the world, various activities in which you are required to actively participate, and in class tasks in which you are expected to work individually or as a part of a group.

▌評価基準・方法

The assessment for this module is based on a final exam (100%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Group presentation）

▌教科書

Boniface, B. &Cooper, C. (2009) Worldwide Destinations: The Geography of Travel &Tourism. Oxford: Butterworth-Heinemann.

▌参考書

1)Lonely Planet (www. Lonelyplanet.com) 2)Rough Guide (www.roughguide.com) 3)Tourism Concern (www.tourismconcern.org.uk)
4)Travel Weekly (www.travelweekly.co.uk) 5)World Travel Guide (www.worldtravelguide.net)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to Europe** 授業内容：Introduction to the unit, overview of Europe, main destinations, statistics of international tourists, type of tourism 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
2回	**授業テーマ：Destination Studies:United Kingdom** 授業内容：United Kingdom 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
3回	**授業テーマ：Destination Studies: Republic of Ireland** 授業内容：Republic of Ireland 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
4回	**授業テーマ：Destination Studies: France** 授業内容：France 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
5回	**授業テーマ：Destination Studies: Italy** 授業内容：Italy 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
6回	**授業テーマ：Destination Studies: Spain** 授業内容：Destination Studies: Spain 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
7回	**授業テーマ：Destination Studies: Germany, Austria, Switzerland** 授業内容：Destination Studies: Germany, Austria, Switzerland 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
8回	**授業テーマ：Destination Studies: Portugal** 授業内容：Destination Studies: Portugal 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
9回	**授業テーマ：Destination Studies: Central Europe** 授業内容：Destination Studies: Central Europe 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson

10回	**授業テーマ：Destination Studies: Scandinavia** 授業内容：Destination Studies: Scandinavia 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
11回	**授業テーマ：Destination Studies: Benelux** 授業内容：Destination Studies: Benelux 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
12回	**授業テーマ：Destination Studies: Andorra, San Marino, Liechtenstein, Monaco** 授業内容：Destination Studies: Andorra, San Marino, Liechtenstein, Monaco 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
13回	**授業テーマ：Destination Studies: Eastern Europe** 授業内容：Destination Studies: Eastern Europe 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
14回	**授業テーマ：Destination Studies: Bulgaria** 授業内容：Destination Studies: Bulgaria 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
15回	**授業テーマ：Review and future of European tourism** 授業内容：review of all topics covered: future of European tourism and the development of new destinations 事前学修 2.0hr：Prepare for the final class and think of questions to ask 事後学修 4.0hr：Prepare for the final examination

Destination Studies C (America)

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1 ｜ 備考：GMM 対象科目

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This lecture will be conducted in a synchronous online format.

This course will introduce students to key aspects of important destinations in the United States. Each destination will illustrate concepts and processes that are essential for understanding and analyzing tourism destinations in general. Different types of destinations will be covered (nature-based, urban, resort, heritage, etc.), and both successful and unsuccessful examples will be analyzed.This course will be conducted entirely online over 15 sessions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students will develop the knowledge and skills to analyze different types of tourism destinations. Students will be able to examine destinations in terms of different strategic issues (transportation, marketing, branding, etc.)

個別目標：Students wil be able to explain characteristics of different types of American destinations.
Students wil be able to analyze the strategic issues of the destination.
Students wil be able to explain key concepts of tourism marketing and branding.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on participation (30%), class project (30%), and final exam (40%).

* Feedback on assignments will be provided through manaba.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

Not specified

▌参考書

Reading materials will be specified in class.

Atlases and maps are essential.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to the course** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review material on the first class
2回	**授業テーマ：The importance of studying destinations** 授業内容：The basic geography and history of America will be briefly reviewed, including: major destination areas, primary natural features and attractions, and key historical developments. 事前学修 2.0hr：Think about the importance of studying destinations 事後学修 2.0hr：Review and understand further about the importance of studying destinations
3回	**授業テーマ：Las Vegas** 授業内容：The history and development of Las Vegas as a tourism destination will be covered, with an emphasis on marketing strategies. 事前学修 2.0hr：Research about Las Vegas 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Las Vegas
4回	**授業テーマ：The Pacific Northwest** 授業内容：Popular attractions in the Pacific Northwest area, including Seattle and Portland, will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about The Pacific Northwest 事後学修 2.0hr：Review and understand further about The Pacific Northwest
5回	**授業テーマ：San Francisco** 授業内容：The city of San Francisco and the Bay Area will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about San Francisco 事後学修 2.0hr：Review and understand further about San Francisco
6回	**授業テーマ：New York City** 授業内容：The attractions of New York City will be covered, within the context of New York State tourism. 事前学修 2.0hr：Research about New York City 事後学修 2.0hr：Review and understand further about New York City
7回	**授業テーマ：Disneyland (California) and Disney World (Florida)** 授業内容：Disney theme parks in Anaheim (California) and Orlando (Florida) will be covered. Recent political aspects of these parks will also be discussed. 事前学修 2.0hr：Research about Disneyland (California) and Disney World (Florida) 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Disneyland (California) and Disney World (Florida)
8回	**授業テーマ：Florida** 授業内容：Florida and other destinations in the Southeastern region will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about Florida 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Florida
9回	**授業テーマ：National Parks** 授業内容：Key national parks and the national park system in the U.S. will be covered, with discussion of overcrowding pressures on the parks. 事前学修 2.0hr：Research about National Parks 事後学修 2.0hr：Review and understand further about National Parks

10回	**授業テーマ：Off the Beaten Path** 授業内容：Several destinations that are less well known and/or distant from population centers will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about Off the Beaten Path 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Off the Beaten Path
11回	**授業テーマ：The Great American Road Trip** 授業内容：The Great American Road Trip, as both a tradition and a cultural symbol, will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about The Great American Road Trip 事後学修 2.0hr：Review and understand further about The Great American Road Trip
12回	**授業テーマ：Los Angeles/Hollywood** 授業内容：Los Angeles, Hollywood, and Southern California in general will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about Los Angeles/Hollywood 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Los Angeles/Hollywood
13回	**授業テーマ：New England** 授業内容：The New England region of the U.S. will be covered as an example of regional destination marketing, along with an emphasis on heritage tourism. 事前学修 2.0hr：Research about New England 事後学修 2.0hr：Review and understand further about New England
14回	**授業テーマ：Project presentations** 授業内容：This session will be reserved for presentations and/or other work assignments. 事前学修 3.5hr：Prepare for project presentations 事後学修 0.5hr：Review your presentaion
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of destination America' s tourism industry. 事前学修 2.0hr：Review all the topics covered by this course and pick up some questions 事後学修 3.0hr：Think about the future of these destinations and prepare for the final exam

Destination Studies D (Asia)

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

In today's world, almost any place on Earth can become a tourist destination. This course focuses on Asia, highlighting the countries and regions that attract the most visitors.

China, Singapore, South Korea, and Vietnam — an emerging tourism market — are some of Asia's top destinations. This course will explore their histories, cultures, and customs.

Students will examine the historical, cultural, and social aspects of these countries to understand why they are popular among tourists. They will also have the chance to research an Asian country or region of their choice and present their findings to the class.

By the end of the course, students will gain a deeper understanding of Asia's diverse landscapes, traditions, and attractions, as well as its important role in global tourism.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Acquire knowledge about tourism in various Asian countries, as well as related information, and deepen understanding of each country and region.

個別目標：・Acquire knowledge about tourism in various Asian countries.
・Be able to introduce this knowledge to others.
・Discover the new charms of Asia.

▌履修条件

A student who is eager to conduct extensive research on countries or regions in Asia, and actively engage in information sharing and exchanging opinions

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on participation in class30%, the final exam30%, and presentations40%, comprehensively. Attendance of 80% or more is generally a prerequisite for evaluation.

▌フィードバック方法

The feedback will be provided either individually or through the learning support system － Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Data collection, organization, and preparation for presentations using PowerPoint）

▌教科書

None

▌参考書

None

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：Outline the course, explain evaluation criteria, and describe how the class will be conducted. Introduce Asia in general. 事前学修 2.0hr：Researching about countries in Asia, considering topics of interest. 事後学修 2.0hr：Selecting the Asian country of interest.
2回	**授業テーマ：Case Study Target Country: China（1）** 授業内容：Overview of China（Ethnicity、Language、Area、Currency） 事前学修 2.0hr：Researching basic information about China, reflecting on interest in China. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
3回	**授業テーマ：Case Study Target Country: China（2）** 授業内容：Learn about the first-tier cities: Beijing, Shanghai, Guangzhou。① 事前学修 2.0hr：Researching about Beijing, Shanghai, Guangzhou, and Shenzhen. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
4回	**授業テーマ：Case Study Target Country: China（3）** 授業内容：Learn about the first-tier cities: Beijing, Shanghai, Guangzhou, and Shenzhen. ② Preparing for a Presentation。 事前学修 2.0hr：Researching about Beijing, Shanghai, Guangzhou, and Shenzhen 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
5回	**授業テーマ：Case Study Target Country: China（4）** 授業内容：Learn about Hong Kong and Macau. Learn about tourism policies, transportation, accommodation, and dining in China. 事前学修 2.0hr：Researching about Hong Kong and Macau。Researching bout tourism policies, transportation, accommodation, and dining in China. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
6回	**授業テーマ：Case Study Target Country: China（5）** 授業内容：Explore China's World Heritage Sites: the Forbidden City, the Great Wall, the Summer Palace, the Temple of Heaven, and the Jiuzhaigou Valley. Preparing for a Presentation。 事前学修 2.0hr：Researching about China's World Heritage Sites: the Forbidden City, the Great Wall, the Summer Palace, the Temple of Heaven, and the Jiuzhaigou Valley. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
7回	**授業テーマ：Case Study Target Country: Singapore（1）** 授業内容：Overview of Singapore（Ethnicity、Language、Area、Currency） 事前学修 2.0hr：Researching basic information about Singapore, reflecting on interest in Singapore. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class

8回	**授業テーマ：Case Study Target Country: Singapore（2）** 授業内容：Make a map of Singapore. Describing tourist attractions. 事前学修 2.0hr：Researching about tourism, transportation, accommodation, and dining in Singapore. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
9回	**授業テーマ：Case Study Target Country: South korea　（1）** 授業内容：Overview of South　Korea（Ethnicity、Language、Area、Currency） 事前学修 2.0hr：Researching basic information about South Korea, reflecting on interest in South Korea. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
10回	**授業テーマ：Case Study Target Country: South Korea（2）** 授業内容：Learn about the tourism and transportation situation in South　Korea. Preparing for a Presentation。 事前学修 2.0hr：Researching about tourism, transportation, accommodation, and dining in South Korea. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
11回	**授業テーマ：Case Study Target Country: Vietnam（1）** 授業内容：Overview of Vitnam（Ethnicity、Language、Area、Currency） 事前学修 2.0hr：Researching basic information about Vitnam, reflecting on interest in Vitnam. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
12回	**授業テーマ：Case Study Target Country: Vietnam(2)** 授業内容：Learn about the tourism and transportation situation in Vitenam. Preparing for a Presentation。 事前学修 2.0hr：Researching about tourism, transportation, accommodation, and dining in Vitnam. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
13回	**授業テーマ：Presentation about the researched country** 授業内容：Discussing each other's presentation about the countries. Create a booklet. 事前学修 2.0hr：Conducting detailed research on the Asian country of interest 事後学修 2.0hr：Summarizing the research
14回	**授業テーマ：Presentation about the researched country** 授業内容：Discussing each other's presentation about the countries. Create a booklet. 事前学修 2.0hr：Preparing for the presentation. 事後学修 2.0hr：Finalizing the research into tourism products.
15回	**授業テーマ：Summary of the class** 授業内容：Discussing the Asia travel products offered by various travel agencies. 事前学修 2.0hr：Finding some Asia travel products offered by travel agencies 事後学修 2.0hr：Confirming that the learned content can be applied in the future

Destination Studies E (Oceania and the South Pacific)

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

神末　武彦（こうずえ　たけひこ）

▌授業の概要

This course introduces students to the key characteristics of major destinations in Oceania, a diverse geographic region composed largely of island nations and territories. Students will explore the historical backgrounds, cultural landscapes, populations, and economic structures of selected destinations. Through these case studies, the course will examine core concepts and processes essential to understanding and analyzing tourism destinations more broadly.

Particular attention will be given to both the positive and negative impacts of tourism, encouraging critical thinking about sustainability, development, and community well-being.

*This course is delivered in a hybrid format (online asynchronous and in-person sessions).

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The competencies/learning outcomes connect to the student learning outcomes of GMM’s Diploma Policy #2, “Ability to learn and improve both Japanese and English and to use those languages to communicate with people from around the world based on their own experiences to studying overseas”, students should be able to

1.Communicate effectively in classroom to be able to work and function in the diverse community.
2.Demonstrate leadership and teamwork to achieve common goals.
3.Use knowledge of multicultural perspective to understand different cultures and languages and practices of that place.
4.Discuss in English and obtain skills to be able to communicate with people from around the world.

個別目標：Upon successful completion of this course, the student should be able to:

1.Describe the uniqueness and differences between the destinations along with the latest events and attractions in Oceania and the South Pacific region.
2.Describe the history, culture, economy, people, community and climate that creates that destination.
3.Identify the capitals, major tourist attractions, major cities, airports, airlines, methods of transportation, currency, and lodging options.
4.Develop and gain knowledge and skills to analyze different types of tourism destinations.
5.Explain the complex problems and issues related to tourism in these destinations.
6.Use knowledge of best practices to become a sustainable destination.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material.

▌評価基準・方法

Participation 6%
Reflection papers 24%
Presentation 20%
Mid-Term Exam 20%
Final Exam 30%

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, group work, and problem-solving-learning）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Recommended to bring your Laptop to class. Course materials will be distributed through Manaba.）

▌教科書

Not specified

▌参考書

Reading materials will be specified in class.
Atlases and maps are essential.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to Oceania** 授業内容：Explanation about the class. Overview of the region. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Oceania
2回	**授業テーマ：Destination Studies Micronesia (Guam)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Guam 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Guam
3回	**授業テーマ：Destination Studies Micronesia (Saipan)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Saipan 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Saipan
4回	**授業テーマ：Destination Studies Micronesia (Federated States of Microneisa)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Federated States of Micronesia 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Federated States of Micronesia
5回	**授業テーマ：Destination Studies Melanesia (Papua New Guinea)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Papua New Guinea 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Papua New Guinea

6回	**授業テーマ：Destination Studies Melanesia (Vanuatu)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Vanuatu 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Vanuatu
7回	**授業テーマ：Destination Studies Melanesia (New Caledonia)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about New Caledonia 事後学修 2.0hr：Review and understand further about New Caledonia
8回	**授業テーマ：Destination Studies Melanesia (Fiji)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Fiji 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Fiji
9回	**授業テーマ：Destination Studies Polynesia (Samoa)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Samoa 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Samoa
10回	**授業テーマ：Destination Studies Polynesia (Tahiti)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Tahiti 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Tahiti
11回	**授業テーマ：Destination Studies Polynesia (Rapa Nui)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Rapa Nui 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Rapa Nui
12回	**授業テーマ：Destination Studies Polynesia (Hawaii)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Hawaii 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Hawaii
13回	**授業テーマ：Destination Studies Australia** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Australia 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Australia
14回	**授業テーマ：Destination Studies New Zealand** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about New Zealand 事後学修 2.0hr：Review and understand further about New Zealand
15回	**授業テーマ：The future of the small island destinations** 授業内容：To think of the future of these destinations. Preparation for the exam 事前学修 4.0hr：Review all the topics covered by this course and develop some questions 事後学修 4.0hr：Think about the future of these destinations and prepare for the final exam

Introduction to Hospitality

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1 ｜ 備考：GMM 対象科目

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

This course aims to develop a comprehensive understanding of hospitality and its fundamental practical applications. The course is structured into three learning frameworks.

In the first five classes, students explore the meaning, etymology, and historical development of hospitality in order to build a solid theoretical foundation.

In the second five classes, students examine various situations in which hospitality is demonstrated from different perspectives. Through discussion and reflection, they consider more effective ways of expressing genuine hospitality in diverse contexts.

In the final five classes, students analyze selected companies in the hospitality industry. By examining management philosophies and customer evaluations, they deepen their understanding of how hospitality is incorporated into organizational practice.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：1.Understand the fundamental concepts and examples of hospitality.
2.Identify customer expectations in different situations.
3.Propose appropriate ways of demonstrating hospitality according to specific contexts.

個別目標：1.Demonstrate genuine hospitality in daily social interactions as well as in professional contexts.
2.Recognize the expectations of people around you and customers in the hospitality industry, and apply this understanding to your future career development.

▌履修条件

This course is recommended for students who are interested in learning the fundamental concepts of hospitality and are willing to actively participate in discussions, presentations, and experiential activities such as Japanese cultural practices. Students are expected to engage sincerely and strive to embody hospitality in both academic and everyday settings.

▌評価基準・方法

Presentations (2) &Peer Review: 40%
Short Essays /Reflections: 20%
Class Contribution: 10%
Final Integrative Assignment: 30%

▌フィードバック方法

Feedback will be conducted through the learning support system manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Presentations, discussions, experiential learning activities, and peer review.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Presentations and submission of essays）

▌教科書

None

▌参考書

No specific reference books are required.
Reading materials will be provided in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction and hospitality related occupations** 授業内容：Introduce course objectives, structure, and evaluation criteria. Discuss the scope of hospitality as an academic field and career opportunities. 事前学修 2.0hr：Read syllabus; list hospitality-related occupations. 事後学修 2.0hr：Summarize characteristics of the hospitality industry.
2回	**授業テーマ：History of hospitality** 授業内容：Examine the etymology of “hospitality” and analyze its historical development. 事前学修 2.0hr：Search and note the etymology of the word ‘Hospitality’. 事後学修 2.0hr：Review and summarize the historical formation of modern hospitality.
3回	**授業テーマ：Western hospitality** 授業内容：Explore cultural and religious influences on Western hospitality traditions. 事前学修 2.0hr：Research Western hospitality practices. 事後学修 2.0hr：Analyze how social values shaped hospitality.
4回	**授業テーマ：Japanese Hospitality and Motenashi** 授業内容：Compare Eastern and Western hospitality concepts and analyze motenashi. 事前学修 2.0hr：Research the concept and background of Motenashi. 事後学修 2.0hr：Summarize similarities and differences between Western and Japanese hospitality.
5回	**授業テーマ：Japanese Hospitality: The Tea Ceremony as Cultural Practice** 授業内容：Examine Sado as a cultural embodiment of hospitality. Analyze its philosophy, spatial aesthetics, and host－ guest relationship. 事前学修 2.0hr：Research history and philosophy of Sado. 事後学修 2.0hr：Summarize how tea ceremony represents hospitality.
6回	**授業テーマ：Tea Ceremony Workshop: Experiencing Embodied Hospitality** 授業内容：Participate in a tea ceremony workshop. Reflect on non-verbal communication, attentiveness, and embodied care. 事前学修 2.0hr：Review procedures and etiquette. 事後学修 2.0hr：Write a 300-word reflection on embodied hospitality.
7回	**授業テーマ：Hospitality vs. Service** 授業内容：Compare hospitality and service conceptually and practically. Discuss how embodied experience clarifies the distinction. 事前学修 2.0hr：Research definitions of service. 事後学修 2.0hr：Summarize conceptual differences.

8回	**授業テーマ：Expressing Gratitude as Practical Hospitality** 授業内容：Create a gratitude card and analyze hospitality in interpersonal relationships. 事前学修 2.0hr：Reflect on a person to thank. 事後学修 2.0hr：Submit short reflection.
9回	**授業テーマ：Hospitality Mindset and Customer Expectations** 授業内容：Analyze situational awareness and empathy in hospitality delivery. 事前学修 2.0hr：Identify situations requiring hospitality. 事後学修 2.0hr：Propose appropriate responses.
10回	**授業テーマ：Presentation 1 – Cultural Perspectives** 授業内容：Student presentations and peer review. 事前学修 3.0hr：Prepare presentation. 事後学修 1.0hr：Submit peer feedback.
11回	**授業テーマ：Airline Service and Hospitality** 授業内容：Examine hospitality across airline service stages and operational contexts. 事前学修 2.0hr：List airline service stages. 事後学修 2.0hr：Analyze integration of hospitality and operations.
12回	**授業テーマ：Scent and Hospitality** 授業内容：Explore multisensory design and emotional influence of scent. 事前学修 2.0hr：Observe scent effects in environments. 事後学修 2.0hr：Write short analysis.
13回	**授業テーマ：Hospitality management** 授業内容：Study management philosophy and customer satisfaction strategies. 事前学修 2.0hr：Research service-oriented companies. 事後学修 2.0hr：Summarize management practices.
14回	**授業テーマ：Presentation 2 – Personal &Industry Application** 授業内容：Apply course concepts to personal experience and industry analysis. Peer review included. 事前学修 3.0hr：Prepare presentation. 事後学修 1.0hr：Submit peer comments.
15回	**授業テーマ：Embodying Hospitality – Reflection and Commitment** 授業内容：Review and synthesize the key concepts and experiential activities of the course. Through guided reflection and discussion, students examine how their understanding of hospitality has developed and conclude the course by formulating a personal commitment to embody hospitality in future academic and professional contexts. 事前学修 3.0hr：Review your notes, reflections, and presentation materials from the semester. Identify three key insights that most influenced your understanding of hospitality. 事後学修 1.0hr：Write a 300-word personal reflection outlining how you intend to embody hospitality in your future academic, professional, and personal life.

Introduction to Hospitality &TourismStudies Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

神末　武彦（こうずえ　たけひこ）

▌授業の概要

This course introduces tourism as one of the world's largest and fastest-growing industries. Recognized as a powerful force in the global economy, tourism continues to expand in scale, influence, and complexity. In this introductory course, students will examine tourism not only as a social and cultural activity but also as a dynamic economic sector that shapes destinations, industries, and communities worldwide.
*This course is delivered in a hybrid format (online asynchronous and in-person sessions).

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：The competencies/learning outcomes connect to the student learning outcomes of GMM's Diploma Policy #1, "Ability to become a leader in the domestic and/or global fields requiring advanced communication skills, with extensive knowledge of management", students should be able to

1.Lead with the knowledge of the foundations of "Hospitality &Tourism management" with a responsible and sustainable approach.
2.Demonstrate knowledge of multicultural perspective to meet the diverse community of tourism.
3.Develop skills by applying key management concepts and principles.
4.Use knowledge and skills associated with logical and critical thinking, problem solving and decision making to function effectively in the community and industry.
5.Demonstrate leadership and teamwork to achieve common goals.
6.Demonstrate "professionalism" by conducting in a professional and ethical manner.

個別目標：Upon successful completion of this course, the student should be able to:

1.Understand the basic theory of Hospitality and Tourism Business
2.Understand the complex, multi-faceted industry that is made up of many interrelated components.
3.Distinguish the key aspects that define the structure, elements and processes of tourism.
4.Illustrate the historical background from Domestic and International tourism.
5.Elaborate on the economic impacts, both positive and negative of tourism.
6.Elaborate on the social/cultural and environmental impacts, both positive and negative of tourism.
7.Distinguish the concepts and principles of sustainability (economic, environmental, ethical issues and social/cultural) and assess the best practices of destinations and tourism operations.
8.Discuss the future challenge and opportunities of tourism.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material.

▌評価基準・方法

Participation 10%
Reflection Papers 30%
Mid-Term Exam 25%
Final Exam 35%

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, group work, and problem-solving-learning）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Recommended to bring your Laptop to class. Course materials will be distributed through Manaba）

▌教科書

Not specified

▌参考書

Not specified. All needed materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction; What is Hospitality &Tourism, Overview of tourism** 授業内容：Overview of the hospitality and tourism industry. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review to understand further about Hospitality &Tourism
2回	**授業テーマ：Styles of Tourism** 授業内容：Defining tourism is not simple; it is a complex industry comprising many different businesses. To understand the common theme/style, provide products and services to tourists/visitors. 事前学修 2.0hr：Think and research about different styles of tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
3回	**授業テーマ：Tourism history (World)** 授業内容：Looking through world history to understand tourism development in the early days. 事前学修 2.0hr：Think and research about the history of tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
4回	**授業テーマ：Tourism History (Japan)** 授業内容：Looking through regional history to understand how tourism began and developed in Japan. 事前学修 2.0hr：Think and research about the history of tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
5回	**授業テーマ：The impact of tourism (Positive)** 授業内容：Tourism is one of the largest industries in the world; it forms the backbone of many destination economies. Tourism positively impacts the economy as it boosts, and this will be an opportunity to examine it closely. 事前学修 2.0hr：Think and research about the positive impact of tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture

6回	**授業テーマ：The impact of tourism (Negative)** 授業内容：Tourism is one of the largest industries in the world; it forms the backbone of many destination economies. Tourism positively impacts the economy as it boosts, and this will be an opportunity to examine the opposite, its negative impact on the destination. 事前学修 2.0hr：Think and research about the negative impact of tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
7回	**授業テーマ：Mid-Term Exam** 授業内容：The mid-term exam will include the contents from classes one to six. 事前学修 2.0hr：Prepare for the exam 事後学修 2.0hr：Review the test result
8回	**授業テーマ：Pro-poor tourism** 授業内容：Understand and learn about how tourism could make a difference in poverty. 事前学修 2.0hr：Think and research about what we can do about poverty through tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
9回	**授業テーマ：Eco Tourism** 授業内容：Understand eco-tourism to minimize the risk of destruction and why we must practice it. 事前学修 2.0hr：Think and research about eco tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
10回	**授業テーマ：Tourism and Events 1 (MICE)** 授業内容：Understand the profound relationship between tourism and events. What is MICE and its importance? 事前学修 2.0hr：Think and research about the relationship between tourism and events 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
11回	**授業テーマ：Tourism and Events 2 (Sports, Music, and Others)** 授業内容：Understanding the relationship between tourism and events. Sports, Music, and Other Events. 事前学修 2.0hr：Think and research about the relationship between tourism and events 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
12回	**授業テーマ：Ethics, Human rights and tourism** 授業内容：As mobility increases, ethics and human rights are frequently questioned. Understand what is happening and seek solutions through the class. 事前学修 2.0hr：Think and research about the relationship between ethics, human rights and tourism. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
13回	**授業テーマ：Sustainable /Responsible tourism** 授業内容：As tourism gets popular and the destinations with more people than expected, it is a great time to recognize the importance of sustaining the destinations as it is better for future generations. As we think of sustainability as a destination, travelers need to consider being responsible travelers. 事前学修 2.0hr：Think and research about sustainable and responsible tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
14回	**授業テーマ：The future of Tourism** 授業内容：What will be the future of tourism? Understanding and looking into the future of tourism from the contents we have learned from. 事前学修 2.0hr：Think and research about the future of tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about future of tourism
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：Summarize the course and prepare for the final exam. 事前学修 2.0hr：Review all class works and prepare for questions 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and prepare for the fianl exam

Introduction to Hospitality &TourismStudies Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM9 月入学生対象科目

岩本　英和（いわもと　ひでかず）

▌授業の概要

This course provides an overview of the fundamental concepts of Hospitality and Tourism Studies. It explores the social roles and historical development of tourism, as well as its relationships with the economy, culture, and the environment, using case studies from the accommodation and food service industries.

It also introduces new forms of tourism, such as ecotourism, content tourism, MICE, and sports tourism, and examines sustainability, pro-poor tourism, and Japanese tourism policies to consider current issues and future directions of tourism.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Based on the diploma policy, students will acquire essential basic knowledge of hospitality and tourism. By learning fundamental concepts related to hospitality, students will enhance their academic foundation for further studies.

個別目標：Students will be able to understand the basic definitions and concepts of tourism and Hospitality and Tourism Studies, and explain them in their own words.

Students will be able to understand the relationships between tourism and society, the economy, culture, and the environment, and explain them using concrete examples.

Students will be able to understand the necessity and significance of tourism in contemporary society and explain them in relation to sustainability and social issues.

▌履修条件

None.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated based on in-class assignments conducted through manaba (70%), as well as a mid-term report, group work, presentations, and a final examination/report (30%).

▌フィードバック方法

Feedback on questions and requests related to lecture content will be provided during lectures and through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （In this course, the small class size is utilized to conduct discussions, group work, and short presentations based on the lecture content. Through the exchange of ideas among students, the course promotes active and interactive learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （(Used for in-class assignments on manaba)）

▌教科書

No textbook is required.

▌参考書

Turpin, Annemarie M. (2025). Introduction to Hospitality and Tourism Management: A Contemporary Approach. London: Kogan Page.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Orientation (Course objectives, structure, and assessment) /Approaches to Hospitality and Tourism Studies** 授業内容：This session explains the objectives, structure, and assessment methods of the course, and provides an overview of how Hospitality and Tourism Studies relate to other academic disciplines. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Review the lecture summary provided on manaba to deepen understanding of the lecture content.
2回	**授業テーマ：Social Roles and Current Issues of Tourism** 授業内容：This lecture examines the social roles tourism plays in local communities, the economy, and culture, and discusses its significance and challenges in contemporary society. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Review the lecture summary on manaba and reflect on the lecture content.
3回	**授業テーマ：History of Tourism I (Global Perspective)** 授業内容：This lecture provides an overview of the history of tourism worldwide and explains how tourism has developed alongside social and economic changes. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Review the lecture summary on manaba and organize the historical flow of tourism.
4回	**授業テーマ：History of Tourism II (Japan)** 授業内容：This lecture explores the development of tourism in Japan, comparing it with global tourism history to highlight its unique characteristics and background. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Review the lecture summary on manaba and organize key features of tourism in Japan.
5回	**授業テーマ：Tourism and the Economy** 授業内容：This lecture focuses on the economic aspects of tourism, such as economic ripple effects and job creation, and explains the economic significance of tourism through case studies. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Review the lecture summary on manaba and deepen understanding of the relationship between tourism and the economy.
6回	**授業テーマ：What is Hospitality Management?** 授業内容：This lecture introduces the basic concepts and ideas of hospitality management and explains its importance in the service industry. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Review the lecture summary on manaba and organize the fundamental concepts.
7回	**授業テーマ：Hospitality Management in the Accommodation Industry** 授業内容：This lecture examines the practice of hospitality management through case studies from the hotel and ryokan industries. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Review the lecture summary on manaba and understand the characteristics of the accommodation industry.

8回	**授業テーマ：Hospitality Management in the Food Service Industry** 授業内容：This lecture discusses the characteristics and challenges of hospitality management in the food service industry, focusing on service delivery and customer satisfaction. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Review the lecture summary on manaba and compare it with the accommodation industry.
9回	**授業テーマ：Tourism and Culture** 授業内容：This lecture focuses on the role of culture as a tourism resource and explains the interrelationship between tourism and culture. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Review the lecture summary on manaba and deepen understanding of tourism and culture.
10回	**授業テーマ：Tourism and the Environment (Sustainable Tourism)** 授業内容：This lecture examines the relationship between tourism and environmental issues, and introduces the concepts and practices of sustainable tourism. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Review the lecture summary on manaba and deepen understanding of sustainable tourism.
11回	**授業テーマ：New Tourism I (Ecotourism, Green Tourism, etc.)** 授業内容：This lecture introduces forms of new tourism such as ecotourism and green tourism, and explains the characteristics and significance of theme-based tourism. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Review the lecture summary on manaba and organize the characteristics of each type of tourism.
12回	**授業テーマ：New Tourism II (Content Tourism, Anime Tourism, etc.)** 授業内容：This lecture explores contemporary tourism styles through case studies of content-based tourism and discusses their impacts on local communities. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Review the lecture summary on manaba and understand the significance of content tourism.
13回	**授業テーマ：New Tourism III (MICE, Sports Tourism, etc.)** 授業内容：This lecture examines MICE and sports tourism and explains their roles in increasing interaction and regional revitalization. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Review the lecture summary on manaba and understand the diversity of new tourism.
14回	**授業テーマ：Tourism and Poverty (Pro-poor Tourism)** 授業内容：This lecture discusses how tourism can contribute to poverty reduction from the perspective of pro-poor tourism, while also examining its challenges. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Review the lecture summary on manaba and reconsider the social significance of tourism.
15回	**授業テーマ：Japanese Tourism Policy and the Future of Tourism** 授業内容：Based on Japanese tourism policies, this lecture examines the role of tourism in the post-COVID era, as well as future directions and challenges. 事前学修 2.0hr：Review the lecture slides distributed in advance on manaba. 事後学修 2.0hr：Comprehensive review of the entire course.

Introduction to Hospitality &TourismStudies Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This lecture will be conducted in a synchronous online format.

This course is designed to capture the basic components of the business from both theoretical and practical perspectives that constitute the Hospitality &Tourism Industry from a global perspective. Analysis of links between hotel, food, transportation, recreation, and other tourism-related industries will be addressed.

The curriculum contents are subject to change based on teaching environments and students' interests.This course will be conducted entirely online over 15 sessions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：The competencies/learning outcomes connect to the student learning outcomes of GMM' s Diploma Policy #1, "Ability to become a leader in the domestic and/or global fields requiring advanced communication skills, with extensive knowledge of management", students should be able to

1. To understand the overall business fields that the " Hospitality &Tourism" Industry offers.

個別目標：Upon successful completion of this course, the student should be able:

1. To distinguish the business development, organization, and operational characteristics of the various sectors of the hospitality and tourism industry (travel/tourism, lodging, food/beverage, recreation, and special events), and describe how they are interrelated.
2. To differentiate the products, services, and systems offered by the various sectors of the hospitality and tourism industry's leisure and business markets.
3. To identify the career opportunities, job qualifications, and benefits provided by the various sectors of the hospitality and tourism industry.

▌履修条件

None

▌評価基準・方法

Students will be evaluated by the criteria described below.

-30 % Engagement and Contribution to the class

-30 % Assignments

-40 % Final exam

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

None

▌参考書

Reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Orientation of the course &introduction to the hospitality and tourism industry** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Read the Course summary and think about what you want to achieve after finishing this course. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
2回	**授業テーマ：Hospitality Spirit** 授業内容：Different ideas and practices of hospitality in the context of culture and the hospitality industry will be considered as a way to frame the topics in this course. 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
3回	**授業テーマ：Tourism** 授業内容：A general discussion of tourism and the tourism industry will be conducted. Students will be encouraged to reflect on the structure of the industry and its many constituent components. 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
4回	**授業テーマ：Lodging** 授業内容：Sector focus: the lodging industry. What are its different forms, and how is it changing? 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
5回	**授業テーマ：Lodging Operations** 授業内容：Operational focus on the lodging industry: What are its different parts, and what kinds of employees are required? 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
6回	**授業テーマ：Cruising** 授業内容：Sector focus: the cruise industry. What are its different forms, and how is it changing? 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
7回	**授業テーマ：Restaurants** 授業内容：Sector focus: the restaurant industry. What are its different forms, and how is it changing? 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.

8回	**授業テーマ：Restaurant Operations** 授業内容：Operational focus on the restaurant industry: What kinds of employees are required for the different types of restaurants (and food service in general)? 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
9回	**授業テーマ：Managed Services** 授業内容：Sector focus: managed service. What are its different forms, and how is it changing? 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
10回	**授業テーマ：Beverage** 授業内容：The key role of beverages in hospitality operations in terms of service and business profitability. Trends in beverage consumption, and the tie between beverage production and tourism. 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
11回	**授業テーマ：Clubs** 授業内容：An introduction to clubs and club management, and their unique characteristics in terms of membership and operations. 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
12回	**授業テーマ：Theme Parks and Attractions** 授業内容：A brief overview of theme parks: different types, components, and the unique requirements of maintaining the brand “theme.” 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
13回	**授業テーマ：Gaming Entertainment** 授業内容：An introduction to gaming and especially casinos, focusing on the unique jobs within the sector and the larger social context of gambling. 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
14回	**授業テーマ：Meetings, Conventions &Expos** 授業内容：An overview of the meetings, incentive, convention and exhibition (MICE) market, particularly on its importance to business professions. 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
15回	**授業テーマ：Summary (review of 14 lessons)** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of career and employment opportunities for students. 事前学修 2.0hr：Review all 14 lessons and summarize the topic that you have learned from this course. 事後学修 4.0hr：Prepare for the Final Exam

Internship A・B・C・D・E・F・G・H

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 各 4 単位 ｜ 備考：GMM 対象科目

単位認定科目

▌授業の概要

A student must do an internship at a company within the hospitality and tourism industry in order to succeed in business. The student begins the internship following the instruction by the company.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：The module guides a student towards selecting an occupation after his or her graduation and learning required basic skills for the job quickly.

個別目標：A student can understand actual business contents and social manner through the internship and develop him or herself.

▌履修条件

A student must meet the requirement for his or her advancement.

▌評価基準・方法

・Each Internship must be over 120 hours.

・Assessment will be by way of reports from the student and the company confirming that he or she had done the internship, in addition to teaching reports from internship tutors and pre-seminar/case-study tutors before/after the internship.

▌フィードバック方法

Feedback will be provided at the internship debriefing session.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Internship training）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

None

▌参考書

None

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

Fill in the gap between the prior image and the reality of the job through the internship, learning the work environment and its unique occupational profile.

授業内容

Follow the instructions by the company and conduct on-the-job training according to the training schedule.

事前学修

Confirm and prepare one’s duty at his or her internship.

事後学修

Review one’s daily business outline at students’ internship.

After completing the internship period, students must participate in the debriefing session and make a presentation about their own experiences individually.

Internship (Overseas) A・B

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位 ｜ 備考：GMM 対象科目

単位認定科目

▌授業の概要

Students experience internships in HT industries at overseas facilities, which will include the study in advance, the overseas training and the business practice. Students must take the study in advance and the ex post facto study with internship tutors and each pre-seminar/case-study tutor.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Fill in the gap between the prior image and the reality of the job through the internship, learning its work enviroment and its unique occupational profile.

個別目標：Obtain basic understanding on the responsibilites requried in the work and feed back experiences to other students.

▌履修条件

A student must meet the requirement for his or her advancement.

▌評価基準・方法

・Each Internship must be over 120 hours.

・Reports from the student, the overseas company, and relevant HT tutors before/after the internship.

▌フィードバック方法

manaba will be used to send out the feedback to the students.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

None

▌参考書

Reference materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

Per business practice, a student begins the internship following the instruction by the company.

授業内容

Actual work experiences in the hospitality &tourism industry.

事前学修

Confirm and prepare one’s duties at his or her internship.

事後学修

Review one’s daily business outline at his or her internship.

Hospitality and Volunteer Activities

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 4 単位 ｜ 備考：GMM 対象科目

単位認定科目

▌授業の概要

This program offers students opportunities to participate in volunteer activites at domestic facilities. It will include preparatory study, advance trainings, on-site trainings, submission of reports, and the final presentation.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：To experience the operation of the facility and contribute to society through volunteer activities.

個別目標：・To acquire broader points of view through social activities.

・To improve communication skills through meeting people of different age groups.

▌履修条件

Students must have willingness to engage in volunteer activities as a social contribution.

▌評価基準・方法

The credits are given based on the following results:

・Preparatory study and advance trainings

・Volunteer activities at one facility for a total of 150 hours and more.

Conduct on-site activities for at least 19 days with a maximum of 8 hours of activity per day. (Break time is not included in the activity time.)

・Reports on activities

(1) Reports based on instructions or requests from the facility

Time for creating a report at the facility can be counted as part of volunteer activities.

(2) Report as a post-study

Time for creating a report at home cannot be counted as volunteer activities.

・Evaluations by the facility manager and relevant HT tutors

・Final presentation

▌フィードバック方法

Feedback will be conducted through e-mail.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Volunteer activities at one facility for a total of 150 hours and more）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Preparatory study, writing reports）

▌教科書

None

▌参考書

Reference materials will be specified in preparatory study and advance trainings.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

Students will learn about local community and develop communication skills through on-sight volunteer activities at public facilities in Urayasu City.

授業内容

Students will participate in volunteer activities at one facility for a total of 150 hours and more after preparatory study and advance trainings. Submission of reports as post-study and the final presentation are required.

事前学修

Collect information and learn about the facility in preparatory study.

事後学修

Review the volunteer activities and write a report. Give a presentation on the acitivities.

Airline Business and operations

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

水野　徹（みずの　とおる）

▌授業の概要

Airline Business: Course Description

We will walk through the operational aspects of the airline business model through a combination of case analysis and lectures. You are expected to read the cases and be ready for case questions in advance of each session. It is very important that you will be ready for in-class case discussions which will be followed by lectures on the underlying marketing principles and analytical tools behind the cases.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall Objectives:

1. To understand the operational aspects of the airline business model (DP1)
2. To read and analyze business cases and apply the basic principles and analytical tools (DP1)

個別目標：Expected Achievements:

1. Students should be able to understand basic business model of the airline industry
2. Students should be able to analyze actual airline business cases and write up a summary of their analysis

▌履修条件

Prerequisite:

1. Complete the reading assignments prior to each session
2. Proactively speak out in the class
3. Papers must be submitted by the defined deadline date
4. Should be able to communicate with the instructor through manaba

▌評価基準・方法

Grading Policy:　The performance will be graded on the basis of final exam (50%), case write-ups (20%) and class participation and contribution (30%). Attendance of 80% or higher will be the prerequisite for granting a credit for this course. The grading of the assignments will be communicated through manaba.

▌フィードバック方法

manaba will be used to send out the feedback to the students.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Analysis on business cases has to be completed prior to each session）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Reading the business cases and responding to the case questions required PCs.）

▌教科書

Textbooks:　Case packet and hand-outs will be provided in manaba.

▌参考書

None

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Class Guidance and Introduction to Airline Industry** 授業内容：Class guidance, overview of the course and its objectives, grading policy, weekly assignments, and how the students should read business cases will be addressed during this session. 事前学修 1.5hr：Read the syllabus and prepare your goal in this course 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
2回	**授業テーマ：Legal Issues Relating to the Airline Industry** 授業内容：Lectures on the historic mile stones of airline regulations, airline license, traffic rights, and safety &security regualation will be addressed during this session. 事前学修 1.5hr：Research laws that may be relevant to the airline industry and be ready share your research with your class 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
3回	**授業テーマ：Airports** 授業内容：Class discussions on the business case ”FBO Inc.” and lectures on airports in Japan, financing the operations of airports, and global hub airports in the world. 事前学修 1.5hr：Read the case ”FBO Inc.” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
4回	**授業テーマ：Reservations and Sales** 授業内容：Class discussions on the business case ”Analytics of Overbooking” and lectures on elasticity of airline demand, variation of passenger demand, revenue management, and airline distribution. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Analytics of Overbooking” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
5回	**授業テーマ：Revenue Management** 授業内容：Class discussions on the business case ”Forecasting and Revenue Management at Balearic Airline” and lectures on overselling & overbooking, maximization of revenue, orice discrimination, expected marginal seat revenue (EMSR), and revenue managemnt in the context of the entire network. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Forecasting and Revenue Management at Balearic Airline” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
6回	**授業テーマ：Airline Services &Products** 授業内容：Class discussions on the business case ”Singapore Airlines” and lectures on inflight facilities and products, inflight entertainment, and airport products &services. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Singapore Airlines” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis

7回	**授業テーマ：Cargo Operations** 授業内容：Class discussions on the business case ”Lufthansa Cargo AG” and lectures on cargo capacity &demand, import &export, the roles of freight forwarders, integrators, and cargo dedicated airlines. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Lufthansa Cargo AG” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
8回	**授業テーマ：Passenger and Ground Handling** 授業内容：Class discussions on the business case ”United Airlines Inc.” and lectures on customer services at airports, baggage services, contract of carriage, and operations management. 事前学修 1.5hr：Read the case ”United Airlines Inc.” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
9回	**授業テーマ：Catering** 授業内容：Class discussions on the business case ”Vistara: U-Turn in catering” and lectures on inflight catering in the premium class cabins, offering of special meals, and unique operations of inflight catering. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Vistara: U-Turn in catering” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
10回	**授業テーマ：Low Cost Carriers** 授業内容：Class discussions on the business case ”Ryanair Compact Case” and lectures on the business model of the low cost carriers (LCCs), LCC penetration, dual branding &franchising, and LCCs under COVID-19. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Ryanair Compact Case” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
11回	**授業テーマ：Service Quality** 授業内容：Viewing the video on Shinkansen in Japan, followed by class discussions on the quality of the service in the transportation sector. 事前学修 1.5hr：Research the service quality of Shinkansen in Japan 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
12回	**授業テーマ：Airline Marketing (1)** 授業内容：Class discussions on the business case ”ZIPAIR’s Peculiar Brand Element Issue” and lectures on 4 Ps and STP of airline industry. 事前学修 1.5hr：Read the case ”ZIPAIR’s Peculiar Brand Element Issue” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
13回	**授業テーマ：Airline Marketing (2)** 授業内容：Class discussions on the business case ”Sri Lankan Airlines Turnaround”. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Sri Lankan Airlines Turnaround” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
14回	**授業テーマ：Current Issues of the Airline Industry** 授業内容：Review of the airline business models from the previous 13 sessions. 事前学修 1.5hr：What is your guess on the furure issues at the airline industry? 事後学修 2.5hr：Review hand-out
15回	**授業テーマ：Wrap-up and case analysis excercise** 授業内容：Wrap up on the course with particular emphasis on the final exam. 事前学修 1.5hr：Review all hand-outs from sessions 1 through 14 事後学修 2.5hr：Review hand-out

Hotel Business and operations

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1 ｜ 備考：GMM 対象科目

大屋　了三（おおや　りょうぞう）

▌授業の概要

Course Description: Hotel Business and Operations

The hotel industry has a long history, dating back to BC. And as long as travel exists, hotels will continue to play a vital role as part of society's infrastructure.　In this course, students will learn about the relationship between the hotel industry and society and the essential elements of hotel management, focusing on the following points

1. The relationship between the hotel industry and society, its characteristics, recent changes and challenges.
2. Practical know-how of hotel development and management.
3. The challenges and joys of the hotel business through the instructor's experience.
4. Visit two hotels with different concepts, conduct SWOT analysis, and discuss ideas for strengthening competitiveness based on SWOT analysis.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall objectives:

Understand the basic structure, management method, current situation, issues, etc. of the hotel business

個別目標：Specific achievements expected:

1.Explain the process and frameworks of development, operation, marketing, human resources and other key elements of the hotel business

2.Explain the characteristics of the hotel business from the perspective of comparison with other businesses

3.Explain the purpose of SWOT analysis as a key marketing activity

▌履修条件

Prerequisite:

1.Each assignment must be submitted by the deadline

2.Each student must actively participate in group tasks

▌評価基準・方法

Grading policy:

Examination:50%, Class contribution:30%, Report 20%.

▌フィードバック方法

1. Feedback on submitted assignments will be provided via MANABA.
2. Feedback on the results of group work will be given in class in a timely manner.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Hotel inspection tours and various group tasks）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Teaching materials will be uploaded in MANABA prior to each class.

Also, supplementary materials will be distributed from time to time.

▌参考書

Reference books: None, but the relevant internet websites and other information sources will be introduced in classes if necessary

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and instruction** 授業内容：1. Knowing each other in the class by self-introduction 2. Guidance of grading, how to proceed the class, instructor's expectation for students 3. Current Overview and Outlook for Tourism 事前学修 2.0hr：Read the class guidance and syllabus 事後学修 2.0hr：Review the class guidance and syllabus
2回	**授業テーマ：Overview of Hotel industry** 授業内容：1.Brief history of the hotel industry 2.How the hotel industry contributes to the world 3.Stakeholders of hotel business 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class.
3回	**授業テーマ：Various Types of Hotel and Hotel Chains** 授業内容：1.Learn various types of hotels: Classification by both marketing and management perspectives 2.Learn why we need to classify hotels 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
4回	**授業テーマ：Overview of Hotel Management** 授業内容：Learn about how to run a hotel by knowing basic hotel management frameworks, hotel organization and functions of each department 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
5回	**授業テーマ：Hotel Development 1:Market research, concept, targeted customers, location, facility plan and planning organization** 授業内容：Learn the process to develop a hotel such as market research, concept study, focusing on targeted customers, location, facility plan and planning organization 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
6回	**授業テーマ：Hotel Development 2: Project cost and Feasibility study** 授業内容：Learn about the essential elements for a hotel to be a viable business and an overview of feasibility studies to prove business viability 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class

7回	**授業テーマ：Hotel Operations 1:Sales and Marketing** 授業内容：1.Lean about critical process to increase hotel revenue such as market segmentation, sales activities, revenue management 2.KPI(Key Performance Index) calculation Exercise 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
8回	**授業テーマ：Hotel Operations 2: On-site operations of a hotel** 授業内容：Learn an overview of on-site hotel operations such as rooms operations, food and beverage operations and banquet operations 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
9回	**授業テーマ：Hotel Inspection tour 1** 授業内容：An inspection tour will be conducted at Hotel A. Students will record their observations on the template provided by the instructor. 事前学修 2.0hr：Find out about the hotel we are visiting 事後学修 2.0hr：Record your observations
10回	**授業テーマ：Hotel Operations 3: Human resources and guest satisfaction** 授業内容：1.Learn the essence of Human resources management in hospitality business such as recruitment, employee engagement, training, evaluation and rewarding 2.Learn important points of guest satisfaction 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
11回	**授業テーマ：Hotel Inspection tour 2** 授業内容：An inspection tour will be conducted at Hotel B. Students will record their observations on the template provided by the instructor 事前学修 2.0hr：Find out about the hotel we are visiting 事後学修 2.0hr：Record your observations
12回	**授業テーマ：Hotel Operations 4: Accounting and finance/The role of a General Manager** 授業内容：1.An overview of basic accounting and finance in the hotel business, including financial accounting, management accounting, forecasting, and various business plans disclosed to stakeholders 2. Learn the role of a general manager 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
13回	**授業テーマ：Workshop 1: SWOT Analysis** 授業内容：Learn about SWOT, an important marketing process, by conducting workshops in the following ways: 1. Divide the class into small groups and conduct a SWOT analysis of the two hotels visited 2. Each team will develop ideas to strengthen the competitiveness of each hotel based on the SWOT analysis, creating a unified view 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and work on the group task
14回	**授業テーマ：Workshop 2: Development of SWOT analysis and action plans** 授業内容：1. Based on the results of the SWOT analysis, each team will develop an action plans to strenghten competitiveness of the subject hotels. 3. Create presentation materials of SWOT analysis and action plans. 事前学修 2.0hr：Work on the group task 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete group task
15回	**授業テーマ：Present the outcome of the workshop, and Wrap up for the entire course** 授業内容：1. Each team will present the outcome of the workshop. 2. Review key points emphasized in each class 事前学修 2.0hr：Review all the lectures 事後学修 3.0hr：Prepare for the examination

Food &Beverage Business and Operations

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：集中 ｜ 備考：GMM 対象科目

ダニエル　チョン

▌授業の概要

Introducing the foodservice sectors focusing on Food and Beverage operations. The Food and Beverage Industry is the second largest segment in the hospitality industry apart from accommodations. This introductory course will enable you to understand the Food and Beverage Industry not only from an operational perspective but also from a managerial perspective.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Recognize and describe the basic concepts of Food and Beverage operations.

個別目標：Realize the key success factors of running a foodservice operation considering differentiation in concepts, characteristics, target market, cultural/social impacts, ethical issues, and sustainability of the business.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material.

▌評価基準・方法

The evaluation will be based on participation (20%), and final exam (80%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （There is experiential learning with the use of actual food and beverage materials.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Cousins, J., Lillicrap, D., &Weekes, S. (2020). Food and beverage service (10th Edition). Hachette UK.

▌参考書

Reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction; The Foodservice Industry** 授業内容：The overview of this course and the food service industry will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review the segments available in the foodservice industry
2回	**授業テーマ：The Foodservice Consumers** 授業内容：The customers of the food service industry will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about the foodservice consumers 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about the foodservice consumers
3回	**授業テーマ：F&B Productions and Organizations** 授業内容：The productions and organizations of the food and beverage service industry will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about F&B productions and organizations 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about F&B productions and organizations
4回	**授業テーマ：F&B Personnel Attributes** 授業内容：The Personnel Attributes in the food and beverage service industry will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about F&B personnel attributes 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about F&B personnel attributes
5回	**授業テーマ：F&B Personnel Essential Skills** 授業内容：The Personnel Essential Skills required for the food and beverage service will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about F&B Personnel essential skills 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about F&B personnel essential skills
6回	**授業テーマ：F&B Service Areas** 授業内容：The food and beverage service area will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about F&B service areas 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about F&B service areas
7回	**授業テーマ：F&B Service Equipment** 授業内容：The types of equipment in the food and beverage service will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about F&B service equipment 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about F&B service equipment
8回	**授業テーマ：Foodservice Menu and Development** 授業内容：The Menu and Development for the food service will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about foodservice menu and development 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about foodservice menu and development
9回	**授業テーマ：International and Classical Dishes** 授業内容：The International and Classical Dishes in the food service will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about international and classical dishes 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about international and classical dishes
10回	**授業テーマ：Classical Cheeses and Desserts** 授業内容：The classical cheeses and desserts in the food services menu will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about classical cheese and desserts 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about classical cheeses and desserts
11回	**授業テーマ：Non-Alcoholic Beverages** 授業内容：Non-Alcoholic Beverages in the service will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about Non-Alcoholic Beverages 事後学修 2.0hr：Review today' s lecture and research about Non-Alcoholic beverages

12回	**授業テーマ：Alcoholic Beverages** 授業内容：Alcoholic Beverages in the service will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about alcoholic beverages 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about alcoholic beverages
13回	**授業テーマ：Wine Tasting Techniques** 授業内容：The techniques of Wine Tasting will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about wine tasting techniques 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about wine tasting techniques
14回	**授業テーマ：Western Fine Dining Service Sequence** 授業内容：The Sequence of Western Fine Dining Service will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about western fine dining service sequence 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about western fine dining service sequence
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：The course content will be summarized. 事前学修 2.0hr：Review all the class works and prepare for questions 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and prepare for the final exam

Concierge/Business Networking

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

川村　一司（かわむら　かずし）

▌授業の概要

The aim of this course is to help students to master and acquire the professional hospitality in all kinds of industries.
Throughout the courses, basic skills and mindsets of hotel concierges are introduced by learning real episodes.
Students are required to consider their meaning and the philosophy of the hospitality profession reflected in them.
In each class, students are expected to positively play a part in discussion, workshops, and outputs to learn the business stage of hospitality.
The schedule or contents may be changed or combined.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：to obtain basic knowledge, skill and attitude of professional hospitality management through studying practical cases of the hotel concierge as material.

個別目標：to master basic knowledge and spirit of concierge.
to master the attitude of professional hospitality management in practice.
to be able to differentiate the importance of business networking as a hospitality professional.
to be able to recite the uniqueness of the Japanese hospitality.
to be able to explain what ”hospitality” is as a professional hospitality manager.

▌履修条件

none

▌評価基準・方法

80% presence is mandatory
examination 40%
presentation &homework assignments/positive activity, output and challenge in the class/performance with hospitality and proper manner 60%

▌フィードバック方法

Feedback for your work would be mainly provided in the session.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion and presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Presentation and report）

▌教科書

none

▌参考書

to be announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：Course overview and objectives 事前学修 2.0hr：find what you know about concierge 事後学修 2.0hr：confirm the purpose of the class
2回	**授業テーマ：Introduction to the concierge** 授業内容：To know the roles and features of the concierge 事前学修 2.0hr：consider the purpose of the concierge profession 事後学修 2.0hr：confirm the purpose of the concierge profession
3回	**授業テーマ：Regular tasks of the concierge** 授業内容：To know the daily tasks and responsibility. 事前学修 2.0hr：consider the regular daily tasks of concierge 事後学修 2.0hr：confirm and clarify the meaning of each task of the concierge
4回	**授業テーマ：Concierge spirit** 授業内容：To know the spirit, character and philosophy of concierge 事前学修 2.0hr：consider what kind of character is preferred for the professional concierge 事後学修 2.0hr：clarify the difference of character, spirit and philosophy as hospitality professionals
5回	**授業テーマ：Concierge spirit** 授業内容：To know the performance in practice of concierge spirits 事前学修 2.0hr：consider what ”professional performance” of hospitality is 事後学修 2.0hr：confirm what is necessary for performance of professional hospitality
6回	**授業テーマ：Guest satisfaction** 授業内容：To know how to render professional service 事前学修 2.0hr：consider who the customer is and what the satisfaction is in the professional hospitality field 事後学修 2.0hr：clarify and confirm who your customer is, and what you can do for their satisfaction
7回	**授業テーマ：Japanese hospitality** 授業内容：To know and find out the features of the Japanese hospitality 事前学修 2.0hr：find the unique characteristics of Japanese hospitality 事後学修 2.0hr：clarify the strength and weakness of Japanese hospitality and what we can do for it
8回	**授業テーマ：Workshop – Suggestion for guests** 授業内容：To know how to render professional service 事前学修 2.0hr：review the key points for high quality performance of hospitality 事後学修 2.0hr：find strength and weakness of yourself in the performance of hospitality
9回	**授業テーマ：Presentation – Suggestion for guests** 授業内容：Group work and presentation 事前学修 2.0hr：review the key points for high quality performance of hospitality 事後学修 2.0hr：find strength and weakness of yourself in the performance of hospitality

10回	**授業テーマ：Feedback for workshop** 授業内容：Giving feedback and consider further actions 事前学修 2.0hr：review the key points for outstanding performance of professional concierge 事後学修 2.0hr：clarify the essential points for professional concierge
11回	**授業テーマ：Professional networking** 授業内容：To know the importance of the business networking among hospitality professionals 事前学修 2.0hr：consider why networking is important for hospitality business 事後学修 2.0hr：clarify and confirm what ”business networking” is
12回	**授業テーマ：Tourism oriented country and professional hospitality** 授業内容：To know the roles and responsibility in the course of the further development of the tourism industry 事前学修 2.0hr：consider how professional hospitality can work for tourism oriented country 事後学修 2.0hr：clarify and confirm what we can do for Japan as hospitality professionals
13回	**授業テーマ：Workshop** 授業内容：Arrangement for welcoming VIP guests 事前学修 2.0hr：review the important points for high qualify arrangement of professional concierge 事後学修 2.0hr：confirm the meaning of each action of arrangement of professional hospitality
14回	**授業テーマ：Concierge history** 授業内容：To know the history of concierge profession and Les Clefs d’Or 事前学修 2.0hr：find what you know about concierge 事後学修 2.0hr：clarify the history and the meaning of concierge and Les Clefs d’Or
15回	**授業テーマ：Review and wrapping up** 授業内容：Review and wrapping up the professionalism and strong capability to feel others 事前学修 2.0hr：review and try to explain what is ”professional hospitality” 事後学修 2.0hr：make sure if you are able to explain your own idea on what professional hospitality is

Tourism and the Law

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）

▌授業の概要

Students study what the Japanese law is and its esprit, comparing different nations' rules.
Prior reading is required.
The lecturer asks students to summarise the reading,
and coordinate the discussion about the topic.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Students understand the significance of law and learn the legal way of thinking through the Japanese law.
個別目標：(1) Students precisely use laws as useful tools in their daily lives.
(2) Students explain why we need to learn the legal way of thinking.

▌履修条件

Every student must actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

・Performance and attitude: 30 percent
・Essay: 30 percent
・Final exam: 40 percent
In each class, the lecturer will give you feedback on short essays, etc.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Will be specified in each class.

▌参考書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』(慶應義塾大学出版会、2020 年)
Luis Pedriza, Lectures on Japanese Law,
(Osaka University Press, 2017)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Orientation 事前学修 2.0hr：Skim the textbook. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
2回	**授業テーマ：Sources of Japanese Law** 授業内容：Learn the sources of Japanese Law. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
3回	**授業テーマ：The Legal Profession in Japan** 授業内容：Learn the Japanese Legal Profession. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
4回	**授業テーマ：The Japanese Judiciary** 授業内容：Understand the Japanese Judiciary System. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
5回	**授業テーマ：Civil and Criminal Litigation** 授業内容：Understand the Procedure Laws in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
6回	**授業テーマ：The National Diet and the Cabinet** 授業内容：Understand the national legislative body and its function 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
7回	**授業テーマ：Human Rights in Japan** 授業内容：Understand the basic human rights in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
8回	**授業テーマ：The US Japan Security Treaty** 授業内容：Learn the most significant treaty for Japanese national security. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
9回	**授業テーマ：Basics of Civil Law** 授業内容：Understand the contracts. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
10回	**授業テーマ：Real Rights and Possession** 授業内容：Understand the real property law. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.

11回	**授業テーマ：Obligations** 授業内容：Learn the civil obligations in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
12回	**授業テーマ：Family and Inheritance Law** 授業内容：Understand the family law in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
13回	**授業テーマ：Basics of Criminal Law** 授業内容：Learn the basics of criminal law and crimes. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
14回	**授業テーマ：Crimes** 授業内容：Learn the sort of crime and punishments. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
15回	**授業テーマ：Jury System and Conclusion** 授業内容：Conclusion 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Review this course.

Events &Meeting Management

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

岩本　英和 (いわもと　ひでかず)

▌授業の概要

This course provides an introduction to the events and meetings (MICE) industry, focusing on its origins, structure, and global development. Students will learn about the globalization of the conference and event industry, event marketing, and the roles of key stakeholders such as destination marketing organizations (DMOs), international organizations, and associations.

The course also examines the socio-economic impacts of events and meetings and explores current trends and future directions of the MICE industry through case studies and practical examples.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：To understand the origins, structure, and overall framework of the MICE industry.

個別目標：By the end of this course, students will be able to understand and explain the basic concepts of the MICE industry, its socio-economic impacts, and its role within the broader tourism and hospitality sector.

▌履修条件

None.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated based on in-class and out-of-class assignments conducted through manaba (70%), and a final examination, report, or presentation (30%).

▌フィードバック方法

Feedback on questions and requests related to lecture content will be provided during lectures and through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （This course incorporates discussions, group work, and short presentations based on lecture content to promote active and interactive learning. Depending on the topic and schedule, fieldwork such as investigating events or meetings may also be conducted.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Personal computers will be used for in-class assignments and activities through manaba.）

▌教科書

Not specified.

▌参考書

Reading materials will be specified during the course.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Overview of Hospitality and Tourism** 授業内容：This lecture introduces the basic concepts of hospitality management and tourism as a foundation for understanding the MICE industry. 事前学修 2.0hr：Review lecture materials provided in advance. 事後学修 2.0hr：Review the lecture content to deepen understanding of hospitality and tourism.
2回	**授業テーマ：Introduction to the MICE Industry** 授業内容：This lecture introduces the MICE industry through case studies from Japan. 事前学修 2.0hr：Review lecture materials and key terminology. 事後学修 2.0hr：Review the lecture and research the history of the event and convention industry.
3回	**授業テーマ：Organizers and Sponsors in the MICE Industry** 授業内容：This lecture explains the roles of organizers and sponsors in the MICE industry. 事前学修 2.0hr：Review lecture materials and key terminology. 事後学修 2.0hr：Review and research the roles of organizers and sponsors.
4回	**授業テーマ：Roles and Functions of Destination Marketing Organizations (DMOs)** 授業内容：This lecture introduces DMOs and explains their roles and functions in the MICE industry. 事前学修 2.0hr：Review lecture materials and key terminology. 事後学修 2.0hr：Review and research the roles and functions of DMOs.
5回	**授業テーマ：Importance of Meeting Venues and Their Financial Structure** 授業内容：Through case studies of meeting venues in Japan, students will learn the importance of venues and their financial structures. 事前学修 2.0hr：Review lecture materials and key terminology. 事後学修 2.0hr：Review and research meeting venues and their financial impact.
6回	**授業テーマ：Exhibitors and Fundamentals of Exhibition Planning** 授業内容：This lecture explains the roles of exhibitors and the fundamentals of exhibition planning. 事前学修 2.0hr：Review lecture materials and key terminology. 事後学修 2.0hr：Review and research exhibition planning.
7回	**授業テーマ：Service Contractors in the MICE Industry** 授業内容：This lecture explains the roles of service contractors in the MICE industry. 事前学修 2.0hr：Review lecture materials and key terminology. 事後学修 2.0hr：Review and research service contractors.
8回	**授業テーマ：Destination Management Companies (DMCs)** 授業内容：This lecture explains the roles of destination management companies in the MICE industry. 事前学修 2.0hr：Review lecture materials and key terminology. 事後学修 2.0hr：Review and research destination management companies.
9回	**授業テーマ：Operations and Components of Special Events** 授業内容：This lecture introduces the basic operations and components of special events. 事前学修 2.0hr：Review lecture materials and key terminology. 事後学修 2.0hr：Review and research special event operations.
10回	**授業テーマ：Evaluation of Meeting Planning** 授業内容：This lecture explains needs analysis, site selection, and budgetary goals in meeting planning using research-based approaches. 事前学修 2.0hr：Review lecture materials and key terminology. 事後学修 2.0hr：Review and research meeting planning evaluation.

11回	**授業テーマ：Catering Operations and Caterers** 授業内容：This lecture introduces types of catering operations and caterers in the MICE industry. 事前学修 2.0hr：Review lecture materials and key terminology. 事後学修 2.0hr：Review and research catering operations.
12回	**授業テーマ：Negotiation Between Organizers and Suppliers** 授業内容：This lecture examines the importance of negotiation between organizers and suppliers through case studies. 事前学修 2.0hr：Review lecture materials and key terminology. 事後学修 2.0hr：Review and research negotiation strategies.
13回	**授業テーマ：New Technologies Supporting the MICE Industry** 授業内容：This lecture introduces emerging technologies that support the MICE industry in the post-COVID-19 era. 事前学修 2.0hr：Review lecture materials and key terminology. 事後学修 2.0hr：Review and research new technologies in MICE.
14回	**授業テーマ：Sustainability and Green Movements in the MICE Industry** 授業内容：This lecture discusses sustainability and green initiatives in the MICE industry from a tourism perspective. 事前学修 2.0hr：Review lecture materials and key terminology. 事後学修 2.0hr：Review and research sustainability in MICE.
15回	**授業テーマ：Course Summary and Future of the MICE Industry** 授業内容：This session reviews the entire course and includes discussions on the future of the MICE industry. 事前学修 2.0hr：Review all course materials and prepare questions. 事後学修 2.0hr：Review the lecture and prepare for the final examination.

Tourism Planning and Development

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

白木　秀典（しらき　ひでのり）

▌授業の概要

In this course, we will learn about the principles of planning and development of tourism destinations in Japan, with case studies. The cases include relatively newly planned and developed areas, rather than traditional ones, to cover the various features of development. In addition, the overseas tourist destinations will also be introduced as a reference, based on the lecturer's experience in the Pacific areas.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：-To understand the overall features of tourism destinations and issues by type.
-To understand what tourism destinations are and how to develop them.
個別目標：-To be able to name the factors necessary for the development of tourism destinations.
-To understand success and failure factors of tourism destination development by type.
-To understand the difference between tourism destination development in Japan and overseas.

▌履修条件

In addition to lectures by the instructor, the course will consist of research and presentations by students.
This work is a major part of the evaluation.

▌評価基準・方法

Class Participation 30%
Research and Presentation 40%
Homework assignment and Report 30%

▌フィードバック方法

The feedback of the report will be provided through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion,Presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Presentation）

▌教科書

None. The reading materials will be posted in manaba before each session.

▌参考書

None. Some information sources will be provided in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to Tourism Planning and Development** 授業内容：- Overview of Japanese tourism industry - Role of investment projects in tourism development - Analysis of existing tourism infrastructure and facilities 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading materials and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
2回	**授業テーマ：Tourism Investment Strategies** 授業内容：- Types of tourism investments; accommodation, attractions, EXPO etc. - Financing options for tourism projects - Risk assessment and management in tourism investment 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading materials and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
3回	**授業テーマ：Destination Management and Governance** 授業内容：- DMO and Governance structures for destination management - Stakeholder engagement and community involvement - Environmental impacts of development 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading materials and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
4回	**授業テーマ：Cases of Destination Management and Governance** 授業内容：- Development Cases of the Ski Resorts. 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading materials and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
5回	**授業テーマ：Tourism Product Development** 授業内容：- Conceptualizing and designing tourism products - Integrating cultural, natural and heritage assets - Sustainable design and management practices 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading material and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the next topic and prepare a presentation for the class.
6回	**授業テーマ：Cases of Tourism Product Development** 授業内容：- Theme Parks in Japan 事前学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the topic and prepare a presentation for the class. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
7回	**授業テーマ：Community Engagement and Empowerment** 授業内容：- Importance of community involvement in tourism planning - Collaborative models for public-private partnerships - Strategies for empowering local communities in tourism decision-making 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading materials and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the next topic and prepare a presentation for the class.
8回	**授業テーマ：Cases of Community Engagement and Empowerment** 授業内容：- Hot Spring or SPA Development in Japan. 事前学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the topic and prepare a presentation for the class. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.

9回	**授業テーマ：Nature-Based Tourism** 授業内容：- Opportunities and challenges in nature-based tourism development - Principles of ecotourism and responsible nature-based tourism 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading materials and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the next topic and prepare a presentation for the class.
10回	**授業テーマ：Cases of Nature-Based Tourism** 授業内容：- Food and Drink Tourism in Japan 事前学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the topic and prepare a presentation for the class. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
11回	**授業テーマ：Entrepreneurship in Tourism** 授業内容：- Entrepreneurial opportunities in tourism destinations - Case studies of successful entrepreneur-developed tourism destinations - Financing and marketing strategies for tourism startups 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading materials and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the topic and prepare a presentation for the class.
12回	**授業テーマ：Cases of Entrepreneurship in Tourism** 授業内容：- Hoshino Resort and other Ryokan revitalization groups 事前学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the topic and prepare a presentation for the class. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
13回	**授業テーマ：Tourism Investment Project Evaluation** 授業内容：- Methods for evaluating feasibility - Tourism investment and government laws and regulations - Socio-economic impacts of projects 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading materials and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the next topic and prepare a presentation for the class.
14回	**授業テーマ：Cases of Tourism Investment Project Evaluation** 授業内容：- Development concept of IR or MICE in Japan. 事前学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the topic and prepare a presentation for the class. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
15回	**授業テーマ：Student Presentation and Overview of this course** 授業内容：- Student presentations. - Reviewing the course. 事前学修 2.0hr：Prepare for the presentation. 事後学修 3.0hr：Review the course and write a final report to submit.

Tourism and the Society

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

中野　実（なかの　みのる）

▌授業の概要

Tourism is an industry that depends on peace. To think about peace, it is important to understand the world's major actors — nation-states — and the history of wars. In this class, drawing on international relations theory, we will examine how modern states emerged, how they have developed over time, and what kinds of issues continue to shape relations between them today. We will also explore how the international community works to prevent conflict. Then, by looking at several cases in which tourism has been affected by political tensions or violence, we will consider the relationship between peace and tourism. Finally, based on this understanding, we will examine the current relationship between Japan and its neighbouring states.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Students will learn about the modern international system, the mechanisms by which conflicts arise, and efforts to build peace, and will deepen their understanding of the importance of peace and the aviation and tourism industries that depend on it.

個別目標：・ Students will be able to present one of the world's tourist destinations or World Heritage sites, including past conflicts that occurred there and the recovery process up to the present.

・ Students will also be able to explain several international phenomena covered in this class from multiple perspectives and identify issues that need to be addressed.

▌履修条件

For 2nd grade and above only.

For those students who are interested in International Relations.

▌評価基準・方法

Examination (50%), Presentation (20%), Assignment (20%), Attendance, engagement and contribution (10%)

▌フィードバック方法

Direct feedback at the time of presentation and feedback of assignments through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Presentation, Discussion, Group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Presentation, Group work）

▌教科書

No textbook specified.

▌参考書

Joseph Grieco, G. John Ikenberry and Michael Mastanduno (2015), "Introduction to International Relations", Palgrave

And others

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction: What is peace?** 授業内容：Explanation of a course plan and evaluation criteria. Then, understand a basis of international peace. Briefly looking at the current structure of the world, systems, causes of war, peacebuilding efforts, and current axes of conflict that will covered in this course. 事前学修 2.0hr：Watched latest world news and understand the conflicts currently occurring in various places in the world 事後学修 2.0hr：Review and summrise the class contents of the day.
2回	**授業テーマ：Nation-states and sovereignty: understanding the modern state system** 授業内容：How did the nation-state we know today come into being? We will then consider what kinds of relationships between states can be observed in the contemporary world. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
3回	**授業テーマ：Nation-states and war: Examining the history of war.** 授業内容：Since the establishment of modern nation-states, the world has experienced repeated wars between states. We will consider how these wars have transformed relations among states. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
4回	**授業テーマ：Cold War: Was the Cold War a state of peace? Understanding of the Cold War.** 授業内容：After World War II, the world' s great powers were in conflict but did not fight directly. We will examine why the Cold War began, how it functioned, and why it eventually came to an end. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
5回	**授業テーマ：International relations theory: Realism, Liberalism and Constructivism (+ Presentation)** 授業内容：Students will learn the three major theoretical traditions in international relations and use them to understand the behaviour of states. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
6回	**授業テーマ：EU: History of European integration and history of attempts aimed at peace in the region (+ Presentation)** 授業内容：Why did Europe pursue integration? We will examine the history of this process. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
7回	**授業テーマ：United Nations: Understand the role of the United Nations (+ Presentation)** 授業内容：Students will learn about the creation and structure of the United Nations and its role in peacebuilding. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
8回	**授業テーマ：Case study 1: Impact of the Gulf War on tourism (+ Presentation)** 授業内容：Students will review and consider the impact of the 1991 Gulf War on tourism. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.

9回	**授業テーマ：The nation-states and terrorism (+ Presentation)** 授業内容：Students will examine terrorism, which has continued to increase in the 21st century, in relation to the nation-state system. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
10回	**授業テーマ：Case study 2: Impact of the 9/11 terrorist attacks on tourism (+ Presentation)** 授業内容：Students will review and consider the impact of the 2001 terrorist attacks in the United States on tourism. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
11回	**授業テーマ：Democracy and authoritarianism: Considering the current axis of conflict (+ Presentation)** 授業内容：Why are democratic and authoritarian states in conflict with one another in the contemporary world? Students will examine the characteristics of both regime types from the perspectives of citizens and governments. A debate or discussion will be held depending on the number of students. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
12回	**授業テーマ：Peacebuilding by tourism: Group Work** 授業内容：Students will have a group discussion and present how tourism contributes to peacebuilding. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
13回	**授業テーマ：Thinking about peace in Japan ①: Japan-US relations and security treaty** 授業内容：Students will learn why Japan is allied with the United States and why American bases are located in Japan by reviewing the Japan – U.S. relationship from the arrival of the Black Ships to post – World War II national security policy. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
14回	**授業テーマ：Thinking about peace in Japan ②: Wars in Japan** 授業内容：Students will examine the views and attitudes of the Japanese government and people that developed between the isolationist Edo period and World War II, and will explore why Japan entered these wars and ultimately surrendered unconditionally. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
15回	**授業テーマ：Thinking about peace in Japan ③: International relations between Japan and neighboring states** 授業内容：Students will consider international relations surrounding Japan, including Japan – China, Japan – Korea, and Japan – Russia relations. In particular, they will examine postwar territorial issues and emotional or historical issues. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day and the whole course.

eCommerce

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

上田　圭一（うえだ　けいいち）

▌授業の概要

This course is designed to provide principles and practices that lead to successful digital transformation for each student. It goes beyond the simple acquisition of IT skills and aims to cultivate the following capabilities:
-Devising industry-transforming business models.
-Understanding value creation through ”New Combination” (Innovation) and the resulting transformation of society and behavior (DX).
-Leveraging data more strategically to acquire ”Wisdom”.
-Redefining ”Human Value” in the age of AI and developing proactive problem-posing skills.
Please note that the course content is subject to change based on shifts in the learning environment or the specific needs and requests of the participants.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：1. Acquiring basic knowledge and frameworks to understand Digitalization and Digital transformation.
2. Understanding the approach to realizing innovative ideas with Digital transformation.
3. Preparing a mindset to lead transformation using digital technologies as a ”means”.
個別目標：Finding your own principle/standard for visioning/leading/driving Digital Transformation.

▌履修条件

1. This course is designed to have students participate in all classes.
2. All students are required to send short and main essays to the lecturer via Meikai email account.

▌評価基準・方法

+ Class Contribution: 40 pt (2 pt * 15 classes + assigned lecturer 10 pt)
+ Short Essays &Peer Review: 28 pt (2 pt * 14 classes)
+ Final Exam: 32 pt (4 pt * 8 questions)
* Feedback on assignments will be provided through manaba.

▌フィードバック方法

Feedback is available via Manaba or Classroom.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （There is experiential learning through simulated experiences with case studies and the use of actual digital services.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （There is experiential learning through using of actual digital services.）

▌教科書

HBR’s 10 Must Reads on Leading Digital Transformation (with bonus article ”How Apple Is Organized for Innovation”)
ISBN-13: 978-1647822163 /Harvard Business Review Press

▌参考書

Other reading materials will be specified in class.
Make it a habit to access business news on media, such as Internet or Newspaper,TV etc.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and introduction** 授業内容：Define and understand the rules, procedures, and grading guidelines. 事前学修 2.0hr：Read the syllabus and describe your expectations for DX. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your opinion on DX based on the lecture.
2回	**授業テーマ：What is Innovation?** 授業内容：Learn Schumpeter’s ”New Combination.” [GW] Workshop on multiplying everyday items x digital. 事前学修 2.5hr：Read the textbook and find 3 key take-aways. 事後学修 2.0hr：Review workshop results and summarize points for value creation.
3回	**授業テーマ：Innovation vs DX** 授業内容：Difference between ”Change in Tools” and ”Transformation of Behavior.” Essence of DX from case studies. 事前学修 2.5hr：Find one habit in daily life that became convenient via digital. 事後学修 2.0hr：Review and update your views based on the lecture.
4回	**授業テーマ：Define the three stages (Digitization, Digitalization, DX) and apply them to services in your home country.** 授業内容：1. Understand the characteristics of Digital Marketing 2. Explain the difference between Internet /Online Marketing, and Digital Marketing 3. Propose Digital Marketing to traditional business 事前学修 2.5hr：Read the assigned article and find 3 key take-aways. 事後学修 2.0hr：Write an essay summarizing the differences in your own words.
5回	**授業テーマ：Continuous Connection** 授業内容：Shift from ”Point” to ”Line” marketing. How to create touchpoints in the age of continuous connection. 事前学修 2.5hr：Identify an app you feel ”connected” to 24/7 and consider why. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
6回	**授業テーマ：Data Strategy** 授業内容：DIKW model. Proper use of Data Warehouse vs. Data Lake 事前学修 2.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
7回	**授業テーマ：Data Workshop** 授業内容：Case study. Experience how real-time sharing creates a synchronized rhythm (”Aun-no-kokyu”). 事前学修 2.5hr：Prepare your opinion on why data organization is necessary. 事後学修 2.0hr：Organize insights from the workshop in relation to your individual goals.
8回	**授業テーマ：Competing with AI** 授業内容：Impact of AI on business and the source of competitiveness in the AI era. 事前学修 2.0hr：Re-read the assigned article and extract key points on AI-human collaboration. 事後学修 2.0hr：Organize which tasks should be left to AI and which to humans.

9回	**授業テーマ：AI &Human Value** 授業内容：”Routines to AI, Heart to Humans.” Proactive ”Problem Posing” as the true value of humans. 事前学修 2.5hr：Prepare a memo on ”Hospitality” that you believe AI cannot replicate. 事後学修 2.0hr：Deepen your thoughts on human value in the age of AI.
10回	**授業テーマ：Super Apps** 授業内容：”Ecosystem” strategy of Grab, WeChat, etc. Shift to Discovery-driven commerce. 事前学修 2.5hr：Read the case study and find 3 key take-aways. 事後学修 2.0hr：Prepare a presentation on how a super app in your country solved inconveniences.
11回	**授業テーマ：Transformative Model** 授業内容：Counter-attack strategy of legacy firms. Shift from ”Selling Products” to ”Selling Experiences (CX)” 事前学修 2.5hr：Identify one reason why legacy firms lose to digital firms and brainstorm countermeasures. 事後学修 2.0hr：Apply the transformation model learned to an actual company.
12回	**授業テーマ：Ecosystem Innovation** 授業内容：Understand what kinds of transform required in a business ecosystem Explain how Digital Transformation affects legacy business Imagine how to transform legacy businesses to beat the new business 事前学修 2.5hr：Read an article on business ecosystems and find 3 key take-aways. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
13回	**授業テーマ：Smart, Connected Products** 授業内容：Explain how the smart, connected products(SCP) affect companies Understand how SCP transforms the value chains Understand how SCP transforms the organizations 事前学修 2.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 2.0hr：Summarize how SCP transforms organizational structures.
14回	**授業テーマ：Talent for DX** 授業内容：DX success depends on ”People.” Discussion on Adaptability, Problem-posing, and Empathy. 事前学修 2.5hr：Read the assigned article and identify 3 take-aways for your career. 事後学修 2.0hr：Identify missing DX skills and plan how to develop them.
15回	**授業テーマ：Final Wrap-up** 授業内容：Summary. Presentation of your own ”Principles of DX” and Final Exam. 事前学修 3.5hr：Review all 14 lectures and summarize your ”Principles of DX” into slides. 事後学修 3.5hr：Finalize how to apply the learned frameworks to your future career.

Introduction to Marketing

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2/FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

水野　徹（みずの　とおる）

▌授業の概要

Marketing: Course Description:

We will walk through the basic principles and analytical tools of marketing through a combination of case analysis and lectures. You are expected to read the cases and be ready for case questions in advance of each session. It is very important that you will be ready for in-class case discussions which will be followed by lectures on the underlying marketing principles and analytical tools behind the cases.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall Objective:

(1) To understand the basic principles and analytical tools of marketing

(2) To read and analyze business cases and apply the basic principles and analytical tools

個別目標：Expected Achievements:

(1) To be able to read marketing-related articles with basic understanding on underlying principles.

(2) To be able to apply analytical tools of marketing to the real world business cases.

▌履修条件

Prerequisite:

Should be able to communicate with the instructor through manaba. Should be able to submit assignments through manaba.

▌評価基準・方法

Grading Policy:

The performance will be graded based on final exam (50%), case write-ups (20%) and class participation and contribution (30%). The grading of the assignments will be communicated through manaba.

▌フィードバック方法

manaba will be used to send out the feedback to the students.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Analysis on business cases has to be completed prior to each session）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （Reading the business cases and responding to the case questions required PCs.）

▌教科書

Text Books: Case packet and hand-outs will be provided in manaba.

▌参考書

Reference Book:

Philip Kotler, Kevin Keller ”Marketing Management 15th Edition” Pearson

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Class guidance and Case Analysis** 授業内容：I will be explaining 1) overview of this course, 2) grading policy, 3) weekly assignments, and 4) how the marketing is positioned in the academia. 事前学修 1.5hr：Read class guidance and syllabus, prepare to express your goal in this class 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for case analysis
2回	**授業テーマ：Definition of Marketing** 授業内容：Class discussions on the business case ”Nike”, lectures on the definition of marketing, scope of marketing, and the video ”Eskimo Joe”. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Nike” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
3回	**授業テーマ：Know your customer** 授業内容：Class discussions on the business case ”Chantale and Clinton Call for Service”, lectures on new consumer capabilities, new marketing realities, and dimensions of holistic marketing. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Chantale and Clinton Call for Service” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
4回	**授業テーマ：Consumer Behavior** 授業内容：Class discussions on the business case ”IKEA” and lectures on consumer behavior, cognition model, micromodel of consumer behavior, AIDMA model, and purchase funnel model. 事前学修 1.5hr：Read the case ”IKEA” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
5回	**授業テーマ：Marketing Research** 授業内容：Class discussions on the business case ”Campbell Soup” and lectures on basic principles of marketing research and different types of marketing research, such as observational research, focus group, survey research, behavioral research, and experimental research. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Campbell Soup” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
6回	**授業テーマ：Competitive Strategy** 授業内容：Class discussions on the business case ”Nespresso” and lectures on tools for competitive analysis, such as 3C, SWOT, five forces of competitive strategy, and three generic strategies. 事前学修 1.5hr：Read the case ”NESPRESSO” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
7回	**授業テーマ：Segmentation, Targeting, Positioning** 授業内容：Class discussions on the business case ”United Airlines” and lectures on segmentation, targeting and positioning. We will also view a video on how the segmentation, targeting and positioning process is implemented in McDonalds. 事前学修 1.5hr：Read the cases ”United Airlines” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the cases and hand-out

8回	**授業テーマ：Marketing Mix** 授業内容：Class discussions on the business case ”Kellogg’s” and lectures on overview of marketing mix, AKA four P’s. We will also touch base on how to create market dominance. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Kellogg’s” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
9回	**授業テーマ：Product** 授業内容：Class discussions on the business case ”Apple” and lectures on product value, brand equity, product differentiation, and product life cycle. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Apple” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
10回	**授業テーマ：Price** 授業内容：Class discussions on the business case ”Ryanair” and lectures on issues for today’s pricing, the process of setting the price, different pricing methodologies, and break-even calculations. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Ryanair” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
11回	**授業テーマ：Marketing Channel** 授業内容：Class discussions on the business case ”Amazon.com” and lectures on the roles of marketing channel, management of distribution channels, and examples of marketing channels in the hospitality &toursim industry. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Amazon.com” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
12回	**授業テーマ：Promotion** 授業内容：Class discussions on the business case ”Hacienda del Sol” and lectures on push and pull types of promotion, macro &micro models of communication processes, and current spending of promotion based on the medias. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Hacienda del Sol” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
13回	**授業テーマ：Loyalty Marketing** 授業内容：Class discussions on the business case ”Amazon Prime” and lectures on the loyalty programs in the hospitality &toursim industry, customer life value, retention dynamics, Pareto principle, and long tail strategy. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Amazon Prime” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
14回	**授業テーマ：Basic Principles and Analytical Tools of Marketing** 授業内容：We will be reviewing important principles and analytical tools of marketing in the previous 13 weeks. 事前学修 1.5hr：Review all hand-outs from sessions 1 through 13 事後学修 2.5hr：Review hand-out
15回	**授業テーマ：Wrap-up and case analysis excercise** 授業内容：We will review the course with particular emphasis on how the students should prepare for the final exam. We will also adress the issue of grading policy. 事前学修 1.5hr：Review all hand-outs from sessions 1 through 14 事後学修 2.5hr：Review hand-out

Introduction to Management

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1 ｜ 備考：GMM 対象科目

白木　秀典（しらき　ひでのり）

▌授業の概要

This course is an introduction to basic management. We provide a comprehensive overview of general management principles and elements relevant to the global business environment and culture. The topics to be covered are Functions of Management, Strategic Management, Marketing Management, International Management, Organizational Behavior, Entrepreneurship and Innovation etc. with practical cases. It lays the foundation for students to further explore specialized areas of management as they progress in their studies.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：・To understand the basic concepts and mechanisms of management.
・To understand the manager's role and skills.
・To understand the contemporary issues of management.

個別目標：・To be able to present the basic concepts and structures of management.
・To be able to analyze problems in the actual cases by utilizing basic management theories.

▌履修条件

Each student is required to read the relevant chapters of the textbook to get ready for the class discussion.
In accordance with the posting on manaba, each session will require a written report (300 words), or preparation of group presentation.

▌評価基準・方法

- Participation in class discussion 30%
- Written assignment and Presentation 30%
- Final exam 40%

▌フィードバック方法

The feedback will be sent through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion, Presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Class materials are distributed via manaba.）

▌教科書

Management, Fifteenth Edition, Global Edition, by Stephen P. Robbins, Mary Coulter, Pearson Education Limited, 2021

▌参考書

The reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Managers and You in the Workplace (Chapter 1)** 授業内容：- Introduction, - Why do you study Management? - What is a good manager? 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. (Managerial Issues in Your Working Experience) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
2回	**授業テーマ：Making Decisions (Chapter 2)** 授業内容：- The Decision-Making Process - Types of Decisions - Decision-Making Bias and Errors 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. (James Dyson) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
3回	**授業テーマ：Influence of the External Environment and the Organization Culture (Chapter 3)** 授業内容：- Omnipotent Manager vs Symbolic Manager - The External Environment Constraints and Challenges - Organizational Culture: Constraints and Challenges 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. (Wells Fargo) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
4回	**授業テーマ：Managing in a Global Environment (Chapter 4)** 授業内容：- A Brief History of Globalization - Different Types of International Organizations - How Organizations Go International 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. (Euro Disney) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
5回	**授業テーマ：Managing Diversity (Chapter 5)** 授業内容：- What is Workplace Diversity - Types of Workplace Diversity - Challenges in Managing Diversity 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. (Dandelion Program) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
6回	**授業テーマ：Managing Social Responsibility and Ethics (Chapter 6)** 授業内容：- What is Social Responsibility? - Green Management and Sustainability - Current issues in Social Responsibility and Ethics 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. (Carlos Ghosn and Renault-Nissan) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.

7回	**授業テーマ：Managing Change and Disruptive Innovation (Chapter 7)** 授業内容：- The Change Process - Contemporary Issues in Managing Change - Disruptive Innovation 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. (Toyota Woven City) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
8回	**授業テーマ：Managing Strategy (Chapter 9)** 授業内容：- Types of Strategies - The Strategic Management Process - Competitive Strategies 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. (BCG and PPM) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
9回	**授業テーマ：Entrepreneurial Ventures (Chapter 10)** 授業内容：- The Context of Entrepreneurship - Start-up and Planning Issues - Control Issues 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. (10 characteristics of successful entrepreneurs) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
10回	**授業テーマ：Designing Organizational Structure (Chapter 11)** 授業内容：- Six Elements of Organizational Design - Traditional Organizational Design Options - Organizing for Flexibility in the Twenty-First Century 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. (We Work Harder When Someone Is Watching.) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
11回	**授業テーマ：Managing Human Resources (Chapter 12)** 授業内容：- Explaining the Importance of Human Resource Management - Identifying and Selecting Competent Employees - Describing Strategies for Retaining Competent, High-performing Employees 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba.(Generation Z and your new-hire orientation) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
12回	**授業テーマ：Managing Groups and Teams (Chapter 13)** 授業内容：- Group and Group Development - Turning Groups into Effective Teams - Describing the Major Components that Determine Group Performance 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. (How we choose work partners.) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
13回	**授業テーマ：Understanding and Managing Individual Behavior (Chapter 15)** 授業内容：- Focus and Goals of Organizational Behavior - Describing Different Personality Theories - Describing Perception and the Factors of Individual Behavior 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. (Holland's Personality Test) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
14回	**授業テーマ：Motivating Employees (Chapter 16)** 授業内容：- Comparing Early Theories of Motivation - Comparing Contemporary Theories of Motivation - Current Issues in Motivation 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. (Frederick Taylor and Bethlehem Steel) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
15回	**授業テーマ：Being an Effective Leader (Chapter 17)** 授業内容：- Early Leadership Theories - Contemporary Views of Leadership - Leadership Issues in the Twenty-First Century 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. (Servant Leadership) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.

Introduction to Management

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

This course provides a systematic understanding of management as a discipline for achieving organizational performance and sustainable growth. It begins with leadership mindset and responsibility, and gradually expands to member management, team management, business strategy, organizational cycle design, mental resilience, and self-management.

Students will examine how effective leaders maximize results while developing people, build high-performing teams, and implement strategic frameworks such as KGI, KPI, and productivity management. Through case analysis, discussion, and applied exercises, the course bridges theoretical concepts with practical decision-making in real organizational contexts.

By the end of the semester, students will be able to understand management not merely as a position of authority, but as a structured system of thinking and action that integrates leadership, strategy, communication, and performance management in a global business environment.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：1.To understand the fundamental principles, structures, and roles of management in achieving organizational performance.
2.To develop strategic thinking skills necessary for maximizing business outcomes while fostering human resource development.
3.To cultivate a global managerial perspective that integrates leadership, communication, and performance management in diverse organizational contexts

個別目標：1.To analyze leadership and management practices using core frameworks such as KGI, KPI, strategy formulation, and performance management tools.
2.To evaluate team dynamics and organizational structures, and propose practical solutions to improve productivity and collaboration.
3.To demonstrate the ability to articulate managerial decisions logically and persuasively in both written and oral presentations.
4.To apply management concepts to real-world cases and develop an integrated personal management philosophy.

▌履修条件

1.This course is designed for students who are interested in leadership and organizational management and are willing to actively participate in discussions and collaborative activities.

2.Students are expected to prepare for each class and demonstrate a proactive attitude toward applying management concepts to real-world situations.

▌評価基準・方法

Presentations (2) and Peer Review: 40%
Short Essays: 20%
Class Contribution: 10%
Final Assignment: 30%

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Class excursion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （Short Essays, reports and presentations）

▌教科書

None

▌参考書

Other Reading materials will be specified in class.
Make it a habit to access business news on media, such as Internet or Newspaper,TV etc.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Leadership Mindset** 授業内容：The role and responsibility of managers. Distinction between leadership and management. Management as a system of thinking and action. 事前学修 1.0hr：Analyze one company’s mission statement. 事後学修 2.0hr：Explain how mission influences strategy.
2回	**授業テーマ：Mission, Vision, and Organizational Performance** 授業内容：Relationship between mission, strategy, and performance outcomes. Organizational purpose and value creation. 事前学修 2.0hr：Analyze one company’s mission statement. 事後学修 2.0hr：Explain how mission influences strategy.
3回	**授業テーマ：Member Management** 授業内容：Motivation theories, delegation, coaching vs. teaching, trust-building, and performance evaluation. 事前学修 2.0hr：Research motivation theories (e.g., Maslow, Herzberg). 事後学修 2.0hr：Propose strategies to enhance member performance.
4回	**授業テーマ：Team Management** 授業内容：Communication systems, meeting design, decision-making structures, and conflict management. 事前学修 2.0hr：Study characteristics of high-performing teams. 事後学修 2.0hr：Evaluate team communication effectiveness.
5回	**授業テーマ：Strategic Management and KPI Design** 授業内容：Strategy formulation, executive perspective, KGI/KPI frameworks, and performance measurement. 事前学修 2.0hr：Research KGI and KPI concepts. 事後学修 2.0hr：Design KPIs for a sample organization.
6回	**授業テーマ：Productivity and Performance Systems** 授業内容：Pareto principle, long-tail strategy, PDCA cycle, and productivity improvement. 事前学修 2.0hr：Review PDCA applications. 事後学修 2.0hr：Apply Pareto analysis to a business case.

7回	**授業テーマ：Organizational Cycle Management** 授業内容：Weekly, monthly, and annual management cycles. Evaluation systems and continuous improvement. 事前学修 2.0hr：Research performance review systems. 事後学修 2.0hr：Create a basic operational cycle model.
8回	**授業テーマ：Japanese vs. International Hotel Management Models** 授業内容：Comparative analysis of Japanese and international (foreign-capital) hotel management structures. Differences in organizational culture, HR systems, branding, revenue strategy, and decision-making speed. 事前学修 2.0hr：Research one Japanese hotel and one international hotel brand. 事後学修 2.5hr：Summarize structural and strategic differences.
9回	**授業テーマ：Hotel Site Visit (Comparative Experiential Learning)** 授業内容：Students visit a hotel and conduct on-site observation of facilities, service systems, organizational structure, and operations. Analysis of whether the management style reflects Japanese, international, or hybrid models. 事前学修 2.0hr：Prepare a comparative observation checklist. 事後学修 2.0hr：Submit a structured comparative observation report.
10回	**授業テーマ：From Observation to Strategy** 授業内容：Workshop: If you were the general manager, how would you maximize the hotel’s facilities and organizational strengths? SWOT and strategic positioning analysis. 事前学修 2.0hr：Identify strategic strengths and weaknesses. 事後学修 2.0hr：Draft a management proposal outline.
11回	**授業テーマ：Strategic Proposal Development** 授業内容：Application of KPI design, team structure, revenue strategy, and branding perspective to the hotel case. Selection of Japanese-style, international-style, or hybrid model. 事前学修 2.0hr：Prepare presentation slides. 事後学修 2.5hr：Submit peer evaluation and reflection.
12回	**授業テーマ：Managerial Proposal Presentations** 授業内容：“If I Were the General Manager” Student presentations with peer review. Justification of chosen management model and strategic direction. 事前学修 2.0hr：Finalize presentation. 事後学修 2.0hr：Submit peer evaluation and reflection.
13回	**授業テーマ：Mental Management and Leadership Resilience** 授業内容：Emotional control, psychological safety, stress management, and leadership stability. 事前学修 2.0hr：Research leadership resilience strategies. 事後学修 2.0hr：Reflect on personal leadership challenges.
14回	**授業テーマ：Self-Management and Career Strategy** 授業内容：Growth mindset, long-term career planning, and development as a future manager in global environments. 事前学修 2.0hr：Analyze personal strengths and development areas. 事後学修 2.0hr：Write a personal leadership development plan.
15回	**授業テーマ：Integrative Management Synthesis** 授業内容：Review key management frameworks studied throughout the semester and engage in integrative discussion. Students articulate their personal management perspective by synthesizing theory and practice. 事前学修 2.0hr：Review key management frameworks and organize major concepts learned during the semester. 事後学修 2.0hr：Refine your personal management philosophy based on in-class discussion and synthesis.

Principles of Accounting

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

白木　秀典（しらき　ひでのり）

▌授業の概要

This is an introductory course for those learning the basics of financial accounting. The textbook is in the form of workbook designed for self-study. Each class will consist of a short lecture followed by exercises and cases, assuming that the students have already studied the subject matter on their own. Therefore, students are expected to work on the corresponding part of the textbook in advance, and it is important that they attend class without missing.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：-To understand the basic principles and structure of financial accounting.
-To understand the role of financial statements and their implications.
個別目標：-To be able to read balance sheets, income statements, and cash flow statements.
-To be able to prepare the tree basic financial statements.

▌履修条件

No prerequisite coursework.
Each session requires self-study of the textbook in the workbook format in advance and homework assignment afterwards.
Students must have a copy of the textbook.

▌評価基準・方法

Contribution to Class 30%
Homework Assignment 30%
Final Examination 40%

▌フィードバック方法

The feedback for the assignment will be done in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Essentials of Accounting (International edition) 11th edition, Leslie K. Breitner and Robert N. Anthony, 2012, PEARSON Education Ltd.

▌参考書

None

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：(Part 1) Basic Concepts (1) Introduction** 授業内容：- The nature of the balance sheet - The accounting meaning of assets, liabilities and equity 事前学修 2.0hr：Self-study Part 1-1 through 1-39 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter.
2回	**授業テーマ：(Part 1) Basic Concepts (2) Concepts of Accounting** 授業内容：- The first five of nine basic concepts of accounting - The meaning of the principal items reported on a balance sheet 事前学修 2.0hr：Self-study Part 1-40 through 1-87 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 1
3回	**授業テーマ：(Part 2) Balance Sheet Changes (1) Transaction** 授業内容：- The meaning of the principal items reported on a balance sheet - How several types of transactions change the amounts reported on the balance sheet 事前学修 2.0hr：Self-study Part 2-1 through 2-63 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter.
4回	**授業テーマ：(Part 2) Balance Sheet Changes (2) Income Measurement** 授業内容：- The nature of income and the income statement 事前学修 2.0hr：Self-study Part 2-64 through 2-84 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 2
5回	**授業テーマ：(Part 3) Accounting Records and Systems (1) Ledger and Journal** 授業内容：- The nature of the account and how entries are made to accounts - The meaning of debit and credit - Use of the ledger and the journal 事前学修 2.0hr：Self-study Part 3-1 through 3-50 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter.
6回	**授業テーマ：(Part 3) Accounting Records and Systems (2) Closing Process** 授業内容：- The closing process - Items reported on the income statement - Accounting with the computer 事前学修 2.0hr：Self-study Part 3-51 through 3-84 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 3
7回	**授業テーマ：(Part 4) Revenue and Monetary Assets** 授業内容：- The accounting period and accrual accounting - The three more of the nine basic accounting concepts - How monetary assets are measured 事前学修 2.0hr：Self-study Part 4-1 through 4-77 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 4

8回	**授業テーマ：(Part 5) Expense Measurement; Income Statement** 授業内容：- Expense and expenditure - The last of the nine basic accounting concepts - The meaning of items reported on an income statement 事前学修 2.0hr：Self-study Part 5-1 through 5-98 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 5
9回	**授業テーマ：(Part 6) Inventories and Cost of Sales** 授業内容：- Cost of sales and Inventories - When inventory amounts on the balance sheet are reduced - How inventory is measured in a manufacturing company 事前学修 2.0hr：Self-study Part 6-1 through 6-68 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 6
10回	**授業テーマ：(Part 7) Noncurrent Assets and Depreciation** 授業内容：- Plant asset - Depreciation and Depletion - Intangible assets 事前学修 2.0hr：Self-study Part 7-1 through 7-68 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 7
11回	**授業テーマ：(Part 8) Liabilities and Equity (1) Debt** 授業内容：- The nature of working capital - Debt and equity 事前学修 2.0hr：Self-study Part 8-1 through 8-49 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter.
12回	**授業テーマ：(Part 8) Liabilities and Equity (2) Equity** 授業内容：- Paid-in capital - The nature of consolidated financial statements 事前学修 2.0hr：Self-study Part 8-50 through 8-78 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 8
13回	**授業テーマ：(Part 9) Statement of Cash Flows (1) Basics** 授業内容：- What is the statement of cash flow? 事前学修 2.0hr：Self-study Part 9-1 through 9-35 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter.
14回	**授業テーマ：(Part 9) Statement of Cash Flows (2) Completing Statement** 授業内容：- Completing the statement of cash flows 事前学修 2.0hr：Self-study Part 9-36 through 9-65 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 9
15回	**授業テーマ：(Part 10) Analysis of Financial Statements** 授業内容：- An approach to analyzing financial statements - Overall financial measures of performance 事前学修 2.0hr：Self-study Part 10-1 through 10-121 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 10

Principles of Finance

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

白木　秀典（しらき　ひでのり）

▌授業の概要

This course is an introduction to finance and is intended for students who wish to enhance their expertise and skills in investment decision making. It provides broad and comprehensive coverage of basic concepts and principles, with an emphasis on practical applications. Each class session will consist of a short lecture and exercises.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：- To understand the basic principles and mechanics of corporate finance.
- To understand basic financial valuation and analysis.

個別目標：- To be able to use the principles of corporate finance to evaluate various investment opportunities.
- To understand the risk and return mechanisms associated with interest rates.

▌履修条件

No prerequisites, but mastery of basic accounting concepts is highly recommended.

▌評価基準・方法

Contribution to Class 30%
Homework Assignment 30%
Final Examination 40%

▌フィードバック方法

Feedback for assignments will be done in manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Computing discounted cash flows by using spreadsheets）

▌教科書

None. Class materials will be distributed before the class.

▌参考書

”Essentials of Corporate Finance”, Asia Global Edition, by Stephen A. Ross, McGraw Hill, 2023

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：- Overview of Financial Management 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion.
2 回	**授業テーマ：Understanding of Financial Statements, Taxes and Cash Flow (1) Basics** 授業内容：- Accounting Income and Cash Flow - Operating Cash Flow and Net Working Capital 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion and try homework assignment.
3 回	**授業テーマ：Understanding of Financial Statements, Taxes and Cash Flow (2) Advanced** 授業内容：- Net Capital Spending - Cash Flow to Stockholders and Creditors 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion and try homework assignment.
4 回	**授業テーマ：Time Value of Money (1) Single** 授業内容：- Future Value and Compounding - Present Value and Discounting 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion and try homework assignment.
5 回	**授業テーマ：Time Value of Money (2) Multiple** 授業内容：- Future and Present Values of Multiple Cash Flows - The Cash Flows of Annuities and Perpetuities 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion and try homework assignment.
6 回	**授業テーマ：Discounted Cash Flow Valuation** 授業内容：- Determining future and present value of investments with multiple cash flows - Evaluating Cash Flows of Annuities and Perpetuities - Loan amortization 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion and try homework assignment.
7 回	**授業テーマ：Net Present Value and Other Investment Criteria (1) NPV** 授業内容：- Net Present Value 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion and try homework assignment.
8 回	**授業テーマ：Net Present Value and Other Investment Criteria (2) IRR** 授業内容：- The Internal Rate of Return (IRR) - The Rule of Payback Period - Analyzing the Projected Cash Flows 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion and try homework assignment.

9回	**授業テーマ：Risk and Return** 授業内容：- Capital Market History - Financial Concept of Risk 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion and try homework assignment.
10回	**授業テーマ：Diversification of Risk** 授業内容：- Investment Portfolio 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion and try homework assignment.
11回	**授業テーマ：Capital Market** 授業内容：- Market Values and Book Values - Analysis by Financial Ratios 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion and try homework assignment.
12回	**授業テーマ：Capital Efficiency** 授業内容：- ROE and other financial indicators - Dividends and Stock Buybacks - Amortization of Goodwill 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion and try homework assignment.
13回	**授業テーマ：Cost of Capital** 授業内容：- The Cost of Equity and Debt - The Weighted Average Cost of Capital (WACC) 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion and try homework assignment.
14回	**授業テーマ：Leverage and Capital Structure** 授業内容：- The Effect of Financial Leverage - Capital Structure and the Cost of Equity Capital (M&M Proposition) - Optimal Capital Structure 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion and try homework assignment.
15回	**授業テーマ：Overview of this Course** 授業内容：- Overview of Financial Management 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion and try homework assignment.

Introduction to Business Innovation

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

The goal of this class is to provide students with an introduction to basic idea of what innovation is. As a first step, having a discussion on what innovation is, and then deepen the discussion on why innovation is necessary.
The class provides project-based learning experience in innovative new product development, with a focus on electrical engineering systems.
Also, as an important factor in realizing innovation, this class will explain the role of the interface from a viewpoint of architecture theory.
Through this lecture, students will be able to understand the difference between innovation and invention.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：1. Acquiring basic knowledge and frameworks to understand innovation.
2. Understanding the approach to generate innovative ideas.
3. Preparing a mindset to learn innovation management from a global perspective.

個別目標：Understanding the difference between innovation and invention.

▌履修条件

1. This course is designed to have students participate in all classes.
2. All students are required to send short and main essays to the lecturer via Meikai email account.

▌評価基準・方法

+ Class Contribution: 40 pt (2 pt * 15 classes + assigned lecturer 10 pt)
+ Short Essays &Peer Review: 28 pt (4 pt * 7 weeks)
+ Presentation as Final Exam: 32 pt (4 pt * 8 questions)

* Feedback on assignments will be provided via manaba or email.

▌フィードバック方法

Providing feedback as appropriate via Classroom/manaba or email.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Creative thinking and innovative activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Presentation）

▌教科書

Nothing in particular.

▌参考書

「先生、イノベーションって、何ですか?」 伊丹敬之, PHP 研究所.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and introduction** 授業内容：Introducing yourself /Grading guideline /Course management guidelines 事前学修 2.0hr：Preparing for 1 minute speech of yourself 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
2回	**授業テーマ：Innovation 101** 授業内容：What is innovation? 事前学修 2.0hr：It is recommended that you read the first chapter of Prof. Itami's book in advance. 事後学修 3.5hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture.
3回	**授業テーマ：Type of innovation** 授業内容：Learning about the types of innovation. 事前学修 3.5hr：It is recommended that you read the chapter 2 and 3 of Prof. Itami's book in advance. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
4回	**授業テーマ：When will innovation occur?** 授業内容：Learning about incremental innovation and radical innovation. 事前学修 2.0hr：It is recommended that you read the chapter 4 of Prof. Itami's book in advance. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
5回	**授業テーマ：History of innovation** 授業内容：Learning about: Appearance of big business/ Dynamics due to internalization and externalization of innovation/ Birth of the idea of startup 事前学修 3.5hr：Learn what a startup is in advance. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
6回	**授業テーマ：Innovation and the prosperity of the company** 授業内容：Thinking about "the lost 30 years" in Japan. 事前学修 2.0hr：Learning about "the lost 30 years" in Japan is preferable. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
7回	**授業テーマ：Industry and innovation** 授業内容：Learning why there are differences in the frequency of innovation in each industry. 事前学修 2.0hr：Prepare your own ideas for Apple Inc. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
8回	**授業テーマ：Discussion on why companies need innovation** 授業内容：TBD 事前学修 2.0hr：It is recommended that you read Prof. Itami's book in advance. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
9回	**授業テーマ：Innovation measurement** 授業内容：Explainning the importance of data science. 事前学修 2.0hr：Preparing your own ideas about data science 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture

10回	**授業テーマ：Innovation and entrepreneurship** 授業内容：Learning: -Difference between entrepreneurs and managers. -Entrepreneur in the organization. 事前学修 2.0hr：Checking what entrepreneurship in advance. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
11回	**授業テーマ：Framework of innovation** 授業内容：Learning about SECI model. 事前学修 3.5hr：Researching Prof. Ikujiro Nonaka in advance. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
12回	**授業テーマ：New product development management** 授業内容：Learning about new product development management. 事前学修 3.5hr：What is Technial term ”R&D”? 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
13回	**授業テーマ：Innovation and corporate strategy** 授業内容：Learn how successful companies have innovation. 事前学修 2.0hr：Let one innovative company. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
14回	**授業テーマ：Innovative and economic policy** 授業内容：Learn about innovation as a policy. 事前学修 2.0hr：Investigating the Japan semiconductor business in advance. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
15回	**授業テーマ：Innovation and intellectual property rights** 授業内容：Learning about the management of intellectual property rights to create innovation. 事前学修 2.0hr：It is recommended that you read Prof. Itami’s book in advance. 事後学修 4.0hr：Prepare for the Final Exam

Introduction to Economics

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）

▌授業の概要

This course is designed to help students learn basic economic concepts. Our aim is to enable students to interpret various economic phenomena using economic concepts.
It is assumed that students do not have any knowledge about economics prior to taking this course, and therefore, we begin by thinking about the basics, such as “what kind of subject is economics?”
We then attempt to understand the basic concepts of microeconomics and macroeconomics(i.e., demand and supply in the market, gross domestic product, and economic growth among other related aspects)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Understanding the basic concepts of microeconomics and macroeconomics.
個別目標：Interpreting various economic phenomena using economic concepts.

▌履修条件

There are no conditions for taking this course; however, student’s proficiency in English is preferred.

▌評価基準・方法

Coursework: 40%
Final exam: 60%

▌フィードバック方法

Feedback for coursework is provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Because the textbook in this course is e-book, students are required to bring laptop, tablet devices, etc. ）

▌教科書

Essentials of Economics 10th edition, N. Gregory Mankiw, Cengage Learning
In this course, students will use a study tool (Mind Tap) included in the designated textbook.
The lecturer will explain about Mind Tap in the first class (Guidance).
Please do not purchase the textbook before the first class.

▌参考書

Principles of Economics 8th edition, N. Gregory Mankiw, Cengage Learning

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：The first class will be a guidance session. The lecturer and students confirm an overview and points to note when taking the course. 事前学修 2.0hr：Read the lecture summary and think about your expectations for this course. 事後学修 2.0hr：Review the guidance content.
2回	**授業テーマ：Ten principles of economics: Chapter 1 of the textbook** 授業内容：The second class will cover chapter 1 of the textbook and learn ’What are the principles of how people make decisions?’ and ’What are the principles of how the economy as a whole works?’. 事前学修 2.0hr：Investigate the ten principles of economics. 事後学修 2.0hr：Understand “how people make decisions,” “how people interact,” and “how the economy as a whole works”through the ten principles of economics .
3回	**授業テーマ：Thinking like an economist: Chapter 2 of the textbook** 授業内容：The third class will cover chapter 2 of the textbook and learn ’What are models?’ and ’How do economists use them?’. 事前学修 2.0hr：Think about how economists understand economic phenomena. 事後学修 2.0hr：Understand the terminologies and research methods used in economics.
4回	**授業テーマ：Interdependence and the gains from trade: Chapter 3 of the textbook** 授業内容：The fourth class will cover chapter 3 of the textbook and learn ’How can trade make everyone better off?’, ’What is absolute advantage?’ and ’What is comparative advantage?’. 事前学修 2.0hr：Think about the interdependence of people in their everyday lives. 事後学修 2.0hr：Understand the benefits from trade through the concepts of “comparative advantage” and “absolute advantage.”
5回	**授業テーマ：The market forces of supply and demand: Chapter 4 of the textbook** 授業内容：The fifth class will cover chapter 4 of the textbook and learn ’What factors affect buyers’ demand for goods?’, ’What factors affect sellers’ supply of goods?’ and ’How do markets allocate resources?’. 事前学修 2.0hr：Investigate concepts of supply and demand in the market. 事後学修 2.0hr：Understand supply, demand, and equilibrium in the market. Understand the three steps to analysing changes in equilibrium.
6回	**授業テーマ：Elasticity and its application: Chapter 5 of the textbook** 授業内容：The sixth class will cover chapter 5 of the textbook and learn ’What is elasticity?’ and ’What kinds of issues can elasticity help us understand?’. 事前学修 2.0hr：Investigate the concept of elasticity. 事後学修 2.0hr：Understand the determining factors and methods to calculate elasticity.
7回	**授業テーマ：Supply, demand, and government policies: Chapter 6 of the textbook** 授業内容：The seventh class will cover chapter 6 of the textbook and learn ’What are price ceilings and price floors?’. 事前学修 2.0hr：Investigate how government policies influence the market. 事後学修 2.0hr：Understand how price controls influence the market.
8回	**授業テーマ：Consumers, producers, and the efficiency of market: Chapter 7 of the textbook** 授業内容：The eighth class will cover chapter 7 of the textbook and learn ’What is consumer surplus?’ and ’What is producer surplus?’. 事前学修 2.0hr：Investigate the benefits for suppliers and consumers of goods at market equilibrium. 事後学修 2.0hr：Understand “consumer surplus,” “producer surplus,” and “market efficiency.”
9回	**授業テーマ：Review:Chapter 1～7** 授業内容：The ninth class will used to review chapter 1～7. 事前学修 2.0hr：Review the chapters learned so far. 事後学修 2.0hr：Review the topics covered by this lecture.

10回	**授業テーマ：Measuring a nation’ s income: Chapter 15 of the textbook** 授業内容：The tenth class will cover chapter 15 of the textbook and learn ’What is Gross Domestic Product (GDP)?’ and ’How is GDP related to a nation’ s total income and spending?’. 事前学修 2.0hr：Think about macroeconomic topics. 事後学修 2.0hr：Understand the definition of gross domestic product and differences between nominal and real gross domestic product.
11回	**授業テーマ：Measuring the cost of living: Chapter 16 of the textbook** 授業内容：The eleventh class will cover chapter 16 of the textbook and learn ’What is the Consumer Price Index (CPI)?’ and ’How does the CPI differ from the GDP deflator?’. 事前学修 2.0hr：Think about the meaning of the cost of living of people. 事後学修 2.0hr：Understand the consumer price index.
12回	**授業テーマ：Production and growth: Chapter 17 of the textbook** 授業内容：The twelfth class will cover chapter 17 of the textbook and learn ’What are the facts about living standards and growth rates around the world?’ and ’Why does productivity matter for living standards?’. 事前学修 2.0hr：Think about the difference in living standards and the average income of countries throughout the world. 事後学修 2.0hr：Understand productivity and relevant policies of the government.
13回	**授業テーマ：Saving, investment, and the financial system: Chapter 18 of the textbook** 授業内容：The thirteenth class will cover chapter 18 of the textbook and learn ’What’ s the difference between saving and investment?’ and ’How does the financial system coordinate saving and investment?’. 事前学修 2.0hr：Think about the financial system in macroeconomics. 事後学修 2.0hr：Understand the systems that constitute the financial system and the relations among saving, investment, and the financial system.
14回	**授業テーマ：The basic tools of finance: Chapter 19 of the textbook** 授業内容：The fourteenth class will cover chapter 19 of the textbook and learn ’What is present value?’ and ’How can we use it to compare sums of money from different times?’. 事前学修 2.0hr：Think about the roles that money plays in the economy. 事後学修 2.0hr：Understand “present value,” “managing risk,” and “asset valuation.”
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：The fifteenth class will summarize the course. 事前学修 2.0hr：Review the topics covered in this course. 事後学修 2.0hr：Review the topics covered this lecture.

Logical Thinking

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ジェイコブ　シェア

▌授業の概要

This class explores strategies related to Logical and Critical Thinking. In this class, we will look at how to critique information, use thinking skills to logically solve problems, and improve our thinking skills. Lesson schedule may change order or topic depending on class needs.
授業のスケジュール、内容などは授業のニーズに応じて変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：The goal is for students to increase their ability to analyze information, sources, and improve their logical thinking in their lives. The class will work together to critically examine the quality of the information they encounter and apply it to problem solving strategies.

個別目標：Students will be able to look at a variety of sources and be able to critique their usefulness. In addition, students will learn valuable skills to improve their Logical and Critical Thinking skills.

▌履修条件

This class will be valuable to all GMM students who wish to improve their Logical Thinking skills. Students must be willing to engage the instructor and their classmates in order to improve their Logical and Critical Thinking skills.

▌評価基準・方法

60% Final Project, 30% Participation, 10% Homework
Tests will include, but not be limited to, presentations, writing, speaking and listening using a variety of methods.

▌フィードバック方法

Feedback will be given on projects and in class work.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （discussion, brainstorming, planning）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （however, smart phone is useful）

▌教科書

None. Weekly prints and presentations will be provided to students by the instructor. There will be distribution of some materials online using Manaba

▌参考書

None; however, access to the internet is useful during classes.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction /Why Logical Thinking?** 授業内容：a look into why we will study logical thinking 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
2回	**授業テーマ：Recognizing and Defining Problems** 授業内容：how do we recognize a problem before we can solve it 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group Work
3回	**授業テーマ：Focused Observation** 授業内容：focused observation will lead to a better understanding of problems 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
4回	**授業テーマ：Graphic Organizers /Goal Setting** 授業内容：a look into how graphic and visual representations can help us problem solve 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
5回	**授業テーマ：Setting Goals /Trouble Shooting** 授業内容：how do we set a goal, and plan to get there 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
6回	**授業テーマ：Resources /Evaluation** 授業内容：a look at the different kinds of resources and assess their trustworthiness 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
7回	**授業テーマ：Persuasion** 授業内容：a look into the methodology of persuasion 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
8回	**授業テーマ：Scientific Thinking** 授業内容：a brief look at the scientific process 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group Work
9回	**授業テーマ：Emotions** 授業内容：the different kinds of emotion and how they are used 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
10回	**授業テーマ：Deductive Reasoning** 授業内容：a brief look into deductive, using the premise to test a logical conclusion 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group Work

11回	**授業テーマ：Inductive Reasoning** 授業内容：contrasting the differences between deductive and inductive reasoning 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
12回	**授業テーマ：Fallacies** 授業内容：a look into fallacies in arguments and how to spot them 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
13回	**授業テーマ：Judgment Calls /Explanation vs Argument** 授業内容：a look at how to make a judgement calls, and the contrast of explanations vs arguments 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group Work
14回	**授業テーマ：Final Project** 授業内容：preparation for the final project 事前学修 2.0hr：Group work 事後学修 2.0hr：Group work
15回	**授業テーマ：final review and course review** 授業内容：the presentation of final projects, and course review 事前学修 2.0hr：Group work 事後学修 2.0hr：Group work

Statistics Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This lecture will be conducted in a synchronous online format.
This course will introduce students to the fundamental concepts, terms, and methods of statistical analysis. The focus will be on business and social science examples relevant and useful to students studying Hospitality and Tourism Management. There will be an emphasis on conceptual understanding of statistical information, to enable students of various levels of mathematics experience to benefit from the course.This course will be conducted entirely online over 15 sessions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：This course will teach you the basics of statistics.
個別目標：Students will develop the knowledge and skills to analyze, visualize, and present quantitative information.
Students will apply their knowledge and skills to practical, real-world data and situations.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on participation (30%), assignments (30%), and final exam (40%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

The textbook will be specified by the instructor.

▌参考書

Will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review the introduction class
2回	**授業テーマ：The context of quantitative analysis** 授業内容：Quantitative vs qualitative data and types of analysis will be covered, along with the advantages and limitations of quantitative analysis. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today’s lesson
3回	**授業テーマ：Presenting quantitative information** 授業内容：How quantitative data can be presented, and the strengths and weaknesses of different presentation formats will be discussed. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today’s lesson
4回	**授業テーマ：Measurement** 授業内容：Measurement as the foundation of statistical analysis will be covered, focusing on practical and theoretical issues. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today’s lesson
5回	**授業テーマ：Basic types of statistical analysis** 授業内容：An overview of basic types of statistical analysis will be provided, to help students understand the context for the methods to be covered in this course. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today’s lesson
6回	**授業テーマ：Descriptive vs inferential statistics** 授業内容：The differences and purposes of descriptive vs inferential statistics will be presented. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today’s lesson
7回	**授業テーマ：Mean, variance, and standard deviation** 授業内容：The key concepts of a variable’ s center (mean) and variation (standard deviation) will be introduced, emphasizing their importance to understanding statistical analysis. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today’s lesson
8回	**授業テーマ：T-tests** 授業内容：The various types of t-tests and their application to different types of statistical questions will be introduced. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today’s lesson
9回	**授業テーマ：Correlation, part 1** 授業内容：Correlation, as the foundational measure of the relationship between two variables, will be presented, focusing on the information that correlation provides and how it can be used in statistics. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today’s lesson

10回	**授業テーマ：Correlation, part 2** 授業内容：Correlation, as the foundational measure of the relationship between two variables, will be presented, focusing on the information that correlation provides and how it can be used in statistics. (Part 2) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
11回	**授業テーマ：One-way ANOVA** 授業内容：Analysis of variance (ANOVA) will be introduced in its basic form (one-way ANOVA). 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
12回	**授業テーマ：Simple regression** 授業内容：Regression will be introduced in its basic form (simple regression), focusing on the key aspects and conceptual understanding of regression analysis. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
13回	**授業テーマ：Examples and applications 1** 授業内容：Examples of the various types of statistical analysis that have been covered will be presented to better enable students to understand how statistics can be used and when the different types of analysis are appropriate. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
14回	**授業テーマ：Examples and applications 2** 授業内容：Examples of the various types of statistical analysis that have been covered will be presented to better enable students to understand how statistics can be used and when the different types of analysis are appropriate. (Part 2) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of the more advanced topics in Statistics 2. 事前学修 2.0hr：Review all the topics covered by this course and pick up some questions 事後学修 3.0hr：Review all topics and prepare for the final exam

Statistics Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This lecture will be conducted in a synchronous online format.
This course will build on the fundamental concepts, terms, and methods of statistical analysis covered in Statistics 1. The focus will be on business and social science examples relevant and useful to students studying Hospitality and Tourism Management. Important types of analysis will be covered, including ANOVA, multiple regression, and factor analysis. This course will be conducted entirely online over 15 sessions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall knowledge of statistics and ability to use it in the real-world.
個別目標：Students will further develop the knowledge and skills to analyze, visualize, and present quantitative information using more advanced models. Students will apply their knowledge and skills to practical, real-world data and situations.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on attendance and participation (30%), assignments (30%), and final exam (40%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

The textbook will be specified by the instructor.

▌参考書

The reading materials will be specified by the instructor.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review the introduction class
2回	**授業テーマ：Review of Statistics 1 concepts** 授業内容：The concepts and methods covered in Statistics 1 will be reviewed to ensure that students have the requisite background for Statistics 2. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
3回	**授業テーマ：Research design principles, part 1** 授業内容：A more extensive consideration of statistical design will covered, including: How do ensure that a statistical analysis is appropriate for the question/problem? How do we select the appropriate analysis? What are the limitations of different designs? (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
4回	**授業テーマ：Research design principles, part 2** 授業内容：A more extensive consideration of statistical design will covered, including: How do ensure that a statistical analysis is appropriate for the question/problem? How do we select the appropriate analysis? What are the limitations of different designs? (Part 2) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
5回	**授業テーマ：Multiple regression, part 1** 授業内容：Understanding multiple regression analysis: research design, evaluating models and variables, diagnostics, and interpretation of results. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
6回	**授業テーマ：Multiple regression, part 2** 授業内容：Understanding multiple regression analysis: research design, evaluating models and variables, diagnostics, and interpretation of results. (Part 2) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
7回	**授業テーマ：ANOVA, part 1** 授業内容：Understanding analysis of variance (ANOVA): research design, one-way vs. two-way and factorial models, diagnostics, and interpretation of results. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
8回	**授業テーマ：ANOVA, part 2** 授業内容：Understanding analysis of variance (ANOVA): research design, one-way vs. two-way and factorial models, diagnostics, and interpretation of results. (Part 2) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
9回	**授業テーマ：Factor analysis** 授業内容：A brief introduction to exploratory factor analysis: when it is used, basic idea of correlation analysis, concept of factors/components. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson

10回	**授業テーマ：Logistic regression** 授業内容：A brief introduction to logistic regression: when it is used, how it differs from multiple regression, how its results can be interpreted. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
11回	**授業テーマ：Advanced methods 1** 授業内容：Other types of analysis will be discussed, building on the concepts of multiple regression, ANOVA, and factor analysis. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
12回	**授業テーマ：Advanced methods 2** 授業内容：Other types of analysis will be discussed, building on the concepts of multiple regression, ANOVA, and factor analysis. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
13回	**授業テーマ：Examples and applications 1** 授業内容：Examples of the various types of statistical analysis that have been covered will be presented to better enable students to understand how statistics can be used and when the different types of analysis are appropriate. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
14回	**授業テーマ：Examples and applications 2** 授業内容：Examples of the various types of statistical analysis that have been covered will be presented to better enable students to understand how statistics can be used and when the different types of analysis are appropriate. (Part 2) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of real world applications of statistics. 事前学修 2.0hr：Review all the topics covered by this course and pick up some questions 事後学修 3.0hr：Review all topics and prepare for the final exam

Ethics and Compliance

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利 (よしだ　なるとし)

▌授業の概要

Students discuss various contemporary ethical topics in view of compliance.
Prior reading is required.
The lecturer asks students to summarise the reading,
and coordinate the discussion about the topic.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Students understand the necessity of compliance in our ethical society.
個別目標：(1)Students analyse and discuss social issues based on their own ethical views.
(2)Students explain the significance of compliance in contemporary society.

▌履修条件

Every student must actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

・Performance and attitude: 30 per cent
・Essay: 30 per cent
・Final exam: 40 per cent
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading materials including the text book will be specified in class.

▌参考書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』(慶應義塾大学出版会、2020 年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introdutory session. 事前学修 2.0hr：Skim the textbook. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
2回	**授業テーマ：What is ethics and compliance?** 授業内容：Understand the notion of ethics and the significance of compliance 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
3回	**授業テーマ：The principle of a company** 授業内容：Understand the company system. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
4回	**授業テーマ：The difference between ethics and morals** 授業内容：Searching the examples of ethical issues in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
5回	**授業テーマ：Whistle-blowing** 授業内容：Understand the Whistle-blowing system. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
6回	**授業テーマ：Harassment** 授業内容：Understand the notion and the sort of Harassment. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
7回	**授業テーマ：Religion and racial discrimination** 授業内容：Understand the religious issues and ethics in Japan 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
8回	**授業テーマ：Pregnancy and childcare** 授業内容：Learn the recent Japanese childcare system and ethics 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
9回	**授業テーマ：Antitrust law and rigging** 授業内容：Understand the rigging with some antitrust cases. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
10回	**授業テーマ：Bribery and intimidation** 授業内容：Understand the jury and judge tampering. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.

11回	**授業テーマ：Environmental protection** 授業内容：Understand the significance of environmenal protecton and ethics in Japan 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
12回	**授業テーマ：International law and compliance** 授業内容：Understand the International legal framework and its limitation in terms of ethics 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
13回	**授業テーマ：Jury duty and business** 授業内容：Understand the Jury duty and the business issues. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
14回	**授業テーマ：Progress and ethics** 授業内容：Understand the examples of recent legal reform and ethical issues in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
15回	**授業テーマ：Conclusion** 授業内容：Conclusive session 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Review this course.

Leadership

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

大屋　了三（おおや　りょうぞう）

▌授業の概要

Course description: Leadership

There are many definitions of leadership. However, the absolute truth is that leadership cannot exist without an organization. While there are many different types of organizations in the world, this course focuses on the business organization as a group of people with a common purpose. The role of the leader is to harness the power of these people to achieve their objectives. Throughout the 15 classes, we will consider the essence of leadership, focusing on the following points:

1. The relationship between organizations and leadership, and the attitudes and behaviors required of leaders
2. Experience several leadership education programs compiled by the instructor
3. A deep look at ”how to build your own leadership style” based on your personality and experience

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Overall objectives:

1.Understand why leadership is needed within an organization
2.Understand the attitudes and behaviors that are essential as a leader

個別目標：Specific achievements expected:

1.Explain the need for leadership, and attitudes and behaviors required as a leader
2.Demonstrate own leadership styles that students would like to build

▌履修条件

Prerequisite:

1.Each assignment must be submitted by the deadline
2.Each student must actively participate in group tasks

▌評価基準・方法

Grading policy

Examination:40%, Class contribution:30%, Report:30%.

Feedback on exams and submitted assignments will be given via MANABA

▌フィードバック方法

1. Feedback on submitted assignments will be provided in MANABA.
2. Feedback on the results of group work will be given in class in a timely manner.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion and self assessment）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Textbook: None, but teaching materials will be uploaded in MANABA prior to each class

▌参考書

Reference books: None, but the relevant internet websites or other information sources will be introduced in classes if necessary

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and instruction** 授業内容：1.Knowing each other by self-introduction 2.Guidance of grading, how to carry out the class, instructor’s expectation for students 3.Sharing the definition of key words in the class by group discussion 事前学修 2.0hr：Read the class guidance and syllabus 事後学修 2.0hr：Review the class guidance and syllabus and do the homework assigned in today’s class
2回	**授業テーマ：Your own definition of leadership** 授業内容：Come up to the common definition and understanding of leadership by learning the following points: 1.Various perspectives on the ideal leader image 2.Top Ten Leaders Respected by Business Leaders in the World(Researched by PWC) 3.Notorious leaders: Hitler, Stalin, etc. 4.Difference between the respected leaders and notorious leaders(dictators) 事前学修 2.0hr：Read today’s class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today’s lecture and complete any assignments given in class
3回	**授業テーマ：Why do we need a leader? (The role of a leader)** 授業内容：Understand the role of a leader by learning the following points: 1.Learn about organizations 2.Essential elements of a company 3.Why do we need a leader? 4.The role of a leader 事前学修 2.0hr：Read today’s class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today’s lecture and complete any assignments given in class
4回	**授業テーマ：Leadership competency 1：Fundamental Criteria** 授業内容：Understand the fundamentals of Competency by learning the following points: 1.What is “competency”? 2.Purpose and development process of competency models 3.Design competency model for an organization 事前学修 2.0hr：Read today’s class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today’s lecture and complete any assignments given in class

5回	**授業テーマ：Leadership competency 2 : Attitudes and behaviors required for a leader** 授業内容：Think the attitudes and behaviors required for a leader by digging deeper the following points: 1.Differnce between competency and job description 2.Different competency models for different industries 3.Competency models in a hospitality company 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
6回	**授業テーマ：The leadership education program 1: Personal ambition and purpose** 授業内容：1.Know how current values, aspirations, and ambitions were formed by describing the student's own past history. 2.Learn that the need to transform vague dreams and hopes into life purpose is an important element for leaders. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
7回	**授業テーマ：The leadership education program 2: One on one dialog about ambition and purpose** 授業内容：One-on-one discussions among students based on their own history and what they perceive from it, to deepen their understanding of the importance of having a purpose in life. Instructor will give them several tips as to how to conduct the one-one one discussions in advance. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
8回	**授業テーマ：The leadership education program 3: Purpose of Coaching** 授業内容：Coaching is the most appropriate way to develop leadership. In this class, students will learn an overview of coaching, its purpose, and how it actually works 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
9回	**授業テーマ：The leadership education program 4: Coaching exercise** 授業内容：Students will experience coaching exercises in small groups of three, following the instructor's instructions 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
10回	**授業テーマ：Various leadership styles** 授業内容：It is important to know ourself objectively in order to develop our leadership. As a method of observing people objectively,it is effective to focus on our communication style and divide them into several types, because the communication style is relevant to the leadership style. In this class, for knowing ourself, we will check our own communication style by the Communication Type Checklist developed by a coaching firm. In addition to the above we will learn various leadership styles by reading several leadership stories. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
11回	**授業テーマ：Maxims about leadership** 授業内容：Maxim is a heritage of human wisdom that transcends time and space and still inspires us. There are so many words about leadership among the maxims. In this class, various maxims about leadership will be introduced, then each student selects few maxims that are inspiring, along with the reasons of selection to share those in the class. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
12回	**授業テーマ：Changes in leadership due to changes in the world** 授業内容：We now live in so called VUCA situation. VUCA stands for Volatility, Uncertainty, Complexity and Ambiguity. Then, our business environment constantly changes. In this VUCA situation and constantly changing environment, the leadership required is also changing. In this class, we will explore what kind of leadership is required now and in the future. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
13回	**授業テーマ：True leaders create a new world** 授業内容：This class will focus on leadership in business. The business environment is constantly changing, and companies must constantly change. This transformation is the most important mission of a leader. Focusing on the history of a particular company, we will consider through group discussions why it is important for leaders to lead change. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
14回	**授業テーマ：Demonstrate the leadership style that you want to build** 授業内容：Review the essential points of leadership styles in the past classes, then each student describes the leadership style that they aim to develop for the presentation at the next class. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
15回	**授業テーマ：Wrap up** 授業内容：1. Presentation of leadership style to develop by each student 2. Review key points emphasized in each class 事前学修 2.0hr：Review all the lectures 事後学修 4.0hr：Prepare for the final exam

Cross Cultural Management

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

白木　秀典（しらき　ひでのり）

▌授業の概要

Understanding different cultures and how they influence business practices is essential for global management. In this course, students will learn how to communicate effectively with people from diverse cultural backgrounds and develop cultural sensitivity. Consequently, it will help them to improve their ability to work in global teams.

Course materials include journal articles, cases, videos. We cover the field of diversity management such as racial equity, too.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：To understand the global business environment and cross-cultural issues
　　To build a global mindset

個別目標：To be able to analyze cultural differences and their impact on global business organizations
　　To be able to work collaboratively in cross-cultural and diverse teams

▌履修条件

Before each session, students must submit a short essay (400-500 words) through manaba, based on the topic of the articles posted.

▌評価基準・方法

・Class Contribution　30 %
・Short Essays and Presentation　30 %
・Final Exam　40 %

▌フィードバック方法

Feedback will be sent through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

None. Reading materials are distributed via manaba.

▌参考書

HBR's 10 MUST READS On Managing Across Cultures. Harvard Business Review Press. 2016
HBR's 10 MUST READS On Diversity, Harvard Business Review Press, 2019.
"The Culture Map", Erin Meyer, Public Affairs, 2016.
"Cultures and Organizations: Software of the Mind, third edition", Geert Hofstede, Gert Jan Hofstede, and Michael Minkov, McGraw Hill, 2010.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction (1) Multiculture Management** 授業内容：- Managing Multicultural Teams 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your experience. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
2回	**授業テーマ：Introduction (2) Diversity Training** 授業内容：- Problems in Training Programs of Diversity 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your experience. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
3回	**授業テーマ：Diversity Management (1) US** 授業内容：- Racial Equity in the Recent US 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
4回	**授業テーマ：Diversity Management (2) Asia** 授業内容：- Racial Equity in Global Organizations 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
5回	**授業テーマ：Culture Map by Erin Meyer - Basic Theory** 授業内容：- Eight Cultural Dimensions in Multicultural Interactions and Global Business 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
6回	**授業テーマ：Culture Map by Erin Meyer - Case Study** 授業内容：- Trusting, Avoiding Confrontation, Evaluating, and Scheduling 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
7回	**授業テーマ：6 Dimensions of Hofstede Model - Basic Concept** 授業内容：- Difference in Cultural Values by Countries 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
8回	**授業テーマ：6 Dimensions of Hofstede Model - Case Study** 授業内容：- Power Distance and Uncertainty Avoidance 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
9回	**授業テーマ：Trompenaars' Organization Cultures - Basic Structure** 授業内容：- Universalism vs Particularism - Individualism vs Collectivism 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.

10回	**授業テーマ：Trompenaars' Organization Cultures - Case Study** 授業内容：- Seven Dimensions of Culture that Affect the Process of Managing Across Cultures 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
11回	**授業テーマ：Edward Hall's Framework for International Communication - Basic Concept** 授業内容：- High Context vs Low Context - Monochronic Time vs Polychronic Time 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
12回	**授業テーマ：Edward Hall's Framework for International Communication - Case Study** 授業内容：- Building Cross-cultural Relationships in a Global Workplace 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
13回	**授業テーマ：Richard Lewis Triangle Model - Basic Structure** 授業内容：- Linear-active, Multi-active, and Reactive 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
14回	**授業テーマ：Richard Lewis Triangle Model - Case Study** 授業内容：- Applying an Appropriate Management Style Across Cultures 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
15回	**授業テーマ：Global Mindset by GLOBE Study and Overall Review** 授業内容：- National Culture and Leadership Styles - Review of This Course 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.

International Business Relations

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

大屋　了三（おおや　りょうぞう）

▌授業の概要

Course Description: International Business Relations

International business can be defined in many different ways. However, there are two elements that are essential to the study of the internationalization of business. First, the internationalization of business has a history, and to talk about the internationalization of business without studying that history is only superficial. The second is to look at the world today objectively. The mass media sometimes tends to report only sensational events, and if we rely only on that, we may lose sight of the truth of things. The most effective way to prevent this from happening is to understand officially published objective data. By the way, the internationalization of business is so extensive that it is impossible to study the internationalization of all businesses. Therefore, this course will focus primarily on the tourism industry, especially the hotel industry. We will then consider the internationalization of business more specifically according to the following points.

1. History and current status of globalization
2. Companies that have achieved globalization and its factors
3. Cultural diversity and its impact on business
4. What internationalization means to us

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall objectives

1.Acquire knowledge about the international business in the hospitality and tourism industry

2.Learn the importance of cross culture communication and its impact to a business

個別目標：Specific achievements expected:

1. Understand the factors behind successful and unsuccessful global expansion

2. Internationalization of business has various aspects. Students can express their own thoughts on internationalization in business, based on the company case studies and the cross culture communications.

▌履修条件

Prerequisite:

1.Each assignment must be submitted by the deadline

2.Each student must actively participate in group tasks

▌評価基準・方法

Examination 50%, Class contribution 30%, Report 20%

Feedback on submitted assignments will be given VIA MANABA

▌フィードバック方法

1. Feedback on submitted assignments will be provided via MANABA.
2. Feedback on the results of group work will be given in class in a timely manner.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Cross-culture exercise and various group tasks）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Textbook: None, but teaching materials will be uploaded in MANABA just prior to each class

▌参考書

Reference books: None, but the relevant internet websites or other information sources will be introduced in classes if necessary

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and instruction** 授業内容：1.knowing each other in the class by self-introduction 2.Guidance of grading, how to carry out the class, instructor's expectation for students 3.Sharing the definition of key words in the class by group discussion 事前学修 2.0hr：Read the class guidance and syllabus. 事後学修 2.0hr：Review the class guidance and Syllabus
2回	**授業テーマ：Approaches to study international business** 授業内容：1. Confirm common interpretations of the keywords that were discussed in the previous class 2. The instructor will explain how to approach the study of international business relations 3. A preliminary exercise on the subject of the next class, "Recognize the world objectively and correctly" will be conducted 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
3回	**授業テーマ：Recognize the world objectively and correctly** 授業内容：It is extremely important to have an objective and correct understanding of the world when studying international business. However, it is not easy to get an objective view of the big picture. In particular, many media outlets tend to focus on the sensational parts of things, and we tend to miss the big picture. In this class, we will learn the essential points to see the whole picture objectively, based on published data. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
4回	**授業テーマ：Historical approach and the outlook for the world in the future** 授業内容：To learn about the internationalization and globalization of business, it is necessary to study the history of how countries and regions have developed and reached the present through international exchange. In this class, after learning such history, we will consider the relevance of history to modern society and what kind of world we can expect in the future. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class

5回	**授業テーマ：Internationalization and globalization for companies** 授業内容：In this class, we will learn about the motivations for companies to internationalize and the factors necessary for internationalization. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
6回	**授業テーマ：Cross culture exercise** 授業内容：Our behavior is more or less influenced by the culture of the country or region in which we were born and raised. In this class, we will do an exercise to explore cultural influences on our behavior based on indicators such as communication style, decision making, etc. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
7回	**授業テーマ：Cultural diversity** 授業内容：Analysis and commentary on the cross-cultural exercise we did in the last class. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
8回	**授業テーマ：Inbound business: Workshop1** 授業内容：After learning about inbound business in the tourism industry and its economic benefits, the class will be divided into several teams to come up with ideas to promote inbound business according to the points indicated by the instructor (Inbound workshop). 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Work on the group task
9回	**授業テーマ：Inbound business: Workshop2** 授業内容：Continuing the discussion from the previous class, the team will compile an action plan to promote inbound business as a team and prepare a PowerPoint presentation material.　Each team will give a presentation based on the materials and share the results with the class. 事前学修 2.0hr：Work on the group task 事後学修 2.0hr：Wrap-up the outcome of the workshop
10回	**授業テーマ：Government initiatives to promote tourism industry, Globalization and tourism** 授業内容：1. Learn about government initiatives to promote the tourism industry in three Southeast Asian countries. 2. Learn about the impact of globalization on the tourism industry and the impact of the tourism industry on globalization. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
11回	**授業テーマ：Global Hotel Operators** 授業内容：Learn about three hotel chains that are recognized as global hotel companies in the world, including their history and business models for globalization. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
12回	**授業テーマ：Overseas expansion of Japanese companies in hotel business** 授業内容：Based on the case studies of several Japanese companies that have conducted hotel business overseas, we will explore the reasons why these companies failed to expand their business globally. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
13回	**授業テーマ：Essential factors of globalization in the hotel business** 授業内容：Based on the examples of hotel companies that have succeeded in globalization and Japanese companies that have failed in globalization learned in the previous class, students will learn about the essential factors for developing business on a global scale. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
14回	**授業テーマ：What does international business mean for you?** 授業内容：Based on what we have learned in previous classes about understanding the world objectively and correctly, recognizing cultural diversity, and the essential elements of corporate internationalization, we will consider how we should act in the international work environment in the future. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete group task
15回	**授業テーマ：Wrap up** 授業内容：Review key points emphasized in each class 事前学修 2.0hr：Review all the lectures 事後学修 4.0hr：Prepare for the examination

Business Strategy

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

大屋　了三（おおや　りょうぞう）

▌授業の概要

Course description: Business Strategy

Marketing is the most important of the various business activities. In this course, students will learn the basic principles of marketing and what a business strategy is while gaining hands-on experience in developing a strategic marketing plan.

The class will be divided into small teams, each team will be assigned a target hotel, and each team will create a strategic marketing plan for their assigned hotel.

The class will be conducted through interactive communication between the instructor and each team, utilizing MANABA's project feature.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall objectives:

1.Students are expected to explain why marketing is so important in a business

2.Understand the following points through creating a strategic marketing plan:

What a good strategy is.

Logical and contextual way of thinking.

How to perform tasks as a team.

個別目標：Specific achievements expected:

1.Understand the process of developing a strategic marketing plan through various measures such as hotel inspection tours and workshops

2.Through the exercise of developing a strategic marketing plan as a team, understand the importance of sound teamwork and leadership that are indispensable in a business organization.

▌履修条件

Prerequisite:

1.Each assignment and project report must be submitted by the deadline

2.Each student must actively participate in group tasks.

▌評価基準・方法

Grading Policy:

Exam: 40%, Contribution to Strategic Marketing Plan Development: 50%, Reports: 10%

Feedback on submitted assignments (including project reports) will be provided via MANABA.

▌フィードバック方法

1. Feedback on submitted assignments will be provided in MANABA.

2. Feedback on workshops is provided in a timely manner through MAMABA's Project site.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group task to develop a strategic marketing plan including hotel visits）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Textbook: None, but teaching materials will be uploaded in MANABA just prior to each class

▌参考書

Reference books: None, but the internet websites or other information sources will be introduced in classes if necessary

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and instruction** 授業内容：1.knowing each other in the class by self-introduction 2.Guidance of grading, how to carry out the class, instructor's expectation for students. 3.Sharing the definition of key words in the class by group discussion. 事前学修 2.0hr：Read the class guidance and syllabus 事後学修 2.0hr：Review the class guidance and syllabus
2回	**授業テーマ：The purpose and mission of a company** 授業内容：In this class, we will learn the purpose of business and basic principles of marketing. also, we will learn the basics of hotel marketing that is marketing activities and methods specific to the hotel business. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and study the points emphasized by the instructor
3回	**授業テーマ：Hotel inspection tour 1** 授業内容：Hotel inspection tour will be conducted at Hote A. You will record your observations in the format provided by the instructor. 事前学修 2.0hr：Find out the hotel we will visit. 事後学修 2.0hr：Record your observations
4回	**授業テーマ：Know our customers and their needs** 授業内容：Customer is always in the center of business. In this class, we will focus on customers by elaborating who they are and what they need. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
5回	**授業テーマ：Hotel inspection tour 2** 授業内容：Hotel inspection tour will be conducted at Hote B. You will record your observations in the format provided by the instructor. 事前学修 2.0hr：Find out the hotel we will visit. 事後学修 2.0hr：Record your observations Review today's lecture and study the points emphasized by the instructor

6回	**授業テーマ：Formation of 2 teams and and objectives of the workshops** 授業内容：In this course, students will be divided into two teams and assigned one of the hotels visited for each team. Each team will then create a strategic marketing plan for their assigned hotel. This class will provide guidance on the goals of each workshop, the sequence of all workshops, and the template to be used when creating the actual marketing plan. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
7回	**授業テーマ：What is "Strategy": Definition of strategy and SWOT** 授業内容：In this class, students will learn the basics of strategy, including the purpose of strategy, the position of strategy in corporate activities, and its relationship to other activities, through theories and arguments put forward by prominent management authorities. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and study the points emphasized by the instructor
8回	**授業テーマ：Workshop 1: Fact base and Bsiness Environment** 授業内容：The instructor will provide macro and specific micro data necessary to develop a marketing plan and micro data about the target hotels, and students will use these data to develop a statement about the business environment. Each team will record their description of business environment as the outcome of the group task in the project section of MANABA. Subsequent workshops will follow the same approach, with the instructor providing feedback as needed. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Access and understand the content of websites related to the business environment presented in the class
9回	**授業テーマ：Workshop 2: SWOT analysis and Value Proposition** 授業内容：In this workshop, the instructor will explain the SWOT analysis methodology and value propositions, provide examples, and then the students will conduct a SWOT analysis of all the hotels. Each team will then develop a SWOT and value proposition for their assigned hotel. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 3.0hr：Work on the group task of workshop 2 and 3
10回	**授業テーマ：Workshop 3: Set our vision and goals** 授業内容：Each team will develop a "vision" statement for the assigned hotel and specific short- and medium-term goals for performance, guest satisfaction, and human resources. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 3.0hr：Work on the group task of Workshop 4
11回	**授業テーマ：Workshop 4: Turn our strategies into acton plans** 授業内容：Each team will develop specific action plans to realize or achieve its vision and goals. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 3.0hr：Complete the group task of workshop 4
12回	**授業テーマ：Workshop 5: Review project reports** 授業内容：Each team will review all the project tasks and complete the assigned project reports 事前学修 2.0hr：Work on the assigned project reports instructed in the previous class 事後学修 3.0hr：Complete the group task of workshop 5
13回	**授業テーマ：Workshop 6: Final tune up considering the instructor's feedback** 授業内容：Group task to develop the presentation material of Strategic Marketing Plan 事前学修 2.0hr：Through review of the instructor's feedback on the project reports. 事後学修 4.0hr：Prepare the presentation material of Strategic Marketing plan
14回	**授業テーマ：Workshop 7: Finalize the presentation materials for the next class** 授業内容：Each team will complete the PowerPint presentation material of Strategic Marketing plan. 事前学修 3.0hr：Finalize the presentation material as a team 事後学修 2.0hr：Review today's class and study the points emphasized by the instructor
15回	**授業テーマ：Wrap up** 授業内容：Each team will present their completed strategic marketing plan using presentation materials. Review key points emphasized in each class 事前学修 2.0hr：Review all the lectures 事後学修 4.0hr：Prepare for the examination

Services Marketing

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

水野　徹（みずの　とおる）

▌授業の概要

Services Marketing: Course Description
The course will focus on marketing in the service industries. We will first review basic principles and analytical tools of marketing. We will then turn to the cases in different services industries, such as lodging, airlines, tourism, food &beverage, and entertainment. Focus will be placed on how the marketing in service industries differs from industries with actual product goods. We will deploy the case method to facilitate the understanding of the tools and underlying marketing principles.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall Objective:

1. To understand the basic principles and analytical tools of services marketing
2. To read and analyze business cases and apply the basic principles and analytical tools of services marketing on the cases

個別目標：Expected Achievements:

1. Students should be able to read and understand articles on services marketing in newspapers and magazines
2. Students should be able to analyze actual business cases and write up a summary on their case analysis

▌履修条件

Prerequisite: 1. Should be able to access the case packet in manaba, 2. Complete the reading assignments prior to each session, 3. Proactively speak out in the class based on your response to the case questions, 4. Papers must be submitted by the defined due date, 5. Should be able to communicate with the instructor through manaba.

▌評価基準・方法

Grading Policy: The performance will be graded on the basis of final exam (50%), case write-ups (20%), and class participation, contribution, and weekly assignments (30%). The grading of the assignments will be communicated through manaba. Feedbacks, if any, will be provided in manaba.

▌フィードバック方法

manaba will be used to send out the feedback to the students.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Analysis on business cases has to be completed prior to each session）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Reading the business cases and responding to the case questions required PCs.）

▌教科書

Textbooks:　Case packet and hand-outs will be provided in manaba.

▌参考書

Reference Book: Kotler, Bowen, Makens, Baloglu, ”Marketing for Hospitality and Tourism”

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Class Guidance and Case Studies** 授業内容：Class guidance, overview of the course and its objectives, grading policy, weekly assignments, and how the students should read business cases will be addressed during this session. 事前学修 1.5hr：Read class guidance and syllabus, prepare to express your goal in this course 事後学修 2.5hr：Review hand-out
2回	**授業テーマ：Analytical tools of Marketing** 授業内容：Review on the basic principles and analytical tools of marketing. 事前学修 1.5hr：Review basic principles and analytical tools of marketing 事後学修 2.5hr：Review hand-out
3回	**授業テーマ：Unique nature of service products** 授業内容：Class discussions on the business case ”Grand Targhee” and lectures on the definition of service, characteristics of services marketing, major differences between goods marketing and service markerting, and three dimensions of services marketing. 事前学修 1.5hr：Read ”Grand Targhee” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
4回	**授業テーマ：Segmentation, Targeting, and Positioning** 授業内容：Class discussions on the business case ”Allegiant Air” and lectures on segmentation variables, airline segmentation example, differentiated &concentrated marketing, positioning, perceptual mapping, and vidoes on Qantas positioning. We will also view a video on GAP marketing if time allows. 事前学修 1.5hr：Read ”Alligient Air” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
5回	**授業テーマ：Designing and Managing Products and Brands** 授業内容：Class discussions on the business case ”The Hunt Room” and lectures on product levels, advantages of strong brands, multi brands strategy, designing new service products, and crowd sourcing. 事前学修 1.5hr：Read ”The Hunt Room” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
6回	**授業テーマ：Pricing: Understanding and capturing customer value** 授業内容：Class discussions on the business case ”Spirit Airlines” and lectures on the process of pricing, break-even pricing, product bundle pricing, and discriminatory pricing. 事前学修 1.5hr：Read ”Spirit Airlines: The lowest possible price - at all costs” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
7回	**授業テーマ：Distribution Channel: Delivering customer value** 授業内容：Class discussions on the business case ”Spirit Airlines” and lectures on channel levels, channel design decisions, distribution channel functions, major hospitality industry distribution channels, and marketing evolution. 事前学修 1.5hr：Read ”Tropicana Fishing Lodge” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out

8回	**授業テーマ：Promotinal Activities of Service Industry** 授業内容：We will review multiple TV adverts of different airlines and try to analyze the messages behind them. There will also be a lecture on the promotion mix, nature of promotional tools, and advert spending in Japan. 事前学修 1.5hr：Be ready to share your favorite TV advert for any airline 事後学修 2.5hr：Review hand-out
9回	**授業テーマ：Service Encounter and Service Recovery** 授業内容：Class discussions on the business case ”Nordstrom” and ”United Airlines”, and lectures on service encounter, moment of truth, and service recovery &customer loyalty. 事前学修 1.5hr：Read ”Nordstrom” and ”United Airlines” and be ready for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
10回	**授業テーマ：Managing Demand and Capacity** 授業内容：Class discussions on the business case ”Northwest Airlines Revenue Management” and lectures on the nature of service demand &capacity, the notion of revenue management, and elastic &inelastic demands. 事前学修 1.5hr：Read ”Northwest Airlines Revenue Management” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
11回	**授業テーマ：Integrated Marketing** 授業内容：Class discussions on the business case ”Disney” and video interview for a Disney executive. 事前学修 1.5hr：Read ”Disney” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
12回	**授業テーマ：Digital Marketing** 授業内容：Class discussions on the business case ”Northwest Airlines Revenue Management” and lectures on digital versus traditional marketing, Five A’s in customer path, digital, online, social media marketing, and PAR and BAR. 事前学修 1.5hr：Read ”Hawaiian Sights” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
13回	**授業テーマ：Student Presentation on Service Industry** 授業内容：Each student will be required to present their analysis on one company in the service sector with emphasis on marketing. 事前学修 1.5hr：Prepare your presentation in powepoints, no more than 15 pages. 事後学修 2.5hr：Review hand-out
14回	**授業テーマ：Review on Analytical Tools of Service Marketing** 授業内容：We will be reviewing the principles and analytical tools of the services marketing in the sessions 1 through 12. 事前学修 1.5hr：Review all hand-outs from session #1 through 13 事後学修 2.5hr：Review hand-out
15回	**授業テーマ：Case Review and Wrap-up** 授業内容：Wrap up of the course with particular emphasis on the final exam. 事前学修 1.5hr：Review all hand-outs from session #1 through 14 事後学修 2.5hr：Review hand-out

Service Economics

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）

▌授業の概要

This course is designed to help students to analyze service industries. Specifically, this course helps students to learn skills and knowledge to work in the hospitality industry. It is assumed that students do not have any knowledge regarding hospitality; therefore, we start from the beginning by thinking about basic ideas such as what hospitality actually means. We then attempt to learn important topics, such as the knowledge and skills required of frontline supervisors, managerial topics, and business strategy content.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Understanding the basic ideas of hospitality.

個別目標：Learning the important skills of hospitality, such as the skills required of frontline supervisors, managerial topics, and business strategy content.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course. However, proficiency in English is preferred.

▌評価基準・方法

Coursework 40%,
Final exam 60%

▌フィードバック方法

Feedback for coursework is provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Because the textbook in this course is e-book, students are required to bring laptop, tablet devices, etc.）

▌教科書

Hospitality Management 4e, Lynn van der Wagen, Cengage Learning.
The lecturer will explain about the textbook in the first class (Guidance), please do not purchase the textbook before the first class.

▌参考書

Essentials of Economics 10th edition, N. Gregory Mankiw, Cengage Learning

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：The first class will be a guidance session. The lecturer and students confirm an overview and points to note when taking the course. 事前学修 2.0hr：Read the lecture summary and ponder over your expectations from this course. 事後学修 2.0hr：Review the guide's content.
2回	**授業テーマ：Enhance customer service experiences (Chapter 2 of the textbook)** 授業内容：The second class will cover chapter 2 of the textbook and learn skills such as a quality service experience by determining customer needs and preferences. 事前学修 2.0hr：Read chapter 2 of the textbook and learn about customer service experiences. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 2 of the textbook and work on a homework.
3回	**授業テーマ：Monitor work operations (Chapter 3 of the textbook)** 授業内容：The third class will cover chapter 3 of the textbook and learn skills such as a monitoring skill to improve workplace relations. 事前学修 2.0hr：Read chapter 3 of the textbook and learn about monitor work operations. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 3 of the textbook and work on a homework.
4回	**授業テーマ：Implement and monitor work health and safety practices (Chapter 4 of the textbook)** 授業内容：The fourth class will cover chapter 4 of the textbook and learn skills such as providing information on health, safety and security to staff. 事前学修 2.0hr：Read chapter 4 of the textbook and learn about implement and monitor work health and safety practices. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 4 of the textbook and work on a homework.
5回	**授業テーマ：Manage finances within a budget (Chapter 5 of the textbook)** 授業内容：The fifth class will cover chapter 5 of the textbook and learn skills such as allocate resources (mainly financial) according to budget. 事前学修 2.0hr：Read chapter 5 of the textbook and learn about budget allocation. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 5 of the textbook and work on a homework.
6回	**授業テーマ：Lead and manage people (Chapter 6 of the textbook)** 授業内容：The sixth class will cover chapter 6 of the textbook and learn skills such as modeling high standards of performance. 事前学修 2.0hr：Read chapter 6 of the textbook and learn about management of people. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 6 of the textbook and work on a homework.
7回	**授業テーマ：Develop and manage quality customer service (Chapter 7 of the textbook)** 授業内容：The seventh class will cover chapter 7 of the textbook and learn skills such as developing quality customer service practices based on research and feedback from customers and staff. 事前学修 2.0hr：Read chapter 7 of the textbook and learn about development of quality customer services. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 7 of the textbook and work on a homework.
8回	**授業テーマ：Manage operational plan (Chapter 8 of the textbook)** 授業内容：The eighth class will cover chapter 8 of the textbook and learn skills such as developing an operational plan through research and consultation. 事前学修 2.0hr：Read chapter 8 of the textbook and learn about management of operational plans. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 8 of the textbook and work on a homework.
9回	**授業テーマ：Prepare and monitor budgets (Chapter 9 of the textbook)** 授業内容：The nineth class will cover chapter 9 of the textbook and learn skills such as preparing budget information, analysing internal and external factors that impact on budget. 事前学修 2.0hr：Read chapter 9 of the textbook and learn about management of budget. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 9 of the textbook and work on a homework.
10回	**授業テーマ：Research and comply with regulatory requirements (Chapter 10 of the textbook)** 授業内容：The tenth class will cover chapter 10 of the textbook and learn skills such as research information required for legal compliance. 事前学修 2.0hr：Read chapter 10 of the textbook and learn about regulatory requirements in service industries. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 10 of the textbook and work on a homework.

11回	**授業テーマ：Establish and conduct business relationships (Chapter 11 of the textbook)** 授業内容：The eleventh class will cover chapter 11 of the textbook and learn skills such as building business relationships using effective communication and negotiation skills. 事前学修 2.0hr：Read chapter 11 of the textbook and learn about establishment of business relationships. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 11 of the textbook and work on a homework.
12回	**授業テーマ：Manage diversity in the workplace (Chapter 13 of the textbook)** 授業内容：The twelfth class will cover chapter 13 of the textbook and learn skills such as implementing diversity policy, ensuring that it is understood and implemented by all parties. 事前学修 2.0hr：Read chapter 13 of the textbook and learn about management of diversity in the workplace. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 13 of the textbook and work on a homework.
13回	**授業テーマ：Manage conflict and crisis (Chapter 14 of the textbook)** 授業内容：The thirteenth class will cover chapter 14 of the textbook and learn skills such as identifying conflict situations and taking action to prevent its escalation. 事前学修 2.0hr：Read chapter 14 of the textbook and learn about management of conflict and crisis. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 14 of the textbook and work on a homework.
14回	**授業テーマ：Develop and implement a business plan (Chapter 15 of the textbook)** 授業内容：The fourteenth class will cover chapter 15 of the textbook and learn skills such as developing a business plan. 事前学修 2.0hr：Read chapter 15 of the textbook and learn about development and implementment of business plans. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 15 of the textbook and work on a homework.
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：The fifteenth class summarizes this course. 事前学修 2.0hr：Review the topics covered in this course. 事後学修 2.0hr：Review the topics covered in the lectures.

Destination Marketing

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This lecture will be conducted in a synchronous online format.

The course analyzes different types of destinations and key current issues in destination marketing. These issues include: developing a brand image, recovering from adverse events, handling controversial activities, adjusting to political and social changes, and dealing with ethical considerations. Through careful analysis of these destinations and issues, students will be better prepared to understand and address marketing challenges from a more strategic and flexible perspective.This course will be conducted entirely online over 15 sessions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：This course will present current issues related to destination marketing.

個別目標：Students will expand their understanding of destinations, destination marketing organizations, and strategies to compete in the global tourism market.

Students will be able to analyze a destination in terms of the strategic marketing issues and challenges it faces.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class by reading the assigned material.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on attendance and participation (30%), assignments (30%), and final exam (40%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

No textbook required.

▌参考書

Readings will be provided by the instructor.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction and Course Preview** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review materials in the first class
2回	**授業テーマ：Historical Development of Tourism Business** 授業内容：Key developments in the development of mass tourism will be covered, with an emphasis on changes in technology. 事前学修 2.0hr：Think about historical development of tourism business 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand about the historical development
3回	**授業テーマ：Recent and Current Trends of Tourism Business (Economic Impact)** 授業内容：The current situation of global tourism will be covered, focusing on key statistical measures and current trends. 事前学修 2.0hr：Research about current trends and the economic impact of tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
4回	**授業テーマ：Recent and Current Trends of Tourism Business (Events, Olympics and Tourism)** 授業内容：The current situation of global tourism will be covered, focusing on several recent developments and events. 事前学修 2.0hr：Research about the recent and current trends of tourism business 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
5回	**授業テーマ：Controversial Issues in Tourism** 授業内容：Several controversial issues related to tourism will be covered, emphasizing the importance of politics and social impacts. 事前学修 2.0hr：Research about controversial issues in tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
6回	**授業テーマ：Poverty and Tourism** 授業内容：Poverty tourism (also called slum tourism) will be covered, along with other types of reality tourism. 事前学修 2.0hr：Research about the relationship between poverty and tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
7回	**授業テーマ：Accessible Tourism** 授業内容：The problems and promise of making tourism more accessible to handicapped, elderly, and other travelers, will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about accessible tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
8回	**授業テーマ：Destination Branding** 授業内容：Various examples of destination branding will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about destination branding 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
9回	**授業テーマ：Special topics** 授業内容：Special topics based on current issues and events and/or student feedback will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about special topics 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
10回	**授業テーマ：Ethical Travel and Destinations** 授業内容：Ethical destinations and ethical travel will be covered within the context of sustainable travel. 事前学修 2.0hr：Research about ethics and tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand

11回	**授業テーマ：Climate Change and Tourism** 授業内容：Travel and tourism as both contributor to, and victim of, climate change will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about the relationship between climate change and tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
12回	**授業テーマ：Overtourism** 授業内容：Recent examples of overtourism will be covered, with consideration of policies that can help destinations deal with the impacts of too much tourism. 事前学修 2.0hr：Research about overtourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
13回	**授業テーマ：Tourism Business and Technology: Key issues** 授業内容：Recent advances in information technology and their impacts on travel and tourism will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about the key issues between tourism business and technology 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
14回	**授業テーマ：Future directions and why we travel** 授業内容：Philosophical and psychological issues regarding the need for travel will be discussed, along with consideration of what they mean for the future of global travel. 事前学修 2.0hr：Research of future directions of tourism and what motivates people to travel 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
15回	**授業テーマ：Course Summary and Conclusion** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of the future of the global travel industry. 事前学修 3.0hr：Review all the topics covered by this course and pick up some questions 事後学修 3.0hr：Think about the future of these destinations and prepare for the final exam

Destination Management

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This lecture will be conducted in a synchronous online format.
In this course, we will use Hawaii as a case study to understand the basics of destination management. Welcoming many visitors from around the world, Hawaii has become one of the most popular destinations in the world. Studying this world-class tourism destination will deepen your understanding of destination management through tourism organizations, policies, strategic planning, development, and issues. The final goal is to understand the importance of managing the destination and how to become sustainable.This course will be conducted entirely online over 15 sessions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Through the tourism business in Hawaii, you will be able to understand important factors in destination management.
In addition, you can deepen your knowledge through various issues and problems in tourism business.
個別目標：After taking this course you will be able to understand well about,
1) tourism policies and planning
2) promotion and marketing strategies
3) tourism issues and problems
4) sustainability

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class by reading the assigned material.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on attendance and participation (30%), assignments (30%), and final exam (40%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

No textbook required.

▌参考書

Readings will be provided by the instructor.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction and Course Preview** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Read the syllabus and class schedule 事後学修 2.0hr：Preparing for all of this course
2回	**授業テーマ：Geographical and Historical Overview of Hawaii** 授業内容：The geography and history of Hawaii will be briefly reviewed, including: major destination areas, primary natural features and attractions, and key historical developments. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
3回	**授業テーマ：Development of the Tourism Business, 1900-present** 授業内容：The early development of tourism will be examined, with emphasis on key factors that enabled Hawaii's tourism industry to expand. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
4回	**授業テーマ：Government Policy and Planning for Tourism** 授業内容：The role and actions of the Hawaii Tourism Authority will be covered, including: source of funding, key areas of responsibility, and current issues. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
5回	**授業テーマ：Strategic Issues for Tourism** 授業内容：Tourism's role in contributing to important social, environmental, and political challenges will be examined. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
6回	**授業テーマ：Current Profile of the Industry: Demand** 授業内容：Understanding tourism from the perspective of the visitor/customer, based primarily on survey results, will be covered. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
7回	**授業テーマ：Current Profile of the Industry: Supplier** 授業内容：Understanding tourism from the perspective of the local resident will be covered, emphasizing the role of the industry in generating jobs and social impacts. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
8回	**授業テーマ：Economic Impact of Tourism** 授業内容：The role of tourism as the most important industry in Hawaii's economy will be discussed, including historical and current alternatives to the tourism industry. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture

9回	**授業テーマ：Market Research** 授業内容：Hawaii’ s major geographic and demographic markets will be covered, along with brand marketing methods and strategies. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
10回	**授業テーマ：Branding** 授業内容：Hawaii’ s major geographic and demographic markets will be covered, along with brand marketing methods and strategies. (Part 2) 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
11回	**授業テーマ：Product Development: Natural Resources** 授業内容：Key issues and challenges related to Hawaii’ s natural resources and their use as tourist attractions will be covered. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
12回	**授業テーマ：Product Development: Cultural Resources** 授業内容：Key issues and challenges related to Hawaii’ s cultural resources and their use as tourist attractions will be covered. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
13回	**授業テーマ：Product Development: Major Events** 授業内容：Major festivals and events that enhance Hawaii’ s image and attractiveness will be studied, focusing on those that receive public funding. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
14回	**授業テーマ：Media Images** 授業内容：A brief examination of how Hawaii’ s image has been created and maintained over the years by companies and popular media, especially movies and tv shows. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
15回	**授業テーマ：Course Summary and Conclusion** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of destination management of other tourism destinations. 事前学修 2.0hr：Review all articles in this course. 事後学修 3.0hr：Prepare for the final exam

Human Resource Management

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

Companies are operated by employees. Those employees are important resource for companies. It is quite important for companies to efficiently manage human resources to achieve their goal and vision. And making such efficient management system is the main purpose of Human Resource Management.

Students will study the framework of Human Resource Management through lecture, group discussions, and exercise of HR appraisal.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Students will understand the importance of Human Resource Management and close co-working with Management.
Students will also recognize how Human Resource Management is in progress as well as its current structures.

個別目標：Students will be able to use the basic knowledge about Human Resource Management, which are necessary for management in future business opportunities.

▌履修条件

Students who wish to be in management in future, and have interest in Human Resource Management.

▌評価基準・方法

Class Contribution　40 %

Short Essays &Peer Review　30 %

Final Exam　30 %

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(All classes have group discussion and presentation regarding each theme）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Provide class resume.

▌参考書

Introduce in the class if necessary

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Basic knowledge about Human Resource management Confirm the course schedule 事前学修 2.0hr：What is Human Resource Management 事後学修 2.0hr：Review the class
2回	**授業テーマ：Organization structure** 授業内容：Which is the suitable organization structure for the industry? 事前学修 2.0hr：HR Strategy to achieve corporate goal 事後学修 2.0hr：Review the class
3回	**授業テーマ：Recruiting** 授業内容：Important points for staff recruiting 事前学修 2.0hr：How to recreuit suitable Human Resource? 事後学修 2.0hr：Review the class
4回	**授業テーマ：Employment status** 授業内容：Employment status and working condition 事前学修 2.0hr：：Various status of employment agreements and their features 事後学修 2.0hr：Review the class
5回	**授業テーマ：Staff classification and development** 授業内容：How to improve your own carrier and position? 事前学修 2.0hr：Organization development and Talent development 事後学修 2.0hr：Review the class
6回	**授業テーマ：Appraisal** 授業内容：How employee is evaluated based in which point? 事前学修 2.0hr：HR appraisal and Feedback 事後学修 2.0hr：Review the class
7回	**授業テーマ：Competency and People analysis** 授業内容：What is competency? Why competency is important? 事前学修 2.0hr：Use the examples and evaluate employees 事後学修 2.0hr：Review the class
8回	**授業テーマ：Compensation** 授業内容：How company provides satisfactory compensation? 事前学修 2.0hr：Salary and Bonus system 事後学修 2.0hr：Review the class
9回	**授業テーマ：Fringe benefit** 授業内容：Know thw various kinds of fringe benefit 事前学修 2.0hr：Social insurance and other benefit 事後学修 2.0hr：Review the class
10回	**授業テーマ：Job rotation and carrier path** 授業内容：Specialist or Generalist ? 事前学修 2.0hr：Group Discussion 事後学修 2.0hr：Review the class

11回	**授業テーマ：Industrial relations and Life work balance** 授業内容：Super worker is good for the organization? 事前学修 2.0hr：Job rotation, promotion, and career path 事後学修 2.0hr：Review the class
12回	**授業テーマ：Effective utilization of Human Resource** 授業内容：Shrinking population and worker shortage 事前学修 2.0hr：Working power management 事後学修 2.0hr：Review the class
13回	**授業テーマ：Different HR system** 授業内容：Review the difference in HR systems between Japan and Western countries. 事前学修 2.0hr：Comparing Japanese HR system and Foreign HR system 事後学修 2.0hr：Review the class
14回	**授業テーマ：Considering ”Diversity”** 授業内容：Diversity is in progress in various aspects 事前学修 2.0hr：Group discussion 事後学修 2.0hr：Review the class
15回	**授業テーマ：Wrap up** 授業内容：Review the whole course 事前学修 2.0hr：Review the whole course and conclusion 事後学修 2.0hr：Review the class

Risk Management

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

神末　武彦（こうずえ　たけひこ）

▌授業の概要

This course examines the various risk factors confronting society and their impact on the travel and hospitality industry. Emphasis is placed on effective travel risk management, guest safety, and strategic responses to incidents and crises. Students will explore the full spectrum of risks related to tourism security and safety, gaining the knowledge and practical understanding necessary to address these challenges in their daily lives and in their future careers in hospitality and tourism.

*This course is delivered in a hybrid format (online asynchronous and in-person sessions).

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：The competencies/learning outcomes connect to the student learning outcomes of GMM's Diploma Policy #1, "Ability to become a leader in the domestic and/or global fields requiring advanced communication skills, with extensive knowledge of management", students should be able to

1.Lead with the knowledge with the foundations of "Hospitality &Tourism management" with a responsible and sustainable approach.
2.Demonstrate knowledge of multicultural perspective to meet the diverse community of tourism.
3.Develop skills by applying key management concepts and principles.
4.Use knowledge and skills associated with logical and critical thinking, problem solving and decision making to function effectively in the community and industry.
5.Demonstrate leadership and teamwork to achieve common goals.
6.Demonstrate "professionalism" by conducting in a professional and ethical manner.

個別目標：Upon successful completion of this course, the student should be able to:

1.Evaluate procedures used by travel and tourism operations to manage risk, protect property, assets, and limit loss of funds.
2.Assess and prioritize security and safety procedures in a variety of tourism operations.
(Accommodations, Tourist Attractions, Transportation, Restaurants, Convention Centers etc.)
3.Identify the procedures and processes that would represent a responsible crisis management response plan in the event of a disaster.
4.Explain the social and economic significance of tourism and the detrimental impact risks can have on a destination.
5.Evaluate elements of a safety/security plan that synthesizes government and private organizations for the protection of both residents and destination visitors.
6.Identify the key security measures to consider in preparing for a special/public event (e.g. sporting events, concerts, and festivals).
7.Discuss the legal issues relevant to travel and tourism operations.
8.Explain current issues and trends related to cybercrimes and identify methods for the protection of data and guest information.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned materials.

▌評価基準・方法

Participation 6%
Reflection papers 24%
Presentation 20%
Mid-Term Exam 20%
Final Exam 30%

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, group work, and problem-solving-learning）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Recommended to bring your Laptop to class. Course materials will be distributed through Manaba.）

▌教科書

Not specified

▌参考書

Not specified. All needed materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to risk management in tourism** 授業内容：Basics of risk management in tourism. 事前学修 2.0hr：Read the syllabus and prepare for class 事後学修 2.0hr：Review to further understand about risks in tourism
2回	**授業テーマ：Thinking about travel risks through history /Security and Safety** 授業内容：We will start this course with an introduction and overview of Tourism Security and Safety. You should be able to acknowledge the importance of learning about tourism security and safety. We need to build a great environment so people will feel safe to visit, work, and live or Tourism will not be there. 事前学修 2.0hr：Think of what kind of risks are there when you travel 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
3回	**授業テーマ：Basics of risk management** 授業内容：We will learn about the basic theory of Tourism Security and Safety (Surety). The three basic management theories will be Risk, Crisis, and Recovery Management. This week we will focus on Risk Management. 事前学修 2.0hr：Think about ways to manage the risks 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
4回	**授業テーマ：Risk assessment** 授業内容：We will discuss how we could assess the risks. 事前学修 2.0hr：Think of ways to assess risks 事後学修 2.0hr：Review today's lecture

5回	**授業テーマ：Crisis Management** 授業内容：We have understood Risk Management to minimize the impact of incidents or crises that might happen. This week, we will think about Crisis management. 事前学修 2.0hr：Think of what you can do to manage the tourism crisis 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
6回	**授業テーマ：Recovery Management** 授業内容：The last part of risk management will be considering recovery. This week we will think about how we could recover from the crisis. 事前学修 2.0hr：What kind of strategy could you think of to recover from a crisis 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
7回	**授業テーマ：Risks in the industry 1 (Hotels)** 授業内容：Risk management in accommodations. 事前学修 2.0hr：Think about the risk factors in hotels 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
8回	**授業テーマ：Risks in the industry 2 (Transportation/Airports &Airline companies)** 授業内容：Risk management in transportation (Aviation), 事前学修 2.0hr：Think about the risk factors in airports and airline companies 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
9回	**授業テーマ：Risks in the industry 3 (Transportation /Trains and Cruises)** 授業内容：Risk management in transportation (Trains and Cruises). 事前学修 2.0hr：Think about the risk factors in trains and cruises 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
10回	**授業テーマ：Risks in the industry 4 (Public gathering places /Events, Conventions)** 授業内容：Risk management in public gathering places. 事前学修 2.0hr：Think about the risk factors in Public gathering places /Events, Conventions 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
11回	**授業テーマ：Risks in tourism 1 (Cyber Security)** 授業内容：Risk management in cyber security. 事前学修 2.0hr：Think about cyber security in tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
12回	**授業テーマ：Risks in tourism 2 (Legal issues)** 授業内容：The legal issues in tourism. 事前学修 2.0hr：Think about the legal issues in tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
13回	**授業テーマ：Risks in Tourism 3 (Human Trafficking and Harassment)** 授業内容：Human trafficking and harassment issues related to tourism. 事前学修 2.0hr：Think about the risks of human trafficking and harassment 事後学修 4.0hr：Review today's lecture /Prepare for the presentation
14回	**授業テーマ：Risks in Tourism 4 (Pandemic)** 授業内容：The pandemic situation and tourism. 事前学修 2.0hr：Think about the risks of epidemic and pandemic 事後学修 4.0hr：Review today's lecture /Prepare for the presentation
15回	**授業テーマ：Risk Management final presenatation** 授業内容：Students will present their own finding through research related to risk management in the industry. 事前学修 4.0hr：Preparation for the final presentation 事後学修 4.0hr：Prepare for the final exam

Distinguished Lectures in Hospitality &Tourism Management A

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

シュルーター　キャロリン

▌授業の概要

This course offers students a comprehensive introduction to international sport management, with a particular emphasis on sports marketing. Key topics include the history of sport management, understanding sports consumers, managing sports brands, sports sponsorship, the role of social media in sports, and emerging trends in the future of sport management. By the end of the course, students will gain valuable knowledge and practical skills, enabling them to pursue advanced studies in sport management and navigate the dynamic and expanding field of international sport.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Understand the fundamental principles of sport management, with an emphasis on international perspectives.
Gain familiarity with key topics in sport management, including sports marketing, branding, sponsorship, and the impact of social media on sports.
Develop an understanding of the historical context of sport management and its evolution over time.
Explore the role of sports consumers and how to effectively engage with them in the global sports market.
Analyze current trends and challenges in sport management and anticipate future directions in the industry.
Equip students with the knowledge and skills necessary to pursue further studies in sport management and thrive in the rapidly growing field.

個別目標：Understand the key concepts of international sport management and how they differ from domestic sport management practices.
Analyze the role of sports marketing in driving the global sports industry, including strategies for managing sports brands and engaging sports consumers.
Examine the dynamics of sports sponsorship and how it plays a critical role in the commercial success of sports organizations and events.
Evaluate the influence of social media on sports marketing, fan engagement, and brand development in an international context.
Investigate the historical evolution of sport management and how past trends influence current practices and future developments.
Explore the emerging trends and challenges in sport management, including technological advancements, globalization, and sustainability issues in the sport industry.
Develop practical skills for analyzing and managing sports organizations, focusing on key aspects such as marketing, sponsorship, and consumer behavior in the sports sector.

▌履修条件

None

▌評価基準・方法

Students will be assessed based on participation (15%), final exam (45%) and a group presentation (40%).

▌フィードバック方法

Individual Consultations: During in-class project workshops (Sessions 6, 12, 15), the instructor provides direct, one-on-one verbal feedback on student progress.
Test Reviews: Correct answers and explanations for common mistakes will be shared after each of the three in-class tests on Manaba.
Project Milestones: Students receive written or verbal comments on their project outlines and research to ensure they meet requirements before the final deadline.
Open Communication: Students are encouraged to ask questions during class or contact the instructor via email for additional support.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

No textbook required.

▌参考書

Readings will be provided by the instructor.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Review syllabus, grading, and final project. Intro to Sport Sponsorship. 事前学修 1.5hr：Review syllabus 事後学修 2.5hr：Review materials of the first class
2回	**授業テーマ：Defining the Sport Industry** 授業内容：Explore traditional vs. non-traditional sports and industry settings. 事前学修 1.5hr：Review lesson 2 materials 事後学修 2.5hr：Review lesson 2 key learnings
3回	**授業テーマ：History of Sport Business** 授業内容：Examine the evolution of the sport industry from origins to today. 事前学修 1.5hr：Review lesson 3 事後学修 2.5hr：Review lesson 3 key learnings
4回	**授業テーマ：Economics &Competitive Balance** 授業内容：Explore the unique economics of professional team sports, focusing on competitive balance and the uncertainty of outcomes and discuss why professional leagues need ”balance” to stay exciting. 事前学修 1.5hr：Review lesson 4 事後学修 2.5hr：Review lesson 4 key learnings

5回	**授業テーマ：Impacts of Sport** 授業内容：Economic and social impacts of the Olympics and World Cup. 事前学修 2.0hr：Review lesosn 5 事後学修 2.0hr：Review lesson 5 key learnings
6回	**授業テーマ：Group Presentation Workshop: Part 1** 授業内容：Work on project outlines in class with instructor feedback. 事前学修 1.5hr：Review final project guidelines 事後学修 2.5hr：Finalize project outline in the group
7回	**授業テーマ：Nature of Sport Marketing** 授業内容：Study market forces and innovative marketing strategies. 事前学修 1.5hr：Review lesson 7 事後学修 2.5hr：Review lesson 7 key learnings
8回	**授業テーマ：The Sport Consumer** 授業内容：Explore fan socialization, involvement, and commitment. 事前学修 1.5hr：Review lesson 8 事後学修 2.5hr：Review lesson 8 key learnings
9回	**授業テーマ：Managing Sport Brands** 授業内容：Understand the scope and importance of brand management and branding within the sport industry. 事前学修 1.5hr：Review lesson 9 事後学修 2.5hr：Review lesson 9 key learnings
10回	**授業テーマ：Sponsorship &Activation** 授業内容：In-depth look at sports sponsorship, focusing on the key elements required for a successful sponsorship activity. This topic is essential for the group presentation. 事前学修 2.0hr：Review lesson 10 事後学修 2.0hr：Review lesson 10 key learnings
11回	**授業テーマ：Internationalization of Sport** 授業内容：Define global sport business and its current expansion. 事前学修 1.5hr：Review lesson 11 事後学修 2.5hr：Review lesson 11 key learnings
12回	**授業テーマ：Group Presentation Workshop: Part 2** 授業内容：Research Progress due. Individual feedback on presentation drafts. 事前学修 2.0hr：Research the company you have chosen for your group presentation 事後学修 2.0hr：Finalize presentation outline and notes
13回	**授業テーマ：Social Media in Sport** 授業内容：Explore how athletes, teams, and organizations engage with social media and the intentions behind their engagement. 事前学修 1.5hr：Review lesson 14 事後学修 2.5hr：Review lesson 14 key learnings
14回	**授業テーマ：The Future of Sport Management &Final Exam Review** 授業内容：examine the unique challenges posed by the era of instant communication for those pursuing a career in the sport industry. Q&A for the final exam. 事前学修 2.0hr：Review all class material from lesson 1-14 事後学修 2.0hr：Prepare for group presentation and final exam
15回	**授業テーマ：Group Presentations** 授業内容：Students present their sponsorship analysis in front of the class. 事前学修 1.5hr：Practice the presentation with your group 事後学修 2.5hr：Review topics for the final exam

Distinguished Lectures in Hospitality &Tourism Management B

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

上田　圭一（うえだ　けいいち）・**水野　徹**（みずの　とおる）

▌授業の概要

This course is designed to provide opportunities for students to directly communicate with the leaders of the hospitality &tourism industry and beyond. Guest speakers from a wide range of industries — such as airlines, hotels &lodging, financial institutions, and theme parks — will be invited to share their professional insights.

Please note that the course content and schedule are subject to change depending on environmental circumstances or the specific needs and requests of the students.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：To gain understanding on the strategies of the companies in different industries.

個別目標：To understand the basic economics and its agenda items of today in different industries.

▌履修条件

Students who are willing to contribute in the class

▌評価基準・方法

Students will be evaluated by the criteria described below.

Class participation and contribution: 40%

Two paper submissions: 60%

▌フィードバック方法

The grading of the assignments will be communicated through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Handouts will be distributed.

▌参考書

None.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Class Guidance** 授業内容：Class guidance and the detailed scheduling of the guest speakers will be provided. 事前学修 2.0hr：Read the syllabus and come up with what you wish to achieve in this course. 事後学修 2.0hr：Review the course material.
2回	**授業テーマ：Guest Speaker (1)** 授業内容：TBD 事前学修 2.0hr：Research the company profiles of the guest speaker. 事後学修 2.0hr：Review the course material.
3回	**授業テーマ：Guest Speaker (2)** 授業内容：TBD 事前学修 2.0hr：Research the company profiles of the guest speaker. 事後学修 2.0hr：Review the course material.
4回	**授業テーマ：Guest Speaker (3)** 授業内容：TBD 事前学修 2.0hr：Research the company profiles of the guest speaker. 事後学修 2.0hr：Review the course material.
5回	**授業テーマ：Guest Speaker (4)** 授業内容：TBD 事前学修 2.0hr：Research the company profiles of the guest speaker. 事後学修 2.0hr：Review the course material.
6回	**授業テーマ：Guest Speaker (5)** 授業内容：TBD 事前学修 2.0hr：Research the company profiles of the guest speaker. 事後学修 2.0hr：Review the course material.
7回	**授業テーマ：Guest Speaker (6)** 授業内容：TBD 事前学修 2.0hr：Research the company profiles of the guest speaker. 事後学修 2.0hr：Review the course material.
8回	**授業テーマ：Mid Review** 授業内容：Students are asked to share their finidings and assessments on the lectures during the first half of the course. 事前学修 2.0hr：Review the materials from the previous sessions. 事後学修 2.0hr：Prepare your mid-term paper.
9回	**授業テーマ：Guest Speaker (7)** 授業内容：TBD 事前学修 2.0hr：Research the company profiles of the guest speaker. 事後学修 2.0hr：Review the course material.
10回	**授業テーマ：Guest Speaker (8)** 授業内容：TBD 事前学修 2.0hr：Research the company profiles of the guest speaker. 事後学修 2.0hr：Review the course material.
11回	**授業テーマ：Guest Speaker (9)** 授業内容：TBD 事前学修 2.0hr：Research the company profiles of the guest speaker. 事後学修 2.0hr：Review the course material.

12回	**授業テーマ：Guest Speaker (10)** 授業内容：TBD 事前学修 2.0hr：Research the company profiles of the guest speaker. 事後学修 2.0hr：Review the course material.
13回	**授業テーマ：Guest Speaker (11)** 授業内容：TBD 事前学修 2.0hr：Research the company profiles of the guest speaker. 事後学修 2.0hr：Review the course material.
14回	**授業テーマ：Guest Speaker (12)** 授業内容：TBD 事前学修 2.0hr：Research the company profiles of the guest speaker. 事後学修 2.0hr：Review the course material.
15回	**授業テーマ：Wrap Up** 授業内容：Students are asked to share their finidings and assessments on the lectures during the second half of the course. 事前学修 2.0hr：Review the materials from the previous sessions. 事後学修 2.0hr：Prepare your final paper.

Airline Management

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1 ｜ 備考：GMM 対象科目

水野　徹（みずの　とおる）

▌授業の概要

Airline Management: Course Description

We will walk through the managerial aspects of the airline business model through a combination of case analysis and lectures. You are expected to read the cases and be ready for case questions in advance of each session. It is very important that you will be ready for in-class case discussions which will be followed by lectures on the underlying marketing principles and analytical tools behind the cases.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall Objectives:

1. To understand the managerial aspects of the airline business model (DP1)
2. To read and analyze business cases and apply the basic principles and analytical tools (DP1)

個別目標：Expected Achievements:

1. Students should be able to read airline-related articles in newspapers and magazines
2. Students should be able to analyze actual airline business cases and write up a summary of their analysis

▌履修条件

Prerequisite:

1. Bring the case packet with you for every session
2. Complete the reading assignments prior to each session
3. Proactively speak out in the class
4. Papers must be submitted by the defined deadline date
5. Should be able to communicate with the instructor through emails

▌評価基準・方法

Grading Policy:　The performance will be graded on the basis of final exam (50%), case write-ups (20%) and class participation and contribution (30%). Attendance of 80% or higher will be the prerequisite for granting a credit for this course. The grading of the assignments will be communicated through manaba.

▌フィードバック方法

manaba will be used to send out the feedback to the students.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Analysis on business cases has to be completed prior to each session）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Reading the business cases and responding to the case questions required PCs.）

▌教科書

Textbooks:　Case packet and hand-outs will be provided in manaba.

▌参考書

None

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Class Guidance and Industrial Structure of Airline Industry** 授業内容：Class guidance, overview of the course and its objectives, grading policy, weekly assignments, and how the students should read business cases will be addressed during this session. 事前学修 1.5hr：Read the syllabus and prepare your goal in this course 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
2回	**授業テーマ：Current Issues** 授業内容：Class discussions on the case ”Singapore Airlines: Surviving the COVID-19 Pandemic” and lectures on the current issues of the airline industry, with particular emphasis on the challenges of managing demand and capacity. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Singapore Airlines: Surviving the COVID-19 Pandemic” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
3回	**授業テーマ：Regulation and Deregulation** 授業内容：Class discussions on the case ”The good, the bad, and the ugly: 30 years of US deregulation” and lectures on historic milestones of the airline regulation and deregulation. 事前学修 1.5hr：Read the article ”The good, the bad, and the ugly: 30 years of US deregulation” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
4回	**授業テーマ：Finance and Metric (1)** 授業内容：Class discussions on the case ”apan Airlines: Turning around to take off again” and lectures on metric unique to the airline industry and analysis of a financial statement of American Airlines. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Japan Airlines: Turning around to take off again” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
5回	**授業テーマ：Finance and Metric (2)** 授業内容：Class discussions on the case ”Evaluating Financial and Operational Performance” and lectures on financial vulnerability of the airline industry and its recovery from COVID-19. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Evaluating Financial &Operational Performance” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
6回	**授業テーマ：Human Resource Management** 授業内容：Class discussions on the case ”Scandinavian Airlines System” and lectures on the agent-principal model, and the relationship with organized labor.Malaysia Airlines Culture Transformation 事前学修 1.5hr：Read the cases ”Malaysia Airlines Culture Transformation” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis

7回	**授業テーマ：Aircraft Manufacturers and Airlines** 授業内容：Class discussions on the case ”Boeing &Airbus: Large Commercial Aircraft 2000-2021” and lectures on engineering, cabin comfort, size, range, price &financing of aircraft. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Boeing &Airbus: Large Commercial Aircraft 2000-2021” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
8回	**授業テーマ：Procurement** 授業内容：Class discussions on the case ”Value Added Buying at Air Catering Chefs” and lectures on procurement in catering, fuel, equipment &vehicles, and engines. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Value Added Buying at Air Catering Chefs” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
9回	**授業テーマ：Network Management (1)** 授業内容：Class discussions on the case ”Sustainable Airline Business Model” and lectures on hub &spoke network and point-to-point network. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Sustainable Airline Business Model” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
10回	**授業テーマ：Network Management (2)** 授業内容：Class discussions on the case ”Emirates Airlines: Hub of the world” and lectures on airport landing slots, big data for airlines, and QSI analysis on network. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Emirates Airlines: Hub of the World” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
11回	**授業テーマ：Alliances and M&A** 授業内容：Class discussions on the case ”Air India/Vistara Brand Merger” and lectures on levels of airline cooperation, codeshare, FFP, global alliance, joint businesses, and M&A. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Air India/Vistara Brand Merger” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
12回	**授業テーマ：Safety &Security** 授業内容：Class discussions on the case ”United Airline’s Growing Troubles” and lectures on evolution of safety management, accidents, organizational approach, IOSA, and safety culture models. 事前学修 1.5hr：Read the case ”United Airlines’ Growing Troubles” 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
13回	**授業テーマ：IT and Innovation** 授業内容：Class discussions on the case ”Cathay Pacific’s Customer-centric thinking journey” and lectures on long tail strategy, top 12 trends in the airline industry, and Gartner top strategic technology trends. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Cathay Pacific’s Customer-centric thinking journey” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
14回	**授業テーマ：Corporate Restructuring** 授業内容：Class discussions on the case ”Qantas Historic Turnaround” and lectures on recapitalization, network review , fleet downsizing and renewal, staff rationalization, brand re-positioning. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Qantas Historic Turnaround” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
15回	**授業テーマ：Wrap-up and case analysis exercise** 授業内容：We will be reviewing the sessions 1 through 14 with implication on the final exam. 事前学修 1.5hr：Review all hand-outs from sessions 1 through 14 事後学修 2.5hr：Review hand-out

Hotel Business Management

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

立石　貴子（たていし　たかこ）

▌授業の概要

The class will study mainly about management of hotel industry to establish stable operation and achieve corporate goals through smooth conduct of operation.

Basics of hotel management are in management of organization・customer・marketing・profit・cost・human resource and so on. This class will study and understand each factor through lecture and discussion.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Students will understand how hotel manages its organization to achieve the goal and enable further development.
Students will also understand the importance of thinking and solving by themselves through hotel management and achieve goals.

個別目標：① Students will be able to think how to manage the organization and operation in hotel industry.
② Students will understand the relationship between ES and CS, and hospitality and added value.
③ Students will acquire the way to analyze IR information and find out its corporate strategy and action assignment.

▌履修条件

Interested in management of hotel industry.

▌評価基準・方法

Examination：50 %、Class contribution：50 %

▌フィードバック方法

The review for the assignment is given in the next class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （group discussion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （resume and overall information）

▌教科書

NA

▌参考書

Introduce in the class if necessary

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Learn the feature of Hotel Business 事前学修 2.0hr：Think about features of Hotel business 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
2回	**授業テーマ：History of Japanese hotel business** 授業内容：Learn how Japanese hotel business grow up. 事前学修 2.0hr：Research history of westernization 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
3回	**授業テーマ：Organization management of hotel industry** 授業内容：Learn what is the suitable corporate structure for hotel industry. 事前学修 2.0hr：Research hotel organization 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
4回	**授業テーマ：Management of lodging division** 授業内容：Study about management of Lodging division. 事前学修 2.0hr：Research lodging division of hotel 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
5回	**授業テーマ：Management of F&B division** 授業内容：Study about management of F&B division. 事前学修 2.0hr：Research F&B division of hotel 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
6回	**授業テーマ：Customer management** 授業内容：Study about the features of customer management of hotel industry. 事前学修 2.0hr：Make report about experienced impressive hotel service, hospitality, and added value. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
7回	**授業テーマ：Marketing, Direct sales and Travel agent** 授業内容：Study about Marketing strategy of hotel industry. 事前学修 2.0hr：Research hotel marketing 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
8回	**授業テーマ：Management of HR division** 授業内容：Now the biggest issue for hotel industry is lacking Human Resources. Study how hotel makes efforts to react the situation. 事前学修 2.0hr：Research HR in hotel industry 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
9回	**授業テーマ：Management of Finance accounting, and GA divisions** 授業内容：Feature on the back side of Hotel industry and study the importance of their works. 事前学修 2.0hr：Research accounting of hotel 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
10回	**授業テーマ：Risk management** 授業内容：Study about various Risks of hotel business and how to hedge them. 事前学修 2.0hr：Research risks in hotel 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
11回	**授業テーマ：Business plan** 授業内容：Study the importance of the business plan to achieve the target and the mission. 事前学修 2.0hr：Research the business plan of the existing hotel 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class

12回	**授業テーマ：Business model 1** 授業内容：A business model is a framework for earning profit. Refer to Business models of various industries and understand their importance. 事前学修 2.0hr：Research the business model of several industries. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
13回	**授業テーマ：Business model 2** 授業内容：Refer Business model of HT industries, especially the hotel industry, and understand how hotels make efforts to maximize hir profit. 事前学修 2.0hr：Research the business model of HT industries. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
14回	**授業テーマ：Financial strategy of hotel industry** 授業内容：During the COVID-19 pandemic, lots of hotels faced Bankruptcy. Why it happened, and how to avoid it? 事前学修 2.0hr：Research IR report and make report about corporate strategy and action assignment. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
15回	**授業テーマ：Future task of Hotel industry and Wrap up** 授業内容：Think about the tasks of hotel industry, and review the whole course to wrap up. 事前学修 2.0hr：Review whole class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class

Practicum A (Product Planning and Sales Promotion)

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ディーン　ナカソネ

▌授業の概要

This lecture will be conducted in a synchronous online format.
Hotel Management Case Studies – Evaluating Components of Success at Select
Lodging Operations at Various Locations, Domestic and Overseas
Students will apply what they have learned in coursework to real-world settings, enhancing academic and practical skills. In addition to online research, observational learning, and forming assessments are strongly encouraged. This course will be conducted entirely online over 15 sessions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：The competencies/learning outcomes connect to the student learning outcomes of GMM's Diploma Policy #1, "Ability to become a leader in the domestic and/or global fields requiring advanced communication skills, with extensive knowledge of management," students should be able to

1. Lead with knowledge of the foundations of Hospitality Management, taking a responsible and sustainable approach.
2. Demonstrate knowledge of multicultural perspective to meet the diverse community てぇ Hospitality Industry.
3. Develop skills by applying key management concepts and principles.
4. Use knowledge and skills associated with logical and critical thinking, problem-solving, and decision-making to function effectively in the community and industry.
5. Demonstrate leadership and teamwork to achieve common goals.
6. Demonstrate "professionalism" by conducting professionally and ethically.

個別目標：Upon successful completion of this course, the student should be able to:

1. Apply learned classroom knowledge to actual workplace situations
2. Become aware of the complexities of the various components that contribute to the success of a hotel in its destination
3. Complete the assigned projects in a timely manner
4. Be receptive to constructive feedback to improve outcomes
5. Practice effective verbal and written communication
6. Display professionalism and effectively work with team members

▌履修条件

1. Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material
2. Class Attendance is mandatory
3. Internet access, quality internet connection required

▌評価基準・方法

Weekly reflections and team project, and exam will be used for evaluation.

- Participation -40%
- Weekly Reflection - 20%
- Team Project - 20%
- Final Exam - 20%

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, group work, and problem-solving-learning）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

Not specified; current news articles will supplement class discussions

▌参考書

Not specified

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction and overview of this practicum course** 授業内容：Self-introductions and course overview 事前学修 2.0hr：Review the syllabus. Think about successful hotels. 事後学修 2.0hr：Review hotel case studies.
2回	**授業テーマ：What makes a hotel successful? Discussion 1** 授業内容：Selection and Discussion on Urayasu Hotels (TBD) 事前学修 2.0hr：Reserach the hotels in Urayasu and prepare for the lecture 事後学修 2.0hr：Reflection Paper – Urayasu Hotels
3回	**授業テーマ：Discussion Session 1** 授業内容：Discussion on Urayasu Hotels 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion (Research Urayasu Hotels) 事後学修 2.0hr：Review the discssion
4回	**授業テーマ：What makes a hotel successful? Discussion 2** 授業内容：Selection and Discussion on Disneyland, California hotels (TBD) 事前学修 2.0hr：Reserach the hotels in Disneyland, California and prepare for the discussion 事後学修 2.0hr：Reflection Paper – Disneyland, California Hotels
5回	**授業テーマ：Discussion Session 2** 授業内容：Discussion on Disneyland, California Hotels 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion (Disneyland, California Hotels) 事後学修 2.0hr：Review the discssion

6回	**授業テーマ：What makes a hotel successful? Discussion 3** 授業内容：Selection and Discussion on Greater Tokyo Area Hotels (TBD) 事前学修 2.0hr：Reserach the hotels in Greater Tokyo Area and prepare for the disscusion 事後学修 2.0hr：Reflection Paper – Tokyo Hotels
7回	**授業テーマ：Discussion Session 3** 授業内容：Discussion on Greater Tokyo Area Hotels 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion (Reseearch Greater Tokyo Area Hotels) 事後学修 2.0hr：Review the discssion
8回	**授業テーマ：What makes a hotel successful? Discussion 4** 授業内容：Selection and Discussion on Kanazawa and Maui, Hawaii Hotels (TBD) 事前学修 2.0hr：Reserach the hotels in Kanazawa and Maui, Hawaii and prepare for the discussion 事後学修 2.0hr：Reflection Paper - Kanazawa and Maui, Hawaii hotels
9回	**授業テーマ：Discussion Session 4** 授業内容：Discussion on Kanazawa and Maui, Hawaii Hotels 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion (Research Kanazawa and Maui, Hawaii Hotels) 事後学修 2.0hr：Review the discssion
10回	**授業テーマ：What makes a hotel successful? Discussion 5** 授業内容：Selection and Discussion on Expo 2025 (Osaka Hotels TBD) 事前学修 2.0hr：Research the hotels in Osaka for the Expo 2025 事後学修 2.0hr：Reflection Paper – Expo 2025 Hotels
11回	**授業テーマ：Discussion Session 5** 授業内容：Discussion on Expo 2025 Hotels 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion (Research Expo 2025, Osaka Hotels) 事後学修 2.0hr：Review the discssion
12回	**授業テーマ：Group Project Preparation Session** 授業内容：Give guidance on how to proceed with your group project. 事前学修 2.0hr：Think about what kind of hotel you wish to reserach 事後学修 2.0hr：Start Preparing for your presentation
13回	**授業テーマ：Group Project Preparation** 授業内容：Fukk time will be given to prepare for your presentation 事前学修 4.0hr：Prepare for the presentation 事後学修 4.0hr：Prepare for the presentation
14回	**授業テーマ：Team Project Due – Presentation and Discussion** 授業内容：Presentation to be given in class. 事前学修 4.0hr：Prepare for the presentation 事後学修 2.0hr：Review others presernation.
15回	**授業テーマ：Course Review and Final Exam** 授業内容：Before the final exam, a full review of the course will be given 事前学修 2.0hr：Review all the topics covered by this course 事後学修 4.0hr：Prepare for the exam

Practicum B (Destination Studies)

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

川村　一司（かわむら　かずし）

▌授業の概要

Practicum style course to study how to analyze and understand respective areas in view of tourism industry.
Mainly through workshop and discussion, students will analyze and differentiate respective areas.
To find what we can positively take action for further development.
The schedule or contents may be changed or combined.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：to obtain basic knowledge on how to read and analyze the fact and the character of each area.
to obtain the skill and the knowledge to logically suggest new ideas for the development of local area.
個別目標：to understand what the tourism-oriented country is.
to become able to analyze the facts and the characteristics of each area.
to find what we can do to revitalize the tourism at each area.

▌履修条件

none

▌評価基準・方法

80% presence is mandatory.
presentation and report 60%
positive challenge at group work with proper manner 40%

▌フィードバック方法

Feedback for your work would be mainly provided in the session.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion and presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Presentation and report）

▌教科書

none

▌参考書

to be announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：Summarize the course overview and objectives 事前学修 2.0hr：find the fact and character of district 事後学修 2.0hr：confirm the purpose of the class
2回	**授業テーマ：Lecture** 授業内容：Making a lecture on the tourism oriented country and the character of district 事前学修 2.0hr：study the character of some familiar area 事後学修 2.0hr：study the area for group work
3回	**授業テーマ：Group work** 授業内容：Study the reason and the condition of successful region of tourism 1 事前学修 2.0hr：study about the tourism successful area 事後学修 2.0hr：study and understand the reason and the factor of success of tourism
4回	**授業テーマ：Lecture** 授業内容：Study the reason and the condition of success for tourism of each area 事前学修 2.0hr：study about the area 事後学修 2.0hr：review on the reason and the fact of successful tourism area
5回	**授業テーマ：Group work** 授業内容：Study the reason and the condition of successful area of tourism 2 事前学修 2.0hr：study about the tourism successful area 2 事後学修 2.0hr：study and review on the selected area
6回	**授業テーマ：Group work and presentation** 授業内容：Analyzing the area and having discussion on the selected one 事前学修 2.0hr：study on the selected area 事後学修 2.0hr：study and review on the selected area
7回	**授業テーマ：Group work and presentation** 授業内容：Analyzing the area and having a presentation 事前学修 2.0hr：study on the selected area 事後学修 2.0hr：preparation for the presentation
8回	**授業テーマ：Lecture** 授業内容：Analyzing the area and having discussion among group 事前学修 2.0hr：preparation for the group work 事後学修 2.0hr：review the way how to develop the tourism
9回	**授業テーマ：Group work** 授業内容：Group discussion on how to revitalize the tourism of the selected area 事前学修 2.0hr：preparation for the group work 事後学修 2.0hr：review and understand the way how to develop the tourism
10回	**授業テーマ：Group presentation** 授業内容：Having a presentation on how to revitalize the tourism in the selected area 事前学修 2.0hr：preparation for the presentation 事後学修 2.0hr：review and understand the way how to develop the tourism

11回	**授業テーマ：Lecture** 授業内容：Review local tourism and feedback for the group presentation 事前学修 2.0hr：review and understand the way of developing tourism 事後学修 2.0hr：understand how to develop local tourism
12回	**授業テーマ：Group work** 授業内容：Group work and discussion on the factor of developing district and the responsibility of hospitality 事前学修 2.0hr：research for group work 事後学修 2.0hr：preparation for presentation
13回	**授業テーマ：Group presentation** 授業内容：Having a presentation on the factor of developing district and the responsibility of hospitality 事前学修 2.0hr：preparation for presentation 事後学修 2.0hr：understand the condition and factors to develop area tourism
14回	**授業テーマ：Report** 授業内容：Pick up the area and make plan to revitalize its tourism 事前学修 2.0hr：study the area 事後学修 2.0hr：complete report
15回	**授業テーマ：Lecture** 授業内容：Relate and devise the ideas for the necessary factors for the success of tourism, and the responsibility of hospitality for success 事前学修 2.0hr：get the idea on the necessary factor for the tourism success 事後学修 2.0hr：make action for developing the area tourism

Practicum C (Critical Thinking)

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

白木　秀典（しらき　ひでのり）

▌授業の概要

This course cultivates the ”basic skills” of studying business administration such as the ability to think logically and coherently. This course consists of two classes per week. Every week in the first class, you will learn the basics of ”how to set up and break down logic” in a lecture format, and in the second class, you will learn practical cases of ”logical thinking” that you might encounter in the real business world. You will also learn techniques for creating logical slides and expressing messages using graphs and tables.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：-To understand the skill of critical thinking.
　　-To understand the logical structure of argument.
個別目標：-To be able to break down the logical structure into a diagram.
　　-To be able to propose a claim using the logical model.

▌履修条件

Students are required to complete homework assignments, which are an important part of the course evaluation.

▌評価基準・方法

Class participation 30%
Homework assignments and presentations in class 30%
Final exam 40%

▌フィードバック方法

Feedback will be sent through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion, Presentation ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Class materials are distributed via manaba.）

▌教科書

None. Class materials will be distributed via manaba.

▌参考書

Gary Seay and Susana Nuccetelli ”HOW TO THINK LOGICALLY”, second edition, Pearson, 2012

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to Critical Thinking** 授業内容：- Course Orientation. - What is Critical Thinking? - Structure of Argument 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.
2回	**授業テーマ：Practice of Logical Thinking (1) Introduction** 授業内容：- Effective Reasoning - Objective and Specific Reasoning 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.
3回	**授業テーマ：Analyzing Types of Argument** 授業内容：- Inductive Argument - Deductive Argument 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.
4回	**授業テーマ：Practice of Logical Thinking (2) Breakdown** 授業内容：- Dimensions of Reasoning - Front and Back Reasoning 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.
5回	**授業テーマ：Toulmin Model (1) Basic Structure** 授業内容：- Implicit Logic and Reasoning - Data, Warrant, Backing and Claim 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.
6回	**授業テーマ：Practice of Logical Thinking (3) Wider Scope** 授業内容：- Multiple Viewpoints - Pitfall Model 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.
7回	**授業テーマ：Toulmin Model (2) Rebuttal** 授業内容：- Rebuttal and Qualification 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.
8回	**授業テーマ：Reading Tables and Graphs** 授業内容：- Finding the Trend - Identifying the Segment 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.

9回	**授業テーマ：Logical Flow Diagram (1) Single Issue** 授業内容：- Converting a Simple Logical Structure into a Diagram 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.
10回	**授業テーマ：Illustrating Data with Tables and Graphs** 授業内容：- Expressing the Intended Message Using a Relevant Diagram 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.
11回	**授業テーマ：Logical Flow Diagram (2) Multiple Issues** 授業内容：- Converting a Complex Logical Structure into a Diagram 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.
12回	**授業テーマ：Fermi Estimation (1) Introduction** 授業内容：- Impromptu Inference by Logical Thinking - Handy Number 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.
13回	**授業テーマ：Creating Slides (1) Introduction** 授業内容：- The Basic Rules of Creating Slides 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.
14回	**授業テーマ：Fermi Estimation (2) Business Model** 授業内容：- Logical Simulation of a Business Model 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.
15回	**授業テーマ：Creating Slides (2)** 授業内容：- Overall Logical Flow 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try the homework assignment and submit it.

Practicum D (Presentation and Debate)

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：集中 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

The course is on Debates. The course is designed to prepare students on how to debate. Students learn what debate is and how to debate. Students not only improve their language skills and strategies, but also improve the skills of cognitive and critical thinking, analyzing, interpreting, evaluating, and delivering supporting/dissenting opinions quickly and clearly. Students also learn to overcome fears of public speaking and discover confidence and creativity.

The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Students use knowledge of the basic language skills in practice and offer/receive challenges of cognitive and critical thinking. Students recognize how others think, learn to think and speak well.

個別目標：Students show progress in their ability to express opinions and defend ideas, which is a vital tool especially in this world of globalization where opinions are valued.

▌履修条件

Not limited to, but recommended to have previously taken Advanced English Skills C (Communication Studies) and
Advanced English Skills D (Presentations) courses.

▌評価基準・方法

Grades will be based strictly on attendance/attitude/performance, assignments/research project, debates, and a written test.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for debating activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.(BYOD)）

▌教科書

None.

PDF materials prepared by the instructor.

▌参考書

Speak Out! Debate and Public Speaking in the Middle Grades (Kate Shuster &John Meany),

Think Speak Win: Discover the Art of Debate (Gaurav Keerthi), Introduction to Debating in Schools: A Guide to Hosting Your Own Debates, and other materials as appropriate may be introduced.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction/Introduction to Public Speaking** 授業内容：Course Orientation/What is Public Speaking? 事前学修 0.5hr：preview the subject 事後学修 2.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Introduction to Debating** 授業内容：Debate, Its Structure, Basic Elements, and Formats 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Supporting, Organizing &Presenting Your Opinion** 授業内容：Argument Structure of ARE 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Predicting &Refuting the Arguments** 授業内容：”Clash” and Basic Refutation Forms 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Judge, A Debate Evaluator** 授業内容：What is the Role of a Judge? 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：One-on-One Debates** 授業内容：Pair Practices 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：One-on-One Debates** 授業内容：Pair Debates 事前学修 3.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：Introduction to Team Debating** 授業内容：What are the Roles of The Speakers in Affirmative and Negative Teams? 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：Supporting, Organizing &Presenting the Team’s Opinion** 授業内容：Practice in Teams 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

10回	**授業テーマ：Refuting &Rebutting the Team's Opinion** 授業内容：Practice in Teams 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
11回	**授業テーマ：Written Test** 授業内容：Test on the Materials Covered 事前学修 2.5hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：Preparation for Team Debates** 授業内容：Preparation in Teams 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：Team Debates** 授業内容：Team Debates 事前学修 3.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：Impromptu Pair Debates** 授業内容：Impromptu Pair Debates 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Final Class** 授業内容：Course Review 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

Pre Seminar Ⅰ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）・**三木　和見**（みき　かずみ）

▌授業の概要

Understand that manners are necessary in social life, and gain skills to live better.
Through learning manners, you will be grateful to people and nature, and learn how to express those feelings to others.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：You will be able to notice the importance of manners and be able to be have politely.
Have flexible thinking and tolerance for others.
個別目標：1.Communicate the feeling of the hospitality with words and manners.
2.Acquire eating manners that do not cause discomfort to the other person.
3.Learn about ceremonial occasions, annual event, and learn about customs.

▌履修条件

This course is a compulsory subject for each GMM student.
Every student should actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

Assignment and end-of-term reports.

▌フィードバック方法

Evaluate the activities in the class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and role-playing）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba）

▌教科書

『Manners and conventions of daily life in Japan』　By Keishosai Ogasawara（Tankosha Publishing Co.,Ltd）

▌参考書

Nothing

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Orientation, Good posture, How to bow,** 授業内容：Learn to understand the need for manners and think of others first. Learn the important of first impressions. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p3-5「Preface」 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
2回	**授業テーマ：Language** 授業内容：The impression that words give to the other person and manners when using words. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p15-23 Business Occasions 1-4 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
3回	**授業テーマ：How to hold** 授業内容：The height of holding thing, how to hand over, how to receive it. 事前学修 2.0hr：Write what you should be careful about when you hand over things to other person. 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
4回	**授業テーマ：Dealing with visitors** 授業内容：Preparations for welcoming visitors. Place to sit. How to serve tea. Hospitality. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p27-29 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report
5回	**授業テーマ：Manners of visiting** 授業内容：Gifts'manners. Manners of visiting time. Clothing. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p47-63 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
6回	**授業テーマ：Business manner** 授業内容：Manners of chair, door, elevator, cars, guide, tea, see a person off. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p25-43 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
7回	**授業テーマ：Manners of phone calls and letters** 授業内容：How to talk on the phone. How to write business letters. 事前学修 2.0hr：Write what you need to be careful when you talk on the phone. 事後学修 2.0hr：Write a thank you letter to the company you visited.
8回	**授業テーマ：Japanese tea** 授業内容：Types of Japanese tea. How to serve and enjoy Japanese tea. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p107 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
9回	**授業テーマ：Manners of Japanese food** 授業内容：About chopsticks and Japanese Food. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p79-105 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
10回	**授業テーマ：Manners of Japanese style room.** 授業内容：About tatami, tokonoma, kakejiku, shoji, and so on. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p69-77 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.

11回	**授業テーマ：Manners for ceremonial occasions 1** 授業内容：The ritual of life. Wedding manners. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p119-131 事後学修 2.0hr：Make a gift money envelopes.
12回	**授業テーマ：Manners for ceremonial occasions 2** 授業内容：Funeral manners. 事前学修 2.0hr：Read a text book p133-143 事後学修 2.0hr：Make a gift money envelopes.
13回	**授業テーマ：Annual Festivals** 授業内容：New Years, the five seasonal festivals and annual festivals. 事前学修 2.0hr：Read a text book p153-169 事後学修 2.0hr：Make New Year's gift wrapping.
14回	**授業テーマ：Interview manners** 授業内容：How to have an interview. 事前学修 2.0hr：Review posture, bowing, chair manners, and door manners. 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
15回	**授業テーマ：Total review** 授業内容：Practical test of what you have learned. 事前学修 2.0hr：Review what you have learned 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.

Pre Seminar Ⅰ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利 (よしだ　なるとし)

▌授業の概要

The course aims to support each student to enjoy a meaningful academic life.
A student creates one's pride as a "young expert in Japanese hospitality".
She or he sharpens one's study skills and clarifies one's vision and mission.
The contents of the lectures may be changed subject to educational circumstances.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：A student learns basic study skills: reading, listening, writing and speaking.
This course gives each student a more sophisticated understanding of one's personality.
A student also learns the Japanese culture, history, social system, and esprit.
個別目標：Emphasis on group work.
Completing efficient academic presentations.
Spontaneous attitude at classroom discussions and extracurricular studies.

▌履修条件

This course is a compulsory subject for each GMM student.
Every student must actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

Essays, presentations and in-class performance.
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading materials will be specified in class.

▌参考書

Supplementary reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introductory session 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
2回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Research your favurite HT industry 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
3回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Continue your HT industry research 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
4回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Continue your HT industry research 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
5回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Continue your HT industry research 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
6回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Continue your HT industry research 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
7回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Continue your HT industry research 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
8回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Continue your HT industry research 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
9回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Prepare your final presentation 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
10回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Prepare your final presentation 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.

11回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Prepare your final presentation 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
12回	**授業テーマ：Career planning for job hunting 1-2** 授業内容：Complete your final presentation 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
13回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Give your fina presentation 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
14回	**授業テーマ：Prepare your current Career Design Plan** 授業内容：Preare you most recent career design plan 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
15回	**授業テーマ：Conclusion and review** 授業内容：Conclusive session 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review this course.

Pre Seminar Ⅱ-a

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

This course aims to support each student in building a meaningful and fulfilling academic life in Japan during their second year. Students will develop pride as “young experts” in the Japanese hospitality environment, strengthen essential study skills, and work toward clarifying their future vision and life mission.

As a pre-seminar course leading to the third-year “Seminar,” the course also helps students explore and narrow down the industries and companies they may wish to work in after graduation.

Throughout the course, each student will identify one research topic of personal interest related to hospitality, conduct research using appropriate sources, and deliver a final presentation to share findings and insights.

Classes will be conducted through active learning methods, including discussions, presentations, group work, fieldwork, office visits, and guest speakers.

Note: Course content may be adjusted depending on the teaching environment and students’ interests.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：A student develops a more sophisticated understanding of one’s study skills: reading, listening, writing, and speaking. This course gives each student a clear understanding of one’s personality. A student also learns the Japanese culture, history, social system, and spirit.

個別目標：Exercising leadership.
Completing academic level presentation and sophisticated discussion skills.

▌履修条件

This course is a compulsory subject for all GMM students.

Every student must actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

Essays, presentations and in-class performance. 80% attendance record is required.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided individually.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Didcussion, Group work, Presentation, Fieldwork）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Reading materials will be specified in class.

▌参考書

Supplementary reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Orientation of the course and Self Introduction** 授業内容：Discuss what theme or area members want to focus on and how they will work on those themes throughout the year. Each member presents a theme of interest and its goal. Then the class discuss it whether individual goal is achievable and how it can work on. Also Each member presents and introduce own background, current interests and future career plan in order to know well each other, so that other members will be able to give more effective suggestions or feedback. 事前学修 2.0hr：Summarise your expectations and prepare your introduction. 事後学修 2.0hr：Create your action plans based on the feedbacks that were given in the class and Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
2回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
3回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
4回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
5回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
6回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
7回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
8回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.

9回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
10回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
11回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
12回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
13回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
14回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
15回	**授業テーマ：Conclusion and Presentation (Setting goals for the summer vacation)** 授業内容：Summarise what we have done so far and set objectives of members' summer study plan. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and review this course.

Pre Seminar Ⅱ-b

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM9 月入学生対象科目

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

This course aims to support each student in building a meaningful and fulfilling academic life in Japan during their second year. Students will develop pride as “young experts” in the Japanese hospitality environment, strengthen essential study skills, and work toward clarifying their future vision and life mission.

As a pre-seminar course leading to the third-year “Seminar,” the course also helps students explore and narrow down the industries and companies they may wish to work in after graduation.

Throughout the course, each student will identify one research topic of personal interest related to hospitality, conduct research using appropriate sources, and deliver a final presentation to share findings and insights.

Classes will be conducted through active learning methods, including discussions, presentations, group work, fieldwork, office visits, and guest speakers.

Note: Course content may be adjusted depending on the teaching environment and students’ interests.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：A student develops a more sophisticated understanding of one’s study skills: reading, listening, writing, and speaking.
This course gives each student a clear understanding of one’s personality.
A student also learns the Japanese culture, history, social system, and spirit.

個別目標：Exercising leadership.
Completing academic level presentation and sophisticated discussion skills.

▌履修条件

This course is a compulsory subject for all GMM students.

Every student must actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

Essays, presentations and in-class performance. 80% attendance record is required.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided individually.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion, Group work, Presentation, Fieldwork）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Reading materials will be specified in class.

▌参考書

Supplementary reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Presentation of the Summer Vacation goal achievements** 授業内容：All members present what they have achieved and discuss their progress each other. 事前学修 2.0hr：Prepare for the presentation 事後学修 2.0hr：Prepare for the next class
2回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
3回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
4回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
5回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
6回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
7回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
8回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
9回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.

10回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
11回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
12回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
13回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
14回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
15回	**授業テーマ：Conclusion and review** 授業内容：Summarise and review all works members have done throughout the year and discuss for the 3rd grade. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Review this course.

Pre Seminar Ⅱ-b

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

This course aims to support each student in building a meaningful and fulfilling academic life in Japan during their second year. Students will develop pride as “young experts” in the Japanese hospitality environment, strengthen essential study skills, and work toward clarifying their future vision and life mission.

As a pre-seminar course leading to the third-year “Seminar,” the course also helps students explore and narrow down the industries and companies they may wish to work in after graduation.

Throughout the course, each student will identify one research topic of personal interest related to hospitality, conduct research using appropriate sources, and deliver a final presentation to share findings and insights.

Classes will be conducted through active learning methods, including discussions, presentations, group work, fieldwork, office visits, and guest speakers.

Note: Course content may be adjusted depending on the teaching environment and students’ interests.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：A student develops a more sophisticated understanding of one’s study skills: reading, listening, writing, and speaking.
This course gives each student a clear understanding of one’s personality.
A student also learns the Japanese culture, history, social system, and spirit.

個別目標：Exercising leadership.
Completing academic level presentation and sophisticated discussion skills.

▌履修条件

This course is a compulsory subject for all GMM students.
Every student must actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

Essays, presentations and in-class performance. 80% attendance record is required.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided individually.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion, Group work, Presentation, Fieldwork）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Reading materials will be specified in class.

▌参考書

Supplementary reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Presentation of the Summer Vacation goal achievements** 授業内容：All members present what they have achieved and discuss their progress each other. 事前学修 2.0hr：Prepare for the presentation 事後学修 2.0hr：Prepare for the next class
2回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
3回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
4回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
5回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
6回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
7回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
8回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
9回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.

10回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
11回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
12回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
13回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
14回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
15回	**授業テーマ：Conclusion and review** 授業内容：Summarise and review all works members have done throughout the year and discuss for the 3rd grade. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Review this course.

Seminar Ⅰ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）

▌授業の概要

Bringing justice and fairness is the ultimate purpose of the law.
Legal way of thinking must be essential for global management.
In this seminar, students study law, especially, constitution and comparative hospitality law.
Through the seminar, students find the topics and ideas of their graduation dissertations.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Through the seminar, students shall find what they want to do
in their lives, and clarify one's mission after the graduation.
個別目標：Use legal way of thinking to achieve one's dream.
Broaden one's horizon by legal study at this seminar.

▌履修条件

This is a compulsory subject for a GMM student.
Students must actively and sincerely join the class.

▌評価基準・方法

Essays, Presentations, In-class performance.
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading Materials will be specified at the class.

▌参考書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』（慶應義塾大学出版会、2020 年）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introductory session 事前学修 2.0hr：Preparing for the introduction 事後学修 2.0hr：Reviewing
2回	**授業テーマ：Legal case study 1** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
3回	**授業テーマ：Legal case study 2** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
4回	**授業テーマ：Legal case study 3** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
5回	**授業テーマ：Legal case study 4** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
6回	**授業テーマ：Legal case study 5** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
7回	**授業テーマ：Legal case study 6** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
8回	**授業テーマ：Legal case study 7** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
9回	**授業テーマ：Legal case study 8** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
10回	**授業テーマ：Legal case study 9** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

11回	**授業テーマ：Legal case study 10** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
12回	**授業テーマ：Legal case study 11** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
13回	**授業テーマ：Legal case study 12** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
14回	**授業テーマ：Final presentation** 授業内容：Give your final presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
15回	**授業テーマ：Conclusion and Reviewing the course** 授業内容：Conclusive session 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

Seminar Ⅰ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM9 月入学生対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）

▌授業の概要

Bringing justice and fairness is the ultimate purpose of the law.
Legal way of thinking must be essential for global management.
In this seminar, students study law, especially, constitution and comparative hospitality law.
Through the seminar, students find the topics and ideas of their graduation dissertations.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Through the seminar, students shall find what they want to do
in their lives, and clarify one's mission after the graduation.
個別目標：Use legal way of thinking to achieve one's dream.
Broaden one's horizon by legal study at this seminar.

▌履修条件

This is a compulsory subject for a GMM student.
Students must actively and sincerely join the class.

▌評価基準・方法

Essays, Presentations, In-class performance.
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading Materials will be specified at the class.

▌参考書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』（慶應義塾大学出版会、2020 年）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introductory session 事前学修 2.0hr：Preparing for the introduction 事後学修 2.0hr：Reviewing
2回	**授業テーマ：Legal case study 1** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
3回	**授業テーマ：Legal case study 2** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
4回	**授業テーマ：Legal case study 3** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
5回	**授業テーマ：Legal case study 4** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
6回	**授業テーマ：Legal case study 5** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
7回	**授業テーマ：Legal case study 6** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
8回	**授業テーマ：Legal case study 7** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
9回	**授業テーマ：Legal case study 8** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
10回	**授業テーマ：Legal case study 9** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

11回	**授業テーマ：Legal case study 10** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
12回	**授業テーマ：Legal case study 11** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
13回	**授業テーマ：Legal case study 12** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
14回	**授業テーマ：Final presentation** 授業内容：Give your final presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
15回	**授業テーマ：Conclusion and Reviewing the course** 授業内容：Conclusive session 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

Seminar Ⅰ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）

▌授業の概要

Bringing justice and fairness is the ultimate purpose of the law.
Legal way of thinking must be essential for global management.
In this seminar, students study law, especially, constitution and comparative hospitality law.
Through the seminar, students find the topics and ideas of their graduation dissertations.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Through the seminar, students shall find what they want to do
in their lives, and clarify one's mission after the graduation.
個別目標：Use legal way of thinking to achieve one's dream.
Broaden one's horizon by legal study at this seminar.

▌履修条件

This is a compulsory subject for a GMM student.
Students must actively and sincerely join the class.
Students must prepare Wi-Fi &microphone condition precisely, and participate in this Google Meet course punctually.

▌評価基準・方法

Presentations (30%)
Short essays (30%)
Active performance and contribution to class (40%)
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading Materials will be specified at the class.

▌参考書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』(慶應義塾大学出版会、2020 年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introductory session 事前学修 2.0hr：Preparing for the introduction 事後学修 2.0hr：Reviewing
2回	**授業テーマ：Legal case study 13** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
3回	**授業テーマ：Legal case study 14** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
4回	**授業テーマ：Legal case study 15** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
5回	**授業テーマ：Legal case study 16** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
6回	**授業テーマ：Legal case study 17** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
7回	**授業テーマ：Legal case study 18** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
8回	**授業テーマ：Legal case study 19** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
9回	**授業テーマ：Legal case study 20** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

10回	**授業テーマ：Legal case study 21** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
11回	**授業テーマ：Legal case study 22** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
12回	**授業テーマ：Legal case study 23** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
13回	**授業テーマ：Legal case study 24** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
14回	**授業テーマ：Final presentation** 授業内容：Give your final presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
15回	**授業テーマ：Conclusion and Reviewing the course** 授業内容：Conclusive session 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

Seminar Ⅱ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）

▌授業の概要

Bringing justice and fairness is the ultimate purpose of the law.
Legal way of thinking must be essential for global management.
In this seminar, students study law, especially, constitution and comparative hospitality law.
Through the seminar, students complete their graduation dissertations.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Through the seminar, students shall find what they want to do
in their lives, and clarify one's mission after the graduation.
個別目標：Use legal way of thinking to achieve one's dream.
Broaden one's horizon by legal study at this seminar.

▌履修条件

This is a compulsory subject for a GMM student.
Students must actively and sincerely join the class.

▌評価基準・方法

Graduation Dissertations, Essays, Presentations, In-class performance.
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading Materials will be specified at the class.

▌参考書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』（慶應義塾大学出版会、2020 年）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introductory session of this course. 事前学修 2.0hr：Preparing for the introduction 事後学修 2.0hr：Reviewing
2回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 1** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
3回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 2** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
4回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 3** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
5回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 4** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
6回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 5** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
7回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 6** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
8回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 7** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
9回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 8** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
10回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 9** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

11回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 10** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
12回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 11** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
13回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 12** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
14回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 13** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
15回	**授業テーマ：Conclusion and Reviewing the course** 授業内容：Conclusive session of this course. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

Seminar Ⅱ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）

▌授業の概要

Bringing justice and fairness is the ultimate purpose of the law.
Legal way of thinking must be essential for global management.
In this seminar, students study law, especially, constitution and comparative hospitality law.
Through the seminar, students complete their graduation dissertations.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Through the seminar, students shall find what they want to do
in their lives, and clarify one's mission after the graduation.
個別目標：Use legal way of thinking to achieve one's dream.
Broaden one's horizon by legal study at this seminar.

▌履修条件

This is a compulsory subject for a GMM student.
Students must actively and sincerely join the class.
Students must prepare Wi-Fi &microphone condition precisely, and participate in this Google Meet course punctually.

▌評価基準・方法

Graduation Dissertations,Essays, Presentations, In-class performance.
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading Materials will be specified at the class.

▌参考書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』（慶應義塾大学出版会、2020 年）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introductory session 事前学修 2.0hr：Preparing for the introduction 事後学修 2.0hr：Reviewing
2回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 1** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
3回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 2** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
4回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 3** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
5回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 4** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
6回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 5** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
7回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 6** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
8回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 7** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
9回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 8** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
10回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 9** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

11回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 10** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
12回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 11** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
13回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 12** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
14回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 13** 授業内容：Give your final presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
15回	**授業テーマ：Conclusion and Reviewing the course** 授業内容：Conclusive session 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

Academic English Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

野上　文子（のがみ　あやこ）・**森川　慶子**（もりかわ　けいこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。Academic English I では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、基礎段階の言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。補習対象者の基準は別途学部から文書で周知する。

▌評価基準・方法

下記の英語検定試験(*)のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・期末試験・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2026 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2027 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。単位取得のために必要な各英語検定試験のスコアの最低値は CEFR A2 水準とし、別途学部から文書で周知する。

(*) 英語検定試験

GTEC Academic

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む) CSE スコア

IELTS Academic

TOEFL IBT

2025 年度以前の入学者についてはケンブリッジ英検、TEAP、TOEFL Essential、TOEIC L&R/S ＆ W も評価の対象とする。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Michele Lewis, Richard O'Neill『Prism Reading Level 1』 Student's Book (Cambridge University Press)

アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Entry】2000 語レベル』(アルク)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 Places pp.14-17 Preparing to read 数字の読み取り、語彙の確認、文章の大意の把握、詳細の理解、必要な情報の検索、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening &Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 Places pp.18-19 Reading 1 Megacities 数字の読み取り、語彙の確認、文章の大意の把握、詳細の理解、必要な情報の検索、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening &Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 Places pp.18-21 Reading 1 Megacities 数字の読み取り、語彙の確認、文章の大意の把握、詳細の理解、必要な情報の検索、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening &Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 pp.28-29 Language Development 名詞、動詞、形容詞の用法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening &Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 2 Festivals and Celebations pp.32-37 Reading 1 Celebrate! 予測、語彙の確認、事前知識を活用する、メモを取る、詳細の理解、文章の形態を理解する、主題を見つける、推測するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：Listening &Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 2 Festivals and Celebations pp.36-39 Reading 1 Celebrate! 予測、語彙の確認、事前知識を活用する、メモを取る、詳細の理解、文章の形態を理解する、主題を見つける、推測するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7 回	**授業テーマ：Listening &Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 2 pp.46-47 Language Development 時間と場所を示す前置詞、頻度を表す副詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 1-2。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening &Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3 The Internet and Technology pp.50-55 Reading 1 Tech Expert Today 主題を見つける、推測する、語彙の確認、コンテンツの予測、詳細の理解、事前知識を使う、メモを取る、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening &Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3 The Internet and Technology pp.54-57 Reading 1 Tech Expert Today 主題を見つける、推測する、語彙の確認、コンテンツの予測、詳細の理解、事前知識を使う、メモを取る、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening &Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3 pp.64-65 Language Development 複合名詞、意見を表明する方法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening &Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 4 Weather and Climate pp.68-73 Reading 1 Extreme Weather 詳細を理解する、自分の知識を活用してコンテンツを予測する、語彙の確認、主題を見つける、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening &Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 4 Weather and Climate pp.72-75 Reading 1 Extreme Weather 詳細を理解する、自分の知識を活用してコンテンツを予測する、語彙の確認、主題を見つける、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening &Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 4 pp.82-83 Language Development 気温の表現、グラフの説明の方法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening &Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3-4 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Academic English Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

番場　直之（ばんば　なおゆき）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。Academic English I では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、基礎段階の言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。補習対象者の基準は別途学部から文書で周知する。

▌評価基準・方法

下記の英語検定試験(*)のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・期末試験・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2026 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2027 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。単位取得のために必要な各英語検定試験のスコアの最低値は CEFR A2 水準とし、別途学部から文書で周知する。

(*) 英語検定試験

GTEC Academic

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む) CSE スコア

IELTS Academic

TOEFL IBT

2025 年度以前の入学者についてはケンブリッジ英検、TEAP、TOEFL Essential、TOEIC L&R/S ＆ W も評価の対象とする。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Michele Lewis, Richard O'Neill『Prism Reading Level 1』 Student's Book (Cambridge University Press)

アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Entry】2000 語レベル』(アルク)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 Places pp.14-17 Preparing to read 数字の読み取り、語彙の確認、文章の大意の把握、詳細の理解、必要な情報の検索、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening &Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 Places pp.18-19 Reading 1 Megacities 数字の読み取り、語彙の確認、文章の大意の把握、詳細の理解、必要な情報の検索、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening &Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 Places pp.18-21 Reading 1 Megacities 数字の読み取り、語彙の確認、文章の大意の把握、詳細の理解、必要な情報の検索、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening &Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 pp.28-29 Language Development 名詞、動詞、形容詞の用法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening &Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 2 Festivals and Celebations pp.32-37 Reading 1 Celebrate! 予測、語彙の確認、事前知識を活用する、メモを取る、詳細の理解、文章の形態を理解する、主題を見つける、推測するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：Listening &Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 2 Festivals and Celebations pp.36-39 Reading 1 Celebrate! 予測、語彙の確認、事前知識を活用する、メモを取る、詳細の理解、文章の形態を理解する、主題を見つける、推測するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7 回	**授業テーマ：Listening &Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 2 pp.46-47 Language Development 時間と場所を示す前置詞、頻度を表す副詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 1-2。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening &Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3 The Internet and Technology pp.50-55 Reading 1 Tech Expert Today 主題を見つける、推測する、語彙の確認、コンテンツの予測、詳細の理解、事前知識を使う、メモを取る、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening &Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3 The Internet and Technology pp.54-57 Reading 1 Tech Expert Today 主題を見つける、推測する、語彙の確認、コンテンツの予測、詳細の理解、事前知識を使う、メモを取る、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening &Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3 pp.64-65 Language Development 複合名詞、意見を表明する方法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening &Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 4 Weather and Climate pp.68-73 Reading 1 Extreme Weather 詳細を理解する、自分の知識を活用してコンテンツを予測する、語彙の確認、主題を見つける、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening &Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 4 Weather and Climate pp.72-75 Reading 1 Extreme Weather 詳細を理解する、自分の知識を活用してコンテンツを予測する、語彙の確認、主題を見つける、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening &Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 4 pp.82-83 Language Development 気温の表現、グラフの説明の方法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening &Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3-4 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Academic English Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

傍島　由美子（そばじま　ゆみこ）・**野上　文子**（のがみ　あやこ）・**番場　直之**（ばんば　なおゆき）・**森川　慶子**（もりかわ　けいこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。Academic English II では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、基礎段階の言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。補習対象者の基準は別途学部から文書で周知する。

▌評価基準・方法

下記の英語検定試験(*)のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2026 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2027 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。単位取得のために必要な各英語検定試験のスコアの最低値は CEFR A2 水準とし、別途学部から文書で周知する。

(*) 英語検定試験

GTEC Academic

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む) CSE スコア

IELTS Academic

TOEFL IBT

2025 年度以前の入学者についてはケンブリッジ英検、TEAP、TOEFL Essential、TOEIC L&R/S ＆ W も評価の対象とする。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Michele Lewis, Richard O'Neill『Prism Reading Level 1』 Student's Book (Cambridge University Press)

アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Entry】2000 語レベル』(アルク)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 Sports and Competition pp.86-89 Reading 1 Five Unusual Sports 要旨を予測する、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、文章の形態を理解する、視覚を使った理解促進、メモを取る、対話を理解する、意味の解釈などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Listening &Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 Sports and Competition pp.90-91 Reading 1 Five Unusual Sports 要旨を予測する、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、文章の形態を理解する、視覚を使った理解促進、メモを取る、対話を理解する、意味の解釈などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Listening &Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 Sports and Competition pp.90-93 Reading 1 Five Unusual Sports 要旨を予測する、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、文章の形態を理解する、視覚を使った理解促進、メモを取る、対話を理解する、意味の解釈などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Listening &Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 pp.100-101 Language Development 移動を表す前置詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Listening &Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 6 Business pp.104-109 Reading 1 Survey: Are you ready for the world of work? 前後関係から意味を推察する、注釈をつける、語彙の確認、主題を理解する、詳細を読み取る、意見を述べる、聞き手を特定する、推察するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Listening &Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 6 Business pp.108-111 Reading 1 Survey: Are you ready for the world of work? 前後関係から意味を推察する、注釈をつける、語彙の確認、主題を理解する、詳細を読み取る、意見を述べる、聞き手を特定する、推察などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

7回	**授業テーマ：Listening &Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 6 pp.118-119 Language Development ビジネス用語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 5-Unit 6。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening &Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7 People pp.122-127 Reading 1 Incredible People ベン図の使い方、語彙の確認、コンテンツの予測、主題の理解、詳細の理解、メモを取る、意味の解読、目的の特定、推察などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening &Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7 People pp.126-129 Reading 1 Incredible People ベン図の使い方、語彙の確認、コンテンツの予測、主題の理解、詳細の理解、メモを取る、意味の解読、目的の特定、推察などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening &Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7 pp.136-137 Language Development of を伴う名詞句、人を修飾する形容詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening &Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 8 The Universe pp.140-145 Reading 1 The New Space Race 筆者の意図の理解、語彙の確認、事前知識の活用、主題の理解、詳細の理解、コンテンツの予測、注釈のつけ方、推測、事実と意見の区別などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening &Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 8 The Universe pp.144-147 Reading 1 The New Space Race 筆者の意図の理解、語彙の確認、事前知識の活用、主題の理解、詳細の理解、コンテンツの予測、注釈のつけ方、推測、事実と意見の区別などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening &Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 8 pp.154-155 Language Development 立証と論理の展開、目的を表す不定詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening &Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7-8 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Academic English Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

傍島　由美子（そばじま　ゆみこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。Academic English II では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、基礎段階の言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。補習対象者の基準は別途学部から文書で周知する。

▌評価基準・方法

下記の英語検定試験(*)のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2026 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2027 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。単位取得のために必要な各英語検定試験のスコアの最低値は CEFR A2 水準とし、別途学部から文書で周知する。

(*) 英語検定試験

GTEC Academic

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む) CSE スコア

IELTS Academic

TOEFL IBT

2025 年度以前の入学者についてはケンブリッジ英検、TEAP、TOEFL Essential、TOEIC L&R/S ＆ W も評価の対象とする。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Michele Lewis, Richard O'Neill『Prism Reading Level 1』 Student's Book (Cambridge University Press)

アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Entry】2000 語レベル』(アルク)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 Sports and Competition pp.86-89 Reading 1 Five Unusual Sports 要旨を予測する、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、文章の形態を理解する、視覚を使った理解促進、メモを取る、対話を理解する、意味の解釈などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Listening &Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 Sports and Competition pp.90-91 Reading 1 Five Unusual Sports 要旨を予測する、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、文章の形態を理解する、視覚を使った理解促進、メモを取る、対話を理解する、意味の解釈などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Listening &Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 Sports and Competition pp.90-93 Reading 1 Five Unusual Sports 要旨を予測する、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、文章の形態を理解する、視覚を使った理解促進、メモを取る、対話を理解する、意味の解釈などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Listening &Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 pp.100-101 Language Development 移動を表す前置詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Listening &Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 6 Business pp.104-109 Reading 1 Survey: Are you ready for the world of work? 前後関係から意味を推察する、注釈をつける、語彙の確認、主題を理解する、詳細を読み取る、意見を述べる、聞き手を特定する、推察するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Listening &Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 6 Business pp.108-111 Reading 1 Survey: Are you ready for the world of work? 前後関係から意味を推察する、注釈をつける、語彙の確認、主題を理解する、詳細を読み取る、意見を述べる、聞き手を特定する、推察などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

7回	**授業テーマ：Listening &Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 6 pp.118-119 Language Development ビジネス用語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 5-Unit 6。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening &Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7 People pp.122-127 Reading 1 Incredible People ベン図の使い方、語彙の確認、コンテンツの予測、主題の理解、詳細の理解、メモを取る、意味の解読、目的の特定、推察などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening &Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7 People pp.126-129 Reading 1 Incredible People ベン図の使い方、語彙の確認、コンテンツの予測、主題の理解、詳細の理解、メモを取る、意味の解読、目的の特定、推察などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening &Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7 pp.136-137 Language Development of を伴う名詞句、人を修飾する形容詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening &Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 8 The Universe pp.140-145 Reading 1 The New Space Race 筆者の意図の理解、語彙の確認、事前知識の活用、主題の理解、詳細の理解、コンテンツの予測、注釈のつけ方、推測、事実と意見の区別などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening &Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 8 The Universe pp.144-147 Reading 1 The New Space Race 筆者の意図の理解、語彙の確認、事前知識の活用、主題の理解、詳細の理解、コンテンツの予測、注釈のつけ方、推測、事実と意見の区別などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening &Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 8 pp.154-155 Language Development 立証と論理の展開、目的を表す不定詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening &Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7-8 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Academic English Ⅲ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

野上　文子（のがみ　あやこ）**・番場　直之**（ばんば　なおゆき）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Academic English III では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、自立した言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。補習対象者の基準は別途学部から文書で周知する。

▌評価基準・方法

下記の英語検定試験(*)のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・期末試験・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2026 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2027 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。単位取得のために必要な各英語検定試験のスコアの最低値は CEFR B1 水準とし、別途学部から文書で周知する。

(*) 英語検定試験

GTEC Academic

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む) CSE スコア

IELTS Academic

TOEFL IBT

2025 年度以前の入学者についてはケンブリッジ英検、TEAP、TOEFL Essential、TOEIC L&R/S ＆ W も評価の対象とする。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Lida Baker, Carolyn Westbrook『Prism Reading Level 2』Student's Book（Cambridge University Press）

アルク文教編集部『改訂第 2 版キクタン【Basic】4000 語レベル』(アルク）

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 Animals pp.14-17 Reading 1 Endangered Species 主題を理解する、ベン図の使い方、語彙の確認、事前知識の活用、詳細を理解する、解釈する、視覚を使ってコンテンツを予測する、メモを取る、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening &Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 Animals pp.18-19 Reading 1 Endangered Species 主題を理解する、ベン図の使い方、語彙の確認、事前知識の活用、詳細を理解する、解釈する、視覚を使ってコンテンツを予測する、メモを取る、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening &Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 Animals pp.18-21 Reading 1 Endangered Species 主題を理解する、ベン図の使い方、語彙の確認、事前知識の活用、詳細を理解する、解釈する、視覚を使ってコンテンツを予測する、メモを取る、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening &Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 pp.28-29 Language Development 動詞、形容詞の比較級 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening &Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 2 The Environment pp.32-37　Reading 1 Our Chaniging Planet 詳細の理解、因果関係についてメモを取る、語彙の理解、視覚を使ってコンテンツを予測する、主題を理解する、目的の特定、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：Listening &Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 2 The Environment pp.36-39　Reading 1 Our Chaniging Planet 詳細の理解、因果関係についてメモを取る、語彙の理解、視覚を使ってコンテンツを予測する、主題を理解する、目的の特定、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

7回	**授業テーマ：Listening &Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 2 pp.46-47 Language Development 語彙、環境用語 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 1-2。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening &Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3 Transportation pp.50-55 Reading 1. Masdar: the Future of Cities 視覚を使った予測、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、推測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening &Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3 Transportation pp.54-57 Reading 1. Masdar: the Future of Cities 視覚を使った予測、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、推測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening &Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3 pp.64-65 Language Development 交通関連用語、動詞の同義語 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening &Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 4 Customs and Traditions pp.68-73 Reading 1 Customs around the World 注釈のつけ方、語彙の確認、事前知識の活用、メモを取る、主題を理解する、推測、詳細を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening &Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 4 Customs and Traditions pp.72-75 Reading 1 Customs around the World 注釈のつけ方、語彙の確認、事前知識の活用、メモを取る、主題を理解する、推測、詳細を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening &Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 4 pp.82-83 Language Development 一般化の回避、頻度を表す副詞の使い方、繰り返しを回避するための同意語 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening &Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3-4 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Academic English Ⅲ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

野上　文子（のがみ　あやこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Academic English III では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、自立した言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。補習対象者の基準は別途学部から文書で周知する。

▌評価基準・方法

下記の英語検定試験(*)のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・期末試験・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2026 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2027 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。単位取得のために必要な各英語検定試験のスコアの最低値は CEFR B1 水準とし、別途学部から文書で周知する。

(*) 英語検定試験

GTEC Academic

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む) CSE スコア

IELTS Academic

TOEFL IBT

2025 年度以前の入学者についてはケンブリッジ英検、TEAP、TOEFL Essential、TOEIC L&R/S ＆ W も評価の対象とする。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Lida Baker, Carolyn Westbrook『Prism Reading Level 2』Student's Book（Cambridge University Press）

アルク文教編集部『改訂第 2 版キクタン【Basic】4000 語レベル』(アルク）

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 Animals pp.14-17 Reading 1 Endangered Species 主題を理解する、ベン図の使い方、語彙の確認、事前知識の活用、詳細を理解する、解釈する、視覚を使ってコンテンツを予測する、メモを取る、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening &Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 Animals pp.18-19 Reading 1 Endangered Species 主題を理解する、ベン図の使い方、語彙の確認、事前知識の活用、詳細を理解する、解釈する、視覚を使ってコンテンツを予測する、メモを取る、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening &Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 Animals pp.18-21 Reading 1 Endangered Species 主題を理解する、ベン図の使い方、語彙の確認、事前知識の活用、詳細を理解する、解釈する、視覚を使ってコンテンツを予測する、メモを取る、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening &Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 pp.28-29 Language Development 動詞、形容詞の比較級 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening &Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 2 The Environment pp.32-37　Reading 1 Our Chaniging Planet 詳細の理解、因果関係についてメモを取る、語彙の理解、視覚を使ってコンテンツを予測する、主題を理解する、目的の特定、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：Listening &Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 2 The Environment pp.36-39　Reading 1 Our Chaniging Planet 詳細の理解、因果関係についてメモを取る、語彙の理解、視覚を使ってコンテンツを予測する、主題を理解する、目的の特定、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

7回	**授業テーマ：Listening &Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 2 pp.46-47 Language Development 語彙、環境用語 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 1-2。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening &Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3 Transportation pp.50-55 Reading 1. Masdar: the Future of Cities 視覚を使った予測、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、推測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening &Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3 Transportation pp.54-57 Reading 1. Masdar: the Future of Cities 視覚を使った予測、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、推測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening &Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3 pp.64-65 Language Development 交通関連用語、動詞の同義語 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening &Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 4 Customs and Traditions pp.68-73 Reading 1 Customs around the World 注釈のつけ方、語彙の確認、事前知識の活用、メモを取る、主題を理解する、推測、詳細を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening &Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 4 Customs and Traditions pp.72-75 Reading 1 Customs around the World 注釈のつけ方、語彙の確認、事前知識の活用、メモを取る、主題を理解する、推測、詳細を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening &Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 4 pp.82-83 Language Development 一般化の回避、頻度を表す副詞の使い方、繰り返しを回避するための同意語 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening &Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3-4 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Academic English Ⅳ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

菅原　千津（すがわら　ちづ）・**野上　文子**（のがみ　あやこ）・**森川　慶子**（もりかわ　けいこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Academic English IV では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、自立した言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。補習対象者の基準は別途学部から文書で周知する。

▌評価基準・方法

【観光専攻】

下記の英語検定試験(*)のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2026 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2027 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。単位取得のために必要な各英語検定試験のスコアの最低値は CEFR B1 水準とし、別途学部から文書で周知する。

(*) 英語検定試験

GTEC Academic

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む) CSE スコア

IELTS Academic

TOEFL IBT

2025 年度以前の入学者についてはケンブリッジ英検、TEAP、TOEFL Essential、TOEIC L&R/S ＆ W も評価の対象とする。

【経営情報専攻】

上記の英語検定試験のスコア取得状況あるいは学内で実施する期末テストと、授業参加状況・小テスト・中間テスト・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Lida Baker, Carolyn Westbrook『Prism Reading Level 2 』Student's Book (Cambridge University Press)

アルク文教編集部 『改訂第 2 版キクタン【Basic】4000 語レベル』(アルク)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 Health and Fitness pp.86-89 Reading 1 推測する、語彙の確認、視覚を使ってコンテンツを予測する、飛ばし読み、主題を理解する、事前知識の使い方、コンテンツの予測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening &Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 Health and Fitness pp.90-91 Reading 1 推測する、語彙の確認、視覚を使ってコンテンツを予測する、飛ばし読み、主題を理解する、事前知識の使い方、コンテンツの予測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening &Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 Health and Fitness pp.90-93 Reading 1 推測する、語彙の確認、視覚を使ってコンテンツを予測する、飛ばし読み、主題を理解する、事前知識の使い方、コンテンツの予測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening &Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 pp.100-101 Language Development 動詞と名詞の形、健康関連用語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening &Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 6 Discovery and Invention pp.104-109 Reading 1 The Magic of Mimicry 情報検索、表の活用、語彙の確認、主題の理解、注釈のつけ方、推測、事前知識の活用、詳細の理解。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

6回	**授業テーマ：Listening &Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 6 Discovery and Invention pp.108-111 Reading 1 The Magic of Mimicry 情報検索、表の活用、語彙の確認、主題の理解、注釈のつけ方、推測、事前知識の活用、詳細の理解。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Listening &Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 6 pp.118-119 Language Development 助動詞を使用して予測を表現する、確率を表す副詞、接頭語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 5-6。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening &Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7 Fashion pp.122-127 Reading 1 Is fast fashion taking over? 事実と意見の区別、語彙の確認、事前知識の活用、主題を理解する、詳細を理解する、推測、飛ばし読み、情報の検索、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening &Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7 Fashion pp.126-129 Reading 1 Is fast fashion taking over? 事実と意見の区別、語彙の確認、事前知識の活用、主題を理解する、詳細を理解する、推測、飛ばし読み、情報の検索、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening &Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7 pp.136-137 Language Development ファッション業界の用語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening &Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 8 Economics pp.140-145 Reading 1 Investing: Two Alternatives to Consider 飛ばし読み、線グラフの読み取り方、語彙の確認、主題の理解、詳細の理解、推測、情報の検索、注釈のつけ方、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening &Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 8 Economics pp.144-147 Reading 1 Investing: Two Alternatives to Consider 飛ばし読み、線グラフの読み取り方、語彙の確認、主題の理解、詳細の理解、推測、情報の検索、注釈のつけ方、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening &Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 8 pp.154-155 Language Development 経済関連の名詞・形容詞、景気動向に関連する名詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening &Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7-8 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Academic English Ⅳ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

野上　文子（のがみ　あやこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Academic English IV では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、自立した言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。補習対象者の基準は別途学部から文書で周知する。

▌評価基準・方法

【観光専攻】

下記の英語検定試験(*)のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2026 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2027 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。単位取得のために必要な各英語検定試験のスコアの最低値は CEFR B1 水準とし、別途学部から文書で周知する。

(*) 英語検定試験

GTEC Academic

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む) CSE スコア

IELTS Academic

TOEFL IBT

2025 年度以前の入学者についてはケンブリッジ英検、TEAP、TOEFL Essential、TOEIC L&R/S ＆ W も評価の対象とする。

【経営情報専攻】

上記の英語検定試験のスコア取得状況あるいは学内で実施する期末テストと、授業参加状況・小テスト・中間テスト・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Lida Baker, Carolyn Westbrook『Prism Reading Level 2 』Student's Book (Cambridge University Press)

アルク文教編集部 『改訂第 2 版キクタン【Basic】4000 語レベル』(アルク)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 Health and Fitness pp.86-89 Reading 1 推測する、語彙の確認、視覚を使ってコンテンツを予測する、飛ばし読み、主題を理解する、事前知識の使い方、コンテンツの予測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening &Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 Health and Fitness pp.90-91 Reading 1 推測する、語彙の確認、視覚を使ってコンテンツを予測する、飛ばし読み、主題を理解する、事前知識の使い方、コンテンツの予測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening &Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 Health and Fitness pp.90-93 Reading 1 推測する、語彙の確認、視覚を使ってコンテンツを予測する、飛ばし読み、主題を理解する、事前知識の使い方、コンテンツの予測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening &Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 pp.100-101 Language Development 動詞と名詞の形、健康関連用語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening &Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 6 Discovery and Invention pp.104-109 Reading 1 The Magic of Mimicry 情報検索、表の活用、語彙の確認、主題の理解、注釈のつけ方、推測、事前知識の活用、詳細の理解。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

6回	**授業テーマ：Listening &Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 6 Discovery and Invention pp.108-111 Reading 1 The Magic of Mimicry 情報検索、表の活用、語彙の確認、主題の理解、注釈のつけ方、推測、事前知識の活用、詳細の理解。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Listening &Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 6 pp.118-119 Language Development 助動詞を使用して予測を表現する、確率を表す副詞、接頭語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 5-6。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening &Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7 Fashion pp.122-127 Reading 1 Is fast fashion taking over? 事実と意見の区別、語彙の確認、事前知識の活用、主題を理解する、詳細を理解する、推測、飛ばし読み、情報の検索、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening &Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7 Fashion pp.126-129 Reading 1 Is fast fashion taking over? 事実と意見の区別、語彙の確認、事前知識の活用、主題を理解する、詳細を理解する、推測、飛ばし読み、情報の検索、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening &Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7 pp.136-137 Language Development ファッション業界の用語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening &Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 8 Economics pp.140-145 Reading 1 Investing: Two Alternatives to Consider 飛ばし読み、線グラフの読み取り方、語彙の確認、主題の理解、詳細の理解、推測、情報の検索、注釈のつけ方、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening &Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 8 Economics pp.144-147 Reading 1 Investing: Two Alternatives to Consider 飛ばし読み、線グラフの読み取り方、語彙の確認、主題の理解、詳細の理解、推測、情報の検索、注釈のつけ方、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening &Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 8 pp.154-155 Language Development 経済関連の名詞・形容詞、景気動向に関連する名詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening &Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7-8 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Grammar Ⅰ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

西村　美樹（にしむら　みき）・**濵﨑　潤之輔**（はまさき　じゅんのすけ）・**溝口　優美子**（みぞぐち　ゆみこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。GrammarI-a では、英文法の基礎学習に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させる上で必要な英文法の基礎を定着させる。

個別目標：英文法の基礎学習を生かして、基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

定期試験(中間・期末) 60%、授業参加状況・小テスト等 40%にて評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用ドリルに PC を使用する）

▌教科書

・佐藤誠司『SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons』(桐原書店)
・アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Entry】2000 語レベル』(アルク)

▌参考書

・佐藤誠司『SKYWARD 総合英語』(桐原書店)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Introduction, Pre-Lesson 5 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Grammar (1)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 27-28 文の種類 (1)(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Grammar (2)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 29-30 文の種類 (3)(4) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Grammar (3)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 31-33 動詞 (1)(2)(3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Grammar (4)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 34-35, Plus 1 名詞 (1)(2)(3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Grammar (5)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 36-38 代名詞 (1)(2)(3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Grammar (6)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 39-40 冠詞 (1)(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Pre Lesson 5,Lesson 27-40,『キクタン 2000』Week 1-7。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Grammar (7)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 41-42 形容詞 (1)(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

10回	**授業テーマ：Grammar (8)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Plus 2-3 形容詞 (3)(4) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Grammar (9)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 43-44 副詞 (1)(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Grammar (10)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 45-46 接続詞 (1)(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Grammar (11)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Plus 4 接続詞 (3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Grammar (12)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 47-48 前置詞 (1)(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Grammar (13)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Review 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Grammar Ⅰ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

傍島　由美子（そばじま　ゆみこ）・**濵﨑　潤之輔**（はまさき　じゅんのすけ）・**番場　直之**（ばんば　なおゆき）・**溝口　優美子**（みぞぐち　ゆみこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。GrammarI-b では、英文法の基礎学習に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させる上で必要な英文法の基礎を定着させる。

個別目標：英文法の基礎学習を生かして、基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

定期試験(中間・期末) 60%、授業参加状況・小テスト等 20 %、夏季休暇中の課題 20%にて評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用ドリルに PC を使用する）

▌教科書

・佐藤誠司『SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons』(桐原書店)
・アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Entry】2000 語レベル』(アルク)

▌参考書

・佐藤誠司『SKYWARD 総合英語』(桐原書店)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Introduction 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Grammar (1)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 1-2 時制 (1)(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Grammar (2)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 3-4 時制 (3)(4) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Grammar (3)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 5-7 助動詞 (1)(2)(3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Grammar (4)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 8-10 受動態 (1)(2)(3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：Grammar (5)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 11-12 不定詞 (1)(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7 回	**授業テーマ：Grammar (6)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 13-14 不定詞 (3)(4) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8 回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Lesson 1-14 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9 回	**授業テーマ：Grammar (7)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 15-16 動名詞と分詞 (1)(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

10回	**授業テーマ：Grammar (8)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 17-18 動名詞と分詞 (3)(4) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Grammar (9)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 19-20 関係詞 (1)(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Grammar (10)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 21 関係詞 (3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Grammar (11)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 22-24 比較 (1)(2)(3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Grammar (12)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Lesson 25-26 仮定法 (1)(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Grammar (13)** 授業内容：SKYWARD 総合英語 Extensive English Skills in 48 Lessons Review 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Grammar Ⅱ-a

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

濵﨑　潤之輔（はまさき　じゅんのすけ）・番場　直之（ばんば　なおゆき）・溝口　優美子（みぞぐち　ゆみこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Grammar II-a では、英文法の基礎固めと応用演習を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を更に向上させる上で必要な英文法の応用力を身に付ける。

個別目標：英文法の応用力を生かして、仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

定期試験(中間・期末) 60%、授業参加状況・小テスト等 40%にて評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Raymond Murphy『マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) 第 4 版』(Cambridge University Press)
アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Basic】4000 語レベル』(アルク)

▌参考書

佐藤誠司・長田哲文『ATLAS English Grammar and Expressions』(桐原書店)
その他、授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 1-4 現在進行形、単純現在形、現在進行形と単純現在形 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Grammar (1)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 5-8 単純過去、過去進行形、現在完了形、現在完了形と過去 (1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Grammar (2)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 9, Unit 11-13 現在完了進行形、How long have you (been)...?、for と since・When...?と How long...?、現在完了形と過去形 (2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Grammar (3)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 14-17 過去完了形、過去完了進行形、have と have got、used to+動詞の原形 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Grammar (4)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 18-21 未来の意味を表す現在時制、I'm going to (do)、will 1～2 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Grammar (5)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 22-24 I will と I'm going to、will be doing と will have done、when I do/when I've done、if と when（従属節内の時制） 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Grammar (6)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 25-28 can, could と (be) able to、could と could have、must と can't、may と might(1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 1～28 の授業内学習範囲 ＋『キクタン 4000』Week 1-5。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Grammar (7)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 30-33 have to と must、should、仮定法 (I suggest you do)、I'd better...、It's time... 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

10回	**授業テーマ：Grammar (8)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 35-37, Unit 39 Can/Could/Would you...?(要求・申し出・許可・勧誘)、if I do... と if I did...、if I knew...、I wish I knew...、wish の用法 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Grammar (9)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 40, Unit 42-44 受動態 1・3、It is said that...、He is said to...、He is supposed to...、have/get〜done 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Grammar (10)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 45-48 間接話法 1〜2、疑問文 1〜2 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Grammar (11)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 49-52 助動詞、付加疑問、動詞+ing、動詞+to 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Grammar (12)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 53-56 動詞(+目的語)+to ...、動詞 + -ing と動詞+to+動詞の原形 1〜3 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Grammar (13)** 授業内容：前学期の総復習と演習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Grammar Ⅱ-b

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

濵﨑　潤之輔（はまさき　じゅんのすけ）・**溝口　優美子**（みぞぐち　ゆみこ）・**山田　治**（やまだ　おさむ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Grammar II-b では、英文法の基礎固めと応用演習を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を更に向上させる上で必要な英文法の応用力を身に付ける。

個別目標：英文法の応用力を生かして、仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

定期試験(中間・期末) 60%、授業参加状況・小テスト等 20 %、夏季休暇中の課題 20%にて評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Raymond Murphy『マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) 第 4 版』(Cambridge University Press)
アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Basic】4000 語レベル』(アルク)

▌参考書

佐藤誠司・長田哲文『ATLAS English Grammar and Expressions』(桐原書店)
その他、授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 57-59 prefer と would rather、前置詞+-ing、be/get used to do ... 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Grammar (1)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 60-62 動詞+前置詞＋-ing、There is no point in -ing、It's worth -ing、to+動詞の原形(目的を表す表現) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Grammar (2)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 63-66 形容詞+to+動詞の原形、to+動詞の原形と前置詞+-ing、see ～ do と see ～ doing、-ing 句 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Grammar (3)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 67-70 可算名詞と不可算名詞 1～2、可算名詞の前に置く a/an や some、a/an と the 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Grammar (4)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 71-74 the の用法 1～4 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Grammar (5)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 77-79, Unit 81 単数か複数か注意すべき名詞、名詞+名詞で作られる名詞、-'s と of...、a friend of mine, my own house, on my own/by myself 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Grammar (6)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 82-85 there ... と it、some と any、no/none/any、nothing/nobody、much, many, little, few, a lot, plenty 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 57-85 の授業内学習範囲。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Grammar (7)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 86-89 all/all of, most/most of, no/none of, both/both of, neither/neither of, either/either of, all, every, whole 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

10回	**授業テーマ：Grammar (8)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 90-93 関係詞節 1〜4 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Grammar (9)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 95-98 -ing 句と-ed 句、-ing や-ed の語尾を持つ形容詞、形容詞の語順、形容詞と副詞 1 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Grammar (10)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 101-102, Unit 104-105 enough と too、比較 1・3、最上級 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Grammar (11)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 106-107, Unit 110-111 語順 1〜2、although/though/even though/in spite of/despte、in case 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Grammar (12)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 112-113, Unit 116-117 unless/as long as/provided、as の用法、during/for/while、by と until、by the time... 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Grammar (13)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 118, Unit 120-122 時を表す前置詞（at/on/in）、場所を表す前置詞（in/at/on）1〜3 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Writing Ⅰ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

西村　美樹（にしむら　みき）・**山田　治**（やまだ　おさむ）

▌授業の概要
英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。Writing I-a では、記述表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）
一般目標：英語 4 技能の実力を向上させる上で必要な英文 Writing の基礎力を身に付ける。
個別目標：英文 Writing の基礎学習を生かして、基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件
学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法
授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価して、S/A/B/C/D の評価を行う。

▌フィードバック方法
manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （学生の英作文の提出・教員の添削を manaba で行うことがある。）

▌教科書
松香洋子, Suzy Nachtsheim『TAGAKI Advanced 1 Three Reasons』(mpi 松香フォニックス)

▌参考書
授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 1 ”Apartments or Houses” 1) Think of three good points about houses. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Writing (1)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 2 ”Cash or Cashless” 1) Think of three good points about going cashless. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Writing (2)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 3 ”Cold Countries or Hot Countries” 1) Think of three good points about hot countries. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Writing (3)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 4 ”Country Life or City Life” 1) Think of three good points about city life. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Writing (4)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 5 ”Cycling or Running” 1) Think of three good points about running. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Writing (5)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 6 ”Digital Books or Paper Books” 1) Think of three good points about paper books. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Writing (6)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 7 ”Entrepreneurs or Artists” 1) Think of three good points about artists. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。第 1 回～第 7 回の授業で学修した範囲。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習

9回	**授業テーマ：Writing (7)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 8 ”Family Trips or School Trips” 1) Think of three good points about school trips. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Writing (8)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 9 ”Fingers or Chopsticks” 1) Think of three good points about chopsticks. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Writing (9)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 10 ”Free Clothes or School Uniforms” 1) Think of three good points about school uniforms. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Writing (10)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 11 ”Home-cooked Food or Fast Food” 1) Think of three good points about fast food. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Writing (11)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 12 ”Individual Sports or Team Sports” 1) Think of three good points about team sports. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Writing (12)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 13 ”Living Pets or Robot Pets” 1) Think of three good points about robot pets. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Writing (13)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 14 ”Making Phone Calls or Texting”, Unit 15 ”Night People or Morning People 1) Think of three good points about texting (Unit 14)/morning people (Unit 15). 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Writing Ⅰ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

西村　美樹（にしむら　みき）

▌授業の概要
英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。Writing I-b では、記述表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）
一般目標：英語 4 技能の実力を向上させる上で必要な英文 Writing の基礎力を身に付ける。
個別目標：英文 Writing の基礎学習を生かして、基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件
学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法
授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価して、S/A/B/C/D の評価を行う。

▌フィードバック方法
manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （学生の英作文の提出・教員の添削を manaba で行うことがある。）

▌教科書
松香洋子, Suzy Nachtsheim『TAGAKI Advanced 1 Three Reasons』(mpi 松香フォニックス)

▌参考書
授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 16 ”Online Schools or Regular Schools” 1) Think of three good points about regular schools. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Writing (1)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 17 ”Physical Sports or Esports” 1) Think of three good points about esports. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Writing (2)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 18 ”Real Views or Pictures” 1) Think of three good points about pictures. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Writing (3)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 19 ”Shopping at Stores or Online” 1) Think of three good points about online. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Writing (4)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 20 ”Short Hair or Long Hair” 1) Think of three good points about long hair. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Writing (5)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 21 ”Showers or Baths” 1) Think of three good points about baths. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Writing (6)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 22 ”Single-sex Schools or Co-ed Schools” 1) Think of three good points about co-ed schools. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。第 1 回～第 7 回の授業で学修した部分が範囲。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストテストの予習 事後学修 2.5hr：テストテストの復習

9回	**授業テーマ：Writing (7)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 23 ”Smart Friends or Good-looking Friends” 1) Think of three good points about good-looking friends. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Writing (8)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 24 ”Space Travel or Deep-Sea Travel” 1) Think of three good points about deep-sea travel . 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Writing (9)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 25 ”Spending Money or Saving Money” 1) Think of three good points about saving money. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Writing (10)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 26 ”Staying at a Hotel or Camping” 1) Think of three good points about camping. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Writing (11)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 27 ”Sunsets or Sunrises” 1) Think of three good points about sunrises. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Writing (12)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 28 ”Traveling Abroad or in my Country” 1) Think of three good points about traveling in my country. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Writing (13)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 29 ”Volunteer Work or Part-time Work”/Unit 30 ”Watching Movies at a Theater or at Home” 1) Think of three good points about part-time work (Unit 29)/watching movies at home (Unit 30). 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Writing Ⅱ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

菅原　千津（すがわら　ちづ）・**山田　治**（やまだ　おさむ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Writing II-a では記述表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を更に向上させる上で必要な英文 Writing の応用力を身に付ける。

個別目標：英文 Writing の応用力を生かして、仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価して、S/A/B/C/D の評価を行う。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学生の英作文の提出・教員の添削を manaba で行うことがある。）

▌教科書

松香洋子, Damien Pratt『TAGAKI Advanced 3 SDGs:Problems and Solutions』(mpi 松香フォニックス)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 1 ”No Poverty” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Writing (1)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 1 ”No Poverty” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Writing (2)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 2 ”Zero Hunger” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Writing (3)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 2 ”Zero Hunger” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Writing (4)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 3 ”Good Health and Well-being” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Writing (5)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 3 ”Good Health and Well-being” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

7回	**授業テーマ：Writing (6)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 4 ”Quality Education” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。第 1 回～第 7 回の授業で学修した部分が範囲。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Writing (7)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 5 ”Gender Equality” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Writing (8)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 5 ”Gender Equality” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Writing (9)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 6 ”Clean Water and Sanitation” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Writing (10)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 6 ”Clean Water and Sanitation” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Writing (11)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 7 ”Affordable and Clean Energy” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Writing (12)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 7 ”Affordable and Clean Energy” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Writing (13)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 8 ”Decent Work and Economic Growth” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Writing Ⅱ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

傍島　由美子（そばじま　ゆみこ）・**西村　美樹**（にしむら　みき）・**山田　治**（やまだ　おさむ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Writing II-b では記述表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を更に向上させる上で必要な英文 Writing の応用力を身に付ける。

個別目標：英文 Writing の応用力を生かして、仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

特に無し。

▌評価基準・方法

授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価して、S/A/B/C/D の評価を行う。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学生の英作文の提出・教員の添削を manaba で行うことがある。）

▌教科書

松香洋子, Damien Pratt『TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions』(mpi 松香フォニックス)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 9 ”Industry, Innovation and Infrastructure” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Writing (1)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 9 ”Industry, Innovation and Infrastructure” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Writing (2)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 10 ”Reduced Inequalities” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Writing (3)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 10 ”Reduced Inequalities” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Writing (4)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 11 ”Sustainable Cities and Communities” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Writing (5)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 11 ”Sustainable Cities and Communities” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

7回	**授業テーマ：Writing (6)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 12 ”Responsible Consumption and Production” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。第 1 回～第 7 回の授業で学修した部分が範囲。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Writing (7)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 13 ”Climate Action” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Writing (8)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 13 ”Climate Action” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Writing (9)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 14 ”Life below Water” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Writing (10)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 14 ”Life below Water” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Writing (11)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 15 ”Life on Land” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Writing (12)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 15 ”Life on Land” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Writing (13)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 16 ”Peace, Justice and Strong Institutions” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Speaking Ⅰ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

ジェイコブ　シェア・マーティン　クロウリー・ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。Speaking I-a では、口頭表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させるために必要な英語運用能力を身につける。

個別目標：基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

進級要件に定められた英語検定試験のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内で配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introduction Class &Conversations focusing on Present Tense #1 Introducing yourself 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Speaking (1)** 授業内容：Conversations focusing on Present Tense #2 Introducing someone else, What's new? 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Speaking (2)** 授業内容：Conversations focusing on Past Tense #3 What's new in the past, Talking about the past 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Speaking (3)** 授業内容：Conversations focusing on Past Tense #4 Talking about someone' s past, prepositions, Job interview 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Speaking (4)** 授業内容：Conversations focusing on Future Tense #5 What's new? Talking about the future 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Speaking (5)** 授業内容：Preparation for midterm exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：Midterm Exam 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
8回	**授業テーマ：Speaking (6)** 授業内容：Conversations focusing on Tense Mixing #6 What's new with mixed tenses 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：Speaking (7)** 授業内容：Conversations focusing on Present and Past Progressive Tenses #7 Present and past progressive tenses, Adverbs frequency and manner 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Speaking (8)** 授業内容：Conversations focusing on Present Perfect Tense #8 Present perfect, talking about unusual experiences, for and since 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

11回	**授業テーマ：Speaking (9)** 授業内容：Conversations focusing on Infinitives #9 Talking about orders, requests and obligations, used to &reminiscing 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Speaking (10)** 授業内容：Conversations focusing on Comparatives and Superlatives #10 Comparatives and superlatives, talking about things, and the best 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Speaking (11)** 授業内容：Preparation for Final Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：期末テスト** 授業内容：Final Exam 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
15回	**授業テーマ：Speaking (12)** 授業内容：Final Lesson/Sum Up and Final Exam Make-up-day 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Speaking Ⅰ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

ジェイコブ　シェア・マーティン　クロウリー・ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。Speaking I-b では、口頭表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させるために必要な英語運用能力を身につける。

個別目標：基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

進級要件に定められた英語検定試験のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト等を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内で配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introduction Class &Conversations focusing on Review + Directions #11 Grammar review, directions, and talking about a city 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Speaking (1)** 授業内容：Conversations focusing on Gerunds and Present Participles #12 Giving opinions of a variety of topics 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Speaking (2)** 授業内容：Conversations focusing on Phrasal Verbs #13 Interrogation and intensive questions with phrasal verbs 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Speaking (3)** 授業内容：Conversations focusing on Passive Speech #14 Explaining about something 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Speaking (4)** 授業内容：Conversations focusing on Reported Speech #15 Talking about what someone said 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Speaking (5)** 授業内容：Preparation for Midterm Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：Midterm Exam 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
8回	**授業テーマ：Speaking (6)** 授業内容：Conversations focusing on Possibility &Speculation #16 Speculation and possibility, giving information and advice 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：Speaking (7)** 授業内容：Conversations focusing on Conditional #17 Using conditionals to talk about suggestions 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Speaking (8)** 授業内容：Conversations focusing on Relative Clauses: Defining #18 Talking about specific people and things 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

11回	**授業テーマ：Speaking (9)** 授業内容：Conversations focusing on Relative Clauses: Non-Defining #19 Telling more about specific people and things 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Speaking (10)** 授業内容：Conversations focusing on Idioms #20 A brief introduction to idioms 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Speaking (11)** 授業内容：Preparation for Final Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：期末テスト** 授業内容：Final Exam 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
15回	**授業テーマ：Speaking (12)** 授業内容：Final Lesson/Sum up and Final Makeup Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Speaking Ⅱ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

ジェイコブ　シェア・マーティン　クロウリー・ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Speaking II-a では、口頭表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を更に向上させるために必要な英語運用能力を身につける。

個別目標：仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

進級要件に定められた英語検定試験のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内で配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introduction Class &Conversation Function: Talking About Travel #1 Explaining about vacations, and travel 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Speaking (1)** 授業内容：Conversation Function: Travel Agency #2 Suggesting and planning a trip at the travel agency 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Speaking (2)** 授業内容：Conversation Function: At the Airport #3 Going over an itinerary and checking in at the airport, security check 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Speaking (3)** 授業内容：Conversation Function: On the Plane #4 Request commands and boarding the plane, assisting passengers 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Speaking (4)** 授業内容：Conversation Function: Transferring Planes #5 Asking for information, giving advice, and explaining directions 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Speaking (5)** 授業内容：Preparation for Midterm Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：Midterm Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：Speaking (6)** 授業内容：Conversation Function: Immigration #6 Asking questions, going through immigration at the airport 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：Speaking (7)** 授業内容：Conversation Function: Car Rental Agency #7 Talking about renting a car 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Speaking (8)** 授業内容：Conversation Function: Checking in the Hotel #8 Checking in at the hotel with no problems, How to do something 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

11回	**授業テーマ：Speaking (9)** 授業内容：Conversation Function: Checking in the Hotel - Problems #9 Checking in at the hotel with problems, and apologizing 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Speaking (10)** 授業内容：Conversation Function: At the Hotel #10 Discussing possibilities and life changes 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Speaking (11)** 授業内容：Preparation for Final Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：期末テスト** 授業内容：Final Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Speaking (12)** 授業内容：Final Lesson/Sum up and Final Makeup Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Speaking Ⅱ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

ジェイコブ　シェア・ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Speaking II-b では、口頭表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を更に向上させるために必要な英語運用能力を身につける。

個別目標：仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

進級要件に定められた英語検定試験のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト等を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内で配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introduction Class &Conversation Function: Restaurant #11 Serving customers, and explaining about unknown food 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Speaking (1)** 授業内容：Conversation Function: Restaurant - Problems #12 Using reported speech to talk about problems 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Speaking (2)** 授業内容：Conversation Function: Concierge #13 Concierge helping with emergencies and using opinions 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Speaking (3)** 授業内容：Conversation Function: Tour #14 Using the passive voice to explain things on a tour 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Speaking (4)** 授業内容：Conversation Function: Temple of Dagon #15 Talking about what may happen in the future 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Speaking (5)** 授業内容：Preparation for Midterm Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：Midterm Exam 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
8回	**授業テーマ：Speaking (6)** 授業内容：Conversation Function: Trouble in Paradise #16 Explaining what happened using causative verbs 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：Speaking (7)** 授業内容：Conversation Function: Checking Out #17 Assisting customers checking out of their rooms 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Speaking (8)** 授業内容：Conversation Function: Checking Out - Problems #18 Checking out of a hotel with problems 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

11回	**授業テーマ：Speaking (9)** 授業内容：Conversation Function: Customs #19 Going through customs at the airport 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Speaking (10)** 授業内容：Conversation Function: Hospitality &Tourism Career #20 Talking about future careers in the HT industry 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Speaking (11)** 授業内容：Preparation for Final Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：期末テスト** 授業内容：Final Exam 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
15回	**授業テーマ：Speaking (12)** 授業内容：Final Lesson/Sum Up and Final Makeup Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Advanced English skills A

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

マーティン　クロウリー・ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

ホスピタリティ・ツーリズム業界での中上級レベルの英語を使用したコミュニケーション能力の向上を目指す。前半ではホスピタリティ・ツーリズム業界での特有の英語表現、丁寧な英語の使い方などを学ぶ。後半はホスピタリティ・ツーリズム業界での英語による面接を念頭に置き、口頭表現、表現力などの学修を行う。授業のスケジュール、内容などは授業のニーズに応じて変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：中上級レベルの英語力と、ホスピタリティ・ツーリズム業界での英語によるコミュニケーション能力の習得

個別目標：・平易な英語、フォーマルな英語でホスピタリティ・ツーリズム業界の話題が表現できる。
・ホスピタリティ・ツーリズム業界に関連した話題について、中上級レベルの英語で議論することができる。
・ホスピタリティ・ツーリズム業界の用語を英語で学習し、就職面接などに対応する能力を身につける。

▌履修条件

・最大人数 25 人とする。
・履修登録者数が 25 人を超えた場合には履修登録者の選抜を行うので、第 1 回授業には必ず出席すること。
・Speaking I-a/I-b、Writing I-a/b の 4 科目を履修済みであること。
・上記の要件を満たさないものの当該科目の履修を希望する学生は、担当教員と面談して履修の可否を判断してもらうこと。

▌評価基準・方法

期末テスト、授業への参加・貢献度、レポート、小テストなどを総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業資料を配信する。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction Class, Presentation 1：Casual/Formal How to do Something** 授業内容：Introduction to the class. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
2 回	**授業テーマ：Presentation 2: Casual Explanation** 授業内容：Explaining casually. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
3 回	**授業テーマ：Presentation 3: Formal Explanation** 授業内容：Explaining formally. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
4 回	**授業テーマ：Presentation 4: Business Report** 授業内容：Making a business report. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
5 回	**授業テーマ：Presentation 5: Real Debate** 授業内容：constructing a debate. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
6 回	**授業テーマ：Preparation and Midterm Exam** 授業内容：Write for the exam. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
7 回	**授業テーマ：Preparation and Midterm Exam** 授業内容：Practice for the exam. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
8 回	**授業テーマ：Debate 1: Casual/Formal　'Expressing Opinions'** 授業内容：How to express an opinion in a casual and formal way. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
9 回	**授業テーマ：Debate 2: Casual/　'Formal Discussions'** 授業内容：How to discuss in both a casual and formal way. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
10 回	**授業テーマ：Debate 3: Casual Acceptance/Refusal** 授業内容：How to accept or decline in a casual way. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review

11回	**授業テーマ：Debate 4: Formal Acceptance/Refusal** 授業内容：How to accept or decline in a formal way. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
12回	**授業テーマ：Debate 5: Real Debate** 授業内容：Debate practice. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
13回	**授業テーマ：Preparation and Final Exam** 授業内容：Write for the final exam. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
14回	**授業テーマ：Final Lesson and Final Exam Make-up-day** 授業内容：Speaking exam. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
15回	**授業テーマ：Final Lesson and Final Exam Make-up-day** 授業内容：Final exams and make up exams. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review

Advanced English skills B

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

ジェイコブ　シェア

▌授業の概要

ホスピタリティ・ツーリズム業界での中上級レベルの英語を使用したコミュニケーション能力の向上を目指す。前半ではホスピタリティ・ツーリズム業界での特有の英語表現、丁寧な英語の使い方などを学ぶ。後半はホスピタリティ・ツーリズム業界での英語による面接を念頭に置き、口頭表現、表現力などの学修を行う。授業のスケジュール、内容などは授業のニーズに応じて変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：中上級レベルの英語力と、ホスピタリティ・ツーリズム業界での英語によるコミュニケーション能力の習得
個別目標：・平易な英語、フォーマルな英語でホスピタリティ・ツーリズム業界の話題が表現できる。
・ホスピタリティ・ツーリズム業界に関連した話題について、中上級レベルの英語で議論することができる。
・ホスピタリティ・ツーリズム業界の用語を英語で学習し、就職面接などに対応する能力を身につける。

▌履修条件

・最大人数 25 人とする。
・履修登録者数が 25 人を超えた場合には履修登録者の選抜を行うので、第 1 回授業には必ず出席すること。
・Speaking I-a/I-b、Writing I-a/b の 4 科目を履修済みであること。
・上記の要件を満たさないものの当該科目の履修を希望する学生は、担当教員と面談して履修の可否を判断してもらうこと。

▌評価基準・方法

期末テスト、授業への参加・貢献度、レポート、小テストなどを総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業資料を配信する。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction Class, The World of H&T: Travel Agency** 授業内容：Introduction Class &The World of H&T: Travel Agent Brainstorming the pros and cons of being a travel agent 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
2 回	**授業テーマ：The World of H&T: Flight Attendant** 授業内容：The World of H&T: Flight Attendant Brainstorming the pros and cons of being a flight attendant 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
3 回	**授業テーマ：The World of H&T: Tour Guide** 授業内容：The World of H&T: Tour Guide Brainstorming the pros and cons of being a tour guide 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
4 回	**授業テーマ：The World of H&T: Hotel Jobs** 授業内容：The World of H&T: Hotel Jobs Brainstorming the pros and cons of working at a hotel 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
5 回	**授業テーマ：The World of H&T: Airport Jobs** 授業内容：The World of H&T: Airport Jobs Brainstorming the pros and cons of working in an airport 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
6 回	**授業テーマ：Preparation and Midterm Exam** 授業内容：Preparation for Midterm Exam (Interview about Imagined Job that the student's have chosen) 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
7 回	**授業テーマ：Midterm Exam** 授業内容：Midterm Exam (Interview about Imagined Job that the student's have chosen) 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
8 回	**授業テーマ：Job Interview 1: The Good Interview and the Bad Interview** 授業内容：Job Interview 1: Good/Bad Interview and Midterm Makeup Exam Talking about the keys to having a good job interview 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
9 回	**授業テーマ：Job Interview 2:　'Tell me about yourself-question'** 授業内容：Job Interview 2: Preparation +　'Tell me about yourself-question' Preparing for the tell me about yourself part of the job interview question 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review

10回	**授業テーマ：Job Interview 3: Questions &Answers** 授業内容：Job Interview 3: Questions &Answers Practicing common job interview questions and how to answer them. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
11回	**授業テーマ：Job Interview 4: Overall View** 授業内容：Job Interview 4: Overall View A step-by-step overview of the job interview process. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
12回	**授業テーマ：Job Interview 5: Overcoming Speaking Problems** 授業内容：Job Interview 5: Overcoming Speaking Problems A review of common problems in job interview, and how to overcome 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
13回	**授業テーマ：Preparation for Final Exam** 授業内容：Preparation for Final Exam (Interview: Applying for Job of the student's choice) 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
14回	**授業テーマ：Final Exam (Interview: Applying for Job)** 授業内容：Final Exam (Interview: Applying for Job) (Interview: Applying for Job of the student's choice) 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
15回	**授業テーマ：Final Lesson/Sum Up and Final Makeup Exam** 授業内容：Final Lesson/Sum Up and Final Makeup Exam 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review

Advanced English skills C

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

番場　直之（ばんば　なおゆき）

▌授業の概要

TOEIC Listening &Reading テストの学習にバランスよく取り組みながら、英語を正しく聴き取り、読み取る力をつける。英語を正しく発音する力と共に、語彙力、文法力、読解力を養っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：TOEIC Listening &Reading テストで 650 点以上のスコアを取得する英語力を身につける。

個別目標：・リスニング問題を解くためのスキルを身につける。
・TOEIC の頻出語句を覚える。
・問題演習を通して文法力を鍛える。
・英文の音読とシャドーイングを通して速読力を養う。

▌履修条件

2 年生までの進級条件を満たしていること。

▌評価基準・方法

TOEIC Listening &Reading 公開テストのスコア取得状況(650 点以上) と、授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価して単位を認定する。

▌フィードバック方法

小テストの返却や課題等のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （小テストやフィードバック等で使用する。）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

開講時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：TOEIC の概要と学習法についての説明 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening &Reading 1** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening &Reading 2** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening &Reading 3** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening &Reading 4** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(4) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：Listening &Reading 5** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(5) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7 回	**授業テーマ：Listening &Reading 6** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(6) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8 回	**授業テーマ：Listening &Reading 7** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
9 回	**授業テーマ：Listening &Reading 8** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10 回	**授業テーマ：Listening &Reading 9** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11 回	**授業テーマ：Listening &Reading 10** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(4) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：Listening &Reading 11** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(5) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening &Reading 12** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(6) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening &Reading 13** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　総復習(1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening &Reading 14** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　総復習(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Advanced English skills C

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

濱﨑　潤之輔（はまさき　じゅんのすけ）

▌授業の概要

TOEIC Listening &Reading テストの学習にバランスよく取り組みながら、英語を正しく聴き取り、読み取る力をつける。英語を正しく発音する力と共に、語彙力、文法力、読解力を養っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：TOEIC Listening &Reading テストで 650 点以上のスコアを取得する英語力を身につける。

個別目標：・リスニング問題を解くためのスキルを身につける。
・TOEIC の頻出語句を覚える。
・問題演習を通して文法力を鍛える。
・英文の音読とシャドーイングを通して速読力を養う。

▌履修条件

2 年生までの進級条件を満たしていること。

▌評価基準・方法

TOEIC Listening &Reading 公開テストのスコア取得状況(650 点以上) と、授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価して単位を認定する。小テストの返却、manaba の個別指導コレクション等を通じて適宜フィードバックする。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （小テストやフィードバック等で使用する。）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

開講時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：TOEIC の概要と学習方法についての説明 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening &Reading 1** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening &Reading 2** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening &Reading 3** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening &Reading 4** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(4) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：Listening &Reading 5** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(5) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7 回	**授業テーマ：Listening &Reading 6** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(6) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8 回	**授業テーマ：Listening &Reading 7** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
9 回	**授業テーマ：Listening &Reading 8** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10 回	**授業テーマ：Listening &Reading 9** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11 回	**授業テーマ：Listening &Reading 10** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(4) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：Listening &Reading 11** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(5) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening &Reading 12** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(6) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening &Reading 13** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　総復習(1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening &Reading 14** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　総復習(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Advanced English skills E

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

ジェイコブ　シェア

▌授業の概要

In this class we will look at themed entertainment (テーマ・エンターテイメント) around the world. Each class will focus on a reading on the class topic. A combination of using English communication skills of reading, writing and discussion on the topic. For example, why is Disney so successful?

CEFR B2 レベル(自立した言語使用者)並みの英語運用能力を有する学生向けに、より高度なコミュニケーション能力を養成するために開講する授業。4 技能のうち、「読む」(Reading)を中心に学習するが、併せて「読む」以外の 3 技能(「聞く」「話す」「書く」についても運用能力を底上げすることを目指す。

Lesson schedule may change order or topic depending on class needs. 授業のスケジュール、内容などは授業のニーズに応じて変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：CEFR C1 レベルの「熟練した言語使用者」として、学問上又は職業上のより難易度の高い英語に触れ、理解できる能力を身につける。
Students will be able to research topics related to themed entertainment.

個別目標：いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できること。
Students are encouraged to bring ideas, and research on class topics.

▌履修条件

・最大人数 25 人とする。
・履修登録者数が 25 人を超えた場合には履修登録者の選抜を行うので、第 1 回授業には必ず出席すること。
・Speaking I-a/I-b、Writing I-a/b の 4 科目を履修済みであること。
・ Students should have a desire to communicate in English.
・上記の要件を満たさないものの当該科目の履修を希望する学生は、担当教員と面談して履修の可否を判断してもらうこと。
・課題等のフィードバックは、manaba を通して行う。
・Students should have the desire to communicate in English

▌評価基準・方法

期末テスト、授業への参加・貢献度、レポート、小テストなどを総合的に評価する。
There will be some in class and semester projects.

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （group work and research）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （no, but smartphone or tablet is very useful）

▌教科書

The instructor will provide prints for each lesson.

▌参考書

授業内で紹介する/in class Internet research

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction /Reading 1** 授業内容：Reading on Universal Studios Japan 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
2 回	**授業テーマ：Reading 1** 授業内容：Reading on Universal Studios Japan 事前学修 0.5hr：lecture on the topic 事後学修 1.0hr：group work
3 回	**授業テーマ：Reading 2** 授業内容：Reading on Disney Imagineers 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
4 回	**授業テーマ：Reading 3** 授業内容：Reading on themed restaurants 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
5 回	**授業テーマ：Reading 4** 授業内容：Reading on themed restaurants part 2 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
6 回	**授業テーマ：Preparation for project or exam** 授業内容：Students in groups or individually will prepare their project. 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
7 回	**授業テーマ：Project or Exam** 授業内容：Students in groups or individually will present their project. 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
8 回	**授業テーマ：Reading 6** 授業内容：Reading on shopping as entertainment, Ikea case study 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group Work

9回	**授業テーマ：Reading 7** 授業内容：Reading on music entertainment business in Japan 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
10回	**授業テーマ：Reading 8** 授業内容：Reading on the popularity of instagramable food 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group Work
11回	**授業テーマ：Reading 9** 授業内容：Reading on airports as entertainment 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
12回	**授業テーマ：Reading 10** 授業内容：Reading on the future of media and social media 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
13回	**授業テーマ：Preparation for exam or project** 授業内容：Students in groups or individually prepare for there final project. 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
14回	**授業テーマ：Exam or project** 授業内容：Students present their final projects. 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
15回	**授業テーマ：Review up of the course** 授業内容：Students will sum up, and give feedback on the course. 事前学修 1.0hr：Group work 事後学修 0.5hr：Group work

Advanced English skills F

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

マーティン　クロウリー

▌授業の概要

In this class we will look at themed entertainment (テーマ・エンターテイメント) around the world. Each class will focus on a exploring the creation of different kinds of themed entertainment.A combination of English skills focusing on discussion and creation of original ideas on the topic. For example, What makes souvenirs, rides so popular? CEFR B2 レベル(自立した言語使用者)並みの英語運用能力を有する学生向けに、より高度なコミュニケーション能力を養成するために開講する授業。4 技能のうち、「読む」(Reading)を中心に学習するが、併せて「読む」以外の 3 技能(「聞く」「話す」「書く」についても運用能力を底上げすることを目指す。Lesson schedule may change order or topic depending on class needs. 授業のスケジュール、内容などは授業のニーズに応じて変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：CEFR C1 レベルの「熟練した言語使用者」として、学問上又は職業上のより難易度の高い英語に触れ、理解できる能力を身につける。
Students will be able to use English to discuss topics related to themed entertainment.

個別目標：いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できること。
Students are encouraged to express themselves through study of topics they are interested in.

▌履修条件

・最大人数 25 人とする。
・履修登録者数が 25 人を超えた場合には履修登録者の選抜を行うので、第 1 回授業には必ず出席すること。
・Speaking I-a/I-b、Writing I-a/b の 4 科目を履修済みであること。
* A desire to use English for communication
・上記の要件を満たさないものの当該科目の履修を希望する学生は、担当教員と面談して履修の可否を判断してもらうこと。
・課題等のフィードバックは、manaba を通して行う。

▌評価基準・方法

Focusing on team, and or individual themed entertainment ideas through writing.
期末テスト、授業への参加・貢献度、レポート、小テストなどを総合的に評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （group work and research）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （no, but smartphone or tablet is very useful）

▌教科書

The instructor will provide prints for each lesson.

▌参考書

授業内で紹介する/in class Internet research

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：01 Introduction /What is themed entertainment?** 授業内容：a brief history of themed entertainment 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
2 回	**授業テーマ：02 The Attractions** 授業内容：Learning about the different kinds of attractions 事前学修 0.5hr：lecture on the topic 事後学修 1.0hr：group work
3 回	**授業テーマ：03 Attraction Case Study (Pirates of the Caribbean)** 授業内容：Learning about the uniqueness of the Pirates of the Caribbean 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
4 回	**授業テーマ：04 Themed Restaurants and Food** 授業内容：Discussion about the history of themed food, and restaurants. 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
5 回	**授業テーマ：05 Souvenirs and Gifts** 授業内容：Researching what makes a successful souvenir and gift 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
6 回	**授業テーマ：Preparation for project or exam** 授業内容：preparing individual, and or group projects 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
7 回	**授業テーマ：Project or Exam** 授業内容：Presenting individual, and or group projects 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
8 回	**授業テーマ：06 Creation of an Original Souvenir** 授業内容：through research and team students will create an original souvenir 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group Work
9 回	**授業テーマ：07 Creation of an Original Attraction** 授業内容：Students working in teams 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work

10回	**授業テーマ：08 Creation of an Original Food item /Menu** 授業内容：Focus in on the creation of an original food, or menu item 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group Work
11回	**授業テーマ：09 Store Layout** 授業内容：How are stores designed to be enjoyable and get customers to spend money while enjoying shopping. 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
12回	**授業テーマ：10 Press Release** 授業内容：Creating a press release for one of the items created in the class. 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
13回	**授業テーマ：Preparation for exam or project** 授業内容：students in groups or individually prepare their project 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
14回	**授業テーマ：Exam or project** 授業内容：students in groups or individually present their project. Students are encouraged to give feedback to their classmates. 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
15回	**授業テーマ：Review up of the course** 授業内容：students receive and give feedback on the course and other students projects. 事前学修 1.0hr：Group work 事後学修 0.5hr：Group or individual work

パーソナル・コミュニケーションリテラシーⅠ／ホテルサービス論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

阿部　佳 (あべ　けい)

▌授業の概要

ホテルサービスの基礎を知り、プロのサービスコミュニケーションの基本姿勢を身につけることを目的とする。
ホテルサービスの仕事内容、およびそれぞれのシーンでのプロのコミュニケーションについての講義に加え、その理解を深めるためのグループワーク、個人課題、プレゼンテーション等、参加型で研究、考察する。
授業内容、スケジュールは、諸条件、状況により、変更する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、HTM1）

一般目標：ホテルサービスの基礎を知り、プロのサービスコミュニケーションの基本姿勢と知識、スキルを身につける。
個別目標：・ホテルサービスの概要を知る
・プロのサービスの場面において、相手の真意を理解することの意味を知る
・ホテルにおけるプロのコミュニケーションの効率的な方法を知る

▌履修条件

プロのコミュニケーションを身につける意欲があり、授業、課題に積極的に取り組むこと

▌評価基準・方法

・課題・レポート・プレゼンテーション・各種テスト等 80 %
授業内でのディスカッション・ワーク等への参加姿勢、積極的発言 20 %　を基本として総合評価。
・出席 80 %、期限内の課題提出 80 %は必須。

▌フィードバック方法

課題、ワーク等に対しては、全員の参考になるように、授業においてポイントを共有し、フィードバックする

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション準備）

▌教科書

使用しない

▌参考書

適宜紹介

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・ホテルサービスの概論** 授業内容：この授業の目的とプランの説明。 ホテルの仕事全般の概論講義 事前学修 2.0hr：ホテルについて自分が知っていることをまとめておく 事後学修 2.0hr：授業の趣旨、概要についての自身の理解確認と疑問点の整理
2回	**授業テーマ：ホテルサービスの特性** 授業内容：ホテルのサービスの特性を、グループディスカッションで考えたうえで講義で整理、理解する 事前学修 2.0hr：ホテルサービスの特性を考えておく 事後学修 2.0hr：ホテルサービスの特性についての自身の理解確認と疑問点の整理
3回	**授業テーマ：ホテルサービスにおけるコミュニケーションの役割** 授業内容：ホテルサービスにおいてコミュニケーションはどういう役割を果たすのか、講義とグループディスカッション 事前学修 2.0hr：ホテルサービスにはどんなコミュニケーションが必要かを考えておく 事後学修 2.0hr：ホテルサービスにおけるコミュニケーションの役割と意味についての自身の理解確認と疑問点の整理
4回	**授業テーマ：ホテル組織のいろいろとさまざまなコミュニケーション** 授業内容：さまざまなホテル組織、およびそれによって生じるコミュニケーションについての講義 事前学修 2.0hr：ホテルの組織について知っていることをまとめておく 事後学修 2.0hr：さまざまなホテル組織についての自身の理解確認と疑問点の整理
5回	**授業テーマ：フロントサービスのサービスとコミュニケーション** 授業内容：フロントサービスの仕事とコミュニケーションを具体的に知るためのグループディスカッションと講義 事前学修 2.0hr：フロントサービスの仕事とそこにどんなコミュニケーションがあるかを想像し、まとめておく 事後学修 2.0hr：フロントサービスの仕事とコミュニケーションについての自身の理解確認と疑問点の整理
6回	**授業テーマ：フロントデスクのサービスとコミュニケーション** 授業内容：フロントデスクの仕事とコミュニケーションを具体的に知るためのグループディスカッションと講義 事前学修 2.0hr：フロントデスクの仕事とそこにどんなコミュニケーションがあるかを想像し、まとめておく 事後学修 2.0hr：フロントデスクの仕事とコミュニケーションについての自身の理解確認と疑問点の整理
7回	**授業テーマ：ハウスキーピングのサービスとコミュニケーション** 授業内容：ハウスキーピングの仕事とコミュニケーションを具体的にを知るためのグループディスカッションと講義 事前学修 2.0hr：ハウスキーピングの仕事とそこにどんなコミュニケーションがあるかを想像し、まとめておく 事後学修 2.0hr：ハウスキーピングの仕事とコミュニケーションについての自身の理解確認と疑問点の整理
8回	**授業テーマ：インフォメーションサービスとコミュニケーション** 授業内容：インフォメーションサービスの仕事とコミュニケーションを具体的に知るための講義とグループディスカッション 事前学修 2.0hr：インフォメーションサービスの仕事とそこにどんなコミュニケーションがあるかを想像し、まとめておく 事後学修 2.0hr：インフォメーションサービスの仕事とコミュニケーションについての自身の理解確認と疑問点の整理
9回	**授業テーマ：コンシェルジュのサービスとコミュニケーション** 授業内容：コンシェルジュの仕事とコミュニケーションを具体的に知るための講義とグループディスカッション 事前学修 2.0hr：コンシェルジュの仕事とそこにどんなコミュニケーションがあるかを想像し、まとめておく 事後学修 2.0hr：コンシェルジュの仕事とコミュニケーションについての自身の理解確認と疑問点の整理
10回	**授業テーマ：ホテルレストランのサービスとコミュニケーション** 授業内容：ホテルのレストランの仕事と、そこでのコミュニケーションの実態とスキルを知るためのグループディスカッションと講義 事前学修 2.0hr：ホテルレストランの仕事とコミュニケーションを想像し、まとめておく 事後学修 2.0hr：ホテルレストランのサービスとコミュニケーションについての自身の理解確認と疑問点の整理

11回	**授業テーマ：ホテル宴会部門のサービスとコミュニケーション** 授業内容：ホテルの宴会部門の仕事と、そこでのコミュニケーションの実態とスキルを知るためのグループディスカッションと講義 事前学修 2.0hr：ホテル宴会部門の仕事とコミュニケーションを想像し、まとめておく 事後学修 2.0hr：ホテル宴会部門の仕事とコミュニケーションについての自身の理解確認と疑問点の整理
12回	**授業テーマ：サービス現場におけるプロのコミュニケーション** 授業内容：ホテルマンをゲストスピーカーに招き、ホテル内のサービスコミュニケーションの基本について、実情を聴く 事前学修 2.0hr：実社会での仕事、コミュニケーションについての質問をまとめておく 事後学修 2.0hr：ホテルサービスの実態について自身の理解確認と疑問点の整理
13回	**授業テーマ：インバウンド受入れのサービスとコミュニケーション** 授業内容：インバウンドゲストに対するサービススキル、コミュニケーションのポイントについての講義 事前学修 2.0hr：インバウンドゲストに対するサービス、コミュニケーションの特徴を考え、まとめておく 事後学修 2.0hr：インバウンドゲストとのコミュニケーションについての自身の理解確認と疑問点の整理
14回	**授業テーマ：ホテルサービスにおけるパーソナルコミュニケーションのための知識** 授業内容：ホテルサービスにおけるコミュニケーションの役割と責任についての講義とワーク 事前学修 2.0hr：これまでの授業で知ったホテル各部門のサービスを復習しておく 事後学修 2.0hr：ホテルサービスにおけるパーソナルコミュニケーションについての自身の理解確認と疑問点の整理
15回	**授業テーマ：まとめ―上質なパーソナルコミュニケーション** 授業内容：ホスピタリティ産業全般におけるプロのサービスコミュニケーションについてのまとめと復習 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を復習しておく 事後学修 2.0hr：プロのホスピタリティ全般におけるコミュニケーションについてまとめ、理解を明確にする

パーソナル・コミュニケーションリテラシーⅡ／エアラインサービス論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

エアラインで日々交わされているコミュニケーション場面を切り取り、場面ごとに必須なコミュニケーションやその特徴を学び、基本的なコミュニケーション知識やスキルを身につける。そのために特にコミュニケーションの機会が多い国際線フルサービス路線の利用を前提として、航空旅行の流れを順に追って、旅行前、空港、機内、旅行後に交わされているコミュニケーションを取り上げる。そこではエアラインスタッフと顧客とのコミュニケーションに限らず、エアライン組織内や同僚同士でのコミュニケーションも含めて多岐にわたってカバーする。また一人一人が企業研究として世界のエアラインを調べ発表する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、HTM1）

一般目標：エアラインを利用する、あるいはエアラインで働く際に必要となる基本的なコミュニケーション知識を学ぶ。そして実際に顧客になって、あるいはスタッフになって伝える内容を考え、コミュニケーションの重要性を理解する。

個別目標：高度で効果的なパーソナル・コミュニケーションを実行できるようにするため

・場面ごとに相手が何を伝えようとしているのか的確に理解できるようになる。(読む・聞く)

・自分が伝えたい考えや意図を整理し効果的な方法で伝えることができる。(書く・話す)

▌履修条件

航空業界に興味があり、そこでのコミュニケーションスキルを学びたい学生

▌評価基準・方法

- 定期試験 50 %(マークシート 40 %、記述 10 %)、発表 20%、課題 20 %、授業への貢献、受講態度等 10 %。
- 原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
- 最終評価は到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

定期試験のフィードバックは、学修支援システム Manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、ロールプレイ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポン、発表、試験）

▌教科書

教科書は使用せず、講義資料を提示する。

▌参考書

授業中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、および国際線航空旅行の流れ** 授業内容：講義の内容、流れ、評価方法の説明。また国際線の航空旅行の流れをチケット購入から確認する。 事前学修 2.0hr：講義内容を予め確認し、航空会社が提供しているサービスを調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2回	**授業テーマ：民間航空旅行の歴史** 授業内容：現在のエアラインサービスを理解するうえで、これまでの航空機による民間旅行の歴史を確認し、そのサービスの変遷を学ぶ。 事前学修 2.0hr：民間航空旅行の始まりを調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：チケット購入とチェックイン** 授業内容：航空機を利用するにあたり、まず航空券を購入する必要がある。航空券購入のやり方をいくつか実際に試して料金を確認する。またオンラインチェックインについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空会社のウェブサイトで自分の行きたい空港までのチケット料金を調べる。 事後学修 2.0hr：出発前に行われるコミュニケーションを整理する。
4回	**授業テーマ：空港①-　チェックイン、ラウンジ、ゲート** 授業内容：空港でのチェックイン、空港ラウンジ、そして搭乗ゲートでの手続きやコミュニケーションを確認し、基本的なコミュニケーションを身につける。 事前学修 2.0hr：空港で行われるコミュニケーションを想定して書き出しておく。 事後学修 2.0hr：実際に空港で交わされているコミュニケーションを理解し整理する。
5回	**授業テーマ：グランドスタッフの役割** 授業内容：冒頭学生発表。グランドスタッフが実際にどこでどのような役割を担い、そしてどのようなコミュニケーションをとっているのかを学び、自分がそこで働いていることを想像し、同僚とのあるいはチームとしてのコミュニケーションの重要性を理解する。 事前学修 2.0hr：空港グランドスタッフの仕事内容を調べておく。 事後学修 2.0hr：空港グランドスタッフ同士のコミュニケーションをまとめる。
6回	**授業テーマ：客室乗務員①　採用から初飛行まで** 授業内容：冒頭学生発表。客室乗務員の採用の様子、訓練の様子、そして初飛行までの様子を確認し、実際の客室乗務員になるまでの流れと必要な資質を理解する。 事前学修 2.0hr：いくつかの航空会社の採用条件を確認しておく。 事後学修 2.0hr：客室乗務員になるまでのプロセスをまとめ理解する。
7回	**授業テーマ：客室乗務員②　通常フライト** 授業内容：冒頭学生発表。通常フライトにおける客室乗務員の役割を理解し、お客様にどのような応対をしているのかを学び理解する。 事前学修 2.0hr：飲食サービスでのコミュニケーションを想定し書き出しておく。 事後学修 2.0hr：実際の飲食サービスでのコミュニケーションを理解し整理する。
8回	**授業テーマ：客室乗務員③　役割とライフスタイル** 授業内容：冒頭学生発表。客室乗務員に求められているその他の役割や、そのライフスタイルを理解し、客室乗務員に求められているスキルや能力を学び理解する。 事前学修 2.0hr：客室乗務員のサービス要員と保安要員以外の面を確認しておく。 事後学修 2.0hr：客室乗務員に必要な資質や能力をまとめる。
9回	**授業テーマ：空港②　グランドハンドリング他** 授業内容：冒頭学生発表。グランドハンドリングの職種を理解し、飛行機がどのようにして到着や出発が可能になっているのかを理解する。 事前学修 2.0hr：グランドハンドリングという職種を調べておく。 事後学修 2.0hr：グランドハンドリングについてその役割をまとめる。

10回	**授業テーマ：ゲストスピーカー** 授業内容：冒頭学生発表。航空関係で働いてる方をゲストスピーカーで招聘し、仕事内容や求める資質について話をしてもらう。 事前学修 2.0hr：ゲストスピーカーの航空会社が分かったらその会社について調べておく。 事後学修 2.0hr：話してもらった内容をまとめる。
11回	**授業テーマ：ゲストスピーカー(外資系航空会社)** 授業内容：冒頭学生発表。外資系航空会社で働いている方をゲストスピーカーとして招聘し、日本の航空会社との違い、企業文化、求められる資質、国際的なコミュニケーションの特徴について話をしていただく。国内航空会社との比較を通して、グローバルな視点での航空業界の理解を深める。 事前学修 2.0hr：ゲストスピーカーの所属航空会社について調べ、日本の航空会社との違いを整理しておく。 事後学修 2.0hr：講話内容をまとめ、日本の航空会社との比較を行い、外資系航空会社に求められるコミュニケーションの特徴を整理する。
12回	**授業テーマ：LCC と日本の航空会社** 授業内容：冒頭学生発表。LCC について、その特徴やフルサービスのエアラインとの違いを学び、日本の主なエアラインをピックアップして違いを理解する。 事前学修 2.0hr：LCC とは何かを調べておく。 事後学修 2.0hr：LCC の特徴をまとめる。
13回	**授業テーマ：空港業務とアライアンス** 授業内容：冒頭学生発表。空港業務(入国、検疫、税関)の全体像を理解する。また航空アライアンスの役割や空港での共同運営体制を学び、アライアンスがサービス提供や顧客利便性に与える影響について理解する。 事前学修 2.0hr：空港業務の種類と、主要な航空アライアンスについて調べておく。 事後学修 2.0hr：空港業務とアライアンスの関係性を整理し、顧客視点からのメリットをまとめる。
14回	**授業テーマ：時差と国際線運航** 授業内容：冒頭学生発表。国際線運航における時差の概念、標準時、サマータイムの仕組みを理解する。実際のフライトスケジュールを用いて時差計算を行い、出発地と到着地の時間差を正確に把握する力を養う。また、時差が運航管理や乗務員の業務に与える影響について考察する。 事前学修 2.0hr：主要都市の標準時とサマータイムの有無を調べておく。 事後学修 2.0hr：時差計算問題を復習し、国際線運航における時間管理の重要性を整理する。
15回	**授業テーマ：お客様の声と PR** 授業内容：冒頭学生発表。航空会社に寄せられるお客様の声からエアラインに求められているサービスの本質を理解する。またエアライン各社がお客様に発信しているメッセージを過去の CM や現在の SNS から確認し、お客様が求めていることとの相違を理解する。 事前学修 2.0hr：SNS で各エアラインの発信を確認しておく。 事後学修 2.0hr：この会の内容を含め、エアライン全体での役割や求められていることをまとめる。

パーソナル・コミュニケーション探究 A（ビジネスネットワーキング）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

阿部　佳（あべ　けい）

▌授業の概要

プロのパーソナルコミュニケーションに必要なスキルや知識を身に着け、実社会で実践できるようになることを目的とする。また本科目はホスピタリティ・ツーリズム産業研究 B（コンシェルジュ／ビジネスネットワーキング）とのダブルカリキュラムであり、その両面の内容を併せ持つ。
ホスピタリティ産業は、広い業種にかかわる世界共通の産業であり、その業務は多岐にわたる。また観光先進国を目指す日本では、今後ますます重視されることは間違いない。この授業では、ホスピタリティ提供の専門職といわれる「コンシェルジュ」を教材に、ホスピタリティのプロに必要なパーソナルコミュニケーションを参加型で身につけると共に、その実践に不可欠なプロのネットワークについて正しく理解する。
授業内容、スケジュールは、諸条件・状況により、変更する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3）

一般目標：・プロのパーソナルコミュニケーションスキルや、そのために必要な知識を得る
・ホスピタリティを理解し、パーソナルコミュニケーションを身につける
・その実践に不可欠なビジネスネットワークの役割と責任、構築方法を知る
個別目標：・プロのホスピタリティ、およびホスピタリティ産業を正しく理解し、その基礎知識とスキルを習得する。
・コンシェルジュの仕事を知り、あらゆる分野に活かせるプロのパーソナルコミュニケーションを身につける。
・プロのホスピタリティにおけるネットワークの意味と役割を知る。
・プロのネットワーク構築、強化拡大の方法を知る。

▌履修条件

参加型授業に積極的に取り組み、自ら研究、考察、発言する意欲があること

▌評価基準・方法

・テスト・レポート等の提出状況と内容、プレゼンテーション 80 %
授業でのディスカッション、ワークセッション等への取り組み姿勢、積極的発言、ホスピタリティ実践度 20 %　を基本として総合評価
・授業出席 80 %、課題の期限内提出 80 %必須

▌フィードバック方法

課題、ワーク等に対しては、全員の参考になるように、授業でポイントを共有し、フィードバックする

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （相互コメント・ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーションを通じ、自ら考え、発信する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション準備）

▌教科書

使用しない

▌参考書

適宜紹介

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進行、内容の説明を聞き、理解する 事前学修 2.0hr：プロのホスピタリティとは何か、を自分なりに説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティの目的とコンシェルジュの職務の確認
2 回	**授業テーマ：ビジネスネットワークとは？　コンシェルジュの仕事の特徴と概要** 授業内容：ビジネスネットワークとは何かを知り、コンシェルジュの仕事の特徴と、役割を理解する 事前学修 2.0hr：コンシェルジュの仕事の特徴は何か、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：コンシェルジュの仕事についての確認と、疑問点のまとめ
3 回	**授業テーマ：コンシェルジュの” 日常業務” とそのゴール** 授業内容：今後の授業の基礎知識として、コンシェルジュの日々の業務を知る 事前学修 2.0hr：コンシェルジュの日常業務はどんなことか、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：コンシェルジュの日常業務内容についての整理と、疑問点のまとめ
4 回	**授業テーマ：ホスピタリティのプロの精神・哲学・資質** 授業内容：ホスピタリティのプロの心の持ちよう、考え方を知り、自身の強みを探る 事前学修 2.0hr：ホスピタリティのプロに求められている「基本姿勢」は何か、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティのプロに重要なマインドとスピリットの確認と、疑問点のまとめ
5 回	**授業テーマ：コンシェルジュスピリットの実践** 授業内容：伝わるホスピタリティ発信のスキルを知る 事前学修 2.0hr：プロのホスピタリティの可視化、ホスピタリティを実践する、とは何をすることか、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：プロのホスピタリティ実践の心構えと手順について、確認と、疑問点のまとめ
6 回	**授業テーマ：ビジネスネットワークの活用** 授業内容：ビジネスネットワークがあるとできることを具体的に理解する 事前学修 2.0hr：ビジネスネットワークをホスピタリティ実践に活かす方法を考えておく 事後学修 2.0hr：ビジネスネットワークに対して自身は何ができるか、確認と、疑問点のまとめ
7 回	**授業テーマ：グループワーク①　お客様への提案** 授業内容：グループワーク　– お客様への提案内容を検討する 事前学修 2.0hr：ホスピタリティ提供に役立つお客様の特徴のとらえ方を考えておく 事後学修 2.0hr：相手の気持ちを読み解く視点、それに合わせた提案を整理
8 回	**授業テーマ：グループワーク②　お客様への提案** 授業内容：グループワーク　– お客様への提案の理由を明確にする 事前学修 2.0hr：提案内容を整理しておく 事後学修 2.0hr：相手の気持ちを読み解く視点、それに合わせた提案に不可欠な要素は何かを整理
9 回	**授業テーマ：グループプレゼンテーション** 授業内容：グループプレゼンテーション　– お客様への提案 事前学修 2.0hr：高品質のホスピタリティ提供のポイントを確認しておく 事後学修 2.0hr：自身のホスピタリティ実践における強み、弱みを確認

10回	**授業テーマ：グループプレゼンテーションへのフィードバック** 授業内容：グループワークへのフィードバックを通し、自身のホスピタリティの特徴を知る 事前学修 2.0hr：お客様の提案について、ほかの人の意見を理解、疑問点を挙げておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティ実践のさまざまな方法と効果を確認
11回	**授業テーマ：日本のホスピタリティにおけるコミュニケーション** 授業内容：その特徴、強み、弱みと今後の挑戦を知る 事前学修 2.0hr：日本のホスピタリティの特徴を説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：日本のホスピタリティの特徴と今後の課題について、確認と、疑問点のまとめ
12回	**授業テーマ：ホスピタリティ業界におけるネットワークの役割と責任** 授業内容：ホスピタリティ産業におけるビジネスネットワークの役割と責任を認識する 事前学修 2.0hr：ホスピタリティのプロのネットワークとはどういうことか説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティのプロのビジネスネットワークについて、確認と、疑問点のまとめ
13回	**授業テーマ：個人ワーク　真心を伝えるための手配** 授業内容：VIP を迎える手配を自ら考え、プロのネットワークの活用法を知る 事前学修 2.0hr：お客様の気持ちを読み取ってホスピタリティを実践することについて確認しておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティ実践を体験、ひとつひとつの意味を見直す
14回	**授業テーマ：コンシェルジュの歴史とレ・クレドール** 授業内容：コンシェルジュの歴史と　プロのホテルコンシェルジュのネットワーク組織について知識を得る 事前学修 2.0hr：現代のコンシェルジュの役割、位置づけを、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：現代のホスピタリティの役割、レ・クレドールの概要について整理する
15回	**授業テーマ：まとめ　コミュニケーションのプロになる　プロのビジネスネットワークを育む** 授業内容：プロ意識～きく力・みる力・感じ取る力・気づく力を身につける 事前学修 2.0hr：観ること、感じ取ることの意味、重要性を説明できるように準備しておく 事後学修 2.0hr：自身の、今後のホスピタリティとのかかわり方を考える

パーソナル・コミュニケーション探究 B（国際平和と観光）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中野　実（なかの　みのる）

▌授業の概要

国際平和を考えるには国家の存在が前提としてあります。そして平和を理解するとは戦争の歴史を知ることでもあります。国際関係論を基礎学問として近代国家がどのようにして生まれ、どのような歴史を辿ってきたのかを理論を交えて考え、現在に至る国家間の問題を考察していきます。また争いを避けるために世界がどのように取り組んでいるのかに注目します。そのうえで実際に観光に影響を与えたケースを取り上げ平和と観光について考えます。また観光による平和構築の可能性も考えていきます。そして最後に、これらの理解をベースに私たち日本を取り巻く国際情勢を考えます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3）

一般目標：近代国家システムの中で紛争が起きるメカニズムや平和構築のための取り組みなどを学び、平和の大切さとそれに大きく依存している航空・観光業について理解を深める。

個別目標：・世界の観光地について、そこで起こった争いの歴史を調べ、どのような被害があり、そしてどのように復興への道をたどったのか説明できる。

・また授業で取り扱ったいくつかの国際的な仕組みや事象を複数の視点を交えて説明でき、取り組むべき課題を提示できるようになる。

▌履修条件

3 年次以上

国際平和に興味をもって積極的に授業に参加する意思があること

▌評価基準・方法

試験（50 %）、発表（20 %）、課題（20 %）、受講態度（10 %）

▌フィードバック方法

適宜 manaba の個別指導で行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表、ディスカッション、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポン、発表、試験）

▌教科書

教科書指定なし。授業資料（レジメ）を毎回配布予定。

▌参考書

三船恵美（2012）基礎から学ぶ国際関係論、泉文堂

吉川直人・野口和彦編（2017）国際関係理論　勁草書房　他

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション：国際平和を考えるとは？** 授業内容：授業計画や評価基準を明確にし、国際平和を考えるとはどういうことなのかを理解する。 現在の世界の成り立ち、システム、戦争の原因、平和構築の努力、現在の対立軸など。 事前学修 2.0hr：ニュースなどで現在起きている戦争について理解しておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
2 回	**授業テーマ：国民国家と主権：近代国家システムの理解** 授業内容：いま当たり前のように存在している国家はどのようにしてできたのか？ そして世界中にある国家はどのような関係で成り立っているのかを考える。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
3 回	**授業テーマ：国家と戦争：戦争の歴史を考察する。** 授業内容：近代国家成立後、世界は国家間戦争を繰り返してきた。それらの戦争は国家間関係にどのような変化をもたらせたのかについて考える。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
4 回	**授業テーマ：冷戦：冷戦は平和だったのか？ 冷戦について理解を深める。＋【発表】** 授業内容：第 2 次世界大戦後、大国は直接戦うことなく対立してきた。それはなぜ始まって、どういう仕組みで、なぜ終結したのかについて理解する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
5 回	**授業テーマ：国際関係理論：リアリズム、リベラリズム、コンストラクティビズム　＋【発表】** 授業内容：国際関係理論の三大潮流と言われる三つの理論を考察し、国家の行動を理解する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
6 回	**授業テーマ：EU：ヨーロッパ統合の歴史。平和を目指した試みの歴史　＋【発表】** 授業内容：なぜヨーロッパが統合を目指したのか？ その統合の歴史を理解する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
7 回	**授業テーマ：国際連合：国際連合の役割を理解する。　＋【発表】** 授業内容：国際連合の創設から仕組み、そして平和構築を担う現在の役割に至るまでを理解する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
8 回	**授業テーマ：事例研究①　湾岸戦争の観光への影響　＋【発表】** 授業内容：1991 年に発生した湾岸戦争の観光への影響を考察する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
9 回	**授業テーマ：国家とテロリズム　＋【発表】** 授業内容：21 世紀に入って増え続けているテロについて考える。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する

10回	**授業テーマ：事例研究②　9.11 同時多発テロの観光への影響＆民主主義　＋【発表】** 授業内容：2001 年に発生した同時多発テロの観光への影響を考察し、世界の対立軸となっている民主主義と権威主義についてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
11回	**授業テーマ：平和を学ぶツアー企画①** 授業内容：ここまで学んだ内容を踏まえてグループに分かれ、グループ毎に平和について学ぶツアーを企画する。 事前学修 2.0hr：平和について学べる旅行先を調べておく 事後学修 2.0hr：グループ内で話し合った役割分担に沿って翌週の準備をする。
12回	**授業テーマ：平和を学ぶツアー企画②** 授業内容：引き続き平和について学ぶツアーを企画し、最後に全グループによる発表を行う。 事前学修 2.0hr：役割分担に沿って授業までに必要な個所を仕上げてくる 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
13回	**授業テーマ：日本の平和を考える①　日米関係と安全保障条約　＋【発表】** 授業内容：なぜ日本はアメリカと同盟を結び日本国内にアメリカの基地があるのかを考える。そして黒船来航からの日米関係と戦後安全保障について理解する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
14回	**授業テーマ：日本の平和を考える②　日本の戦争　＋【発表】** 授業内容：明治以降、日本はなぜ何度も戦争をし、なぜ周辺アジア諸国に侵攻し、そしてなぜ本土が焦土と化するまで戦争を続けたのかを考える。鎖国から太平洋戦争終結まで日本のその当時の見方や意識を理解して戦争へと導かれた意識の構築を考える。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
15回	**授業テーマ：日本の平和を考える③　日本と周辺国の国際関係** 授業内容：日中、日韓、日露など日本を取り巻く国際関係を考える。戦後の領土問題や感情の問題について背景も含めて考察し問題点を理解し、最終的に平和を維持し続ける意味を考える。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日とこれまでに学んだ内容を整理する

パーソナル・コミュニケーション探究C（マイノリティと共生社会）

開講学科等：HT ｜ 3年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

本講義では、マイノリティ、マジョリティ、共生社会の概念と関係性についてまず理解したうえ、日本社会におけるマイノリティの現状を取り上げて考察する。具体的に高齢者と障がい者を通して、共生社会作りにフォーカスして講義を進めていく。そして、共生社会構築にあたり、様々な手法のうち、本講義ではユニバーサルデザインやバリアフリーを提起し、その理念と概念を応用し、社会におけるユニバーサルデザインとバリアフリーの重要性と必要性に対する認識を深めていく。さらに事例研究を通して、高齢者、障がい者と共生社会の現状を把握して、その取り組みについて、深く探求していく。

なお、授業内容は諸条件により変更する場合がある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻3）

一般目標：・マイノリティ、マジョリティと共生社会の関係性を理解し、認識を深めること。
・どのようにして共生社会を構築していくかを考察すること。
・観光におけるユニバーサルデザインとバリアフリーの事例研究を通して、日本、海外の現状を知ること
・身近の観光地の事例研究調査を行い、地域振興、観光振興のために意義のある提案をし、貢献できること。

個別目標：・共生社会に対して、自分自身の理解を深めること。
・共生社会で生きる価値観を身に着けること。
・課題研究で役割を分担し、よく協調をし、ともに成長して、よい発表を作るために貢献ができること。

▌履修条件

・マイノリティ、障碍者や高齢者、共生社会の実現について興味と意欲があること。
・観光におけるユニバーサルデザインとバリアフリーについて、理論と実践について、勉強意欲あること
・学習、研究調査にまじめに取り込み、チャレンジ精神を持つこと。
・講義に出席していることを前提とすること。

▌評価基準・方法

・レポート 30%（中間、最終）
・プレゼン発表或はテスト 20 %
・授業参加 50 %（態度、出席、授業後感想）
講義でのディスカッション、プレゼンテーション、レポート提出、調査研究などの面を総合的に考慮し、評価する
原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を 通して行う、又は個別に実施する。
また、質問や感想を毎週積極的に投稿することを期待する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （個人ワーク、グループワーク、グループディスカッションを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （利用する場合事前にお知らせします）

▌教科書

特になし
適時に資料配布する

▌参考書

「これからの共生社会を考える」
「建築・交通・まちづくりをつなぐ共生バリアフリーデザイン」
「尊厳なきバリアフリー」
「観光のユニバーサルデザイン」

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義内容全体の紹介、講義の進め方、講義スケジュールの確認、成績評価の基準について説明する。 事前学修 2.0hr：講義の概要をよく理解して、共生社会について各自、調べる。 事後学修 2.0hr：共生社会について各自調べたものをミニレポートにまとめる
2回	**授業テーマ：共生社会ってどんな社会？** 授業内容：定義と概念について、事例を通して、マイノリティと共生社会の重要性と関係性を学習する。 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
3回	**授業テーマ：日本におけるマイノリティと共生社会** 授業内容：日本におけるマイノリティと共生社会の全体像について考える 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
4回	**授業テーマ：偏見ってなんだろう？** 授業内容：偏見について考える 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
5回	**授業テーマ：障がい者と共生社会について（ゲストレクチャー）** 授業内容：日本の障がい者と共生社会について考える 障がい者と共生社会の現状、政策の取り組み 海外事例と比べる 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
6回	**授業テーマ：グループワーク・ディスカッション** 授業内容：グループごとに「身近にある共生社会に関する課題」を取り上げて、ミニプレゼンテーションをする。 事前学修 2.0hr：テーマについて再確認する 事後学修 2.0hr：他者の考え方と自分の見解との比較、レポートをまとめ、提出する

7回	**授業テーマ：人権を守るための法律を知ろう** 授業内容：日本の法律、海外の法律について 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
8回	**授業テーマ：学校でできる共生の取り組み** 授業内容：学校での取り組みについて 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
9回	**授業テーマ：メディアに登場するマイノリティ** 授業内容：メディアがマイノリティに及ぼす影響 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
10回	**授業テーマ：障がい者と共生社会について（ゲストレクチャー）** 授業内容：アメリカの事例 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
11回	**授業テーマ：共生社会の成功事例（日本、世界）** 授業内容：日本の事例や海外の事例について 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
12回	**授業テーマ：地域でできることを考える（ゲストレクチャー）** 授業内容：行政の取り組みについて 事前学修 2.0hr：行政の取り組みについて調べる 事後学修 2.0hr：調査の結果をまとめる
13回	**授業テーマ：観光におけるバリアフリー・ユニバーサルデザイン** 授業内容：観光におけるマイノリティ、共生社会、ユニバーサルデザインやバリアフリーの考え方 事前学修 2.0hr：観光におけるマイノリティ、共生社会、ユニバーサルデザインやバリアフリーの考え方について調べる 事後学修 2.0hr：調査の結果まとめ
14回	**授業テーマ：課題発表** 授業内容：講義で取り扱った内容に関連するものを各自で自由にテーマを設定し、調べ発表の準備をする 事前学修 2.0hr：発表の準備 事後学修 2.0hr：調査の振り返り
15回	**授業テーマ：課題発表、講義の総括** 授業内容：「共生社会の実現にむけて」の現状把握と問題点と対策について、まとめる。 事前学修 2.0hr：レポートテーマについて自分なりの見解と問題点を考える 事後学修 2.0hr：学習した内容を今後に生かせることを確認する

パーソナル・コミュニケーション探究 D（グローバル化と SDGs）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

上田　圭一（うえだ　けいいち）

▌授業の概要

SDGs には 17 のゴールという「答え」が書かれていますが、そこへ至る道筋に唯一の正解はありません。本講義は、答えを導くのではなく、答えにどうすればたどり着けるのか、その「プロセス」を自らデザインするための問題集です。本講義では、いかにして環境、社会、経済の矛盾を乗り越えようとしているのか、航空業界の具体例にも触れつつその仕組み（メカニズム）を解き明かします。

若い世代ならではの柔軟な発想と、産業界のリアルな仕組みを掛け合わせ、複雑な問いに対して自分なりの「解決のプロセス」を構築する力を養います。なお、指導環境や学生の希望などの状況により、内容が変更となる場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3）

一般目標：グローバルな課題と、航空・観光産業の最新動向を過去・現在・未来を通して理解します。データに基づいた客観的な分析を行い、社会の仕組みを理解した上で、自ら問いを立て、自分なりの「解決へのプロセス」を論理的にデザインできる素養を身につけます。

個別目標：知識の習得：SDGs/ESG の基本概念と、航空産業における具体的な取り組み（SAF、カーボンニュートラル等）を関連付けて説明できる。
情報リテラシー：航空・観光業界を巡るニュースからファクトチェックを行い、感情やイメージに流されない客観的な判断ができる。
発信・構想力：業界の課題に対し、自分なりの「解決プロセス」を論理的に構築し、他者との対話を通じて自身の意見を表現できる。

▌履修条件

SDGs に興味があり、自ら問いを立てる能力を高めたい学生。
事前学修課題および毎回の「SDGs デザイン・ログ」作成を履行すること。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とします。以下の要素を総合的に評価します。
授業への取り組み姿勢（60%）：
毎回の講義で提出する「SDGs デザイン・ログ（2 点）」および「授業の振り返り（2 点）」の内容に基づき、各回 4 点満点（計 60 点）で評価します。
試験（40%）：
学期末に筆記試験を実施します。各自の「SDGs デザイン・ログ（全 15 回分）」および「手書きの A4 メモ 1 枚（両面可）」の持ち込みを許可します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義ごとに資料を配布します

▌参考書

適宜紹介します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：グローバルな課題とは何か、評価や出席の取り扱いを解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを熟読し関心あるゴール (目標）を 3 つ選ぶ 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理し、15 回完走のための学習目標を立てる
2 回	**授業テーマ：歴史と航空：SDGs のメカニズム①** 授業内容：「ウェディングケーキモデル」を用いて、環境・社会・経済の階層構造を解説します。日本の公害克服の歴史と、現在の航空騒音・CO2 対策の類似性を学びます。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、人口爆発と食料危機の歴史を理解する。 事後学修 2.0hr：講義の論点および、過去の持続不可能なモデルを 1 つ選び整理
3 回	**授業テーマ：ESG と航空経営：SDGs のメカニズム②** 授業内容：「私たちの年金」がどう投資されているか？ GPIF や ESG 投資の仕組みを解説します。なぜ航空会社は、コストのかかる環境対策に投資しなければならないのか、金融の視点から解き明かします。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、ルールの重要性を理解する。航空会社の IR 情報を確認する。 事後学修 2.0hr：企業が社会・環境を重視する理由を考察
4 回	**授業テーマ：不平等の構造：格差と移動の自由** 授業内容：目標 1・2・5（貧困をなくそう・飢餓をゼロに・ジェンダー平等を実現しよう）に関連し、格差と移動の自由について考えます。途上国のインフラ整備と「債務の罠」の問題についても触れます。 事前学修 2.0hr：世界の貧困率推移とパンデミックの影響調査 事後学修 2.0hr：観光地に現れている格差の現状を考察
5 回	**授業テーマ：生命の基盤：航空網とインフラ** 授業内容：目標 3・4・6（すべての人に健康と福祉を・質の高い教育をみんなに・安全な水とトイレを世界中に）に関連し、航空ネットワークが支える「命（医療物資）」と「水・衛生」の重要性を学びます。 事前学修 2.0hr：途上国の水・教育の現状をデータで確認 事後学修 2.0hr：航空網がインフラとして機能した災害支援等の事例を調査する。
6 回	**授業テーマ：航空 GX と気候：エネルギーのジレンマ** 授業内容：目標 7・13（エネルギーをみんなにそしてクリーンに・気候変動に具体的な対策を）に関連し、SAF（持続可能な航空燃料）とカーボンニュートラルを扱います。「緑の革命」が招いた森林破壊の教訓から、バイオ燃料の原料調達の難しさを議論します。 事前学修 2.0hr：再エネ・水素・バイオ燃料の技術的課題を整理する。 事後学修 2.0hr：航空業界の脱炭素ロードマップと SAF の課題を整理する。
7 回	**授業テーマ：生物多様性：自然資源と観光** 授業内容：目標 14・15（海の豊かさを守ろう・陸の豊かさも守ろう）に関連し、観光資源（海・陸）を守ることが観光業の存続に直結する仕組みを学びます。ブラジルの大豆畑拡大と熱帯雨林伐採の関係をケーススタディとします。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、消費と環境破壊のリンクを理解する。 事後学修 2.0hr：自然保護と観光開発の矛盾を解決するアイデアを考案する。

8回	**授業テーマ：労働と技術革新：人的資本経営** 授業内容：目標 8・9（働きがいも経済成長も・産業と技術革新の基盤をつくろう）に関連し、航空 DX と「働きがい」について考えます。「柳モデル（非財務資本の可視化）」を参考に、人を大切にする企業がなぜ成長するのかを解説します。 事前学修 2.0hr：インフラとイノベーションの関係を理解する。 事後学修 2.0hr：テクノロジー導入による「人間の役割」の変化を考察する。
9回	**授業テーマ：責任ある消費：ロスの削減** 授業内容：目標 12（つくる責任つかう責任）に関連し、機内食ロスやプラスチック削減のプロセスを学びます。食肉文化の変化や大量廃棄の現実から、サプライチェーンの責任を考えます。 事前学修 2.0hr：エシカル消費の具体例を 3 つ調べる 事後学修 2.0hr：航空・観光業界における「無駄」削減の仕組みを提案する。
10回	**授業テーマ：観光 SX と都市：地域との共生** 授業内容：目標 11（住み続けられるまちづくりを）に関連し、オーバーツーリズムと地域共生（SX）を扱います。「住み続けられるまちづくり」と観光客の受け入れのバランスをデザインします。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、市場の変化と中間層のシフトを理解する 事後学修 2.0hr：観光客と住民が共生する具体的な仕組みをデザインする。
11回	**授業テーマ：平和と公正：平和産業としての航空** 授業内容：目標 10・16（人や国の不平等をなくそう・平和と公正をすべての人に）に関連し、平和の象徴としての航空産業と、国際協調（ICAO 等）の役割を学びます。紛争が資源調達（レアメタル等）や人の移動に与える影響を考えます。 事前学修 2.0hr：資料を読み、テクノロジーと紛争のつながりを理解する。 事後学修 2.0hr：国際協力が空の安全に不可欠な理由を整理する。
12回	**授業テーマ：パートナーシップ：共通価値の創造（CSV）** 授業内容：目標 17（パートナーシップで目標を達成しよう）に関連し、航空連合（アライアンス）や異業種連携を学びます。CSR（慈善活動）から CSV（本業での社会解決）への進化を、ネスレ等の事例と比較します。 事前学修 2.0hr：CSV 共通価値の戦略の資料を読み、CSR との違いを理解する。 事後学修 2.0hr：SDGs が企業間連携の共通言語として役立つ理由を考察する
13回	**授業テーマ：ファクトチェック：情報リテラシー** 授業内容：航空・観光等のニュースを題材に、情報の真偽を見極める技術を学びます。「ウォッシュ（見せかけの SDGs）」を見抜く目を養います。 事前学修 2.0hr：資料等を使い、自分の「思い込み」を検証する。 事後学修 2.0hr：興味のある SDGs ニュースの一次ソースを確認する手順を整理する。
14回	**授業テーマ：各授業の統合：自分だけの解決プロセス** 授業内容：各講義内容をを振り返り、学びを繋ぎ合わせます。航空会社などの統合報告書を参照し、企業のストーリーと自分の学びを比較します。 事前学修 2.0hr：航空産業の事例を読み返し、企業の全体戦略を再確認する。 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
15回	**授業テーマ：総括：未来をデザインする力** 授業内容：全体の振り返りと、総まとめを行います。「自分の仕事（キャリア）」と社会貢献のリンクを再確認します。 事前学修 2.0hr：キーワード（SX, GX, SAF, ESG 等）の総復習を行う。 事後学修 2.0hr：学びによる「物事の見方」の変化を自己評価し、試験準備を行う。

サービスコミュニケーション実習Ⅰ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前/後

藤井　直子（ふじい　なおこ）

▌授業の概要

本授業では、大学生として、また社会人として必要不可欠なマナーとコミュニケーションスキルを身につけることを目的とします。人と関わる場面で求められる基本姿勢やマナーの重要性を理解し、ロールプレイングやグループワークを通じて、好感と信頼感を与える挨拶、表情、立ち居振る舞い、身嗜み、言葉遣いを実践的に修得します。また、ホスピタリティマインドを育み、異なる立場や価値観を尊重した関わり方を学ぶことで、協働力や相手の心情・状況を踏まえたコミュニケーションの基本スキルを身につけ、社会で信頼される人材となるための基盤を形成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3、HTM3）

一般目標：1. ホスピタリティマインドを基盤としたマナーやコミュニケーションスキルの重要性を理解し、良好な人間関係を築き、円滑なコミュニケーションを実現できる力を身につける。
2. チームや組織の目標達成に向け、自らの役割と責任を果たし、他者と協力しながら成果を出す力を養う。

個別目標：⑴ 社会人として求められる心構え・マナー・ホスピタリティの重要性を理解し、説明できる。
⑵ 円滑なコミュニケーションのあり方を理解し、表情・身だしなみ・言葉づかい・態度などの言語・非言語の側面から、相手に安心感や好印象を与える言動ができる。
⑶ 敬語の基本および来客応対・訪問時のマナーを理解し、状況に応じて適切に実践できる。
⑷ 学んだマナーやコミュニケーションスキルを活かし、日常場面において良好な人間関係を構築できる。
⑸ 演習やグループ活動に主体的に取り組み、個々の役割を果たしながら他者と協力して目標達成に貢献できる。

▌履修条件

１．目標設定：ホスピタリティに興味・関心を持ち、授業や課題に明確な目標を設定し、自身の成長を意識しながら主体的に取り組むこと。
２．協調性と主体性：事前学習および事後学習を行い、授業やグループディスカッションなどの協働作業において自身の役割を意識し、協調性をもって主体的に参画すること。
３．提出期限の厳守：課題やレポートなど、すべての提出物について指定された期限を厳守すること。

▌評価基準・方法

期末試験（筆記試験および実技試験）60 %、授業での参画態度および課題 40 %とし、その結果および到達目標の達成度に基づいて総合的に評価する。
筆記試験・実技試験のいずれも受験していることを、成績評価および単位認定の前提条件とする。
授業態度および課題も重要な評価要素であり、主体的な授業参画と的確な課題提出が求められる。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題・レポート等のフィードバックは、各回の授業または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、グループワーク、ロールプレイング、ケーススタディ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba を用いて授業資料の閲覧や課題の提出、事前・事後学修を行うほか、グループディスカッション時の意見整理等に PC を活用する。）

▌教科書

使用しない。資料は manaba で配信する。

▌参考書

必要に応じて授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：①授業概要の説明：授業内容、到達目標、成績評価方法、授業共通ルールについて理解する。 ②自己紹介：学生同士で自己紹介を行い、交流を図る。 ③大学生と社会人の違いについてのディスカッション：グループディスカッションを通じて学生と社会人の違いを考察し、社会人としての心構えを理解し身につける。 事前学修 2.0hr：①シラバスを読み、授業の流れと内容を把握する。 ②本講義で達成したい目標と自己紹介考える。(授業で共有する) 事後学修 2.0hr：①授業テーマへの関心を深めるとともに、全 15 回の授業内容を振り返り確認する。 ②社会人に求められる要素を整理し、今後の目標を設定する。
2回	**授業テーマ：1. 円滑なコミュニケーションにおけるホスピタリティ・マナーと第一印象の重要性　2. マナーとコミュニケーションの基本 5 要素** 授業内容：①グループディスカッションを通じてマナーについて考察を深め、マナーとホスピタリティの意味や重要性について講義内容を理解する。 ②コミュニケーションにおける第一印象の重要性を理解し、マナーとコミュニケーションの基本要素を学ぶ。 事前学修 2.0hr：①マナーの意味と重要性について自分の考えをまとめる。 ②第一印象に影響を与える視覚的要素(表情や身だしなみ、振る舞いなど)について考察する。 事後学修 2.0hr：マナーや第一印象が、大学生活や身近な対人場面、また将来の職場においてどのように重要となるかを整理し、自分の考えをまとめる。
3回	**授業テーマ：マナー・コミュニケーションの基本 5 要素　1. 挨拶 2. 姿勢とお辞儀** 授業内容：①挨拶についてのディスカッション：日頃感じている挨拶に関することをグループディスカッションし、挨拶の効果について考察する。 ②気持ちが伝わる挨拶とお辞儀：気持ちが伝わる挨拶やお辞儀について学び、グループワークで実践する。 事前学修 2.0hr：挨拶の重要性について自分の考えをまとめ、感じの良い挨拶と好ましくない挨拶について、実際の経験談を交えて整理する。 事後学修 2.0hr：学修した感じの良い挨拶とお辞儀を日常生活で実践し習慣化する。
4回	**授業テーマ：マナー・コミュニケーションの基本５要素　3. 表情とアイコンタクト** 授業内容：①表情によるコミュニケーションの重要性について理解し、グループワークで好感を与える笑顔の練習をする。 ②歓迎、感謝、喜び、共感など気持ちの表現方法をグループワークを通して身につける。 事前学修 2.0hr：自分の日頃の表情について振り返り、どのような表情をしているかを自己分析する。特に、感情や状況に応じた表情の変化に注目する。 事後学修 2.0hr：学修した感じの良い表情を日常生活で実践する。
5回	**授業テーマ：マナー・コミュニケーションの基本５要素　4. 信頼される社会人に必要な身嗜みの整え方** 授業内容：①ホスピタリティ産業における身嗜みの重要性を理解し、好感や信頼感をもたれる身嗜みの整え方を学ぶ。 ②身嗜みチェックシートに基づき、グループ内で互いの身嗜みをチェックし、出来ている点・改善点について共有する。 事前学修 2.0hr：①スーツを着用し、身嗜みを整えて授業に出席する。 ②身嗜みとは何かを考え、身嗜みの重要性についてまとめる。 事後学修 2.0hr：身嗜みチェックリストに基づき、日常的に身嗜みを整える。

6回	**授業テーマ：マナー・コミュニケーションの基本５要素　5. 立ち居振る舞い・態度** 授業内容：①座り姿勢、歩き方、物の受け渡し方、言葉添えなど、安心と信頼感を与える立ち居振る舞いについて学び、実践する。 ②気を付けるべき態度について理解し、適切な態度を身につける。 事前学修 2.0hr：好印象を与える立ち居振る舞いについて考え、どのような態度や行動が好印象を与えるかを整理し、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した美しい立ち居振る舞いを練習し、日常生活で継続的に実践する。
7回	**授業テーマ：人間関係と話し方　1. 声の印象と発声の仕方** 授業内容：①声の印象とその重要性について学び、コミュニケーションにおける声の役割を理解する。 ②正しい発声方法を学び、グループワークで発声練習を行い、声による円滑なコミュニケーションの取り方を実践する。 事前学修 2.0hr：自分の声がどのように聞こえるかを振り返り、他者に与える印象を分析する。具体的には、声のトーンやスピード、発音などに注意を払い、改善点を見つける。 事後学修 2.0hr：声の印象を意識し、発声練習を継続的に実践する。
8回	**授業テーマ：人間関係と話し方　2. 言葉遣い　①敬語の基本** 授業内容：①人間関係における敬語の意味や役割について解説する。 ②敬語の基本を学び、グループワークを通じて、敬語の使い方を練習する。 事前学修 2.0hr：①配布資料「敬語の基本」を予習し、敬語の基本的な使い方を確認する。②日常生活で正しく敬語が使えているかを自己分析し、改善点を整理する。 事後学修 2.0hr：正しい敬語遣いを復習し、日常生活で継続的に実践する。
9回	**授業テーマ：人間関係と話し方　2. 言葉遣い　②間違いやすい敬語　③信頼感を失う表現** 授業内容：①間違いやすい敬語や信頼感を失う表現について理解し、誤解を招く表現がどのようなものかを学ぶ。 ②グループワークを通して、円滑なコミュニケーションに必要な適切な表現方法を身につける。 事前学修 2.0hr：①配布資料「間違いやすい敬語表現」を予習する。②自分が日頃使っている敬語や表現について、不安に思う点をまとめる。 事後学修 2.0hr：間違いやすい敬語を復習し、正しい使い方を日常生活で意識的に練習する。
10回	**授業テーマ：人間関係と話し方　3. 円滑なコミュニケーションにおける言語表現　④クッション言葉と依頼形　⑤接遇用語** 授業内容：①相手の心情や状況に応じたクッション言葉と接遇用語について学び、適切な使い方を理解する。 ②グループワークで、クッション言葉を使った表現方法を練習し、円滑なコミュニケーションを図るための言語表現を身につける。 事前学修 2.0hr：配布資料「クッション言葉と依頼形・ビジネスシーンでの表現・接遇用語」を予習し、各表現方法を理解する。 事後学修 2.0hr：クッション言葉や接遇用語を復習し、日常のコミュニケーションで意識的に実践する。
11回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：テーマに基づいたプレゼンテーションの実技試験を実施する。 身だしなみ(スーツの着こなし、表情、立ち居振る舞い、言葉遣い)を整えたうえで、社会人としての基本を踏まえつつ、ホスピタリティ産業に携わる者としてふさわしい表現と態度で発表を行う。 事前学修 2.0hr：①テーマについて 1 分以内でプレゼンテーションできるよう準備する。 ※テーマは事前に授業内および manaba で告知する。 ②身嗜みの確認 スーツ着用、表情、姿勢、目線、話し方など、プレゼンテーションに必要な身嗜みを整える。 事後学修 2.0hr：自身のプレゼンテーションを振り返り、良かった点と今後の課題を整理したうえで、改善策を考え、実践する。
12回	**授業テーマ：来客応対　1. 来客応対のマナー** 授業内容：受付からお見送りまでの手順とポイント ①受付～ご案内の仕方：お客様をご案内する手順とポイントを学び、実践トレーニングを行う。 ②エレベーター・応接室での応対：エレベーターや応接室での席次や退室のマナーを学び、適切な応対を実践する。 ③お見送り：お見送りの際のポイントを学び、適切な応対を実践する。 以上の内容をロールプレイングで実践し、場面に応じた柔軟な応対力を養う。 事前学修 2.0hr：配布資料「来客応対のマナー」を予習し、来客応対の基本的なマナーを理解する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ来客応対のマナーや手順について復習し、実践できるようにする。
13回	**授業テーマ：来客応対　2. 訪問のマナー** 授業内容：①訪問時の基本マナー：訪問前の準備、当日のマナー、手順について学び、ロールプレイングで実践トレーニングを行う。 ②名刺交換のマナー：名刺の考え方や交換の仕方について学び、ロールプレイングで実践する。 事前学修 2.0hr：配布資料「訪問のマナー」を予習し、訪問時の基本的なマナーと手順を理解する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ訪問時のマナーや名刺交換の方法について復習し、実際の場面で活用できるようにする。
14回	**授業テーマ：振り返りと理解度チェック** 授業内容：これまでの授業内容を振り返り、自身のマナー・コミュニケーションスキルを確認する。 事前学修 2.0hr：授業内容の理解度チェックに備え、これまでの授業内容を復習し、確認すべきポイントを整理する。 事後学修 2.0hr：授業を通して明らかになった自身の課題を振り返り、改善方法を考え、実践する。特に難しいと感じた点については、意識的に取り組み、克服を図る。
15回	**授業テーマ：前期の総括** 授業内容：①これまでの授業内容を振り返り、学んだ知識やスキルの定着度を確認する。 ②学んだマナーやコミュニケーションの基本について理解を深め、スキルの定着を目指す。 事前学修 2.0hr：①これまで学んだ授業内容を振り返り、理解したポイントと改善点を整理する。 ②自身が設定した目標を確認し、その達成度を振り返る。今後の目標に向けた行動計画を立てる。 事後学修 2.0hr：① 自身の目標実現に向けて、現在の課題を再確認し、具体的な改善点を洗い出す。 ② キャリア形成を見据え、目標達成に向けた行動計画を立て実践する。

サービスコミュニケーション実習Ⅰ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前/後

藤井　直子（ふじい　なおこ）

▌授業の概要

サービスコミュニケーション実習 1a で学修したホスピタリティマインド及びマナーを基盤に、ビジネス社会で役立つ実践的なコミュニケーションスキルの修得を目指します。多様なビジネスシーンにおいて主体的かつ臨機応変に対応できる力を養い、社会で通用する人材としての基盤を築くことを目的とします。

ロールプレイングやケーススタディ、グループディスカッションなどの活動を通して、相手の真意を理解するための話の聴き方や、自分の意見を他者に分かりやすく伝える方法を学びます。そのうえで、電話応対、指示の受け方、報告の仕方など、円滑かつ的確な業務遂行に必要な基本スキルを身につけます。

また、ビジネス文書の作成を通して、文書による基本的なコミュニケーション能力を養います。

毎回の授業を通して、各自の役割を果たす責任感を持ち、チームワークや協調性を構築しながら、目標達成に向けて取り組む力を培います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3、HTM3）

一般目標：社会生活および多様なビジネスシーンを想定した演習を通して、主体性、協働力、論理的思考力、臨機応変な対応力を養い、相手の立場を踏まえた円滑なコミュニケーションを実現するための基礎能力を身につける。

個別目標：①相手の真意を理解する「傾聴力」の重要性を理解し、そのスキルを修得して円滑なコミュニケーションを図ることができる。
②自分の意見や考えを整理し、相手に分かりやすく伝える力を身につける。
③相手からの指示を正しく理解し、課題提出やグループワークなど大学生活に必要な取り組みを的確に遂行する力を身につける。
④ビジネス文書の特徴とマナー、作成方法を理解し、基本的な文書を作成できる。
⑤グループディスカッションやグループワークを通して、自分の役割を果たし、他者と協力しながら目標を達成できる。
⑥日常生活での諸活動において、ホスピタリティマインドを醸成し、相手や状況に応じた適切な言動や振る舞いを実践できる。

▌履修条件

1．目標設定：サービスコミュニケーション実習 1a の学びを踏まえ、ホスピタリティに興味・関心を持ち、授業や課題に明確な目標を設定し、自身の成長を意識しながら主体的に取り組むこと。

2．協調性と主体性：事前学修および事後学修を行い、グループディスカッションや協働作業では、相互に尊重し合いながら役割を主体的に果たし、協調性をもって積極的に参画すること。

3．提出期限の厳守：課題やレポートなど、すべての提出物について指定された期限を厳守すること。

▌評価基準・方法

期末試験（筆記試験および実技試験）60 %、授業での参画態度および課題 40 %とし、その結果および到達目標の達成度に基づいて総合的に評価する。

筆記試験・実技試験のいずれも受験していることを、成績評価および単位認定の前提条件とする。

授業態度および課題も重要な評価要素であり、主体的な授業参画と的確な課題提出が求められる。

また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、各回の授業において、または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、グループワーク、ロールプレイング、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba を用いて授業資料の閲覧や課題の提出、事前・事後学修を行うほか、グループディスカッション時の意見整理等に PC を活用する。）

▌教科書

なし。資料を配布する。

▌参考書

なし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：円滑なコミュニケーションスキル　1. 傾聴スキルの基本** 授業内容：相手の真意を理解するための心構えと傾聴の基本について学び、ロールプレイングによる実践的な演習を通して、傾聴スキルを身につける。 事前学修 2.0hr：① 配布資料を読み、傾聴が持つ意味や役割について理解する。 ② 人の話を聴く際の自身の傾向や癖を振り返り、整理する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、自身の聴き方の傾向や良い点・改善点を明確にしたうえで、日常生活において傾聴スキルを意識して実践する。
2回	**授業テーマ：円滑なコミュニケーションスキル　2. 伝わる話し方の基本** 授業内容：自分の意見や考え、情報を相手に分かりやすく伝える話し方の基本を学ぶ。あわせて、ケーススタディを通して、相手の理解・納得・共感につながる伝え方を意識した実践に取り組む。 事前学修 2.0hr：事前に配布する資料を読み、「伝わる伝え方」について大切だと思う点を整理し、自身の伝え方を振り返る視点をもって授業に臨む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、自分の意見や情報の伝え方の傾向や良い点、改善点を明確にした上で、日常生活において実践する。
3回	**授業テーマ：円滑なコミュニケーションスキル　3. 的確に仕事を進めるための指示の受け方** 授業内容：指示の受け方やメモの取り方の重要性とポイントを学び、ケーススタディを通して実際の場面を想定した練習を行う。 事前学修 2.0hr：配布資料「指示の受け方」を予習し、過去に指示を正確に受け取れなかった経験や、それによるトラブルを振り返り、まとめる。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ指示の的確な受け方を再確認し、実践ワークを復習する。学んだスキルを日常生活で実践する。
4回	**授業テーマ：円滑なコミュニケーションスキル　4. 報告の重要性** 授業内容：報告の重要性と、的確な報告の仕方について学び、グループワークで演習を行い、実践力を養う。 事前学修 2.0hr：事前に配布する資料を読み、報告とは何か、また報告の際に重要だと思うポイントを整理する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、日常生活における実際の報告の場面で、学んだポイントを活かし報告を行う。
5回	**授業テーマ：電話応対　1. 電話の受け方** 授業内容：電話の受け方に必要な心構えとマナー、状況に応じた適切な表現について学び、ロールプレイングで実践力を身につける。 事前学修 2.0hr：配布資料「電話応対：電話の受け方」を読み、ポイントを整理する。 事後学修 2.0hr：授業で実施したロールプレイングを復習し、間違いやすい箇所や曖昧な表現を確認しながら声に出して練習する。
6回	**授業テーマ：電話応対　2. 電話のかけ方** 授業内容：電話のかけ方に必要な心構えとマナー、状況に応じた適切な表現について学び、ロールプレイングで実践力を身につける。 事前学修 2.0hr：配布資料「電話応対：電話のかけ方」を読み、ポイントを整理する。 事後学修 2.0hr：授業で実施したロールプレイングを復習し、間違いやすい箇所や曖昧な表現を確認し、声に出して練習する。

7回	**授業テーマ：ビジネス文書　1. ビジネスメールのマナーと相手に伝わる書き方** 授業内容：相手に伝わるメールのマナーと書き方について学び、演習を通して実践力を身につける。 事前学修 2.0hr：配布資料「ビジネスメールのマナー」を読み、重要なポイントを把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容および実践ワークを復習し、理解を深める。
8回	**授業テーマ：ビジネス文書　2. 社内文書と社外文書のマナーおよび相手に伝わる書き方** 授業内容：①社内文書の特徴とマナー、書き方のポイントについて学び、演習を通して実践力を身につける。 ②社外文書の基本形式と慣用句について学び、基本的な文書表現を理解する。 事前学修 2.0hr：配布資料「社内文書・社外文書」を読み、重要なポイントを把握する。 事後学修 2.0hr：社内外文書作成のワークを振り返り、正確な文書が作成できるよう復習する。
9回	**授業テーマ：クレーム対応とホスピタリティ** 授業内容：クレーム対応時に必要な心構えや基本的な対応の流れ、留意点について学び、ホスピタリティを踏まえた適切な初動対応の考え方を理解する。 あわせて、グループワークによるケーススタディを通して、クレーム対応の基本的な対応方法について演習を行い、実践的な理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布資料「クレーム対応とホスピタリティ」を読み、クレーム対応時に必要な心構えや基本的な対応の流れについて整理する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、グループワークで扱ったケーススタディを振り返りながら、自身の対応における課題や改善点を整理する。
10回	**授業テーマ：伝わるプレゼンテーションの基礎** 授業内容：相手の行動変容を促すプレゼンテーション技法について学び、身近なテーマでプレゼンテーションを実施する。(テーマは事前に manaba で提示する) 事前学修 2.0hr：時事問題やホスピタリティ業界についての情報を収集し、自分の考えを整理する。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの技法について確認し、日頃から身近なテーマや時事問題に関心をもち、プレゼンテーションの練習をする。
11回	**授業テーマ：グループディスカッション　1. グループディスカッションの基本要素とステップ** 授業内容：グループディスカッションで必要な能力や役割及びステップについて理解し、グループディスカッションを通しそのスキルを養う。 事前学修 2.0hr：配布資料「グループディスカッション」を読み、授業内容を把握する。 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り、自身が発揮できた役割や能力、情報の受発信の仕方、他者との関わり方について整理し、今後の課題を明確にする。
12回	**授業テーマ：グループディスカッション　2. コンセンサス** 授業内容：コンセンサスの意味と重要性を学び、グループディスカッションを通してコンセンサスのとり方を実践的に学ぶ。 チーム内で目標設定を行い、メンバー全員で意見を出し合いながら、コンセンサスに基づいて結論を導き出す。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、コンセンサスの意味や重要性について理解したうえで、要点を整理してくる。 事後学修 2.0hr：グループ内でコンセンサスを取るプロセスを振り返り、自分が果たした役割や発揮できたスキルを確認したうえで、今後に向けた課題を整理する。
13回	**授業テーマ：グループディスカッション　3. プレゼンテーション** 授業内容：本回は、これまでの学びを踏まえた実技試験として、テーマについてメンバー全員で意見やアイデアを出し合い、コンセンサスに基づいて時間内に結論をまとめ、プレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：興味・関心のある企業を一つ選び、その事業内容や提供しているサービスについてリサーチし、考察してくる。 あわせて、スーツを着用し、身だしなみを整えて出席すること。 事後学修 2.0hr：ディスカッションおよびプレゼンテーションを振り返り、良かった点と課題を整理し、今後のコミュニケーション場面において意識すべき行動を明確にする。
14回	**授業テーマ：学修内容の振り返りと理解度チェック** 授業内容：これまでの授業内容の理解度チェックを実施し、自身の理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を復習をする。 事後学修 2.0hr：理解度チェック及びこれまでの授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：総括と今後の目標設定** 授業内容：これまでの授業で修得したこと、成長した点、課題を打ち出し、今後のキャリア形成へのプランを考える。 事前学修 2.0hr：授業の総復習をする。キャリア形成において今後の目標を設定する。 事後学修 2.0hr：① 自身の目標実現に向けて、現在の課題を再確認し、具体的な改善点を洗い出す。② キャリア形成に向けて、目標達成に向けた行動計画を立て、今後どのように行動していくかを明確にする。

サービスコミュニケーション実習Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

藤井　直子（ふじい　なおこ）

▌授業の概要

現代のビジネス環境で企業が取り組んでいる顧客体験価値について学び、各グループでテーマを設定しプレゼンテーションを実施します。円滑なコミュニケーションスキルの向上を目指し、社会で必要な論理的思考力やプレゼンテーション能力を養います。さらに、慶弔時のマナーや食事のマナー、グローバル社会で求められるプロトコール(国際儀礼)についても学び、場面に応じた実践的で柔軟な対応力を身につけます。
グループワークや意見交換等も活発に行い、楽しく実践的に学びながら、ビジネスパーソンに求められる知識やスキル、能力を修得することを目指します。
この授業を通して得る学びは、就職活動やキャリア形成にも活かせるものになります。共に学び合い成長していきましょう！
＊進捗状況に応じ、授業内容や順序に変更の可能性があります。
＊就職活動のための欠席は、証明書を提出完了で、3 回までを公欠扱いとします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3、HTM3）

一般目標：1. 良好な人間関係を構築し、円滑にビジネスを進めるために必要な対人コミュニケーション力を修得する。
2. 顧客体験価値を理解し、望ましい顧客体験の実現に向けて、顧客視点に立って課題を考察し、アイディアを提案できる。
3. 異文化コミュニケーションの場面において、状況に応じて柔軟かつ適切に判断し対応できる力を身につける。

個別目標：⑴ 円滑なコミュニケーション力とビジネスに求められる論理的思考力を身につけ、相手の行動を促す発表・情報発信ができる。
⑵ グループ活動において自分の役割を果たし、他者と協力しながら、時間内に成果をまとめ、発表できる。
⑶ 顧客体験価値を理解し、顧客視点に立って課題を考察し、望ましい顧客体験の実現に向けた提案ができる。
⑷ 慶事・弔事に関する知識を深め、場面に応じたマナーを理解し、実践できる。
⑸ 和食・洋食などの食事マナーを理解し、心構えと作法を修得し、実践できる。
⑹ 国際儀礼に関する基礎知識を身につけ、異文化環境において場面に応じた対応ができる。

▌履修条件

ホスピタリティ、接遇、国際儀礼に興味がある学生や、コミュニケーション力を高めたい学生におすすめの授業です。
本授業では、グループワークやディスカッション、発表活動などを通して、仲間と協力しながら主体的に学ぶ姿勢を重視します。

▌評価基準・方法

期末試験（筆記試験および実技試験）60 %、授業での参画態度および課題 40 %とし、これらの結果および到達目標の達成度に基づいて総合的に評価する。
筆記試験・実技試験のいずれも受験していることを、成績評価および単位認定の前提条件とする。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、各回の授業において実施、または学修支援システム manaba の講評を各自で読み確認する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼンテーション、グループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料閲覧、プレゼンテーション）

▌教科書

マナー＆プロトコールの基礎知識
適宜資料を配布する。

▌参考書

必要に応じ授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：① 授業の概要、到達目標、成績評価基準・方法について理解する。 ② 自己紹介を行い、学生同士の交流を図る。 ③ 事前学修で作成したホスピタリティ業界のリストをグループで共有し、整理・分類する。さらに、特に関心のある業界について意見交換を行い、共通点や相違点を見つける。 事前学修 2.0hr：① シラバスを読み、本講義で身につけたいことを整理したうえで、自身の学修目標を設定する。 ② ホスピタリティ産業に含まれる業界を調べ、複数挙げたうえで、その中から最も興味のある業界を一つ選び、理由とともに整理する（今後行う顧客体験価値［CX］に関するプレゼンテーションのテーマ検討の基礎とする）。 事後学修 2.0hr：ガイダンスを踏まえ、全 15 回の授業構成や内容を確認したうえで、自身の学修目標を見直し、今後の授業への取り組み方を整理する。
2 回	**授業テーマ：ホスピタリティ産業における顧客体験価値の重要性と実践的活用** 授業内容：① 第 12〜13 回に実施するプレゼンテーション発表に向けて、全体の流れ、準備方法および発表内容について説明する。 ② 顧客体験価値とは何か、その重要性および構成要素について学び、事例を通して理解を深める。 ③ グループで顧客体験価値とホスピタリティについてディスカッションを行い、プレゼンテーションテーマの決定、役割分担、リサーチ計画の策定を行う。 事前学修 2.0hr：最近利用したサービスや商品について、以下の点を振り返り考察する。 購入前：期待していたことや感じていた感情、選んだ理由を考える。 購入時：実際の体験や満足度について振り返る。 購入後：その体験が自分にとってどのような意味や価値を持ったかを考察する。 事後学修 2.0hr：顧客体験価値について復習し、グループでプレゼンテーションの準備を進める。
3 回	**授業テーマ：1. 複数人での名刺交換　2. プレゼンテーションテーマについての考察（グループワーク）** 授業内容：①複数人での名刺交換：1 対 1 での名刺交換とは異なり、複数人での名刺交換に特有のマナーや順序を体得する。複数人の場での名刺交換を通じて、グループ全体での円滑なコミュニケーションを学ぶ。 ②グループワーク：プレゼンテーションテーマ「ホスピタリティ産業における顧客体験価値（CX）」について議論し、各グループで考察をまとめる。 事前学修 2.0hr：サービスコミュニケーション実習 1a で学んだ名刺交換のマナーや重要性を復習し、複数人での名刺交換に備える。 プレゼンテーションの準備として、テーマに関連する情報をリサーチし、グループ内で議論の土台となる資料や考えを整理する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ名刺交換のスキルやビジネスマナーを振り返り、今後のビジネスシーンにどのように活かせるかを考える。 プレゼンテーションの準備として、グループでの議論内容をさらに深め、具体的なアイデアや発表資料の作成を進める。

4回	**授業テーマ：慶弔時のマナー１．慶事のマナー** 授業内容：結婚式やお祝い事など慶事における基本的な知識とマナーを学び、実際のビジネスや生活で活用できるスキルを修得する。 事前学修 2.0hr：テキスト第 8 章及び配布資料を予習し、慶事に関する基本的な知識とマナーを理解する。 事後学修 2.0hr：慶事のマナーについて復習し、授業で学んだ内容を日常生活やビジネスシーンでどのように活用できるかを振り返る。
5回	**授業テーマ：慶弔時のマナー２．弔事のマナー** 授業内容：葬儀などの弔事における基本的な知識とマナーを学び、ビジネスや生活で適切な対応ができるようにする。 事前学修 2.0hr：テキスト第 9 章及び配布資料を予習し、弔事に関する基本的な知識とマナーを理解する。 事後学修 2.0hr：弔事のマナーについて復習し、授業で学んだ内容を実際のシーンでどのように活用できるかを振り返る。
6回	**授業テーマ：食事のマナー** 授業内容：和食と洋食のテーブルマナーを学び、動画視聴を通じて食事の際の心得や作法を修得する。 ビジネスや日常生活で適切に振る舞えることを目指す。 事前学修 2.0hr：テキスト第 5 章を予習し、食事のマナーや食事中の心得について基本的な知識を理解する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ食事のマナーと心得を復習し、実際の食事シーンでどのように活かすかを考え日常で実践する。
7回	**授業テーマ：国際人としてのプロトコール** 授業内容：異文化コミュニケーションを円滑に進めるための心構えと、グローバル社会で求められるプロトコールマナーの基本知識を学ぶ。国際的なビジネスや交流の場面を想定しながら、異文化対応に必要な考え方や留意点について理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキスト「序章～第 2 章」を予習し、異文化コミュニケーションに必要な心構えやプロトコールマナーの基本を理解する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ異文化コミュニケーションの基本的な考え方やプロトコールマナーについて復習し、国際的な場面で留意すべき点を整理する。
8回	**授業テーマ：ロジカルシンキング　1. ロジカルシンキングの基礎** 授業内容：ロジカルシンキングの基本である演繹的思考・帰納的思考を学び、「なぜそう言えるのか」を論理的に考える力を養う。MECE やロジックツリーといったフレームワークを用いながら、日常生活やビジネス場面への活かし方を理解し、実践的なワークを通して思考の整理のしかたを身につける。 事前学修 2.0hr：配布資料「ロジカルシンキングの基礎」を読み、講義の流れを把握する。 事後学修 2.0hr：① 授業で学んだ演繹的思考・帰納的思考を復習し、授業中の課題を振り返りながら、論理的思考のプロセスにおける気づきや活用のポイントを整理する。 ② 次回のグループワークやプレゼンテーションに向けて、学んだ思考法をどのように応用できるかを具体的にまとめる。
9回	**授業テーマ：ロジカルシンキング　2. ロジカルシンキングの実践** 授業内容：ロジカルシンキングの基礎をもとに、演習を通して「筋道を通して考え、伝える」力を養う。情報の整理方法やフレームワークを用いて考える経験を通し、日常生活やビジネスの場面で活かせる思考を整理する力を身につける。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションに向けて、自身の考えを整理し、ロジカルシンキングを用いて伝えたい内容や論点について検討してくる。 事後学修 2.0hr：授業で学んだロジカルシンキングをどのように活用できそうかについてグループで話し合い、今後の調査・検討やプレゼンテーションに向けた準備を行う。
10回	**授業テーマ：相手の行動を促すプレゼンテーション** 授業内容：ビジネスや日常生活で実践的に使える、相手の行動を促すプレゼンテーション技法を学ぶ。プレゼンの全体像を理解し、わかりやすい構成を作成できるようにする。また、相手を動かすための説得力のある要素を整理し、実際に活用できるスキルを身につける。 事前学修 2.0hr：各グループでプレゼンテーションの準備を進める。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを活かして、プレゼンテーションをさらにブラッシュアップ！ チームで議論し、改善を加えていく。
11回	**授業テーマ：プレゼンテーションテーマについての考察（グループワーク）** 授業内容：各グループでテーマについてディスカッションを行い、プレゼンテーションの準備を進める。 ① テーマに関する主張や結論、根拠を明確にし、筋道の通ったプレゼンテーション構成ができているか確認する。 ② プレゼンテーション実施に向けて、最終的な仕上げを行う（パワーポイント作成、機材確認、役割分担、発表練習などを含む） 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備を進める。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション実施に向けた最終準備を進める。
12回	**授業テーマ：プレゼンテーション発表** 授業内容：① 各グループがパワーポイントを使いプレゼンテーションを実施する。② プレゼンテーションの成果を振り返り、学びや改善点を共有する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション発表の準備・確認をする。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションとこれまでの活動プロセスを振り返り、学びを整理する。
13回	**授業テーマ：プレゼンテーション発表及び総括** 授業内容：① 各グループがパワーポイントを使いプレゼンテーションを実施する。② プレゼンテーションの成果を振り返り、学びや改善点を共有する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備・確認をする。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの振り返りを行い、改善点や学びを共有する。
14回	**授業テーマ：授業内容の理解度チェック** 授業内容：これまでの学びを振り返り、理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：理解度チェックで間違えた箇所や、知識があいまいな箇所を再度復習し、理解を深める。
15回	**授業テーマ：総括と今後の目標** 授業内容：これまでの学びを振り返り、自分の成長を実感する時間とする。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を振り返り、自身の学びを整理する。 事後学修 2.0hr：① 自身の目標実現に向けて、現在の課題を再確認し、具体的な改善点を洗い出す。② キャリア形成に向けて、目標達成に向けた行動計画を立て、今後どのように行動していくかを明確にする。

サービスコミュニケーション実習Ⅲ

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

三木　和見（みき　かずみ）

▌授業の概要

・社会生活においてコミュニケーションを豊かにするには、マナーが欠かせないことを理解し、より豊かに生きるためのスキルを得る（SocialSkill の必要性）。

・マナーを学ぶことを通じて、人や自然に対する感謝の気持ち、そして思いやるこころを育み、その「こころ」を「かたち」にして伝えることができるようになることを目標とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3、HTM3）

一般目標：・生活文化を通じてマナーを多角的に学び、理解を深め、マナーやエチケットの大切さに気づき、そして実践できるようになる。
・多様化する社会において、固定観念にとらわれず、柔軟な発想と他者に対する思いやりのこころと寛容さを備えるようになる。

個別目標：1. 接遇マナーを学び、他者に対するおもてなしの気持ちを養い、適宜適切な態度やことば遣い、マナーで交流できる。
2. 食事マナーについて学び、会食時における適切なマナー、周囲に不快感を与えないエチケットを身につける。
3. 冠婚葬祭や年中行事を学び、季節ごとの行事や人生における通過儀礼、そして現代にも息づく習慣を知る。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

・授業における取り組み姿勢と課題により評価

▌フィードバック方法

・課題等へのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて実施

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （1. テーマに関連したペアワーク、ロールプレー等の実施　2. 和室における所作　3. 折形体験）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内の課題を各自 PC やスマートフォン等から manaba にアクセスし、課題を提出します）

▌教科書

「イラストでわかる『礼儀作法』基本テキスト」小笠原 敬承斎 著（日本能率協会マネジメントセンター）

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、姿勢、お辞儀** 授業内容：・マナーとルールの必要性を理解し、まずは他者を第一に考えることが大切であることを理解する ・相手の立場に立ってものごとを考えること、気配りの大切さを理解する ・第一印象の重要性について学習（姿勢、立礼、身だしなみ、表情） 事前学修 1.0hr：教科書　P.3「はじめに」、P.12～「礼儀作法について」、P.22～「正しい姿勢」、P.26～「立礼について」を読む 事後学修 1.0hr：学習内容をふり返り、レポート 400 字にまとめて提出 (manaba)
2回	**授業テーマ：ことば遣い** 授業内容：・気持ちをことばをとおして伝えることの大切さ ・ことば遣いで相手に与える印象、ことばを用いる際のこころ遣い、ことばの持つ力 事前学修 1.0hr：教科書 P.36～ 第 3 章 美しいことば遣い について読む 事後学修 1.0hr：教科書 P.42,43「理解度チェック」を行う
3回	**授業テーマ：物の持ち方** 授業内容：動作でこころを伝えることを理解し、相手に対して敬意を持って接する （物の持ち方、渡し方、物を持つ高さ、受け取り方） 事前学修 1.0hr：物を持つ時、物を渡す時、気をつけるべきこと、すべきことをまとめておく 事後学修 1.0hr：学習内容をふり返り、400 字レポート
4回	**授業テーマ：来客対応** 授業内容：お客様を迎える時の準備、席次の心得、茶菓の出し方、もてなしのこころ 事前学修 0.5hr：教科書 P.92～95 第 6 章 4「どの席に座るか」、6「茶菓の出し方」、7「自宅に招待する時」を読む 事後学修 1.0hr：学習内容をふり返り、自分の考えを 400 字レポートにまとめる (manaba)
5回	**授業テーマ：訪問のマナー** 授業内容：・他家を訪問する際のこころ遣い、荷物について、手土産、そして訪問時間等について ・洋室、和室でのこころ遣いを学習 事前学修 1.0hr：教科書 第 6 章 1,2,3,5「招かれた時（訪問）の心得」を読む 事後学修 1.0hr：教科書 P.96～「理解度チェック」を行う
6回	**授業テーマ：会社訪問、対応マナー** 授業内容：・他社訪問のマナー（ドアのマナー、椅子のマナー、アポイントメントのとり方、訪問時間など） ・来客対応のマナー（エレベーター、車、案内、呈茶、お見送りなど） 事前学修 1.0hr：教科書 第 10 章 1「ビジネスシーンでの身だしなみ」を読む 事後学修 1.0hr：学習内容をふり返り、400 字レポートにまとめる
7回	**授業テーマ：電話と手紙のマナー** 授業内容：・電話応対の心得（受け方、かけ方、取り次ぎ方、ことば遣いなど） ・ビジネス文書、手紙の書き方、お礼状の書き方 事前学修 1.0hr：教科書 P.46～ 第 4 章を読む 事後学修 1.0hr：教科書 P.60～「理解度チェック」を行う、訪問先へのお礼状を書く
8回	**授業テーマ：煎茶** 授業内容：おいしいお茶の入れ方、お茶の種類 事前学修 1.0hr：これまでの学習内容（呈茶、頂き方）を復習 事後学修 1.0hr：学習内容をふり返り、400 字レポート
9回	**授業テーマ：会食のマナー 1** 授業内容：・食事作法を身につける（箸について、箸の種類、自分に合う箸、正しい箸の持ち方など） ・会食時におけるこころ遣い 事前学修 1.0hr：教科書 P.64～ 第 5 章 1 日本料理の基本、2 基本マナー、3 正しい箸の使い方を読む 事後学修 1.0hr：正しい箸の持ち方を実践

10回	**授業テーマ：会食のマナー 2** 授業内容：・ 洋食をいただく際のマナー ・ ビュッフェ形式の食事マナー(ナプキン・カトラリーの扱い、乾杯の心得) 事前学修 1.0hr：教科書 第 5 章 P.70～77 西洋料理のマナー、アルコール、立食パーティーについて を読む 事後学修 1.0hr：教科書 P.78～「理解度チェック」を行う
11回	**授業テーマ：冠婚葬祭のマナー 1** 授業内容：・ 人生儀礼、結婚式のマナー ・ 祝い包み(金子包み)のマナー ・ 折形体験(紙幣包み) 事前学修 1.0hr：教科書 P.100～ 第 7 章 1～3 人生儀礼と結婚披露宴の心得 を読む 事後学修 1.0hr：祝い包みに表書をして提出
12回	**授業テーマ：冠婚葬祭のマナー 2** 授業内容：・ 葬儀と忌みことば ・ 不祝儀の金子包み(焼香の心得) 事前学修 0.5hr：教科書 P.106～111 /4～6 葬儀について、慶弔のあいさつについて を読む 事後学修 1.0hr：教科書 P.112～「理解度チェック」を行う
13回	**授業テーマ：年中行事について** 授業内容：・ 日本古来の正月行事と五節供、年中行事 事前学修 1.0hr：教科書 P.116～ 第 8 章 年中行事について を読む 事後学修 1.0hr：教科書 P.122～「理解度チェック」を行う
14回	**授業テーマ：面接マナー** 授業内容：面接の受け方(入室から退室まで一連の動作) 事前学修 1.0hr：これまでに学んだ姿勢、お辞儀、椅子のマナー、ドアのマナーを確認 事後学修 1.0hr：400 字レポート (manaba)
15回	**授業テーマ：復習(実技の確認)** 授業内容：これまでに学習した実技を総復習、補足説明 事前学修 1.0hr：これまでに学習した内容を確認 事後学修 4.0hr：400 字レポート

日本文化論

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

信常　幸恵（のぶつね　ゆきえ）

▌授業の概要

日本を訪れる外国人に自信を持って日本文化を紹介できるようになる知識を得るのが本講義の目的とする。グループディスカッション、ペアワークも取り入れ、双方向で授業を行うので、積極的な発言を期待する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：日本文化、日本事象を海外からの目線を意識した上で理解し、自分の言葉で説明できるようになる知識を習得する。外国人の視点を踏まえた上で、訪日外国人が日本に対して持つ典型的な疑問のポイントを即座にとらえられるようになる。

個別目標：訪日外国人から質問を受けた際、的確に具体的に答えられるようになる。外国人からの質問を多面的に捉え、様々な視点を考慮にいれた上で、中身の濃い外国人が納得できる答えができるようになる。

▌履修条件

日本の文化、社会や歴史に関して幅広く興味と好奇心を持ち様々な事象を観察できるようになることを目指す学生を対象とする。

▌評価基準・方法

授業内ミニテスト 40 %、授業内における参加姿勢及び発言等 60 %の結果及び到達目標の達成度に基づき、総合的に評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。
対面にて補完的なフィードバックも行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。必要に応じてプリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス(評価方法の具体的説明)** 授業内容：インバウンドの旅客の視点で日本文化を考察する方法について学ぶ。 事前学修 1.0hr：情報収集 事後学修 3.0hr：本日の復習
2 回	**授業テーマ：日本の地理．歴史 1** 授業内容：縄文時代から安土桃山時代を中心に日本の歴史を学ぶ。日本の地理的特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
3 回	**授業テーマ：日本の地理．歴史 2** 授業内容：江戸時代以降を中心に日本の歴史を学ぶ。日本の地理的特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
4 回	**授業テーマ：観光** 授業内容：日本の観光地(東京、京都その他)の特徴及びインバウンド旅客が観光に何を求めて来るのかを考察する。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
5 回	**授業テーマ：和食** 授業内容：和食の特徴及びインバウンド旅客が興味を持つ和食の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
6 回	**授業テーマ：舞台芸術．音楽** 授業内容：日本の伝統文化(歌舞伎、能、文楽等)の特徴について学ぶ。邦楽の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
7 回	**授業テーマ：美術．工芸** 授業内容：日本画、陶芸等、日本美術の特徴について考察する。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
8 回	**授業テーマ：国宝** 授業内容：日本の国宝について学ぶ。各地の国立博物館の収蔵品との関係についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
9 回	**授業テーマ：宗教** 授業内容：神道、仏教を中心に日本の宗教の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
10 回	**授業テーマ：文化行事．祝祭日** 授業内容：日本の年中行事について文化的側面を中心に学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
11 回	**授業テーマ：生活様式** 授業内容：日本独特の生活様式について学ぶ。インバウンド旅客が疑問に思う点について考察する。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習

12回	**授業テーマ：教育** 授業内容：日本の義務教育、高等教育の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
13回	**授業テーマ：ビジネス** 授業内容：日本のビジネス慣習の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
14回	**授業テーマ：訪日外国人から見た日本人** 授業内容：江戸時代以降の参考文献を中心に日本を訪れた外国人が見た日本文化の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
15回	**授業テーマ：まとめ及び最終ミニテスト** 授業内容：日本文化全般のまとめと各自がインバウンド旅客に日本文化の説明を行う時の要点を再確認する。 事前学修 2.0hr：今までの授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：本日の復習

世界遺産論

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

世界遺産は、人類や自然によって過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物であると同時に、未来へと引き継がなければならない貴重なものでもある。そして旅行業界においても、国内外ツアーを作成するにあたり、世界遺産は不可欠な観光素材になっている。そんな世界遺産に関し、基礎知識から遺産そのものの文化的、歴史的知識を講義する。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：講義を通じて、世界遺産の成り立ちを学び、世界遺産の存在価値、重要性等を認識する。
個別目標：世界遺産の価値、重要性を学ぶことで、世界遺産検定３級の取得を目指す。

▌履修条件

世界遺産に関し、深い探求心と興味を持っている学生。または世界遺産検定３級の取得を希望する学生。

▌評価基準・方法

授業態度（１０%）、適宜行う小テスト又はコメントシート（２０%）、期末試験（７０%）の要素を総合的に勘案し判断する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、検定内容の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

「きほんを学ぶ世界遺産１００　世界遺産検定３級公式テキスト」NPO 法人世界遺産アカデミー監修・発行

▌参考書

授業内で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業ガイダンス** 授業内容：シラバスに従い、授業の進め方、評価方法など説明する。また、世界遺産検定について、検定までの日程、検定試験の内容などを説明する。さらに導入講義として、人気の世界遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：情報収集 事後学修 2.0hr：本日の復習
2回	**授業テーマ：世界遺産の基礎知識について** 授業内容：世界遺産の歴史や成り立ち、世界遺産条約制定のきっかけになった事象、世界遺産に登録されるまでの流れや条件など、世界遺産に関する基本的な知識を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
3回	**授業テーマ：日本の世界遺産（１）** 授業内容：日本の世界遺産（知床、白神山地、平泉等）とその遺産に関連する世界の世界遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
4回	**授業テーマ：日本の世界遺産（２）** 授業内容：日本の世界遺産（小笠原諸島、富士山、白川五箇山の合掌造り等）とその遺産に関連する世界の世界遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
5回	**授業テーマ：日本の世界遺産（３）** 授業内容：日本の世界遺産（奈良、法隆寺、百舌鳥古市古墳群等）とその遺産に関連する世界の世界遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
6回	**授業テーマ：日本の世界遺産（４）** 授業内容：日本の世界遺産（石見銀山、厳島神社、原爆ドーム等）とその遺産に関連する世界の世界遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
7回	**授業テーマ：日本の世界遺産（５）** 授業内容：日本の世界遺産（沖ノ島、沖縄、屋久島等）とその遺産に関連する世界の世界遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
8回	**授業テーマ：人類の誕生と古代文明** 授業内容：テキストのチャプター３を中心に学ぶ。特に地中海沿岸に勃興した文明に関する遺産や、ローマ帝国に関する遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
9回	**授業テーマ：アジア世界の形成と宗教** 授業内容：テキストのチャプター４を中心に学ぶ。特に中国や東南アジアに存在する遺産や、仏教やイスラム教に関する遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
10回	**授業テーマ：ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代** 授業内容：テキストのチャプター５を中心に学ぶ。特に中世ヨーロッパの大きな出来事、例えばレコンキスタの舞台はグラナダ、ルネッサンス発祥地のフィレンツェなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習

11回	**授業テーマ：アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動** 授業内容：テキストのチャプター６を中心に学ぶ。特にアメリカ大陸には、現在も謎な部分が多い古代文明がたくさん存在する。例えばインカ遺跡のマチュピチュ、マヤ遺跡のチチェンイッツァなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
12回	**授業テーマ：近代国家の成立と世界の近代化** 授業内容：テキストのチャプター７を中心に学ぶ。特に、絶対王政の象徴ヴェルサイユ宮殿、ハプスブルク家の離宮シェーンブルン宮殿、歴史のない首都ブラジリアなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
13回	**授業テーマ：テーマ(文化的景観、戦争、紛争等)でみる世界遺産** 授業内容：テキストのチャプター８を中心に学ぶ。具体的には、自然と文化が融合した遺産(文化的景観)や、戦争や紛争、災害などで危機的な状況になっている遺産(危機遺産)や、今後決して現れてはいけない建造物等(負の遺産)を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
14回	**授業テーマ：世界の自然遺産** 授業内容：テキストのチャプター９を中心に世界の自然遺産を集中的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
15回	**授業テーマ：世界遺産の総復習** 授業内容：今まで学んだ世界遺産に関するすべてを復習することで、今後の世界遺産の在り方、存在意義などを考えてみる。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習

デスティネーション研究 A（日本）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

日本という国は、北海道から沖縄までの東西、南北に長く、四季を持つことも含め、大変見所が多い国である。しかしながら世界的に見て、日本という国が観光立国かというと訪日外国人数は順調に伸びているとはいえ、世界の名だたる観光立国と比較するとまだまだ差があるという現実もある。こういった点からこの講義では、日本全国の観光地を取り上げ、日本人のみならず外国人の方々にも日本のすばらしい文化、歴史、観光などが案内できるように講義する。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：日本各地の幅広い観光知識を身につけ、同時に日本ならではの文化・自然を知る。

個別目標：日本各地の様々な観光知識を身につけ、全国各地に旅行する者(外国人観光客を含む)に、わかりやすく説明できるようになる。また、国内ツアーの商品開発等もできるようになる。

▌履修条件

国内観光に関して幅広く興味を持っている人、好奇心旺盛な人など旅行を商品として扱う人に必要な条件を持つ、又は持つために努力できることが履修条件です。

▌評価基準・方法

期末テスト(７０%)、適宜行う小テスト又はコメントシート(２０%)、授業態度など(１０%)に基づき総合的に評価する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、各国の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業についてのガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。また、地図等を用いて日本各地の観光地を簡単に紹介し、学習する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、日本の有名観光地のイメージを挙げておく 事後学修 2.0hr：興味を持った都道府県に関する事を調べる
2回	**授業テーマ：山陽地方の観光研究１** 授業内容：山陽地方で最も人気の高い広島県を中心に学習する。特に、2 つの世界遺産(原爆ドーム、厳島神社)に関しては深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：広島県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
3回	**授業テーマ：山陽地方の観光研究２** 授業内容：山陽地方、特に山口県を中心に学習する。自然観光地(秋吉台、秋芳洞)や、幕末の志士が多く生まれた萩などを深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：山口県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
4回	**授業テーマ：四国地方の観光研究１** 授業内容：四国周遊ツアーをモデルとして、香川県、愛媛県などを学習する。香川県は「こんぴら参り」で有名な金刀比羅宮、愛媛県は日本三古湯でもある道後温泉などを深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：香川県、愛媛県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
5回	**授業テーマ：四国地方の観光研究２** 授業内容：四国周遊ツアーをモデルとして、高知県、徳島県などを学習する。高知県は坂本龍馬ゆかりの桂浜、徳島県は自然観光地(渦潮、渓谷)などを深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：高知県、徳島県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
6回	**授業テーマ：東北地方の観光研究１** 授業内容：東北周遊ツアーをモデルとして、青森県を学習する。青森県は奥入瀬渓谷や十和田湖といった自然観光地から、弘前城などの歴史的建造物も学ぶ。 事前学修 2.0hr：青森県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
7回	**授業テーマ：東北地方の観光研究２** 授業内容：東北周遊ツアーをモデルとして、岩手県を学習する。岩手県には平泉という世界遺産があり、美しい渓谷美などが多く、そういった部分を深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：岩手県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
8回	**授業テーマ：東北地方の観光研究３** 授業内容：東北周遊ツアーをモデルとして、秋田県、宮城県を学習する。秋田県発祥の「なまはげ伝説」や、宮城県の偉人、伊達政宗公ゆかりの地などを深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：秋田県、宮城県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
9回	**授業テーマ：北陸地方の観光研究１** 授業内容：北陸周遊ツアーをモデルとして、日本人にも外国人にも高い人気がある石川県を学習する。日本三名園の一つ兼六園を始め、歴史深い建物が並ぶひがし茶屋街、焼物、染物といった名産品なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：石川県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる

10回	**授業テーマ：北陸地方の観光研究２** 授業内容：北陸周遊ツアーをモデルとして、富山県を学習する。富山県には立山連峰がそびえるが、その山々を様々な乗り物でダイナミックに観光するアルペンルートを中心に学ぶ。 事前学修 2.0hr：富山県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
11回	**授業テーマ：北陸地方の観光研究３** 授業内容：北陸周遊ツアーをモデルとして、福井県を学習する。特に北陸の名刹永平寺や、海に突き出した東尋坊など絶景観光地を学ぶ。 事前学修 2.0hr：福井県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
12回	**授業テーマ：南九州地方の観光研究１** 授業内容：南九州周遊ツアーをモデルとして、宮崎県を学習する。「神話の国」と呼ばれる宮崎県には神々を祀るパワースポットが多く、そういった観光地を中心に学ぶ。 事前学修 2.0hr：宮崎県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
13回	**授業テーマ：南九州地方の観光研究２** 授業内容：南九州周遊ツアーをモデルとして、鹿児島県を学習する。１年に千回近く噴火する桜島や、太平洋戦争末期の悲しい歴史の中心地、知覧などを中心に学ぶ。 事前学修 2.0hr：鹿児島県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
14回	**授業テーマ：北海道地方の観光研究** 授業内容：「行ってみたい都道府県」で常に１位を取るほどの人気の北海道について、札幌、函館を中心に学ぶ。 事前学修 2.0hr：北海道の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
15回	**授業テーマ：国内観光の将来性** 授業内容：今まで様々な日本の観光地を学んできて、今後どのような観光地を目指すべきか、問題点はないか、新しい観光資源を生むことは出来るか、といったことを学んでいく。 事前学修 2.0hr：今まで学んだ都道府県の復習をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理する

デスティネーション研究 B（ヨーロッパ）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

ヨーロッパの国々、特に日本人観光客に人気のある国をピックアップして講義する。中でも特別な 5 カ国(イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン)に関しては、各旅行会社も多彩なツアーを催行していることから 2 回づつ重点的に講義する。ヨーロッパの観光、歴史、風習、食事、スポーツなどのテーマを通じて、ヨーロッパの幅広い観光知識を持てるようにする。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：ヨーロッパ各国、とりわけ旅行業界で商品となりうる国々の様々な観光知識を身につけ、同時にヨーロッパの深い文化・歴史を知る。
個別目標：ヨーロッパ各国の様々な観光知識を身につけ、それらの国へ渡航する旅行者に対し、わかりやすく説明できるようになる。また、ヨーロッパツアーの商品開発等もできるようになる。

▌履修条件

ヨーロッパ各国に関して幅広く興味を持っている人、それらの国々に行ってみたい人、好奇心旺盛な人など、旅行を商品として扱う人に必要な条件を持つ、又は持つために努力できることが履修条件です。

▌評価基準・方法

期末試験(７０%)、適宜行う小テスト又はコメントシート(２０%)、授業態度など(１０%)に基づき総合的に評価する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、各国の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

適宜授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業ガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。また、地図等を用いてヨーロッパ各国の観光地を簡単に紹介し、学習する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、ヨーロッパの国々のイメージを挙げておく 事後学修 2.0hr：興味を持ったヨーロッパの国に関する事を調べる
2回	**授業テーマ：イギリスの観光研究(1)** 授業内容：イギリスの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、首都ロンドンの観光資源(バッキンガム宮殿やビッグベン等)についても深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：イギリスの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
3回	**授業テーマ：イギリスの観光研究(2)** 授業内容：イギリスの様々な文化(アフタヌーンティ、パブ等)についてや、ロンドン以外の観光地(シェイクスピアゆかりの地、絵本作家ポターゆかりの地)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：イギリスの地方都市について調べる 事後学修 2.0hr：イギリスで最も興味を持った都市をさらに調べる
4回	**授業テーマ：フランスの観光研究(1)** 授業内容：フランスの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、首都パリの観光資源(凱旋門、エッフェル塔等)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：フランスの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
5回	**授業テーマ：フランスの観光研究(2)** 授業内容：フランスの美術館や、パリ以外の地方の観光地(ヴェルサイユ宮殿、モンサンミシェル等)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：フランスの地方都市について調べる 事後学修 2.0hr：フランスで最も興味を持った都市をさらに調べる
6回	**授業テーマ：ドイツの観光研究(１)** 授業内容：ドイツの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、日本人に最も人気のある観光街道(ロマンチック街道)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：ドイツの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、ドイツの文化をさらに調べる
7回	**授業テーマ：ドイツの観光研究(２)** 授業内容：前回に続き、日本人に高い人気を誇る観光街道(古城街道)沿いの街を学ぶ。さらに、ドイツの様々な文化(祭り、ビール、名産品等)も学ぶ。 事前学修 2.0hr：ドイツの観光街道について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
8回	**授業テーマ：イタリアの観光研究(1)** 授業内容：イタリアの国情報(国名、人口、面積、食文化等)を学び、首都ローマの観光資源(コロッセオ、トレビの泉等)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：イタリアの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
9回	**授業テーマ：イタリアの観光研究(2)** 授業内容：ローマ以外のイタリアの人気観光地(フィレンツェ、ベネチア、ミラノ)を学ぶ。特にフィレンツェではイタリア絵画を、ベネチアでは水の都になった理由を、ミラノではダビンチの名画を、それぞれ学ぶ。 事前学修 2.0hr：イタリアのミラノ、フィレンツェ、ベニスについて調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
10回	**授業テーマ：スペインの観光研究(1)** 授業内容：スペインの国情報(国名、人口、面積、言語等)を学び、さらにスペインの文化(スペインバル、フラメンコ、祭)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：スペインの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、文化歴史をさらに調べる

11回	**授業テーマ：スペインの観光研究(2)** 授業内容：スペインの二大観光都市(マドリード、バルセロナ)を学ぶ。特にマドリードではプラド美術館を、バルセロナではガウディの建築群を、それぞれ学ぶ。 事前学修 2.0hr：マドリード、バルセロナについてさらに調べる 事後学修 2.0hr：スペインで興味を持った地方都市をさらに調べる
12回	**授業テーマ：オランダの観光研究** 授業内容：オランダの国情報(国名、人口、面積、言語等)を学び、さらに首都アムステルダムの観光資源(国立美術館、運河クルーズ等)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：オランダの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
13回	**授業テーマ：ベルギーの観光研究** 授業内容：ベルギーの国情報(国名、人口、面積、言語等)を学び、さらに首都ブリュッセルの観光資源や、日本でも人気の物語の舞台でもあるアントワープについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：ベルギーの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
14回	**授業テーマ：オーストリアの観光研究** 授業内容：オーストリアの国情報(国名、人口、面積、言語等)を学び、さらに首都ウィーンの観光資源やハプスブルク家の歴史、そしてオーストリアのカフェ文化などについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：オーストリアの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
15回	**授業テーマ：その他の小国の観光研究** 授業内容：ヨーロッパの小国をいくつかピックアップし、学ぶ。スイスの山々やチェコの首都プラハの美しい街並みなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：スイス、チェコの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理する

デスティネーション研究Ｃ（南北アメリカ）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

南北アメリカ大陸において毎年多くの日本人観光客が訪れるアメリカ合衆国を中心に、各都市ごとの観光地や文化などを講義する。また、アメリカ合衆国に勝るとも劣らない人気国カナダの大自然観光地や、絶景世界遺産が多い南米各国の観光資源を講義し、南北アメリカ大陸の幅広い観光知識を持てるように講義する。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：南北アメリカ各国の様々な観光知識を身につけ、同時に南北アメリカ各国の深い自然・文化を知る。

個別目標：南北アメリカ各国の様々な観光知識を身につけ、それらの国々に渡航する旅行者に対し、わかりやすく説明できるようになる。また、南北アメリカツアーの商品開発等もできるようになる。

▌履修条件

南北アメリカ各国に関して幅広く興味を持っている人、それらの国々に行ってみたい人、好奇心旺盛な人など、旅行を商品として扱う人に必要な条件を持つ、又は持つために努力できることが履修条件です。

▌評価基準・方法

期末試験（７０%）、適宜行う小テスト又はコメントシート（２０%）、授業態度など（１０%）に基づき総合的に評価する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、各国の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業ガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。また、地図等を用いて北米及び南米各国の観光地を簡単に紹介し、学習する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、南北アメリカの国々のイメージを挙げておく 事後学修 2.0hr：興味を持った南北アメリカの国に関する事を調べる
2回	**授業テーマ：カナダの観光研究(1)** 授業内容：カナダの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、カナダ観光の玄関口、バンクーバーやビクトリアについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：カナダの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
3回	**授業テーマ：カナダの観光研究(2)** 授業内容：カナダ観光の最重要地でもある世界遺産カナディアンロッキーについて学ぶ。内容としては、カナディアンロッキーの国立公園、特に美しい湖や山や滝などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：カナディアンロッキーについて自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
4回	**授業テーマ：カナダの観光研究(3)** 授業内容：カナダ東海岸に伸びる人気観光街道、メープル街道沿いの街(モントリオール、オタワなど)や、世界三大瀑布の一つナイアガラの滝について学ぶ。 事前学修 2.0hr：カナダ東海岸の都市について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
5回	**授業テーマ：アメリカ合衆国の観光研究(1)** 授業内容：アメリカ合衆国の国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、首都ワシントンＤＣの観光地(ホワイトハウス、国会議事堂等)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：アメリカ合衆国の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
6回	**授業テーマ：アメリカ合衆国の観光研究(2)** 授業内容：観光客に一番人気になっている国内最大都市ニューヨークを取り上げ、特に自由の女神やブロードウェイ、セントラルパークなどを中心に学ぶ。 事前学修 2.0hr：アメリカ東部の観光都市について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
7回	**授業テーマ：アメリカ合衆国の観光研究(3)** 授業内容：アメリカ南部の観光地を中心に学ぶ。具体的には「音楽の都」ニューオーリンズや、テーマパーク王国のオーランドなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：アメリカ南部の観光都市について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
8回	**授業テーマ：アメリカ合衆国の観光研究(4)** 授業内容：アメリカに多数ある国立公園の中で、特に日本人観光客に人気の高い国立公園をピックアップして学ぶ。さらに国立公園の由来なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：アメリカの国立公園や自然について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
9回	**授業テーマ：アメリカ合衆国の観光研究(5)** 授業内容：アメリカ西海岸の人気都市をピックアップし、学ぶ。具体的には、ロサンゼルスのハリウッド、サンフランシスコのゴールデンゲートブリッジ、ラスベガスのカジノビジネスなどについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：アメリカ西海岸の観光地について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる

10回	**授業テーマ：メキシコの観光研究（1）** 授業内容：メキシコの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、さらにメキシコの様々な文化(食、祭、音楽等)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：メキシコの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
11回	**授業テーマ：メキシコの観光研究（2）** 授業内容：メキシコの首都メキシコシティの観光施設を学ぶ。さらに、ユカタン半島に広がるマヤ遺跡(特にチチェンイッツァ)に関し深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：メキシコシティの観光地について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
12回	**授業テーマ：ペルーの観光研究** 授業内容：ペルーの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、さらにインカ帝国時代の遺跡(マチュピチュなど)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：ペルーの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
13回	**授業テーマ：ブラジルの観光研究** 授業内容：ブラジルの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、さらに世界遺産に登録されているリオデジャネイロの観光施設やカーニバルについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：ブラジルの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
14回	**授業テーマ：アルゼンチンの観光研究** 授業内容：アルゼンチンの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、さらにアルゼンチンの音楽や南米のパリと呼ばれる首都ブエノスアイレスの観光施設を学ぶ。 事前学修 2.0hr：アルゼンチンの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
15回	**授業テーマ：その他の南米の観光地について** 授業内容：ここまでの講義で触れることのなかった南米の絶景観光地を学ぶ。具体的には、ボリビアの塩湖、ブラジルの砂丘、アルゼンチンの氷河などを学ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスに明記されている南米の観光地を調べておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理する

デスティネーション研究 D（アジア）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

日本人観光客の行ってみたい旅行先としてアジアは常に上位にランクされている。そういった見地からアジア各国の観光、歴史、食事、特産品といった広範囲な情報を講義する。特に韓国や中国といった訪日観光客が多い国などは、その国の文化なども掘り下げて講義し、総合的にアジアという大陸文化を理解出来るように講義する。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：アジア各国、とりわけ旅行業界で商品となりうる国々の観光知識を身につけ、同時にアジアの深い歴史文化を知る。

個別目標：アジア各国の様々な観光知識を身につけ、それらの国々へ渡航する旅行者に対し、わかりやすく説明できるようになる。また、アジアツアーの商品開発等もできるようになる。

▌履修条件

アジア各国に関して幅広く興味を持っている人、それらの国々に行ってみたい人、好奇心旺盛な人など、旅行を商品として扱う人に必要な条件を持つ、又は持つために努力できることが履修条件です。

▌評価基準・方法

期末試験（７０%）、適宜行う小テスト又はコメントシート（２０%）、授業態度など（１０%）に基づき総合的に評価する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。なお、定期試験のフィードバックは、学習支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、各国の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業のガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。また、地図等を用いてアジア各国の観光地を簡単に紹介し、学習する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、アジアの国々のイメージを挙げておく 事後学修 2.0hr：興味を持ったアジアの国に関する事を調べる
2回	**授業テーマ：大韓民国の観光研究（１）** 授業内容：韓国の国情報（国名、人口、面積、通貨等）を学び、国内最大都市ソウルの観光施設（宮殿、市場等）についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：韓国の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
3回	**授業テーマ：大韓民国の観光研究（２）** 授業内容：ソウル以外の韓国の人気観光地をピックアップし、学ぶ。具体的には、港町の釜山や韓国のハワイとも呼ばれる済州島などを学ぶ。 事前学修 2.0hr：韓国の地方都市について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
4回	**授業テーマ：中国の観光研究（１）** 授業内容：中国の国情報（国名、人口、面積、通貨等）を学び、首都北京の観光施設（天安門、故宮等）や郊外の万里の長城についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：中国の基本情報と北京について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
5回	**授業テーマ：中国の観光研究（２）** 授業内容：国内随一の経済都市上海の観光施設について学ぶ。また、上海郊外に位置する「水の都」蘇州や、日本から直行便も運航されている杭州についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：中国の地方都市について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
6回	**授業テーマ：中国の観光研究（３）** 授業内容：北京や上海のような大都会以外の地方都市（秦の始皇帝ゆかりの西安、絶景が見られる世界自然遺産等）をいくつかピックアップし、学ぶ。 事前学修 2.0hr：中国の地方都市について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
7回	**授業テーマ：中国の観光研究（４）** 授業内容：香港・マカオの都市情報（正式名称、人口、面積、等）を学び、香港の観光施設や食文化、またマカオでは巨大なカジノビジネスについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：香港・マカオの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
8回	**授業テーマ：台湾の観光研究** 授業内容：台湾の情報（正式名称、人口、面積、通貨等）を学び、最大都市台北の観光施設（龍山寺、故宮博物院等）や食文化についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：台湾の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
9回	**授業テーマ：ベトナムの観光研究** 授業内容：ベトナムの国情報（国名、人口、面積、通貨等）を学び、首都ハノイ、及び国内最大都市ホーチミンシティの観光施設、名産品についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：ベトナムの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
10回	**授業テーマ：タイの観光研究** 授業内容：タイの国情報（国名、人口、面積、通貨等）を学び、首都バンコクの観光施設、及びタイフードについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：タイの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる

11回	**授業テーマ：シンガポールの観光研究** 授業内容：シンガポールの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、シンガポール市内の観光施設、市内に多く建つコロニアルホテルの特徴、シンガポールフードについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：シンガポールの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
12回	**授業テーマ：マレーシアの観光研究** 授業内容：マレーシアの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、首都クアラルンプールの観光施設(モスク、市場等)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：マレーシアの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
13回	**授業テーマ：インドの観光研究** 授業内容：インドの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学ぶ。また、通称ゴールデントライアングルと呼ばれる3つの街からデリーとアーグラの観光施設を取り上げ、さらにヒンドゥー教の聖地についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：インドの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
14回	**授業テーマ：東南アジアの小国の観光研究(1)** 授業内容：カンボジアの国情報(国名、人口、面積、通貨等)や人気のアンコールワット遺跡を学び、その他のアジアの小国も学ぶ。 事前学修 2.0hr：予告された国の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
15回	**授業テーマ：東南アジアの小国の観光研究(2)** 授業内容：ラオスの国情報(国名、人口、面積、通貨等)や人気の街ルアンパバーンを学び、その他のアジアの小国も学ぶ。 事前学修 2.0hr：予告された国の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる

デスティネーション研究 E（オセアニア、太平洋地域）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

オセアニア、太平洋地域には、オーストラリア、ニュージーランドのように発展した地域がある一方、地図で見ると点にしかならないような小さな島々も多く存在する。豊かな海に恵まれたこの地域は自然資源に恵まれているが、観光という点ではまだまだ未開発の地域も多く、今後、これらの地域の発展に観光産業が大きな役割を果たすことは間違いない。このような地域の特性を歴史や文化を踏まえて理解をすることが今後の観光と地域発展にとって重要である。この講義では、多くの観光客が訪れる国および島々を取り上げ、観光資源だけでなく、自然・文化についても講義していく。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：オセアニア・太平洋地域の概要とディスティネーションとしての魅力を理解し、旅行商品の企画や説明に必要な基本事項の習得を目的とする。(概要、文化、歴史、経済、政治、観光資源等)

個別目標：オセアニア・太平洋地域の様々な観光知識を身につけ、それらの国々へ渡航する旅行者に対し、わかりやすく説明できるようになる。また、オセアニア・太平洋地域の商品開発等もできるようになる。

▌履修条件

オセアニア・太平洋地域の各国に関して幅広く興味を持っている人、それらの国々に行ってみたい人、好奇心旺盛な人など、旅行を商品として扱う人に必要な条件を持つ、又は持つために努力できることが履修条件です。

▌評価基準・方法

期末試験（７０%）、適宜行う小テスト又はコメントシート（２０%）、授業態度など（１０%）に基づき総合的に評価する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、各国の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業ガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。また、地図等を用いてオセアニア各国の観光地を簡単に紹介し、学習する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読んで、オセアニア・南太平洋地域の国々のイメージを挙げておく 事後学修 2.0hr：オセアニア、南太平洋地域の概略について復習する
2回	**授業テーマ：ニュージーランドの観光研究（１）** 授業内容：ニュージーランドの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、国内最大都市オークランドの観光施設や、ニュージーランド固有の動物についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：ニュージーランドの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
3回	**授業テーマ：ニュージーランドの観光研究（２）** 授業内容：オークランド以外の観光地について学ぶ。具体的には、ガーデンシティと呼ばれるクライストチャーチや、ダイナミックなフィヨルドが美しいミルフォードサウンドなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：南島について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、南島の観光地をさらに調べる
4回	**授業テーマ：オーストラリアの観光研究（１）** 授業内容：オーストラリアの国情報(国名、人口、面積、通貨、歴史、航空会社等)を学ぶ。また、オーストラリア固有の動物についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：オーストラリアの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
5回	**授業テーマ：オーストラリアの観光研究（２）** 授業内容：国内最大都市シドニーの歴史や観光施設、特に世界遺産のオペラハウスについて深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：シドニーの観光地、歴史などを調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、シドニーについてさらに調べる
6回	**授業テーマ：オーストラリアの観光研究（３）** 授業内容：日本から直行便も就航している人気の街メルボルンについて学ぶ。メルボルン市内の観光施設を始め、郊外にある可愛い動物を見ることができるフィリップ島なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：メルボルンの観光地、歴史などを調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、地方都市についてさらに調べる
7回	**授業テーマ：オーストラリアの観光研究（４）** 授業内容：シドニー、メルボルンといった大都会以外の人気都市をピックアップして学ぶ。具体的には、西オーストラリア州の州都パースや、マリンスポーツが楽しめるケアンズなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：パース、ケアンズについて調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、自然観光地についてさらに調べる
8回	**授業テーマ：ニューカレドニアの観光研究** 授業内容：ニューカレドニアの国情報(国名、人口、面積、通貨、歴史、航空会社等)を学ぶ。また、島の中心地ヌーメアの観光施設や、離島観光について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ニューカレドニアについて事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、ニューカレドニアの特徴や観光資源について復習する
9回	**授業テーマ：フィジーの観光研究** 授業内容：フィジーの国情報(国名、人口、面積、通貨、歴史等)を学ぶ。また、フィジーの様々な文化や、名産品なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：フィジーについて事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、フィジーの特徴や観光資源について復習する

10回	**授業テーマ：ハワイ州の観光研究（1）** 授業内容：ハワイ州の基本情報(人口、面積、歴史、禁止事項等)を学ぶ。また、フラやウクレレといったハワイ独特の文化等も学ぶ。 事前学修 2.0hr：ハワイの各島について事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、ハワイ諸島の文化について復習する
11回	**授業テーマ：ハワイ州の観光研究（2）** 授業内容：ハワイ州の島々の中で日本人観光客に最も人気のあるオアフ島を中心に歴史や観光地について学ぶ。また、ハワイの人気フードなども学ぶ。 事前学修 2.0hr：オアフ島の観光地について事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、オアフ島の特徴と観光地について復習する
12回	**授業テーマ：ハワイ州の観光研究（3）** 授業内容：ハワイ州の島々の中で最大の面積を誇るハワイ島の観光地や、現在も噴火活動をしている火山群などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ハワイ島の観光地について事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、ハワイ島の特徴と観光地について復習する
13回	**授業テーマ：イースター島(ラパヌイ)の観光研究（1）** 授業内容：イースター島の基本情報(人口、面積、歴史等)を学ぶ。また、モアイ像の歴史も学ぶ。 事前学修 2.0hr：イースター島について事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、イースター島の全般と歴史について復習する
14回	**授業テーマ：イースター島(ラパヌイ)の観光研究（2）** 授業内容：前回の講義で学べなかったモアイに関する事項(モアイはどうやって作った、どうやって運んだ等)を学ぶ。また、イースター島の土産や、モアイ以外の観光地を学ぶ。 事前学修 2.0hr：モアイ像について事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、ラパヌイの全てについて復習する
15回	**授業テーマ：グアム・パラオの観光研究** 授業内容：グアム、パラオの基本情報(人口、面積、歴史等)を学ぶ。また、グアムの観光エリアやパラオの美しい島々などを学ぶ。 事前学修 2.0hr：グアム・パラオについて事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、グアム・パラオの特徴と観光地について復習する

デスティネーション研究 F（アフリカ、中東地域等）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

アフリカ・中東地域は日本人にとってなじみの薄いデスティネーションかもしれない。2010 年に起きた民主化運動「アラブの春」以降、治安が不安定になった北アフリカ各国や、宗教間の争いが絶えない中東各国を見ると、旅行先としては安全性の確保から考慮してもリスクがあるかもしれない。しかしそのような地域の中でも、観光資源に恵まれ、さらに治安が安定している国があるのも事実である。この講義では、アフリカ・中東の国々のうち日本人観光客に比較的人気のある国を中心に、観光資源だけでなく、宗教や文化についても講義していく。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：アフリカ・中東各国、とりわけ旅行業界で商品となりうる国々の観光知識を身につけ、同時にアフリカ・中東各国の深い歴史・文化を知る。
個別目標：アフリカ・中東各国の様々な観光知識を身につけ、それらの国へ渡航する旅行者に対し、わかりやすく説明できるようになる。また、アフリカツアー、中東ツアーの商品開発等もできるようになる。

▌履修条件

アフリカ・中東各国に関して幅広く興味を持っている人、それらの国々へ行ってみたい人、好奇心旺盛な人など、旅行を商品として扱う人に必要な条件を持つ、又は持つために努力できることが履修条件です。

▌評価基準・方法

期末試験（７０%）、適宜行う小テスト又はコメントシート（２０%）、授業態度など（１０%）の結果に基づき総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。なお、定期試験のフィードバックは、学習支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、各国の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業ガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。また、地図等を用いて中東やアフリカの各国の観光地を簡単に紹介し、学習する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、中東・アフリカの国々のイメージを挙げておく 事後学修 2.0hr：興味を持った中東・アフリカの国に関する事を調べる
2回	**授業テーマ：トルコの観光研究（１）** 授業内容：トルコの国情報（国名、人口、面積、通貨、歴史等）を学び、国内最大都市イスタンブールの歴史や観光施設についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：トルコの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
3回	**授業テーマ：トルコの観光研究（２）** 授業内容：トルコの遺跡や自然観光地を中心に学ぶ。具体的には、木馬で有名なトロイ遺跡、真っ白な温泉地のパムッカレ、奇岩が並ぶカッパドキアなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：トルコの地方都市について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
4回	**授業テーマ：トルコの観光研究（３）** 授業内容：トルコで見られる様々な文化（踊り、サウナ、料理など）を学ぶ。また、名産品も学ぶ。 事前学修 2.0hr：トルコの文化について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
5回	**授業テーマ：アラブ首長国連邦の観光研究（１）** 授業内容：アラブ首長国連邦の国情報（国名、人口、面積、通貨等）を学び、首都アブダビの巨大モスクや豪華ホテルなどを学ぶ。また、民族衣装などについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：アラブ首長国連邦の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
6回	**授業テーマ：アラブ首長国連邦の観光研究（２）** 授業内容：アラブ首長国連邦の中で、観光客が最も集まるドバイについて様々事柄（歴史、観光施設など）を学ぶ。また、中東独特の市場、マーケットについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：アラブ首長国連邦のドバイについて調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
7回	**授業テーマ：イスラエルの観光研究（１）** 授業内容：イスラエルの国情報（国名、人口、面積、通貨等）を学び、三大宗教（ユダヤ、キリスト、イスラム）の聖地が集まるエルサレムについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：イスラエルの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
8回	**授業テーマ：イスラエルの観光研究（２）** 授業内容：新約聖書の舞台となっている町々を学ぶと同時に、聖書の内容も理解する。キリストが生まれた場所に建つ教会や、キリストが磔になった場所に建つ教会なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：旧約・新約聖書について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
9回	**授業テーマ：南アフリカの観光研究（１）** 授業内容：南アフリカの国情報（国名、人口、面積、通貨等）を学ぶ。また、南アフリカの悪法アパルトヘイト（人種隔離政策）なども学ぶ。さらに野生動物の宝庫である国立公園も学ぶ。 事前学修 2.0hr：南アフリカの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる

10回	**授業テーマ：南アフリカの観光研究（2）** 授業内容：南アフリカ観光の中心都市ケープタウンや、その沖合にある世界遺産のロベン島などを学ぶ。また、アフリカ大陸最南西端に位置する喜望峰なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：ケープタウンについて調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
11回	**授業テーマ：モロッコの観光研究（1）** 授業内容：モロッコの国情報(国名、人口、面積、通貨、歴史等)を学び、国内最大都市カサブランカやモロッコ料理についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：モロッコの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
12回	**授業テーマ：モロッコの観光研究（2）** 授業内容：国内最大都市カサブランカ以外の観光都市をピックアップして学ぶ。具体的には、世界最大の迷路と言われるフェズや、アフリカの交易都市マラケシュなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：モロッコの地方都市について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
13回	**授業テーマ：エジプトの観光研究（1）** 授業内容：エジプトの国情報(国名、人口、面積、通貨、歴史等)を学ぶ。さらにエジプトの食文化やピラミッドについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：エジプトの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
14回	**授業テーマ：エジプトの観光研究（2）** 授業内容：エジプトの観光客に人気の観光地、ルクソールとアブシンベル神殿を学ぶ。特にアブシンベル神殿は世界遺産条約との関係についても深く学ぶ。さらにエジプトの名産品なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：エジプトの観光地について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
15回	**授業テーマ：中東の宗教研究(イスラム教)** 授業内容：中東における主要な宗教であるイスラム教を学ぶ。特に、イスラム教の始まりや発展、聖地などについて学び、観光と宗教の関連性を研究する。 事前学修 2.0hr：イスラム教について疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、イスラム教と他宗教との違いを調べる

ホスピタリティ論

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

立石　貴子 (たていし　たかこ)

▌授業の概要

“ホスピタリティ” の語源から始まり、その重要性、時代の背景などによって、これからも変化することを理解する。
相手の見えない気持ちを洞察し、その気持ちに寄り添い満たすことによってしか成り立たない技術としての “ホスピタリティ” を
ロジックで捉え、さらにサービス業界やホスピタリティ業界などのコラムや事例研究をグループワークやディスカッションを通じ
“ホスピタリティ” を身近に感じ実生活に生かして行けるようにする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：ホスピタリティだけではなく、マナーやサービスの違いも理解し、相手の感じ方、捉え方を把握するための「相手への配慮」、
その技術の習得を目指す。また、アルバイト先や普段の生活の中でその時、目の前の相手に、いま何ができるのかを考え、
一歩踏み出せるようにする。

個別目標：心の問題ではなく、技術としてのホスピタリティを理解し、これからのアルバイト先、インターンシップ先や普段の生活の中で、
相手に寄り添うことがどういうことなのか感じ取り、実際に動ける力を身に付ける。

▌履修条件

必修科目のため、該当する学生

▌評価基準・方法

期末試験 40%、授業態度・授業への参加姿勢 20%、気付きのミニレポート (複数回)40%
原則、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは次回の授業内で行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内で使用する資料の配布等）

▌教科書

使用しない

▌参考書

必要に応じて、授業内で紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ホスピタリティ・イントロダクション** 授業内容：講義の進め方、評価方法等の説明 一般的なホスピタリティの理解とこの授業で学ぶホスピタリティの違い 事前学修 2.0hr：ホスピタリティを重要視している業界、職種を探し、ホスピタリティの意味を発表できるようにする 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、次回授業内容について調べる
2 回	**授業テーマ：ホスピタリティとは** 授業内容：一般的に理解されているホスピタリティとこの授業で進めていくホスピタリティ理論を理解する 事前学修 2.0hr：一般的に理解されているホスピタリティの意味を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習と理解
3 回	**授業テーマ：ホスピタリティの語源、歴史背景** 授業内容：ホスピタリティの語源を理解し、その歴史的な時代の変遷を把握する 同時に混同されているマナーやサービスの言葉の違いを理解する 事前学修 2.0hr：ホスピタリティの語源を調べ、関連する言葉や変遷を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
4 回	**授業テーマ：なぜ、今、ホスピタリティが重要視されているのか** 授業内容：戦後の時代の変遷、その中で求められたサービスやホスピタリティを理解する また、21 世紀はホスピタリティの時代とも言われ、重要視された背景を理解する 事前学修 2.0hr：戦後の日本の変遷、成長、時代の変化を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5 回	**授業テーマ：求められる「チーム力」** 授業内容：一人では成し得ないホスピタリティ コラムを読んで、グループワークをする中で「チーム力」の必要性を考える 事前学修 2.0hr：コラムを読んで、自分の考えをまとめる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、他のチームの意見と自分たちの意見の違いを考える
6 回	**授業テーマ：求められる「360°意識」** 授業内容：満足と不満足の評価を考えながら、常に全方向への意識が必要であることを理解する 事前学修 2.0hr：顧客の満足と不満足がどのような場合、どのような行動で起こるのかを考える 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
7 回	**授業テーマ：ホスピタリティ実現への 10 の基本行動　1)①** 授業内容：ホスピタリティを実現するために必要となる基本行動を理解する コラムを読んで、グループワークをする中で一番大切な行動について考える 事前学修 2.0hr：コラムを読んで、自分の考えをまとめる 事後学修 2.0hr：次回授業の事前下調べ (授業中に指示)
8 回	**授業テーマ：ホスピタリティ実現への 10 の基本行動　2)②～④** 授業内容：ホスピタリティを実現するために必要となる基本行動を理解する 事前学修 2.0hr：前回の基本行動以外に大切だと思う行動を考える 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
9 回	**授業テーマ：ホスピタリティ実現への 10 の基本行動　3)⑤～⑩** 授業内容：ホスピタリティを実現するために必要となる基本行動を理解する 事前学修 2.0hr：前々回、前回の基本行動以外に大切だと思う行動を考える 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、自身の行動を振り返り、その理由を考える

10回	**授業テーマ：お客様の評価** 授業内容：アルバイト先で自分がお客様からどのように評価されるかを考えるのと同時に、自身が客体として 相手を評価するときを考え、コラムを読んだ感想も含めグループディスカッションを通じ、お客様の評価を理解する 事前学修 2.0hr：コラムを読んで、自分の考えをまとめる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、他のチームの意見と自分たちの意見の違いを考える
11回	**授業テーマ：事例研究　1)　レストラン編** 授業内容：実際のホテルの現場で起きている事例を紹介し、「せつない」思いをさせてしまったお客様に 満足のいくサービス、そしてホスピタリティにまで高められるかをグループワークで行う 事前学修 2.0hr：自身のアルバイト等での接客体験から失敗事例を見つけ、改善策を考える 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、他のチームの意見と自分たちの意見の違いを考える
12回	**授業テーマ：事例研究　2)　飲食店** 授業内容：飲食現場で起きている事例を複数取り上げ、同様の事例や類似した事例をグループワークを しながら、サービスとして行えること、またどのようなことでその事例がホスピタリティに 繋がるかを考える 事前学修 2.0hr：自身のアルバイト等での変化や気づきをまとめる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、他のチームの意見と自分たちの意見の違いを考える
13回	**授業テーマ：事例研究　3)　ホテルの取組み** 授業内容：ある地方シティホテルでの顧客サービスの取組みを取り上げ、スタッフとして、また顧客の立場 としての感じ方をグループワークをしながら考察していく 事前学修 2.0hr：資料を読んで、自身の考えをまとめる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、他のチームの意見と自分たちの意見の違いを考える
14回	**授業テーマ：「顧客配慮」を考える** 授業内容：顧客配慮の説明を行ったのち、ペアワークで行う どのようなことが「配慮」となるのか、配慮する側と配慮される側の感じ方を学びとる 事前学修 2.0hr：「顧客配慮」を調べ、自身の考えをまとめる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、実生活で行い相手の反応がどうだったのかまとめる
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：この授業内容の総復習を行い、学んだこと、感じたこと、実生活で行ってみたこと それらによって自身の変化に気づきながら、ホスピタリティを理解する 事前学修 2.0hr：学習内容を復習する 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、実生活で行い相手の反応がどうだったのかまとめる

ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

岩本　英和 (いわもと　ひでかず)

▌授業の概要

本授業は、ホスピタリティ・ツーリズム学の基礎的な概念を体系的に理解することを目的とする。ツーリズムの社会的役割や歴史、経済・文化・環境との関係を整理するとともに、ホスピタリティマネジメントの考え方を宿泊産業や外食産業などの具体的事例を通じて学ぶ。
さらに、エコツーリズムやコンテンツツーリズム、MICE、スポーツツーリズムなどのニューツーリズムを取り上げ、現代社会におけるツーリズムの多様化とその意義について理解を深める。加えて、サステナブルツーリズムやプロブアツーリズム、日本の観光政策を通じて、ツーリズムが抱える課題と将来の方向性について考察する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：ディプロマ・ポリシーに基づき、ホスピタリティ・ツーリズムについて必要な基本的な知識の修得する。ホスピタリティ関連の基礎知識を習得することで、今後の学びの向上につなげる。

個別目標：① ツーリズムおよびホスピタリティ・ツーリズム学の基本的な定義や概念について理解し、自身の言葉で説明できるようになる。
② 社会・経済・文化・環境とツーリズムとの関係性について理解し、具体例を用いて説明できるようになる。
③ 現代社会におけるツーリズムの必要性や意義について理解し、持続可能性や社会的課題との関連を踏まえて説明できるようになる。

▌履修条件

特に無し。

▌評価基準・方法

manaba を通じて講義内課題(60 %)、中間レポート及び期末試験(40 %)により評価する。

▌フィードバック方法

講義内容に関するご質問やリクエストについては、講義や manaba を通じてフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （本授業では、大人数講義の特性を踏まえ、講義内での問いかけや講義内課題を通じて学生の主体的な思考を促す。学生は manaba を活用して自身の意見や理解を整理・提出し、講義内容への理解を深める。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba での講義内課題で使用）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

岡本伸之「観光学入門　ーポスト・マス・ツーリズムの観光学ー」有斐閣アルマ
その他、授業時に紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(講義目的・進行方法・評価方法)／ホスピタリティ・ツーリズム学へのアプローチ** 授業内容：本講義の目的、進め方、評価方法について説明するとともに、ホスピタリティ・ツーリズム学がどのような学問領域と関連しているのかを概観し、本分野への基本的なアプローチを解説する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：manaba で配信する講義の要点まとめを確認し、講義内容の理解を深めること。
2回	**授業テーマ：ツーリズムの社会的役割と現状** 授業内容：ツーリズムが地域社会や経済、文化にどのような社会的役割を果たしているのかを整理し、現代社会におけるツーリズムの意義と課題について解説する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：manaba で配信する講義の要点まとめを確認し、講義内容を振り返ること。
3回	**授業テーマ：ツーリズムの歴史Ⅰ(世界)** 授業内容：世界におけるツーリズムの歴史を概観し、社会・経済の変化とともにツーリズムがどのように発展してきたのかを解説する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：manaba で配信する講義の要点まとめを確認し、歴史的な流れを整理すること。
4回	**授業テーマ：ツーリズムの歴史Ⅱ(日本)** 授業内容：日本のツーリズムの発展過程を取り上げ、世界のツーリズム史と比較しながら、日本独自の特徴や背景について解説する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：manaba で配信する講義の要点まとめを確認し、日本のツーリズムの特徴を整理すること。
5回	**授業テーマ：ツーリズムと経済の関係** 授業内容：ツーリズムが地域経済に与える波及効果や雇用創出などの経済的側面に着目し、事例を通じてツーリズムの経済的意義を解説する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：manaba で配信する講義の要点まとめを確認し、ツーリズムと経済の関係を理解すること。
6回	**授業テーマ：ホスピタリティマネジメントとは何か** 授業内容：ホスピタリティマネジメントの基本概念や考え方について整理し、サービス産業における重要性を解説する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：manaba で配信する講義の要点まとめを確認し、基本概念を整理すること。
7回	**授業テーマ：宿泊産業におけるホスピタリティマネジメント** 授業内容：ホテルや旅館を中心とした宿泊産業を事例に、ホスピタリティマネジメントの実践について解説する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：manaba で配信する講義の要点まとめを確認し、宿泊産業の特徴を理解すること。
8回	**授業テーマ：外食産業におけるホスピタリティマネジメント** 授業内容：外食産業を対象に、サービス提供や顧客満足の観点からホスピタリティマネジメントの特徴と課題について解説する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：manaba で配信する講義の要点まとめを確認し、宿泊産業との違いを整理すること。
9回	**授業テーマ：ツーリズムと文化の関係** 授業内容：文化が観光資源として果たす役割に着目し、ツーリズムと文化の相互関係について解説する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：manaba で配信する講義の要点まとめを確認し、文化とツーリズムの関係を理解すること。

10回	**授業テーマ：ツーリズムと環境の関係（サステナブルツーリズム）** 授業内容：観光と環境問題の関係を整理し、サステナブルツーリズムの考え方や取り組みについて解説する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：manaba で配信する講義の要点まとめを確認し、持続可能なツーリズムについて理解を深めること。
11回	**授業テーマ：ニューツーリズムⅠ（エコツーリズム、グリーンツーリズム等）** 授業内容：エコツーリズムやグリーンツーリズムなどのニューツーリズムを取り上げ、テーマ型観光の特徴と意義を解説する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：manaba で配信する講義の要点まとめを確認し、各ツーリズムの特徴を整理すること。
12回	**授業テーマ：ニューツーリズムⅡ（コンテンツツーリズム、アニメツーリズム等）** 授業内容：コンテンツを活用したツーリズムを事例に、現代的な観光のあり方と地域への影響について解説する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：manaba で配信する講義の要点まとめを確認し、コンテンツツーリズムの意義を理解すること。
13回	**授業テーマ：ニューツーリズムⅢ（MICE、スポーツツーリズム等）** 授業内容：MICE やスポーツツーリズムを取り上げ、交流人口拡大や地域活性化に果たす役割について解説する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：manaba で配信する講義の要点まとめを確認し、ニューツーリズムの多様性を理解すること。
14回	**授業テーマ：ツーリズムと貧困の関係（プロアツーリズム）** 授業内容：ツーリズムが貧困削減にどのように貢献し得るのかを、プロアツーリズムの視点から解説し、課題についても考察する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：manaba で配信する講義の要点まとめを確認し、ツーリズムの社会的意義を再考すること。
15回	**授業テーマ：日本の観光政策とツーリズムの未来** 授業内容：日本の観光政策を踏まえ、ポストコロナ時代におけるツーリズムの役割と今後の方向性、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：manaba で事前に配信する講義スライドを確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：講義の総復習

ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

1 年次前期のホスピタリティ・ツーリズム学Ⅰで、ツーリズムとは何か、その意味や、社会における役割や新たな潮流、課題などを、概念的、理論的に学びました。後期で学ぶ本講義では、そのツーリズムの担い手となる、各種産業や事業、行政、実際の取り組みなどについての知識を深めます。2 年次以降の、各産業別のより詳しい専門科目や、産業研究を選択履修する上でのベースとなる講義です。
※授業内容は、諸条件・状況により、変更します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：ツーリズム産業界の裾野の広さと、その産業間の関係性、あるいは各々の事業者が何を目指して事業を推進しているか、事業が持つ機能特性や社会に果たす役割、実際の職種の多様性などを学ぶことにより、ツーリズムを発展させていく社会的意義や、そのプロセスに関する知識を修得する。

個別目標：・ツーリズム産業に関わっている業種をある程度理解し、説明できる。
・ツーリズム産業に関わっている主要な事業者名とその特徴を理解し、説明できる。
・ツーリズムの発展に関わる代表的な行政や団体について、その特徴を理解し、説明できる。
・社会におけるツーリズム産業の意義や、各事業者が何を目指しているか、代表的なものについて理解し、説明できる。

▌履修条件

・出席者間でのグループディスカッションをする場合もあるため積極的に参加する意欲を持つこと。
・manaba の 1 機能である、「respon」を活用するため、事前に respon アプリをダウンロードすること（方法は授業開始前にコースニュースで掲示）
・授業資料は、manaba のコースコンテンツ、臨時的な情報類は manaba のコースニュースを使用。必ず manaba のコースニュース、新規課題告知機能を有効にすること。

▌評価基準・方法

【出席要件】
「①授業への出席（＝冒頭の respon による出席投稿）」＋「②授業中のすべての respon 投稿（複数回あり）」＋「③授業コメント」の 3 セットが揃えば「出席」。
【成績要件】
各授業回ごとの受講時参画態度・意欲・課題の提出内容（70 %）· 期末試験（30 %）
※詳細は、第一回の授業で説明します。

▌フィードバック方法

・原則として、前回の授業に対して提出いただいた授業コメントについて、フィードバックを次回授業内で行います。課題によっては、manaba のフィードバック機能を使います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （数回程度、グループディスカッションあり。毎回、レスポンによる投稿あり。授業課題の発表機会と履修者による評価機会あり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前学修としてコースコンテンツに授業資料をアップしているので、参照しながら受講することを推奨する。授業内 respon の投稿用にスマホを含め、respon 投稿を可能にする環境を必要とする。ただし、PC、スマホ等で授業関連以外のコンテンツを参照していた場合は、減点となる場合がある。）

▌教科書

使用しない。原則として、講義資料を、講義前日の昼までにコースコンテンツより配信予定。

▌参考書

特になし。必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション（授業の進め方、授業評価等）「ホスピタリティツーリズム」に関わっている仕事について、考えてみましょう** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、授業評価基準、出欠基準など） ・社会人基礎力とは ・タビマエ、タビナカ、タビアトで出会う仕事 事前学修 2.0hr：1 年次前期の必修「HT 学Ⅰ」の講義内容を振返っておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
2 回	**授業テーマ：ホスピタリティツーリズムとは？　概論** 授業内容：＜「人はなぜ旅をするのか」を考える＞ ・旅の歴史 ・ツーリズムにおけるホスピタリティの価値を考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
3 回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業を取り巻く業界① －運輸業界（運輸業界の役割・航空・鉄道）** 授業内容：＜ツーリズムにおける各業界について考える＞ ・観光と交通の関わり ・航空業界について概論 ・鉄道業界について概論 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
4 回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業を取り巻く業界② －運輸業界（自動車輸送・船舶）** 授業内容：＜ツーリズムにおける各業界について考える＞ ・自動車運送業界について概論 ・船舶業界について概論 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

5回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業を取り巻く業界③ －宿泊業界（ホテル・旅館）** 授業内容：＜ツーリズムにおける各業界について考える＞ ・宿泊業界について概論 ・宿泊業界の課題 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
6回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業を取り巻く業界④ －旅行業界** 授業内容：＜ツーリズムにおける各業界について考える＞ ・ツーリズムにおける旅行業の役割を考える ・旅行業が提供するサービス ・旅行業を管理する法律 ・旅行業が取り扱うビジネス領域 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
7回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業を取り巻く業界⑤ －ブライダル業界・クルーズ業界** 授業内容：＜ツーリズムにおける各業界について考える＞ ・ブライダル業界を取り巻く環境を考える ・ブライダル事業の仕事 ・海外ウェディングとは ・クルーズの歴史 ・クルーズの種類、クルーズ業界の仕事 ・クルーズの流通 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
8回	**授業テーマ：飲食業界・テーマパーク** 授業内容：＜ツーリズムにおける各業界について考える＞ ・日本の食文化について ・ツーリズムにおける飲食業界 ・フードツーリズムについて ・テーマパークの歴史 ・テーマパークとは ・テーマパークビジネスの特性 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
9回	**授業テーマ：外国人の訪日旅行（インバウンド）がもたらす、 ツーリズム産業への変化** 授業内容：・インバウンドの意味 ・日本の観光競争力を考える ・訪日客の消費内容と旅行目的を考える ・訪日客の購買ルート（流通）を考える ・インバウンド市場で重要な MICE 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
10回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業を取り巻く業界⑦ －日本のツーリズム産業を支える公的機関　政府・地方行政など業界団体** 授業内容：＜ツーリズムにおける各業界について考える＞ ・ツーリズムに関係する監督省庁を知る ・観光庁の政策からツーリズムの未来を考える ・その他の公的団体、業界関係企業が作る業界団体についてその役割を知る 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
11回	**授業テーマ：最前線のおもてなし戦略を考える** 授業内容：業界で実際に働く方々をお招きし、最前線でお客様に接している方の、ホスピタリティやおもてなしに関する考え方をパネルディスカッションスタイルでお聞きします。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
12回	**授業テーマ：ツーリズムとダイバーシティ（障がい者、高齢者、訪日外国人などへの対応）** 授業内容：・ダイバーシティとは ・ホスピタリティ・ツーリズム業界において知っておくべき多様性に関する知識を考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
13回	**授業テーマ：MICE とスポーツイベント** 授業内容：・MICE とは ・MICE におけるおもてなしシーンを考える ・MICE に関わる仕事を知る ・スポーツイベントとホスピタリティ・ツーリズムとの関わりを考える ・大型スポーツイベントにおける新たなおもてなしビジネスを知る 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
14回	**授業テーマ：課題発表** 授業内容：授業内で提出したレポートの中から優秀者の、レポート発表 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
15回	**授業テーマ：まとめ（総復習）** 授業内容：過去 13 回の総復習 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

エアラインビジネス論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

上田　圭一（うえだ　けいいち）

▌授業の概要

航空会社の実務経験に基づき、航空産業の歴史と事業特性（在庫の消滅性・公共性など）を理解した上で、規制緩和や LCC 台頭による競争環境の変化、収益最大化のメカニズムを体系的に解説します。 さらに、近年の重要課題である DX（デジタルトランスフォーメーション）による行動変容、顧客体験（CX）の追求、およびサステナビリティ（ESG・DEI）への取り組みについて、最新の事例を交えて多角的に考察します。単なる移動産業を超え、新たな価値を創造する航空ビジネスの最前線を学びます。

なお、指導環境や学生の希望などの状況により、内容が変更となる場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：航空産業が直面する環境変化と、それに対応する企業の戦略（ビジネスモデル変革）を理解し、グローバルビジネスにおける課題解決の視点を養います。

個別目標：① 航空ビジネス特有の収益構造（レベニューマネジメント）と競争戦略を論理的に説明できる。 ② DX の本質や顧客体験（CX）の重要性を理解し、機能価値から情緒価値への転換について考察できる。 ③ 安全の追求と人的資本経営（DEI）の関係性を理解し、持続可能な産業のあり方を展望できる。

▌履修条件

内外の政治・経済・文化・環境問題などの動向が航空・ツーリズム業界に与える影響について、常日頃から関心を持ってその背景を考えてください。

事前学習課題を履行すること。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とします。

発言・質問等授業への取り組み姿勢、レポート提出等 (30 %)、試験 (70 %) の割合で総合的に評価します

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義ごとに資料を配布します

▌参考書

適宜紹介します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：航空ビジネスへの招待** 授業内容：シラバスと評価方法の説明。航空産業が持つ「在庫の消滅性」や「公共性と営利性」、「旅客と貨物の二面性」といった独特のビジネス特性を概観し、半期の学習の全体像を掴みます。 事前学修 2.0hr：航空業界に対して抱いているイメージや疑問点を書き出しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を読み返し、航空サービスの特性を他産業と比較して整理する。
2 回	**授業テーマ：航空産業の変遷①：技術革新と大量輸送** 授業内容：ライト兄弟からジェット化、ジャンボ機登場による大衆化まで。機材の進化がいかにビジネスモデルを変えたか、技術と市場拡大の関係を学びます。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、旅客機の歴史（プロペラ機からジェット機へ）を概観しておく。 事後学修 2.0hr：技術革新が航空運賃の低廉化や大衆化に与えた影響を整理する。
3 回	**授業テーマ：航空産業の変遷②：規制緩和と自由化** 授業内容：シカゴ条約からオープンスカイ政策へ。米国で始まった規制緩和が日本の航空業界に与えた競争促進と、消費者利益への影響を理解します。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、「規制緩和（デレギュレーション）」という用語の意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：自由化によって消費者が得たメリットと、産業界が抱えた課題を整理する。
4 回	**授業テーマ：航空産業の変遷③：アライアンスと JV** 授業内容：企業単独の競争から連合間の競争へ。スターアライアンス等の連合形成と、独占禁止法適用除外（ATI）による共同事業（JV）の深化を学びます。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、世界の 3 大アライアンス名と主な加盟航空会社を調べておく。 事後学修 2.0hr：コードシェアや JV （共同事業）が顧客と企業双方にもたらすメリットを整理する。
5 回	**授業テーマ：ビジネスモデルの多様化：LCC の台頭と革新** 授業内容：サウスウエスト航空が生み出した低コストモデルの仕組みを解説します。FSC （フルサービス）とのコスト構造や「貨物事業の有無」による違いを比較します。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、日本国内で運航している LCC とその特徴（就航地など）を調べておく。 事後学修 2.0hr：LCC が低価格を実現できる理由を、オペレーションの観点から整理する。
6 回	**授業テーマ：航空会社の営み①：ネットワーク戦略** 授業内容：「ハブ&スポーク」と「直行便」の違い、羽田・成田のデュアルハブ戦略など、路線網構築の論理を学びます。深夜貨物便などの機材活用にも触れます。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、「ハブ空港」の役割と、代表的なアジアのハブ空港を調べておく。 事後学修 2.0hr：航空会社がどのように路線（ネットワーク）を決定しているか、その要因を整理する。
7 回	**授業テーマ：航空会社の営み②：運賃とレベニューマネジメント** 授業内容：「在庫の消滅性」を前提としたイールドマネジメント（収益最大化）の仕組みと、旅客・貨物のトータル収入管理について学びます。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、航空券の価格が時期や予約タイミングによって変動する理由を考えておく。 事後学修 2.0hr：空席を最小限にし、収益を最大化するための「販売管理」の重要性を整理する。
8 回	**授業テーマ：航空会社の営み③：流通システムの歴史（GDS）** 授業内容：電話予約から巨大システム（GDS）へ。航空券流通の歴史的変遷と、それが旅行代理店や航空会社の販売戦略に与えた影響を理解します。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、航空券を予約する際に使用するサイトやアプリの仕組みを想像してみる。 事後学修 2.0hr：予約システムの進化が、航空券の販売方法をどう変えたか整理する。

9回	**授業テーマ：航空会社の営み④：マイレージと経済圏** 授業内容：「おまけ」から「最強のマーケティングツール」へ。顧客の囲い込み(ロックイン)と、非航空分野(金融・生活)への経済圏拡大を学びます。 事前学修 2.0hr：自分が利用しているポイントサービスやマイレージの特徴を調べる。 事後学修 2.0hr：航空会社がマイルを発行する「金融的・戦略的意義」について論点を整理する。
10回	**授業テーマ：航空業界の変革①：DX とイノベーション** 授業内容：単なるデジタル化ではなく、顧客や社員の「行動変容」を促す DX の本質。新流通規格「NDC」や AI 活用など、次世代の価値創造を議論します。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、航空会社の DX 事例(顔認証搭乗やアプリ活用など)を調べておく。 事後学修 2.0hr：「技術(文明)」と「人(文化)」の融合という視点から、DX の本質を整理する。
11回	**授業テーマ：航空業界の変革②：空港運営の民営化** 授業内容：「整備」から「運営」へ。コンセッション(民営化)による空港経営の効率化と、アジア諸国のハブ空港との国際競争力について学びます。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、日本の空港で「民営化」されている事例を調べておく。 事後学修 2.0hr：空港民営化が利用者や地域社会にもたらす変化とメリットを整理する。
12回	**授業テーマ：差別化の重要要素①：ブランドと顧客体験(CX)** 授業内容：機能価値から情緒価値へ。「NPS（他者推奨意向)」を指標とした CX マネジメントと、28 のシーンで捉える顧客体験のデザインを学びます。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、自分が受けたサービスで「誰かに勧めたくなった」体験を書き出す。 事後学修 2.0hr：顧客ロイヤルティを高めるための「体験価値」の作り方を整理する。
13回	**授業テーマ：持続可能性①：脱炭素とサプライチェーン** 授業内容：気候変動への挑戦(SAF/ネガティブエミッション)と、貨物を含むサプライチェーン全体での人権尊重(デューデリジェンス)を学びます。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、「SAF（持続可能な航空燃料)」とは何か、その原料などを調べておく。 事後学修 2.0hr：環境・人権への配慮が、企業の存続に不可欠である理由を整理する。
14回	**授業テーマ：持続可能性②：安全と人的資本(DEI)** 授業内容：安全の砦となる「スイスチーズモデル」と、多様な人材(DEI)をイノベーションの源泉とする戦略。心理的安全性やマインドフルネスの視点も取り上げます。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、「DEI（多様性・公平性・包摂)」という言葉の意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：組織の安全文化と、多様な人材が活躍できる環境の関係性を整理する。
15回	**授業テーマ：総括：航空ビジネスの未来** 授業内容：全講義の振り返り。旅客と貨物、デジタルとヒューマンタッチが融合した、未来の航空ビジネスのあり方を総括します。 事前学修 2.0hr：これまでの講義ノートや資料を読み返し、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義全体を通して学んだ「航空ビジネスの本質」と将来展望をまとめる。

ホテルビジネス論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

渭東　史江 (いとう　ちかえ)

▌授業の概要

ホテル業の歴史、ホテルの分類や組織構造、主要な機能や役割、業務内容について等、広くホテルに関連する内容を講義する。観光市場の動向を把握したうえで、ホテル産業の現状を理解し、課題や将来性についても考える。
また講義で得た知識を通して、ホテルのみならずホスピタリティ業界におけるキャリア形成の機会とする。
なお講義内容、順序は変更されることがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：ホスピタリティ業界におけるホテル産業の動向や多様なホテル機能、運営について理解し、自身のキャリア形成の機会とする。
個別目標：1. ホテルの分類、主要な機能、組織構造、具体的な業務内容の理解。
2. ホテル産業の現状を理解し、課題や将来性を考えられるようになる。
3. ホスピタリティ業界におけるキャリア形成。

▌履修条件

ホテル産業について積極的に学び、そこで得た知識を将来のキャリア形成の一助とする意欲のあること。
授業や課題にまじめに、積極的に取り組むこと。

▌評価基準・方法

期末試験 40 %、授業への参加姿勢、課題等の内容 60 %の要素を総合的に勘案し評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、課題解決型授業など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （manaba や Respon にてコメント投稿あり）

▌教科書

必要に応じて資料等を配信または配布。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、ホテルの概念** 授業内容：ホテルの定義、機能と特徴を理解する。授業の概要や進行方法、到達目標について確認。 事前学修 2.0hr：これまでにホテルを利用した際の気づきをまとめる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
2回	**授業テーマ：宿泊産業の現状** 授業内容：ホテルと他の宿泊施設の違いを理解。ホテル業を含む宿泊産業の特徴や動向をデータを元に理解する。 事前学修 2.0hr：観光白書等から宿泊産業について調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
3回	**授業テーマ：ホテルの分類** 授業内容：ホテルの分類法や様々なホテルタイプの特徴等を理解する。 事前学修 2.0hr：ホテルの種類や分類について調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
4回	**授業テーマ：ホテル業の経営形態** 授業内容：ホテルの所有、経営、運営の違いを理解し、その組み合わせによって存在する経営形態とそれぞれの形態の特徴を理解する。 事前学修 2.0hr：ホテルの経営について調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
5回	**授業テーマ：ホテル業の歴史(海外)** 授業内容：欧米、アジアのホテル業の歴史を学ぶ。ホテルの発祥から現在に至るまでを把握し、現在のホテル業の背景を理解する。 事前学修 2.0hr：ホテルの歴史(海外)を調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
6回	**授業テーマ：ホテル業の歴史(日本)** 授業内容：日本のホテル業の歴史を学ぶ。日本に伝わったホテル業がどのように発展したかを把握し、現在の日本のホテル業の背景を理解する。 事前学修 2.0hr：ホテルの歴史(日本)を調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
7回	**授業テーマ：ホテルチェーン(外資系)** 授業内容：数多くあるホテルチェーンの中から、世界的なチェーンを把握する。チェーンがなぜ発展したか等を考える。 事前学修 2.0hr：興味のある外資系ホテルチェーンについて調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
8回	**授業テーマ：ホテルチェーン(日系)** 授業内容：日系のホテルチェーンを把握する。日系チェーンの特徴を理解し、チェーン展開するメリット等を考える。 事前学修 2.0hr：興味のある日系ホテルチェーンについて調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
9回	**授業テーマ：ホテルの組織構造** 授業内容：ホテルの標準的な組織構造を理解する。タイプによる組織構造の違いや収益構造の違いを理解する。 事前学修 2.0hr：ホテルの役割から、必要となる組織を考える 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
10回	**授業テーマ：宿泊部門** 授業内容：宿泊部門をフロントオフィス、ハウスキーピング、その他に分けて理解する。宿泊部門の特徴や役割を理解し、その業務内容を確認し理解を深める。部屋タイプについて認識する 事前学修 2.0hr：興味のあるホテルについて、ホームページなどで客室を確認する 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示

11回	**授業テーマ：料飲部門** 授業内容：料飲部門を大きくレストラン、宴会、調理に分けて理解する。料飲部門の特徴や役割を理解し、その業務内容を確認し理解を深める。喫食率を上げるための考察をする。 事前学修 2.0hr：興味のあるホテルのレストランについて、ホームページなどを確認する 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
12回	**授業テーマ：営業部門** 授業内容：営業部門を大きくセールスとマーケティングに分けて理解する。営業部門の特徴や役割を理解し、その業務内容を確認し理解を深める。収益を上げるためのレベニューマネジメントについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ホテルの営業方法について調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
13回	**授業テーマ：管理部門** 授業内容：管理部門と言われる総務部門、経理部門、施設管理部門を理解する。それぞれの部門の特徴や役割を理解し、それらの業務内容を確認し理解を深める。ここまで学修した部門間の繋がりや連携について考える。 事前学修 2.0hr：ホテルの管理部門とは何か考える 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
14回	**授業テーマ：ホテル産業の課題と戦略** 授業内容：ホテル産業の特徴や動向を再確認し、ホテル産業の課題やそれを解決する戦略を実例とともに理解する。ホテル産業の現状を把握する。 事前学修 2.0hr：これまで学習した内容をもとに、ホテル産業の課題を考える 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：ここまで学修した内容を復習し、ホテル産業の課題、戦略を再確認し、今後の動向や将来性を考える。それらを将来のキャリア形成の一助とする。 事前学修 2.0hr：第 1 回から 14 回までの授業内容を見直し、質問事項をまとめる 事後学修 3.0hr：復習課題と期末テストに向けての準備

交流創造ビジネス論／トラベルエージェンシービジネス論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

1 年次のホスピタリティ・ツーリズム学で学んだように観光業界は非常に裾野の広い業界です。また、新型コロナウィルスの影響はもちろん、IT 化・個人ニーズの多様化等世の中が急速に変化することにより業界全体のビジネスモデルも変化してきております。それに対応するかたちで、ツーリズム業界の業務内容・ビジネスモデルも変化し多岐に渡ってきています。

本講義では、このような状況下、ツーリズムの原点とも言える、「交流」を通じて、「交流」に関わる旅行業を核とするビジネスや「交流」がもたらす社会における効能などについて、全体像を把握していきます。

※授業内容は、諸条件・状況により、変更します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：・「交流」の仕掛け役を担う業界の一つである旅行業を核としつつ、ツーリズム産業を取り巻く様々な仕組みやサービス内容、おかれている課題や地域とのつながりについて理解できるようになる。
・「交流」あるいは「旅」がもたらす感動を創出する上で重要となる「企画」について、その基本となる考え方を理解できるようになる

個別目標：・「交流」が生まれる様々な事業領域を理解し、説明できるようになる。
・多様化した環境下でのビジネスの変化について理解し、説明できるようになる。
・さまざまな旅行業をとりまく情報について関心が高まるようになり、自身が特に関心を持ったビジネスについては、一定の考察ができるようになる。
・「交流」が「感動」を生み出すプロセスを通じて、企画力を高められるようになる。

▌履修条件

・出席者間でのグループディスカッションをする場合もあるため積極的に参加する意欲を持つこと。
・manaba の 1 機能である、「respon」を活用するため、事前に respon アプリをダウンロードすること（方法は授業開始前にコースニュースで掲示）
・授業資料は、manaba のコースコンテンツ、臨時的な情報類は manaba のコースニュースを使用。必ず manaba のコースニュース、新規課題告知機能を有効にすること。

▌評価基準・方法

【出席要件】
「①授業への出席（＝冒頭の respon による出席投稿）」＋「②授業中の respon 投稿（複数回あり）」＋「③授業コメント」の 3 セットが揃えば「出席」

【成績要件】
各授業回ごとの受講時参画態度・意欲・課題の提出内容（70 %）· 期末試験（30 %）

※詳細は、第一回の授業で説明します。

▌フィードバック方法

・原則として、前回の授業に対して提出いただいた授業コメントについて、フィードバックを次回授業内で行います。課題によっては、manaba のフィードバック機能を使います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （数回程度、グループディスカッションあり。毎回、レスポンによる投稿あり。授業課題の発表機会と履修者による評価機会あり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、授業内 respon の投稿用にスマホを含め、respon 投稿を可能にする環境を必要とする）

▌教科書

使用しないが、毎回、講義の前日 12:00 を目処に、講義資料を manaba のコースコンテンツを介して配布します。

▌参考書

JATA：数字が語る旅行業　【デジタル版（無料）】https://www.jata-net.or.jp/data/stats/number/index.html
トラベルボイス：日刊、デジタル配信（無料）
他、必要に応じて紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション（講義目的、講義進行、評価説明）と HT 学 Review** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、授業評価基準、出欠基準など） ・1 年次に学修した「ホスピタリティ・ツーリズム学 II」の復習 ・交流を創造するとは何か！？ 事前学修 2.0hr：1 年次の必修「HT 学Ⅰ・Ⅱ」の講義内容を振返っておく。授業資料を学修する 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
2 回	**授業テーマ：交流を創造する中核事業としての旅行業①（旅行業の役割）** 授業内容：・「人はなぜ旅をするのか」を考える ・個人の様々な旅行スタイルに関わる旅行業の役割を考える ・旅行だけではない旅行業の事業領域 ・旅行業の法律と商品 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
3 回	**授業テーマ：交流を創造する中核事業としての旅行業②（個人向け旅行事業）** 授業内容：・旅行業が生み出す効果的な市場を考える ・富裕層市場 ・海外ウェディング市場 ・クルーズ市場 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
4 回	**授業テーマ：感動を生み出す旅行企画とは①〜外部講師による講演** 授業内容：〜授業を通じた重要課題を前提とした専門家による講演 ・旅行企画の変遷 ・企画において重要な考え方 ・感動をもたらす企画のコツ 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

5回	**授業テーマ：課題対象デスティネーションに関する外部講師による講演** 授業内容：外部の専門家より、課題の対象となるデスティネーションについてその特徴や魅力についての講演 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
6回	**授業テーマ：デスティネーションの魅力の開発について①(国内編)** 授業内容：新たな交流の要素となる、「行きたくなるデスティネーションの開発」に果たす業界の役割や事例を考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
7回	**授業テーマ：デスティネーションの魅力の開発について②(海外編)** 授業内容：・国内旅行と海外旅行との違いについて知る ・新たな交流の要素となる、「行きたくなるデスティネーションの開発」に果たす業界の役割や事例を考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
8回	**授業テーマ：OTA と IT がもたらすツーリズムの未来について** 授業内容：・OTA とは何かを知る ・国内 OTA とグローバル OTA について知る ・OTA がもたらすツーリズム業界や既存旅行業への影響を考える ・IT がもたらすツーリズムへの変化を考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
9回	**授業テーマ：ツーリズムにおける法人ビジネス(BtoB) について** 授業内容：・法人ビジネス(BtoB)とは？ ・ツーリズムにおける法人ビジネスにおける多様な領域ともたらす効果を知る ・自ら興味を持てる法人ビジネスを見つける 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
10回	**授業テーマ：ツーリズムにおける法人ビジネス(BtoB) について-スポーツを含む、各種イベントがツーリズムにもたらす影響を考える** 授業内容：・イベントとツーリズム、イベントと地域の関わりを考える ・どのようなイベントがあるかを考える ・各種イベントにどのような取り組みやサービスを考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
11回	**授業テーマ：外国人の訪日旅行(インバウンド)について** 授業内容：・国策としてのインバウンド誘致の意義を考える ・インバウンドを取り扱う上での法律を知る ・インバウンドの活性化事例を知る 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
12回	**授業テーマ：広がる〇〇ツーリズム** 授業内容：・地域における観光収入の構造と経済効果を考える ・様々なタイプのツーリズムを知る ・〇〇ツーリズムがもたらす意義と効能を考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
13回	**授業テーマ：海外旅行企画コンテスト** 授業内容：課題として提出された企画内容の中から、優秀者が発表する。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
14回	**授業テーマ：ツーリズムにおけるダイバーシティの重要性について** 授業内容：・1 年生の HT 学 II の復習(ツーリズムに関わる上で、多様性について知っておくべき知識) ・働く上でのダイバーシティ(働き方改革)の動きを考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
15回	**授業テーマ：総復習(まとめ)** 授業内容：全授業回をおさらいする。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

ラクシャリー論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

神末　武彦（こうずえ　たけひこ）

▌授業の概要

ラグジュアリーブランドビジネスとは何か。本講義では、ラグジュアリーを単なる高価格帯の商品としてではなく、高品質かつ高付加価値を創出する製品・サービスの総体として捉える。その中核となる「ブランド」の概念を多角的に検証する。
ラグジュアリーブランドはどのような歴史的変遷を辿ってきたのか。そのビジネスモデルやマーケティング戦略はいかに構築され、進化してきたのか。本講義では、理論的枠組みを体系的に整理するとともに、具体的な事例を通して分析を行う。理論と実践の双方からアプローチすることで、「ラグジュアリーブランドとは何か」を総合的に考察し、その本質を明らかにすることを目的とする。
*本講義は、ライブ配信形式、オンデマンド形式（いつでも視聴可能）、および対面形式の 3 つの形式で実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1）

一般目標：この講義を通じて、ラグジュアリーブランドとは何かについて正しい知識を得ること目標とする
個別目標：以下のラグジュアリーブランドに関する知識を得ることを個別目標とする
-定義、価値、社会における位置づけについて知ることができる
-理論のみならず、事例も多用し現状を理解できるようになる
-ブランディングとマーケティングについて知識を深めることができる
-知的財産権について知識を得ることができる

▌履修条件

マーケティング概論の授業を履修していることが好ましい

▌評価基準・方法

レポート課題 (30%)
中間テスト (20%)
期末テスト（40%）
参加姿勢（10%）
で評価を行う。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは MANABA を通じて行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、ケーススタディ等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前・事後学習に必要）

▌教科書

指定なし

▌参考書

①「ラグジュアリー戦略―真のラグジュアリーブランドをいかに構築しマネジメントするか」
東洋経済新報社 (2011/1/28)　Kapferer, Jean-Noel, and Vincent Bastien
ISBN-13:978-4492556825
②「ラグジュアリー戦略で「夢」を売る: 続・高くても売れるブランドをつくる!」
長沢伸也、同友館 (2021/9/1)
ISBN-13:978-4496055546

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業オリエンテーション** 授業内容：授業の概要・目標、評価方法について解説、 講義：ラグジュアリーとは 事前学修 1.0hr：シラバスを良く読むこと 事後学修 2.0hr：ラグジュアリーとは何かについて自分の考えをまとめる
2回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド概要** 授業内容：ラグジュアリーブランドの定義、特異性、進化過程について考察する 事前学修 2.0hr：ラグジュアリーブランドとは何かについて考察する 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
3回	**授業テーマ：ラグジュアリー小史** 授業内容：ラグジュアリーの歴史、変遷について考察する 事前学修 2.0hr：知っているブランドについて歴史を調べる 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
4回	**授業テーマ：プレミアムとラグジュアリー** 授業内容：２つの言葉の違いは、実際の製品の違いは何かについて考察する 事前学修 2.0hr：プレミアムとラグジュアリー、２つの違いについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
5回	**授業テーマ：ブランド価値の重要性** 授業内容：ラグジュアリーセグメントにおける” ブランド” の価値の重要性について考察する 事前学修 2.0hr：ブランドとな何かについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
6回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：価格設定** 授業内容：高価格で販売される製品がどのように価格設定されているのか検証する 事前学修 2.0hr：ブランド品の価格について事前に調べる 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
7回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：付加価値の創造** 授業内容：ラグジュアリーセクターはより高付加価値のある商品の創造が必須である。どのように付加価値を創り出しているのか実際の事例を用いて考察する 事前学修 2.0hr：付加価値とな何かについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習

8回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：ターゲット顧客** 授業内容：時代の変遷とともに顧客層も大きく変化している。ターゲットジェネレーションを良く知ることが重要である。 事例を用いて解説する 事前学修 2.0hr：ターゲット顧客は誰なの考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
9回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：カスタマー・ジャーニー** 授業内容：顧客がブランドに興味を持ち、購入を検討、実際に購入、アフターサービスの一連の流れ(ジャーニー)が、ラグジュアリーブランドではどのように設計されているのか解説する 事前学修 2.0hr：顧客体験とは何かについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
10回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：ブランドアドボカシー** 授業内容：顧客が自発的にブランドを SNS 等で発信する宣伝することは今では自然なことで大切なマーケティングツールとなっている。ラグジュアリーブランドはどのようにブランドアドボカシーを高めているのか考察する 事前学修 2.0hr：ブランドアドボカシーとは何かについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
11回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：サステイナビリティ(概要)** 授業内容：ビジネスにおいて地球環境・社会・経済活動という 3 つの観点すべてにおいて「持続可能な状態」を実現する経営が、今後の企業の競争優位性を左右する。ラグジュアリービジネスも同じである。持続可能な状態を作るためにどうのようなことが行われるいるのか、必要なのか考察する 事前学修 2.0hr：ラグジュアリーブランドにおける持続可能性とは何かについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
12回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：サステイナビリティ(レバレッジポイント)** 授業内容：レバレッジ・ポイントとは、小さな力で大きく持続的な成果を生み出すことです。ラグジュアリーブランドにおいて持続可能性を高めるためのレバレッジポイントについて考察する 事前学修 2.0hr：レバレッジポイントとは何かについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
13回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：サステイナビリティ(認証制度)** 授業内容：持続可能性を高めるために認証制度が多く用いられる。事例を多く紹介しどのように利用されているのか考察する 事前学修 2.0hr：持続可能な認証制度について事前に調べる 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
14回	**授業テーマ：コロナ禍とラグジュアリーブランド** 授業内容：コロナ禍でどのように顧客の心理、購買方法が変化したのか考察する 事前学修 2.0hr：コロナ禍で消費者心理がどのように変化したのかについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
15回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：知的財産権** 授業内容：ラグジュアリーブランドは多くの模倣品、類似品が出回ることから、知的財産権を守ることは大切である。 知的財産権の基礎知識を知る 事前学修 2.0hr：知的財産権とは何かについて事前に調べる 事後学修 4.0hr：授業の復習と次の授業の予習

国際ホスピタリティビジネス研究

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

シュルーター　キャロリン

▌授業の概要

This course provides a comprehensive introduction to the global hospitality industry, exploring sectors such as lodging, food and beverage, and tourism. Students will examine the business of hospitality from an international perspective, focusing on service quality, global branding, and the evolving needs of international travelers. The course bridges the gap between the Japanese concept of ”Omotenashi” and Western professional service standards.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2）

一般目標：The primary goal of this course is for students to understand the fundamental structures and management principles of the international hospitality industry. Students will develop the ability to analyze hospitality businesses using global standards and identify the key factors — such as branding, cultural intelligence, and technology — that lead to success in the international market. By the end of the course, students will be able to discuss hospitality concepts in English and apply theoretical knowledge to real-world business scenarios.

個別目標：1. Identify and explain the core sectors of the global hospitality industry (Lodging, F&B, etc.).
2. Compare and contrast Japanese ”Omotenashi” with international professional service standards.
3. Analyze the marketing and branding strategies of major global hotel chains.
4. Understand the impact of sustainability and new technology (AI/Robotics) on the future of hospitality.
5. Demonstrate the ability to work collaboratively on case studies using hospitality-specific English terminology.

▌履修条件

Proficiency in English is preferred and students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned materials.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on attendance and participation (20%), case studies (30%), and final exam (50%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

No textbook required.

▌参考書

Readings will be provided by the instructor.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Course overview and defining ”Hospitality” in a global context. 事前学修 1.5hr：Review syllabus 事後学修 2.5hr：Review syllabus and lesson 1 key learnings
2回	**授業テーマ：The Scope of Hospitality** 授業内容：Exploring the diverse sectors: Lodging, F&B, and Tourism. 事前学修 1.5hr：Review lesson 2 事後学修 2.5hr：Review lesson 2 key learnings
3回	**授業テーマ：Service Quality &Omotenashi** 授業内容：Comparing international service standards with Japanese hospitality. 事前学修 1.5hr：Review lesson 3 事後学修 2.5hr：Review lesson 3 key learnings
4回	**授業テーマ：Hotel Operations &Organization** 授業内容：Understanding how a hotel runs (Rooms, F&B, HR, Marketing). 事前学修 1.5hr：Review lesson 4 事後学修 2.5hr：Review lesson 4 key learnings and prepare case study assignment
5回	**授業テーマ：Case Study #1** 授業内容：The Ritz-Carlton: Building a ”Service Culture. 事前学修 2.0hr：Prepare case study assignment 事後学修 2.0hr：Review lesson 5 key learnings
6回	**授業テーマ：The Guest Experience** 授業内容：Mapping the ”Customer Journey” from booking to checkout. 事前学修 1.5hr：Review lesson 6 事後学修 2.5hr：Review lesson 6 key learnings
7回	**授業テーマ：Leadership &HR** 授業内容：The importance of ”The People” in hospitality management. 事前学修 1.5hr：Review lesson 7 事後学修 2.5hr：Review lesson 7 key learnings
8回	**授業テーマ：Hospitality Marketing** 授業内容：Digital marketing and managing a hotel’s global reputation. 事前学修 1.5hr：Review lesson 8 事後学修 2.5hr：Review lesson 8 key learnings
9回	**授業テーマ：Case study #2** 授業内容：Accor: Global Branding and Mobile Strategy. 事前学修 2.0hr：Prepare case study assignment 事後学修 2.0hr：Review lesson 9 key learnings

10回	**授業テーマ：International Diversity** 授業内容：Cultural Intelligence (CQ) for hospitality staff. 事前学修 1.5hr：Review lesson 10 事後学修 2.5hr：Review lesson 10 key learnings
11回	**授業テーマ：Accounting &Revenue** 授業内容：The basics of Pricing and Yield Management. 事前学修 1.5hr：Review lesson 11 事後学修 2.5hr：Review lesson 11 key learnings
12回	**授業テーマ：Sustainability &Ethics** 授業内容：Eco-friendly hotels and Corporate Responsibility. 事前学修 1.5hr：Review lesson 12 事後学修 2.5hr：Review lesson 12 key learnings
13回	**授業テーマ：Case Study #3** 授業内容：CitizenM: Disrupting the Industry with Tech. 事前学修 2.0hr：Prepare case study assignment 事後学修 2.0hr：Review lesson 13 key learnings
14回	**授業テーマ：Future Trends** 授業内容：Career paths and global shifts in travel habits. 事前学修 1.5hr：Review lesson 14 事後学修 2.5hr：Review lesson 14 key learnings
15回	**授業テーマ：Final Exam Review** 授業内容：Summary of all case studies and learnings from the class. 事前学修 2.0hr：Review all the lectures and case studies 事後学修 2.0hr：Prepare for the final exam

ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ（インフィニ国際線予約システム予約編-初中級）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

白木　一恵（しらき　かずえ）

▌授業の概要

GDS とは、世界中の航空会社の予約・発券ができるコンピュータシステムである（Global Distribution System の頭文字の略）。
本 GDS 講座では実際に旅行会社が使用する国際航空予約端末（INFINI LINX 端末）を使って航空予約記録を作成する実践的な講座である。航空業界に必要な専門用語や端末操作時に必要なキーワード（空港コード、都市コード、航空会社コード）も習得可能である。観光流通論等の他の授業と連携した航空券流通の実践的学習が可能となる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1）

一般目標：旅客が希望する旅程（スケジュール）に基づいて予約記録（PNR）を作成し、旅客のリクエストに応じで PNR 内に追加情報を入力したり、またその修正やキャンセル、予約便の変更など初歩的な予約手配業務ができることを目指す。
個別目標：空席照会や、予約記録を読み取って説明できる。日程や行先など条件に見合った予約記録を作成することができる。基本の予約記録に加えて、旅客のリクエストを入力することができる。航空会社に必要な情報を送信することができる。

▌履修条件

ホスピタリティツーリズム学部 2022 年 4 月以降入学全学年
検定受験料（3500 円税別）が必要。

▌評価基準・方法

定期試験（インフィニ検定）70 %、小テスト 20 %、授業態度 10 %（授業における発言などの参加姿勢、宿題の提出など）で総合的に評価する。また原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

WEB で宿題実施時、回答と同時に誤りと解説を確認。PNR 作成練習は、作成後プリントアウトにて入力エラーを確認しフィードバック。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （INFINI LINX（国際線予約システム））

▌教科書

INFINI RESERVATION

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：目標の説明、GDS の基本機能を案内、INFINI LINX（国際線予約システム）の機能概要説明** 授業内容：GDS とは何かを理解する。実際に INIFNI LINX を操作してみる。実際に予約記録を作って、これからどんな学習をしていくかを体験する。世界の都市・空港・航空会社について検索してみる。 事前学修 1.5hr：自分が好きな世界の都市を 5 つ選ぶ。行ったことがある、映画で見た、好きな俳優がいるなど理由も考えてみる。 事後学修 2.5hr：INFINI LINX 特有のキーボートの位置を覚えておく。
2回	**授業テーマ：航空券流通の仕組み、航空会社の種類、航空会社のアライアンス** 授業内容：航空券手配までの流れ、アライアンスや、各航空会社の違いなどを学習する。また航空会社での予約から搭乗までの流れや、サービスなども細かく見ていく。 事前学修 2.0hr：パソコンの基本的なキーの位置を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業で学習した都市・空港コード、航空会社コードを覚える。
3回	**授業テーマ：コードの確認（小テスト）、情報検索（コードの復習と空港の乗り継ぎ時間について）空席照会（基本空席照会）** 授業内容：各種コードの小テストを実施。コード検索や、検索したコードを使って基本の空席照会をし INFINI LINX の操作に慣れる。空席照会の基本を学習する。日付と区間を指定して、就航航空会社や空席状況などを確認し、検索結果画面の読み取り方法を学習する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けて、都市・空港コード、航空会社コードを暗記する。 事後学修 2.0hr：空席照会の基本エントリーをテキストと予約早見表で確認する。
4回	**授業テーマ：空席照会（2 種類の空席照会とオプション入力、ショートカット）、スケジュール照会** 授業内容：基本空席照会の復習。基本の空席照会入力とオプション入力の練習。ダイレクトアクセス空席照会の操作と、結果画面の読み取り及びショートカット入力。２種類の違いを学習する。スケージュール照会。 事前学修 2.0hr：空席照会について、予約早見表を確認しておく。 事後学修 2.0hr：空席照会の入力方法をテキストとプリントで確認できるように復習する。
5回	**授業テーマ：PNR（予約記録）作成必須項目について、予約記録作成（大人）、予約完了後の記録の見方について** 授業内容：予約記録を作成するために必要な項目を理解し、それぞれの入力方法、予約作成方法を学習する。大人 1 名の予約記録を作成する。作成された予約記録をみながら、その内容の読み取り、航空会社に送信する流れを学習する。国際線搭乗手続きの流れを学習する。 事前学修 2.0hr：２種類の空席照会エントリーを、それぞれ入力できるように覚えておく。 事後学修 2.0hr：予約記録作成に必要な必須項目の入力方法をテキストとプリントで復習する。
6回	**授業テーマ：空席照会とスケジュール照会について（小テスト）、予約記録作成（削除と修正）、旅程の変更操作** 授業内容：空席照会及びスケジュール照会の入力方法と結果画面読み取りの小テスト。予約記録作成のオプションと航空便予約の変更やキャンセル方法の操作と航空会社へのデータの流れを学習する。国際線利用時の出国手続きの流れと、受託手荷物の取り扱いについて学習する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けて、予約早見表で空席照会とスケジュール照会の入力方法を確認する。 事後学修 2.0hr：旅程のキャンセル方法、旅客指名入力時の削除と訂正をテキストとプリントで復習する。
7回	**授業テーマ：PNR（予約記録）作成と旅客情報の入力（OSI）** 授業内容：基本の予約記録作成に加えて複数旅客の入力に慣れる。OSI にて旅客情報を実際に航空会社に送信する入力方法を学習する。 事前学修 2.0hr：基本の予約記録作成の流れを予約早見表で確認する。 事後学修 2.0hr：OSI にて旅客情報入力方法を、テキストとプリントにて復習する。
8回	**授業テーマ：PNR（予約記録）作成（小テスト）、PNR の確認方法、小児を含む PNR の作成** 授業内容：基本の予約記録作成の小テストを実施。作成された予約記録を再表示する方法。基本の PNR 作成に加えて、小児連れの場合航空会社に伝えるべき必要な情報を学習し、実際に航空会社に情報を送信する入力方法を学習する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けて、予約作成必須項目の入力方法を予約早見表で確認する。 事後学修 2.0hr：小児の氏名、小児情報の入力をテキストとプリントにて復習する。

9回	**授業テーマ：幼児を含む PNR（予約記録）の作成と、予約便の変更・取り消し** 授業内容：基本の予約記録作成に加えて、小児連れの場合航空会社に伝えるべき必要な情報を学習し、実際に航空会社に情報を送信する入力方法を学習する。予約便変更時の操作方法を学習する。幼児連れの搭乗手続きや、コードシェア便の搭乗手続きについて学習する。 事前学修 2.0hr：PNR の再表示方法と、小児情報の入力を予約早見表にて確認する。 事後学修 2.0hr：幼児の氏名入力、幼児情報をテキストとプリントにて復習する。
10回	**授業テーマ：PNR 付加情報入力(ミールリクエスト、携帯電話番号、E メールアドレス)** 授業内容：基本の予約記録に、旅客が希望する食事のリクエストを入力したり、航空会社に旅客の携帯電話番号や E メールアドレスを連絡する方法を学習する。 事前学修 2.0hr：すでに学習した付加情報入力の各エントリーをテキストと予約早見表で確認する。 事後学修 2.0hr：それぞれの旅客情報の入力方法を、テキストとプリントで復習する。
11回	**授業テーマ：PNR 付加情報入力(パスポート情報入力、マイレージ情報入力)** 授業内容：国際線利用時に必要なパスポート情報に関して、必要な内容を確認し入力方法を学習する。マイルを加算するためのマイレージ情報に関する入力方法を学習する。パスポートや VISA について学習する。 事前学修 2.0hr：すでに学習した付加情報入力の各エントリーをテキストと予約早見表で確認する。 事後学修 2.0hr：今までに学習した各種入力方法を、テキストと予約早見表で復習する。
12回	**授業テーマ：PNR 付加情報入力(座席指定とリマークス入力)** 授業内容：前回学習したことに加えて、座席位置の空き状況を検索し座席指定や取り消しのエントリーを学習する。予約記録に航空会社には送信されない情報の入力方法を学習する。 事前学修 2.0hr：すでに学習した付加情報入力の各入力方法をテキストと予約早見表で確認する。 事後学修 2.0hr：座席指定について復習する。
13回	**授業テーマ：付加情報に関する小テスト、PNR の分割、キュー処理** 授業内容：基本予約記録と旅客の様々な情報やリクエストを含めた記録作成の小テストを実施。リクエストした情報に関して航空会社からの返信など、航空会社とのやり取りの確認方法を学習する。複数旅客の一部変更の際の操作方法を学習する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けて、予約早見表で入力方法を確認する。(特に予約早見表③) 事後学修 2.0hr：キュー処理の流れをテキストとプリントで復習する。
14回	**授業テーマ：総復習(予約)** 授業内容：予約記録を作成するための空席照会と結果画面の読み取り。基本情報に加えてどの付加情報が必要かを考えて入力し、予約記録を作成する。作成された予約記録の内容を読み取る。 事前学修 2.0hr：予約操作の不明点をまとめておく。予約早見表を活用して整理する。 事後学修 2.0hr：不明点、苦手な部分で理解できたところを忘れないようにまとめておく。予約早見表でも確認する。
15回	**授業テーマ：インフィニ検定にむけた模擬練習問題** 授業内容：予約記録作成の復習と、インフィニ検定に向けた模擬練習問題を解いてみる。 事前学修 1.0hr：実際に検定受験のつもりで準備する。過去の練習問題やエントリーの確認など予約早見表を活用して準備する。 事後学修 3.0hr：今日間違った部分を検定に向けて復習しておく。テキストで確認し、予約早見表にも必要に応じて記入して活用する。

ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅱ（インフィニ国際線予約システム運賃編-上級）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

白木　一恵（しらき　かずえ）

▌授業の概要

本講座では前期に学んだ予約知識をもとに運賃計算を行い運賃規則及び、運賃詳細を学習していく。
例えば同時刻に同じ目的地へ行く航空運賃は、航空会社や予約クラスによって様々である。
購入時期によって変動することもあり、また同じエコノミークラスに座っているのに数千円から数万円異なる場合もある。このように異なる運賃種別を INFINI LINX 端末からリアルタイムで航空運賃の検索が可能であり、運賃計算を通して運賃設定について学習する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1）

一般目標：前期で学んだ旅客が希望する旅程（スケジュール）に基づいて予約記録（PNR）を作成し、旅客のリクエストに応じで PNR 内に追加情報を入力したり、また修正やキャンセルなど初歩的な予約手配業務に加えて、旅程に応じた運賃計算を行い、計算した運賃の TAX 情報など運賃詳細を理解し、計算した運賃規則を確認することができるようになることを目指す。
個別目標：作成した旅程から運賃計算ができるようになる。計算した運賃の規則を確認できる。予約記録を作成と同時に運賃計算をし、その運賃詳細が理解できるようになる。

▌履修条件

ホスピタリティツーリズム学部 2022 年 4 月以降入学全学年で、「ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ」を受講済者。
検定受験料（3500 円税別）が必要。

▌評価基準・方法

定期試験（インフィニ検定）70 %、小テスト 20 %、授業態度 10 %（授業における発言などの参加姿勢、宿題の提出など）で総合的に評価する。また原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

WEB で宿題実施時、回答と同時に誤りと解説を確認。小テストはプリントで実施し、採点して返却時、全体の解説をする。また必要に応じて manaba でも解説をする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （INFINI LINX（国際線予約システム））

▌教科書

IINFINI FARE PRICING

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：予約の復習** 授業内容：前期で学習した予約操作全般に関する復習。 事前学修 1.0hr：予約記録作成方法、必須項目、付加情報などのエントリーを復習しておく。 事後学修 3.0hr：実際に復習した内容で、忘れていたことを再確認しておく。
2回	**授業テーマ：国際航空運賃概要①基礎知識** 授業内容：国際航空運賃の特徴、基礎知識、種類と、基本的な運賃の検索方法を学習する。IATA（国際航空運送協会）地域の定義で、各都市がどこに分類されるかを確認する。 事前学修 2.0hr：テキストの国際航空運賃の概要を読んでおく。 事後学修 2.0hr：運賃の基本的な考え方をプリントで復習する。
3回	**授業テーマ：国際航空運賃概要②国際運賃の種類** 授業内容：IATA（国際航空運送協会）地域の定義を元に、様々な飛行路線の Global Indicator を考える。国際運賃の種類と登録について学習する。 事前学修 2.0hr：国際航空運賃の概要をテキストにて復習しておく。 事後学修 2.0hr：各飛行路線が、どの Global Indicator に属するかを復習する。
4回	**授業テーマ：国際運賃概要に関する小テスト①と INFINI LINX を使って運賃照会** 授業内容：交際運審概要について小テストを実施。運賃照会の基本入力と、運賃照会結果画面の読み取りを学習する。航空会社ごとに設定された運賃を読み取ることができるように練習する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けて、国際航空運賃概要をテキストとプリントで復習する。 事後学修 2.0hr：運賃照会エントリーと運賃照会結果画面をテキストとプリントで確認する。
5回	**授業テーマ：航空便を予約取得後、自動運賃計算** 授業内容：予約された便について公示運賃を表示させる。自動運賃計算後、計算結果画面の読み取り、INFINI の自動運賃計算の仕組みを学習する。 事前学修 2.0hr：前回の運賃照会と、運賃照会結果画面の読み取りをテキストとプリントで復習する。 事後学修 2.0hr：自動運賃計算と運賃計算結果画面を運賃早見表で復習する。
6回	**授業テーマ：運賃照会に関しる小テスト②と自動運賃計算後の運賃詳細画面の読み取り** 授業内容：自動運賃計算後、運賃詳細画面にて、各国で徴収される諸税及び航空会社で徴収されるサーチャージの内容を確認し、理解する。また運賃詳細画面から内容を読み取ることができるように学習する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けて、運賃照会の復習をする。自動運賃計算のエントリーを復習する。 事後学修 2.0hr：運賃詳細画面の内容と、各国諸税の調べ方をテキストとプリントにて復習する。
7回	**授業テーマ：運賃照会と自動運賃計算の復習** 授業内容：運賃照会の基本操作と、運賃表示の読み取り、予約後の自動運賃計算と運賃規則の確認の復習問題を解きながら、全体の復習をする。 事前学修 2.0hr：運賃照会と自動運賃計算について今までのプリント復習をしておく。 事後学修 2.0hr：復習問題でわからなかったところや間違ったところを再度自分で解いてみる。
8回	**授業テーマ：自動運賃計算のオプション入力、運賃データ保存、運賃規則確認** 授業内容：基本的なオプション入力。自動運賃計算をする際に、予約記録の一部だけを計算したり、販売日を指定して運賃計算を行うオプション入力を学習する。計算した運賃データを予約記録に保存し、その運賃規則を確認して内容を理解する。 事前学修 2.0hr：基本の自動運賃計算と運賃詳細画面を復習する。 事後学修 2.0hr：自動運賃計算をオプションも含めてテキストと運賃早見表で復習する。

9回	**授業テーマ：運賃照会のオプション入力** 授業内容：最初に学習した運賃照会エントリーに、複数航空会社指定や、通貨指定をするオプションエントリーなど、さまざまなオプション入力を操作してみる。空席照会やセグメントから直接運賃照会するエントリーを学習する。 事前学修 2.0hr：運賃計算後の運賃規則の確認と運賃データ保存方法を復習する。運賃照会の基本エントリーを復習する。 事後学修 2.0hr：運賃照会に様々な条件を付加するエントリーを復習する。
10回	**授業テーマ：自動運賃計算に関する小テスト③と運賃のしくみ①運賃額の設定** 授業内容：自動運賃計算全般と、運賃照会オプションについての小テストを実施。運賃設定の世界共通単位と、各国の通貨への換算方法について学習する。 事前学修 2.0hr：自動運賃計算についてテキストとプリントで復習する。 事後学修 2.0hr：運賃の世界共通単位と換算方法を復習する。
11回	**授業テーマ：運賃のしくみ②運賃換算の演習** 授業内容：前回学んだ運賃の世界共通単位から、実際に各国通貨への換算を計算して、2 ヶ国の異なる通貨の国から出発する旅程で計算してみる。 事前学修 2.0hr：世界共通単位について復習する。 事後学修 2.0hr：実際に計算して通貨換算したことを復習する。
12回	**授業テーマ：フィールドワーク、インフィニ会社訪問** 授業内容：今まで 1 年間利用してきた INFINI LINX を提供している株式会社インフィニトラベルインフォメーションを訪問予定。訪問できない場合は、運賃の総復習とする。その場合、今まで学習してきた運賃の各項目について、復習をする。苦手なところや忘れているところなどを、問題を解きながらひとつずつ解決していく。 事前学修 2.0hr：今まで学習したことを復習し、実際に会社訪問でも操作できるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：不明点、苦手な部分で理解できたところを忘れないようにまとめておく。運賃早見表でも確認する。
13回	**授業テーマ：さまざまな運賃計算** 授業内容：今までの自動運賃計算に加えて、安い運賃の検索について学習する。また単に安い運賃だけでなく旅客のニーズに合うように、オプションを加えて運賃を探していくことを学習する。 事前学修 2.0hr：自分が旅客なら、どんな運賃を希望するかを考えてみる。 事後学修 2.0hr：オプションを含めて、安い運賃検索のエントリーを運賃早見表で復習する。
14回	**授業テーマ：ロールプレイ** 授業内容：数名でチームを組んで、実際に係員としてお客様のニーズにあった予約記録を作成し運賃計算を行う。運賃計算をしながら予約記録を作成するために必要な項目を復習確認し予約記録を作成する。作成後は、実際に案内してみる。予約と運賃の学習をしたので、その後発券をして旅客が飛行機に搭乗するまでの流れをみていく。 事前学修 2.0hr：テキストと予約早見表、運賃早見表で、エントリーなどを復習しておく。 事後学修 2.0hr：ロールプレイを通して、疑問に思ったことや感想をまとめる。
15回	**授業テーマ：インフィニ検定にむけた模擬練習問題** 授業内容：インフィニ検定は後期は運賃に関する検定となるので、今までやってきた運賃に関する問題を解いてみる。 事前学修 1.0hr：実際に検定受験のつもりで準備する。運賃計算エントリーなどを運賃早見表で確認する。 事後学修 3.0hr：今日間違った部分を検定に向けて復習しておく。テキストで確認し、運賃早見表にも必要に応じて記入して活用する。

ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修 A・B・C・D・E・F・G・H

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 各 4 単位

単位認定科目

▌授業の概要

ホスピタリティ業界およびツーリズム業界における実地研修（インターンシップ）を行う。実践的な就業体験を通じて、企業活動や業務内容への理解を深めるとともに、社会で求められるビジネスマナーや基本的な技能の早期習得を図る。また、高い就業意識を育み、自身の適性や将来の職業選択について主体的に考える機会とする。インターンシップ担当教員、プレゼミナールやケーススタディ担当教員の事前・事後指導を要する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3、HTM3）

一般目標：ホスピタリティ業界およびツーリズム業界における就業体験を通じて、企業活動や業務内容への理解を深め、将来の職業選択やキャリア形成について主体的に考える。

個別目標：①就業に対する主体的な意識を育み、学生のうちに取り組むべき準備や行動について考える。
②企業や業務に対する事前のイメージと実際の現場との違いを体感し、そのギャップを理解する。
③自身の関心や適性を把握し、将来の職業選択に活かす視点を養う。
④社会人として求められる基本的なビジネスマナーを身につける。

▌履修条件

・明海大学 HT 学部の学生であるとの自覚をもち、目的意識を持って就業体験に臨める学生。
・進級に必要な単位を取得している事等、事前説明会で詳細を提示。

▌評価基準・方法

「120 時間以上の研修」、「インターンシップ担当教員およびゼミ担当教員による事前・事後指導」、「研修終了後のレポート提出」、「報告会にて研修内容の発表」、「派遣先企業からの評価」をすべて満たすことにより単位を認定する。

▌フィードバック方法

フィードバックはインターンシップ報告会にて実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実地研修）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しない

▌参考書

適宜紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

実地研修により、大学では学べない体験をし、大学での学修と結び付ける。常に目標を意識して研修に参加する。

授業内容

研修先企業により決められたスケジュールと内容に従い実地研修を行う。

事前学修

インターンシップに参加する際の心構えを認識する。
研修先企業に関する企業研究を行う。
研修先企業に求められること等、準備を整える。

事後学修

研修当日は、研修修了後に研修内容等を振り返り、復習及び反省を行ない、必要であれば改善を心がける。
インターンシップがすべて修了した後、レポートの提出と、大学で開催するインターンシップ報告会に参加し、発表を行う。

ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修 A・B

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要
ホスピタリティ業界およびツーリズム業界におけるインターンシップで、海外の施設で行なうものである。あわせて渡航前指導、渡航しての研修、職業実習を行なうものである。インターンシップ担当教員、プレゼミやケーススタディ担当教員の事前・事後指導を要する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM3）
一般目標：社会におけるマナー及び職種形態に触れることにより、事前に抱いていたイメージとのギャップを解消することができる。
個別目標：実務的な能力を身に着け、社会人として責任ある行動ができるようになる。

▌履修条件
進級条件を満たしていること。

▌評価基準・方法
・各１２０時間以上の研修時間を要する。
・本人レポート、派遣先企業からの報告書、インターンシップ担当教員、プレゼミやケーススタディ担当教員の事前・事後の指導の報告内容によって単位を認定する。
・課題等のフィードバックは、manaba を通して行う。

▌フィードバック方法
manaba を使用する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
使用しない

▌参考書
適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ
実技訓練をかねて、企業の指示に従い行なう。

授業内容
ホスピタリティ・ツーリズム業界での実務就業体験

事前学修
研修先企業における業務の確認準備をし備える。

事後学修
研修先企業での当日の業務内容等復習及び反省を行なう。

ホスピタリティ・ボランティア活動

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 4 単位

単位認定科目

▌授業の概要

国内におけるボランティア活動を行なうものである。事前学修、現場での活動および研修、事後学修、報告会を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3、HTM3）

一般目標：・活動を行なう施設や団体等の沿革・事業などを理解する。
・社会貢献としてのボランティア活動の意義を体得する。
個別目標：・ボランティア活動を通して視野を広げる。
・幅広い年齢層や様々な立場の人々と接することにより、コミュニケーション力と柔軟な対応力を身に付ける。

▌履修条件

社会貢献としてのボランティア活動を行う意志があること。

▌評価基準・方法

・指定された施設や団体等において、合計 150 時間以上、20 日程度以上のボランティア活動を行う。1 日の活動時間は 8 時間を上限とする（休憩時間は活動時間に含まれない）。
・レポートに関しては次の通りとする。
(1) 活動先の指示・依頼に基づくレポート
作成時間はボランティア活動の一環として算入可。（作成場所は原則としてボランティア実施施設内）
(2) 事後学修としてのレポート
作成時間はボランティア活動には算入不可。（作成場所は原則として自宅等）
・活動日誌、レポート、活動先からの報告、ボランティア活動担当教員あるいはプレゼミナール・ケーススタディ担当教員の指導結果報告、報告会での発表、事前学修と事後学修の参加等によって単位を認定する。

▌フィードバック方法

活動やレポートに関するフィードバックはメールで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （1 つの施設で合計 150 時間以上のボランティア活動を行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポートの作成と提出）

▌教科書

特に指定しない。

▌参考書

金子郁容『ボランティア』岩波書店、秦辰也『ボランティアの考え方』岩波書店。そのほかは担当教員の指示による。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

浦安市内の公共施設でのボランティア活動を通して地域社会について学び、コミュニケーション力と柔軟な対応力を養う。

授業内容

指定された施設や団体等において合計 150 時間以上のボランティア活動を行なう。
現場での活動の他に、事前学修、事後学修、レポート作成、報告会での発表を行う。詳細は別途指示する。

事前学修

活動先に関する事前学修や、ボランティア活動の取り組み方、留意点等についての研修を行う。

事後学修

事後学修として、活動全体を総括するレポートを作成し、報告会で発表を行う。

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究 A（フード・ビバレッジ）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

渭東　史江（いとう　ちかえ）

▌授業の概要

日常生活に深く関わる「食・飲料」＝「Food &Beverage」に関する基礎知識から、ホスピタリティ産業である飲食業、飲食サービスについてなど、多方向から「食・飲料」について講義する。また食のマナーを理解し、安全性についても考える機会とする。料飲関係に就職した際のみならず、将来多くの場面で活用できる知識、教養の構築を目指す。外部講師による講義も数回予定。
なお講義内容、順序は変更される場合がある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：食の基礎、食文化、歴史から始まり、各国料理、マナー、食品衛生、飲食店のサービス・経営など「食・飲料」に関する多様な知識、教養を構築する。

個別目標：1. 食の基礎、食文化、歴史、食育について理解し、バランスのよい食生活を送る。
2. 各国料理、マナーについて理解し、正しいマナーを実践する。
3. 食品衛生、安全管理の重要性を理解し、必要な場面で実践する。
4. 飲食業界、レストランの経営、オペレーション等の知識を修得する。

▌履修条件

「食・料飲」に興味があり、多くの知識を修得しようという意欲があること。
授業や課題にまじめに、積極的に取り組むこと。

▌評価基準・方法

授業に取り組む姿勢、課題の内容 40%、期末テスト 60%の要素を総合的に勘案し判断する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、課題解決型授業など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （manaba や Respon にてコメント投稿あり）

▌教科書

必要に応じて資料の配信または配布。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：「食・飲料」＝「Food & Beverage」に関わる事項について確認。重要性について理解する。授業概要や今後の授業進行について説明。 事前学修 2.0hr：食・飲料に関連することや、関わり方を考える 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
2回	**授業テーマ：食材の基礎、食文化** 授業内容：基礎食品を確認し、把握する。食文化とは何かを理解し、食文化として食の歴史や郷土料理、行事食を見直す。海外の食文化についても理解する。 事前学修 2.0hr：普段使用している(食べている)食材について調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
3回	**授業テーマ：食育、食環境** 授業内容：現在の食環境や食育について確認する。食生活指針や食事バランスガイドを取り入れ、正しい食生活を送るきっかけとする。食料自給率や食品ロスなどの問題点についても考える。 事前学修 2.0hr：自身の食生活について見直す 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
4回	**授業テーマ：西洋料理** 授業内容：西洋料理として代表的なフランス料理とイタリア料理を取り上げ、特徴、食材、調理法、メニュー、マナーなどを紹介。西洋料理の教養とマナーを身に付ける。 事前学修 2.0hr：西洋料理の特徴やマナーについて調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
5回	**授業テーマ：日本料理** 授業内容：日本料理の基本として影響を与えた陰陽五行説についてや、日本料理の特徴、種類、食材、マナーなどを紹介。盛り付けや器など、日本料理の食事を超えた思想についても知る機会とする。 事前学修 2.0hr：日本料理の特徴やマナーについて調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
6回	**授業テーマ：中国料理** 授業内容：中国料理の特徴、食材、調理、特徴的な調理器具、マナーなどを紹介。地方料理の特徴についても理解する。メニュー構成を理解し、メニューの選び方を実践する。 事前学修 2.0hr：中国料理の特徴やマナーについて調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
7回	**授業テーマ：飲料** 授業内容：アルコール飲料の分類法、種類やそれぞれの原料、製造法などを紹介。コーヒーや紅茶等についても紹介する。 事前学修 2.0hr：普段利用している飲料について調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
8回	**授業テーマ：外食業界** 授業内容：外食業の種類や業界の現状について確認する。外食チェーンの特徴や仕組み、フランチャイズ契約などを理解する。外食業界の社会での役割を考察する。 事前学修 2.0hr：外食チェーンの種類や仕組みを調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
9回	**授業テーマ：飲食店経営(1)外部講師** 授業内容：飲食店を経営する外部講師を招聘し、店舗経営の経緯や方法、ビジョン等の講義を聞く。理解を深めるために質問する。 事前学修 2.0hr：外部講師の経営する飲食店について調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示

10回	**授業テーマ：飲食店経営(2)外部講師** 授業内容：飲食店を経営する外部講師を招聘し、店舗経営の経緯や方法、ビジョン等の講義を聞く。理解を深めるために質問する。 事前学修 2.0hr：外部講師の経営する飲食店について調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
11回	**授業テーマ：飲食店経営(3)外部講師** 授業内容：飲食店を経営する外部講師を招聘し、店舗経営の経緯や方法、ビジョン等の講義を聞く。理解を深めるために質問する。 事前学修 2.0hr：外部講師の経営する飲食店について調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
12回	**授業テーマ：飲食店のサービス** 授業内容：飲食店のサービススタイル、手順、サービスする際のマナー等を確認する。テーブルセッティングや食器、カトラリーについて把握する。 事前学修 2.0hr：レストランでのサービス内容を調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
13回	**授業テーマ：飲食店運営・経営** 授業内容：飲食店運営の手順、コンセプトやメニュー開発、運営システムの構築方法等を確認する。理想の飲食店運営、経営を考える。 事前学修 2.0hr：レストラン運営、サービスについて、前回の内容を復習 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
14回	**授業テーマ：食品衛生、安全管理** 授業内容：食品衛生と安全管理に関して、食中毒、腐敗・変敗、アレルギー食品、また労働災害や火災等を確認する。それらを防ぐのはもちろん、事業者や関わる者の責務について理解する。 事前学修 2.0hr：食の安全性について考える 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
15回	**授業テーマ：飲食業の現状、授業の復習、まとめ** 授業内容：飲食業界の動向や課題等、現状をデータを通して把握する。今後の動向や将来性を考え、キャリア形成の一助とする。授業全体を振り返り、知識と教養を身に付ける。 事前学修 2.0hr：14 回分の内容を復習し、疑問点をあげる 事後学修 3.0hr：期末テストに向けて準備する

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究 B（コンシェルジュ／ビジネスネットワーキング）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以前入学生対象

阿部　佳 (あべ　けい)

▌授業の概要

プロのパーソナルコミュニケーションに必要なスキルや知識を身に着け、実社会で実践できるようになることを目的とする。また本科目は パーソナル・コミュニケーション探究 A（ビジネスネットワーキング）とのダブルカリキュラムであり、その両面の内容を併せ持つ。
ホスピタリティ産業は、広い業種にかかわる世界共通の産業であり、その業務は多岐にわたる。また観光先進国を目指す日本では、今後ますます重視されることは間違いない。この授業では、ホスピタリティ提供の専門職といわれる「コンシェルジュ」を教材に、ホスピタリティのプロに必要なパーソナルコミュニケーションを参加型で身につけると共に、その実践に不可欠なプロのネットワークについて正しく理解する。
授業内容、スケジュールは、諸条件・状況により、変更する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：HTM1）

一般目標：・プロのパーソナルコミュニケーションスキルや、そのために必要な知識を得る
・ホスピタリティを理解し、パーソナルコミュニケーションを身につける
・その実践に不可欠なビジネスネットワークの役割と責任、構築方法を知る
個別目標：・プロのホスピタリティ、およびホスピタリティ産業を正しく理解し、その基礎知識とスキルを習得する。
・コンシェルジュの仕事を知り、あらゆる分野に活かせるプロのパーソナルコミュニケーションを身につける。
・プロのホスピタリティにおけるネットワークの意味と役割を知る。
・プロのネットワーク構築、強化拡大の方法を知る。

▌履修条件

参加型授業に積極的に取り組み、自ら研究、考察、発言する意欲があること

▌評価基準・方法

・テスト・レポート等の提出状況と内容、プレゼンテーション 80 %
授業でのディスカッション、ワークセッション等への取り組み姿勢、積極的発言、ホスピタリティ実践度 20 %　を基本として総合評価
・授業出席 80 %、課題の期限内提出 80 %必須

▌フィードバック方法

課題、ワーク等に対しては、全員の参考になるように、授業でポイントを共有し、フィードバックする

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （相互コメント・ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーションを通じ、自ら考え、発信する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション準備）

▌教科書

使用しない

▌参考書

適宜紹介

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進行、内容の説明を聞き、理解する 事前学修 2.0hr：プロのホスピタリティとは何か、を自分なりに説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティの目的とコンシェルジュの職務の確認
2回	**授業テーマ：ビジネスネットワークとは？　コンシェルジュの仕事の特徴と概要** 授業内容：ビジネスネットワークとは何かを知り、コンシェルジュの仕事の特徴と、役割を理解する 事前学修 2.0hr：コンシェルジュの仕事の特徴は何か、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：コンシェルジュの仕事についての確認と、疑問点のまとめ
3回	**授業テーマ：コンシェルジュの” 日常業務” とそのゴール** 授業内容：今後の授業の基礎知識として、コンシェルジュの日々の業務を知る 事前学修 2.0hr：コンシェルジュの日常業務はどんなことか、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：コンシェルジュの日常業務内容についての整理と、疑問点のまとめ
4回	**授業テーマ：ホスピタリティのプロの精神・哲学・資質** 授業内容：ホスピタリティのプロの心の持ちよう、考え方を知り、自身の強みを探る 事前学修 2.0hr：ホスピタリティのプロに求められている「基本姿勢」は何か、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティのプロに重要なマインドとスピリットの確認と、疑問点のまとめ
5回	**授業テーマ：コンシェルジュスピリットの実践** 授業内容：伝わるホスピタリティ発信のスキルを知る 事前学修 2.0hr：プロのホスピタリティの可視化、ホスピタリティを実践する、とは何をすることか、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：プロのホスピタリティ実践の心構えと手順について、確認と、疑問点のまとめ
6回	**授業テーマ：ビジネスネットワークの活用** 授業内容：ビジネスネットワークがあるとできることを具体的に理解する 事前学修 2.0hr：ビジネスネットワークをホスピタリティ実践に活かす方法を考えておく 事後学修 2.0hr：ビジネスネットワークに対して自身は何ができるか、確認と、疑問点のまとめ
7回	**授業テーマ：グループワーク①　お客様への提案** 授業内容：グループワーク　– お客様への提案内容を検討する 事前学修 2.0hr：ホスピタリティ提供に役立つお客様の特徴のとらえ方を考えておく 事後学修 2.0hr：相手の気持ちを読み解く視点、それに合わせた提案を整理
8回	**授業テーマ：グループワーク②　お客様への提案** 授業内容：グループワーク　– お客様への提案の理由を明確にする 事前学修 2.0hr：提案内容を整理しておく 事後学修 2.0hr：相手の気持ちを読み解く視点、それに合わせた提案に不可欠な要素は何かを整理

9回	**授業テーマ：グループプレゼンテーション** 授業内容：グループプレゼンテーション　– お客様への提案 事前学修 2.0hr：高品質のホスピタリティ提供のポイントを確認しておく 事後学修 2.0hr：自身のホスピタリティ実践における強み、弱みを確認
10回	**授業テーマ：グループプレゼンテーションへのフィードバック** 授業内容：グループワークへのフィードバックを通し、自身のホスピタリティの特徴を知る 事前学修 2.0hr：お客様の提案について、ほかの人の意見を理解、疑問点を挙げておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティ実践のさまざまな方法と効果を確認
11回	**授業テーマ：日本のホスピタリティにおけるコミュニケーション** 授業内容：その特徴、強み、弱みと今後の挑戦を知る 事前学修 2.0hr：日本のホスピタリティの特徴を説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：日本のホスピタリティの特徴と今後の課題について、確認と、疑問点のまとめ
12回	**授業テーマ：ホスピタリティ業界におけるネットワークの役割と責任** 授業内容：ホスピタリティ産業におけるビジネスネットワークの役割と責任を認識する 事前学修 2.0hr：ホスピタリティのプロのネットワークとはどういうことか説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティのプロのビジネスネットワークについて、確認と、疑問点のまとめ
13回	**授業テーマ：個人ワーク　真心を伝えるための手配** 授業内容：VIP を迎える手配を自ら考え、プロのネットワークの活用法を知る 事前学修 2.0hr：お客様の気持ちを読み取ってホスピタリティを実践することについて確認しておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティ実践を体験、ひとつひとつの意味を見直す
14回	**授業テーマ：コンシェルジュの歴史とレ・クレドール** 授業内容：コンシェルジュの歴史と　プロのホテルコンシェルジュのネットワーク組織について知識を得る 事前学修 2.0hr：現代のコンシェルジュの役割、位置づけを、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：現代のホスピタリティの役割、レ・クレドールの概要について整理する
15回	**授業テーマ：まとめ　コミュニケーションのプロになる　プロのビジネスネットワークを育む** 授業内容：プロ意識～きく力・みる力・感じ取る力・気づく力を身につける 事前学修 2.0hr：観ること、感じ取ることの意味、重要性を説明できるように準備しておく 事後学修 2.0hr：自身の、今後のホスピタリティとのかかわり方を考える

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究 B（ブライダル・フューネラル ビジネス）／ブライダル・フューネラルビジネス論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2022 年度以降入学生のみ履修可能

中川　貴之（なかがわ　たかゆき）

▌授業の概要

結婚式と葬儀という日本の儀礼文化を「セレモニー論」という観点から学習します。
歴史的背景から現在の業界ビジネス論、マナーまで幅広い範囲の概論となり、
結婚式、葬儀の概要をはじめ、仕事の詳細の内容まで学べる内容です。
ウエディング・葬儀共に、現代最新の内容となっております。
各社より、専門講師が講義を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：現代のセレモニーの形が歴史的背景との導線で理解ができ、一般的セレモニーマナーを習得することができる。
個別目標：ブライダル・フューネラルについて、最新知識を得る。
　　積極的に授業へ参加をする。

▌履修条件

ブライダル・フューネラルセレモニー論に興味を持って履修する事。

▌評価基準・方法

授業貢献度及び参加態度等 (60%)・テストもしくは授業ごとのレポート (40%) を総合的に勘案し判断する。

▌フィードバック方法

授業ごとのレポートのフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜プリント配布

▌参考書

葬儀概論

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション (ブライダル・フューネラル総合) 授業の方針** 授業内容：授業の方針の説明 事前学修 2.0hr：ブライダル、フューネラルについて考える。 事後学修 2.0hr：授業の方針を理解する。
2回	**授業テーマ：数多くの外資系一流ホテルのコーディネート、ブライダルフラワーを手がける『株式会社ユー花園』の講義①** 授業内容：葬儀におけるお花のコーディネートと、働く人の想い 事前学修 2.0hr：現代の各種セレモニー生花装飾の情報収集。(主にフューネラル) 事後学修 2.0hr：「生花」の効果と花を通してより良い社会づくりにも貢献している事業内容についての情報も学べる。
3回	**授業テーマ：葬儀の価値　現代の葬儀のスタンダードをつくりあげた業界注目度ナンバーワン『むすびす株式会社』の講義** 授業内容：お葬式の本質に迫り、世の中にとって在るべき葬儀とは、を学ぶ。 事前学修 2.0hr：冠婚葬祭のマナーを調べる。葬儀概論 儀礼文化の観点から考察。 事後学修 2.0hr：葬儀の役割をまとめる。
4回	**授業テーマ：数多くの外資系一流ホテルのコーディネート、ブライダルフラワーを手がける『株式会社ユー花園』の講義②** 授業内容：ブライダルにおけるお花のコーディネートと、働く人の想い 事前学修 2.0hr：現代の各種セレモニー生花装飾の情報収集。(主にブライダル) 事後学修 2.0hr：「生花」の効果と花を通してより良い社会づくりにも貢献している事業内容についての情報も学べる。
5回	**授業テーマ：お葬式におけるホスピタリティ/グリーフケア　『むすびす株式会社』の講義** 授業内容：究極のサービス・究極の気遣いについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：グリーフとは何かを調べ、グリーフケアを通じて葬儀のあり方を考える。 事後学修 2.0hr：相手に寄り添う姿勢が一方的に励ますことよりも大切であるとされている「グリーフケア」について学べる。
6回	**授業テーマ：真心をこめて葬儀をおつとめする『仙行寺』より講義** 授業内容：古来の日本人の考え方、冠婚葬祭の必要性を学ぶ。 事前学修 2.0hr：古来の日本人の考え方、葬儀の歴史を考える。 事後学修 2.0hr：日本ならではの文化と由緒ある日本庭園。日本人ならではの気遣いと細やかなおもてなしについて学べる。
7回	**授業テーマ：ハウスウェディングを手がける『株式会社ディアーズ・ブレイン』より講義** 授業内容：現代のウエディング業界について、ウエディング業界で働くとは。 事前学修 2.0hr：ブライダル・ドレス・レストラン・コンサルティングの総合を考察する。 事後学修 2.0hr：常に先を捉え、一歩先を行くサービスを創出してきたディアーズ・ブレインの魅力を学べる。
8回	**授業テーマ：映像、アルバムナンバーワン企業。『KRK プロデュース株式会社』より写真撮影・映像・企画・制作についての講義①** 授業内容：一生に一度の大切な場において、感動を創る映像とは。 事前学修 2.0hr：現代には、欠かせない「映像」について、慶弔双方の面から考察する。 事後学修 2.0hr：最新の映像制作技術・企画について学べる。
9回	**授業テーマ：むすびす株式会社【人事部】より講義** 授業内容：この先仕事をするみなさんへ、「働く」「キャリアを形成する」とは。 事前学修 2.0hr：仕事の使命→「命を輝かせる・命をむすぶ」なぜ？ なんのために？　考察する。 事後学修 2.0hr：「まず大切なことは、私たちが企業人である前に人間だということ」この世に命を授かり、その命を全うしていくことについて
10回	**授業テーマ：海外挙式、リゾートウェディングの『株式会社グットラック・コーポレーション』より海外挙式事情の講義** 授業内容：リゾートウェディングとは。リゾートウェディングを通じてどんな価値を創っているのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：海外挙式やリゾートウェディングを調べる。 事後学修 2.0hr：海外挙式、リゾートウェディングはどのような仕事、業界なのかを理解する。

11回	**授業テーマ：ブライダル産業を中心としたサービス業の経営コンサルティングソリューションを提供する『株式会社 TIPLOG』より講義** 授業内容：ブライダル業界のトレンドと TIPLOG の事業について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ブライダル衣装の最新情報を収集。 事後学修 2.0hr：ブライダルにおける衣装について。仕事と業界を理解する。
12回	**授業テーマ：映像、アルバムナンバーワン企業。『KRK プロデュース株式会社』より写真撮影・映像・企画・制作についての講義②** 授業内容：一生に一度の大切な場において、感動を創る映像とは。 事前学修 2.0hr：現代において欠かせない「写真」について、最新の撮影テクニックなども学べる。 事後学修 2.0hr：最新の撮影技術・制作・企画について学べる。
13回	**授業テーマ：むすびす株式会社の『新卒メンバー』より講義** 授業内容：目線が近い先輩だからこその、就職活動へのアドバイス・会社の選び方を学ぶ 事前学修 2.0hr：自分がどんな職業につきたいか、就活の軸は何かを考察する。 事後学修 2.0hr：就職活動に活かす。
14回	**授業テーマ：ハウスウェディングナンバーワン企業。常に新しい提案をする『株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ』より講義** 授業内容：業界最大手の企業から、現代のウェディング業界について・想いを学ぶ。 事前学修 2.0hr：「One Heart Wedding」とは何か？　一軒家完全貸切スタイル・一顧客一担当制スタイルの意味。海外挙式の魅力を考察する。 事後学修 2.0hr：T&G スタンダード「感動づくりへの想いをひとつにする」の内容や意味を学べる。
15回	**授業テーマ：復習** 授業内容：講義のまとめ 事前学修 2.0hr：本授業 1 回〜14 回までの振り返り 事後学修 2.0hr：本授業で学んだ事を振り返り、心で感じた内容をまとめる。

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｃ（法規）

開講学科等：HT ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

ツーリズム業界に従事する上で必須の法律である「旅行業法」及び「旅行業約款」の基本的な考え方について、実際の事例(特に旅行契約、旅行の取消、旅行業者の責任など)を用いながら講義していく。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：旅行業務における法律の考え方や約款を理解する。

個別目標：約款を学ぶことにより、旅行現場におけるトラブルを解決できるようになる。さらに、旅行業法を学ぶことにより、旅行会社を創業するための知識を得る。

▌履修条件

ツーリズム業界に従事することを希望し、特に旅行業で用いられている法律、約款について学ぶ意欲のある学生。

▌評価基準・方法

期末試験（７０%）、適宜行う小テスト又はコメントシート（２０%）、授業態度など（１０%）に基づき総合的に評価する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、検定内容の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義時、資料を配布する。詳しくはガイダンスで案内する。

▌参考書

必要に応じ、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(講義目的・講義の進め方・評価など)についてのガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。また、法規にはどのような種類があり、どのような内容なのか、大まかに学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返しておく。
2回	**授業テーマ：旅行業約款①** 授業内容：約款とは、消費者(旅行者)との契約内容を記したものである。この回では約款の基礎を実例に沿って学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
3回	**授業テーマ：旅行業約款②** 授業内容：この回では約款の第１歩、つまり契約をどのように結ぶのか、契約を拒否することは可能なのか、などという事を様々な契約パターンを例にとり、学習する。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
4回	**授業テーマ：旅行業約款③** 授業内容：この回では、契約の変更について学ぶ。例えば、契約通りの旅行日程にならなくなった場合、旅行業者の責任範囲はどのように決められているのか、などという事を様々な実例から学習する。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
5回	**授業テーマ：旅行業約款④** 授業内容：この回では、契約の解除(キャンセル)について学ぶ。例えば、旅行者の都合で旅行を取りやめる場合、どのような流れになるか、また、旅行業者から契約を解除することは可能なのか、その時はペナルティなどはあるのか、などという事を様々な実例から学習する。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
6回	**授業テーマ：旅行業約款⑤** 授業内容：旅行業者の重要な債務である旅程管理を学ぶ。具体的には、旅行に同行するツアーコンダクターのことを言う。この旅程管理の内容を学ぶ。また実際のツアーで起きたトラブルをツアーコンダクターがどのように回避したかなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
7回	**授業テーマ：旅行業約款⑥** 授業内容：旅行業者には、旅行を安全かつ円滑に進めるためにどのような責任を持っているか、またその責任を取るにはどのような方法があるのか、旅行業者の責任にはなり得ないトラブルはあるのか、などという事を様々な実例から学習する。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
8回	**授業テーマ：旅行業約款⑦** 授業内容：前回に引き続き、旅行業者の責任について学ぶ。特に特別補償規程を中心に学ぶが、この規程は旅行者が被った損害を旅行業者が補償するという内容で、きわめて細かい約束事項になる。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
9回	**授業テーマ：旅行業法①** 授業内容：旅行業の最重要法規は旅行業法である。旅行会社を立ち上げるためにやらなければいけないことを学ぶ。この回は、旅行業とは具体的にどのような行為を言うのか、学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。

10回	**授業テーマ：旅行業法②** 授業内容：旅行会社を営む場合は、国に旅行業の登録を申請しなければならない。ただし、条件が満たされない場合、この登録申請は拒否される。どのような拒否条件があるか、そういった部分を実例を挙げながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
11回	**授業テーマ：旅行業法③** 授業内容：旅行業は登録がなされただけでは営業を始めることができない。では具体的にどのようなステップを踏むことで営業が開始されるのか、といったことを実例を挙げながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
12回	**授業テーマ：旅行業法④** 授業内容：旅行業を営む場合、営業を開始する前に決めておかなければけない事柄がいくつかある。標識、外務員証、取扱料金などであるが、実例を挙げながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
13回	**授業テーマ：旅行業法⑤** 授業内容：旅行の広告を出す場合のルールや、旅程管理者(ツアーコンダクター)の研修要件、さらに、自社商品を他社で販売してもらうという受託契約について、実例を挙げながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
14回	**授業テーマ：旅行業法⑥** 授業内容：旅行業法には、ある行為により、営業停止や旅行業の登録取消といった重いペナルティを受ける事象がある。そういった部分を実例を挙げながら学ぶ。さらに、様々なクレームに対し、対処法を考えてみる。 事前学修 2.0hr：前回までに配布した資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
15回	**授業テーマ：旅行業約款、旅行業法の総まとめ** 授業内容：今まで学んだ約款と法律を復習し、旅行会社にとって、旅行関連法規がいかに重要かを考える。 事前学修 2.0hr：前回までに配布した資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：事例を振り返り、資料を読み直しておく。

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究D（エンターテイメント／テーマパークビジネス）

開講学科等：HT ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前/後

森崎　泰助（もりさき　たいすけ）

▌授業の概要
テーマパークを中心にエンターテイメントビジネスを考察することによって、今後のテーマパーク・エンターテイメントビジネスの課題と展開を検証する。
課題等のフィードバックは、学習支援システム manaba・個人メール・対面等、状況に応じて行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）
一般目標：一般目標：日本におけるテーマパークビジネスの現状の把握と今後のエンターテイメントビジネスの推測が可能になる。
個別目標：個別目標：グループワークとして、アトラクションを企画してみる

▌履修条件
特になし

▌評価基準・方法
（1）期末テスト又は期末レポート
（2）授業参加、授業態度、小レポート

▌フィードバック方法
授業の中での質疑応答
小レポートの内容評価

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
必要に応じて講義毎に資料（プリント等）を配布（教科書は特に指定しない）

▌参考書
適時紹介するが特に指定しない

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業に関するガイダンス** 授業内容：今期の授業のテーマと内容の概要紹介 事前学修 2.0hr：エンターテイメントビジネスについて考えてみる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
2回	**授業テーマ：テーマパークについて考察（テーマパークの開発の流れ）** 授業内容：、テーマパークの構造、アトラクションの分類、キャパシティについて 事前学修 2.0hr：テーマパーク・アトラクションの運営及び変遷を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
3回	**授業テーマ：テーマパーク及びエンターテイメントビジネスの考察１（キャラクター導入、展開について）** 授業内容：キャラクタービジネスの現状と映画から派生するエンターテイメントビジネス 事前学修 2.0hr：映画から展開されるビジネスを調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
4回	**授業テーマ：テーマパーク及びエンターテイメントビジネスの考察２（テーマパークにおけるキャラクターについて２）** 授業内容：キャラクター、コンテンツの紹介、他 事前学修 2.0hr：キャラクターについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
5回	**授業テーマ：テーマパークアトラクションの考察１（映像・音響１）** 授業内容：各演目ショーの歴史、テクニック、今後の展望 事前学修 2.0hr：アトラクションについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
6回	**授業テーマ：テーマパークアトラクションの考察２（映像・音響２）** 授業内容：パークワイドショー、３Ｄ映像について 事前学修 2.0hr：パークイベントについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
7回	**授業テーマ：テーマパークアトラクションの考察３（ライドアトラクションについて１）** 授業内容：ライドアトラクションの分類・技法 　コースター、ダークライド、シアター、等 事前学修 2.0hr：ライドアトラクションについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
8回	**授業テーマ：テーマパークアトラクションの考察４（ライドアトラクションについて２）** 授業内容：ライドアトラクションの演出、ウオークスルーアトラクションについて 　シミュレーター、ホラーハウス、等 事前学修 2.0hr：テーマパーク以外のアトラクションについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
9回	**授業テーマ：エンターテイメントビジネスの考察１** 授業内容：舞台、各種イベントについて考察 事前学修 2.0hr：シーズンイベントについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
10回	**授業テーマ：エンターテイメントビジネスの考察２（アトラクション）** 授業内容：キャラクターショー、ミュージカル、等のライブエンターテイメントの考察 事前学修 2.0hr：舞台について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理

11回	**授業テーマ：キャラクターライセンスビジネスの考察１（キャラクターライセンスビジネス）** 授業内容：世界が注目するアニメについて事業規模・展開の事例紹介しながらのスタディ 事前学修 2.0hr：キャラクターライセンスビジネスについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
12回	**授業テーマ：キャラクターライセンスビジネスの考察２（グループワーク）** 授業内容：ＴＤＬ、ＵＳＪ、他　キャラクターを展開するキャラクターの事業的活用のスタディ アトラクションを考える 事前学修 2.0hr：テーマパークを中心としたキャラクターを調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
13回	**授業テーマ：テーマパークの考察３（グループワーク）** 授業内容：テーマパークの事業目線の分析 アトラクションを考える 事前学修 2.0hr：ＴＤＲで行われているショーを調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
14回	**授業テーマ：テーマパークビジネスの考察４（グループワーク）** 授業内容：アトラクションを考える 事前学修 2.0hr：アトラクションを調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
15回	**授業テーマ：エンターテイメントビジネスの今後** 授業内容：アトラクション企画の発表 これからのエンターテイメントビジネスの今後の展望 事前学修 2.0hr：エンターテイメントビジネスの展望を考える 事後学修 2.0hr：授業内容の整理

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｅ（ＭＩＣＥ）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

ツーリズム産業における大きな市場として、MICE 市場があります。MICE とは、「Meeting（会議）· Incentive（報奨）· Convention（コンベンション）· Event（イベント）」の頭文字をとったもので、「マイス」と読みます。主催者の性質や目的、規模、参加形態なども様々で、レジャー目的のツーリズムとは、関わる参加事業者や団体、また提供されるサービスなども異なることも多く、ユニークな特性を持っています。特に、日本で開催される国際 MICE は、「観光立国」日本を掲げる政府にとっても、重要なマーケットと位置付けられ、官民をあげた取り組みが期待されています。本授業では、政府・自治体・企業・地域の様々な取組や MICE それぞれの市場特性などを学びます。

※授業内容は、諸条件・状況により、変更します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：MICE に関わる事業領域の多様性や、MICE 主催者が求める価値、それに対する事業者やサービスの特徴などを学ぶことにより、MICE 市場が果たす社会的意義や、そのプロセスに関する知識を修得する。

個別目標：・MICE それぞれの頭文字ごとの種別とその特徴について、理解し説明できる。
・MICE 市場に関わる事業者や団体の種別、提供されるサービス、関連する職種について理解し、説明できる。
・MICE に関わる情報について、一定レベルを、Web 上から収集することができる。
・MICE 市場における日本の状況を、世界の主要国との比較において理解し、説明できる。
・簡易なイベントについて、そのイベント運営マニュアルを作ることができる。

▌履修条件

・出席者間でのグループディスカッションをする場合もあるため積極的に参加する意欲を持つこと。

・manaba の 1 機能である、「respon」を活用するため、事前に respon アプリを使用できる環境を用意すること（方法は授業開始前にコースニュースで掲示）

・授業資料は、manaba のコースコンテンツ、臨時的な情報類は manaba のコースニュースを使用。必ず manaba のコースニュース、新規課題告知機能を有効にすること。

▌評価基準・方法

【出席要件】

「①授業への出席（＝冒頭の respon による出席投稿）」＋「②授業中のすべての respon 投稿（複数回あり）」＋「③授業コメント」の 3 セットが揃えば「出席」

【成績要件】

各授業回ごとの受講時参画態度・意欲・課題の提出内容（70 %）· 期末試験（30 %）

※詳細は、第一回の授業で説明します。

▌フィードバック方法

・原則として、前回の授業に対して提出いただいた授業コメントについて、フィードバックを次回授業内で行います。課題によっては、manaba のフィードバック機能を使います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （数回程度、グループディスカッションあり。毎回、レスポンによる投稿あり。授業課題の発表機会と履修者による評価機会あり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、授業内 respon の投稿用にスマホを含め、respon 投稿を可能にする環境を必要とする）

▌教科書

使用しない。原則として授業資料は、manaba 上で前日 12:00 を目安に公開。

▌参考書

特になし。必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（講義目的、授業の進め方、評価等説明）、MICE とは―ツーリズム産業における MICE** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、授業評価基準、出欠基準など） ・MICE とは何か、基本の考え方を知る ・MICE がもたらす経済効果と、国策としての意義を考える 事前学修 2.0hr：ツーリズム産業のすそ野の広さについて改めて確認しておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
2回	**授業テーマ：MICE 概論 ―MICE の歴史、国家戦略としての MICE 誘致** 授業内容：MICE の成り立ちや歴史を学ぶほか、コロナ禍を経て変化した MICE 市場やその存在意義について考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
3回	**授業テーマ：M&I：ミーティング&インセンティブビジネス①概論** 授業内容：MICE の中でも、企業ニーズの大きな「M」と「I」について、市場規模や企業が実施する目的や効果など、その詳細を学ぶ 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
4回	**授業テーマ：M&I：ミーティング、インセンティブビジネス② M&I に関わる業務** 授業内容：M&I を成功させるために、関わる事業領域や事業者特性を学ぶ 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
5回	**授業テーマ：C：コンベンションビジネスについて** 授業内容：MICE の中の C、コンベンションについて、その意味やイベント特性、実施の意義や経済効果などを学ぶ 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
6回	**授業テーマ：E：イベント、展示会について** 授業内容：MICE の中の E、イベントや展示会、見本市などについて、その意味やイベント特性、実施の意義や経済効果などを学ぶ 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

7回	**授業テーマ：M&I　実際のイベント実施の現場から M&I の意義を知る～基礎的な運営マニュアルの構成を知ろう** 授業内容：M&I 事業に従事するプロフェッショナルをお招きし、実際に事例を交えながら、実際に M&I の現場で必要となるオペレーション上のマニュアルにどのような要素が必要かなどについて、外部の専門家が講演 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
8回	**授業テーマ：地域にとっての MICE 誘致の意義と取り組み① ー MICE を誘致する政府組織・団体・地域コンベン ションビューロー概論** 授業内容：MICE を国策として推進するに際しての関連団体や、地域の誘致機関などの役割や目的などを学ぶ 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
9回	**授業テーマ：地域にとっての MICE 誘致の意義と取り組み②ーちば国際コンベンションビューローの取り組み** 授業内容：明海大学の最も身近で MICE 誘致に取り組む公益団体「ちば国際コンベンションビューロー」の方を外部講師としてお招きし、地域の誘致の現場の実情についてお話しいただくことを通して、リアルな仕事内容や役割への理解を深める 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
10回	**授業テーマ：業界におけるプレイヤー** 授業内容：実際に MICE 領域で活躍する代表的な企業名などを取り上げながら、MICE を行う上で必要な強みや特性を学ぶことを通して、未来の自身の仕事観の醸成にも繋げる 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
11回	**授業テーマ：MICE にとって重要な会場・施設の考え方「ユニークベニュー」について I** 授業内容：MICE の成功に重要な鍵を握る「会場（=ベニュー）」について、そのユニークさ、貴重さが果たす役割や具体的なユニークベニューについて考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
12回	**授業テーマ：IR―統合型リゾートのビジネスチャンス** 授業内容：外部講師を招き、概念が誤解されやすい、またわかりにくい、IR：統合型リゾートについて、その法的位置付けや、効果、経済効果への期待などを学び、その意義について考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
13回	**授業テーマ：世界の MICE 市場について** 授業内容：12 回までは主に、日本の MICE 市場について学んできたが、本回では、海外における MICE 市場について学び、日本との違いなどについて考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
14回	**授業テーマ：地域にとっての MICE 誘致の意義と取り組み③―（課題共有）** 授業内容：「地域のコンベンションビューローについて調べる」というテーマでの課題の中から優秀者が発表する 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
15回	**授業テーマ：まとめ（14 回の復習）** 授業内容：全１４回についてのおさらい 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究 F（地域創生）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

日本は人口減少・少子高齢化を向かえています。経済、とりわけ人口減少度合いが著しい地域経済の活性化のためには流入人口の拡大を図る必要があります。そのため、観光地・観光施設・観光事業者等は様々な知恵を出し流入人口を増やそうと努力しています。本授業では、地域の活性化にとって重要なツーリズムとの関連性やまちづくりの取組事例を検証し、効果について学びます。
※授業内容は、諸条件・状況により、変更します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3、HTM1）

一般目標：観光が地域・施設に与える影響について理解する。
個別目標：① 各観光地の取組や課題、置かれている社会環境について理解し説明できる。
② 観光に携わる様々な団体や事業者等の相互関係性を理解し、地域を活性化させるための様々な戦略について理解を深める。

▌履修条件

・原則、毎回、教員の指定した座席配置によるグループディスカッションがある予定。グループディスカッションに意欲的に参加すること。
・manaba の 1 機能である、「respon」を活用するため、事前に respon アプリを使用できる環境を用意すること（方法は授業開始前にコースニュースで掲示）。
・授業資料は、manaba のコースコンテンツ、臨時的な情報類は manaba のコースニュースを使用。必ず manaba のコースニュース、新規課題告知機能を有効にすること。

▌評価基準・方法

【出席要件】
「①授業への出席（＝冒頭の respon による出席投稿）」＋「②授業中のすべての respon 投稿（複数回あり）」＋「③授業コメント」の 3 セットが揃えば「出席」
【成績要件】
各授業回ごとの受講時参画態度・意欲・課題の提出内容（70 %）· 期末試験（30 %）
※詳細は、第一回の授業で説明します。
【課題等のフィードバック方法】
・原則として授業内で行います。課題によっては、manaba のフィードバック機能を使います。

▌フィードバック方法

・原則として、前回の授業に対して提出いただいた授業コメントについて、フィードバックを次回授業内で行います。課題によっては、manaba のフィードバック機能を使います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回、グループディスカッションあり。その他授業中に自分の考えを投稿する respon 数回あり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しない。必要に応じて資料を配布。

▌参考書

書籍「熱海の奇跡」市来広一郎著　東洋経済新報社刊・・・レポート提出あり（授業内で詳細を説明）
⇨購入、図書館等からの借用等自由。（ファカルティオフィスにも、貸出用書籍あり）
他、適宜紹介予定。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション（講義目的、講義進行、評価説明）「まちづくりとは何か、観光がもたらす力とは何かを考える」** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、授業評価基準、出欠基準など） ・まちづくりを学ぶ上で必須となる、日本に横たわる人口減少などの背景を考えるほか、まちづくりとは一体何か、について考えます。 事前学修 2.0hr：出身地など、自身の関心ある町の観光産業について調べておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
2 回	**授業テーマ：観光地の魅力開発に向けた様々な取り組み ～まちづくりの事例に学ぶ①** 授業内容：まちづくりの事例第一弾として、草津町の事例を取り上げます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
3 回	**授業テーマ：観光地の魅力開発に向けた様々な取り組み ～まちづくりの事例に学ぶ②** 授業内容：まちづくりの事例をいくつか取り上げ、実際に、まちを魅力的にしていくための手法について考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
4 回	**授業テーマ：地域観光に関わる公的団体について** 授業内容：地域観光に関わる、DMO やコンベンションビューロー、観光協会といった各種団体の役割や事例を学びます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
5 回	**授業テーマ：インバウンドがもたらす新たな地域の魅力を考える①** 授業内容：地域がインバウンド（訪日外国人）を受け入れる意義を理解し、具体的にどんな地域がどんな取り組みによってどんな市場にアプローチしているかなどの具体的な取り組みを学びます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
6 回	**授業テーマ：観光地の魅力開発に向けた旅行業の取り組み** 授業内容：まちづくりには、外部の力も効果的に働く場合があります。そのひとつとして旅行業が実際に取り組んでいる事例を外部講師と共に学びます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

7回	**授業テーマ：オーバーツーリズムを考える** 授業内容：SDGs の考え方との関係の深い、オーバーツーリズム。観光客が増えることによってどのようなメリット・デメリットが生じるのかその功罪を考えると共に、実際の事例や取り組みなどを学びます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
8回	**授業テーマ：○○ツーリズム～持続可能な観光のあり方を考える** 授業内容：テーマを串刺しにすることを通して、様々な地域の観光資源に日が当たり、新たな誘客装置となりうると同時に、そのことが持続可能なツーリズムに発展していく背景と、その具体的な事例を考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
9回	**授業テーマ：○○ツーリズム～ロケツーリズムに学ぶ地域の観光開発のヒント** 授業内容：○○ツーリズムの中でも、特に推し文化が活発化している日本にあって、様々なコンテンツにゆかりを求めて旅するコンテンツツーリズム、中でも映画やドラマ、アニメなどのゆかりとなった場所をめぐる旅がどう地域に活性化をもたらすチャンスになるのかについて、外部講師と共に考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
10回	**授業テーマ：地域の課題と Maas の取り組み** 授業内容：・二次交通がまだまだ行き届かないことによってなかなか個人の観光客の誘致につながりにくい、特に地方の交通事情を解決するための考え方のひとつに MaaS（Mobility as a Service）があります。MaaS とは何かを知り、この活用が具体的にどのような変化を地域にもたらしうるのかを考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
11回	**授業テーマ：関係人口という考え方に伴う様々な取り組みを考える** 授業内容：「交流人口」でも「定住人口」でもない、その中間的な機能を果たしうる、「関係人口」という考え方を学び、地域の活性化につながる活動力は何かを考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
12回	**授業テーマ：観光地の魅力開発に向けた様々な取り組み事例（海外編）** 授業内容：これまでは主に日本国内のまちづくりを見てきましたが、本回では、海外の DMO やまちづくり事例などを学び、多様な取り組みがあることを知ることで視野を広げます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
13回	**授業テーマ：発表：「熱海の奇跡」にまちづくりを学ぶ** 授業内容：事前に提出いただいた、「熱海の奇跡」に関するレポートについて、優秀者に発表いただきます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
14回	**授業テーマ：大災害からの地域復興を考える ~東日本大震災と復興の１５年** 授業内容：日本にとって忘れてはいけない大災害となった東日本大震災。その震災の最中にあっても、自らの旅館施設を避難場所として提供し、人々の経済が少しでも回るように、子供たちが未来への希望を無くさないように、震災の教訓を決して忘れられないように、様々な取り組みを行ってきた「南三陸ホテル観洋」の女将を招いて（オンライン出演）、その軌跡をたどりながら、まちづくりに欠かせないリーダーの存在をリアルに考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
15回	**授業テーマ：まとめ（14 回の復習）** 授業内容：全１４回をおさらいします。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｇ（ブライダルⅠ）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

村田　順子（むらた　じゅんこ）

▌授業の概要

ブライダル(婚礼)全般の基礎知識とブライダル営業・接客現場のエキスパートである「ブライダルコーディネーター」として必要な専門知識を学ぶ。また、テキストだけではなく、現役で活躍する外部講師による講義やグループワーク等を通じて、ブライダル業界について学修する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：ブライダル業界に従事する者として不可欠な一般常識や文化・法令・慣習・宗教・儀礼・作法等に関する幅広い知識はもとより、ブライダル独自の専門知識を習得する。また、コミュニケーションの重要性を理解し、その能力を身につける。

個別目標：①ブライダルに関する知識(一般・専門)が説明できる。
②信頼関係を構築するコミュニケーションを図ることができる。
③プレゼンテーション(企画提案)の重要性を説明できる。
④国家検定資格「ブライダルコーディネート技能検定 3 級」を取得する知識を身につけることができる。

▌履修条件

①ブライダル業界に興味があり、進路として視野に入れていること
②国家検定資格「ブライダルコーディネート技能検定 3 級」の取得をめざす学生
③後学期授業「ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｈ(ブライダルⅡ)」が履修可能な者
※履修希望多数の場合は、オリエンテーション後の課題提出により選出

▌評価基準・方法

①試験(小テスト含む) 50 %
②課題内容(レポート・グループワーク等) 30 %
③授業参加姿勢(グループワーク等)及び到達目標の達成度 20 %
上記項目に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

小テストや課題内容に応じて、以下に記載した方法を用いてフィードバックを行う。
① manaba（個別コレクション・コースニュース等)を利用し、個別または履修者全員へフィードバック
②授業内にて資料及び口頭によるフィードバック

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワーク時に使用）

▌教科書

著書名：Bridal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード
発行　：BIA　公益社団法人日本ブライダル文化振興協会
※学科でまとめて購入しますので、個別に購入する必要はありません。購入方法は manaba で通知します。

▌参考書

書著名：Bridal Dictionary　ブライダル用語辞典
発行　：BIA　公益社団法人日本ブライダル文化振興協会
※購入は任意

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(授業内容／ブライダルとは？)** 授業内容：「この授業で学ぶこと」及び「ブライダルとは」について学び、ブライダル業界の職種、ブライダルコーディネーターの役割について理解をする。 事前学修 2.0hr：manaba のコースニュース、コンテンツの「授業資料」を目を通しておくこと 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
2回	**授業テーマ：結婚とは①(結婚の定義とは／日本の結婚式)** 授業内容：結婚とは何か、具体的にどのようなことを指すのか、また最初に知っておくべき結婚の法律上の定義や言葉の意味、日本の結婚式の歴史や文化について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト P.2～Lesson1 第 1・2 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
3回	**授業テーマ：結婚とは②(欧米の結婚式)** 授業内容：キリスト教式の結婚式など日本の結婚式にも大きな影響を与えている欧米の結婚式について、歴史や文化的な観点から学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson1 第 3 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
4回	**授業テーマ：ブライダルビジネス①(市場・業種・関連業種)** 授業内容：ブライダルビジネスは、結婚式・披露宴関連の業種だけではなく、様々な業種があり、幅広いマーケットを含んでいる。この授業では、ブライダルビジネスの基本とその動向について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson2 第 1・2・3・4 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
5回	**授業テーマ：ブライダルビジネス②(エリア特性・集客)** 授業内容：結婚式において風習や地域の特性は、しきたりやマナーの点で大事な意味を持つ。この授業では、特に知っておくべき風習のエリア特性について学ぶ。また、ブライダル業界の集客システムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson2 第 5・6 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
6回	**授業テーマ：ブライダルの基礎①(見合い・婚約・結納)** 授業内容：結婚式のプロフェッショナルとして接客時に不可欠となる知識を学ぶ。この授業では、見合い・結納・婚約から結婚式・披露宴という一連の基礎について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson3 第 1・2 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む

7回	**授業テーマ：ブライダルの基礎②(ブライダル準備／キリスト教式)** 授業内容：結納・婚約に始まり、結婚式・披露宴、新婚旅行、結婚報告を含むブライダル全体の準備と日本における結婚式のスタイルの中で、最も人気のあるキリスト教式について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson3 第 3・4 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
8回	**授業テーマ：ブライダルの基礎③(外部講師講義：「神前式」について)** 授業内容：外部講師の講義を通じて、日本固有の結婚式スタイルである「神前式」を知ることを目的とする。 事前学修 2.0hr：外部講師が所属する挙式場所について調べ、把握しておく。 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
9回	**授業テーマ：ブライダルの基礎④(神前式・仏前式・人前式)** 授業内容：日本における結婚式のスタイルで、キリスト教式以外の神前式・仏前式・人前式について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson3 第 5・6・7・8 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
10回	**授業テーマ：ブライダルの基礎⑤(披露宴)** 授業内容：結婚式が新郎新婦とその家族・親族を中心とした儀式であるのに対し、お披露目を目的として招待客に社会的に認知してもらう披露宴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson3　第 9 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
11回	**授業テーマ：ブライダルの基礎知識⑥(外部講師講義)** 授業内容：外部講師の講義を通じて、関連業種の業務等について学ぶことを目的とする。 事前学修 2.0hr：外部講師が所属する企業について調べ、把握しておく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
12回	**授業テーマ：ブライダルの基礎⑦(海外ウエディング、二次会)** 授業内容：海外での挙式と披露宴を行う海外ウエディング、新婚旅行及びアフターウエディングについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson3 第 10・11 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
13回	**授業テーマ：グループワーク①(作成)** 授業内容：講義で学んだ授業内容をもとに、提示された課題についてグループで考え、発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：課題に対する自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：グループの意見をまとめ、発表用の資料を作成する。また、課題の提示がある場合は課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：グループワーク②(発表)** 授業内容：講義で学んだ授業内容をもとに、グループで考えた課題内容についてグループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：グループの意見をまとめ、発表用の資料を作成する。 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にしながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
15回	**授業テーマ：前学期授業まとめ** 授業内容：前学期に学んだ「ブライダルの基礎知識」についてのまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前学期の講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習しておく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究 H（ブライダルⅡ）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

村田　順子（むらた　じゅんこ）

▌授業の概要

ブライダル(婚礼)全般の基礎知識とブライダル営業・接客現場の総合エキスパートである「ブライダルコーディネーター」としての必要な専門知識を学ぶ。また、テキストだけではなく、現役で活躍する外部講師による講義やグループワーク等を通じて、ブライダル業界について学修する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：ブライダル業界に従事する者として不可欠な一般常識や文化・法令・慣習・宗教・儀礼・作法等に関する幅広い知識はもとより、ブライダル独自の専門知識を習得する。また、コミュニケーションの重要性を理解し、その能力を身につける。

個別目標：①ブライダルに関する知識(一般・専門)が説明できる。
②信頼関係を構築するコミュニケーションを図ることができる。
③プレゼンテーション(企画提案)の重要性を説明できる。
④国家検定資格「ブライダルコーディネート技能検定 3 級」の取得が可能な知識を身につけることができる。

▌履修条件

①ブライダル業界に興味があり、進路として視野にいれていること
②国家検定資格「ブライダルコーディネート技能検定 3 級」の取得をめざす学生
③前学期授業「ホスピタリティ・ツーリズム産業研究 G（ブライダルⅠ）」を履修済であること
※履修希望多数の場合は、オリエンテーション後の課題提出により選出

▌評価基準・方法

①試験(小テスト含む) 50 %
②課題レポート内容 30 %
③授業参加姿勢及び到達目標の達成度 20 %
上記項目に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

小テストやレポートなど内容に応じて、以下に記載した方法を用いてフィードバックを行う。
① manaba（個別コレクション・コースニュース等)を利用し、個別または履修者全員へフィードバック
②授業内にて資料及び口頭によるフィードバック

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワーク時に使用）

▌教科書

著書名：Bridal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード
発行　：BIA　公益社団法人日本ブライダル文化振興協会
※学部でまとめて購入しますので、個別に購入する必要はありません。購入方法は manaba で通知します。

▌参考書

書著名：Bridal Dictionary　ブライダル用語辞典
発行　：BIA　公益社団法人日本ブライダル文化振興協会
※購入は任意

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：後学期授業内容について／コーディネーター業務①(新規業務)** 授業内容：後学期の授業内容とブライダルコーディネーターの業務とは何かを学び、結婚式を考えているゲストの会場への初来館から成約するまでの一連の業務である「新規業務」について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前期授業のテキスト Lesson1～3 を復習し、Lesson4 第 1・2・3 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
2 回	**授業テーマ：コーディネーター業務①(ホスピタリティ営業から新規アフターフォロー)** 授業内容：新規業務で成約につなげるには顧客のニーズの把握が最も重要である。その顧客ニーズの把握と成約までのプロセスについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson4 第 4・5・6・7 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
3 回	**授業テーマ：コーディネーター業務②(成約業務・ペーパーワーク・打合せ業務)** 授業内容：会場との本契約を結ぶ「成約業務」と成約担当コーディネーターが結婚式・披露宴に係る全ての要素を決定し手配していくための各回の打合せ内容と、新郎新婦が選定する各ブライダルアイテムについての基本知識を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson4 第 8・9 章、Lesson5 第 1・2・3・4 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
4 回	**授業テーマ：ブライダルアイテムの選定①(コーディネート)／ブライダルアイテムの選定②(衣装・洋装)** 授業内容：瀬谷区担当者に必要なブライダルアイテムについて学ぶ。コーディネートの考え方、コーディネーターとして知っておくべき診療新婦の洋装衣装の基本的なルールなどの基礎知識ついて学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson6 第 1 章、第 2 章 1・2 を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
5 回	**授業テーマ：ブライダルアイテムの選定②(衣装・洋装)／ブライダルアイテムの選定③(衣装・和装)** 授業内容：花婿の洋装についてと和装衣装の基本的なルールなどの基礎知識について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson6 第 2 章 3～7 を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
6 回	**授業テーマ：ブライダルアイテムの選定④(フラワーアイテム・美容)／ブライダルアイテムの選定⑤(会場コーディネート)** 授業内容：ウエディングには欠かせないアイテムである花の重要性について認識し、衣装と深く関りを持つ美容について学ぶ。また、ウエディングのテーマを具現化するための重要なポイントである会場コーディネートの考え方とテーブルコーディネートについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson6 第 3・4・5・6 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む

7回	**授業テーマ：ブライダルアイテムの選定⑤(ペーパーアイテム)／ブライダルアイテムの選定⑥(料理・飲物)** 授業内容：全体のコーディネートの一部となるペーパーアイテムと披露宴でおもてなしの象徴とされる料理の代表的な各種コース料理と飲物について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson6 第 7・8 章を読んおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
8回	**授業テーマ：ブライダルアイテムの選定⑦(披露宴の演出)** 授業内容：披露宴には欠かせない司会・音響・証明・映像の基本演出とおもな演出プランについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson6 第 9・10 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
9回	**授業テーマ：ブライダルアイテムの選定⑧(引出物・引菓子／記録・記念アイテム)／手配業務①(ペーパーアイテム)** 授業内容：結婚式に出席いただいた招待客に感謝の気持ちを込めて贈る引出物・引菓子と結婚式・披露宴の思い出を残す記録・記念アイテムについて、また、打合せ業務には欠かせない手配業務のペーパーアイテムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson6 第 11・12 章、Lesson7 第 1・2 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
10回	**授業テーマ：実際の業務から学ぶ①(外部講師講義：披露宴の演出、記録商品について)** 授業内容：外部講師の講義にて、ブライダルの知識を深め、業界のトレンドを把握することを目的とする。 事前学修 2.0hr：講義で学んだ「披露宴の演出」と「記録・記念アイテム商品」について復習をしておく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
11回	**授業テーマ：手配業務②(演出、引出物、記録商品、装花)／当日業務** 授業内容：打合せ業務には欠かせない手配業務及び挙式・披露宴当日のブライダルコーディネーターの当日の役割とサービス業務、挙式・披露宴の進行について実践的な知識を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson7 第 3・4・5・6 章、Lesson8 第 1・2・3・4・5・6 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
12回	**授業テーマ：実際の業務から学ぶ②(外部講師講義：ブライダルコーディーネーター業務・アテンド業務について)** 授業内容：外部講師の講義にて、ブライダルの知識を深め、業界の現状や業務内容を知ることを目的とする。 事前学修 2.0hr：後学期の授業で学んだブライダルコーディネーターの業務について復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
13回	**授業テーマ：グループワーク①** 授業内容：講義で学んだ授業内容をもとに、提示された課題についてグループワークを行い、グループ発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：後学期の授業内容を踏まえ、課題に対する自分の意見をまとめておく。 事後学修 2.0hr：グループの意見をまとめ、発表用の資料を作成する。
14回	**授業テーマ：グループワーク②** 授業内容：講義で学んだ授業内容をもとに、グループで考えた提案内容についてグループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：グループの意見をまとめ、発表用の資料を作成する。 事後学修 2.0hr：後学期の講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にしながら復習しておく。
15回	**授業テーマ：後学期まとめ** 授業内容：後学期に学んだ「ブライダルの基礎知識とブライダルコーディネーターの役割」についてまとめを行う。 事前学修 2.0hr：後学期の講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にしながら復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ⅰ（クルーズビジネス）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

永島　寛（ながしま　ひろし）

▌授業の概要

本授業はクルーズビジネス研究入門として、クルーズの歴史と発展、クルーズの特色、クルーズ企画、国内・海外のおもなクルーズ・デスティネーションと寄港地ツアー、クルーズビジネスの現状と展望、クルーズ業界の職種等を紹介する。授業で学んだことを活用して、各自でクルーズ企画の作成を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：・国内外のクルーズビジネスに関する基礎知識を身につけ、その現状と展望について学ぶ。
・学修内容を活用して、クルーズ企画の作成を行う。

個別目標：・クルーズの歴史と発展の経緯を知る。
・クルーズの特色や他の旅行形態との違いを研究する。
・国内外のクルーズ・デスティネーションと寄港地ツアーについて学ぶ。
・クルーズ業界の幅広い職種について知る。
・オリジナリティのあるクルーズ企画を考案する。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

提出課題（小テスト・レポート等）50 %、クルーズ企画 30 %、期末試験 20 %

▌フィードバック方法

課題、レポート、クルーズ企画等のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （クルーズ企画の作成）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba を使用した小テスト、レポートやクルーズ企画の作成と提出）

▌教科書

授業内で指示する。

▌参考書

授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業概要・目標・成績評価 クルーズの特色と魅力 世界と日本のクルーズ業界の現況 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：クルーズの歴史と発展(欧米編)** 授業内容：欧米におけるクルーズの歴史と発展　世界のクルーズ業界の動向 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：クルーズの歴史と発展(日本編)** 授業内容：日本におけるクルーズの歴史と発展　日本のクルーズ業界の動向 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：船上生活の楽しみ** 授業内容：クルーズの種類　船上での過ごし方 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：クルーズ・デスティネーション研究 (1)　クルーズ企画の作成 (1)** 授業内容：満足度の高いクルーズ　世界のおもなクルーズ・デスティネーション (1)　クルーズ企画における寄港地ツアー 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：クルーズ・デスティネーション研究 (2)** 授業内容：世界のおもなクルーズ・デスティネーション (2) 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：クルーズ・デスティネーション研究 (3)** 授業内容：世界のおもなクルーズ・デスティネーション (3) 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：クルーズ・デスティネーション研究 (4)** 授業内容：世界のおもなクルーズ・デスティネーション (4) 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：クルーズ業界の仕事(1)** 授業内容：クルーズの企画から販売まで クルーズ船に関わる業種と仕事内容 (1) 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：クルーズ・デスティネーション研究 (5)　クルーズ企画の作成 (2)** 授業内容：世界のおもなクルーズ・デスティネーション (5)　クルーズ企画作成の準備 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：クルーズ・デスティネーション研究 (6)** 授業内容：世界のおもなクルーズ・デスティネーション (6) 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：クルーズ業界の仕事 (2)** 授業内容：クルーズ船に関わる様々な業種と仕事内容 (2) 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：クルーズ・デスティネーション研究 (7)** 授業内容：世界のおもなクルーズ・デスティネーション (7) 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：クルーズ業界の展望** 授業内容：世界と日本のクルーズ業界の今後 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：クルーズ企画優秀作品の紹介 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｊ（トラベルエージェント実務）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2022 年度以降入学生のみ履修可能

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

旅行会社における実務というものは、単に旅行サービス(鉄道、航空、宿泊など)を手配するだけではありません。快適で安全な旅行を可能にするため、様々な情報(出入国情報、旅券取得情報、観光地情報など)をお客様に与えることも重要な実務になります。そしてこの実務は国内から海外まで幅広い知識が必要とされます。この講座では、このような国内・海外実務に関して深く学び、旅行業の実務の根幹を身につけることを目標にします。また、アクティブラーニングの手法を導入し授業を実施します。随時学生に質疑意見を求め、双方向の授業を行っていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1）

一般目標：国内旅行、海外旅行に関する業務全般(鉄道手配、観光地理、航空手配、宿泊手配、旅券申請等)の理解を深めることを目標とします。
個別目標：旅行業務全般の理解を深め、様々な旅行実務に関し説明ができることを目標とします。

▌履修条件

旅行業界に興味を持つと同時に旅行会社の細かい業務内容にも興味がある、という点が履修条件です。

▌評価基準・方法

授業態度(１０%)、適宜行う小テスト又はコメントシート(２０%)、期末試験(７０%)の要素を総合的に勘案し判断します。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、観光法規の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業ガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、この講義に期待することを考える 事後学修 2.0hr：興味を持った実務内容に関し、学びたいことを整理しておく
2回	**授業テーマ：旅行業の歴史** 授業内容：旅行業における多くの実務を学ぶ前に、そもそも旅行業はどのような過程で発展してきたか、今後の旅行業の大まかな展望を、旅の歴史とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
3回	**授業テーマ：海外実務①　世界の航空会社の手配実務** 授業内容：世界の有名(人気)航空会社をいくつかピックアップし、航空会社コード(２レター)とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
4回	**授業テーマ：海外実務②　世界の時差と所要時間の計算方法** 授業内容：世界各地と日本との時差計算を学び、同時に航空機移動による２地点間の所要時間の計算方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
5回	**授業テーマ：海外実務③　世界の特徴ある宿泊施設の手配実務** 授業内容：海外旅行を作成するにあたり、宿泊施設の選定及び手配は重要である。そこで、世界の様々なタイプの宿泊施設の特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
6回	**授業テーマ：海外実務④　旅券(パスポート)の発給申請実務** 授業内容：海外旅行に必須のアイテムといえば旅券だが、お客様によっては旅券申請を旅行会社に依頼する場合がある。旅券の申請から取得までの流れを旅券法とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
7回	**授業テーマ：海外実務⑤　日本における出入国の実務** 授業内容：日本から出国する際の流れとルール、そして日本に入国する際の流れとルールを、出入国法令とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
8回	**授業テーマ：海外実務⑥　世界の鉄道会社の手配実務** 授業内容：世界の有名かつ人気の鉄道を国ごとにいくつかピックアップし、日本の鉄道と比較しながら特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
9回	**授業テーマ：国内実務①　運送宿泊サービスの手配実務(ＪＲ運賃計算の基礎)** 授業内容：国内旅行にとって重要な運送機関であるＪＲの運賃計算の基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
10回	**授業テーマ：国内実務②　運送宿泊サービスの手配実務(ＪＲ運賃計算の特例)** 授業内容：前回のＪＲ運賃計算の基礎を理解した上で、さらに様々なＪＲ乗車パターンによる運賃の計算方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、計算問題を解く
11回	**授業テーマ：国内実務③　運送宿泊サービスの手配実務(ＪＲ料金計算の基礎)** 授業内容：運賃計算と料金計算は異なるルールになる。この回ではＪＲの料金計算の基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、計算問題を解く

12回	**授業テーマ：国内実務④　運送宿泊サービスの手配実務（航空料金、宿泊料金の計算方法等）** 授業内容：ＪＲ以外の運送宿泊サービス（航空、ホテルなど）の料金や運賃を学び、どのように手配しているか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、計算問題を解く
13回	**授業テーマ：海外旅行、国内旅行における旅程管理業務** 授業内容：旅行業における重要な業務の一つである旅程管理（ツアーコンダクター）業務を、実際の海外旅行、及び国内旅行を例に挙げ詳しく学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、旅程管理業務を復習する
14回	**授業テーマ：海外実務の総復習** 授業内容：講義前半に学んだ海外実務の総まとめを、練習問題とともに改めて学ぶ。 事前学修 2.0hr：今までのプリントを一読する 事後学修 2.0hr：海外実務の学習内容を振り返り、整理する
15回	**授業テーマ：国内実務の総復習** 授業内容：講義後半に学んだ国内実務の総まとめを、練習問題とともに改めて学ぶ。 事前学修 2.0hr：今までのプリントを一読する 事後学修 2.0hr：国内実務の学習内容を振り返り、整理する

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｊ（トラベルエージェント実務）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2020・2021 年度入学生のみ履修可能

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

旅行会社における実務というものは、単に旅行サービス(鉄道、航空、宿泊など)を手配するだけではありません。快適で安全な旅行を可能にするため、様々な情報(出入国情報、旅券取得情報、観光地情報など)をお客様に与えることも重要な実務になります。そしてこの実務は国内から海外まで幅広い知識が必要とされます。この講座では、このような国内・海外実務に関して深く学び、旅行業の実務の根幹を身につけることを目標にします。また、アクティブラーニングの手法を導入し授業を実施します。随時学生に質疑意見を求め、双方向の授業を行っていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：HTM1）

一般目標：国内旅行、海外旅行に関する業務全般(鉄道手配、観光地理、航空手配、宿泊手配、旅券申請等)の理解を深めることを目標とします。
個別目標：旅行業務全般の理解を深め、様々な旅行実務に関し説明ができることを目標とします。

▌履修条件

旅行業界に興味を持つと同時に旅行会社の細かい業務内容にも興味がある、という点が履修条件です。

▌評価基準・方法

授業態度(１０%)、適宜行う小テスト又はコメントシート(２０%)、期末試験(７０%)の要素を総合的に勘案し判断します。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、観光法規の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業ガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、この講義に期待することを考える 事後学修 2.0hr：興味を持った実務内容に関し、学びたいことを整理しておく
2回	**授業テーマ：旅行業の歴史** 授業内容：旅行業における多くの実務を学ぶ前に、そもそも旅行業はどのような過程で発展してきたか、今後の旅行業の大まかな展望を、旅の歴史とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
3回	**授業テーマ：海外実務①　世界の航空会社の手配実務** 授業内容：世界の有名(人気)航空会社をいくつかピックアップし、航空会社コード(２レター)とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
4回	**授業テーマ：海外実務②　世界の時差と所要時間の計算方法** 授業内容：世界各地と日本との時差計算を学び、同時に航空機移動による２地点間の所要時間の計算方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
5回	**授業テーマ：海外実務③　世界の特徴ある宿泊施設の手配実務** 授業内容：海外旅行を作成するにあたり、宿泊施設の選定及び手配は重要である。そこで、世界の様々なタイプの宿泊施設の特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
6回	**授業テーマ：海外実務④　旅券(パスポート)の発給申請実務** 授業内容：海外旅行に必須のアイテムといえば旅券だが、お客様によっては旅券申請を旅行会社に依頼する場合がある。旅券の申請から取得までの流れを旅券法とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
7回	**授業テーマ：海外実務⑤　日本における出入国の実務** 授業内容：日本から出国する際の流れとルール、そして日本に入国する際の流れとルールを、出入国法令とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
8回	**授業テーマ：海外実務⑥　世界の鉄道会社の手配実務** 授業内容：世界の有名かつ人気の鉄道を国ごとにいくつかピックアップし、日本の鉄道と比較しながら特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
9回	**授業テーマ：国内実務①　運送宿泊サービスの手配実務(ＪＲ運賃計算の基礎)** 授業内容：国内旅行にとって重要な運送機関であるＪＲの運賃計算の基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
10回	**授業テーマ：国内実務②　運送宿泊サービスの手配実務(ＪＲ運賃計算の特例)** 授業内容：前回のＪＲ運賃計算の基礎を理解した上で、さらに様々なＪＲ乗車パターンによる運賃の計算方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、計算問題を解く
11回	**授業テーマ：国内実務③　運送宿泊サービスの手配実務(ＪＲ料金計算の基礎)** 授業内容：運賃計算と料金計算は異なるルールになる。この回ではＪＲの料金計算の基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、計算問題を解く

12回	**授業テーマ：国内実務④　運送宿泊サービスの手配実務（航空料金、宿泊料金の計算方法等）** 授業内容：ＪＲ以外の運送宿泊サービス（航空、ホテルなど）の料金や運賃を学び、どのように手配しているか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、計算問題を解く
13回	**授業テーマ：海外旅行、国内旅行における旅程管理業務** 授業内容：旅行業における重要な業務の一つである旅程管理（ツアーコンダクター）業務を、実際の海外旅行、及び国内旅行を例に挙げ詳しく学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、旅程管理業務を復習する
14回	**授業テーマ：海外実務の総復習** 授業内容：講義前半に学んだ海外実務の総まとめを、練習問題とともに改めて学ぶ。 事前学修 2.0hr：今までのプリントを一読する 事後学修 2.0hr：海外実務の学習内容を振り返り、整理する
15回	**授業テーマ：国内実務の総復習** 授業内容：講義後半に学んだ国内実務の総まとめを、練習問題とともに改めて学ぶ。 事前学修 2.0hr：今までのプリントを一読する 事後学修 2.0hr：国内実務の学習内容を振り返り、整理する

マーケティング概論

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

水野　徹（みずの　とおる）

▌授業の概要

教科書掲載のケース「たまや」を使用しながら、前半はマーケティングの定義、消費者行動、マーケティング調査、競争戦略、マーケティングの STP などの基礎知識を学習する。後半は、実際のビジネス・ケースを活用しながら、マーケティングの 4P などについて学習する。予習としてケース分析を課題として提示し、授業では分析例のフィードバックと理論の説明を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：1. マーケティングの基礎知識やツールを学習し、初歩的な分析や使用方法を身につける (DP1)。
2. 実際のビジネス・ケースを読み、課題を発見し、学習したツールを応用しながら、主体的に解決する、思考力や判断力を養う（DP1)。

個別目標：1. マーケティングの基礎用語の意味を理解し、新聞や雑誌のマーケティング関連の記事が理解できるようになる。
2. マーケティングの分析ツールを活用して、自分で実際のビジネスケースの分析を行い、簡潔なサマリーを記述できるようになる。

▌履修条件

①教科書と manaba に掲示するビジネス・ケース集にアクセスできること、②事前学習課題を履行すること、③授業で積極的に発言すること、④レポート提出期限を遵守すること、⑤教員との連絡に manaba の個別指導が使用できること

▌評価基準・方法

期末テスト（50%）、ケース分析（20%）、授業参加姿勢・貢献度（30%）で評価を行う。ケース分析は、授業中にケースを指定して、manaba で提出。授業参加姿勢は、授業中の発言に応じて加点するので、積極的に授業中に発言することが望まれる。課題等のフィードバックは、manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

manaba を使用する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ケーススタディーは事前に学習し、質問に対して manaba に回答する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前学習の回答に必要）

▌教科書

安田貴志「マンガでやさしくわかるマーケティング」日本能率協会マネジメントセンター
高校とは異なり、大学では授業で教科書を 1 ページずつ解説することはしません。予習として当該ページをあらかじめ読むように指示しますので、それに従って自学を進めてください。そのほかに毎回資料を manaba に掲示予定。

▌参考書

フィリップ・コトラー、ケヴィン・ケラー「コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント」Pearson Education Japan
フィリップ・コトラー、ゲイリー・アームストロング、恩蔵直人「マーケティング原理」丸善出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業ガイダンスとケース・スタディーの学習方法** 授業内容：授業の概要・目標、採点方針、ビジネスケースの予習の仕方、週次の課題提出方法、マーケティングの学問上の位置づけと系譜について講義する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、本講義に期待することをまとめておく。 事後学修 2.5hr：配布資料でケース・スタディーの学習方法を復習しておく。
2回	**授業テーマ：マーケティングの定義** 授業内容：ビジネスケース「ナイキ」の分析（クラス内ディスカッション）、マーケティングの定義、マーケティングの適用範囲についての講義を行う。 事前学修 2.0hr：ケース「ナイキ」を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 40〜53 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
3回	**授業テーマ：顧客を知る** 授業内容：ケース「たまや」Story 1, 2 の分析（クラス内ディスカッション）、顧客分析の基礎的なツールについての講義。 事前学修 2.0hr：ケース「たまや」Story 1, 2 を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 40 ページ〜53 ページ、66 ページ〜74 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
4回	**授業テーマ：消費者行動** 授業内容：ケース「たまや」Story 3 分析（クラス内ディスカッション）、購買の意思決定プロセス、AIDMA モデル、マーケティングの進化に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「たまや」Story 3 を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 86 ページ〜100 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
5回	**授業テーマ：マーケティング調査** 授業内容：ケース「P&G」(クラス内ディスカッション)、マーケティング調査の基本知識、代表的なモデルの紹介に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「P&G」を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 54 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
6回	**授業テーマ：競争戦略** 授業内容：ケース「たまや」Story 4（クラス内ディスカッション）、3C 分析、SWOT 分析、5 つの競争要因分析、3 つの基本戦略など、競争関係の分析ツールの紹介に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「たまや」Story 4 を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 112 ページ〜130 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
7回	**授業テーマ：マーケティングの STP** 授業内容：ケース「たまや」Story 5（クラス内ディスカッション）、市場細分化（Segmentation）、市場絞り込み（Targeting）、商品の位置づけ（Positioning）に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「たまや」Story 5 を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 140 ページ〜154 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。

8回	**授業テーマ：マーケティング・ミックス** 授業内容：ケース「たまや」Story 6（クラス内ディスカッション）、商品（Product）・価格（Price）・流通チャネル（Place）・プロモーション（Promotion）の 4 つの P に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「たまや」Story 6 を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。「ヘルシア緑茶」「保湿クリーム」を読む。教科書の 180 ページ～181 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
9回	**授業テーマ：商品** 授業内容：ケース「アップル」（クラス内ディスカッション）、商品の価値、ブランドとは何か、商品・サービスの差別化、商品の寿命に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「アップル」を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 182 ページ～191 ページを読んでおく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
10回	**授業テーマ：価格** 授業内容：ケース「ライアンエア」（クラス内ディスカッション）、価格設定の意義と課題、価格決定のステップ、価格設定の代表的モデルの紹介、損益分岐点方式の計算方法に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「ライアンエア」を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 202 ページ～207 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
11回	**授業テーマ：流通チャネル** 授業内容：ケース「ZARA」（クラス内ディスカッション）、流通チャネルとは何か、流通チャネルの設計・管理・選択基準、デジタル時代の流通チャネルに関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「ZARA」を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 208 ページ～214 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
12回	**授業テーマ：プロモーション** 授業内容：ケース「ハーゲンダッツ」（クラス内ディスカッション）、プル型・プッシュ型プロモーション、コミュニケーションのミクロモデルとマクロモデル、コミュニケーション・ミックス、デジタル時代のプロモーションに関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「ハーゲンダッツ」を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 192 ページ～201 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
13回	**授業テーマ：ロイヤルティ・マーケティング** 授業内容：ケース「たまや」Story 7（クラス内ディスカッション）、顧客満足と顧客価値、顧客の生涯価値のモデル紹介、パレートの法則、ロングテール戦略、苦情処理に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「たまや」Story 7 を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 230 ページ～239 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
14回	**授業テーマ：マーケティングの基礎知識** 授業内容：第 13 回までに紹介したマーケティングの基礎知識、分析ツール、理論などの復習。 事前学修 2.0hr：これまで配布した資料を整理しておく。 事後学修 2.5hr：小テストに取り組む
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：講義のまとめと期末テスト、採点方針に関する説明と注意事項。 事前学修 2.0hr：これまで配布した資料を整理しておく。 事後学修 2.5hr：小テストに取り組む

マネジメント総論

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

二宮　秀生 (にのみや　ひでお)

▌授業の概要

本講義は「学ぶ楽しさ」を感じながら、一般教養としての「マネジメント」のエッセンスを理解することを目的とする。
「全ては仮説である」ということを知った上で、人を生かし、成果をあげる「ドラッカーのマネジメント」を一つの軸に理解を深める。
ドラッカーとも親和性の高い稲盛和夫氏の「経営 12 か条」や渋沢栄一氏の「論語と算盤」についても共有する。
組織社会の前提となる近代資本主義についてマックスウェーバーの学説を共有する。
外部講師の講義や事例の共有を行い、実例を知ることで理解を深める。適宜レポートの提出を行う。
マネジメントの基本となる「セルフマネジメント(自己目標管理)」を課題を通じて実践する。
グループ討議もおこなうため積極的な参加が求められる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：組織社会の中で誰しもが求められる「人を生かすマネジメント」を理解する。
　　主体的に取り組む「セルフマネジメント力」を体得する。
個別目標：人を生かすマネジメントとは何か、そのエッセンスを自分事として理解する。
　　組織に使われるのではなく「組織という道具を使って、社会貢献・自己実現をする」という姿勢を身につける。
　　企業の目的、マーケティング、イノベーションなどについて、その概要を理解する。
　　自分の仮説(意見や軸)を持ち、それを表現できるようになる。
　　セルフマネジメント課題の実践により、成果をあげる習慣力を身につける。

▌履修条件

講義への出席を前提に進める。
セルフマネジメント(自己目標管理)の課題を履行すること。
専用ノートを持参すること。
教員との連絡に e-mail が使用できること。

▌評価基準・方法

期末テスト 30 %、課題 40 %(レポート、自己目標管理ノート)、出席・参加姿勢 30 %、を総合的に評価する。
5 分の 4 の出席を前提とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業中に行うほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （事例の輪読　ペアワーク　グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

別途指示(適宜資料を配布)

▌参考書

都度紹介

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクションとガイダンス** 授業内容：本講義の概要の説明。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、本講義に期待することをまとめておく。 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんをイメージし、中間目標を考える。
2 回	**授業テーマ：マネジメントとは何か(頭出し)と自己目標管理の課題の説明** 授業内容：マネジメントとは何か、3 つの役割について共有する。 マズローの 5(6) 段階の欲求など幸せについて考えてみる。 ノートを活用した自己目標管理の課題について説明する。 事例を共有する。 事前学修 2.0hr：なりたいじぶんを仮置きし、具体的な中間目標を設定する。 事後学修 2.0hr：ノートを作成し、課題を行う。
3 回	**授業テーマ：資本主義の精神** 授業内容：マックスウェーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」の概要を共有するとともに、仮説の力を知る。 はたくとは何かを考える。 事例を共有する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：資料を読み返し仮説の力を復習しておく。
4 回	**授業テーマ：講義(外部講師)** 授業内容：社会の問題に貢献するというマネジメントの役割を踏まえ、株式会社 JIMOTO の社長から企業が大切にしていること共有いただく。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業のレポートを提出する。自分なりの見解を考えてみる。
5 回	**授業テーマ：企業とは①** 授業内容：企業の目的や機能について共有する。 事例を共有する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：資料を読み返し企業について復習しておく。
6 回	**授業テーマ：講義(外部講師)** 授業内容：第 5 回の実践例としてリンベル株式会社の方に講義をいただく。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業のレポートを提出する。講義を通じて自分の見解を適宜補正する。

7回	**授業テーマ：企業とは②** 授業内容：企業とは何かを共有する。 マネジメントの事例を共有する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：資料を読み返し復習しておく。
8回	**授業テーマ：稲盛経営　経営 12 カ条①** 授業内容：稲森和夫氏の経営 12 カ条を共有する。 マネジメントの事例を共有する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：資料を読み返し復習しておく。自分の見解を考えてみる。
9回	**授業テーマ：経営 12 カ条②** 授業内容：経営 12 カ条を共有する。 マネジメントの事例を共有する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえて課題に生かす。
10回	**授業テーマ：経営者への 5 つの問い** 授業内容：「問い」の大切さについて共有する。 事例を共有する。 新明海大学をグループごとに構想する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：演習課題についてあらためて考える。
11回	**授業テーマ：マネージャーの大切な５つの仕事** 授業内容：マネージャーの役割を共有する。 事例を共有する。 グループワークのフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：資料を読み返し自分の見解を適宜補正する。
12回	**授業テーマ：講義(外部講師)** 授業内容：成果をあげるチームの実践例を立教大学教授(元日本航空宣伝部長)に講義をいただく。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業のレポートを提出する。講義を通じて自分の見解を適宜補正する。
13回	**授業テーマ：経営 12 カ条③　成果をあげる習慣** 授業内容：経営 12 カ条と成果をあげる習慣の 5 つのポイントを共有する。 マネジメントの事例を共有する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：資料を読み返し自分の見解を適宜補正する。
14回	**授業テーマ：渋沢栄一　論語と算盤** 授業内容：ドラッカーが最も認める渋沢栄一と「論語と算盤」について共有する。 マネジメントの事例を共有する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：資料を読み返し自分の見解を適宜補正する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：マネジメントのエッセンスをあらためておさらいする。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行いこれまでを振り返っておく。 事後学修 2.0hr：これまでの資料を復習しておく。

アカウンティング基礎

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢住　直子（やずみ　なおこ）

▌授業の概要

本講義では、複式簿記ならびに財務諸表をはじめとする会計に関する基礎的な知識をマスターすることが中心的な内容である。特に複式簿記システムは世界共通であることからこの学習の重要性を理解していただきたい。会社は経営成績を財務諸表によって公表することが義務付けられている。複式簿記をマスターすることで、この財務諸表の概要を理解することができるようになる。クラスでは経営成績を数字で表すことの大切さを学び演習とケースを行う。また起業をした場合を想定して、簡単な財務諸表を作成することを目標とします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：将来仕事をする際には様々な会社の経営状況を知ることが求められる。財務会計の基本原則と構造を理解し、財務諸表の役割とその意味を習得して数字の裏にある意味を理解できるようになる。またその基礎となる簿記のしくみを理解する。

個別目標：貸借対照表、損益計算書の意味を理解する。
簿記のしくみを利用して日々の取引を仕訳という形で記録することを学ぶ。
起業を想定して、簡単な貸借対照表、損益計算書を作成することができる。

▌履修条件

後期のファイナンス基礎を同時に履修すると学習効果が高まるので、履修をすすめる。
毎回、電卓またはそれに代わるものを持参すること。
5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。
なお、定期試験のときは携帯の持ち込みは禁止ですので、電卓を必ず持参すること。

▌評価基準・方法

授業参加姿勢および発言、30
授業中に復習の目的で行う小テスト (レポート含む) 30
定期試験 40 の結果、および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。欠席は減点する。
なお、5 分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題および定期試験のフィードバックは manaba または次回の授業内でおこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション　）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （財務諸表作成時に使用）

▌教科書

スッキリわかる日商簿記 3 級－ TAC 出版　瀧澤ななみ著
および授業レジュメを使用

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、会計学とは** 授業内容：オリエンテーション、授業の概要を説明する。企業にとっての数字の大切さ、会計学とは何か、なぜ大切なのか、を説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておくこと。普段の生活にとっての数字の大切さを考えておく、各自の自己紹介を考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
2回	**授業テーマ：簿記会計の基礎　1)決算書類の構造** 授業内容：簿記の仕組みを学ぶ。決算書類には損益計算書、貸借対象表がある。それぞれの意味を考え、損益計算書と貸借対照表の関係を読み解く。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
3回	**授業テーマ：簿記会計の基礎　2)損益計算書** 授業内容：損益計算書は何を表しているか、構造および重要な数字を理解する。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
4回	**授業テーマ：簿記会計の基礎　3)貸借対照表** 授業内容：貸借対照表は何を表しているか、構造および重要な数字を理解する。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
5回	**授業テーマ：簿記の仕組み　ー仕訳の基本** 授業内容：仕訳の基本を学ぶー現金を使った場合の仕訳を学ぶ。 事前学修 2.0hr：自分が普段行っている現金の取引や銀行口座について考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
6回	**授業テーマ：仕入れ、販売に関する会計処理** 授業内容：商品売買の取引を理解する 事前学修 2.0hr：自分が商品を買ったときの取引にどういうものがあるか考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
7回	**授業テーマ：掛け取引** 授業内容：商品の支払いのさまざまな方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：掛取引についての意味を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
8回	**授業テーマ：その他の債権、債務の取引について** 授業内容：さまざまな債権、債務に関する会計処理を学ぶ。 事前学修 2.0hr：どのような種類の債権、債務があるか調べてみる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。

9回	**授業テーマ：その他の費用に関する会計処理** 授業内容：色々な費用の取引やどういうものかについて考える。仕訳を復習していろいろな仕訳を行う。 事前学修 2.0hr：今まで学習した費用以外にどのような費用があるか考えてみる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
10回	**授業テーマ：固定資産に関する会計処理** 授業内容：有形固定資産にかかわる会計処理を学ぶ。減価償却の仕組みと実際に固定資産がどのように償却していくのかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：減価償却の意義や目的について調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
11回	**授業テーマ：固定資産の復習および、株式の発行、余剰金の配当についての会計処理** 授業内容：前回行った固定資産の償却についての仕訳を復習する。株式会社を設立した場合の会計処理、会社にまつわる会計取引を学ぶ。 事前学修 2.0hr：固定資産、減価償却について復習する。自分が会社を設立するという前提でその取引を考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
12回	**授業テーマ：総復習①　簿記の一巡、仕分けの復讐** 授業内容：今まで学習した簿記の知識を使って仕分けを実際に行う。 事前学修 2.0hr：今まで学習したことを見返し復讐する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
13回	**授業テーマ：総復習②　収益、費用の仕訳** 授業内容：収益、費用についてのさまざまな仕訳を行う。また、それがどのように損益計算書につながるか、を確認する。 事前学修 2.0hr：今まで学習したことを見返し復讐する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
14回	**授業テーマ：総復習③　仕訳から損益計算書、貸借対照表への転記** 授業内容：今まで学習した簿記の知識を使って仕訳から財務諸表への転記をおこなう。 事前学修 2.0hr：今まで学習したことを見返し復讐する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
15回	**授業テーマ：総復習②　財務諸表** 授業内容：14 回の授業で復讐した仕分けを使用して簡単な財務諸表を作成する。 事前学修 2.0hr：今まで学習したことを見返し復讐する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。

ファイナンス基礎

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢住　直子（やずみ　なおこ）

▌授業の概要

ファイナンスにおける基本的な考え方を例を用いて紹介する。会計とファイナンスの違い、お金の時間価値について考え、現在価値の概念を理解する。
実際の会社の財務諸表を用いて、財務諸表を読み取る力をつけられるようにする。　将来役に立つような株式投資についての知識も習得する。
NISA について学習する。プレゼンテーションを作成し理解を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：ファイナンスの概念、基礎知識を習得する。
　　将来のマネーライフに役立つようにどのような投資があるかを理解する。特に NISA については理解を深める。
個別目標：色々な会社の財務諸表を理解し、その会社がどのような事業構造であるかを読み取れるようにする。
　　時間とお金の価値の概念を理解し、現在価値について習得する。
　　金融市場をとりまく状況を理解し、株式投資についての基礎を学ぶ

▌履修条件

より良い理解のためにはできる限り前期にアカウンティング基礎を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

授業参加姿勢および発言　30 %
授業中に復習の目的で行う小テストおよびレポート 30 %
定期試験 40 %
すべてを総合して最終評価とする。授業欠席は減点する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは次回の授業内または manaba
を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイントでプレゼン資料を作成する。）

▌教科書

超ざっくりわかるファイナンス　　光文社　石野雄一著
および授業レジュメを使用

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　ファイナンスとは** 授業内容：オリエンテーション、授業の概要を説明する。個人、企業にとってのファイナンスとは。 事前学修 2.0hr：ファイナンスについて自分が知っていることを確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
2 回	**授業テーマ：会計とファイナンスの違いーお金と時間価値** 授業内容：過去の実績を検証するアカウンティングと現在、将来のお金の流れを検証するファイナンスとの違い。 ファイナンスでは最も重要なお金の現在価値、将来価値について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
3 回	**授業テーマ：財務諸表の見方ー財務三表の説明** 授業内容：財務三表について、それが企業にとって重要であることをベースに、それぞれ(損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書)何を意味するかを理解する。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
4 回	**授業テーマ：財務諸表の見方ー①実際の企業の財務諸表** 授業内容：実際の企業の財務諸表の入手の仕方を学ぶ。財務諸表を読みながら、企業の事業内容、結果を推測する。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
5 回	**授業テーマ：財務諸表の見方ー②実際の企業の事業結果を判断する基準** 授業内容：損益計算書、貸借対照表の読み方、および重要な計算式を学び、その会社のビジネスの状況を推測する。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
6 回	**授業テーマ：財務諸表の見方ー③ーキャッシュフロー計算書** 授業内容：キャッシュフローについて理解する。また企業について、なぜキャッシュフローが大切なのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
7 回	**授業テーマ：財務諸表の見方ー③ーキャッシュフロー計算書の重要点** 授業内容：減価償却がキャッシュフローを読み解く上で重要な点であることをケーススタデイを用いて説明する。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
8 回	**授業テーマ：投資についてーＮＩＳＡを知る** 授業内容：投資の重要性、危険性を認識する NISA について理解を深める。プレゼンテーションの作成を始める 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐するープレゼンテーションの準備をする

9回	**授業テーマ：NISA についてープレゼンテーション作成** 授業内容：具体的にプレゼンテーションに使用する会社の選択をおこなう。またＮＩＳＡの特徴である、税務上の利点について学ぶ。実際にケーススタディにして計算をしてみる。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
10回	**授業テーマ：資金調達について** 授業内容：資金調達の方法、「負債による調達」と「資本による調達を理解する。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
11回	**授業テーマ：NPV（正味現在価値）法** 授業内容：企業にとっての投資を現在価値で考え、投資をするべきかどうかの判断材料になる過程を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
12回	**授業テーマ：復習①　お金と時間価値について** 授業内容：現在価値と将来価値について復習する。実際に計算式を使って復習する。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
13回	**授業テーマ：復習②　損益計算書、および貸借対照表を使って、企業の特徴を知る** 授業内容：業種によって財務諸表が表す会社の特徴が異なることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
14回	**授業テーマ：復習③　企業の財務諸表を読み解く** 授業内容：業種別に企業の財務諸表を ROE などの重要な計算式を使用して分析する。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
15回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：今まで学習したファイナンスの基礎、財務諸表の見方、など取得した内容を復習する。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関する資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。

イノベーション概論

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

久保田　英男（くぼた　ひでお）

▌授業の概要

多様性と変化の求められる現代において、新しい「もの」「考え方」「システム」などを創造すること、そして、新しい流れを的確につかみ、適応することが重要だと考えられます。刻々と変わる技術や価値観に適応できるよう、イノベーションとは何か、事例や理論を学び見えないものを具体化するプロセスをシュンペーター、ドラッカー、クリステンセンなどのイノベーション理論を引用しつつ学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：イノベーションとは何か、新しいものを生み出す思考やその行動過程を様々な研究や事例を通じ、将来実社会において新しいアイデアが活かされ、また状況の変化へ対応できるよう知識を習得できるようにします。
また、日常感じる「不便」「不満」など『気づき』の蓄積が「創造」「改善」や「変化」へ、そして、未来の「イノベーション」へつながることを理解し、毎日の『気づき』を記録する習慣を養うことも目標の一つと考えます。

個別目標：1. アイデア創出のアプローチを学ぶ
2. イノベーションの生み出される仕組みを理解する
3. 事例からアイデアを実現するためのプロセス・リソースを収集する力を養う
4. 変化に対応適応するよう、イノベーションの必要性を理解すること

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

評価は、授業・課題に取り組む姿勢 30%、テスト 70 %を基準に総合的に判断する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム”manaba”を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （1～2回程度フレームワークを使った実習などを予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし (授業毎に資料を配布又は配信)

▌参考書

授業の中で関連図書を紹介予定
なお前年度まで「イノベーション理論　集中講義 (安部哲也著/日本実業出版社)」を指定図書としていました。今年度は購入する必要はありませんが、参考までに紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：ガイダンス** 授業内容：「イノベーションとは」をテーマにこの講義の紹介をします。全 15 回の講義について簡単な説明と授業の進め方や課題・試験などについてもガイダンスします。 事前学修 2.0hr：イノベーションとは何か漠然とでもいいので考え、調べてみましょう 事後学修 2.0hr：この授業で学ぶ内容を整理し、学修計画を立てましょう
2回	**授業テーマ：イノベーションとは何か** 授業内容：イノベーションの父「シュンペーター」から、イノベーションの概念と概要を考えます。 事前学修 2.0hr：10 年前と現在、変化したと思うものを探してみましょう 事後学修 2.0hr：シュンペーターの示したイノベーション論が現代に通じる点はどこにあるのか、整理しましょう
3回	**授業テーマ：変革の起し方** 授業内容：P.F. ドラッカーのイノベーションにつながる「7つの機会」から、「イノベーション」、「変革」はどのように起こすのかを学びます。 事前学修 2.0hr：P.F. ドラッガーが語るイノベーションについて調べてみましょう 事後学修 2.0hr：「変革」は何故必要なのでしょう、授業内容から考えてみましょう
4回	**授業テーマ：イノベーションを起こすための戦略** 授業内容：何故、イノベーションに戦略が必要なのか、そして、どのような戦略が必要なのかを考えます。 事前学修 2.0hr：イノベーションと戦略、この二つの関連がどこにあるのか考えてみましょう 事後学修 2.0hr：ドラッカーは、イノベーションには戦略が必要でどの様な戦略があると語ったのかまとめてみましょう
5回	**授業テーマ：破壊的イノベーション・持続的イノベーション** 授業内容：クリステンセン「イノベーションのジレンマ」から「破壊的イノベーション」「持続的イノベーション」について学びます。 事前学修 2.0hr：クリステンセンの「イノベーションのジレンマ」について調べましょう 事後学修 2.0hr：「破壊的イノベーション」の事例を探してみましょう
6回	**授業テーマ：新しい価値を生み出す** 授業内容：今まで認識していなかった、認識できていなかった「価値」を発見し、そこからイノベーションに繋げるとはどのようなことなのか。そのプロセスや手法をクリステンセンの「ジョブ理論」などから考えます。 事前学修 2.0hr：不便だけど、これはそういえものだろうと仕方なく使っている「モノ」や「コト」を書き出してみましょう 事後学修 2.0hr：「不便なものを解消したら便利になる」と思う「モノ」「コト」、その不便を解消する方法を考えてみましょう
7回	**授業テーマ：バリューイノベーションの基礎知識** 授業内容：競合する業界内であえて競争するのではなく、「新しい価値」を見つけ提供するイノベーション。その概要と手法を学びます。 事前学修 2.0hr：買い物等サービスで支払った価格より「高い」と感じたことがあれば、なぜそう思ったか書き出してみましょう 事後学修 2.0hr：ブルーオーシャン戦略とはどのようなことを指しているのでしょうか、整理しておきましょう
8回	**授業テーマ：バリューイノベーション 実行プロセス** 授業内容：「ブルーオーシャン戦略」よりバリュー・イノベーションを実行するプロセス手法やフレームワークについて学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業から「価値のイノベーション」とは何を示しているのか考えてみましょう 事後学修 2.0hr：戦略を実行するにあたり、ビジュアル化することの重要性についてまとめましょう
9回	**授業テーマ：リバースイノベーションとは** 授業内容：リバース・イノベーションとはどのようなことを指すのか、そしてその戦略について学びます。 事前学修 2.0hr：先進国と新興国の人口推移や生産力などを調べて比較してみましょう 事後学修 2.0hr：授業を通してリバースイノベーションが何故注目されているのか考えてみましょう

10回	**授業テーマ：イノベーションの理論と戦略** 授業内容：リバース・イノベーションの仕組みから、実践に移すプロセスやポイント、そしてこれまでのイノベーション理論の応用についても触れます。 事前学修 2.0hr：これまでのイノベーションを起こす戦略の条件や前提はどのようなバックグラウンドであったのか、まとめましょう 事後学修 2.0hr：これまでのイノベーションを起こす戦略とリバースイノベーションとの相違点を比較してみましょう
11回	**授業テーマ：様々な事例からイノベーションとは何かを考える** 授業内容：事例から、これまでの授業で紹介したイノベーション理論がどのように実践されているかを照らし合わせ、イノベーションとは何か、何をもたらすのか、を考えます。 事前学修 2.0hr：身近なところにあるイノベーションと思われるものを探してみましょう 事後学修 2.0hr：事例として紹介されたもの以外のイノベーションモデルを見つけ、どの様な戦略があったのか考えてみましょう
12回	**授業テーマ：アイデアを創出する** 授業内容：イノベーションを起こすには、一つのアイデアから始まります。そのアイデアをどのように探し出し、実行に移すのか、フレームワークなども紹介しながら、手法を考えてみます。 事前学修 2.0hr：アイデアを考えそれを実現するにはどのようなプロセスが必要か考えてみましょう 事後学修 2.0hr：授業で行ったフレームワークを使ってアイデアを具体的してみましょう
13回	**授業テーマ：シュンペーターとドラッカー** 授業内容：シュンペーターが語ったイノベーションの本質、ドラッカーによるイノベーションの機会とその戦略。二人の理論と実践の共通点と相違点。そこからイノベーションの未来を考えていきます。 事前学修 2.0hr：シュンペーターとドラッカーのイノベーションに関する考えを比較しつつまとめましょう 事後学修 2.0hr：実際の事例をもとにこれらの理論・戦略がどこにどのように活用されているか、検証してみましょう
14回	**授業テーマ：戦略としてのイノベーション** 授業内容：イノベーションを社会に展開するためにどのような戦略が有効なのか、そして、どの様な戦略があるのかを考察します。 事前学修 2.0hr：「イノベーションのジレンマ」「ブルーオーシャン戦略」について調べましょう 事後学修 2.0hr：イノベーションを起こすためにはなにが必要かこれらの戦略から考えてみましょう
15回	**授業テーマ：まとめ/これまでの内容を振り返る** 授業内容：第1回～第 14 回授業を振り返り「イノベーション」についてまとめます。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、分からない点、もう少し深く知りたい内容などを整理しておきましょう 事後学修 2.0hr：これまでの内容を総合的に復習して、体系的にまとめましょう

統計学Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

高橋　奈佳（たかはし　なか）

▌授業の概要

この科目では、統計学の基礎的な知識と能力としてデータ分析の手法により身近な問題に生かす力を身に付ける。具体的には身近にある様々なデータについて収集する術を知ることから、それを分類、集計、視覚化、特徴の把握を行い、そこから読み取れる情報を解釈することを学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：この科目を履修することによって、データの整理、統計量の計算・読み方・解釈、そして図表の作成ができるようになる。
個別目標：この科目では OdysseyCommunications のビジネス統計スペシャリスト・ベーシックのテキストを教科書として使用するので、受講する学生はこのビジネス検定の取得を目標に頑張ってみよう。

▌履修条件

1 年次必修科目である「学修の基礎Ⅲ B」で使用する教科書の Excel 部分を理解できていることを前提として授業を進めていく。
自宅にて MicrosoftExcel2010 以降（バージョンは問わない）を使用できる環境にあること。
受講希望者が教室の席数を上回る場合は抽選とする。このため、1 回目の授業には遅刻をせず必ず出席すること。

▌評価基準・方法

試験 70%、課題など科目への取り組み 30%の割合で総合的に評価する。ただし試験に替えてレポート提出とする場合がある。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、教科書不携帯、欠席や遅刻が多い、私語など教室内での態度がよろしくない場合は減点する。
30 分以上の遅刻は欠席とみなす。

▌フィードバック方法

それぞれの課題や提出物については、manaba を用いてフィードバックする。
また次回の開始時に、前回の提出課題の出来栄えや間違いの多かった点等について解説を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Excel を使った実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室での開講ではあるが、自分のパソコンを持参して取り組んでもかまわない）

▌教科書

玄場公規、湊宣明、豊田裕貴著　『公式テキスト　ビジネス統計スペシャリスト　Excel 分析一般』Odyssey 社　2024 年 12 月初版（2024 年度まで使用していた教科書とは内容がかなり変わっている）

▌参考書

木村幸子著　『Excel ピボットテーブル　データ集計・分析の「引き出し」が増える本』　翔泳社　2020 年初版 5 刷
1 年次開講科目　「学修の基礎Ⅲ B」の教科書
後藤正幸著　『ビジネス統計のための基礎理論』　Odyssey communications 社　2023 年 2 月

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・質的変数と量的変数** 授業内容：この科目の進め方を確認する。質的変数と量的変数について理解（2 年生以上は思い出し）する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、授業内容を確認する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：代表値の考え方と処理** 授業内容：代表値の計算方法を関数と分析ツールを使って実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 1～第 5 章）予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：はずれ値の考え方と処理** 授業内容：はずれ値についての考え方を理解し、その方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 6 章）を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：フィルターで数える** 授業内容：フィルター機能と関数を用いた度数の数え方を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する学習内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：絶対参照で数える** 授業内容：絶対参照・複合参照を用いた度数の数え方を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：ピボットテーブルで数える** 授業内容：ピボットテーブルの機能を用いて度数の数え方を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：度数分布表の考え方と処理** 授業内容：度数分布表はいかなるものかを理解し、その利用方法を実習・体得する。またそのための関数である FREQUENCY 関数を使いこなせるようにする。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 7 章）、事前に提示する内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
8 回	**授業テーマ：ここまで学修の総括①（テスト方式）** 授業内容：量的・質的変数の違い、代表値の処理方法、度数分布の処理方法を確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 1～7 章）、これまでの内容を復習する。 事後学修 2.0hr：時間後に提示する確認内容と自分の取り組みを整理し、内容を復習する。
9 回	**授業テーマ：標準化の考え方と処理** 授業内容：標準化の考え方を理解し、処理方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 8 章）を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。

10回	**授業テーマ：移動平均の考え方と処理** 授業内容：移動平均について理解し、処理方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 9 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：季節調整の考え方と処理** 授業内容：季節調整について理解し、処理方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 10 章)を復習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：集計の考え方と処理** 授業内容：ピボットテーブルの機能を利用して、2 変数の関係性を理解する方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 11 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：相関・散布図の考え方と処理** 授業内容：相関係数とそれを図(グラフ)の形で表示する散布図を用いて 2 変数の関係性を理解する方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 12・13 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：これまでの学修の総括②(テスト方式)** 授業内容：これまでに学修した、標準化から散布図と相関の内容を確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 8〜13 章)を復習する。 事後学修 2.0hr：時間後に提示する確認内容と自分の取り組みを整理し、内容を復習する。
15回	**授業テーマ：回帰分析と最適化の考え方と処理** 授業内容：回帰分析と最適化の考え方を理解し、単回帰分析の処理方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 14・第 15 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。

統計学Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

高橋　奈佳（たかはし　なか）

▌授業の概要

この科目では、統計学の基礎的な知識と能力としてデータ分析の手法により身近な問題に生かす力を身に付ける。具体的には身近にある様々なデータについて収集する術を知ることから、それを分類、集計、視覚化、特徴の把握を行い、そこから読み取れる情報を解釈することを学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：この科目を履修することによって、データの整理、統計量の計算・読み方・解釈、そして図表の作成ができるようになる。
個別目標：この科目では OdysseyCommunications のビジネス統計スペシャリスト・エクセル分析スペシャリストのテキストを教科書として使用するので、受講する学生はこのビジネス検定の取得を目標に頑張ってみよう。

▌履修条件

「統計学Ⅰ」(髙橋奈佳担当)の単位を取得済みであること。
未取得の場合は履修確認課題を課し、履修可の判断を行う。
自宅にて MicrosoftExcel2010 以降(バージョンは問わない)を使用できる環境にあること。
受講希望者が教室の席数を上回る場合には抽選とする。このため、1 回目の授業には遅刻せず必ず出席をすること。

▌評価基準・方法

試験 70%、課題など科目への取り組み 30%の割合で総合的に評価する。ただし試験に替えてレポート提出とする場合がある。
なお、5 分の 4 以上の出席(もしくは毎回のレポート提出)を評価の前提条件とし、教科書不携帯、欠席や遅刻が多い、私語など教室内での態度がよろしくない場合は減点する。
30 分以上の遅刻は欠席とみなす。

▌フィードバック方法

それぞれの課題や提出物については、manaba を用いてフィードバックする。
また次回の開始時に、前回の提出課題の出来栄えや間違いの多かった点等について解説を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Excel を使った実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室での開講ではあるが、自分のパソコンを持参して取り組んでもかまわない）

▌教科書

豊田裕貴著『Excel で学ぶ実践ビジネスデータの分析　ビジネス統計スペシャリスト・エクセル分析スペシャリスト対応』　Odyssey 社

▌参考書

木村幸子著『Excel ピボットテーブル　データ集計・分析の「引き出し」が増える本』翔泳社　2020 年初版 5 刷
玄場公規、湊宣明、豊田裕貴著　『公式テキスト　ビジネス統計スペシャリスト　Excel 分析一般』　Odyssey 社　2024 年 12 月初版(前期開講科目統計学Ⅰの教科書)
後藤正幸著　『ビジネス統計のための基礎理論』　Odyssey_communications 社　2023 年初版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンスと財務関数の初歩** 授業内容：この科目の進め方について説明する。 教科書外の財務関数を用いて Excel を愉しむ。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおく。財務関数は、教員の配布資料を使う。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
2回	**授業テーマ：データの理解について(おさらいを兼ねて)** 授業内容：さまざまな形態のデータを確認し、データ数と予測精度の関係を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 1 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：1 変量データのまとめ方** 授業内容：1 つの変数を容易に理解するためのグラフと代表値について確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 2・第 3 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：2 変量データのまとめ方** 授業内容：2 つの変数の関係性を理解するためのグラフとクロス表について確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 4 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：χ^2（かいじじょう)検定の考え方と処理** 授業内容：χ^2 検定は質的変数間の関係性を検定する大基本である。「検定」という考え方、利用方法と手順を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 5 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
6回	**授業テーマ：平均の比較とその検定についての考え方と処理(1)** 授業内容：量的変数間の関係性を検定するための「平均値の差の検定」には教科書で扱っている 3 種類が基本となる。その 3 種類を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 6 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：平均の比較とその検定についての考え方と処理(2)** 授業内容：量的変数間の関係性を検定するための「平均値の差の検定」を教科書では扱っていない関数で計算する方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 6 章)、事前提示内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：ここまでの総括 1(テスト方式)** 授業内容：ここまで学んできた内容を総括して復習する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を総復習する。 事後学修 2.0hr：時間後に提示する確認内容と自分の取り組みを整理し、内容を復習する。

9回	**授業テーマ：相関・回帰分析の考え方と処理** 授業内容：相関関係の検定についての方法を実習し、単回帰分析の方法を確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 7 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：質的変数を結果にした回帰分析の考え方と処理** 授業内容：質的変数は量化して(ダミー変数)回帰分析に投入する。ここではダミー変数を用いての回帰分析を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 8 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：重回帰分析の考え方と処理(1)** 授業内容：複数の原因系変数を用いて、量的変数を結果系変数として行う回帰分析を実習し、解釈方法を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 9 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：重回帰分析の考え方と処理(2)** 授業内容：複数の原因系変数を用いて、質的変数を結果系変数として行う回帰分析を実習し、解釈方法を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 10 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：回帰分析の応用** 授業内容：回帰分析を教科書以外の利用法としていくつか紹介する。利用方法が変わればさまざまに応用できることを体得する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：次回総括での出題ポイントを概説する** 授業内容：この科目で取り組んだ仮説を検証するための全手法(χ^2 検定、平均値の差の検定、相関の検定、回帰分析)を再度レビューし、確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 5〜10 章)を復習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：これまでの学修の総括 2（テスト方式）** 授業内容：これまでに学修した仮説検証方法と回帰分析を確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容(特に教科書 5 章以降)を総復習する。 事後学修 2.0hr：時間後に提示する確認内容と自分の取り組みを整理し、内容を復習する。

倫理とコンプライアンス

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

吉田　成利 (よしだ　なるとし)

▌授業の概要

人間は利と理のバランスを取りながら生きている。
そのバランスを取る道具が法律である。
本講義では、現代の様々な倫理的問題を法的視点から議論し、
法令順守がもたらすメリットと矛盾について考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3、HTM1）

一般目標：法的思考を用いて倫理的に生きる。
個別目標：(1) 現代社会における倫理的問題について自分の意見を形成する。
(2) 法的思考の重要性を理解し、法律を道具として用いる。

▌履修条件

（1）柔軟な思考で客観的に現実を分析し、公正な判断をするために努力する人。
（2）レポートなどの提出や担当教員との連絡を SNS ではなく、電子メールアカウントにて迅速かつ確実に行うことを約束すること。
（3）期末試験は自分の氏名と自筆の書き込みのある（試験会場で確認します）指定された教科書のみ持込可能なので、第 3 回の講義までに必ず指定された教科書を購入すること。第 3 回の講義までに教科書を購入・持参していない場合、平常点より減点する。

▌評価基準・方法

期末試験（指定された教科書のみ持込可）60%、レポート 30%、授業内での発言・姿勢 10%
毎回の講義冒頭に、前回の講義内容および小レポートについてフィードバックがなされる。

▌フィードバック方法

毎回の小レポート提出後に講義内でフィードバックを行います。必ず期限までに小レポートを提出してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回または 2 回に一度、教員にあてられ自分の意見を求められる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回の講義資料を Manaba にアップし、レポート作成も PC で行う。）

▌教科書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』（慶應義塾大学出版会、2020 年）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：序論とオリエンテーション。 事前学修 2.0hr：法と道徳の違いについて考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：法的思考と倫理** 授業内容：Legal Way of Thinking とは何かを考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：尊厳死と医療機関** 授業内容：人が尊厳を維持して自らの最後を決める権利とは何か考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：著作権と表現の自由** 授業内容：言いたいことを言う自由と著作権について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：肖像権と SNS** 授業内容：人の顔に対する権利と SNS の発展について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：ハラスメント** 授業内容：いやがらせから自分や仲間・家族や組織を守るにはどのようにすればよいのかを考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：宗教・人種とビジネス** 授業内容：信じたいものを信じる自由とビジネスとの関係について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
8 回	**授業テーマ：障がい者とバリアフリー社会** 授業内容：障がい者をどのように法規や倫理は保護していけばよいのであろうか、考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
9 回	**授業テーマ：薬害と科学の進歩** 授業内容：薬と科学の進歩について考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
10 回	**授業テーマ：クローンと AI** 授業内容：クローンや AI は社会を便利にする一方で、複雑化していく。これについて法律や倫理はどのように対応するべきなのか、考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

11回	**授業テーマ：多数決と独裁** 授業内容：多数決や民主主義は絶対的なものなのであろうか？ 考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：納税とタックスヘブン** 授業内容：納税の義務と租税回避について考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：国内法と国際法** 授業内容：日本の法律と国際的な約束事との関係について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：非常事態と法令順守** 授業内容：コロナや自然災害や戦争のような非常事態に日本の法律や倫理は対応できているのか？ 考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：ポスト・コロナ時代における倫理とコンプライアンス** 授業内容：結論。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

リーダーシップ論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

上田　圭一（うえだ　けいいち）

▌授業の概要

「リーダーシップ」は、一部の選ばれた人だけのものではありません。それは、予測不能な時代において、自分の人生というフライトの操縦桿を自分で握り、仲間と共に豊かに生きるための「技術（ライフスキル）」です。 本講義では、脳科学、心理学、組織論などの理論をベースに、実務経験のエピソードを交えながら、「自分らしいリーダーシップ」とは何かを探求します。なお、指導環境や学生の希望などの状況により、内容が変更となる場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3、HTM3）

一般目標：リーダーシップに関する基礎理論（歴史、スタイル、倫理観）を理解する。リーダーとフォロワーの信頼関係構築に必要なメカニズム（脳科学、心理学）を習得する。

個別目標：-自身の感情や特性を理解し（自己理解）、他者と良好な関係を築くコミュニケーション技法（NVC、EQ）を説明できる。
-権限や役職がなくても、周囲に良い影響を与える行動（サーバント・リーダーシップ等）を実践するイメージを持てる。
-自身のキャリアや人生における「軸（ミッション）」の基礎を確立することができる。

▌履修条件

リーダーシップに興味があり、自分の人生を主体的に切り拓きたい学生。
事前学習課題を履行すること。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。
発言・質問等授業への取り組み姿勢（30 %）、試験（70 %）の割合で総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義ごとに資料を配布します。

▌参考書

適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス ～人生の時間は限られている～** 授業内容：講義全体のイメージ、評価方法の解説。「人生は短いのではない、浪費しているのだ」(セネカ) を題材に、時間の使い方（投資・消費・浪費）と、自分の人生の主導権を握る意義について考えます。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、講義の全体像を確認する。 事後学修 2.0hr：自分の時間の使い方を振り返り、講義の目的を整理する。
2回	**授業テーマ：リーダーシップの歴史と「今」** 授業内容：特性理論、行動理論から現代の変革型リーダーシップへの変遷を学びます。なぜ今、支配型ではなく人間性重視のリーダーシップが必要なのかを解説します。 事前学修 2.0hr：事例研究（過去のリーダー像と現代の違い）。 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する。
3回	**授業テーマ：やる気の正体 ～安心感と脳内物質～** 授業内容：著書『リーダーは最後に食べなさい』を基に、ドーパミン、オキシトシンなどの脳内物質の働きを解説。チームにおける「安心安全な場（サークル・オブ・セーフティ）」の重要性を学びます。 事前学修 2.0hr：事例研究（安心できる環境とは） 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
4回	**授業テーマ：EQ（心の知能指数）を高める** 授業内容：IQ（知能）と EQ（感情知性）の違い。自分の感情を理解しコントロールする方法、感情と論理のベストミックスについて、実務での失敗・成功例を交えて解説します。 事前学修 2.0hr：事例研究（感情のコントロール） 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
5回	**授業テーマ：マインドフルネス ～脳の休息法～** 授業内容：Google も採用する脳のトレーニング。注意力を鍛え、ストレス社会で平常心を保つための科学的なアプローチを学び、実践します。 事前学修 2.0hr：マインドフルネスの由来と効果を理解する。 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理し、短い瞑想を実践してみる。
6回	**授業テーマ：WHY から始めよう ～人を動かす言葉～** 授業内容：ゴールデンサークル理論（Why/How/What）。機能（What）ではなく想い（Why）が人を動かすメカニズムについて、航空業界の事例（QR コード導入等）も参考に学びます。 事前学修 2.0hr：事例研究（Apple 等の Why 発見プロセス） 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理し、自分の行動の「Why」を考えてみる。
7回	**授業テーマ：NVC（非暴力コミュニケーション）** 授業内容：対立せずに想いを伝える技術。「観察・感情・ニーズ・要求」の 4 要素を使い、多文化・多用な価値観の中で共感を生む対話法を学びます。 事前学修 2.0hr：事例研究（NVC のプロセス） 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理し、日常会話で「観察」と「評価」を区別してみる。
8回	**授業テーマ：自己肯定感とレジリエンス** 授業内容：ナルシスト（他者比較）と自尊心（自己受容）の違い。「ありのままの自分」を受け入れ、失敗から立ち直る力（レジリエンス）の育み方を解説します。 事前学修 2.0hr：事例研究（折れない心の作り方） 事後学修 2.0hr：講義の論点と自分の「強み」と「弱み」を整理する。
9回	**授業テーマ：成人発達理論 ～大人の成長プロセス～** 授業内容：人の意識は大人になっても成長する。「利己的」から「他者依存」、「自己主導」へと視座が高まっていくプロセスと、自身の現在地を知ります。 事前学修 2.0hr：学習する組織について理解する。 事後学修 2.0hr：講義の論点、自分の成長課題を整理する。

10回	**授業テーマ：進化型「ティール組織」** 授業内容：組織の進化モデル(レッド→アンバー→オレンジ→グリーン→ティール)。AI・DX 時代に求められる、自律分散型の新しい組織のあり方を学びます。 事前学修 2.0hr：ティール組織の概要を理解する。 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理し、理想の組織像について考察する.
11回	**授業テーマ：サーバント・リーダーシップ** 授業内容：「支配する」のではなく「奉仕する」リーダー像。部下の成功を支えることが、結果として大きな成果(ワクチン輸送など)に繋がるメカニズムを解説します。 事前学修 2.0hr：『人を動かす』等の関連書籍を理解する。 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理し、誰かの役に立つ行動を振り返る。
12回	**授業テーマ：権限によらないリーダーシップ** 授業内容：役職がなくてもリーダーシップは発揮できる。「目標共有」「率先垂範」「相互支援」の 3 要素と、学生生活での活かし方を学びます。 事前学修 2.0hr：事例研究(身近なリーダーシップ) 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理し、自分が貢献できる場面をイメージする。
13回	**授業テーマ：オーセンティック・リーダーシップ** 授業内容：「自分らしさ」を武器にする。弱さや失敗を見せることが、逆に信頼につながる(True North)という考え方を解説します。 事前学修 2.0hr：事例研究(自分らしさとリーダーシップ) 事後学修 2.0hr：自分の価値観(大切にしたいこと)を整理する。
14回	**授業テーマ：ミッション・リーダーシップ** 授業内容：不確実な状況(VUCA)での判断軸。命令ではなく「使命(ミッション)」と「自由と制約」を与えることで、現場が自律的に動く仕組みを学びます。 事前学修 2.0hr：事例研究(極限状態での判断 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
15回	**授業テーマ：総括 ～「一緒にいたい」と思われるリーダーへ～** 授業内容：半年間の振り返り。知識を行動に変えるために。絵本『一緒にいたいと思われるリーダーになる。』を用い、仲間との関係性の大切さを再確認します。 事前学修 2.0hr：自身のリーダーシップ像をイメージする。 事後学修 2.0hr：試験準備

異文化マネジメント論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2022 年度以降入学生のみ履修可能

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

VUCA（変動性が高く、確実ではなく、複雑で、曖昧な）時代を、職業人として生き抜いていくためには、目的意識を持ち、創造性を活かした多様性に基づく協働が重要になってくる。そのために本講義では、多様性を活かした企業活動＝ダイバシティマネジメントに関する諸問題を網羅的に概観し、現在的な課題としての理解を深めることで、将来の実務での活用に貢献することを目的とする。「誰かと分かりあえない」と感じる学生に解き方のヒントを提示できることを目指していく。また、受講にあたっては、各講義に先立って提示される課題への事前準備とともに、自己の価値観を振り返り、積極的に参加することが求められる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3）

一般目標：① 自分の価値観に固執せず、違う価値観の人との共感を生み出すための視点を獲得することができる。
② グローバル社会に多様で多重な文化が存在し、文化差が価値観の形成やコミュニケーションを多様化させる状況を理解できる。
③ 国境以外のボーダー（境界線）が社会の中に存在しており、そこにも多様化の要因があることを理解することができる。

個別目標：① 視点・視座・視野について、移動できる感覚を身に着けること
②「自分とは違うひと」の存在について自分なりに近くして定義していること
③「自分とは違うひと」が存在してしまう世の中の仕組みについて自分の言葉で説明できること

▌履修条件

・Google Classroom を併用する可能性があるので、明海大学の電子メールアカウントを利用すること。
・知識や思考のクセは発揮してみないと体得できないので、必ず事前準備を行う心構えが必要。

▌評価基準・方法

・講義での貢献　：30 点（2 点× 15 回）
・manaba /respon 等での貢献：14 点 (1 点× 14 回)
・ミニレポート　：28 点（2 点× 14 回）
・レポートピアレビュー　：14 点 (1 点× 14 回)
・最終試験　：14 点
※ 課題等のフィードバックは講義を通じて実施する。

▌フィードバック方法

1. 教場で、主に Respon 回答中の時間を使って、口頭で行う。
2. フィードバックの内容を盛り込んだ講義を行う
3. 個別コレクションで回答する

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ダイバシティについて、模擬的なワークショップを通じて体感的な学修を取り入れます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

三輪祥宏著『 ダイバシティを活かす経営とリーダシップ』三恵社　2014 年（http://amzn.to/1iHL53M）

▌参考書

講義中に適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクションとガイダンス** 授業内容：講義全体のアウトラインと期待される取組姿勢、成績評価の基準等について説明します。 事前学修 0.5hr：講義概要をよく読み、講義への期待について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.5hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
2 回	**授業テーマ：働くうえで課題になる文化的多様性** 授業内容：個人の属性が多層で多重であることから、企業やビジネスにおいて文化的な多様性が課題になっていることについて概観します。 事前学修 3.0hr：「ビジネスに影響を与える『文化』」と「違うこと・異なること」について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
3 回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）①：ジェンダー・セクシャリティ** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、性差や性的志向性がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ジェンダーやセクシャリティに関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
4 回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）②：人種・民族・国籍** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、日本人として普段あまり意識することのない人種・民族・国籍を明確に区分しつつ、ビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：人種・民族・国籍に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
5 回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）③：経歴・履歴・経験** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、馴染みのある経歴（学歴・職歴等）や履歴（賞罰等）がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：経歴や職歴、経験に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
6 回	**授業テーマ：小括：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）を超えるメリットとデメリット** 授業内容：３回にわたって具体的に検討してきた、ビジネスに存在する境界線（ボーダー）を超えるためのの議論に基づき、影響についてメリットとデメリットに分けて整理していきます。 事前学修 3.0hr：多様性がビジネスに与える影響を、メリットとデメリットに区分して自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
7 回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）④：年齢・世代・在職期間** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、馴染みのある年令（就業制限や定年制等）や職場での経験年数等がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：年齢や在職期間に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する

8回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線(ボーダー)⑤：身体性・ニューロン** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、馴染みのある美醜や体格差、疾病、障がいの有無等がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：心身の特徴や障害についての多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
9回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線(ボーダー)⑥：ライフスタイル・宗教** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、内面的な価値の差異(ライフスタイルや宗教等)がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ライフスタイルや宗教に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
10回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(1) Mapping-直視する** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、まず、Mapping すること＝「直視する力」について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「直視する力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
11回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(2) Bridging-学ぶ・理解する** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、「直視」した後に必要となる Bridging すること＝「学ぶ力」について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「学ぶ力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
12回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(3) Integration-連帯する** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、「直視」し「学」んだ後に必要となる Integration ＝「連帯する力」について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「連帯する力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
13回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(4) Inclusion-助け合う** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、「直視」し「学」び「連帯」したものを深化させる Inclusion ＝「助け合う力」について、SDG ｓの考え方も交えて考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「助け合う力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
14回	**授業テーマ：デジタル化と新しいダイバシティ** 授業内容：これまでの講義内容を包括して、デジタルトランスフォーメーションで変革されるダイバシティについて議論していきます。 事前学修 3.0hr：デジタルトランスフォーメーション(主に AI)が「ダイバシティマネジメント」に与える影響について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
15回	**授業テーマ：ダイバシティマネジメントの実現とまとめ** 授業内容：この講義の総まとめとして、学んだ内容を実践に結びつけていくことについて議論をしながら、受講生の内面的な価値の変化を促していきます。 事前学修 3.0hr：講義からの学びをもとに、具体的な事例企業でのダイバシティマネジメントの実現に向けた自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 4.0hr：期末テストに向けて対策すること

異文化マネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2017～2021 年度入学生のみ履修可能

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

VUCA（変動性が高く、確実ではなく、複雑で、曖昧な）時代を、職業人として生き抜いていくためには、目的意識を持ち、創造性を活かした多様性に基づく協働が重要になってくる。そのために本講義では、多様性を活かした企業活動＝ダイバシティマネジメントに関する諸問題を網羅的に概観し、現在的な課題としての理解を深めることで、将来の実務での活用に貢献することを目的とする。「誰かと分かりあえない」と感じる学生に解き方のヒントを提示できることを目指していく。また、受講にあたっては、各講義に先立って提示される課題への事前準備とともに、自己の価値観を振り返り、積極的に参加することが求められる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：HTM1）

一般目標：① 自分の価値観に固執せず、違う価値観の人との共感を生み出すための視点を獲得することができる。
② グローバル社会に多様で多重な文化が存在し、文化差が価値観の形成やコミュニケーションを多様化させる状況を理解できる。
③ 国境以外のボーダー（境界線）が社会の中に存在しており、そこにも多様化の要因があることを理解することができる。

個別目標：① 視点・視座・視野について、移動できる感覚を身に着けること
②「自分とは違うひと」の存在について自分なりに近くして定義していること
③「自分とは違うひと」が存在してしまう世の中の仕組みについて自分の言葉で説明できること

▌履修条件

・Google Classroom を併用する可能性があるので、明海大学の電子メールアカウントを利用すること。
・知識や思考のクセは発揮してみないと体得できないので、必ず事前準備を行う心構えが必要。

▌評価基準・方法

・講義での貢献　：30 点（2 点× 15 回）
・manaba /respon 等での貢献：14 点 (1 点× 14 回)
・ミニレポート　：28 点（2 点× 14 回）
・レポートピアレビュー　：14 点 (1 点× 14 回)
・最終試験　：14 点
※ 課題等のフィードバックは講義を通じて実施する。

▌フィードバック方法

1. 教場で、主に Respon 回答中の時間を使って、口頭で行う。
2. フィードバックの内容を盛り込んだ講義を行う
3. 個別コレクションで回答する

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ダイバシティについて、模擬的なワークショップを通じて体感的な学修を取り入れます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

三輪祥宏著『 ダイバシティを活かす経営とリーダシップ』三恵社　2014 年（http://amzn.to/1iHL53M）

▌参考書

講義中に適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクションとガイダンス** 授業内容：講義全体のアウトラインと期待される取組姿勢、成績評価の基準等について説明します。 事前学修 0.5hr：講義概要をよく読み、講義への期待について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.5hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
2回	**授業テーマ：働くうえで課題になる文化的多様性** 授業内容：個人の属性が多層で多重であることから、企業やビジネスにおいて文化的な多様性が課題になっていることについて概観します。 事前学修 3.0hr：「ビジネスに影響を与える『文化』」と「違うこと・異なること」について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
3回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）①：ジェンダー・セクシャリティ** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、性差や性的志向性がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ジェンダーやセクシャリティに関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
4回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）②：人種・民族・国籍** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、日本人として普段あまり意識することのない人種・民族・国籍を明確に区分しつつ、ビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：人種・民族・国籍に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
5回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）③：経歴・履歴・経験** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、馴染みのある経歴（学歴・職歴等）や履歴（賞罰等）がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：経歴や職歴、経験に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
6回	**授業テーマ：小括：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）を超えるメリットとデメリット** 授業内容：３回にわたって具体的に検討してきた、ビジネスに存在する境界線（ボーダー）を超えるためのの議論に基づき、影響についてメリットとデメリットに分けて整理していきます。 事前学修 3.0hr：多様性がビジネスに与える影響を、メリットとデメリットに区分して自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
7回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）④：年齢・世代・在職期間** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、馴染みのある年令（就業制限や定年制等）や職場での経験年数等がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：年齢や在職期間に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する

8回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線(ボーダー)⑤：身体性・ニューロン** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、馴染みのある美醜や体格差、疾病、障がいの有無等がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：心身の特徴や障害についての多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
9回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線(ボーダー)⑥：ライフスタイル・宗教** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、内面的な価値の差異(ライフスタイルや宗教等)がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ライフスタイルや宗教に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
10回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(1) Mapping-直視する** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、まず、Mapping すること＝「直視する力」について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「直視する力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
11回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(2) Bridging-学ぶ・理解する** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、「直視」した後に必要となる Bridging すること＝「学ぶ力」について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「学ぶ力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
12回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(3) Integration-連帯する** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、「直視」し「学」んだ後に必要となる Integration ＝「連帯する力」について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「連帯する力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
13回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(4) Inclusion-助け合う** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、「直視」し「学」び「連帯」したものを深化させる Inclusion ＝「助け合う力」について、SDG ｓの考え方も交えて考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「助け合う力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
14回	**授業テーマ：デジタル化と新しいダイバシティ** 授業内容：これまでの講義内容を包括して、デジタルトランスフォーメーションで変革されるダイバシティについて議論していきます。 事前学修 3.0hr：デジタルトランスフォーメーション(主に AI)が「ダイバシティマネジメント」に与える影響について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
15回	**授業テーマ：ダイバシティマネジメントの実現とまとめ** 授業内容：この講義の総まとめとして、学んだ内容を実践に結びつけていくことについて議論をしながら、受講生の内面的な価値の変化を促していきます。 事前学修 3.0hr：講義からの学びをもとに、具体的な事例企業でのダイバシティマネジメントの実現に向けた自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 4.0hr：期末テストに向けて対策すること

国際ビジネス関係論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

肖　子睿（しょう　しえい）・三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

本講義は「企業の国際化」についての実践事例の分析を通じて、基本的な仕組みとコンセプトを理解し、その全体像を実感をもとに体得することを目的とする。

将来においては、会社＝企業組織が国際的な文脈で活動するための定石を理解し、それを超えて対応することが必要となる。そこで在日中国企業協会の協力を得て、日本でビジネスを展開する中国企業の事例を分析し、国境を超えてビジネスを展開する難しさのみならず、楽しさや新たな可能性などについて学ぶ。なお、シラバスの順番は企業側の事情により変動することがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3、HTM1）

一般目標：将来において、企業組織とにおいて国際化と関わるあらゆる場面で必要となる基本的な知識の獲得とそれに対する自分なりの「モノの見方」を獲得することが最終目標となる。とくに、内なる国際化が求められる現代的なビジネス環境を 40 年以上にわたって生き抜くためには、日本の常識を知りながら常識にとらわれない思考スタイルが求められる。そのために必要とされる自分なりの「武器」を準備できることを目指していく。

個別目標：国際的なヒトの移動とビジネスの関わりについてイメージができること
国際的なモノの移動とビジネスの関わりについてイメージができること
国際的なカネの移動とビジネスの関わりについてイメージができること
国際的な情報の移動とビジネスの関わりについてイメージができること

▌履修条件

講義に出席していることを前提として講義は進行する。

また、毎回のミニレポートの提出を、明海大学の電子メールアカウントにて行える環境があること。

「武器」となる知識や思考のクセは発揮してみないと体得できないので、必ず事前準備を行う心構えが必要。

▌評価基準・方法

・講義での貢献　：45 点（3 点× 15 回）
・ミニレポート　：28 点（2 点× 14 回）
・レポートピアレビュー　：14 点 (1 点× 14 回)
・最終試験　：13 点

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは講義を通じて実施するので、質問や感想を毎週積極的に投稿することが望まれる

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを通じて学びを深めていきます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教場にて別途支持します。

▌参考書

講義中にその都度指定します。ただし、普段より Web や新聞雑誌等のメディアには関心を持って目を通しておくこと。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクションとガイダンス** 授業内容：講義全体のアウトラインと期待される取組姿勢、成績評価の基準等について説明します。 事前学修 0.5hr：講義概要をよく読み、企業の国際化について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 2.5hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
2 回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際①：メディカルツーリズム（検査）** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業（中国人経営者）の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 3.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
3 回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際②：メディカルツーリズム（治療）** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業（中国人経営者）の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 1.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
4 回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際③：保険・金融ビジネス** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業（中国人経営者）の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 3.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
5 回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際④：IT ビジネス** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業（中国人経営者）の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 1.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
6 回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑤：政府機関** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業（中国人経営者）の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 3.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
7 回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑥：人材ビジネス** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業（中国人経営者）の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 1.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
8 回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑦：エアライン** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業（中国人経営者）の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 3.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する

9回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑧：コンサルティングビジネス** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業(中国人経営者)の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 1.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
10回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑨：イノベーション支援機構** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業(中国人経営者)の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 3.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
11回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑩：試験・検査・認証ビジネス** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業(中国人経営者)の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 1.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
12回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑪：コングロマリットの日本法人** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業(中国人経営者)の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 3.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
13回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑫：法律サービス** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業(中国人経営者)の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 1.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
14回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑬：不動産投資** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業(中国人経営者)の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 3.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：この講義の総まとめとして、学んだ内容を実践に結びつけていくことについて議論をしながら、受講生が国際的に活躍するための気づきを促していく 事前学修 2.0hr：講義全体を通じて気づいた、国際ビジネスにおいて大切なことについて自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 4.0hr：最終試験に向けて全体の内容を復習する

経営戦略論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

白木　秀典（しらき　ひでのり）

▌授業の概要

このコースでは経営戦略の本質や基本概念を学び、企業活動における戦略の重要性を実例に照らしながら学習します。
授業の理解を高めるために、基本概念を学ぶ教材と具体的なケースを事前に配布して、予習をしてきてもらいます。レポート課題となることもあります。授業では適宜グループ・ディスカッションを取り入れます。ケースとしてはホスピタリティー＆ツーリズム業界を中心に学生の皆さんに馴染みのある企業を多く取り入れる予定です。経営戦略立案の分析ツールに親しんでもらうために、復習のレポート課題に取り組んでもらうこともあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：・経営戦略の概念とそのメカニズムを理解している。
・経営戦略の基本的な枠組み（フレームワーク）や分析ツールを理解している。
・戦略的な思考能力を包括的に習得している。
個別目標：・経営戦略の基本的な概念について説明することができる。
・経営課題に対応した概念や分析の基本ツールをあげることができる。
・分析の基本ツールを使って問題を整理し、解決策を論じることができる。

▌履修条件

自分の力で予習や復習に取り組むことができる。

▌評価基準・方法

・授業への参加姿勢と貢献度（30 %）
・レポート課題（30 %）
・期末テスト（40 %）

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは manaba や授業中の解説を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （事前に配布された教材を予習してくること）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中に manaba を通じてアクティブ・ラーニングを実施する）

▌教科書

特になし。

▌参考書

嶋口充輝、内田和成、黒岩健一郎編著『1 からの戦略論（第２版）』碩学舎、2016 年。
三枝 匡『決定版 戦略プロフェッショナル 戦略独創経営を拓く』KADOKAWA、2022 年。
名和高司『パーパス経営: 30 年先の視点から現在を捉える』東洋経済新報社 2021 年。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、戦略とは** 授業内容：経営戦略がどのようなものかについての概要を理解する。ケース：ＵＳＪ 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返る。復習レポートが課されている場合は manaba に提出する。
2回	**授業テーマ：業界の構造** 授業内容：ファイブフォーシズの理論を使って、企業経営における外部環境の影響について、業界の構造から考える。ケース：旅行代理店業界 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返る。復習レポートが課されている場合は manaba に提出する。
3回	**授業テーマ：取り巻く環境** 授業内容：自社の視点からその経営環境を PEST 分析、３ C 分析、SWOT 分析などのツールを使って分析する。ケース：トヨタ自動車 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返る。復習レポートが課されている場合は manaba に提出する。
4回	**授業テーマ：基本戦略** 授業内容：事業戦略を考える上で基本となる、競争優位性を構築した戦略の定石とその経済性について学ぶ。ケース：ホスピタリティー＆ツーリズム業界 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返る。復習レポートが課されている場合は manaba に提出する。
5回	**授業テーマ：製品ライフサイクル戦略** 授業内容：製品のライフサイクル理論とそのサイクルのステージ別の戦略について学ぶ。ケース：観光地 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返る。復習レポートが課されている場合は manaba に提出する。
6回	**授業テーマ：市場地位別戦略** 授業内容：競争戦略論においては、市場における地位によって採用する戦略が異なることを学ぶ。ケース：伊藤園 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返る。復習レポートが課されている場合は manaba に提出する。
7回	**授業テーマ：リソース・ベースド・ビュー** 授業内容：外部環境に関わりなく、他社にはない卓越した能力や資源が企業内部に蓄積されていることが競争力の源泉となるという考え方について学ぶ。ケース：富士フィルム 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返る。復習レポートが課されている場合は manaba に提出する。
8回	**授業テーマ：事業システム** 授業内容：顧客に価値を提供するビジネスの仕組みを、バリューチェーン（価値連鎖）の概念を使った分析で学ぶ。ケース：ユニクロ 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返る。復習レポートが課されている場合は manaba に提出する。
9回	**授業テーマ：事業領域** 授業内容：企業の事業領域について、それを設定する意義や決め方、成長に伴う変化について学ぶ。ケース：黒川温泉 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返る。復習レポートが課されている場合は manaba に提出する。

10回	**授業テーマ：成長戦略** 授業内容：事業の多角化など、企業が長期にわたって成長するために重要な成長戦略の考え方について学ぶ。ケース：楽天 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返る。復習レポートが課されている場合は manaba に提出する。
11回	**授業テーマ：資源展開** 授業内容：複数の異なった事業を持つ企業が、限りある資源をどのように配分していくのか、という戦略的課題について、PPM というキャッシュ・フローに焦点を当てた手法を使って考える。ケース：サントリー 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返る。復習レポートが課されている場合は manaba に提出する。
12回	**授業テーマ：戦略の社会的側面** 授業内容：SDGs が全世界の開発目標になってきている昨今、企業が社会的な責任を果たしながら、どのように戦略を策定していけばよいのか、について考える。ケース：キリン 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返る。復習レポートが課されている場合は manaba に提出する。
13回	**授業テーマ：組織構造** 授業内容：組織構造の具体的なモデルについての基本形を学び、組織と戦略の関係について考える。ケース：星野リゾート 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返る。復習レポートが課されている場合は manaba に提出する。
14回	**授業テーマ：組織文化** 授業内容：組織を機能させる「ソフト」としての組織文化がどのような役割を持つのか、そしてそれがどのように事業戦略と関係づけられるのか、について学ぶ。ケース：ウォルトディズニー 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返る。復習レポートが課されている場合は manaba に提出する。
15回	**授業テーマ：これまでのテーマを振り返る** 授業内容：これまで取り上げてきた経営戦略の様々なテーマを振り返り、それらがどのようにつながっているかを改めて確認する。 事前学修 2.0hr：事前配布教材を読んでテーマの基本概念を理解し、ケースについてのクラス討論に備える。予習レポートがある場合は提出する。 事後学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、要点をまとめておく。

サービス・マーケティング論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

上田　圭一（うえだ　けいいち）

▌授業の概要

本講義では、サービス産業におけるマーケティングの基礎理論（7P、SPC）から、デジタル時代の最新トレンド（SNS、OTA）までを体系的に学びます。さらに本年度は、従来のマーケティング論に加え、「従業員の感情労働」や「デザイン思考」、「カスタマーサクセス」といった視点を取り入れます。理論の習得に留まらず、顧客を「受動的な消費者」から「価値を共に創るパートナー（価値共創）」として捉え直す現代的な視点と、現場のリアリティに対応できる実践的な思考力を養います。

なお、指導環境や学生の希望などの状況により、内容が変更となる場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：サービス・マーケティングの専門知識を習得し、ホスピタリティ産業における課題を発見・解決するための論理的思考力を養う。

個別目標：サービス特有の概念（IHIP、7P、感情労働、価値共創など）を正しく理解し、説明できる。
サービス・プロフィット・チェーン（SPC）やデザイン思考などのフレームワークを用いて、企業の事例を分析できる。
デジタルマーケティング（SNS、OTA）やセルフブランディングの視点を持ち、自身のキャリア形成に応用できる。

▌履修条件

マーケティング全般に関心があり、ホスピタリティ産業での活躍や今後のキャリアプランに役立てたいと前向きに考えていること。
事前学習課題を履行すること。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とします。
発言・質問等授業への取り組み姿勢、最終発表・レポート提出等 (30%)、試験 (70%) の割合で総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う、または授業内で適宜行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義ごとに資料を配布します。

▌参考書

講義において適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス & サービス・ドミナント・ロジック（S-DL）** 授業内容：講義の全体像と評価方法の解説。従来の「モノ」中心の経済から、すべての経済活動を「サービス（価値共創）」として捉える S-DL への転換を解説します。「モノはサービスを提供する媒体に過ぎない」という視点を養います。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、サービス経済や価値共創について調べる 事後学修 2.0hr：講義の全体像を理解し、身近な「価値共創」の事例を考える
2回	**授業テーマ：マーケティング戦略の立案（STP と環境分析）** 授業内容：マーケティングの基本プロセス（R-STP-MM）の確認。3C 分析や SWOT 分析を通じた環境分析と、STP（セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング）の決定プロセスを、アスクルなどの事例を用いて振り返ります。 事前学修 2.0hr：事前配布資料（STP、環境分析関連）を読み込む。 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理し、STP のプロセスを復習する。
3回	**授業テーマ：マーケティング戦術の策定（4P/7P と PLC）** 授業内容：戦略を実行に移すためのマーケティング・ミックス。製品（Product）中心の 4P から、人（People）・プロセス（Process）・物的証拠（Physical Evidence）を加えたサービス特有の「7P」への拡張を解説します。 事前学修 2.0hr：事前配布資料（4P/7P、製品ライフサイクル関連）を読み込む。 事後学修 2.0hr：サービスにおける「7P」の重要性を整理する。
4回	**授業テーマ：ジョブ理論 ～顧客はなぜその商品を「雇用」するのか～** 授業内容：「ドリルではなく穴を売れ」を超え、顧客が特定の状況で片付けたい「用事（ジョブ）」を発見する手法。マクドナルドのミルクシェイク（朝の退屈しのぎ vs 休日の父親の罪滅ぼし）や、ユニリーバの事例から、イノベーションを予測可能にする思考法を学びます。 事前学修 2.0hr：事前配布資料（ジョブ理論、ミルクシェイク事例）を読み込む。 事後学修 2.0hr：自身の購買行動を「ジョブ」の視点で分析してみる。
5回	**授業テーマ：真実の瞬間（SAS）とサービス・エンカウンター** 授業内容：スカンジナビア航空（SAS）の事例を用い、顧客と従業員が接するわずか 15 秒の「真実の瞬間」が企業のブランドイメージを決定づけることを学びます。また、グッドマンの法則を通じて苦情対応の重要性を理解します。 事前学修 2.0hr：事前配布資料（SAS 事例、グッドマンの法則）を読み込む。 事後学修 2.0hr：顧客接点（エンカウンター）における成功と失敗の要因を考察する。
6回	**授業テーマ：顧客インタラクションと「おもてなし」の裏側内容** 授業内容：「すきやばし次郎」や高級フレンチの事例を通じ、サービスは単なる迎合ではなく、顧客との「闘い（対等な価値交換）」であるという視点（ヘーゲルの弁証法）を紹介します。「笑顔の省略」が逆に価値を高める逆説を学びます。 事前学修 2.0hr：事前配布資料（顧客インタラクション関連）を読み込む。 事後学修 2.0hr：高級サービスにおける顧客と提供者の関係性について論点を整理する。
7回	**授業テーマ：カスタマーサクセスとサブスクリプション** 授業内容：「売って終わり」のモデルから、顧客の成功を支援し続ける「カスタマーサクセス」への転換。Apple や Adobe の事例を交え、サブスクリプションモデルにおける解約（チャーン）防止と LTV（顧客生涯価値）の重要性を解説します。 事前学修 2.0hr：事前配布資料（カスタマーサクセス、サブスクリプション関連）を読み込む。 事後学修 2.0hr：サブスクリプションモデルの成功要因について整理する。
8回	**授業テーマ：マーケティング 4.0 とカスタマージャーニー** 授業内容：コトラーの提唱するデジタル時代のマーケティング。カスタマージャーニーが「5A（認知・訴求・調査・行動・推奨）」へ変化したこと、そしてゴールが「再購入」から「推奨（Advocacy）」へ変わったことを学びます。 事前学修 2.0hr：事前配布資料（マーケティング 4.0、5A 関連）を読み込む。 事後学修 2.0hr：自身の経験を基にカスタマージャーニーマップをイメージする。

9回	**授業テーマ：リテール 4.0 ～店舗はメディアになる～** 授業内容：「売る場所」から「体験する場所」へと変化するリアル店舗の役割。b8ta、蔦屋家電、ドン・キホーテ(ドーパミンが出る売り場)の事例から、ネット時代におけるリアル店舗の新たな価値定義を学びます。 事前学修 2.0hr：事前配布資料(リテール 4.0、店舗事例)を読み込む。 事後学修 2.0hr：リアル店舗に求められる「体験価値」について考察する。
10回	**授業テーマ：星野リゾートの戦略 ～運営特化と科学的経営～** 授業内容：「所有と運営の分離」を行い、マイケル・ポーターの競争戦略を実践する星野リゾートの戦略分析。サブブランド(OMO, BEB)の展開や、マルチタスクによる生産性向上など、教科書通りの戦略実行の強さを学びます。 事前学修 2.0hr：事前配布資料(星野リゾート事例)を読み込む。 事後学修 2.0hr：星野リゾートの競争優位性の源泉について整理する。
11回	**授業テーマ：ザッポス ～企業文化とコア・バリュー～** 授業内容：靴のネット通販ザッポスの「サービスを通して WOW を届ける」企業文化。コールセンターでの長時間対応や「赤い靴作戦」などの感動事例を通じ、マニュアルを超えたエンパワーメント(権限委譲)と企業文化の重要性を学びます。 事前学修 2.0hr：事前配布資料(ザッポス事例、コア・バリュー)を読み込む。 事後学修 2.0hr：企業文化がサービス品質に与える影響について考察する。
12回	**授業テーマ：四国管財とサービス・リカバリー** 授業内容：「苦情は宝(ラッキーコール)」と捉えるビルメンテナンス会社・四国管財の事例。従業員(クリーンキーパー)のモチベーション管理と、失敗を成功に変えるサービス・リカバリーの仕組み、「感度」の高い組織作りを学びます。 事前学修 2.0hr：事前配布資料(四国管財事例、サービス・リカバリー)を読み込む。 事後学修 2.0hr：失敗をロイヤルティ向上につなげるメカニズムを整理する。
13回	**授業テーマ：H2H マーケティングと SDGs** 授業内容：人間中心のマーケティング(Human to Human)と、SDGs（持続可能な開発目標)の関連性。Z 世代が選ぶ「倫理的な企業」の条件や、CSV（共有価値の創造)について学びます 事前学修 2.0hr：事前配布資料(H2H、SDGs 関連)を読み込む。 事後学修 2.0hr：マーケティングにおける企業の社会的責任について考察する。
14回	**授業テーマ：サービス・イノベーションとデザイン思考** 授業内容：デザイン思考のプロセス(共感・定義・概念化・試作・テスト)やダブル・ダイヤモンドモデルを用い、ゼロからイチを生み出すイノベーションの手法を学びます。 事前学修 2.0hr：事前配布資料(デザイン思考、イノベーション関連)を読み込む。 事後学修 2.0hr：ユーザー視点での問題解決アプローチを整理する。
15回	**授業テーマ：まとめと最終発表** 授業内容：講義全体の振り返り 事前学修 2.0hr：これまでの講義内容を総復習し、自身のキャリアへの応用を考える。 事後学修 2.0hr：試験準備

デスティネーション・マーケティング論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This lecture will be conducted in a synchronous online format.
The course analyzes different types of destinations and important current issues related to destination marketing. These issues include: developing a brand image, recovering from adverse events, handling controversial activities, adjusting to political and social changes, and dealing with ethical considerations. Through a careful analysis of these destinations and issues, students will be better prepared to understand and deal with marketing challenges from a more strategic and flexible perspective.This course will be conducted entirely online over 15 sessions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3、HTM1）

一般目標：This course will present current issues related to destination marketing.
個別目標：Students will expand their understanding of destinations, destination marketing organizations, and strategies to compete in the global tourism market.
Students will be able to analyze a destination in terms of the strategic marketing issues and challenges it faces.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class by reading the assigned material.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on attendance and participation (30%), assignments (30%), and final exam (40%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

No textbook required.

▌参考書

Readings will be provided by the instructor.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction and Course Preview** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review materials in the first class
2回	**授業テーマ：Historical Development of Tourism Business** 授業内容：Key developments in the development of mass tourism will be covered, with an emphasis on changes in technology. 事前学修 2.0hr：Think about historical development of tourism business 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand about the historical development
3回	**授業テーマ：Recent and Current Trends of Tourism Business (Economic Impact)** 授業内容：The current situation of global tourism will be covered, focusing on key statistical measures and current trends. 事前学修 2.0hr：Research about current trends and the economic impact of tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
4回	**授業テーマ：Recent and Current Trends of Tourism Business (Events, Olympics and Tourism)** 授業内容：The current situation of global tourism will be covered, focusing on several recent developments and events. 事前学修 2.0hr：Research about the recent and current trends of tourism business 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
5回	**授業テーマ：Controversial Issues in Tourism** 授業内容：Several controversial issues related to tourism will be covered, emphasizing the importance of politics and social impacts. 事前学修 2.0hr：Research about controversial issues in tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
6回	**授業テーマ：Poverty and Tourism** 授業内容：Poverty tourism (also called slum tourism) will be covered, along with other types of reality tourism. 事前学修 2.0hr：Research about the relationship between poverty and tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
7回	**授業テーマ：Accessible Tourism** 授業内容：The problems and promise of making tourism more accessible to handicapped, elderly, and other travelers, will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about accessible tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
8回	**授業テーマ：Destination Branding** 授業内容：Various examples of destination branding will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about destination branding 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
9回	**授業テーマ：Special topics** 授業内容：Special topics based on current issues and events and/or student feedback will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about special topics 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
10回	**授業テーマ：Ethical Travel and Destinations** 授業内容：Ethical destinations and ethical travel will be covered within the context of sustainable travel. 事前学修 2.0hr：Research about ethics and tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand

11回	**授業テーマ：Climate Change and Tourism** 授業内容：Travel and tourism as both contributor to, and victim of, climate change will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about the relationship between climate change and tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
12回	**授業テーマ：Overtourism** 授業内容：Recent examples of overtourism will be covered, with consideration of policies that can help destinations deal with the impacts of too much tourism. 事前学修 2.0hr：Research about overtourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
13回	**授業テーマ：Tourism Business and Technology: Key issues** 授業内容：Recent advances in information technology and their impacts on travel and tourism will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about the key issues between tourism business and technology 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
14回	**授業テーマ：Future directions and why we travel** 授業内容：Philosophical and psychological issues regarding the need for travel will be discussed, along with consideration of what they mean for the future of global travel. 事前学修 2.0hr：Research of future directions of tourism and what motivates people to travel 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
15回	**授業テーマ：Course Summary and Conclusion** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of the future of the global travel industry. 事前学修 3.0hr：Review all the topics covered by this course and pick up some questions 事後学修 3.0hr：Think about the future of these destinations and prepare for the final exam

デスティネーション・マネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This lecture will be conducted in a synchronous online format.
In this course, we will use Hawaii as a case study to understand the basics of destination management. Welcoming many visitors from around the world, Hawaii has become one of the most popular destinations in the world. Studying this world-class tourism destination will deepen your understanding of destination management through tourism organizations, policies, strategic planning, development, and issues. The final goal is to understand the importance of managing the destination and how to become sustainable.This course will be conducted entirely online over 15 sessions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3、HTM1）

一般目標：Through the tourism business in Hawaii, you will be able to understand important factors in destination management.
In addition, you can deepen your knowledge through various issues and problems in tourism business.
個別目標：After taking this course you will be able to understand well about,
1) tourism policies and planning
2) promotion and marketing strategies
3) tourism issues and problems
4) sustainability

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class by reading the assigned material.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on attendance and participation (30%), assignments (30%), and final exam (40%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

No textbook required.

▌参考書

Readings will be provided by the instructor.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction and Course Preview** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Read the syllabus and class schedule 事後学修 2.0hr：Preparing for all of this course
2回	**授業テーマ：Geographical and Historical Overview of Hawaii** 授業内容：The geography and history of Hawaii will be briefly reviewed, including: major destination areas, primary natural features and attractions, and key historical developments. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
3回	**授業テーマ：Development of the Tourism Business, 1900-present** 授業内容：The early development of tourism will be examined, with emphasis on key factors that enabled Hawaii's tourism industry to expand. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
4回	**授業テーマ：Government Policy and Planning for Tourism** 授業内容：The role and actions of the Hawaii Tourism Authority will be covered, including: source of funding, key areas of responsibility, and current issues. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
5回	**授業テーマ：Strategic Issues for Tourism** 授業内容：Tourism's role in contributing to important social, environmental, and political challenges will be examined. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
6回	**授業テーマ：Current Profile of the Industry: Demand** 授業内容：Understanding tourism from the perspective of the visitor/customer, based primarily on survey results, will be covered. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
7回	**授業テーマ：Current Profile of the Industry: Supplier** 授業内容：Understanding tourism from the perspective of the local resident will be covered, emphasizing the role of the industry in generating jobs and social impacts. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
8回	**授業テーマ：Economic Impact of Tourism** 授業内容：The role of tourism as the most important industry in Hawaii's economy will be discussed, including historical and current alternatives to the tourism industry. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture

9回	**授業テーマ：Market Research** 授業内容：Hawaii’ s major geographic and demographic markets will be covered, along with brand marketing methods and strategies. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
10回	**授業テーマ：Branding** 授業内容：Hawaii’ s major geographic and demographic markets will be covered, along with brand marketing methods and strategies. (Part 2) 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
11回	**授業テーマ：Product Development: Natural Resources** 授業内容：Key issues and challenges related to Hawaii’ s natural resources and their use as tourist attractions will be covered. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
12回	**授業テーマ：Product Development: Cultural Resources** 授業内容：Key issues and challenges related to Hawaii’ s cultural resources and their use as tourist attractions will be covered. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
13回	**授業テーマ：Product Development: Major Events** 授業内容：Major festivals and events that enhance Hawaii’ s image and attractiveness will be studied, focusing on those that receive public funding. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
14回	**授業テーマ：Media Images** 授業内容：A brief examination of how Hawaii’ s image has been created and maintained over the years by companies and popular media, especially movies and tv shows. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
15回	**授業テーマ：Course Summary and Conclusion** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of destination management of other tourism destinations. 事前学修 2.0hr：Review all articles in this course. 事後学修 3.0hr：Prepare for the final exam

ヒューマンリソースマネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

久保田　英男（くぼた　ひでお）

▌授業の概要

変化や多様性を求められる現代、人的資源が組織において目標を達成するキーポイントとなります。業務環境に素早く適応でき、組織の中で効率よく、かつ実践的に活性化するための人材マネジメントが求められ、ここでは人事システム、人材育成など、人材マネジメントとは何かを基礎から学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：人材を育成し、円滑な組織運営をするために有用な手法や事例を学び、実社会にでた際にその知識を活かせる基礎的知識を習得します。

個別目標：1. ヒューマンリソースマネジメントと労務管理の違いを理解する。

2. 目標達成にむけたマネジメントのメカニズムを理解する。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

評価は、授業・課題に取り組む姿勢 30%、テスト 70 %を基準に総合的に判断する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム”manaba”を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （1～2回程度、少人数でのグループワークを実施予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし (授業毎に関連資料を配布又は配信します)

▌参考書

なし

前年度まで「人材マネジメントの基本 (HR インスティテュート著/三坂健編著者) 日本実業出版社」を指定図書としていました。(購入必要はありませんが、興味ある方は参考になさって下さい)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ヒューマンリソースマネジメント (HRM) で学ぶこと** 授業内容：「ヒューマンリソースマネジメント」とはどのようなことをテーマとするのか。この講義の紹介をします。各講義の簡単な説明と授業の進め方や課題・試験などについてもガイダンスします。 事前学修 2.0hr：テーマから概要をイメージしてみましょう 事後学修 2.0hr：この授業で学ぶ内容を整理し、学修計画を立てましょう
2回	**授業テーマ：労務管理とヒューマンリソースマネジメント** 授業内容：企業・組織内において様々な部門分野と密接に関わっています。それらの各々の役割、機能や期待される成果などの違いを比較しつつ、人材マネジメント (HRM) とはどのようなマネジメントかを描いてみます。 事前学修 2.0hr：労務管理と人材マネジメントの違いとは何か調べ、考えてみましょう 事後学修 2.0hr：労務管理と人材マネジメントの違いを明確にし、人材マネジメントの目的について考えましょう
3回	**授業テーマ：日本ビジネス社会における人材マネジメントの特徴と歴史** 授業内容：日本におけるビジネス社会の人材マネジメントの来歴からその特徴を理解し、これからの日本の人材マネジメントがどのように変化していくのか考えてみます。 事前学修 2.0hr：戦後の日本ビジネス社会の人材管理のイメージしてみましょう 事後学修 2.0hr：昭和の日本ビジネス環境が、現代に及ぼす影響を考えてみましょう
4回	**授業テーマ：人材マネジメントの役割と目的** 授業内容：人材マネジメント (HRM) は、企業・組織内においてどの様な役割を果たすべきなのか、人材マネジメントの目標・目的はどのように設定するのかを通じ、HRM に期待される成果とは何かを考えていきます。 事前学修 2.0hr：人材マネジメントの目的とは何か考えてみます 事後学修 2.0hr：人材マネジメントの役割から導き出されるこのマネジメントの目的・目標について考えてみましょう
5回	**授業テーマ：目標管理** 授業内容：目標管理とは、どのようなことを指すのか、目標を達成するためにどのような手法が有効であるのか、を具体例などより学びます。 事前学修 2.0hr：目標を達成するためになにをすればよいのか考えましょう 事後学修 2.0hr：実際に自分自身の目標を管理してみましょう
6回	**授業テーマ：人材を育成する** 授業内容：人材の育成方法、手法を事例を紹介し、実際にグループワークを通じて疑似体験をしてみます。 事前学修 2.0hr：「OJT」とは何か調べてみましょう 事後学修 2.0hr：人材育成の手法を復習し、効果的に実施する方法を考えてみましょう
7回	**授業テーマ：人材の評価 (評価の役割)** 授業内容：人材を評価するとは、どういうことなのか。また、それが目標達成など経営戦略に果たす役割について考えます。 事前学修 2.0hr：なぜ評価が人材育成になるのか考えてみましょう 事後学修 2.0hr：経営戦略において人事評価はどのような役割を果たしているのか、整理しましょう
8回	**授業テーマ：人材の評価方法** 授業内容：プロセス評価「KPI マネジメント」などについて学びます。 事前学修 2.0hr：評価の目的とは何かを前回授業より考えてみましょう 事後学修 2.0hr：人材マネジメントにおいて「評価」はどのような効果をもたらすのか考えてみましょう
9回	**授業テーマ：人材を活用する** 授業内容：企業組織の人的リソースの活かし方について学びます。 事前学修 2.0hr：人材を活用するとはどのようなことを指しているか、自分の就職活動等を振り返り考えてみます 事後学修 2.0hr：人材の活用できる望ましい環境とは、考えてみましょう
10回	**授業テーマ：組織をデザインする** 授業内容：人材を有効に、そして、より効果的に快適に活躍できる組織を作るにはどのようなことが重要であるかを考えます。 事前学修 2.0hr：「組織をデザインする」とはどのようなことなのでしょう、これまでの知識から自分でイメージしてみましょう 事後学修 2.0hr：「適材適所」の見つけ方とはどのようにすればよいのか考えてみましょう

11回	**授業テーマ：HRM におけるリスクマネジメント** 授業内容：ヒューマンリソースマネジメント (人材マネジメント) において注意しなければならないリスクについて考えます。 事前学修 2.0hr：人材マネジメントにおけるリスクを考えます 事後学修 2.0hr：リスクが起きないようにする、回避するには、などリスクマネジメントについてまとめてみましょう
12回	**授業テーマ：人材開発 (人員配置・採用など)** 授業内容：人材の獲得手法やその変化について学び、その対応と新しい変革への対応を考えます。 事前学修 2.0hr：人材の獲得方法にはどのようなものがあるか調べましょう 事後学修 2.0hr：人材開発の新しいアイデアを考えてみましょう
13回	**授業テーマ：円滑な人間関係を保ち、チームを活性化する** 授業内容：組織の中での人間関係を良好に保つことは、業務遂行の上で重要な要素であり、チームの活性化につながります。その手法や注意点などを簡単なグループワークを通じて学びます。 事前学修 2.0hr：職場における良好な人間関係とは何か考えましょう 事後学修 2.0hr：個人とチームの関係性や価値について考えてみましょう
14回	**授業テーマ：目標を達成する為に** 授業内容：組織の目標を達成するために「適材適所」そして個の成長と組織の成功へ導く理想の人材マネジメントとはどのようなものかを考えます。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り人材マネジメントの役割と期待される効果を整理します 事後学修 2.0hr：目標達成のために個人と組織はどのように連携すべきか考えてみましょう
15回	**授業テーマ：まとめ/これまでの内容を振り返る** 授業内容：これまでの授業を振り返り「ヒューマンリソースマネジメントとは」をまとめます。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、分からない点、もう少し深く知りたい内容などを整理しておきましょう 事後学修 2.0hr：これまでの内容を総合的に復習して、体系的にまとめましょう

ヒューマンリソースマネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

かつての「会社が社員を一生守る」時代は終わり、現代は企業と個人が互いに選び合う「対等な信頼関係」の時代へと変化しています。これからの社会で求められるのは、組織にぶら下がるのではなく、自律的に価値を提供する「プロフェッショナル」です。 本講義では、企業が経営戦略を実現するためにどのような意図で「等級・評価・報酬」というシステムを設計し、「異動・代謝」によって組織を動かしているのかを解き明かします。その「経営の論理」を理解することで、組織に対する深い洞察力を養い、環境変化に適応して自らを「人的資本」として磨き続けるためのマインドセットを養います。なお、指導環境や学生の希望などの状況により、内容が変更となる場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：人材マネジメントが経営戦略を支える「一貫性」のあるシステムであることを理解し、企業と個人が対等な「対等な信頼関係」を結ぶための視座を養うことを確立します。

個別目標：システムの理解： 等級、評価、報酬、リソースフロー（採用・代謝）、人材開発、組織開発の各機能と、それらが「一貫性」を持って設計されていることを体系的に理解し、その意図を説明できる。
プロフェッショナルの覚悟： 日本型雇用の特徴（ポスト可変契約など）と限界を構造的に理解した上で、組織に「依存」するのではなく、企業と「対等な信頼関係」を結ぶプロフェッショナルとして、自らを投資価値のある「人的資本」へと高めるためのマインドセットを習得する。

▌履修条件

HR（ヒューマンリソース）に興味があり、プロフェッショナルとして能力を高めたい学生。
事前学習課題を履行すること。

▌評価基準・方法

・講義での貢献　：30 点（2 点× 15 回）
・manaba /respon 等での貢献　：14 点 (1 点× 14 回)
・ミニレポート　：28 点（2 点× 14 回）
・レポートピアレビュー　：14 点 (1 点× 14 回)
・最終試験　：14 点

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは講義を通じて実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義ごとに資料を配布します。

▌参考書

講義にて、適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業内容：ヒューマンリソース全般、本講義の運営方針、評価・出席の取り扱いを解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、講義内容を確認する。 事後学修 2.0hr：講義の全体像を理解する。
2回	**授業テーマ：プロフェッショナルへのパラダイムシフト** 授業内容：組織は「家族」から「対等な信頼関係（アライアンス）」へ変化しています。自立（Independence）を超えた「自律（Autonomy）」の重要性を解説します。 事前学修 2.0hr：「会社にとって良い人材とは何か」を考える 事後学修 2.0hr：プロフェッショナルとしての覚悟を整理する。
3回	**授業テーマ：キャリアの羅針盤と航海術** 授業内容：自身の譲れない軸（キャリア・アンカー）と、偶発的な出来事を味方につける柔軟性（プランド・ハップンスタンス）について解説します。 事前学修 2.0hr：仕事選びで譲れない価値観を考える。 事後学修 2.0hr：自身のキャリア観を言語化する。
4回	**授業テーマ：採用の裏側と「提案書」としての ES** 授業内容：エントリーシートは自分語りではなく、企業への「企画書（提案書）」です。採用の構造と、相手（企業）の論理を理解する方法を解説します。 事前学修 2.0hr：面接で聞かれるであろう質問を振り返る。 事後学修 2.0hr：企業視点で「採用したい人物像」を整理する。
5回	**授業テーマ：組織の骨格「等級」** 授業内容：授業内容：人材マネジメントの方針を具現化した骨格である「等級」。職能・職務・役割等級の違いと、自身の市場価値の測り方を解説します。 事前学修 2.0hr：年次や役職で役割がどう違うか考える。 事後学修 2.0hr：等級制度が組織に与える影響を整理する。
6回	**授業テーマ：人事評価の「ものさし」** 授業内容：評価は「納得感」と「行動変革」のためにあります。MBO（目標管理）やコンピテンシー評価の仕組みと、組織が求める成果・行動について解説します。 事前学修 2.0hr：「仕事ができる人」の行動特性を挙げる。 事後学修 2.0hr：評価基準と自身の行動のギャップを整理する。
7回	**授業テーマ：報酬と「契約」の正体** 授業内容：賃金・退職金は、労働の対価であると同時に、長期勤続を促す「拘束具（リテンション）」でもあります。報酬の決定ロジックを解説します。 事前学修 2.0hr：給料は何に対して支払われるべきか考える。 事後学修 2.0hr：日本の賃金制度の特徴を整理する。

8回	**授業テーマ：組織の「代謝」と異動** 授業内容：日本企業特有の「ポスト可変契約」と、組織の自浄作用としての「代謝(退職・異動)」のメカニズムについて解説します。 事前学修 2.0hr：「配属ガチャ」はなぜ起きるのか考える。 事後学修 2.0hr：異動が持つ育成機能を整理する。
9回	**授業テーマ：人材開発と経験学習** 授業内容：企業は「資源」ではなく「資本」に投資します。7 割を占める「経験」からの学習サイクル(コルブ・モデル)について解説します。 事前学修 2.0hr：過去の経験から何を学んだか振り返る。 事後学修 2.0hr：経験を学びに変えるプロセスを整理する。
10回	**授業テーマ：組織開発(チームビルディング)** 授業内容：個人の寄せ集めを「チーム」に変える組織開発。関係性の質を高め、タックマンモデル等の理論を用いた介入手法を解説します。 事前学修 2.0hr：良いチームと悪いチームの違いを考える。 事後学修 2.0hr：関係性への働きかけ方を整理する。
11回	**授業テーマ：チェンジマネジメント** 授業内容：組織は慣性により変化に抵抗します。レヴィンの変革モデル(解凍・変革・再凍結)や 7S を用い、変革を推進する手法を解説します。 事前学修 2.0hr：新しいルールに抵抗した経験を振り返る。 事後学修 2.0hr：変革の阻害要因と対処法を整理する。
12回	**授業テーマ：ダイバーシティとインクルージョン** 授業内容：同質性の罠と多様性の力。無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)に気づき、異質な他者への「共感」と「思いやり」を組織の力に変える方法を解説します。 事前学修 2.0hr：自分と合わない人と働く意味を考える。 事後学修 2.0hr：多様性が競争力になる理由を整理する。
13回	**授業テーマ：欧米と日本の雇用システム** 授業内容：ジョブ型(欧米)とメンバーシップ型(日本)の本質的な違いと、これからの雇用システムの行方について解説します。 事前学修 2.0hr：ジョブ型雇用のメリット・デメリットを考える。 事後学修 2.0hr：日本型雇用の課題と未来を整理する。
14回	**授業テーマ：人的資本経営** 授業内容：「人はコストではなく投資対象の資本である」。人材への投資対効果(ROI)や、経営戦略と人材戦略の「一貫性」について解説します。 事前学修 2.0hr：自分は投資価値のある「資本」か考える。 事後学修 2.0hr：人的資本経営の重要性を整理する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：全体の振り返りを行います。(試験対策：講義全体を通じた論点の統合と理解確認) 事前学修 2.0hr：講義全体を振り返り疑問点を洗い出す。 事後学修 2.0hr：試験準備。

リスクマネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

久保田　英男（くぼた　ひでお）

▌授業の概要

事故やトラブルは未然に防げることができるものでありながら、その要因を認識せず見逃し、発生してしまうと、時間・労力・費用などだけではなく企業の倒産など大きな損害になることがあります。ここでは、リスクマネジメントの基礎、要因 (リスク) とは何かなどを学び、日常に潜むエラーを回避等する方法を学び、発生しても迅速に対応し損害を最小限に抑え、素早く事業復旧・継承できるよう、様々な事例なども交え学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：様々なリスクを理解し、事故を未然防ぐ能力や知識、そしてリスク対処できる力を養うとともに、危機管理や事業継続に関する基礎的な知識の習得を目標とする。

個別目標：1. リスクを察知し、未然に回避・対応できる手法を取得する。
2. リスクマネジメントのメカニズムを理解する。
3. 危機管理・事業継続計画 (BCP) などを理解する。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

評価は、授業・課題に取り組む姿勢 30%、テスト 70 %を基準に総合的に判断する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム”manaba”を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （少人数グループワーク (１～２回程度) を実施予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし (必要に応じて資料の配布または配信)

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション/ガイダンス** 授業内容：「リスク」とは何か、「リスクを管理する」にはどうすればよいのか。本講義内容の紹介と概要を説明します。 事前学修 2.0hr：「リスク」とは何か考えてみましょう 事後学修 2.0hr：日常における「リスク」を探してみましょう
2回	**授業テーマ：リスクマネジメントの概念** 授業内容：「リスクマネジメント」とは、どのようなことを指し、何のために必要なのか、その目的像をイメージさせます。 事前学修 2.0hr：何故「リスクマネジメント」の必要なのでしょうか、考えてみて下さい 事後学修 2.0hr：目標達成とリスクマネジメントの関連性について考えてみましょう
3回	**授業テーマ：危機管理とリスク管理** 授業内容：危機管理とリスクマネジメントとの違いを理解します。 事前学修 2.0hr：危機管理とリスク管理の違いを考えてみましょう 事後学修 2.0hr：危機管理とは何をするものであり、何を何から守るのかを考えましょう
4回	**授業テーマ：リスクの定義と管理対象** 授業内容：何を目的としたリスクマネジメントであるかを、明確にしなくてはなりません。管理すべきリスクとは何か、その対象となるものの考え方を今回は学びます。 事前学修 2.0hr：リスクマネジメントで管理するものは何か考えましょう 事後学修 2.0hr：何をもって「リスク」とするのか、様々な状況や環境で考えてみましょう
5回	**授業テーマ：リスクマネジメントの全体像** 授業内容：リスクマネジメントを実践するにあたり、その準備から実行までのフローを考えていきます。 事前学修 2.0hr：どのようにリスクをマネジメントするのか考えましょう 事後学修 2.0hr：実際の業務環境を想定してリスクマネジメントのフローを作ってみましょう
6回	**授業テーマ：基本方針・基本計画の策定** 授業内容：リスクマネジメント実行のステップとして、まず何を目的、目標としているのかを整理し、管理する対象を探し出す、ということについて学びます。 事前学修 2.0hr：リスクマネジメントは何のために必要なのでしょうか、考えましょう 事後学修 2.0hr：リスクマネジメントの目的と目標を考えてみましょう
7回	**授業テーマ：リスクアセスメントとは** 授業内容：目的・目標から管理すべき対象を明確にして計画作ります。さらにその達成の障害となるリスクを洗い出していくところまでを学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業より目標を達成する方法を探してみましょう 事後学修 2.0hr：計画策定の手順から仮想の計画を作成しましょう
8回	**授業テーマ：リスク管理の実施** 授業内容：基本方針・基本計画の策定、そして特定されたリスクに対し、どのようなマネジメントを行いリスクに備えるのかを考えます。 事前学修 2.0hr：リスクマネジメントの PDCA サイクルについて調べてみましょう 事後学修 2.0hr：リスクマネジメントを実施するに際し、注意すべき点をまとめましょう
9回	**授業テーマ：リスクマネジメントの評価** 授業内容：PDCA サイクルの中で、リスクマネジメント活動が形骸化しないように評価するにはどうのようにするのが良いのか考えます。 事前学修 2.0hr：リスクマネジメントをどのように評価するか自分の考えをまとめてみましょう 事後学修 2.0hr：リスクマネジメントが形骸化しないために何をしたらよいのか考えてみましょう
10回	**授業テーマ：全社的リスクマネジメント (ERM)** 授業内容：全社的リスクマネジメントとはどのようなものか、COSO-ERM や ISO31000 などから学びます。 事前学修 2.0hr：組織の中でリスクマネジメントの実務とは何か考えましょう 事後学修 2.0hr：全社的リスクマネジメントの概要を整理しましょう

11回	**授業テーマ：事業継続計画** 授業内容：「事業継続計画」とは何か、リスクマネジメントとの関係性やその役割とは。近年、注目重要視されている「事業継続計画」について学修します。 事前学修 2.0hr：「事業継続計画」について調べましょう 事後学修 2.0hr：「事業継続計画」の必要性について考えてみましょう
12回	**授業テーマ：企業をとりまく様々なリスク** 授業内容：現代社会における企業や組織における様々なリスクについて事例を交えて学びます。 事前学修 2.0hr：企業や組織にとって注意すべきリスクとはどのようなものがあるか考えましょう 事後学修 2.0hr：授業で上げられた事例の事故が発生しないためにどのようなリスクマネジメントがあればよかったのか考えてみましょう
13回	**授業テーマ：日常で注意すべきリスク** 授業内容：自分自身がミスやエラーを起こさないようにするために、また、現代社会にある様々なリスクについて知り、自分の周囲の危機を回避できる手段・手法のヒントを学びます。 事前学修 2.0hr：直近の自分自身のミスやエラーを思い出し、その前後の行動を振り返ってみましょう 事後学修 2.0hr：日常の環境で注意すべきリスクをリストアップしてみる
14回	**授業テーマ：効果的なリスクマネジメント** 授業内容：総合的にリスクマネジメントを振り返り、効果的なリスクマネジメントについて考えます。 事前学修 2.0hr：リスクを管理する必要性を改めて考えてみます 事後学修 2.0hr：企業戦略におけるリスクマネジメントの重要性についてまとめましょう
15回	**授業テーマ：まとめ/これまでの内容を振り返る** 授業内容：第１回～第 14 回授業を振り返り「リスクマネジメント」についてまとめます。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、分からない点、もう少し深く知りたい内容などを整理しておきましょう 事後学修 2.0hr：これまでの内容を総合的に復習して、体系的にまとめましょう

交通経済システム論 A

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

宮田　淳（みやた　じゅん）

▌授業の概要

現代の我々の日常生活に密接な関わりを持ち、また国際未来社会での重要性が増しつつある交通問題について、最新の事例等を毎週配布するプリントにより紹介、またその裏付けとなる基礎理論から、現代の交通の諸問題や、将来の可能性などを広く学びます。
Manaba 上に講義前日には当日配布用プリントと当日分の講義資料をアップします。
講義の前半部分は、プリントに沿って講義を行う。後半は、講義資料に基づき【授業内容】の中から講義を行います。
講義は録画し、後ほど manaba にリンクをアップします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：航空・空港、鉄道、バス、道路、自動車などの交通に対して興味を持って接することができるようになることを目標とします。
個別目標：1. 社会で当たり前に興味を持って話されている常識的な知識レベルに達すること
2. 交通に関する諸問題について、自身で問題提起出来るようになること
3. 交通に関する諸問題の解決策、ひいてはその他の諸問題解決における応用力を身につけること

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

講義への準備と理解（資料・講義動画のチェック等）、講義参加、課題提出によって総合的に評価します。
※成績評価には、4/5 以上の出席が必要。
（就職活動、課外活動など特別の理由がある欠席については manaba 個別指導コレクションにて相談してください。）

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （講義内プリントの閲覧、用語検索など）

▌教科書

manaba にアップするプリント・講義資料による

▌参考書

新聞各紙、経済誌など

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：授業内容ガイダンス（毎回出席を取ります）** 授業内容：第 1 回目の授業では、これからの授業のガイダンスを行います。授業の進め方、課題の提出方法、評価の仕組みなどについて説明します。 『配付プリント』は、最新の交通市場の事例の他に、就職を目前に控える学生の皆さんに是非知っておいてもらいたい日経平均株価をはじめとした市場の動向や為替、そして交通産業の個別銘柄株価などの動きをお伝えしていきます。 このプリントについては、毎週レポート形式で課題を提出してもらいます。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
2 回	**授業テーマ：交通産業にも市場(いちば)があるのか？** 授業内容：「市場」と「市場メカニズム」について学びます。 皆さんが学ぶ交通経済では、交通産業という特殊な市場のことを学びます。なぜ特殊なのか、他の産業とどのように違うのかなどの基礎的なことを理解することを今回の目標にします。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
3 回	**授業テーマ：売る人も買う人も満足する市場** 授業内容：「生産者余剰」「消費者余剰」について学びます。 完全競争市場で売る人と買う人の両方が目指す状態を学び、一般的な市場の特性を理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
4 回	**授業テーマ：情報に偏りがある競争** 授業内容：「交通産業における代表的な事例(情報の不完全性・非対称性)」について学びます。 パレート最適が達成されない事例を学び、交通市場の特性を理解することを目的とします。 また、授業の前半では、毎週配布するプリントを読み、現代の交通問題への理解を深めていきます。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
5 回	**授業テーマ：大企業との競争に勝ち目はあるか** 授業内容：「交通産業における代表的な事例(規模の経済)」について学びます。 パレート最適が達成されない事例を学び、交通市場の特性を理解することを目的とします。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
6 回	**授業テーマ：開発によって得をする人・損をする人** 授業内容：「交通産業における代表的な事例(外部経済・外部不経済)」について学びます。 パレート最適が達成されない事例を学び、交通市場の特性を理解することを目的とします。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
7 回	**授業テーマ：公共性ってどういう意味？** 授業内容：「交通産業における代表的な事例(公共財・準公共財の供給)」について学びます。 市場の失敗の 4 つめの事例について理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習

8回	**授業テーマ：他人の利益は自分の不利益** 授業内容：「外部性の内部化方策」について学びます。 以前の講義で学んだ「外部性」の事例への対策方法について解説します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
9回	**授業テーマ：その規制は時代に合っていますか？** 授業内容：「新しい規制」について学びます。 時代にマッチした新しい規制のスタイルについて理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
10回	**授業テーマ：規制の中でも競争をさせる** 授業内容：「競争入札」について学びます。 新しい時代の規制の具体的手法について理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
11回	**授業テーマ：インフラ整備で利益を得る** 授業内容：「インフラ整備予算を捻出する方法」について学びます。 外部性の内部化として学んだ開発利益の問題についてより具体的に理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
12回	**授業テーマ：通学・通勤手段の特徴 (1)** 授業内容：「交通手段のタイプ」について学びます。 普段皆さんが使用している交通手段の特徴や新しい交通手段などを紹介します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
13回	**授業テーマ：通学・通勤手段の特徴 (2)** 授業内容：先週に引き続き「交通手段のタイプ」について学びます。 交通手段を分類分けして、交通手段が選ばれる際、需要面、供給面それぞれどのような理由があるかを紹介します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
14回	**授業テーマ：インフラ整備の限界 (1)** 授業内容：『新しい交通渋滞の解消手法』について学びます。 新しい混雑緩和の手法を学びます。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
15回	**授業テーマ：インフラ整備の限界 (2)** 授業内容：先週に引き続き『新しい交通渋滞の解消手法』を学びます。 新しい混雑緩和の手法を学びます。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習

交通経済システム論 B

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

宮田　淳（みやた　じゅん）

▌授業の概要

現代の我々の日常生活に密接な関わりを持ち、また国際未来社会での重要性が増しつつある交通問題について、最新の事例等を毎週配布するプリントにより紹介、またその裏付けとなる基礎理論から、現代の交通の諸問題や、将来の可能性などを広く学びます。
manaba 上に講義前日には当日配布用プリントと当日分の講義資料をアップします。
講義の前半部分は、プリントに沿って講義を行う。後半は、講義資料に基づき【授業内容】の中から講義を行います。
講義は録画し、後ほど manaba にリンクをアップします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：航空・空港、鉄道、バス、道路、自動車などの交通に対して興味を持って接することができるようになることを目標とします。
個別目標：1. 社会で当たり前に興味を持って話されている常識的な知識レベルに達すること
2. 交通に関する諸問題について、自身で問題提起出来るようになること
3. 交通に関する諸問題の解決策、ひいてはその他の諸問題解決における応用力を身につけること

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

講義への準備と理解（資料・講義動画のチェック等）、講義参加、課題提出によって総合的に評価します。
※成績評価には、4/5 以上の出席が必要。
（就職活動、課外活動など特別の理由がある欠席については manaba 個別指導コレクションにて相談してください）

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （講義内プリントの閲覧、用語検索など）

▌教科書

manaba にアップするプリント・講義資料による

▌参考書

新聞各紙、経済誌

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：授業内容ガイダンス（毎回出席を取ります）** 授業内容：この講義では授業の全般に『配付プリント』を紹介し、最新の交通市場の事例を解説を行いながら学んでいきます。この『配付プリント』については、毎週配付し、課題を出しますので Manaba 内のレポート形式で提出してもらいます。 『配付プリント』は、最新の交通市場の事例の他に、就職を目前に控える学生の皆さんに是非知っておいてもらいたい日経平均株価をはじめとした市場の動向や、為替、そして航空産業や鉄道事業など交通産業の個別銘柄株価などの動きをお伝えしていきます。第 1 回目は、前期の授業最終日のデータと比較する形でグラフにして掲載してあります。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
2 回	**授業テーマ：交通の需要はなぜ決まるのか（交通需要を決定する要因）** 授業内容：交通の需要はなぜ決まるのか学びます。 交通という特殊な市場において、その需要がどのような理由によって変動するのかを理解します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
3 回	**授業テーマ：運賃の値上げと需要の落ち込み（交通需要の価格弾力性）** 授業内容：運賃の値上げと需要の落ち込みについて学びます。 「弾力性」とは、「価格弾力性」とは、そして「需要の価格弾力性」とは何なのか、そして、「交通需要の価格弾力性」にはどのような傾向があるのかを理解します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
4 回	**授業テーマ：運賃にはどのような目的があるのか（運賃の機能と目的）** 授業内容：運賃にはどのような目的があるのかを学びます。 そもそも運賃とは何なのか、根本を理解するとともに、その機能と目的について理解していきます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
5 回	**授業テーマ：今の時代にマッチした規制** 授業内容：今の時代にマッチした規制について学びます。 規制緩和が進められる近年において、規制の緩和だけが現代にあった方法ではなく、新しい規制の形があることを学んでいきます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
6 回	**授業テーマ：交通サービスの生産費用とは** 授業内容：第 6 回目の授業では、『講義資料』を使い、「交通サービスの生産費用（総費用、平均費用、限界費用）」について学びます。 経済学で学ぶ総費用曲線、平均費用曲線、限界費用曲線について、具体的な交通産業においてはどのような形になるのかを学びます。また、鉄道事業やバス事業などの具体の交通サービスに当てはめた場合、生産量の決定にどのような意思判断になるのかを学んでいきます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
7 回	**授業テーマ：格安航空券のカラクリ** 授業内容：「格安交通券のカラクリ」について学びます。 国内の航空運賃、国際航空運賃について学び、続いて馴染み深い旅行代理店による格安航空券の仕組みについて理解します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作

8回	**授業テーマ：航空会社が販売する格安航空券** 授業内容：「航空会社が販売する格安航空券」について学びます。 旅行代理店に依存することなく、航空会社が直販できる時代が到来しました。それぞれの顧客が求めている航空券を適切に購入させるよう仕向けるために航空会社は会社にとって有利な条件を付して航空券を販売しました。この航空会社にとって有利な条件とは一体何か学びます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
9回	**授業テーマ：マイレージプログラムと座席管理** 授業内容：「マイレージプログラムと座席管理」について学びます。 航空機を満席にして運航するために様々な努力をしていますが、今回は、他の航空会社との連携と座席管理手法について学びます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
10回	**授業テーマ：航空憲法によって大きく成長した航空市場** 授業内容：「航空憲法によって大きく成長した航空市場(国内航空産業の歴史)」について学びます。 日本の航空産業の生い立ちから、現在に至るまで様々な出来事を時代を追いかけながら学びます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
11回	**授業テーマ：アメリカの航空戦争** 授業内容：「アメリカの航空戦争(米国の航空産業の歴史)」について学びます。 アメリカ国内の航空産業に対する規制から、規制緩和などを紹介します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
12回	**授業テーマ：ハブ空港神話の崩壊 (1)（ハブスポークシステム）** 授業内容：「アメリカの航空戦争(米国の航空産業の歴史)」について学びます。 航空産業に対する規制緩和後に起こった国内各社の激しい争いや、競争の中で生まれた効率的な輸送体制などについて紹介します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
13回	**授業テーマ：ハブ空港神話の崩壊 (2)（ハブスポークシステム）** 授業内容：先週に引き続き「ハブ空港神話の崩壊」について学びます。 アメリカ国内の競争から生まれた効率的な輸送体制は世界を巻き込んでいきました。 アジア各国の航空産業・空港事業の現況と日本を比較検討してみます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
14回	**授業テーマ：新たな交通インフラ (1)（MaaS）** 授業内容：MaaS について学びます。 サービスとしての交通(MaaS)とは何か学んでいきます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
15回	**授業テーマ：新たな交通インフラ (2)（MaaS）** 授業内容：先週に引き続き MaaS について学びます。 サービスとしての交通(MaaS)とは何か国内外の事例から学んでいきます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作

特別講義 A

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

永島　寛（ながしま　ひろし）

▌授業の概要

この授業は、ホスピタリティ・ツーリズム(HT)産業を中心とした様々な企業の幅広い層の講師陣(経営トップから若手社員まで)によるオムニバス形式で行われる。各社の考えや各講師それぞれの試行錯誤などの体験談、学生へのメッセージなどを直に聞くことで、学生が社会人への意識を高め、将来の方向について深く考えることにつなげる。
なお、講師については、それぞれの都合により期中に変更される場合がある。
【授業方法】講義
【実務家教員と当該授業科目との関連性】
就職意識あるいは起業意識を高め、将来進むべき方向について早期に考えさせることを目的として、我が国のホスピタリティ・ツーリズム産業を代表する企業の経営者等によるオムニバス形式の授業により、ホスピタリティ・ツーリズム産業の基礎知識を与え、それぞれの企業の考え、求める人材等について講話する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1，経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：実際の企業の取組みや個人の取組みを知り、社会が必要としている人材像を知ること。
個別目標：自分の将来について自分で考え、なりたい自分をより具体的にイメージできるようになること。

▌履修条件

外部からの講師陣なので、HT 学部の名に恥じない言動。必ずスーツ着用で授業に臨むこと。

▌評価基準・方法

出席・参加姿勢 20 %、課題レポート 30 %、試験 50 %、を総合的に評価する。
5 分の 4 以上の出席を前提とし、欠席は減点する。
5 分の 4 以上のレポート提出を前提とし、提出の遅延は減点する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし （各回必ず数名に質問をしてもらう）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：講義の概要や聴講姿勢、課題などについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
3 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
4 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
6 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
7 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
8 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
9 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

10回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
11回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
12回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
13回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
14回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：講師の方々の話しのそれぞれの差や共通点を振り返る。 課題のレポートを書く。 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

特別講義 B

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

内苑　孝美（うちぞの　たかみ）

▌授業の概要

この授業は、わが国のホスピタリティ産業を代表する企業の経営トップによるオムニバス形式で行われる。それぞれの企業の考え、求める人材等について経営トップから直に聞くことにより、各業界の基礎知識を修得すると同時に、就職意識或いは起業意識を高め、将来の進むべき方向について早期に考えさせることを目的とする。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

就職意識あるいは起業意識を高め、将来進むべき方向について早期に考えさせることを目的として、我が国のホスピタリティ・ツーリズム産業を代表する企業経営者のオムニバス形式による授業により、ホスピタリティ・ツーリズム産業の基礎知識を与え、それぞれの企業の考え、求める人材等について講話する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1，経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：業界および企業の基礎知識や必要としている人材像を知ることができる。

個別目標：自分の将来について自分で考えることが出来るようになること。

▌履修条件

講師陣が HT 業界を代表する経営トップなので、HT 学部の名に恥じない言動、服装(原則としてスーツ着用)で授業に臨むこと。

▌評価基準・方法

出席・参加姿勢 20 %、課題レポート 30 %、試験 50 %、を総合的に評価する。

5 分の 4 以上の出席を前提とし、欠席は減点する。

5 分の 4 以上のレポート提出を前提とし、未提出および提出の遅延は減点する。

▌フィードバック方法

manaba にてフィードバックします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の講師紹介。成績(出席・課題レポート・まとめ)の付け方。授業中の注意等説明。 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の確認
2 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
3 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
4 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
6 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
7 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
8 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
9 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
10 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

11回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
12回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
13回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
14回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前期の総まとめ 事前学修 2.0hr：授業のまとめの整理 事後学修 2.0hr：授業の復習

エアラインマネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

上田　圭一（うえだ　けいいち）

▌授業の概要

「エアラインビジネス論」(2 年次開講)で学んだ航空業界の基礎知識を土台とし、本講義では視座を「経営」に高めます。 航空会社のお金(財務)と未来(戦略)に焦点を当て、「なぜ航空会社は赤字になりやすいのか？」「利益が出ていても倒産するのはなぜか？」といった疑問を、実際の決算書や最新の経営トピック(DX、人的資本、経済圏構想など)を通じて解き明かします。 専門的な数式は極力使わず、図解や身近な事例(家計簿や小売店など)への置き換えを通じて、社会人として必須となる「お金の流れ」と「企業経営の仕組み」をわかりやすく実践的に学びます。なお、指導環境や学生の希望などの状況により、内容が変更となる場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：企業の活動を「財務(お金)」と「非財務(戦略・人・環境)」の両面から理解し、ニュースや決算情報から企業の経営状態を大まかに把握できる力を養います。

個別目標：損益計算書(P/L)、貸借対照表(B/S)、キャッシュ・フロー(C/F)の基本的な役割と仕組みを、図解を用いて説明できる。
航空ビジネス特有のリスク(固定費、在庫など)と、それを乗り越えるための経営戦略(LCC、経済圏、DX など)を理解する。
実際の航空会社の事例を通じ、コロナ禍からの回復や将来の成長シナリオについて、経営者の視点で考察できる。

▌履修条件

「エアラインビジネス論」(2 年次開講)を既に履修し、航空業界に関心があれば、他に条件はありません。事前学習課題を履行すること。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とします。 発言・質問等授業への取り組み姿勢(30%)、試験(70%)の割合で総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義ごとに資料を配布します。

▌参考書

適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：航空会社のお財布事情** 授業内容：講義の進め方と評価方法を説明し、航空ビジネスの最大の特徴である「固定費(飛ばなくてもかかるお金)」の重さとリスク構造を解説します。 事前学修 2.0hr：2 年次の「エアラインビジネス論」の要点を振り返る。 事後学修 2.0hr：講義の論点を振り返り、航空会社の最新ニュースを 1 つ選んで読む。
2 回	**授業テーマ：儲ける仕組み①：空席は腐る？ (レベニューマネジメント)** 授業内容：在庫として貯めておけない座席を、需要に合わせて価格を変えながら売り切る手法(レベニューマネジメント)を、身近な例えで解説します。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、飛行機の運賃が時期によって違う理由を考える。 事後学修 2.0hr：講義の論点を振り返り、ダイナミックプライシング(変動料金)の事例を探す。
3 回	**授業テーマ：儲ける仕組み②：安く売るか、高く売るか (LCC とフルサービス)** 授業内容：LCC はどうして安いのか、フルサービスキャリア(FSC)はどう付加価値をつけるのか、ビジネスモデルとコスト構造の違いを整理します。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、 LCC と FSC のサービスの違いを調べる。 事後学修 2.0hr：講義の論点を振り返り、自分が経営者ならどちらのモデルを選ぶか考える。
4 回	**授業テーマ：経営戦略の基礎：戦う場所を決める** 授業内容：敵を知り己を知るための分析ツール(SWOT 分析、3C 分析)を学び、航空業界を取り巻く環境(円安、原油高など)を整理します。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、 自分の「強み」と「弱み」を書き出してみる。 事後学修 2.0hr：講義の論点を振り返り、講義で扱ったフレームワークを見直す。
5 回	**授業テーマ：現場力：オペレーションとお金** 授業内容：現場の「作業効率」がお金にどう直結するかを学びます。ボトルネック(渋滞箇所)の解消や QCDF（品質・コスト等)の概念を解説します。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、日常生活での「待ち時間」の原因を考える。 事後学修 2.0hr：講義の論点を振り返り、効率化が利益につながる理由を整理する。
6 回	**授業テーマ：決算書入門①：P/L (損益計算書)～いくら儲かった？ ～** 授業内容：会社の「成績表」である P/L を学びます。わかりやすい具体例から、売上から費用を引いて利益が残る計算の仕組みを解説します。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、家計簿やお小遣い帳の仕組みをイメージする。 事後学修 2.0hr：講義の論点を振り返り、「売上」と「利益」の違いを整理する。
7 回	**授業テーマ：決算書入門②：B/S (貸借対照表)～財産はいくら？ ～** 授業内容：会社の「財産目録」である B/S を学びます。資産(持っているもの)と負債(借金)のバランスを図解で見て、会社の健康状態を判断します。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、「借金」と「財産」の関係について考える。 事後学修 2.0hr：講義の論点を振り返り、B/S の左右(調達と運用)のバランスを復習する。
8 回	**授業テーマ：決算書入門③：C/F (キャッシュフロー)～現金は命～** 授業内容：「黒字倒産」はなぜ起きるのか？ 利益が出ていても現金がないと会社は潰れることを学びます。営業・投資・財務のお金の出入りを理解します。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、手持ちの現金がなくなるリスクを想像する。 事後学修 2.0hr：講義の論点を振り返り、利益と現金の動きの違いを整理する。
9 回	**授業テーマ：実践：実際の決算書を見てみよう(P/L・B/S 編)** 授業内容：実際の航空会社の決算書を「図(ブロック)」に置き換え、航空機という巨大な資産と、それを購入するための借金などの関係を視覚的に分析します。 事前学修 2.0hr：航空会社の決算短信(サマリー)を見てみる。 事後学修 2.0hr：講義の論点を振り返り、航空会社の財産の特徴(航空機の重み)をまとめる。

10回	**授業テーマ：実践：実際のお金の流れを見てみよう(C/F 編)** 授業内容：コロナ禍での巨額赤字の際、航空会社がどうやって現金を確保して生き延びたのか？ 資金調達とコスト削減の動きをキャッシュフローから読み解きます。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、コロナ禍で航空会社がどうなったかを整理する。 事後学修 2.0hr：講義の論点を振り返り、危機時における乗り切り方を整理する。
11回	**授業テーマ：航空会社の最新戦略①：貨物と新しい翼** 授業内容：最新の経営トピックである ANA と NCA（日本貨物航空)との統合や、ブランド戦略の再編(AirJapan 等)について、その狙いを解説します。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、航空貨物で主に何を運んでいるか調べる。 事後学修 2.0hr：講義の論点を振り返り、貨物事業が経営に与えるメリットを整理する。
12回	**授業テーマ：航空会社の最新戦略②：マイルと経済圏** 授業内容：飛行機に乗らなくてもマイルが貯まる「経済圏」ビジネスについて解説します。航空事業に依存するビジネスモデルからの脱却を目指す非航空事業の重要性を学びます。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、マイルやポイントの貯め方を調べる。 事後学修 2.0hr：講義の論点を振り返り、「経済圏」ビジネスの仕組みを整理する。
13回	**授業テーマ：航空会社の未来①：人とデジタルの力** 授業内容：「人的資本経営」や「DX」がなぜ株価や利益につながるのか解説します。社員の成長やデジタル活用が企業価値を生むメカニズムを学びます 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、「DX」という言葉の意味を調べる。 事後学修 2.0hr：講義の論点を振り返り、人とデジタルの投資が重要な理由を整理する。
14回	**授業テーマ：航空会社の未来②：安全と失敗の科学** 授業内容：航空経営の最重要基盤である「安全」について学びます。「失敗の科学」の視点から、ヒューマンエラーを防ぐ組織的な学習プロセスを解説します。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、ヒューマンエラー(うっかりミス)の例を考える。 事後学修 2.0hr：講義の論点を振り返り、組織として安全を守る仕組みを整理する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：全 14 回の講義を総括します。航空産業の課題と将来展望を振り返り、これまでの知識を統合して理解を深めます。 事前学修 2.0hr：これまでの講義ノートや資料を見直す。 事後学修 2.0hr：試験準備を行う。

観光事業マネジメント論／トラベルエージェンシーマネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

永島　寛（ながしま　ひろし）

▌授業の概要

日本の観光産業の現状と構造を多角的に理解し、観光地や観光事業者が直面する課題、潜在的なビジネスチャンス、そして国の観光政策について体系的に学ぶ。とりわけ、旅行会社（トラベルエージェンシー）が観光産業の中で果たしてきた役割と、デジタル化・市場変化の中で求められる新たな機能を位置づけながら、観光事業のマネジメントを実践的に考察することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：日本の観光産業の構造と現状を理解し、観光地や観光事業者が抱える課題やビジネス機会、国の観光政策を多面的に分析する基礎力を身につける。また、旅行会社の役割と可能性を理解し、観光事業のマネジメントを総合的に考察できる能力を養う。

個別目標：・与えられた情報に対して「なぜ」を問い、仮説を立て、自分の考えを言語化できる。
・IT・プラットフォーム化・直販化など、旅行業のビジネスモデル変化を説明できる。
・インバウンド拡大とオーバーツーリズム、地域格差、DMO の役割を理解し、改善策を提案できる。
・アウトバウンド低迷の背景と日本の国際化への影響を説明できる。
・世界的な紛争・災害・感染症など、旅行業特有のリスクを多角的に分析できる。

▌履修条件

グループワーク、ディスカッションを行うため、積極的に参加する意欲を持つこと。

▌評価基準・方法

・各授業回ごとの出席状況、参加姿勢（30 %）、課題提出（40 %）・期末試験（30 %）
・4/5 以上の出席を前提とし欠席は減点する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッションを原則として毎回行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワークで使用する）

▌教科書

授業内で指示する。

▌参考書

授業内で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション　日本の観光産業の全体像とトラベルエージェンシーの役割** 授業内容：観光 GDP、訪日客数、国内旅行市場の構造／旅行会社の歴史的役割（流通・商品造成・安全管理） 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
2回	**授業テーマ：日本の観光事業の現状①：インバウンドの構造変化** 授業内容：訪日外国人旅行の増加に伴う市場構造の変化を整理する。FIT（個人旅行）の拡大や SNS による情報収集の一般化など、旅行者行動の変化を踏まえ、旅行会社が担う役割を確認する。また、地方誘客の進展や受入環境整備の課題について理解を深める。 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
3回	**授業テーマ：日本の観光事業の現状②：国内観光の変化** 授業内容：人口減少、若年層の旅行行動、旅行会社の国内市場での役割変化に加え、フィンテックやメタサーチの台頭による流通構造の変化、直販化の進展が旅行会社のビジネスモデルに与える影響を考察する。 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
4回	**授業テーマ：観光地が抱える課題①：オーバーツーリズムと持続可能な観光地運営** 授業内容：混雑や住民生活への影響、旅行会社による分散化の取り組みに加え、民泊の急増が地域コミュニティに与える影響、自治体による観光管理（入域規制、観光税、ルール整備など）の取り組みを取り上げ、持続可能な観光地運営のあり方を検討する。 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5回	**授業テーマ：観光地が抱える課題②：地域間格差と観光資源の活用** 授業内容：DMO と旅行会社の連携、地域素材の磨き上げに加え、観光による地域活性化の取り組み（着地型観光の推進、地域住民との協働、観光収益の地域内循環など）を取り上げ、地域間格差の是正に向けた観光の役割と課題を考察する。 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
6回	**授業テーマ：新しい観光需要の創出①：MICE・スポーツツーリズム** 授業内容：・MICE（Meeting, Incentive, Convention, Exhibition）の市場構造と地域経済への波及効果 ・スポーツイベントを核とした観光需要の創出 ・旅行会社による企画・運営支援、受入体制整備、地域連携のあり方 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
7回	**授業テーマ：新しい観光需要の創出②：エンタテインメント・文化体験ツーリズム** 授業内容：・音楽・舞台・アニメ・ゲームなどのエンタテインメントツーリズム ・食・文化体験、ナイトタイムエコノミーの拡大 ・旅行会社による体験造成、安全管理、マーケティング手法 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
8回	**授業テーマ：地域資源を活かした観光まちづくりと旅行会社の役割** 授業内容：地域資源を活かした観光まちづくりの実践例を整理し、農泊・文化財活用・地域ブランド化における旅行会社の連携と商品化の役割を理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

9回	**授業テーマ：インバウンドの高付加価値化と旅行会社の役割** 授業内容：富裕層・ラグジュアリー市場の特徴を整理し、カスタムメイド旅行や高付加価値体験の造成を通じた旅行会社の役割と地域連携の可能性を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
10回	**授業テーマ：観光課題への対応事例①：国内の成功事例** 授業内容：京都の混雑対策(時間帯・エリア分散、交通対策)、瀬戸内アート観光(芸術祭による地域活性化)、北海道 DMO と旅行会社の連携(地域資源の商品化成)など、国内の成功事例を取り上げ、課題解決のプロセスと旅行会社の役割を具体的に分析する。 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
11回	**授業テーマ：観光課題への対応事例②：海外の先進事例** 授業内容：バルセロナの観光管理(観光税、宿泊規制、住民との合意形成)、アイスランドの自然保護と観光の両立(入域管理、環境保全基金、観光客教育)、ニュージーランドのサステナブルツーリズム(Tiaki Promise、自然保護と観光の共存モデル)を取り上げ、海外の先進的な観光管理の仕組みと旅行会社の役割を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
12回	**授業テーマ：国の観光戦略①：観光立国推進基本計画** 授業内容：政府が掲げる観光立国推進基本計画の目標(訪日客数・消費額・地方誘客など)と重点分野(地方創生、観光 DX、持続可能な観光、広域周遊など)を整理し、旅行会社が政策実現において果たす役割を具体的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
13回	**授業テーマ：国の観光戦略②：観光 DX・サステナビリティ政策** 授業内容：観光 DX の推進(観光統計の高度化、観光客流動データの分析)、地域交通政策を取り上げ、旅行会社が DX を活用して提供価値を高める方法や、サステナビリティ政策への対応について具体的に検討する。 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
14回	**授業テーマ：観光課題解決ワーク①：地域課題の分析** 授業内容：学生が具体的な一つの地域を選び、様々な観点から課題を整理する。選んだ地域について、現状の特徴、主要な課題、旅行会社が関われる可能性をまとめ、翌週の発表に向けて企画案の骨子を作成する。 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
15回	**授業テーマ：観光課題解決ワーク②：最終発表** 授業内容：地域の課題と解決策をプレゼンテーションを行う。課題設定の妥当性、分析の深さ、旅行会社の関与可能性、提案の実現性などを総合的に評価する。 事前学修 2.0hr：授業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

フード&ビバレッジマネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

久保田　英男（くぼた　ひでお）

▌授業の概要

フードサービスビジネス・飲食サービス全般に必要となる知識を理解・活用できるよう、食材、料理、飲料、マナー、食品衛生管理、品質管理、接客応対などを中心に、飲食サービスやホスピタリティサービス・フードビジネス基礎情報など広く学びます。また、健康に直結する日常での食生活などの知識や環境問題などについても考えていきます。

なお、原則として日本国内でのフードサービスを想定した授業とします。したがって日本の法律や文化に基づいて解説されます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：飲食サービス業だけではなく、ホスピタリティサービス全般においても「食」は様々なシーンに欠かせないものであることから、質の高いサービスを提供できるよう、「Food &Beverage(食・飲料)」の基礎知識を習得します。また食の安全や食糧問題・食文化などを学ぶことで、食の多様性やサスティナビリティについて考える機会につなげます。

個別目標：1. 食の安全を学び、健康で安全な食を提供できるようにする。
2. 料理・飲料の歴史を通じ、食文化への造詣を深める。
3. 日本の食文化を理解し、伝統的な習慣や知識を学ぶ。
4. フードサービスの接客・運営を広く学ぶ。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

評価は、授業・課題に取り組む姿勢 30%、テスト 70 %を基準に総合的に判断する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム”manaba”を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フードサービスに関する模擬実習などを実施予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし。(必要に応じて資料を配布または配信をする)

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション/ガイダンス** 授業内容：全講義について簡単な説明と授業の進め方や課題などについてもガイダンスします。 事前学修 2.0hr：「食」というテーマに関する自分自身の知識をまとめてみましょう 事後学修 2.0hr：この授業で学ぶ内容を整理し、学修計画を立てましょう
2回	**授業テーマ：食環境・食の歴史** 授業内容：日本の食文化の歴史を学び、現代の食環境について考えていきます。 事前学修 2.0hr：前日の全食事メニューを記録しましょう 事後学修 2.0hr：自分の食生活を見直してみましょう
3回	**授業テーマ：食品衛生** 授業内容：「食」の安全と安心は、衛生管理がなくてはなりません。どの様な危険やリスクがあるのか、その対処対応について今回は学びます。 事前学修 2.0hr：あなたは、食品 (食材) の管理はどのような基準で行っていますか。それについて考えてみましょう 事後学修 2.0hr：授業で学んだ家庭における食品衛生を実践してみましょう。
4回	**授業テーマ：品質管理とは** 授業内容：「品質管理」とはどのようなことを行うのか。飲食店・食品製造販売、給食など、美味しいだけでなく様々な角度から品質を維持する考え方や方法を学びます。 事前学修 2.0hr：購入した食品の品質表示はどこに記載されているか、調べてみましょう 事後学修 2.0hr：授業で学んだ「品質管理」について業態毎にまとめてみましょう
5回	**授業テーマ：中国料理・アジアの料理** 授業内容：中国料理とアジアの料理について、料理の特色やマナー、また、これらの料理や食文化と日本料理との関係やその影響について学びます。 事前学修 2.0hr：知っている中国・アジア料理をまとめ、好きなもの、食べてみたいものなどを上げてみましょう 事後学修 2.0hr：今回の授業で得た知識情報以外の料理を探したり、創作してみましょう
6回	**授業テーマ：欧米の料理** 授業内容：ヨーロッパと南北アメリカ大陸の料理について、料理の特色やマナー、また、これらの料理や食文化と日本料理との関係やその影響について学びます。 事前学修 2.0hr：知っている欧米料理をまとめ、好きなもの、食べてみたいものなどを上げてみましょう 事後学修 2.0hr：今回の授業で得た知識情報以外の料理を探したり、創作してみましょう
7回	**授業テーマ：和食 (日本の食と生活の文化)** 授業内容：「和食」をテーマに日本料理について学びます。季節ごとの行事や古来から残る伝統文化に関連する食習慣などから日本の地域ごとの食文化についても学びます。 事前学修 2.0hr：好きな和食を一つ考えてみましょう (その理由も) 事後学修 2.0hr：和食の特徴を短く説明できるようにまとめてみましょう
8回	**授業テーマ：お菓子とデザート** 授業内容：なぜ間食や食後の甘味が必要なのかを考え、和菓子、洋菓子、デザートなどについて学びます。 事前学修 2.0hr：好きなお菓子、普段よく食べる甘味類をまとめておきましょう 事後学修 2.0hr：今回の授業で得た知識情報以外のお菓子やデザートを探したり、創作してみましょう
9回	**授業テーマ：ビバレッジ (飲料・お酒)** 授業内容：お茶やコーヒー、清涼飲料水やジュースのほか、日本酒などのアルコール飲料など「飲み物」に関する知識を学びます。 事前学修 2.0hr：日常的によく飲む飲み物を一つ選び、そのものの詳細を調べてみましょう 事後学修 2.0hr：興味を持った飲み物があれば、それについて深く調べてみましょう

10回	**授業テーマ：飲食店のメニューを考える** 授業内容：飲食店を運営することを想定して、お店のメニューを作ってみましょう。 事前学修 2.0hr：お気に入りの飲食店の人気メニューの内容や値段を調べてみましょう 事後学修 2.0hr：自分達で考えたメニューの内容や値段設定を検証してみましょう
11回	**授業テーマ：人気商品・繁盛店とは** 授業内容：食品には長く人気のある商品もあれば、流行する商品があります。それらは何故多くの人の支持を得られるのか、また繁盛する飲食店はどのように生まれるのか、考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：ロングセラーと思う食料品を上げてみましょう 事後学修 2.0hr：人気商品や繁盛店の条件についてまとめてみましょう
12回	**授業テーマ：フードサービス I(飲食店の運営)** 授業内容：心地のよいサービスとは何か、自分の体験などから探っていきます。 事前学修 2.0hr：過去に経験した印象の良かった接客を選び、その良い点を書き出しておきましょう 事後学修 2.0hr：もし自分が飲食店オーナーになるとするならどんなお店を経営したいか考えてみましょう
13回	**授業テーマ：フードサービス II (接客応対・フードサービスのリスクマネジメントほか)** 授業内容：飲食店に求められ喜ばれる接客について考えます。また一方でトラブルなどが起きないためにどのようにすればよいのか、もし発生してしまった場合どのように対処し回復するかを考えてみます。 事前学修 2.0hr：過去に経験した印象の悪かった接客を選び、その具体的な点を書き出しておきましょう 事後学修 2.0hr：よい印象を与えるサービスを実践するために接客サービスマニュアルを作ってみましょう
14回	**授業テーマ：食の安全・飲食サービスに関わる法律など** 授業内容：食の安全と安心について考えます。また、食の安全を守るために制定された食に関わる法律などを紹介ながら国の食に対する取り組みについても理解を深めていきます。 事前学修 2.0hr：購入した食品に記載されている食品表示をよく読み、そこ情報が何に役立つか考えてみて下さい 事後学修 2.0hr：「食の安全」を守る取り組みについて考えてみましょう
15回	**授業テーマ：まとめ/これまでの内容を振り返る** 授業内容：第１回～第 14 回授業を振り返り「フード&ビバレッジ」そして「フードサービス」についてまとめます。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、分からない点、もう少し深く知りたい内容などを整理しておきましょう 事後学修 2.0hr：これまでの内容を総合的に復習して、体系的にまとめましょう

ホテルマネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

立石　貴子 (たていし　たかこ)

▌授業の概要

宿泊業であるホテルと言っても、様々な形態が存在している現在。ブランド、運営会社、経営会社等々
多種多様なホテルがあることを知る。基本となるヒト・モノ・金・情報による組織を理解し、ホテル特有の
部門、マーケティング、経理、購買、コスト管理、人事などホテルの表と裏の業務を通し、マネジメントの
構築を理解する。儲かるホテル、スタッフの給与を上げられるこれからのホテルマネジメントを探っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：経営に必要な組織を理解し、それぞれの組織の数字を見ることで、その管理方法の基礎を習得する。華やかに
　　見える表舞台を支えるバック部門 (heart of house) の業務を知り、ホテル経営の両輪を把握する。
個別目標：ホテルの組織とそれぞれの業務内容を理解し、将来マネジメントに携わる際に基礎となる数字による管理方法を
　　把握できるようにする。
　　マニュアルによるサービスやＯＪＴの手法も理解し、付加価値やホスピタリティの醸成を考える。

▌履修条件

ホテル業界で働くことに興味があり、接客現場だけではなくマネジメント面にも将来携わってみたいと
考えている学生。

▌評価基準・方法

授業への積極的参加姿勢：50%、期末試験：50%
原則、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

必要に応じ、Manaba にて対応する

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業で使用する配布資料）

▌教科書

使用しない

▌参考書

必要に応じて授業内で紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：講義内容、評価方法の説明 ホスピタリティの理解とホテル業界全体の今 事前学修 2.0hr：ホテル業界全般 (ブランド・ランキング・業態等) を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
2 回	**授業テーマ：日本のホテルの歴史** 授業内容：日本のホテルの歴史を開国から現在までの変遷を学ぶ 事前学修 2.0hr：ホテルの歴史を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
3 回	**授業テーマ：ホテルの分類ホテルブランドとその経営や運営** 授業内容：日本及び海外のホテルブランドとそれらのグレード感の違いによるハードウエア・ソフトウエア・ ヒューマンウエアの違いを探っていくホテルブランドによる経営や運営の違いを考察する 事前学修 2.0hr：ホテルブランドによる違いを各ホテルのホームページより調べる経営と運営の違いを調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
4 回	**授業テーマ：ホテルブランドとその経営や運営** 授業内容：ホテルブランドによる経営や運営の違いを考察する 事前学修 2.0hr：経営と運営の違いを調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5 回	**授業テーマ：ホテルの組織管理** 授業内容：企業組織の成り立ちを理解し、ホテルの組織との違いを学ぶ 事前学修 2.0hr：自身の家族の仕事、属する組織等を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
6 回	**授業テーマ：ホテルの宿泊事業** 授業内容：ホテルの宿泊部門の特性、稼働率やレベニューマネジメント等マネジメントを考える上で必要となる 数字にも触れていく 事前学修 2.0hr：ホテルの宿泊部門にある仕事を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
7 回	**授業テーマ：ホテルのレストラン事業** 授業内容：ホテルの料飲・レストラン部門の特性、その多種多様な展開を考察する 事前学修 2.0hr：ホテルの料飲部門 (レストラン、バー等) にある仕事を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
8 回	**授業テーマ：ホテルの宴会事業** 授業内容：ホテルの料飲・宴会部門の特性、婚礼やＭＩＣＥ等の動きを考察する 事前学修 2.0hr：ホテルの宴会部門にある仕事を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
9 回	**授業テーマ：ホテルのマーケティング戦略** 授業内容：ホテル全体や販売商品等のマーケティング戦略と昨今の多様な媒体を含め考察する 事前学修 2.0hr：ホテルで販売している商品、宣伝方法、特徴を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

10回	**授業テーマ：ホテルの人事管理** 授業内容：ホテルの人事部門の仕事を考察する 学生では採用担当との接点しかないが、ホテルの人を支える仕事を知る 事前学修 2.0hr：ホテルの採用情報を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
11回	**授業テーマ：ホテルの数字管理・購買/ＦＢＣ** 授業内容：ホテル内で使用する財務管理、宿泊特有の数値管理、料飲特有の数値管理の基本を学ぶ 事前学修 2.0hr：ホテルで使用している数値管理にどのようなものがあるか調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
12回	**授業テーマ：ホテルのサービスマニュアルの意義** 授業内容：ホスピタリティ産業と言われるホテルではあるが、サービスをおろそかにしてはホスピタリティは 成し得ない。ホテル以外で使われているマニュアルを例として、マニュアルの役目や意義をグループ ワークで考える 事前学修 2.0hr：アルバイト先等でどのようなマニュアルが存在するのか調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
13回	**授業テーマ：ＯＪＴマニュアル作成** 授業内容：実際の現場で作成するであろうタスクを基にマニュアルをグループワークで作成する 事前学修 2.0hr：アルバイト先等でマニュアルをどのように使用しているか調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習とマニュアルを完成させる
14回	**授業テーマ：ビジネスモデルとしてのホテル・旅館** 授業内容：日本の宿泊業の中でもホテルと旅館で求められるもの、提供するものが大きく違う この経営形態の違うなかで、提供されるサービス、ホスピタリティの違いや利益を どのように出していくべきなのかを考察する 事前学修 2.0hr：ホテルと旅館の違いを調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：ホテル業界を取り巻く課題、今後のホテルのあり方、管理の仕方を総括する 事前学修 2.0hr：ホテル業界の現状とこれからの姿を考える 事後学修 2.0hr：ホテルの業務、管理、運営等に関し復習し、管理する数字の意義を考える

IoTテクノロジー基礎

開講学科等：HT ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前/後

番場　直之（ばんば　なおゆき）

▌授業の概要

コンピュータに関する基礎的な知識を中心に学ぶ。また、企業経営や会計に関する基礎知識も学ぶことにより、情報処理技術者試験の1つであるITパスポート試験に合格できる知識を身につける。IoT（アイオーティー）はInternet of Thingsを略した言葉で、モノをインターネットにつなぐことを意味する。技術的な基礎知識を学ぶことで、IoTが進む社会に適応できる能力を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻1、経営情報専攻1）

一般目標：IoTが進む社会に適応できる技術的な知識を身につけるとともに、社会人として求められる企業経営、会計等に関する知識を身につける。
個別目標：①コンピュータのハードウェアとソフトウェアの働きを説明できる。
②システム開発の流れを理解し、簡単なプログラムを作ることができる。
③企業活動における業務改善と分析手法を説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

情報処理技術者試験の1つであるITパスポート試験の合格を必須とし、授業参加状況・小テスト・期末試験の学修状況を総合的に評価して単位を認定する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とし、欠席・遅刻は減点とする。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システムmanabaを通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内でのグループワークを適宜行う。）

▌授業でのPCの利用（利用内容）

あり （授業内容(表計算ソフト)により使用する。）

▌教科書

きたみりゅうじ著「キタミ式イラストIT塾ITパスポート令和08年」技術評論社

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション／コンピュータの仕組み** 授業内容：授業の進め方・評価方法、ITパスポート試験の概要、コンピュータの5大装置、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
2回	**授業テーマ：ディジタルデータのあらわし方** 授業内容：10進数・2進数の変換方法、2進数の計算、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
3回	**授業テーマ：ファイルとディレクトリ、OSとアプリケーション** 授業内容：ファイルと保存場所、OSとアプリケーション、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
4回	**授業テーマ：表計算ソフト(PC利用)** 授業内容：表計算ソフトでの演算方法、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
5回	**授業テーマ：データベース** 授業内容：データベース管理システムの働き、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
6回	**授業テーマ：ネットワーク** 授業内容：LANとWAN、プロトコル、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
7回	**授業テーマ：前半復習** 授業内容：第1回から第6回の内容の復習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
8回	**授業テーマ：セキュリティ** 授業内容：情報セキュリティ、コンピュータウイルス、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
9回	**授業テーマ：システム開発** 授業内容：システムを開発の流れ、システムの開発手法、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
10回	**授業テーマ：プログラムの作り方** 授業内容：プログラミング言語、アルゴリズムとフローチャート、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
11回	**授業テーマ：システム構成と故障対策** 授業内容：システム構成、性能指標、故障対策、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。

12回	**授業テーマ：企業活動と関連法規** 授業内容：組織形態、電子商取引、経営戦略、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
13回	**授業テーマ：経営戦略のための業務改善と分析手法** 授業内容：PDCA サイクル、グラフ、品質管理手法、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
14回	**授業テーマ：財務会計** 授業内容：費用と利益、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
15回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：第 1 回から第 14 回の内容の復習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。

デジタライゼーション概論

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

橋本　尚興 (はしもと　ひさおき)

▌授業の概要

デジタライゼーションとは、デジタル技術を活用してサービスや製品の付加価値を高め、利用者にメリットをもたらすことを指します。これを実現するためには、デジタル技術そのものだけでなく、利用者としてのニーズの理解や、提供者としてのアイデア・課題認識も重要です。
本授業では、デジタル技術そのものの仕組みではなく、デジタライゼーションの活用事例に触れながら、デジタル技術への理解を深め、アイデア創出の基礎力を養います。
なお、授業内容は環境や諸条件により変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1）

一般目標：・デジタライゼーションの意味を理解し、デジタライゼーションの活用アイデアを考えることができる。(DP1)
個別目標：・デジタライゼーションについて説明することができる。
・事例などを通じてデジタル技術を活用する様々なアイデアを知り、自らも初期レベルのアイデアを説明することができるようになる。

▌履修条件

・「デジタライゼーション」に興味を持っていること。
・自らの考えを話し、積極的に授業に参加する意欲を持っていること。

▌評価基準・方法

・学期末テスト　　（４０%）
・授業への積極的な参加と貢献（１５%）
・授業ごとの課題　　（２５%）
・中間課題(アイデアシート)（２０%）
なお、全授業の８０%以上の出席、および学期末テストの受験を前提として評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業中、および manaba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （個人ワークを行い、その内容を発表します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業時間外に個人ワーク、課題対応のために利用します）

▌教科書

特にありません
適時資料を配布します

▌参考書

特にありません

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　授業の進め方** 授業内容：この授業の狙い、および進め方とスケジュールについて説明します 事前学修 2.0hr：「デジタライゼーション」とは何か？　について調べてくる 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
2回	**授業テーマ：デジタライゼーション基礎** 授業内容：基礎としての知識および、デジタライゼーションという言葉の意味などについて説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
3回	**授業テーマ：GAFA(M) と Google のビジネス拡大方法** 授業内容：IT プラットフォームを構築した GAFA(M) について学ぶことで、IT のもつ威力について説明するとともに、ホスピタリティ・ツーリズム産業(以下 HT 産業)における事例を使って、巨大 IT 企業 Google におけるビジネス拡大の手法について説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく。Google の HT 産業向けの活用動画を視聴しておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
4回	**授業テーマ：日本企業の DX について** 授業内容：日本企業におけるプラットフォーム構築、および DX（デジタルトランスフォーメーション)の事例を紹介します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
5回	**授業テーマ：日本企業の DX について (HT 産業)** 授業内容：日本のホスピタリティ・ツーリズム産業における DX 化について説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
6回	**授業テーマ：システム利活用のアイデア　アイデアシート(１)** 授業内容：DX 化を推進するためには、まず何をしたいか？ というアイデアが非常に大切となります。事例を使って、このアイデアのまとめ方について説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
7回	**授業テーマ：システム利活用のアイデア　アイデアシート(２)** 授業内容：皆さんにアイデアシート作成の演習をしていただきます 事前学修 1.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく。この事例におけるアイデアやニーズ、デジタル技術をまとめておく 事後学修 3.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する　とともに、中間課題の作成を行う
8回	**授業テーマ：アイデアシートからアイデアをふくらませる　中間課題** 授業内容：皆さんが作成したアイデアシートを確認・発表するとともに、さらにアイデアをふくらませます 事前学修 3.0hr：中間課題(アイデアシート)を作成する。 事後学修 1.0hr：中間課題を見直すとともに、授業内容を整理する

9回	**授業テーマ：システム開発プロジェクト(1)** 授業内容：アイデアから実際に IT サービスを実現するために、システム開発プロジェクトを行います。このシステム開発プロジェクトのプロセスについて説明します 事前学修 3.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 1.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
10回	**授業テーマ：システム開発プロジェクト(2)** 授業内容：アイデアから実際に IT サービスを実現するために、システム開発プロジェクトを行います。このシステム開発プロジェクトのプロセスについて説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
11回	**授業テーマ：システム開発とプロジェクトマネジメント(1)** 授業内容：システム開発プロジェクトの失敗原因を参照しつつ、プロジェクトマネジメント(管理)の重要性について説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
12回	**授業テーマ：プロジェクトマネジメント(2)とソフトウェア開発モデル　IT 業界** 授業内容：システム開発プロジェクトのプロジェクトマネジメント(管理)の重要性について説明します。 さらに、ソフトウェア開発のさまざま方法のうち現在主流となっているモデルについて、IT 業界の構図とともに説明します。 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
13回	**授業テーマ：IT サービス導入アイデアの実現** 授業内容：外部講師をお招きし、IT サービスを提供する際の業務内容についてお話を伺います 事前学修 2.0hr：事前課題に対応するとともに、IT サービスを提供する際の疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：お聞きした内容をふりかえり、感想や疑問点をまとめる
14回	**授業テーマ：IT ベンダーの業務内容** 授業内容：外部講師をお招きし、IT ベンダーの業務内容についてお話を伺います 事前学修 2.0hr：事前課題に対応するとともに、IT ベンダーに関する疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：お聞きした内容をふりかえり、感想や疑問点をまとめる
15回	**授業テーマ：授業のまとめ　と　期末テストの説明** 授業内容：今までの授業を振り返るとともに、期末テストの出題形式について説明します 事前学修 3.0hr：今までの授業内容を復習し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：今までの授業内容を復習する

データ解析基礎

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

データ解析の要諦は、見えない構造(structure)を発見し、意味のある説明に変えることにある。
そのきっかけは、日常の何気ない「なんで?」から始まる。
その「なんで?」を第三者にも理解してもらうには、仮説思考が大切になる。
本講義は、「なんで?」から仮説を立て、それを客観的に説明するプロセスについて学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3）

一般目標：「なんで?」から、リサーチクエスチョンを立てて、仮説を構築する。
　　社会に出て、一番大切なスキルは、Excel である。
個別目標：Excel が使えること。
　　最後まであきらめないこと。

▌履修条件

Excel が使えること。
常識を有する人としてのコミュニケーションがとれること。

▌評価基準・方法

試験:50%
出席:30%
コントリビューション: 20%
コミュニケーションは、mail,manaba, classroom を通じて実施する。

▌フィードバック方法

mail,manaba, classroom を通じて個別に対応。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （実習室 or 各自 PC 持参）

▌教科書

前田篤志: データ解析基礎

▌参考書

適宜

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初回ガイダンス** 授業内容：講義の進め方、評価方法について説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおく。 事後学修 2.0hr：Excel を使える環境を調べておくこと。
2回	**授業テーマ：データ解析 101** 授業内容：なぜロジック(論理)が必要なのか。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容を復習する。 事後学修 2.0hr：課題提出
3回	**授業テーマ：データ分析において重要な比較方法** 授業内容：①定量的と定性的について学ぶ ②主観的と客観的について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義内容を復習する。 事後学修 2.0hr：課題提出
4回	**授業テーマ：データ分析を俯瞰する** 授業内容：質的分析と量的分析について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容を復習する。 事後学修 2.0hr：課題提出
5回	**授業テーマ：データ分析の基本プロセス** 授業内容：定性分析と定量分析の進め方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容を復習する。 事後学修 2.0hr：課題提出
6回	**授業テーマ：Excel 101** 授業内容：① Excel の使い方について学ぶ。 ② Excel のアドイン機能のインストール 事前学修 2.0hr：前回の講義内容を復習する。 事後学修 2.0hr：課題提出
7回	**授業テーマ：仮説思考** 授業内容：なぜ仮説が必要かについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容を復習する。 事後学修 2.0hr：課題提出
8回	**授業テーマ：定性分析の実践** 授業内容：アンケート分析について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容を復習する。 事後学修 2.0hr：課題提出
9回	**授業テーマ：「統計的に」を理解する** 授業内容：統計的有意について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容を復習する。 事後学修 2.0hr：課題提出

10回	**授業テーマ：定量分析の実践 1** 授業内容：定量分析の進め方について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義内容を復習する。 事後学修 2.0hr：課題提出
11回	**授業テーマ：分析の実践 1** 授業内容：仮説に基づき、分析(定性・定量)を実際に行う。 前処理・データセットの準備をする。 事前学修 2.0hr：仮説を検証する。 事後学修 4.0hr：データセットを選択する。
12回	**授業テーマ：分析の実践 2** 授業内容：仮説に基づき、分析(定性・定量)を実際に行う。 前処理・データセットの準備をする。 事前学修 2.0hr：仮説を検証する。 事後学修 4.0hr：データセットを構築する。
13回	**授業テーマ：分析の実践 3** 授業内容：仮説に基づき、分析(定性・定量)を実際に行う。 仮説を検証する。 事前学修 2.0hr：仮説を検証する。 事後学修 2.0hr：仮説を検証する。
14回	**授業テーマ：試験準備** 授業内容：仮説はできているか 分析プロセスのロジックは正しいかについて確認する。 事前学修 4.0hr：仮説の確認・分析手法の確認 事後学修 4.0hr：試験準備
15回	**授業テーマ：試験** 授業内容：分析結果を発表する。 事前学修 4.0hr：試験準備 事後学修 1.0hr：発表内容を鑑みる

プロポーザル管理基礎

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

式町　久美子（しきまち　くみこ）

▌授業の概要

社会で活躍する上で欠かせない「提案」スキルを習得する授業である。
IT 関連企業にて提案業務に従事した経験と、プロポーザルマネジメントの国際的な資格を有する教員が、その実務経験と専門知識を活かし、実践的かつ主体的な学習に導く。
この授業では、さまざまな利害関係が存在する組織に対する提案で成功するマネジメントプロセスを、実例を交えて体系的に学習する。
これにより、顧客や組織、社会に価値をもたらす提案を生産性高く生み出す基礎知識を獲得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3）

一般目標：価値をもたらす「提案」を生むマネジメントプロセスを習得する
個別目標：・相手の立場に立ってわかりやすく伝える適切な手段を説明することができる
・ビジネスの課題を自分ごととして捉える必要性とその適切な手段を説明できる
・多様な価値観や利害関係を捉えた上で協力や賛同を引き出す適切なコミュニケーション手段を説明できる
・顧客の立場に立って良い提案を引き出す提案依頼方法の基本ステップを説明できる
・提案内容の価値とその妥当性を適切に伝える方法を説明できる
・相手にとって有益と思える提案を限られた時間で効率よく作成する基本ステップを説明できる

▌履修条件

・質問や意見を積極的に行い、クラス全体の学びに貢献すること
・授業は毎回出席し、内容をしっかり理解すること
・遅刻や早退をしないこと

▌評価基準・方法

・提出物（60 %）
・テスト（20 %）
・発言点（クラスへの貢献度）（20 %）
及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する
・原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転学習、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （スライド作成ツール、ファイル共有）

▌教科書

式町久美子
受注を勝ち取るための外資系「提案」の技術　　日本人の知らない世界標準メソッド （ダイヤモンド社）

▌参考書

式町久美子
IT エンジニアの必須スキル　　顧客に響くシステム提案メソッド （日経 BP 社）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス ・プロポーザルマネジメントとは何か** 授業内容：このクラスで学習するプロポーザルマネジメントとは何か、活用場面やその効果について理解する。また学び合うためのクラスのグランドルールを検討し共有する。 事前学修 2.0hr：シラバスや動画を視聴しこの科目で学べることのイメージを持つ 家庭や学校生活を通じて、他者に対し「提案」を行った経験を振り返り、その経験について発言できるように備える 事後学修 2.0hr：「提案」および「プロポーザルマネジメント」の全体概要について復習する
2 回	**授業テーマ：基礎知識　良い提案なのに相手に伝わらない根本原因とは何か** 授業内容：良い提案であるはずなのに相手に伝わらない根本原因を知り、的確に伝え賛同を得るために必要なフレームワークについて解説する。 事前学修 2.0hr：動画を視聴し授業でディスカッションができるように内容を理解する 事後学修 2.0hr：説得技法（FAB+PD）の枠組みについて復習する
3 回	**授業テーマ：顧客分析（1）顕在ニーズを理解する** 授業内容：企業からの提案依頼書をもとに、依頼目的、企業のニーズ、企業のステークホルダーの存在を理解する 事前学修 2.0hr：動画を視聴し授業でディスカッションができるように内容を理解する 事後学修 2.0hr：提案依頼書（RFP）やクライアントのホームページの企業情報などをよみ、ヒアリング時の質問を考える
4 回	**授業テーマ：顧客分析（2）潜在ニーズを理解する** 授業内容：企業からの提案依頼説明会及びヒアリングにて顧客の要求を理解する疑似体験をする。 事前学修 2.0hr：動画を視聴し授業でディスカッションができるように内容を理解する 事後学修 2.0hr：説明会にて得た情報をもとに顧客分析をオポ゜チュニティプランにアウトプットする
5 回	**授業テーマ：解決策の検討（1）エグゼクティブサマリーを作る** 授業内容：提案内容の要旨を少ない枚数で簡潔に伝える「エグゼクティブサマリー」のまとめ方とその活用方法について解説する。企業からの提案依頼書を題材に作成を体験する。 事前学修 2.0hr：動画を視聴し授業でディスカッションができるように内容を理解する 事後学修 2.0hr：企業の提案依頼書をもとに、前段の顧客分析を踏まえたエグゼクティブサマリーを書く
6 回	**授業テーマ：解決策の検討（3）顧客と対話する** 授業内容：グループで作成したエグゼクティブサマリーを企業に提示し、企業のニーズに即した提案となっているかを検証する。企業の責任者のコメントにより修正すべき点を明らかにし、エグゼクティブサマリーの内容を確定させる。 事前学修 2.0hr：動画を視聴し授業でディスカッションができるように内容を理解する 事後学修 2.0hr：エグゼクティブサマリーをもとに、提案内容詳細のラフアイデアを検討する

7回	**授業テーマ：解決策の検討(2)オポチュニティプランレビュー** 授業内容：優位性あるポジションを獲得するための Win ストラテジーの策定方法を理解したうえで、戦略検討に活用するオポチュニティプランを作成し、レビューを行う。 事前学修 2.0hr：動画を視聴し授業でディスカッションができるように内容を理解する 事後学修 2.0hr：企業の提案依頼書をもとに、前段の顧客分析を踏まえたエグゼクティブサマリーを書く
8回	**授業テーマ：解決策の検討(4)コンプライアンスマトリクスを活用する** 授業内容：顕在・潜在ニーズをとらえた上で、それらを満たす解決策を検討するステップを理解した上で、考えをまとめるツールであるコンプライアンスマトリクスを活用して、具体的な提案内容の検討を開始する。 事前学修 2.0hr：提案内容を検討する 事後学修 2.0hr：コンプライアンスマトリクスをブラッシュアップする
9回	**授業テーマ：提案内容の検討(1)コンテンツプランを作成する** 授業内容：高評価を獲得する提案書を効率よく作成するためのスケジュール設定や章立ての計画方法について解説を受けたのち、提案依頼に対する提案書の目次、テーマ、全体構成を検討する。 事前学修 2.0hr：授業で行うワークショップの準備として、動画を視聴し、ケースを読む 事後学修 2.0hr：作成した提案内容を見直し、第 10 回での提案内容の検討(2)に繋げる
10回	**授業テーマ：提案内容の検討(2)コンテンツプランレビュー** 授業内容：コンテンツプランを客観的にレビューを行い、提案書への記載方法について方針をまとめる。 事前学修 2.0hr：授業で行うワークショップの準備として、動画を視聴し、ケースを読む 事後学修 2.0hr：作成した提案内容を見直し、第 11 回での提案書の作成(1)に繋げる
11回	**授業テーマ：提案書の作成(1)評価者が評価をしやすい提案書を作成する** 授業内容：提案書の主要なメッセージを、相手の心に響く形で作成する方法を説明する。提案依頼書に対するキーメッセージ作成を体験する。 事前学修 2.0hr：提案書のドラフトを作成する 事後学修 2.0hr：提案書のドラフトを作成する
12回	**授業テーマ：提案書の作成(2)ビジュアル要素を検討する** 授業内容：読み手にとってわかりやすく視認性の高い資料を組織的に作成するためのレイアウトや配色の基本原則について解説する。理論に基づき、自身の PC を用いてビジュアル要素を編集する。 事前学修 2.0hr：提案書のドラフトを作成し、表や図を挿入する 事後学修 2.0hr：提案書の体裁を整えて最終化する
13回	**授業テーマ：ファイナルレビュー** 授業内容：プレゼンテーションに備えた最終レビューを実施する。 事前学修 2.0hr：提案書 事後学修 2.0hr：提案書の体裁を整えて最終化する
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：個人またはグループで提案をプレゼンテーションし、顧客の立場から提案書の評価基準に従って各人の提案書を採点し評価する。提案依頼側の立場に立って改善ポイントを見出す。(録画する) 事前学修 2.0hr：提案書を作成する 事後学修 2.0hr：改善ポイントを振り返る
15回	**授業テーマ：顧客フィードバック、全体振り返り** 授業内容：作成した提案書に対して、顧客から評価結果をもらう。これまで学習した内容を元に、提案業務のマネジメントプロセス全体をグループワークにて描き学びを振り返る。 事前学修 2.0hr：動画を視聴し授業でディスカッションができるように内容を理解する 事後学修 2.0hr：全体を振り返り理解を深める

デジタル・イノベーション実地研修

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

単位認定科目

▌授業の概要

ホスピタリティ・ツーリズム業界に関わるデジタル技術を活用する企業における実地研修を行うものである。卒業後の的確な職業選択に寄与するとともに、就職後に必要となる初歩的技能・技術を早期に習得することも目的とする。経営情報専攻担当教員、プレゼミナールやケーススタディ担当教員の事前・事後指導を要する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 3）

一般目標：ホスピタリティ・ツーリズム業界に関わるデジタル技術を活用する企業での、IT パスポート試験で得た知識の活用した実地研修を通して、企業活動や就業内容を理解し、将来のキャリアについて知識及び経験を深める。

個別目標：①高い就業意識をもち、就職に向けて学生の間にするべきことを考えることができる。
②企業や業務について、事前に抱いていたイメージと実際とのギャップを解消できる。
③自分の適性や知識・能力にあった職業について考えることができる。
④社会におけるマナーやビジネスマナーを習得できる。

▌履修条件

IT パスポート試験に合格していること

▌評価基準・方法

以下の項目で評価を行う

①研修時間 90 時間以上（下記 a〜d の総計）

a. 事前学修：派遣先に応じて 0〜8 時間

b. 実施研修実働時間：派遣先に応じて 60 時間以上

※ 1 日の研修時間は 8 時間を上限とする（休憩時間は研修時間に含まない）

c. 資料作成等研修外作業：派遣先に応じて 20 時間以内

※レポート等提出で確認。原則は派遣先だが在宅を認めることがある。

d. 事後学修：毎日の報告書作成と報告会での発表（準備を含む）20 時間

②報告会での報告

③報告書の提出

▌フィードバック方法

専攻内で実施する報告会での報告と派遣先企業からのフィードバックに基づき個別に実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （地域や企業における実地研修である。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （業務における情報整理等、常にパソコンは必要である。）

▌教科書

使用しない

▌参考書

適宜紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

実技訓練を含めて、学部が指定する派遣先企業における個別の指示に従って実施される実地研修である。

授業内容

研修先企業の指示、決められたトレーニングに従って実地研修を行う。

事前学修

研修先企業に関する企業研究を行う。
研修先企業における自身が担当する業務について日々確認準備をし、研修に備える。

事後学修

研修先企業での当日の業務内容等復習及び反省を行ない、日次の報告書を通じて報告する。
実地研修がすべて終わった後、学部で開催する実地研修報告会に参加して報告を行う。

パーソナル・コミュニケーション実践演習 A（ホテル商品企画）／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習 A（ホテル商品企画）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

渭東　史江（いとう　ちかえ）

▌授業の概要

ホテルの業態が多様化する中で、それを選ぶ側の嗜好、ニーズも多様化している。また、個人旅行、インターネット予約が主流となり、こうした社会環境の中で、ホテルの企画商品は顧客がホテルを選ぶ際の重要な要素となる。この講義では、ホテルの商品企画について体系的に学び、顧客訴求力のある商品とは何かについて考える。実践的にタイプやテーマごとにホテルの商品を企画、造成し、レポート(3 回)を提出する。それぞれの企画商品をグループ内で議論し、グループを代表する企画商品を造成、プレゼンテーションを行う。
なお講義内容、順序は変更されることがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM3）

一般目標：1. ホテルの企画商品の特性や効果を理解し、社会環境や顧客ニーズを把握した企画立案ができる。
2. 企画することにより、分析力、発想力、企画力を伸ばす機会とする。

個別目標：1. ホテル等の企画商品の特性、役割を理解する。
2. 企画におけるマーケティングの必要性を知る。
3. 企画や課題解決のために、発想、提案ができるようになる。
4. グループワークによる協調性、プレゼンテーション能力を醸成する。

▌履修条件

「商品企画」に興味があり、自ら創意工夫して商品を作る意欲があること。
授業や課題に積極的に取り組み、グループメンバーと協働できること。

▌評価基準・方法

企画レポート(3 回必須)の内容：60 %、授業、グループワーク、プレゼンテーションへの取り組み姿勢：40 %の要素を総合的に勘案し評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba や授業でのグループプレゼンテーション時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼンテーションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （授業でパワーポイントを作成するため、利用を推奨）

▌教科書

必要に応じて資料等を配信または配布。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション、企画商品の特性** 授業内容：ホテルの企画商品とは何か、なぜ必要なのか等、その特性について理解する。演習講義の進め方等についても説明する。 事前学修 2.0hr：ホテルの企画商品について考える 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
2 回	**授業テーマ：企画商品の造成方法** 授業内容：ホテルの企画商品の造成方法や手順を、マーケティングの手法に基づいて講義する。魅力的な特典を考えるのみではなく、現実的な商品造成に向けて、料金設定等についても理解する。 事前学修 2.0hr：実際にあるホテルの企画商品を調べ、そのアピールポイントを考える 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
3 回	**授業テーマ：シティホテルの商品企画(1)(グループワーク)** 授業内容：シティホテルの特徴の確認。グループで、対象ホテルの強み・弱みを考え、ターゲットを絞る。企画のための情報や要素を集める。 事前学修 2.0hr：シティホテルの特徴を調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
4 回	**授業テーマ：シティホテルの商品企画(2)** 授業内容：対象ホテルの特徴を再確認し、グループで設定したターゲットのニーズに合った商品を、各自で企画する。必要な条件に基づいて企画商品を造成する。 事前学修 2.0hr：企画のための情報や要素を再確認する 事後学修 2.0hr：対象ホテルの商品を企画、造成し、レポートを作成する
5 回	**授業テーマ：シティホテルの商品企画(3)(グループワーク)** 授業内容：自ら造成した商品について、グループ内でプレゼンテーションを実施する。各自のアイデアをもちより、グループを代表する企画商品を造成。 事前学修 2.0hr：グループワークや発表の準備をする 事後学修 2.0hr：グループワークの内容をふまえ、グループで商品を完成させる
6 回	**授業テーマ：シティホテルの商品企画(4)(プレゼンテーション)** 授業内容：グループで造成した企画商品について、全体へのプレゼンテーションを実施する。評価基準にそって他グループの内容を評価する。 事前学修 2.0hr：全体発表の準備をする 事後学修 2.0hr：企画のプロセスや商品を振り返り、次回に向けて課題や改善点を考える
7 回	**授業テーマ：ビジネスホテルの商品企画(1)(グループワーク)** 授業内容：ビジネスホテルの特徴の確認。グループで、対象ホテルの強み・弱みを考え、ターゲットを絞る。企画のための情報や要素を集める。 事前学修 2.0hr：ビジネスホテルの特徴を調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
8 回	**授業テーマ：ビジネスホテルの商品企画(2)** 授業内容：対象ホテルの特徴を再確認し、グループで設定したターゲットのニーズに合った商品を、各自で企画する。必要な条件に基づいて企画商品を造成する。 事前学修 2.0hr：企画のための情報や要素を再確認する 事後学修 2.0hr：対象ホテルの商品を企画、造成し、レポートを作成する

9回	**授業テーマ：ビジネスホテルの商品企画(3)(グループワーク)** 授業内容：自ら造成した商品について、グループ内でプレゼンテーションを実施する。各自のアイデアをもちより、グループを代表する企画商品を造成。 事前学修 2.0hr：グループワークや発表の準備をする 事後学修 2.0hr：グループワークの内容をふまえ、グループで商品を完成させる
10回	**授業テーマ：ビジネスホテルの商品企画(4)(プレゼンテーション)** 授業内容：グループで造成した企画商品について、全体へのプレゼンテーションを実施する。評価基準にそって他グループの内容を評価する。 事前学修 2.0hr：全体発表の準備をする 事後学修 2.0hr：企画のプロセスや商品を振り返り、次回に向けて課題や改善点を考える
11回	**授業テーマ：地域のホテルの商品企画(1)(グループワーク)** 授業内容：新浦安に立地するホテルの特徴の確認。グループで、対象ホテルの強み・弱みを考え、ターゲットを絞る。企画のための情報や要素を集める。 事前学修 2.0hr：新浦安に立地するホテルの特徴を調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
12回	**授業テーマ：地域のホテルの商品企画(2)** 授業内容：対象ホテルの特徴を再確認し、グループで設定したターゲットのニーズに合った商品を、各自で企画する。必要な条件に基づいて企画商品を造成する。 事前学修 2.0hr：企画のための情報や要素を再確認する 事後学修 2.0hr：対象ホテルの商品を企画、造成し、レポートを作成する
13回	**授業テーマ：地域のホテルの商品企画(3)(グループワーク)** 授業内容：自ら作成した商品について、グループ内でプレゼンテーションを実施する。各自のアイデアをもちより、グループを代表する企画商品を造成。 事前学修 2.0hr：グループワークや発表の準備をする 事後学修 2.0hr：グループワークの内容をふまえ、グループで商品を完成させる
14回	**授業テーマ：地域のホテルの商品企画(4)(プレゼンテーション)** 授業内容：グループで造成した企画商品について、全体へのプレゼンテーションを実施する。評価基準にそって他グループの内容を評価する。 事前学修 2.0hr：全体発表の準備をする 事後学修 2.0hr：企画のプロセスや商品を振り返り、課題や改善点を考える
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：商品企画を振り返り、講義内容の復習とまとめ。ホテルの商品企画の目的と企画商品の必要性を再認識する。 事前学修 2.0hr：講義内容や企画のプロセスを振り返り、疑問点があれば整理する 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示

パーソナル・コミュニケーション実践演習 B（地域研究）／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習 B（地域研究）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

大学が位置する浦安市を中心として、この地域の歴史的背景や観光資源、年中行事など基礎知識を増やし観光学の視点から地域の魅力について考察する。また浦安市の行政機関などと連携しながら、まちづくりの軌跡と、まちづくりの課題、地域ごとの景観の特徴やルールを理解し地域連携の在り方など主体的に考察する。合わせて、この地域の魅力を広めるための観光コースを作成し、フィールドワークを通じて理解を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM3）

一般目標：・地域の景観の特徴、まちづくりをの政策や課題について理解する。
・明海大学が位置する地域との連携を通して、大学の地域への貢献のあり方を理解する 。
・地域の観光資源を活かした観光コース作りを通して、地域の魅力を活かした地域の活性化とディスティネーション・マーケティングの知識を身につける。

個別目標：・浦安市周辺の観光の魅力について具体的に外部の人に説明できる 。
・浦安市について理解し、その魅力を観光コースを作成する企画力を身につける。
・コンセプト作りから観光プランを作成し、フィールドワークをおこない観光プランの正誤性の検証をおこなう。

▌履修条件

・地域活性に興味があり、フィールドワークなど積極的に参加できること。
・フィールドワークなどの実践においては、授業時間帯ではおさまらない活動もあることを理解すること。
・グループワーク等、実践内容には積極的、自律的に参加することとし、与えられた役割には責任をもって取り組む。

▌評価基準・方法

・方法 定期試験 50 %、発表 20%、課題 20 %、授業への積極性・態度・取組み姿勢 10 %。
・原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
・最終評価は到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

・原則として、前回の授業に対して提出された授業コメントについて、フィードバックを次回授業内で行う。課題によっては、manaba のフィードバック機能を使用する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （原則、各回グループワークに基づくレポート作成）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜グループワーク内で使用）

▌教科書

授業内で適宜紹介する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業の内容・具体的な授業運営・シラバス内容・目指すゴール・評価基準** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション(授業評価基準、出欠基準など) ・当授業で取り上げる内容と到達目標について理解する。 事前学修 2.0hr：浦安市の魅力について調べる 事後学修 2.0hr：浦安市の観光資源を調べる
2回	**授業テーマ：地域の魅力とは** 授業内容：自身が居住する地域の魅力を整理する 事前学修 2.0hr：自身の居住する地域の魅力 事後学修 2.0hr：自身の居住する地域と浦安市の魅力を比較検討する
3回	**授業テーマ：浦安の観光資源について** 授業内容：観光資源の定義と浦安市の観光資源について、地域ごとに整理する 事前学修 2.0hr：浦安市の観光資源について調べる 事後学修 2.0hr：浦安市の観光資源を地域ごとに整理し、観光資源を理解する
4回	**授業テーマ：景観まちづくり** 授業内容：浦安市内における地域ごとの景観の特徴やルールを理解する。 事前学修 2.0hr：浦安市内で景観が美しいと思う場所と時間帯を考え選定する。 事後学修 2.0hr：実際に現地へ出向いて風景を撮影する。撮影した画像は授業での考察や発表の際に活用する。
5回	**授業テーマ：浦安市のまちづくりの歴史と展望** 授業内容：浦安市のまちづくりの軌跡と、直面する課題、今後の展望などを理解する。 事前学修 2.0hr：「都市計画」「まちづくり」に関連する基本的な概念や日本国内の成功事例・課題について文献やウェブサイトで調査する。 事後学修 2.0hr：授業で得た知識をもとに、浦安市のまちづくりの軌跡や直面する課題について自身の視点でまとめる。
6回	**授業テーマ：町の魅力、地域が活性化するために必要なことを考える** 授業内容：地域が活性化するために必要な要素や事例について、グループで調べ話し合う 事前学修 2.0hr：地域の観光資源の活性化に必要だと思う内容を整理する 事後学修 2.0hr：グループで共有した内容を整理し、グループの意見も取り入れる
7回	**授業テーマ：地域の観光資源を活かした観光コース作成** 授業内容：整理した町の観光資源を組み合わせ、観光コースの原案を作成する 事前学修 2.0hr：観光資源の詳細について必要な情報を集める 事後学修 2.0hr：観光資源の詳細を説明できるように理解する
8回	**授業テーマ：観光コースと観光交通** 授業内容：交通手段観光コースへの移動手段を考える 事前学修 2.0hr：それぞれの観光資源に移動するために必要な交通手段を調べる 事後学修 2.0hr：交通手段によって、観光コースがどれ位の時間がかかるか検証する

9回	**授業テーマ：観光コースと SNS** 授業内容：実際に作成した観光コースと SNS 配信 事前学修 2.0hr：作成した観光コースを SNS で発信するにはどのような手段が有効であるか 事後学修 2.0hr：観光資源を SNS で発信するにはどのような発信が有効であるか
10回	**授業テーマ：フィールドワーク** 授業内容：作成した観光コースの実証検証 事前学修 2.0hr：実際に作成した観光コースを訪れ、観光資源が魅力、時間配分など、フィールドワークで検証が必要な内容を検討する 事後学修 2.0hr：フィールドワークを通して検証した内容を精査する
11回	**授業テーマ：観光コースを確定する** 授業内容：フィールドワークを通して精査した観光コースにテーマ性を持たせ、1 つの観光コースとしてかたちにする 事前学修 2.0hr：観光コースのテーマを明確にするための準備 事後学修 2.0hr：観光コースのテーマ性にあった内容に落とし込み、プレゼンテーションに備えて準備する
12回	**授業テーマ：観光コースを広め地域活性化に役立てる** 授業内容：作成した観光コースの効果的な共有方法を検討する 事前学修 2.0hr：作成した観光コースを一般に広めるためにはどうしたらいいかを検討する 事後学修 2.0hr：観光コースのプレゼンテーションの準備をする
13回	**授業テーマ：観光コースのプレゼンテーション** 授業内容：作成した観光コースを全員が発表し、履修者は、発表内容に対して、質問やフィードバックを行う 事前学修 2.0hr：観光コースのプレゼンテーションの準備・練習をする 事後学修 2.0hr：発表者へのフィードバックを行う/発表者はそのフィードバックを受けて気づきを提出する
14回	**授業テーマ：観光コースのプレゼンテーション** 授業内容：作成した観光コースを全員が発表し、履修者は、発表内容に対して、質問やフィードバックを行う 事前学修 2.0hr：観光コースのプレゼンテーションの準備・練習をする 事後学修 2.0hr：発表者へのフィードバックを行う/発表者はそのフィードバックを受けて気づきを提出する
15回	**授業テーマ：浦安市の観光活性化の総括** 授業内容：観光コースを通しての浦安市活性化に繋げる礎を、浦安市などに提案する 事前学修 2.0hr：浦安市への提案をまとめる 事後学修 2.0hr：課題として期限までに発表資料を提出する

パーソナル・コミュニケーション実践演習Ｃ（ロジカルシンキング・ディベート）／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習Ｃ（ロジカルシンキング）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

橋本　尚興（はしもと　ひさおき）

▌授業の概要

ロジカルシンキング(論理的思考)とは、「根拠から主張に至る道筋を、誰にでも理解してもらえるように考えること」を指し、コミュニケーションの基本となります。
皆さんも「自分の主張が相手に伝わらない」「相手の主張が理解できない」といった経験があると思います。これらはロジカルシンキングを活用することで、相手に伝わるコミュニケーションへと改善することができます。また、「相手に伝わるか？」を突き詰めて考えることで、物事を様々な角度から見られるようになり、結果として非論理的な考え方にも気づけるようになります。
この授業では、基本的なツール類を活用したロジカルシンキングを実践し、社会で必須となる「相手が理解し納得できるコミュニケーション能力」の獲得を目指します。
なお、授業内容は環境や諸条件により変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、HTM3）

一般目標：・ロジカルシンキングの基本的な意味を理解し、実践する能力を得ることができる。(DP3)
個別目標：・ロジカルシンキングの基本的なツール類を使い、自分の考えを相手が理解できるように表現することができる。
　　・批判的に物事を見ることで、非論理的な事柄に気がつくことができる。

▌履修条件

・ロジカルシンキングに興味があり、コミュニケーション能力の向上を目指す学生
・自らの考えを話し、積極的に授業に参加する意欲を持っている学生

▌評価基準・方法

・学期末テスト　　２９点
・授業への貢献　　１５点
・授業ごとの課題　２６点（全１３回）
・ディベート＆ＧＤ　１０点（ＧＤとはグループディスカッションを表す）
・中間レポート提出　２０点
なお、全授業の８０%以上の出席、および学期末テストの受験を前提として評価します。

▌フィードバック方法

授業および manaba を通じてフィードバックを行います

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり（個人ワーク、グループワークを行います）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし（なお、利用する場合は事前に教員がお知らせします）

▌教科書

特にありません
適時資料を配布します

▌参考書

特にありません

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：ロジカルシンキングの定義、授業の進め方、履修条件、およびスケジュールについて説明します 事前学修 2.0hr：ロジカルとは何か？ について考えてくる 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
2回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの基本①　メリットと基本の形** 授業内容：事例を通してロジカルシンキングの必要性やメリットを説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
3回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの基本②　論理展開** 授業内容：主張と根拠、および根拠同士が、So-what（だから何なのか？）、Why-so（なぜそうなのか？）の関係を構築することで、飛躍のない論理であることを確認します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
4回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの基本③　論理ピラミッド** 授業内容：事前に反論を考える批判的思考にて自分の考えを強固にするとともに、論理ピラミッドを活用して「見える化」し、そのまま序論・本論・結論というレポート形式にまとめます。 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
5回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの基本④　根拠/理由/前提の整理** 授業内容：因果関係や MECE、3C、4P などの基本的なフレームワークを活用して、納得感の高い根拠を見つけます 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
6回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの基本⑤　ロジックツリー** 授業内容：皆さんの考えを整理するツール「ロジックツリー」を説明します。 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
7回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの基本⑥　問題解決** 授業内容：いままでに学修した内容を利用して、社会で直面するであろう問題を例にして、問題解決に取り組みます 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する

8回	**授業テーマ：中間レポート作成** 授業内容：いままでに学修した様々な考え方やツールを利用して、皆さん自身について中間レポートを作成していただきます。 事前学修 2.0hr：いままでの学修内容を復習しておく 事後学修 2.0hr：中間レポートを作成した際の自身の思考過程を記録・整理しておく
9回	**授業テーマ：ディベート準備** 授業内容：ある論点に対して、肯定、否定それぞれの立場に分かれて根拠と主張を組み立て、ディベート(討論)の準備をします 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
10回	**授業テーマ：ディベート実践** 授業内容：実際に簡単なディベート(討論)を行い、論理的な組み立てになっているのか？　納得感のある説明になっているのか？　について確認します 事前学修 2.5hr：前回の授業で組み立てた論理を再確認しておく。事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：フィードバックと自身の論理展開を振り返っておく
11回	**授業テーマ：水平思考** 授業内容：ロジカルシンキングを補完する発想方法(水平思考)に触れることで、様々な角度からアイデアを考えます。 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
12回	**授業テーマ：効率的なメールの書き方** 授業内容：相手に正しく伝わり、相手の時間を節約できる効率的なメールを作成します。 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
13回	**授業テーマ：エントリーシート** 授業内容：論理的に考える応用として「エントリーシート」をとらえることにより、就活における「ロジカルシンキング」の活用について考えます 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
14回	**授業テーマ：グループディスカッション** 授業内容：論理的に考える応用として「グループディスカッション」をとらえることにより、就活における「ロジカルシンキング」の活用について考えます 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する。　学生同士での評価内容を見返し、自身の論理展開を振り返っておく
15回	**授業テーマ：フェルミ推定とまとめ** 授業内容：就活への準備として、論理的な思考力が試されるフェルミ推定を知り、実際に使ってみます。 また、いままでのまとめと、学期末テストについて説明します。 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：すべての授業の内容を振り返り、日ごろからロジカルシンキングを行う習慣について再確認する

パーソナル・コミュニケーション実践演習 D（プレゼンテーション技法）／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習 D（プレゼンテーション技法）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

ジェイコブ　シェア

▌授業の概要

This class explores English for students wanting to study/live/travel overseas, apply for internships, job hunt and improve their English communication. Topics will include: culture, HT current topics, living abroad, and travel. Students will communicate in English through, discussions, presentations, reading, writing, and group work. Students are encouraged to bring and communicate their ideas to the class. Lesson schedule may change order or topic depending on class needs.
授業のスケジュール、内容などは授業のニーズに応じて変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、HTM3）

一般目標：The goal is for students to increase their communication, confidence, and understanding in English through the course of study. Students will learn about and be able to discuss cultural topics.

個別目標：Students will be able to present, discuss and demonstrate their ideas in English, prepare presentations, short topic research, prepare for English interviews and living abroad. Students will learn creative problem solving using English language skills.

▌履修条件

A desire to communicate in English is required. Also, completion of first year English classes.

▌評価基準・方法

30% Midterm Presentation, 30% Final Presentation, 30% Participation, 10% Homework
Tests will include, but not be limited to, writing, speaking and listening using a variety of methods.

▌フィードバック方法

There will be feedback on presentations, and in class work.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （group work ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （not needed, but a smartphone, or tablet is useful）

▌教科書

None. Weekly prints will be provided to students by the instructor, or distributed online on Manaba.

▌参考書

Only a dictionary and access to the internet for research.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction /Why we travel** 授業内容：a brief history on why people travel. 事前学修 2.0hr：lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
2 回	**授業テーマ：food and world wide cuisine** 授業内容：a look at different food cultures around the world and special health and religious diets. 事前学修 2.0hr：lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
3 回	**授業テーマ：Using the Web for travel/research** 授業内容：how to use the English web to research for travel. Looking at the large about of information about travel online. 事前学修 2.0hr：lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
4 回	**授業テーマ：Culture Shocks (Customs &Taboos)** 授業内容：a discussion on culture shocks, taboos and customs from around the world. 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
5 回	**授業テーマ：Worldwide Entertainment** 授業内容：A look at the variety of popular and unique entertainment around the world. 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
6 回	**授業テーマ：Review and preparation for the midterm exam/project** 授業内容：group work preparation for presentations. 事前学修 2.0hr：group work 事後学修 2.0hr：Group work
7 回	**授業テーマ：Presentations/Project** 授業内容：presentations 事前学修 2.0hr：Presentations 事後学修 2.0hr：Presentations
8 回	**授業テーマ：Creating a Character/Mascot for Promotion** 授業内容：How to create a mascot to promote tourism, or other service. 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
9 回	**授業テーマ：Over Tourism /Custom Tour Plans** 授業内容：looking at over-tourism and how the world is dealing with it, and making a plan to a less traveled destination in Japan. 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
10 回	**授業テーマ：Japanese Culture/Customs** 授業内容：comparing and contrasting Japanese culture and customs. 事前学修 2.0hr：lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work

11回	**授業テーマ：Life in Japan** 授業内容：A look at life in Japan as a foreigner. 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
12回	**授業テーマ：Internships /Job Preparation** 授業内容：looking at preparation for an internship and job hunting. 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
13回	**授業テーマ：Review and preparation for the final exam/project** 授業内容：team work on group presentations. 事前学修 2.0hr：group work 事後学修 2.0hr：group work
14回	**授業テーマ：final exam /projectct** 授業内容：presentations. 事前学修 2.0hr：presentations 事後学修 2.0hr：presentations
15回	**授業テーマ：final review and course reviewurse review** 授業内容：sum up of the course and final review. 事前学修 2.0hr：Group work 事後学修 2.0hr：group work

パーソナル・コミュニケーション実践演習 E（コンシェルジュ）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

川村　一司（かわむら　かずし）

▌授業の概要

世界の観光事業者は１０人に１人といわれているが、もはやホスピタリティの知識や技能は全産業においても必須のものとなっている。
ますます多様化し先の見えない世界となっても、そこに人がいれば、ホスピタリティの実践は欠かせない知識であり、成長の大きな原動力である。
この授業では、前半でコンシェルジュという職種の基本概要を学ぶ。後半からは、毎回の課題をグループワーク形式で行ってゆく。
授業内容、スケジュールは、状況によって変更することもある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3）

一般目標：ホスピタリティ業界に限らず、あらゆる業種においても対応できる、ホスピタリティの基本理念、実践方法をみにつける。
個別目標：人種、国籍、所属にとらわれることないプロのコミュニケーションが身につく。
　　他人や社会の通説ではなく、自分で考え、自分で価値判断をし、自走してゆくことができる。
　　ケーススタディー・演習を通じて、どのような場面でもホスピタリティに基づいた行動ができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

テスト・レポートの提出・内容・授業に対する積極性により総合評価。目安としては、レポート等提出 40 %、プレゼンテーション 40 %、授業への取り組み 20 %

▌フィードバック方法

課題、ワーク等に対しては、授業で取り上げ、フィードバックしてゆく。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義中においてグループワークやディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションに使用）

▌教科書

なし

▌参考書

「お客様の気持ちを読み解く仕事コンシェルジュ」2015 年　阿部佳著　秀和システム

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：初回ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進行、内容を説明を聞いて、次回以降の講義に備える。 事前学修 2.0hr：コンシェルジュについて、調べて自分の言葉で説明できるように考えてくる 事後学修 2.0hr：ホスピタリティの目的とコンシェルジュの職務の確認
2 回	**授業テーマ：コンシェルジュとは** 授業内容：コンシェルジュの仕事の特徴と、役割を知る。 事前学修 2.0hr：コンシェルジュと他の仕事との違いを説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：コンシェルジュの仕事についての確認と、疑問点をまとめる
3 回	**授業テーマ：コンシェルジュの哲学、精神、知識、態度とは** 授業内容：コンシェルジュに必要な知識、技能、スキルそして哲学について学ぶ。 事前学修 2.0hr：コンシェルジュとして必要な心構えや知識を調べておく。 事後学修 2.0hr：コンシェルジュに必要な心構え知識を確認する。
4 回	**授業テーマ：プロのネットワーク、コミュニケーション** 授業内容：ホスピタリティにおいて必要なプロのネットワーク、コミュニケーションについて知る。 事前学修 2.0hr：プロのネットワーク、コミュニケーションについて、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を、確認しまとめる。
5 回	**授業テーマ：コンシェルジュの歴史、レ・クレドール** 授業内容：長い歴史あるコンシェルジュ業務を歴史的に考察し、未来のあるべき姿を考える。 事前学修 2.0hr：コンシェルジュの成り立ち、語源などを事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を、確認しまとめる。
6 回	**授業テーマ：演習、グループワーク** 授業内容：コンシェルジュとして必要な知識はどのようなものがあるか考察し、次回のプレゼンテーションの準備をする。 事前学修 2.0hr：コンシェルジュとして必要な知識を事前に考えておく。 事後学修 2.0hr：グループで決まったテーマに沿って、次回のプレゼンテーションの準備をする。
7 回	**授業テーマ：演習：グループプレゼンテーション** 授業内容：各グループごとに発表、全体でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：ディカッションで確認した疑問点を次回グループワークで取り上げる準備をする。
8 回	**授業テーマ：演習、グループワーク** 授業内容：コンシェルジュとして必要な知識はどのようなものがあるか考察し、次回のプレゼンテーションの準備をする。 事前学修 2.0hr：コンシェルジュとして必要な知識を事前に考えておく。 事後学修 2.0hr：グループで決まったテーマに沿って、次回のプレゼンテーションの準備をする。
9 回	**授業テーマ：演習：グループプレゼンテーション** 授業内容：各グループごとに発表、全体でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：ディカッションで確認した疑問点を次回グループワークで取り上げる準備をする。
10 回	**授業テーマ：演習、グループワーク** 授業内容：実際にコンシェルジュとしてバースデーやアニバーサリーへの特別手配を計画し、次回のプレゼンテーションの準備をする。 事前学修 2.0hr：特別手配する場合に必要な事柄を事前にリストアップしてくる。 事後学修 2.0hr：グループで決まったテーマに沿って、次回のプレゼンテーションの準備をする。
11 回	**授業テーマ：演習：グループプレゼンテーション** 授業内容：各グループごとに発表、全体でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：ディカッションで確認した疑問点を次回グループワークで取り上げる準備をする。

12回	**授業テーマ：演習、グループワーク** 授業内容：実際にコンシェルジュとして特別な体験の特別手配を計画し、次回のプレゼンテーションの準備をする。 事前学修 2.0hr：　特別手配する場合の必要な事柄を事前にリストアップしてくる。 事後学修 2.0hr：グループで決まったテーマに沿って、次回のプレゼンテーションの準備をする。
13回	**授業テーマ：演習：グループプレゼンテーション** 授業内容：各グループごとに発表、全体でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：ディカッションで確認した疑問点を次回グループワークで取り上げる準備をする。
14回	**授業テーマ：演習　個別　プレゼンテーション　グループ１と２** 授業内容：全体を通じて学んだホスピタリティ・コンシェルジュの現状そして未来のあるべき姿を提案する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：前期で学んだことをまとめて、今後に生かしてゆく。
15回	**授業テーマ：演習　個別　プレゼンテーション　グループ１と２** 授業内容：全体を通じて学んだホスピタリティ・コンシェルジュの現状そして未来のあるべき姿を提案する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：前期で学んだことをまとめて、今後に生かしてゆく。

ロジカル思考

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

櫻井　俊輔（さくらい　しゅんすけ）

▌授業の概要

この科目は、プロジェクトを円滑に推進するうえで必要な論理的思考の体得を目的とする。
具体的には、実習・グループワーク・プレゼンテーション・ディベート・ディスカッション等の体験的学習を通して訓練を積み重ねていく。
論理的思考の獲得は、今後の様々な場面で多様なステークホルダー（利害関係者）と発生する意思疎通（コミュニケーション）において、物事の理解を共通化する共通言語の獲得に匹敵する。
※なお、以下は諸事情により変更が生じる場合もある。manaba のコースニュースや講義中に告知するので留意すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 3）

一般目標：プロジェクトを円滑に推進するために、多様なステークホルダーとの意思疎通に欠かせない論理的思考を身につける
個別目標：①ロジカル思考の基礎を理解できる
②口頭でも書面でも、より効果的な（＝説得力を持った）コミュニケーションが出来るようになる
③論理的思考について説明できるとともに実践できるようになる

▌履修条件

・授業に必要な連絡手段を確保するため、manaba からの通知を受信する手段を確保できること
・授業中もインターネットを活用するため、アクセスできる端末（スマートフォン・タブレット・パソコン）を持参できること
・一方通行の講義よりも双方向の実習が多いため、自力で日本語での意思疎通が可能であり、積極的に参画する自主性があること

▌評価基準・方法

レポート 60 点（4 点× 15 回）· レポートピアレビュー 30 点 (2 点× 15 回) · 貢献度（相互評価）10 点及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席をしないものは評価しない。
※定期試験なし

▌フィードバック方法

課題のフィードバックや諸連絡は、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実習・グループワーク・ディスカッション・プレゼンテーション・ディベート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （インターネットは使用するが PC は必須としない（スマートフォンやタブレットで問題ない））

▌教科書

使用しない

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション（目標、全体スケジュール、その他）** 授業内容：履修にあたり、講師のひととなり・一緒に学ぶ仲間のひととなり・履修のルール・次回までの課題などを理解することで、本講義の受講に向けた気づきを得る。 事前学修 0.5hr：論理的に考えることについて自分の考えをまとめてくる 事後学修 0.5hr：講義内容の復習
2回	**授業テーマ：世の中の非論理的なことについて考える** 授業内容：「論理的であること」を考えるために「論理的ではない」と感じられたり考えられたりするものについて、論理的でない理由・論理的でないものが正当化される背景などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
3回	**授業テーマ：論理的であるということ：トゥールミンモデル** 授業内容：「論理的であること」を理解するために、論理的に議論をする構造についてのモデルの理解や解釈などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
4回	**授業テーマ：論理的であるための前提条件　①曖昧性の排除・事実と意見** 授業内容：日常会話や世の中にある情報には論理性を阻害する要因があふれている。論理的であることをより理解するために、曖昧な情報や意見が混在している情報を精査する方法を実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
5回	**授業テーマ：論理的であるための前提条件　②主張することについて** 授業内容：論理的思考の主要な構成要素である「主張すること」の意義について、主張することの確からしさ・主張することの難しさなどを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
6回	**授業テーマ：論理的であるための前提条件　③根拠の整理：ＭＥＣＥ／ロジックツリー　基礎編** 授業内容：論理的思考の主要な構成要素である「論拠の整理」について、漏れなく・重なりなく論拠を準備する意義や手段などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
7回	**授業テーマ：論理的であるための前提条件　③根拠の整理：ＭＥＣＥ／ロジックツリー　応用編** 授業内容：論理的思考の主要な構成要素である「論拠の整理」について、漏れなく・重なりなく論拠を準備する意義や手段などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
8回	**授業テーマ：論理的であるための前提条件　③根拠の整理：ＭＥＣＥ／ロジックツリー　実践編** 授業内容：論理的思考の主要な構成要素である「論拠の整理」について、漏れなく・重なりなく論拠を準備する意義や手段などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習

9回	**授業テーマ：論理的であるための前提条件　④主張と根拠をつなぎ合わせる：ピラミッドストラクチャー　基礎編** 授業内容：論理的思考の主要な構成要素である「主張」と「根拠」をつなげる手段の「論拠」と「裏付け」について、「主張」に説得力を生むための「論拠」の作り方・「論拠」から「主張」を生み出す手段などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
10回	**授業テーマ：論理的であるための前提条件　④主張と根拠をつなぎ合わせる：ピラミッドストラクチャー　応用編** 授業内容：論理的思考の主要な構成要素である「主張」と「根拠」をつなげる手段の「論拠」と「裏付け」について、「主張」に説得力を生むための「論拠」の作り方・「論拠」から「主張」を生み出す手段などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 3.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
11回	**授業テーマ：論理的であるための前提条件　④主張と根拠をつなぎ合わせる：ピラミッドストラクチャー　実践編** 授業内容：論理的思考の主要な構成要素である「主張」と「根拠」をつなげる手段の「論拠」と「裏付け」について、「主張」に説得力を生むための「論拠」の作り方・「論拠」から「主張」を生み出す手段などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 3.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
12回	**授業テーマ：論理の展開：帰納法と演繹法** 授業内容：自分の主張を「論理的」に誰かに伝えるための方法について、演繹法で伝える方法・帰納法で伝える方法・演繹法と帰納法の使い分けなどを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 3.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
13回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの実践①　ロジカル・コミュニケーション** 授業内容：論理的なコミュニケーションを実践するために、ロジカルシンキングを踏まえたコミュニケーション・論理展開のコツ・コミュニケーションを論理的に構成する前提条件などをディスカッションを交えて理解する。 事前学修 3.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 1.0hr：講義内容の復習
14回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの実践②　グループディスカッション** 授業内容：論理的なコミュニケーションの応用の一つである「グループディスカッション」について論理的思考で捉え、グループディスカッションでの論理展開のコツや論理的なグループディスカッションを構成する前提条件などを実習を通じて理解する。 事前学修 3.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 1.0hr：講義内容の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：ここまで伝達してきた知見を総括し、様々な応用例を紹介することで、今後の活用に向けた洞察を深める。 事前学修 3.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習

デザイン思考

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

櫻井　俊輔（さくらい　しゅんすけ）

▌授業の概要

この科目は、創造的な問題解決のアイデアを創出するうえで必要なデザイン思考の体得を目的とする。
具体的には、ディスカッションやグループワーク等の体験的学習を通して訓練を積み重ねていく。
デザイン思考の獲得は、今後の社会において問題を発見し、それらの未知の課題に対して本質的なイノベーションを推進するために現状を打破するスキルの獲得に匹敵する。
※なお、以下は諸事情により変更が生じる場合もある。manaba のコースニュースや講義中に告知するので留意すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 3）

一般目標：本質的なイノベーションを推進するために、創造的な問題解決のアプローチに欠かせないデザイン思考を身につける
個別目標：①デザイン思考の基礎を理解できる
②各回のテーマとなるツールや技法を理解し、提示される課題を作成できる
③デザイン思考について説明できるとともに実践できるようになる

▌履修条件

・「ロジカル思考」で既習した内容と関連する説明も多く含まれるため「ロジカル思考」を履修済みであること
・授業に必要な連絡手段を確保するため、manaba からの通知を受信する手段を確保できること
・授業中もインターネットを活用するため、アクセスできる端末（スマートフォン・タブレット・パソコン）を持参できること
・一方通行の講義よりも双方向の実習が多いため、自力で日本語での意思疎通が可能であり、積極的に参画する自主性があること

▌評価基準・方法

レポート 60 点（4 点× 15 回）・レポートピアレビュー 30 点 (2 点× 15 回)・貢献度（相互評価）10 点及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席をしないものは評価しない。
※定期試験なし

▌フィードバック方法

課題のフィードバックや諸連絡は、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実習・ディスカッション・プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （インターネットは使用するが PC は必須としない（スマートフォンやタブレットで問題ない））

▌教科書

使用しない

▌参考書

特になし
※必要に応じて授業内で随時紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション（目標、全体スケジュール、その他）** 授業内容：履修にあたり、講師のひととなり・一緒に学ぶ仲間のひととなり・履修のルール・次回までの課題などを理解することで、本講義の受講に向けた気づきを得る。 事前学修 2.0hr：「デザイン」や「イノベーション」について自分のイメージをまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
2回	**授業テーマ：デザイン思考の概念** 授業内容：デザイン思考は何であって何でないのか。ここでは、デザイン思考を他の思考法と対比しながら解説し、基本的な概念やその重要性などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
3回	**授業テーマ：社会の理解** 授業内容：デザイン思考の要点である共感性を養う土台として、多様な社会や世代・人の特性を理解することが重要である。ここでは、社会全体について事例検討やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
4回	**授業テーマ：ユーザー中心性（共感性）** 授業内容：ユーザー中心性（共感性）はデザイン思考の重要な概念の一つである。ここでは、ユーザーのニーズや観点の理解、それらの概念や重要性などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
5回	**授業テーマ：ユーザー理解** 授業内容：ユーザー理解はユーザー中心性を達成する第一歩である。ここでは、ユーザーのニーズの捉え方や問題に対する具体的なアプローチ方法などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
6回	**授業テーマ：問題の定義** 授業内容：デザイン思考は「厄介な問題」で特に有効とされる。ここでは、デザイン思考が扱う問題の概念や問題を明確に定義することの大切さとその手法などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
7回	**授業テーマ：アイデア生成・概念化** 授業内容：アイデアは、より多く、より質の高いものを生み出すためのアプローチが存在する。ここでは、ブレーンストーミング技法など創造的なアイデアを生成する方法について実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践

8回	**授業テーマ：解決策の選定・評価** 授業内容：生成されたアイデアは全てが有効とは言えず、仮に有効であっても最も効果的なアイデアを選定することが効率的である。ここでは、ビューコンセプトセレクションなど複数の解決策から最適なものを選定するための方法について実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
9回	**授業テーマ：プロトタイピング** 授業内容：選定した解決策を実際に形にすることで、さらに有効性が検証できる。ここでは、ペーパープロトタイピングなどプロトタイピングの手法について実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
10回	**授業テーマ：アジャイル・アプローチ** 授業内容：プロトタイピングを進めるうえで鍵となる考え方が「アジャイル」である。ここでは、アジャイル型開発の起源や価値と原則を紹介し、その実践手法について実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
11回	**授業テーマ：テストとフィードバック** 授業内容：プロトタイプはテストし、フィードバックを受け取り、改善を重ねることで進化する。ここでは、それらの概念や手法などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
12回	**授業テーマ：デザイン思考におけるコミュニケーション①モチベーション(コーチング)** 授業内容：デザイン思考はメンバーの主体的な意識が求められる。ここでは、参画意識を持たせるための手法を実習やグループワークを交えて理解し、今後の活用に向けた実践力を高める。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
13回	**授業テーマ：デザイン思考におけるコミュニケーション②ファシリテーション** 授業内容：デザイン思考は活発な議論によって成立している。ここでは、議論やチームでの活動を円滑にするための手法を実習やグループワークを交えて理解し、今後の活用に向けた実践力を高める。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
14回	**授業テーマ：デザイン思考におけるコミュニケーション④プレゼンテーション** 授業内容：ここまで伝達してきたデザイン思考の観点から改めてプレゼンテーションを捉え直し、今後の活用に向けた実践力を高める。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：ここまで伝達してきた知見を総括し、様々な応用例を紹介することで、今後の活用に向けた洞察を深める。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践

デジタル・イノベーション探究 A（デジタライゼーション・ビジネスモデル・プラットフォームビジネス）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

桑本　謙介（くわもと　けんすけ）

▌授業の概要

AI がデザインや構成を担う時代だからこそ、プレゼンターには「本質的な思考力」と「場を動かす人間力」が問われている。AI には代替できない「聴衆の感情への呼応」や「状況に応じた即興性」こそが、今後のキャリアを決定づける強力な武器となる。本講座では、AI を活用しながらも、プレゼンテータにしか成し得ない「伝える力」を磨くことに主眼を置く。論理的な問題解決に必要な思考技術と、プレゼンテーションの実技を通じた伝達技術をあわせて学ぶ。これにより、自身のアイデアを単なる「情報」としてではなく、相手にとっての「価値」として提示するための実践的なスキルを習得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：一般目標：プレゼンテーションを作成し、他の学生の前でプレゼンテーションを行う体験を行う。自分の発表を他者が聞いてどのように感じたかなどの意見を聞く機会を得る。また、プレゼンテーションの作成に必要な「抽象化」や、「論理的に伝えるための論理展開」などテクニックに関して座学で学ぶことを通して「伝える力」を鍛える。

個別目標：個別目標：多様なフレームワークや手法を選択し、自らの考えを反映させた構成を練り上げることで、聴衆の心を動かす効果的な発表を体験する。あくまでもフレームワークの理解とプレゼンテーション体験が重要で一般的なプレゼンテーションの美しさやプレゼンテーションテクニックは問うものではない。

▌履修条件

授業内容を理解し、将来これらのスキルを役立てていく意欲を持っていること。PC の操作が可能であること。本講座内容は講座の進捗に応じて新しい題材を行うことがある。また進捗に応じて授業テーマの順番が変わることもある。

▌評価基準・方法

最終プレゼンテーション提出：60 %
授業への参加：40 %
試験は行わない

▌フィードバック方法

体調不良等様々な理由により出席できない場合には授業内容をフィードバックするなど個別に対応するなどで極力対応することとする。提出物提出後、改善が必要な提出物についてはレビューとともに返却し、再提出させる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （自分もしくはグループで社会問題解決につながる題材を考え、プレゼンテーションを作成する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業スライドの閲覧とプレゼンテーション）

▌教科書

教科書は使用しない。資料は manaba にて配布する。

▌参考書

講座の中で適宜推奨図書や引用を紹介することとする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本授業の目的やゴールの確認と講座全体の説明を行う。可能な限り講師と受講者の双方向で会話を行い授業の方向性に関して合意を取る。 事前学修 2.0hr：本授業への期待を考えてくること 事後学修 2.0hr：自分なりにゴールを設定すること
2 回	**授業テーマ：デジタル・イノベーションの概要と質問の技術** 授業内容：デジタル・イノベーションの定義と重要性に関して学ぶ。またテクニックとしての「聞く力」について考える。 事前学修 2.0hr：コミュニケーションにおける質問の役割を自分なりに考えておくこと 事後学修 2.0hr：授業内容を意識して日常で質問を行うことでの問題解決を行ってみること
3 回	**授業テーマ：デジタライゼーションがもたらす企業変革とファシリテーションとそれを用いたコミュニケーション** 授業内容：デジタライゼーションとデジタルトランスフォーメーションについて学ぶ。また会議体をうまく運営するための技法としてファシリテーションの基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：自分が仕切るような話し合いがあった際に何を準備するかを考えておくこと 事後学修 2.0hr：日常生活でファシリテーションが使えるところを考えて実践してみること
4 回	**授業テーマ：デジタルビジネスモデルの類型とプレゼンテーションの構造と作成** 授業内容：従来型ビジネスモデルとデジタルビジネスモデルの違いを考える。またプレゼンテーション技法の概要を学ぶ。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションが必要なシーンを想像しておくこと 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成にあたっての必要な準備について自分なりに整理をしておくこと
5 回	**授業テーマ：メモと議事録を取る技術** 授業内容：ビジネスは相手があることで、相手の言いたいことを理解し、文章化することが極めて重要になる。そのため Youtube を見ながら実際にメモを取ってみて、それを議事録にすることを行う。 事前学修 2.0hr：自分がとるメモを見直してみること 事後学修 2.0hr：機会を見つけて自分のメモを議事録の体裁にしてみること
6 回	**授業テーマ：論理学とロジカルシンキング** 授業内容：論理的に物事を考えて表現するためのスキルを学ぶ。単なるフレームワークだけではなく、その背景にある歴史や文化にも触れる。 事前学修 2.0hr：可能であればロジカルシンキングが何かということを Web 等で調べてから講義に望むこと 事後学修 2.0hr：内容が難しいため、授業内容を復習すること
7 回	**授業テーマ：言語化について考える** 授業内容：自分の内側にあるモヤモヤした感覚を、他者が納得し、動かされるレベルまで論理的に構築するためにどのような方法があるかを考える。 事前学修 2.0hr：第 6 回の講座内容を復習すること 事後学修 2.0hr：最終提出物 (レポート) に向け、課題を検討すること
8 回	**授業テーマ：プレゼンテーション実施にあたっての確認ポイント** 授業内容：プレゼンテーションは、うまくやるよりも、やってはいけないことをやらないという観点が必要になる。そのために自らが作成したプレゼンテーションを実施する際に確認しておいた方が良いポイントを学ぶ。 事前学修 2.0hr：第 4 回の講座の復習をしてくること 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションを行うイメージを付けて復習をすること

9回	**授業テーマ：問題解決とネゴシエーション** 授業内容：ビジネスや日常生活において遭遇する問題や課題に対処し、効果的な解決策を見つける方法について学ぶ。(本講座内容は講座の進捗に応じて新しい題材を行うこともある) 事前学修 2.0hr：第 2 回の講座の復習をすること 事後学修 2.0hr：内容が難しいため、授業内容を復習すること
10回	**授業テーマ：プレゼンテーションを聞く(第 1 回)** 授業内容：他の学生のプレゼンテーションを聞く 事前学修 2.0hr：第 9 回までの講座内容を復習すること 事後学修 2.0hr：「ジブンゴト」として他人の意見を考える
11回	**授業テーマ：プレゼンテーションを聞く(第 2 回)** 授業内容：他の学生のプレゼンテーションを聞く 事前学修 2.0hr：第 9 回までの講座内容を復習すること 事後学修 2.0hr：「ジブンゴト」として他人の意見を考える
12回	**授業テーマ：図の効果的な使い方** 授業内容：プレゼンテーション作成にあたって図や表を使ってわかりやすく表現する技術を学ぶ。 事前学修 2.0hr：どのようなものでもよいのでプレゼンテーション資料を入手し、図の使い方について考察すること 事後学修 2.0hr：授業前に自分が作った図を題材に相手に伝わりやすいように考え直してみること
13回	**授業テーマ：サービスデザインとサービスのリスクから提案を考える** 授業内容：カスタマージャーニーマップの基礎を学び、IT を使った課題解決を例にカスタマージャーニーマップがどのようなものであるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：サービスデザインに関して事前に調査をすること 事後学修 2.0hr：授業内容を復習すること
14回	**授業テーマ：社会問題を解決するような提案を考える** 授業内容：今までの授業を通して、自分で考えた題材で、サービスをデザインし、安心してサービスを使えるようなプレゼンテーション資料を作成する 事前学修 2.0hr：自分の最終提出物の題材と誰に対するプレゼンテーションであるかを決定しておくこと 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションのシナリオを作成すること
15回	**授業テーマ：最終提出物作成にあたってのブレーンストーミング** 授業内容：最終提出物作成に向けての質疑応答や、受講者のモデルのケースを扱いどのようにプレゼンテーションを組み立てていくかを考える。 事前学修 2.0hr：自分の最終提出物のイメージをつけてくること 事後学修 3.0hr：最終提出物の作成を行うこと

デジタル・イノベーション探究 B（顧客価値・顧客データ分析・CRM）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

従来の経験則による顧客を状況として把握するのではなく、もっと多角的な視野から顧客を捉えるためには、情報量が膨大になる。そこで、顧客をデータとして把握することによって、多角的に顧客分析を実施する方法についてデータサイエンスの視点で学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：①顧客が何を求めているのかを把握することができる
②主観的/客観的の区別ができる
③定性的/定量的の違いを理解できる

個別目標：(1) データサイエンスに基づく分析ができる
(2) 実証分析とケーススタディの違いがわかる
(3) 社会科学と自然科学におけるアプローチの違いがわかる

▌履修条件

Phthon の動作する PC/タブレットが必要。

▌評価基準・方法

演習: 35 点（適宜実施）
Contribution: 15 点（1 点× 15 回）
試験: 50 点

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba もしくは Classroom を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （顧客のニーズを把握するためのディスカッションを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （担当教員の許可のもと、使用可）

▌教科書

特になし。

▌参考書

適宜アナウンスする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：初回ガイダンス** 授業内容：本講義の進め方/評価方法について説明する。 事前学修 2.0hr：どの様な授業が実施されるのかを把握しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容および進め方についてチェックする。
2 回	**授業テーマ：お客様は神様か** 授業内容：-「お客様は神様です」という考え方について議論する。 -なぜ顧客を知る必要があるのかについて考える。 事前学修 2.0hr：お客様は神様という考え方は日本固有なのかについて予習する。 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
3 回	**授業テーマ：顧客データ分析 1** 授業内容：セグメンテーション分析について学ぶ。 要 Python or Excel 事前学修 2.0hr：Python をインストールしておく 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
4 回	**授業テーマ：顧客データ分析 2** 授業内容：バスケット分析について学ぶ。 要 Python or Excel 事前学修 2.0hr：Python をインストールしておく 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
5 回	**授業テーマ：顧客データ分析 3** 授業内容：RFM 分析について学ぶ。 要 Python 事前学修 2.0hr：Python が使える環境 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
6 回	**授業テーマ：中間試験** 授業内容：これまでの分析方法を用いて顧客提案資料を作成する。 事前学修 3.0hr：中間試験準備 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
7 回	**授業テーマ：定量的と定性的** 授業内容：定量データと定性データの取扱いについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：Python が使える環境 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
8 回	**授業テーマ：データに基づくマーケティングについて** 授業内容：経験則ではなくデータに基づくマーケティングについて学ぶ 事前学修 2.0hr：Python が使える環境 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
9 回	**授業テーマ：回帰分析** 授業内容：単回帰分析と重回帰分析について学ぶ。 事前学修 2.0hr：Python が使える環境 事後学修 2.0hr：講義内容の把握

10回	**授業テーマ：仮説構築** 授業内容：データ分析を実施する上で重要な仮説の立て方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：筆記用具持参すること 事後学修 2.5hr：講義内容の把握
11回	**授業テーマ：データセット** 授業内容：仮説を実証するためにはどのようなデータセットを用いればよいかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：Python が使える環境 事後学修 2.5hr：講義内容の把握
12回	**授業テーマ：多値分類** 授業内容：多値分類について学習する。 事前学修 2.0hr：Python が使える環境 事後学修 2.5hr：講義内容の把握
13回	**授業テーマ：2 値分類** 授業内容：2 値分類について学習する。 事前学修 2.0hr：Python が使える環境 事後学修 3.0hr：講義内容の把握
14回	**授業テーマ：時系列予測** 授業内容：時系列予測について学習する。 事前学修 2.0hr：Python が使える環境 事後学修 3.0hr：講義内容の把握
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：仮説を立て、それに適したデータセットを作成、分析し評価するまでのプロセスをおさらいする。 事前学修 2.0hr：Python が使える環境 事後学修 4.0hr：試験準備

デジタル・イノベーション探究 C（プロジェクト管理）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

櫻井　俊輔（さくらい　しゅんすけ）

▌授業の概要

この科目は、最新版のグローバル・スタンダード(PMBOK ®ガイド第 7 版)及び進化型組織デザインプログラム『DXO（ディクソー)』に基づき、多様なステークホルダー(利害関係者)との連携による目標達成の手法「プロジェクトマネジメント」の基本的な知識と技術の体得を目的とする。
具体的には、PBL（課題解決型学習)による実践を中心に、実習・グループワーク等の体験的学習を通して訓練を積み、その知見の表面的な理解に留まらず、現実に適用するための感性を養う。
プロジェクトマネジメントの体得は、デジタル領域に限らず広く社会全般でイノベーションを推進できるリーダーとして活躍するための第一歩である。
※なお、以下は諸事情により変更が生じる場合もある。manaba のコースニュースや講義中に告知するので留意すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：目標達成の手法である「プロジェクトマネジメント」の基本的な知識と技術を体得する
個別目標：①プロジェクトマネジメントの全体像や要素の関係性を理解し、説明できる
②各回のテーマとなるツールや技法を理解し、提示される課題を作成できる
③円滑にプロジェクトを推進するために必要な人間力について実感できる

▌履修条件

・各々の技法を用いるためには論理的思考力が必須であるため「ロジカル思考」を履修済みであること
・授業に必要な連絡手段を確保するため、manaba からの通知を受信する手段を確保できること
・授業中もインターネットを活用するため、アクセスできる端末(スマートフォン・タブレット・パソコン)を持参できること
・一方通行の講義よりも双方向の実習が多いため、自力で日本語での意思疎通が可能であり、積極的に参画する自主性があること

▌評価基準・方法

レポート 60 点(4 点× 15 回)・レポートピアレビュー 30 点 (2 点× 15 回)・貢献度(相互評価) 10 点及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席をしないものは評価しない。
※定期試験なし

▌フィードバック方法

課題のフィードバックや諸連絡は、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （PBL（課題解決型学習)・実習・ディスカッション・プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （インターネットは使用するが PC は必須としない(スマートフォンやタブレットで問題ない)）

▌教科書

使用しない

▌参考書

特になし
※必要に応じて授業内で随時紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション(目標、全体スケジュール、その他)** 授業内容：履修にあたり、講師のひととなり・一緒に学ぶ仲間のひととなり・履修のルール・次回までの課題などを理解することで、本講義の受講に向けた気づきを得る。 事前学修 1.0hr：自分なりのプロジェクト経験をまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
2 回	**授業テーマ：社会構造の変化とプロジェクトマネジメントの在り方** 授業内容：プロジェクトとは独自の価値を実現する有期的な活動である。ここでは、社会構造の変化を理解し、それに伴いプロジェクトやプロジェクトマネジメントの在り方がどのように変化してきているかをディスカッションを交えて理解する。 その上で、将来自分自身がプロジェクト管理を行う際の選択肢を持てるようにする。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
3 回	**授業テーマ：プロジェクトマネジメントの土台①　DOJYO BASE** 授業内容：プロジェクトを円滑に進めるために必要な組織の土壌づくりを実習やディスカッションを交えて理解する。また、プロジェクト組織が目指すべき『北極星』の定め方を習得する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
4 回	**授業テーマ：プロジェクトマネジメントの土台②　組織 OS の種類とプロジェクトマネジメント** 授業内容：プロジェクト組織の種類によって、情報伝達・意思疎通の仕方が異なります。ここではプロジェクト組織の OS の違いによって、プロジェクトマネジメントがどのように変わるかを具体的な実例やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
5 回	**授業テーマ：プロジェクトマネジメントの土台③　RINGO PROCESS** 授業内容：これからの社会で当たり前になっていく自律分散型組織のおける意思決定の仕組みを実習やディスカッションを交えて理解し、習得する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
6 回	**授業テーマ：戦略文書(プロジェクト概要)** 授業内容：プロジェクトの開始前や開始時には、プロジェクトについての戦略を文書化する。ここでは、それらの戦略文書の概要・考え方・書き方などを PBL（課題解決型学習)による実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
7 回	**授業テーマ：計画書　コミュニケーション・マネジメント計画書／プロジェクトマネジメント計画書** 授業内容：プロジェクトの目標達成とはプロジェクトマネジメントを計画的に継続した結果に他ならない。ここでは、プロジェクトマネジメント計画と、プロジェクトを推進する中で度々発生する変更の概念・考え方・計画書の書き方などを PBL（課題解決型学習)による実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践

8回	**授業テーマ：不確かさ(リスク)** 授業内容：プロジェクトが目標達成するまでの過程には多くの不確定要素が存在する。ここでは、それらの概念・考え方・分析方法などを PBL(課題解決型学習)による実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
9回	**授業テーマ：アジャイルプロジェクトマネジメント①** 授業内容：変化が激しい現代に求められるアジャイル的なプロジェクトマネジメントの概念やステークホルダーの役割、マネジメントプロセス、要求の決定方法について実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
10回	**授業テーマ：アジャイルプロジェクトマネジメント②** 授業内容：アジャイル的なプロジェクトマネジメントのプロセス実行方法について実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
11回	**授業テーマ：階層チャート(WBS)** 授業内容：プロジェクトは、目標達成に必要な「要素」に分解することで、詳細な計画となり、実行に移せるようになる。ここでは、その細分化のための技術である WBS（作業分解図)の概念・考え方・作成方法などを PBL（課題解決型学習)による実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
12回	**授業テーマ：視覚的データと視覚的情報　ガントチャート、プロジェクト・スケジュール・ネットワーク図** 授業内容：視覚化されたデータはプロジェクトにおいて意思決定と優先順位付けに活用される。ここでは、スケジュールの概念・見積もり方・視覚化の方法などを PBL（課題解決型学習)による実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
13回	**授業テーマ：ベースライン(予算)** 授業内容：プロジェクト活動には、人件費や原材料費など様々なコスト(費用)が発生する。ここでは、見積もり手法・コスト管理表の作成方法・コストオーバー時の対応などを PBL（課題解決型学習)による実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
14回	**授業テーマ：報告** 授業内容：プロジェクトでは、様々なステークホルダーに情報を伝達する必要がある。ここでは、報告が求められる場面について考え、効果的な報告のあり方や具体的な方法などを PBL（課題解決型学習)による実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 3.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 1.0hr：講義内容の復習・課題の実践
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：ここまで体得してきた知見を総括し、今後の実社会での実践に向けて理解を深める。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践

デジタル・イノベーション探究 D（デジタライゼーションと SDGs・国際社会）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

谷本　浩治 (たにもと　こうじ)

▌授業の概要

大きく分けて 3 つのフェーズから講義を行う。
1) デジタライゼーションの概要説明・ディスカッション
2) SDGs の課題感と解決方法を学ぶ
3) 国際社会の課題感と解決方法を学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 3）

一般目標：一般目標:1) 知識: デジタライゼーションとは何かを学び、他者に説明できるようになる。また、SDGs や国際社会の課題を理解し、ソリューション
を検討するプロセスと判断軸を学ぶ。
2) 態度: 他の講義同様学生同士で活発なコミュニケーションを取り・クラスの学びに貢献すること
3) 技能: デジタライゼーションを通して課題に対するソリューション提供プロセスを理解し、第一の地球・第二の地球/リアル・オンラインの使い分けができるようになる。

個別目標：同上

▌履修条件

1 年次の履修科目を全て履修済みの学生

▌評価基準・方法

出席・講義中の発言及び試験/レポート結果

▌フィードバック方法

出席・講義中の発言及び試験/レポート結果

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(動画及び教育コンテンツ)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （(グループワークに利用する可能性あり)）

▌教科書

事前に配布する資料・及び講師指定の教育コンテンツ

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：チュートリアル** 授業内容：チュートリアル:自己紹介 (チェックイン) 株式会社 KT VACE 代表取締役社長 谷本浩治 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
2 回	**授業テーマ：「デジタル時代における文化の力 ― 国際社会・SDGs・観光の交差点」** 授業内容：デジタル化が進む現代において、文化が国際社会・観光・SDGs とどう結びつき、未来を支える力になるのかを考える講義。 国際伝統文化振興会 理事長 /株式会社 ITOSHIO 代表取締役　東海林 亮太 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
3 回	**授業テーマ：「デジタル時代における文化の力 ― 国際社会・SDGs・観光の交差点」** 授業内容：デジタル化が進む現代において、文化が国際社会・観光・SDGs とどう結びつき、未来を支える力になるのかを考える講義。 国際伝統文化振興会 理事長 /株式会社 ITOSHIO 代表取締役　東海林 亮太 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
4 回	**授業テーマ：生成 AI のビジネス活用を学ぶ「生成 AI ゲーミフィケーション体験」** 授業内容：生成 AI「だけ」を活用してカフェ経営！？　経営パートナーとして AI に頼り切って問題解決し、経営を成功させるマネジメントゲーム大会を開催します 講師： x3d 株式会社　代表取締役　武石幸之助 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
5 回	**授業テーマ：生成 AI のビジネス活用を学ぶ「生成 AI ゲーミフィケーション体験」** 授業内容：生成 AI「だけ」を活用してカフェ経営！？　経営パートナーとして AI に頼り切って問題解決し、経営を成功させるマネジメントゲーム大会を開催します 講師： x3d 株式会社　代表取締役　武石幸之助 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
6 回	**授業テーマ：デジタライゼーションとは (第一の地球・第二の地球/リアル・オンライン)** 授業内容：生成 AI、既存のプラットフォームの概念をお伝えいたします。 株式会社 KT VACE 代表取締役社長 谷本浩治 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
7 回	**授業テーマ：デジタライゼーションとは (第一の地球・第二の地球/リアル・オンライン)** 授業内容：生成 AI、既存のプラットフォームの概念をお伝えいたします。 株式会社 KT VACE 代表取締役社長 谷本浩治 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出

8回	**授業テーマ：生成 AI の進化は社会と世界をどう変えるのか？** 授業内容：生成 AI ツールを一緒に触り、開発者の未来予測にも触れながら未来社会や世界の変化を議論します。インタラクティブな内容になる予定です。 ※技術進化が早いため、内容が変更になることもあります。 CPA エクセレントパートナーズ株式会社 経営企画室 AI プロジェクトリーダー 曽我健二郎 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
9回	**授業テーマ：生成 AI の進化は社会と世界をどう変えるのか？** 授業内容：生成 AI ツールを一緒に触り、開発者の未来予測にも触れながら未来社会や世界の変化を議論します。インタラクティブな内容になる予定です。 ※技術進化が早いため、内容が変更になることもあります。 CPA エクセレントパートナーズ株式会社 経営企画室 AI プロジェクトリーダー 曽我健二郎 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
10回	**授業テーマ：デジタライゼーションから見る SDGs** 授業内容：環境活動団体の取り組みとデジタライザーション NLP コーチングスクール Heart Cross Over LLC.CEO/環境活動団体 EarthCrossOver 代表 橋詰 牧 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
11回	**授業テーマ：デジタライゼーションから見る SDGs** 授業内容：環境活動団体の取り組みとデジタライザーション NLP コーチングスクール Heart Cross Over LLC.CEO/環境活動団体 EarthCrossOver 代表 橋詰 牧 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
12回	**授業テーマ：AI・デジタライゼーション時代の人間性と持続可能なチームづくり** 授業内容：AI・デジタライゼーション時代における人間の役割と組織の在り方を、事例やワークを通じて探究する。個性を活かした協働と持続可能なチームづくりを学ぶ。 (株) KT-VACE COO ／パーパスデザイン＆ライフ(株)代表 黄韵奇 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
13回	**授業テーマ：AI・デジタライゼーション時代の人間性と持続可能なチームづくり** 授業内容：AI・デジタライゼーション時代における人間の役割と組織の在り方を、事例やワークを通じて探究する。個性を活かした協働と持続可能なチームづくりを学ぶ。 (株) KT-VACE COO ／パーパスデザイン＆ライフ(株)代表 黄韵奇 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
14回	**授業テーマ：社会課題を解決するマーケティング＆テクノロジー** 授業内容：社会課題の解決とマーケティング目標をどう両立させるのか？ またそこでデジタルを活用していくことでの可能性を考える。 講師：ADK マーケティング・ソリューションズ 　　ソリューションプランニング局長　大山　晋 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
15回	**授業テーマ：社会課題を解決するマーケティング＆テクノロジー** 授業内容：社会課題の解決とマーケティング目標をどう両立させるのか？ またそこでデジタルを活用していくことでの可能性を考える。 講師：ADK マーケティング・ソリューションズ 　　ソリューションプランニング局長　大山　晋 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出

デジタル・イノベーション探究 E（オムニチャネル・OMO・D2C）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

渡辺　泰輔（わたなべ　たいすけ）

▌授業の概要

このコースは、DX 変革やデジタル技術を用いた経営の具体的事例を通じて、企業のビジネスモデルや価値創造のあり方がどのように変化しているのかを理解します。

単なる技術紹介にとどまらず、経営学の視点からデジタル技術が戦略・組織・顧客との関係に与える影響、顧客接点の変化や価値提供の方法がどのように再設計されているのかを考察し、自らの言葉で説明できるようになることを目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：デジタル変革で起こっている変化の基礎的な知識を持っている

個別目標：①デジタル変革について自ら考察し、自分の言葉で説明できる。
②デジタル化、デジタル変革で起こっている変化を理解している。
③経営学の視点で、DX を理解している。

▌履修条件

授業に参加し、デジタル変革によって起こっている変化を理解し、ケーススタディを通して、自ら考察し、課題を提出すること

▌評価基準・方法

レポート提出 (50%)、最終発表 (50%)、質問や発言で加点

本科目では、計 2 回のレポート課題および最終発表を通じて理解度と応用力を評価する。

5 分の 4 以上の出席が必須

▌フィードバック方法

各授業での内容に対するフィードバック、レポートに対するフィードバック、発表内容に対する講義でのフィードバック

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （個人またはグループワークを行い、その内容を発表する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業参加、レポート課題作成と発表）

▌教科書

①１からのデジタル経営 (伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学舎)

必要に応じて資料を manaba にて配布する。

▌参考書

② DX 戦略立案書 (デビッド・ロジャース, 白桃書房)　③世界最先端のマーケティング（奥谷孝司・岩井琢磨, 日経 BP）

授業の中で適宜推奨図書や引用を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション、講義: デジタル経営とビジネスモデル - GE** 授業内容：本講義の目的や進め方、評価方法について説明を行います。可能な限り講師と受講者の双方向で会話を行い授業の方向性に関して合意を取る。また自己紹介（クラスの履修理由・希望業種を含む）も行う。 ICT の進化でどのようなことができるようになったかを学び、デジタル技術が企業のビジネスモデルに与える影響を経営の視点から理解する。 事前学修 2.0hr：どのような授業が行われるのかを把握し、その期待を考えてくること、1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 1 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 2 章を読む
2 回	**授業テーマ：講義: パターンと予測 - 日本公認会計士協会** 授業内容：ビジネスモデルの成立に不可欠な AI の概要とビジネスの変化について学び、予測や意思決定におけるデータ活用の意味を考察する。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 2 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 3 章を読む
3 回	**授業テーマ：講義: 最適化 - グルーブノーツ** 授業内容：ビジネスにおけるデータ活用の方法や意思決定に必要な組み合わせ最適化について学び、人の判断とアルゴリズムの役割分担を理解する。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 3 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 4 章を読む
4 回	**授業テーマ：講義: サプライチェーン・マネジメント - リー&フォン** 授業内容：サプライチェーンマネジメント (SCM) というビジネスプロセス管理の概念とデジタル技術がこの SCM をどう強化するのかを学び、全体最適の視点から企業間連携の重要性を理解する。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 4 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 5 章を読む
5 回	**授業テーマ：講義: ブロックチェーン - ビットコイン** 授業内容：ビットコインの流通システムと従来の通貨の本質的違いと流通システムを支えるブロックチェーンの仕組みや特徴を学び、信頼の仕組みがどのように再設計されているかを考察する。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 5 章を読む 事後学修 2.5hr：レポート①（A4・1 枚以上）：デジタル化によって私たちの身の回りはどう変わったかをまとめる。1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 6 章を読む
6 回	**授業テーマ：講義: デジタル経営の戦略とプロセス - コマツ** 授業内容：技術的な強みを生かして開発したスマート製品を組み込んだソリューション提案やデジタル経営の戦略やプロセスを学び、製品販売から価値提供型ビジネスへの転換を理解する。 事前学修 2.5hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 6 章を読む、レポート①（A4・1 枚以上）：デジタル化によって私たちの身の回りはどう変わったかをまとめる。 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 7 章を読む
7 回	**授業テーマ：講義: DX 変革 - ワコール** 授業内容：顧客一人ひとりの好みに合わせた対応とデジタル技術を活用した暗黙知の見える化について学び、顧客理解と組織変革の関係性を考察する。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 7 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 8 章を読む

8回	**授業テーマ：講義: リテール AI - トライアル** 授業内容：小売業における AI の活用について学ぶ。また新しい顧客体験である OMO の役割についても学び、業務効率化と顧客体験向上の両立をどのように実現しているかを理解する。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 8 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 9 章を読む
9回	**授業テーマ：講義: IoT ソリューション・ビジネス - オプテックス** 授業内容：IoT を活用したソリューションビジネスの概要とジョブ理論を学び、顧客課題を起点とした価値創造の考え方を理解する。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 9 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 10 章を読む
10回	**授業テーマ：講義: スマートファクトリー - 平田機工** 授業内容：工場における企業の従来のやり方や考え方をデジタル技術で変革させる取り組みについて学び、現場改善と経営戦略の接続を考察する。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 10 章を読む 事後学修 2.5hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 11 章を読む、レポート②(A4・1 枚以上)：デジタル技術は企業のビジネスをどう変えているかをまとめる。
11回	**授業テーマ：講義: ビジネスエコシステム - 楽天** 授業内容：デジタル時代のビジネスモデルと戦略としてエコシステムと DX の概念について学び、企業間の競争と協調の関係性を理解する。 事前学修 2.5hr：レポート②(A4・1 枚以上)：デジタル技術は企業のビジネスをどう変えているかをまとめる。1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 11 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 12 章を読む
12回	**授業テーマ：講義: スマート農業 - クボタ** 授業内容：DX 変革が実現する持続可能なスマート農業について学び、社会課題の解決とビジネスの両立を考察する。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 12 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 13 章を読む
13回	**授業テーマ：講義: オンラインメンテナンス - 三浦工業** 授業内容：私たちの暮らしの利便性を向上させる DX 変革とデータによる価値創造について学び、サービス化が企業収益に与える影響を理解する。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 13 章を読む 事後学修 2.5hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 14 章を読む、レポート(A4・1 枚程度)：ここまでの自身の気づきを総括してまとめてください。
14回	**授業テーマ：講義: スポーツテック - アシックス** 授業内容：多様化する顧客にデジタル技術によるパーソナライズをどのように実現しているかを学び、顧客体験の差別化とブランド価値の関係を考察する。 事前学修 2.5hr：レポート(A4・1 枚程度)：ここまでの自身の気づきを総括してまとめてください。1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 14 章を読む 事後学修 2.5hr：最終発表(プレゼンテーション 5 枚程度)：デジタル経営(DX)の考え方と、実在企業の取り組みを結びつけて発表する。＊講義当日までに提出。　ここまで授業での自身の気づきを総括してまとめてください。＊講義当日までに提出、1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 15 章を読む
15回	**授業テーマ：最終発表、講義: シェアリング - akippa** 授業内容：デジタル経営(DX)の考え方と、実在企業の取り組みを結びつける発表をする。(発表へのフィードバック・質疑と協議) デジタル技術を利用したマッチングビジネスとダイナミックプライシングについてデジタル技術が生み出す新たなビジネスの可能性について議論する。 事前学修 2.5hr：1 からのデジタル経営　(伊藤宗彦・松尾博文・富田純一, 碩学社) 第 15 章を読む、最終発表(プレゼンテーション 5 枚程度)：デジタル経営(DX)の考え方と、実在企業の取り組みを結びつけて発表する。＊講義当日までに提出。　ここまで授業での自身の気づきを総括してまとめてください。＊講義当日までに提出 事後学修 2.0hr：レポート (A4・1 枚程度)：ここまでの自身の気づきを総括したものにフィードバックを記述し考察してください。 *提出不要

デジタル・イノベーション探究 F（経営情報システムと情報セキュリティ）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

橋本　尚興（はしもと　ひさおき）

▌授業の概要

経営情報システムとは、企業経営に必要となるシステムの総称であり、経理・人事・管理など多岐にわたります。本授業では、その中でも企業内で日々行われている「意思決定」を支えるシステムを中心に説明します。
また、セキュリティシステムは重要な経営情報システムの一つであり、迅速なシステム構築が求められます。そこで、本授業では皆さんが中小企業のセキュリティ担当者になったと想定し、必要となる対応を実践形式で学びます。
なお、授業内容は環境や諸条件により変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：自身が所属する会社/組織に対して
　　意思決定に資するシステムについて理解できるようになる。(経営情報 1)
　　基礎的なセキュリティシステムの構築方法を理解できるようになる。（経営情報 1）
個別目標：IT を利活用して意思決定に必要なデータ収集を行う方法を学び理解する。
　　セキュリティの基礎を学び、自身の組織/会社に対するファーストアクションが取れるようになる。

▌履修条件

IT に関する基礎的知識を有していること。
自らの考えを話し、積極的に授業に参加する意欲を持っていること。

▌評価基準・方法

・学期末テスト　　（４３%）
・授業への積極的な参加と貢献（１５%）
・授業ごとの課題　　（４２%）
なお、全授業の８０%以上の出席、および学期末テストの受験を前提として評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業中、および manaba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （個人にて演習を行い、その結果を発表します）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業での個人ワーク、課題対応のために利用します）

▌教科書

特にありません
適時資料を配布します

▌参考書

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)　「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　授業の進め方** 授業内容：この授業の狙い、および進め方とスケジュールについて説明します。 事前学修 2.0hr：「経営情報システム」について調べておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
2回	**授業テーマ：企業経営に必要なシステム** 授業内容：経営情報システムについて説明するとともに、企業運営および意思決定に利用されていることを説明します。 事前学修 2.0hr：意思決定に必要なデータについて検討しておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
3回	**授業テーマ：代表的な経営情報システム** 授業内容：代表的な経営情報システムのうち全社の基盤となるシステムおよび意思決定に利用するシステムについて説明します。 事前学修 2.0hr：授業で指定した経営情報システムについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
4回	**授業テーマ：経営情報システムの導入（1）** 授業内容：代表的な経営情報システムのうち知識やデータの利活用に用いるシステムについて説明します 事前学修 2.0hr：授業で指定した経営情報システムについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
5回	**授業テーマ：経営情報システムの導入（2）** 授業内容：経営情報システムの導入にあたって留意しなければならないポイントに添って、演習を交えて詳細を説明します。 事前学修 2.0hr：課題に沿って経営情報システムの導入方法について考えてくる。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
6回	**授業テーマ：セキュリティ担当者としての取り組み（1）** 授業内容：中小企業のセキュリティ担当者になった場合に、まず行うべきことについて説明します。 事前学修 2.0hr：セキュリティ担当者のファーストアクションについて検討しておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
7回	**授業テーマ：セキュリティ担当者としての取り組み（2）** 授業内容：セキュリティ管理体制を構築したのち、通常のシステム導入の際に必要となるセキュリティ対策を説明します。 事前学修 2.0hr：セキュリティ管理体制について検討しておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する。
8回	**授業テーマ：セキュリティ担当者としての取り組み（3）** 授業内容：詳細なリスク分析を説明するとともに、実際にリスク分析を行い、対策を検討します。 事前学修 2.0hr：リスク分析とは何かについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
9回	**授業テーマ：セキュリティ担当者としての取り組み（4）** 授業内容：企業/組織におけるセキュリティに関する規定類の作成を行います。 事前学修 2.0hr：セキュリティ規定について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する

10回	**授業テーマ：より強固にするための方策（1）** 授業内容：テレワークへの対応やクラウドサービスを利用する際の注意点など、より強固にするためのポイントについて説明します。 事前学修 2.0hr：テレワークに対応したセキュリティ対策を検討しておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
11回	**授業テーマ：より強固にするための方策（2）** 授業内容：基礎的なセキュリティ対策に必要となるテクノロジーについて確認します。 事前学修 2.0hr：今までに学修したセキュリティに関する技術を復習しておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
12回	**授業テーマ：外部講師によるご講演　プライバシーマーク** 授業内容：外部講師をお招きして「プライバシーマーク」の認定作業について学びます。 事前学修 2.0hr：プライバシーマークについて事前に調べておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
13回	**授業テーマ：情報セキュリティ　インシデント対応** 授業内容：セキュリティ事故への対応など、より強固にするためのポイントについて説明します。 事前学修 2.0hr：セキュリティ事故を起こした事例について調べておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
14回	**授業テーマ：情報セキュリティ　経営者と社員** 授業内容：情報セキュリティと経営者との関わりについて説明するとともに、社員への啓蒙の重要性について説明します 事前学修 2.0hr：情報セキュリティにおける経営者の役割をまとめておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
15回	**授業テーマ：情報セキュリティと経営情報システムのまとめ　および　学期末テストの概要** 授業内容：この授業の「まとめ」を行い、学期末テストの方式について説明します。 事前学修 2.0hr：いままでの授業内容を振り返り、疑問や確認したいポイントをまとめておく。 事後学修 3.0hr：学期末テストに向けて授業の総復習を行う

デジタル・イノベーション探究 G（AI・RPA・深層学習）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

我々の生活は「技術」によって支えられている。ここで使われている技術に着目し、技術を設計する思想について、人間からみた視点と、機械/コンピュータからみた視点で考えてみる。複数の視点を持つことが AI を理解する第一歩となり、この複眼視点が AI リテラシーを養う上では重要であることを理解する。本講義は、もはや「知っている」だけでは物事の真偽を判断できない時代において、何を以て「正しい」と判断できる AI リテラシーの醸成を目的とする。従って、オープンディスカッションを積極的に取り入れていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：① AI, 機械学習, 深層学習の違いが理解できること
② AI, 機械学習, 深層学習によって、何ができるのかをイメージできること
③ AI, 機械学習, 深層学習の概要を専門的な知識を要しないレベルで理解すること

個別目標：(1) AI リテラシーの向上
(2) マナー, リテラシー, ルールの違いを理解する
(3) 省略化, 効率化と,「何も考えない」化の違いを理解する

▌履修条件

授業に必要な連絡は原則、メール、Classroom で行う。
よって、授業に関する情報は小まめにチェックすること。

▌評価基準・方法

演習/Excercize: 30 点 (2 点× 15 回)
Contribution: 15 点(1 点× 15 回)
試験: 55 点

▌フィードバック方法

課題などのフィードバックは manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （UX 設計に関するディスカッション(ディベート形式)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （担当教員の許可のもと、使用可）

▌教科書

使用しない

▌参考書

”Deep Learning” by Ian Goodfellow, and Yoshua Bengio, The MIT Press.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：初回ガイダンス** 授業内容：各自自己紹介/授業の目標/スケジュール/その他 「知っている」と「理解している」の違いについて 事前学修 2.0hr：1 分間スピーチ(自己紹介)の内容を準備する 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
2 回	**授業テーマ：AI リテラシーについて** 授業内容：リテラシーとは何かについて理解する 事前学修 2.0hr：自分が「知っている」(ジャンル不問)ことを最低 10 項目書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分が「知っている」ことを第三者に理解させることができたかを確認する
3 回	**授業テーマ：これからの社会に必要な技術について** 授業内容：現在、我々の生活の中で使われている「技術」について学ぶ 事前学修 2.0hr：自分が生活していく中で欠かせない技術についてまとめておく 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
4 回	**授業テーマ：定量的と定性的/人間ができること、機械ができること** 授業内容：定量的評価と定性的評価の違いについて学ぶ 人間ができる作業、機械ができる作業について学ぶ 「問い」の設定について学ぶ 事前学修 2.0hr：理系と文系という考え方について自分なりの考えを準備する 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
5 回	**授業テーマ：AI 101** 授業内容：AI の歴史について学ぶ 事前学修 2.0hr：AI とは何かについて調べる 事後学修 2.0hr：世の中に使われている AI を調べてレポート提出(最低 5 つ以上)〆切: 次回講義時
6 回	**授業テーマ：コンピューターはどのように動いているのか** 授業内容：「答えを出す」と「理解する」は別物であることを理解する 事前学修 2.0hr：自分が使用している PC/スマートフォンの技術仕様を把握しておく 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
7 回	**授業テーマ：論理について** 授業内容：コンピュータの論理と人間の論理について学ぶ アルゴリズムという考え方について学ぶ 中間試験(次回)の概要説明 事前学修 2.0hr：これまで教わったロジカルシンキングについて復習しておく 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
8 回	**授業テーマ：中間試験** 授業内容：中間試験/プレゼンテーション 事前学修 2.0hr：アルゴリズムを説明できるようにする 事後学修 2.0hr：試験後講評を受け止め次回の試験に臨める様にする

9回	**授業テーマ：機械学習** 授業内容：「教師あり学習」と「教師なし学習」について学習する 事前学修 2.0hr：機械学習の具体例について調べる 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
10回	**授業テーマ：深層学習(ディープラーニング)** 授業内容：深層学習(ディープラーニング)について学ぶ 事前学修 2.0hr：深層学習(ディープラーニング)の使われている例について調べる 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
11回	**授業テーマ：深層学習(ディープラーニング)と AI リテラシー 1/ディスカッション(議論の発散)** 授業内容：ディープフェイクについて議論する 事前学修 2.0hr：深層学習(ディープラーニング)の Pro/Con を準備しておく 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
12回	**授業テーマ：深層学習(ディープラーニング)と AI リテラシー 2/議論をまとめる** 授業内容：自分たちに必要な AI リテラシーについて前回議論したものをまとめる 事前学修 2.0hr：前回の議論を把握する 事後学修 2.0hr：講義内容の復習/成果物として保存
13回	**授業テーマ：生成 AI について** 授業内容：生成 AI について学ぶ 事前学修 2.0hr：ChatGPT をインストールする 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
14回	**授業テーマ：シンギュラリティについて** 授業内容：シンギュラリティについて学ぶ 事前学修 2.0hr：能力の限界について予習しておく 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの授業についてまとめる 事前学修 2.0hr：これまでの授業で理解できなかったこと、わからなかったことを列記しておく 事後学修 3.0hr：試験準備

デジタル・イノベーション実践演習 B（プロポーザル管理・交渉）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

式町　久美子（しきまち　くみこ）

▌授業の概要

この授業では、IT でビジネスの課題解決を目指す組織への提案で成功するマネジメントプロセスを、実例を交えて体系的に学習する。
プロポーザル管理基礎で学習した知識をもとに、実案件を忠実に再現した IT ソリューションの提案依頼のケースを用いて企画から提案までの一連のプロセスを実践する。
IT 関連企業にて提案業務に従事した経験と、プロポーザルマネジメントの国際的な資格を有する教員が、その実務経験と専門知識を活かし、実践的かつ主体的な学習に導く。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 3）

一般目標：ビジネス課題を解決する IT ソリューションの提案において成功するためのマネジメントプロセスを実践を通じて理解する。
個別目標：・相手の立場に立ってわかりやすく伝えることができる
・ビジネスの課題を自分ごととして捉え、提案内容に反映するプロセスを説明できる
・多様な価値観や利害関係を捉えた上で協力や賛同を引き出す適切なコミュニケーションの仕方を説明できる
・顧客や提案者の双方に有益な成果を得られるよう、提案依頼に対する影響力の与え方を理解し説明できる
・限られた時間で最大の成果をあげる提案での計画の立て方を学び実施することができる
・提案内容の価値とその妥当性を適切に伝える方法を説明できる

▌履修条件

・プロポーザル管理基礎を受講していること
・授業は毎回出席し、内容をしっかり理解すること
・遅刻や早退をしないこと
・質問や意見を積極的に行い、クラス全体の学びに貢献すること

▌評価基準・方法

・原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする
・提出物（50 %）
・テスト（25 %）
・発言点（クラスへの貢献度）（25 %）
及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転学習、グループワーク、プレゼンテーション、ヒアリング）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PowerPoint、Excel を利用できるノートパソコンを持参すること）

▌教科書

式町久美子
IT エンジニアの必須スキル　　顧客に響くシステム提案メソッド （日経 BP 社）

▌参考書

式町久美子
受注を勝ち取るための外資系「提案」の技術　　日本人の知らない世界標準メソッド （ダイヤモンド社）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス ・本講座の学び方** 授業内容：このクラスの目的や進め方、学び合うためのクラスのグランドルールを検討し共有する。2 年次で履修したプロポーザル管理基礎での学びを振り返り、プロセスの全体像を捉える。 事前学修 2.0hr：2 年次のプロポーザル管理基礎で学んだことを振り返り、クラスで発言できるように準備する 事後学修 2.0hr：ケースや提案ソリューションのホームページを読み内容を理解する
2 回	**授業テーマ：提案ソリューションを理解する** 授業内容：提案素材としてのクラウドソリューションについての理解を深める。ターゲット市場、競合状況、提供価値、当該ソリューションの提案プロセスについて、実務者へのインタビューを通じ実態をつかむ。 事前学修 2.0hr：当該ソリューションに関する質問リストを準備する 事後学修 2.0hr：提案ソリューションについて理解したことを整理する
3 回	**授業テーマ：オポチュニティアセスメント** 授業内容：IT ソリューションの提案時のプロセスや、チーム編成、社内のステークホルダーの関与とマネジメントの必要性についてレクチャーを受けたのち、ある企業からの提案依頼の内容を読み解き、要求に適した役割分担や案件獲得に向けた計画書となるオポ゜チュニティプランを作成する。 事前学修 2.0hr：ケースを読み込みオポチュニティプランのフォーマットを用いて顧客分析や計画の叩き台を作成する 事後学修 2.0hr：オポチュニティプランに分析結果をアップデートする
4 回	**授業テーマ：顧客分析** 授業内容：潜在ニーズの理解に必要なコミュニケーション方法について理解をしたのち、顧客企業へのヒアリングを実施する。対話を通じて、当該企業が抱える課題に対する理解を深める。 事前学修 2.0hr：顧客への質問リストを用意する 事後学修 2.0hr：ヒアリングから得られた情報をもとにオポチュニティプランを更新する
5 回	**授業テーマ：オポチュニティ戦略の開発** 授業内容：顧客ニーズの理解を深め、差別化を図り優位性あるポジションを獲得するための、戦略検討会議を実践する。顧客の社内を動かすビジネスケースに繋がる「エグゼクティブサマリー」を作成する。 事前学修 2.0hr：オポチュニティプランをブラッシュアップする 事後学修 2.0hr：戦略会議の結果を踏まえてオポチュニティプランを更新する

6回	**授業テーマ：RFP シェイピング** 授業内容：提案依頼に関する顧客の考え方に影響を与える RFP シェイピングの概念を学習した上で、顧客からの提案依頼書の内容を理解し、提案依頼者と提案者双方にとって有益な結果を目指し、提案依頼に対する意見を提示する。 事前学修 2.0hr：コンプライアンスマトリクスの叩き台を作って持参する 事後学修 2.0hr：提案依頼に対する意見を整理する
7回	**授業テーマ：顧客との相互理解と提案の方向性の合意** 授業内容：グループで作成したエグゼクティブサマリーを顧客に提示し、企業のニーズに即した提案となっているかを検証する。対話を通じ修正すべき点を明らかにし、顧客と共に提案の方向性を定める。 事前学修 2.0hr：顧客との対話ができるレベルにエグゼクティブサマリーを整理しておく 事後学修 2.0hr：顧客との対話をもとにエグゼクティブサマリーをアップデートする
8回	**授業テーマ：コンプライアンスとレスポンシブネス** 授業内容：明示された要件やその背後にあるニーズにも理解を示し、両方を満たす提案内容を検討する手法を学び、それを活用して提案内容を具体的に検討する。 事前学修 2.0hr：コンプライアンスマトリクスのフォーマットを利用し、顧客要件と提案内容の叩き台を作成し準備する 事後学修 2.0hr：コンプライアンスマトリクスの内容をブラッシュアップする
9回	**授業テーマ：価格設定とバリュープロポジション** 授業内容：適正な価格設定を行うために必要となる価格と価値の関係性を理解する。また顧客に価値が正しく認識される、バリュープロポジションの表現方法を理解し、この一連の提案活動のワークにて実践する。 事前学修 2.0hr：ソリューションに関する価格情報を収集する 事後学修 2.0hr：バリュープロポジションの表現をブラッシュアップする
10回	**授業テーマ：プロポーザルプランの検討** 授業内容：高評価を獲得する提案書を効率よく作成するためのスケジュール設定やコンテンツプランを作成する。合意した計画に基づき、提案原稿の作成を開始する。 事前学修 2.0hr：コンテンツプランのフォーマットを用いて、提案書の章立てやテーマステートメントの叩き台を作って持参する 事後学修 2.0hr：コンテンツプランの内容をブラッシュアップする
11回	**授業テーマ：キックオフミーティングマネジメント** 授業内容：提案に関与するステークホルダーを関与させ、提案書作成を生産性高く行うための会議運営の方法を学び、実践する。 事前学修 2.0hr：キックオフミーティングのアジェンダを用意しチームで共有する 事後学修 2.0hr：提案書のテンプレートを作成しチームメンバーと共有する
12回	**授業テーマ：提案書作成** 授業内容：オポチュニティ戦略を提案内容に反映させ、評価を勝ち取る提案書の作成方法を学んだ上で、PowerPoint を利用して提案書を作成する。 事前学修 2.0hr：提案書のドラフトを作成する 事後学修 2.0hr：提案書のドラフトを作成する
13回	**授業テーマ：レビューマネジメント** 授業内容：ステークホルダーからの賛同を獲得するレビューのあり方を学んだ上で、翌週のプレゼンテーションに備え、提案内容について最終レビューを実践する。 事前学修 2.0hr：オポチュニティプランをブラッシュアップする 事後学修 2.0hr：レビューの結果をオポチュニティプランや提案書・プレゼンテーションに反映する
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：これまで作り上げてきた提案内容を、顧客に向けてプレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備をし、発表資料を提出する 事後学修 2.0hr：発表を通じて得た気づきを振り返る
15回	**授業テーマ：ラーニングレビュー** 授業内容：作成した提案書に対して、顧客から評価結果をもらう。これまで学習した内容を元に、提案業務のマネジメントプロセス全体をグループワークにて描き学びを振り返る。 事前学修 2.0hr：講義全体での学びを振り返る 事後学修 2.0hr：顧客や講師からのフィードバックから得られた学びを振り返る

デジタル・イノベーション実践演習 C（データマイニング）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

本講義は、R を用いてテキストマイニングができることを目標とする。
本授業の評価方法は、毎講義ごとに与えられる課題を実践することによって、確実に基本的なアルゴリズムの構築は自力でやり遂げることを目的としている。本講義は演習形式のため、毎回、R の動作する PC/タブレットの持参を要する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：① テキストマイニングできるようになる
② データ分析ができるようになる
③ データ分析した結果を説明すろことができる
個別目標：(1) 基本的な R の使い方を理解する
(2) アルゴリズムを構築することができる
(3) 自分で作ったアルゴリズムを説明することができる

▌履修条件

R が動作する PC/タブレットを持参すること。
授業に必要な連絡は原則、メール、Classroom で行う。
授業に関する情報は小まめにチェックすること。
課題等の提出期限は守ること。

▌評価基準・方法

毎週の課題提出: 60 点（4 点× 15 回）
授業中の Contribution: 15 点（1 点× 15 回）
課題: 25 点

▌フィードバック方法

課題などのフィードバックは manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プログラミングは教え合うことが重要である）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （担当教員の許可のもと使用すること）

▌教科書

使用しない（適宜プリント配布）

▌参考書

独習 R, 山田祥寛, 翔泳社.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：初回ガイダンス** 授業内容：R インストール なぜ R を使うのか 事前学修 2.0hr：自分の PC 仕様を把握する 事後学修 2.0hr：R が動作することを確認する
2 回	**授業テーマ：R 101 part.1** 授業内容：Jupiter の使い方について学ぶ R で四則演算を行う プログラミングの基礎「代入」について理解する 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
3 回	**授業テーマ：プログラミングに必要な数学について** 授業内容：R プログラミング時に必要な最低限の数学について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
4 回	**授業テーマ：データマイニングとテキストマイニング** 授業内容：データマイニングとテキストマイニングについて学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
5 回	**授業テーマ：R 101 part.2** 授業内容：R で用いる関数について学ぶ 条件分岐について学ぶ 繰り返し処理について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
6 回	**授業テーマ：テキストマイニングの実践** 授業内容：形態素分析について学ぶ MeCab のインストール 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
7 回	**授業テーマ：ライブラリについて** 授業内容：形態素分析を実施する上での R ライブラリの使い方について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成

8回	**授業テーマ：R 分析** 授業内容：Bag of Words について学ぶ ネットワーク分析について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
9回	**授業テーマ：アンケート分析** 授業内容：アンケート分析について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
10回	**授業テーマ：クラスター分析** 授業内容：クラスター分析について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
11回	**授業テーマ：ビックデータ** 授業内容：ビックデータとは何かについて学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
12回	**授業テーマ：データサイエンス** 授業内容：データサイエンスについて学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
13回	**授業テーマ：データ分析** 授業内容：データの分析の仕方について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
14回	**授業テーマ：データ分析結果をどのように評価するか** 授業内容：データ分析の評価の仕方について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
15回	**授業テーマ：成果発表** 授業内容：これまで学んできたことを基に R 分析した結果を発表する 事前学修 3.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと/プレゼンテーション資料作成 事後学修 3.0hr：講義内容の把握/成果物作成

デジタル・イノベーション実践演習 D（デジタル・マーケティング技術）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

渡辺　泰輔（わたなべ　たいすけ）

▌授業の概要

デジタルマーケティングとは、インターネットやソーシャルメディア、モバイルアプリ、IoT 等、あらゆるデジタル技術を活用したマーケティングを指しています。インターネットや情報通信技術の発達により、デジタルテクノロジーやデータを積極的に用いて科学的にマーケティング意思決定を行うアプローチが重要視されています。この講義では、デジタルマーケティングの基礎となる理論や概念、戦略を体系的に学び、企業のマーケティング戦略の事例を交えながら、実践に生かすことのできる知識とスキルを身につけることとします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：デジタルを背景としたデジタルマーケティングの全体像を理解している。
個別目標：①デジタル・マーケティング・マネジメントの位置づけについて述べられる
②デジタルマーケティングの基本概念と技術を習得し提示できる
③実際のマーケティングマネジメントプロセスにおける課題に対して適切な手法を判断し活用できる。

▌履修条件

授業に参加し、デジタル時代のマーケティングを理解し、ケーススタディを通して、考察し、課題を提出すること

▌評価基準・方法

レポート提出 (50%)、最終発表 (50%)、質問や発言で加点
本科目では、計 3 回のレポート課題および最終発表を通じて理解度と応用力を評価する。
5 分の 4 以上の出席が必須

▌フィードバック方法

レポートに対するフィードバックや、発表内容に対する講義でのフィードバック

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （個人またはグループワークを行い、その内容を発表する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業参加、レポート課題作成と発表）

▌教科書

① 1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社)
②デジタルマーケティング戦略 (三浦　俊彦，犬飼　知徳，西原　彰宏、有斐閣アルマ)
必要に応じて資料を manaba にて配布する。

▌参考書

②デジタルマーケティングの教科書 (牧田幸裕, 東洋経済新報社)
授業の中で適宜推奨図書や引用を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション、講義: デジタルマーケティング概要、デジタル時代のマーケティング - Amazon** 授業内容：本講義の目的や進め方、評価方法について説明を行います。可能な限り講師と受講者の双方向で会話を行い授業の方向性に関して合意を取る。また自己紹介（クラスの履修理由・希望業種を含む）も行う。 マーケティングの基本とデジタルマーケティングの概念を知る。 従来のマーケティングの前提が大きく変わることになった背景について学ぶ。 事前学修 2.0hr：どのような授業が行われるのかを把握し、その期待を考えてくること、1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 1 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 2 章を読む
2 回	**授業テーマ：講義: デジタル時代の消費者行動 - Google** 授業内容：デジタル時代の消費者がどのように意思決定を行っているかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 2 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 3 章を読む
3 回	**授業テーマ：講義: デジタル時代のビジネス・モデル - メルカリ** 授業内容：デジタル時代のプラットフォームビジネスについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 3 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 4 章を読む
4 回	**授業テーマ：講義: デジタルマーケティングの基本概念 - 無印良品** 授業内容：デジタル時代における顧客コミュニティとマーケティングミックスについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 4 章を読む 事後学修 2.5hr：レポート 1（A4・1 枚以上）：授業で取り上げた Amazon、Google、メルカリのデジタル時代におけるマーケティング戦略をまとめる（形式自由）、1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 5 章を読む
5 回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおける製品戦略 - ダイソン** 授業内容：デジタルマーケティングにおける製品戦略の基本について、企業側からの視点で学ぶ。 事前学修 2.5hr：レポート 1（A4・1 枚以上）：授業で取り上げた Amazon、Google、メルカリのデジタル時代におけるマーケティング戦略をまとめる（形式自由）　＊講義当日に持参提出してください。1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 5 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 6 章を読む
6 回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおける製品戦略の拡張 - レゴ** 授業内容：デジタルマーケティングの製品戦略における共創の手法と有効性について学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 6 章を読む 事後学修 2.5hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 7 章を読む、レポート 2（A4・1 枚程度）：無印、ダイソンまたはレゴの事業内容を読みとき、実現している製品戦略を考察し論じる (形式自由)
7 回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおける価格戦略 - ANA** 授業内容：デジタルマーケティングにおける価格戦略の基本的な考え方について学ぶ。 事前学修 2.5hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 7 章を読む、レポート 2（A4・1 枚程度）：無印、ダイソンまたはレゴの事業内容を読みとき、実現している製品戦略を考察し論じる (形式自由) 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 7 章を読む

8回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおける価格戦略の拡張 - Airbnb** 授業内容：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 8 章を読む 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 8 章を読む 事後学修 2.5hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 9 章を読む、レポート 2（A4・1 枚程度）: ANA または Airbnb の事業内容を読みとき、実現している価格戦略を考察し論じる。 (形式自由)
9回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおけるチャネル戦略 - ユニクロ** 授業内容：デジタル時代におけるチャネル戦略の基本的考え方であるオムニチャネルや D2C について学ぶ。 事前学修 2.5hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 9 章を読む、レポート 2（A4・1 枚程度）: ANA または Airbnb の事業内容を読みとき、実現している価格戦略を考察し論じる。 (形式自由) 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 10 章を読む
10回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおけるチャネル戦略の拡張 - ウーバー** 授業内容：シェアリングエコノミーと呼ばれる従来と違った形態のサービスを見ながら、チャネル戦略の拡張について学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 10 章を読む 事後学修 2.5hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 11 章を読む レポート 3（A4・1 枚程度）: ①ユニクロまたはウーバーの事業内容を読みとく②ユニクロまたはウーバーが実現しているチャネル戦略を考察し論じる (形式自由)
11回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおけるプロモーション戦略 - スターバックス** 授業内容：インターネットを活用したプロモーション活動の目的や手法について学ぶ。 事前学修 2.5hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 11 章を読む レポート 3（A4・1 枚程度）: ①ユニクロまたはウーバーの事業内容を読みとく②ユニクロまたはウーバーが実現しているチャネル戦略を考察し論じる (形式自由) 事後学修 2.5hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 12 章を読む、最終発表で取り上げる企業とその理論的枠組みを発表する
12回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおけるプロモーション戦略の拡張 - トリップアドバイザー** 授業内容：消費者主体の情報の受発信が活発となったデジタル時代のプロモーションの概念の進化について学ぶ。 事前学修 2.5hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 12 章を読む、最終発表で取り上げる企業とその理論的枠組みを発表する 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 14 章を読む
13回	**授業テーマ：講義: デジタル社会のロジスティックス - ヤマト運輸** 授業内容：デジタル時代のロジスティックスについて学ぶ 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 14 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 15 章を読む
14回	**授業テーマ：講義: デジタル社会の情報システム - セールスフォース** 授業内容：デジタル時代の情報システムについて学ぶ 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 15 章を読む 事後学修 2.5hr：授業で学んだ理論をもとに自身が取り上げる企業の①製品戦略、②価格戦略、③チャネル戦略、④プロモーション戦略を発表する（形式自由）　＊講義当日までに持参提出。ここまで授業での自身の気づきを総括してまとめてください。＊講義当日までに提出
15回	**授業テーマ：最終発表** 授業内容：自身の研究対象として取り上げた企業のデジタルマーケティング戦略を発表する。 またこれまでの授業での気づきについても発表する。 事前学修 2.5hr：授業で学んだ理論をもとに自身が取り上げる企業の①製品戦略、②価格戦略、③チャネル戦略、④プロモーション戦略を発表する（形式自由）　＊講義当日までに持参提出。ここまで授業での自身の気づきを総括してまとめてください。＊講義当日までに提出 事後学修 2.0hr：ここまでの自身の気づきを総括したものにフィードバックを記述し考察してください。 *提出不要

プレゼミナールⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

HT 学部専任教員

▌授業の概要

一人ひとりの学生が、健全で充実した学生生活を送れるように支援するのが、HT 学部・プレゼミナールⅠ-a の目的である。大学生であることの意義を探り、スタディ・スキルを磨くとともに、将来の夢やビジョンについて明確化する。　あわせて、学生一人ひとりの人間力の向上、ホスピタリティマインドを培い、それぞれが希望するキャリアの実現につながる、4 年間の学修計画の立案・実施を支援する。
なお、講義内容および順序については、担任教員の判断等により変更されることがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3）

一般目標：①読める、聴ける、書ける、話せる、のスタディ・スキル及び就職のための基礎学力を身につけることができる
②クラスメンバー同士が積極的にコミュニケーションをとり、チームワークを発揮しながらメンバー全員でゼミクラスの運営に参加することができる
個別目標：①新聞、図書、テレビその他媒体に積極的に目を通し、世の中の動きを把握できる
②理解できないこと、分からないことを放置することなく、必ず確認できる
③メンバーと積極的に関わり、相手を思いやりながら円滑なコミュニケーションをとることができる

▌履修条件

全員必修であり、少人数クラスによる運営であるため、全回出席・積極的な参加が基本である

▌評価基準・方法

レポート・プレゼンテーション・授業への参加意欲・チーム力の発揮等を総合的に判断し、各教員が評価を行う

▌フィードバック方法

各授業の課題等については学修支援システム manaba を通じてや授業内に行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要があれば事前に連絡する）

▌教科書

成美堂出版編・刊 『就職試験これだけ覚える 一般常識』
世界思想社編・刊　『大学生　学びのハンドブック』

▌参考書

各授業にて指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：プレゼミナールとは。授業概要や到達目標、活動計画について。学生自己紹介をし、仲間を知る。必要に応じて学内ツアーを実施。 事前学修 2.0hr：キャンパスガイド、履修の手引きを確認 事後学修 2.0hr：授業から得た情報を整理、今後したいこと、するべきことを考える
2回	**授業テーマ：英語学修について** 授業内容：進級要件や英語学修について、英語担当教員の説明を受け理解する。自身の英語学修計画を作成する。 事前学修 2.0hr：英語の進級要件を確認し、自身の英語の習得状況を把握する 事後学修 2.0hr：授業の内容をふまえ、自身の英語学修方法を考え、学修計画を作成
3回	**授業テーマ：英語運用能力確認一斉テスト** 授業内容：現状の英語の実力を確認するため、英語のテストを受ける 事前学修 3.0hr：テスト対策と英語学修を継続して行う 事後学修 2.0hr：テスト内容を振り返り、できなかったところを学修
4回	**授業テーマ：大学生活について** 授業内容：大学生に求められること、大学生活には危険が多いこと等を理解。大学生活に関する不安を解決する。 事前学修 2.0hr：教科書「大学生学びのハンドブック」の該当部分を予習 事後学修 2.0hr：学修内容を整理・復習
5回	**授業テーマ：ノートのとり方・テキストの読み方** 授業内容：高校の授業と大学の講義の違いを明確にし、ノートの取り方を考える。 学術的なテキストの読み方、文章の形式を学び、読み方のテクニックを身につける。 事前学修 2.0hr：教科書「大学生学びのハンドブック」の該当部分を予習 事後学修 2.0hr：学修内容を整理・復習
6回	**授業テーマ：インターンシップ・ボランティア活動経験者によるパネルディスカッション** 授業内容：インターンシップ・ボランティア活動を経験した先輩によるパネルディスカッションを実施。 インターンシップやボランティア活動について理解する。 事前学修 2.0hr：学部が提供するインターンシップ・ボランティア活動について確認 事後学修 2.0hr：内容を振り返り、インターンシップやボランティア活動の参加を考える
7回	**授業テーマ：資料の探し方、大学図書館の使い方、図書館ツアー** 授業内容：大学の勉強のカギとなる資料探しや、資料の使い分け、資料探しのための図書館の使い方を理解する。 図書館を案内してもらい、使い方を実地で確認する。(図書館ツアーはクラスごとに順次行うため、別の回の可能性あり) 事前学修 2.0hr：教科書「大学生学びのハンドブック」の該当部分を予習 事後学修 2.0hr：学修内容を整理・復習、図書館を利用する
8回	**授業テーマ：プレゼンテーションの仕方** 授業内容：発表の手順、準備等を学ぶ。実際に発表し、聞き手の心得も理解する。 事前学修 2.0hr：教科書「大学生学びのハンドブック」の該当部分を予習 事後学修 2.0hr：学修内容を整理・復習
9回	**授業テーマ：外部講師(浦安市役所より)による講演** 授業内容：明海大学のある浦安について、講師の講演を積極的に聴き、浦安についての理解を深める。 事前学修 2.0hr：市役所のホームページや資料を確認 事後学修 2.0hr：講演内容を整理し、気づいたこと、学んだことを記録

10回	**授業テーマ：プレゼンテーションコンテスト準備①（グループワーク、フィールドワーク）** 授業内容：グループワークについて確認する。グループでテーマを決めてディスカッションやグループワークを行う。必要に応じてフィールドワークを行う。グループの中での自身の役割を考え、グループに貢献する。 事前学修 2.0hr：教科書「大学生学びのハンドブック」の該当部分を予習、浦安について情報収集 事後学修 2.0hr：グループで決めた内容を整理、グループに貢献できかたどうかや改善点等を確認
11回	**授業テーマ：プレゼンテーションコンテスト準備②（グループワーク）** 授業内容：グループで決めたテーマにそって、調査、研究し、発表資料の作成など準備をすすめる。グループの中での自身の役割を考え、グループに貢献する。 事前学修 2.0hr：グループで決めたテーマについて、関連のある情報収集 事後学修 2.0hr：発表内容を整理、グループに貢献できかたどうかや改善点等を確認
12回	**授業テーマ：プレゼンテーションコンテスト　クラス内発表会** 授業内容：グループでプレゼンテーションの準備をし、発表する。各グループの発表内容を評価基準に従って評価し、ゼミ代表グループを決める。 事前学修 2.0hr：発表に向けて、グループ内の役割に応じた準備 事後学修 2.0hr：各グループの発表を振り返り、改善点等を確認
13回	**授業テーマ：プレゼンテーションコンテスト** 授業内容：各クラスの代表グループが順次テーマにそったプレゼンテーションをする。各グループのプレゼンテーションを評価基準に従って評価する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの内容を確認し、発表の準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションコンテストまでの一連の内容を振り返り、改善点等を確認
14回	**授業テーマ：客員教授による特別講義** 授業内容：客員教授より、ホスピタリティ・ツーリズム関連の講義を受ける。講義内容を積極的に考えながら聴き、理解する。 事前学修 2.0hr：客員教授やその企業について調査 事後学修 2.0hr：講義内容から得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録
15回	**授業テーマ：英語運用能力確認一斉テスト・前期のまとめ** 授業内容：前期中の英語学修成果を測るため、英語のテストを受ける。 前期の活動を振り返り、できたこと、できなかったことを考える。 事前学修 3.0hr：テスト対策と英語学修を継続して行う。半期の成果を振り返る 事後学修 2.5hr：半期 15 回の授業のレビュー、年間行動計画の修正と確定、夏季休暇の行動計画を確定

プレゼミナール Ⅰ -b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

HT 学部専任教員

▌授業の概要

一人ひとりの学生が、健全で充実した学生生活を送れるように支援するのが、HT 学部・プレゼミナール Ⅰ - b の目的である。大学生であることの意義を探り、スタディ・スキルを磨くとともに、将来の夢やビジョンについて明確化する。あわせて、学生一人ひとりの人間力の向上、ホスピタリティマインドを培い、それぞれが希望するキャリアの実現につながる、4 年間の学修計画の立案・実施を支援する。
講義内容および順序については、担任教員の判断等により変更されることがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3）

一般目標：①読める、聴ける、書ける、話せる、のスタディ・スキル及び就職のための基礎学力を身につけ、活かすことができる
②クラスメンバー同士が積極的にコミュニケーションをとり、チームワークを発揮しながらメンバー全員でゼミクラスの運営に参加することができる

個別目標：①新聞、図書、テレビその他媒体に積極的に目を通し、世の中の動きを把握できると同時に、自分の見解を自分の言葉で伝えることができる
②理解できないこと、分からないことを放置することなく、必ず確認し、他のメンバーと共有することができる
③メンバーに積極的に関わり、相手を思いやりながら円滑なコミュニケーションをとることができる
④ゼミクラスの運営において、リーダーシップを発揮することができる

▌履修条件

全員必修であり、少人数クラスによる運営であるため、全回出席・積極的な参加が基本である

▌評価基準・方法

レポート・プレゼンテーション・授業への参加意欲等を総合的に判断し、各教員が評価を行う

▌フィードバック方法

各授業の課題等については学修支援システム manaba を通じてや授業内に行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要があれば事前に連絡する）

▌教科書

成美堂出版編・刊 『就職試験これだけ覚える 一般常識』
世界思想社編・刊 『大学生　学びのハンドブック』

▌参考書

各授業にて指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：後期オリエンテーション・HT 学部就職対策　一般常識模擬試験** 授業内容：前期のゼミ活動を振り返る。各自の夏季休暇時の行動結果を確認し、後期の活動を計画する。 就職活動で必要な一般常識を成美堂出版編「就職試験これだけ覚える一般常識」より出題の模擬試験を行う。 事前学修 3.0hr：前期及び夏季休暇中の行動を振り返る、夏季休暇中に「就職試験これだけ覚える一般常識」を学修 事後学修 2.0hr：年間行動計画の検証結果をふまえ年間行動計画の確定。一般常識テストで間違えた部分を復習。
2 回	**授業テーマ：ハワイ研修に参加した 3 年生による報告会** 授業内容：夏季休暇中にハワイ研修に参加した 3 年生による、研修中のテーマや内容、学べたことについての報告を聞く。自身が研修に行くことを目標とし、選考プロセスや研修での学びを知る。 事前学修 2.0hr：ハワイの産業や文化について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容から得た情報の整理、自身の行動計画を再確認する
3 回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業について、テーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
4 回	**授業テーマ：フィールドワーク** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業に関連するホテルなどを視察する。積極的に質問し、説明を受けた内容を理解する。 事前学修 2.0hr：フィールドワークをする業界、企業について情報収集 事後学修 2.0hr：フィールドワークで得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録
5 回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業について、テーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
6 回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業について、テーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
7 回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業について、テーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
8 回	**授業テーマ：外部講師による特別講義** 授業内容：外部講師より、ホスピタリティ・ツーリズム産業関連の講義を受ける。講義内容を積極的に考えながら聴き、理解する。 事前学修 2.0hr：外部講師やその企業について情報収集 事後学修 2.0hr：講義内容から得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録

9回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業について、テーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
10回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業について、テーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
11回	**授業テーマ：英語学修** 授業内容：英語担当教員による英語学修。英語学修の進捗状況や成果を確認。 事前学修 2.0hr：自身の英語の成果を把握し、英語学修を継続して行う 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ今後の英語学修計画を作成、次週の英語運用能力確認テストに備える
12回	**授業テーマ：英語運用能力確認一斉テスト** 授業内容：現状の英語の実力を確認するため、英語のテストを受ける。 事前学修 3.0hr：テスト対策と英語学修を継続して行う 事後学修 2.0hr：テスト内容を振り返り、できなかったところを学修
13回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業について、テーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
14回	**授業テーマ：HT 学部就職対策　4 年生招聘パネルディスカッション** 授業内容：就職活動を終え、様々な業界に採用が内定した 4 年生を招聘し、学生生活や就職活動についてパネルディスカッションを行う。4 年生の話を聴き自らの将来を考える。 事前学修 2.0hr：4 年生が採用内定した企業について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容から得た情報の整理、自身の目的、行動計画を再確認
15回	**授業テーマ：新年度へ向けて** 授業内容：授業内容、後期の活動を振り返り、できたこと、できなかったことを考える。春季休暇や次年度に向けて行動計画を発表する。 事前学修 2.0hr：半期の成果に関するまとめ、春季休暇の行動計画作成 事後学修 2.0hr：半期 15 回の授業レビュー、具体的な成果や課題のとりまとめ、新年度の年間行動計画の確定

プレゼミナールⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

HT 学部専任教員

▌授業の概要

「人間と文化」「社会の動き」「グローバル化」「業界・企業研究」「将来の夢とその実現」などの共通キーワードのもとに、各担当教員が掲げたテーマに沿って基礎学力の養成、ホスピタリティマインドの涵養、責任感や自主性・リーダーシップの発揮等を含む人間力の向上を図ることを目的とする。少人数制による個別的指導と、グループワークを通じた活動により、主体的な学びを促していく。
なお、講義内容および順序については、担当教員の判断等により変更されることがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：①積極的に出席することで、ゼミ活動に深く関与し、他のメンバーと協力しながら自分の担当分野や役割を積極的に広げ、果たしていくことができる
②考える力・コミュニケーション・プレゼンテーション・レポート作成等の能力向上を図り、就職を見据えた基礎学力を定着させることができる

個別目標：①ゼミ活動で実施するグループワークやディスカッションへの積極的な関与により、自ら考え行動できる
②自分の考えや行動の理由・根拠について、自分の言葉で説明できる
③社会や時事ニュースを把握し、多角的な知識や思考で、物事を判断できる
④この授業で培った様々な能力を、他の授業やインターンシップ、アルバイト、また将来の就職活動においても発揮できる

▌履修条件

全員必修であり、少人数クラスによる運営であるため、全回出席・積極的な参加が基本である

▌評価基準・方法

レポート・プレゼンテーション・チームワークの発揮・授業への参加意欲等を総合的に判断し、各教員が評価を行う

▌フィードバック方法

各授業の課題等については学修支援システム manaba を通じてや授業内に行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要であれば事前に連絡する）

▌教科書

成美堂出版編・刊 『就職試験これだけ覚える 一般常識』(1 年次購入のもの)
毎日新聞出版『ニュース検定　公式テキスト＆問題集「時事力」基礎編(3・4 級対応)』

▌参考書

各授業にて指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション・自己紹介** 授業内容：授業概要や到達目標、活動計画について。学生自己紹介をし、協働のために仲間を知る。HT 学部教員紹介など。 事前学修 2.0hr：1 年間の行動計画を考える 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ年間行動計画を作成
2回	**授業テーマ：大学生活について** 授業内容：大学生に求められること、大学生活には危険が多いこと等を再確認。 事前学修 2.0hr：自身の大学生活を再確認 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
3回	**授業テーマ：英語運用能力確認一斉テスト** 授業内容：現状の英語の実力を確認するため、英語のテストを受ける 事前学修 3.0hr：テスト対策と英語学修を継続して行う 事後学修 2.0hr：テスト内容を振り返り、できなかったところを学修
4回	**授業テーマ：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション** 授業内容：事前に決めたテーマや目的に合わせてディスカッションをする等、グループで活動する。必要に応じてプレゼンテーションやお互いにフィードバックをする。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
5回	**授業テーマ：HT 学部就職対策　キャリアデザイン** 授業内容：就職活動にむけて就職することの意味や、企業採用の動向、求められる人材等について講義を受ける。後悔しないよう就職活動の準備を進めるきっかけとする。 事前学修 2.0hr：就職することの意味や意義の確認　自分が目指す業界や企業の調査 事後学修 2.0hr：講義内から得た情報の整理、自身の目的、行動計画を再確認する
6回	**授業テーマ：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション** 授業内容：事前に決めたテーマや目的に合わせてディスカッションをする等、グループで活動する。必要に応じてプレゼンテーションやお互いにフィードバックをする。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
7回	**授業テーマ：外部講師による特別講義** 授業内容：外部講師より、ホスピタリティ・ツーリズム関連の講義を受ける。講義内容を積極的に考えながら聴き、理解する。 事前学修 2.0hr：外部講師やその企業について調べる 事後学修 2.0hr：講義内から得た情報の整理、自身の目的、行動計画を再確認する
8回	**授業テーマ：フィールドワーク** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業に関連する体験学習を実施。担当者の説明を聴き、質問をするなど、積極的に取り組む。 事前学修 2.0hr：フィールドワークに行く業界や企業について情報収集 事後学修 2.0hr：フィールドワークで得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録

9回	**授業テーマ：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション** 授業内容：事前に決めたテーマや目的に合わせてディスカッションをする等、グループで活動する。必要に応じてプレゼンテーションやお互いにフィードバックをする。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
10回	**授業テーマ：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション** 授業内容：事前に決めたテーマや目的に合わせてディスカッションをする等、グループで活動する。必要に応じてプレゼンテーションやお互いにフィードバックをする。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
11回	**授業テーマ：外部講師による特別講義** 授業内容：外部講師より、ホスピタリティ・ツーリズム関連の講義を受ける。講義内容を積極的に考えながら聴き、理解する。 事前学修 2.0hr：外部講師やその企業について調べる 事後学修 2.0hr：講義内容から得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録
12回	**授業テーマ：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション** 授業内容：事前に決めたテーマや目的に合わせてディスカッションをする等、グループで活動する。必要に応じてプレゼンテーションやお互いにフィードバックをする。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
13回	**授業テーマ：外部講師によるレストランマナー講座** 授業内容：夏季休暇中に帝国ホテルのレストランにマナーを学びに行くにあたり、帝国ホテルより講師を招聘し、事前に座学でレストランマナーを学修する。 事前学修 2.0hr：レストランマナーについて調べる 事後学修 2.0hr：講義内容から得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録
14回	**授業テーマ：英語運用能力確認一斉テスト** 授業内容：前期中の英語学修成果を測るため、英語のテストを受ける。 事前学修 3.0hr：テスト対策と英語学修を継続して行う 事後学修 2.0hr：テスト内容を振り返り、できなかったところを学修
15回	**授業テーマ：まとめ　夏季休暇の行動計画の発表** 授業内容：前期の活動を振り返り、できたこと、できなかったことを考える。夏季休暇や後期に向けて行動計画を発表する。 事前学修 2.0hr：半期の成果に関するまとめ、年間行動計画のレビュー、夏季休暇の行動計画作成 事後学修 2.0hr：半期 15 回の授業のレビュー、年間行動計画の修正と確定、夏季休暇の行動計画確定

プレゼミナールⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

HT 学部専任教員

▌授業の概要

「人間と文化」「社会の動き」「グローバル化」「業界・企業研究」「将来の夢とその実現」などの共通キーワードのもとに、各担当教員が掲げたテーマに沿って基礎学力の養成、ホスピタリティマインドの涵養、責任感や自主性・リーダーシップの発揮等を含む人間力を向上させることを目的とする。少人数制による個別的指導とグループワークを通じた活動により、主体的な学びをさらに促していく。
なお、講義内容および順序については、担当教員の判断等により変更されることがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：①積極的に出席することで、ゼミ活動に深く関与し、他のメンバーと協力しながら自分の担当分野や役割を積極的に広げ、果たしていくことができる
②考える力・コミュニケーション・プレゼンテーション・レポート作成等の能力向上を図り、就職を見据えた基礎学力を定着させることができる

個別目標：①ゼミ活動で実施するグループワークやディスカッションに積極的に関与し、他のメンバーの状況を考慮しながらリーダーシップを発揮することができる
②自ら考え、率先して行動し、その考えや行動の理由・根拠について、自分の言葉で説明できる
③社会や時事ニュースを把握し、多角的な知識や思考で、物事を判断できる
④この授業で培った様々な能力を、他の授業やインターンシップ、アルバイト、また将来の就職活動においても発揮できる

▌履修条件

全員必修であり、少人数クラスによる運営であるため、全回出席・積極的な参加が基本である

▌評価基準・方法

レポート・プレゼンテーション・チームワークやリーダーシップの発揮・授業への参加意欲等を総合的に判断し、各教員が評価を行う

▌フィードバック方法

各授業の課題等については学修支援システム manaba を通じてや授業内に行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要になれば事前に連絡する）

▌教科書

成美堂出版編・刊 『就職試験これだけ覚える 一般常識』(1 年次購入のもの)
毎日新聞出版『ニュース検定　公式テキスト＆問題集「時事力」基礎編(3・4 級対応)』

▌参考書

各授業にて指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：前期のゼミ活動を振り返る。各自の夏季休暇時の行動結果を確認し、後期の活動を計画する。 事前学修 2.0hr：前期及び夏季休暇中の行動結果に関する検証 事後学修 2.0hr：年間行動計画および夏季休暇の行動計画の検証、検証結果を踏まえた年間行動計画の修正と確定
2回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
3回	**授業テーマ：外部講師による日本の伝統芸能講座** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業に関係の深い日本の伝統技能について、講師を招聘して学修する。 事前学修 2.0hr：日本の伝統芸能について情報収集 事後学修 2.0hr：講義内容から得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録
4回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
5回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
6回	**授業テーマ：駐日大使・公使による特別講義** 授業内容：駐日大使・公使を招聘し、出身国について広く講義を受ける。講義を聴き、他国についても興味を持ち視野を広げるきっかけとする。 事前学修 2.0hr：駐日大使・公使の出身国全般に関する情報収集 事後学修 2.0hr：講義内容から得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録
7回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
8回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理

9回	**授業テーマ：「ニュース時事能力検定」受験** 授業内容：ニュース報道を理解し、活用する力を資格として認定する「ニュース時事能力検定」を学内で受験する。 事前学修 3.0hr：『ニュース検定　公式テキスト＆問題集』を学修 事後学修 2.0hr：試験内容を振り返り、できなかったところを再度学修
10回	**授業テーマ：HT 学部就職対策　キャリアデザイン　企業人事の方によるパネルディスカッション** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業のいくつかの企業から、人事担当者を招聘して、企業の特徴や採用状況等についてパネルディスカッションを行う。登壇者の話を聴き、自らの将来を考える。 事前学修 2.0hr：パネルディスカッション登壇の人事担当者が所属する企業の調査・研究 事後学修 2.5hr：講義内で得た情報の整理、就職に関する自身の目的、行動計画を作成
11回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
12回	**授業テーマ：英語運用能力確認一斉テスト** 授業内容：英語学修成果を測るため、英語のテストを受ける。 事前学修 3.0hr：テスト対策と英語学修を継続して行う 事後学修 2.0hr：テスト内容を振り返り、できなかったところを学修
13回	**授業テーマ：3 年生による学修成果発表会** 授業内容：3 年生がケーススタディを通して得た成果について、ゼミ単位で発表する。積極的に質問をし、各ゼミでの活動内容や成果を理解する。 事前学修 2.0hr：来年度のケーススタディで取り組みたいことを考える 事後学修 2.0hr：各ゼミの活動内容を整理、自身の目的や取り組みたいことを整理
14回	**授業テーマ：客員教授による特別講義** 授業内容：客員教授より、ホスピタリティ・ツーリズム関連の講義を受ける。講義内容を積極的に考えながら聴き、理解する。 事前学修 2.0hr：客員教授やその企業について調べる 事後学修 2.0hr：講義内容から得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録
15回	**授業テーマ：新年度へ向けて** 授業内容：授業内容、後期の活動を振り返り、できたこと、できなかったことを考える。春季休暇や次年度に向けて行動計画を発表する。 事前学修 2.0hr：半期の成果に関するまとめ、春季休暇の行動計画作成 事後学修 2.0hr：半期 15 回の授業レビュー、具体的な成果や課題のとりまとめ、新年度の年間行動計画確定

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

次の組み合わせを参考に、チームごとにテーマを設定し、調査・分析活動を活動の核としながら、提言の発表まで行います。
＜デジタルトランスフォーメーション・インバウンド＞×＜まちづくり・ツーリズム・SDGs ＞×＜企業・組織・自治体＞
【特徴】
・チームごとに主体的なプロジェクト活動となります。基礎となる事実を自ら調べ、仮説を出し、その検証のために現場を視察・インタビューし、最終的に自らの意見を何らかの形でまとめ、全員で共有していきます。
・授業以外の時間を活用した調査・分析活動等も前提としています。
・前期または後期に、１泊２日のフィールドワークを想定しています。一人当たり 1 万円前後の費用がかかることを想定ください。
・ケーススタディⅠ-a では、チームごとに、テーマとターゲット企業や行政、地域を決め、課題や疑問点の洗い出しを行います。可能な範囲でその会社へのインタビューを実施、就活が本格的に動き出す夏を前に、プチまとめを共有し合います。前半では、主に、教員が設定した「佐原」を取り上げる予定ですが、状況により後期の I-b で行う可能性もあります。
・II-a と共同で別途チームを編成し、年間を通して１チーム１回、コミュニケーションイベントを企画、実施、運営を行うことを通して、イベントを成功させるためのプロセスを学びます。
なお、授業の進め方は、適宜変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・ゼミの課題であるプロジェクトを通して、社会人になっても通用する、チームワーク力、問題設定力、情報収集力、コミュニケーション力、自己分析力、自己肯定感などの醸成を目指します。
・社会課題に関心を持つ好奇心を養い問題設定能力を高めると同時に、多様な意見を受け容れる柔軟さと、より良い結論を導き出そうとする責任感の醸成を目指します。
個別目標：・プロジェクトに自律的・積極的に関わることを通して、自身が達成感を実感できるようになること
・選択したプロジェクトテーマについて、一定程度の問題意識や課題認識を自ら説明できるようになること
・分析に必要なデータを自身で収集し、分析のための加工ができるようになること

▌履修条件

・仲間を敬うこと
・テーマに関心を持ち、チームで成し遂げる成果に対して自律的に役割を果たす積極性と責任感を持てること
・4 年次のフィールドワーク実施を前提に積立金を実施予定
・ノート型 PC を持参できる環境が望ましい（EXCEL、PowerPoint、Word ソフト含む）※必須ではない

▌評価基準・方法

各回の授業参加態度および前後の学修状況（60%）、発表の成果物（30%）、自主課題のレポート（10%）を大まかな指標として総合的に評価します。

▌フィードバック方法

原則として、ゼミ生同士でそれぞれのアウトプットに対してのフィードバックを行う環境を設定します。その上で、指導教員として総括的なフィードバックを必要に応じて適宜実施します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （原則、毎回グループワークあり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜グループワーク内で使用）

▌教科書

特にありません。

▌参考書

・トラベルボイス（日刊のオンライン情報）を購読（無料）
・適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（授業の進め方、テーマについて、メンバーを知る）** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、授業評価基準、出欠基準など） ・4 年生による 3 年生次の活動内容の紹介 ・自己紹介 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、関心のあるテーマについてまとめておく 事後学修 2.0hr：次回の授業に向けて必要な学修を行う
2回	**授業テーマ：まちづくりの「視点」についての知識共有** 授業内容：・教員が用意した各種事例から、チームで選び、各チームでその内容を自らの視点で調べる 事前学修 2.0hr：本授業に向けて必要な学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
3回	**授業テーマ：まちづくりの「視点」についての知識共有** 授業内容：・教員が用意した各種事例から、チームで選び、その事例から、自らの視点で調べる 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
4回	**授業テーマ：まちづくりの「視点」についての知識共有** 授業内容：・事例について、各チームの発表 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
5回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント①** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う

6回	**授業テーマ：「佐原」について研究テーマを設定** 授業内容：・前期のメインフィールドワーク　佐原に赴くに際し、チームごとに何を調べるかを検討する 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
7回	**授業テーマ：「佐原」について各チームごとのテーマに基づく調査・研究** 授業内容：・前期のメインフィールドワーク　佐原に赴くに際し、チームごとに設定したテーマに基づき深掘り調査を行う ・フィールドワーク時において、それぞれの役割を確認する 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
8回	**授業テーマ：「佐原」についてのテーマとその調査・研究内容の全体共有（発表）** 授業内容：・前期のメインフィールドワーク　佐原に赴くに際し、テーマ及び調査内容を全体共有する 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
9回	**授業テーマ：全体＆チームワークショップ：「佐原についてわかったこと」** 授業内容：・前半：全体でのトークセッション「佐原に行く前と後で何が違ったか」（ファシリテート：ゼミ長） ・後半：チームに分かれて、今後の課題発表に向けて調査・研究テーマの軌道修正 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
10回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント②** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う
11回	**授業テーマ：最終の発表課題に向けてテーマ選び** 授業内容：・チーム変更 ・「佐原フィールドワーク」を受けて、調べたい「街選び」「テーマ（SDGs、DX、インバウンド、その他）」「（必要に応じて）関わる企業」を再検討 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
12回	**授業テーマ：最終の発表課題に向けた調査・研究作業** 授業内容：・前回で設定したテーマに基づいてチームで調査・研究 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
13回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント③** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う
14回	**授業テーマ：最終の発表課題に向けた調査・研究作業** 授業内容：・設定したテーマに基づいてチームで調査・研究 ・発表に向けた準備 ・教員向けの個別プレゼン（途中経過） 事前学修 2.0hr：発表に向けて、発表内容を整理し、一定程度の品質の資料にまとめておく 事後学修 2.0hr：教員からのフィードバック内容を受けてチームごとに発表案を修正する
15回	**授業テーマ：課題発表** 授業内容：・各チームごとに発表 ・相互フィードバックを実施 事前学修 2.0hr：発表資料を仕上げ、チーム内の発表時の役割を明確にし、事前にプレゼンテーション練習を行う 事後学修 2.0hr：発表課題について、フィードバックを反映させた修正レポートを出す（チーム別）

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

渭東　史江 (いとう　ちかえ)

▌授業の概要

①ケーススタディの活動内容は、自主的に考案、企画し、チームで協力して、計画、準備を進め、実行する。実行後には成果や改善点を確認する。
②ホスピタリティ産業に関連する事項をテーマにして研究する。たとえばホテルの実地見学などを通して、「特徴」、「オペレーション」、「戦略」、「実績」などを比較し、ホテルの形態の違いを理解するなど。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：活動内容を考案、企画し、チームで実行する過程で、社会に必要な資質や能力を開発する。同時に様々な体験や考察を通して、社会やホスピタリティ産業について広く理解する。
個別目標：①考案、企画、実行することで、自主性、発想力、実行力、コミュニケーション能力や、自分が伸ばしたい能力を伸ばす。
②成果をあげるために、チームで協働し、チームに貢献する。
③ホスピタリティ産業について理解を深め、自身の興味や方向性を考える。

▌履修条件

①自主性をもち、何事にも挑戦する気持ちがあること
②全回出席し、学習、研究にまじめに取り組むこと
③ホスピタリティ精神をもち、ホスピタリティ産業に関心があること

▌評価基準・方法

ディスカッション、プレゼンテーションの内容や、チームへの貢献度、授業への参加意欲などを考慮し、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して、または授業内に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要であれば事前に連絡する）

▌教科書

必要に応じて資料等を配信または配布。

▌参考書

必要に応じて紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：ケーススタディの内容、授業の進め方等の説明。 事前学修 2.0hr：自身の興味のあることについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ活動について把握し、何をするべきか考える
2回	**授業テーマ：自己紹介・発表** 授業内容：お互いを知り、協働のために自己紹介をする。 事前学修 2.0hr：自己紹介のための準備をする 事後学修 2.0hr：ゼミメンバーを把握し、お互いに影響し合えることを考える
3回	**授業テーマ：チームビルディング** 授業内容：お互いを知り、目的のためにチームで活動する。チームメンバーで協力して成果をあげる。 事前学修 2.0hr：理想のチームを考える 事後学修 2.0hr：内容を振り返り、うまくできたこととそうでないことを理解する
4回	**授業テーマ：ホスピタリティ業界研究** 授業内容：ホスピタリティ産業全体について調査し、発表する。発表を聞くことで業界を広く把握する。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティ業界について調べる 事後学修 2.0hr：ホスピタリティ業界全体についてや現在の動向を把握する
5回	**授業テーマ：研究・企画テーマ決定・目標設定** 授業内容：今後のケーススタディで研究や企画をするテーマをグループディスカッションにより決定する。 事前学修 2.0hr：取り上げたいテーマについて考える 事後学修 2.0hr：決まったテーマをどのように研究するか考える
6回	**授業テーマ：グループディスカッション** 授業内容：研究や企画のテーマについて研究・調査方法、進め方をグループディスカッションにより決定する。 事前学修 2.0hr：研究・企画テーマの進め方を考える 事後学修 2.0hr：決まったことを整理する
7回	**授業テーマ：テーマ研究** 授業内容：テーマについてメンバーが分担して企画・研究・調査する。内容は必要に応じて発表し、まとめていく。 事前学修 2.0hr：研究に必要なものを調べる 事後学修 2.0hr：研究内容を整理する
8回	**授業テーマ：フィールドワーク** 授業内容：テーマについて、現地で調査する。 事前学修 2.0hr：フィールドワークする場所について調べる 事後学修 2.0hr：フィールドワークで得た情報を整理する
9回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：フィールドワークで得た内容をグループ内で発表する。 事前学修 2.0hr：フィールドワークの感想などを発表できるようにする 事後学修 2.0hr：決まったことを整理する
10回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：グループディスカッション等により、企画・研究、資料作成をすすめる。 事前学修 2.0hr：企画・研究をすすめるのに必要なものを考える 事後学修 2.0hr：決まったことを整理する

11回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：グループディスカッション等により、企画・研究、資料作成をすすめる。 事前学修 2.0hr：企画・研究をすすめるのに必要なものを考える 事後学修 2.0hr：決まったことを整理する
12回	**授業テーマ：発表準備** 授業内容：グループで内容をまとめて資料作成、発表の準備、練習をする。 事前学修 2.0hr：発表内容をまとめる 事後学修 2.0hr：発表の練習をする
13回	**授業テーマ：研究発表** 授業内容：ゼミ内でグループごとに発表をする。他グループの発表を聞き評価する。問題点を修正する。 事前学修 2.0hr：研究発表の準備をする 事後学修 2.0hr：グループのフィードバックを整理し、改善する
14回	**授業テーマ：全体発表** 授業内容：HT 学部内ケースタディ全体の中で研究発表をする。他のゼミの発表を聞く。 事前学修 2.0hr：全体発表の準備をする 事後学修 2.0hr：他のゼミの内容を振り返り、自分たちの成果や課題を確認する
15回	**授業テーマ：前期まとめ** 授業内容：前期中の活動を振り返り、できたこと、できなかったことを考える。後期に向けて目標を立てる。 事前学修 2.0hr：前期中にしたこと、するべきことを整理する 事後学修 2.0hr：前期中にするべきことを修了し、後期に向けてできる準備をする

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

地域資源を活かした観光振興と持続可能なまちづくりをテーマに、実践的な学びをおこないます。フィールドワーク、観光関連企業・自治体との連携を通じて、観光課題への具体的な解決策を探求します。また、観光・航空業界におけるホスピタリティの意義を学び、地域社会との協働を体験します。最終的に、地域や業界の課題解決に向けた提案をまとめ、発表を通じて学びを深めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自分自身を成長させることができる
・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる
・観光立国を目指す日本の、地方自治体の取組み、受入れ側のホスピタリティのあり方、およびそれを実現、持続させるために自分が何ができるかを見つけ、実践、説明できるようになる。

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
・企業研究やゲストスピーカーとのディスカッション等を通して就業意欲を高め、就職活動準備を積極的に行えるようになる
・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる

▌履修条件

・ホスピタリティ実践に興味と意欲があること
・積極的に新しいことに挑戦し、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生
・新たなゼミメンバーの中で積極的に友人を作って協力し合い、自分の視野を拡げていける学生
・人の話を聴き、自ら考え、自分の意見を述べ、自己成長ができる学生

▌評価基準・方法

・ゼミへの参画意欲と積極的な活動
・ゼミメンバーとの協働姿勢
・企画・プレゼンテーションのプロセスや結果
これらを総合的に判断し、評価する

▌フィードバック方法

一人ひとりと面談形式でフィードバックをおこなう

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを通じて学びを深めていきます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

適宜紹介する　学生同士も参考になる文献や情報を適宜紹介しあい、共有すること

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　【今後のゼミの運営方法】** 授業内容：ゼミ運営について確認と計画を行います。 事前学修 2.0hr：自分がこのゼミにどのような期待をするのか、再確認しておく 事後学修 2.0hr：ゼミにおける自身の役割の再確認
2回	**授業テーマ：『自己紹介』** 授業内容：就職活動への準備もかねて、自分自身を他人に理解してもらうための紹介を行うとともに、他者を的確に理解する実践を行う 事前学修 2.0hr：自分自身をゼミメンバーに理解してもらうため準備を行なう 事後学修 2.0hr：ゼミメンバーの自己紹介を再確認し、理解を深める
3回	**授業テーマ：事例研究 (1)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究 (2)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.5hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究 (3)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：ディベートのテーマについて調査・研究を行なう 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究 (4)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて調査・研究を行なう 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究 (5)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて調査・研究を行なう 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究 (6)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

9回	**授業テーマ：事例研究 (7)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
10回	**授業テーマ：事例研究 (8)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：企業研究 (9)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：事例研究 (10)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
13回	**授業テーマ：事例研究 (11)　企業研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 3.0hr：ゼミ内容に基づく復習
14回	**授業テーマ：事例研究 (12)　企業研究プレゼンテーション** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 3.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
15回	**授業テーマ：事例研究 (13)　前期のまとめ** 授業内容：前学期のゼミ活動やその他の学生生活での活動を通じて得た学びや気付きを各々にプレゼンテーションし、夏季休暇を有効に活用するための準備を行います 事前学修 2.0hr：これまでの授業で得たことをまとめ、夏季休暇の行動計画を作成する 事後学修 3.0hr：前期の活動をふまえ、後期に向けての研究テーマを決める

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

本講義では、受講生が観光業及びサービス業におけるユニバーサルデザインの重要性と必要性に対する認識と理解を深めて、事例研究を通じて、その実践的な展開方法について学ぶことにある。

特定分野(観光産業とサービス業を対象に)の事例(ケーススタディ)研究を行い、その分野の理論を考察したうえ、理論土台を固め、理解を深めること。とくに高齢化が進んでいる日本において、現実的に意義のある研究課題を定めて、資料収集、現地調査を実施し、結果分析をして、その結果をプレゼンし、レポート作成などの実践を踏まえて、問題の発見と解決能力を身に着けることを目指していき、また次年度の卒論のために準備をすることになる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：　観光施設、観光地とサービス業におけるユニバーサルデザインの具体的な実践方法を学び、バリアフリーな環境を提供するための戦略や手法を理解することを目指す。ユニバーサルデザインの基礎理論の学修と基礎学力の向上を図り、観光のユニバーサルデザインの視野から、調査、研究を行い。今後社会での活躍能力を身につける。

現代観光の特徴として、すべての人々の参加である視点から、高齢者も身体障害者もその権利をもち、社会としてはその参加できる環境と基盤を提供すべきという認識を共有する。

個別目標：・学生が実際の観光施設やイベントに関するケーススタディをして、ユニバーサルデザインの観点から問題を特定し、解決策を提案する能力を養うことを目指すこと。

・学生がグループごとに、アイデアを共有し、コミュニケーション能力を向上させることを目指すこと。

・学生がユニバーサルデザインの実践における倫理的な問題や社会的責任について考え、共生社会実現の促進や地域社会への貢献に関心を持つことを目指すこと。

▌履修条件

・観光のユニバーサルデザインやバリアフリーと共生社会に関心があり、常に向上心と好奇心を持つこと
・グループの一員として積極的にゼミ活動に参加できること
・学習の過程において、障害と困難を乗り越えて、最後までやり遂げること
・事例研究を積極的に取り込み、チームワークができること。
・自ら考えて、自分の意見を述べて、ゼミ内で共有できること。

▌評価基準・方法

事例研究の調査参加 30 %
ディスカッション参加、プレゼン 40 %
レポート３０%
授業と課題の取り込み姿勢などを基に総合的に評価する。

▌フィードバック方法

個別又は学修支援 manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チームワークがメイン）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料収集、整理、パワポで発表の準備などに使用）

▌教科書

特になし

▌参考書

必要に応じて配布

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義の進め方、講義スケジュールと内容などの確認、ケーススタディ、成績評価の基準などについて説明する 事前学修 2.0hr：ゼミの方針と活動内容を理解する 事後学修 2.0hr：ゼミ運営の目標を再確認する
2回	**授業テーマ：自己紹介、今後のゼミ研究活動の紹介** 授業内容：お互いに知り、今後の研究活動について話し合う。 事前学修 2.0hr：研究テーマと研究手法を考える 事後学修 2.0hr：チームメンバーと意見交換、研究事例の範囲と対象を絞る
3回	**授業テーマ：外部関係者のレクチャー** 授業内容：今後ゼミ活動内容に関する学び 事前学修 2.0hr：決めた研究テーマについて、再度確認する 事後学修 2.0hr：次回の準備として決めたテーマをチームで討論する
4回	**授業テーマ：ゼミの年間スケジュール作りと確認** 授業内容：活動の内容のスケジュール作りと確認 事前学修 2.0hr：活動内容の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備としてチームで
5回	**授業テーマ：チームワーク①** 授業内容：研究事例の再確認と調査手法について 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備としてチームで話し合う
6回	**授業テーマ：チームワーク②** 授業内容：現地調査の準備 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備としてチームで話し合う

7回	**授業テーマ：チームワーク③** 授業内容：現地調査の準備 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：現地調査のまとめ
8回	**授業テーマ：チームワーク④** 授業内容：現地調査の本調査の実施① 事前学修 2.0hr：現地調査票の回収 事後学修 2.0hr：調査の結果をまとめる
9回	**授業テーマ：チームワーク⑥** 授業内容：現地調査の本調査の実施② 事前学修 2.0hr：現地調査票の回収 事後学修 2.0hr：調査の結果をまとめる
10回	**授業テーマ：調査結果の分析①** 授業内容：チームごとにディスカッション 現地調査の結果を分析する。二次調査が必要であれば、追加調査を行う 二回目の現地調査に向けて準備 事前学修 2.0hr：現地調査の結果分析とまとめ 事後学修 2.0hr：続き現地調査への準備
11回	**授業テーマ：調査の結果の分析②** 授業内容：現地調査の結果の分析とまとめ 事前学修 2.0hr：分析の事前準備をする 事後学修 2.0hr：調査の結果の分析とまとめ③
12回	**授業テーマ：チームごとの調査分析結果の報告を準備する①** 授業内容：調査分析結果の報告書作成作業 事前学修 2.0hr：調査の準備 事後学修 2.0hr：調査をまとめる
13回	**授業テーマ：チームごとの調査分析結果の報告を準備する②** 授業内容：調査分析結果の報告書作成作業 事前学修 2.0hr：報告書作成について 事後学修 2.0hr：全体のまとめ
14回	**授業テーマ：中間報告** 授業内容：各グループが活動内容の報告を行う 事前学修 2.0hr：報告の準備 事後学修 2.0hr：報告のまとめ
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期の活動のレビュー、総括する。 後期に向けてブラッシュアップ。 事前学修 2.0hr：前期を振り返る、感想をまとめる 事後学修 2.0hr：前期を踏まえて、後期の研究を改善する

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中野　実（なかの　みのる）

▌授業の概要

「世界とつながる」をメインテーマとし、将来の仕事から身近な生活まで、広い視野で世界とのつながりを意識する。そこに必要なコミュニケーション、ホスピタリティ、あるいは異文化理解を学び、そして浮かび上がる様々な課題を考察します。そのためにゼミメンバーの協働による企業研究・時事問題等の研究/検証および社会人基礎力の養成で、そのため主として以下をゼミ活動の柱とする

①好奇心を育て、視野を広げるきっかけにするために、タイムリーな時事問題に関する情報共有やディベートを実施する。　②『誰が正しいか、ではなく、何が正しいか』という考え方や視点を確立し、人として正しい判断が行えるようにする

③第三者からの「自分の見え方」を大切にし、学年を問わずゼミメンバー同士で忌憚なくアドバイスし合う

④テーマ毎にゼミメンバーをグループ分けし、【協働】で調査・研究を行ったうえでプレゼンテーションを実施する

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自分自身を成長させることができる
・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
・企業研究や OB/OG とのパネルディスカッション等を通して就業意欲を高め、就職活動準備を積極的に行えるようになる
・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる

▌履修条件

・明海大学の学生であることに誇りを持ち、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生
・新たなゼミメンバーの中で積極的に友人を作って協力し合い、自分の視野を拡げていける学生

▌評価基準・方法

・ゼミへの参画意欲と積極的な活動
・ゼミメンバーとの協働姿勢
・企画・プレゼンテーション・レポート等ののプロセスや結果
これらを総合的に判断し、評価する

▌フィードバック方法

適宜個人面談を実施していく。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを通じて学びを深めていきます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

適宜紹介する　学生同士も参考になる文献や情報を適宜紹介しあい、共有すること

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　【今後のゼミの運営方法】と『自己紹介』** 授業内容：ゼミ運営について確認と計画を行います。また、就職活動への準備もかねて、自分自身を他人に理解してもらうための紹介を行うとともに、他者を的確に理解する実践を行う 事前学修 2.0hr：自分がこのゼミにどのような期待をするのか、再確認しておく。そして自分自身をゼミメンバーに理解してもらうため準備を行なう 事後学修 2.0hr：ゼミにおける自身の役割の再確認し、ゼミメンバーの自己紹介を聞いて理解を深める。
2回	**授業テーマ：事例研究 (1)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
3回	**授業テーマ：事例研究 (2)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究 (3)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究 (4)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究 (5)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究 (6)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究 (7)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

9回	**授業テーマ：事例研究 (8)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
10回	**授業テーマ：事例研究 (9)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：事例研究 (10)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：事例研究 (11)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
13回	**授業テーマ：事例研究 (12)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
14回	**授業テーマ：事例研究 (13)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前学期のゼミ活動やその他の学生生活での活動を通じて得た学びや気付きを各々にプレゼンテーションし、夏季休暇を有効に活用するための準備を行います。 事前学修 2.0hr：これまでのゼミで得たことをまとめ、夏季休暇の行動計画を作成する 事後学修 2.0hr：前期の活動をふまえ、後期に向けての研究テーマを決める

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

二宮　秀生 (にのみや　ひでお)

▌授業の概要

ホスピタリティに関するテーマにつき、チームでテーマの選定、研究、報告を行い、それに基づいて全員で討議をする。
情報収集にあたっては極力生の声を聴く。
役割を担うことで、責任感を持って、主体的、積極的に参加する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：組織社会で必要とされる様々な力をつける。
（目標設定　計画策定　実行力　情報収集力　分析力　コミュニケーション力　責任感　主体性など）
個別目標：チーム内で役割を担うことで、主体性や責任感を醸成する。
共同で進める中でコミュニケーション力、情報収集力をつける。
研究発表と討議を行うことで、プレゼンテーション力をつけるとともに、多様な意見を聴き、尊重することを学ぶ。

▌履修条件

・自らのスキル向上に前向きであること
・自ら考えて行動できること

▌評価基準・方法

チームへの貢献度、研究成果、発表などを総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業中以外にも面談や manaba でのフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チーム研究）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜資料を配布

▌参考書

適宜紹介

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　他己紹介** 授業内容：ゼミの進め方を共有する。 事前学修 2.0hr：やりたいことを考えておく。 事後学修 2.0hr：やりたいテーマを考える。
2回	**授業テーマ：やりたいテーマの発表　テーマ、チームの決定** 授業内容：チーム分けを行い、テーマを決定する。 事前学修 2.0hr：やりたいテーマを考えておく。 事後学修 2.0hr：やりたい役割を考える。
3回	**授業テーマ：計画の策定　役割分担** 授業内容：チーム内での役割を決め、計画をつくる。 事前学修 2.0hr：計画をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
4回	**授業テーマ：テーマ研究①** 授業内容：研究を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
5回	**授業テーマ：テーマ研究②** 授業内容：研究を行う。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
6回	**授業テーマ：テーマ研究③** 授業内容：研究を行う。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
7回	**授業テーマ：中間発表(レポート)準備** 授業内容：中間発表の準備を行う。 事前学修 2.0hr：中間発表をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：中間発表内容を固める。
8回	**授業テーマ：中間発表　全体討議** 授業内容：中間発表を行う。 質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：発表準備をする。 事後学修 2.0hr：討議で出た意見の反映について考える。
9回	**授業テーマ：テーマ研究④** 授業内容：研究を進める。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
10回	**授業テーマ：テーマ研究⑤** 授業内容：研究を進める。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。

11回	**授業テーマ：テーマ研究⑥** 授業内容：研究を進める。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
12回	**授業テーマ：発表(パワポプレゼン)の準備** 授業内容：発表の準備を行う。 事前学修 2.0hr：発表をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を固める。
13回	**授業テーマ：発表　討議** 授業内容：発表を行う。 質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：発表内容を確認しておく。 事後学修 2.0hr：討議で出た意見の反映を考える。
14回	**授業テーマ：発表資料の最終化　夏休みの計画づくり** 授業内容：発表資料の最終化を行う。 事前学修 2.0hr：夏休みの計画につき考えておく。 事後学修 2.0hr：これまでの振り返りを行う。
15回	**授業テーマ：まとめ　学んだことを発表** 授業内容：前期の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：これまでの学びを語る準備をする。 事後学修 2.0hr：夏休みの計画を確認する。

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

橋本　尚興（はしもと　ひさおき）

▌授業の概要

分析・洞察力にあふれ、 社会や企業の問題に気が付き、 解決に向けて自ら考え主体的に行動することができる人財の育成を目的とする。このため、ホスピタリティを軸とした自由なテーマにて課題を設定し、自ら考え・発信し、共感した仲間たちと協力して課題への対応に取り組む。
なお、内容は環境や諸条件により変更する場合がある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・さまざまなテーマの課題と解決方法の検討を通じて、社会人として必要となる課題への対応方法を学ぶ。(DP3)
・ゼミにおける仲間との交流を通じて自分自身の成長を感じることができる。(DP3)
個別目標：・さまざまな事象や自身の体験から問題点に気が付き、課題設定ができるようになる。
・課題の解決方法をチームで検討することにより、役割を認識し、役割に応じた結果を出せるようになる。
・自ら進んで課題解決に努力することを通じて達成感を実感できるようになる。

▌履修条件

以下の示す取り組み姿勢を持つ学生であること
・自身の意見を持ち、相手がわかるように説明できるとともに、相手の話も聞き理解しようと努める。
・仲間とともに課題解決に向けて自主的に努力する気概を持つ。

▌評価基準・方法

プレゼンテーション、ディスカッションの内容と参加態度、仲間への貢献度などを考慮して総合評価を行う。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba やゼミを通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チームに分かれて調査研究活動を行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （研究や調査報告作成のために利用する。）

▌教科書

特になし

▌参考書

適宜。配布を配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　【ゼミ運営方法】** 授業内容：前期のゼミ運営のスケジュールと活動内容の説明をおこなうとともに、皆さんからもゼミ運営のアイデアを募る。 事前学修 2.0hr：自分がこのゼミに何を期待し、そのためにどう行動したいのか確認しておく 事後学修 2.0hr：ゼミにおける自身の取り組みについて確認しておく
2回	**授業テーマ：自己紹介と、前期に取り組みたいテーマ(案)の検討** 授業内容：自己紹介と、取り組んでみたいテーマ(案)について発表する 事前学修 2.0hr：自分自身をゼミの仲間に理解してもらうことに加え、取り組んでみたいテーマについて説明できるように準備する 事後学修 2.0hr：仲間の自己紹介を再確認し、相互理解を深めるとともに、取り組みたいテーマを選択する
3回	**授業テーマ：テーマの検討** 授業内容：皆さんと取り組んでみたいテーマについて相談する 事前学修 2.0hr：取り組んでみたいテーマについて説明できるように準備する 事後学修 2.0hr：取り組みたいテーマを選択する
4回	**授業テーマ：テーマの検討／選択　チーム分け** 授業内容：皆さんと話し合い、前期で取り組むテーマを決めるとともにチーム分けと役割分担を行う。 事前学修 2.0hr：テーマを選択した理由を説明できるように準備する 事後学修 2.5hr：チーム内での役割分担に基づき、自身の行動計画を検討する
5回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
6回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
7回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
8回	**授業テーマ：テーマへの対応　中間発表** 授業内容：チームごとに中間発表を行う。また、相互に評価し、今後の活動の方向修正や微調整を行う 事前学修 3.0hr：中間発表の準備をする 事後学修 2.0hr：コメントなどを踏まえ必要に応じて計画修正を行う
9回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
10回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する

11回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
12回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
13回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
14回	**授業テーマ：テーマに対する最終発表と相互評価** 授業内容：チームごとにテーマの最終発表を行うとともに、お互いに評価を行う 事前学修 3.0hr：課題に対する最終プレゼンテーションの準備を行なう 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づき復習を行う
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期のまとめと、夏休みのスケジュールや取り組みたい事柄について発表する 事前学修 2.0hr：授業で得たことをまとめるとともに、夏季休暇の行動計画を作成する 事後学修 2.0hr：夏季休暇の行動計画の実現に向けて検討を行う

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

コミュニケーションやネットワーク、コンテクストというキーワードを駆使することで「企業組織」について自分なりの見解をもって説明できることを目標とする。そこで、日々に各メディアから伝えられる企業活動や実際の企業訪問、あるいはインターンシップでの経験等を事例にした疑似体験を題材に、企業組織における働きかたの理想形を探りながら自分なりに問題を発見できるように進めていく。
外部イベントを通じて、社会人としての規範を身に付けること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：「自分なりの妄想や直感」を起点に、想像力と創造力を発揮してキャリア開発に役立つテーマを主体的に設定し、自分なりの計画に基づいて調査や分析を実行し続けていく。テーマの選び方や分析のやり方は自由。ただし、自分の計画を死守しつつ進める規律性、物事を体系的に筋道立てて考える論理的思考や、「なぜ」を繰り返すことで必要となるデータや理由を多く集めてより良い解決策の糸口を見つけ出す問題発見の涵養を目指していく。
個別目標：自身のテーマについて、問題を複数立てていること
自身のテーマについて仮説を構築できていること

▌履修条件

※ メモをとる習慣を身に付けること
※ 時間観念-必ず期限を守ること
※ 各種イベントやフィールドワークに参加する積極性と、自分の立てた計画をやりきる規律性
※ コミュニケーションは、双方向のやり取りであることを自覚すること

▌評価基準・方法

発表 60 %、ゼミでの輪講に臨む姿勢・向上意欲・積極的探究心 40 %を目安として総合評価。
出席 80 %必須。担当教員が教壇に立っている時点で、いかなる遅刻も欠席扱いとする。
組むべき事由がある場合は、必ず事前に相談すること。

▌フィードバック方法

各授業の課題等については学修支援システム manaba/mail/Classroom を通じてフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （人間力を高めるための積極的なディベート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （担当教員の許可のもと、使用可）

▌教科書

特になし。
各自個別に指示する。

▌参考書

特になし。
授業の時に必要に応じて指示。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の進行や内容について説明** 授業内容：初回ガイダンス 年間スケジュールの説明 事前学修 3.0hr：講義概要を理解し、自分の興味ある分野についてまとめる 事後学修 2.0hr：初回のフィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
2回	**授業テーマ：出発点の確認　研究課題と研究手法について** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：相互の意見交換を通じて、テーマを深掘りしておく。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
3回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
4回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
5回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
6回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
7回	**授業テーマ：中間報告** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 3.0hr：中間報告をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
8回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。

9回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
10回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：次回の授業へ向けて、疑問点をまとめておく
11回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：プレ発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
12回	**授業テーマ：チャリティーイベント** 授業内容：ホテルにおけるチャリティイベント 事前学修 2.0hr：チャリティーイベント参加するための準備 事後学修 2.0hr：参加報告を準備
13回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
14回	**授業テーマ：飾り毛布体験** 授業内容：外部講師を招いて飾り毛布つくりを体験する。 事前学修 3.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：飾り毛布体験の報告書を作成
15回	**授業テーマ：2 つのイベント(チャリティ・飾り毛布)の総括** 授業内容：ケーススタディ Ib に向けての総括をする 事前学修 2.0hr：夏休みの行動計画を最終化しておく。 事後学修 2.0hr：夏休みの行動計画を具体化させる。

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

コミュニケーションやネットワーク、コンテクストというキーワードを駆使することで「企業組織」について自分なりの見解をもって説明できることを目標とする。そこで、日々に各メディアから伝えられる企業活動や実際の企業訪問、あるいはインターンシップでの経験等を事例にした疑似体験を題材に、企業組織における働きかたの理想形を探りながら自分なりに問題を発見できるように進めていく。
来年のケーススタディⅡで、特定の企業の組織を対象に、自分なりの根拠と問題意識から、あるべき姿を提案できるケーススタディを作り上げることを目標に、その準備を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：「自分なりの妄想や直感」を起点に、想像力と創造力を発揮してキャリア開発に役立つテーマを主体的に設定し、自分なりの計画に基づいて調査や分析を実行し続けていく。テーマの選び方や分析のやり方は自由。ただし、自分の計画を死守しつつ進める規律性、物事を体系的に筋道立てて考える論理的思考や、「なぜ」を繰り返すことで必要となるデータや理由を多く集めてより良い解決策の糸口を見つけ出す問題発見の涵養を目指していく。

個別目標：○○× HT を基軸に特定の個人テーマを定義できていること
自身のテーマについて、問題を複数立てていること
自身のテーマについて仮説を構築できていること

▌履修条件

本テーマに興味を持ち、柔軟な発想とアンテナの感度を持ち、折れない心でテーマに取り組めること。
各種イベントやフィールドワークに参加する積極性と、自分の立てた計画を死守できる規律性。

▌評価基準・方法

発表や課題の品質（40 %）、授業や課題への取組姿勢（60 %）を基に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは個別に実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （地域や企業との連携を通じた学びに取り組みます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プロジェクト運営での情報整理等、常にパソコンは必要だと思われます。）

▌教科書

特になし。
各自個別に指示していきます。

▌参考書

特になし。授業の時に必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初回ガイダンス 授業の進行や内容について説明** 授業内容：自己紹介・プロジェクト計画・ゼミ計画など 事前学修 3.0hr：講義概要を理解し、自分の興味ある分野についてまとめる 事後学修 2.0hr：初回のフィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
2回	**授業テーマ：出発点の確認　研究課題と研究手法について** 授業内容：課題探求の手法と手段について概説 事前学修 2.0hr：相互の意見交換を通じて、テーマを深掘りしておく。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
3回	**授業テーマ：プロジェクトワーク①** 授業内容：プロジェクト活動への参画にむけた初回の打ち合わせ 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
4回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
5回	**授業テーマ：プロジェクトワーク②** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
6回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
7回	**授業テーマ：プロジェクトワーク③** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 3.0hr：中間報告をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
8回	**授業テーマ：研究調査中間レビュー** 授業内容：探究課題の全体への発表 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
9回	**授業テーマ：研究調査中間レビュー** 授業内容：探究課題の全体への発表 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。

10回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：次回の授業へ向けて、疑問点をまとめておく
11回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：プレ発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
12回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
13回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
14回	**授業テーマ：前期のプロジェクト進捗のレビューと報告** 授業内容：プロジェクト活動の進捗レビューとして報告会を行う 事前学修 3.0hr：発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに夏休みの行動計画を確定させる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：課題探求のレビューと評価 事前学修 2.0hr：夏休みの行動計画を最終化しておく。 事後学修 2.0hr：夏休みの行動計画を具体化させる。

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

チームごとに、社会の話題に関することなどからテーマを選び調査・分析活動を活動の核としながら、提言の発表まで行います。

【特徴】

・チームごとに主体的なプロジェクト活動となります。基礎となる事実を自ら調べ、仮説を出し、その検証のために現場を視察・インタビューし、最終的に自らの意見を何らかの形でまとめ、全員で共有していきます。

・授業以外の時間を活用した調査・分析活動等も前提としています。

・ケーススタディⅠ-b では、I-a で実施したプロジェクト活動を通じて、自身がより学びたいことを改め再設定し、プロジェクトチームも再編成します。

・一方、就職活動が本格化してくる時期と重なることもあり、プレゼンテーション力や企業分析力など就活にも役立つロールプレイや企業研究なども織り交ぜながら進めていきます。

・II-b のメンバーと共同で、年間を通して１チーム１回、コミュニケーションイベントを企画・運営・実施し、イベントを成功に導くプロセスを学びます。

なお、授業の進め方は、適宜変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・ゼミの課題であるプロジェクトを通して、社会人になっても通用する、チームワーク力、問題設定力、情報収集力、コミュニケーション力、自己分析力、自己肯定感などの醸成を目指します。
・社会課題に関心を持つ好奇心を養い問題設定能力を高めると同時に、多様な意見を受け容れる柔軟さと、より良い結論を導き出そうとする責任感の醸成を目指します。

個別目標：・プロジェクトに自律的・積極的に関わることを通して、自身が達成感を実感できるようになること
・選択したプロジェクトテーマについて、一定程度の問題意識や課題認識を自ら説明できるようになること
・分析に必要なデータを自身で収集し、分析のための加工ができるようになること

▌履修条件

・I-a と同じ

▌評価基準・方法

各回の授業参加態度および前後の学修状況(60%)、発表の成果物(30%)、自主課題のレポート(10%)を大まかな指標として総合的に評価します。

▌フィードバック方法

・I-a と同じ

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （原則、毎回グループワークあり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜グループワーク内で使用）

▌教科書

特にありません。

▌参考書

・トラベルボイス(日刊のオンライン情報)を購読(無料)

・適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：夏休みの課題の発表** 授業内容：夏休み中の課題を全体で共有します。 事前学修 2.0hr：I-a で提示された夏休みの課題について学修、発表できるようにしておく 事後学修 2.0hr：I-a のプロジェクト活動などを通じて、I-b で学びたいテーマについてまとめておく
2回	**授業テーマ：テーマの再選択に向けたディスカッションとチーム再編成** 授業内容：前期とは異なるチームで、新たなテーマに挑みます 事前学修 2.0hr：I-a のプロジェクト活動などを通じて、I-b で学びたいテーマについてまとめておく 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
3回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
4回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント④** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う
5回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
6回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
7回	**授業テーマ：後期フィールドワークの実施** 授業内容：４、５限の時間を使って、後期のフィールドワークを実施(日程前後する可能性あり) 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
8回	**授業テーマ：後期フィールドワークを受けた気付きの共有** 授業内容：・前半：全体セッション(ファシリテート：ゼミ長) ・後半：分科会セッション(各チーム別) 事前学修 2.0hr：フィールドワークで得た知識や考えなどを課題として提出する 事後学修 2.0hr：チームとして今後のテーマに活かせる内容を検討する

9回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント⑤** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う
10回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
11回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
12回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
13回	**授業テーマ：3 年生の課題発表** 授業内容：・3 年生のチーム別課題発表を行う 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
14回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント⑥** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントのフィードバックを行う
15回	**授業テーマ：総まとめ：4 年生の課題発表** 授業内容：・4 年生による卒業制作に向けた課題発表(一人ずつ　4限から実施予定) 事前学修 1.0hr：4 年生は、事前に発表課題を提出 事後学修 3.0hr：3 年生は、発表に対するフィードバックを実施、4 年生は、発表課題を修正して提出

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

渭東　史江 (いとう　ちかえ)

▌授業の概要

①ケーススタディの活動内容は、自主的に考案、企画し、チームで協力して、計画、準備を進め、実行する。実行後には成果や改善点を確認する。
②ホスピタリティ産業に関連する事項をテーマにして研究する。たとえばホテルの実地見学などを通して、「特徴」、「オペレーション」、「戦略」、「実績」などを比較し、ホテルの形態の違いを理解するなど。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：活動内容を考案、企画し、チームで実行する過程で、社会に必要な資質や能力を開発する。同時に様々な体験や考察を通して、社会やホスピタリティ産業について広く理解する。
個別目標：①考案、企画、実行することで、自主性、発想力、実行力、コミュニケーション能力や、自分が伸ばしたい能力を伸ばす。
②成果をあげるために、チームで協働し、チームに貢献する。
③ホスピタリティ産業について理解を深め、自身の興味や方向性を考える。

▌履修条件

①自主性をもち、何事にも挑戦する気持ちがあること
②前回出席し、学習、研究にまじめに取り組むこと
③ホスピタリティ精神をもち、ホテルなどホスピタリティ産業に関心があること

▌評価基準・方法

ディスカッション、プレゼンテーションの内容や、チームへの貢献度、授業への参加意欲などを考慮し、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して、または授業時間内に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要になった場合は事前に連絡する）

▌教科書

必要に応じて資料等を配信または配布。

▌参考書

必要に応じて紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期のフィードバック・後期イントロダクション** 授業内容：前期の内容、活動を振り返る。後期にするべきことを確認し、進め方を考える。 事前学修 2.0hr：前期の活動を振り返り、反省点を整理する 事後学修 2.0hr：ゼミ活動として、後期に何をするべきか考える
2回	**授業テーマ：自己分析・他己分析・自己 PR・社会人基礎力** 授業内容：自身が現在までにしてきたことを振り返り、性格や能力を客観的に知る。他者についても印象を率直に伝え、また自身の印象を伝えてもらう。それらをふまえて自己 PR を作成する。加えて、社会人基礎力を一つずつ確認し、自身にその能力があるかどうか考える。自身の強み、弱みを把握する 事前学修 2.0hr：自己分析のために自分自身について考える。社会人基礎力を見直す 事後学修 2.0hr：自己分析の結果を把握し、それをどう活かすか考える
3回	**授業テーマ：活動テーマ決定・目標設定** 授業内容：後期のケーススタディの活動テーマをグループディスカッションにより決定し、目標を設定する。 事前学修 2.0hr：ケーススタディの活動でとりあげたいテーマを考える 事後学修 2.0hr：決まったテーマをどのように研究するか考える
4回	**授業テーマ：チームビルディング** 授業内容：お互いに助け合えるチームとなるために、チームで活動する。チームで協力して成果をあげる。 事前学修 2.0hr：理想のチームを考える 事後学修 2.0hr：内容を振り返り、うまくできたこととそうでないことを理解する
5回	**授業テーマ：グループディスカッション** 授業内容：決定した活動テーマについて、グループディスカッションする。ここではディスカッションの進め方、方法も同時に学ぶ。 事前学修 2.0hr：ディスカッションの方法等を復習する 事後学修 2.0hr：ディスカッションの成果を整理する
6回	**授業テーマ：テーマ研究(外部講師)** 授業内容：ホスピタリティ関連企業から外部講師を招聘し、決定したテーマに関する講義を受ける。積極的に聴き、質問することで、より理解を深める。 事前学修 2.0hr：外部講師やテーマについて調べる 事後学修 2.0hr：講義の内容や気づいたことを整理する
7回	**授業テーマ：フィールドワークに向けて準備** 授業内容：テーマ研究のために実施するフィールドワークの場所を決める。現地ですることを確認する。 事前学修 2.0hr：テーマに合ったフィールドワークの場所を考える 事後学修 2.0hr：決まった場所の調査内容を整理する
8回	**授業テーマ：フィールドワーク** 授業内容：前回に決めたホスピタリティ産業の現場を訪れ、調査、研究をする。 事前学修 2.0hr：フィールドワークを有効に行うための準備をする 事後学修 2.0hr：フィールドワークで学んだことを整理する
9回	**授業テーマ：研究のまとめ** 授業内容：ここまで調査、研究したテーマについて、各自が意見を出し合い、全員で研究内容をまとめる。 事前学修 2.0hr：調査、研究内容を整理し、自身の意見をまとめる 事後学修 2.0hr：研究内容のまとめを確認する
10回	**授業テーマ：4 年生によるゼミ運営(1)** 授業内容：担当する 4 年生が授業の内容を企画し、運営する。内容についてフィードバックする。 事前学修 2.0hr：担当者の指示に従って準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容により、別途指示

11回	**授業テーマ：4 年生によるゼミ運営(2)** 授業内容：担当する 4 年生が授業の内容を企画し、運営する。内容についてフィードバックする。 事前学修 2.0hr：担当者の指示に従って準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容により、別途指示
12回	**授業テーマ：ゼミ活動成果発表会準備(1)** 授業内容：ゼミの活動を振り返り、活動内容と成果をメンバーと共にまとめる。 事前学修 2.0hr：ゼミ活動とその成果を整理する 事後学修 2.0hr：まとめた内容を確認する
13回	**授業テーマ：ゼミ活動成果発表会準備(2)** 授業内容：活動内容と成果の発表用資料を作成し、発表準備をする 事前学修 2.0hr：内容を確認し、発表の手順を考える 事後学修 2.0hr：発表内容や見直し、発表準備をする
14回	**授業テーマ：4 年生による卒業研究発表** 授業内容：4 年生が卒業研究の成果を順番に発表する。内容についてフィードバックする。 事前学修 2.0hr：発表準備をサポートする 事後学修 2.0hr：発表内容や気づいたことを整理する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：1 年間の活動を振り返り、できたこと、できなかったことを考える。次年度に向けて目標を設定する。 事前学修 2.0hr：1 年を統括し、できたこと、やり残したことを整理 事後学修 2.0hr：次年度の目標達成のために行動計画を立てる

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

Ⅰ-b では、研究活動とキャリア形成を両輪とし、地域社会に貢献できる観光人材の育成を目指す。地域資源を活かした観光振興と持続可能なまちづくりをテーマに、実践的な学びを行う。フィールドワークや観光関連企業・自治体との連携を通じて、観光課題に対する具体的な解決策を探究する。また、観光・航空業界におけるホスピタリティの意義を理解し、地域社会との協働を体験的に学ぶ。最終的に、地域や業界の課題解決に向けた提案をまとめ、発表を通じて学びを深化させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自分自身を成長させることができる
・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる
・観光立国を目指す日本の、地方自治体の取組み、受入れ側のホスピタリティのあり方、およびそれを実現、持続させるために自分が何ができるかを見つけ、実践、説明できるようになる。

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
・企業研究やゲストスピーカーとのディスカッション等を通して就業意欲を高め、就職活動準備を積極的に行えるようになる
・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる

▌履修条件

・明海大学の学生であることに誇りを持ち、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生
・新たなゼミメンバーの中で積極的に友人を作って協力し合い、自分の視野を拡げていける学生

▌評価基準・方法

・ホスピタリティ実践に興味と意欲があること
・積極的に新しいことに挑戦し、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生
・新たなゼミメンバーの中で積極的に友人を作って協力し合い、自分の視野を拡げていける学生
・人の話を聴き、自ら考え、自分の意見を述べ、自己成長ができる学生

▌フィードバック方法

一人ひとりと面談形式でフィードバックをおこなう

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要な際は、適宜指示する）

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

適宜紹介する　学生同士も参考になる文献や情報を適宜紹介しあい、共有すること

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：後学期のゼミ運営について全員で確認をおこなう。 夏休み中の課題を全体で共有します。 事前学修 2.0hr：I-a で提示された夏休みの課題について学修、発表できるようにしておく 事後学修 2.0hr：I-b で学びたいテーマについてまとめておく
2回	**授業テーマ：夏季休暇プレゼンテーション** 授業内容：夏季休暇の活動を通じて、気付きや発見等を中心に、各々の成長について確認するとともに、相互の学びを得ることを目指す 事前学修 3.0hr：プレゼンテーションのためのパワーポイント資料を作成する 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの優れた点、改善すべき点をまとめる
3回	**授業テーマ：学会発表に向けた研究テーマの設定と個人目標設定** 授業内容：各自の研究テーマ候補を発表し、研究の目的と意義を明確化する 事前学修 2.0hr：研究テーマ案を調査し、関連資料を収集する 事後学修 2.0hr：研究テーマを確定し、簡易研究計画を作成する
4回	**授業テーマ：学会発表構成の設計** 授業内容：発表スライド構成と論理展開を検討する 事前学修 2.0hr：発表構成案を作成する 事後学修 2.0hr：スライド案を具体化する
5回	**授業テーマ：学会発表動画の企画と役割分担** 授業内容：動画構成の決定と役割分担を行う 事前学修 2.0hr：担当部分の原稿案を作成する 事後学修 2.0hr：原稿を修正し完成度を高める
6回	**授業テーマ：学会発表動画の制作と試写検討** 授業内容：撮影・編集・試写を行い改善点を整理する 事前学修 2.0hr：発表練習および資料確認を行う 事後学修 2.0hr：改善点を反映し修正版を作成する
7回	**授業テーマ：完成版発表動画の提出と振り返り** 授業内容：完成版動画を確認し、研究成果と課題を共有する 事前学修 2.0hr：動画最終確認を行う 事後学修 2.0hr：研究活動の振り返りレポートを作成する
8回	**授業テーマ：研究成果の整理と今後の展開** 授業内容：研究内容の発展可能性を検討する 事前学修 2.0hr：研究の課題点を整理する 事後学修 2.0hr：改善計画をまとめる

9回	**授業テーマ：航空・観光業界研究(国内・外資比較)** 授業内容：国内企業と外資系企業の特徴を比較する 事前学修 2.0hr：航空・観光企業を調査する 事後学修 2.0hr：比較表を作成する
10回	**授業テーマ：自己分析とエントリーシート対策** 授業内容：自己分析を行い、ES 作成指導を行う 事前学修 2.0hr：自己 PR 案を作成する 事後学修 2.0hr：ES を修正する
11回	**授業テーマ：グループディスカッション対策** 授業内容：グループディスカッション演習とフィードバックを実施する 事前学修 2.0hr：業界時事問題を調査する 事後学修 2.0hr：自身の課題を整理する
12回	**授業テーマ：業界別研究発表** 授業内容：業界研究成果を発表する 事前学修 2.0hr：発表資料を準備する 事後学修 2.0hr：改善点を整理する
13回	**授業テーマ：企業研究の深化と OB/OG 情報活用** 授業内容：企業分析を深める 事前学修 2.0hr：志望企業を詳細に調査する 事後学修 2.0hr：企業研究ノートをまとめる
14回	**授業テーマ：模擬面接演習** 授業内容：模擬面接と個別フィードバックを行う 事前学修 2.0hr：想定質問への回答準備 事後学修 3.0hr：面接内容の振り返りを行う
15回	**授業テーマ：ゼミ総括と将来設計の言語化** 授業内容：研究活動と就職活動の成果を振り返り、今後の目標を明確にする 事前学修 2.0hr：1 年間の自身の成長度を客観的に確認する 事後学修 3.0hr：次年度の自分自身に何を期待するかまとめ、就活に備える

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

本講義では、受講生が観光業及びサービス業におけるユニバーサルデザインの重要性と必要性に対する認識と理解を深めて、事例研究を通じて、その実践的な展開方法について学ぶことにある。

特定分野(観光産業とサービス業を対象に)の事例(ケーススタディ)研究を行い、その分野の理論を考察したうえ、理論土台を固め、理解を深めること。とくに高齢化が進んでいる日本において、現実的に意義のある研究課題を定めて、資料収集、現地調査を実施し、結果分析をして、その結果をプレゼンし、レポート作成などの実践を踏まえて、問題の発見と解決能力を身に着けることを目指していき、また次年度の卒論のために準備をすることになる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：　観光施設、観光地とサービス業におけるユニバーサルデザインの具体的な実践方法を学び、バリアフリーな環境を提供するための戦略や手法を理解することを目指す。ユニバーサルデザインの基礎理論の学修と基礎学力の向上を図り、観光のユニバーサルデザインの視野から、調査、研究を行い。今後社会での活躍能力を身につける。

現代観光の特徴として、すべての人々の参加である視点から、高齢者も身体障害者もその権利をもち、社会としてはその参加できる環境と基盤を提供すべきという認識を共有する。

個別目標：・学生が実際の観光施設やイベントに関するケーススタディをして、ユニバーサルデザインの観点から問題を特定し、解決策を提案する能力を養うことを目指すこと。

・学生がグループごとに、アイデアを共有し、コミュニケーション能力を向上させることを目指すこと。

・学生がユニバーサルデザインの実践における倫理的な問題や社会的責任について考え、共生社会実現の促進や地域社会への貢献に関心を持つことを目指すこと。

▌履修条件

・観光のユニバーサルデザインやバリアフリーと共生社会に関心があり、常に向上心と好奇心を持つこと
・グループの一員として積極的にゼミ活動に参加できること
・学習の過程において、障害と困難を乗り越えて、最後までやり遂げること
・事例研究を積極的に取り込み、チームワークができること。
・自ら考えて、自分の意見を述べて、ゼミ内で共有できること。

▌評価基準・方法

・事例研究の調査参加 30 %
・ディスカッション参加、プレゼン 40 %
・レポート３０%
授業と課題の取り込み姿勢などを基に総合的に評価する。

▌フィードバック方法

個別又は学修支援 manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チームワークがメイン）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料収集、整理、パワポで発表の準備などに使用）

▌教科書

特になし

▌参考書

必要に応じて配布

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、後期講義内容の説明、成績評価基準** 授業内容：後期のスケジュールの確認 事前学修 2.0hr：前期の調査を振り返る、問題点をみつける 事後学修 2.0hr：後期に向けての準備
2回	**授業テーマ：観光地におけるユニバーサルデザインについて** 授業内容：ユニバーサルデザインについて理解する。観光地のユニバーサルデザインについて調べる 事前学修 2.0hr：観光地のユニバーサルデザインについて調べる 事後学修 2.0hr：チームメンバーと意見交換、研究事例の対象を絞る
3回	**授業テーマ：観光の視点からみるユニバーサルデザイン** 授業内容：事例を取り上げながら、学ぶ。 事前学修 2.0hr：研究課題について再確認する 事後学修 2.0hr：次回の準備について、ディスカッション
4回	**授業テーマ：観光地のユニバーサルデザインの現地調査手法を学ぶ①** 授業内容：ヒヤリングの調査手法について 事前学修 2.0hr：調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
5回	**授業テーマ：観光地のユニバーサルデザインの現地調査手法を学ぶ②** 授業内容：ヒヤリング調査手法の勉強について 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
6回	**授業テーマ：チームワーク①** 授業内容：現地調査の準備、ヒヤリングの質問を作る① 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
7回	**授業テーマ：チームワーク②** 授業内容：現地調査の準備、ヒヤリングの質問を作る② 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション

8回	**授業テーマ：チームワーク③** 授業内容：現地調査のヒヤリング調査を行う 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
9回	**授業テーマ：チームワーク④** 授業内容：現地調査のヒヤリング調査結果のまとめ 事前学修 2.0hr：現地調査結果について 事後学修 2.0hr：調査の結果まとめと分析
10回	**授業テーマ：調査結果の分析と報告発表** 授業内容： 現地調査の結果分析と報告 事前学修 2.0hr：現地調査の結果分析の事前準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
11回	**授業テーマ：調査の結果分析と報告発表②** 授業内容：現地調査の結果の分析とまとめ 事前学修 2.0hr：分析の事前準備をする 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
12回	**授業テーマ：観光地のユニバーサルデザイン海外事例との比較研究** 授業内容：海外の事例研究 事前学修 2.0hr：海外事例の文献調査 事後学修 2.0hr：海外事例について、ディスカッション
13回	**授業テーマ：ゲストによる講義** 授業内容：日本の代表観光地を事例にして、観光地の魅力について 事前学修 2.0hr：観光地の魅力を考える 事後学修 2.0hr：講演内容を振り返る
14回	**授業テーマ：一年の振り返り** 授業内容：一年間習得したスキルを今後どう活躍するか、今後具体的な目標について話し合う 事前学修 2.0hr：一年間自身が学修したことのまとめ 事後学修 2.0hr：次年度に向けての目標や計画
15回	**授業テーマ：一年の振り返り** 授業内容：一年間習得したスキルを今後どう活躍するか、今後具体的な目標について話し合う 事前学修 2.0hr：一年間自分が学修したことのまとめ 事後学修 2.0hr：次年度に向けての目標や計画

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中野　実（なかの　みのる）

▌授業の概要

引き続き「世界とつながる」をメインテーマとし、ゼミメンバーの協働による企業研究・時事問題等の研究/検証および社会人基礎力の養成で、そのため主として以下をゼミ活動の柱とする　①好奇心を育て、視野を広げるきっかけにするために、タイムリーな時事問題に関する情報共有やディベートを実施する　②『誰が正しいか、ではなく、何が正しいか』という考え方や視点を確立し、人として正しい判断が行えるようにする　③第三者からの「自分の見え方」を大切にし、学年を問わずゼミメンバー同士で忌憚なくアドバイスし合う

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自身を成長させることができる
・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
・企業研究や OB/OG とのパネルディスカッション等、就業への意欲を高め、就職活動準備を積極的に行なうことができる
・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる
・先輩と積極的に関わり、様々なことを学ぶことができる

▌履修条件

・明海大学の学生であることに誇りを持ち、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生
・新たなゼミメンバーの中で積極的に友人を作って協力し合い、自分の視野を拡げていける学生

▌評価基準・方法

・ゼミへの参画意欲と積極的な活動
・ゼミメンバーとの協働姿勢
・企画・プレゼンテーション・レポート等のプロセスや結果
これらを総合的に判断し、評価する

▌フィードバック方法

適宜面談を実施する

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを通じて学びを深めていきます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

適宜紹介する　学生同士も参考になる文献や情報を適宜紹介しあい、共有すること

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：後学期のゼミ運営について確認を行います。 事前学修 2.0hr：夏季休暇時の体験やエピソードをまとめる 事後学修 2.0hr：夏季休暇中の体験やエピソードのプレゼンテーション準備を行なう
2回	**授業テーマ：夏季休暇プレゼンテーション** 授業内容：夏季休暇の活動を通じて、気付きや発見等を中心に、各々の成長について確認するとともに、相互の学びを得ることを目指します。 事前学修 3.0hr：プレゼンテーションのためのパワーポイント資料を作成する 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの優れた点、改善すべき点をまとめる
3回	**授業テーマ：事例研究 (14)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究 (15)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究 (16)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究 (17)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究 (18)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究 (19)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
9回	**授業テーマ：事例研究 (20)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

10回	**授業テーマ：事例研究 (21)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：事例研究 (22)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：4 年卒業研究発表** 授業内容：4 年生の卒業研究発表会を行います。 事前学修 2.0hr：自身の卒業研究テーマを考えておく 事後学修 2.0hr：発表内容を整理する
13回	**授業テーマ：4 年卒業研究発表** 授業内容：4 年生の卒業研究発表会を行います。 事前学修 2.0hr：自身の卒業テーマを考えておく 事後学修 2.0hr：発表内容を整理する
14回	**授業テーマ：4 年卒業研究発表と 3 年研究テーマ発表** 授業内容：4 年生の卒業研究発表会を行います。全員が終わった後に 3 年生の研究テーマを発表してもらいます。 事前学修 2.0hr：自身の卒業テーマを考えておく 事後学修 2.0hr：発表内容を整理する。
15回	**授業テーマ：1 年間の総括** 授業内容：1 年間のゼミ活動やその他の学生生活での活動を通じて得た学びや気付きを各々にプレゼンテーションし、本格化する就職活動に向けた準備の最終調整を行います。 事前学修 2.0hr：1 年間の自身の成長度を客観的に確認する 事後学修 2.0hr：次年度の自分自身に何を期待するかまとめ、就活に備える

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

二宮　秀生（にのみや　ひでお）

▌授業の概要
学生で何をするかを話し合って運営する。
各自責任感を持って、主体的、積極的に参加する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）
一般目標：組織社会で必要とされる様々な力をつける。
（目標設定　計画策定　実行力　情報収集力　分析力　コミュニケーション力　責任感　主体性など）
個別目標：チーム共同で進める中で、主体性や責任感を醸成し、コミュニケーション力、情報収集力をつける。
多様な意見を聴き、尊重することを学ぶ。

▌履修条件
・自らのスキルの向上に前向きであること。
・自ら考えて行動できること。

▌評価基準・方法
チームへの貢献度、研究成果、発表などを総合的に評価する。

▌フィードバック方法
授業中のほか、面談や manaba でのフィードバックも行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （チーム討議を行う会を設ける）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
適宜資料を配布。

▌参考書
適宜紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　次回以降の運営決定** 授業内容：ゼミの運営自体を学生に検討させ、主体的に運営してもらう。 計画の方向性を決める。 事前学修 2.0hr：やりたいテーマを考えておく。 事後学修 2.0hr：計画をイメージする
2回	**授業テーマ：計画確定** 授業内容：ゼミの各回の計画を固める。 事前学修 2.0hr：計画をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
3回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
4回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
5回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
6回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
7回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
8回	**授業テーマ：4 年生卒業研究テーマ発表** 授業内容：4 年生が卒業研究のテーマを発表する。 必ず質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：コメントにあたっての心構えを確認しておく。 事後学修 2.0hr：他の意見と自分の意見の違いを確認する。
9回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
10回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
11回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。

12回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
13回	**授業テーマ：4 年卒業研究発表** 授業内容：4 年生が卒業研究の発表を行う。 必ず質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：コメントにあたっての心構えを確認しておく。 事後学修 2.0hr：他の意見と自分の意見の違いを確認する。
14回	**授業テーマ：4 年生卒業研究発表** 授業内容：4 年生が卒業研究の発表を行う。 必ず質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：コメントにあたっての心構えを確認しておく。 事後学修 2.0hr：他の意見と自分の意見の違いを確認する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：1 年間を振り返る。 事前学修 2.0hr：1 年間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：春休みの計画を固める。

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

橋本　尚興（はしもと　ひさおき）

▌授業の概要

分析・洞察力にあふれ、 社会や企業の問題に気が付き、 解決に向けて自ら考え主体的に行動することができる人財の育成を目的とする。このため、ホスピタリティを軸とした自由なテーマにて課題を設定し、自ら考え・発信し、共感した仲間達と協力して課題への対応に取り組む。
なお、内容は環境や諸条件により変更する場合がある

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・さまざまなテーマの課題と解決方法の検討を通じて、社会人として必要となる課題への対応方法を学ぶ。(DP3)
・ゼミにおける仲間との交流を通じて自分自身の成長を感じることができる。(DP3)
個別目標：・さまざまな事象や自身の体験から問題点に気が付き、課題設定ができるようになる。
・課題の解決方法をチームで検討することにより、役割を認識し、役割に応じた結果を出せるようになる。
・自ら進んで課題解決に努力することを通じて達成感を実感できるようになる。

▌履修条件

以下に示す取り組み姿勢を持つ学生であること。
・自身の意見を持ち、相手がわかるように説明できるとともに、相手の話も聞き理解しようと努める。
・仲間とともに課題解決に向けて自主的に努力する気概を持つ。

▌評価基準・方法

最終発表、ディスカッションの内容と参加態度、仲間への貢献度などを考慮して総合評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba やゼミを通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チームにて調査活動を行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （研究や調査報告作成のために利用する）

▌教科書

特になし

▌参考書

多喜二、資料配布を行う。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：夏期休暇の振り返り** 授業内容：夏季休暇の計画と実際について振り返りを口頭説明するとともに、今後のゼミ運営におけるアイデアを出す 事前学修 2.0hr：夏季休暇の振り返りを行っておく 事後学修 2.0hr：後期に取り組んでみたい研究テーマについて説明できるように準備する
2回	**授業テーマ：研究テーマの検討／選択　チーム分け（1）** 授業内容：後期に取り組んでみたい研究テーマ(案)を検討する 事前学修 2.0hr：後期に取り組んでみたい研究テーマについて説明できるように準備する 事後学修 2.0hr：取り組みたい研究テーマを検討する
3回	**授業テーマ：研究テーマの検討／選択　チーム分け（2）** 授業内容：後期に取り組んでみたい研究テーマを決定し、チーム分けを行う。また、調査研究計画および役割分担も決める 事前学修 2.0hr：取り組みたい研究テーマについて検討する 事後学修 2.0hr：チーム内での役割分担に基づき、自身の行動計画を検討する
4回	**授業テーマ：研究テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む。　４年生の卒業研究のテーマを確認する。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
5回	**授業テーマ：研究テーマへの対応** 授業内容：チームごとに計画に基づき調査研究に取り組む。ゼミ運営に主体的に参加する。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
6回	**授業テーマ：研究テーマへの対応** 授業内容：チームごとに計画に基づき調査研究に取り組む。ゼミ運営に主体的に参加する。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
7回	**授業テーマ：研究テーマのまとめ** 授業内容：チームごとに計画に基づき調査研究をまとめ、発表への準備を行う。ゼミ運営に主体的に参加する。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
8回	**授業テーマ：研究テーマに対する発表** 授業内容：研究テーマに対する発表を行う。４年生による評価を受ける 事前学修 3.0hr：発表準備を行う 事後学修 2.0hr：評価内容を振り返る
9回	**授業テーマ：ゼミ運営内容の検討** 授業内容：第１０～１２、第１５回のゼミの運営内容を決め、計画と役割アサインを行う。 事前学修 2.0hr：ゼミ運営のアイデアを考える 事後学修 2.5hr：計画に基づき準備を行う
10回	**授業テーマ：ゼミ運営** 授業内容：ゼミ運営を行う 事前学修 2.0hr：計画に基づき準備を行う 事後学修 2.5hr：計画に基づき準備を行う

11回	**授業テーマ：ゼミ運営** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマ②に対して取り組む 事前学修 2.0hr：計画に基づき準備を行う 事後学修 2.5hr：計画に基づき準備を行う
12回	**授業テーマ：ゼミ運営** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマ②に対して取り組む 事前学修 2.0hr：計画に基づき準備を行う 事後学修 2.5hr：第１５回の準備を行う
13回	**授業テーマ：４年生　卒業研究の発表　その１** 授業内容：４年生の卒業研究の発表を聴き、次年度の自身の卒業研究のイメージを掴む 事前学修 3.0hr：４年生の卒研テーマを見直しておく 事後学修 2.0hr：次年度の自身の卒業研究テーマについて検討する
14回	**授業テーマ：４年生　卒業研究の発表　その２** 授業内容：４年生の卒業研究の発表を聴き、次年度の自身の卒業研究のイメージを掴む 事前学修 2.0hr：４年生の卒研テーマを見直しておく 事後学修 2.5hr：次年度の自身の卒業研究テーマについて検討する
15回	**授業テーマ：全体の振り返り** 授業内容：ゼミでの学修内容、テーマ研究や評価結果を踏まえ、ゼミの振り返りを行うともに、４年生への感謝を伝える 事前学修 2.0hr：ゼミで学修したことを事前に振り返っておく　ゼミ運営準備を行う 事後学修 2.0hr：自身の行動や成果物を振り返り、４年で取り組みたいテーマを考える

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

コミュニケーションやネットワーク、コンテクストというキーワードを駆使することで「企業組織」について自分なりの見解をもって説明できることを目標とする。そこで、日々に各メディアから伝えられる企業活動や実際の企業訪問、あるいはインターンシップでの経験等を事例にした疑似体験を題材に、企業組織における働きかたの理想形を探りながら自分なりに問題を発見できるように進めていく。来年のケーススタディⅡで、特定の企業の組織を対象に、自分なりの根拠と問題意識から、あるべき姿を提案できる卒業研究を作ることを目標に、その準備を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：「自分なりの妄想や直感」を起点に、想像力と創造力を発揮してキャリア開発に役立つテーマを主体的に設定し、自分なりの計画に基づいて調査や分析を実行し続けていく。テーマの選び方や分析のやり方は自由。ただし、自分の計画を死守しつつ進める規律性、物事を体系的に筋道立てて考える論理的思考や、「なぜ」を繰り返すことで必要となるデータや理由を多く集めてより良い解決策の糸口を見つけ出す問題発見の涵養を目指していく。

個別目標：自身のテーマについて、問題を複数立てていること
自身のテーマについて仮説を構築できていること

▌履修条件

※ 時間厳守

※ 本テーマに興味を持ち、柔軟な発想とアンテナの感度を持ち、折れない心でテーマに取り組めること。

※ 各種イベントやフィールドワークに参加する積極性と、自分の立てた計画を死守できる規律性。

▌評価基準・方法

発表 60 %、ゼミでの輪講に臨む姿勢・向上意欲・積極的探究心 40 %を目安として総合評価。

出席 80 %必須。担当教員が教壇に立っている時点で、いかなる遅刻も欠席扱いとする。

組むべき事由がある場合は、必ず事前に相談すること。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは個別に実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （社会人なるための人間性、耐性を身に付けるためにディスカッションを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （担当教員の許可のもと、使用可）

▌教科書

特になし。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初回ガイダンス** 授業内容：後学期の授業の進行や内容について説明 2 つの外部イベントに関する説明 事前学修 3.0hr：講義概要を理解し、自分の興味ある分野についてまとめる 事後学修 1.0hr：初回のフィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
2回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：相互の意見交換を通じて、テーマを深掘りしておく。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
3回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
4回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
5回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
6回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
7回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：中間報告 事前学修 3.0hr：中間報告をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
8回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
9回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。

10回	**授業テーマ：飾り毛布イベントの実施** 授業内容：帆船日本丸に飾り毛布を装飾。 際に飾り毛布を展示物として不特定多数の人に見て頂くことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：実際に飾り毛布を展示物として不特定多数の人にみていただくことに関する感想を報告する。
11回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
12回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
13回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
14回	**授業テーマ：クリスマスチャリティ活動** 授業内容：ホテルにおけるクリスマスチャリティ活動の実施 事前学修 3.0hr：参加準備 事後学修 1.0hr：活動を鑑みる
15回	**授業テーマ：活動の総括** 授業内容：まとめ 事前学修 1.0hr：春休みの行動計画を最終化しておく。 事後学修 2.0hr：春休みの行動計画を具体化させる。

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

コミュニケーションやネットワーク、コンテクストというキーワードを駆使することで「企業組織」について自分なりの見解をもって説明できることを目標とする。そこで、日々に各メディアから伝えられる企業活動や実際の企業訪問、あるいはインターンシップでの経験等を事例にした疑似体験を題材に、企業組織における働きかたの理想形を探りながら自分なりに問題を発見できるように進めていく。
来年のケーススタディⅡで、特定の企業の組織を対象に、自分なりの根拠と問題意識から、あるべき姿を提案できるケーススタディを作り上げることを目標に、その準備を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：「自分なりの妄想や直感」を起点に、想像力と創造力を発揮してキャリア開発に役立つテーマを主体的に設定し、自分なりの計画に基づいて調査や分析を実行し続けていく。テーマの選び方や分析のやり方は自由。ただし、自分の計画を死守しつつ進める規律性、物事を体系的に筋道立てて考える論理的思考や、「なぜ」を繰り返すことで必要となるデータや理由を多く集めてより良い解決策の糸口を見つけ出す問題発見の涵養を目指していく。

個別目標：○○× HT を基軸に特定の個人テーマを定義できていること
自身のテーマについて、問題を複数立てていること
自身のテーマについて仮説を構築できていること

▌履修条件

本テーマに興味を持ち、柔軟な発想とアンテナの感度を持ち、折れない心でテーマに取り組めること。
各種イベントやフィールドワークに参加する積極性と、自分の立てた計画を死守できる規律性。

▌評価基準・方法

発表や課題の品質（40 %）、授業や課題への取組姿勢（60 %）を基に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは個別に実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （地域や企業との連携を通じた学びに取り組みます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プロジェクト運営での情報整理等、常にパソコンは必要だと思われます。）

▌教科書

特になし。
各自個別に指示していきます。

▌参考書

特になし。授業の時に必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初回ガイダンス 後学期授業の進行や内容について説明** 授業内容：自己紹介・プロジェクト計画・ゼミ計画など 事前学修 3.0hr：講義概要を理解し、自分の興味ある分野についてまとめる 事後学修 2.0hr：初回のフィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
2回	**授業テーマ：前学期着地点の確認と後学期計画** 授業内容：課題探求の手法と手段について概説 事前学修 2.0hr：相互の意見交換を通じて、テーマを深掘りしておく。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
3回	**授業テーマ：プロジェクトワーク①** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
4回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
5回	**授業テーマ：プロジェクトワーク②** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
6回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
7回	**授業テーマ：プロジェクトワーク③** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 3.0hr：中間報告をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
8回	**授業テーマ：研究調査中間レビュー** 授業内容：探究課題の全体への発表 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
9回	**授業テーマ：研究調査中間レビュー** 授業内容：探究課題の全体への発表 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。

10回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：次回の授業へ向けて、疑問点をまとめておく
11回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：プレ発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
12回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
13回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
14回	**授業テーマ：前期のプロジェクト進捗のレビュー** 授業内容：プロジェクト活動の進捗レビューと評価 事前学修 3.0hr：発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに夏休みの行動計画を確定させる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：課題探求のレビューと評価 事前学修 2.0hr：夏休みの行動計画を最終化しておく。 事後学修 2.0hr：夏休みの行動計画を具体化させる。

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

【特徴】

・チームごとに主体的なプロジェクト活動となります。

・ケーススタディ I で、研究してきた課題について、さらに深掘りするのか、新たなテーマにチャレンジするのかをチームで方向性を決め、それに向けた活動を展開します。

・前期または後期に、フィールドワークを想定しています。一人当たり 1 万円前後の費用がかかることを想定ください。

・基礎となる事実を自ら調べ、仮説を出し、その検証のために現場を視察・インタビューし、ケーススタデイ II-b の最終アウトプットを見据えた事業計画を作成します。

・II-a の最終回には、研究成果の途中経過をまとめ、I-a メンバーも含め、全員で共有していきます。

・授業以外の時間を活用した調査・分析活動等も前提としています。

・I-a と共同で別途チームを編成し、年間を通して 1 チーム 1 回、コミュニケーションイベントを企画、実施、運営を行うことを通して、イベントを成功させるためのプロセスを学びます。

なお、授業の進め方は、適宜変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・ゼミの課題であるプロジェクトを通して、社会人になっても通用する、チームワーク力、問題設定力、情報収集力、コミュニケーション力、自己分析力、自己肯定感などの醸成を目指します。
・社会課題に関心を持つ好奇心を養い問題設定能力を高めると同時に、多様な意見を受け容れる柔軟さと、より良い結論を導き出そうとする責任感の醸成を目指します。

個別目標：・様々な現象に、多様な課題や視点が存在することを認識し、好奇心を育て深く掘り下げる喜びを感じられるようになること
・プロジェクトに自律的・積極的に関わることを通して、自身が達成感を実感できるようになること
・選択したプロジェクトテーマについて、一定程度の問題意識や課題認識を自ら説明できるようになること
・分析に必要なデータを自身で収集し、分析のための加工ができるようになること

▌履修条件

・仲間を敬うこと

・テーマに関心を持ち、チームで成し遂げる成果に対して自律的に役割を果たす積極性と責任感を持てること

・4 年次のフィールドワーク実施を前提に積立金を実施予定

・ノート型 PC を持参できる環境が望ましい（EXCEL、PowerPoint、Word ソフト含む）※必須ではない

▌評価基準・方法

各回の授業参加態度および前後の学修状況（60%）、発表の成果物（30%）、自主課題のレポート（10%）を大まかな指標として総合的に評価します。

▌フィードバック方法

原則として、ゼミ生間で、相互にそれぞれのアウトプットに対してのフィードバックを行う。その上で、必要に応じて、適宜指導教員が総括的なフィードバックを、主に教室での口頭によって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （原則、毎回グループワークあり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜グループワーク内で使用）

▌教科書

特にありません。

▌参考書

・トラベルボイス（日刊のオンライン情報）を購読（無料）

・適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（授業の進め方、テーマについて、メンバーを知る）** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、授業評価基準、出欠基準など） ・4 年生による 3 年生次の活動内容の紹介 ・自己紹介 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、関心のあるテーマについてまとめておく 事後学修 2.0hr：次回の授業に向けて必要な学修を行う
2回	**授業テーマ：今後数回に渡って検討したいテーマを選定する** 授業内容：・教員が用意した各種事例・テーマから、チームで選び、「なぜそのテーマなのか」について、プレゼンを行う ・各チームでその内容を自らの視点で調べる 事前学修 2.0hr：本授業に向けて必要な学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
3回	**授業テーマ：自らの設定した学修テーマについて調べる** 授業内容：・チームでその内容について、様々な角度から調べる 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
4回	**授業テーマ：自らの設定した学修テーマについての知識共有** 授業内容：・各チームの発表 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
5回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント①** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う

6回	**授業テーマ：大学外の組織・人との交流を前提とした取り組み①** 授業内容：・学外の組織や人とコラボレーションや関わりを通して学修することを前提にどんなことをやってみたいかを話し合い、ある程度の目標設定や取り組みの方向性をまとめる 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
7回	**授業テーマ：大学外の組織・人との交流を前提とした取り組み②** 授業内容：・設定した企画案を前提に、実際にそれが可能かについて、アプローチを開始する 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
8回	**授業テーマ：大学外の組織・人との交流を前提とした取り組み③** 授業内容：・設定した企画案を前提に、実際にそれが可能かについて、アプローチを開始する 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
9回	**授業テーマ：全体＆グループワークショップ：「フィールドワークをした「まち」についてわかったこと」** 授業内容：・前半：全体でのトークセッション「行く前と後で何が違ったか」(ファシリテート：ゼミ長) ・後半：チームに分かれて、今後の課題発表に向けて調査・研究テーマの軌道修正 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
10回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント②** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う
11回	**授業テーマ：最終の発表課題に向けてテーマ選び** 授業内容：・チーム変更 ・改めて、調べたい「街選び」「テーマ(SDGs、DX、インバウンド、その他)」「(必要に応じて)関わる企業」を再検討 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
12回	**授業テーマ：最終の発表課題に向けた調査・研究作業** 授業内容：・前回で設定したテーマに基づいてチームで調査・研究 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
13回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント③** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う
14回	**授業テーマ：最終の発表課題に向けた調査・研究作業** 授業内容：・設定したテーマに基づいてチームで調査・研究 ・発表に向けた準備 ・教員向けの個別プレゼン(途中経過) 事前学修 2.0hr：発表に向けて、発表内容を整理し、一定程度の品質の資料にまとめておく 事後学修 2.0hr：教員からのフィードバック内容を受けてチームごとに発表案を修正する
15回	**授業テーマ：課題発表** 授業内容：・各チームごとに発表 ・相互フィードバックを実施 事前学修 2.0hr：発表資料を仕上げ、チーム内の発表時の役割を明確にし、事前にプレゼンテーション練習を行う 事後学修 2.0hr：発表課題について、フィードバックを反映させた修正レポートを出す(チーム別)

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

渭東　史江（いとう　ちかえ）

▌授業の概要

①ケーススタディの活動内容は、自主的に考案、企画し、チームで協力して、計画、準備を進め、実行する。実行後には成果や改善点を確認する。
②ホスピタリティ産業に関連する事項をテーマにして研究する。たとえばホテルの実地見学などを通して、「特徴」、「オペレーション」、「戦略」、「実績」などを比較し、ホテルの形態の違いを理解するなど。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：活動内容を考案、企画し、チームで実行する過程で、社会に必要な資質や能力を開発する。同時に様々な体験や考察を通して、社会やホスピタリティ産業について広く理解する。
個別目標：①考案、企画、実行することで、自主性、発想力、実行力、コミュニケーション能力など、今後社会で活躍することを念頭に、必要な能力を伸ばす。
②成果をあげるために、リーダーシップを発揮し、チームに貢献する。
③ホスピタリティ産業について理解を深め、将来に役立つ体験と知識を培う。

▌履修条件

①自主性をもち、何事にも挑戦する気持ちがあること
②全回出席し、学習、研究にまじめに取り組むこと
③ホスピタリティ精神をもち、ホスピタリティ産業に関心があること

▌評価基準・方法

ディスカッション、プレゼンテーションの内容や、チームへの貢献度、授業への参加意欲などを考慮し、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して、または授業内に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要であれば事前に連絡する）

▌教科書

必要に応じて資料等を配信または配布。

▌参考書

必要に応じて紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：ケーススタディの内容、授業の進め方等の説明。 事前学修 2.0hr：自身の興味のあることについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ活動について把握し、何をするべきか考える
2回	**授業テーマ：自己紹介・発表** 授業内容：お互いを知り、協働のために自己紹介をする。 事前学修 2.0hr：自己紹介のための準備をする 事後学修 2.0hr：ゼミメンバーを把握し、お互いに影響し合えることを考える
3回	**授業テーマ：チームビルディング** 授業内容：お互いを知り目的のためにチームで活動する。チームメンバーで協力して成果をあげる。 事前学修 2.0hr：理想のチームを考える 事後学修 2.0hr：内容を振り返り、うまくできたこととそうでないことを理解する
4回	**授業テーマ：ホスピタリティ業界研究** 授業内容：ホスピタリティ産業全体について調査し、発表する。発表を聞くことで業界を広く把握する。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティ業界について調べる 事後学修 2.0hr：ホスピタリティ業界全体についてや現在の動向を把握する
5回	**授業テーマ：研究・企画テーマ決定・目標設定** 授業内容：今後のケーススタディで研究や企画をするテーマをグループディスカッションにより決定する。 事前学修 2.0hr：取り上げたいテーマについて考える 事後学修 2.0hr：決まったテーマをどのように研究するか考える
6回	**授業テーマ：グループディスカッション** 授業内容：研究や企画のテーマについて研究・調査方法、進め方をグループディスカッションにより決定する。 事前学修 2.0hr：テーマの進め方を考える 事後学修 2.0hr：決まったことを整理する
7回	**授業テーマ：テーマ研究** 授業内容：課題についてメンバーが分担して企画・研究・調査する。内容は必要に応じて発表し、まとめていく。 事前学修 2.0hr：研究に必要なものを調べる 事後学修 2.0hr：研究内容を整理する
8回	**授業テーマ：フィールドワーク** 授業内容：テーマについて、現地で調査する。 事前学修 2.0hr：フィールドワークする場所について調べる 事後学修 2.0hr：フィールドワークで得た情報を整理する
9回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：フィールドワークで得た内容をグループ内で発表する。 事前学修 2.0hr：フィールドワークの感想などを発表できるようにする 事後学修 2.0hr：決まったことを整理する
10回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：グループディスカッション等により、企画・研究、資料作成をすすめる。 事前学修 2.0hr：企画・研究をすすめるのに必要なものを考える 事後学修 2.0hr：決まったことを整理する

11回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：グループディスカッション等により、企画・研究、資料作成をすすめる。 事前学修 2.0hr：企画・研究をすすめるのに必要なものを考える 事後学修 2.0hr：決まったことを整理する
12回	**授業テーマ：発表準備** 授業内容：グループで内容をまとめて資料作成、発表の準備、練習をする。 事前学修 2.0hr：発表内容をまとめる 事後学修 2.0hr：発表の練習をする
13回	**授業テーマ：研究発表** 授業内容：ゼミ内でグループごとに発表をする。他グループの発表を聞き評価する。問題点を修正する。 事前学修 2.0hr：研究発表の準備をする 事後学修 2.0hr：グループのフィードバックを整理し、改善する
14回	**授業テーマ：全体発表** 授業内容：HT 学部内ケーススタディ全体の中で研究発表をする。他のゼミの発表を聞く。 事前学修 2.0hr：全体発表の準備をする 事後学修 2.0hr：他のゼミの内容を振り返り、自分たちの成果や課題を確認する
15回	**授業テーマ：前期まとめ** 授業内容：前期中の活動を振り返り、できたこと、できなかったことを考える。後期に向けて目標を立てる。 事前学修 2.0hr：前期中にしたこと、するべきことを整理する 事後学修 2.0hr：前期中にするべきことを修了し、後期に向けてできる準備をする

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

地域資源を活かした観光振興と持続可能なまちづくりをテーマに、実践的な学びをおこなう。フィールドワーク、観光関連企業・自治体との連携を通じて、観光課題への具体的な解決策を探求する。また、観光・航空業界におけるホスピタリティの意義を学び、地域社会との協働を体験する。最終的に、地域や業界の課題解決に向けた提案をまとめ、発表を通じて学びを深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自分自身を成長させることができる
・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる
・観光立国を目指す日本の、地方自治体の取組み、受入れ側のホスピタリティのあり方、およびそれを実現、持続させるために自分が何ができるかを見つけ、実践、説明できるようになる。

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
・企業研究やゲストスピーカーとのディスカッション等を通して就業意欲を高め、就職活動準備を積極的に行えるようになる
・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる

▌履修条件

・ケーススタディⅠを取得していること
・ホスピタリティ実践に興味と意欲があること
・積極的に新しいことに挑戦し、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生
・新たなゼミメンバーの中で積極的に友人を作って協力し合い、自分の視野を拡げていける学生
・人の話を聴き、自ら考え、自分の意見を述べ、自己成長ができる学生

▌評価基準・方法

・ゼミへの参画意欲と積極的な活動
・ゼミメンバーとの協働姿勢
・企画・プレゼンテーションのプロセスや結果
これらを総合的に判断し、評価する

▌フィードバック方法

個人面談を定期的に設定し、個別にフィードバックを行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイント作成など。必要な際は、適宜指示する）

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

適宜紹介する　学生同士も参考になる文献や情報を適宜紹介しあい、共有すること

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　【今後のゼミの運営方法】と『自己紹介』** 授業内容：ゼミ運営について確認と計画を行います。また自分自身を他人に理解してもらうための紹介を行うとともに、他者を的確に理解する実践を行う。 事前学修 2.0hr：自分がこのゼミにどのような期待をするのか、再確認しておく 事後学修 2.0hr：ゼミにおける自身の役割の再確認
2回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

9回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
10回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.5hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
13回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
14回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前学期のゼミ活動やその他の学生生活での活動を通じて得た学びや気付きを他のゼミ生と共有し、夏季休暇を有効に活用するための準備を行います。 事前学修 2.0hr：これまでの授業で得たことをまとめ、夏季休暇の行動計画を作成する 事後学修 2.0hr：夏季休暇、および後期に向けての最終的な研究計画をまとめる

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

本講義では、受講生が観光業及びサービス業におけるユニバーサルデザインの重要性と必要性に対する認識と理解を深めて、事例研究を通じて、その実践的な展開方法について学ぶことにある。

特定分野(観光産業とサービス業を対象に)の事例(ケーススタディ)研究を行い、その分野の理論を考察したうえ、理論土台を固め、理解を深めること。とくに高齢化が進んでいる日本において、現実的に意義のある研究課題を定めて、資料収集、現地調査を実施し、結果分析をして、その結果をプレゼンし、レポート作成などの実践を踏まえて、問題の発見と解決能力を身に着けることを目指していき、また次年度の卒論のために準備をすることになる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：　観光施設、観光地とサービス業におけるユニバーサルデザインの具体的な実践方法を学び、バリアフリーな環境を提供するための戦略や手法を理解することを目指す。ユニバーサルデザインの基礎理論の学修と基礎学力の向上を図り、観光のユニバーサルデザインの視野から、調査、研究を行い。今後社会での活躍能力を身につける。

現代観光の特徴として、すべての人々の参加である視点から、高齢者も身体障害者もその権利をもち、社会としてはその参加できる環境と基盤を提供すべきという認識を共有する。

個別目標：・学生が実際の観光施設やイベントに関するケーススタディをして、ユニバーサルデザインの観点から問題を特定し、解決策を提案する能力を養うことを目指すこと。

・学生がグループごとに、アイデアを共有し、コミュニケーション能力を向上させることを目指すこと。

・学生がユニバーサルデザインの実践における倫理的な問題や社会的責任について考え、共生社会実現の促進や地域社会への貢献に関心を持つことを目指すこと。

▌履修条件

・観光のユニバーサルデザインやバリアフリーと共生社会に関心があり、常に向上心と好奇心を持つこと
・グループの一員として積極的にゼミ活動に参加できること
・学習の過程において、障害と困難を乗り越えて、最後までやり遂げること
・事例研究を積極的に取り込み、チームワークができること。
・自ら考えて、自分の意見を述べて、ゼミ内で共有できること。

▌評価基準・方法

事例研究の調査参加 30 %
ディスカッション参加、プレゼン 40 %
レポート３０%
授業と課題の取り込み姿勢などを基に総合的に評価する。

▌フィードバック方法

個別又は学修支援 manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チームワークがメイン）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料収集、整理、パワポで発表の準備などに使用）

▌教科書

特になし

▌参考書

必要に応じて配布

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義の進め方、講義スケジュールと内容などの確認、ケーススタディ、成績評価の基準などについて説明する 事前学修 2.0hr：ゼミの方針と活動内容を理解する 事後学修 2.0hr：ゼミ運営の目標を再確認する
2回	**授業テーマ：自己紹介、チーム作り** 授業内容：お互いに知り、今後の研究活動チームを作る。 事前学修 2.0hr：研究テーマと研究手法を考える 事後学修 2.0hr：チームメンバーと意見交換、研究事例の範囲と対象を絞る
3回	**授業テーマ：外部関係者レクチャー** 授業内容：今後ゼミ活動内容に関する学び 事前学修 2.0hr：決めた研究テーマについて、再度確認する 事後学修 2.0hr：次回の準備として決めたテーマをチームで討論する
4回	**授業テーマ：チームワーク①** 授業内容：活動内容のスケジュール作りと確認 事前学修 2.0hr：活動内容の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備としてチームで話し合う
5回	**授業テーマ：チームワーク②** 授業内容：研究事例の再確認と調査手法について 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備としてチームで話し合う
6回	**授業テーマ：チームワーク②** 授業内容：現地調査の準備 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備としてチームで話し合う
7回	**授業テーマ：チームワーク③** 授業内容：現地調査の準備 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：現地調査のまとめ

8回	**授業テーマ：チームワーク④** 授業内容：現地調査の本調査の実施① 事前学修 2.0hr：現地調査票の回収 事後学修 2.0hr：調査の結果をまとめる
9回	**授業テーマ：チームワーク⑤** 授業内容：現地調査の本調査の実施② 事前学修 2.0hr：現地調査票の回収 事後学修 2.0hr：調査の結果をまとめる
10回	**授業テーマ：調査結果の分析①** 授業内容：チームごとにディスカッション 現地調査の結果を分析する。二次調査が必要であれば、追加調査を行う 二回目の現地調査に向けて準備 事前学修 2.0hr：現地調査の結果分析とまとめ 事後学修 2.0hr：続き現地調査への準備
11回	**授業テーマ：調査の結果の分析②** 授業内容：現地調査の結果の分析とまとめ 事前学修 2.0hr：分析の事前準備をする 事後学修 2.0hr：調査の結果の分析とまとめ
12回	**授業テーマ：チームごとの調査分析結果の報告を準備する①** 授業内容：調査分析結果の報告書作成作業 事前学修 2.0hr：調査の準備 事後学修 2.0hr：調査をまとめる
13回	**授業テーマ：チームごとの調査分析結果の報告を準備する②** 授業内容：調査分析結果の報告書作成作業 事前学修 2.0hr：報告書作成について 事後学修 2.0hr：全体のまとめ
14回	**授業テーマ：最終報告** 授業内容：各グループが調査結果の報告を行 事前学修 2.0hr：報告の準備 事後学修 2.0hr：報告のまとめ
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期の活動のレビュー、総括する 事前学修 2.0hr：前期を振り返る、感想をまとめる 事後学修 2.0hr：研究まとめを改善する

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中野　実（なかの　みのる）

▌授業の概要

メインテーマは、ゼミメンバーの協働による企業研究・時事問題等の研究/検証および社会人基礎力の養成で、ケーススタディⅠから引き続き以下をゼミ活動の柱とする

①好奇心を育て、視野を広げるきっかけにするために、タイムリーな時事問題に関する情報共有やディベートを実施する。　②『誰が正しいか、ではなく、何が正しいか』という考え方や視点を確立し、人として正しい判断が行えるようにする

③第三者からの「自分の見え方」を大切にし、学年を問わずゼミメンバー同士で忌憚なくアドバイスし合う

④テーマ毎にゼミメンバーをグループ分けし、【協働】で調査・研究を行ったうえでプレゼンテーションを実施する

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自分自身を成長させることができる
・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
・文献や資料を読み込み、自身の研究を積極的に進めることができる
・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる

▌履修条件

・ケーススタディⅠを取得していること
・引き続き明海大学の学生であることに誇りを持ち、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生

▌評価基準・方法

・ゼミへの参画意欲と積極的な活動
・ゼミメンバーとの協働姿勢
・企画・プレゼンテーションのプロセスや結果
これらを総合的に判断し、評価する

▌フィードバック方法

個人面談を定期的に設定し、個別にフィードバックを行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを通じて学びを深めていきます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

適宜紹介する　学生同士も参考になる文献や情報を適宜紹介しあい、共有すること

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　【今後のゼミの運営方法】と『自己紹介』** 授業内容：ゼミ運営について確認と計画を行います。また自分自身を他人に理解してもらうための紹介を行うとともに、他者を的確に理解する実践を行う。 事前学修 2.0hr：自分がこのゼミにどのような期待をするのか、再確認しておく 事後学修 2.0hr：ゼミにおける自身の役割の再確認
2回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

9回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
10回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.5hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
13回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
14回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前学期のゼミ活動やその他の学生生活での活動を通じて得た学びや気付きを他のゼミ生と共有し、夏季休暇を有効に活用するための準備を行います。 事前学修 2.0hr：これまでの授業で得たことをまとめ、夏季休暇の行動計画を作成する 事後学修 2.0hr：夏季休暇、および後期に向けての最終的な研究計画をまとめる

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

二宮　秀生 (にのみや　ひでお)

▌授業の概要

ホスピタリティに関するテーマにつきチームでテーマの選定、研究、報告を行い、それに基づいて全員で討議をする。
情報収集にあたっては極力生の声を聴く。
役割を担うことで、責任感を持って、主体的、積極的に参加する。
個人での卒業研究も行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：組織社会で必要とされる様々な力をつける。
（主体性　責任感　目標設定　計画策定　実行力　情報収集力　分析力　コミュニケーション力　など）
個別目標：個別目標チーム内で役割を担うことで、主体性や責任感を醸成する。
共同で進める中でコミュニケーション力、情報収集力をつける。
研究発表と討議を行うことで、プレゼンテーション力をつけるとともに、多様な意見を聴き、尊重することを学ぶ。
個人での卒業研究を進めることで自分に一層の自信をつける。

▌履修条件

ケーススタディⅠを履修済みであること。

▌評価基準・方法

チームへの貢献度、研究成果、発表などを総合的に評価。

▌フィードバック方法

授業中以外にも、面談や manaba によるフィードバックも行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チーム討議）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜資料配布。

▌参考書

適宜紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　他己紹介** 授業内容：ゼミの進め方を共有する。 事前学修 2.0hr：やりたいことを考えておく。 事後学修 2.0hr：やりたいテーマを考える。
2回	**授業テーマ：やりたいテーマの発表　テーマ、チームの決定** 授業内容：チーム分けを行い、テーマを決定する。 事前学修 2.0hr：やりたいテーマを考えておく。 事後学修 2.0hr：やりたい役割を考える。
3回	**授業テーマ：計画の策定　役割分担** 授業内容：チーム内での役割を決め、計画をつくる。 事前学修 2.0hr：計画をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
4回	**授業テーマ：テーマ研究①** 授業内容：計画に基づき研究を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
5回	**授業テーマ：テーマ研究②** 授業内容：研究を行う。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
6回	**授業テーマ：テーマ研究③** 授業内容：研究を行う。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
7回	**授業テーマ：中間発表(レポート)準備** 授業内容：中間発表の準備を行う。 事前学修 2.0hr：中間発表をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：中間発表内容を固める。
8回	**授業テーマ：中間発表　全体討議** 授業内容：中間発表を行う。 質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：発表準備をする。 事後学修 2.0hr：討議で出た意見の反映について考える。
9回	**授業テーマ：テーマ研究④** 授業内容：研究を進める。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
10回	**授業テーマ：テーマ研究⑤** 授業内容：研究を進める。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。

11回	**授業テーマ：テーマ研究⑥** 授業内容：研究を進める。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
12回	**授業テーマ：発表(パワポプレゼン)の準備** 授業内容：発表の準備を行う。 事前学修 2.0hr：発表をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を固める。
13回	**授業テーマ：発表　討議** 授業内容：発表を行う。 質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：発表内容を確認しておく。 事後学修 2.0hr：討議で出た意見の反映を考える。
14回	**授業テーマ：発表資料の最終化　夏休みの計画づくり** 授業内容：発表資料を仕上げる。 事前学修 2.0hr：夏休みの計画につき考えておく。 事後学修 2.0hr：これまでの振り返りを行う。
15回	**授業テーマ：まとめ　学んだことを発表** 授業内容：前期の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：これまでの学びを語る準備をする。 事後学修 2.0hr：夏休みの計画を確認する。

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

橋本　尚興（はしもと　ひさおき）

▌授業の概要

分析・洞察力にあふれ、 社会や企業の問題に気が付き、 解決に向けて自ら考え主体的に行動することができる人財の育成を目的とする。このため、ホスピタリティを軸とした自由なテーマにて課題を設定し、自ら考え・発信し、共感した仲間たちと協力して課題への対応に取り組む。
なお、内容は環境や諸条件により変更する場合がある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・さまざまなテーマの課題と解決方法の検討を通じて、社会人として必要となる課題への対応方法を学ぶ。(DP3)
・ゼミにおける仲間との交流を通じて自分自身の成長を感じることができる。(DP3)
個別目標：・さまざまな事象や自身の体験から問題点に気が付き、課題設定ができるようになる。
・課題の解決方法をチームで検討することにより、役割を認識し、役割に応じた結果を出せるようになる。
・自ら進んで課題解決に努力することを通じて達成感を実感できるようになる。

▌履修条件

以下の示す取り組み姿勢を持つ学生であること
・自身の意見を持ち、相手がわかるように説明できるとともに、相手の話も聞き理解しようと努める。
・仲間とともに課題解決に向けて自主的に努力する気概を持つ。

▌評価基準・方法

プレゼンテーション、ディスカッションの内容と参加態度、仲間への貢献度などを考慮して総合評価を行う。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba やゼミを通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チームに分かれて調査研究活動を行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （研究や調査報告作成のために利用する。）

▌教科書

特になし

▌参考書

適宜。配布を配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　【ゼミ運営方法】** 授業内容：前期のゼミ運営のスケジュールと活動内容の説明をおこなうとともに、皆さんからもゼミ運営のアイデアを募る。 事前学修 2.0hr：自分がこのゼミに何を期待し、そのためにどう行動したいのか確認しておく 事後学修 2.0hr：ゼミにおける自身の取り組みについて確認しておく
2回	**授業テーマ：自己紹介と、前期に取り組みたいテーマ(案)の検討** 授業内容：自己紹介と、取り組んでみたいテーマ(案)について発表する 事前学修 2.0hr：自分自身をゼミの仲間に理解してもらうことに加え、取り組んでみたいテーマについて説明できるように準備する 事後学修 2.0hr：仲間の自己紹介を再確認し、相互理解を深めるとともに、取り組みたいテーマを選択する
3回	**授業テーマ：テーマの検討** 授業内容：皆さんと取り組んでみたいテーマについて相談する 事前学修 2.0hr：取り組んでみたいテーマについて説明できるように準備する 事後学修 2.0hr：取り組みたいテーマを選択する
4回	**授業テーマ：テーマの検討／選択　チーム分け** 授業内容：皆さんと話し合い、前期で取り組むテーマを決めるとともにチーム分けと役割分担を行う。 事前学修 2.0hr：テーマを選択した理由を説明できるように準備する 事後学修 2.5hr：チーム内での役割分担に基づき、自身の行動計画を検討する
5回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
6回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
7回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
8回	**授業テーマ：テーマへの対応　中間発表** 授業内容：チームごとに中間発表を行う。また、相互に評価し、今後の活動の方向修正や微調整を行う 事前学修 3.0hr：中間発表の準備をする 事後学修 2.0hr：コメントなどを踏まえ必要に応じて計画修正を行う
9回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
10回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する

11回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
12回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
13回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
14回	**授業テーマ：テーマに対する最終発表と相互評価** 授業内容：チームごとにテーマの最終発表を行うとともに、お互いに評価を行う 事前学修 3.0hr：課題に対する最終プレゼンテーションの準備を行なう 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づき復習を行う
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期のまとめと、夏休みのスケジュールや取り組みたい事柄について発表する 事前学修 2.0hr：授業で得たことをまとめるとともに、夏季休暇の行動計画を作成する 事後学修 2.0hr：夏季休暇の行動計画の実現に向けて検討を行う

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

ディプロマポリシー達成のために、学生が各自目標に到達できるよう、課題に取り組む。
各回の授業においては、浦安市に貢献できる実践事例を通し、高い視座、広い視野を持てるよう、現場視察を含め、多くの人の意見を聞き、幅広い体験、観察を分析、研究し、今後自身がするべきこと、できることを考察する。
輪講、ディスカッション、調査分析、プレゼンテーションを繰り返す。
誰もが参加しやすいサービスや仕組みを浦安市に企画・提案する。
内容は、諸条件、状況により、変更する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：社会の中で人と関わる際に必要となる気づく力、より良いカタチを考える力を養い、将来どの領域に進んでも応用可能な基礎的視座の獲得を目指す。
個別目標：自分の主張を客観化することを学ぶ。
個人の困難をその人の問題ではなく、社会環境や制度との関係として説明できる。
学んだ視点をもとに、社会の仕組みや関わり方を改善するための問いや提案を示すことができる。

▌履修条件

ホスピタリティ実践に興味と意欲があること。
積極的に新しいことに挑戦し、人の話を聴き、自ら考え、自分の意見を述べ、ゼミを前進させる意思があること。
第三者を理解させるために AI の使用は大いに推奨。ただし、自分で考えることを放棄しないこと。

▌評価基準・方法

発表 60 %、ゼミでの輪講に臨む姿勢・向上意欲・積極的探究心 40 %を目安として総合評価。
出席 80 %必須。担当教員が教壇に立っている時点で、いかなる遅刻も欠席扱いとする。
組むべき事由がある場合は、必ず事前に相談すること。

▌フィードバック方法

有意義と思われるものはできるだけ授業内で取りあげ、相互に考えながらフィードバックする。
個人的課題は、個人面談など、都度方法を変えて伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、プレゼンテーション、相互コメント）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、外部講師とのオンライン通信）

▌教科書

特になし。

▌参考書

適宜紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初回ガイダンス。ゼミの目的、進行、内容の説明** 授業内容：教員からゼミの目的、考え方、進め方を説明。各自、このゼミでの目標を考える。 年間を通じて実施する卒業研究の進め方/中間発表、卒論発表について フィールドワークについて 輪講について 事前学修 2.0hr：1 年間を通じて研究をする意味について考えておくこと 事後学修 2.0hr：輪講準備
2回	**授業テーマ：論文の読み方について/輪講について** 授業内容：輪講について 事前学修 2.0hr：ゼミでしたいこと、自身の課題を考える 事後学修 2.0hr：輪講準備
3回	**授業テーマ：自分にとって不自由なことを考えてみる** 授業内容：①能力的不自由、身体的不自由、社会的不自由など、不自由なことは人それぞれに存在する。障害や困難を「個人の問題」ではなく「環境との関係」として捉える視点を共有する。 ②輪講 事前学修 2.0hr：卒業研究で実施したいことを考えておく 事後学修 2.0hr：輪講準備/自身の研究課題・研究方法を考える
4回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム学部にいる学生に問う: ホスピタリティとは何か？** 授業内容：①ホスピタリティとユニバーサルデザインの関係について学ぶ。 ②輪講 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本講義で取り組みたいテーマを考えておく。 事後学修 2.0hr：日常生活で感じた「困りごと」を書き出す/輪講準備
5回	**授業テーマ：障害とは何か** 授業内容：①障害の定義や考え方の変遷を学び、医学モデルと社会モデルの違いを理解する。「誰にでも起こり得る困難」という視点から障害を捉える。 ②輪講 事前学修 2.0hr：「障害」という言葉から連想することを整理する。 事後学修 2.0hr：講義を通しての気づきをまとめる。
6回	**授業テーマ：社会の中の見えにくい障壁 その 1** 授業内容：①街、店舗、観光地、公共施設などに存在する社会的障壁を具体例から整理する。 ②輪講 事前学修 2.0hr：街中で不便・不安を感じた場面を探す。 事後学修 2.0hr：障壁の背景を考察する。

7回	**授業テーマ：社会の中の見えにくい障壁 その2** 授業内容：①街、店舗、観光地、公共施設などに存在する社会的障壁を具体例から整理する。 ②輪講 事前学修 2.0hr：調査・プレゼンテーション準備 事後学修 2.0hr：理解の確認と疑問点のまとめ
8回	**授業テーマ：当事者の声を聴く(1)** 授業内容：①障害のある当事者をゲストに迎え、日常生活や外出時に困ること、環境によって助けられた経験を学ぶ。 ②輪講 事前学修 2.0hr：質問内容を考えておく 事後学修 2.0hr：学びと気づきを整理する
9回	**授業テーマ：当事者の声を聴く(2)多様な立場から** 授業内容：① LGBTQ 当事者や見えにくい困難を抱える人の経験を通して、多様性と社会の課題を理解する。 ②輪講 事前学修 2.0hr：フィールドワーク準備 事後学修 2.0hr：学びと気づきを整理する
10回	**授業テーマ：ホスピタリティと配慮** 授業内容：①配慮・特別扱い・平等の違いについて議論し、無意識の排除や過剰配慮について考える。 ②輪講 事前学修 2.0hr：配慮された経験を振り返る。 事後学修 2.0hr：ディスカッションを整理する。
11回	**授業テーマ：ユニバーサルデザインの考え方** 授業内容：①ユニバーサルデザインの基本概念と事例を学び、「誰かの困りごとが、すべての人の便利につながる」視点を養う。 ②輪講 事前学修 2.0hr：身近なユニバーサルデザイン事例を探す。 事後学修 2.0hr：事例をまとめる。
12回	**授業テーマ：ユニバーサルデザインの考え方** 授業内容：①ユニバーサルデザインの基本概念と事例を学び、「誰かの困りごとが、すべての人の便利につながる」視点を養う。 ②輪講 事前学修 2.0hr：身近なユニバーサルデザイン事例を探す。 事後学修 2.0hr：事例をまとめる。
13回	**授業テーマ：フィールドワーク：街の困りごと発見** 授業内容：街中や店舗、公共施設を観察し、利用者視点での困りごとを洗い出す。 事前学修 2.0hr：観察の視点を確認する。 事後学修 2.0hr：観察結果を整理する。
14回	**授業テーマ：中間発表準備** 授業内容：①中間発表準備 ②レジュメの作り方 事前学修 2.0hr：中間発表準備 事後学修 2.0hr：指導教員からのフィードバックを取り入れる
15回	**授業テーマ：前期まとめ・卒業研究中間発表** 授業内容：中間発表: ここまでの講義・ディスカッション・フィールドワークを通じて、課題を設定する 卒業研究における「課題をどのように設定したのか」を発表する。外部審査員による評価実施。 15 分発表 5 分質疑応答 事前学修 4.0hr：中間発表準備 事後学修 2.0hr：中間発表を鑑みること

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

コミュニケーションやネットワーク、コンテクストというキーワードを駆使することで「企業組織」について自分なりの見解をもって説明できることを目標とする。そこで、日々に各メディアから伝えられる企業活動や実際の企業訪問、あるいはインターンシップでの経験等を事例にした疑似体験を題材に、企業組織における働きかたの理想形を探りながら自分なりに問題を発見できるように進めていく。
来年のケーススタディⅡで、特定の企業の組織を対象に、自分なりの根拠と問題意識から、あるべき姿を提案できるケーススタディを作り上げることを目標に、その準備を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：「自分なりの妄想や直感」を起点に、想像力と創造力を発揮してキャリア開発に役立つテーマを主体的に設定し、自分なりの計画に基づいて調査や分析を実行し続けていく。テーマの選び方や分析のやり方は自由。ただし、自分の計画を死守しつつ進める規律性、物事を体系的に筋道立てて考える論理的思考や、「なぜ」を繰り返すことで必要となるデータや理由を多く集めてより良い解決策の糸口を見つけ出す問題発見の涵養を目指していく。

個別目標：○○× HT を基軸に特定の個人テーマを定義できていること
自身のテーマについて、問題を複数立てていること
自身のテーマについて仮説を構築できていること

▌履修条件

本テーマに興味を持ち、柔軟な発想とアンテナの感度を持ち、折れない心でテーマに取り組めること。
各種イベントやフィールドワークに参加する積極性と、自分の立てた計画を死守できる規律性。

▌評価基準・方法

発表や課題の品質（40 %）、授業や課題への取組姿勢（60 %）を基に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは個別に実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （地域や企業との連携を通じた学びに取り組みます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プロジェクト運営での情報整理等、常にパソコンは必要だと思われます。）

▌教科書

特になし。
各自個別に指示していきます。

▌参考書

特になし。授業の時に必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初回ガイダンス 授業の進行や内容について説明** 授業内容：自己紹介・プロジェクト計画・ゼミ計画など 事前学修 3.0hr：講義概要を理解し、自分の興味ある分野についてまとめる 事後学修 2.0hr：初回のフィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
2回	**授業テーマ：出発点の確認　研究課題と研究手法について** 授業内容：卒業研究の手法と手段について概説 事前学修 2.0hr：相互の意見交換を通じて、テーマを深掘りしておく。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
3回	**授業テーマ：プロジェクトワーク①** 授業内容：プロジェクト活動への参画にむけた初回の打ち合わせ 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
4回	**授業テーマ：卒業研究中間レビュー** 授業内容：卒業研究の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
5回	**授業テーマ：プロジェクトワーク②** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
6回	**授業テーマ：卒業研究中間レビュー** 授業内容：卒業研究の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
7回	**授業テーマ：プロジェクトワーク③** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 3.0hr：中間報告をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
8回	**授業テーマ：３年生研究調査へのレビュー** 授業内容：探究課題の全体発表へのコメント 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
9回	**授業テーマ：３年生研究調査へのレビュー** 授業内容：探究課題の全体発表へのコメント 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。

10回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：次回の授業へ向けて、疑問点をまとめておく
11回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：プレ発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
12回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
13回	**授業テーマ：卒業研究進捗報告** 授業内容：卒業研究の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
14回	**授業テーマ：前期のプロジェクト進捗のレビューと報告** 授業内容：プロジェクト活動の進捗レビューとして報告会を行う 事前学修 3.0hr：発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに夏休みの行動計画を確定させる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：卒業研究のレビューと評価 事前学修 2.0hr：夏休みの行動計画を最終化しておく。 事後学修 2.0hr：夏休みの行動計画を具体化させる。

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

【特徴】
・チームごとに主体的なプロジェクト活動となります。
・II-a で立てた事業計画に基づいて、最終的なレポート作成に向けて集大成構築に向けた活動を行います。
・4 年生の集大成としての卒業制作を完成させます。
・II-b の期間内において、積み立てた資金を活用してこれまでの学びを活かす卒業旅行を行います。
・II-b の最終回には、研究成果の途中経過をまとめ、I-b メンバーも含め、全員で共有していきます。
・I-b と共同で、コミュニケーションイベントを年間を通して 1 チーム 1 回企画・運営・実施をし、イベントを成功させるプロセスを学びます。
・授業以外の時間を活用した調査・分析活動等も前提としています。
・社会環境が整えば、宿泊を伴うフィールドワークによって自らの研究内容の肉付け、裏付けとする活動を行います。
なお、授業の進め方は、適宜変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・大学生活の集大成となる個々の卒業制作を完成させます。
・ゼミの課題である各種のプロジェクトを通して、社会人になっても通用する、チームワーク力、問題設定力、情報収集力、コミュニケーション力、自己分析力、自己肯定感などの醸成を目指します。
・社会課題に関心を持つ好奇心を養い問題設定能力を高めると同時に、多様な意見を受け容れる柔軟さと、より良い結論を導き出そうとする責任感の醸成を目指します。

個別目標：・様々な現象に、多様な課題や視点が存在することを認識し、好奇心を育て深く掘り下げる喜びを感じられるようになること
・様々なタイプの異なるプロジェクトに自律的・積極的に関わることを通して、自身が達成感を実感できるようになること
・選択したプロジェクトテーマについて、一定程度の問題意識や課題認識を自ら説明できるようになること
・分析に必要なデータを自身で収集し、分析のための加工ができるようになること

▌履修条件

・仲間を敬うこと
・テーマに関心を持ち、チームで成し遂げる成果に対して自律的に役割を果たす積極性と責任感を持てること
・フィールドワーク実施を前提に積立金を実施予定
・ノート型 PC を持参できる環境が望ましい（EXCEL、PowerPoint、Word ソフト含む）※必須ではない

▌評価基準・方法

各回の授業参加態度および前後の学修状況（60%）、発表の成果物（30%）、自主課題のレポート（10%）を大まかな指標として総合的に評価します。

▌フィードバック方法

主にゼミ生が相互でフィードバックを行う環境づくりを行う。必要に応じて、指導教員が総括的に、教室で主に口頭で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （原則、毎回グループワークあり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜グループワーク内で使用）

▌教科書

特にありません。

▌参考書

・トラベルボイス（日刊のオンライン情報）を購読（無料）
・適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：夏休みの課題の発表** 授業内容：夏休みの課題を発表いただきます 事前学修 2.0hr：II-a で提示された夏休みの課題について学修、発表できるようにしておく 事後学修 2.0hr：II-a のプロジェクト活動などを通じて、Ⅱ-b で学びたいテーマについてまとめておく
2回	**授業テーマ：テーマの再選択に向けたディスカッションとチーム再編成** 授業内容：・卒業に向けた集大成としてのテーマ設定とチームの再編成 事前学修 2.0hr：本授業に向けて必要な学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
3回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
4回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント④** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う
5回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
6回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う

7回	**授業テーマ：後期フィールドワークの実施** 授業内容：４、５限の時間を使って、後期のフィールドワークを実施(日程前後する可能性あり) 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
8回	**授業テーマ：後期フィールドワークを受けた気付きの共有** 授業内容：・前半：全体セッション(ファシリテート：ゼミ長) ・後半：分科会セッション(各チーム別) 事前学修 2.0hr：フィールドワークで得た知識や考えなどを課題として提出する 事後学修 2.0hr：チームとして今後のテーマに活かせる内容を検討する
9回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント⑤** 授業内容：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントのフィードバックを行う
10回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
11回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
12回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
13回	**授業テーマ：3 年生の課題発表** 授業内容：・3 年生のチーム別課題発表を行う 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：各チームの発表内容を受けて、どのような質問、意見を持ったかをまとめておく
14回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント⑥** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントのフィードバックを行う
15回	**授業テーマ：総まとめ：4 年生の課題発表** 授業内容：・4 年生の課題発表(一人ずつ　4限から実施予定) 事前学修 1.0hr：4 年生は、事前に発表課題を提出 事後学修 3.0hr：3 年生は、発表に対するフィードバックを実施、4 年生は、発表課題を修正して提出

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

渭東　史江（いとう　ちかえ）

▌授業の概要

①ケーススタディの活動内容は、自主的に考案、企画し、チームで協力して、計画、準備を進め、実行する。実行後には成果や改善点を確認する。
② 4 年間の学びの集大成として、各自がホスピタリティ産業に関連する事項をテーマにして卒業研究をする。研究内容はゼミ内で発表する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：活動内容を考案、企画し、チームで実行する過程で、社会に必要な資質や能力を開発する。同時に様々な体験や考察を通して、社会やホスピタリティ産業について広く理解する。
個別目標：①考案、企画、実行することで、自主性、発想力、実行力、コミュニケーション能力など、今後社会で活躍することを念頭に、必要な能力を伸ばす。
②成果をあげるために、リーダーシップを発揮し、チームに貢献する。
③ホスピタリティ産業について理解を深め、将来に役立つ体験と知識を培う

▌履修条件

①自主性をもち、何事にも挑戦する気持ちがあること
②全回出席し、学習、研究にまじめに取り組むこと
③ホスピタリティ精神をもち、ホスピタリティ産業に関心があること

▌評価基準・方法

ディスカッション、プレゼンテーションの内容や、チームへの貢献度、授業への参加意欲などを考慮し総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して、または授業中に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要になった場合は事前に連絡する）

▌教科書

必要に応じて資料等を配信または配布。

▌参考書

必要に応じて紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期のフィードバック・後期イントロダクション** 授業内容：前期の内容、活動を振り返る。後期にするべきことを確認し、進め方を考える。 事前学修 2.0hr：前期の活動を振り返り、反省点を整理する 事後学修 2.0hr：ゼミ活動として、後期に何をするべきか考える
2回	**授業テーマ：卒業研究のテーマ決定** 授業内容：ホスピタリティに関連するもので、興味のあるもの、経験したこと等をあげ、大学生活の集大成として行う卒業研究のテーマを考える。決めたテーマに沿った研究内容を考える。 事前学修 2.0hr：卒業研究のテーマの候補となるものを考える 事後学修 2.0hr：決定したテーマについて、研究するべきことを考え、情報収集する
3回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：研究計画にそって、テーマに関する資料や情報を集め、精査する等研究を進める。 事前学修 2.0hr：研究計画を立て、研究の進め方をイメージする 事後学修 2.0hr：研究したことを整理
4回	**授業テーマ：チームビルディング** 授業内容：お互いに助け合えるチームとなるために、チームで活動する。チームで協力して成果をあげる。 事前学修 2.0hr：理想のチームを考える 事後学修 2.0hr：内容を振り返り、うまくできたこととそうでないことを理解する
5回	**授業テーマ：グループディスカッション** 授業内容：3 年生が中心となり、グループディスカッションを行う。ここでは 3 年生にディスカッションの進め方、方法を学んでもらうため、アドバイス、フィードバック等をする。 事前学修 2.0hr：ディスカッションのテーマを確認し、意見をまとめる 事後学修 2.0hr：ディスカッションの内容を整理する
6回	**授業テーマ：テーマ研究(外部講師)** 授業内容：ホスピタリティ関連企業から外部講師を招聘し、講義を受ける。積極的に聴き、質問することで、より理解を深める。 事前学修 2.0hr：外部講師や企業について調べる 事後学修 2.0hr：講義の内容や気づいたことを整理する
7回	**授業テーマ：ゼミ運営企画** 授業内容：グループに分かれ、各グループで授業内容を企画する。目的を設定し、内容・運営方法を決める。 事前学修 2.0hr：ゼミ活動として何をするか考える 事後学修 2.0hr：企画したことをまとめ、今後の進め方を考える、必要に応じてグループで相談を重ねる
8回	**授業テーマ：フィールドワーク** 授業内容：3 年生が決めたホスピタリティ産業の現場を訪れ、調査、研究をする。 事前学修 2.0hr：フィールドワークを有効に行うための準備をする 事後学修 2.0hr：フィールドワークで学んだことを整理
9回	**授業テーマ：研究のまとめ(ディスカッション)** 授業内容：3 年生が研究したテーマについて、各自が意見を出し合い、全員で研究内容をまとめる。 事前学修 2.0hr：ディスカッションのテーマについて、考える 事後学修 2.0hr：まとめられた研究内容を確認する
10回	**授業テーマ：4 年生によるゼミ運営(1)** 授業内容：担当する 4 年生が授業の内容を企画し、運営する。内容についてフィードバックする。自身が担当する場合は運営後フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：担当者はゼミ運営の計画をたて、準備する 事後学修 2.0hr：授業内容により、別途指示

11回	**授業テーマ：4 年生によるゼミ運営（2）** 授業内容：担当する 4 年生が授業の内容を企画し、運営する。内容についてフィードバックする。自身が担当する場合は運営後フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：担当者はゼミ運営の計画をたて、準備する 事後学修 2.0hr：授業内容により、別途指示
12回	**授業テーマ：ゼミ活動成果発表会準備** 授業内容：3 年生が参加するゼミ活動成果発表会に向けて、3 年生と共に活動内容と成果をまとめる。 事前学修 2.0hr：ゼミ活動とその成果を整理する 事後学修 2.0hr：まとめた内容を確認する
13回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究の内容をまとめ、発表資料を完成させる。発表のために準備をする。 事前学修 2.0hr：研究内容を見直し、必要であれば改善する 事後学修 2.0hr：発表準備をする
14回	**授業テーマ：4 年生による卒業研究発表** 授業内容：卒業研究の成果を順番に発表する。内容についてフィードバックする。自身の発表についてフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：発表準備をする 事後学修 2.0hr：発表について振り返り、良かった点、改善点等を把握する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：1 年間の活動を振り返り、成長できたことを考える。社会人になってしたいこと、するべきことを考える。 事前学修 2.0hr：大学生活を統括し、大学での成果を振り返る 事後学修 2.0hr：大学での成果をもとに、将来の目標をたてる

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

地域資源を活かした観光振興と持続可能なまちづくりをテーマに、実践的な学びをおこなう。フィールドワーク、観光関連企業・自治体との連携を通じて、観光課題への具体的な解決策を探求する。また、観光・航空業界におけるホスピタリティの意義を学び、地域社会との協働を体験する。最終的に、地域や業界の課題解決に向けた提案をまとめ、発表を通じて学びを深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自分自身を成長させることができる
・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる
・観光立国を目指す日本の、地方自治体の取組み、受入れ側のホスピタリティのあり方、およびそれを実現、持続させるために自分が何ができるかを見つけ、実践、説明できるようになる

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
・企業研究やゲストスピーカーとのディスカッション等を通して就業意欲を高め、就職活動準備を積極的に行えるようになる
・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる

▌履修条件

・ケーススタディⅠを取得していること
・ホスピタリティ実践に興味と意欲があること
・積極的に新しいことに挑戦し、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生
・新たなゼミメンバーの中で積極的に友人を作って協力し合い、自分の視野を拡げていける学生
・人の話を聴き、自ら考え、自分の意見を述べ、自己成長ができる学生

▌評価基準・方法

・ゼミへの参画意欲と積極的な活動
・ゼミメンバーとの協働姿勢
・企画・プレゼンテーションのプロセスや結果
これらを総合的に判断し、評価する

▌フィードバック方法

個人面談を定期的に設定し、個別にフィードバックを行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、パワーポイント作成など。必要な際は、適宜指示する）

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

個別の研究に合わせて適宜紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：後学期のゼミ運営について確認を行います。 事前学修 2.0hr：夏季休暇時の体験やエピソードをまとめる 事後学修 2.0hr：夏季休暇中の体験やエピソードのプレゼンテーション準備を行なう
2回	**授業テーマ：夏季休暇プレゼンテーション** 授業内容：夏季休暇の活動を通じて、気付きや発見等を中心に、各々の成長について確認するとともに、相互の学びを得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションのためのパワーポイント資料を作成する 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの優れた点、改善すべき点をまとめる
3回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

9回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
10回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：卒業研究発表** 授業内容：卒業研究成果の発表会を行います。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：フィードバックも含めて自身の研究の総括を行う
13回	**授業テーマ：卒業研究発表** 授業内容：卒業研究成果の発表会を行います。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：フィードバックも含めて自身の研究の総括を行う
14回	**授業テーマ：卒業研究発表** 授業内容：卒業研究成果の発表会を行います。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：フィードバックも含めて自身の研究の総括を行う
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：大学での学習及び生活の集大成を行います。 事前学修 2.0hr：これまでのゼミや学生生活をまとめておく 事後学修 2.0hr：社会人になるための準備を確認する

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

本講義では、受講生が観光業及びサービス業におけるユニバーサルデザインの重要性と必要性に対する認識と理解を深めて、事例研究を通じて、その実践的な展開方法について学ぶことにある。

特定分野(観光産業とサービス業を対象に)の事例(ケーススタディ)研究を行い、その分野の理論を考察したうえ、理論土台を固め、理解を深めること。とくに高齢化が進んでいる日本において、現実的に意義のある研究課題を定めて、資料収集、現地調査を実施し、結果分析をして、その結果をプレゼンし、レポート作成などの実践を踏まえて、問題の発見と解決能力を身に着けることを目指していき、また次年度の卒論のために準備をすることになる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：　観光施設、観光地とサービス業におけるユニバーサルデザインの具体的な実践方法を学び、バリアフリーな環境を提供するための戦略や手法を理解することを目指す。ユニバーサルデザインの基礎理論の学修と基礎学力の向上を図り、観光のユニバーサルデザインの視野から、調査、研究を行い。今後社会での活躍能力を身につける。

現代観光の特徴として、すべての人々の参加である視点から、高齢者も身体障害者もその権利をもち、社会としてはその参加できる環境と基盤を提供すべきという認識を共有する。

個別目標：・学生が実際の観光施設やイベントに関するケーススタディをして、ユニバーサルデザインの観点から問題を特定し、解決策を提案する能力を養うことを目指すこと。

・学生がグループごとに、アイデアを共有し、コミュニケーション能力を向上させることを目指すこと。

・学生がユニバーサルデザインの実践における倫理的な問題や社会的責任について考え、共生社会実現の促進や地域社会への貢献に関心を持つことを目指すこと。

▌履修条件

・観光のユニバーサルデザインやバリアフリーと共生社会に関心があり、常に向上心と好奇心を持つこと
・グループの一員として積極的にゼミ活動に参加できること
・学習の過程において、障害と困難を乗り越えて、最後までやり遂げること
・事例研究を積極的に取り込み、チームワークができること。
・自ら考えて、自分の意見を述べて、ゼミ内で共有できること。

▌評価基準・方法

・事例研究の調査参加 30 %
・ディスカッション参加、プレゼン 40 %
・レポート３０%
授業と課題の取り込み姿勢などを基に総合的に評価する。

▌フィードバック方法

個別又は学修支援 manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チームワークがメイン）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料収集、整理、パワポで発表の準備などに使用）

▌教科書

特になし

▌参考書

必要に応じて配布

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：後期のスケジュールの確認 事前学修 2.0hr：：前期の調査を振り返る、問題点をみつける 事後学修 2.0hr：後期に向けての準備
2回	**授業テーマ：観光地におけるユニバーサルデザインについて** 授業内容：ユニバーサルデザインについて理解する。観光地のユニバーサルデザインについて調べる 事前学修 2.0hr：観光地のユニバーサルデザインについて調べる 事後学修 2.0hr：チームメンバーと意見交換、研究事例の対象を絞る
3回	**授業テーマ：観光の視点からみるユニバーサルデザイン** 授業内容：事例を取り上げながら、学ぶ。 事前学修 2.0hr：研究課題について再確認する 事後学修 2.0hr：次回の準備について、ディスカッション
4回	**授業テーマ：観光地のユニバーサルデザインの現地調査手法を学ぶ①** 授業内容：ヒヤリングの調査手法について 事前学修 2.0hr：調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
5回	**授業テーマ：観光地のユニバーサルデザインの現地調査手法を学ぶ②** 授業内容：ヒヤリング調査手法の勉強について 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
6回	**授業テーマ：チームワーク①** 授業内容：現地調査の準備、ヒヤリングの質問を作る② 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
7回	**授業テーマ：チームワーク②** 授業内容：現地調査の準備、ヒヤリングの質問を作る② 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション

8回	**授業テーマ：チームワーク③** 授業内容：現地調査のヒヤリング調査を行う 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
9回	**授業テーマ：チームワーク④** 授業内容：現地調査のヒヤリング調査結果のまとめ 事前学修 2.0hr：現地調査結果について 事後学修 2.0hr：調査の結果まとめと分析
10回	**授業テーマ：調査結果の分析と報告発表** 授業内容：現地調査の結果分析と報告 事前学修 2.0hr：現地調査の結果分析の事前準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
11回	**授業テーマ：調査の結果分析と報告発表②** 授業内容：現地調査の結果の分析とまとめ 事前学修 2.0hr：分析の事前準備をする 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
12回	**授業テーマ：観光地のユニバーサルデザイン海外事例との比較研究** 授業内容：海外の事例研究 事前学修 2.0hr：海外事例の文献調査 事後学修 2.0hr：海外事例について、ディスカッション
13回	**授業テーマ：ゲストによる講義** 授業内容：日本の代表観光地を事例にして、観光地の魅力について 事前学修 2.0hr：観光地の魅力を考える 事後学修 2.0hr：講演内容を振り返る
14回	**授業テーマ：一年の振り返り** 授業内容：一年間習得したスキルを今後どう活躍するか、今後具体的な目標について話し合う 事前学修 2.0hr：一年間自身が学修したことのまとめ 事後学修 2.0hr：次年度に向けての目標や計画
15回	**授業テーマ：一年の振り返り** 授業内容：一年間習得したスキルをどう活躍するか、今後具体的な目標について話し合う 事前学修 2.0hr：一年間自分が学修したことのまとめ 事後学修 2.0hr：社会人の目標や計画

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中野　実（なかの　みのる）

▌授業の概要

メインテーマは、ゼミメンバーの協働による企業研究・時事問題等の研究/検証および社会人基礎力の養成で、引き続き以下をゼミ活動の柱とする
①好奇心を育て、視野を広げるきっかけにするために、タイムリーな時事問題に関する情報共有やディベートを実施する。　②『誰が正しいか、ではなく、何が正しいか』という考え方や視点を確立し、人として正しい判断が行えるようにする
③第三者からの「自分の見え方」を大切にし、学年を問わずゼミメンバー同士で忌憚なくアドバイスし合う
④個人研究の進捗状況に合わせて指導を行う。
⑤そして、最後に大学生としての個人の研究成果を発表してもらう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自分自身を成長させることができる
　　・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる
個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
　　・文献や資料を読み込み、自身の研究を積極的に進めることができる
　　・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
　　・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる

▌履修条件

・ケーススタディⅠを取得していること
・引き続き明海大学の学生であることに誇りを持ち、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生

▌評価基準・方法

・ゼミへの参画意欲と積極的な活動
・ゼミメンバーとの協働姿勢
・企画・プレゼンテーションのプロセスや結果
これらを総合的に判断し、評価する

▌フィードバック方法

個人面談を定期的に設定し、個別にフィードバックを行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション）

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

個別の研究に合わせて適宜紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：後学期のゼミ運営について確認を行います。 事前学修 2.0hr：夏季休暇時の体験やエピソードをまとめる 事後学修 2.0hr：夏季休暇中の体験やエピソードのプレゼンテーション準備を行なう
2回	**授業テーマ：夏季休暇プレゼンテーション** 授業内容：夏季休暇の活動を通じて、気付きや発見等を中心に、各々の成長について確認するとともに、相互の学びを得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションのためのパワーポイント資料を作成する 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの優れた点、改善すべき点をまとめる
3回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
9回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

10回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：卒業研究発表** 授業内容：卒業研究成果の発表会を行います。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：フィードバックも含めて自身の研究の総括を行う
13回	**授業テーマ：卒業研究発表** 授業内容：卒業研究成果の発表会を行います。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：フィードバックも含めて自身の研究の総括を行う
14回	**授業テーマ：卒業研究発表** 授業内容：卒業研究成果の発表会を行います。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：フィードバックも含めて自身の研究の総括を行う
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：大学での学習及び生活の集大成を行います。 事前学修 2.0hr：これまでのゼミや学生生活をまとめておく 事後学修 2.0hr：社会人になるための準備を確認する

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

二宮　秀生（にのみや　ひでお）

▌授業の概要
学生で何をするかを話し合って運営する。
各自責任感を持って、主体的、積極的に参加する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）
一般目標：組織社会で必要とされる様々な力をつける。
（目標設定　計画策定　実行力　情報収集力　分析力　コミュニケーション力　責任感　主体性など）
個別目標：チーム共同で進める中で、主体性や責任感を醸成し、コミュニケーション力、情報収集力をつける。
多様な意見を聴き、尊重することを学ぶ。

▌履修条件
・自らのスキルの向上に前向きであること。
・自ら考えて行動できること。

▌評価基準・方法
チームへの貢献度、研究成果、発表などを総合的に評価する。

▌フィードバック方法
授業中以外にも、面談や manaba でのフィードバックも行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （チーム討議を行う会を設ける）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
適宜資料を配布。

▌参考書
適宜紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　次回以降の運営決定** 授業内容：ゼミの運営自体を学生に検討させ、主体的に運営してもらう。 計画の方向性を決める。 事前学修 2.0hr：やりたいテーマを考えておく。 事後学修 2.0hr：計画をイメージする
2回	**授業テーマ：計画確定** 授業内容：ゼミの各回の計画を固める。 事前学修 2.0hr：計画をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
3回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
4回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
5回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
6回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
7回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
8回	**授業テーマ：4 年生卒業研究テーマ発表** 授業内容：4 年生は卒業研究のテーマを発表する。 質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：テーマ発表の準備をしておく。 事後学修 2.0hr：他の意見と自分の意見の違いを確認する。
9回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
10回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
11回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。

12回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
13回	**授業テーマ：4 年卒業研究発表** 授業内容：4 年生は卒業研究を発表する。 質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：発表の準備をしておく。 事後学修 2.0hr：他の発表と自分の発表の違いを確認する。
14回	**授業テーマ：4 年生卒業研究発表** 授業内容：4 年生は卒業研究を発表する。 質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：コメントにあたっての心構えを確認しておく。 事後学修 2.0hr：他の意見と自分の意見の違いを確認する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：1 年間を振り返る。 事前学修 2.0hr：1 年間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：新年度への決意を固める。

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

橋本　尚興（はしもと　ひさおき）

▌授業の概要

大学で身に付けた知識、能力および経験を活用して、自由なテーマにて大学生活の集大成としての卒業研究に取り組む。これにより、自ら課題を設定し、自ら考え、自ら主体的に行動することができる人材の育成を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・さまざまなテーマの課題と解決方法の検討を通じて、社会人として必要となる課題への対応方法を学ぶ。(DP3)
・ゼミにおける仲間との交流を通じて自分自身の成長を感じることができる。(DP3)

個別目標：・さまざまな事象や自身の体験から問題点に気が付き、課題設定ができるようになる。
・課題の解決方法をチームで検討することにより、役割を認識し、役割に応じた結果を出せるようになる。
・自ら進んで課題解決に努力することを通じて達成感を実感できるようになる。
・大学生活の集大成となる卒業研究を完成させる。

▌履修条件

以下に示す取り組み姿勢を持つ学生であること。
・自身の意見を持ち、相手がわかるように説明できるとともに、相手の話も聞き理解しようと努める。
・仲間とともに課題解決に向けて自主的に努力する気概を持つ。

▌評価基準・方法

最終発表、ディスカッションの内容と参加態度、仲間への貢献度などを考慮して総合評価を行う。
なお、一部の学生については、Academic English Ⅳの評価基準に記載されている「英語検定試験のスコア」相当、もしくは「IT パスポート」の取得状況も加えて、総合的に評価して単位を認定する

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba やゼミを通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （個人単位で調査・研究を行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （研究や調査報告作成のために利用する）

▌教科書

特になし

▌参考書

適宜、資料配布を行う。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：夏期休暇の振り返りとゼミ運営のアイデア検討** 授業内容：夏季休暇の計画と実際について振り返りを行うとともに、今後のゼミ運営におけるアイデアを検討する 事前学修 2.0hr：夏季休暇の振り返りを説明する準備と、後期のゼミ運営のアイデアを検討しておく 事後学修 2.0hr：卒業研究として取り組みたいテーマを考える。ゼミ運営のアイデアを考える
2回	**授業テーマ：ゼミ運営の組み立て** 授業内容：前回のゼミにて出されたアイデア群から、実施するアイデアを選択するとともに、スケジュールと担当者アサインを行う 事前学修 2.0hr：ゼミ運営のアイデアを考える 事後学修 2.0hr：卒業研究として取り組みたいテーマを考える。ゼミ運営の準備を行う。
3回	**授業テーマ：卒業研究のテーマ検討（１）** 授業内容：個人ごとに卒業研究のテーマについて検討を行う 事前学修 2.0hr：卒業研究として取り組みたいテーマを考える。ゼミ運営の準備を行う。 事後学修 2.0hr：卒業研究として取り組みたいテーマを考える。ゼミ運営の準備を行う。
4回	**授業テーマ：卒業研究のテーマ検討（２）と発表** 授業内容：4 年全員にてゼミ運営を行う。個人ごとに卒業研究のテーマについて決定し、発表する 事前学修 2.0hr：卒業研究として取り組みたいテーマを考える。ゼミ運営の準備を行う。 事後学修 2.5hr：卒業研究について計画を考える。ゼミ運営の準備を行う。
5回	**授業テーマ：ゼミ運営と卒業研究** 授業内容：４年にてゼミを主体的に運営するとともに、卒業研究について調査を行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究を行う。ゼミ運営の準備をする。 事後学修 2.5hr：卒業研究を行う。ゼミ運営の準備をする。
6回	**授業テーマ：ゼミ運営と卒業研究** 授業内容：４年生にてゼミを主体的に運営するとともに、卒業研究について調査を行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究を行う。ゼミ運営の準備をする。 事後学修 2.5hr：卒業研究を行う。ゼミ運営の準備をする。
7回	**授業テーマ：ゼミ運営と卒業研究** 授業内容：４年生にてゼミを主体的に運営するとともに、卒業研究について調査を行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究を行う。ゼミ運営の準備をする。 事後学修 2.5hr：卒業研究を行う。
8回	**授業テーマ：ゼミ運営と 3 年生の発表** 授業内容：３年生の発表に対する評価を行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究を行う。 事後学修 2.5hr：卒業研究を行う。ゼミ運営の準備をする。
9回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究について調査・相談を行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究を行う。 事後学修 2.5hr：卒業研究を行う。
10回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究について相談や内容確認を行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究を行う。 事後学修 2.5hr：卒業研究を行う。

11回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究について相談や内容確認を行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究を行う。 事後学修 3.0hr：卒業研究を行う。
12回	**授業テーマ：卒業研究の完成** 授業内容：卒業研究について内容確認、仕上げを行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究の完成に向けての作業と確認を行う。 事後学修 3.0hr：卒業研究の完成に向けての作業と確認を行う。
13回	**授業テーマ：卒業研究の発表　その１** 授業内容：自分自身の４年間の集大成としての卒業研究を発表する　その１ 事前学修 3.0hr：卒業研究の発表準備を行う 事後学修 2.5hr：卒業研究に対する意見や質問について確認するとともに、発表の内容を振り返る。
14回	**授業テーマ：卒業研究の発表　その２** 授業内容：自分自身の４年間の集大成としての卒業研究を発表する　その２ 事前学修 3.0hr：卒業研究の発表準備を行う 事後学修 2.5hr：卒業研究に対する意見や質問について確認するとともに、発表の内容を振り返る。
15回	**授業テーマ：全体の振り返り** 授業内容：ゼミでの学修内容や、卒業研究を踏まえ、大学生活の振り返りを行う 事前学修 2.0hr：大学で学修したことを事前に振り返っておく 事後学修 2.0hr：自分自身の 4 年間の行動や卒業研究を振り返るとともに、社会人となる心構えを再度確認する。

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

ディプロマポリシー達成のために、学生が各自目標に到達できるよう、課題に取り組む。
ケーススタディ II-a で抽出した課題を基に、誰もが参加しやすいサービスや仕組みを浦安市に企画・提案する。
これをもとに、卒業研究、学会発表を行う。
内容は、諸条件、状況により、変更する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：社会の中で人と関わる際に必要となる気づく力、より良いカタチを考える力を養い、将来どの領域に進んでも応用可能な基礎的視座の獲得を目指す。
社会実装（デリバリ）する感覚を養う。
個別目標：自分の主張を客観化することを学ぶ。
個人の困難をその人の問題ではなく、社会環境や制度との関係として説明できる。
学んだ視点をもとに、社会の仕組みや関わり方を改善するための問いや提案を示すことができる。

▌履修条件

ホスピタリティ実践に興味と意欲があること。
積極的に新しいことに挑戦し、人の話を聴き、自ら考え、自分の意見を述べ、ゼミを前進させる意思があること。
第三者を理解させるために AI の使用は大いに推奨。ただし、自分で考えることを放棄しないこと。

▌評価基準・方法

卒業研究を提出することで評価。
卒業研究が履行されない場合は不合格とする。
汲むべき事由がある場合は、必ず事前に相談すること。

▌フィードバック方法

有意義と思われるものはできるだけ授業内で取りあげ、相互に考えながらフィードバックする。
個人的課題は、個人面談など、都度方法を変えて伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、プレゼンテーション、相互コメント）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、外部講師とのオンライン通信）

▌教科書

特になし。

▌参考書

適宜紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初回ガイダンス。ゼミの目的、進行、内容の説明** 授業内容：教員からゼミの目的、考え方、進め方を説明。各自、このゼミでの目標を考える。 卒論発表・学会発表について フィールドワークについて 輪講について 事前学修 0.5hr：中間発表における課題の実現妥当性について再確認すること。 事後学修 2.0hr：輪講準備
2回	**授業テーマ：研究にまとめるということ** 授業内容：①課題、自分の主張を如何にして第三者に理解してもらうかについて学ぶ。 ②先行研究のサーベイについて 事前学修 0.5hr：中間発表における課題の実現妥当性について再確認すること。 事後学修 2.0hr：先行研究サーベイ
3回	**授業テーマ：先行研究サーベイ発表** 授業内容：①先行研究のサーベイ発表 ②研究仮説の構築 事前学修 4.0hr：レジュメ作成 事後学修 2.0hr：仮説の整理
4回	**授業テーマ：フィールドワーク：街の困りごとを再発見** 授業内容：仮説を受けて、街中や店舗、公共施設を観察し、利用者視点での困りごとを再度、洗い出す。 事前学修 2.0hr：仮説に基づいて観察の視点を再確認する。 事後学修 4.0hr：仮説を修正する。
5回	**授業テーマ：仮説を構築する** 授業内容：仮説に基づいて、研究スタイルを選択する（定性研究・定量研究） 事前学修 2.0hr：作業仮説 事後学修 2.0hr：仮説の完成
6回	**授業テーマ：課題整理とツール企画** 授業内容：当事者の声やフィールドワークをもとに課題を整理し、制作するツール（例：コミュニケーション支援ボード）の企画を行う。 事前学修 2.0hr：解決したい課題を整理する。 事後学修 2.0hr：ツールの目的を明文化する。
7回	**授業テーマ：課題整理とツール企画** 授業内容：当事者の声やフィールドワークをもとに課題を整理し、制作するツール（例：コミュニケーション支援ボード）の企画を行う。 事前学修 2.0hr：解決したい課題を整理する。 事後学修 2.0hr：ツールの目的を明文化する。
8回	**授業テーマ：ツール制作（1）設計** 授業内容：使用場面、設置場所を想定し、ツールの構成・情報設計を行う。 事前学修 2.0hr：既存の支援ツール事例を調べる。 事後学修 2.0hr：設計案を整理する。

9回	**授業テーマ：ツール制作(2)試作** 授業内容：ミュニケーション支援ボード等の試作品を制作し、使いやすさを検討する(構想設計)。 事前学修 2.0hr：制作に必要な素材を準備する。 事後学修 2.0hr：改善点を洗い出す。
10回	**授業テーマ：ツール制作(3)改善** 授業内容：フィードバックをもとにツールを改良し、完成度を高める。 事前学修 2.0hr：構想設計から詳細設計へ 事後学修 2.0hr：改善案を整理する。
11回	**授業テーマ：ツール制作(3)完成** 授業内容：フィードバックをもとにツールを改良し、完成度を高める。 事前学修 2.0hr：詳細設計を整理する。 事後学修 2.0hr：完成版をまとめる。
12回	**授業テーマ：社会実装と提案設計** 授業内容：①行政・地域・店舗など、実際に使われる場面を想定し、提案内容と運用方法を整理する。 ②学会発表の作法について 事前学修 2.0hr：提案先の立場を考える。 事後学修 2.0hr：提案資料を作成する。
13回	**授業テーマ：社会実装の提案** 授業内容：浦安市への提案を想定し、制作したツールと意義についてプレゼンテーションを行う。 事前学修 4.0hr：発表準備を整える。 事後学修 2.0hr：フィードバックを整理し、卒業研究発表に活かす。
14回	**授業テーマ：卒業研究発表/プレ学会発表** 授業内容：20 分発表・10 分質疑応答 外部審査員による評価実施。 事前学修 4.0hr：卒業研究発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに学会発表準備
15回	**授業テーマ：学会発表** 授業内容：教育工学学会・学生セッションにて発表 発表形式は、学会に従う。 事前学修 4.0hr：学会発表準備 事後学修 0.5hr：卒業研究としてまとめて提出する。

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

コミュニケーションやネットワーク、コンテクストというキーワードを駆使することで「企業組織」について自分なりの見解をもって説明できることを目標とする。そこで、日々に各メディアから伝えられる企業活動や実際の企業訪問、あるいはインターンシップでの経験等を事例にした疑似体験を題材に、企業組織における働きかたの理想形を探りながら自分なりに問題を発見できるように進めていく。
来年のケーススタディⅡで、特定の企業の組織を対象に、自分なりの根拠と問題意識から、あるべき姿を提案できるケーススタディを作り上げることを目標に、その準備を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：「自分なりの妄想や直感」を起点に、想像力と創造力を発揮してキャリア開発に役立つテーマを主体的に設定し、自分なりの計画に基づいて調査や分析を実行し続けていく。テーマの選び方や分析のやり方は自由。ただし、自分の計画を死守しつつ進める規律性、物事を体系的に筋道立てて考える論理的思考や、「なぜ」を繰り返すことで必要となるデータや理由を多く集めてより良い解決策の糸口を見つけ出す問題発見の涵養を目指していく。

個別目標：○○× HT を基軸に特定の個人テーマを定義できていること
自身のテーマについて、問題を複数立てていること
自身のテーマについて仮説を構築できていること

▌履修条件

本テーマに興味を持ち、柔軟な発想とアンテナの感度を持ち、折れない心でテーマに取り組めること。
各種イベントやフィールドワークに参加する積極性と、自分の立てた計画を死守できる規律性。

▌評価基準・方法

発表や課題の品質（40 %）、授業や課題への取組姿勢（60 %）を基に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは個別に実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （地域や企業との連携を通じた学びに取り組みます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プロジェクト運営での情報整理等、常にパソコンは必要だと思われます。）

▌教科書

特になし。
各自個別に指示していきます。

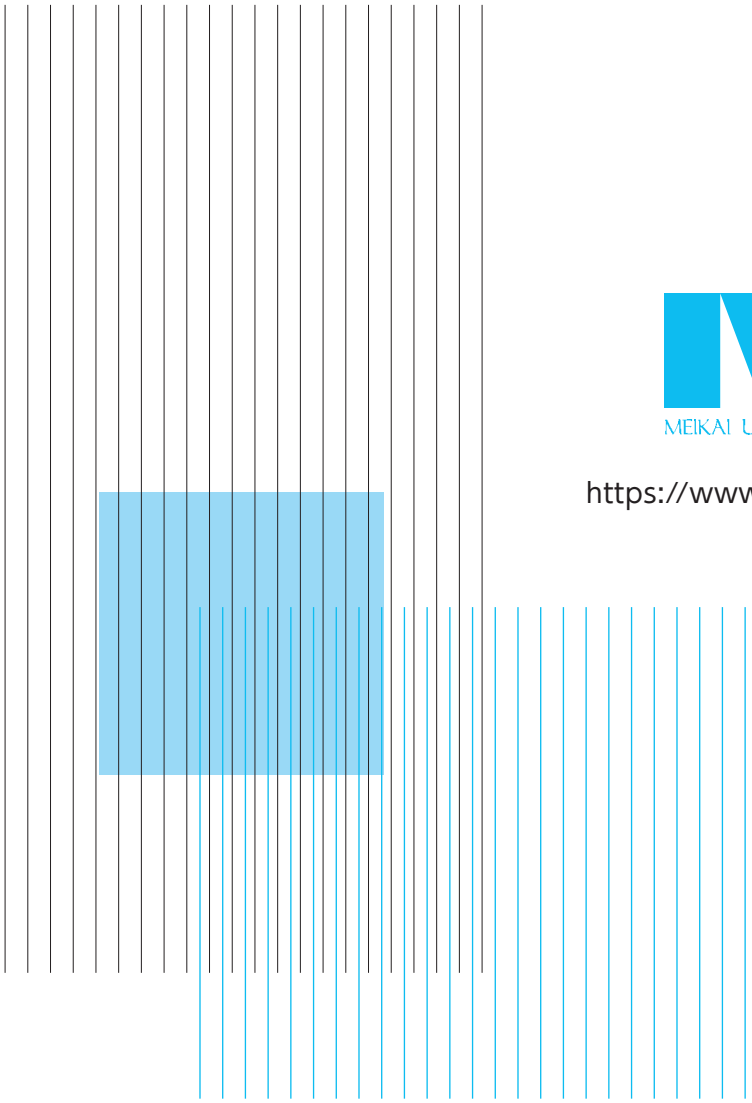
▌参考書

特になし。授業の時に必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初回ガイダンス 後学期授業の進行や内容について説明** 授業内容：自己紹介・プロジェクト計画・ゼミ計画など 事前学修 3.0hr：講義概要を理解し、自分の興味ある分野についてまとめる 事後学修 2.0hr：初回のフィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
2回	**授業テーマ：前学期の着地点の確認と後学期計画** 授業内容：課題探求の手法と手段について概説 事前学修 2.0hr：相互の意見交換を通じて、テーマを深掘りしておく。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
3回	**授業テーマ：プロジェクトワーク①** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
4回	**授業テーマ：卒業研究中間レビュー** 授業内容：卒業研究の全体への発表 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
5回	**授業テーマ：プロジェクトワーク②** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
6回	**授業テーマ：卒業研究中間レビュー** 授業内容：卒業研究の全体への発表 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
7回	**授業テーマ：プロジェクトワーク③** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 3.0hr：中間報告をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
8回	**授業テーマ：３年生の探求課題進捗への中間レビュー** 授業内容：探究課題の発表報告へのコメント 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
9回	**授業テーマ：３年生の探求課題進捗への中間レビュー** 授業内容：探究課題の発表報告へのコメント 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。

10回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：次回の授業へ向けて、疑問点をまとめておく
11回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：プレ発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
12回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
13回	**授業テーマ：卒業研究進捗報告** 授業内容：卒業研究の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
14回	**授業テーマ：年間のプロジェクト進捗のレビュー** 授業内容：プロジェクト活動の進捗レビューと評価 事前学修 3.0hr：発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに夏休みの行動計画を確定させる。
15回	**授業テーマ：卒業研究発表** 授業内容：卒業研究の発表 事前学修 2.0hr：夏休みの行動計画を最終化しておく。 事後学修 2.0hr：夏休みの行動計画を具体化させる。



https://www.meikai.ac.jp